H28-31 国営海の中道海浜公園
運営維持管理業務
民間競争入札実施要項

平成２７年７月

国土交通省九州地方整備局

目　次

１．対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項 1
1.1. 対象施設及び対象業務の概要 1
1.1.1 対象施設の概要 1
1.1.2 開園期間及び時間 1
1.1.3 入園料等 2
1.1.4 施設目的 2
1.1.5 対象業務の概要 3
1.2. 業務内容 6
1.2.1 本業務全体の計画立案及びマネジメント業務 6
1.2.2 企画運営管理業務 6
1.2.3 施設・設備維持管理業務 6
1.2.4 植物管理業務 6
1.2.5 動物管理業務 6
1.2.6 収益施設等管理運営業務 7
1.3. サービスの質の設定 8
1.3.1 包括的な質の設定 8
1.3.2 個別業務の質の設定 10
1.3.3 創意工夫の発揮可能性 11
1.3.4 モニタリング方法 12
1.3.5 委託費の支払い方法 13
1.3.6 費用負担等に関するその他の留意事項 14
２．実施期間に関する事項 18
３．入札参加資格に関する事項 19
3.1. 入札参加資格について 19
3.2. 企業の業務実績に関する要件 20
3.3. 配置予定者の業務実績に関する要件 23
3.4. 共同体での入札について 28
４．入札に参加する者の募集に関する事項 29
4.1. 入札の実施手続及びスケジュール（予定） 29
4.2. 入札実施手続 31
4.2.1 提出書類 31
4.2.2 申請書類の内容 31
4.2.3 企画書の内容 31
4.2.4 収益施設運営計画書 32
4.2.5 ヒアリングの実施 32
4.2.6 その他 32

５．対象公共サービスを実施する者を決定するための評価の基準その他の対象公共サービスを実施する者の決定に関する事項 33
5.1. 事業者決定にあたっての質の評価項目の設定 33
5.1.1 基本項目審査 33
5.1.2 提案項目審査 33
5.2. 事業者決定にあたっての評価方法 36
5.2.1 事業者の決定方法 36
5.2.2 総合評価の方法 36
5.2.3 留意事項 38
5.3. 初回の入札で事業者が決定しなかった場合の取り扱いについて 38
６．対象公共サービスに関する従来の実施状況に関する情報の開示に関する事項 39
７．事業者に使用させることができる国有財産に関する事項 40
7.1. 施設 40
7.2. 設備 40
８．事業者が、対象公共サービスを実施するに当たり、国の行政機関等の長等に対して報告すべき事項、秘密を適正に取り扱うために必要な措置その他の対象公共サービスの適正かつ確実な実施の確保のために契約により事業者が講ずべき措置に関する事項 41
8.1. 報告について 41
8.1.1 業務計画書の協議と承諾 41
8.1.2 業務責任者及び業務の関係者 41
8.1.3 業務報告書 41
8.1.4 検査・監督体制 41
8.2. 調査への協力 41
8.3. 指示について 41
8.4. 秘密の保持 42
8.5. 個人情報の取り扱い 42
8.6. 契約に基づき落札業者が講ずべき措置 42
8.6.1 業務の開始及び中止 42
8.6.2 公正な取り扱い 42
8.6.3 金品等の授受の禁止 42
8.6.4 法令の遵守 42
8.6.5 安全衛生 42
8.6.6 記録・帳簿書類等 42
8.6.7 権利の譲渡 43
8.6.8 権利義務の帰属等 43
8.6.9 一般的損害 43
8.6.10 再委託または下請負の取り扱い 43
8.6.11 契約解除 43
8.6.12 契約解除時の取り扱い 44

8.6.13 契約内容の変更 44
8.6.14 契約の解釈 44
8.6.15 業務計画書の提出 44
8.6.16 業務計画書の変更 44
8.6.17 業務の引き継ぎへの対応 44
8.6.18 業務評定について 44
９．事業者が対象公共サービスを実施するに当たり第三者に損害を与えた場合において、その損害の賠償に関し契約により事業者が負うべき責任（国家賠償法の規定により国の行政機関等が当該損害の賠償の責めに任ずる場合における求償に応ずる責任を含む。）に関する事項 46
１０．対象公共サービスに係る法第 7 条第 8 項に規定する評価に関する事項 47
10.1. 調査方法 47
10.2. 実施状況に関する調査の時期 47
10.3. 調査方法及び項目 47
10.4. 国営海の中道海浜公園有識者委員会への報告 47
１１．その他対象公共サービスの実施に関し必要な事項 48
11.1. 対象公共サービスの実施状況等の監理委員会への報告及び公表 48
11.2. 九州地方整備局の監督体制 48
11.3. 事業者が負う可能性のある主な責務等 48
11.3.1 罰則等 48
11.3.2 会計検査について 48

H28-31 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号。以下「法」という。）に基づく競争の導入による公共サービスの改革については、公共サービスによる利益を享受する国民の立場に立って、公共サービスの全般について不断の見直しを行い、その実施について、透明かつ公正な競争のもとで事業者の創意と工夫を適切に反映させることにより、国民のため、より良質かつ低廉な公共サービスを実現することを目指すものである。

上記を踏まえ、国土交通省九州地方整備局（以下「九州地方整備局」という。）は、公共サービス改革基本方針（平成27年7月10日閣議決定）別表（新プロセス移行事業一覧）において民間競争入札の対象として選定されたH28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務（以下「本業務」という。）について、公共サービス改革基本方針に従って、本実施要項を定めるものとする。

１．対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項

1.1. 対象施設及び対象業務の概要

1.1.1 対象施設の概要

(1) 対象施設

施設名称　　海の中道海浜公園
所在地　　福岡県福岡市東区奈多～西戸崎
敷地面積　　293.5ha 注）

注）本業務の対象敷地は海の中道海浜公園（以下「本公園」という。）の供用区域であり、その面積は、平成27年6月現在293.5haである。なお、平成28年度中にＢ地区博多湾パノラマ広場（約5ha）を追加供用する予定である。

(2) 施設概要

対象となる施設は、本公園の供用区域に位置する各公園施設（一部施設を除く）であり、本実施要項表1に示すとおりである。

詳細は、別紙－１「運営維持管理業務範囲図」、別紙－２「主要公園施設一覧」、別紙－３「主要建築物一覧」、別紙－４「収益施設一覧」を参照のこと。

表1　主な対象施設一覧

ゾーン名	面積（ha）	名称	主要施設
樹林とスポーツの広場	2.7	Ａ地区	パークウェイ
樹林とピクニックの広場	41.8	Ｂ地区	光と風の広場、ﾃﾞｲｷｬﾝﾌﾟ場、環境共生の森、ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ、駐車場
樹林と文化･いこいの広場	190.8	Ｃ地区	西口広場・水辺の広場、動物の森、大芝生広場、子供の広場、駐車場、松毬庵、ﾌﾗﾜｰﾐｭｰｼﾞｱﾑ、ｻﾝｼｬｲﾝﾌﾟｰﾙ
海辺といこいの広場	58.2	Ｄ地区	ｼｰｻｲﾄﾞﾋﾙｼｵﾔ、潮見台展望台、みらい橋
計	293.5		

※下線は、利用料金を徴収する施設や飲食・物販施設（以下「収益施設」という。）を示す。
※四角囲みは、料金徴収業務の対象となる有料施設を示す。
※このほかに自動販売機を設置する。

1.1.2 開園期間及び時間

本公園の開園期間及び時間は、本実施要項表2に示すとおりである。

表2　開園期間及び時間

期　　間	時　　間
３月１日　～　10月31日	9:30～17:30 プール開園期間中(9月は除く)は9:00～18:30
11月１日　～　２月末日	9:30～17:00

※休園日は12月31日～１月１日、２月の第１月曜日及びその翌日。
※繁忙期、行催事開催時等においては、本業務の受託者（以下「事業者」という。）が調査職員等を通じて九州地方整備局に協議し、承諾を得た上で、公開日時の変更を行うことができる。
※臨時閉園は、公園内で災害の発生及び発生のおそれがある場合等、公園の管理運営に支障があると九州地方整備局が判断した場合。
※事業者は公園の利用促進及び公園利用サービス等、公益上やむを得ない事由により公開日時を変更する場合は、原則１ヶ月までに調査職員等に協議すること。

1.1.3 入園料等

(1)入園料

本公園の入園料は、本実施要項表3-1に示すとおりである。

表3-1　入園料

区分	大人（15歳以上65歳未満の者）	シルバー（65歳以上の者）	小人（小・中学生）
個人（１回）	410円	210円	80円
団体（１回）	290円	210円	50円
年間パスポート（１年間）	4,100円	2,100円	800円

※物価上昇等を勘案して変更する場合がある。

※未就学児は無料。

※身障者・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を提示された方とその付添の方１名は無料。

※団体は、小学生以上の有料入園者２０名以上（上記手帳及び年間パスポートを提示した方を含む）を対象とする。

※無料入園日：原則として、以下のとおり無料入園日を設けることとし、各年度の日付は１ヶ月前までに通知する。

・春の都市緑化推進運動：４月１日～６月３０日【期間中１日】
・秋の都市緑化月間　　：１０月１日～１０月３１日【期間中２日】
・みどりの日　　：５月４日【１日】
・児童福祉週間　　：５月５日【１日】
　※小学生若しくは中学生又はこれらに相当する者のみ無料
・敬老の日　　：９月第３月曜日【１日】
　※満６５歳以上の者のみ無料

(2)施設利用料

以下の施設については、本実施要項表3-2に示す施設利用料を徴収する。

表3-2　施設利用料

施設名	利用内容	施設利用料
ドッグラン	犬一頭　1回当たり	60円
	犬一頭　1年間当たり	600円
松毬庵（茶室）	午前（～13：00）	3,100円
	午後（13：00～）	3,700円

※物価上昇等を勘案して変更する場合がある。

1.1.4 施設目的

本公園は、広大で良好な自然環境を有する、玄海灘と博多湾を隔てて志賀島へ伸びる半島「海の中道」において、北部九州における広域的なレクリエーション利用、「白砂青松」の良好な自然環境の保全を目的に、大規模都市公園として昭和５０年に都市計画決定した、国営公園である。

本公園の計画面積は約539haで、通称「海の中道」の中央部、幅０．５～１．０㎞、長さ約６㎞の区間にわたって位置し、地形は平坦で、海浜地特有のクロマツ林を主体とした海岸線を有している。

本公園は、「樹林とスポーツの広場」、「樹林とピクニックの広場」、「樹林と文化・いこいの広場」、「海辺といこいの広場」のエリアに区分され、「海の中道」の歴史的形成過程とその進化の方向性と自然生態的段階を十分認識した上で、より積極的に高度な環境を創出することと、レクリエーション需要の増大と多様な公共レジャーの需要に対応した循環的かつ長期的に対応しうる内容と質を確保することを理念とし、下記基本方針の基に整備、管理、運営を進めている。

① 本公園の特色ある地形、すなわち、海の中道と称される細長い半島と、その歴史、

文化的背景に留意し、現状の自然を尊重するとともに、修景技術を導入して、自然の中に、自然と人との楽しい関わりあいえい求めることを基調とする。

② 野外のレクリエーションを気軽に楽しみ、また自然環境の中にあって、自然学習の研修の場とする。

③ 既存の自然を生かしながら、緑、芝生、花、池、丘などによって、新たなランドスケープを造成する。

本公園は、昭和56年の開園時から平成27年３月末までの入園者数の累計は、約5,500万人であり、平成26年度は約204万人の方々に利用されている。

（詳細は、別紙－５「国営海の中道海浜公園運営維持管理基本方針」（以下「基本方針」という。）を参照のこと。）

1.1.5 対象業務の概要

(1) 対象業務の構成

本業務は、委託契約により、本公園において、国営公園設置の意義を踏まえ、その効用を最大限発揮させるべく、公園の運営維持管理全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針のもとで、利用促進のための行催事や広報宣伝の企画・立案・実施、入園料及び施設利用料金（以下「入園料等」という。）の徴収、巡視・保安警備、公園利用者に対するサービスの提供、利用指導、救急、公園利用者の安全･安心の確保、地域貢献や市民等との協働、他の施設管理者との連携、建物や工作物等公園施設の維持管理、清掃、動植物の育成・維持管理、収益施設の運営など多岐にわたる業務を総合的な調整のもと、相互連携を保ち、適切に進捗管理を行いつつ実施するものである。

このうち、飲食・物販施設、駐車場等、公園利用者へのサービス向上に資する収益施設については、九州地方整備局からの委託費で運営維持管理を行うものではなく、事業者が独立採算で運営維持管理を行うものである。収益施設におけるサービス提供が、委託費による公園の運営維持管理と両輪をなす事業として、互いに相乗効果を発揮し、公園利用者にとって利便性が高く魅力のある公園管理が展開されるよう、事業者の創意工夫を期待するものである。

さらに、委託費で行う業務に加え、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、九州地方整備局の許可を受けた上で、事業者の提案により土地使用料等を納めて独立採算により臨時の飲食・物販施設等の運営や行催事を行う事業（以下「自主事業」という。）について、効果的に行われることを期待する。

本業務は、委託費により行う「本業務全体の計画立案及びマネジメント業務」、「企画運営管理業務」、「施設・設備維持管理業務」及び「植物管理業務」と、事業者の提案により独立採算で行う収益施設の運営及び自主事業（以下「収益施設等管理運営業務」という。）により構成される。

なお、会計上の注意として、事業者は、委託費を収益施設等管理運営業務の実施に用いてはならない。ただし、「本業務全体の計画立案及びマネジメント業務」、「企画運営管理業務」、「施設・設備維持管理業務」及び「植物管理業務」を実施する上で、収益施設等管理運営業務と調整する業務については、委託費を充当して差し支えない。

また、委託費で行う事業と独立採算で行う収益施設等管理運営業務の経理状況に関する帳簿類は分けて整理し、年度終了毎に決算書類を提出することとする。

さらに本業務は､利用指導の一環として､都市公園法の許認可に係る前段階の調整、九州地方整備局が行う各種行事への対応を実施するなど、行政と連携を行うものである。

これら多岐にわたる業務は相互に密接に関連するものであり、公園の円滑な運営維

持管理のため、総合的な調整のもとに実施されるものである。
なお、建設業法上の改築工事、施設保全業務、光熱水費の支払い等は本業務には含まれず、九州地方整備局が別途行う。

本業務の実施にあたっては、都市公園関係法令等を踏まえた公園管理のための専門的知識を有し、また一定のサービス水準の維持及び公園利用者の安全確保のため、上記業務を安定的に行うとともに、事故・災害等緊急事案にも迅速な対応が可能となる管理体制を整えることが必要である。

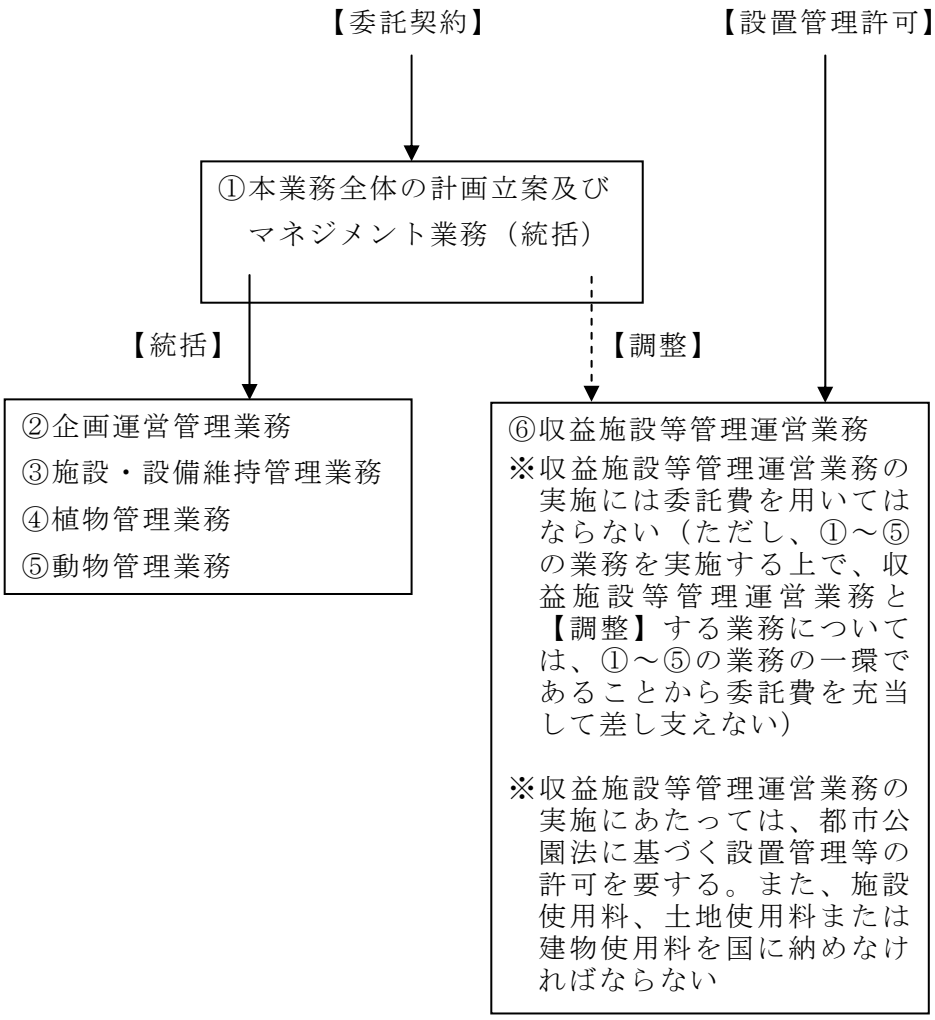
(2)対象業務項目
本業務に含まれる対象業務は下記のとおりである。

1）公園運営維持管理業務（委託費により行う業務）
① 本業務全体の計画立案及びマネジメント業務
・ 本業務全体の計画立案及びマネジメント
・ 入園料等徴収、臨機の措置、その他本業務が円滑におこなわれるための諸業務　等
② 企画運営管理業務
・ 企画広報（行催事企画運営、広報、公園ボランティア活動の支援・調整）
・ 公園利用者への利用指導、公園利用者へのサービス、園内巡視　等
③ 施設・設備維持管理業務
・ 維持修繕・保守点検等（建物、建物設備、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設、給水施設、水景施設、その他設備、工作物）　等
・ 清掃（園内清掃、園内建物清掃）　等
④ 植物管理業務
・ 高木管理、中低木管理、林地管理、草地管理、草花管理等（草刈り、施肥、灌水、剪定等）
⑤ 動物管理業務
・ 繁殖、飼育、展示等

2）収益施設等管理運営業務（土地使用料等を納めた上で独立採算により行う業務）
① 収益施設運営業務
・ 飲食・物販施設、駐車場等の運営
② 自主事業
・ 臨時飲食・物販施設等の運営

（詳細は、別紙－６「H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）、別紙７～11（「H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務個別仕様書（本業務全体の計画立案及びマネジメント業務)」（以下「個別仕様書（計画立案)」という。）等)、別紙－12「H28-31国営海の中道海浜公園収益施設等管理運営規定書」（以下「管理運営規定書」という。）を参照のこと。）

(3) 業務全体像


【委託契約】
【設置管理許可】
①本業務全体の計画立案及び
マネジメント業務（統括）
【統括】
【調整】
②企画運営管理業務
③施設・設備維持管理業務
④植物管理業務
⑤動物管理業務
⑥収益施設等管理運営業務
※収益施設等管理運営業務の実施には委託費を用いてはならない（ただし、①～⑤の業務を実施する上で、収益施設等管理運営業務と【調整】する業務については、①～⑤の業務の一環であることから委託費を充当して差し支えない）
※収益施設等管理運営業務の実施にあたっては、都市公園法に基づく設置管理等の許可を要する。また、施設使用料、土地使用料または建物使用料を国に納めなければならない

1.2. 業務内容

1.2.1 本業務全体の計画立案及びマネジメント業務

本公園の運営維持管理全般について、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、企画運営管理業務、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、動物管理業務等、多岐にわたる業務について総合的な調整のもと相互連携を保ち、適切な進捗管理を行うとともに、入園料等の徴収事務、九州地方整備局の実施する整備・修繕工事における実施方針の検討等の助言・調整、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務を行う。(詳細は、別紙－６「共通仕様書」及び別紙－７「個別仕様書（計画立案)」を参照のこと。)

1.2.2 企画運営管理業務

利用促進のための行催事（材料代等実費を公園利用者から徴収すること等ができるものを含む）や広報宣伝の企画・立案・実施・参加者受付及び公園ボランティアに対する支援・調整を行う。また、公園利用者の安心・安全を確保し、円滑に利用してもらうために、利用指導及び利用案内等の公園利用者に対するサービスの提供、公園利用者の施設予約等の受付、園内巡視、本業務に関わる自動車維持等を行う。(詳細は、別紙－６「共通仕様書」及び別紙－８「個別仕様書（企画運営管理)」(以下、「個別仕様書（企画)」という。）を参照のこと。)

1.2.3 施設・設備維持管理業務

(1) 維持修繕・保守点検

建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等について、所要の目的が果たされるよう、日常、適宜巡回点検・保守点検し、常に安全で良好な状態にあるよう、利用の状況に応じて破損個所の軽微な補修又は補充を適切に行う。また、給水施設や電気設備の使用量を計測し記録を確実に行うとともに、水景施設に関しては、衛生面の安全を確保するよう、水質管理を確実に行う。(詳細は、別紙－６「共通仕様書」及び別紙－９「H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務個別仕様書（施設・設備維持管理)」(以下「個別仕様書（施設・設備)」という。）を参照のこと。)

(2) 清掃

公園利用の動向、塵芥及び汚水等の発生量に即応して適切な措置をとり、園内や建物の清掃を行い、常時公園内を清潔にする。また、園内に塵芥が散乱した場合は、速やかに園内の清掃を行い、利用に支障が生じないよう適切な措置をとる。なお、塵芥は種類ごとに定められた処理方法に従って、適切に処理する。(詳細は、別紙－６「共通仕様書」及び別紙－９「個別仕様書（施設・設備)」を参照のこと。)

1.2.4 植物管理業務

現地の気象条件、土壌条件等環境条件を十分に把握した上で、平成19年度策定の「植栽更新・管理計画」、「平成21年度環境共生の森等の維持管理・運営計画策定外検討業務報告書」及び同資料編、「平成22年度松林保全再生調査その他業務報告書」、「森の池エリア維持管理・運営計画策定外業務報告書（平成26年2月)」に基づき管理を行う。また、利用状況、景観等に応じた除草、外来種の除去、芝刈り、施肥、潅水、樹木の剪定等を行うことにより、園内の植物が常に良好な状態にあるように植物管理を行うとともに、公園利用者に怪我等がないよう適切な管理を行う。(詳細は、別紙－６「共通仕様書」及び別紙－１０「H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務個別仕様書（植物管理)」(以下「個別仕様書（植物)」という。）を参照のこと。)

1.2.5 動物管理業務

動物の健康状態を十分に把握し、常に良好な状態で飼育展示・育成・繁殖等を行うとともに、入園者が飼育動物とふれあえる場を提供する（詳細は、別紙－６「共通仕様書」及び別紙－１１「H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務個別仕様書（動

物管理)」(以下「個別仕様書（動物)」という。）を参照のこと。)。

1.2.6 収益施設等管理運営業務

本実施要項1.2.2～1.2.5の業務と連携して公園利用者サービスの向上を図るため、飲食・物販施設、駐車場などの収益施設の運営管理を行わなければならない。また、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、独立採算により行う行催事や繁忙期における臨時物販施設等の自主事業を行うことができる。

具体的には、都市公園法第5条、第6条または第12条の手続きを行った上で、各施設の施設使用料、土地使用料または建物使用料を九州地方整備局に支払い、別紙－４「収益施設一覧」で示す施設の運営管理や、繁忙期における臨時飲食・物販施設・臨時駐車場等の運営管理を行い、収益施設等の運営において得た利益は事業者の収入とする。また、収益施設のうち、必須施設は公園の開園日時に常時営業する施設（別途管理運営規定書に規定がある場合はその限りではない。)、裁量施設は公園の開園日時内で運営日時を事業者が設定し営業できる施設である。

なお、各施設の利用料金については、駐車場は、九州地方整備局の指定する料金を上限とし、収益施設の継続的運営が可能となる料金設定とする。その他収益施設の利用料金等については、九州地方整備局と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支のバランスを鑑みながら、市場価格に準じて定める。(収益施設の詳細は、別紙－４「収益施設一覧」及び別紙－１２「管理運営規定書」を参照のこと。)。

1.3. サービスの質の設定

本業務の実施にあたり、達成すべき包括的な質（本実施要項1.3.1参照）及び個別業務の質（本実施要項1.3.2参照）は以下のとおりとする。

1.3.1 包括的な質の設定

本業務に関する包括的な質は本実施要項表4のとおりとする。

表4　包括的な質

【平成２８年度～平成３０年度】

基本的な方針	主要事項	達成すべき質
本業務を通して、公園の理念を多くの公園利用者が実感できるような公園利用を可能とする	公園利用者数の確保）※1	・本公園全体の年間及び四半期ごとの公園利用者数（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：年間2,045千人、第１四半期544千人、第２四半期797千人、第３四半期393千人、第４四半期311千人】 ・パークエリア※2の年間及び四半期ごとの公園利用者数（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：年間1,041千人、第１四半期322千人、第２四半期406千人、第３四半期194千人、第４四半期118千人】） ・パークエリアの福岡県外からの利用者の割合※3（平成24年度～平成26年度の利用実態調査における平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：年間19％】） ・パークエリアの障がい者の年間利用者数（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：年間13千人】） ・パークエリアのシルバー層（65歳以上）の年間利用者数（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：年間28千人】）
	利用者満足度の確保	・年間及び四半期ごとの公園の運営に関する「非常に満足」と「まあまあ満足」の回答比率※4（年間95％以上、各四半期95％以上）
	公園特性を生かした植物管理	・大規模花修景に関する「非常に満足」の平均回答比率※5（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：67％（フラワーピクニック（３月下旬から５月上旬）期間中に７日間）】
	多様な利用プログラムの提供	・主催、共催等イベントの開催回数、延べ参加人数※6（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：年間開催回数174回、延べ参加人数647千人】）
	情報受発信	・マスコミによる報道件数※7（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：年間606件】） ・ホームページの総アクセス件数（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：ホームページアクセス件数854千件】）

※１：公園利用者数の集計方法は別紙15による。

※２：パークエリアとは、本公園の利用に際し、入園料を徴収する区域のこと（別紙１参照）。

※３：毎年国で春･夏･秋・冬の平日･休日の計８日間調査を行っている「海の中道海浜公園利用実態調査アンケート」（別紙16）のＦ３「ご住所（お住まいのご住所をお知らせください)」の「福岡県以外の住所」の回答比率。

※４：「海の中道海浜公園利用実態調査」（別紙16）のQ10「本日公園には満足されましたか」における「非常に満足」「まあまあ満足」の回答比率。

※５：フラワーピクニック（３月下旬から５月上旬）期間中に７日間実施する「花修景満足度調査」（別紙16）において「非常に満足」の平均回答比率。

※６：主催・共催等イベントの延べ参加人数のカウントは、イベント期間中の入園者数に過去の実績等から便宜的に割合を乗じて算出しているものについては、カウントの対象としない。

※７：マスコミ報道件数の目標とは、以下のそれぞれの件数と合計件数。
委託費による有料広告等についてはカウントできないが、委託費によらない自主事業等による広報はカウントできるものとする。
・テレビ（NHK・民放）・ラジオ（AM、FM）の放送件数で、１番組につき１カウントとする。

・一般社団法人日本新聞協会加盟の新聞・販売や配布エリアが福岡市東区域及びそれを超える範囲の雑誌・情報誌への紙面掲載件数で、新聞については１紙／回につき１カウントとし、雑誌・情報誌については、１冊／回につき１カウントとする。但しホームページ等インターネット記事掲載は除く。
・事件、事故等の報道件数は除く。

【平成３１年度分（平成３１年４月から平成３１年１２月まで)】

基本的な方針	主要事項	達成すべき質
本業務を通して、公園の理念を多くの公園利用者が実感できるような公園利用を可能とする	公園利用者数の確保）※1	・本公園全体の年間及び四半期ごとの公園利用者数（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：第１～第３四半期1,733千人、第１四半期544千人、第２四半期797千人、第３四半期393千人】 ・パークエリア※2の年間及び四半期ごとの公園利用者数（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：第１～第３四半期922千人、第１四半期322千人、第２四半期406千人、第３四半期194千人】） ・パークエリアの福岡県外からの利用者の割合※3（平成24年度～平成26年度の利用実態調査における平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：19%】） ・パークエリアの障がい者の第１～第３四半期の利用者数（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：11千人】） ・パークエリアのシルバー層（65歳以上）の第１～第３四半期の利用者数（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：23千人】）
	利用者満足度の確保	・年間及び四半期ごとの公園の運営に関する「非常に満足」と「まあまあ満足」の回答比率※4（年間95%以上、各四半期95%以上）
	公園特性を生かした植物管理	・大規模花修景に関する「非常に満足」の平均回答比率※5（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：年間67%（フラワーピクニック（３月下旬から５月上旬）期間中に７日間)】
	多様な利用プログラムの提供	・主催、共催等イベントの開催回数、延べ参加人数※6（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：第１～第３四半期開催回数141回、延べ参加人数592千人】）
	情報受発信	・マスコミによる報道件数※7（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：第１～第３四半期477件】） ・ホームページの総アクセス件数（平成24年度～平成26年度実績平均値以上【平成24年度～平成26年度実績平均値：第１～第３四半期までのホームページアクセス件数708千件】）

※１：公園利用者数の集計方法は別紙15による。
※２：パークエリアとは、本公園の利用に際し、入園料を徴収する区域のこと（別紙１参照)。
※３：毎年国で春･夏･秋・冬の平日･休日の計８日間調査を行っている「海の中道海浜公園利用実態調査アンケート」（別紙16）のＦ３「ご住所（お住まいのご住所をお知らせください)」の「福岡県以外の住所」の回答比率。
※４：「海の中道海浜公園利用実態調査」（別紙16）のQ10「本日公園には満足されましたか」における「非常に満足」「まあまあ満足」の回答比率。
※５： フラワーピクニック（３月下旬から５月上旬）期間中に７日間実施する「花修景満足度調査」（別紙16）において「非常に満足」の平均回答比率。
※６：主催・共催等イベントの延べ参加人数のカウントは、イベント期間中の入園者数に過去の実績等から便宜的に割合を乗じて算出しているものについては、カウントの対象としない。
※７：マスコミ報道件数の目標とは、以下のそれぞれの件数と合計件数。
委託費による有料広告等についてはカウントできないが、委託費によらない自主事業等による広報はカウントできるものとする。
・テレビ（NHK・民放)・ラジオ（AM、FM）の放送件数で、１番組につき１カウントとする。
・一般社団法人日本新聞協会加盟の新聞・販売や配布エリアが福岡市東区域及びそれを超える範囲の雑誌・情報誌への紙面掲載件数で、新聞については１紙／回につき１カウントと

し、雑誌・情報誌については、１冊／回につき１カウントとする。但しホームページ等インターネット記事掲載は除く。
・事件、事故等の報道件数は除く。

1.3.2 個別業務の質の設定

次に示す個別業務の質を確保すること。なお、個別業務の質、および最低水準は、別紙－６「共通仕様書」及び別紙－７～11（「個別仕様書（計画立案)」等）による。

ただし、個別業務の質の最低水準は、企画書（本実施要項4.2.3参照）において改善提案を行うことができる。

個別業務の質の最低水準と異なる提案を行う場合は理由を示すこと。

また、設計数量が変更となる提案をする場合は、当該工種と変更数量、変更が可能な理由を示すこと。

(1) 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務

多岐にわたる業務について適切な目標を定め、総合的な調整のもと相互連携を保ちつつ、実施の方法が決定され、さらに、これらの業務を総括し、適切な進捗管理が行われていること。

また、入園料等の徴収、国庫への納入などを行うことその他本業務が円滑に行われるための諸業務を実施すること。（詳細は、別紙－７「個別仕様書（計画立案)」を参照のこと。）

(2)企画運営管理業務

公園利用者の満足度が高いレベルで保たれていることを目的とし、多種多様な公園利用者のニーズを適切に把握したうえで、指定された業務内容を実施し、公園利用者への適切な指導・サービス、利用促進のための行催事、公園ボランティアとの良好な連携に向けた支援・調整を行うとともに、常時適切な広報、情報発信を行い認知度を向上すること。（詳細は、別紙－８「個別仕様書（企画)」を参照のこと。）

(3) 施設・設備維持管理業務

1) 維持修繕・保守点検

建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設・工作物等の性能が常時適切な状態で保たれているとともに、公園利用者の安全が確保されていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、建物、園路広場、遊具等の機能及び劣化の状態を調査するとともに、異常又は劣化がある場合は、必要に応じ対応措置が判断・実行されていること。（詳細は、別紙－９「個別仕様書（施設・設備)」を参照のこと。）

2) 清掃

快適な公園環境が保たれていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、施設内外の汚れを除去し、又は汚れを予防すること。（詳細は、別紙－９「個別仕様書（施設・設備)」を参照のこと。）

(4) 植物管理業務

本公園の意義や役割、機能を踏まえた演出を目的とし、公園全体の利用状況、景観、季節、及び生物の生育環境等に応じ、自生植物や園芸植物等の特性にあった年間管理計画を作成し、植物が常に良好な状態にあること。（詳細は、別紙－１０「個別仕様書（植物)」を参照のこと。）

(5) 動物管理業務

動物の健康状態を十分に把握し、常に良好な状態で飼育展示・育成・繁殖等を行うとともに、入園者が動物とふれあえる場を提供すること。（詳細は、別紙－１１「個別仕様書（動物)」を参照のこと。）

(6) 収益施設等管理運営業務

公園利用者へのサービス向上を目的とし､公園管理の包括的･統一的な管理のもと、公園運営維持管理業務との連携調整を図りながら、公園利用者の利便性が高まり、安全・快適かつ清潔な環境が保たれていること。また、自主事業を行う場合は、公園の利便性や魅力をより一層高めるよう適切に行うこと。(詳細は、別紙－１２「管理運営規定書」を参照のこと。)

1.3.3 創意工夫の発揮可能性

本業務を実施するにあたっては、事業者の創意工夫を反映し、本公園が国民に提供する空間・サービスの質の向上（包括的な質の向上、効率の向上、経費削減等）に努めるものとする。

(1) 企画提案

事業者は、別途定める様式に従い、本公園が国民に提供する空間・サービスの包括的な質（本実施要項1.3.1参照）の向上の観点から、以下の事項を提案し企画書（本実施要項4.2.3参照）を提出すること。なお、企画書に記載した提案については、履行の義務を負うものとする。

また業務計画書の承諾にあたり、九州地方整備局が実施を認めない提案がある場合は、その実施前までに代替え案を検討するよう指示することがある。この場合でも、原則として、企画書に記載した目標の変更は認めない。

① 目標とする公園利用者数の確保に関する提案
② 利用者満足度の確保に関する提案
③ 公園特性を生かした植物管理に関する提案
④ 公園特性及び資源、施設を生かした運営管理に関する提案
⑤ 多様な利用プログラムの提供に関する提案
⑥ 情報受発信に関する提案
⑦ 地域との連携活動・市民との協働活動に関する提案
⑧ 公園利用者等の安全を確保する管理手法に関する提案
⑨ 緊急時及び非常時の対応に関する提案
⑩ 自主事業に関する提案
⑪ 収益施設の運営に関する提案

(2) 各業務の最低水準として示された仕様書に対する改善提案

事業者は、下記に示す業務の最低の水準（本実施要項1.3.2参照）として示された仕様書に対し、改善すべき提案がある場合は、別途定める様式に従い、具体的な方法等を示すとともに､最低水準が確保できる根拠等を提示し企画書(本実施要項4.2.3参照)を提出すること。なお、企画書に記載した提案については、履行の義務を負うものとする。

① 本業務全体の計画立案及びマネジメント業務
② 企画運営管理業務
③ 施設・設備維持管理業務
④ 植物管理業務
⑤ 動物管理業務
⑥ 収益施設等管理運営業務

また、設計数量が変更となる提案をする場合は、当該工種と変更数量、変更が可能な理由、企画提案との関連がある場合は該当箇所を示すとともに、改善提案で変更を提案した数量以外は、公示している数量に基づき入札を行うこと。ただし、業務計画書の承諾にあたり、九州地方整備局が提案の実施を認めない場合がある。

(3) 収益施設運営実績書及び計画書

事業者は、各収益施設の運営実績および運営計画を具体的に記述し「収益施設運営

実績書」（様式１－９）及び「収益施設運営計画書」（様式３）を提出すること。

1.3.4 モニタリング方法

九州地方整備局は、包括的な質及び個別業務の質について、その実施状況を確認するため、業務実施前に事業者が作成した業務計画書をもとに、その達成状況について本実施要項表5に示すモニタリング調査を実施する。なお、モニタリング調査の結果は、九州地方整備局により公表されることがある。

表5　モニタリング調査

【平成２８年度～平成３０年度】

主要事項	達成すべき質	モニタリング方法	実施者
公園利用者数の確保	・本公園全体の年間及び四半期ごとの公園利用者数 ・パークエリアの年間及び四半期ごとの公園利用者数	・月別入園者報告書の確認（毎月実施）	九州地方整備局
	・パークエリアの福岡県外からの利用者の割合	・アンケート調査（８回／年）	
	・パークエリアの障がい者の年間利用者数 ・パークエリアのシルバー層（65歳以上）の年間利用者数	・月別入園者報告書の確認（毎月実施）	
利用者満足度の確保	・年間及び四半期ごとの公園の運営に関する「非常に満足」「まあまあ満足」の回答比率	・アンケート調査（８回／年）	九州地方整備局
公園特性を生かした植物管理	・大規模花修景に関する「非常に満足」の回答比率	・フラワーピクニック（３月下旬から５月初旬）期間中の花満足度アンケート調査（７日）	九州地方整備局
多様な利用プログラムの提供	・主催、共催等イベントの開催回数、延べ参加人数	・月別行催事報告書の確認	九州地方整備局
情報受発信	・マスコミによる報道件数	・月別報道実績報告書の確認	九州地方整備局
	・ホームページの総アクセス件数	・月別報告書の確認	
個別業務の質	・「1.3.2個別業務の質の設定」に記載した内容の確保	・管理月報の確認（毎月実施）	九州地方整備局

九州地方整備局は、公園利用者を対象として、別紙－16「公園の利用実態調査」の調査票によりアンケート調査を年間８回以上（実施月の平日・休日各１日）実施する。サンプル数は、春・夏・秋の各平日が400以上、各休日が800以上及び冬の平日が100以上、休日が200以上（年間計3,900以上）を目標としている。また、フラワーピクニック（３月下旬から５月上旬）期間中に別紙－16「花満足度調査」の調査票によりアンケート調査を７日間実施する。サンプル数は、各日200程度を目標としている。なお、両アンケート調査は、西口・西サイクリングロ・ワンダーワールドロ・駅口の４箇所において、対面式で行う予定である。

【平成３１年度分（平成３１年４月から平成３２年１月まで)】

主要事項	達成すべき質	モニタリング方法	実施者
公園利用者数の確保	･本公園全体の年間及び四半期ごとの公園利用者数 ･パークエリアの年間及び四半期ごとの公園利用者数	・月別入園者報告書の確認（毎月実施）	九州地方整備局
	･パークエリアの福岡県外からの利用者の割合	・アンケート調査（６回／年）	
	･パークエリアの障がい者の年間利用者数 ・パークエリアのシルバー層（65歳以上)の年間利用者数	・月別入園者報告書の確認（毎月実施）	
利用者満足度の確保	･年間及び四半期ごとの公園の運営に関する｢非常に満足」「まあまあ満足」の回答比率	・アンケート調査（６回／年）	九州地方整備局
公園特性を生かした植物管理	・大規模花修景に関する「非常に満足」の回答比率	・フラワーピクニック（３月下旬から５月初旬）期間中の花満足度アンケート調査（７日）	九州地方整備局
多様な利用プログラムの提供	・主催、共催等イベントの開催回数、延べ参加人数	・月別行催事報告書の確認	九州地方整備局
情報受発信	・マスコミによる報道件数	・月別報道実績報告書の確認	九州地方整備局
	･ホームページの総アクセス件数	・月別報告書の確認	
個別業務の質	･「1.3.2個別業務の質の設定」に記載した内容の確保	・管理月報の確認（毎月実施）	九州地方整備局

九州地方整備局は、公園利用者を対象として、別紙－16「公園の利用実態調査」の調査票によりアンケート調査を年間６回以上(実施月の平日･休日各１日)実施する。サンプル数は、春・夏・秋の各平日が400以上、各休日が800以上（年間計3,600以上）を目標としている。また、フラワーピクニック（３月下旬から５月上旬）期間中に別紙－16「花満足度調査」の調査票によりアンケート調査を７日間実施する。サンプル数は、各日200程度を目標としている。なお、両アンケート調査は、西口・西サイクリングロ・ワンダーワールドロ・駅口の４箇所において、対面式で行う予定である。

1.3.5 委託費の支払い方法

(1) 公園運営維持管理業務

a) 事業者は、提出した業務計画書に基づいて、公園運営維持管理業務を実施することにより、包括的な質（本実施要項1.3.1参照）の確保に努めるとともに、個別業務の質（本実施要項1.3.2参照）の最低水準を確保しなければならない。

b) 九州地方整備局は、上記の履行内容を確認し、検査したうえで、会計年度（４月１日から翌年３月３１日まで）を基準とし、四半期毎に委託費を支払うものとし、その支払いは適正な請求書を受理した日から起算して３０日以内とする。ただし、検査の結果、包括的な質及び個別業務の質の最低水準が確保されていない場合は、風水害その他の事業者の責に帰すことが出来ない事由によると九州地方整備局が判断したものを除き、適切に業務を行うよう改善の指示（業務の履行中を含む。）を行うこととし、事業者は要因分析を行い、業務改善計画書を提出し、承諾を得ない限り、委託費の請求はできないものとする。

c) 各年度の委託費の確定額は、業務に要した経費の実支出額と各年度の委託費の支払

の限度額のいずれか低い額とする。

d) 会計法第２２条、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第５８条に基づく協議が整った場合において、事業者は委託費の使用状況について調査職員等の確認を受けた上で、業務計画書及び各年度別四半期別必要経費内訳書に基づいて、各年度の四半期における所要額として委託費の概算払を四半期毎に請求できる業務の改善の指示があった場合には、事業者は要因分析を行い、業務改善計画書を提出し、承諾を得ない限り、次の四半期の概算払いに係る委託費の請求はできないものとする。

e) 事業者の運営維持管理の責任に拠らないと九州地方整備局が判断した風水害その他の事由により、業務実施前に事業者が作成した業務計画書をもとに設定した包括的な質及び個別業務の質の最低水準が未達成の場合には､委託費の減額は行わない。

(2) 収益施設等管理運営業務

収益施設や自主事業の運営において得た利益は事業者の収入とし、各施設の施設使用料、土地使用料または建物使用料（詳細は、別紙－12「管理運営規定書」を参照のこと。）を九州地方整備局に支払うものとする。施設使用料、土地使用料または建物使用料については、許可後、歳入徴収官九州地方整備局総務部長が発行する納入告知書により、納入告知から２０日以内に納入しなければならない。（別紙－12「管理運営規定書」を参照のこと。）

なお､九州地方整備局は､経済情勢の変動その他特に必要があると認める場合には、施設使用料、土地使用料または建物使用料を改定することができる。

1.3.6 費用負担等に関するその他の留意事項

(1) 消耗品等

本業務を実施するにあたり、別紙－６「共通仕様書」及び別紙－７～11（「個別仕様書（計画立案)」等）に記載のあるものを除き、公園利用者が使用する消耗品、本業務を行ううえで事業者が使用する消耗品や付属品については支給しない。また、九州地方整備局から貸与する物品（詳細は、別紙－22「提供機械器具一覧表」、別紙－24「支給品一覧」を参照のこと。）については、事業者の責めに帰すべき事由により損害した場合は原状復旧を事業者の負担により行った上で、契約期間終了後は九州地方整備局へ返却するものとする。この場合、原状復旧に要する費用に委託費を充当することはできない。

(2) 光熱水費

九州地方整備局は、事業者が本業務を実施するのに必要な光熱水費を無償で提供するものとする（収益施設等管理運営業務の実施に係るものを除く。）。

光熱水費については、基本的に園内に係わる全ての使用について、一括して供給会社より請求されるため、事業者は調査職員（本実施要項8.1.4参照）の指示に従い、以下の作業を行うものとする。

① 個別にメーターを設置するなど､収益施設等管理運営業務の実施にかかるものの使用量が切り分けられるようにし､調査職員の指示する日に各メーターを確認し、毎月の使用量の集計表を作成するものとする。

② 九州地方整備局、事業者、その他の光熱水費を負担すべきものの詳細な負担金額計算を行い、その明らかにした算定表を、集計表とともに調査職員に指示された期日までに提出するものとする。

③ その他、光熱水費の使用から支払に至る諸般の事務処理について、調査職員の指示に従い、また協力するものとする。

(3) 法令等変更による増加費用及び損害の負担

法令等の変更により事業者に生じた合理的な増加費用及び損害は、以下の①から②のいずれかに該当する場合には九州地方整備局が負担し、それ以外の法令変更等によ

る増加費用及び損害については事業者が負担する。

① 本業務に類型的又は特別に影響を及ぼす法令、行政基準等の制定又は改廃

② 消費税（地方消費税を含む）その他の税制度（法人税その他事業者の利益に課される税に関するものを除く。）の税率及び課税対象の変更並びに税制度（事業者の利益に課される税に関するものを除く。）の新設

(4) 収益施設等管理運営業務に関する留意事項

収益施設等管理運営業務に関し、企画書において提案された内容については、当該事業が公園利用にふさわしくない場合等、その実施を許可しない場合があるため、本業務の契約段階で九州地方整備局に協議するものとする。

事業者が九州地方整備局との協議の後に、自主事業を実施する場合には、あらためて九州地方整備局から必要な許可を得なければならない。その際、事業者は九州地方整備局に対して土地使用料または建物使用料を納める必要がある場合がある。

(5) 事業者と九州地方整備局の責任分担

事業者と九州地方整備局の責任分担は、本実施要項表6のとおりとする。

表6　事業者と九州地方整備局の責任分担

項目		九州地方整備局	事業者	
			運営維持管理	収益施設
	内　　容			
料金徴収業務	入園料等（収益施設運営に係るものを除く）の徴収業務（徴収料金は、九州地方整備局に納付）		○	
公園施設の管理	公園施設の管理（都市公園法第5条に基づき設置・管理している施設は除く。）		○	
収益施設の管理	収益施設の管理			◎
物品の管理	九州地方整備局より提供のあった物品の管理		○	◎
	本業務において取得した物品及び消耗品の管理		○	
苦情・要望対応	施設管理、運営業務内容に対する住民及び公園利用者からの苦情、訴訟、要望への対応		○	◎
	上記以外の場合	○		
事故・災害時対応	本仕様書等に記載された業務内容による対応		○	◎
	上記以外の場合	○		
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○	◎
	但し、30/1000以上の物価変動が見込まれる場合	○		
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○	◎
運営日時の変更	開園日時の変更（事業者による提案）に伴う経費の増減		○	
	収益施設の運営日時の変更に伴う経費の増減			◎
許認可	都市公園法に基づく許認可	○		
	公園利用者の受付及び書類交付手続きの補助		○	
施設・物品等の修繕	事業者の責めに帰すべき事由による場合（事業者による管理が不適切なために修繕が必要になった場合も含む。）（以下この表において「①」という。）		◎	◎
	修繕にかかる費用が1件あたり100万円を超えない場合かつ年間修繕費用3,500万円（税抜き）【平成28～30年度】、3,000万円（税抜き）【平成31年度分】※を超えない場合（上記①を除く。）。		○	
	収益施設の建物の構造に関わる部分を除く修繕にかかる費用（上記①を除く。）。			◎
	上記３項目以外の場合 ※予算の状況により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、年間業務計画の変更を協議するものとする。	○		
不可抗力	大規模な自然災害等（災害対策本部運営計画に基づく警戒体制以上の体制をとるような事態）の不可抗力（以下この表において「②」という。）により公園施設に著しい損害を受けた場合に、公園を一時閉園するなどして行わなければならない施設、設備等の復旧等 ※上記②により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、対応を協議するものとする。	○		
	動物の感染症等により家畜衛生保健所等の指導等により、緊急的に特段の措置等の必要が生じた場合。		○	
公園利用者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、公園利用者に損害を与えた場合（事業者の不適切な運営又は、施設管理による公園利用者の怪我等）		◎	◎
	共通仕様書第27条の保険の付保及び事故の補償に係る場合		○	◎
	上記２項目以外の場合	○		

第三者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、第三者に損害を与えた場合		◎	◎
	上記以外の場合	○		

※年間修繕費用は、軽微な維持管理修繕に要した費用の平成24年～平成26年の実績平均と現在の状況を踏まえた額であり、本業務において事業者によるこれと同程度の修繕を見込んでいる。実績は、別紙－35「修繕履歴」を参照のこと。

※事業者の責任分担に係る項目のうち◎の項目については、委託費を充当することはできない。

(6) 資料等の作成・提出の指示

本業務の遂行上、必要に応じて九州地方整備局は事業者から業務状況を把握するための資料及び資料に付随するデータの作成及び提出を指示することがある。事業者が九州地方整備局に対して提供した資料及び資料に付随するデータの著作権（本業務の成果及び本業務の実施の過程において、派生的に生じたもの並びに事業者に権利が帰属しないものを除く。）はすべて、事業者に属する。ただし、事業者は、九州地方整備局に対して、本業務の目的を達成するために必要な限度で、当該成果物を無償で使用させる。

(7) 広報・行催事経費について

広報・行催事経費への委託費の支出にあたっては、本公園の設置趣旨を踏まえ、公園の広報・行催事としてふさわしいものであるとともに、公共性が高く、利用者全体に係わるもので､社会通念上理解の得られる範囲内での必要な経費に限るものとする。

２．実施期間に関する事項

本業務の実施期間は、以下のとおり予定している。
平成28年4月1日～平成32年1月31日

但し、以下の場合、実施期間中であっても、契約を打ち切る場合がある。

a）九州地方整備局の検査の結果､包括的な質及び個別業務の質の最低水準が確保されておらず､適切に業務を行うよう改善の指示（業務の履行中を含む｡）を行ったにもかかわらず､事業者が業務改善計画書の提出を怠る､あるいは､承諾に足り得ない、または改善内容の履行が十分に図られないなど、本業務の履行が著しく困難と判断されるとき。

b）法第22条第1項第1号イからチ又は同項第2号に該当するとき。

c）繰り返し法令違反を行ったとき。

d）暴力団員を､業務を統括する者又は従業員として雇用していることが明らかになったとき。

e）暴力団又は暴力団関係者との社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになったとき。

３．入札参加資格に関する事項

3.1. 入札参加資格について

入札参加者に要求される資格は以下のとおりである。

a) 法第15条において準用する法第10条各号に該当する者でないこと。
b) 予決令第70条の規定に該当する者でないこと。
c) 予決令第71条の規定に該当する者でないこと。
d) 開札日において、国土交通省競争参加資格（全省庁統一資格）「役務の提供等」の九州・沖縄地域の競争参加資格を有する者であること（本実施要項4.2.2に示す申請書類（以下「申請書類」という。）の提出期限において、現に競争参加資格を有するか、競争参加資格申請書が受理されていることが確認できること。なお、本実施要項4.1.に示す「企画書・収益施設運営計画書の受付期限」に競争参加資格の認定がなされない場合は、競争に参加する資格を有しない者のした入札に該当し、入札は無効となる。）
e) 申請書類の提出期限の日から開札の時までの期間に、九州地方整備局から指名停止を受けていないこと。
f) 他の入札参加者又は所属する共同体以外の共同体の構成員との間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。
　① 資本関係
　　以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。
　　ｱ)親会社と子会社の関係にある場合
　　ｲ)親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合
　② 人的関係
　　以下のいずれかに該当する二者の場合。ただしｲ)については、会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。
　　ｱ)一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合
　　ｲ)一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合
g) 競争の公正性を害すると判断される場合には、当該対象公共サービスに係る業務に関与する者でないこと。
h) 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務有識者委員会の構成員又は構成員が属する事業者でないこと。
i) 守秘義務の遵守などについて社内の規則で明記していること。

3.2. 企業の業務実績に関する要件

本実施要項1.2.に掲げる業務を担当する企業等は、業務内容に応じて次頁に示す「表7　企業の業務実績等に関する要件」を満たすこと。なお、参加資格要件の確認は、申請書類の提出期限の日をもって行うものとする。

表7　企業の業務実績等に関する要件

<table>
<tr><td></td><td>①本業務全体の計画立案及びマネジメント業務</td><td>②企画運営管理業務</td><td>③施設・設備維持管理業務</td><td>④植物管理業務</td><td>⑤動物管理業務</td><td colspan="2">⑥収益施設等管理運営業務</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">・本業務全体の計画立案及びマネジメント業務に必要な要件</td><td rowspan="2">・企画運営管理業務に必要な要件</td><td rowspan="2">・施設・設備維持管理業務に必要な要件</td><td rowspan="2">・植物管理業務に必要な要件</td><td rowspan="2">・動物管理業務に必要な要件</td><td colspan="2">・収益施設等管理運営業務に必要な要件【ｱ）及びｲ）の両方を満たす必要がある。】</td></tr>
<tr><td>ｱ）収益施設等（ｲ）を除く）の運営</td><td>ｲ）プールの運営</td></tr>
<tr><td rowspan="3">業務実績※1</td><td colspan="7">下記に示す業務（平成12年度以降に完了した履行期間が概ね12ヶ月以上の業務に限る）において１件以上の実績を有していること（申請書類提出時において実施中の業務にあっては、平成28年3月31日までに完了するもの）</td></tr>
<tr><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした業務全体の計画立案及びマネジメント業務（本実施要項1.2.1参照）の実績を１件以上有すること</td><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした企画運営管理業務（本実施要項1.2.2参照）の実績を１件以上有すること</td><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした施設・設備維持管理業務（本実施要項1.2.3参照）の実績を１件以上有すること</td><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした植物管理業務（本実施要項1.2.4参照）の実績を１件以上有すること</td><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした動物管理業務（本実施要項1.2.5参照）の実績を１件以上有すること</td><td>下記の1)～2)のいずれかを対象とした収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.6参照）の実績（レジャープールを除く※5 を除く収益施設のうち、いずれか１種類以上の運営を行った実績）を１件以上有すること。</td><td>下記の3)～4)のいずれかを対象とした収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.6参照）の実績（レジャープール※5 の運営を行った実績）を１件以上有すること</td></tr>
<tr><td colspan="6">1)都市公園の種別として、地区公園、特殊公園、総合公園以上（総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園）
2)レクリエーション施設※2 又は観光・商業施設※3 で、園地管理※4 を行っている施設</td><td>3)都市公園の種別として、地区公園、特殊公園、総合公園以上（総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園）で、レジャープール※5 を含</td></tr>
</table>

							む都市公園 4)レクリエーション施設※2 又は観光・商業施設※3 で、レジャープール※5 を含む園地管理を行っている施設
	注意事項	共同体等の代表者等の中心的役割を担った業務のみを実績とする	共同体等の一員（代表者以外）としての実績も認める				
有資格者					１級造園施工管理技士を１名以上有する法人であること		

※1：業務実績は、契約書等により実績が確認できるものに限る。（共同体での実績の場合は、当該企業が実施した業務分のみが実績となる。）
※2:レクリエーション施設：主に屋外において、都市公園法の公園施設と同様な施設の構成により不特定多数の利用者へ有料でサービスを提供しているもの(例：遊園地、動物園、植物園、水族館、牧場、テーマパーク、ゴルフ場等)
※3:観光・商業施設：宿泊、ツアーガイド、物品販売など多様なサービスを一元的に不特定多数の利用者へ有料で提供しているもの(例：大規模ホテル、複合ショッピングセンター等)
※4：園地：屋外において年間を通して植物と空地が一体となり、それらの利用・鑑賞を目的として広く一般に周知されているとともに、適切かつ計画的な維持管理がなされている現存する園地。(移動可能なプランター等の植物管理は含まない。)
※5:レジャープール：流水プール・造波プールなどレジャー目的に使用されるプール。

3.3. 配置予定者の業務実績に関する要件

本実施要項1.2.に掲げる業務を担当する配置予定者は、業務内容に応じて次頁に示す「表8　配置予定者の業務実績等に関する要件」を満たすこと。なお、参加資格要件の確認は、申請書類の提出期限の日をもって行うものとする。

表8　配置予定者の業務実績等に関する要件

		①本業務全体の計画立案及びマネジメント業務の業務責任者(総括責任者)	②企画運営管理業務の業務責任者	③施設・設備維持管理業務の業務責任者	④植物管理業務の業務責任者	⑤動物管理業務の業務責任者	⑥収益施設等管理運営業務の業務責任者【ｱ) 及びｲ)の両方を満たす必要がある。】※10	
							ｱ)収益施設等（ｲ)を除く）の運営	ｲ) プールの運営
業務の経験※1		下記に示す同種又は類似業務（平成12年度以降に完了した履行期間が概ね12ヶ月以上の業務に限る）の経験を有すること（申請書類提出時において実施中の業務にあっては、平成28年3月31日までに完了するもの）						
	同種業務の経験	下記の1)～2)のいずれかを対象とした業務全体の計画立案及びマネジメント業務(本実施要項1.2.1参照）の実績を有し、かつ、下記のｱ)～ｳ)のいずれかの経験を有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした企画運営管理業務（本実施要項1.2.2参照）に関する業務の実績を有し、かつ、企画運営管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした施設・設備維持管理業務（本実施要項1.2.3参照）に関する業務の実績を有し、かつ、施設・設備維持管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした植物管理業務（本実施要項1.2.4参照）に関する業務の実績を有し、かつ、植物管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした動物管理業務（本実施要項1.2.5参照）に関する業務の実績を有し、かつ、動物管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.6参照）に関する業務の実績（レジャープール※7 を除く収益施設のうち、いずれか１種類以上の運営を行った実績）を有し、かつ、収益施設等管理運営業務（レジャープール※7 をの運営を除く）に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の5)～6)のいずれかを対象とした収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.6参照）に関する業務の実績（レジャープール※7 の運営を行った実績）を有し、かつ、収益施設等管理運営業務（レジャープール※7 の運営）に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること
		1)都市公園の種別として、総合公園以上（総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園） 2)レクリエーション施設※4 又は観光・商業施設※5 で、2ha以上の園地管理※6 を行っている施設						5)都市公園の種別として、総合公園以上(総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園）で、レジャープール※7 を含む都市公園 6)レクリエーション施設※4 又は観光・商業施設※5 で、レジャープール※7 を含む2ha以上の園地管理※6 を行っている施設

		ｱ)延べ２年以上の総括責任者※2 の経験 ｲ)延べ３年以上の業務責任者※3 の経験 ｳ)総括責任者※2または業務責任者※3の経験を有し、かつ技術士(建設部門：都市及び地方計画)または技術士(総合技術監理部門:建設)の資格を有する者	ｴ)延べ２年以上の業務責任者※3 の経験 ｵ)延べ３年以上の業務経験					
	類似業務の経験	下記の4)～5)のいずれかを対象とした業務全体の計画立案及びマネジメント業務(本実施要項1.2.1参照）の実績を有し、かつ、下記のｱ)～ｳ)のいずれかの経験を有すること又は、下記の3)～5)のいずれかを対象とした業務全体の計画立案及びマネジメント業務、企画運営管理業務、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、動物管理業務、収益施設等管理運営業務（本実施要項1.2.1～1.2.6参照）のいずれかに関する業務の実績を有し、かつ業務全体の計画立案及びマネジメント業務、企画運営管理業務、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、収益施設等運営業務のいずれかに関する下記のｲ)又はｳ)のいずれかの経験を有すること	下記の4)～5)のいずれかを対象とした企画運営管理業務（本実施要項1.2.2参照）に関する業務の実績を有し、かつ、企画運営管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の4)～5)のいずれかを対象とした施設・設備維持管理業務（本実施要項1.2.3参照）に関する業務の実績を有し、かつ、施設・設備維持管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の4)～5)のいずれかを対象とした植物管理業務に関する業務（本実施要項1.2.4参照）の実績を有し、かつ、植物管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の4)～5)のいずれかを対象とした動物管理業務に関する業務（本実施要項1.2.5参照）の実績を有し、かつ、動物管理業務に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の4)～5)のいずれかを対象とした収益施設等運営業務（本実施要項1.2.6参照）に関する業務の実績（水泳プール※8 を除く収益施設のうち、いずれか１種類以上の運営を行った実績）を有し、かつ、収益施設等運営業務（水泳プール※8 を除く）に関する下記のｴ)又はｵ)のいずれかの経験を有すること	下記の7)～8)のいずれかを対象とした収益施設等運営業務（本実施要項1.2.6参照）に関する業務の実績（水泳プール※8 の運営を行った実績）を有し、かつ、収益施設等管理運営業務（水泳プール※8 の運営）に関する下記のｴ)又はｵ) のいずれかの経験を有すること

		3)都市公園の種別として、総合公園以上（総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園） 4)都市公園の種別として、地区公園又は特殊公園 5)レクリエーション施設※4 又は観光・商業施設※5 で、園地管理※6 を行っている施設						7)都市公園の種別として、地区公園又は特殊公園で、水泳プール※8 を含む都市公園 8)レクリエーション施設※3 又は観光・商業施設※4 で、水泳プール※8 を含む園地管理※6 を行っている施設
		ｱ)延べ３年以上の総括責任者※2 の経験 ｲ)延べ４年以上の業務責任者※3 の経験 ｳ)延べ１年以上の総括責任者※2 または延べ２年以上の業務責任者※3 の経験を有し、かつ技術士（建設部門：都市及び地方計画）または技術士（総合技術監理部門：建設）の資格を有する者	ｴ)延べ３年以上の業務責任者※3 の経験 ｵ)延べ４年以上の業務経験					
資格		—	—	—	１級造園施工管理技士	—	—	—

実施体制	・業務責任者※3 は、平成28年4月1日時点において、単体企業又は共同体の構成員との直接的な雇用関係があるものであること。企画書の提出時に雇用関係が無い場合は、業務開始時までに雇用関係にあること（雇用関係にあることを約束する念書等（任意書式）で確認する）。なお、単体企業又は共同体の構成員との直接的な雇用関係がないことが判明した場合、「虚偽の記載」として取り扱う。 ・上記①の業務責任者※3 1名を総括責任者※2 とすること。 ・共同体にあっては、上記①の総括責任者※2 は代表企業に所属する者とすること。 ・総括責任者及び総括責任者以外の業務責任者は、原則、実施期間中専任（※9）とする。なお、病気・死亡等の事情によりやむを得ず総括責任者又は総括責任者以外の業務責任者を変更する場合は、上記に掲げる基準を満たし、かつ、当初の者と同等以上の者を配置するものとし、予め九州地方整備局の承諾を得るものとする。 ・総括責任者※2 は各業務の業務責任者を兼務することができる。また、業務責任者※3 は他業務の業務責任者※3 を兼務することができる。 ・開園期間中は、上記①～⑥の業務責任者のうち、少なくとも2名以上が勤務する体制とすること。さらに業務責任者が勤務しない業務については、その業務に精通した者を勤務させるものとし、緊急対応を含め上記①～⑥が円滑かつ迅速に行われる勤務体制をとること。なお、やむを得ず業務責任者を2名以上勤務する体制をとることが一時的に困難となる場合には、緊急対応を含め、上記①～⑥の業務が迅速かつ円滑に行われる勤務体制を確保した上で、事前に総括調査員の承諾を得ること。（ただし、事故などやむを得ない事由により事前に承認を得られない場合を除く） ・主な業務従事（勤務）場所は、国営海の中道海浜公園管理センターとすることを想定している。

※1：業務実績は、契約書等により実施が確認できるものに限る。（共同体での実績の場合は、当該配置予定者が実施した業務のみが実績となる。）

※2：総括責任者とは、複数の業務分野について全体的に総括する立場の者をいう。収益施設等管理運営業務を行う場合及び収益施設等管理運営業務責任者と兼務する場合、収益施設等管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分し、収益施設等管理運営業務への委託費の支出は認めない。

※3：業務責任者とは、個別業務の責任者をいう。収益施設等管理運営業務責任者と兼務する場合、収益施設等管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分し、収益施設等管理運営業務への委託費の支出は認めない。なお、複数の業務分野について全体的に総括する立場の者を補佐する業務の経験は、業務責任者の経験とみなす。

※4：レクリエーション施設：主に屋外において、都市公園法の公園施設と同様な施設の構成により不特定多数の利用者へ有料でサービスを提供しているもの（例：遊園地、動物園、植物園、水族館、牧場、テーマパーク、ゴルフ場等）

※5：観光・商業施設：宿泊、ツアーガイド、物品販売など多様なサービスを一元的に不特定多数の利用者へ有料で提供しているもの（例：大規模ホテル、複合ショッピングセンター等）

※6：園地：屋外において年間を通して植物と空地が一体となり、それらの利用・鑑賞を目的として広く一般に周知されているとともに、適切かつ計画的な維持管理がなされている現存する園地。（移動可能なプランター等の植物管理は含まない。）

※7：レジャープール：流水プール・造波プールなどレジャー目的に使用されるプール。

※8：水泳プール：屋内・屋外にかかわらず、水面積260m²以上のもの。

※9：専任とは、他の工事及び業務等に係る職務を兼務せず、常時継続的に当該業務に係る職務にのみ従事していることをいう。ただし、契約の締結後、業務を開始するまでの期間（準備期間）は専任を要しない。

※10：ただし、ｱ）又はｲ）のいずれか一方のみを満たしている場合は、業務実施体制について別紙12「管理運営規定書」第１編第28条に定める対応をとる必要がある。

3.4. 共同体での入札について

本業務は、本実施要項3.2.で定める要件を満たす単体企業で構成される共同体により実施することも可能とする。

共同体で本業務を実施する場合、代表企業は、本業務全体のマネジメント及び企画立案業務、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、動物管理業務、収益施設等管理運営業務を包括的に管理すること。

a) 入札参加者は、共同体として参加する場合、下記の業務を担当する企業を明らかにするものとする。
   ｱ) 本業務全体の計画立案及びマネジメント業務
   ｲ) 企画運営管理業務
   ｳ) 施設・設備維持管理業務
   ｴ) 植物管理業務
   ｵ) 動物管理業務
   ｶ) 収益施設等管理運営業務

b) 入札参加者は、共同体として参加する場合、代表企業を定め、当該代表企業が入札・契約手続きを行うこととする。代表企業は、上記a) ｱ) 本業務全体の計画立案及びマネジメント業務を担当する企業とする。

c) 入札参加者は、共同体として参加する場合、申請書類の提出期限の日以降は、共同体を構成する者の変更を認めない。ただし、共同体の構成員の一部が指名停止を受けた場合の取扱いについては、被指名停止会社に変わる構成員を補充した上で、新たに共同体を結成し、共同体としての認定及び競争参加資格の確認の申請を行うことができるものとし、その期限は実施要項4.1.に定める企画提案書の提出期限とする。やむを得ない事情が生じた場合は、九州地方整備局はその事情を検討のうえ、可否の決定をするものとする。

d) 共同体の代表企業及び構成員は、本実施要項3.1.a)からj)の全ての要件を満たすこと。

e) 参加に際しては、代表企業及びその他の構成員の役割及び責任の分担ならびに代表企業の役割を他の構成員が代替・保証する旨を明記した協定書を作成し、申請書類と併せて提出すること。

４．入札に参加する者の募集に関する事項

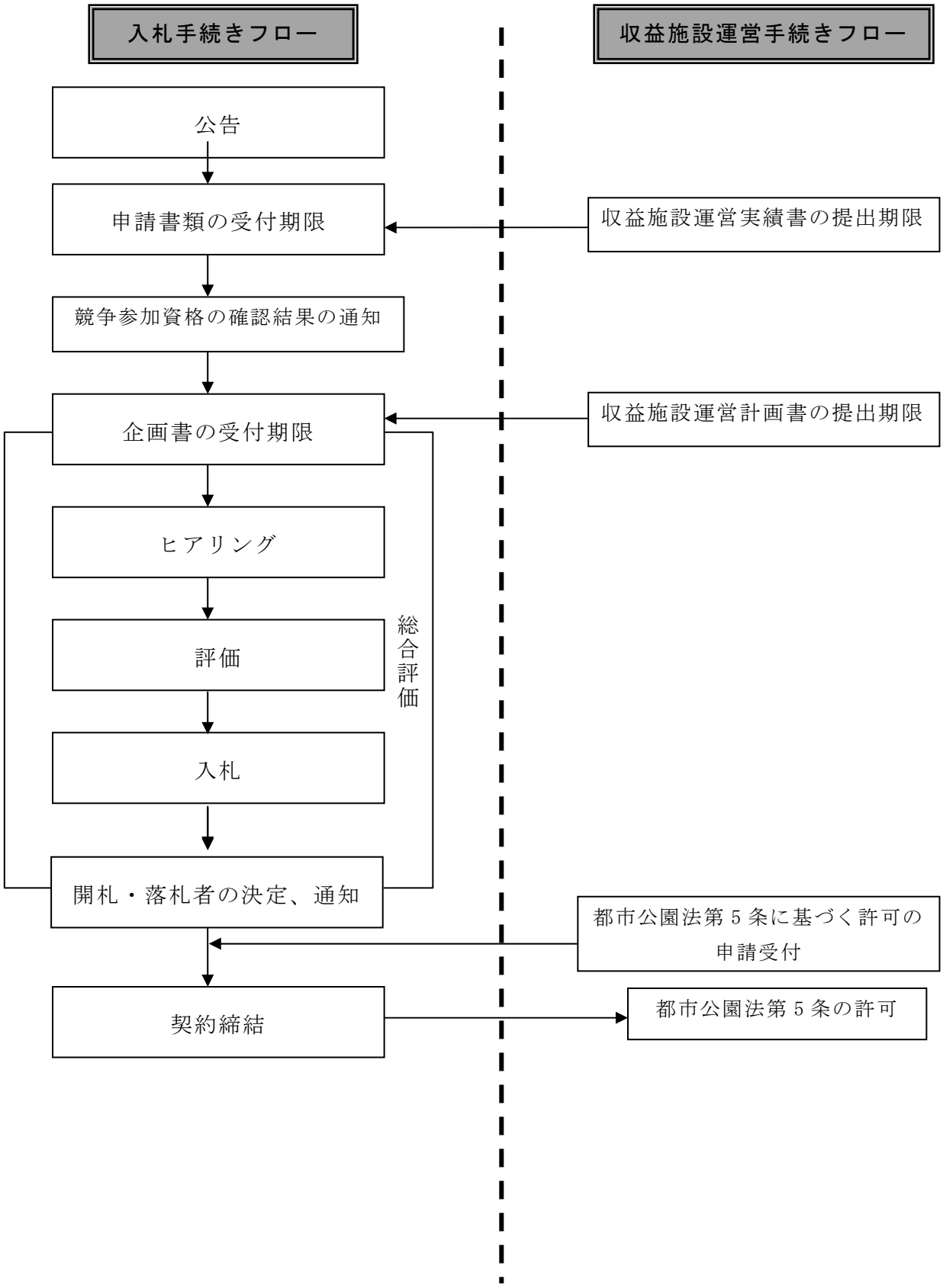
4.1. 入札の実施手続及びスケジュール（予定）

① 公告　：平成27年7月下旬
② 入札等に関する質疑応答　：平成27年7月下旬～平成27年11月中旬
③ 現場見学可能期間　：平成27年7月下旬～平成27年11月下旬
④ 申請書類の受付期限　：平成27年8月中旬
⑤ 競争参加資格の確認結果の通知　：平成27年9月上旬
⑥ 企画書・収益施設運営計画書の受付期限　：平成27年9月下旬
⑦ ヒアリング　：平成27年10月中旬
⑧ 評価　：平成27年10月中旬～平成27年11月下旬
⑨ 入札　：平成27年11月下旬
⑩ 開札　：平成27年11月下旬
⑪ 落札予定者の決定　：平成27年11月下旬
⑫ 契約締結　：平成28年2月中旬

※ 現場見学とあわせて関連資料を閲覧することができる。ただし、閲覧資料は検討過程のものであり、本業務の実施条件として提示するものではない。

※ 現場見学は予約制とする。公平性を保つため質問については後日文書により対応する。

H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務　一般競争（総合評価落札方式）
手続きフロー（案）



4.2. 入札実施手続

4.2.1 提出書類

民間競争入札に参加する者（以下「入札参加者」という。）は、本件業務に係る入札金額（ただし、収益施設等管理運営業務に要する費用は含まない。）を記載した書類（以下「入札書」という。）、申請書類並びに、企画書及び収益施設運営計画書（以下、「企画書等」という。）を提出する。

上記の入札金額には、本業務に要する一切の諸経費（収益施設等管理運営業務に要する費用は含まない）の108分の100に相当する金額を記載すること。

なお、提出された申請書類及び企画書等は、競争参加資格の確認、企画書等の評価以外に提出者に無断で使用しない。

4.2.2 申請書類の内容

① 競争参加資格確認申請書（様式１－１）
② 企業の業務実績（様式１－２）
※面積、植栽地、遊具を管理していたことが証明できる資料（契約書の写し、施工図面、空中写真、地形図等）
※図面等で植栽地、遊具を管理していたことが証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付すること。
※実績として記載した業務に係る契約書の写しを提出すること。
③ 業務責任者の業務実績（様式１－３）
※面積、植栽地、遊具を管理していたことが証明できる資料（契約書の写し、施工図面、空中写真、地形図等）を添付すること。
※図面等で植栽地、遊具を管理していたことが証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付すること。
※企画書の提出時に雇用関係が無い場合は、業務開始時までに雇用される念書等（任意書式）を添付すること。
※必要とされる資格を証明する書類の写しを添付すること。
④ 守秘性に関する要件（様式１－４）
※守秘義務に関する規程を定めた社則等を添付すること。
⑤ 業務実施体制（様式１－５）
※組織図（業務実施のための管理機構）を添付すること。（任意書式）
⑥ 実施方針（様式１－６）
※年間業務計画書を添付すること。（任意書式）
⑦ 再委託または下請負の予定（様式１－７）
⑧ 必要とされる資格を証明する書類の写し（様式１－３に添付のこと）
⑨ 申請書類提出時に雇用関係が無い場合の念書等（任意書式）
⑩ 業務経験証明書（様式１－８）
⑪ 収益施設運営実績書（様式１－９）
⑫ 共同体で参加する場合の協定書の写し
⑬ 誓約書（様式1-10）

4.2.3 企画書の内容

入札参加者が提出する企画書には、本実施要項５.で示す総合評価を受けるために、次の事項を記載する。なお、標準評価項目等の詳細については本実施要項表9を参照のこと。

① 表紙（様式２－１）
② 企画提案
ｱ）目標とする公園利用者数の確保に関する提案（様式２－２－１）
ｲ）利用者満足度の確保に関する提案（様式２－２－２）
ｳ）公園特性を生かした植物管理に関する提案（様式２－２－３）

ｴ）公園特性及び資源、施設を生かした運営管理に関する提案（様式２－２－４）
ｵ）多様な利用プログラムの提供に関する提案（様式２－２－５）
ｶ）情報受発信に関する提案（様式２－２－６）
ｷ）地域との連携活動・市民との協働活動に関する提案（様式２－２－７）
ｸ）公園利用者等の安全を確保する管理手法に関する提案（様式２－２－８）
ｹ）緊急時及び非常時の対応に関する提案（様式２－２－９）
ｺ）自主事業に関する提案（様式２－２－10）
ｻ）収益施設の運営に関する提案（様式２－２－11）

なお、本業務開始初年度から実施しない提案事項については、開始年月を記載すること。開始年月の記載のない提案は初年度から実施するものとする。また、企画提案によって設計数量を変更する場合には、必ず③の改善提案も行うこと。

③ 改善提案（様式２－２－12）

業務の最低水準として示された仕様書に対する改善提案を行う場合、提案を行う内容を明確にし、提案を行う理由、提案の内容・数量、提案による質の維持向上効果又は経費の削減効果（あるいはその両方）を具体的に示すこと。

また、設計数量が変更となる提案をする場合には、該当工種と変更数量、変更が可能な理由、企画提案との関連がある場合は該当箇所をそれぞれ示すこと。改善提案で変更を提案した数量以外は､公示している数量に基づき入札を行うこと。

4.2.4 収益施設運営計画書

様式３「収益施設運営計画書」を提出する。

4.2.5 ヒアリングの実施

a）企画書に関するヒアリング

ヒアリングでは、実施方針および企画書等に記載された事項について質疑応答を行う。また、ヒアリングにより、提案が実現可能な内容であるかを確認し、評価項目の得点に反映させる。

ア　実施場所：九州地方整備局
イ　実施期間：別途通知
ウ　ヒアリング時間：別途通知
エ　出席者：総括責任者の出席を必須とし、業務責任者の出席も認める。

4.2.6 その他

a）競争参加資格の確認及び企画書等の評価は､申請書類及び企画書等の資料提出期限の日をもって行うものとする。
b）申請書類及び企画書等の資料作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。
c）九州地方整備局は、提出された申請書類及び企画書等の資料を、競争参加資格の確認、企画書等の評価以外に提出者に無断で使用しない。
d）提出された申請書類及び企画書等の資料は、返却しない。
e）提出期限以降における申請書類及び企画書等の資料差し替え及び再提出は認めない。
f）落札者は、様式１－１０（第２面）及び電子記録媒体（CD-R等）を提出すること。詳細は様式１－１０を参照すること。

５．対象公共サービスを実施する者を決定するための評価の基準その他の対象公共サービスを実施する者の決定に関する事項

事業者の決定は、総合評価方式によるものとする。なお、本業務に係る企画書及び業務実施内容の審査・評価は、九州地方整備局が行うが、客観性を確保するため、第三者の有識者で構成される国営海の中道海浜公園有識者委員会の意見を聴取し、評価を行うものとする。

なお、入札参加者は企画書と同時に、収益施設運営計画書を提出し、落札後、都市公園法第5条第1項に基づく公園施設の設置管理許可申請を行わなければならない。

5.1. 事業者決定にあたっての質の評価項目の設定

事業者を決定するための評価は、提出された企画書等の内容が本業務の目的・趣旨に沿って実行可能なものであるか（基本項目審査）、また、効果的なものであるか等（提案項目審査）について行うものとする。（本実施要項表9を参照のこと。）

5.1.1 基本項目審査

基本項目審査においては、入札参加者に対して、本実施要項表9の基本項目について審査を行う。項目ごとに業務が可能な最低水準を満たしている場合には基礎点を与える（基礎点計50点）。さらに、実施体制に係る項目においては、最低水準を超える部分についてその内容に応じ得点を与える（加算点計10点）。なお、最低水準を１つでも満たしていない項目がある場合は失格とする。

5.1.2 提案項目審査

提案項目審査においては、基本項目審査の全ての項目で業務が可能な最低水準を満たした入札参加者に対して、本実施要項表9の提案項目について審査を行う（加算点計155点）。

様々な公園施設の維持管理と収益施設等の運営を一元的に行うことが必要であり、サービス水準(質)の向上や公園利用者の安心安全を確認することを目的としている。なお、提案内容については、具体性、実現性があり、当該公園において適切かつ効果的なものであるか等、妥当性について総合的な観点から審査し得点を与える。各加算点の数値はサービスの質の向上の観点から重要度に応じて配点している。

表9　標準評価項目及び得点配分

項目	区分	項番	評価項目	得点配分 基礎点	得点配分 加算点	様式
①基本項目	業務共通					
	1）実施体制	1	各業務の業務水準が維持される体制であるか （共同体で参加する場合、代表企業又は代表者と構成員の連携が可能な体制であるか）	0/10	0～5	様式1-2～1-8
		2	提案された内容が実現可能な体制であるか	0/10	0/5	
	2）業務に対する認識	3	本業務の目的を理解し、計画的な業務の実施が考えられているか	0/10	—	
		4	本業務を確実に実施するための基本的な方針が明確となっているか	0/10	—	
	3）現行基準レベルの質の確保の実態	5	各業務の提案内容は、九州地方整備局の要求水準（実施要項1.3.1 及び1.3.2）が確保されているものとなっているか	0/10	—	様式2-2-1～2-2-12
②提案項目	企画提案					
	1）目標とする公園利用者数の確保	6	本公園全体及びパークエリアの年間及び四半期ごとの公園利用者数、福岡県外からの公園利用者数の割合、パークエリアの障がい者及びシルバー層（65歳以上）の年間利用者数の目標を各年度設定の上、その公園利用者数確保に向けた取り組み及びユニバーサルデザインの対応に向けたハード面、ソフト面の取り組みについて、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。（目標値と具体性・実現性・妥当性の合計をもって評価を行う。）	—	0～15	様式2-2-1
	2）利用者満足度の確保	7	年間及び四半期ごとの公園の運営に関する満足度の目標を各年度設定の上、その満足度の確保に向け、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。（目標値と具体性・実現性・妥当性の合計をもって評価を行う。）	—	0～15	様式2-2-2
	3）公園特性を生かした植物管理	8	大規模花修景に関する満足度の目標を各年度設定の上、年間を通じた魅力ある花修景の取り組みについて、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。（目標値と具体性・実現性・妥当性の合計をもって評価を行う。）	—	0～10	様式2-2-3
	4）公園特性及び資源、施設を生かした運営管理	9	「動物の森」の施設の特性を生かした、効率的かつ効果的な飼育・展示について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。	—	0～10	様式2-2-4
	5）多様な利用プログラムの提供	10	本公園の意義や役割、機能を踏まえ、本公園の様々な資源等を活用した主催・共催等イベントの開催回数と延べ参加人数の目標を各年度設定の上、多くの公園利用者が参加、体験、交流できる自然、歴史文化等に関する多様な主催・共催等イベントの実施について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。（目標値と具体性・実現性・妥当性の合計をもって評価を行う。）	—	0～10	様式2-2-5
	6）情報受発信	11	マスコミ報道件数やホームページアクセス件数の目標を各年度設定の上、本公園が提供するサービス内容や公園の魅力等に関する広報宣伝・情報の受発信について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。（目標値と具体性・実現性・妥当性の合計をもって評価を行う。）	—	0～10	様式2-2-6
	7）地域との連携活動・市民との協働活動	12	周辺自治体や学校、地域住民等関係機関や関係者との連携体制、協力体制の構築について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。また、ボランティアやNPO団体との連携方策及びボランティア活動の充実・継続について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。	—	0～15	様式2-2-7
	8）公園利用者等の安全を確保する管理手法	13	本公園の特性を踏まえた上で、公園利用者の安全・安心を確保する施設管理及び運営管理について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。また、既存地形や本公園の特性を踏まえた上で、ハード面、ソフト面でのユニバーサルデザイン対応について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。さらに、公園スタッフ（職員、臨時職員、アルバイト、その他関係従事者）に関する事故を未然に防ぐ取組について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。	—	0～15	様式2-2-8

		9）緊急時及び非常時の対応	14	具体的な緊急事態を想定し、現実的かつ効果的な対策が提案されているか。また、トラブル時や緊急時に円滑に対応し、かつ被害を拡大させないためのハード面・ソフト面での対応策について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。さらに、繁忙期において、混乱回避のための対応策について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。	―	0～15	様式 2-2-9
		10）自主事業の提案	15	自主事業の実施内容について公園の目的・魅力の向上の観点から、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある自主事業の方法が示されているか。	―	0～10	様式 2-2-10
		11）収益施設の運営に関する提案	16	公園利用者ｻｰﾋﾞｽの質的な向上に向けた運営について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案が示されているか。	―	0～10	様式 2-2-11 様式3
	従来の実施方法に対する改善提案						
		1）各業務の最低水準（現行基準）として示された仕様書に対する、改善提案	17	質の維持・向上に関する提案があり、実施について具体的な方法が明記されているか。また、それらを実施可能な体制であるか。	―	0～10	様式 2-2-12
合計得点					0～50	0～155	

5.2. 事業者決定にあたっての評価方法

5.2.1 事業者の決定方法

a) 入札参加者は、「価格」及び「企画書」をもって入札をし、予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で入札したもののうち、下記5.2.2 総合評価の方法によって得られた数値（以下「評価値」という。）の最も高い者を落札者とする。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあって、著しく不適当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、評価値の最も高い者を落札者とすることがある。

b) 落札者となるべき者の入札価格が予決令第85条に基づく調査基準価格(予定価格に10分の6を乗じて得た額）を下回る場合は、予決令第86条の調査を行うものとする。

c) 上記において、評価値の最も高い者が２人以上あるときは、該当者にくじを引かせて落札者を決める。また、入札者又はその代理人が直接くじを引くことができないときは、入札執行事務に関係のない職員がこれに代わってくじを引き事業者を決定するものとする。

5.2.2 総合評価の方法

(1) 評価値の算出方法

評価値の算出方法は以下のとおりとする。

提出された書類に係る本実施要項表9により得られた技術評価点と当該入札者から求められる価格評価点の合計値（評価値）をもって行う。

（評価値）＝（価格評価点）＋（技術評価点）

(2) 価格評価点の算出方法

価格点の評価方法は以下のとおりとする。

（価格評価点）＝（価格点）×（１－（入札価格）／（予定価格））

なお、価格点は30点とする。

(3) 技術評価点の算出方法

企画書の内容に応じ、本実施要項表9の評価項目毎に評価を行い、技術点を与える。

なお、技術評価点の最高点数は60点とする。

（技術評価点）＝60×（技術点）／（技術点の満点）

なお、本業務における技術点の満点は205点（基礎点50点＋加算点155点）とする。

(4) 基本項目審査の評価方法

基本項目審査については、本実施要項表10の評価基準を満たしているかによって評価する。

表10実施体制の様式1-5-2の加算点は、提案内容に対する具体性、実現性等を総合に勘案して、原則として本実施要項表11の３段階評価に基づいて評価する。

表10　基本項目審査の評価基準

区分	評価項目	評価基準
実施体制	各業務の業務水準が維持される体制であるか。 （共同体で参加する場合、代表企業又は代表者と構成員の連携が可能な体制であるか）	提案する運営内容に対して提案する職務区分・人数が適切に明示されている。（様式１－５－１） なお、上記の水準を満たした上で、以下に示す体制が確保されている場合は、加算点を与える。（様式１－５－２） ・迅速かつ円滑な意志決定及び臨機の対応等の体制に関し、緊急時等においても混乱なく対応で

		きる水準を超えた優れた提案がなされている。（組織面、費用面の対応が適切に明示されている。）
	提案された内容が実施可能な体制であるか。	提案する職務区分ごとに休憩時間、休日を考慮した労働時間の設定が行われている。 現地体制及び繁忙期の現地を支援する本社等の体制（責任体制、現地体制）を含め適切に明示されている。（様式１－５－１） なお、上記の水準を満たした上で、以下に示す体制が確保されている場合は、加算点を与える。（様式１－５－３） ・緊急時における代替性等の確保の観点から、申請書類の提出期限の日時点で、申請した総括責任者以外に同一企業内に表8に示す総括責任者の業務実績を有している者（代替総括責任者）が1名以上在籍し、申請した総括責任者に事故等があった場合、速やかに配置できる体制が確保されている。申請書類の提出時に雇用関係が無い場合は、業務開始時までに雇用される念書（任意様式）を提出すること。なお、代替総括責任者は、本業務の実施期間中、専任規定のある工事又は業務には従事することができない。（本業務は除く）
業務に対する認識	本業務の目的を理解し、計画的な業務の実施が考えられているか。	年間業務計画（様式１－６添付）に記載された業務内容が、仕様書に定める業務内容と適合している。
	本業務を確実に実施するための基本的な方針が明確となっているか。	企画書に記載された実施方針が仕様書に定める基本方針と適合している。
現行基準レベルの質の確保の実態	各業務の提案内容は、九州地方整備局の要求水準(本実施要項1.3.1及び1.3.2)が確保されているものとなっているか。	仕様書に定める管理水準を満足させる企業の業務実績、配置予定者の業務経験の明示があり、これらを踏まえた様式２－２－１～２－２－12の提案内容について実現性が高いものとなっている。

(5) 提案項目審査の評価方法

提案項目審査は以下のとおりとする。

提案項目審査の企画提案のうち、包括的な質に関する提案項目については、提案した数値（目標値）とその実現性について、それぞれ評価を行い、その合計点を評価点とする。ただし、実現性が乏しい場合は目標値が高くても加算しない（０点）ものとする。

上記以外の提案項目審査は、提案内容に対する具体性、実現性、実施体制との整合等を総合的に勘案して原則として本実施要項表11の３段階評価に基づいて評価する。なお、①関係法令に違反する提案、②入園料等、使用料等を増減させる提案、③開園日時を変更させる提案（主催イベントなど仕様書で明示してあるものは除く）については、内容の如何に問わず評価しないものとする。

表11　基本項目審査（様式1-5-2）及び提案項目審査における評価基準と評価係数

評価基準		評価係数
優	全体的に優れた提案となっている。又は特に高く評価すべき提案がなされている。	配点×1.00
良	一定の評価ができる提案がなされているが、特に優れた提案はなされていない。	配点×0.50
可	特に評価すべき提案が見られない。	配点×0.00

5.2.3 留意事項

九州地方整備局は、事業者が決定したときは、遅滞なく、事業者の氏名若しくは名称、落札金額、事業者の決定の理由並びに提案された内容のうち具体的な実施体制及び実施方法の概要について公表するものとする。

5.3. 初回の入札で事業者が決定しなかった場合の取り扱いについて

初回の入札で予定価格の制限の範囲内で入札した者がいないときは、直ちに再度の入札を行うこととし、これによってもなお落札者となるべき者が決定しない場合は、入札条件を見直し、再度公告入札に付することとする。

再度の公告によっても落札者となるべき者が決定しない場合、または業務の実施に必要な期間が確保できない等、やむを得ない場合は、別途、当該業務の実施方法を検討・実施することとし、その検討結果及び理由を公表するとともに、官民競争入札等監理委員会（以下「監理委員会」という。）に報告するものとする。

６．対象公共サービスに関する従来の実施状況に関する情報の開示に関する事項

従来の実施状況に関する情報は、別紙－13～46のとおりである。

７．事業者に使用させることができる国有財産に関する事項

7.1. 施設

別紙－２「主要公園施設一覧」、別紙－３「主要建築物一覧」、別紙－４「収益施設一覧」による。

7.2. 設備

a）使用できる設備については、本業務に関係する建物・設備全てとする（別紙－22「提供施設一覧表」を参照のこと）。
b）本業務に支障を来さない範囲において、事業者は施設内に本業務に必要な機器・設備等を持ち込むことができるものとするが、持ち込んだ機器・設備については適切な管理を行うこと。

８．事業者が、対象公共サービスを実施するに当たり、国の行政機関等の長等に対して報告すべき事項、秘密を適正に取り扱うために必要な措置その他の対象公共サービスの適正かつ確実な実施の確保のために契約により事業者が講ずべき措置に関する事項

8.1. 報告について

8.1.1業務計画書の協議と承諾
別紙－６「共通仕様書」による。
8.1.2 業務責任者及び業務の関係者
別紙－６「共通仕様書」による。
8.1.3 業務報告書
別紙－６「共通仕様書」による。
8.1.4 検査・監督体制
事業者からの報告を受けるにあたり、調査職員の検査・監督体制は次のとおりとする。
(1) 調査職員
① 総括調査員
国営海の中道海浜公園事務所長（予定）
② 主任調査員
国営海の中道海浜公園事務所調査設計課長（代表）（予定）
国営海の中道海浜公園事務所工務課長（予定）
国営海の中道海浜公園事務所総務課長（予定）
③ 調査員
国営海の中道海浜公園事務所工務課（併任：調査設計課）管理係長（予定）
国営海の中道海浜公園事務所工務課建築・設備係長（予定）
国営海の中道海浜公園事務所総務課経理係長（予定）
国営海の中道海浜公園事務所総務課財産管理係長（予定）

(2) 検査・監督体制
a) 事業者は、各年度ごとの業務を完了したときは、遅延なく、当該年度の完了報告書、清算報告書及び委託費経費内訳報告書、残存物件報告書（以下「完了報告書等）という」に成果物を添えて、九州地方整備局に提出すること。
b) 九州地方整備局は、事業者からの成果物、完了報告書等を受理したときは、その日から10日以内に支出負担行為担当官九州地方整備局長が指定した職員により検査を行うものとする。

8.2. 調査への協力

a) 調査職員は、事業者による業務の適正かつ確実な実施を確保する必要があると認める時は、事業者に対し、当該管理業務の状況に関し必要な報告を求め、又は事業者の事務所等に立ち入り、業務の実施状況又は帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。
b) 立ち入り検査をする調査職員は、検査等を行う際には、当該検査等が法第26条第1項に基づくものであることを事業者に明示するとともに、その身分を示す証明書を携帯し、関係者に提示するものとする。

8.3. 指示について

九州地方整備局長は、事業者による業務の適切かつ確実な実施を確保するために必要

があると認めるときは、法第27条第１項に基づき、事業者に対し、必要な措置をとるべきことを指示できるものとする。

8.4. 秘密の保持

事業者は、本業務に関して調査職員が開示した情報等（公知の事実等を除く）及び業務遂行過程で作成した提出物等に関する情報を漏洩してはならないものとし、そのための必要な措置を講ずること。事業者（その者が法人である場合にあっては、その役員）若しくはその職員その他本業務に従事していた者は業務上知り得た秘密を洩らし、又は盗用してはならない。これらの者が秘密を洩らし、又は盗用した場合には、法第54条により罰則の適用がある。

8.5. 個人情報の取り扱い

別紙－６「共通仕様書」第８章による。

8.6. 契約に基づき落札業者が講ずべき措置

8.6.1 業務の開始及び中止

a）事業者は、締結された本契約に定められた業務開始日に、確実に本業務を開始しなければならない。

b）事業者は、やむを得ない事由により、本業務を中止しようとするときは、予め九州地方整備局の承諾を受けなければならない。

8.6.2 公正な取り扱い

a）事業者は、本業務の実施にあたって、公園利用者を合理的な理由なく区別してはならない。

b）事業者は、公園利用者の取り扱いについて、自らが行う他の事業における利用の有無等により区別してはならない。

8.6.3 金品等の授受の禁止

事業者は、本業務において、金品等を受け取ること又は与えることをしてはならない。ただし、収益施設等管理運営業務として行う場合など、九州地方整備局から許可等を受けた業務を行う上で必要な場合を除く。

8.6.4 法令の遵守

事業者は、本業務を実施するにあたり適用を受ける関係法令等を遵守しなければならない。

8.6.5 安全衛生

事業者は、本業務に従事する者の労働安全衛生に関する労務管理については、責任者を定め、関係法令に従って行わなければならない。

8.6.6 記録・帳簿書類等

事業者は、実施年度毎に本業務に関して作成した記録や会計に関する帳簿書類を、本業務を終了し､又は中止した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保管しなければならない。

なお､行政機関の保有する情報の公開に関する法律の第4条に基づく行政文書の開示請求がなされた場合、同法第5条に基づく不開示情報の確認を行った上で、第6条による部分開示や第7条による公益上の理由による裁量的開示を確認し､開示方法を明らかにし､第9条に基づき事務処理上の困難その他正当な理由があるときを除き､開示請求のあった日から30日以内に情報を開示する必要がある。そのため、開示請求の対象が

事業者の保有する記録・帳簿書類等の場合、事業者は、情報公開に速やかに対応しなければならない。

8.6.7 権利の譲渡

本業務の成果及び本業務の実施の過程において、派生的に生じた著作権、特許権及び実用新案権等の無体財産権については、九州地方整備局が承継するものとする。また、事業者は、原則として本契約に基づいて生じた権利の全部または一部を第三者に譲渡してはならない。

8.6.8 権利義務の帰属等

本業務の実施が第三者の特許権､著作権その他の権利に抵触するときは､事業者は、その責任において、必要な措置を講じなければならない。

8.6.9 一般的損害

本業務を行うにつき生じた損害（本実施要項９．に記載した損害を除く。）については、事業者がその費用を負担する。ただし、その損害のうち、九州地方整備局の責に帰すべき事由により生じたものについては、九州地方整備局が負担する。

8.6.10 再委託または下請負の取り扱い

a) 事業者（共同体を含む。）は、本業務の実施に当たり、その全部を一括して再委託してはならない。

b) 事業者は、本業務の実施に当たり、その一部について再委託を行う場合は、原則として予め企画書において、再委託に関する事項（再委託先の住所・名称、再委託する業務の範囲、再委託または下請負を行うことの合理性及び必要性、再委託先の業務履行能力並びに報告徴収その他業務管理の方法）について記載しなければならない。

なお、本業務における主たる部分を再委託することはできない。本業務における主たる部分は、次のとおりとする。

・業務における総合的企画立案、業務遂行管理、入園料等の収受及び納入、救急・災害時の統括管理、各業務手法の決定及び本業務履行者としての最終的な意思決定を行うための技術的判断等

c) 事業者は、本契約締結後やむを得ない事情により再委託を行う場合には、再委託に関する事項を明らかにしたうえで九州地方整備局の承諾を受けなければならない。なお、再委託の内容を変更しようとするときも同様とする。

d) 事業者は、上記b)及びc)により再委託を行う場合には、事業者が九州地方整備局に対して負う義務を適切に履行するため、再委託先の事業者に対し、本実施要項8.4.及び8.6.に規定する事項その他の事項について必要な措置を講じさせるとともに、再委託先から必要な報告を徴収することとする。

e) 上記b)からd)までに基づき､事業者が再委託先の事業者に業務を実施させる場合は、すべて事業者の責任において行うものとし、再委託先の事業者の責めに帰すべき事由については、事業者の責めに帰すべき事由とみなして、事業者が責任を負うものとする。

8.6.11 契約解除

九州地方整備局は、事業者が次のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる。

a) 法第22条第1項第1号イからチ又は同項第2号に該当するとき。

b) 繰り返し法令違反を行ったとき。

c）暴力団員を業務を統括する者又は従業員として雇用していることが明らかになったとき。
d）暴力団又は暴力団関係者との社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになったとき。

8.6.12 契約解除時の取り扱い
a）上記8.6.11に該当し、契約を解除した場合には、九州地方整備局は事業者に対し、当該解除の日までに当該サービスを契約に基づき実施した期間にかかる委託費を支給する。
b）この場合、事業者は、契約金額から上記a)の委託費を控除した金額の100分の10に相当する金額を違約金として九州地方整備局の指定する期間に納付しなければならない。
c）九州地方整備局は、事業者が前項の規定による金額を九州地方整備局の指定する期日までに支払わないときは、その支払い期限の翌日から起算して支払いのあった日までの日数に応じて、年100分の5の割合で計算した金額を延滞金として納付させることができる。
d）九州地方整備局は、契約の解除及び違約金の徴収をしてもなお損害賠償の請求をすることができる。

8.6.13 契約内容の変更
九州地方整備局は、必要がある場合には、業務の内容を変更することができる。この場合において委託費又は実施期間を変更する必要があるときは、九州地方整備局及び事業者は協議し、書面によりこれを定めるものとする。

8.6.14 契約の解釈
本契約に関して疑義が生じた事項については、その都度、事業者と九州地方整備局が協議するものとする。

8.6.15 業務計画書の提出
事業者は、契約締結日の14日前までに業務計画書を提出し、その内容について九州地方整備局と協議の上、承諾を得なければならない。

8.6.16 業務計画書の変更
業務計画書を変更しようとするときは、変更後の業務計画書について九州地方整備局と協議を行い、九州地方整備局の承諾を得なければならない。この場合、委託費等の契約内容の変更の必要がある場合は、九州地方整備局と協議し書面にてこれを定めるものとする。

8.6.17 業務の引き継ぎへの対応
契約が完了する場合、又は解除になる場合には、調査職員の立会の下、調査職員が指示する者に対し、誠意を持って、円滑に事務の引き継ぎを行わなければならない。引継ぎにあたっては、共通仕様書36条に規定する必要な資料の作成及び提出を行い、必要な説明等を行うものとする。ただし、契約が引き続き締結され、当該業務を継続する場合はこの限りではない。（業務の引継ぎに必要な資料の詳細は、別紙－６「共通仕様書」を参照のこと。）

8.6.18 業務評定について
本業務においては、九州地方整備局が、毎年度業務終了後に当該年度の業務評定（以下、「単年度評価」という。）を実施するとともに、３年目の業務終了後に３年間を通じての業務評定（以下、「３箇年評定」という。）を実施する。評定については事業者に通知し、九州地方整備局ホームページ等により公表するものとする。（詳細は、別紙

－46「業務評定」を参照のこと。）
　なお、評定については、本公園の国営公園運営維持管理業務の次回入札時における評価事項の一つとし、単年度評価が２回以上「不可」の実績となり、かつ３箇年評価が「不可」の場合、本公園の次回入札時において、5.1.表9評価項目及び得点配分の加算点の合計得点から15点を減点する。

９．事業者が対象公共サービスを実施するに当たり第三者に損害を与えた場合において、その損害の賠償に関し契約により事業者が負うべき責任（国家賠償法の規定により国の行政機関等が当該損害の賠償の責めに任ずる場合における求償に応ずる責任を含む。）に関する事項

本契約を履行するにあたり、事業者又はその職員その他の当該公共サービスに従事する者が、故意又は過失により、当該公共サービスの受益者等の第三者に損害を加えた場合には、次に定めるところによる。

a) 九州地方整備局が国家賠償法第１条第１項等に基づき当該第三者に対する賠償を行ったときは、九州地方整備局は事業者に対し、当該第三者に支払った損害賠償額（当該損害の発生について九州地方整備局の責めに帰すべき理由が存する場合は、九州地方整備局が自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分に限る。）について求償することができる。

b) 事業者が民法第709条等に基づき当該第三者に対する賠償を行った場合であって、当該損害の発生について九州地方整備局の責めに帰すべき理由が存するときは、事業者は九州地方整備局に対し、当該第三者に支払った損害賠償額のうち自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分について求償することができる。

１０．対象公共サービスに係る法第7条第8項に規定する評価に関する事項

10.1. 調査方法

九州地方整備局は、事業者が実施した業務の内容について、その評価が的確に実施されるように、実施状況の調査を行うものとする。

10.2. 実施状況に関する調査の時期

九州地方整備局は、10.3の調査項目に関する内容について、内閣総理大臣が評価（平成31年1月を予定）を行うに当たり必要な情報を収集するため、本業務の実施状況について平成30年9月30日時点における状況を調査する。

10.3. 調査方法及び項目

本実施要項「1.3.　サービスの質の設定」により設定した事項。

10.4. 国営海の中道海浜公園有識者委員会への報告

九州地方整備局は、上記の調査についてとりまとめた本業務の実施状況等について、上記の評価を行うために、平成30年12月を目途に内閣総理大臣及び監理委員会に提出するものとする。九州地方整備局は、本業務の実施状況等を提出するに当たり、国営海の中道海浜公園有識者委員会に報告を行い、意見を聴くものとする。

１１．その他対象公共サービスの実施に関し必要な事項

11.1. 対象公共サービスの実施状況等の監理委員会への報告及び公表

九州地方整備局は、事業者に対する会計法令に基づく監督・検査の状況について、業務終了後に監理委員会へ報告するとともに、法第26条及び法第27条に基づく報告聴取、立ち入り検査、指示等を行った場合は、その都度、措置の内容及び理由並びに結果の概要等を監理委員会へ報告することとする。

11.2. 九州地方整備局の監督体制

1）本契約に係る監督は、支出負担行為担当官が、自ら又は補助者に命じて、立ち会い、指示その他の適切な方法によって行うものとする。
2）本業務の実施状況に係る監督は、本実施要項8.1.4により行う。

11.3. 事業者が負う可能性のある主な責務等

11.3.1 罰則等

a）本業務における入園料等の管理に従事する者は、刑法（明治40年法第45号）その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなされる。
b）次のいずれかに該当する者は、法第55条の規定により30万円以下の罰金に処されることとなる。
・本実施要項8.1.による報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又は本実施要項8.1.4による検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して答弁をせず、若しくは虚偽の答弁をした者
・正当な理由なく、本実施要項8.3.による指示に違反した者
c）法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業員が、その法人又は人の業務に関し、上記b)の違反行為をしたときは、法第56条の規定により、行為者を罰するほか、その法人又は人に対して前記b)の刑を科されることとなる。

11.3.2 会計検査について

事業者は、①公共サービスの内容が会計検査院法第22条に該当するとき、又は②同法第23条第１項第７号に規定する「事務若しくは業務の受注者」に該当し、会計検査院が必要と認めるときには、同法第25条及び第26条により、会計検査院の実施検査を受けたり、同院から直接又は九州地方整備局を通じて、資料・報告書等の提出を求められたり質問を受けたりすることがある。

国営海の中道海浜公園
運営維持管理業務
別紙資料

平成27年7月

国土交通省　九州地方整備局

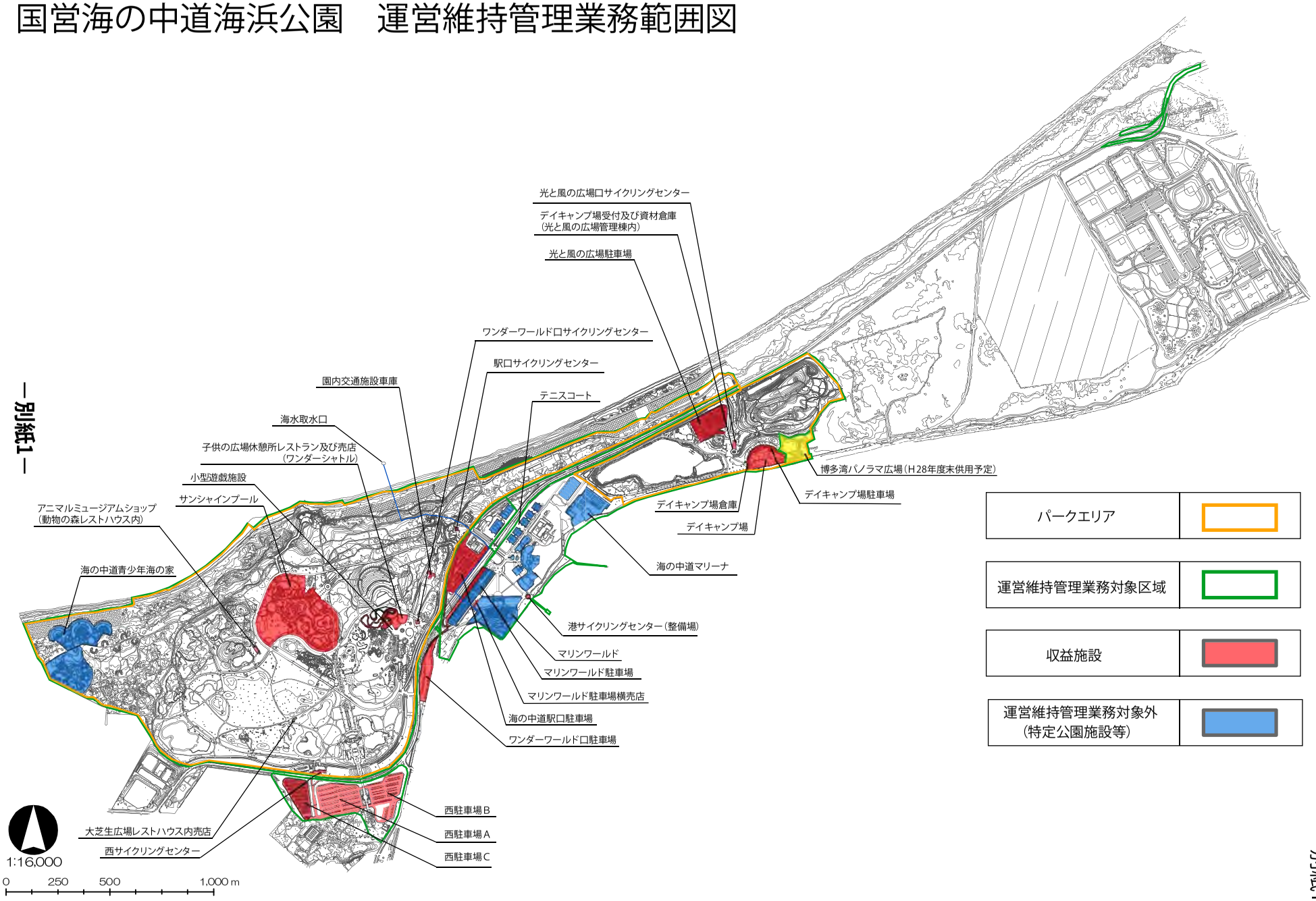
実施要項に関連する別紙（情報開示）・様式

【国営海の中道海浜公園】

分類	資料No	資料名	頁番号
業務の内容を示す資料	別紙 1	運営維持管理業務範囲図	1
	別紙 2	主要公園施設一覧	2
	別紙 3	主要建築物一覧	3
	別紙 4	収益施設一覧	7
	別紙 5	国営海の中道海浜公園　運営維持管理基本方針	26
	別紙 6	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務　共通仕様書	34
	別紙 7	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務 本業務全体の計画立案及びマネジメント　個別仕様書	68
	別紙 8	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務 企画運営管理　個別仕様書	74
	別紙 9	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務 施設・設備維持管理　個別仕様書	89
	別紙 10	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務 植物管理　個別仕様書	111
	別紙 11	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務 動物管理　個別仕様書	128
	別紙 12	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務 収益施設等管理運営規定書	138
従来の実施状況に関する情報の開示資料	別紙 13	従来の実施状況に関する情報の開示	242
	別紙 14	精算報告書	249
	別紙 15	公園利用者数	252
	別紙 16	利用実態調査アンケート及び花修景に関する満足度調査票	259
	別紙 17	イベント実績	268
	別紙 18	マスコミ等による報道件数	301
	別紙 19	ホームページアクセス件数	339
	別紙 20	開園時間延伸状況	340
	別紙 21	混雑時の状況	343
	別紙 22	提供機械器具一覧表	345
	別紙 23	リース物件（リスト）	360
	別紙 24	支給品一覧（備品以外の残存物品リスト）	361
	別紙 25	貸与車両の使用状況・維持管理状況	414
	別紙 26	危機管理対応実績（事故対応）	450
	別紙 27	危機管理対応実績（自然災害、火災）	526
	別紙 28	危機管理対応実績（野生動物）	529
	別紙 29	職員・臨時職員・常勤パート等の配置	530
	別紙 30	総括責任者による外部会議への出席	533
	別紙 31	問い合わせメール及びご意見箱 処理件数	536
	別紙 32	行催時開催時の広報（紙媒体）実績	539

従来の実施状況に関する情報の開示資料	別紙 33	プレスリリース実績	540
	別紙 34	公園利用者に無償で貸与している物品一覧	546
	別紙 35	建物・工作物に係る修繕履歴	552
	別紙 36	廃棄物の取扱	571
	別紙 37	農薬・肥料・土壌改良リスト	572
	別紙 38	農薬散布	576
	別紙 39	樹幹注入	578
	別紙 40	植物性廃棄物の取扱い	579
	別紙 41	収益施設利用者数、売上等	581
	別紙 42	国営海の中道海浜公園供用区域図	597
	別紙 43	空調設備点検機器	598
	別紙 44	汚水ポンプ点検内容	599
	別紙 45	放送設備点検範囲	600
	別紙 46	動物管理実績	601
その他の資料	別紙 47	国営海の中道海浜公園運営時管理業務の運営状況（業務評定）について	626
様式	様式 1-1	競争参加資格確認申請書	627
	様式 1-2	企業の業務実績	628
	様式 1-3	総括（業務）責任者の業務実績	629
	様式 1-4	守秘性に関する要件	630
	様式 1-5	業務実施体制	631
	様式 1-6	実施方針	636
	様式 1-7	再委託又は下請負の予定（協力企業の名称等）	638
	様式 1-8	業務経験証明書	640
	様式 1-9	収益施設運営実績書	641
	様式 1-10	入札参加事業者等確認書	645
	様式 2-1	企画書（表紙）	657
	様式 2-2-1～11	企画提案	658
	様式 2-2-12	改善提案	669
	様式 3	収益施設運営計画書	672

国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務範囲図



―別紙1―

別紙1

別紙２

主要公園施設一覧　　平成 27 年 2 月現在

ゾーン名	面積（ha）	名称	主要施設
樹林とスポーツの広場	2.7	Ａ地区	［パークウェイ（27,000m2）］ ﾊﾟｰｸｳｪｲ 1 号橋、ﾊﾟｰｸｳｪｲ 2 号橋、ﾊﾟｰｸｳｪｲ跨線橋、園路他
樹林とピクニックの広場	41.8	Ｂ地区	［光と風の広場(247,000m2)］ ｶﾓ池、ｶﾓ池デッキ（2 基、143.77m2）、光と風の広場口管理棟(2,225m2)、ｶﾓ池口管理棟（49.2m2）、ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ(5,000m2)、ポンプ棟（1.74m2）他 ［環境共生の森(153,000m2)］ 展望デッキ(1 箇所 224.935m2)、観察デッキ(2 箇所、65.988m2) 活動拠点施設”里の家”（288.2m2）、大池等、田畑（3,640m2） ［その他］ 便所、園路、ｻｲｸﾘﾝｸﾞｺｰｽ、芝生他
樹林と文化・いこいの広場	190.8	Ｃ地区	［西口広場・水辺の広場(198,000m2)］ ｽｶｲｼｪﾙﾀｰ（290.73m2）、虹の池、彩りの池、ﾜｸﾜｸ池、ｶﾅｰﾙ、ﾚﾘｰﾌ壁泉、水辺のﾚｽﾄﾊｳｽ（381.5m2）、虹の花壇（2,428m2）、彩りの花壇（1,072m2）、おもちゃ箱花壇（3,538m2）他 ［ﾌﾗﾜｰﾐｭｰｼﾞｱﾑ（13,000m2）］ 花壇（4,900m2）、光の城他 ［バラ園（4,000m2）］ 花壇(1,795m2) ［大芝生広場(240,000m2)］ 芝生広場（芝生面積 149,500m2）、ﾊﾟﾀｰｺﾞﾙﾌ場(18 ﾎｰﾙ)、ﾃﾞｨｽｸｺﾞﾙﾌ場（27 ﾎｰﾙ）、ｽｶｲﾄﾞﾙﾌｨﾝ(ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ遊具)、花畑(20,000m2) ［動物の森(85,000m2)］ 動物（約 50 種 500 頭）の展示エリア、展望の丘（135m2）、水鳥の池、サル島（3 島）、動物獣舎、管理棟(71.19m2)、病理棟（14.58m2）、ふれあい動物舎(89.85m2)、ふれあい広場、動物の森ﾚｽﾄﾊｳｽ（501.42m2） ［いこいの森 410,000m2］ 森の家（722m2）、散策路、野鳥の池、野鳥の池観察舎（2 棟、57.2m2）、四季の森、園路他 ［子供の広場(165,000m2)・ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ］ くじらぐも“ふわんポリン”、移動式遊具“スナッグ”、子供の砦、水辺のトリム、ﾄﾘﾑｺｰｽ(12 基)、じゃぶじゃぶ池、ザイルクライム、他遊具、 花桟敷(1,650m2)、ｼﾝﾌｫﾆｰｶﾞｰﾃﾞﾝ（460m2） ［野外劇場・彫刻の森］ 観覧席（芝生）、野外彫刻（4 体） ［その他］ 港ﾚｽﾄﾊｳｽ、海の中道駅口管理棟、ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ口管理棟(388.9m2)、西口管理棟(224.32m2)、西サイクリング口管理棟（879.95m2）、管理ｾﾝﾀｰ(1,976m2)、松毬庵(15.68m2)、便所、四阿、パーゴラ、噴水、温室、ﾕﾃｨﾘﾃｨ施設、ｻｲｸﾘﾝｸﾞｺｰｽ、プロムナード橋、園路他
海辺といこいの広場	58.2	Ｄ地区	ｼｰｻｲﾄﾞﾋﾙｼｵﾔ（1003.87m2 の内 353.47m2）、潮見台展望台（427.215m2）、みらい橋 ［その他］ 便所、ﾕｰﾃｨﾘﾃｨｰ施設(763m2)、ｻｲｸﾘﾝｸﾞｺｰｽ、園路他
計	293.5		

別紙３

主　要　建　築　物　一　覧

分類	名　　称	数　量	構造	（面積）　単位	設置箇所
休養施設	水辺のレストハウス	1 棟	ＲＣ	548 ㎡	水辺の広場
休養施設	西戸崎レストハウス	1 棟	ＲＣ	298.73 ㎡	西口広場
休養施設	動物の森レストハウス	1 棟	ＲＣ	78.75 ㎡	動物の森
休養施設	渡船場レストハウス	1 棟	ＲＣ	382.93 ㎡	リゾートエリア
休養施設	近隣広場休憩所	1 棟	ＲＣ	28 ㎡	西口広場
休養施設	テニスコート休憩所	1 棟	W	60 ㎡	西口広場
休養施設	海中駅休憩所	1 棟	W	154.37 ㎡	海中駅
休養施設	大芝生休憩所	1 棟	ＲＣ	328.17 ㎡	大芝生広場
休養施設	四阿（水辺の広場）	1 棟	ＲＣ	4 ㎡	水辺の広場
休養施設	四阿（大芝生広場Ａ）	1 棟	ＲＣ	54.43 ㎡	大芝生広場
休養施設	四阿（大芝生広場Ｂ）	1 棟	ＲＣ	54.43 ㎡	大芝生広場
休養施設	四阿（動物の森）	1 棟	W	4 ㎡	動物の森
休養施設	四阿（大芝生広場）	1 棟	ＲＣ	54.43 ㎡	大芝生広場
休養施設	四阿（近隣広場）	1 棟	W	4 ㎡	西口広場
休養施設	四阿（冒険広場）	1 棟	ＲＣ	33.28 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（トリムコース入口）	1 棟	ＲＣ	20.25 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（水辺のトリム）	1 棟	W	4 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（オリエンテーション広場）	1 棟	ＲＣ	20.25 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（オリエンテーション広場）	1 棟	ＲＣ	20.25 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（子供の砦）	1 棟	ＲＣ	32.46 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（遊戯広場）	1 棟	ＲＣ	16 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（子供の広場）	1 棟	ＲＣ	60 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（いこいの森１）	1 棟	ＲＣ	32.4 ㎡	いこいの森
休養施設	四阿（いこいの森２）	1 棟	ＲＣ	32.4 ㎡	いこいの森
休養施設	四阿（いこいの森３）	1 棟	ＲＣ	32.4 ㎡	いこいの森
休養施設	四阿（いこいの森４）	1 棟	ＲＣ	32.4 ㎡	いこいの森
休養施設	四阿（いこいの森５）	1 棟	ＲＣ	32.4 ㎡	いこいの森
休養施設	四阿（いこいの森池）	1 棟	W	17.64 ㎡	いこいの森
休養施設	四阿（かも池）	1 棟	W	20.25 ㎡	光と風の広場
休養施設	四阿（環境共生の森）	1 棟	W	70 ㎡	環境共生の森
教養施設	いこいの森ビジターセンター	1 棟	W	722.52 ㎡	いこいの森
教養施設	ロバ舎	1 棟	W	19.44 ㎡	動物の森
教養施設	リスザル舎	1 棟	W	29.94 ㎡	動物の森
教養施設	ラマ舎	1 棟	W	25.92 ㎡	動物の森
教養施設	ポニー舎	1 棟	W	25.92 ㎡	動物の森
教養施設	繁殖棟	1 棟	ＲＣ	14.58 ㎡	動物の森
教養施設	病理棟	1 棟	ＲＣ	14.58 ㎡	動物の森
教養施設	フラミンゴ舎	1 棟	W	13 ㎡	動物の森
教養施設	フサオマキザル舎	1 棟	W	5.76 ㎡	動物の森
教養施設	クモザル舎	1 棟	W	3.24 ㎡	動物の森
教養施設	ウサギ舎	1 棟	W	37.17 ㎡	動物の森
教養施設	カピバラ舎	1 棟	W	19.87 ㎡	動物の森

分類	名　　称	数　量	構造	（面積）　単位	設置箇所
教養施設	マーラ舎	1 棟	W	14.91 ㎡	動物の森
教養施設	アカカンガルー舎	1 棟	W	22.36 ㎡	動物の森
教養施設	ワラビー舎	1 棟	W	22.36 ㎡	動物の森
教養施設	ヤギ・ヒツジ舎	1 棟	W	24.84 ㎡	動物の森
教養施設	飼料倉庫	1 棟	W	27.56 ㎡	動物の森
教養施設	インコ・オウム舎	1 棟	W	9.94 ㎡	動物の森
教養施設	クジャク舎	1 棟	W	3.24 ㎡	動物の森
教養施設	ホロホロチョウ舎	1 棟	W	6.62 ㎡	動物の森
教養施設	治療棟	1 棟	W	31.5 ㎡	動物の森
教養施設	ポニー舎	1 棟	W	37.4 ㎡	動物の森
教養施設	ツル舎	1 棟	W	97.21 ㎡	動物の森
教養施設	馬舎	1 棟	W	20.67 ㎡	動物の森
教養施設	クジャク舎（１）	1 棟	W	3.24 ㎡	動物の森
教養施設	クジャク舎（２）	1 棟	W	11.56 ㎡	動物の森
教養施設	クジャク舎（３）	1 棟	W	11.56 ㎡	動物の森
教養施設	動物の森隔離舎	1 棟	W	498.8 ㎡	動物の森
教養施設	茶室	1 棟	W	15.68 ㎡	リゾートエリア
便益施設	西サイクリングセンター口管理棟	1 棟	ＲＣ	889.66 ㎡	西口広場
便益施設	西口便所（ゲート内、外）	1 棟	ＲＣ	215.57 ㎡	西口広場
便益施設	便所（西駐車場）	1 棟	ＲＣ	80 ㎡	西口広場
便益施設	便所（大芝生Ａ）	1 棟	ＲＣ	54.43 ㎡	大芝生広場
便益施設	便所（大芝生Ｂ）	1 棟	ＲＣ	54.43 ㎡	大芝生広場
便益施設	便所（大芝生Ｃ）	1 棟	ＲＣ	54.43 ㎡	大芝生広場
便益施設	便所（近隣広場）	1 棟	ＲＣ	49 ㎡	西口広場
便益施設	便所（子供の広場）	1 棟	ＲＣ	42.99 ㎡	子供の森広場
便益施設	便所（冒険の広場）	1 棟	ＲＣ	43 ㎡	子供の森広場
便益施設	便所（野外劇場周辺）	1 棟	ＲＣ	75 ㎡	野外劇場周辺
便益施設	便所（オリエンテーション入口）	1 棟	ＲＣ	93.63 ㎡	子供の森広場
便益施設	便所（テニスコート）	1 棟	Ｓ	15.36 ㎡	リゾートエリア
便益施設	便所（運動広場）	1 棟	ＲＣ	10.24 ㎡	その他
便益施設	文化施設エリア丸形便所	1 棟	ＲＣ	74.96 ㎡	リゾートエリア
便益施設	中央駐車場便所（１）	1 棟	ＲＣ	37.6 ㎡	リゾートエリア
便益施設	中央駐車場便所（２）	1 棟	ＲＣ	40.35 ㎡	リゾートエリア
便益施設	ワンダーワールド駐車場便所	1 棟	ＲＣ+W	88.8 ㎡	リゾートエリア
便益施設	いこいの森便所（１）	1 棟	ＲＣ	36.75 ㎡	いこいの森
便益施設	いこいの森便所（２）	1 棟	ＲＣ	36.75 ㎡	いこいの森
便益施設	いこいの森便所（３）	1 棟	ＲＣ	6 ㎡	いこいの森
便益施設	ワンダーワールド便所	1 棟	ＲＣ	76.57 ㎡	子供の森広場
便益施設	管理用便所	1 棟	Ｓ	6.9 ㎡	その他
便益施設	彫刻の森便所	1 棟	ＲＣ	56 ㎡	彫刻の森
便益施設	動物の森便所	1 棟	ＲＣ	22.35 ㎡	動物の森
便益施設	スカイドルフィン身障者便所	1 棟	ＲＣ	4.91 ㎡	大芝生広場
便益施設	Ｂ地区駐車場便所	1 棟	ＲＣ	76.24 ㎡	光と風の広場
便益施設	デイキャンプ場便所	1 棟	ＲＣ	69.87 ㎡	光と風の広場
便益施設	博多湾パノラマ広場便所※	1 棟	W	36 ㎡	森の池エリア

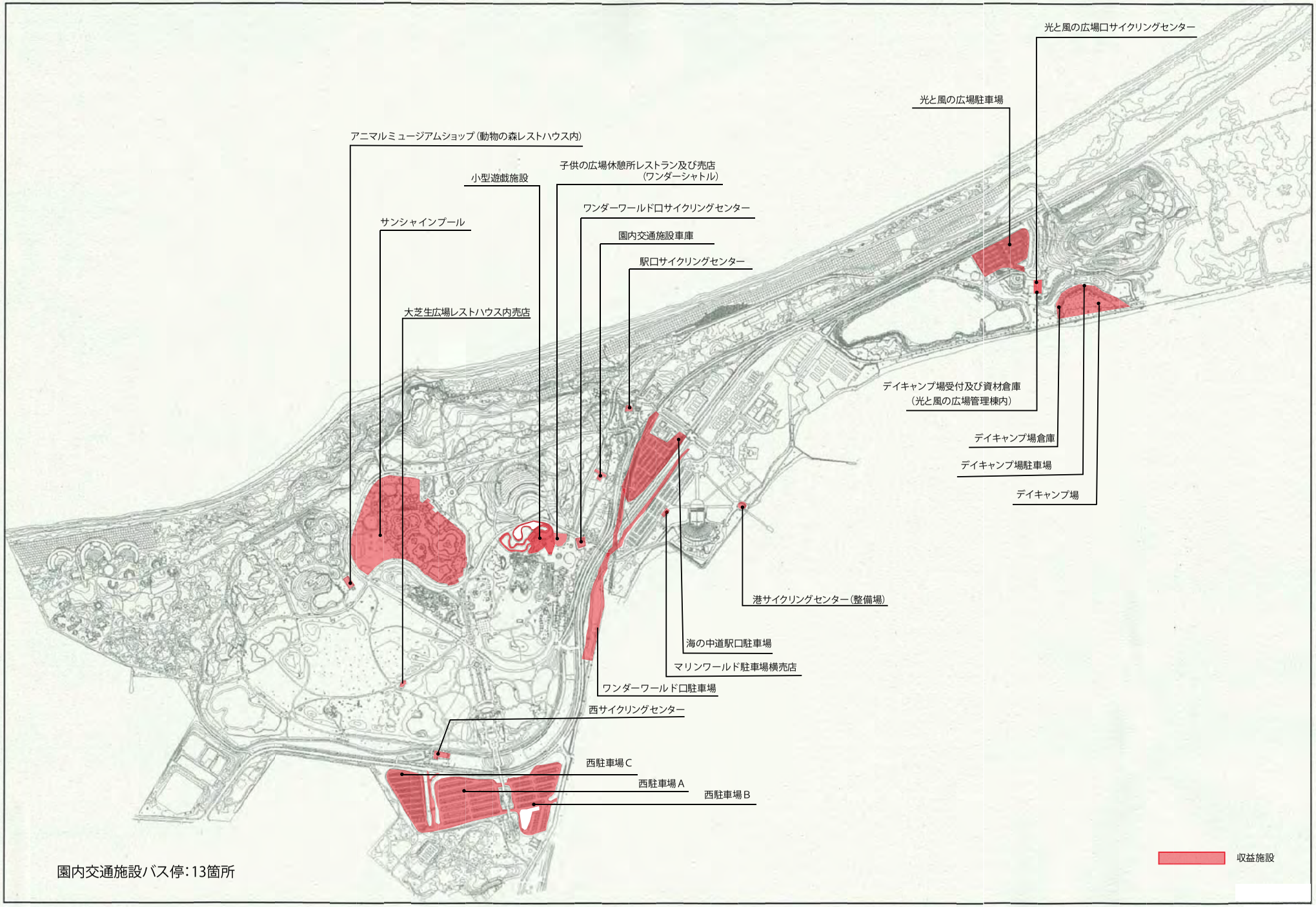
分類	名　　称	数　量	構造	（面積）　単位	設置箇所
便益施設	フラワーミュージアム便所	1 棟	ＲＣ	109.02 ㎡	フラワーミュージアム
便益施設	潮見台便所	1 棟	ＲＣ	76.92 ㎡	潮見台エリア
便益施設	カナール付近	1 棟	ＲＣ	76.92 ㎡	水辺の広場
便益施設	西サイクリング身障者便所	1 棟	ＲＣ	4.91 ㎡	西口広場
便益施設	炊事棟西	1 棟	ＲＣ	94.07 ㎡	光と風の広場
便益施設	炊事棟東	1 棟	ＲＣ	94.07 ㎡	光と風の広場
便益施設	環境共生の森屋外便所	1 棟	W	36 ㎡	環境共生の森
便益施設	Ｄ地区海浜部屋外便所	1 棟	ＲＣ	62.9 ㎡	その他
管理施設	焼却場	1 棟	ＲＣ	144.67 ㎡	その他
管理施設	焼却場	1 棟	ＲＣ	246.19 ㎡	その他
管理施設	焼却炉	1 棟	ＲＣ	630 ㎡	その他
管理施設	西入口ブース	1 棟	S	3 ㎡	西口広場
管理施設	中央駐車場ブース	2 棟	S	6.94 ㎡	リゾートエリア
管理施設	温室（1）	1 棟	S	189 ㎡	その他
管理施設	温室（2）	1 棟	S	240.87 ㎡	その他
管理施設	ガラス室	1 棟	S	236.25 ㎡	その他
管理施設	インフォメーション	1 棟	ＲＣ	53.55 ㎡	子供の森広場
管理施設	管理センター	1 棟	ＲＣ	1611.84 ㎡	リゾートエリア
管理施設	西口管理詰所	1 棟	ＲＣ	224.34 ㎡	西口広場
管理施設	プール北管理棟	1 棟	ＲＣ	478.51 ㎡	サンシャインプール
管理施設	海中口管理棟	1 棟	W	159.4 ㎡	その他
管理施設	ワンダーワールド口管理棟	1 棟	ＲＣ	447.67 ㎡	子供の森広場
管理施設	光と風の広場管理棟	1 棟	ＲＣ	1606.08 ㎡	光と風の広場
管理施設	カモ池口管理棟	1 棟	W	49.2 ㎡	光と風の広場
管理施設	ドッグラン管理棟	1 棟	W	44.7 ㎡	光と風の広場
管理施設	環境共生の森活動拠点施設	1 棟	W	230.75 ㎡	環境共生の森
管理施設	管理センター車庫1	1 棟	ＲＣ	320.75 ㎡	リゾートエリア
管理施設	管理センター車庫2	1 棟	ＲＣ	50 ㎡	リゾートエリア
管理施設	倉庫（焼却場）	1 棟	ＲＣ	317.78 ㎡	リゾートエリア
管理施設	いこいの森倉庫	1 棟	ＲＣ	42 ㎡	いこいの森
管理施設	大芝生広場倉庫	1 棟	ＲＣ	50.79 ㎡	大芝生広場
管理施設	汚水ポンプP1-1	1 棟	ＲＣ	27.41 ㎡	リゾートエリア
管理施設	汚水ポンプP1-2	1 棟	ＲＣ	30.63 ㎡	子供の森広場
管理施設	汚水ポンプP1-3	1 棟	ＲＣ	30.63 ㎡	水辺の広場
管理施設	汚水ポンプP1-4	1 棟	ＲＣ	23.16 ㎡	西口広場
管理施設	汚水ポンプP1-5	1 棟	ＲＣ	34.92 ㎡	リゾートエリア
管理施設	汚水ポンプP1-6	1 棟	ＲＣ	37.07 ㎡	水辺の広場
管理施設	汚水ポンプP2-1	1 棟	ＲＣ	23.16 ㎡	動物の森
管理施設	汚水ポンプP2-2	1 棟	ＲＣ	27.41 ㎡	いこいの森
管理施設	光と風の広場排水機場	1 棟	ＲＣ	65.9 ㎡	光と風の広場
管理施設	東池濾過器室	1 棟	ＲＣ	52.25 ㎡	水辺の広場
管理施設	壁泉濾過器室	1 棟	ＲＣ	6 ㎡	水辺の広場
管理施設	小動物放飼園ポンプ室	1 棟	ＲＣ	17.71 ㎡	動物の森
管理施設	大芝生広場ポンプ室	1 棟	ＲＣ	16 ㎡	大芝生広場
管理施設	冒険の池ポンプ室	1 棟	ＲＣ	12.93 ㎡	子供の森広場

分類	名　　称	数　量	構造	（面積）　単位	設置箇所
管理施設	冒険の池ポンプ室（管理棟）	1 棟	ＲＣ	5.7 ㎡	子供の森広場
管理施設	中央受電所	1 棟	ＲＣ	99.54 ㎡	子供の森広場
管理施設	シオヤ電気室棟	1 棟	ＲＣ	72 ㎡	潮見台エリア
管理施設	ワンダーワールド電気室	1 棟	ＲＣ	95.32 ㎡	子供の森広場
管理施設	光と風の広場中央受電所	1 棟	ＲＣ	140.7 ㎡	光と風の広場
管理施設	プールA電気室	1 棟	ＲＣ	192 ㎡	サンシャインプール
管理施設	プールB電気室	1 棟	ＲＣ	144 ㎡	サンシャインプール
管理施設	シオヤ展望管理事務所	1 棟	ＲＣ	749.29 ㎡	潮見台エリア
管理施設	西口スカイシェルター	1 棟	ＲＣ	290.73 ㎡	西口広場

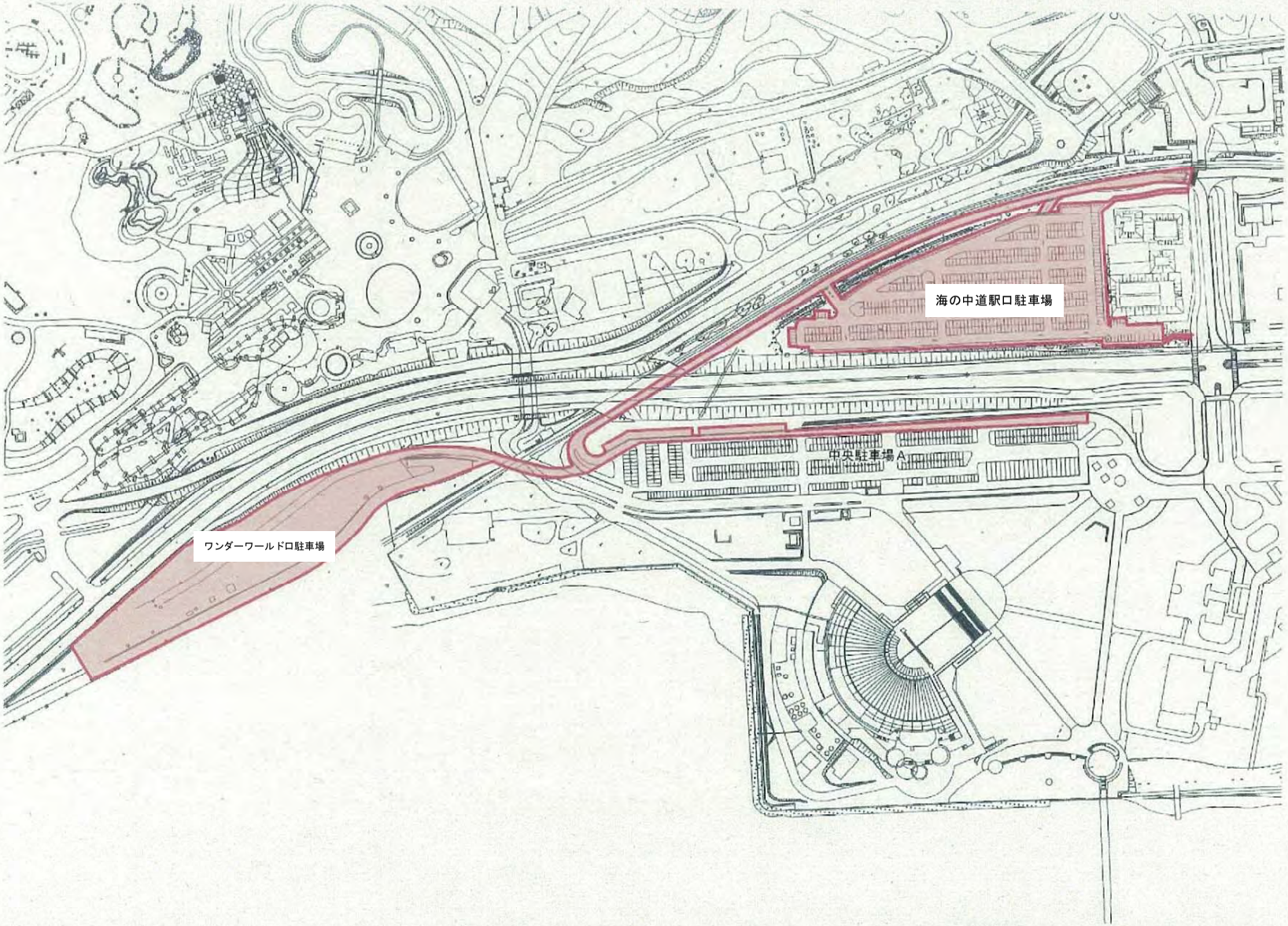
※博多湾パノラマ広場便所は平成29年4月供用予定

別紙４

収益施設一覧

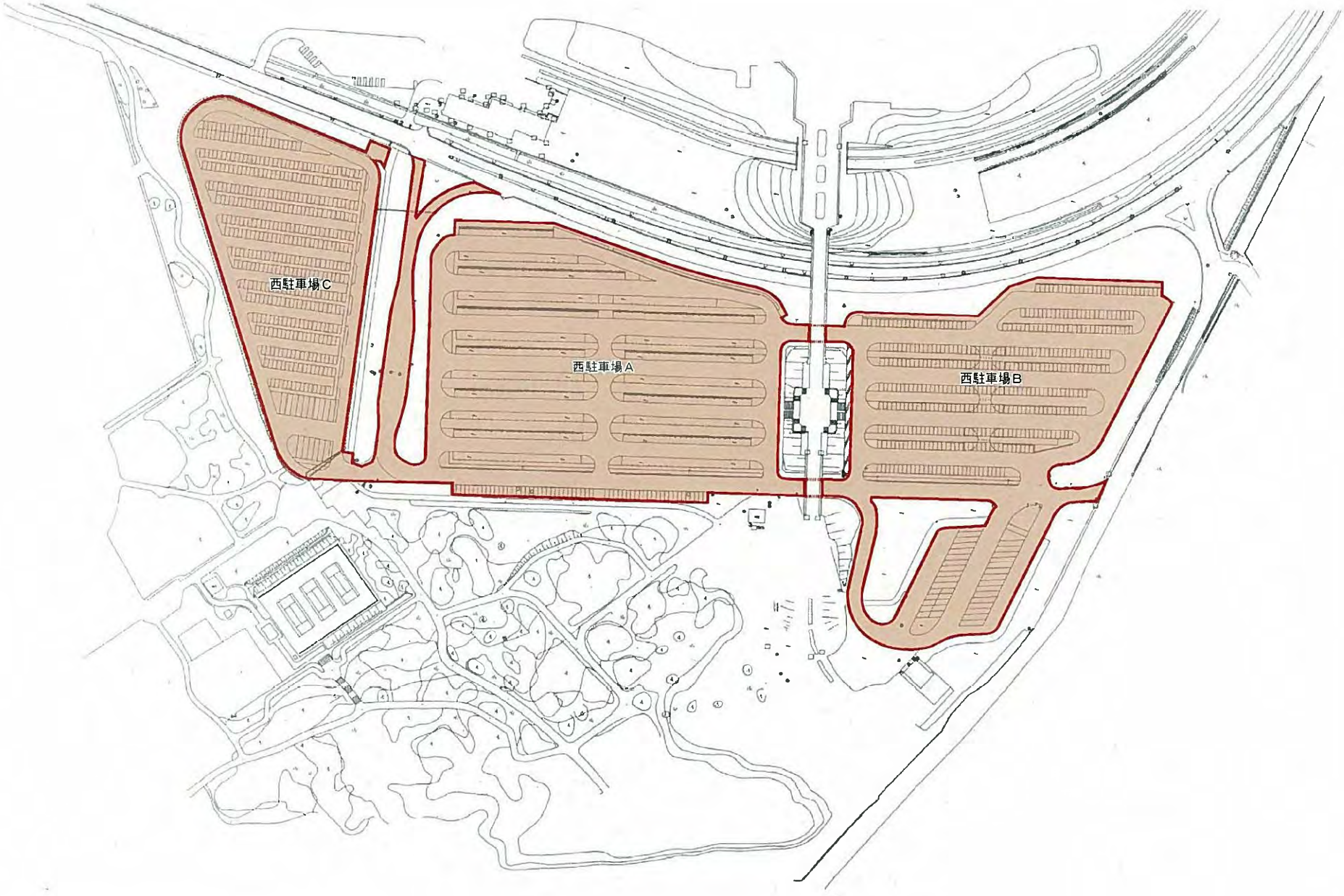

光と風の広場口サイクリングセンター
光と風の広場駐車場
アニマルミュージアムショップ（動物の森レストハウス内）
子供の広場休憩所レストラン及び売店
（ワンダーシャトル）
小型遊戯施設
ワンダーワールド口サイクリングセンター
サンシャインプール
園内交通施設車庫
駅口サイクリングセンター
大芝生広場レストハウス内売店
デイキャンプ場受付及び資材倉庫
（光と風の広場管理棟内）
デイキャンプ場倉庫
デイキャンプ場駐車場
デイキャンプ場
港サイクリングセンター（整備場）
海の中道駅口駐車場
マリンワールド駐車場横売店
ワンダーワールド口駐車場
西サイクリングセンター
西駐車場C
西駐車場A
西駐車場B
収益施設
園内交通施設バス停：13箇所

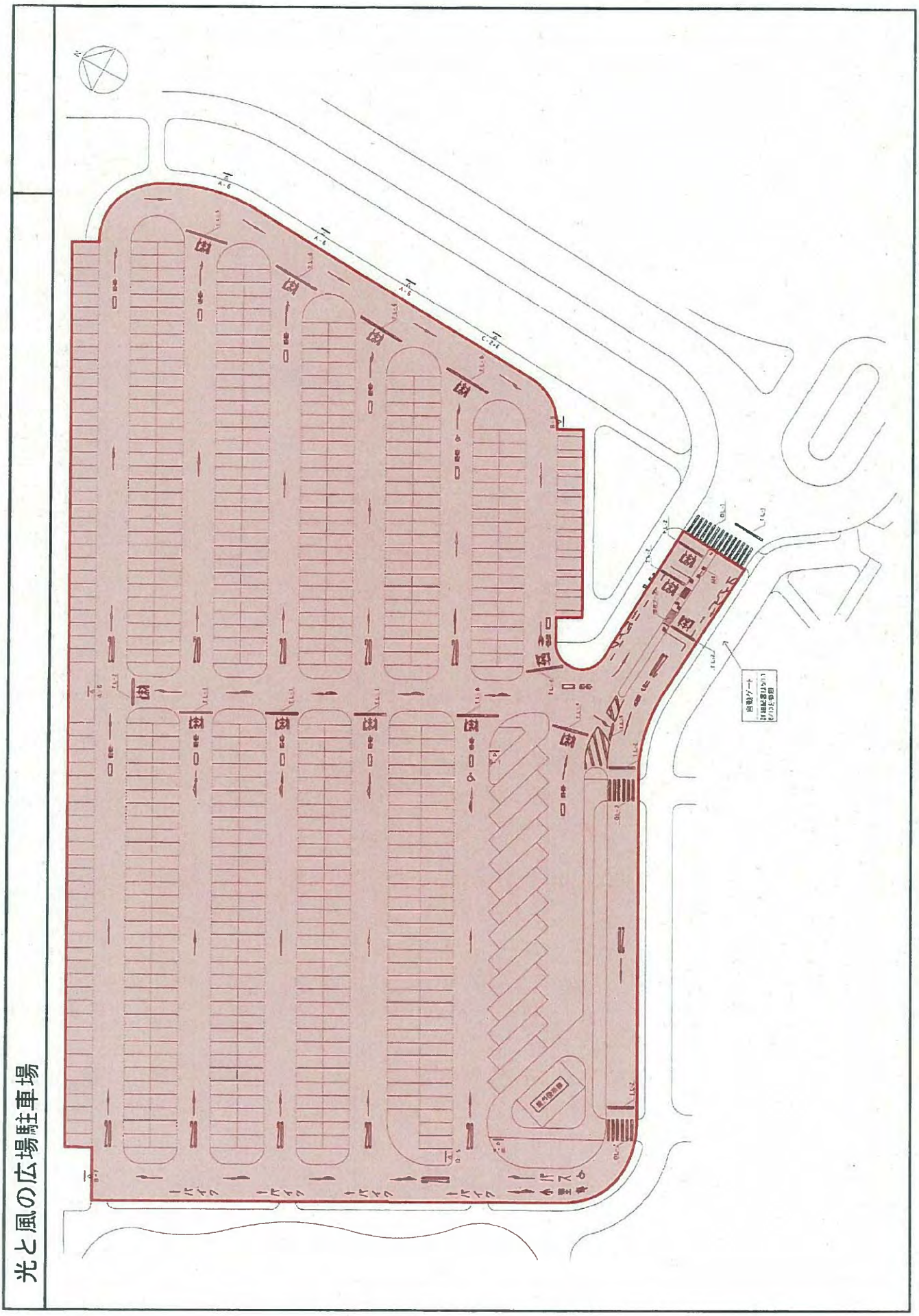
海の中道駅口駐車場、ワンダーワールド口駐車場



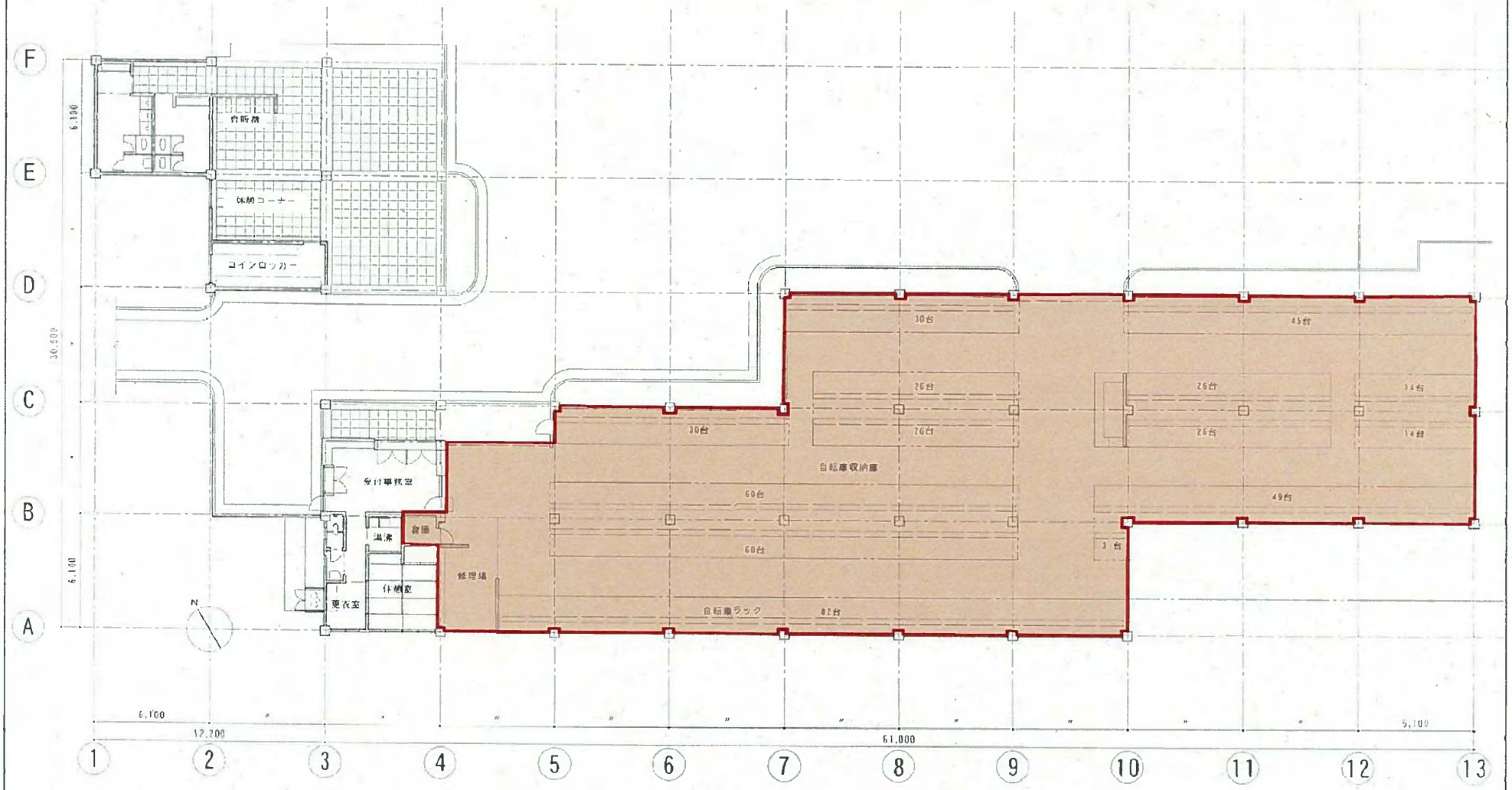
—別紙9—

西駐車場Ａ，Ｂ，Ｃ



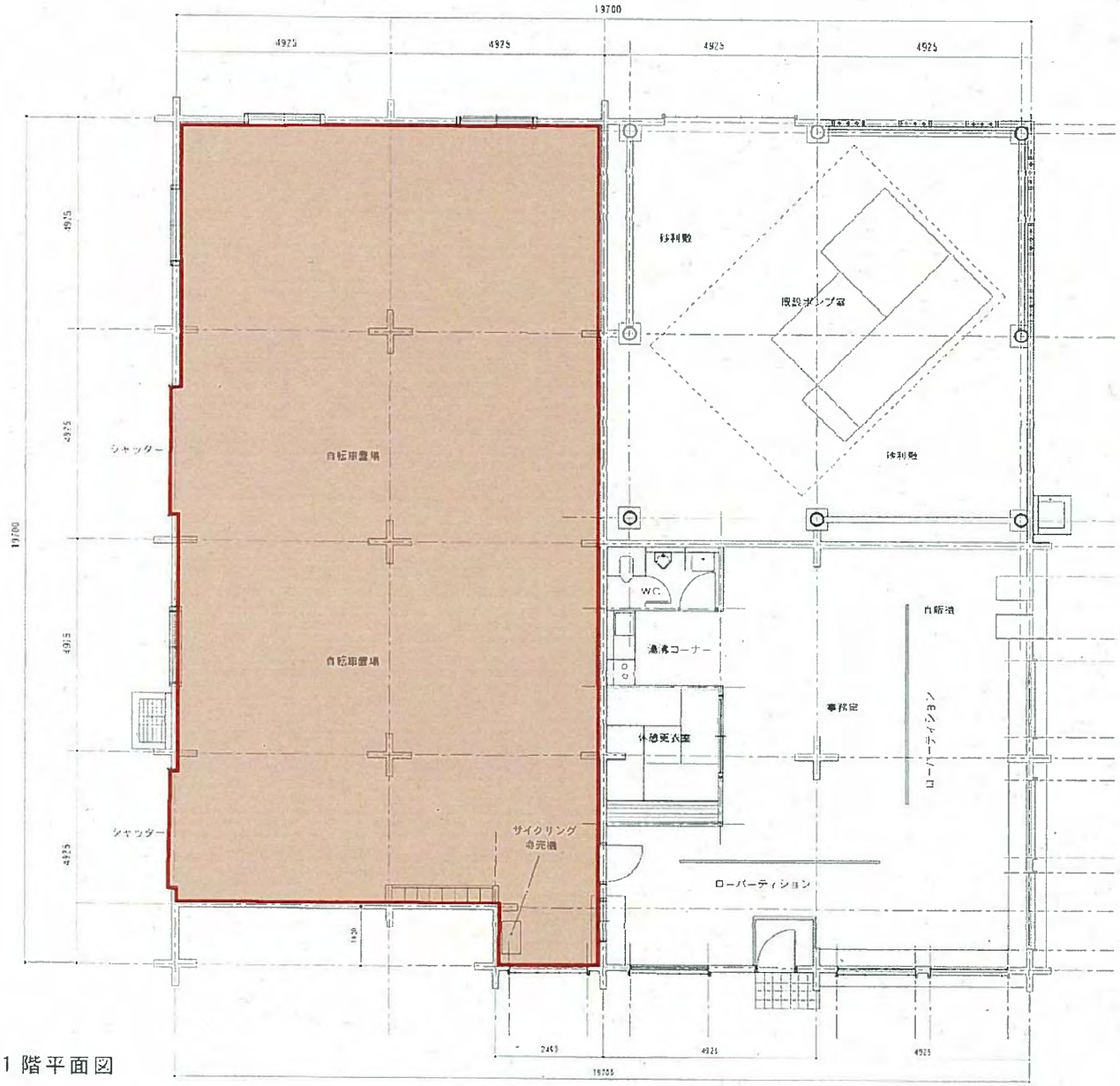

光と風の広場駐車場

西サイクリングセンター



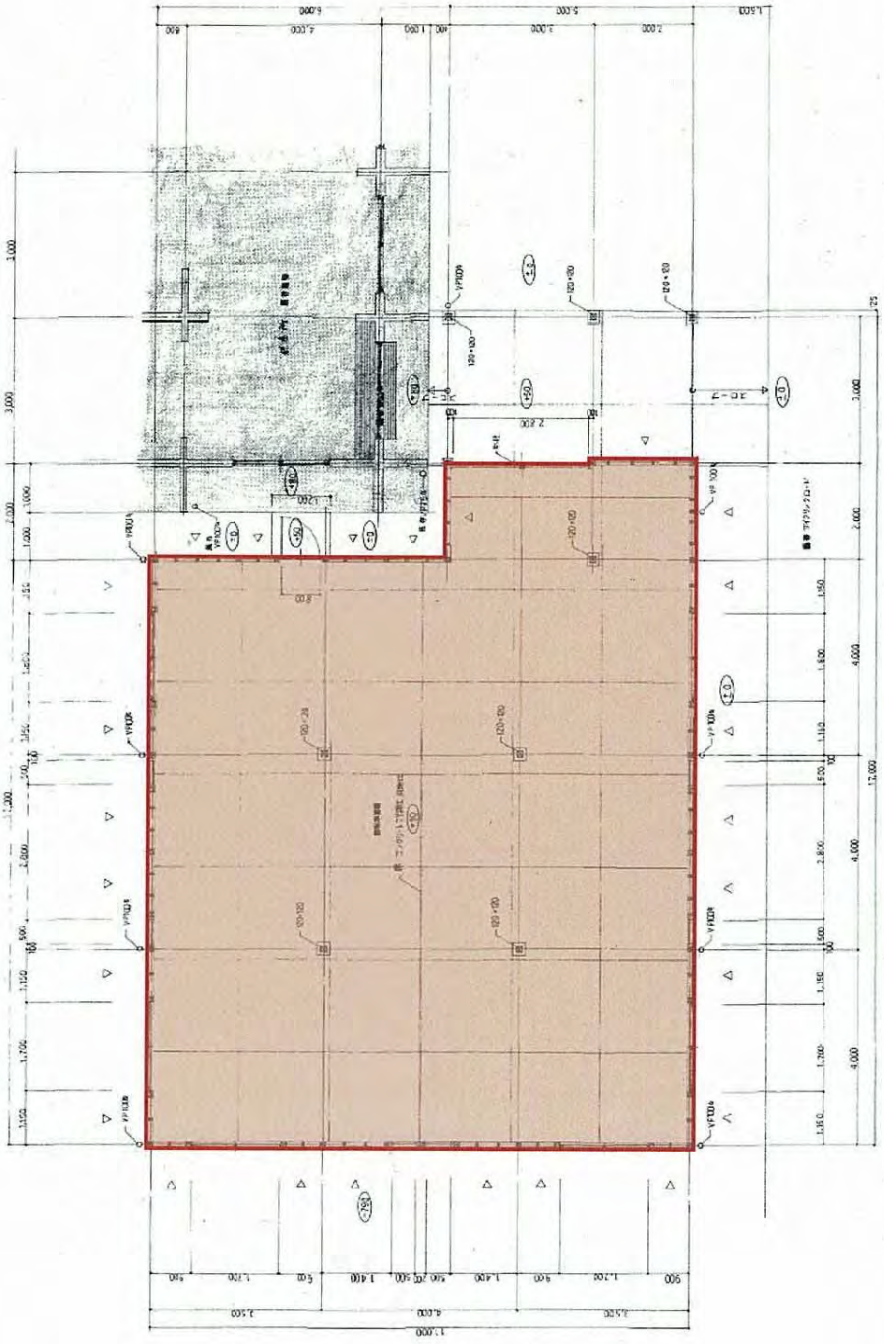
—別紙12—

ワンダーワールドロサイクリングセンター

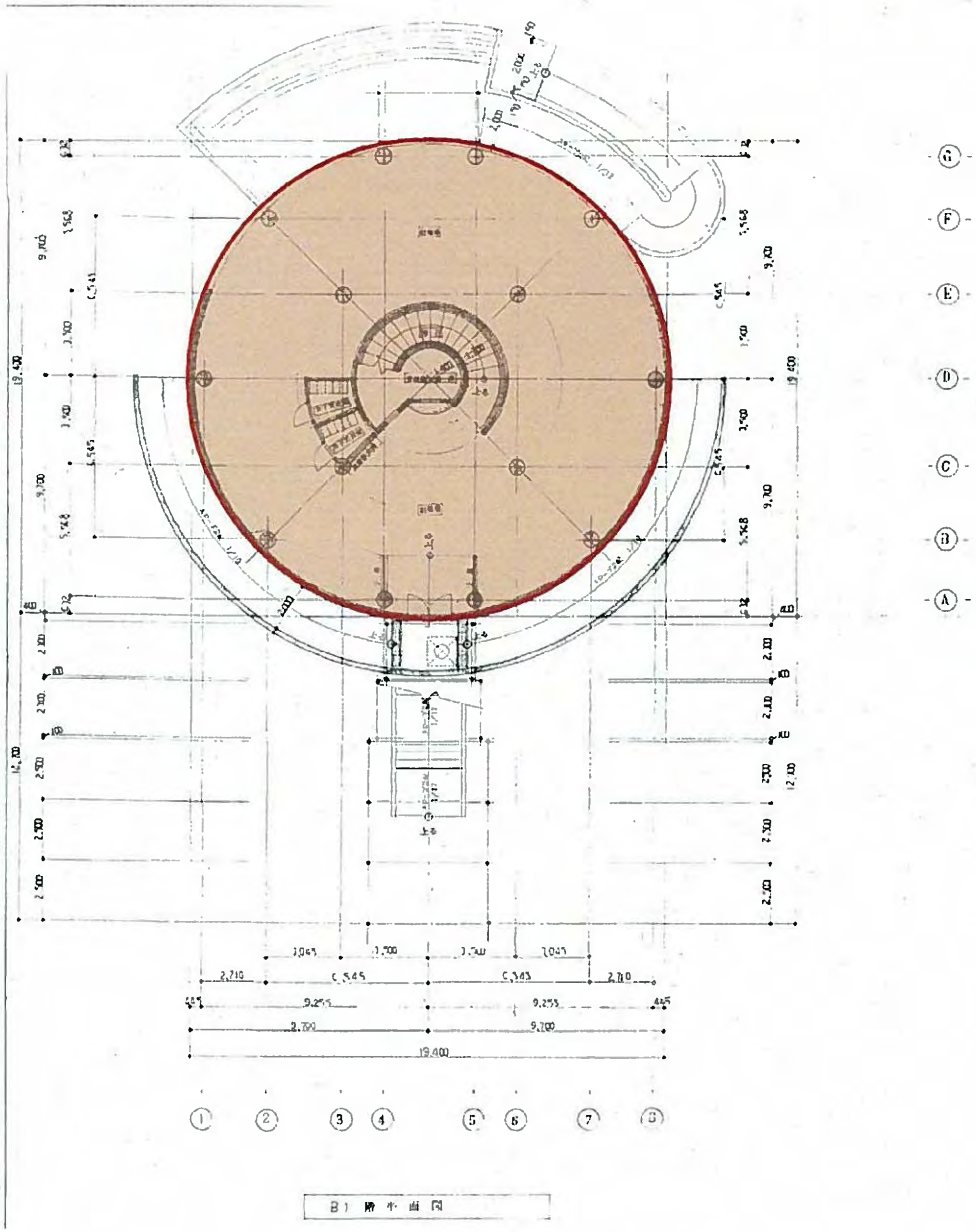


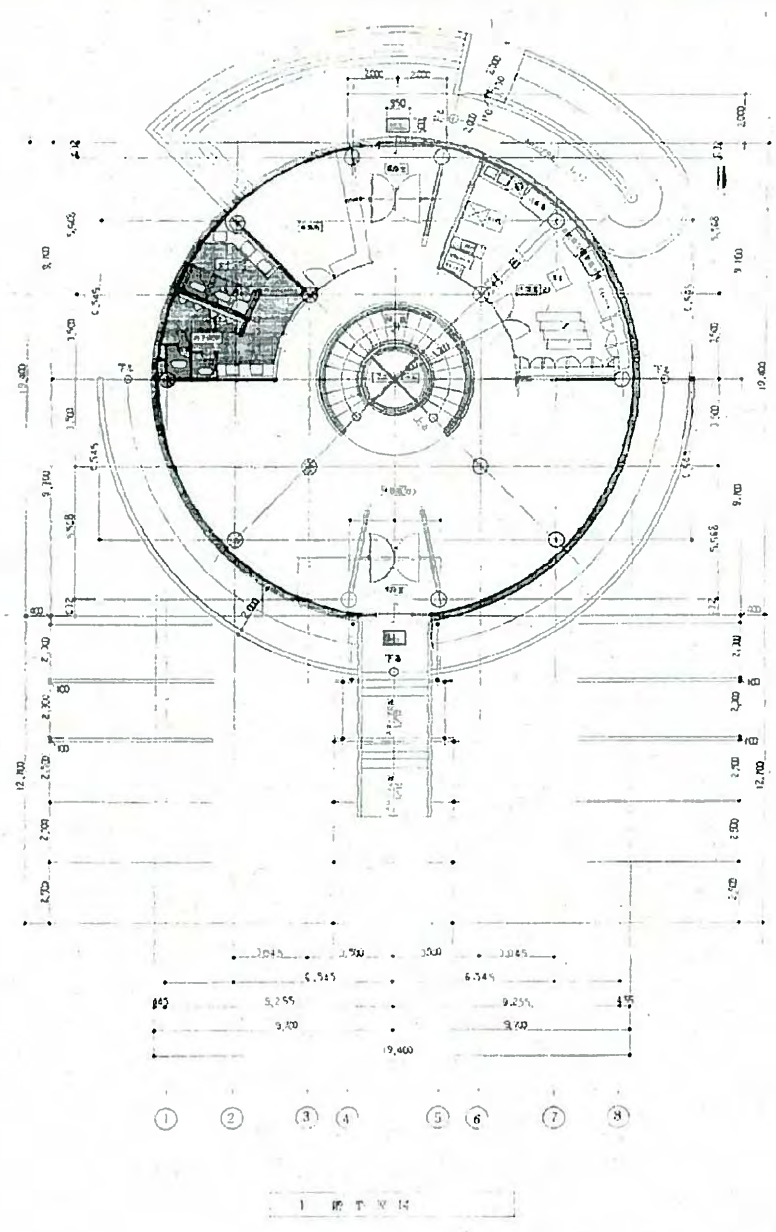
1階平面図

駅口サイクリングセンター

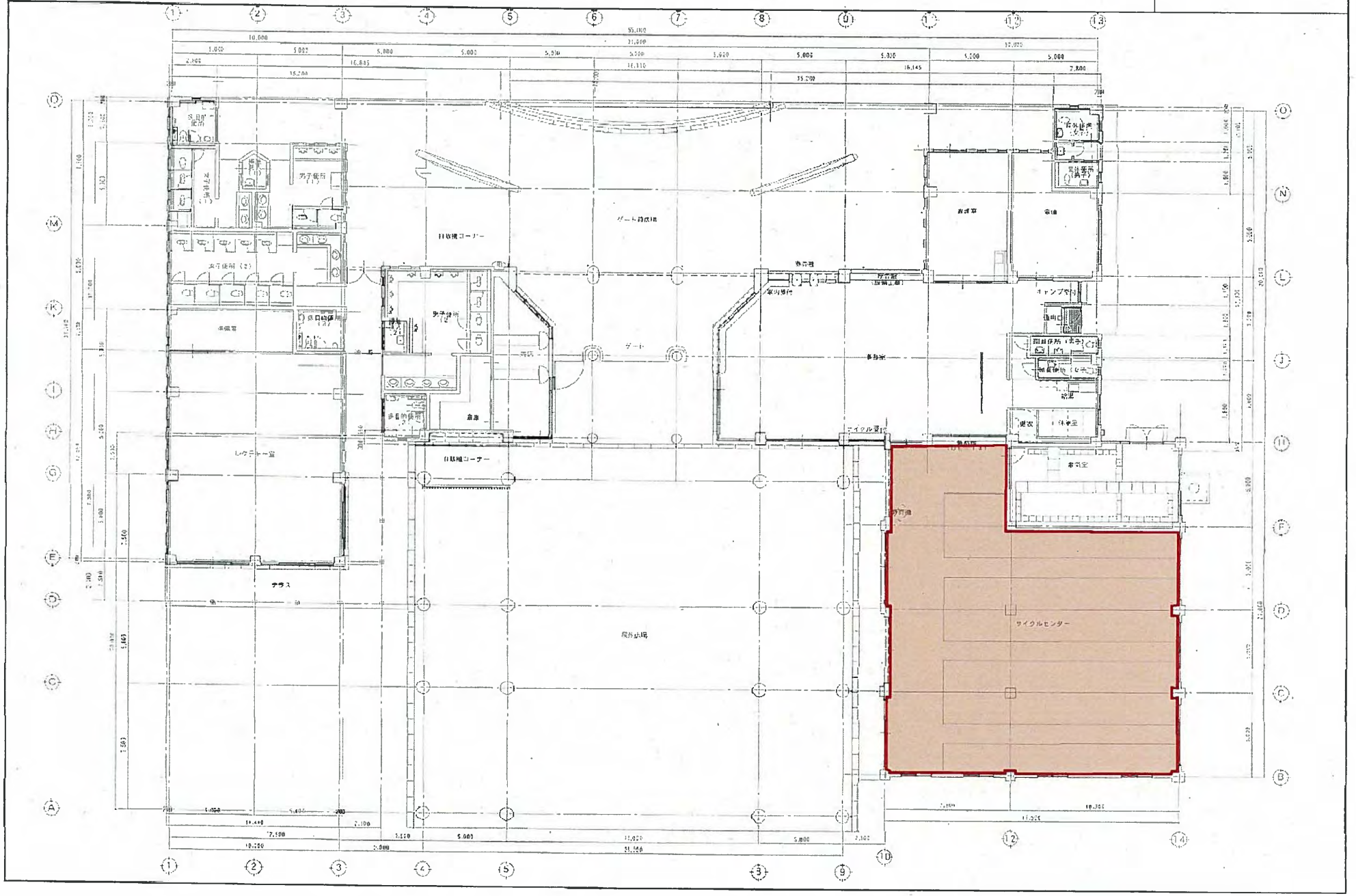


港サイクリングセンター

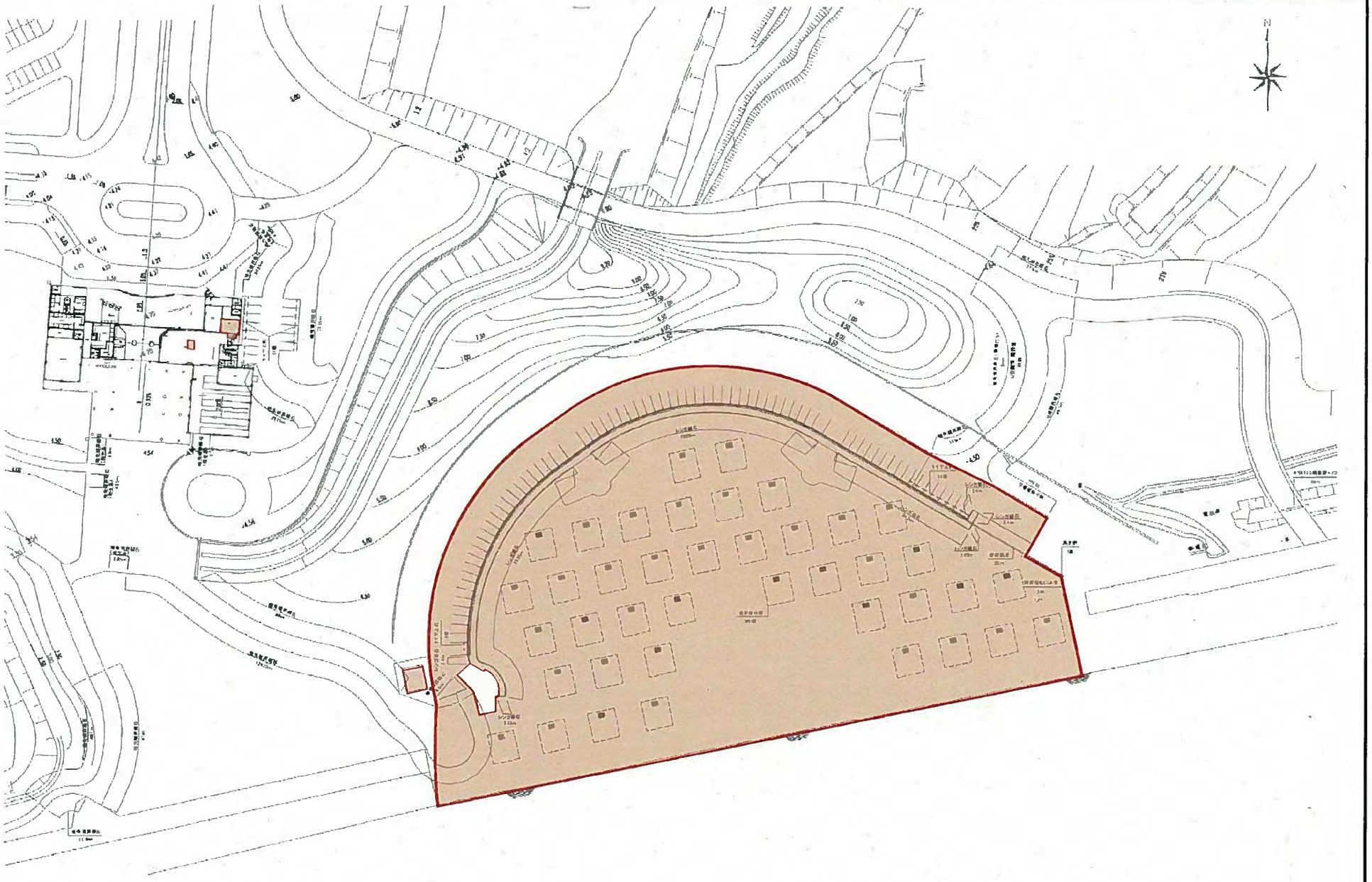




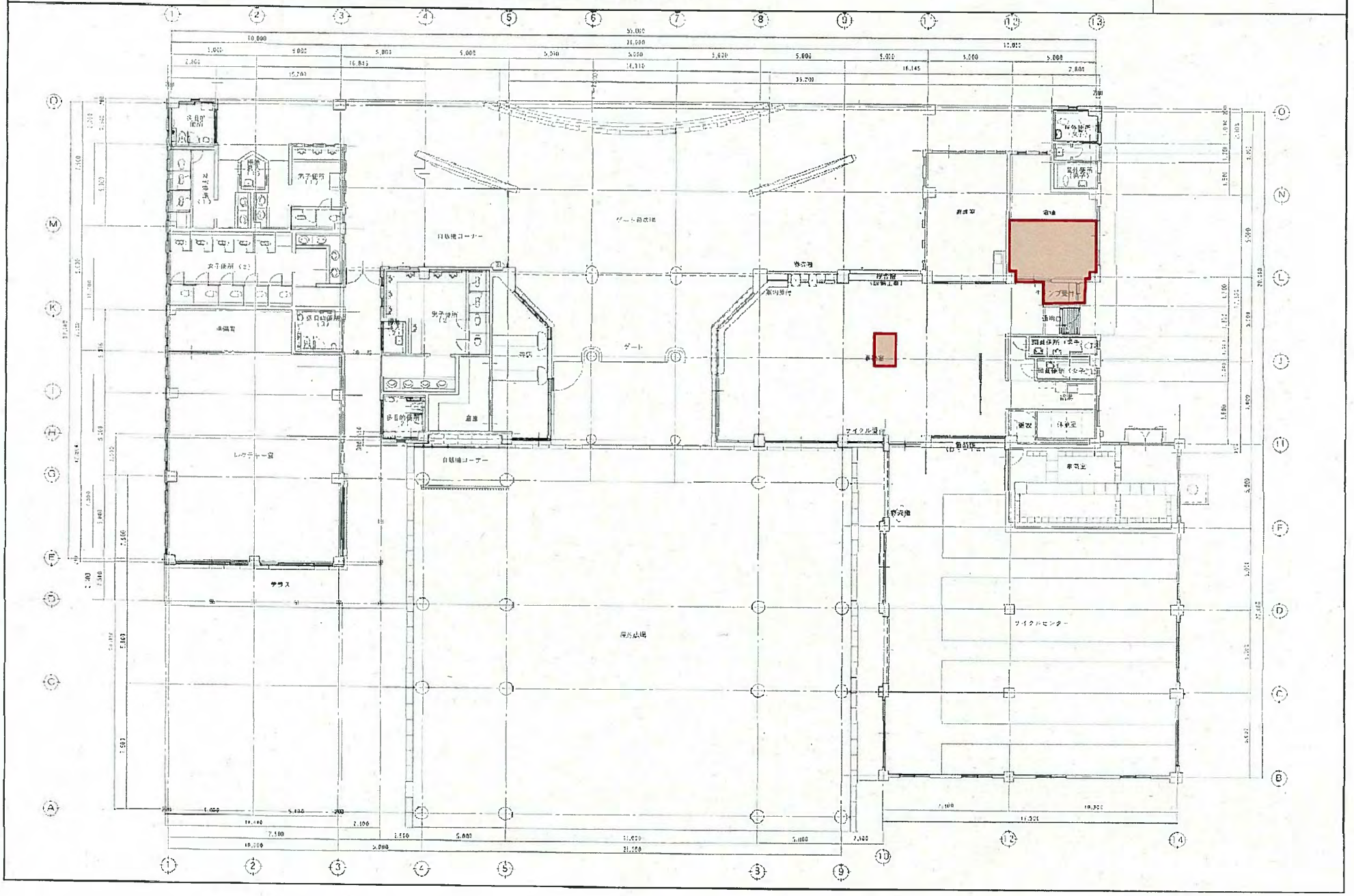
光と風の広場ロサイクリングセンター



デイキャンプ場　全体図



デイキャンプ場受付及び資材倉庫（光と風の広場管理棟内）

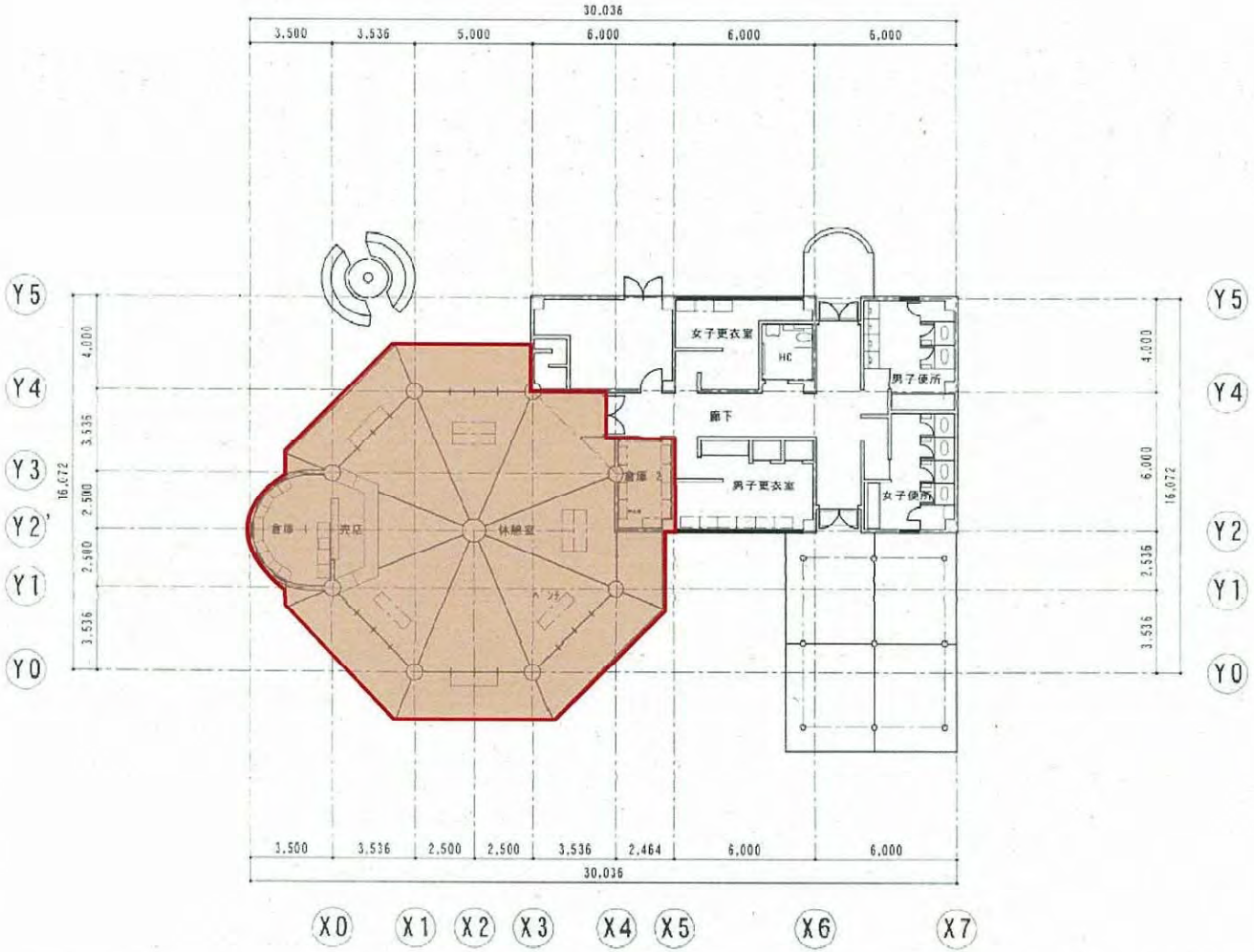


―別紙18―

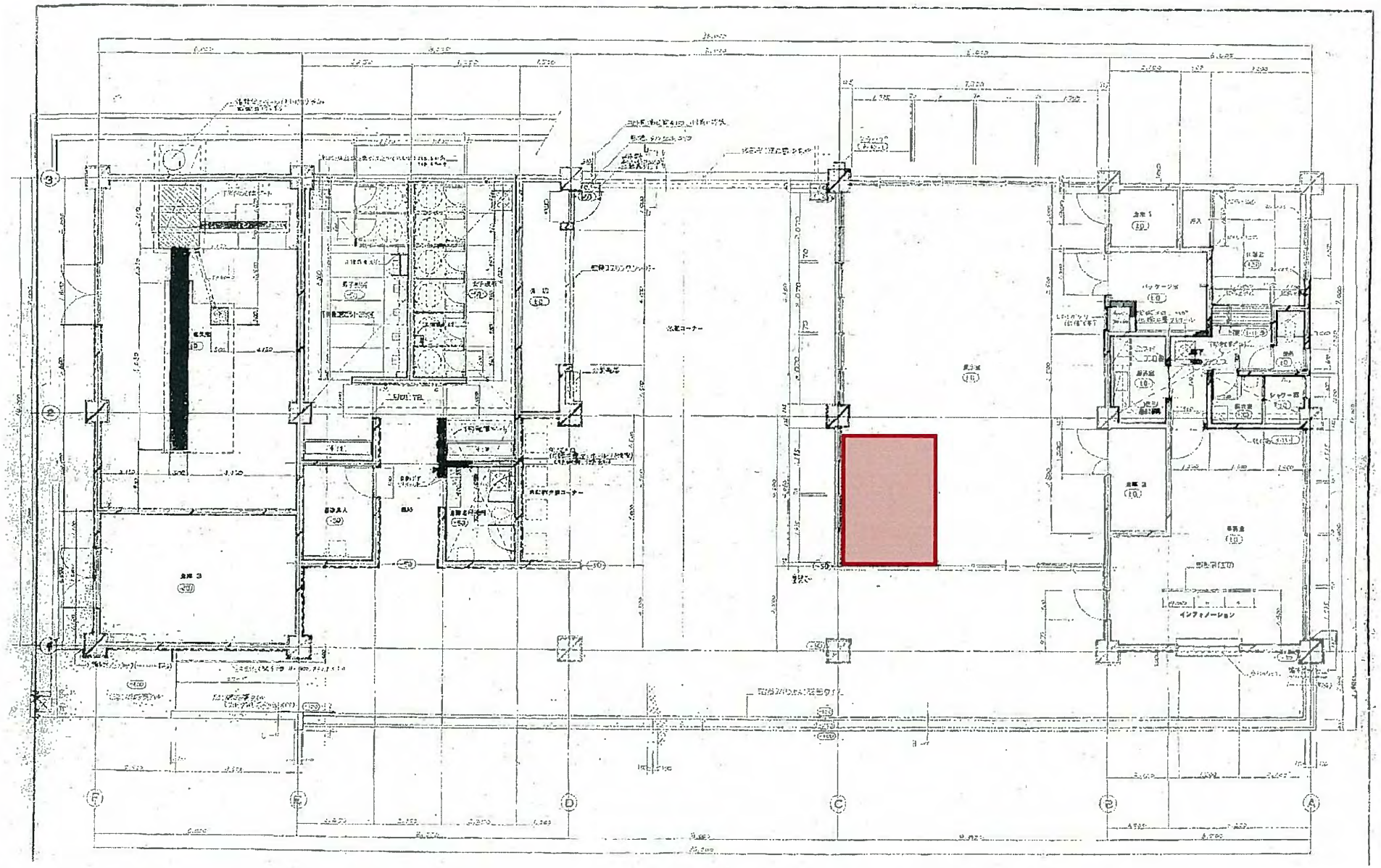
マリンワールド駐車場横売店



大芝生広場レストハウス内売店



アニマルミュージアムショップ（動物の森レストハウス内）



―別紙21―

—別紙22—

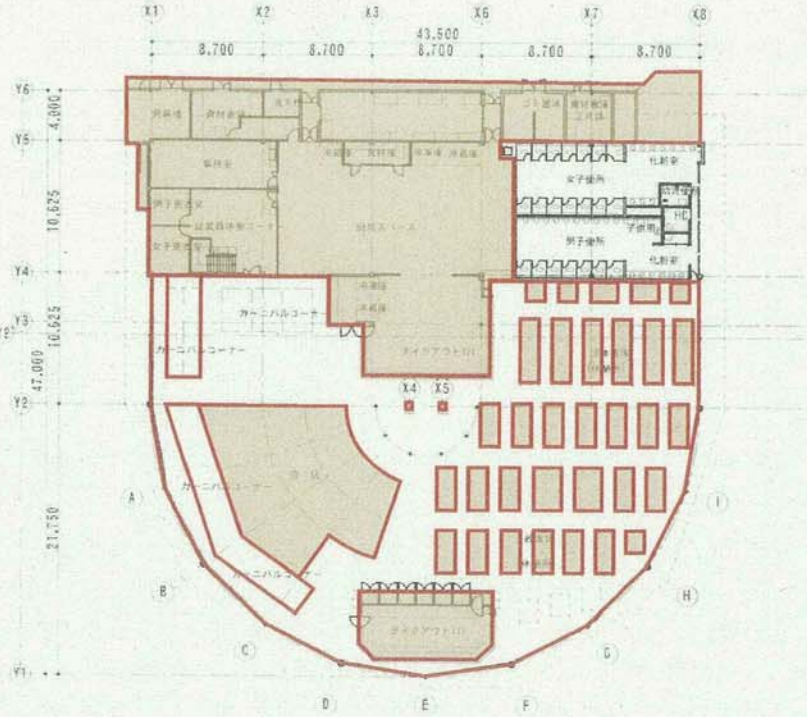
全体平面図
（サンシャインプール全体図）

S=1:1000（A1版）

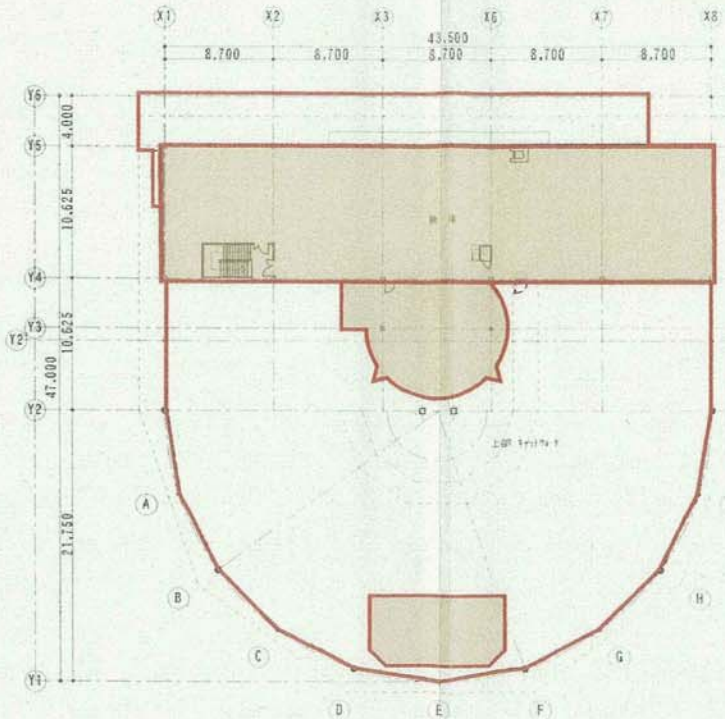


子供の広場休憩所レストラン及び売店（ワンダーシャトル）

1：400



1 階

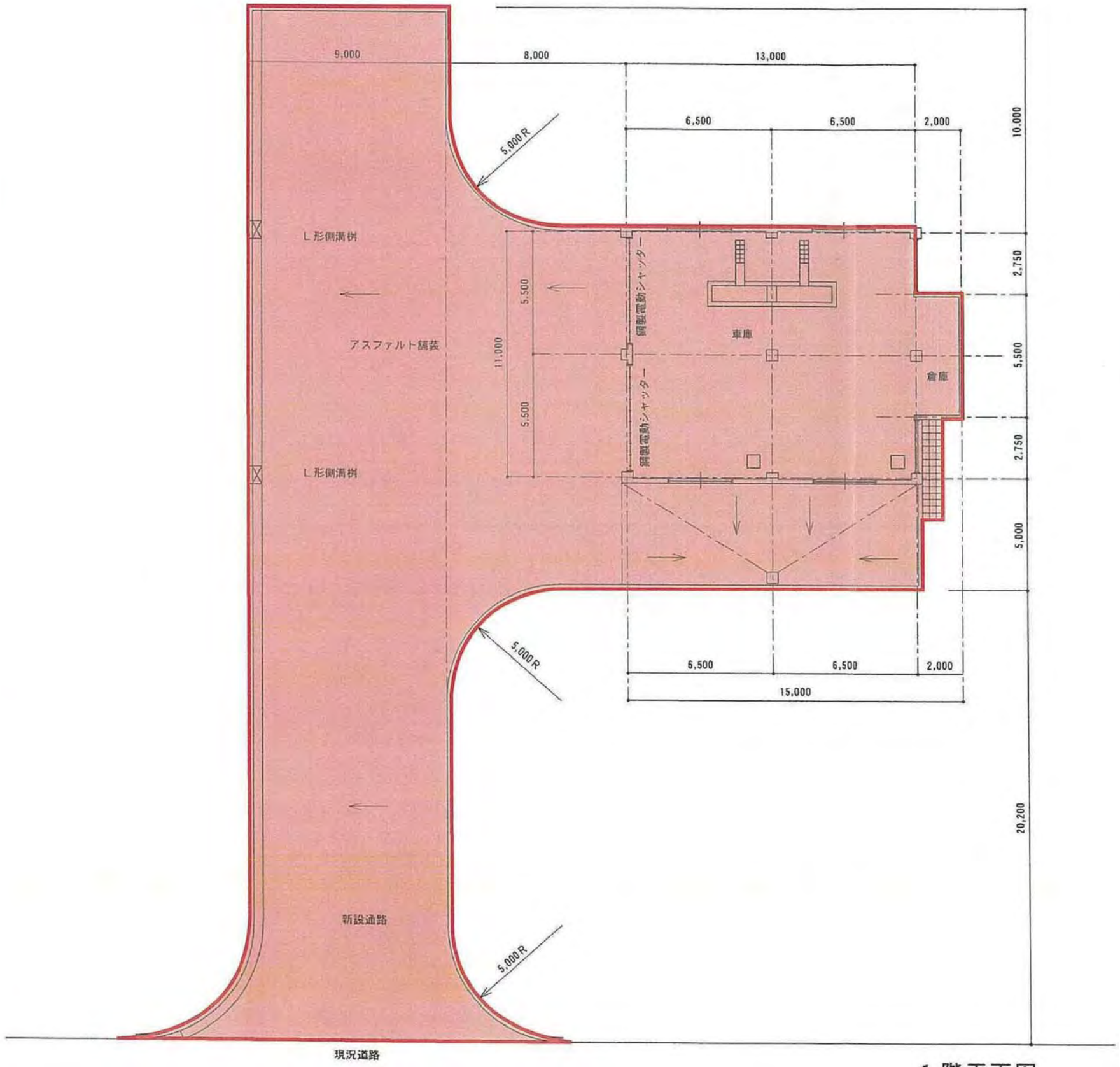


2 階

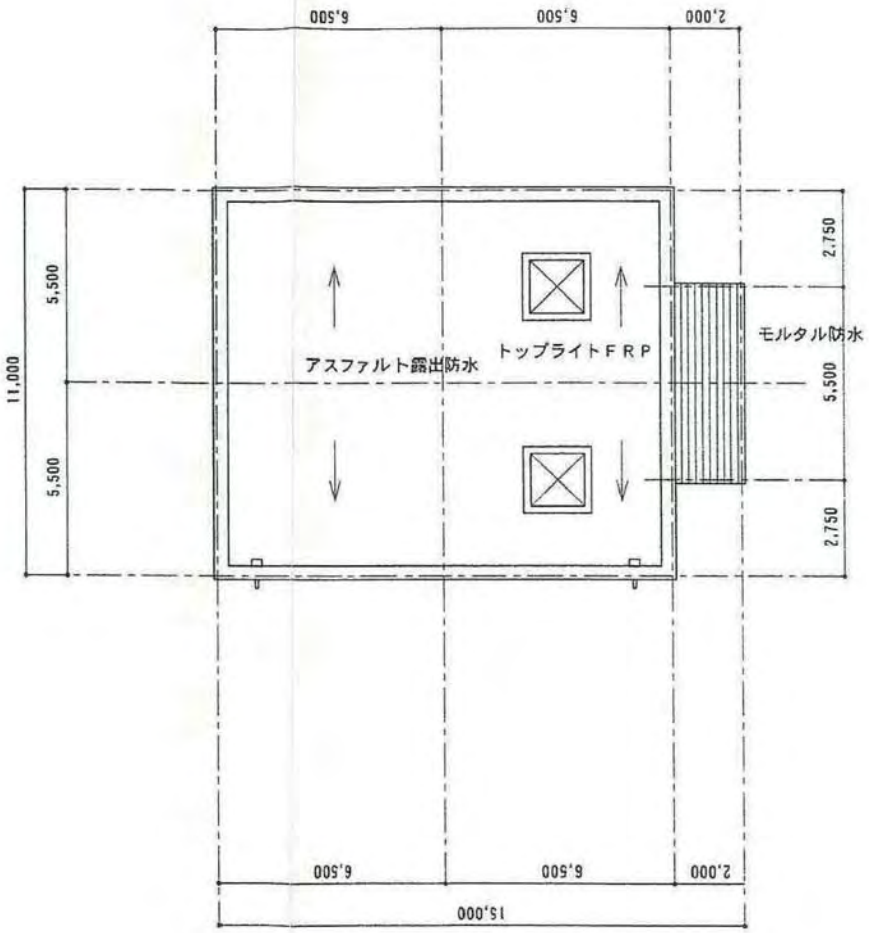
—別紙23—

園内交通施設車庫

1：200

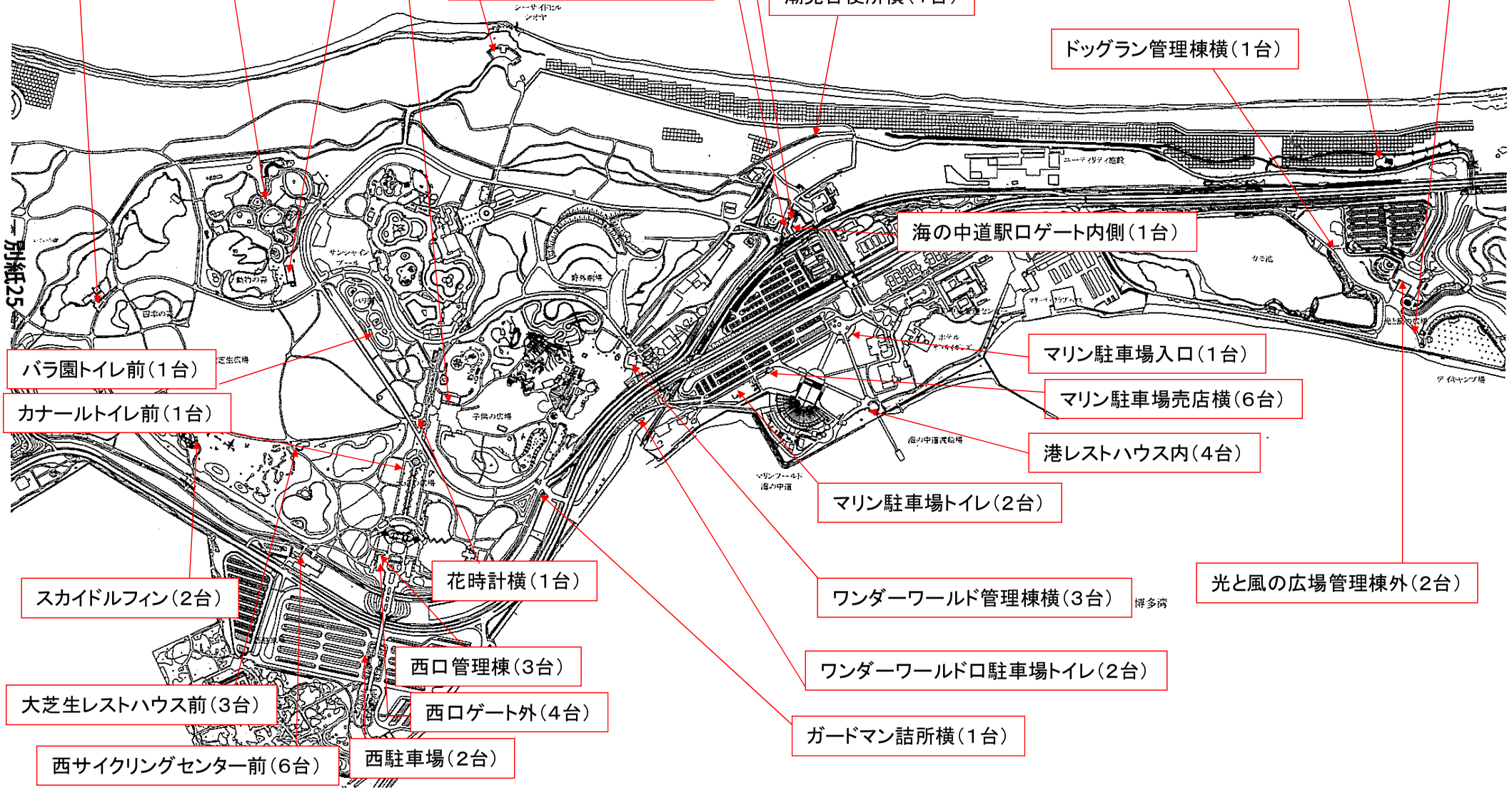


1 階平面図



屋根伏図

収益事業施設運営対象区域図
（自動販売機[清涼飲料水]）



別紙５

国営海の中道海浜公園
運営維持管理基本方針

平成２７年７月

国土交通省　九州地方整備局

目　　次

１．運営維持管理基本方針の目的・位置づけ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
１．１ 公園建設の目的及び計画理念 ・・ 1
１．２ 運営維持管理基本方針の策定の背景・目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
１．３ 運営維持管理基本方針の位置づけ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
１．４ 運営維持管理基本方針の対象 ・・ 2
２．運営維持管理の基本方針 ・・・ 3
２．１ 国営海の中道海浜公園の公園づくりの基本理念 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
２．２ 今後の運営維持管理の基本方針 ・・ 3
３．運営維持管理の重点事項 ・・ 7

１．運営維持管理基本方針の目的・位置づけ

１．１ 公園建設の目的及び計画理念

海の中道海浜公園（以下「本公園」という。）は、昭和 47 年に返還された米軍博多基地（キャンプ博多）の跡地利用について様々な検討が行われたことに端を発している。

広大で良好な自然環境を有する、玄界灘と博多湾を隔てて志賀島へ伸びる半島「海の中道」において、北部九州における広域的なレクリエーション利用、「白砂青松」の良好な自然環境の保全を目的に、大規模都市公園として昭和 50 年に都市計画決定を行い、国内第５番目の国営公園である。

その後、昭和 51 年に以下の基本理念及び基本方針が策定され、現在でも引き継がれているところである。

【海の中道海浜公園建設の基本理念】

「海の中道」の歴史的形成過程とその進化の方向性及び自然生態的段階を十分認識した上で、より積極的に高度な環境を創出することと、レクリエーション需要の増大と多様な公共レジャーの需要に対応した循環的かつ長期的に対応しうる内容と質を確保する。また、この目標は福岡県内にとどまらず広域圏を対象としてとらえるべきである。

【海の中道海浜公園建設の基本方針】

１．本公園の特色ある地形、すなわち、海の中道と称される細長い半島と、その歴史的、文化的背景に留意し、現状の自然環境を尊重するとともに、修景技術を導入して、自然の中に、自然と人との楽しい関わりあいを求めることを基調とする。

２．野外のレクリエーションを気軽に楽しみ、また自然環境の中にあって、自然学習と研修の場とする。

３．既存の自然を生かしながら、緑、芝生、花、池、丘などによって、新たなランドスケープを造成する。

１．２ 運営維持管理基本方針の策定の背景・目的

本公園は、通称「海の中道」の中央部、幅 0.5～1 ㎞、長さ約 6 ㎞の区間にわたって位置し、地形は平坦で、海浜地特有のクロマツ林を主体とした海岸線を有したいわゆる白砂青松の景観を持ち、計画面積約 539ha（ヘクタール）の広さを有し、平成 26 年度には約 205 万人が来園している。

本公園は、昭和 56 年 10 月に第１期開園し、平成 22 年 3 月には「環境共生の森（みらいの森)」、平成 23 年 3 月には「海の松原（玄界灘海浜部中央部及び西部)」を順次開園し、現在では約 293.5ha が開園している。本公園では、「基本計画」や平成 25 年に公表した「整備プログラム」に基づき、老朽化に対応した改修と維持管理を進めているところである。

一方、「公共サービス改革基本方針（H22.7.6 閣議決定)」に基づき、平成 25 年度からの維持管理業務に民間事業者も含めた総合評価による競争入札を行うこととなり、事業者に対し、維持管理業務にあたっての基本的な考え方を示す必要が生じている。

以上のような背景を踏まえ、「運営維持管理基本方針」を策定した。

１．３ 運営維持管理基本方針の位置づけ

この運営維持管理基本方針は、九州地方で第１号の国営公園である国営海の中道海浜公園が、その使命や役割を担うための運営維持管理のあり方を示したものであり、以下の内容で構成している。

①運営維持管理の基本方針

②運営維持管理の重点事項

１．４ 運営維持管理基本方針の対象

基本方針は、既に供用している全園を対象としたものである。

今後の維持管理においては、レストランや駐車場等の収益施設についても、互いに連携・調整を図りながら、効果的・効率的な維持管理に努めるものとする。

２．運営維持管理の基本方針

２．１ 海の中道海浜公園の公園づくりの基本理念

本公園では、これまで、上述した設置目的・計画理念に基づく公園づくりを進めてきた。今後は、社会情勢の変化などを背景として整備及び運営維持管理を進めていくこととなるが、設置目的・計画理念については共通した考え方として今後 3 年間も継承していく。

２．２ 今後の運営維持管理の基本方針

本公園は、その存在価値や利用価値を、継承・連携・発信していくことにより、良好な自然的条件を有効利用し、多様なレクリエーションの需要に対応する都市公園としての役割を担う公園である。

公園の存在価値とは、社会資本である公園が公共の福祉の増進等に貢献する機能や施設を有していることであり、公園の存在自体に価値があることである。この存在価値は、市場原理になじみにくく、持続的に維持しなければならない根元的なものである。

一方、利用価値とは、存在価値を維持した上で、公園施設や機能を活用した様々な活動が豊かに展開される公園の利用環境を意味している。この利用価値は、多様な主体の知恵や工夫を活用して、安全、安心、快適な公園環境を創出していかなければならないものである。

この存在価値や利用価値を継承・連携・発信していくためには、国営海の中道海浜公園を運営維持管理・利用する多様な主体（国、運営維持管理事業者、ＮＰＯ、ボランティア、利用者等）が、今後の国営海の中道海浜公園のあるべき目標・将来像を共有し、国営海の中道海浜公園のさらなる魅力向上に向けた取組を推進していく必要がある。

そのため、今後の国営海の中道海浜公園における運営維持管理の基本的な方針として、以下に示す基本方針を設定した。

基本方針１）広域レクレーション需要への対応

玄界灘と博多湾に挟まれた広大で豊かな自然環境を活かしつつ、サンシャインプールや海洋生態科学館等の本公園に存する多様な施設との連携を図りながら、本公園が持つ資源を最大限活用するとともに、多様な主体と連携し、季節に応じた多種・多様な行催事を実施することにより、北部九州並びにより広域に居住する人々にとって魅力ある公園とする。

基本方針２）環境共生の取り組み

本公園の豊かな自然環境や多様な施設を活かし、環境教育の場としての機能の強化、植物性廃材の活用等によるゼロ・エミッションの推進、地域住民との協働による新たな森づくり等、地域の環境を向上させる取組を発展させていくことにより、環境共生の取組の拠点となる公園とする。

基本方針３）ユニバーサルデザインの積極的な取り組み

公園利用者へのホスピタリティーの向上に努めるとともに、子供の広場等のユニバーサルデザインに配慮した多様な公園施設にあわせ、公園利用者の活動に応じたハード面及びソフト面での取組を充実することによって、年齢、国籍、障がいの有無を問わず、すべての人々が様々な活動を楽しむことが出来る公園とする。

基本方針４）来園者の安全・安心の確保

様々な活動が行われる本公園において、利用者の安全を確保する際には、単に活動を規制するのではなく、巡視活動や安全指導等により、本公園の施設特性を活かした安全対策となるよう努める。また、地震・津波等の大規模災害の発生や口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の動物感染症発生等の非常時に適切かつ迅速な対応が可能となるよう、日頃から防災意識の向上に努めるとともに、関係機関との連携の構築に努める。

３．運営維持管理の重点事項

２．で定めた基本方針と併せ本公園の運営維持管理にあたり重点的に取り組む事項を整理した。

（１）　大規模花修景を活かしたイベントの開催

春期・秋期の利用実態調査において、「花がきれいだから」が来園動機の１位となっている状況を踏まえ、年間を通して魅力の高い花修景、花壇・花畑等（除草、枯れた花弁の摘花、灌水、花壇周辺の樹木の剪定等）の管理を行う。

特に、都市緑化月間の推進・啓発を目的とした、春期の「フラワーピクニック」秋期の「うみなか☆はなまつり」では、花の丘、花桟敷、おもちゃ箱花壇、虹の花壇、彩りの花壇を中心に来園者満足度の高い花修景を実施する。

（２）　「動物の森」の資源を活かした展示・イベントの実施

年間を通じて公園利用者のうち３割強の方に利用頂いている「動物の森」において、人と動物がふれあい、観察することによって、その生態や命の尊さ学ぶことができる展示やイベントを実施する。また、ふれあいを基本とした展示を行うことから、動物の健康状態を十分に把握し、常に良好な状態で飼育展示・育成・繁殖等を行うことはもとより、「動物の森」のすべての施設を清潔かつその機能を正常に保持する。

（３）　市民参加による一（いち）からの森づくり

地域の自然特性と生態系に沿った多様性のある森を創造し、その過程の中で人と自然の関わりについて実感できる場という「環境共生の森（みらいの森）」のコンセプトに沿って、市民参加による一（いち）からの森づくりや田畑（里山）づくりを進める。また、その実施にあたっては、ボランティアとの協働を基本とする。

（４）　海浜部のクロマツ林の保全・育成

本公園のクロマツ林と白い砂浜の織りなす風景は、「白砂青松」 100 選に選ばれる等美しい景観を形成しているとともに、防風・防砂といった防災・気象緩和機能も有していることを念頭に適切な保全・育成を行う。

（５）　環境学習プログラムの提供

本公園の広大で良好な自然環境と多様な施設を活かしつつ、子ども達が自然とのふれあいを通して環境の大切さや生物の命の尊さについて学ぶことができる環境学習プログラムを提供する。

（６）　子育て世代の来園者への支援の充実

本公園には、福岡市が推奨する赤ちゃんの駅に登録された授乳室が６箇所あり、利用者の声等をもとにハード・ソフト両面での充実を図っていく。また、子育て支援の主催イベントの企画や持込イベントの誘致なども積極的に実施する。

（７）　シルバー層（65 歳以上）への配慮

日除け（緑陰など）やベンチ・椅子の適正配置や園内移動手段の充実などで園内の移動円滑化に十分配慮を行う。また、「花がきれいだから」「家族と一日遊べるから」等シルバー層の来園動機となっている事項について、より一層の充実を図る。

（８）　障がい者への配慮

施設やイベント毎に利用可能情報等をＨＰや紙媒体の広報物等に掲載し、障がい者自ら（介助者含む。）が公園利用の可否を判断できるよう配慮する。また、参加型プログラムの充実、公園スタッフのサポート技術の向上、簡易なバリアの解消等、障がい者が公園で楽しめるようユニバーサルデザインを意識した取組みを推進する。

（９）　津波対策

東日本大震災を教訓に平成 23 年度に本公園において、シミュレーションを行った上で作成した津波対策マニュアルに従い、園内における海抜表示等のハード面の対応及び来園者の避難誘導や園内放送などのソフト面の対応両面について適切に対応するものとする。

(10)　高病原性鳥インフルエンザ対策

高病原性鳥インフルエンザの対応については、「動物の森」が発生源とならないよう常日頃から万全な自主防疫に努めること。また、家畜伝染予防法及び各所管官庁（家きん類が農水省（家畜衛生保健所）、非家きん類の飼育鳥が環境省（動物管理センター）、非家きん類の野鳥が環境省（保険福祉環境事務所））の対応マニュアルに基づき作成した自主防疫指針及び園内及び 10㎞圏内発生時の対応マニュアルに基づき適切に対応する。

(11)　口蹄疫等対策

口蹄疫等動物に関わる感染症について、「動物の森」が発生源とならないよう常日頃から万全な自主防疫に努めること。また、家畜伝染予防法に基づき対応するとともに、周辺地域の発生・拡大等を受けて関係機関より通知等があった場合には、調査職員等と協議し適切かつ迅速に対応する。

H28-31

国営海の中道海浜公園運営維持管理業務
共通仕様書

平成 27 年 7 月

国土交通省九州地方整備局

第１章 総則
第１条 目的

国営海の中道海浜公園（以下「本公園」という。）は、良好な自然環境を活用し、九州地方の広域的なレクリエーション需要に対応するために国が設置したイ号国営公園※である。（別添１「公園平面図」参照）

本公園では、以下の計画理念、テーマのもとに総合的に整備、管理、運営を進めている。（別紙５「国営海の中道海浜公園運営維持管理基本方針」参照。）

１）計画理念

(1) 広域生活圏居住者の日常及び週末あるいは滞在型のレクリエーション需要に対応するため、多様性、選択性に富んだ諸施設を配置する。

(2) レクリエーション施設としては、自然に親しみ、休養を目的とするパッシブなレクリエーション面と、運動を目的とするアクティブな施設を選択、配置し、設計にあたっては総合的な土地利用を配慮して、既存集落、産業との調整を図りつつ地域の開発に寄与するものとする。

(3) 地区の風土を生かし、文化財の保護にも留意して特色ある設計を行う。

(4) 自然保全については園内における利用施設との調和はもちろん、良好なレクリエーション環境の育成のためにレクリエーション拠点の周辺には保全区域を配置する。

(5) 良好なレクリエーション環境を整備するため、街路、下水道等の基盤整備を配慮する。

２）テーマ

下記の３つのテーマを基調に、全体的な調和を図りながら、新たなランドスケープを創造し、一貫した統一体として有機的に機能させることを目指している。

(1) 緑の樹林

(2) 碧い海

(3) 輝く太陽

昭和56年の開園時から平成26年3月末までの公園利用者数累計は、約5,500万人であり、平成26年度には年間約205万人の方々に利用されている。

本業務は、本公園において、国の組織である国事務所との調整の下で、九州における広域レクリエーション需要に対応するために設置された国営公園であることを踏まえ、より多くの利用者が安全で快適に利用できるよう、公園利用者サービスや利用指導を図るとともに、公園の質的レベルを維持、向上させ、本公園全般にわたり、動物・植物等の公園資産を保全、増進させることを目的とする。

※イ号国営公園とは一の都府県の区域を超えるような広域の見地から設置する都市計画施設である公園又は緑地

第２条 適用及び用語の定義

本仕様書は、H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務のうち「本業務全体の計画立案及びマネジメント業務」、「企画運営管理業務」、「施設・設備維持管理業務」、「植物管理業務」及び「動物管理業務」（以下「本業務」という。）に適用する。

なお、本仕様書に用いる用語の定義は、次の各号に掲げるとおりである。

１）「九州地方整備局」とは、国営公園の管理主体者である九州地方整備局長及び本公園事務所長のこと。

２）「調査職員」とは、契約図書に定められた範囲内において、事業者又は事業者の指定する職員

に対する指示、承諾又は協議等の職務を行う九州地方整備局の指定する職員で、総括調査員、主任調査員及び調査員を総称していう。なお、事業者には主として主任調査員及び調査職が対応することとなる。

3）「検査担当者」とは、本業務に関する検査を行う九州地方整備局の指定する職員をいう。

4）「事業者」とは、本公園の運営維持管理者として、本業務を受注した者のこと。

5）「公園利用者」とは、有料区域・無料区域を問わず、本公園を利用する者のこと。

6）「自主事業」とは、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、収益施設等運営者が九州地方整備局及び調査職員と事前に協議し、都市公園（昭和31年法律第79号）法第５条、第６条又は第12条に基づく許可を受けた上で、施設等運営者の提案により土地使用料等を納めて独立採算により臨時飲食・物販及び臨時駐車場の運営・管理や行催事・広報等を行う事業のこと。

7）「収益施設」とは、利用料金の徴収や売上金を得て施設等運営者の収入とするために施設等運営者が実施する事業の対象となる施設であり、その使用にあたっては、都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第５条に基づく許可を受けた上で、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、施設使用料または建物使用料及び土地使用料を納めることが必要となる場合がある。

8）「入園料」とは、都市公園法施行令（昭和31年政令第290号）第20条第２項及び都市公園法施行規則（昭和31年建設省令第30号）第11条第２項に基づき、有料区域を利用する者から徴収する料金のこと。

9）「利用料金」とは、収益施設等の使用やそれに伴うサービスの対価として、収益施設等を利用する者から徴収する料金のこと。

10）「施設使用料」とは、都市公園法施行令（昭和31年政令第290号）第20条に基づき、施設等運営者が九州地方整備局に納める公園の土地または建物の使用にかかる料金のこと。

11）「建物使用料及び土地使用料」とは、本公園の土地または建物を使用して臨時的な飲食・物販施設等を設置する場合に、「行政財産を使用又は収益させる場合の取り扱いの基準について」（昭和33年蔵管第１号）に基づき九州地方整備局から金額を通知し、施設等運営者が九州地方整備局に納める料金のこと。ただし、公共性の高い行催事を国営海の中道海浜公園事務所との共催により行う場合は、建物使用料及び土地使用料は不要となる場合がある。

12）「業務責任者」とは、本仕様書の第11条に示す業務内容である本業務全体のマネジメント及び企画立案、施設・設備維持管理、植物管理、動物管理の個々の業務遂行を監理するもののこと。

13）「総括責任者」とは、本業務全体を監理するものであり、業務責任者のうち、本業務全体のマネジメント及び企画立案の業務責任者をもってそれにあてること。

14）「スタッフ」とは、事業者が業務を履行するための職員、アルバイト、その他関係従事者をいう。

15）「管理物件」とは、別添１「公園平面図」に示す敷地及び附属設備を指す。なお、同敷地内であっても、第三者が持ち込み、または、管理許可を受け、もしくは占用している設備・機器、工作物等については、その対象から除外する。

16）「国事務所」とは、国土交通省九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所のこと。

17）「管理事務所」とは、別添３「提供施設一覧及び図面」のうち建物番号21に関連する図面を指す。

18）「管理センター」とは、管理事務所を拠点として本業務を遂行する組織のこと。
19）「修繕」とは、施設の劣化した部分又は部材について、性能又は機能を原状あるいは事実上支障のない状態まで回復させること。
20）「改修」とは、施設の性能又は機能を従前より向上させる措置を行うこと。
21）「保守」とは、機器等の必要とする性能または機能を維持する目的で行う消耗品または材料の取り替え、注油、汚れ等の除去及び部品の調整等の軽微な作業を行うこと。
22）「点検」とは、施設の機能及び劣化の状態を一つ一つ調べることをいい、機能に異常又は劣化がある場合、必要に応じて対応処置を判断する事を含む。
23）「指示」とは、九州地方整備局若しくは調査職員が事業者に対し、業務の遂行上必要な事項について書面をもって示し、実施させることをいう。
24）「通知」とは、九州地方整備局若しくは調査職員が事業者に対し、又は事業者が九州地方整備局若しくは調査職員に対し、業務に関する事項について、書面をもって知らせることをいう。
25）「報告」とは、事業者が九州地方整備局若しくは調査職員に対し、業務の遂行に係わる事項について、書面をもって知らせることをいう。
26）「承諾」とは、事業者が九州地方整備局若しくは調査職員に対し、書面で申し出た業務の遂行上必要な事項について、九州地方整備局若しくは調査職員が書面により業務上の行為に同意することをいう。
27）「協議」とは、書面により契約図書の協議事項について、九州地方整備局若しくは調査職員と事業者が対等の立場で合議することをいう。
28）「提出」とは、事業者が九州地方整備局若しくは調査職員に対し、業務に係わる事項について書面又はその他の資料を説明し、差し出すことをいう。
29）「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記録し、署名又は捺印したものを有効とする。ただし、緊急を要する場合は、ファクシミリまたは電子メールにより伝達できるが、後日有効な書面と差し替える。電子納品を行う場合は、別途調査職員と協議する。
30）「検査」とは、既済検査あるいは完了検査のことをいう。
31）「勧告」とは、九州地方整備局が事業者に対し、業務等に関する事項について、書面をもって改善等の行動をとるように説きすすめることをいう。
32）「命令」とは、九州地方整備局が事業者に対し、業務等に関する事項について、書面をもって、改善等の一定の義務を課する具体的な処分をいう。
33）「モニタリング業務」とは、事業者が実施する利用実態調査及び本業務に対する自己評価並びにその結果について九州地方整備局に報告を行う一連の業務を指す。
34）「関係機関」とは、本業務遂行上関係する、警察、消防、行政等の機関を指す。
35）「特定公園施設等」とは、当公園内において九州地方整備局が都市再生機構及び福岡市に都市公園法５条に基づき設置及び管理を許可している公園施設のこと。該当する施設は、海の中道海洋生態科学館（マリンワールド（平成 27 年 4 月現在名称））、ホテル（ザ．ルイガンズ.）、海の中道マリーナ、テニスコート、青少年海の家である。
36）「特定公園施設管理者等」とは、特定公園施設等の管理者及び運営者のこと。
37）「施設利用者」とは、収益施設等を利用する者のこと。
38）「収益施設等」とは、自主事業と収益施設の運営管理業務を総称したもの。

39)「施設等運営者」とは、収益施設等の管理運営に関する許可を受けた事業者のこと。

40)「収益施設等運営業務責任者」とは、収益施設等の業務全体を監理する者のこと。

第３条 総則

１．本仕様書は、本業務を遂行するために必要な事項を定め、もって本公園の適正な運営維持管理を期するものである。

２．委託業務の実施は、国営海の中道海浜公園運営維持管理業務委託契約書（以下「契約書」という。）によるほか、本仕様書によるものとする。

第４条 準拠規定

委託業務の遂行に当たっては、次の各号に掲げる基準等に準拠する。

１）都市計画法

２）都市公園法

３）自然公園法

４）森林法

５）森林病害虫等防除法、その他松くい虫防除に関する関係法令等

６）景観法、屋外広告物条例

７）国有財産法、会計法、会計検査院法、国の債権管理等に関する法律

８）遺失物法

９）個人情報の保護に関する法律

10）行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律

11）行政機関の保有する情報の公開に関する法律

12）労働基準法、労働安全衛生法、パートタイム労働法

13）雇用保険法

14）労働者災害補償保健法

15）健康保険法

16）施設維持、設備保守点検等に関する法律

(1)建築基準法

(2)電気事業法及びこれに基づく政令等

(3)水道法、下水道法

(4)消防法

(5)建築物における衛生的環境の確保に関する法律及び建築物環境衛生管理基準(厚生労働省)

(6)容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律

以上のほか、施設維持管理及び設備保守点検等に関する関連法規

17）都市公園における遊具の安全確保に関する指針及び遊具の安全確保に関する規準（JPFA-S:2014）

18）工事に関する法規及び規定

(1)建設業法

(2)建設産業における生産システム合理化指針(平成３年)

(3)建設工事に係る資材の再資源化に関する法律

以上のほか、工事に関する関連法規等。

19）競争の導入による公共サービスの改革に関する法律

20）動物管理及び自然環境保護に関する法規･基準

(1)動物の愛護及び管理に関する法律

(2)博物館法

(3)絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律

(4)文化財保護法

(5)獣医師法

(6)獣医療法

(7)鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律

(8)感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

(9)家畜伝染病予防法

(10)牛海綿状脳症対策特別措置法

(11)口蹄疫対策特別措置法

(12)口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針、口蹄疫防疫措置実施マニュアル

(13)動物展示施設における人と動物の共通感染症対策ガイドライン

(14)動物由来感染症ハンドブック及び関係するガイドライン

(15)薬事法

(16)農薬取締法

(17)麻薬及び向精神薬取締法

(18)毒物及び劇物取締法

(19)特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律

(20)「環境省レッドデータブック」ほか希少動植物に関する基準

(21)水質汚濁防止法

(22)廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(23)大気汚染防止法

(24)騒音規制法

(25)振動規制法

(26)福岡県レッドデータブック

(27)新飼育ハンドブック

以上のほか、動物及び自然環境保護に関する関連法規等

21）公園のバリアフリー化に関する法規・基準

(1)高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律

(2)高齢者、身体障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律

(3)移動等円滑化促進に関する基本方針

(4)都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン

(5)移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令

(6)福岡市「福祉のまちづくり条例」

(7)公園のユニバーサルデザインマニュアル（財団法人　都市緑化技術開発機構　公園緑地バリ

アフリー共同研究会編）

以上のほか、施設のユニバーサルデザインに関する法規等

22）公共の施設として遵守すべき法規・基準

(1)健康増進法

以上のほか公共の施設として遵守すべき関連法規等

23)公園運営の指針とすべき基準類

(1)国営海の中道海浜公園整備プログラム

(2)平成 21 年度　環境共生の森等の維持管理・運営計画策定外業務報告書及び資料編

(3)平成 22 年度　松林保全再生調査その他業務報告書

(4)平成 19 年度に策定した植栽更新･管理計画

(5)平成 25 年度　森の池エリア維持管理・運営計画策定外業務報告書

(6)国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領

(7)国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領の細目

(8)園内におけるロケーション等の許可に関する要領

(9)国営海の中道海浜公園　野外劇場利用及びコンサート等の許可に関する要領

(10)国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則

(11)「遊泳用プールの衛生基準について」（平成 19 年 5 月 28 日健発第 0528003 号厚生労働省健康局長通知）

以上のほか公園運営に関する指針及び基準類等

24)印紙税法、消費税法等税制に関する法律

25)公園運営の指針とすべき関係仕様書類

施設の維持補修にあたり､利用者の安全な利用および国有財産の適切な管理を行ううえで配慮が必要な施設については、以下の仕様等に基づき施工すること。

(1)土木工事共通仕様書（最新版：九州地方整備局ホームページ・建設技術情報等に掲載）

(2)公共建築工事標準仕様書　建築工事編（最新版）

(3)公共建築工事標準仕様書　電気設備工事編（最新版）

(4)公共建築工事標準仕様書　機械設備工事編（最新版）

(5)電気通信設備工事共通仕様書（最新版）

(6)機械設備工事標準仕様書（最新版）

(7)設計業務等共通仕様書（最新版：　九州地方整備局ホームページ・建設情報に掲載）

(8)土木請負工事必携（最新版：九州地方整備局ホームページ・建設技術情報等に掲載）

(9)土木工事施工管理の手引き（最新版：九州地方整備局ホームページ・建設技術情報等に掲載）

(10)電気設備に関する技術基準を定める省令

(11)建築保全業務共通仕様書及び同業務報告書作成の手引き（最新版）

(12)国土交通本省委託契約取扱要領（別添２）

(13)国営海の中道海浜公園マニュアル（調査職員より貸与）

(14)その他国営海の中道海浜公園関連資料

(15)食品衛生法、福岡市食品衛生条例、福岡県食品衛生法施行条例、福岡県食品取扱条例及び同施行規則、特殊形態営業に関する取扱要領の改正について（福岡県通知）

(16)個人情報の保護に関する法律(平成15年５月30日法律第57号)
(17)国有財産法、会計法、会計検査院法、国の債権管理等に関する法律
(18)原状回復をめぐるトラブルとガイドライン（改訂版）（国土交通省住宅局住宅総合整備課）
(19)その他、関係諸法令等

第５条 事業者の責務

１． 運営維持管理者となる事業者は､委託業務について善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。
２． 本公園設置の意義を踏まえて、その効用を最大限発揮させるよう、努力しなければならない。
３． 本業務全般について計画立案を行い､目標及び業務計画を策定し､その一元的管理方針のもとで、第２章に示す多岐にわたる業務を総合的な調整のもと、相互連携を保ち、適切に進捗管理を行いつつ実施しなければならない。
４． 事業者は、本公園の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営等により、公園利用者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を目指さなければならない。
５． 事業者は、委託業務の実施にあたって、九州地方整備局又は調査職員と密接な連絡をとり、委託業務の目的の達成を図るものとし、その実施状況を記録しておくものとする。

第６条 九州地方整備局と事業者の責任分担

本公園の運営維持管理業務を実施するにあたり、事業者と九州地方整備局の責任分担を下表「責任分担表」のとおりとする。ただし、「責任分担表」に定める事項に疑義が生じた場合、又は、「責任分担表」に定めのない事項については、九州地方整備局と事業者の間で十分に協議のうえ決定するものとする。

九州地方整備局と事業者の責任分担

項目		九州地方整備局	事業者
	内　　容		
入園料金及び施設使用料徴収業務	入園料及び施設利用料（収益施設運営に係るものを除く）の徴収業務（徴収料金は、九州方整備局に納付）		○
公園施設の管理	公園施設の管理（都市公園法第 5 条に基づき設置・管理している施設は除く。）		○
収益施設の管理	収益施設の管理		
物品の管理	九州地方整備局より提供のあった物品の管理		○
	本業務において取得した物品及び消耗品の管理		○
苦情・要望対応	施設管理、運営業務内容に対する住民及び公園利用者からの苦情、訴訟、要望への対応		○
	上記以外の場合	○	
事故・災害時対応	本仕様書等に記載された業務内容による対応		○
	上記以外の場合	○	
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○
	但し、30/1000 以上の物価変動が見込まれる場合	○	
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○
運営日時の変更	開園日時の変更（事業者による提案）に伴う経費の増減		○
	収益施設の運営日時の変更に伴う経費の増減		
許認可	都市公園法に基づく許認可	○	
	公園利用者の受付及び書類交付手続きの補助		○

施設・物品等の修繕	事業者の責めに帰すべき事由による場合（事業者による管理が不適切なために修繕が必要になった場合も含む。）（以下この表において「①」という。）		○
	修繕にかかる費用が 1 件あたり 100 万円を超えない場合かつ年間修繕費用 3,500 万円（税抜き）【平成 28～30 年度】、3,000 万円（税抜き）【平成 31 年度】※を超えない場合（上記①を除く。）。		○
	収益施設の建物の構造に関わる部分を除く修繕にかかる費用（上記①を除く。）。		
	上記３項目以外の場合 ※予算の状況により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、年間業務計画の変更を協議するものとする。	○	
不可抗力	大規模な自然災害等（災害対策本部運営計画に基づく警戒体制以上の体制をとるような事態）の不可抗力（以下この表において「②」という。）により公園施設に著しい損害を受けた場合に、公園を一時閉園するなどして行わなければならない施設、設備等の復旧等 ※上記②により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、対応を協議するものとする。	○	
	動物の感染症等により家畜衛生保健所等の指導等により、緊急的に特段の措置等の必要が生じた場合。		○
公園利用者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、公園利用者に損害を与えた場合（事業者の不適切な運営又は、施設管理による公園利用者の怪我等）		◎
	共通仕様書第 27 条の保険の付保及び事故の補償に係る場合		○
	上記２項目以外の場合	○	
第三者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、第三者に損害を与えた場合		◎
	上記以外の場合	○	

※年間修繕費用は、軽微な維持管理修繕に要した費用の過去の実績平均と現在の状況を踏まえた額であり、本業務において事業者によるこれと同程度の修繕を見込んでいる。実績は、別紙 35「建物・工作物に係る修繕履歴」を参照のこと。

※事業者の責任分担に係る項目のうち◎の項目については、委託費を充当することはできない。

第７条 競争の導入による公共サービスの改革に関する法律第27条第１項に基づく指示

九州地方整備局長は、事業者による業務の適切かつ確実な実施を確保するために必要があると認めたときは、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（以下「公共サービス改革法」という。）第 27 条第１項に基づき、事業者に対し、必要な措置をとるべきことを指示できる。

第８条　契約の解除

九州地方整備局は、事業者が次のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる。

ａ）公共サービス改革法第 22 条第１項第１号イからチ又は同項第２号に該当するとき。

ｂ）繰り返し法令違反を行ったとき。

ｃ）暴力団員を業務を統括する者又は従業員として雇用していることが明らかになったとき。

ｄ）暴力団又は暴力団関係者との社会的に避難されるべき関係を有していることが明らかになったとき。

第２章 業務内容
第９条 運営維持管理方針

事業者は、国有財産としての適正な管理を保持しつつ、創意工夫やノウハウを積極的に発揮し、以下の運営維持管理の重点事項に則り、本業務の遂行に努めなければならない。

１）維持管理方針

事業者は、下記に配慮するとともに、「植物管理区分図」（植物管理業務仕様書参照）等をもとに適切な維持管理を行うものとする。

(1) 植物管理

昭和51年度に策定した植栽計画の方針、平成19年度に策定した植栽更新･管理計画、平成21年度「環境共生の森等の維持管理・運営計画策定外検討業務」報告書、同資料編及び平成22年度「松林再生調査その他業務」報告書に基づき各植物の特性に配慮したうえで、適正に持続･育成するよう必要な管理を行うものとする。

(2) 動物管理

人と動物がふれあい、観察することによって、その生態や命の尊さを学ぶことができるよう飼育展示するとともに、給餌、飼養環境の保全、繁殖の調整等適正な管理を行うものとする。

(3) 施設や設備

各種施設の位置、機能、特性を十分に把握したうえで、すべての施設を清潔かつその機能を正常に保持し、公園利用の快適かつ安全な利用が図れるよう適正な維持管理を行い、必要に応じて保守点検を行うものとする。

２）管理運営方針

事業者は、第１条の公園の特徴に示す本公園の5つの計画理念を達成するため、以下の方針のもとに適切に行うものとする。

(1) 園内の関係管理者等との密接な連携

公園の管理運営を円滑に行い、魅力ある公園とするために、九州地方整備局及び調査職員をはじめ特定公園施設管理者等及び施設等運営者と密接に連携･調整するとともに、情報の共有に努めるものとする。

(2) 管理運営における公平性･中立性の確保

公園利用者や地元等からの要望等に対し、国営公園の管理運営の公益性に鑑み、公平･中立を是としてその運営にあたるものとする。

(3) 利用者の安全安心の確保

誰もが安全かつ快適に利用できる公園となるよう、施設管理、巡視･保安、救急対策を行うとともに、サービスの質や安全性の向上のための職員の指導･育成に取り組むものとする。また、本公園で進めているユニバーサルデザインの取組みを積極的に行うものとする。

(4) 災害時の対応

地震、雷、風水害等の災害時において、利用者の安全を確保するため、適切な誘導や施設の点検を行うとともに、災害時の対応について全てのスタッフの研修や訓練を十分に行うものとする。また、公園利用における事故等が発生しないよう全てのスタッフの危機管理に対する意識を養成するとともに、適切な管理運営を行うものとする。

(5) 利用実態の把握と利用満足度の向上

利用者ニーズを十分に把握し、適切な管理による良好な空間の創出と魅力的なプログラムの運営を行い、多様なレクリエーション需要に応えられる公園を創造するとともに、公園利用者へのサービス向上に努め、満足度を高めるものとする。

(6) 広報宣伝

より多くの方々に公園を利用してもらうために、効果的かつ効率的な広報宣伝を行うものとする。

(7) 行催事の実施

魅力ある公園とするために、季節に応じ、地域とも連携しながら多彩な行催事を実施するものとする。また、国営公園にふさわしい行催事の誘致・実施等を積極的に進めるとともに、公園の管理体験や環境教育、環境学習を通じて、公開緑地等の緑化の推進と普及啓発、及び次世代の育成に努めるものとする。

(8) 苦情への対応

公園利用者等からの苦情に対して真摯に対応するものとする。

(9) 地域の活性化への取り組み

行催事等を通じ、公園の管理運営への地域住民の参加を促すとともに、スタッフの雇用にあたり地元居住者の雇用を重視する等地域の活性化に寄与する施策を推進するものとする。

(10) 市民との協働

公園の管理運営への参加機会の付与と持続的な運営への参加によるパートナーシップを醸成し、本公園における参画型の公園管理を推進するものとする。また、現在活動しているボランティアと良好な関係を築き、指導育成に当たるとともに、環境共生の森におけるボランティア等、新たな活動の支援に努めるものとする。

(11) 自然生態系保全への取り組み等

海の中道海浜公園と周辺地域の持つ風土、歴史、文化を学び、継承していくための活動を行うとともに、自然生態系の保全に努めるものとする。

玄界灘側における白砂青松の雄大な景観、大芝生広場や博多湾側の開放感溢れる景観、花のエリア等における花修景による親しみある景観など本公園の持つ多様な景観を維持･創出するとともに、新たな価値観とライフスタイルを提案できるよう適切な管理運営に努めるものとする。また、地球温暖化防止や循環型社会形成のために積極的に取組むものとする。

(12) コスト縮減の取り組み

常に安全安心で快適な利用を図りながら、維持管理にかかるコストの縮減に努めるものとする。

(13) 公園全体の利用促進の取り組み

パークエリアの利用促進のみならず、公園全体の入園者数が年間200万人程度となるよう特定公園施設管理者等と綿密な連携を図るなど利用促進に努めなければならない。

第10条 業務実施の基本的事項

1．事業者は、本業務の実施にあたっては、各業務間の総合調整を十分に図り、次に掲げる項目に留意するものとし、第１条の５つの計画理念に沿った管理運営を行うものとする。

1）業務の実施にあたり常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理者の注意を持って運営維持管理を行うものとする。なお、異常を確認した場合、すみやかに調査職員に報告しその指示に従うものとする。

2）安全で快適な利用がされるように利用指導及び利用者サービスを適切に行うとともに、利用の活性化を図るために公園利用者ニーズに的確に対応した利用促進策を展開する。

3）公園利用者に対する案内及び緊急の対応等の利用者サービスに努める。

4）名札を作成し業務中は全てのスタッフは常に着用する。

5）市民参加を推進するため、園内のボランティア活動への支援・指導に努める。
6）乳幼児連れの公園利用者、障がい者、高齢者等への適切な対応等を図る。
7）地域との良好な関係を維持するため、地元公共団体、企業、市民等との連携を図る。
8）様々な管理技術の駆使や、効率的な管理運営等を通じて、常に経費の削減に配慮しながら高品質な維持管理を実施する。
9）災害や事故等における危機管理を徹底するとともに、発災時には避難地または、災害復旧活動拠点としても機能するよう、適切な対応を行う。
10）有機性廃棄物の堆肥化や塵芥のリサイクル等、園内での資源の有効活用に配慮する。
11）良好な景観の形成に努めた維持管理を実施する。
12）スタッフの服装、作業用機械、器具、車両等について、公園にふさわしいものとし、イメージアップに心掛ける。
13）公園内での車両の運転については、「国営海の中道海浜公園園内業務における車両通行規則」を遵守すること。
14）利用状況に応じ、適正に本業務を行い、利用に支障をきたさないように配慮する。

第11条 履行場所及び履行期限

１．履行場所

施設名称　国営海の中道海浜公園
所在地　　福岡県福岡市東区大字奈多～大字西戸崎
管理面積　293.5ha
注）管理面積は平成27年4月現在。
※別紙１「運営維持管理業務範囲図」を参照すること。

２．履行期限

平成 28 年４月１日から平成 32 年１月 31 日までとする。
事業者は、本業務が適正かつ円滑に実施できるよう過年度事業者から契約日以降業務開始日までに必要な引き継ぎを受け、開園に備えなければならない。

第12条 公開日時等

本業務の履行期間における本公園の公開日、公開時間、入園料については原則として官報告示に従う。

公開日・公開時間

公開日	公開時間
３月　１日　～　10月31日	9:30～17:30 プール開園期間中（9月は除く）は9:00～18:30
11月　１日　～　２月末日	9:30～17:00

※休園日は12月31日～1月1日、2月の第一月曜日及びその翌日。
※災害の発生及び発生の恐れがある場合等、公園の管理運営上に支障があるため、九州地方整備局が臨時閉園とした場合。
※繁忙期、イベント開催時等においては、事業者が調査職員を通じ九州地方整備局に協議し、承諾を

得た上で、公開日時の変更を行うことができる。

※事業者は公園の利用促進及び利用サービス等、公益上やむを得ない事由により公開日時を変更する場合は、原則１ヶ月前までに調査職員に協議すること。

なお、以下のとおり無料入園日を設けることとし、当該年度の日付は１ヶ月前までに通知する。

○春の都市緑化推進運動／４月１日～６月30日【期間中１日】

○秋の都市緑化月間／10月１日～10月31日【期間中２日】

○みどりの日／５月４日【１日】

○児童福祉週間／５月５日【１日】 ※小学生若しくは中学生又はこれらに相当する者のみ無料

○敬老の日／９月第３月曜日【１日】 ※満65歳以上の者のみ無料

第13条 業務内容及び業務対象

事業者は、本公園の供用区域内に位置する都市公園法第２条第２項で規定された各公園施設を対象として、個別仕様書に記載された管理水準の達成、業務内容を踏まえ、以下の各業務を行うものとする。（別紙２「主要公園施設一覧」、別紙３「主要建築物一覧」）

＜業務内容＞

1）公園運営維持管理業務（委託費により行う業務）

① 本業務全体の計画立案及びマネジメント

・本業務全体の計画立案及びマネジメント

・入園料等徴収、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務　等

② 企画運営管理業務

・企画広報（行催事企画運営、広報、公園ボランティア活動の支援・調整）

・公園利用者への利用指導、公園利用者へのサービス、園内巡視　等

③ 施設・設備維持管理業務

・維持修繕・保守点検等（建物、建物設備、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設、給水施設、水景施設、その他設備）

・清掃（園内清掃、園内建物清掃）　等

④ 植物管理業務

・高木管理、中低木管理、林地管理、草地管理、草花管理等（草刈り、施肥、灌水、剪定等）

⑤ 動物管理業務

・繁殖、飼育、展示等

１）本業務全体の計画立案及びマネジメント

本公園の運営維持管理全般について、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、企画運営管理業務、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、動物管理業務等、多岐にわたる業務について総合的な調整のもと相互連携を保ち、適切な進捗管理を行うとともに、入園料等の徴収事務、九州地方整備局の実施する整備・修繕工事における実施方針の検討等の助言・調整、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務を行う。（詳細は、別紙７「個別仕様書（計画立案)」を参照のこと。）

２）企画運営管理業務

利用促進のための行催事（材料代等実費を公園利用者から徴収すること等ができるものを含む）や広報宣伝の企画・立案・実施・参加者受付及び公園ボランティアに対する支援・調整を行う。また、公園利用者の安心・安全を確保し、円滑に利用してもらうために、利用指導及び利用案内等の公園利用者に対するサービスの提供、公園利用者の施設予約等の受付、園内巡視、本業務に関わる自動車維持等を行う。（詳細は、別紙８「個別仕様書（企画運営管理)」（以下、「個別仕様書（企画)」という。）を参照のこと。）

３）施設・設備維持管理業務

(1) 維持修繕・保守点検

建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等について、所要の目的が果たされるよう、日常、適宜巡回点検・保守点検し、常に安全で良好な状態にあるよう、利用の状況に応じて破損個所の軽微な補修又は補充を適切に行う。また、給水施設や電気設備の使用量を計測し記録を確実に行うとともに、水景施設に関しては、衛生面の安全を確保するよう、水質管理を確実に行う。（詳細は、別紙９「H28-31 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務個別仕様書（施設・設備維持管理)」（以下「個別仕様書（施設・設備)」という。）を参照のこと。）

(2) 清掃

公園利用の動向、塵芥及び汚水等の発生量に即応して適切な措置をとり、園内や建物の清掃を行い、常時公園内を清潔にする。また、園内に塵芥が散乱した場合は、速やかに園内の清掃を行い、利用に支障が生じないよう適切な措置をとる。なお、塵芥は種類ごとに定められた処理方法に従って、適切に処理する。（詳細は、別紙９「個別仕様書（施設・設備)」を参照のこと。）

４）植物管理業務

現地の気象条件、土壌条件等環境条件を十分に把握した上で、平成 19 年度策定の「植栽更新・管理計画」、「平成 21 年度環境共生の森等の維持管理・運営計画策定外検討業務報告書」及び同資料編、「平成 22 年度松林保全再生調査その他業務報告書」、「平成 25 年度　森の池エリア維持管理・運営計画策定外業務」に基づき管理を行う。また、利用状況、景観等に応じた除草、外来種の除去、芝刈り、施肥、潅水、樹木の剪定等を行うことにより、園内の植物が常に良好な状態にあるように植物管理を行うとともに、公園利用者に怪我等がないよう適切な管理を行う。（詳細は、別紙 10「H28-31 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務個別仕様書（植物管理)」（以下「個別仕様書（植物)」という。）を参照のこと。）

５）動物管理

動物の健康状態を十分に把握し、常に良好な状態で飼育展示・育成・繁殖等を行うとともに、入園者が飼育動物とふれあえる場を提供する（詳細は、別紙 11「H28-31 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務個別仕様書（動物管理)」（以下「個別仕様書（動物)」という。）を参照のこと。）。

第14条 業務実施体制

１．国営公園の設置目的を達成し、公園利用者の安全・快適な利用サービスを提供するため、下記の

資格要件を備えている職員を配置するなど本業務を実現する業務実施体制を構築しなければならない。なお、資格証明書に写しを調査職員に提出するものとし（資格保有配置者を変更する場合も同様とする。）、職員の育成及び運営に必要な研修を実施すること。

＜事業者が保有する必要がある資格＞

・獣医師　１名以上
・動物取扱責任者研修修了証保有者　１名以上
・看護師　１名以上
・防火管理者（甲種又は乙種）　１名以上
・小型車両系建設機械運転技能者　１名以上
・危険物取扱者（甲種又は乙種第四種）　１名以上

2．日常管理業務に加え、入園者の案内や苦情・要望、事故・災害等非常時における緊急対応が適切に行われるよう、常に適切な管理体制を構築しなければならない。

3．本業務全体の計画立案及びマネジメント、企画運営管理、施設・設備維持管理、植物管理、動物管理について業務別に業務責任者を配置することとする。なお、本業務全体の計画立案及びマネジメントの業務責任者を総括責任者とし、業務責任者による他業務責任者及び担当者の兼務を妨げない。ただし、収益施設等運営業務への委託費の支出は認めない。収益施設等運営業務責任者と兼務する場合、収益施設等運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分しなければならない

4．事業者は、総括責任者及び業務責任者（企画書で記述した者）を定め、書面により九州地方整備局に通知しなければならない。

5．総括責任者及び業務責任者の変更は、原則認めない。ただし、病気、死亡等のやむを得ない理由及び家族の看病等道義的な理由により変更を行う場合には、同等以上の資格要件を満たす者であることを証明する書面を提出の上、九州地方整備局の承諾を得なければならない。

6．公開期間中は、第 13 条１）～５）の総括責任者及び業務責任者並びに収益施設等運営業務責任者のうち、少なくとも２名以上勤務する体制とすること。さらに、業務責任者が勤務しない日については、その業務に精通した者を勤務させるものとし、緊急対応を含め第 13 条１）～５）が円滑かつ迅速に行われる勤務体制をとること。なお、主な業務従事（勤務）場所は、管理事務所（別添３のうち建物番号 21）とすることを想定している。なお、スタッフの配置にあたっては、必要に応じ適宜配置することとし、その採用にあたっては、地元居住者を積極的に雇用するものとする。

7．業務を遂行するにあたっては、法令上必要な資格要件を備えたものを配置すること。

8．事業者は、業務実施のための組織を管理事務所内に置き、その使用に係る光熱水費等は九州地方整備局が負担するものとする。また、事業者は、九州地方整備局が取得している電話番号・ＦＡＸ番号を継続して使用するものとし、その料金に係る費用は九州地方整備局が負担するものとする。但し、事業者が業務上の必要性から独自で電話番号・ＦＡＸ番号を取得し使用する場合、その料金に係る費用は、事業者が負担するものとする。

9．この他、国庫に納入する入園料及び施設利用料等の徴収業務を担当する経理担当者、及び救急対応を担当する者を配置するものとするが、経理担当者は、刑法（明治 40 年法律第 45 号）、その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなす。

第15条 業務計画書

１． 事業者は、契約締結の 14 日前までに、企画書で提案した内容の積算根拠となる詳細な工種、数量、月次の工程計画、具体的取り組み内容及び実施体制を記載した下記内容などの「業務計画書」を九州地方整備局に提出し、承諾を受けければならない。

２． 「業務計画書」の策定にあたっては、運営維持管理の実務を通じた経験や知見、公園利用者からの意見・苦情・要望を踏まえた業務計画の変更の経緯、記録が確実に残る仕組みを構築し、「業務計画書」に記載する。

３． 維持管理運営の実務を通じた経験や知見、公園利用者からの意見・苦情・要望に基づく対応について、年度内での変更が求められる場合は、「業務計画書」を随時修正する。
変更業務計画書の提出の必要の有無は内容に応じて調査職員と協議する。

４． 四半期別必要経費内訳書には、「業務計画書」の変更がある場合は、その結果を反映した上で、数量、単価を記載し、積算根拠を明確にする。

＜業務計画書に記載が必要な項目＞

１）年間運営管理計画（月別）
２）年間広報・行催事計画書（月別）
３）企画提案された実施方針(月別)
４）業務実施体制
５）業務実施のための管理機構及び職務分担
６）実施計画書（別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」別記様式第１(第４)）
７）四半期別必要経費内訳書（別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」別記様式第２(第４)）
８）再委託承諾申請書（企画書に提案した内容に変更等がある場合）（別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」別記様式第３(第４)）
９）履行体制に関する書面（別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」別記様式第４(第４)）
10）施設管理作業計画書（建物管理、工作物管理、清掃）
11）植物管理作業
12）動物管理作業
13）収益施設運営計画（施設等運営者により作成提出するもの）
14）公園内巡視作業
15）入園料徴収及び公園利用者への利用指導
16）安全管理、安全確保、救急救護、防災計画、消防計画、災害時・異常時対策等を定めた危機管理マニュアル
17）公園利用促進への取り組み（広報、行催事等の開催）
18）市民参加による公園運営（ボランティア）
19）環境への配慮
20)その他調査職員指示するもの

第16条 業務報告書

１．事業者は、運営維持管理の実施状況と包括的な質や管理水準等の達成状況のモニタリングが確実に行えるよう、報告書を調査職員に月次、四半期ごとに定期的に提出する。ただし、提出期限が土曜日、日曜日及び祝日に該当する場合は、翌開庁日とし、契約完了年度の業務最終月の提出期

限は契約完了日までとする。

２．事業者は、各年度の業務を完了した時は、遅滞なく、業務完了日までに、別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」別記様式第５(第６)～第８(第６)及び下表に示す年度内に実施した運営維持管理実績の全てを報告書に成果物を添えて提出する。

３．経理状況に関する帳簿類は常に整理し、九州地方整備局及び調査職員からこれらに関する報告や実施調査を求められた場合には、速やかに九州地方整備局及び調査職員の指示に従い、誠実に対応すること。

４．本委託業務は電子納品対象外業務とする。

＜定期報告で提出が必要な項目＞

１）「管理月報」（提出期限は翌月の10日　別添様式１）

２）「管理四半期報」（提出期限は四半期翌月の15日　別添様式２）

３）「提供施設等使用実績報告書」（提出期限は、毎月初め　別添様式３）

４）「巡視日報」（提出期限は、１週間分を翌週金曜日まで　別添26参照）

５）「救護日誌」（提出期限は、１週間分を翌週金曜日まで）

６）「動物異動報告書」（提出期限は、翌月10日まで、様式は別添36参照）

７）「公園内全施設の電気メーター検針表」（毎月初め、様式は調査職員より指示）

８）「公園内全施設の水道メーター検針表」（毎月初め、様式は調査職員より指示）

９）「公園内全施設のガスメーター検針表」（毎月初め、様式は調査職員より指示）

10）「維持管理施設の燃料タンクの残量チェック・報告」（必要に応じ適宜）

11）「電話使用料実績報告」（毎月初め、様式は調査職員より指示）

12）「維持管理業務従事者の収益施設等の管理に関する勤務実績簿」（毎月初め、様式は調査職員より指示）

13）「上記以外の九州地方整備局が指示したもの」（調査職員の指示に従う）

＜完了報告で提出が必要な項目＞

１）「完了報告書」（別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）

２）「精算報告書」（別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）

３）「委託経費内訳書」（別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）

４）「残存物件報告書」（別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）

５）「事業評価報告書」（任意様式）

６）「実施状況等の記録書）」

７）「利用実態調査報告書」

８）「上記以外の発注者で指定した報告事項」

＜実施状況等の記録書に添付が必要な書類＞

１）保守点検の記録

２）作業実施数量の記録

３）作業記録写真

４）安全衛生点検の記録

５）修繕等の記録

６）上記以外の発注者で指定した報告事項

第17条 記録の保存

第16条の業務報告書、経理状況に関する帳簿類及び国土交通省九州地方整備局が指示する記録は、調査員等の求めに応じて常に提出できるよう、個別に年度毎にファイルに取りまとめ、業務期間中は事業者において保存し、業務期間終了後は九州地方整備局へ引き渡すこと。なお、経理状況の帳簿類を引き渡した後に企業会計法上に基づく監査等で当該資料が必要となった場合に、書面（任意様式）により九州地方整備局に申し出た場合は、資料を貸与する。

なお、本業務の記録類については以下を最低限とする。

- 作業実施数量等の記録
- 保守点検の記録
- 作業日誌
- 安全衛生点検の記録
- 修繕等の記録
- 作業記録写真
- 事業者における検査担当者が作業の完了を確認した記録
- その他、九州地方整備局が指示する記録

第18条 モニタリング業務

1．事業者は、次の方法により、利用者等の意見や要望を把握し、運営に反映させるよう努めるとともに、結果について調査職員に報告するものとする。

1）利用実態調査

本公園において提供するサービスに対する公園利用者の評価について、アンケート等を実施するなど事業者の工夫により、確実に把握すること。また、事業者は、利用実態調査を行う場合、その方法について、九州地方整備局と事前に協議した上で、調査を実施し、その結果は、即地的にも確認できるよう記録、集計・分析を実施する。

2）本業務に対する自己評価

事業者は、各年度の公園の管理運営に関して、適宜自己評価を行い、その結果を事業評価報告書にまとめ、各年度の検査までに調査職員に提出するものとする。なお、自己評価の項目・評価手法等については、業務開始日までに調査職員に提出し、承諾を受けるものとする。また、調査職員より年度途中段階でその時点までの事業評価報告書の提出を求められた場合はその指示に従うものとする。

第19条 九州地方整備局が行うモニタリング調査

1．九州地方整備局及び調査職員は、事業者で実施するモニタリング業務（本共通仕様書第 19 条）とは別に、本業務の実績を評価する。

2．事業者は、本業務等の実施内容の評価が確実に実施されるよう、モニタリング調査に積極的に協力するものとする。

3．モニタリング調査は、個別仕様等に示す管理水準や事業者から企画提案された実施方針の履行状況を確認する予定である。

4．モニタリング調査の結果、業務計画書通り業務が履行されていないと判断した場合又は事業者に

よる管理水準が九州地方整備局の要求する管理水準を満たしていないと判断した場合、九州地方整備局及び調査職員により是正勧告を行うものとする。それでも改善が見られない場合、九州地方整備局は事業者を、次年度の契約相手方として特定しない、または業務の契約の解除をすることがある。

第20条 施工管理

事業者は、本業務の施工管理にあたり、土木工事施工管理の手引きを準用するものとする。

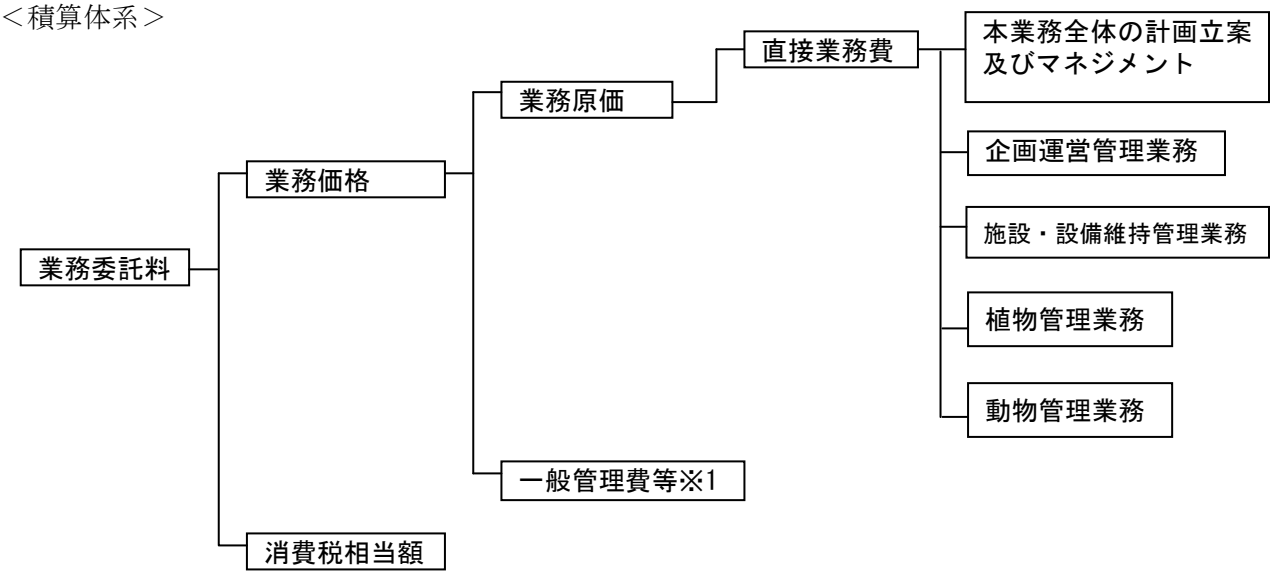
第21条 施行体制台帳の整備

事業者は、管理運営業務の一部で建設業法にあたる作業を再委託した場合には、施工体制台帳に係る書類を再委託者が作業に着手するまでに整備しなければならない。また、調査職員により提示を求められた場合は速やかに提示し、施工体制に変更が生じた場合も、変更に係る部分の作業に着手するまでに、変更の書類を整備しなければならない。

第22条 施行体制の確認

事業者は調査職員より施工体制について確認及び点検を求められたときは、これに協力しなければならない。

第３章 委託費の支払い
第23条 委託費代金の支払い
(1) 公園運営維持管理業務
1) 事業者は、提出した業務計画書に基づいて、公園運営維持管理業務を実施することにより、包括的な質（本実施要項 1.3.1 参照）の確保に努めるとともに、個別業務の質（本実施要項 1.3.2 参照）の最低水準を確保しなければならない。
2) 九州地方整備局は、上記の履行内容を確認し、検査したうえで、会計年度（４月１日から翌年３月３１日まで）を基準とし、四半期毎に委託費を支払うものとし、その支払いは適正な請求書を受理した日から起算して３０日以内とする。ただし、検査の結果、包括的な質及び個別業務の質の最低水準が確保されていない場合は、適切に業務を行うよう改善の指示（業務の履行中を含む。）を行うこととし、事業者は要因分析を行い、業務改善計画書を提出し、承諾を得ない限り、委託費の請求はできないものとする。なお、委託費の請求は、業務計画書及び各年度別四半期別必要経費内訳書に基づく、完了報告書、精算報告書、委託費経費内訳報告書及び残存物件報告書による各年度の四半期における所要額とする。
3) 各年度の委託費の確定額は、業務に要した経費の実支出額と各年度の委託費の支払の限度額のいずれか低い額とする。
4) 委託費の支払いについては、会計法第２２条、予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号。以下「予決令」という。）第５８条に基づく協議が整った場合において、事業者は委託費の概算払を四半期毎に請求できるが、業務の改善の指示があった場合には、事業者は要因分析を行い、業務改善計画書を提出し、承諾を得ない限り、次の四半期の概算払いに係る委託費の請求はできないものとする。なお、委託費の請求は、業務計画書及び各年度別四半期別必要経費内訳書に基づく、各年度の四半期における所要額とする。
5) 事業者の運営維持管理の責任に拠らない事由により、業務実施前に事業者が作成した業務計画書をもとに設定した包括的な質及び個別業務の質の最低水準が未達成の場合には、委託費の減額は行わない。
6) 本業務の準備期間における経費は、委託費（一般管理費を含む）にて支出することはできない。
7) 各業務の積算体系は、以下のとおりである。
＜積算体系＞



※1 本社人件費（職員基本給、職員諸手当、退職金等）、本社旅費（職員旅費）、本社庁費（職員厚生経費、備品費、消耗品費、通信運搬費、光熱水費、燃料費、印刷製本費、賃料及び損料、保険料、雑役務費等）、付加利益（法人税、地方税、株主配当金、役員賞与金、内部留保金、支払利息及び割引料、支払保険料その他営業外費用等）

第４章 公園内の安全管理

第24条 安全管理

１．本公園における公園利用者の安全確保並びに快適な利用を図るため、本業務の履行にあたり、常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、本公園の利用に関し必要な事項について、適切な措置・対応を行うなど、事業者の責任において常に善良なる管理を行うものとする。なお、九州地方整備局が定める公園利用規則等がある場合は、それに則った対応を図ること。

２．新型インフルエンザや鳥インフルエンザのように、重症化する恐れのある感染症等については、調査職員と協議の上、消毒液を設置するなど、適切な措置・対応を行うこと。

３．事業者は、本業務の履行にあたっては消防法に準拠すること。

４．事業者は、九州地方整備局と協力し、火災・その他災害による物的・人的被害を軽減することを目的に、別途消防計画・危険物予防規定を具備した危機管理マニュアルを作成し、契約締結の14日前までに九州地方整備局に業務計画書として提出し承諾を受けた上でその内容を遵守するものとする。なお、消防計画には、防火管理者等の担当者を明記することとする。

５．事業者は、施設を運営している期間中は毎月１回、施設の消防用設備等の自主検査を実施し、調査職員に報告するものとする。

６．異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告しその指示に従う。安全管理には十分注意し本業務を履行する。

第25条 安全確保

１．本業務の実施にあたっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ、事故の防止に努める。

２．本業務を行う場所若しくは、その周辺に第三者が存する場合又は立ち入る恐れがある場合には、危険防止に必要な措置を調査職員に報告の上、当該措置を講じ、事故の発生を防止する。

３．設備に異常を認めた時は、危険防止に必要な措置を調査職員に報告の上、当該措置を講ずる。

４．万一、設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止又は運転制限をする等の措置をした上、速やかに調査職員に報告し、必要に応じ精密検査を行う等その原因を究明し、機能復旧に努めると共に、再発防止のための必要な措置をとる。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせを行うこと。併せて、後日遅滞なく、事故の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する）により報告するものとする。

５．その他公園管理又は公園施設に起因するか若しくはその恐れのある事故等が起こった場合、速やかに必要な措置を取った上、速やかに調査職員に報告するものとする。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせを行うこと。併せて、後日遅滞なく、書面（様式は別途調査職員より指示する）により報告するものとする。

１）事故発生日時

２）事故発生場所

３）事故発生の原因

４）事故の程度

５）人身事故の場合は、医師の診断結果または、本人及びその家族等から得られた情報

6）被害者の氏名、性別、年齢、連絡先
7）事故処理の概略
8）再発防止改善策等

第26条 救急対応

1．事業者は、救急時の対応方法及びその報告方法を定めた危機管理マニュアルを作成し、契約締結の 14 日前までに九州地方整備局に提出し承諾を受け、その内容を遵守するものとする。
2．事業者は、公園利用者の動向等を勘案し適切に救急施設を配置し、公開期間中は看護師を常駐させ救急活動に当たらなければならない。また、臨機な救急活動に対応できる体制を整えるため、年１回以上は普通救命講習を開催し、スタッフが普通救命講習終了者（ⅠまたはⅡ）の資格を有するように努めること。なお、目標とする普通救命講習終了者（ⅠまたはⅡ）の職員数を業務計画書に示し、調査職員と承諾を受けること。
3．事業者は、救急活動を要する事態を認めたときは、公園利用者の急病や負傷には応急処置をとり、怪我等の状態によっては救急車両による搬送手配を行うなど、最も適切と思われる措置をとらなければならない。
4．事業者は、前項の措置をとった場合は、その原因となる事項や処置内容等を正確に記録するとともに、その経過及び結果を速やかに調査職員に報告する。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、事故の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する）により報告するものとする。
5．傷病者の発生に備え、日頃から研修・訓練等を行うこと。

第27条 災害時、異常時等の対応

1．事業者は、災害防止等のために必要があると認められるときは、公園利用者の安全を確保し、迅速かつ的確に避難誘導を行うなど臨機の措置をとらなければならない。この場合において、閉園等の必要があると認めるときは、事業者はあらかじめ九州地方整備局の承諾を得なければならない。ただし、緊急上やむを得ない事情があるときは、この限りではない。
2．前項の場合においては、事業者は、そのとった措置の内容を調査職員に速やかに報告する。
3．設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止又は運転制限をする等の措置をした上で、速やかに調査職員に報告するものとする。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、事故の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する）により報告するものとする。また、必要に応じ精密検査を行い、その原因を究明し機能復旧に努めるとともに、再発防止のための必要な措置をとるものとする。
4．台風、豪雨等の災害発生が予想される場合には、事前に土のう設置、雨水桝の詰まり防止のための落ち葉除去等を実施し、被害の軽減に努めなければならない。
5．台風、豪雨等の災害発生時に調査職員の指示した箇所の巡回、土のう等の設置等を行うものとする。
6．事業者は、夜間及び休園日において、異常を発見した場合は、必要に応じて警察、消防等の関係機関等に通報し、適切な措置を講ずるとともに、調査職員に速やかに報告する。なお、事故の第

１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、事案の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する)により報告するものとする。

7．調査職員は、災害防止や本業務の履行上特に必要と認めるときは、事業者に対して、臨機の措置をとることを指示することができる。

8．調査職員の指示により、災害時、異常時等の緊急を要する場合は、事業者は、迅速に必要な人員を確保し、適切な措置・対応を行うこと。（なお、九州地方整備局が策定した災害発生等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。）

9．事業者は、事故や災害発生時等への対応のため、事務所が定める「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」及び「事業継続計画（ＢＣＰ）マニュアル」に基づき、事業者の役割・行動・体制等をとりまとめた危機管理マニュアルを作成し、契約締結の14日前までに業務計画書として取りまとめ九州地方整備局に提出し承諾を受け、その内容を遵守しなければならない。

10. 事業者は、事故や災害発生時等には、前項において作成したマニュアルに基づき、公園の公開日、公開時間に関わらず、適切な措置・対応を行うものとする。

11. 事業者は、「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」に基づき九州地方整備局が防災体制の発令を行った場合は、調査職員の指示に従い、園内の臨時巡視を行うこと。巡視の結果については、公園の開閉園の判断要素となるため、速やかに詳細について調査職員または「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」に基づく国事務所出勤者に報告すること。

第５章 協議・調整等

第28条 九州地方整備局の要請への協力

１．調査職員から本公園に関する調査・報告又は作業の指示等があった場合には、迅速、誠実かつ積極的な対応を行う。

２．その他、九州地方整備局が実施又は要請する事業（例：臨時園内点検及び管理作業、緊急安全点検、防災訓練、安全パトロール、消防訓練、行催事、要人案内、公園に関する会議、早朝公開及び夜間公開、入園者数報告、監査・検査、視察、式典、インターンシップ受け入れ時の協力等）への参加・協力・実施を、積極的に行う。

３．事業者（総括責任者、各業務責任者）は、国事務所が定めた別添６「海の中道海浜公園管理運営委員会規約」に基づく諸会議等に参加するものとする。また、諸会議に必要となる資料を作成し提出すること。

４．事業者は、管理業務を円滑に実施するため、調査職員及び施設等運営者との情報交換や業務の調整を図る連絡会議を、定期又は不定期に開催するものとする。なお、連絡会議には、第三者を参加させることができるものとする。

５．関係機関の立会検査又は調査がある場合は、事業者は九州地方整備局の指示により立会等に協力する。

６．本業務の実務を通じた経験や知見、公園利用者からの意見・苦情・要望は、即地的にも確認できるよう記録、集計・分析した結果と本業務に反映させるよう努めた事項について、九州地方整備局に報告するよう、努めるものとする。

第29条 別途工事等との調整

１．国事務所の発注する別途工事又は業務（法定点検業務等）がある場合には、事業者は必要に応じて工事又は業務内容及び計画（変更を含む）に対して、本業務に関連する助言ならびに公園利用及び動植物の保護育成に関する調整を行う。

２．国事務所が別途発注する施設保全業務等の実施に当たり、事業者は、点検等の実施時期の調整に協力する。電気設備の点検に伴う計画停電のときには全園停電を行うため、その対応については、調査職員と調整すること。

第30条 九州地方整備局若しくは調査職員との協議等

１．事業者は、本共通仕様書に明記されていない事項又は本共通仕様書の内容について疑義を生じた場合は、調査職員と協議するとともに、協議の内容を記録して調査職員に提出し、確認を得る。

２．業務責任者又は業務担当者は、本業務の実施方法等について必要がある場合は、調査職員の指示を求めるほか、打合せを行い、その内容を記録して調査職員に提出し確認を得る。

３．施設の運営維持管理に係る各種規程・要項を作成する場合や、追加開園等により契約期間中に業務内容が変更する場合、さらには、その他新業務への対応が必要な場合は、九州地方整備局と事業者の間で調整又は協議を行う。

４．不測の事態又は疑問等が生じた場合は、速やかに調査職員と協議する。

５．事業者は九州地方整備局及び調査職員より、特定公園施設管理者等への協力要請があった場合には、その要請に応えなければならないものとする。

第31条 その他の協議・報告等

事業者は、本公園の管理・運営等で必要な協議を適切に行い、結果等については、遅滞なく報告しなければならない。

第32条 官公署への連絡、届出

事業者は、官公署への連絡、届出手続きは九州地方整備局に協力し、遅滞なくこれを処理する。また、事業者による工事等によって官公署への連絡、届出が必要となるときは事業者において行う。

第６章 雑則

第33条 本委託業務の再委託

事業者は、本委託業務の実施に当たり、その全部を一括して、又は本委託業務における主たる部分を再委託することはできない。

１．本業務における主たる部分とは、総合的計画立案、業務遂行管理、入園料金及び施設利用料金の収受及び納入、救急・災害時の統括管理、各業務手法の決定及び本業務履行者としての最終的な意志決定を行うための技術的判断等。

２．事業者は、第１項に規定する業務以外の再委託にあたっては、あらかじめ企画書において、再委託に関する事項（再委託先の住所・名称、再委託する業務の範囲、再委託を行うことの合理性及び必要性、再委託先の業務履行能力並びに報告徴収その他業務管理の方法）のうち再委託先の住所・名称以外についてすべて記載（再委託先の住所・名称の記載を妨げるものではない。）しなければならない。なお、企画書に記載した再委託も含めて、再委託する以前に「再委託（変更等）承諾申請書」（「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）により再委託業務の内容、理由、概算金額について調査職員に提出し、承諾を得なければならない。なお、再委託する場合、業務の透明性･公平性確保を考慮した契約方法をとるよう努めるものとする。また、契約締結後は、その契約書の写しを添付した上で「国土交通本省委託契約取扱要領」別記様式第３（第４）「再委託（変更等）承諾申請書」を提出のうえ、再委託の内容、理由、契約金額について九州地方整備局の承諾を受けるものとし、再委託の内容を変更しようとするときも同様とする。

３．事業者が九州地方整備局に対して負う義務を適切に履行するため、事業者は再委託先の事業者に対し実施要項８．４及び８．６に規定する事項及びその他の事項について必要な措置を講じさせるとともに、再委託先から必要な報告を徴収する。

４．事業者が再委託先に業務を実施させる場合は、すべて事業者の責任において行うものとし、再委託先の責めに帰すべき事由については、事業者の責めに帰すべき事由とみなして、事業者が責任を負うものとする。

５．再委託等の承諾を行った際は、必要に応じて当該部分（再委託）に該当する経費についての領収書、明細書の写しの提出を求める場合がある。

６．事業者は、業務を再委託に付する場合、書面により協力者との契約関係を明確にしておくとともに、協力者に対し業務の実施について適切な指導、管理のもとに業務を実施しなければならない。
なお、再委託の相手方は入札書の受領期限の日から開札の時までの期間に、国土交通省九州地方整備局長から指名停止を受けていないこと。

７．契約書（案）第８条第４項ただし書きに規定する「軽微な業務」は、コピー、ワープロ、印刷、製本、トレース、資料整理、計算処理、模型製作、翻訳、参考書籍・文献購入、消耗品購入、会場借上等及び小規模な業務をいうものとする。なお、小規模な業務とは原則として１件当たりの再委託額が 100 万円未満のものをいう。

８．暴力団又は暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有している者を協力者としてはならない。

第34条 保険の付保及び事故の補償

１．事業者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法及び健康保険法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

２．事業者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をも

って適切な補償をしなければならない。

４．事業者は、自動車任意保険、施設賠償責任保険、動産総合保険の他、必要に応じて各種保険に加入するものとする。

第35条 建築物及び機械器具等の無償貸与等

１．事業者の義務

事業者は、国より貸与された本委託業務の遂行に必要な建築物及び機械器具を善良なる管理者の注意をもって、取り扱う義務を負う。

２．建築物及び機械器具の無償貸与

本業務の遂行に必要な、九州地方整備局が保有する建築物及び機械器具等に限り、事業者に無償で貸与する。なお、その取扱いについて、九州地方整備局において定める規定等によるものとする。

３．残存する備品の取扱い

事業者は、本業務完了の際、残存する備品で九州地方整備局がその費用を負担したもの及び本業務において取得したものについて、残存物件報告書を作成し、当該備品を調査職員が確認した上で、当該備品を九州地方整備局に引き渡す。なお、翌年度において当該業務に継続して使用される場合はこの限りではない。ただし、本業務において取得した備品については、「国営海の中道海浜公園運営維持管理業務で取得した備品の取り扱いについて（別添 11)」に基づき備品継続使用申請書により九州地方整備局の承諾を受けること。

残存する備品とは、本業務において管理上必要となった機械器具、その他の物品の内、原状のまま比較的長期の使用に耐え、取得価格（消費税込み）が５万円以上のものをいう

４．事業者は上記３項により備品を取得するにあたり、その備品単価が５万円以上となる場合は、事前に調査職員に協議した上でその指示に従うものとする。ただし、動物の購入については、取引価格にかかわらず事前に協議した上でその指示に従うものとする。

５．事業者は本業務において取得した５万円以下の備品及びいわゆる消耗品（コピー用紙、文具、トイレットペーパー、手洗い石鹸等）について管理簿を作成し、調査職員より提示を求められた場合は速やかに提示しなければない。なお、業務完了時には管理簿と消耗品の残品について調査職員と確認を行って上で残品を調査職員に引き渡すものとする。

６．事業者は、管理センターの事務・事業に支障を来たさない範囲において、本業務の実施に必要な機器・設備等を管理事務所に持ち込むことができる。

７．事業者が持ち込んだ機器・設備等については、管理センターの事務・事業に支障を起こすことのないよう適切な管理を行うこと。

８．機器・設備等を持ち込み、電気工事等の措置が必要な場合は、調査職員の承諾を得た上で実施することができる。なお、必要な措置をした場合、施設の使用を終了又は中止をした後、直ちに原状回復をおこない、調査職員に引き渡さなければならない。

９．機器・設備等を持ち込む費用、電気工事等の措置等に必要な経費及び持ち込んだ設備・機器等から生じる経費（電気代、コピー代、電話代等）、原状回復に必要な経費は、事業者の負担とする。

10. 事業者に貸与された機械器具等の修理等は調査職員に報告の上、事業者が行うこととする。なお、その費用負担については、原則第６条（責任分担一覧表）の「施設・物品等の修繕」に従う。

11. 九州地方整備局より提供した自動車の維持に必要な車検費、車検に伴う維持修理費、法定点検費

及び自賠責保険費は九州地方整備局が負担するが、それ以外の維持修理費、任意保険及び燃料費は事業者の負担とする。

12. 施設及び設備の維持管理に要する費用の額は、過年度の委託料全体に占める金額と同程度以上となるよう、適切かつ的確な予防的修繕及び補修に努めること。また、九州地方整備局が実施する各種法定点検において補修・修繕の必要が生じた場合、原則第６条（責任分担一覧表）の「施設・物品等の修繕」に従い九州地方整備局、事業者が分担して補修・修繕を行うものとする。

第36条 本業務の引継

１．事業者は、契約が完了する、又は解除になる場合には、調査職員の立会の下、調査職員が指示する者に対し、誠意をもって、円滑に事務の引き継ぎを行わなければならない。引き継ぎに当たっては、下記に示す必要な資料の作成及び提出を行い、必要な説明等を行う。ただし、契約が引き続き締結され、当該業務を継続する場合はこの限りではない。

１）運営・利用者サービスに関する事項
利用予約の受付、繁忙期対応、救護日誌、利用者の安全確保のための措置事項　等

２）施設・設備維持管理に関する事項
施設・設備の点検情報、設備・機器等の各種マニュアル、施設・設備の使用において留意が必要な事項、清掃記録　等

３）イベントに関する事項
主催、共催イベント、体験プログラム等の実施状況、持ち込みイベントの状況、継続的な地域連携イベント等における主催者や関係団体との連携、協力すべき事項

４）収益施設運営に関する事項
運営に必要な物品等の引き継ぎ、その他運営上の課題事項等

５）広報宣伝に関する事項
マスコミ等の連絡方法及び連絡先等、取材記録、ホームページの更新方法、ホームページに係る全てのデータ及びドメイン　等

６）協働活動者、関係機関との連携に関する事項
ボランティアの登録情報、連絡方法及び連絡先、活動記録、ボランティア団体と連携して管理を行う箇所や指導を受けている有識者の情報　等

７）動植物管理に関する事項
芝生、草地等の管理区分図、希少種の生育場所、病中害防除、老木、記念樹等の記録　等

８）国への提出資料に関する事項
都市公園法第５条、６条、12条基づく申請及び許可の記録　等

９）その他
救急活動に関するマニュアル、近隣住民への配慮必要事項、苦情処理記録　等

２．不可抗力その他、九州地方整備局や事業者の責めに帰することができない事由により管理の継続が困難となった場合は、九州地方整備局と事業者は管理の継続の可否について協議すること。

３．事業者は、業務の履行期限（継続して、契約した場合は除く）又は、契約が解除されるまでは、公園維持管理が円滑に実施されるよう業務実施体制（第12条記載）を維持すること。

４．履行期限後において補償すべき事態が発覚し、その原因が履行期間内の瑕疵等が明らかな場合は

その費用は事業者が負担する。

５．必要に応じ事業者に対して、平成28年１月から３月末まで準備室を貸与する。準備室では、本業務に関する準備を行うものとし、準備室における光熱水費は九州地方整備局が負担する。

第37条 情報公開

事業者は、文書の開示等の情報公開については、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」（平成 21 年７月１日法律第 66 号）の規定に準じて取り扱うものとする。この場合、調査職員と協議すること。

第38条 調査等への対応

事業者は、九州地方整備局が実施する事業者に対する立ち入り検査、指示等監督・検査に対して、誠意を持って対応すること。

第39条 会計検査への対応

事業者は、会計検査院法第２２条に該当するとき、または同法第23条第１項第７号に規定する「事務若しくは業務の受注者」に該当し、会計検査院が必要と認めるときには、同法第25条及び第26条により、会計検査院の実施検査を受けたり、同院から直接又は九州地方整備局を通じて、資料・報告書等の提出を求められたり質問を受けたりすることがあるので、誠意を持って対応すること。

第40条 事業者が使用する組織の名称

本業務における事業者の名称については「国営海の中道海浜公園管理センター（略称：海の中道管理センター)」とする。

第７章 コンプライアンス

第41条 守秘

１．事業者は、業務上知りえた秘密については、第三者へ漏らしてはならない。

２．九州地方整備局が定める情報のセキュリティに関する規定等ある場合は、それに沿って、情報管理を適切に行うこと。

３．事業者、若しくはその職員及びその他本業務に従事している者又は従事していた者は、業務上知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。これらの者が秘密を漏らし、又は盗用した場合には、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 54 条により罰則の適用がある。

第42条　行政情報流出防止対策の強化

１．受注者は、業務計画書に情報セキュリティに関する対策について記載すること。

２．受注者は、本業務の履行に関する全ての行政情報について適切な流出防止対策をとらなければならない。

３．受注者は、以下に記載する行政情報流出防止対策の基本的事項を遵守しなければならない。

（関係法令等の遵守）

行政情報の取り扱いについては、関係法令を遵守するほか、本規定及び発注者の指示する事項を遵守するものとする。

（行政情報の目的外使用の禁止）

受注者は、発注者の許可無く本業務の履行に関して取り扱う行政情報を本業務の目的以外に使用してはならない。

（社員等に対する指導）

１）受注者は、受注者の社員、短時間特別社員、特別臨時作業員、臨時雇い、嘱託及び派遣労働者並びに取締役、相談役及び顧問、その他全ての従業員（以下「社員等」という。）に対し行政情報の流出防止対策について、周知徹底を図るものとする。

２）受注者は、社員等の退職後においても行政情報の流出防止対策を徹底させるものとする。

３）受注者は、発注者が再委託を認めた業務について再委託をする場合には、再委託先業者に対し本規定に準じた行政情報の流出防止対策に関する確認を行うこと。

（契約終了時等における行政情報の返却）

受注者は、本業務の履行に関し発注者から提供を受けた行政情報（発注者の許可を得て複製した行政情報を含む。以下同じ。）については、本業務（※工事等）の実施完了後又は本業務の実施途中において発注者から返還を求められた場合、速やかに直接発注者に返却するものとする。

また、本業務の実施において付加、変更、作成した行政情報についても同様とする。

（電子情報の管理体制の確保及び取り扱い）

１）受注者は、本業務の実施に際し、情報流出の原因につながる恐れがある行為をしてはならない。

２）受注者は、電子情報を適正に管理し、かつ、責務を負う者（以下「情報管理責任者」という。）を選任及び配置するものとする。

３）本業務を履行するうえで使用する電子計算機及び外部記録媒体は情報管理責任者が認めることとする。

4）本業務で使用する電子計算機のハード及びソフト、並びに外部記録媒体に関するセキュリティ管理体制を確保しなければならない。

5）受注者は、適切なセキュリティ対策を施したうえで電子情報を保存しなければならない。

6）受注者は、適切なセキュリティ対策を施したうえで電子情報を移送しなければならない。

（事故の発生時の措置）

1）受注者は、本業務の履行に関して取り扱う行政情報について何らかの事由により情報流出事故にあった場合には、速やかに発注者に届け出るものとする。

2）この場合において、速やかに、事故の原因を明確にし、セキュリティ上の補完措置をとり、事故の再発防止の措置を講ずるものとする。

4．受注者が、第 42 条第 3 項に記載された行政情報流出防止対策の基本的事項について、疑義が生じた場合は発注者と受注者とが協議すること。

5．受注者は、業務計画書及び情報流出防止対策に記載された内容を確実に実施するとともに、実施したことを確認できる資料を作成し、調査職員に報告しなければならない。

第８章 個人情報の取扱いについて

第43条 基本的事項

事業者は、個人情報の保護の重要性を認識し、本業務における事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成 15 年５月 30 日法律第 58 号）第６条第２項の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

第44条 秘密の保持

事業者は、本業務における事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第45条 取得の制限

事業者は、本業務における事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

第46条 利用及び提供の制限

事業者は、調査職員の指示又は承諾があるときを除き、本業務における事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

第47条 複写等の禁止

事業者は、調査職員の指示又は承諾があるときを除き、本業務における事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

第48条 再委託の禁止

事業者は、調査職員の指示又は承諾があるときを除き、本業務における事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取扱いを伴う事務を再委託してはならない。

第49条 事案発生時における報告

事業者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに調査職員に報告し、調査職員の指示に従うものとする。本業務にかかる契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第50条 資料等の返却等

事業者は、本業務における事務を処理するために九州地方整備局又は調査職員から貸与され、又は事業者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、本業務にかかる契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、九州地方整備局又は調査職員が、廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。

第51条 管理の確認等

九州地方整備局は、事業者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、必要と認めるときは、事業者に対し個人情報の取扱い状況について報告を求め、又は検査することがで

きる。

第52条 管理体制の整備

事業者は、本業務における事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

第53条 従事者への周知

事業者は、従事者に対し、在職中及び退職後においても本業務における事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第54条 罰則

事業者は、正当な理由無く、又は、不正な利益を図る目的で個人情報を提供したり、盗用した場合は、法律に基づき罰則が科せられる。

別紙７

H28-31
国営海の中道海浜公園運営維持管理業務
個別仕様書
【本業務全体の計画立案及びマネジメント】

平成 27 年 7 月

国土交通省九州地方整備局

第１章　総則

第１条　適用

本仕様書は、H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務のうち、本業務全体の計画立案及びマネジメント業務に適用する。

第２条　基本事項

１．運営維持管理業務を総括する業務責任者の責任のもと実施することとする。

２．事業者は、本仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めるとともに、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に運営維持管理を行うものとする。

なお、本仕様書に記載のない事項又は本仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議するものとする。

３．事業者は、公園内を常に良好な状態とし、他の業務と相互連携を保ち適切に進捗管理を行い、実施することとする。

４．公園利用者に対する簡易な案内及び緊急の対応等のサービスに努めること。

５．スタッフの服装、作業用機械、器具、車両等については、公園にふさわしいものとし、イメージアップに心掛けるものとする。

６．業務責任者を含めた全てのスタッフについて、調査職員の指定する名札を作成し着用すること。

７．取材、行催事、ボランティア活動、工事、納品等通常の公園利用と異なる目的で入園する者が、「国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱い要領」等に基づき、公園利用者の安全と快適な利用を確保するとともに、事故を未然に防止し公園施設の保全を図るように努めること。また、公園立入許可申請書の受付、許可書の発行業務及び申請者一覧の作成を行うこと。

８．持ち込み可能な車種及び車両の運行については、別添15「国営海の中道海浜公園　園内業務車両入園における車両通行規則」に基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、別添15「国営海の中道海浜公園園内業務車両入園における車両通行規則」及び「公園内車両通行および作業心得について」を遵守して走行するものとする。

９．作業にかかる車両の持ち込みは最小にとどめ、公園利用者の迷惑とならない様、必要に応じ誘導員を配置するか、公園利用者の迷惑とならない場所へすみやかに移動するものとする。

第２章　業務の計画立案及びマネジメント業務

第３条　管理水準

本公園の運営維持管理全般について、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、企画運営管理業務、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、動物管理業務等、多岐にわたる業務について総合的な調整のもと相互連携を保ちつつ、適切な進捗管理を行うとともに、入園料等の徴収事務、地方整備局の実施する整備・修繕工事における実施方針の検討等の助言・調整、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務を行う。

また、公園の入園料等は、国の収入となることに留意し、事業者はこれらの徴収事務を別に定める手続き等に沿って安全、適切に行うこと。

第４条　計画立案

国営海の中道海浜公園の業務全般について、公園利用者に対するサービス向上を目指し、多岐にわたる各業務を円滑かつ効率的に実施するため、総合的な視点から運営維持管理全般の目標をさだめるとともに計画立案を行うものとする。

第５条　マネジメント業務

１．別紙５「国営海の中道海浜公園運営維持管理基本方針」をふまえ、統一的な方針のもと、公園利用者に対するサービス水準を維持向上するため、多岐にわたる各業務について業務全般を俯瞰的に監理するものとする。

業務全般の監理にあたっては、適宜、各業務における総合的な連携調整をはじめ、実施方法の決定及び各業務の適切な進捗管理など、総合的な視点から国営海の中道海浜公園の運営維持管理全般のマネジメントを行うものとする。

２．九州地方整備局が実施又は要請する事業（例：臨時園内点検及び管理作業、緊急安全点検、防災訓練、安全パトロール、消防訓練、行催事、要人案内、公園に関する会議、早朝及び夜間公開、入園者数報告、監査・検査、インターンシップ受け入れ時の対応、視察、式典等）への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行う。

３．収益施設等の運営が、他の維持管理業務と連携しながら創意工夫やノウハウを発揮し、質の高いサービスの提供が行えるよう調整を行うこと。

４．毎日、公園利用者数を計測し調査職員に報告すること。

第６条　入園料等の徴収

１．事業者は西口、西サイクリングロ、ワンダーワールドロ、海の中道駅口、光と風の広場口、カモ池口の各ゲート及びその他調査職員の指定する場所において、券売機を管理及び必要な消耗品の供給をし、自動販売に係る入園券の作成及び販売をするとともに、入場ゲートにて入園券の手売り、改札を行うことで所定の入園料金を徴収するものとする。その際、つり銭、両替金を準備し補充すること。又、特定公園施設の利用者から付随して徴収している入園料等については、調査職員の指示に従い各特定公園施設管理者等と連携し徴収するものとする。

２．事業者は、「平成16年度国営公園入園料に係る制度の拡充について（照会）」の「１．年間パスポート券」に基づき、調査職員の指定する場所において、年間パスポートの作成及び手売りを行い、所定の料金を徴収するものとする。また、発行に時間を要する場合は、引換券を渡す等、適切な措置を講じるものとする。なお、入園券を購入した公園利用者に対して、年間パスポートの販売を行う場合は、調査職員の指定する場所にて差額販売を行うこと。

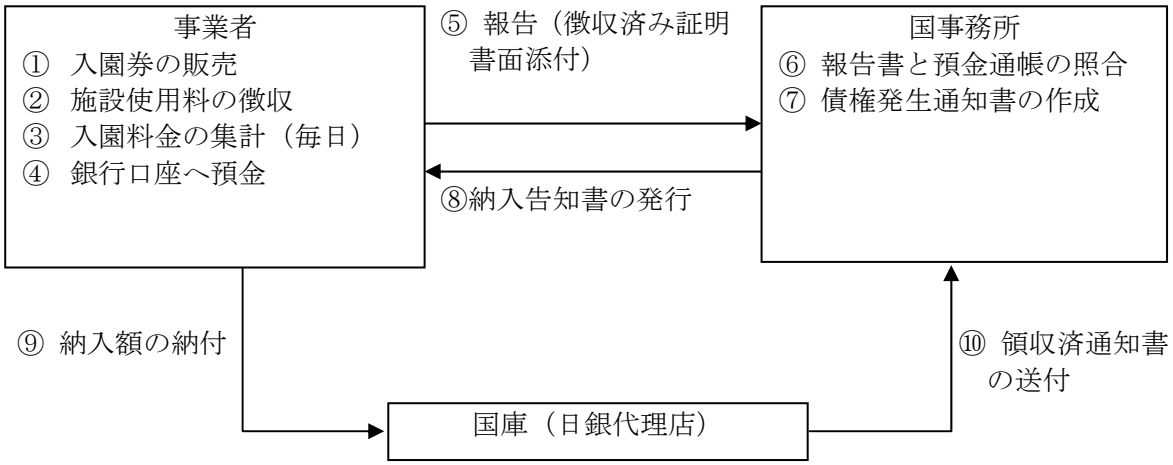
３．年間パスポート購入者の登録情報は、関係法令及び共通仕様書第８章に定める「個人情報の取扱いについて」に基づき、適切に管理すること。

４．年間パスポート購入者が、年間パスポートを不携帯の場合は、別途入園料の徴収は行わず、氏名等を登録情報と照合し、本人であることを確認した上で入園させる等、適切な措置を講じること。

５．シルバー券の利用者に対しては年齢を確認した上で入園させる等、適切な措置を講じること。

６．事業者は、手売り入園券を作成する場合は、調査職員の承諾を受けた上で作成し、これを販売するまでの間保管する。なお、手売入園券の作成は、調査職員と協議の上、内容および複製防止の対策を十分に施し印刷すること。

7．事業者は、毎月15日及び月末日までの徴収済みの入園料等を集計し、徴収済みを証する書類を添えて九州地方整備局に書面により報告し、九州地方整備局の歳入徴収官の発行する納入告知書により国庫に納入しなければならない。
8．国庫に納入する入園料等は、事業者の他の口座とは別の口座（入園料等の専用口座）で管理を行うこととし、公園利用者数、日々の売り上げた券及び入園料は、毎日、集金及び集計し、他の経理区分と分けて帳簿等に記入し、管理すること。なお、入園料を徴収した後、国庫に納入するまでの間の管理責任は事業者にあるものとする。
9．入園料と駐車料金等その他の料金を同時に徴収する場合、入園料については前項に掲げる事項に基づき適切に管理すること。



※事業者の銀行口座で発生する利息については、年２回事業者から国に報告し、⑥～⑩の手続きを行う。

10．ドッグランの施設使用料は、ドッグランの受付にて必要な確認等を行った上で所定の施設使用料を徴収すること。又、松毬庵の施設使用料は、管理センターにて受付を行い所定の施設使用料を徴収すること。
11．事業者は入園料等の収受等に際し、集金・集計の方法、手売入園券及び現金等の保管方法等について業務計画書に記載し契約締結の14日前までに九州地方整備局に提出し承諾を受けるものとする。

第７条　その他国庫に納入する収入

事業者は、前条の入園料等の徴収に付随して発生する収入が発生したときに、その内容を証する書類を添えて調査職員に書面により報告し、国の発行する納入告知書により国庫に納入しなければならない。なお、その他の収入が発生した後、国庫に納入するまでの間の管理責任は事業者にあるものとする。

第８条　保険の加入

万一の事故に備えて、動産総合保険（園内における保管・輸送を対象）に加入すること。

第９条　安全管理

１．公園における公園利用者の安全確保並びに快適な利用を図るため、本業務の履行にあたり、常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、公園の利用に関し必要な事項について、適切な措置・対応を行うなど、事業者の責任において常に善良なる管理を行うものとする。
　なお、九州地方整備局が定める公園利用規則等がある場合は、それに則った対応を図ること。
２．新型インフルエンザや鳥インフルエンザのように重症化する恐れのある感染症等については、調査職員と協議の上、消毒液を設置するなど、適切な措置・対応を行うこと。
３．事業者は、本業務の履行にあたっては消防法に準拠するとともに、九州地方整備局が定める消防計画･危険物予防規定を遵守すること。
４．事業者は、九州地方整備局と協力し、火災・その他災害による物的・人的被害を軽減することを

目的に、別途消防計画・危険物予防規定を含めた危機管理マニュアルを作成し、契約締結の14日前までに九州地方整備局に提出し承諾を受けた上でその内容を遵守するものとする。なお、消防計画には、防火管理者等の担当者を明記することとする。

5．事業者は、業務履行期間中は毎月１回、施設の消防用設備等の自主検査を実施し、調査職員に報告するものとする。

6．異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告しその指示に従う。安全管理には十分注意し本業務を履行する。

第10条　安全確保

1．本業務の実施にあたっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ、事故の防止に努める。

2．本業務を行う場所若しくはその周辺に第三者が存する場合又は立ち入る恐れがある場合には、危険防止に必要な措置を調査職員に報告の上、当該措置を講じ、事故の発生を防止する。

3．設備に異常を認めた時は、危険防止に必要な措置を調査職員に報告の上、当該措置を講ずる。

4．万一、設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止又は運転制限をする等の措置をした上、速やかに調査職員に報告し、必要に応じ精密検査をおこなう等その原因を究明し、機能復旧に努めると共に、再発防止のための必要な措置をとる。

なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせを行うこと。併せて、後日遅滞なく、事故の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する)により報告するものとする。

5．その他公園管理又は公園施設に起因するか若しくはその恐れのある事故等が起こった場合、必要な措置を取った上、速やかに調査職員に報告するものとする。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせを行うこと。併せて、後日遅滞なく、書面（様式は別途調査職員より指示する)により報告するものとする。

１）事故発生日時
２）事故発生場所
３）事故発生の原因
４）事故の程度
５）人身事故の場合は、医師の診断結果または、本人及びその家族等から得られた情報
６）被害者の氏名、性別、年齢、連絡先
７）事故処理の概略
８）再発防止など改善策等

第11条　救急対応

1．事業者は、救急時の対応方法及びその報告方法を定めた危機管理マニュアルを作成し、契約締結の14日前までに九州地方整備局に提出し承諾を受け、その内容を遵守するものとする。

2．事業者は、公園利用者の動向等を勘案し適切に救急施設を配置し、公開期間中は看護師を常駐し救急活動に当たらなければならない。また、臨機な救急活動に対応できる体制を整えるため、年１回以上は普通救命講習を開催し、スタッフが普通救命講習終了者（ⅠまたはⅡ）の資格を有するように努めること。なお、目標とする普通救命講習終了者（ⅠまたはⅡ）の職員数を業務計画書に示し、調査職員と承諾を受けること。

3．事業者は、救急活動を要する事態を認めたときは、公園利用者の急病や負傷には応急処置をとり、怪我等の状態によっては救急車両による搬送手配を行うなど、最も適切と思われる措置を行わなければならない。

4．事業者は、前項の措置をとった場合は、その原因となる事項や処置内容等を正確に記録するとともに、その経過及び結果を速やかに調査職員に報告する。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、事故の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する)により報告するものとする。

5．傷病者の発生に備え、日頃から研修・訓練等を行うこと。

第12条　災害時、異常時等の対応

１．事業者は災害防止等のために必要があると認められるときは、公園利用者の安全を確保し、迅速かつ的確に避難誘導を行うなど臨機の措置をとらなければならない。この場合において、閉園等の必要があると認めるときは、事業者はあらかじめ調査職員の承諾を得なければならない。ただし、緊急上やむを得ない事情があるときは、この限りではない。

２．前項の場合においては、事業者は、そのとった措置の内容を調査職員に速やかに報告する。

３．設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止又は運転制限をする等の措置をした上、速やかに調査職員に報告し、必要に応じ精密検査をおこなう等その原因を究明し、機能復旧に努めると共に、再発防止のための必要な措置をとる。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせを行うこと。併せて、後日遅滞なく、事故の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する)により報告するものとする。

４．台風、豪雨等の災害発生が予想される場合には、事前に土のう設置、雨水桝の詰まり防止のための落ち葉除去等を実施し、被害の軽減に努めなければならない。

５．台風、豪雨等の災害発生時に調査職員の指示した箇所の巡回、土のう等の設置等を行うものとする。

６．事業者は、夜間及び休園日において、異常を発見した場合は、必要に応じて警察、消防等の関係機関等に通報し、適切な措置を講ずるとともに、調査職員に速やかに報告する。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、事案の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する)により報告するものとする。

７．調査職員は、災害防止や本業務の履行上特に必要と認めるときは、事業者に対して、臨機の措置をとることを指示することができる。

８．調査職員の指示により、災害時、異常時等の緊急を要する場合は、事業者は、迅速に必要な人員を確保し、適切な措置・対応を行うこと。また、九州地方整備局が策定した災害発生等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

９．事業者は、事故や災害発生時等への対応のため、事務所が定める「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」及び「事業継続計画（ＢＣＰ）マニュアル」に基づき、事業者の役割・行動・体制等をとりまとめた危機管理マニュアルを作成し、契約締結の14日前までに業務計画書として取りまとめ九州地方整備局に提出し承諾を受け、その内容を遵守しなければならない。

10. 事業者は、事故や災害発生時等には、前項において作成したマニュアルに基づき、公園の公開日、公開時間に関わらず、適切な措置・対応を行うものとする。

11. 事業者は、「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」に基づき九州地方整備局が防災体制の発令を行った場合は、調査職員の指示に従い、園内の臨時巡視行うこと。又、巡視の結果については、公園の開閉園の判断要素となるため、速やかに調査職員又は「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」に基づく国事務所出勤者に電話・メール・口頭のいずれかで連絡し、その後の対応については調査職員又は「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」に基づく国事務所出勤者と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する)により報告するものとする。

第13条　繁忙日対応

行催事の実施計画や過年度の利用者数の状況の把握等から、事前に繁忙日や利用者数を予想し、調査職員や関係者との協議・調整、適切な人員配置等の事前準備を行う。

第14条　その他

この仕様書によるもののほか、本業務全体の計画立案及びマネジメント業務の実施にあたり必要な事項は、調査職員と協議の上定めることとする。

別紙８

H28-31
国営海の中道海浜公園運営維持管理業務
個別仕様書
【企画運営管理】

平成 27 年 7 月

国土交通省九州地方整備局

第１編　総則

第１条　適用

本仕様書は、H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務のうち、企画運営管理業務に適用する。

第２条　基本事項

１．企画運営管理業務を総括する業務責任者の責任のもと実施することとする。

２．事業者は、本仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めるとともに、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に運営維持管理を行うものとする。

なお、本仕様書に記載のない事項又は本仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議するものとする。

３．事業者は、公園内を常に良好な状態とし、他の業務と相互連携を保ち適切に進捗管理を行い、実施することとする。

４．公園利用者に対する簡易な案内及び緊急の対応等のサービスに努めること。

５．スタッフの服装、作業用機械、器具、車両等については、公園にふさわしいものとし、イメージアップに心掛けるものとする。

６．業務責任者を含めた全てのスタッフについて、調査職員の指定する名札を作成し着用すること。

７．取材、行催事、ボランティア活動、工事、納品等通常の公園利用と異なる目的で入園する者が、「国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱い要領」等に基づき、公園利用者の安全と快適な利用を確保するとともに、事故を未然に防止し公園施設の保全を図るように努めること。また、公園立入許可申請書の受付、許可書の発行業務及び申請者一覧の作成を行うこと。

８．持ち込み可能な車種及び車両の運行については、別添15「国営海の中道海浜公園　園内業務車両入園における車両通行規則」に基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、別添15「国営海の中道海浜公園園内業務車両入園における車両通行規則」及び「公園内車両通行および作業心得について」を遵守して走行するものとする。

９．作業にかかる車両の持ち込みは最小にとどめ、公園利用者の迷惑とならない様、必要に応じ誘導員を配置するか、公園利用者の迷惑とならない場所へすみやかに移動するものとする。

第２編　行催事

第１章　行催事企画運営

第３条　目　的

１．事業者は、公園利用の増進に加え、公共施設としての公園の目的・機能を発揮するために行われる利用プログラム、イベント、競技会、展示会等から構成される行催事（以下「イベント」という。）について、企画立案、開催・運営等の一連の作業をノウハウや創意工夫を発揮して行うものとする。

２．本仕様書が対象とする行催事は九州地方整備局が主催または共催により行うものである。

３．行催事とは、公園の施設を活用し、公園利用者に対するサービス水準の向上の一貫として通年的に提供されるサービスと公園の周知や利用促進のため、公園利用者の利用のきっかけを提供する定期および不定期のサービスがある。

　また、上記行催事のほか、九州地方整備局の許可を受けて独立採算により開催する行催事については自主事業として取り扱う（管理運営規定書参照）。

第４条　管理水準

　事業者は、当公園の立地する地域性・空間特性、社会的要請に配慮し、別紙17を参考に行催事を適切に実施し、公園の設置主旨の達成及び利用の促進に寄与することとする。

第５条　年間行事計画の作成

　事業者は、現地及び企画内容を十分に検討し、年間行催事計画を作成する（共通仕様書第13条参照）。年間計画の作成の際は、調査職員と協議するものとする。

第６条　行催事の企画立案

１．事業者は、行催事（以下「イベント」という。）を円滑に実施するために、開催目的、手順、内容、工程、実施体制、開催効果、予算書等について企画立案し、その内容について調査職員と密接に連絡調整するものとする。

２．事業者は、イベントの展開にあたっては、当公園の立地する地域性・空間特性、社会的要請に配慮した主催・共催イベントの企画立案・開催、持込イベントの誘致及び対応、地域連携イベントの創出・開催、市民協働イベントの企画立案・開催を行うものとする。

３．事業者は、別紙17に示すイベント等及び自主事業を参考にしつつ、広大な敷地面積、動物の森や海浜部等の特徴を活かして、都市緑化系イベント、スポーツ系イベント、自然環境系イベント、環境学習系イベント、文化系イベント、季節系イベント等を単独若しくは複合的に組み合わせながらイベント等を展開するものとする。また、イベント毎に効果を検証し効果的かつ効率的なイベントの企画立案を図るものとする。

４．事業者は、効果的・効率的に利用促進を図ることを目的に開催される「野外コンサート」、「マラソン大会」、「ウォークラリー大会」、「サッカー大会」及び「各種レクレーションイベント」等の持込イベントを年間通じて誘致するとともに、イベント開催時において公園利用者全体が安全かつ快適に公園を利用できるように主催者との調整をはかるものとする。

第７条　イベントの開催・運営

　イベントの目的に沿って、その効果が十分に発揮されるよう、入念な事前準備を行った上で、公園利用者のサービスや満足度の向上に寄与する行催事の開催・運営を行うものとする。

　また、イベントの開催にあたっては、次の各号に掲げる事項に留意すること。

１）官公署への連絡、届出

　イベントの主催時には、必要に応じ、関係機関との協議のほか、許認可の必要な事項について手続きが欠落しないよう注意する。

２）事故防止対策

　参加者の誘導整理、救護、緊急連絡など、事故防止対策には特に注意する。

　また、大型のイベントの主催時には、必要に応じて、物的措置及び専門の警備員の配置も含めた人的措置を講じ、安全確保に努めるものとする。

　なお、けが人、病人などが発生した場合は、適切に対処し、調査職員に報告すること。

３）災害発生時の対応

台風、豪雨、雷等の災害発生時は、迅速に必要な人員を確保し、イベントの開催の可否の判断を行うとともに、イベントの参加者を安全な場所に誘導する等、適切な措置・対応を行うこと。

４）保険の付保及び事故の補償

参加者の不慮の事故に備え、必要な場合には損害保険に加入する。

第８条　提出書類

１．事業者は、イベントについて、企画書や実施工程表等の書類、その他指示する図書をイベント実施の14日前までに九州地方整備局に提出し、承諾を受けものとする。

２．事業者は、翌月に開催する予定イベント（主催・共催等）について、前月末までに調査職員に協議の上、その指示に従うものとする。また、持込イベントも含めて開催結果（参加者数等）についてイベント開催月の翌月10日までに、調査職員に提出するものとする。

第９条　行為の許可申請の調整等

１．主催以外で、都市公園法第12条に基づき第３者が本公園内で実施を希望する持込イベントの開催に際しては、共通仕様書第31条に示す協議・報告を行うなど、調査職員の指示に従い、必要な調整を行うものとする。

１）事業者は、利用者からの持込イベントの相談窓口として、日時、規模、内容、建物使用料及び土地使用料が発生するかどうか等を確認・調整するものとする。

２）他の利用形態等との調整を経て、持込イベントについて事業者と国事務所間で確認・調整するものとする。なお、必要に応じて、国事務所も入りイベント主催者と調整を行う。

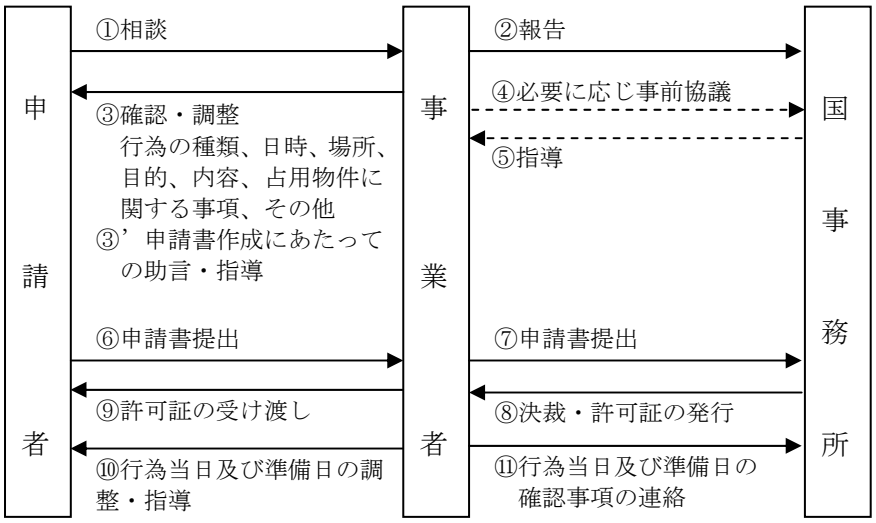
３）事業者は、イベント主催者から公園管理者宛に提出される必要書類を窓口として受けるものとする。

４）国事務所において都市公園法等に基づく許認可（許可書の受け渡しは事業者で実施）と、建物使用料及び土地使用料の徴収などを行う。

５）事業者は、申請者に対し「国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領」等の規則や許可申請に必要となる資料及び提出期限（原則としてイベントを行おうとする日の14日前迄）などについて丁寧に説明すること。

２．第３者がイベントにより本公園を利用する場合等の行為ついては、都市公園法第12条に基づく九州地方整備局長の許可が必要であるため、事業者は下記に示す手続きフローに従い適切に対応すること。

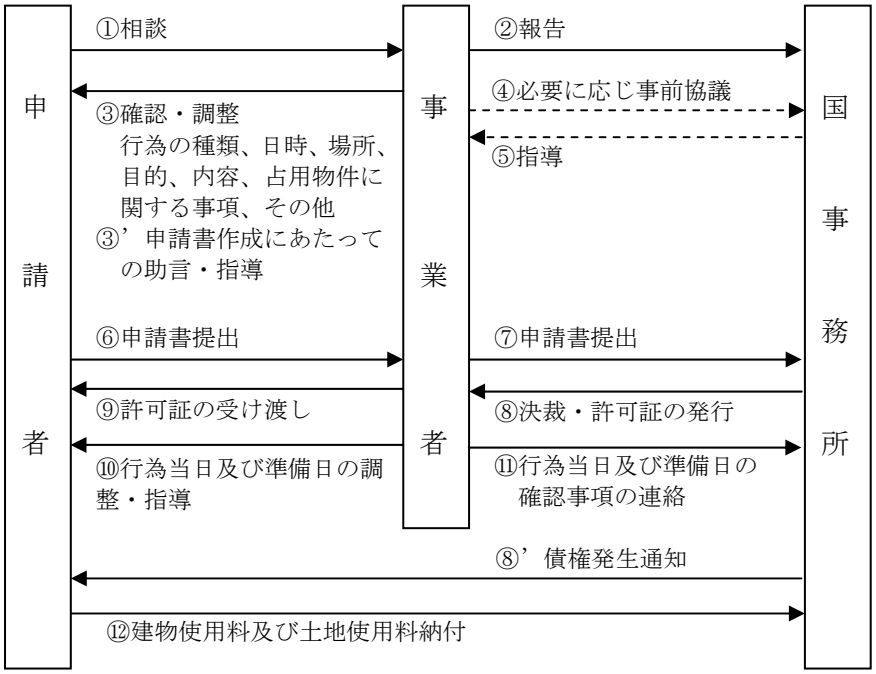
＜都市公園法第12条に基づく占用の許可に関する手続きフロー＞



※占用物件が発生する場合は、別途、都市公園法６条に基づく許可申請と建物使用料及び土地使用料徴収が発生する。（建物使用料及び土地使用料の徴収事務は国事務所で行う。）

３．第３者がイベントにより本公園の全部又は一部を独占して利用する場合及び仮設物等の占用物件が発生する場合は、都市公園法第６条に基づく九州地方整備局長の許可が必要であるため、事業者は、下記に示す手続きフローに従い、適切に対応すること。

＜都市公園法第６条に基づく占用の許可に関する手続きフロー＞



※原則として、都市公園法第12条に基づく行為に関する許可を前提とする。
（例外有り）

第10条　その他

１．イベント開催の前に、園内の施設工作物及び樹木等を損傷しないように注意し、公園内施設等に対する損傷や支障を与えないように養生を行うこと。また、イベント終了後は、養生材や工具の撤去、床、壁、機器、開催場所周辺を清掃すること。

２．イベントの実施に際しては、園内の施設工作物及び樹木等を損傷しないように注意すること。また、イベントの実施中は、服装、言動等に注意し、入園者に不快感を与えないよう留意すること。

３．常に入園者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理者の注意をもって運営等にあたらなければならないものとする。なお、異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告しその指示に従うものとする。

４．イベントの実施に必要な仮設物の準備、撤去等に当たっては、安全管理に十分注意し施工する。

５．入園者に対する案内及び緊急の対応等のサービスに努めること。

６．イベントを開催する関係者については、アルバイト等を含むスタッフ全員が名札を着用すること。

７．本仕様書に定めるイベントの実施にあたり、必要な原材料費等の実費相当の料金を参加者より徴収することは妨げない。但し、実施にあたっては、公園管理者に事前に了解を得た上で、実施するものとし、その徴収額と経費については、本業務委託の会計とは別に帳簿等を取りまとめ、年度終了毎に調査職員に報告するものとする。

８．主催・共催以外で、持ち込みのイベントの開催に際しては、本仕様書第２編第１章第９条に示す行為の許可申請の調整等を行うなど、公園管理者の指示に従い、必要な調整を行うものとする。

第２章　公園ボランティア活動の支援・調整

第11条　管理水準

市民のボランティア活動（以下「活動」という。）を促進すること。なお、既存のボランティア活動の実態については、第12条に示すとおりであるが、活動の継続等についてはボランティア団体又は個人の意思を尊重すること。なお、継続するボランティア及び新規登録ボランティアとの連携を図り、ボランティアが円滑に活動できるよう側面的に支援するとともに、活動の調整を行うものとする。

第12条　ボランティア活動の内容

１．既存のボランティアの活動の内容は以下の表のとおりである。

ボランティア名	活動内容	登録者数 (H26.4.1現在)
海の中道ﾌﾗﾜｰﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	○ｼﾝﾌｫﾆｰｶﾞｰﾃﾞﾝ、ﾌﾗﾜｰﾐｭｰｼﾞｱﾑ等の花壇管理作業 ○ﾌﾗﾜｰﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ講習会に関する活動 ○園内花壇のｶﾞｲﾄﾞﾂｱｰに関する活動　等	36名
ﾊﾞﾗﾌﾚﾝｽﾞ	○バラまつりのイベントサポート ○花落としや摘蕾、剪定、土づくりなどの活動 ○公園イベントへの協力　等	21名
海の中道ｻﾎﾟｰﾄｸﾗﾌﾞ	○遊具（昔あそび道具）の製作に関する活動 ○昔遊びの指導・実技に関する活動 ○公園イベントへの協力　等	44名
動物の森ZOOﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	○飼育動物の管理作業全般に関する活動 ○動物愛護に関する活動 ○公園イベントへの協力　等	34名
共生の森ｻﾎﾟｰﾄﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	○環境共生の森等での環境学習活動のｻﾎﾟｰﾄ ○森林育成・田畑活動のｻﾎﾟｰﾄ ○共生の森ｻﾎﾟｰﾄﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ研修に関する活動	28名
野鳥ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	○月１回の野鳥観察及び調査報告書の作成 ○本公園に生息する野鳥の保護に関する活動 ○公園イベントへの協力　等	５名
紙ﾋｺｰｷﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	○主催行催事「紙ﾋｺｰｷ教室」における参加者への指導・その他運営に関する活動 ○紙ﾋｺｰｷの普及に関する活動 ○公園イベントへの協力　等	13名
ﾃﾞｨｽｸｺﾞﾙﾌﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	○主催行催事「ﾃﾞｨｽｸｺﾞﾙﾌﾁｬﾚﾝｼﾞ」「ﾃﾞｨｽｺﾞﾙﾌﾜｰﾙﾄﾞﾋﾞｹﾞｽﾄ」における参加者への指導及びその他運営に関する活動 ○ﾃﾞｨｽｸｺﾞﾙﾌｺｰｽの管理に関する活動 ○ﾃﾞｨｽｸｺﾞﾙﾌｺｰｽの利用促進・普及に関する活動	34名
自然学びﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	○森の家を拠点とし、公園全体を利用する自然体験ｲﾍﾞﾝﾄの協力、企画・運営に関する活動 ○自然体験を中心とした、公園内のﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝイベントへの協力 ○ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ研修に関する活動　等	５名

２．上記、登録ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ団体以外に、海岸清掃イベントとしてのﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動や企業の短日ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等幅広くﾎﾞﾗﾝﾃｨｱを受け入れている。

第13条　ボランティア団体及び個人の誘致について

１．事業者は、ボランティア団体及び個人の誘致に努めなければならい。

２．事業者は、本公園でボランティア活動の実施希望を実現しやすいよう受け入れ等の環境を整備すること。なお、環境づくりについては、調査職員と協議しその指示に従うものとする。

第14条　ボランティア活動の実施に関わる規約案等の作成

１．ボランティア活動を行う場合には、事業者は、本公園において、活動を希望する個人または団体を対象とした公園ボランティア規約案（別添20「国営海の中道海浜公園〇〇ボランティア規約ひな形」参照）を作成し、調査職員と協議し承諾を受けること。

第15条　調査職員との協議等

１．事業者は、ボランティアの募集、調整及び窓口等の業務を行うものとする。

２．事業者は、第14条において承諾を受けた、各々のボランティア規約に基づき、調査職員と協議の上、ボランティアの登録、個人情報の管理、年間活動計画の策定、当該年度のボランティア活動の報告を行う。

第16条　ボランティア登録の抹消

事業者は、次の各号に該当する事実が発生した場合は、速やかに調査職員に報告するとともに、登録抹消その際、事業者は、ボランティア登録の抹消に関する窓口業務や連絡、調整等を行うほか、貸与した被服及びボランティア証の回収を行うものとする。

１）登録者より登録取消しの申出があったとき

２）登録者の所在が不明となり、連絡不能となったとき

３）登録者がボランティアとして不適格であると認められるとき

第17条　ボランティアへの支援内容

状況に応じ、ボランティアへ次の各号に掲げる支援を行うことができるものとする。

１）被服の貸与

２）駐車料、入園料等の免除

３）その他、ボランティア活動の実施に必要であると考えられる支援

第３章　広報

第18条　管理水準

１．公園の利用促進や適正な利用の確保のため、公園利用者の動向を把握しながらホームページの維持・更新や園内マップの作成・配布等、効果的・積極的かつ計画的に各種広報を適切に行う。

２．費用対効果を常に検証しながらよりよい広報に努めるものとする。

３．個別の広報の企画にあたっては、調査職員と協議の上その指示に従うものとする。

４．広報に用いる媒体については、ユニバーサルデザイン検討委員会（外部有識者会議）にて承認されている「情報提供ガイドライン」「ネットワークルートガイドライン」「Ｗｅｂ情報提供改善手引き」に適合するものとする。

第19条　年間広報計画の作成

事業者は、ポスター、チラシ等の広報の展開に関する年間広報計画を契約締結の14日前迄に九州地方整備局に業務計画書として提出し、承諾を受けなければならない。

第20条　ポスター、チラシ等作成

事業者は、年間広報計画に基づき、ポスター、チラシ、パンフレット等を作成し、園内外で配布や掲示等を行うものとする。なお、作成する前に必ずその内容等について、調査職員と協議し、承認を得るものとする。

第21条　広報展開

１．パブリシティー活動

広く効果的に当公園の魅力やイベントについて知らせることを目的にＴＶ・ラジオ・新聞などのマスメディアへ積極的かつ計画的に情報を提供するものとする。

２．大型イベント開催時の広報展開

１）必要に応じイベントのチラシを作成し幼稚園児、小学校児童等、の配布を行うほか、道の駅、交通機関、福岡県・市の関係機関等へ配布する等適切な対応を行うものとする。

２）必要に応じ、折り込み広告・雑誌・情報誌・ＤＭ等を利用した広報活動を展開するものとする。

３）イベントや利用促進のための広報活動の一環としてキャンペーン等を必要に応じ展開するものとする。

３．オフィシャルガイドブック・講演ガイド等の活用

公園の魅力を伝える広報媒体として、来園前の公然情報提供に資するオフィシャルガイドブック（Ｗｅｂ版）等、来園後の公園情報提供に資する公園ガイド等、既存媒体の内容充実、広報展開の拡大等を図る。

４．特定公園施設管理者及び収益施設等運営者と連携した広報展開

チラシやポスター等の広報媒体を展開する際は公園内の各機関の情報等も出来るだけ盛り込むことにより、公園全体の魅力を知らせる事につながり大きな利用促進の効果を発揮するので、特定公園施設管理者及び収益施設等運営者との連携・調整を密に図るものとする。

５．広域から来園者を迎えるための広報展開

ポスター・チラシ・公園ガイド等について、公共交通機関ターミナルや観光案内所など掲示を行うなど広域の居住者に公園の情報を知らせる広報展開を図るものとする。

６．他の国営公園との連携による広報展開

全国にある国営公園と連携し、各公園の特色ある広報等を当公園の広報に取り入れるなど、効果的かつ効率的な広報の充実に努めるものとする。

第22条　情報提供

１．事業者は、本公園の自然や施設等の資源や行催事等について、ダイレクトメールによる広報活動や、テレビ、ラジオ、雑誌、新聞等の各種媒体や記者クラブへの情報提供を行う。なお、情報提供の内容と提供先は事前に調査職員と協議し、同意を得るものとする。

２．マスコミへの情報の提供先は、次の各号に掲げる事項によるものとする。

１）福岡県政記者クラブ

２）福岡市政記者クラブ

３）その他、テレビ局など情報の提供が有意義であると認められる場合。

第23条　広報に係る素材等

１．事業者は、本公園のロゴ（名称）及びホームページアドレス等を入れた広告媒体を、調査職員と協議の上、作成することができる。本公園のロゴ（名称）等は「サインマニュアル」（別添21）及び「グラフィックマニュアル」（別添22）に従って使用するものとする。

　なお、著作権（事業者に権利が帰属しないものを除く。）はすべて事業者に属する。ただし、事業者は、九州地方整備局に対して、本業務の目的を達成するために必要な限度で、当該成果物を無償で使用させる。

２．事業者は、九州地方整備局から提供したパンフレット等の電子媒体を調査職員と協議の上、使用することができる。なお、提供した電子媒体について修正等を行った場合は、契約の終了後又は解除後、速やかに修正した電子媒体を調査職員に提出することとする。

第24条　取材・視察等への対応

１．本公園の広報につながる取材の申し出があった場合は、事業者は取材者から取材内容等について確認し、別添23「取材申込書」にて調査職員に報告すること。

２．本条第１項以外のロケーション依頼については、事業者は事前に取材者から別添18「園内におけるロケーション等の許可に関する取扱要領」に基づき、都市公園法第12条に基づく許可申請について必要な調整・申請書の受付・許可書の受け渡しなどの業務を行うこと。

３．取材及びロケーションを許可する場合は、国営海の中道海浜公園における禁止行為を伝え、節度ある取材行為を依頼すること。なお、別添13「国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱い要領」等に規定された禁止行為または許可条件に違反する行為が見られた場合は、ただちに取材を及びロケーションを中止させ、すみやかに調査職員へ報告すること。

４．行政機関等からの視察については、事前に調査職員と協議し、指示を受けるものとする。

第25条　ホームページの公開場所

１．ホームページによる情報発信は、公園の公的名称を使用し、原則として調査職員が指示するレンタルサーバーに格納して公開することとし、レンタルサーバー管理会社にサーバー維持管理費を支払うものとする。

２．現在、レンタルサーバー管理会社は「コアラ」を使用している。

第26条　ホームページによる情報発信

１．事業者は国営海の中道海浜公園に関する最新の情報を常に発信するために「国営公園　海の中道海浜公園　オフィシャルホームページ」（以下「本公園ホームページ」という。）を運用する。

２．本公園ホームページの内容は、利用者のアクセス数の向上が図られるよう創意工夫に努めるとともに、常に最新の情報となるよう努めること。その内容については、ユニバーサルデザインを考慮した内容の充実や見やすさの向上を図るものとする。また、公園の魅力をリアルタイムに伝える手法について調査職員と協議の上、その指示に従うのとする（現行は、ブログ（花、動物、イベント、環境共生の森、ユニバーサルデザイン）により配信）。なお、手法の策定にあたっては、掲載内容、更新回数についても考慮するものとする。

３．事業者は、本公園ホームページ上で発信する情報について共通仕様書第８章に定める「個人情報の取扱いについて」及び九州地方整備局が定めるプライバシーポリシーに基づいた適正な内容であることを事前に確認することとする。

４．ネットワークのシステム管理者は、情報（掲載する文書、図画、写真及び音楽など）における著作権等の知的所有権に配慮することとする。

５．他人の著作物を本公園ホームページに掲載する場合には、事前に著作権者の許諾を得ることとする。

６．本公園ホームページは原則として一つとし、収益施設や自主事業における行催事等で作成したホームページは本公園ホームページよりアクセスできるようリンクをはるものとする。ただし、これによりがたい場合は、別途協議によるものとする。

第27条　掲載情報の更新・修正・訂正

１．事業者は、本公園ホームページについて、施設情報や行催事・草花等、随時更新される公園情報

についてホームページデータを作成し、サーバーデータの更新を行うものとする。なお、データ作成により生じる全ての権利は事業者に属する。ただし、事業者は、九州地方整備局に対して、本業務の目的を達成するために必要な限度で、当該成果物を無償で使用させる。

2．事業者は、個人に関する掲載情報について、本人又は保護者から内容の訂正又は削除の要請を受け、必要と認めた場合には、訂正等の措置をとることとする。

3．事業者は、本公園ホームページであるとの誤解を与える内容の他のホームページを発見した場合には、訂正等必要な措置を求めることとする。

第28条　その他

1．事業者やその関係者が私的に作成・開設するホームページ（及びブログ、プロフ、SNS、ツイッター等を含む）は、本公園ホームページであるとの誤解を与えないよう配慮するとともに、職務上知り得た情報を掲載しないこととする。

2．事業者は、月毎に本公園ホームページのトップページ、総ページビュー及び携帯ホームページ毎にアクセス数を集計し、原則翌月７日迄に調査職員へ報告するものとする。

3．本公園ホームページの運用にあたっては、この仕様書によるもののほか、必要な事項は事業者が調査職員と協議の上定めることとする。

第３編　利用サービス等

第１章　公園利用者への利用指導

第29条　管理水準

事業者は、健全な公園利用の増進を図ることとともに、安全快適な利用のため、利用上の注意などの公園利用者への利用指導、また電話対応、園内放送、障害者・高齢者等の公園利用者の補助、各種掲示物の管理、見学者等の対応等、公園利用者への利用サービスに関する業務全般を行う。

第30条　一般事項

１．公園利用者に受付であることが容易に理解されるよう必要な表示や案内を行うこと。
２．事業者は、公園利用者への利用指導及び利用サービスのために必要な人員数を各所に適宜配置すること。
３．遊具が正しく利用されているか、巡視及び利用指導等を行うこと。
４．自転車利用者がサイクリングコース外を走行していないか、また歩行者がサイクリング専用コース内に立ち入っていないか、巡視及び利用指導を行うこと。
５．公園規則から逸脱している者、他の公園利用者に著しく迷惑をかける者等については、必要に応じて調査職員の承諾を得て、総括責任者が退園を命じることができるものとし、事業者の業務責任者を通じて調査職員に報告するものとする。
６．ペット随伴者のマナー遵守や他の公園利用者とのトラブルが発生しないよう、ペット随伴者の注意事項の配布や適切な掲示、利用指導を行うこと。

第31条　特段の配慮が必要な施設

空気膜構造遊具（くじらぐも“ふわんポリン”）及び移動式遊具（スナッグ）については、スタッフの配置等特段の配慮が必要であるので、管理運営要領（案）を作成し、調査職員協議の上、承諾を受けるものとする。

第２章　公園利用者等へのサービス業務

第32条　管理水準

１．公園利用者等に直接接する業務であり、公園利用者等が快適に楽しめるよう心がけ、不快と感じさせるような行動、言動、身なりをしてはならない。

２．業務遂行に当たっては、常に公平なサービスの提供に努め、特定の個人や団体に有利あるいは不利な扱いとならないようにすること。

第33条　公園利用者等への利用サービス

１．園内の概要、見頃の花や開催するイベント等の基本情報を収集し、管理センター及びゲート等にて公園利用者の問い合わせに対応すること。また、電話及びメール等での問い合わせに対しても同様に対応すること。なお、必要に応じて各部署に確認又は引き継ぐこととする。

２．公園利用者等の苦情については、誠意を持って適切かつ迅速に対応し記録すること。

３．園内での迷子、呼び出し、イベント告知、防災情報等の園内放送を行うこと。

４．運営管理業務において作成する「公園ガイド」及び「おすすめルートマップ」を希望する公園利用者等に配布すること。

５．園内掲示板、掲示物を適切に管理すること。

６．障がい者及び高齢者等の補助を行うこと。

７．公園利用者の利便性向上のために車椅子、電動カート、ベビーカー、リヤカー等の無料貸出しを行うこと。また、障がい者への利用サービスの一環として筆談器等をゲートに常備すること。

第34条　団体利用調整

１．社会福祉団体等の公園利用に際しては、視察の受け入れ対応、利用当日の誘導、バス等車両の停車場所への誘導等の必要な調整業務を行う。

２．団体での広場使用について、調整を行うものとする。

第35条　拾得物、残置物の処理

事業者は、公園内で遺失物を発見した場合は、利用サービスの観点から一定期間保管しそれでも持ち主が現れない場合は、遺失物法に従い適正に処理すること。又、遺失物の発見及び届出があった場合の行動マニュアルを作成し、調査職員に提出し承諾を受けた上で、それを遵守しなければならない。なお、行動マニュアルには下記の事項等は必ず記載すること。

①　拾得物の保管期間
②　保管場所
③　保管方法
④　遺失物保管責任者の選任
⑤　拾得物台帳の作成に関すること
⑥　遺失物法に規定する報労金について一切の権利を放棄すること。

第３章　園内巡視

第36条　管理水準

事業者は開園区域について、利用者の安全利用の確保及び公園施設の維持管理を効果的かつ能率的に行う事を目的として、定期的に園内巡視（以下「巡視」という。）を実施するものとする。併せて、利用者指導及び利用者サービスを行うとともに災害・事故等不測の事態に備え、緊急の処置を取ること。

第37条　巡視の内容

巡視は、日常巡視、時間外巡視、囲障巡視及び異常時巡視の4種類とする。

１）日常巡視とは、開園時間中に公園内の安全を確認するために実施する

２）時間外巡視とは、閉園後の不法侵入者の取り締まり、事故及び災害の予防並びに器物、施設（管理棟等）の破損の有無等を点検するとともに盗難防止等についても十分に注意を払って行うものとする。

３）囲障巡視とは、年に２回実施するものとし、囲障・仮門・仮柵等の巡視及び保守を実施する。

４）異常時巡視とは、園内で災害が発生した場合又はそのおそれがある場合の園内の異常及び利用障害等に対して適切な措置を講じるため、公園内の状況を把握するための巡視を行う。

第38条　巡視業務の実施

１．適正な巡視業務を実施するため、事業者は「利用指導及び巡視計画書」を作成し、契約締結の14日前までに業務計画書として、九州地方整備局に提出し承諾を受け、その内容を遵守しなければならない。

２．事業者は、適正な巡視業務を実施するため、以下の要領にて巡視員にて巡視業務を行うものとする。また、巡視に先立ち関係書類等により、巡回に必要な事項を把握しておくものとする。

１）巡視ルートは、１回当たり１時間程度で終了するようルート設定し、これに従って巡視するものとする。

２）巡視員は、公園利用者に対して不快感等を与えないよう常に親切丁寧に接するものとする。

３）巡視員は、小規模な修理用具並びに救急箱を携帯し、必要に応じて処置するものとする。

４）巡視員は、都市公園法第11条、第12条、都市公園法施行令第18条、第19条及び別添13「国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領」等に定める違反行為を発見した場合には適切な利用指導をするものとする。また、利用指導に応じない場合は必要に応じ調査職員の承諾を得て、総括責任者が退園を命じることができるものとし、事業者の業務責任者を通じて調査職員に報告するものとする。

５）巡視員は遊戯施設における危険行為等を発見した場合には、適切な指導を行うものとする。

第39条　日常巡視

事業者は、日常巡視として、次の事項について、原則としてＢ地区は１日２回以上、Ｃ・Ｄ地区は１日６回以上点検確認を行い、必要に応じ利用指導及び作業を行うものとする。

１）公園の開園、閉園時における休憩所及びトイレ等施設の解錠または施錠

２）園内における公園利用者への案内・誘導・整理及び利用指導

３）公園利用者の危険箇所への立入り及び危険な行為に対する制止及び安全指導

４）迷子、負傷者、病人等の発見、通報及び申し出を受けた場合には、速やかに業務責任者を通じ口頭・電話・メール等により調査職員に報告しその後の指示を受けるものとする。併せて、後日遅滞なく書面により九州地方整備局に報告するものとする。

５）事件、事故または災害等が発生した場合の適切な処置と報告

６）園内不審物の有無の確認

７）拾得物を発見した場合の速やかな報告及び拾得物預かり書の作成

８）植物、施設及び清掃状況等の点検

(1) 樹木、芝生、草花等の生育状況及び流水等の修景施設の異常の有無

(2) 園路、広場の路面、路側、法面、護岸、排水桝、橋梁、階段、建物その他構造物等の異常の有無

(3) 門扉、サイン・標識・看板、ベンチ等休憩施設、便所、くずかご、灰皿、水のみ場、遊具施設等の異常の有無

(4) 電気、放送、給排水設備等の異常の有無
(5) 清掃の状況
(6) 落石、災害、倒木、落枝、事故等不測の事態発生の有無
(7) 園内で工事等を実施している際は安全対策等が適切に行われているか
(8) 喫煙場所以外で喫煙している利用者等を発見した場合の利用者指導
(9) 園内で禁止事項又は持ち込み禁止物品を確認した場合及び通報を受けた場合の利用者指導

9）救急車両の誘導（救急車、消防車、パトカー等）

10）迷子や近隣の行方不明者等に関する警察からの協力要請があった場合、その要請に対応した巡視と報告、関係者への連絡。

第40条　時間外巡視

事業者は、時間外巡視として、次の事項について、原則すべての地区について開園前と閉園後の１日２回実施するものとする。なお、必要に応じて別途臨時巡視（夜間等）を実施するものとする。

１）公園の閉園時におけるゲート及び休憩所施設の施錠確認
２）事故及び災害の予防のため、公園開園前に開園上問題になる支障の有無
３）不法侵入者の有無及び侵入者の排除
４）器物及び売店等の施設等破損の有無
５）その他盗難防止措置

第41条　異常時巡視

異常時巡視は、園内で台風や大雨等による災害が発生した場合又はその恐れがある場合の園内の異常及び利用障害等に対して適切な措置を講じるため、次の各号に掲げる事項について、巡視を行うものとする。

なお、異常時巡視の結果については、公園の閉・開園の判断要素となるため、巡視終了後速やかに詳細について業務責任者等を通じて調査職員または「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」に示された体制のための出勤者へ報告するものとする

１）園内の被害状況
２）利用障害等の状況

第42条　管理事務所内警備

管理事務所の（１階・２階等）を適正に管理するための夜間警備については、国事務所で別途発注する。

第43条　報告等

１．事業者は、巡視員に対して、巡視の結果を毎日巡視日誌に記録し、業務責任者に報告させるものとする。また、巡視日誌の様式及び添付資料については、調査職員の指示に従うものとする。

２．事業者は、１週間分の巡視日誌を取りまとめ翌週金曜日までに調査職員へそのコピーを提出するものとする。ただし、提出期限が祝日に該当する場合は、翌開庁日とし、契約完了年度の業務最終月の提出期限は契約完了日までとする。

３．巡視員が重大な事件・事故・災害等を発見した場合及び異常事象を発見した場合には、業務責任者を通じ、速やかに第１報を口頭・電話・メール等により調査職員に報告しその後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく書面により九州地方整備局に報告するものとする。

第４章　繁忙日対応

第44条　管理水準

繁忙日において、クレーム等の発生がなく、利用者が安全、快適に利用できるよう、事前準備を十分に行い、適切な運営体制や臨時施設等の準備・管理を行う。

第45条　事前準備

行催事の実施計画や過年度の利用者数の状況を把握し、事前に繁忙日や利用者数を予想し、繁忙日対応のための、調査職員や関係者との協議・調整も含めた事前準備を行う。

第46条　繁忙日に対応した運営体制の補強

繁忙日が予想される場合は、巡視・警備や案内・誘導、入園料徴収等が円滑に行われるよう、利用者数を想定し、適切に人員配置を行う。

１）入園ゲート周辺及び公園利用者への案内・誘導・整理、利用指導を行う巡視・警備員、入園料徴収等の人材を配置する。

２）利用者の安全確保に向けて、利用者間のトラブル、迷子等の対応、園内案内放送等に適切かつ迅速に対処するための情報伝達、対応方針決定手続き等の流れを作成し、その体制を整える。

第47条　臨時施設等の設置・管理

不足が予想されるやトイレ、ごみ箱等の設置と開園中の適正運用と清掃等を行う。

１）トイレやごみ箱等の臨時設置を行うとともに常に美観を保ち、利用者が快適に使えるよう、利用状況に応じて清掃や塵芥収集を行うとともに、仮設トイレ等においては、利用状況を確認の上、水の補給を行う。

第48条　エリア間連絡バスの運行

１．繁忙日が予想される日には、エリア間連絡バスを運行する。

２．事業者は、エリア間連絡バス運行計画を作成し、運行前に調査職員と協議し承諾を受けること。

３．運行日は、次に挙げる日を原則とし、変更する場合は事前に調査職員と協議することとする。

１）実施要項1.1.3 (1)入園料にある以下の無料入園日

①　春の都市緑化推進運動期間中、みどりの日及び児童福祉週間における無料入園日（３日間）

②　秋の都市緑化月間における無料入園日（２日間）

２）その他、繁忙日が予想される日（２日間）

４．運行時間は、公園開園時間とし、利用客数に応じた運行間隔とする。

５．運行ルートは、以下のルートとする。

①　光と風の広場　⇒　海の中道駅口（降車のみ）　⇒　動物の森東門

②　動物の森東門　⇒　海の中道駅口（乗車のみ）　⇒　光と風の広場

６．使用するバスは、事業者が用意することとし、定員約80人（立乗り含む）のバス３台を標準とする。

H28-31

国営海の中道海浜公園運営維持管理業務
個別仕様書
【施設・設備維持管理】

平成 27 年 7 月
国土交通省九州地方整備局

第１編　総則

第１条　適用

本個別仕様書は、H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務のうち、施設・設備維持管理業務に適用する。

第２条　事業者の責務

事業者は、公園管理業務の特性を踏まえ、共通仕様書、国営海の中道海浜公園の設計図書及び現地の気象条件等環境条件を十分に把握のうえ、管理効果が上がるよう配慮し、管理水準を達成すべく、施工にあたるものとする。

第３条　事前協議等

事業者は、共通仕様書、国営海の中道海浜公園の設計図書及び現地の気象条件等環境条件を十分に照査し、明示無きもの又は疑義の生じた場合は、調査職員と事前に協議するものとする。

第４条　施工体制の点検

事業者は「公共業務の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成12年11月27日法律第127号）第13条２により九州地方整備局から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。なお、点検員は当該業務の調査職員とする。

第５条　基本事項

１．施設・設備維持管理を総括する業務責任者の責任のもと実施することとする。
２．事業者は、本個別仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めるとともに、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に管理運営を行うものとする。
　なお、本個別仕様書に記載のない事項又は本個別仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議するものとする。
３．事業者は、公園内を常に良好な状態とし他の業務と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行い、実施することとする。
４．管理体制人員は、円滑な運営維持管理を行うため、弾力的に配置するものとする。
５．提供物品は事業者に貸与するが本業務で取得した物品類も含め修理等は調査職員に報告の上、事業者が行うこととする。（共通仕様書第35条参照）
６．設備、提供物品及び本業務で取得した物品は事業者において、善良なる管理者の注意を持って維持保存すること。
７．業務効率化に向けた設備及び物品を事業者が導入する場合は、事前に調査職員の許可を受けた上で、導入すること。
８．作業従事者の身分保障、健康管理、服務規律は事業者の責任において行うこと。
９．作業従事者の服装、作業用機械、器具、車両等については、公園にふさわしいものとし、イメージアップに心掛けるものとする。
10．事業者は、管理する施設、設備及び備品等について、日々状況を把握し、異常が発生したとき又は異常を発見したときは直ちに調査職員に報告すること。

第６条　安全管理等

１．車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務における車両通行規則」を遵守すること。併せて、公園利用者の安全と快適な利用を妨げない運転・駐停車・作業態度等に努めるとともに、「国営海の中道海浜公園　園内業務における車両通行規則」基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、別添15「国営海の中道海浜公園　園内業務における車両通行規則及び公園内車両通行および作業心得」を遵守して走行するものとする。
２．作業にかかる車両の持ち込みは最小にとどめ、公園利用者の迷惑とならない様、必要に応じ誘導員を配置するか、公園利用者の迷惑とならない場所へすみやかに移動するものとする。
３．持込可能な車種及び走行可能ルートについては、原則、別添15「国営海の中道海浜公園　園内業務における車両通行規則」に基づくものとする。
４．施工中は入園者の安全を十分確保するために、施工にあたり、作業区域を仮設物で囲むなど安

全管理を徹底すること。
5．施工中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しない様に注意するものとする。
6．作業中は服装及び言動に注意し、公園利用者に不快感を与えないよう留意するものとする。

第７条　保守点検
1．事業者は建物及び工作物、設備等が正常に機能するように、日常あるいは定期的に点検を実施するとともに、機能を維持するための消耗部品等の取替など保守作業を行うものとする。
2．点検時に異常や劣化が発見された場合には、調査職員と協議の上その指示に従うものとする。
なお、保守点検の詳細については、第２編～第４編によるものとする。

第８条　補修及び修繕
事業者は保守・点検の結果、補修及び修繕が必要になった場合には、調査職員と協議の上その指示に従うものとする

第９条　作業時間
作業時間は、公園利用者の迷惑とならないように配慮し、決定すること。なお、開園時間内に作業を行う場合には、必要に応じて公園利用調整を行うこと。

第10条　事業者の過失による管理を許可した施設等の事故、破損等
管理を許可した施設等に関して、事業者の過失による事故、破損等が生じた場合には、事業者の責任において処理するものとする。なお、事故・器物の破損等が発生した場合には必要な措置をとった上で、すみやかに電話・口頭・メールのいずれかで調査職員へ報告し、その後の対応について調査職員の指示に従うものとする。併せて、後日遅滞なく書面により調査職員へ報告すること。

第２編　建物維持修繕等

第11条　管理水準

１．事業者は、公園内を常に良好な状態とし、公園利用者への快適・安全なサービスに努めることとする。

２．常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園内の観察を行い、善良なる管理を行うものとする。

第12条　作成書類

事業者は、調査職員が指示する主要な建築物の修繕等については、次の各号に掲げる書類を作成し調査職員から提出依頼があった場合は、提出すること。

作成書類		
項目名	提出先	作成期限
竣工図書	調査職員	指示に従う
作業記録写真	調査職員	指示に従う
修繕履歴	調査職員	指示に従う
その他調査職員が指示する書類	調査職員	指示に従う

第13条　管理棟等修繕

管理事務所、西口管理務棟、動物の森管理棟、子供の広場管理棟、森の家、海の中道駅口管理棟、ワンダーワールド口管理棟、光と風の広場口管理棟、カモ池口管理棟、ドッグラン管理棟、里の家（環境共生の森活動拠点施設）等について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うとともに、次の各号に掲げる修繕及び点検を行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする

１）外観については、美観の維持に努め、塗装面等の防腐、防錆等の点検を行う。

２）管理棟及びレストハウスの自動ドアについては、原則年４回（四半期に１回）保守点検（フルメンテナンス）を実施するものとする。また、多目的トイレの自動ドアについては、原則年１回保守点検（普通メンテナンス）を実施するものとする。また、自動扉の故障等が発生した場合には、迅速に対応（復旧）出来るようメーカー並びに専門業者を含めた体制を整備しておくものとする。なお、対応後速やかに調査職員へ原因及び対応措置について報告するものとする。

３）冬期は、必要に応じ凍結防止措置（水抜き）を実施するものとする。

第14条　休憩所等修繕

水辺のレストハウス、西戸崎レストハウス、動物の森レストハウス、港レストハウス、海の中駅口休憩所、大芝生広場レストハウス、四阿、松毬庵等について、公園利用者が直接かかわる施設であることに留意し、日常、適宜目視、触診、打診等による巡回点検を実施し、破損箇所については小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第15条　車庫・倉庫等修繕

車庫、温室、作業棟、倉庫等について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

また、動物獣舎、並びに繁殖棟、病理棟及び治療棟等の動物の森内施設についても、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、大規模な修繕は国事務所において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第16条　便所修繕

園内の便所について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。また、冬季は、必要に応じ凍結防止措置を実施し、配管・衛生器具の機能維持に努めること。なお、大規模な修繕は国事務所において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第17条　その他修繕

建物の維持修繕において、第13条から第16条までに該当しない項目については、必要に応じて、適宜巡回点検し、破損個所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。

第３編　建物設備維持修繕

第18条　管理水準

空調設備及び昇降機の機能を常に安全かつ良好に維持するため軽微な修繕及び点検を行うものとする。

第19条　空調設備維持修繕等

園内の建物内に設置されている空調設備について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。また、公園利用者の使用に供する休憩施設等については夏前および冬前の年２回、専門技術者による点検を行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との
協議によるものとする。

第20条　消防設備維持修繕等

園内の建物内に設置されている消防設備について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第４編　園路広場維持修繕工

第21条　管理水準

事業者は、公園内を常に良好な状態とし、公園利用者への快適・安全なサービスに努めることとする。常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園内の観察を行い、善良なる管理を行うものとする。

第22条　園路・広場維持修繕等

園路・舗装、階段、サイン、イス・ベンチ・テーブル、手摺・柵等について、日常、適宜巡回点検し、腐敗・破損箇所の小規模な修繕を適切に行うこと。なお、大規模な修繕は国事務所において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第５編　遊具維持修繕工

第23条　管理水準

１．遊具について、劣化や国土交通省制定「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」及び社団法人日本公園施設業協会（以下、「施設業協会」という。）が定めた「遊具の安全に関する規準JPFA-S：2014」の不適合によるハザードを早期に発見し、遊具による事故を予防するとともに、適切な運営維持管理業務につなげるよう点検を行うこと。

２．点検業務の実施にあたり、適用を受ける関係法令等を遵守し、業務の円滑な遂行を図る。なお、遊具の点検は幼児や児童が遊具の利用者であることから、次の各号に掲げる事項に配慮して行う。

１）安全性の確保

２）機能の保持

３）美観に配慮した形姿の維持

第24条　用語の定義

１．「点検責任者」は、施設業協会が認定した「公園施設製品安全管理士」あるいは、調査職員が同等と認めたもとする。なお、「点検責任者」は、「点検担当者」以上の経験、知識及び技能を有するものであること。

２．「点検担当者」は、施設業協会が認定した「公園施設製品整備技士」あるいは、調査職員が同等と認めたものとする。

３．前項の「同等と認めた者」とは、施設業協会が認定した「公園施設製品安全管理士」「公園施設製品整備技士」と比較して同等の学歴、経歴、実務経験、講習会の受講実績等から同等の知識と技術、管理能力等があると調査職員が認めた者をいう。

４．「劣化」とは、物理的、化学的、生物的要因によりその物の性能が、低下することをいう。一般的に鋼材では、発錆・腐食、木材ではカビ・腐朽・蟻害・割れ等をいう。（ただし、地震、火災等の災害によるものを除く。）

５．「日常点検」とは、目視診断、触手診断、聴音診断等により遊具の異常、劣化（部材の腐食、亀裂、変形、ボルトの脱落等）等の有無を調べるために日常的に行う点検をいう。

６．「定期点検」とは、公園施設製品安全管理士及び公園施設製品整備技士等が一定期間ごとに摩耗状況や変形ならびに経年変化等について点検する「劣化診断」と、「遊具の安全に関する規準JPFA-S：2014」に基づき遊具の形状や安全領域等の規準に対する妥当性を評価する「規準診断」をいう。

７．「SP点検済シール」とは、「SP マーク」を付された「点検済シール」で点検、修繕した遊具が、「遊具の安全に関する規準JPFA-S：2014」に合致したと認められた時に、安全性の確保が維持されていることを示すために、SP 表示認定企業が貼付することができるシールをいう。なお、「SP表示認定企業」とは、施設業協会が定めた「遊具の安全に関する規準JPFA－Ｓ：2014」等に基づき製品の設計、製造、販売、施工、点検、修繕を行い、かつ、施設業協会が定めた規格「S：2014QMS－SP 表示認定規格」を満たすマネジメントシステムを構築していると(社)日本公園施設業協会に認定された企業をいう。

第25条　点検の範囲

点検とは、遊具の形状を調査し、劣化診断やJPFA-S：2014 に基づく規準診断（遊具の形状や安全領域等当該基準に対する妥当性を評価するもの）等を行い、報告書を作成するまでの一連の行為をいう。

第26条　事業者の負担

点検業務に必要な工具、測定機器等は事業者の負担とする。

第27条　点検の種類

点検には、「日常点検－１」「日常点検－２」「定期点検」「臨時点検」「精密点検」がある。事業者は各点検の内容とその必要性を正しく理解した上で業務計画書を立案し、調査職員に承諾を受けてから点検を実施しなければならない。

第28条　診断の方法

遊具の点検は、点検表を作成し、診断することで安全性を確認すること。

診断方法は、次の各号に掲げるとおりとする。

1）目視診断

遊具の外観・形状を観てその劣化状態を診断する方法

2）触手診断

遊具を素手で触ってその劣化状態を診断する方法

3）聴音診断

遊具の可動部を動かし、発生する音、ガタツキの状態の有無を判断し、劣化状態を診断する方法

4）打音診断

遊具を点検ハンマー等で軽打し、異音の有無を判断し、その劣化状態、亀裂、ボルトの緩み等を診断する方法

5）揺動診断

遊具本体を揺り動かし、仕様に対応できるかを診断する方法（複合系遊具の場合は単体ごとに行う）

6）JPFA 検査器具による判定

JPFA が開発した器具で遊具の規準（JPFA-S：2014）に適合しているかを調べる

7）ノギスによる測定（JIS 認定商品を使用する）

8）メジャーによる測定（JIS 認定商品を使用する）

9）傾斜計による測定

第29条 作成書類

事業者は、次の各号に掲げる書類を作成し、調査職員から提出依頼があった場合、提出すること。

作成書類			
項目名	内容	提出先	作成・提出期限
作業計画書	作業前に業務計画書に基づき、定期点検に関し、作業実施日、作業内容、作業手順、作業範囲、点検責任者名、点検担当者名、安全管理者等を具体的に定める ・ 点検の作業中に利用を中止した方が良いと判断された遊具の取扱と処置方法、連絡手順について記載。	調査職員	点検実施前迄に提出、調査員等の承諾をうけること
定期・精密点検記録簿	・ 点検実施後、施設業協会が定めた「遊具の安全に関する規準JPFA－S:2014」に記載する「定期点検総括表」「定期点検表」「特別定期点検表」に基づき作成	調査職員	実施後速やかに作成
写真帳	・ 客観的な判断材料として、必要に応じて遊具施設の劣化や破損状況を写真に記録 ・ 写真は、着手前、作業状況(規準点検状況・劣化点検状況)からなり、点検表と照合できるよう、点検実施後、速やかに整理	調査職員	点検実施後速やかに作成
その他調査職員が指示する書類		調査職員	指示に従う

第30条 遊具点検対象範囲

遊具点検（日常・日常－２、定期）の対象範囲は下表の通りとする。

設置場所	エリア名称	遊具名称	備考
ワンダーワールド	ちびっこ広場	タイヤトンネル	
		丸太越え	
		うんてい	
		複合遊具A	
		ゆらゆら丸太	
		平均台	
		複合遊具B	
		コンビネーション	
		ショップ・ホテル・汽車	
		アニマル滑り台	
		シーソー	
		ブランコ	
		ザイルクライム	
		マウンテンパーク	
ワンダーワールド	トリム広場	ネット渡り	
		円盤渡り	※
		クモの巣渡り	※
		バランスロープウェイ	※
		平均台①	
		平均台②	
		サークルバー	※
		猿渡り	※
		タイヤロープ	※
		ロッククライミング	日常点検のみ対象
ワンダーワールド	水辺のトリム	丸太橋	※
		ネット	※
		イカダ橋	※
		イカダ渡り	※
		タイヤ渡り	※
		パイプ吊り橋	※
		きね渡り	※
		うんてい	※
		丸太渡り①	※
		乱杭	※
		ぶらぶらタイヤ	※
		三角ネット	※
		壁渡り	※
		丸太渡り②	※
		ユラユラロープ渡り	※
		タイヤトンネル	※
		ロープ吊り橋	※
		ユラユラ丸太	※
		わん力ロープウェイ	※
		複合遊具	
		ロープウェイ	（使用中止中）
ワンダーワールド	子供のとりで	子供の砦	
		棚サンゴネット	
		ネット＆リングトンネル	
		チューブ滑り台＆リングトンネル	
		ローラー滑り台	
		オオタコ本体・滑り台	
		オオタコ足①	
		オオタコ足②	

		オオタコ足③	
		ウツボ	
		棚サンゴ砂場	
		フジツボ	
		砂場	
ワンダーワールド	くじらぐも“ふわんポリン”	空気膜遊具　5山	
		空気膜遊具　2山	
	健康器具系遊具	10種	
	移動式遊具（スナッグ）	8種	日常点検のみ対象
大芝生広場	スカイドルフィン	デッキ（板張り）	
		デッキ（パンチング）	
		ゆらりんネットゾーン	
		ジェットローラースライダー	
		ローラースライダー	
		フリーフォールスライダー	
		アクアトンネル	
		ミラートンネル	
		ドルフィンタワー	
		Ｖ字吊り橋	
		くねくね棒	
		スイング遊具ボート	
		潜望鏡	
		パネル遊具	

備考欄にて「※」を付記した遊具については、定期点検「基準診断」の適用外遊具ではあるが、参考としてこれを実施するものとし、可能な限り合否等を診断すること。平成27年4月1日現在。

第31条　遊具日常点検等

１．「日常点検」とは、公園巡視時に行う目視診断・触手診断・聴音診断により遊具の異常・劣化（部材の腐食、亀裂、変形、ボルトの脱落等）等の有無を確認する日常点検－１と、月１回以上日常点検担当者が行う目視診断・触手診断・聴音診断・打音診断・揺動診断により遊具の異常・劣化（部材の腐食、亀裂、変形、ボルトの脱落等）等の有無を確認する日常点検－２を行うものである。また、設置面や植栽等を含めた遊具周辺の確認も行う。

２．「日常点検－２の点検担当者」は、施設業協会が主催した「遊具の日常点検講習会」を受講したものとする。なお、巡視時に日常点検－１を実施する者についても出来るだけ施設業協会が主催した「遊具の日常点検講習会」を受講するものとする。

３．公園内巡視時に日常点検を行う者は、点検箇所や点検方法をよく理解したうえで、日常点検を実施すること。

４．事業者は、対象となる遊具の経年変化に伴う劣化状況を把握するため、日常点検記録簿を精査したうえ、保管しておく。

５．点検履歴については、遊具履歴書を作成、追記、修正をすること。なお、遊具履歴書とは、遊具の名称、設置場所、設置年月、製造者、施工者、標準使用年数などを遊具毎に記載し、日常点検記録簿を活用して遊具の安全点検の実施状況や点検結果、遊具の修理・部材の交換、塗装の実施状況等遊具の維持管理上必要な情報について定期的に記録し、履歴として保管するものである。

また、遊具履歴書には、必要に応じて施設の劣化や破損状況を写真記録し、点検実施後速やかに調査職員に報告し、その後の対応について協議の上その指示に従うものとする。

６．遊具履歴書については、調査職員より貸与するが、調査職員より提示を求められた場合はその指示に従い、業務完了後はすみやかに提出するものとする。

７．台風や豪雨等の異常気象時や震度５以上の地震発生により、遊具に異常箇所が生じるおそれのある場合に、遊具及び遊具の周辺状況について、必要に応じて臨時的に点検を行うものとする。また、遊具の利用者が怪我をした場合や、他公園において類似遊具等で事故があった場合も点検を行うものとする。

第32条　遊具定期点検

１．定期点検を完了させるために、管理体制を確立し、品質、工程、安全、法令遵守等の業務管理を行う。

２．事業者は、点検責任者を定め調査職員に届け出る。また、点検責任者を変更した場合も同様とする。

３．点検を行う月日及び時間等は、作業計画書により実行する。

４．点検対象遊具は、第30条「遊具点検対象範囲」に準ずる。

５．遊具の点検内容は、(社)日本公園施設業協会が規定する「定期点検総括表」「定期点検表」「特別定期点検表」に基づいて実施し、その結果について定期点検記録簿としてとりまとめ報告する。

６．点検作業の中で測定を行う必要がある場合は、定められた測定機器又は(社)日本公園施設業協会認定の、JPFA 検査器具、JPFA 肉厚測定器、JPFA 落下衝撃測定器等を使用して行う。

７．点検作業と点検表に基づく判定は別の者がそれぞれ担当し、職務を兼ねることはできない。

８．点検責任者は、「劣化診断」による劣化判定と「基準診断」によるハザードレベルを組み合わせて総合的な機能判定を行うこと。その判定基準については、必要に応じ事前に調査職員と協議をしておくこと。

９．定期点検は、年1 回以上実施すること。

10．点検終了後、「合格」と判断された遊具について、「SP点検済みシール」を貼付出来る遊具には調査職員の承諾を受けて、点検実施時期を明記して添付する。

第33条　遊具維持修繕等

点検により確認された破損箇所については、小規模な修繕等を適切に行うこと。なお、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第34条　その他

１．点検作業においては、安全管理を徹底し、作業中であることを掲示して、公園利用者の遊具利用への影響が無いように十分な安全対策を講ずること。

２．定期点検結果は、速やかに調査職員へ報告すること。

３．点検で異常が発見された場合、もしくは、異常の可能性がある場合は、使用禁止が妥当と判断される遊具について、業務計画書等で事前に調査職員と打合せた手順に従い、ロープやネット等で使用できないように処置するとともに、使用禁止表示を行い、公園利用者に事故が起きないように安全対策を実施する。併せて、調査職員に速やかに連絡する。

４．定期点検作業は、作業に適した服装にて作業を実施し、「公園施設製品安全管理士」「公園施設製品整備技士」等の携帯用認定証等を携帯して作業に従事する。

５．本仕様書に記載されていない事項については、 施設業協会の「遊具の安全に関する基(JPFA-S：2014)」を参考にすること。

第６編　電気設備維持修繕

第35条　管理水準

本公園の全施設の使用電力量を計測するとともに、変電所、非常用発電所、常用発電機等の電気設備について、関係法令を遵守し、機能を常に安全かつ良好に維持するため点検を行うものとする。

第36条　電気設備維持修繕等

１．事業者は、月１回、公園内全施設の電気メーターの計測を行い、電気メーター検針結果の集計表を翌月の月初めにすみやかに作成し、調査職員に報告すること。

２．分電盤・配電盤等の施設について、計器による設備の運転状況の把握や目視、触手、聴音による点検を行う。

３．点検の結果に応じ清掃、調整、消耗部品の交換及び補充、軽微な修繕等を適切に行うこと。

なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

４．落雷があった場合には、翌日の開園までに電気設備の巡回点検を行うこととする。

５．休園日に電気設備において異常が発生した場合は、法定点検の受託者等と連携して、適切な措置を講じること。

第７編　汚水・排水施設維持修繕

第37条　管理水準

１．事業者は、汚水・排水施設の機能を常に安全かつ良好に維持するため点検・補修を行うものとする。また、当公園内の汚水（下水）を福岡市の下水本管に流すための汚水ポンプは、各点検箇所に、ポンプ２台と操作盤１面が存する。

１）汚水ポンプ室内　　：10箇所

２）マンホールポンプ所　　：10箇所

第38条　汚水・排水施設維持修繕

１．日常、適宜巡回点検し、分電盤のブザー音の確認等を行い、異常があれば小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

２．台風や大雨が予想される場合は、巡回点検を行うとともに、適切な対策を講じるものとする。

３．事業者は、繁忙期においては、汚水・排水施設の稼動状況を確認するとともに、法定点検の受託者等と連携し、汚水・排水施設の処理能力に沿った調整を行うこと。

４．汚水ポンプについては、年２回（夏季、冬季）別紙44「汚水ポンプ点検内容」の保守点検を実施するものとし、詳細は調査職員との協議によるものとする。

第８編　給水施設維持修繕

第39条　管理水準

本公園の全施設の使用水量を計測するとともに、給水施設について、関係法令を遵守し、常に安全かつ良好に維持するため点検を行うものとする。

第40条　給水施設維持修繕等

１．受水槽、水道メーター、水道管、井水配管・ポンプ、仕切弁等について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は国事務所において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

２．事業者は、月１回公園内全施設の水道メーターの計測を行い、水道メーター検針結果の集計表をすみやかに作成し、調査職員に報告すること。

３．滅菌装置について、逆流止め玉弁およびサイホンブレーカーの動作や薬剤残量等の確認を行うこと。

４．点検の結果に応じ、清掃、調整、消耗部品の交換及び補充、軽微な修繕等を行う。

５．冬季の園内給水施設凍結による断水及び器具の破損を防止するため、必要に応じ水抜き等の凍結防止作業や一部の水飲み・手洗いの閉栓作業を行うものとする。

６．夏季及び冬季においては、使用水量を調整する等の適切な措置を講じ機能の維持に努めること。

７．事業者は、調査職員と協議し、必要に応じて給水管等の漏水調査を行うこと。

第９編　水景施設水質管理

第41条　管理水準

水景施設である水遊び場を常に安全かつ良好に維持するために、関係法令を遵守するとともに、「遊泳用プールの衛生基準について」（平成19年５月28日健発第 0528003号厚生労働省健康局長通知）に基づき、供用期間中は以下の水質を保つよう管理を行うこと。

項目	基準値	測定回数
水素イオン濃度	ｐH値5.8以上8.6以下	毎月1回以上
濁度	２度以下	
過マンガン酸カリウム消費量	12ｍｇ/L以下	
大腸菌群	検出されないこと	
一般細菌	200CFU/ml以下	
遊離残留塩素濃度	0.4ｍｇ/L以上（1.0ｍｇ/L以下が望ましい）	毎日午前中１回以上 及び午後２回以上
総トリハロメタン	0.2ｍｇ/L以下が望ましい	毎年１回以上

※利用者が多数である場合等汚染負荷量が大きい場合には、水質検査の回数を適宜増やすこと。

第42条　作成書類

事業者は、調査職員が指示する主要な水景施設については、下記の書類を作成し、調査職員から提出依頼があった場合は、提出すること。

作成書類		
項目名	提出先	作成期限
作業記録写真	調査職員	指示に従う
点検報告書	調査職員	指示に従う
適合確認検査簿	調査職員	指示に従う
その他調査職員が指示する書類	調査職員	指示に従う

第43条　水景施設の定義

本公園における水景施設は、「ワンダーワールド遊べる噴水」と「じゃぶじゃぶ池」とし、「水辺のトリム」や「冒険の池」等の他の水を満たした施設は水景施設に準ずる施設とする。

第44条　水景施設保守点検等

１．運転前及び運転中に毎時１回、電気系統、バルブの開閉、水位、異音の確認等の点検を行う。
２．巡視・点検結果は、点検報告書として取りまとめ、調査職員に報告する。
３．水質検査の結果、残留塩素濃度が基準値を下回る場合は、固形塩素剤を投入するなど、必要な措置を速やかに行うこと。
４．福岡県東保健所等の水質検査等が実施されるときは、協力すること。
５．その他、水景施設に準ずる施設のポンプ設備については、年１回、稼動時に専門技術者による点検を行い、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第10編　その他設備維持修繕

第45条　管理水準

本公園の水循環設備、放送設備、電話設備等について、関係法令を遵守し、機能を常に安全かつ良好に維持するため点検及び修繕を行うものとする。

第46条　水循環設備維持修繕等

日常、園内の循環水ポンプ場、循環水配管等について、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第47条　放送設備保守点検等

日常、園内の放送設備、スピーカー、配線等について、計器による設備の運転状況の把握や目視、触手、聴音による点検を年１回行うこと。

第11編　園内清掃、公園内建物清掃

第１章　基本事項

第48条　管理水準

１．公園施設については、常に清潔を保ち、快適な環境を保持する必要があり、本公園の利用状況に適切に対応するため、事業者は、作業内容、作業場所等について十分に検討するとともに、周辺地域に配慮した実施時期の調整を行うものとする。

２．事業者は、施設の利用環境の快適性を維持向上させるために、日常的・定期的に清掃を実施するものとする。また、施設の清潔さを保つことのほかに、材料の劣化原因を取り除く、腐食の進行を遅らせる、性能を維持する等の重要な役割を持っていることに留意して清掃を行うものとする。

第49条　基本的事項

１．事業者は清掃の実施にあたっては、季節や曜日、天候条件等によって大きく変動する来園者の動向に対応したきめ細かな人員配置、清掃箇所等の計画を立て調査職員と協議の上その指示に従うものとする。また、台風接近に伴う災害発生時や緊急時にも即応できる体制を確保するものとする。

２．利用繁忙期や大型イベント実施日には、イベントの主催者や巡視実施者、現場配置スタッフ等との情報連絡を密にして、必要な場所への清掃員の配置を臨機に行うものとする。

３．公園内のゴミの発生量や来園者動向に配慮してゴミ箱の設置方法や箇所数について、調査職員と協議の上その指示に従うものとする。なお、状況に合わせて設置方法や箇所数については定期的に見直しを行うものとする。

第50条　消耗品

本清掃作業に必要な消耗品については、前公園管理運営業務受託者より業務完了時に引渡を受けた消耗品について支給するものとする。なお、本業務完了時に残った消耗品については、管理簿と現物を調査職員が確認した上で九州地方整備局に引き渡すものとする。

第51条　事業者の過失による管理を許可した施設等の事故、破損等

管理を許可した施設等に関して、事業者の過失による事故、破損等が生じた場合には、事業者の責任において処理するものとする。なお、事故・器物の破損等が発生した場合には、すみやかに調査職員に報告すること。

第２章　清掃

第52条　休憩所等清掃

１．休憩所定期清掃

１）床面シートの清掃（ポリッシャーまたはスチーム洗浄後のスクイージーによる汚水除去、水モップによる拭き上げ、ワックス塗布、拭き上げ等）のほか、タイルや絨毯、窓、網戸等を対象とした室内清掃を行うこと。

２）屋根及び雨樋に堆積した落ち葉、枯れ枝、藻等による汚れ、夾雑物を除去すること。

３）建物の周りに堆積した落ち葉、枯れ枝を除去すること。

４）外壁、軒下、扉、窓等の汚れを除去すること。

５）作業時間は調査職員の指示に従うこと。なお、閉園時間を過ぎて作業を行う場合には、必ず調査職員に報告し、その指示に従うこととする。

６）清掃箇所及び実施頻度は下表を標準とするが、これにより難い場合は調査職員と協議の上その指示に従うものとする。

清掃箇所	実施頻度
シオヤ展示場	１２回（１回／月）以上
森の家	２回（１回／半年）以上
動物の森レストハウス	１回以上
水辺のレストハウス	１回以上
子供の広場・管理棟	１回以上

※各ゲート管理棟等上記休憩所等以外の建物清掃については、植栽地（園内）清掃の雨天日等を　活用して、床清掃及び窓拭上等を実施するものとし、年間の清掃計画について調査職員と事前に協議しその指示に従うものとする。

２．管理事務所清掃

管理事務所の日常及び定期清掃は国事務所で実施することとする。

第53条　便所清掃

１．日常清掃

１）事業者は便所の日常清掃の作業時間等について以下を標準とし配置計画を行うものとする。
なお、来園動向等の状況により、これにより難い場合は調査職員と協議の上その指示に従うものとする。

［便所清掃］

種　別	時　期	時間	配置予定員数
清掃Ａ	４～11月、３月の日曜・祝日	8:00～17:00	４人/日
清掃Ｂ	４～11月、３月の平日	8:00～17:00	３人/日
清掃Ｃ	12月～２月の全日	8:00～16:30	３人/日

２）清掃箇所は、以下の表のとおりとし、清掃中は、利用者の利便性に十分配慮するものとする

３）衛生器具(便器、洗面所等)、床を水洗い又は拭き清掃を行い衛生的に保つものとする。
また、必要に応じて、壁、鏡、窓ガラス、照明器具、水洗タンク等を適切な方法で清掃し、清潔に保つとともに、詰まりやクモの巣除去等はすみやかに対応するものとする。

４）トイレットペーパー及び石鹸水が常時あるように補充すること。

５）汚物入れの清掃等を行うこと。

６）実施頻度については、清潔を保てるように、調査職員と協議し決定する。

７）大規模な行催事の開催等により、塵芥の発生量の増加が見込まれる際には必要に応じて配置員数を増やす等の臨機な対応とることにより衛生的な環境を保つこと。

番号	名　　称	男子		女子		多目的トイレ		大便器	小便器	手洗い	備考
		大	小	大	小	大	小	計	計	計	
1	西口便所(内)	1	7	3	1	1		5	8	6	オストメイト(1)
2	西口便所(外)	1	5	3	1			4	6	5	
3	水辺のレストハウス	1	3	3		1		5	3	11	
4	西口駐車場	2	6	6		1		9	6	9	
5	大芝生広場(A)	1	3	3				4	3	10	
6	大芝生広場(B)	1	3	3				4	3	10	
7	大芝生広場(C)	1	3	3				4	3	10	
8	西戸崎レストハウス	2	8	5		1		8	8	9	
9	動物の森レストハウス	2	5	6		1		9	5	7	オストメイト
10	西サイクセンター	1	2	6	1	1		8	4	7	
11	近隣広場	1	3	3				4	3	6	
12	北管理棟	2	6	4		1		7	6	7	
13	子供の広場	1	3	3				4	3	10	
14	子供の広場管理棟	2	7	6	1	1		9	8	6	オストメイト
15	冒険の広場	1	3	3				4	3	10	
16	オリエンテーション入口	3	6	8				11	6	4	
17	テニスコート	1	2	2				3	2	2	
18	シオヤレストハウス	2	4	4		1		7	4	9	
19	運動広場	1	2	2				3	2	2	
20	休憩所(海中駅口)	3	5	3				6	5	8	
21	文化施設エリア便所(丸型)	2	4	4	1	1		7	5	9	
22	中央駐車場(1)	1	3	2		1		4	3	5	
23	渡船場レストハウス	2	4	2				4	4	5	
24	大芝生休憩所	2	4	4		1		7	4	14	内シャワー(7)
25	ワンダーシャトル	7	13	15	1	1		23	14	15	
26	中央駐車場(2)	1	3	4				5	3	5	
27	ワンダーワールド便所	2	5	6	1	1		9	6	8	
28	彫刻の森便所	1	3	3		1		5	3	5	
29	動物の森便所	2	2	2		1		5	2	3	
30	多目的ドルフィン遊具便所					1		1	0	1	
31	多目的西サイク入口便所					1		1	0	1	
32	ビジターセンター(森の家)	1	3	2		1		4	3	5	
33	フラワーミュージアム便所	4	4	5		2		11	4	10	オストメイト(2)
34	カナール横便所	2	3	4		2		8	3	12	オストメイト(2)
35	潮見台トイレ	3	3	4		2		8	3	12	オストメイト(2)
36	多目的管理車両口トイレ					1				2	オストメイト
37	光と風管理棟(内)	4	8	10	1	2	2	16	11	10	
38	光と風管理棟(外)	2	3	3	1	1	1	6	5	5	
39	光と風管理棟(屋外)	1		1				2	0	2	
40	デイキャンプ場	2	3	5		1		8	3	7	
41	排水機場	1	1	1	1			2	2	2	
42	駐車場	2	5	5	1	1	1	8	7	5	
43	カモ池口管理棟					1	2	1	2	1	
44	環境共生の森拠点施設	2	3	3		1		6	3		オストメイト
45	環境共生の森屋外便所	1	1	1		1		3	1		
46	D地区海浜部中央エリア便所	1	3	3		2	1	6	4	8	
47	ワンダーワールド駐車場便所	1	3	5	1	1	1	7	5	6	オストメイト
48	博多湾パノラマ広場トイレ	1	1	1		1		3	1	3	オストメイト
	合計	78	171	174	12	38	8	288	192	309	

※博多湾パノラマ広場はH28年度完成予定

２．定期清掃

１）屋根及び雨樋に堆積した落ち葉、枯れ枝、藻等による汚れ、夾雑物を除去すること。

２）建物の周りに堆積した落ち葉、枯れ枝を除去すること。

３）衛生器具(便器、手洗い器等)、壁、軒下、天井、床、ブース、扉、窓、鏡、照明器具等の汚れを除去すること。

４）作業時間は調査職員の判断による。なお、閉園時間を過ぎて作業を行う場合には、必ず調査職員に報告し、その指示に従うこととする。

５）実施頻度等は原則年1 回とする。

第54条　植栽地等清掃（園路広場、工作物一般、工作物特殊）

１．日常清掃

１）対象区域は開園区域とする。ただし、収益施設は除く。

２)拾い清掃による紙くず、空き缶等の除去や掃き掃除による土ぼこり、落ち葉等の除去により、園路(園地含む)や側溝、遊具等の工作物をきれいな状態に保つこと。

3）U型溝、排水桝等の排水設備の性能を維持するため、適宜点検を行うとともに、溜まった落ち葉、土砂等を除去すること。
4）低木内のゴミ等は、低木類を損傷しないように十分に注意して取り除くものとする。
5）公園利用者が直接触れるベンチやテーブル等は、汚れやコケ、鳥の糞が無いよう水拭き等の清掃を行い、同時にささくれ、がたつき等による危険箇所の確認を行うこと。
6）サイン、標識、看板等は表示内容がきちんと識別されるようにするとともに、汚れが目立たないように随時清掃を行うものとする
7）くず籠や喫煙場所の吸殻等の清掃を随時行うこと。
8）池、流れ、噴水等の水面に浮かんだゴミ、落ち葉等の美観を損ねるもの及び底に沈んだ空き缶、空き瓶ガラス等の危険物は発見次第直ちに取り除くものとする。
9）清掃により発生した落ち葉は、林地内等に還元するように努めるものとする。
10）園路や縁石等から生えている雑草について除去するものとする。
11）外灯、時計や監視カメラ等の設備について、汚れがひどい場合には清掃を行うこと。
12）大規模な行催事の開催等により、塵芥の発生量の増加が見込まれる際には必要に応じて配置員数を増やす等の臨機な対応とることにより衛生的な環境を保つこと。
13）上記以外に調査職員が指示する作業を速やかに行うものとする。
14）植栽地等（園内）清掃は毎日実施することとし、作業時間等については、以下を標準とし配置計画を行うものとする。なお、来園動向等の状況により、これにより難い場合は調査職員と協議の上その指示に従うものとする。

種　別	時　期	時間	配置予定員数
巡回清掃Ａ	６～９月、11月、３月の平日	8:00～17:00	10人/日
巡回清掃Ｂ	６～９月、11月、３月の日曜・祝日 ４月、５月、10月の平日	8:00～17:00	11人/日
巡回清掃Ｃ	４月、５月、10月の日曜・祝日とその翌日	8:00～17:00	14人/日
巡回清掃Ｄ	ゴールデンウィーク期間及び繁忙日	8:00～17:00	15人/日
巡回清掃Ｅ	12月、１月、２月の日曜・祝日	8:00～16:30	7人/日
巡回清掃Ｆ	12月、１月、２月の平日	8:00～16:30	6人/日

２．定期清掃（工作物一般清掃）
1）ポンプを停止し池部の排水を行った後、ごみ類や夾雑物、汚泥を除去し、池の底部、側面部、景石等の高圧洗浄機を使用した洗浄作業及びブラッシングを行うこと。
2）底部、側面部、景石等の汚れを所定箇所へ処理した後、池部への給水及びポンプを始動すること。
3）清掃箇所、実施内容及び実施頻度等は、調査職員と協議の上その指示に従うものとする。
３．工作物特殊清掃
週１回、汚水ポンプ室内の清掃及び自動スクリーンの汚泥受けから汚物を回収し、可燃物として処分するとともに、ポンプ等に異常があれば、速やかに調査職員に報告し、その指示に従うものとする。

第55条　災害時等臨時清掃
事業者は台風や豪雨等の異常気象発生後施設の汚れ等が通常よりも酷いことが、予想されるため、速やかに臨時清掃を実施・完了できる体制を構築するものとする。

第56条　海岸清掃
海岸沿いは、潮流によりゴミ、流木等が漂着するので事業者は開園区域内の海岸清掃にあたっては、調査職員より清掃の指示があった場合は速やかに対応するものとする。

第57条　ゴミ回収工
１．軽トラックにより、園内各所に存在するごみ箱から別途指定する所定の集積箇所に運搬するものとするし、ごみは、福岡市の分別区分に従って分別を行うこと。なお、繁忙日等、大量のごみの発生が予想される場合は、臨時ごみ箱を設置し、公園利用者に分別指導を行う等、適切な措置

を講じること。

2．本公園内で発生した植物性廃棄物についてはリサイクルするものとし、方法等は調査職員と協議し指示に従う。

3．空き缶類については、アルミ缶、スチール缶毎に分別を行い、缶プレス機等を使用し圧縮するものとする。

第58条　ゴミ処分工

事業者は、一般ゴミについては、福岡市の処分方法に従って適正に処分すること。また産業廃棄物については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和45年12月25日法律第 137号）及び関係法令に従って、適正に処理すること。

第59条　雑作業等

事業者は、使用機材等の改良・メンテナンス、使用車両の給油・メンテナンス、仮設トイレの設置、洗浄液補給、カラス・トビ・スズメバチ・イノシシ対策等、調査職員と協議しその指示に従い作業を行うこと。ただし鳥類及びイノシシ等については「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」等に基づき対応すること。

また、利用者がカラスやトビ等に危害を加えられないようにするため、利用者に対し留意すべき事項を適切に周知するものとする。

別紙 10

H28-31
国営海の中道海浜公園運営維持管理業務
個別仕様書
【植物管理】

平成 27 年 7 月
国土交通省九州地方整備局

第１章　総則

第１条　適用

本個別仕様書は、H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務のうち、植物管理業務に適用する。植物管理として、芝生管理、低木管理、高木管理、林地管理、花壇管理、草花管理、バラ園管理、特殊管理、田畑管理等について適用する。

第２条　事業者の責務

事業者は、施工にあたって、公園管理業務の特性を踏まえ、共通仕様書、国営海の中道海浜公園の設計図書及び現地の気象条件、土壌条件等環境条件を十分に把握のうえ、管理効果が上がるよう配慮し、目標とする管理水準を達成すべく、施工にあたること。

第３条　事前協議等

事業者は、共通仕様書、国営海の中道海浜公園の設計図書、平成19年度策定の「植栽更新・管理計画」、平成21年度「環境共生の森等の維持管理・運営計画策定外検討業務」報告書及び同資料編、平成22年度「松林保全再生調査その他業務」報告書、平成25年度「森の池エリア維持管理・運営計画策定外業務」報告書及び現地の気象条件、土壌条件等環境条件を十分に照査し、植物管理作業について業務計画書として九州地方整備局に提出し承諾を受けること。なお、本仕様書に記載無きもの又は疑義の生じた場合は、九州地方整備局及び調査職員と事前に協議するものとする。

また、業務期間中にあっても、管理実態に合わせて、効率化に向けた管理施工上の工夫が可能な場合は、調査職員に提案し、協議の上、変更理由を明記の上、業務計画書の変更を行うこと。

第４条　業務実施体制の点検

事業者は「公共業務の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成12年11月27日法律第１２７号）第13条２により九州地方整備局から業務実施体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。なお、点検員は当該業務の調査職員とする。

第５条　基本事項

１．植物管理業務を総括する業務責任者の指揮命令のもと実施することとする。

２．事業者は、本個別仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めるとともに、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に管理運営を行うものとする。

なお、本個別仕様書に記載のない事項又は本個別仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議することとする。

３．事業者は、公園内の植物を常に良好な状態とし、他の業務と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行い、実施すること。

４．管理体制人員は円滑な運営維持管理を行うため、植生状況に基づき弾力的に配置すること。

５．提供物品は事業者に貸与するが、本業務で取得した物品類も含めて修理等は調査職員に報告の上、事業者が行うこととする。（共通仕様書第35条参照）

６．設備及び提供物品は事業者において善良なる管理者の注意をもって維持管理を行うこと。

７．植生状況等に基づく業務効率化に向けた設備及び物品を事業者が導入する場合は、事前に調査職員の許可を受けた上で、導入すること。

８．作業従事者の身分保障、健康管理、服務規律は事業者の責任において行うこと。

第６条　安全管理等

１．常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理を行うこと。

２．車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務車両入園における車両通行規則」を遵守すること。また、公園利用者の安全と快適な利用を妨げない運転・駐停車・作業態度等に努めるとともに、「国営海の中道海浜公園　園内業務車両入園における車両通行規則」に基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、「国営海の中道海浜公園　園内業務車両入園における車両通行規則」及び「公園内車両通行及び作業心得」を遵守して走行すること。

3．作業にかかる車両の持ち込みは最小にとどめ、公園利用者の迷惑とならない様、必要に応じ誘導員を配置するか、公園利用者の迷惑とならない場所へすみやかに移動するものとする。
4．持込可能な車種及び走行可能ルートについては、「国営海の中道海浜公園　園内業務車両入園における車両通行規則」に基づくものとする。
5．危険防止のため、枯損木や枯枝の早期発見と枯枝の除去を行うこと。また、全ての作業実施にあたっては、作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示すること等、施工中は安全管理を徹底し、公園利用者の安全を十分確保すること。
6．施工中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しない様に注意すること。
7．作業中は服装及び言動に注意し、公園利用者に不快感を与えないよう留意すること。

第７条　利用サービス
1．公園利用者に対する案内及び緊急対応等のサービスに努めること。
2．業務責任者を含めた全ての作業従事者は調査職員の指定する名札を作成し着用すること。
3．作業従事者の服装、作業用機械、器具、車両等については、公園にふさわしいものとし、イメージアップに心掛けること。
4．公園利用者に対して、管理作業内容の情報を提供する必要が生じた場合には、作業場所において適切な説明看板類を掲示すること。

第２章　芝生管理

第８条　管理水準

１．本公園の芝生地は、機能により下記の４種類に大別され、事業者は、それぞれの機能によって管理方法・管理レベルを変え、これらの機能を維持・向上を目的として実施すること。

①スポーツ等運動を行う芝生

②修景的に景観を作り出すための芝生

③そこで休憩したり寝ころんだりする休息のための芝生

④その他法面の保護のための機能を重視した芝生

２．施工場所は、別添30「芝生管理図」を参照すること。

第９条　芝刈工

１．事業者は芝刈工にあたっては、現地の状況等を照査し、適切な時期に適切な方法により実施すること。

２．刈り取った芝は、原則、堆肥化等リサイクルすること。

３．芝刈作業をする際は、利用エリアを避ける等、工夫に努めること。

第10条　芝生地除草工(人力除草)

事業者は芝生地除草工にあたっては、現地の状況等を照査し、適切な時期に適切な方法により実施すること。

第11条　芝生施肥工

事業者は芝生施肥にあたっては、現地の状況を照査し適切な材料を適切な量・方法により施用すること。

第12条　芝生目土掛工

事業者は芝生目土掛工にあたっては、現地の状況等を照査し、適切な時期に適切な方法により実施すること。

第13条　芝生エアレーション工

事業者は芝生エアレーション工にあたっては、現地の状況等を照査し、適切な時期に適切な方法により実施すること。

第14条　芝生雑工

１．芝生雑工（普通作業員）については、部分的な養生、芝生保護材設置等を実施するものとする。

２．芝生雑工（軽作業員）については、灌水補助、施肥散布補助、芝生保護材設置等を実施すること。

３．芝の補植を行う際は、張替え箇所を大きめに形を整えて切り取り、深さ15㎝ 程度まで床土を交換又は耕転したうえ、沈下防止のためよく転圧し、表面排水できるよう不陸整正を行うこと。

第15条　芝生病虫害防除工（薬剤散布）

事業者は万が一病害虫被害が発生した場合においても、まずは被害を受けた部分の刈込や捕殺等による病害虫駆除をおこなう等最大限努力し、農薬は極力使用しないよう努める。やむを得ず農薬を使用する際は以下に示す事項に留意すること。

１）薬剤の使用にあたっては、農薬取締法（昭和23年７月１日法律第82号、平成19年３月30日改定（以下「農薬取締法」という。））等の農薬関連法規及びメーカー等が定めている使用安全基準、使用方法を遵守し人畜の安全及び樹木、地被植物への薬害に十分注意するものとする。

２）散布日は、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し定めるものとし使用時刻は原則として、公園開園時間外とする。

３）散布に際しては、対象物以外のものにかからないよう十分注意すること。

第16条　灌水

事業者は芝生灌水にあたっては、以下に示す要領に留意すること。

１）所定の量が芝生全面にいき渡るよう均一に散水すること。
２）灌水時刻は、夏季は日中を避け、朝又は夕方に、冬季は日中に行うこと。
３）灌水は現地の状況を照査し、散水車（貸与機械：3800Ｌ）及びポンプ等を用いて適切に行うこと。

第17条　芝切り工（縁切、芝生カット）

事業者は芝刈り工（縁切、芝生カット）の作業にあたっては、以下の内容のとおり行うものとする。

１）植込地廻り（寄植地廻り）

低木地等寄植地に芝生のほふく茎が侵入しないよう、低木地等寄植地の垂直投影線から５㎝程度外側で垂直に切り込み、せん除すること。

２）園路沿

園路に芝生のほふく茎が侵入しないよう園路から５～10㎝幅程度をせん除すること。

３）樹木廻り

樹木の根元廻りの芝生をせん除すること。

第18条　メリケントキンソウの除去

事業者は芝生に混在するメリケントキンソウを適時適切に除去すること。

第３章　低木管理

第19条　管理水準

１．低木は植栽地により下記のように機能が異なる。事業者は、これら植栽地によって異なる低木の機能を維持・向上することを目的として低木管理を行うものとする。

①植栽の仕立てによる整形美
②花木として育成し観賞されること
③防風植栽帯
④境界植栽帯
⑤園内に生息する昆虫等の小動物の吸蜜や隠れ家

２．主な花木類は、アジサイ、ツバキ、サザンカ、フジ、ムクゲ、サツキ、ユキヤナギ、ハギ及びそれらに準ずるもの等があり、事業者はそれぞれの植栽箇所にあった維持管理に努め年間を通じた花修景を展開すること。

第20条　低木剪定工

１．一般事項

１）花木類を刈込む場合は、花芽の分化時期と養生位置に注意する。
２）刈り取った枝葉は速やかに処理する。特に枝葉が樹冠内に残らないようにきれいに取り去り、刈込んだ樹木、寄植等の周辺はきれいに清掃し、原則チップ化又は堆肥化しリサイクルすること。
３）剪定にあたっては、樹木単体だけでなく、公園として望ましい植栽景観づくりを視野に入れて、望ましい樹形の確保に努めること。
４）公園の景観維持及び樹木の生態等に支障があり、剪定だけでなく間伐の必要が生じた場合には、調査職員に報告すること。

２．寄植剪定

事業者は低木刈込（寄植剪定　機械）作業にあたっては、樹種毎の特性及び生育状態に応じ、刈地原形に十分配慮しつつ、主に刈込機械を用いた刈り込み作業を行うこととし、枝すかし等については人力による刈り込み作業を行うこと。なお、刈り込み時期や目標樹形については花芽形成時期や育成状況に応じ設定することとし、必要に応じて調査職員と協議しその指示に従うこと。

３．生垣剪定(機械・人力)

枯枝・徒長枝等を人力により剪定し、枝の整理を行った上で、刈込機械を用いて両面を一定の幅で刈込み、天端を刈り揃えること。

第21条　低木地除草工

１．抜根除草

１）既存樹木及び地被植物をいためないよう除草器具などを用いて根ごとより取り除くか、鎌等を用いて地際から刈取る方法で行うこと。
２）抜き取った雑草は、根に付着した土を除いた後、原則堆肥化しリサイクルすること。

２．人力除草

１）既存植物をいためないよう鎌などを用いて根際より刈り取る。
２）その他は抜根除草に準ずる。

第22条　低木施肥工（単木・小規模な寄植）

事業者は低木施肥（単木・小規模寄植）にあたっては、現地の状況を照査し、適切な材料を適切な量・方法によりを施用すること。

第23条　施肥工（列植、生垣施肥）

１．事業者は低木施肥（列植及び生垣施肥）にあたっては、元肥及び追肥の二通りの方法で行うこと。

２．元肥は、生垣の両側に所定の深さの縦穴を１箇所ずつ計２箇所、１本毎に掘り、底に粒状固形化成肥料を、現地の状況を照査し適切な量を敷き込み覆土すること。

３．追肥は、生垣の両側に所定の深さの溝を掘り、溝の底に粒状固形化成肥料を、現地の状況を照査し適切な量を敷き込み覆土すること。

第24条　施肥工（群植、大規模な寄植）

事業者は低木施肥（群植、大規模な寄植）にあたっては、１㎡当たり３箇所の縦穴を所定の深さまで掘り、底に粒状固形化成肥料を、現地の状況を照査し適切な量を敷き込み覆土すること。

第25条　病害虫等駆除

事業者は万が一病害虫被害が発生した場合においても、まずは被害を受けた部分の剪定や捕殺等による病害虫駆除をおこなう等最大限努力し、農薬は極力使用しないよう努める。なお、やむを得ず農薬を使用する際は以下に示す事項に留意すること。

１）薬剤の使用にあたっては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等が定めている使用安全基準、使用方法を遵守し人畜の安全及び樹木、地被植物への薬害に十分注意するものとする。

２）散布日は、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し定めるものとする。なお、使用時刻は原則として、公園開園時間外とする。

３）散布に際しては、対象物以外のものにかからないよう十分注意すること。

第26条　低木灌水工

１．事業者は低木灌水にあたっては、所定の量が全面にゆき渡るよう均一に散水するものとする。灌水時刻は、夏季は日中を避け、朝又は夕方に、冬季は日中に行うこと。

２．灌水は現地の状況を照査し、散水車（貸与機械：3800Ｌ）及びポンプ等を用いて適切に行うこと。

第27条　ハギ取り

１．事業者はハギ取り作業にあたっては、樹木、株物、棚等を損傷しないよう注意し刈残しがないように行うこと。

２．作業の時期は、花が終わり株が休眠に入ってから、手刈りで行うこと。

第28条　低木雑工・低木巡回工（巡回作業・雑作業）

１．低木雑工については業務責任者の判断する作業（ササ刈等）を実施すること。

２．低木巡回工（造園工）にて、植木手入れやその他管理作業を行う。

３．低木巡回工（普通作業員・軽作業員）にて、害虫の捕殺駆除作業、低木地落葉除去、植木手入れ補助、支障木手入れ、枯損木及び支障枝撤去、その他管理作業を行う。

４．低木の補植・移植を行う際は、現地の状況を照査し適切な作業（堀込・植付・土壌改良等）を行うこと。

５．マルチングを行う際は、以下の項目に留意すること。

１）マルチング材は、現地の状況を照査し適切な量をむらなく均一に敷き均すこと。

２）マルチングに使用する材料は、公園内で発生した植生廃材をチップ化したものを原則として使用すること。

第４章　高木管理

第29条　管理水準

１．高木は、植栽地により下記のように機能が異なる。事業者は、これら植栽地によって異なる高木が果たす機能を維持・向上することを目的として高木管理を行うものとする。

①植栽の仕立てによる整形美の維持
②花木として育成し観賞されること
③防風植栽帯
④境界植栽帯
⑤園内に生息する昆虫等の小動物の吸蜜や隠れ家

２．施工場所は別添32「高木管理区域図」を参照すること。

第30条　高木剪定工

１．樹形の骨格づくり、樹形の整形、混み過ぎによる病害虫及び枯損枝の発生防止等を目的として枝おろし（大枝おろし）、枝すかし、ふところすかし、切詰め、枝抜き、切返し、枝はさみ、枝うち、枝かき等の剪定方法を、樹種、形状及び選定の種類に応じてもっとも適切な方法により行う。

２．樹姿及び樹形の仕立て方は、特に修景上、規格形にする必要がある場合を除き、自然形に仕立てる。

３．不定芽の発生原因となる「ぶつ切り」は原則として行わない。

４．花木対は花芽の分化時期と養生位置に注意して剪定する。

５．剪定にあたっては、樹木単体だけでなく、公園として望ましい植栽景観づくりを視野に入れて望ましい樹形の確保に努める。

６．サイクリングロードや園路沿い等の公園利用者の動線上の高木については、支障枝・枯枝等を適切に除去し、落ち枝等によるけがなどないよう努めること。

７．高木剪定にあたっては、樹種や現地の状況を照査し、弱剪定・強剪定・松剪定（みどり摘み剪定・もみあげ剪定）等適切な方法により実施すること。

第31条　ヤゴ取り工

ヤゴ取りは、やご（ひこばえ）、幹ぶき（胴ぶき）を適切に実施すること。

第32条　高木施肥工

事業者は高木施肥にあたっては、現地の状況を照査し、適切な材料を適切な量・方法により施用すること。

第33条　高木病虫害防除工

事業者は万が一病害虫被害が発生した場合においても、まずは被害を受けた部分の剪定や捕殺等による病害虫駆除をおこなう等の最大限の努力し、農薬は極力使用しないよう努める。やむを得ず農薬を使用する際は以下に示す事項に留意すること。

１）薬剤の使用にあたっては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等が定めている使用安全基準、使用方法を遵守し人畜の安全及び樹木、地被植物への薬害に十分注意すること。

２）散布日は、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し定めるものとする。使用時刻は原則として、公園開園時間外とする。

３）散布に際しては、対象物以外のものにかからないよう十分注意すること。

第34条　灌水

事業者は高木灌水にあたっては、以下に示す要領に留意すること。

１）灌水時刻は、夏季は日中を避け、朝又は夕方に、冬季は日中に行うこと。

２）灌水は現地の状況を照査し、散水車（貸与機械： 3800L）又はポンプ等を用いて適切に行うこと。

第35条　高木支柱結束直し工等

事業者は高木支柱工（結束直し）、高木支柱工（撤去）及び高木支柱工（設置）にあたっては、巡視等により的確に状況を把握し適切な方法により対応すること。

第36条　支柱撤去工

事業者は高木支柱工（撤去）にあたっては、巡視等により的確に状況を把握し適切な方法により対応すること。

第37条　支柱設置工

事業者は高木支柱工（設置）にあたっては、巡視等により的確に状況を把握し適切な方法により対応すること。

第38条　高木枯損木処分工

事業者は公園内の景観維持や、倒木等による不測の事態から公園利用者に対する安全を確保するため、常に公園内を観察し、枯損木や倒木する恐れがある高木を発見した場合には速やかに処置対応するものとする。ただし、大規模の対応等が発生した場合は、速やかに調査職員と協議し、その指示に従うものとする。また、伐採した樹木の幹及び枝葉については、原則チップ化若しくは堆肥化しリサイクルするものとする。

第39条　補植

事業者は高木補植にあたっては、現地の状況を的確に把握し適切な樹種を選定し、適切に作業（堀込・植付・土壌改良等）を行うこと。

第40条　松こも巻き

1．事業者は松の単木（景観木等）の管理にあたっては、現地の状況を照査し適切な時期に適切な方法により松こも巻きを実施すること。
2．取付け位置は、原則として、地際から 1.5m程度の幹部とし、取付け位置より下部に枝 がある場合は当該下枝にも取り付けること。
3．取付けは、こもを樹幹に巻きこみ、その上をわら縄で２ヶ所結束するものとする。結束 は上方をやや緩く、下方を硬く結束すること。

第41条　高木雑工・高木巡回工（巡回作業・雑作業）

1．高木雑工については、倒木復旧作業、樹勢回復作業、サクラ伐採除根、資材運搬、堆肥切り返し等を実施すること。
2．高木巡回工（造園工）にて、植木手入れやその他管理作業を行う。
3．高木巡回工（普通作業員）にて、サクラの手入れ・生垣整理やその他管理作業を行う。
4．高木の補植を行う際は、現地の状況を照査し適切な作業（堀込・植付・土壌改良等）を行うこと。

第５章　林地管理

第42条　管理水準

１．事業者は、林地の持つ機能の維持・向上を目的として、「白砂青松１００選」にも選定されている松林を中長期的視点に立って、永続的に維持・向上させていくための管理を適時・適切に行うとともに、松枯れ被害を抑制するために継続的な予防と駆除を実施すること。

２．事業者は平成22年度「松林保全再生調査その他業務」報告書を基準に、適切な林地の管理を実施すること。

第43条　林地除草工

１．樹木、株物、柵等を損傷しないよう注意し、刈むら、刈残しのないよう刈り取るものとする。

２．樹木、株物、柵等の周辺も刈残しのないよう仕上げること。また、それにからんでいるつる性の雑草もきれいに除去すること。

３．サイン、標識、看板、消火栓、非常電話等の施設が公園利用者によく見えるよう特に注意して刈り取ること。

４．刈草は、原則堆肥化しリサイクルすること。

第44条　伐採工

１．事業者は、一定範囲の樹林地の健全な更新等を目的とし、巡視等により現地の状況を的確に把握し、適切な時期に適切な方法により生育不良木等の伐採を行うこと。

２．防風・防砂及び景観という松林の機能を十分に発揮できるよう、平成22年度に策定したＨ－Ｎ曲線を用いた林地の密度管理手法により行うこと。

３．作業の際は、周囲の安全性やその他の樹木を傷つけないように細心の注意を払い、地際より切除すること。

４．伐採した樹木の幹及び枝葉については、原則チップ化してリサイクルすること。

第45条　枯損木処分工

１．事業者は林地枯損木処分工にあたっては、枯損木調査により的確に状況を把握し、松食い虫による枯損木を発見した場合は速やかに特別伐倒駆除（伐倒・持ち出し・チップ化）を実施すること。

２．松食い虫による松枯れについては、４月から９月末まで、10月から12月末まで、及び１月から３月末までの調査を実施し、その結果を調査職員に報告すること。

３．調査を実施する際には、松食い虫によるものなのか、塩枯れ等によるものなのか専門的な判断が必要となるので樹木医等を活用すること。

第46条　林地病虫害防除工

１．マツ林を松食い虫（マツノザイセンチュウ）の被害から守るための地上薬剤散布については、国事務所で実施するが、マツ林以外のマツ（単木・景観木等）については、事業者において樹幹に直接薬剤を注入（以下「樹幹注入」という。）することとし、その実施にあたっては以下のとおりとする。

２．樹幹注入は、マツ類のマツノザイセンチュウ等の予防のために行うものであり、対象樹木は主として景観的に重要なマツ類とし、過去の実績等を的確に把握し適切な作業を実施すること。

３．樹幹注入を実施する樹木については、後日確認が出来るようマーキングを行うなど工夫し、薬剤を投与すること。

４．注入完了後は速やかに容器を回収し、関係法令に基づき、適正に処理すること。また、注入穴はコルク、癒合剤等で埋めること。

第47条　林地雑工・林地巡回工（巡回作業・雑作業）

１．林地雑工については、園外支障木処理、枯枝除去等を実施すること。

２．林地巡回工（普通作業員）にて、支障枝除去・若竹除去やその他管理作業を行う。

４．林地の補植を行う際は、現地の状況を照査し適切な作業（堀込・植付・土壌改良等）を行うこと。

第６章　草花管理

第48条　管理水準

当公園の草花は、下記のために実施しており、事業者は目的達成に向けて美観を損なわないよう花壇及び花畑の維持・向上を目的として草花管理を行うものとする。

①季節ごとに広場の修景

②フラワーピクニック等公園の催しに対応した花の演出

第49条　草花材料一般

１．花苗は発育良好で病害虫に侵されていないものとし、あらかじめ植え出しに耐えるよう栽培され、細根の多く発生している徒長していない均一な型姿のものを使用する。

２．球根はよく充実し、傷がなく、病害虫に侵されていないものとする。

第50条　花壇植栽工（花苗植栽）

事業者は花壇植栽（花苗植栽）にあたっては、現地の状況等を照査し植え付ける花苗及び植え付け株数を決定し、適切な作業（前植栽の抜根・地ごしらえ・植え付け・土壌改良等）を行うこと。

第51条　花壇植栽工(球根植栽)

事業者は花壇植栽（球根植栽）にあたっては、現地の状況等を照査し植え付ける花種及び植え付け本数を決定し、適切な作業（地ごしらえ・植え付け・土壌改良等）を行うこと。

第52条　花壇除草工

１．事業者は花壇除草にあたっては、人力により除草器具等を使用し雑草だけを抜根除草すること。

２．乾燥日がつづいた場合は根が抜き難いので根の周りに注水するか降雨直後に行うこと。

３．花壇除草工については、草花の生育等に支障をきたさないよう、草の繁茂状況にあった適切な除草方法で行うこと。

第53条　花壇施肥工

１．事業者は花壇施肥にあたっては、元肥は、現地の状況を照査し適切な量を適切な方法により施用すること。

２．追肥は、元肥の種類及び植物の生育状態に応じ、効果的な方法で行うこと。

第54条　花壇病害虫駆除

事業者は万が一病害虫被害が発生した場合においても、まずは捕殺等による病害虫駆除をおこなう等の最大限の努力し、農薬は極力使用しないよう努める。やむを得ず農薬を使用する際は以下に示す事項に留意すること。

１）薬剤の使用にあたっては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等が定めている使用安全基準、使用方法を遵守し人畜の安全及び樹木、地被植物への薬害に十分注意するものとする。

２）散布日は、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し定めるものとする。使用時刻は原則として、公園開園時間外とする。

３）散布に際しては、対象物以外のものにかからないよう十分注意すること。

第55条　花壇造成工

事業者は花壇造成工にあたっては、現地の状況を照査し、適切な時期に適切な方法により実施すること。

第56条　花壇灌水

１．事業者は花壇灌水にあたっては、全面にいき渡るよう均一に散水すること。

２．灌水時刻は、夏季は日中を避け、朝又は夕方に、冬季は日中に行うこと。

３．灌水は現地の状況を照査し、散水車（貸与機械：3800Ｌ）及びポンプ等を用いて適切に行うこと。

第57条　花壇巡回工

１．花壇巡回工（普通作業員）にて、耕耘、病中害防除やその他管理作業を行うこと。

２．花壇巡回工（軽作業員）にて、花がら摘み、ピンチ、摘心、誘引等）を実施すること。

第58条　花畑耕転工

事業者は花畑耕転工にあたっては、現地の状況を照査し、適切な時期に適切な方法により実施すること。

第59条　花畑播種工

事業者は花畑播種工にあたっては、現地の状況を照査し、適切な時期に適切な方法により実施すること。

第60条　花畑除草工

事業者は花畑除草工にあたっては、人力による抜根除草とし、根に付着した土を除いた後、原則堆肥化しリサイクルすること。

第61条　花畑病虫害防除工

事業者は万が一病害虫被害が発生した場合においても、まず捕殺等による病害虫駆除をおこなう等、最大限努力し農薬は極力使用しないよう努める。やむを得ず農薬を使用する際は以下に示す事項に留意すること。

１）薬剤の使用にあたっては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等が定めている使用安全基準、使用方法を遵守し人畜の安全及び樹木、地被植物への薬害に十分注意すること。

２）散布日は、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し定めるものとする。使用時刻は原則として、公園開園時間外とする。

３）散布に際しては、対象物以外のものにかからないよう十分注意すること。

第62条　花畑巡回工

事業者は花畑巡回工にあたっては、花殻摘み、播種前の位置だし、間引き等を実施すること。

第７章　バラ管理

第63条　管理水準

当公園のバラは、春と秋に見事な花を咲かせる品種を揃えており、観賞を目的とする催しも実施されている。事業者はこれらバラの観賞期に合わせた花観賞のためにバラ園の機能を維持・向上することを目的としてバラ管理を行うこと。

第64条　管理年間計画

事業者はバラ管理にあたって、現地状況を把握し年間工程計画を契約締結の14日前までに作成し、九州地方整備局に提出し承諾を受けること。

第65条　剪定工

事業者はバラ剪定工にあたっては、現地の状況等を照査し適切な時期に適切な方法（強剪定・弱剪定）により作業を実施すること。

第66条　除草工

１．事業者はバラ除草工にあたっては、植え込み部分の雑草を人力による抜根除草とし、根に付着した土を除いた後、原則堆肥化しリサイクルすること。

２．除草に際しては、バラの根を損傷しないよう十分に配慮すること。

第67条　施肥

１．事業者はバラ施肥にあたっては、原則配合肥料を使用するものする。

なお、配合する肥料の量は以下を参考とし、現地の状況を照査し、適切な量を適切な方法により配合すること。

２．現地の状況を照査した結果、配合肥料以外に粒状固形化成肥料を使用する必要が生じた場合は適切な量を適切な方法により施用すること。

第68条　病虫害駆除

事業者はバラ管理にあたっては、病虫害、病原菌の対処又は予防的措置を講ずる必要があるが、それでも病害虫被害が発生した場合においては、まずは被害を受けた部分の剪定や捕殺等による病害虫駆除をおこなう等最大限努力し、農薬は極力使用しないよう努めること。やむを得ず農薬を使用する際は以下に示す事項に留意すること。

１）薬剤の使用にあたっては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等が定めている使用安全基準、使用方法を遵守し人畜の安全及び樹木、地被植物への薬害に十分注意すること。

２）散布日は、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し定めるものとする。使用時刻は原則として、公園開園時間外とする。

３）散布に際しては、対象物以外のものにかからないよう十分注意すること。

第69条　花殻摘み

事業者はバラの花殻摘みにあたっては、現地の状況等を照査し適切時期に適切な方法により作業を行うこと。

第70条　摘蕾

事業者はバラの摘蕾にあたっては、現地の状況等を照査し適切時期に適切な方法により作業を行うこと。

第71条　マルチング

1．事業者は雨水のはね返りによる、細菌類の拡大や雑草防止対策としてマルチングを行うこと。

2．マルチングの施工にあたっては、現地の状況等を照査し適切な材料を適切な方法により作業を行うこと。

第72条　補植

事業者はバラ補植にあたっては、現地の状況等を照査し、適切な箇所に適切な本数を適切な方法により作業（堀取・植え付け・土壌改良等）を行うこと。

第73条　巡回工

事業者はバラ巡回工にあたっては、散水栓からの灌水、芽かき、ブラインド枝の除去、病害虫の早期発見及び捕殺、病虫害枝等の整枝・撤去のほか、台風対策時の支柱設置等を行うこと。

第８章　特殊管理

第74条　対象

本章は、芝生管理、低木管理、高木管理、林地管理、草花管理、バラ管理が対象としないリサイクル工及び温室管理について適用する。

第75条　管理水準

以下に示す管理水準を満たす特殊管理を行うこと。

１）温室内において、公園内の希少植物や有用植物の増殖と、フラワーミュージアムやシンフォニーガーデン用の花を供給するための育成を適切に行うこと。

２）リサイクル工のうち堆肥づくりについては、植物管理で発生する枝葉や刈り草等を植栽地の土壌改良等を目的として堆肥化を行い、植栽地の土壌改良に使用できる品質を確保すること。

第76条　温室管理

事業者は温室内において、公園内の希少植物や有用植物を増殖するとともにフラワーミュージアムやシンフォニーガーデン用の花を供給するための管理を行うものとし、海浜植物及びフラワーミュージアム補植用の宿根草の増殖と冬季の養生、種子からの花壇植栽の育成を行うこと。

第77条　温室の規模

温室の規模は以下に示すとおりである。

・１号室　21m　×９m＝189.00㎡
・２号室　26.25m×９m＝236.25㎡
・３号室　26.25m×９m＝236.25㎡
・４号室　26.25m×７m＝183.75㎡

合計＝845.25㎡

第78条　チップづくり

１．事業者はチップづくりにあたっては、植栽地のマルチング材、園路、遊び場のクッション材、堆肥化の原材料等として使用するために行うこと。

２．実施に先立ち、マルチング材やクッション材等、公園利用者が直接触れるチップについては、粒度や形状の安全性について留意すること。

第79条　堆肥づくり

１．事業者は堆肥づくりにあたっては、落葉や芝刈屑、チップ等を原材料として植栽地の土壌改良等を目的として行うこと。

第９章　田畑管理等

第80条　田畑管理等

事業者は「環境共生の森」の森づくり（植樹作業・管理作業）・田畑管理等（以下「森づくり」という。）にあたっては、平成２１年度「環境共生の森等の維持管理・運営計画策定外業務」報告書及び同資料編を熟読した上で契約締結の１４日前までに「環境共生の森」の森づくり等について年程及び作業計画等を作成し、業務計画書として九州地方整備局に提出し、承諾を受けそれを遵守すること。

第10章　特定外来生物の除去

第81条　特定外来生物の除去

特定外来生物（オオキンケイギク等）及びケシ等の法律で栽培等が制限されている植物については、調査職員と協議の上、適時・適切に除去すること。

別紙 11

H28-H31

国営海の中道海浜公園運営維持管理業務
個別仕様書
【動物管理】

平成 27 年 7 月
国土交通省九州地方整備局

第１章　総則

第１条　適用

本個別仕様書は、H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務のうち、動物管理業務に適用する。

第２条　事業者の責務

事業者は、施工にあたって、公園管理業務の特性を踏まえ、共通仕様書、国営海の中道海浜公園の設計図書及び現地の気象条件、土壌条件等環境条件を十分に把握のうえ、管理効果が上がるよう配慮し目標とする管理水準を達成すべく、施工にあたるものとする。

第３条　事前協議等

事業者は、共通仕様書、国営海の中道海浜公園の設計図書、及び現地の気象条件等環境条件を十分に照査し、各条に掲げる事項のほか明示無きもの又は疑義の生じた場合は、調査職員と事前に協議するものとする。

また、業務期間中にあっても、管理実態に合わせて、効率化に向けた管理施工上の工夫が可能な場合並びに動物について異動を要する事態が生じたときは、調査職員に報告し、協議の上、変更理由を明記の上、業務計画書の変更を行うことも可能である。

１）動物の異動（飼育頭数等の変更）が生じたとき
２）動物取扱責任者の変更が生じたとき
３）獣医師に変更が生じたとき
４）その他、業務計画書の内容に変更が生じた場合

第４条　業務目的

１．国営海の中道海浜公園内の動物の森で飼育される動物について、公園利用者の観覧に供するため事業者は動物の習性、生理、生態等を理解し、かつ愛情を持って飼育し健康な動物本来の姿を当公園にふさわしい形で展示することを目的とする。
２．社団法人日本動物園水族館協会（以下、「日動水協」という。）が発行する「新飼育ハンドブック」に準拠した飼育管理を行うものとする。
３．生態学、動物学、栄養学、繁殖学、動物行動学、獣医学などに基づいた科学的な飼育方法を確立し、動物福祉も重視し、動物が心身共に健康で累代繁殖が可能な飼育技術の確立を目指すとともに、動物種毎の標準飼育管理マニュアルを作成し調査職員と協議の上その指示に従うものとする。

第５条　作成書類

事業者は、次の各号に掲げる書類を作成し、調査職員から提出依頼があった場合、速やかに提出すること。なお、死亡動物がある場合は、獣医師の死亡診断書を添付のこと。

書類名	提出先	提出期限
動物異動報告書（別添36）	国事務所総務課経理係	月末締めで翌月の10日
その他調査職員が指示するもの	調査職員	指示に従う

第６条　業務実施体制の点検

事業者は「公共業務の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成12年11月27日法律第１２７号）第13条２により九州地方整備局から業務実施体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。なお、点検員は当該業務の調査職員とする。

第７条　歩掛実態調査及び諸経費動向調査

本業務は、歩掛実態調査及び諸経費動向調査の試行業務であり、調査職員より指示のあった場合、別途通知される調査要領等に基づき調査票の作成を行うこと。

調査票は、業務終了後速やかに調査職員に提出するものとする。又、調査票の聞き取り調査等を実施する場合にはこれに協力するものとし、調査票の根拠となった契約書等を提示するものとする。

第８条　基本事項

１．動物管理業務を総括する業務責任者の責任のもと実施することとする。

２．事業者は、本個別仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めるとともに、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に管理運営を行うものとする。

なお、本個別仕様書に記載のない事項又は本個別仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議するものとする。

３．事業者は、公園内の動物を常に良好な状態とし、他の業務と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行い、実施することとする。

４．管理体制人員は、円滑な運営維持管理を行うため、動物の健康状態等に基づき弾力的に配置するものとする。

５．提供物品は事業者に貸与するが、本業務で取得した物品類も含め、修理等は調査職員に報告の上、事業者が行うこととする。

６．設備、提供物品及び本業務で取得した物品は事業者により善良なる管理者の注意をもって維持保存を行うこと。

７．動物の健康状態等に基づく業務効率化に向けた設備及び物品を事業者が導入する場合は、事前に調査職員の承諾を受けた上で、導入すること。

８．作業従事者の身分保障、健康管理、服務規律は事業者の責任において行うこと。

１）動物の健康状態を維持・継続できる資格・要件を兼ね備えた人員を配置すること。

２）清掃、施設点検を毎日実施し、異常が認められた場合は、速やかに対処すること。

第９条　安全管理等

１．常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意するとともに、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理を行うものとする。

２．車両の運転については、別添15「国営海の中道海浜公園　園内業務車両入園における車両通行規則」を遵守すること。また、公園利用者の安全と快適な利用を妨げない運転・駐停車・作業態度等に努めるとともに、別添15「国営海の中道海浜公園　園内業務車両入園における車両通行規則」に基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、別添15「国営海の中道海浜公園　園内業務車両入園における車両通行規則及び公園内車両通行および作業心得」を遵守して走行するものとする。

３．作業にかかる車両の持ち込みは最小にとどめ、公園利用者の迷惑とならない様、必要に応じ誘導員を配置するか、公園利用者の迷惑とならない場所へすみやかに移動するものとする。

４．持込可能な車種及び走行可能ルートについては、原則、別添15「国営海の中道海浜公園　園内業務車両入園における車両通行規則」に基づくものとする。

５．危険防止のため、全ての作業実施時に作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示すること等、施工中は安全管理を徹底し、公園利用者の安全を十分確保するものとする。

６．施工中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しない様に注意するものとする。

７．作業中は服装及び言動に注意し、公園利用者に不快感を与えないよう留意するものとする。

８．動物管理に関わる作業員の全体安全教育を行い、安全管理を徹底すること。

第10条　利用サービス

１．公園利用者に対する案内及び緊急対応等のサービスに努めること。

２．業務責任者を含めた全ての作業従事者は調査職員の指定する名札を作成し着用すること。

３．作業従事者の服装、作業用機械、器具、車両等については、公園にふさわしいものとし、イメージアップに心掛けるものとする。

４．公園利用者に対して、管理作業内容の情報を提供する必要が生じた場合には、作業場所において適切な説明看板類を掲示するものとする。

第２章　飼育管理・繁殖管理等

第11条　管理水準

事業者は、飼育動物が常に良好な健康状態を保持できるように飼育管理を行うとともに、施設の規模に対して適正な個体数となるよう繁殖管理を行うこと。

第12条　飼育管理（個体管理・群管理、調教等）

事業者は当公園に現在保有している各動物の飼育管理にあたっては、以下に示す内容に留意するものする。

１）ポニー、ロバ、ラマ等

個体の健康状態を確認し、毛及び蹄等の手入れを行い、安全に展示できるようにするものとし、名前による個体識別を行なうものとする。

特に乗馬等の利用者サービスを行う個体については、健康状態を確認しブラッシング、蹄の手入れ等を行い、ホルダー、頭絡、鞍等を用い必要に応じてエリアを巡回運動させ、適当な調教を行うものとする。また、日々の状態を記録し、保管するものとする。

２）クモザル、フサオマキザル、リスザル

個体の健康状態を確認し、安定した群として展示できるよう心がけ、脱出や闘争を防ぐように努めるものとし、必要に応じて獣舎に収容できるよう調教を行うものとする。また、日々の状態を記録し、保管するものとし、マイクロチップによる個体識別を行なうものとする。

３）カンガルー、カピバラ、マーラ等

群飼している動物について個体の健康状態を確認し、安定した群として展示できるようにするものとし、血統に問題が出ないよう充分な管理と記録を行い、血統管理を行うものとする。カンガルー、マーラは耳タグによる個体識別を行なう。

４）希少動物（マナヅル等）

日本動物園水族館協会で希少動物に指定されている動物（平成14年7月時点でマナヅル等）については血統登録を行ない、希少動物飼育に準じた適正な飼育を行い、その飼育データを記録、保管するものとし、雌雄の判別しにくい種については科学的な方法（ＤＮＡや内視鏡等による）で雌雄を判別し、積極的に繁殖育成に努めるものとする。

５）その他の飼育動物

安全で楽しい展示を心掛け、生態、血統や性質を熟知して手入れや調教を行い、適正な管理を行ない、利用者に充分なサービスができるようにするものとする。

第13条　繁殖管理

事業者は動物の健康管理及び展示効果の為に、適当な飼育頭数を維持しなければならない。そのため血統を考慮した飼育・繁殖計画を、調査職員と協議の上、調査職員の指示のもと作成し適正な繁殖管理を実施するものとする。

１）鳥類

繁殖時（営巣中、抱卵中）に攻撃性のあるものについては、安全性を配慮した適切な飼育管理を行うものとし、繁殖した幼鳥については適切な保護管理を行うものとする。

２）哺乳類

発情期、交尾期、妊娠期など繁殖生理を熟知し、正確に観察記録を行い、獣医師の指導のもとに、計画的に繁殖させるものとする。出産前の母獣及び新生児については、充分な観察と保護を行うものとし、人工哺育を必要とする場合は獣医師の指示に従い、適切な哺育管理を行うものとする。

第14条　保護管理

事業者は傷害や疾病などを負った飼育動物は隔離し適正な治療を行うものとする。園内で保護された野生傷病動物については、一時的保護等適切な処置を行うのものとする。ただし、外部からの野生動物の保護は原則としては実施しないものとする。

なお、隔離においては、隔離舎を適切かつ有効に使用すること。

第15条　給餌管理

事業者は飼料計算に準じた動物種別の飼料を適正に調理し給餌するものとする。

なお、動物の摂食状態、排泄状態、繁殖、生態等を常に観察し、適正な分量の飼料を与えるものとする。また、状態に応じて、飼料添加剤を混飼するものとする。

第16条　環境管理

事業者は日々、動物の獣舎及び飼育エリアの清掃を行うものとする。その際、前日の残餌量、糞尿の状態をよく観察するものとし、獣舎は糞をとった後、水洗い、ブラシ清掃を行い、運動場等については糞の除去後、掃き掃除を行うものとする。なお、集積した糞尿は園内所定の場所へ運搬し、堆肥化させる。

第17条　医療管理、死体管理、実験

事業者は医療管理、死体管理等にあたっては、死亡個体について、獣医師が死亡確認を行い、解剖所見をもとに死亡診断書を作成し、調査職員へ報告するものとする。死体は感染性の廃棄物として、死体処理業者に依頼し速やかに焼却処分する。

また、薬剤管理については、獣医師法、獣医療法、薬事法に基づいた保管管理を行ない、記録等は保管するものとする。

第３章　展示・情報発信等

第18条　管理水準

事業者は飼育動物を常に良好な状態で展示できるようなに努めなければならない。また、公園利用者が安全かつ快適に観覧及びふれあいができるよう体制の整備、施設の管理及び適正な解説等を行なわなければならない。

第19条　動物の展示

事業者は各展示エリアにはその動物についての情報を掲示する等、公園利用者に楽しんでもらえるような情報提供を心掛けるものとする。また、情報更新はできるだけリアルタイムに実施するように努め、常に新しい情報を掲示するものとする。

第20条　ふれあい指導

事業者はウサギ、モルモット、ヒツジ、ヤギ、ロバ等と利用者とのふれあいを目的とし、公園利用者への安全性を十分配慮し、安全にふれあえる展示を心掛けるものとする。

また、ふれあいイベントも随時実施するものとする。

第21条　レストハウスの活用

事業者は動物の森レストハウスの活用にあたっては、休憩施設としての機能だけにとどまらず、インフォメーション施設として動物の森の拠点となるよう心掛ける。また、外観は動物の森らしさを感じられるような演出をし、公園利用者に動物の森に来たことを実感してもらえるような雰囲気作りを心掛ける。内部は動物の森の特徴をその場で把握できるよう、動物に関する情報提供を充実させるものとする。

第４章　衛生管理及び感染症対策等

第22条　管理水準

事業者は、常に安全で快適な動物の森とするために、適切な施設管理、動物の衛生管理、感染症対策、清掃等を行うこと。

第23条　飼養者等の教育・伝達

事業者は、飼育係員および必要に応じて関係者に感染症に関する正確な情報とその防疫上必要な知識及び技術について教育・伝達するものとし、可能であれば、感染症発生を想定した訓練・演習を定期的に実施するものとする。

第24条　感染症等の情報収集等

事業者は感染症の発生状況等の継続的な情報収集を努めるとともに、必要に応じ、福岡市生活衛生課動物愛護管理係、筑紫保健福祉環境事務所及び家畜保健衛生所等と綿密な調整等を行うこと。また、適宜、公園スタッフ、調査職員、特定公園施設管理者及び運営者に必要な情報を提供するものとする。

第25条　定期的健康診断・予防接種

事業者は動物の管理・飼育に関わる従事者の健康診断および予防接種等を定期的に実施するものとし、健康診断の項目の種類については実情に合わせ選択するものとする。

第26条　防疫マニュアルの作成と遵守の徹底

事業者は、防疫対策マニュアル（標準作業および感染症発生時）を作成し調査職員へ報告しその指示に従うものとする。また、本仕様書で定められた事項等が日常の作業で遵守されているか、また、感染症発生時必要な資材その他が整備されているか適宜チェックを行うものとする。

第27条　動物の衛生管理

事業者は動物の衛生管理にあたって、以下の要領に留意するものとする。

１）定期的健康診断の実施

特定の感染病に罹患していないか定期的な検査を実施するものとする。

２）適切な飼育管理

種々のストレスは免疫低下を招き感染症の発症率を上げるため、生理的・精神的に動物種に適した飼育管理につとめるものとし、日常、動物の食欲・栄養状態・行動等に留意し、異常があれば直ちに獣医師に連絡する。異常を感知するにはスタッフの知識と経験が重要であり、そのための教育・伝達の機会を積極的に与えるものとする。また、この種の情報の伝達が確実かつ迅速に行われるよう体制を整えておくものとする。

３）へい死動物の処置

へい死した動物が出た場合、第一義的に感染症を想定し処置を行うものとする。その動物種で起こりうる感染症を想定し、へい死現場で死体を十分観察したうえで、その後の処置を行うものとする。なお、上記の危害度評価に基づき、場合によっては必要な検査等が終了するまで現場への立入を制限し、運搬・解剖を見合わせるものとし、この場合、検体の採取は必要最低限にとどめるものとする。また、病毒を封じ込めるため必要な処置を死体等に施すものとする。

第28条　飼育施設等の適切な清掃等

事業者は各動物舎・飼育ケージ・その他動物の飼育管理に供する器具・作業時の着衣等に適切な清掃・洗浄・消毒、滅菌を適宜実施するものとし、踏込消毒槽、手指用消毒液等については有効な濃度や鮮度が保持されているか管理を十分行うものとする。

第29条　救急用医薬品等の常備

事業者は動物による咬傷やその他動物の排泄物・体液等による汚染あるいは汚染された器物及び負傷時には受傷部を洗浄する水道などの施設や消毒液・無菌ガーゼ・包帯等の救急用医薬品を

動物舎ごとに常備するものとする。上記危害度評価を勘案し、必要に応じ感染症発生時における処置も実施するものとする。

第30条　鼠族・昆虫等の駆除・防除

事業者は施設内外から病毒を持ちこむ、または持ち出すおそれがあるため、ネズミ・ハエ・カ・ゴキブリ・ハト・スズメ等の駆除・防除を行うものとする。

第31条　作業動線の確立

事業者は飼育作業従事時の作業動線を確立し、動物舎内外の出入の際は必ず踏込槽等を用いて消毒するものとする。

第32条　立入制限措置

事業者は基本的に施設管理・飼育エリア内へは部外者の立入は禁止するものとし、見学等の場合には、適当な衣類・長靴等を着用させ、動線も制限し踏込槽等、適宜消毒を受けさせるものとする。

第33条　感染症発生時における推定/確認検査の実施

事業者は、疑似罹患動物が出た場合、自施設での検査可能範囲、外部検査機関の連絡先等を確認しておくものとする。危害度評価上重大な感染症である疑いのある場合、感染症に対する専門知識・技術を持たない者は専門家に委託しなければならないものとする。

第34条　感染症発生時における医療体制の確立

事業者は動物の治療に関しては想定される感染症に対し、検査・治療方針（安楽死を含む）を確立しておくものとし、死体の処理方法・処理委託機関等についても確立しておくものとする。

また、治療等に必要な抗生物質その他の薬剤等のうち特殊なもの・入手に時間を要するものについては備蓄しておくものとする。なお、人獣共通感染症については受診しうる医療機関を確認し、動物感染症等に関する情報を提供するなど担当の専門医と連絡を密にしておくものとする。

第35条　感染症発生時の緊急連絡網の構築

事業者は感染症法に規定されている感染症については家畜保健衛生所、筑紫保健福祉環境事務所、福岡市生活衛生課動物愛護管理係、日動水協、関係官公署、関係園館等連絡網を構築しておくものとする。

第36条　感染症への対応

事業者は感染症等について家畜保健衛生所等より対応を求められた場合には、その指導・指示に基づき適切に対応しなければならない。又、関係法令等及び国事務所が作成している行動規範等に基づき感染症毎に対応するマニュアルを調査職員に提出するものとする。なお、マニュアルの作成にあたっては、調査職員と綿密な調整を行うものとする。

第５章　危機管理

第37条　管理水準

公園利用者の安全利用の確保、また、災害事故等不慮の事態に備えて、適切な危機管理体制及び行動規範等を取りまとめた危機管理マニュアルを契約締結の14日前までに九州地方整備局に提出し承諾を受け、その内容を遵守しなければならない。

第38条　動物の脱出時の対応

事業者は、動物の脱出時においては、以下に内容より適切に対応するものとする。

１）動物の森の飼育動物の中で、法定による危険動物はクロクモザルのみであり、それ以外の動物は通常観客に危険を及ぼすことはないが、万が一の危険防止のための調教、馴致は日常的に行なうものとする。また、展示エリアから抜けて動物の森内にいる場合は飼育係員が捕獲を行なうものとする。

２）万が一飼育動物が動物の森から脱出した場合は、必要に応じ関係機関等に協力を要請するものとする。

３）動物の捕獲は網等によるものとするが、場合によっては獣医師の処方した睡眠薬及び獣医師による麻酔用吹き矢を用いるものとし、原則、麻酔銃は使用しないものとする。

第39条　動物の盗難について

事業者は動物の盗難防止に努めることとし、万が一、動物の盗難に気づいた際は、調査職員について速やかに報告するものとするが、盗難防止に努めるものとする。

第40条　火災及び地震発生時の動物の異常の確認

事業者は万が一火災や地震が発生した場合には、初期消火や利用者の避難誘導等必要な安全確保を行った後、速やかに動物の異常の有無を確認して調査職員に報告をするものとする。

第41条　薬剤管理

事業者は医薬品、動物用医薬品、放射線関係の管理にあたっては、「獣医師法（昭和24年６月１日法律第 186号）」、「獣医療法（平成４年５月20日法律第46号）」、「薬事法（昭和35年８月10日法律第 145号）」、「麻薬及び向精神薬取締法（昭和28年３月17日法律第14号）」に従った管理を行なうものとする。なお、保管時に異常が認められた場合には調査職員に報告するほか関係機関に届け出るものとする。

第42条　向精神薬、劇薬、劇毒物の保管

事業者は向精神薬、劇薬、劇毒物の保管にあたっては、獣医師により以下に従い適正に保管するものとする。

１）夜間、閉園日及び保管者が不在の時は施錠するものとする。

２）向精神薬、劇薬、劇毒物は他の物と区別して施錠し保管するものとする。

３）薬品庫は用途別に分類して保管するものとする。

４）薬剤を廃棄する場合は産業廃棄物の医療廃棄物処理業者による廃棄を行なうものとし、その場合はマニフェスト票を５年間保管するものとする。

５）薬剤の使用は診療簿等に記録するものとする。

第43条　放射線関係の管理

事業者は放射線関係の管理にあたっては、以下に従い実施するものとする。

１）Ｘ線診療室である表示を行ない、Ｘ線装置については定期的に検査を行ないその結果は５年間保管するものとする。

２）Ｘ線を使用する時は充分な防護を行ない、被曝を防ぐものとする。

３）Ｘ線を使用する時は線量計を携帯し、使用線量の記録を行なうものとし、その記録は５年間保管する。

４）Ｘ線関係の物（現像液、フィルム等も含む）を廃棄する場合は産業廃棄物の医療廃棄物処理業者による廃棄を行なうものとする。その場合マニフェスト票は５年間保管するものとする。

第６章　雑則

第44条　法律等に基づく申請

事業者は動物愛護及び管理に関する法律及び施行規則に基づく申請が必要となる場合は、速やかに調査職員に必要な書類と記載すべき内容について報告するものとする。

第45条　動物管理センターの立入検査等の対応

事業者は動物管理センターへ特定飼養動物の保管についての申請を行った場合若しくは動物愛護及び管理に関する法律に基づき動物管理センターより立入検査の求めがあった場合には、事業者は真摯に対応するものとする

第46条　日動水協への加盟

事業者は動物の森を円滑に管理運営する為に日動水協へ加盟するものとする。

第47条　余剰動物の交換について

事業者は動物の森の動物を良好な状態に保つ為、繁殖しすぎた動物や喧嘩等を起こす動物について日動水協に加盟している団体又はそれに準じた団体と動物の交換の必要が生じた場合は、調査職員を通じ総括責任者より国事務所長に対しての協議文書を提出し同意を得た上で、交換を行うものとする。なお、交換する際の相手方から搬入される動物については、当動物の森の展示や繁殖に必要な動物とするものとする。但し、交換にあたっては、当動物の森より搬出する動物の評価額と等価交換を原則とする。

第48条　動物の繁殖貸与（ﾌﾞﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾛｰﾝ）契約について

事業者は動物の種の保存の観点から、日動水協に加盟している団体又はそれに準じた団体より繁殖貸与契約の依頼があった場合又は「動物の森」で日動水協に加盟している団体又はそれに準じた団体の所有する動物が繁殖で必要となる場合は、繁殖貸与契約に必要となる事項を取りまとめた繁殖貸与契約書（案）を作成の上、契約書（案）を付した協議書を調査職員を通じ管理センター長より国事務所長に対して提出し同意を得た上で相手方との契約を締結するものとする。

第49条　台帳登録動物以外の動物の導入について

事業者は国の台帳に登録され飼育を義務づけられている動物以外を動物の森に持ち込む際は、調査職員と協議の上、その指示に従うものとする。

別紙 12

H28-31

国営海の中道海浜公園運営維持管理業務

収益施設等管理運営規定書

平成 27 年 7 月

九州地方整備局

目次

はじめに

第１編 国営海の中道海浜公園収益施設等管理運営共通規定書

第１章 総則 3
第２章 マネジメント（運営管理） 22
第３章 ホスピタリティ（施設利用者対応） 28
第４章 安全衛生管理 30
第５章 施設管理 39
第６章 財産管理 41

第２編 国営海の中道海浜公園収益施設等管理運営個別規定書　収益事業編

第１章 駐車場 44
第２章 レンタサイクル施設 49
第３章 飲食・物販施設 55
第４章 デイキャンプ場 60
第５章 サンシャインプール 66
第６章 自動販売機 81
第７章 小型遊戯施設 84
第８章 園内交通施設 89

第３編 国営海の中道海浜公園収益施設等管理運営個別規定書　自主事業編

第１章 自主事業 95
第２章 自主事業における行催事・広報 96
第３章 臨時駐車場 98
第４章 臨時飲食・物販施設の運営 101

はじめに

国営海の中道海浜公園収益施設等管理運営規定書（以下「本規定書」という。）は、国営海の中道海浜公園（以下「本公園」という。）の一元的な運営維持管理を進めるにあたり必要な公園利用者サービス向上のための収益施設である駐車場、レンタサイクル施設、飲食・物販施設、デイキャンプ場、サンシャインプール、自動販売機、小型遊戯施設、園内交通施設の管理運営業務及び自主事業（自主事業における行催事・広報、臨時駐車場、臨時飲食・物販施設）の管理運営において、遵守すべき法令類や規範等の基本事項を取りまとめたものである。

本公園の運営維持管理業務を実施する事業者が独立採算で行う収益施設等管理運営業務の指針として、また許可申請時における管理運営要領、安全衛生管理計画及び自主事業計画書の作成に際して、本規定書を参考されたい。

第１編 国営海の中道海浜公園収益施設等管理運営共通規定書

第１章 総則

第１条 履行場所及び履行期限

１．履行場所

施設名称 国営海の中道海浜公園

所在地 〒８１１－０３２１　福岡県福岡市東区大字奈多～大字西戸崎

敷地面積　539.4ha 注）

注）対象地域は本公園の供用区域（臨時駐車場については、一部公園予定区域も含む。）であり、その面積は、平成27年6月現在293.5haである（うち収益施設許可面積251,282㎡（予定））。

■対象となる収益施設

公園施設の名称				許可予定面積（㎡）	備考
1	駐車場	①	西駐車場Ａ	34,825	
		②	西駐車場Ｂ	24,870	
		③	西駐車場Ｃ	16,289	
		④	海の中道駅口駐車場	18,464	
		⑤	ワンダーワールド口駐車場	14,000	
		⑥	光と風の広場駐車場	17,115	
2	レンタサイクル施設	①	西サイクリングセンター	785	
		②	ワンダーワールド口サイクリングセンター	184	
		③	駅口サイクリングセンター	142	
		④	光と風の広場口サイクリングセンター	296	
		⑤	港サイクリングセンター	295	
3	飲食・物販施設	①	子供の広場休憩所レストラン及び売店（ワンダーシャトル）	2,310	業務用駐車場含む
		②	大芝生広場レストハウス内売店	146	
		③	マリンワールド駐車場横売店	38	ﾊﾞｯｸﾔｰﾄﾞ倉庫含む
		④	アニマルミュージアムショップ（動物の森レストハウス内）	11	
		⑤	プール内売店Ａ	159	サンシャインプールの内数
		⑥	プール内売店Ｂ	80	
		⑦	プール内売店Ｃ	82	
4	デイキャンプ場	①	デイキャンプ場	12,767	サイト 40区画2,752m2 炊事棟 ２棟115m2/棟
		②	デイキャンプ場受付及び資材倉庫（光と風の広場管理棟内）	25	
		③	デイキャンプ場倉庫	43	
		④	デイキャンプ場駐車場	2,559	

5	サンシャインプール	①	プール、管理棟、ロッカー棟等	92,243	営業期間及びその前後の開設準備・撤去期間に限り収益施設として運営
6	自動販売機	①	清涼飲料水等　建物内　　14台	15	
		②	清涼飲料水等　屋外　　53台	83	
7	小型遊戯施設	①	Ｆ１バッテリーカー、ミニＳＬ、エジプト迷路、ゴーカート、日本の名車歴史館	13,279	
8	園内交通施設	①	園内交通車両、車庫、停留所	177	

※小数点以下は、四捨五入。
※期間限定の運営をする施設については、運営しない期間においても本規定書第 15 条に定める当該施設に係る施設使用料を納める必要がある。また、当該施設の管理についても施設等運営者において通年で実施すること。
※サンシャインプールの営業期間は、原則として７月第２土曜日・日曜日、７月第３土曜日から８月末まで、９月の土曜日・日曜日・祝日（９月最終土曜日・日曜日は除く）の公園開園日とする。
※小型遊戯施設は、落札予定者の決定後に九州地方整備局と現施設を運営するか否かを協議する施設とする。
※上記公園施設のほかに、平成 29 年度以降にリゾートエリアの特定公園施設（テニスコート等）が収益施設の対象となる場合がある。
※許可予定面積は、あくまで現行の面積を示したものであり、実際に許可を受ける面積については、施設等運営者は九州地方整備局と綿密な打合せを行い決定すること。
※当該施設の運営を行わない場合も、本管理運営規定書第 15 条に定める当該施設に係る施設使用料を納める必要がある。

２．履行期限

管理運営期間は、平成28年４月１日から平成32年１月31日までとするが、収益施設の現任施設等運営者あるいは収益施設の次期施設等運営者への引継ぎに際し、期間を変更することがある。ただし、期間の変更により発生する売上額の減少等損失について、九州地方整備局は補償しない。また、利用者の利便性の確保及び公園全体のマネジメントの観点から、期間変更時に収益施設の現任施設等運営者あるいは収益施設の次期現任施設等運営者の指示を受けることがある。

施設等運営者は、収益施設等管理運営業務（以下「本業務」という。）が適正かつ円滑に実施できるよう収益施設の現任施設等運営者から業務開始日までに必要な引継ぎを受け、開業に備えなければならない。

第２条 基本事項

本公園の一元的な運営維持管理を進めるにあたり必要な公園利用者サービス向上のための収益施設である駐車場、レンタサイクル施設、飲食・物販施設、デイキャンプ場、サンシャインプール、自動販売機、小型遊戯施設、園内交通施設の管理運営業務及び自主事業からなる本業務は、都市公園法第５条、第６条及び第12条の手続きを行った上で実施しなければならない。なお、小型遊戯施設は、運営を行うか否かについて、落札者の決定後に九州地方整備局と協議を行うものとする（詳細は第７章第84条による。）。

第３条 本業務の目的

１．本業務は、本公園内に設定された許可区域内の収益施設の管理運営を行うこと、また、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、独立採算による行う行催事や繁忙期における臨時

物販施設等の自主事業を行うことを目的とする。なお、本業務の実施に際して施設等運営者は、以下に掲げる本公園の設置目的や基本理念、計画理念、公園全体のゾーン構成、テーマを十分に理解した上で、本公園内で実施される他の維持管理業務と連携しながら、創意工夫やノウハウを積極的に発揮し、公園利用者及び施設利用者が求める多様なニーズに対して質の高いサービスの提供で応えることで、本業務の遂行に努めなければならない。

本公園の基本理念、計画理念、公園全体のゾーン構成、テーマ

１）基本理念

本公園では、以下の５つの計画理念のもとに総合的に整備、管理、運営を進めている。（別紙５「国営海の中道海浜公園運営維持管理基本方針」）

２）計画理念

計画理念１）広域生活圏居住者の日常及び週末あるいは滞在型のレクリエーション需要に対応するため、多様性、選択性に富んだ諸施設を配置する。

計画理念２）レクリエーション施設としては、自然に親しみ、休養を目的とするパッシブなレクリエーション面と、運動を目的とするアクティブな施設を選択、配置し、設計にあたっては総合的な土地利用を配慮して、既存集落、産業との調整を図りつつ地域の開発に寄与するものとする。

計画理念３）地区の風土を生かし、文化財の保護にも留意して特色ある設計を行う。

計画理念４）自然保全については園内における利用施設との調和はもちろん、良好なレクリエーション環境の育成のためにレクリエーション拠点の周辺には保全区域を配置する。

計画理念５）良好なレクリエーション環境を整備するため、街路、下水道等の基盤整備を配慮する。

３）構成ゾーン

「樹林とピクニックの広場」、「樹林と文化･いこいの広場」、「海辺といこいの広場」

４）テーマ

下記の３つのテーマを基調に、全体的な調和を図りながら、新たなランドスケープを創造し、一貫した統一体として有機的に機能させることを目指している。

(1)緑の樹林

(2)碧い海

(3)輝く太陽

第４条 用語の定義

本規定書にて使用する用語の定義は、次の各号に定めるところによる。

１）「九州地方整備局」とは、国営公園の管理主体者であり、H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務の発注である地方整備局長及び国営海の中道海浜公園事務所長のこと。

２）「収益施設」とは、利用料金の徴収や売上金を得て事業者の収入とするために事業者が実施する事業の対象となる施設であり、その使用に当たっては、都市公園法（昭和31年法

律第79号）第５条に基づく許可を受けた上で都市公園法施行令（昭和31年政令第209号）第20条に基づき、施設使用料を納めることが必要となる場合がある。

３）「自主事業」とは、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、九州地方整備局及び調査職員と事前に協議し、都市公園法（昭和31年法律第79号）第５条、第６条又は第12条に基づく許可を受けた上で、事業者の提案により土地使用料及び建物使用料を納めて独立採算により臨時の飲食・物販施設及び臨時駐車場の運営や行催事等を行う事業のこと。

４）「収益施設等」とは、上記２）及び３）を総称したもの。

５）「施設等運営者」とは、収益施設等の管理運営及び自主事業に関する許可を受けた事業者のこと。

６）「調査職員」とは、本規定書に定められた範囲内において、施設等運営者及び施設等運営者が指定する職員（施設担当責任者、収益施設等管理運営業務責任者及び同補助者）及び九州地方整備局と協議・調整等の職務を行う、九州地方整備局の指定する職員で、総括調査員、主任調査員及び調査員を総称していう。なお、施設等運営者には主として主任調査員及び調査員が対応することとなる。

７）「維持管理業務受託者」とは、H28-31国営海の中道海浜公園の運営維持管理業務を受託した事業者のこと。

８）「収益施設等管理運営業務責任者」とは、施設等運営者として本規定書第２編及び第３編に記載されている本業務全体を監理する者のこと。

９）「施設担当責任者」とは、施設等運営者として各収益施設を個別に監理する者であり、主に各収益施設等の利用指導や事故報告等を担当する業務従事者のこと。

10）「公園利用者」とは、有料区域・無料区域を問わず、公園を利用する者のこと。

11）「施設利用者」とは、収益施設等を利用する者のこと。

12）「許可区域」とは、本業務の管理運営を許可された範囲内のこと。

13）「管理施設」とは、許可区域内にある建築躯体及び建築設備等施設のこと。

14）「管理備品」とは、本業務の実施に必要な機器備品類で、あらかじめ許可区域内もしくは建築施設内に設置されているもののこと。

15）「特定施設・備品」とは、本業務の実施に必要な施設若しくは厨房器具、什器及び運営に必要な設備等機器備品類で、施設等運営者が持ち込んだもののこと。

16）「スタッフ」とは、施設等運営者が業務を履行するための職員、アルバイト、その他関係従事者をいう。

17）「管理物件」とは、別添１「公園平面図」に示す敷地及び附属設備を指す。なお、同敷地内であっても、第三者が持ち込み、または、管理許可を受け、もしくは占用している設備・機器、工作物等については、その対象から除外する。

18）「国事務所」とは、国土交通省九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所のこと。

19）「管理事務所」とは、別添３「提供建物一覧及び図面」のうち建築番号21に示す建築物を指す。

20）「管理センター」とは、管理事務所を拠点として国営海の中道海浜公園運営維持管理業務を遂行する組織のこと。

21）「指示」とは、本規定書の定めに基づき、九州地方整備局及び調査職員が施設等運営者に対し、本業務の実施上必要な事項について書面をもって示し、実施させること。

22）「承諾」とは、施設等運営者が書面によって申し出た業務遂行上必要な事項について、九州地方整備局若しくは調査職員が書面により同意すること。

23）「協議」とは、本規定書の協議事項及び九州地方整備局が指示する事項について、九州地方整備局若しくは調査職員と施設等運営者が対等の立場で合議し結論を得ること。

24）「確認」とは、本規定書に示された事項について、臨場若しくは関係資料によりその内容について本規定書との適合を判断すること。

25）「提出」とは、施設等運営者が九州地方整備局若しくは調査職員に対し本業務に係る書面またはその他資料を説明し、差し出すこと。

26）「報告」とは、施設等運営者が九州地方整備局若しくは調査職員に対し、事業の状況又は結果について知らせること。

27）「書面」とは、定められた様式または九州地方整備局若しくは調査職員が指示する様式による、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記載し、署名または押印したものを有効とする。

28）「利用料金」とは、収益施設等の使用やそれに伴うサービスの対価として、施設利用者から徴収する料金のこと。

29）「施設使用料」とは、都市公園法施行令（昭和31年政令第 290号）第20条に基づき、施設等運営者が九州地方整備局歳入徴収官に納める公園の土地または建物の使用にかかる料金のこと。

30）「建物使用料及び土地使用料」とは、本公園の土地または建物を使用して臨時的な飲食・物販施設等を設置する場合に、「行政財産を使用又は収益させる場合の取り扱いの基準について」（昭和33年蔵管第１号）に基づき九州地方整備局歳入徴収官から金額を通知し、施設等運営者が九州地方整備局歳入徴収官に納める料金のこと。ただし、公共性の高い行催事を国事務所との共催により行う場合は、建物使用料及び土地使用料は不要となる場合がある。

31）「修繕」とは、施設若しくは設備又は備品等の劣化した部分又は部材について、性能又は機能を原状あるいは事実上支障のない状態まで回復させること。

32）「軽微な修繕」とは、電球等の交換や壁紙の一部補修等、市販の交換品や補修材を使用して専門の業者に委託することなく対応可能な修繕行為のこと。

33）「改修」とは、施設の性能若しくは機能を従前より向上させる措置を行うこと。

34）「保守」とは、施設若しくは設備又は備品等の必要とする性能または機能を維持する目的で行う消耗品または材料の取り替え、注油、汚れ等の除去及び部品の調整等の軽微な作業を行うこと。

35）「点検」とは、施設若しくは設備又は備品等の機能及び劣化の状態を一つ一つ調べることをいい、機能に異常または劣化がある場合、必要に応じて対応処置を判断する事を含む。

36）「有償」とは、現施設等運営者と施設運営者の間で決定するものであるが、個々の特定施設・備品の購入価格から減価償却分を差し引いた価格を超えてはならないものとする。

37）「管理運営要領」とは、施設等運営者が九州地方整備局に対して業務内容（販売する商品、価格、サービス内容等）、詳細の営業期間・営業時間、業務の実施方針（料金等徴収の仕組み、臨時休業の判断等）、業務の実施工程（業務順序・手順等）、業務の実施体制、連絡体制（緊急時含む）等業務上必要と思われる内容を取りまとめたもの。

38）「安全衛生管理計画書」とは、施設管理に関わる事項（保守・点検、修繕方法等）、設備管理に関わる事項（保守・点検、修繕方法等）、従業員の衛生管理に関わる事項（接遇、身だしなみ等）、食品の安全衛生に関わる事項（賞味期限や保存方法等）、危機管理マニュアル（事故対応等）等安全衛生上必要と思われる内容を取りまとめたもの。

39）「必須」とは、原則として履行期間中は収益施設（場所・数含む）の管理・運営を義務付けるものである。

40）「裁量」とは、公園の開園日時内で収益施設（場所・数含む）の運営日時を事業者が設定し営業できるものである。

41）「関係機関」とは、本業務に関係する、警察、消防、行政等の機関を指す。

42）「特定公園施設等」とは、当公園内において九州地方整備局が都市再生機構や福岡市等に都市公園法５条に基づき設置及び管理を許可している公園施設のこと。該当する施設は、海の中道海洋生態科学館（マリンワールド）、ホテル（ザ．ルイガンズ．）、海の中道マリーナ、テニスコート、青少年海の家である。

43）「特定公園施設管理者等」とは、特定公園施設等の管理者及び運営者のこと。

第５条 許認可申請等

１．施設等運営者は、九州地方整備局に都市公園法第５条、第６条又は第12条に基づく許可申請を行うものとする。基本的には、「H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項 ４．入札に参加する者の募集に関する事項」に基づき提案される「収益施設運営計画書」及び本運営規程書に記載されている条件によるものとする。ただし、申請された事業内容が本公園の利用にふさわしくない場合等、その実施を許可しない場合がある。

なお、臨時売店、臨時駐車場及び自主事業における行催事・広報等については、本規定書第３編に基づいて九州地方整備局より許可された内容（設置場所・設置期間・販売品目・価格等）に限り、営業できるものとする。

２．間取りの変更や増築等面積の変更、建物躯体に影響を及ぼす造作等大規模な改修等、許可の変更を要する場合は、九州地方整備局と協議の上、管理許可の変更申請を行う。さらに、業務を完了する場合は廃止に係る手続きを行うものとする。なお、年度途中において管理許可の面積が増えた場合においては、増えた面積分の使用料（日割り計算した額）を支払うこととなるが、年度途中に管理面積の減及び業務完了を行うこととなった場合は、使用料の返還は行わないものとする。

３．施設等運営者は、収益施設等事業を円滑に運営するために管理施設とは別にセンター機能を管理事務所内に設置できるものとする。なお、設置にあたっては、九州地方整備局の許可を受けるものとし、必要な管理面積分の使用料等を支払わなければならない。また、設置する場所等により光熱水費等も支払うこととなる場合があるので、事前に調査職員と綿密に

調整すること。

４．施設等運営者は、施設の模様替え等を行う場合は、事前に調査職員と協議した上で、九州地方整備局に書面により届け出て許可を得ること。

５．施設等運営者は、実施する事業に係る許認可等各種法令で必要な許可の取得や届出については、所定の期日までに施設等運営者の責任で行うものとする。また、業務を完了する場合は、廃止に係る手続きを行うものとする。

第６条 法令等の遵守

施設等運営者は、業務の履行に当たり本規定書及び九州地方整備局の指示に従うほか、法令の規定を遵守しなければならない。

第７条 準拠規定

本業務の遂行にあたっては、次の各号に掲げる基準等に準拠する。

１）都市計画法
２）都市公園法
３）自然公園法
４）森林法
５）森林病害虫等防除法、その他松くい虫防除に関する関係法令等
６）景観法、屋外広告物条例
７）国有財産法、会計法、会計検査院法、国の債権管理等に関する法律
８）遺失物法
９）個人情報の保護に関する法律
10）行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律
11）行政機関の保有する情報の公開に関する法律
12）労働基準法、労働安全衛生法、パートタイム労働法
13）雇用保険法
14）労働者災害補償保健法
15）健康保険法
16）施設維持、設備保守点検等に関する法律
（１）建築基準法
（２）電気事業法
（３）水道法、下水道法
（４）消防法
（５）建築物における衛生的環境の確保に関する法律及び建築物環境衛生管理基準(厚生労働省)
（６）容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律
以上のほか、施設維持管理及び設備保守点検等に関する関連法規
17）都市公園における遊具の安全確保に関する指針及び遊具の安全確保に関する規準（ＪＰ

ＦＡ-Ｓ：２００８）

18）工事に関する法規及び規定

（１）建設業法

（２）建設産業における生産システム合理化指針（平成３年）

（３）建設工事に係る資材の再資源化に関する法律

以上のほか、工事に関する関連法規。

19）競争の導入による公共サービスの改革に関する法律

20）動物管理及び自然環境保護に関する法規･基準

（１）動物の愛護及び管理に関する法律

（２）博物館法

（３）絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律

（４）文化財保護法

（５）獣医師法

（６）獣医療法

（７）鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律

（８）感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

（９）家畜伝染病予防法

(10) 牛海綿状脳症対策特別措置法

(11) 口蹄疫対策特別措置法

(12) 口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針、口蹄疫防疫措置実施マニュアル

(13) 動物展示施設における人と動物の共通感染症対策ガイドライン

(14) 動物由来感染症ハンドブック及び関係するガイドライン

(15) 薬事法

(16) 農薬取締法

(17) 麻薬及び向精神薬取締法

(18) 毒物及び劇物取締法

(19) 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律

(20) 「環境省レッドデータブック」ほか希少動植物に関する基準

(21) 水質汚濁防止法

(22) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(23) 大気汚染防止法

(24) 騒音規制法

(25) 振動規制法

(26) 福岡県レッドデータブック

以上のほか、動物及び自然環境保護に関する関連法規

21）公園のバリアフリー化に関する法規・基準

（１）高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律

（２）高齢者、身体障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律

（３）移動等円滑化促進に関する基本方針

（４）都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン

（５）移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令

（６）福岡市「福祉のまちづくり条例」

（７）公園のユニバーサルデザインマニュアル（財団法人　都市緑化技術開発機構　公園緑地バリアフリー共同研究会編）

以上のほか、施設のユニバーサルデザインに関する法規・基準

22）公共の施設として遵守すべき法規・基準

（１）健康増進法

以上のほか公共の施設として遵守すべき関連法規

23）公園運営の指針とすべき基準類

（１）国営海の中道海浜公園整備プログラム

（２）平成21年度　環境共生の森等の維持管理・運営計画策定外業務報告書及び資料編

（３）平成22年度　松林保全再生調査その他業務報告書

（４）昭和51年度に策定した植栽計画の方針、平成19年度に策定した植栽更新･管理計画

（５）国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領

（６）国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領の細目

（７）園内におけるロケーション等の許可に関する要領

（８）国営海の中道海浜公園　野外劇場利用及びコンサート等の許可に関する要領

（９）国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則

(10)「遊泳用プールの衛生基準について」（平成19年５月28日健発第0528003号厚生労働省健康局長通知）

以上のほか公園運営に関する指針及び基準類

24）印紙税法、消費税法等税制に関する法律

25）プールの安全標準指針（文部科学省、国土交通省）

26）福岡県プール衛生指導要綱

27）旅館業法

28）風俗営業法

29）公園運営の指針とすべき関係仕様書類

施設の維持補修にあたり、利用者の安全な利用および国有財産の適切な管理を行ううえで配慮が必要な施設については、以下の仕様等に基づき施工すること。

(1) 土木工事共通仕様書（九州地方整備局ホームページ・建設情報に掲載）

(2) 公共建築工事標準仕様書　建築工事編

(3) 公共建築工事標準仕様書　電気設備工事編

(4) 公共建築工事標準仕様書　機械設備工事編

(5) 電気通信設備工事共通仕様書

(6) 機械設備工事標準仕様書

(7) 設計業務等共通仕様書（九州地方整備局ホームページ・建設情報に掲載）

(8)土木請負工事必携（九州地方整備局ホームページ・建設情報に掲載）
(9)土木工事施工管理の手引き（九州地方整備局ホームページ・建設情報に掲載）
(10)電気設備に関する技術基準を定める省令
(11)建築保全業務共通仕様書及び同業務報告書作成の手引き
(12)国土交通本省委託契約取扱要領（別添２）
(13)国営海の中道海浜公園マニュアル（調査職員より貸与）
(14)その他国営海の中道海浜公園関連資料
(15)食品衛生法、福岡市食品衛生条例、福岡県食品衛生法施行条例、福岡県食品取扱条例及び同施行規則、特殊形態営業に関する取扱要領の改正について（福岡県通知）
(16)個人情報の保護に関する法律(平成15年５月30日法律第57号)
(17)国有財産法、会計法、会計検査院法、国の債権管理等に関する法律
(18)原状回復をめぐるトラブルとガイドライン（改訂版）（国土交通省住宅局住宅総合整備課）
(19)その他、関係諸法令

第８条 施設等運営者の義務

１．施設等運営者は、常に公園利用者及び施設利用者の安全に配慮するとともに、施設等運営者の責任において常に施設を含む周囲の観察を行い、本業務について善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。なお、異常を確認した場合、速やかに九州地方整備局に報告しその指示に従うものとする。
２．施設等運営者は、施設が国営公園内にあることを鑑み、その公共性に十分配慮すると共に、本公園設置の意義を踏まえて行動すること。
３．収益施設の適正な管理を保持しつつ、施設の管理運営に際して創意工夫やノウハウを積極的に発揮し、本業務の遂行に努めなること。
４．繁忙日及び行催事開催日等には、臨時駐車場の確保や駐車場の早期開場及び閉場時間の延長、プール送迎用等の臨時シャトルバスの運行等も含めて収益施設等の運営を行うこと。
５．施設等運営者は、九州地方整備局が行う安全管理行為（例：緊急安全点検、防災訓練、安全パトロール、消防訓練等）への参加・協力・実施等、九州地方整備局の求めに応じて、積極的に協力しなければならない。
６．施設等運営者は、九州地方整備局が行う各種会議等（例：別添６「海の中道海浜公園管理運営委員会規約」に基づく会議、公園に関する会議、監査・検査、視察、式典等）への参加・協力・実施、行催事開催時に営業時間の変更等を行うこと、要人案内等、九州地方整備局や維持管理業務受託者の求めに応じて、積極的に協力すること。
７．施設等運営者は、調査職員から公園に関する調査、または作業の指示等があった場合には、迅速、誠実かつ積極的な対応を行うこと。
８．管理運営要領の策定及び管理運営に際して、本公園内の特定公園施設管理者等や維持管理業務受託者と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行いつつ実施しなければならない。
９．別添13「国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領」、別添14「国営

海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領の細目」及び別添15「国営海の中道海浜公園　園内業務における車両通行規則」を遵守し、収益施設等の運営にあたること。

10. 施設等運営者は、本業務の実施にあたって、常に九州地方整備局と密接な連絡をとり、本業務の目的の達成を図るものとする。

11. 本公園の整備・管理の工事等が収益施設等の運営に影響を及ぼす場合又は、影響を及ぼす恐れがある場合は調査職員と該当する収益施設等の運営について綿密に協議すること。

第９条 安全管理

１）本業務の実施にあたっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ、事故を防止しなければならない。

２）施設若しくは許可区域内において、公園利用者及び施設利用者に危険が及ぶ恐れのある障害が発生した場合は、危険防止に必要な措置を調査職員に書面により報告の上講じ、事故の発生を防止しなければならない。

３）公園内での車両の運転については別添15「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」に基づいた許可書を前面に掲示し、別添15「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則及び公園内車両通行及び作業心得について」を遵守して走行するものとする。また、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならない様、必要に応じ誘導員を配置するか、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

４）公園利用者や施設利用者に対する安全確保上必要があると判断される作業実施時に作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示すること等、施工中は安全管理を徹底し、公園利用者及び施設利用者の安全を十分確保するものとする。

５）作業中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しないように注意するものとする。

第 10 条 景観への配慮

施設等運営者は、収益施設の運営、特に飲食施設や物販施設の運営においては、施設周辺の景観を阻害することのないよう、景観への配慮に努めなければならない。

第 11 条 九州地方整備局と施設等運営者の責任分担

本業務を実施するにあたり、九州地方整備局と施設等運営者の責任分担を下表「責任分担一覧」のとおりとする。ただし、「責任分担一覧」に定める事項に疑義が生じた場合、又は、「責任分担一覧」に定めのない事項については、九州地方整備局と施設等運営者の間で十分に協議のうえ決定するものとする。

九州地方整備局と施設等運営者の責任分担一覧

項目	内容	九州地方整備局	施設等運営者
収益業務管理	収益行為全般		○
収益施設管理	供用区域内の管理施設、管理備品の管理		○
苦情・要望対応	施設管理運営業務内容に対する施設利用者からの苦情、訴訟、要望への対応		○
	上記以外の場合	○	
事故・災害時対応	管理運営要領に記載された業務内容による対応		○
	施設等運営者の責めに帰する事由により発生した事故責任とその対応	○※1	○
	上記２項目以外の場合	○	
運営日時の変更	施設の運営日時の変更に伴う経費の増減		○
施設・物品等の修繕	施設等運営者の責めに帰すべき事由による場合（施設等運営者による管理が不適切なために修繕が必要になった場合も含む。）		○
	収益施設の建物の構造に関わる部分を除く修繕にかかる費用及び特定施設・備品の修繕及び更新にかかる費用		○
	上記２項目以外の場合	○	
不可抗力	大規模な自然災害等の不可抗力により著しい損害を受けた場合に、施設を一時休止するなどして行わなければならない施設、設備等の復旧等	○	○※2
	大規模な自然災害等に起因して施設の営業を一時休止する場合に発生する営業損失		○
公園利用者及び施設利用者への損害	施設等運営者の責めに帰すべき事由により、公園利用者及び施設利用者に損害を与えた場合（施設等運営者の不適切な施設管理による公園利用者及び施設利用者の怪我等）		○
	共通仕様書第 34 条の保険の付保に係る場合		○
	上記以外の場合	○	
九州地方整備局又は第三者への損害	施設等運営者の責めに帰すべき事由により、九州地方整備局又は第三者に損害を与えた場合		○
	上記以外の場合	○	
第三者との紛争	施設等運営者と第三者との間で生じた紛争の解決		○
	上記以外の場合	○	

※1 事故の処理にあたり、必要のあるときは、九州地方整備局は施設等運営者に協力する。
※2 収益施設等に関する備品及び施設等運営者が用意した施設、設備等を対象とする。

第 12 条 公租公課

１．施設等運営者は、厨房器具及び運営に必要な設備等を管理施設に新たに設置等により賦課される不動産取得税、固定資産税、都市計画税、償却資産税その他の公租公課について全て施設等運営者の負担とする。

２．施設等運営者は、地方税法第73条第７項（不動産取得税の納税義務者等）に定める手続き等、施設等運営者の賦課資産に係る公租公課の分離手続について九州地方整備局に協力するものとする。

第 13 条 運営日時等

１．収益施設等の運営日時に関しては、本公園の公開日、公開時間に合わせ、個別施設の各章で定める運営日時を基に別に定めることを原則とするが、運営方法の内容によっては九州地

方整備局との協議の上、当該運営日時を変更して運営することができる。（下記を参照）。

公開期間、公開時間

公開期間	公開時間
３月１日～１０月３１日	9:30～17:30 プール開園期間中（9月は除く）は9:00～18:30
１１月１日～２月末日	9:30～17:00

※休園日は12月31日～1月1日、2月の第一月曜日及びその翌日。

※繁忙期、イベント開催時等においては、事業者が九州地方整備局に協議し、同意を得た上で、開園時間の変更を行うことができる。

なお、以下のとおり無料入園日を設けることとし、当該年度の日付は１ヶ月前までに通知する。

○　春の都市緑化推進運動／４月１日～６月３０日【期間中１日】

○　秋の都市緑化月間／１０月１日～１０月３１日【期間中２日】

○　みどりの日／５月４日【１日】

○　児童福祉週間／５月５日【１日】 ※小学生若しくは中学生又はこれらに相当する者のみ無料

○　敬老の日／９月第３月曜日【１日】 ※満６５歳以上の者のみ無料

２．九州地方整備局が、天変地異、社会的又は経済的環境の著しい変化及び公園管理上の理由その他やむを得ない事由により、施設等運営者に対し一時休業若しくは営業廃止又は営業時間の変更を指示したときは、施設等運営者は異議を申し立てることはできないものとする。

３．九州地方整備局は、前項の規定により施設等運営者が一時休業若しくは営業廃止または営業時間の変更を行ったことによる損害について、その補填の責任は負わないものとする。

第 14 条 提供品目及び利用料金

１．飲食・物販施設において提供・販売しようとする品目を定めるにあたっては公園利用者の要望等配慮して定めるものとする。

２．各施設の利用料金については、駐車場及びレンタサイクル施設は九州地方整備局の指定する料金を上限とし、社会的に理解が得られる料金設定とする。その他の収益施設の料金設定等については、九州地方整備局との協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支バランスを鑑みながら、市場価格に準じて定める。

なお、施設等運営者は管理運営要領、安全衛生管理計画書及び自主事業計画書にて定めたサービス内容及びその価格等に関して変更を希望する場合は、事前に九州地方整備局と協議を行い、その結果に基づき変更した管理運営要領、安全衛生管理計画書及び自主事業計画書を九州地方整備局及び調査職員に提出し、承諾を得なければならない。

３．施設等運営者が、本規定書に基づき収益施設等の管理運営を行うにあたっては、利用料金を施設利用者の見やすいところに表示しなければならない。ただし、利用料金が既に販売商品等に表示されていて、その価格が一般的に知られているものについては、この表示を省略することができる。

第 15 条 国有財産の施設使用料

１．施設使用料の定めがある施設について

毎月の施設使用料については、歳入徴収官九州地方整備局総務部長が発行する納入告知書により、当月分を指定期日までに納入しなければならない。

指定期日までに施設使用料を支払わないときは、その翌日から納入の日までの日数に応じ、年５％の割合で計算した金額を延滞金として支払わなければならない。

九州地方整備局は、経済情勢の変動その他の事情の変更に基づいて特に必要のあると認める場合には、施設使用料を改定することができる。

なお、風水害その他の事業者の責に帰することが出来ない事由により、長期間閉園が生じた場合の施設使用料の取扱については、九州地方整備局と施設等運営者の間で協議するものとする。

■施設使用料（現時点の目安）

公園施設の名称	税込み施設使用料（千円／年）
国営海の中道海浜公園収益施設　１式	約 40,000

※面積等条件の変更により金額は増減する可能性がある。

【施設使用料の定めがある施設】

公園施設の名称			
1	駐車場	①	西駐車場Ａ
		②	西駐車場Ｂ
		③	西駐車場Ｃ
		④	海の中道駅口駐車場
		⑤	ワンダーワールド口駐車場
		⑥	光と風の広場駐車場
2	レンタサイクル施設	①	西サイクリングセンター
		②	ワンダーワールド口サイクリングセンター
		③	駅口サイクリングセンター
		④	光と風の広場口サイクリングセンター
		⑤	港サイクリングセンター
3	飲食・物販施設	①	大芝生レストハウス内売店
		②	マリンワールド駐車場横売店
		③	アニマルミュージアムショップ（動物の森レストハウス内）
		④	子供の広場休憩所レストラン及び売店（ワンダーシャトル）
4	デイキャンプ場	①	デイキャンプ場
		②	炊飯棟（２棟）
		③	デイキャンプ場受付及び資材倉庫（光と風の広場管理棟内）
		④	デイキャンプ場倉庫（１棟）
		⑤	デイキャンプ場駐車場
5	サンシャインプール	①	プール、管理棟、ロッカー棟等
6	自動販売機	①	清涼飲料水等　建物内（14 台）
		②	清涼飲料水等　屋外　（53 台）
7	小型遊戯施設	①	Ｆ１バッテリーカー、ミニＳＬ、エジプト迷路、ゴーカート、日本の名車歴史館
8	園内交通施設	①	車庫

※施設利用料は「行政財産を使用または収益させる場合の取扱いの基準について」（Ｓ33.1.7蔵管第1号）に基づいて算定する。

※施設等運営者の企画提案等により、収益施設の運営日時を変更した場合であっても、施設使用料の減額は行わない。

※小型遊戯施設は、落札者決定後の九州地方整備局との協議により運営することとなった場合に加算される。

２．許可申請毎に納入すべき施設

施設等運営者は、施設使用料の定めのない土地または建物を使用する場合は、許可申請毎に占用面積及び期間に応じ告知する建物使用料又は土地使用料を歳入徴収官九州地方整備局総務部長が発行する納入告知書により、納入告知の日から20日以内に納入しなければならない。期日までに建物使用料又は土地使用料を支払わないときは、その翌日から納入の日までの日数に応じ、年５％の割合で計算した金額を延滞金として支払わなければならない。

九州地方整備局は、経済情勢の変動その他の事情の変更に基づいて特に必要のあると認める場合には、建物使用料及び土地使用料を改定することができる。

【参考：平成26年度実績の施設使用料について】

税抜き土地使用料（円／日・㎡）	税抜き建物使用料（円／日・㎡）
１．５３	３４．５

※１［建物の占用］及び［土地の占用で占用期間が１ヶ月を超えない場合］は、別途消費税が課される。
※２建物使用料及び土地使用料は、「行政財産を使用又は収益させる場合の取扱いの基準について」（S33.1.7蔵管第1号）に基づいて算定する。

第 16 条 経費等の負担

１．施設等運営者の負担範囲

１）通常の飲食・物販施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、運営に関する備品等（建物除く）の費用、許可区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備（プール付帯工作物含む）、軽微な修繕、管理備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修または改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。なお、委託費で購入した設備、備品及び消耗品等を本業務に使用することはできない。

２）施設等運営者が管理する収益施設に係る法定点検については原則施設等運営者が点検を行うものとし、九州地方整備局が実施する法定点検との役割分担について協議の上、実施時期を九州地方整備局に報告すること。点検結果については遅滞なく九州地方整備局に書面により報告すること。

３）上記以外に定めのない費用については、九州地方整備局と協議を行い、協議録を保管するとともに書面をもって負担等を定めるものとする。

２．光熱水費納付

１）基本料金

基本料金については、公園全体の従量料金に対する収益施設の従量料金等から九州地方整備局が負担金額計算を行い、施設等運営者が負担するものとする。

２）従量料金

水道及び電気料金については、個別にメーターを設置するなど、各施設の使用料が切り分けられるようにし、その計量により負担するものとする。ガス、その他メーターが設置できない場合は九州地方整備局と協議するものとする。なお、計算方法については変更する場合がある。

３．ごみ処分費用

ごみ処分費用については、施設等運営者と維持管理業務受託者との間で、発生量に応じて、応分の負担を行うこと。発生量等が不明確な場合は、九州地方整備局と協議するものとする。

４．費用分担における確認

光熱水費やごみ処分、さらにはこれら以外に九州地方整備局または維持管理業務受託者と施設等運営者との間で費用分担を行う場合にあっては、九州地方整備局と費用分担ルール及び費用分担結果の九州地方整備局との確認方法、並びに支払方法について協議すること。また、協議結果を書面にして残すこと。

第 17 条 コンプライアンス

１．守秘義務

１）施設等運営者、若しくはその職員その他の本業務に従事している者または従事していた者は、業務上知り得た秘密を漏らし、または盗用してはならない。これらの者が秘密を漏らし、または盗用した場合には、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号）第54条により罰則の適用がある。

２）九州地方整備局が定める情報のセキュリティに関する規定等がある場合は、それに沿って、情報管理を適切に行うこと。

２．個人情報保護

１）施設等運営者は、個人情報の保護の重要性を認識し、本業務における事務を処理するための個人情報の取扱いにあたっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年５月30日法律第58号）第６条第２項の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざんまたはき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

２）施設等運営者は、本業務における事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、または不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、または解除された後においても同様とする。

第 18 条 業務の再委託の禁止

１．施設等運営者は、業務を他の者に再委託してはならない。ただし、業務の一部を他の者に再委託する場合、あらかじめ書面により九州地方整備局の承諾を得たときは、この限りではない。ただし、事柄の性格上、自主事業については再委託の概念からは除外するものとする。

２．再委託を行う場合、書面により施設等運営者との契約関係を明確にしておくとともに、施設等運営者に対し、業務の実施について適切な指導、管理のもとに業務を実施しなければならない。

３．再委託を受けた業務受託者は、入札書の受領期限の日から開札の時までの期間に、九州地方整備局長から指名停止を受けていないこととする。

４．暴力団または暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有している者を、再委託を行う業務受託者としてはならない。

５．施設等運営者は、前項の規定により九州地方整備局が承諾した業務受託者が、その責めにより九州地方整備局に損害を及ぼしたときは、九州地方整備局に対して、その損害を賠償するものとする。

６．施設等運営者は、前項の規定により九州地方整備局が承諾した業務受託者が、その責めにより第三者に損害を及ぼしたときは、速やかに九州地方整備局に報告するとともに、第三者に対して、その損害を賠償するものとする。また、その結果については、書面により九州地方整備局に報告するものとする。

第 19 条 許可した目的以外の利用及び施設の転貸等の禁止

１．収益施設を運営するにあたっては、許可した目的以外の使用は禁止する。ただし、九州地方整備局が承諾したものについては、その限りではない。

２．施設利用者及び公園利用者に対する安全確保に反する行為をしてはならない。

３．施設等運営者は、施設の全部若しくは一部を第三者に貸与し、または担保に供してはならない。ただし、九州地方整備局に書面により承諾を得たときは、この限りではない。

４．施設等運営者は、本業務によって生じる一切の権利義務を他の者に譲渡し、または継承させてはならない。

第 20 条 業務の履行

１．管理許可条件に定める運営時間内での運用を休止させてはならない。但し、九州地方整備局の書面による承諾を得た場合はこの限りではない。

２．施設等運営者は、業務の履行期限（継続して、契約した場合は除く）または、契約が解除されるまでは、施設利用者に利便性を図るために本規定書、管理運営要領、安全衛生計画書及び自主事業計画書を維持することとする。

第 21 条 業務の解除

施設等運営者の責めに帰すべき事由により適正な収益施設の管理運営が困難となった場合またはその恐れが生じた場合においては、九州地方整備局は施設等運営者に対して改善勧告を行い、期間を定めて、改善策の提出及び実施を求めることができる。

この場合において、施設等運営者が当該期間内に改善することができなかったときには、九州地方整備局は都市公園法第５条２項の許可を取り消すことがある。また、運営維持管理業務の事業者の契約が解除された場合においても同様とする。

第 22 条 業務の完了・引継、原状回復等

１．施設等運営者は、施設等運営者の責めに帰すべき事由により、施設を汚損・破損若しくは滅失したとき、または九州地方整備局に無断で施設の原状を変更したときは、直ちにこれを原状に回復しなければならない。

２．施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）または、契約が解除された場合は、九州地方整備局及び新たな施設等運営者と十分に協議の上、書面をもって

下記事項について事務引き継ぎを行い、公園の管理に支障が生じないようにする。この際、施設等運営者が設置した特定施設・備品を撤去し速やかに管理物件を原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。ただし、原状回復することが不可能若しくは不適当な場合、九州地方整備局の書面による承諾を受けて原状回復せずに引き渡すことができる。

１）建物や関連設備の鍵の場所等、建物の管理に関する事項。

２）設備等設置における建物躯体や構造物への影響等に関して留意が必要な事項。

３）建物や設備等の老朽化等により、それら使用において、維持修繕上、留意が必要な事項。

４）継続的な地域連携イベント等において、運営日時の調整や臨時売店の設置、販売品目の変更、提供等を行うなど、主催者と連携、協力すべき事項。

３．前項ただし書きの適用がない場合において、施設等運営者が前項本文の原状回復を履行しないときは、九州地方整備局は施設等運営者が自ら整備した内装・設備等を放棄したものとみなし、現状を維持するかまたは施設等運営者の費用をもって原状回復を行うことができる。

４．不可抗力その他、九州地方整備局や施設等運営者の責めに帰することが出来ない事由により管理の継続が困難となった場合は、九州地方整備局と施設等運営者は管理の継続の可否について協議し、九州地方整備局が指示することとする。

第 23 条 立退料等の不請求

施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）または、契約が解除された場合、または不可抗力の場合は、九州地方整備局に対し施設等運営者の施設の買取または立退料等の請求若しくは施設等運営者が支出した有益費等を請求することができない。

第 24 条 保険の付保及び事故の補償

１．施設等運営者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法及び健康保険法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

２．施設等運営者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適切な補償をしなければならない。

３．施設等運営者は、火災保険、自動車任意保険、施設賠償責任保険（貸し自転車の運営に関するものも含む）、動産総合保険、生産物賠償責任保険の他、必要に応じて各種保険に加入するものとする。

４．１～３項に規定する保険料、補償費は、施設等運営者の負担とする。

第 25 条 情報公開

１．施設等運営者は、文書の開示等の情報公開については、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」（平成15年５月30日法律第58号）の規定に準じて取り扱うものとする。この場合、九州地方整備局の指示に従うこと。

２．施設等運営者は、九州地方整備局が会計法令に基づき実施する事業者に対する立ち入り検査、指示等監督・検査に対して、誠意を持って対応すること。

第 26 条 その他留意事項

本規定書に定めていない事項または疑義を生じた事項に関しては、必要に応じて、九州地方整備局の指示により、決定することとする。

第２章 マネジメント（運営管理）

第 27 条 基本事項

１．提出書類

１）収益施設等管理運営業務責任者は許可を受けた後に、九州地方整備局が指定した様式による関係書類を九州地方整備局に遅滞なく提出しなければならない。

２）施設等運営者が九州地方整備局に提出する書類で様式が定められていないものは、様式を作成後九州地方整備局に了解を得て提出するものとする。

３）業務報告書、経理状況に関する帳簿類及び国土交通省九州地方整備局が指示する記録は、調査員等の求めに応じて常に提出できるよう、個別に年度毎にファイルに取りまとめ、業務期間中は事業者において保存し、業務期間終了後は九州地方整備局へ引き渡すこと。なお、経理状況の帳簿類を引き渡した後に企業会計法上に基づく監査等で当該資料が必要となった場合に、書面（任意様式）により九州地方整備局に申し出た場合は、資料を貸与する。

２．連絡、協議

１）収益施設等管理運営業務責任者は、必要に応じて調査職員と連絡、協議等を行うこと。またその結果について、書面に記録し相互に確認しなければならない。

２）調査職員と収益施設等管理運営業務責任者は業務の方針及び条件等の疑義を正すものとし、その内容については相互に確認しなければならない。

３）施設の運営維持管理に係る各種規定・要項を作成する場合や、追加開園等により契約期間中に管理運営内容が変更する場合、さらにはその他新業務への対応が必要な場合は、九州地方整備局と施設等運営者の間で書面により調整または協議を行う。

４）不測の事態または疑問等が生じた場合は、速やかに調査職員と協議する。

３．報告事項

１）施設等運営者は、次の各号に掲げる事項について、九州地方整備局に書面により報告するものとする。

項目名	提出先	提出期限
収益施設運営計画書	九州地方整備局	契約締結の 14 日前まで
収益施設運営実績書書	九州地方整備局	業務完了時
管理運営要領及び安全衛生管理計画書	九州地方整備局	契約締結の 14 日前まで
管理運営報告書(月毎の売上高、施設利用者数等)	九州地方整備局	翌月の 10 日迄
自主事業計画書	九州地方整備局	業務履行開始日の14日前迄
収益施設等打合せ書	九州地方整備局	適宜・適切
施設保守定期点検等の実施結果報告	九州地方整備局	点検後速やかに
修繕履歴	九州地方整備局	指示に従う
その他九州地方整備局が指示するもの	九州地方整備局	指示に従う

第 28 条 業務実施体制

１．施設利用者に対して、安全・快適な利用サービスを提供するために、必要な資格等専門技

術・知識を有する職員を配置するなど本業務を適切に実施する業務実施体制を構築しなければならない。

２．本業務に加え、施設利用者の案内や苦情・要望、事故・災害等非常時における緊急対応が適切に行われるよう、管理体制を構築しなければならない。

３．本業務の企画立案及びマネジメントを担当する収益施設等管理運営業務責任者を配置しなければならない。

４．収益施設等管理運営業務責任者は、維持管理業務受託者が配置する総括責任者と兼務する場合、収益施設等管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分しなければならない。

５．営業期間中は、収益施設等管理運営業務責任者若しくはその補助者（業務に精通した者を補助者として定め）１名以上が勤務する体制とするものとし、緊急対応等を含め本業務が円滑かつ迅速に行われる体制をとること。

６．収益施設等管理運営業務責任者が、実施要項3.3 表8で定められた収益施設等管理運営業務責任者の要件について㋐又は㋑のいずれか一方のみを満たしている場合、収益施設等管理運営業務責任者とは別に、その満たしていない方の要件を満たす者を「業務責任者を補佐する者」として配置することとし、予め九州地方整備局の承諾を受けなければならない。

７．収益施設等管理運営業務責任者は、維持管理業務受託者と常に調整し、業務を遂行する。

１）調査職員について

① 九州地方整備局は、業務における調査職員を定め施設等運営者に通知するものとする。

② 調査職員は、本規定書に定められた範囲内において、九州地方整備局または、施設等運営者及び施設等運営者が指定するスタッフ（施設担当責任者、収益施設等管理運営責任者及び同補助者）収益施設等管理運営業務責任者に対し協議、調整等の職務を行う九州地方整備局が指定する職員で、総括調査職員、主任調査職員及び調査職員を総称していう。なお、収益施設等管理運営者には主として主任調査職員及び調査職員が対応する。

２）収益施設等管理運営業務責任者及び補助者について

① 施設等運営者は、業務における収益施設等管理運営業務責任者及び補助者を定め、九州地方整備局に通知するものとする。

② 収益施設等管理運営業務責任者及び補助者は、本業務について業務従事者が適切に管理運営を行うよう、指揮監督しなければならない。

３）適切な業務従事者の配置について

① 収益施設等管理運営業務責任者は、施設担当責任者及び業務従事者の手持ち業務量が適切となるよう配慮すること。

② 調査職員は、必要に応じて収益施設等管理運営業務責任者及び補助者、施設担当責任者及び業務従事者の経歴・職歴に関する事項について書面により報告を求めることができる。

第 29 条 許可、承諾等を要する事項

１．管理運営要領

1）施設等運営者は、別に定めがある場合を除き、契約締結の14日前までに収益施設運営計画書に基づく下記の項目を記載した管理運営要領及び安全衛生管理計画書を九州地方整備局に提出し、承諾を得るものとする。その際、管理運営要領及び安全衛生管理計画書は許可を受ける施設ごとに作成すること。なお、自主事業については、履行開始日の14日前までに管理運営要領及び安全衛生管理計画書と同様の内容を取りまとめた自主事業計画書を九州地方整備局に提出し承諾を得るものとする。

［管理運営要領の記載事項］

①業務内容（商品、価格及びサービス内容、行催事・広報等）

②詳細の営業期間・営業時間の設定

③業務の実施方針（料金等徴収の仕組み、臨時休業の判断等含む）

④業務の実施工程（業務の順序及び手順）

⑤業務の実施体制

⑥連絡体制(緊急時含む)

⑦その他（業務実施上必要と思われる事項）

［安全衛生管理計画書の記載事項］

①施設管理要領

②設備管理要領

③従業員衛生管理指導マニュアル（接遇、身だしなみ等を含む）

④食品の安全衛生規定

⑤危機管理マニュアル（災害・事故等発生時の行動マニュアル含む）

⑥その他（安全衛生上必要と思われる事項）

2）管理運営要領及び安全衛生管理計画書の策定にあたっては、維持管理運営の実務に通じた経験や知見、施設利用者からの意見・苦情・要望を踏まえた運営計画の変更の経緯、記録が確実に残る仕組みについて記載すること。

3）施設等運営者は、収益施設の維持管理運営業務を通じた経験や知見、施設利用者からの意見・苦情・要望に基づく対応による修正が必要と判断した場合は、調査職員と協議の上、九州地方整備局に変更した管理運営要領及び安全衛生管理計画書を提出し、許可を得ること。

2．管理運営報告書

1）施設等運営者は、毎年度決算終了後、速やかに、九州地方整備局に決算に関する報告書を提出すること。その際、報告書は施設毎に作成し、運営維持管理業務と明確に区分して整理すること。

2）施設等運営者は、毎月の売上その他の営業に関する状況を翌月10日までに書面により九州地方整備局に報告すること。

3）経理状況に関する帳簿類は常に整理し、九州地方整備局からこれらに関する報告や実施調査を求められた場合には、速やかに調査職員の指示に従い、誠実に対応すること。

4）九州地方整備局は、実施調査の結果、必要と認める場合には、施設等運営者に対し改善を求めることができる。

3．施設の修繕等

1）施設等運営者が、収益施設等の模様替え等の工事を実施する場合は、その内容、時期等の情報について事前に九州地方整備局に書面により届出て許可を受けるものとする。ただし、施設利用者の安全確保などの観点から緊急を要する修繕については、この限りではない。

2）施設等運営者が、必要に応じて管理施設の間取りの変更や建築構造躯体に対して穿孔、開口、留め付け等を伴う設備工事等を実施する場合は、事前に九州地方整備局と書面により協議し、承諾を得なければならない。変更の際も同様である。

3）施設等運営者が、施設の管理運営上必要に応じて厨房器具及び運営に必要な設備等を管理施設に新たに設置する場合には、九州地方整備局と事前に書面により協議し、承諾を得なければならない。

4）施設等運営者は、厨房器具及び運営に必要な設備等を管理施設に新たに設置することに伴い九州地方整備局または第三者に及ぼした損害を賠償しなければならない。

5）施設等運営者は、九州地方整備局の承諾を得て施設に付加した機械等の設備、間仕切り、建具その他の造作等について、買取請求を行わないものとする。

6）施設等運営者は、上記１）及び２）で修繕等を実施した場合には、各施設毎に修繕履歴（修繕日、修繕内容、修繕費用等）を作成し、業務終了時又は調査職員から提出を求められた場合には速やかに提出しなければならない。

4．価格・サービス内容の決定・変更

施設等運営者は、管理運営要領にて定めたサービス及びその価格に関して変更を希望する場合は、事前に九州地方整備局と協議を行い、その結果に基づき変更した管理運営要領を九州地方整備局に提出し、承諾を得なければならない。

5．施設等運営者の変更

新たな施設等運営者の追加等による管理運営要領の変更を行う場合、書面により同施設等運営者との契約関係を明確にしておくとともに、同施設等運営者に対し業務の実施について適切な指導、管理のもとに業務を実施しなければならない。

6．広告物の掲出

施設等運営者は、広告物を掲出しようとするときは、広告物の内容及び掲出場所等についてあらかじめ九州地方整備局に書面により協議し承諾を得るものとする。

① 収益施設等の運営に関して、通常業務の運営や店舗位置への案内誘導、企画商品等の販売促進を目的とする張り紙、張り札、広告旗、立看板、広告幕等を設置する場合は、公園の美観を損なわず、また他の本公園に関する看板類等に比して目立ちすぎないよう、その形状・大きさ、色彩において十分留意すること。あわせて、本公園の施設であることを明示すること。

なお、企画商品等の企画名称等に本公園の名称・ロゴ等を使用する際は、事前に九州地方整備局の許可を得るものとする。

② 収益施設等の運営に関して、協賛企業から協賛金を募って企画商品の販売や協賛での行催事等を実施する際、その販売促進を目的とする協賛企業の名称等を張り紙、張り札、広告旗、立看板、広告幕等に表示することはできるが、前項同様、公園の美観を損なわず、

その形状・大きさ、色彩において十分留意すること。

③　施設等運営者は、事前に九州地方整備局の承諾を得た上で、協賛企業に自己の協賛内容を広報宣伝させることができる。

④　施設等運営者は、事前に九州地方整備局の承諾を得た上で、自らが作成する企画商品や協賛での行催事等に関するポスター、パンフレット、スタッフジャンパー等に、協賛企業の名称等を表示することができる。

7．施設等運営者のその他提出義務

施設等運営者は、下記の項目の一に該当するときは、直ちにその旨を九州地方整備局に書面により提出しなければならない。

①　施設等運営者が、主たる事務所の所在地又は名称を変更したとき。

②　施設が損傷、破損又は滅失したとき。

③　施設内で事故等が発生したときまたはそのおそれがあるとき。

④　施設等運営者が、強制執行・仮差押え・仮処分若しくは競売の申立てを受けたとき。

⑤　施設等運営者に対して破産の申立て、または更生手続き開始の申立て若しくは民事再生手続き開始の申立てがあったとき。

第 30 条 その他の協議・報告等

施設等運営者は、公園の管理運営等で必要な協議を適切に行い、結果等については、遅滞なく書面により報告しなければなければならない。

1）関係機関等との協議。

2）その他施設の運営者との協議。

第 31 条 官公署への連絡、届出

施設等運営者は、官公署への連絡、届出手続きは九州地方整備局に協力し、遅滞なくこれを処理する。また、施設等運営者による工事等によって官公署への連絡、届出が必要となるときは施設等運営者において行う。

第 32 条 別途工事等との調整

国が別途発注する工事または別途業務（法定点検業務等）の実施にあたり、施設等運営者は、調整等に協力する。また計画停電を伴う工事や点検を実施する際には、その対応については、調査職員と調整すること。

第 33 条 記録の保存

業務報告書、経理状況に関する帳簿類及び九州地方整備局が指示する記録は、調査員等の求めに応じて常に提出できるよう、個別に年度毎にファイルに取りまとめ、業務期間中は事業者において保存し、業務期間終了後は九州地方整備局へ引き渡すこと。なお、経理状況の帳簿類を引き渡した後に企業会計法上に基づく監査等で当該資料が必要となった場合に、書面（任意様式）により九州地方整備局に申し出た場合は、資料を貸与する。

第 34 条 再調査等の依頼

九州地方整備局は、施設等運営者からの報告等に疑義を生じた場合、再調査を依頼しより詳細な報告等を求めることができる。

第３章 ホスピタリティ（施設利用者対応）

第 35 条 基本事項

１．本業務は、施設利用者に直接、接する業務であり施設利用者が快適に楽しめるよう心がけ不快と感じさせるような身だしなみ、行動、言動とならないよう心がけるものとする。

２．業務遂行にあたっては、常に公平なサービスの提供に努め、特定の個人や団体に有利あるいは不利な扱いとならないようにすること。

３．業務従事者の服装、作業用機械、器具、車両等については、本公園にふさわしいものとし、イメージアップに心掛けるものとする。

４．全ての業務従事者について、名札を作成し着用すること。

５．作業にかかる車両や商品納入車両の乗り入れについては、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。併せて公園利用者の安全と快適な利用を妨げない運転・駐停車・作業態度等に努めるとともに、「国営海の中道海浜公園園内業務における車両通行規則」基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、「国営海の中道海浜公園園内業務における車両通行規則」及び「公園内車両通行および作業心得」を遵守して走行するものとする。車両の運転については、公園利用者及び施設利用者の安全確保を第一として必要に応じ誘導員を配置するとともに、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

第 36 条 施設利用者対応

１．園内の概要や開催するイベント等の基本情報を収集し、公園利用者及び施設利用者の問い合わせに対応すること。問い合わせの内容に関して必要に応じて維持管理業務受託者等に確認または引き継ぐこと。

２．公園利用者及び施設利用者の苦情については、誠意を持って適切かつ迅速に対応し記録するとともに書面をもって報告すること。

３．園内掲示板、掲示物を適切に管理すること。

４．障がい者及び高齢者等から施設利用上の援助を求められた場合には、適切に対処すること。

５．団体での施設利用者の誘導、バス等車両の停車場所への誘導を行うものとする。

第 37 条 拾得物、残置物の処理

施設等運営者が、施設内で遺失物を発見した場合は、速やかに維持管理業務受託者へ届け出ること。

第 38 条 広報・広聴

１．施設等運営者は、収益施設において提供する商品やサービスに対する施設利用者の評価や注文書等意見などの聴取や記録に取り組まなければならない。

２．施設等運営者は、聴取や記録した施設利用者の評価や注文などの意見を季節毎（四半期毎）に集約し、その都度九州地方整備局に書面により報告し、その後の対応については調査職員等と協議すること。

3．施設等運営者は、施設の利用促進を目的としたホームページ及び本公園オフィシャルホームページへの掲載、ポスター、チラシ等の広報の展開に関する計画を、媒体毎に九州地方整備局と協議した上で策定し、それに基づき広報活動を行う。

4．施設等運営者がホームページによる情報発信を行う際、維持管理業務受託者が管理する本公園のホームページに設置管理許可書で許可を受けた運営業務の運営日時、基本提供サービス等基本的な運営業務内容については維持管理業務受託者が管理する本公園のホームページに掲載することは可能である。なお、本公園のホームページの運営管理及び更新等に係る費用については、維持管理業務受託者との間で費用按分を行う。

5．施設等運営者に所属する情報ネットワークのシステム管理者は、本公園ホームページ上で発信する情報について、別に定める「個人情報の取扱いについて」及び九州地方整備局が定めるプライバシーポリシーに基づいた適正な内容であることを事前に確認することとする。

6．施設等運営者に所属する情報ネットワークのシステム管理者は、情報（掲載する文書、図画、写真及び音楽など）における著作権等の知的所有権に配慮することとする。

7．施設に関するリンク先のホームページは原則として一つとする。ただし、それによりがたい場合は、別途協議によるものとする。

8．セキュリティレベルを確保するため、ホームページの作成・更新等に用いるパソコンや、データを保存するサーバー等のセキュリティ対策について、業務開始前に九州地方整備局と協議するとともに、年度末に実施状況を報告するものとする。

第 39 条 掲載情報の更新・修正・訂正

1．施設のホームページやポスター、チラシ等の広報の掲載情報については、常に新しい情報を掲載し更新に努めることとする。

2．施設等運営者に所属する情報ネットワークのシステム管理者は、個人に関する掲載情報について、本人または保護者から内容の訂正又は削除の要請を受け、必要と認めた場合には、訂正等の措置をとることとする。

3．施設等運営者は、施設のホームページであるとの誤解を与える内容の他のホームページを発見した場合には、九州地方整備局に報告をした上で、当該ホームページ管理者に対し訂正等必要な措置を求めることとする。

第４章 安全衛生管理

第 40 条 基本事項

１．安全管理

１）施設等運営者は、収益施設における施設利用者の安全確保並びに快適な利用を図る。

２）本業務の履行にあたり、適切な措置・対応を行うなど、施設等運営者の責任において常に善良なる管理を行うものとする。なお、九州地方整備局が定める公園利用規則等がある場合は、それに則った対応を図ること。

３）施設等運営者は、消防法等関係法令に準拠するほか、九州地方整備局が別途定める計画・規定等を遵守する。

４）施設等運営者は、施設を運営している期間中は毎月１回、施設の消防用設備等の自主検査を実施し、調査職員に報告するものとする。

５）異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告しその指示に従う。安全管理には十分注意し本業務を履行する。

６）施設等運営者は、消耗品交換・修繕の実施に際して、事前に調査職員と協議を行い、必要に応じて施工体制に係る書類を作成し、業務着手までに調査職員に提出するものとする。また、施工体制に変更が生じた場合の対応についても同様とする。

７）作業中は服装及び言動に注意し、公園利用者及び施設利用者に不快感を与えないよう留意するものとする。

８）施設等運営者は、食の安全確保に万全を期すものとし、年に１回以上はフードコンサル等による点検を実施するもののとする。なお、点検後速やかに点検報告並びに点検における指摘事項の是正内容について、調査職員に提出するものとする。

２．安全確保

１）本業務の実施にあたっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ、事故を防止しなければならない。

２）施設若しくは許可区域内において、公園利用者及び施設利用者に危険が及ぶ恐れのある傷害が発生した場合は、危険防止に必要な措置を九州地方整備局に書面により報告の上講じ、事故の発生を防止しなければならない。

３）工事車両の運転については、入園者の迷惑とならないよう必要に応じ誘導員を配置するとともに、「国営海の中道海浜公園園内業務における車両通行規則」基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、「国営海の中道海浜公園園内業務における車両通行規則」及び「公園内車両通行および作業心得」を遵守して走行するものとする。車両の運転については、公園利用者及び施設利用者の安全確保を第一として必要に応じ誘導員を配置するとともに、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

４）施設利用や公園利用者に対する安全確保上必要があると判断される作業実施時に作業エリアをバリケード等で囲い、作業中であることを明示すること等、作業実施中は安全管理を徹底し、公園利用者及び施設利用者の安全を十分確保するものとする。

５）作業実施中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しないように注意するものとする。

３．救急救護

１）施設等運営者は、安全衛生管理計画書及び自主事業計画書の「危機管理マニュアル」において救急時の対応方法を定める。

２）施設等運営者は、開園時間中は救急活動に当たらなければならない。

３）施設等運営者は、救急活動を要する事態を認めたときは、施設利用者の急病や負傷には応急処置をとり、事故や怪我等の状態により、消防車や救急車を要請するなど、最も適切と思われる措置をとらなければならない。

４）施設等運営者は、前項の措置をとった場合は、その原因となる事項や処置内容等を正確に記録するとともに、その経過及び結果を速やかに調査職員に口頭、電話、メールのいずれかを用いて報告し、その後の対応については、調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、書面にて九州地方整備局に報告すること。

５）傷病者の発生に備え、日頃から研修・訓練等を行うこと。

４．災害時、異常時等の対応

１）施設等運営者は、災害防止等のために必要があると認められるときは、施設利用者の安全を確保し、迅速かつ的確に避難誘導を行うなど臨機の措置をとらなければならない。この場合において、施設休止等の必要があると認めるときは、施設等運営者はあらかじめ九州地方整備局の書面による承諾を得なければならない。ただし、緊急上やむを得ない事情があるときは、この限りではない。

２）前項の場合においては、施設等運営者は、そのとった措置の内容を調査職員に速やかに書面により報告する。ただし、緊急上やむを得ない事情がある場合は、口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、書面にて九州地方整備局に報告すること。

３）台風、豪雨等の災害発生が予想される場合には、事前に土のう設置、雨水桝の詰まり防止のための落ち葉除去等を実施し、被害の軽減に努めなければならない。

４）台風、豪雨等の災害発生時に調査職員の指示した箇所の巡回、土のう等の設置等を行うものとする。

５）九州地方整備局は、災害防止上特に必要と認めるときは、施設等運営者に対して、臨機の措置をとることを指示することができる。

６）調査職員の指示により、災害時、異常時等の緊急を要する場合は、施設等運営者は、迅速に必要な人員を確保し、適切な措置・対応を行うこと。なお、九州地方整備局が策定した災害発生等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

７）災害時、異常時等の発生後は、園内の臨時巡視・点検を速やかに行い、安全を確認し、九州地方整備局に書面により報告する。異常を確認した場合は、前項に基づき適切な措置・対応を行うこと。

８）施設等運営者は、天変地異等により、運営を一時中止・変更、または休止したときは、運営再開の前に施設の点検を行い、異常のないことを確認しなければならない。異常を確認した場合は、本規定書第１編総則第６条にもとづき適切な措置・対応を行うこと。

９）関係機関の立会検査または調査がある場合は、施設等運営者は九州地方整備局及び調査

職員の指示により立会等に協力する。

第 41 条 点検等

1．安全衛生管理計画

1）施設等運営者は、食品衛生法、消防法、建築基準法等の関係諸法令及び規則に基づき設定した法定点検及び自主点検計画を記載した安全衛生管理計画書を九州地方整備局に提出の上、書面により承諾を受けること。

2）安全衛生管理計画書に記載した、法定点検及び自主点検については、特段の事情がない限り予め設定したスケジュールに沿って実施すること。

3）上記法定点検等の結果については、遅滞なく九州地方整備局に書面により報告すること。

2．定期点検

1）施設等運営者は、施設利用者が快適に利用できるよう、常に清潔かつ快適な状態に維持することに努めるものとする。

2）下記の表に掲げる施設の定期点検項目について、原則として施設等運営者が行うが、別途九州地方整備局が行う点検との役割分担について協議の上実施し、両者が不可分のものについては費用を按分する。協議内容については九州地方整備局が書面により残すものとする。

3）法定点検項目以外の定期点検は、施設等運営者が自ら設定するものとする。

■施設の定期点検項目（1）

中項目	小項目	法定点検	留意事項
外部	屋根	○	・周期は別に定める。
	外壁	○	・周期は別に定める。
	ひさし（車寄せ）・とい	○	・周期は別に定める。
	軒天井・ひさし下端	○	・周期は別に定める。
	外部床	○	・周期は別に定める。
	屋外階段	○	・周期は別に定める。
	バルコニー	○	・周期は別に定める。
	外部建具	○	・周期は別に定める。
	外部用自動ドア	○	・周期は別に定める。
	エキスパンションジョイント金物	○	・周期は別に定める。
内部	内壁・柱・はり	○	・周期は別に定める。
	内部天井	○	・周期は別に定める。
	内部床	○	・周期は別に定める。
	内部階段	○	・周期は別に定める。
	内部建具	○	・周期は別に定める。
	内部用自動ドア	○	・周期は別に定める。
構造部	構造体・基礎	○	・周期は別に定める。
電灯・動力設備	照明器具（蛍光灯）	○	
	分電盤・開閉器箱	○	
	制御盤	○	
	幹線	○	
受変電設備	配電盤等（内部機器を除く。）	○	
	変圧器	○	
	交流遮断機	○	
	断路器	○	

中項目	小項目	法定点検	留意事項
	計器用変成器	○	
	避雷器	○	
	高圧負荷開閉器	○	
	高圧カットアウト	○	
	高圧電磁接触器	○	
	力率改善装置	○	
	指示計器・保護継電器	○	
	低圧開閉器類	○	
	特別高圧ガス絶縁スイッチギヤ（GIS、C－GIS）	○	
	その他の特別高圧関連機器	○	

■施設の定期点検項目（２）

中項目	小項目	法定点検	留意事項
自家発電設備	自家発電設備	○	
直流電源設備	共通事項	○	
	整流装置	○	
	蓄電池	○	
交流無停電電源設備	共通事項	○	
	交流無停電電源設備（簡易型を除く。）	○	
	交流無停電電源設備（簡易型）	○	
太陽光発電設備	太陽光発電設備	○	・周期は別に定める。
風力発電設備	風力発電設備	○	
通信・情報設備	構内情報通信網設備	○	
	構内交換設備	○	
	拡声設備	○	
	誘導支援設備	○	
	映像・音響設備	○	
	情報表示設備	○	
	テレビ共同受信設備	○	
	テレビ電波障害防除設備	○	
	監視カメラ設備	○	
	駐車上管制設備	○	
	入退室管理設備	○	
外灯	外灯	○	
航空障害灯	航空障害灯	○	
雷保護設備	雷保護設備	○	
構内配電線路・構内通信線路	構内配電線路・構内通信線路	○	
温熱源機器	鋳鉄製ボイラー・鋳鉄製簡易ボイラー	○	
	鋼製ボイラー・鋼製簡易ボイラー	○	
	無圧式温水発生機・真空式温水発生機	○	・加圧能力が 174kW（150,000kcal/h）以上：6M

中項目	小項目	法定点検	留意事項
	温風暖房機	○	・【周期 1M（運転期間中)】点検の実施如何は別に定める。
冷熱源機器	チリングユニット	○	
	空気熱源ヒートポンプユニット	○	
	遠心冷凍機	○	
	吸収冷凍機	○	
	直だき吸収冷温水器	○	
	小型吸収冷温水機ユニット	○	
	パッケージ形空気調和機	○	
	ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	○	
	氷蓄熱ユニット	○	
空気調和等関連機器	オイルタンク	○	
	熱交換器・ヘッダー・密閉型隔膜式膨張タンク	○	・【周期 1M（小型及び第 2 種圧力容器)】点検の実施如何は別に定める。
	還水タンク・開放型膨張タンク	○	

■施設の定期点検項目（３）

中項目	小項目	法定点検	留意事項
空気調和等関連機器	冷却塔	○	・周期は別に定める。
	ユニット形空気調和機・コンパクト型空気調和機	○	
	ファンコイルユニット・ファンコンベクター	○	
	空気清浄装置	○	・ろ材の交換は別に定める。 ・【周期 1M】点検の実施如何は別に定める。 ・周期は別に定める。
	ポンプ	○	・【周期 1M】点検の実施如何は別に定める。 ・周期は別に定める。
	送風機	○	・【周期 1M】点検の実施如何は別に定める。 ・周期は別に定める。
	天井扇・有圧換気扇	○	
	全熱交換器	○	・【周期 1M】点検の実施如何は別に定める。 ・周期は別に定める。
給排水衛生機器	受水タンク･高置タンク（高架タンク）	○	・【大地震時想定】長期点検の実施如何別に定める。
	受水タンク･高置タンク（高架タンク）の清掃	○	・周期は別に定める。
	貯湯タンク	○	
	貯湯タンクの清掃	○	
	汚水槽・雑排水槽	○	
	汚水槽・雑排水槽の清掃	○	
	ポンプ	○	・【周期 1M】点検の実施如何は別に定める。 ・周期は別に定める。
	ガス湯沸器	○	・周期は別に定める。
	電気温水器	○	・周期は別に定める。
	循環ろ過装置	○	・周期は別に定める。（水質検査を除く）
	衛生器具	○	・周期は別に定める。
ダクト及び配管	ダクト	○	・周期は別に定める。
	配管	○	・【大地震時想定】長期点検の実施如何は別に定める。

中項目	小項目	法定点検	留意事項
水質管理	空調機器用水	○	
	ボイラー用水	○	
	飲料水（給水設備）	○	
浄化槽	点検・保守	○	
	清掃	○	
	水質に関する検査	○	
井戸	井戸	○	
雨水利用システム	雨水利用システム	○	
中央監視制御装置	中央監視制御装置		
	自動制御装置		
消防用設備等		○	・機器点検：6M
建築基準法関係防災設備	非常用照明装置	○	
	防火戸・防火シャッター	○	
	防火ダンパー	○	
	排煙設備	○	

■施設の定期点検項目（４）

中項目	小項目	法定点検	留意事項
エレベーター	点検共通事項	○	・稼動頻度に応じて、「高稼働」の周期を選択して別に定める。(油圧式、非常用を除く) ・【遠隔監視装置、遠隔点検装置】適用は別に定める。
	ロープ式エレベーター	○	
	油圧式エレベーター	○	
	機械室なしエレベーター	○	
	非常用エレベーター	○	
エスカレーター	エスカレーター	○	
小荷物専用昇降機	小荷物専用昇降機	○	
工作物	鉄塔	○	
	設備架台・囲障（ルーバー等）	○	
	煙突	○	
外構	敷地	○	・周期は別に定める。
	へい		・周期は別に定める。
	門		・周期は別に定める。
	排水枡・マンホール・側溝・街きょ	○	・周期は別に定める。
植栽・緑地	植栽・緑地		
執務環境測定	空気環境測定	○	
ねずみ・昆虫等の防除		○	

■関係法令

法令名	参照条項	条件の有無	条件に関わる参照条項
建築基準法	第十二条	○	第六条、別表第一 【令】 第十四条の二、第十六条
官公庁施設の建設等に関する法律	第十一条、第十二条	○	官公庁施設の建設等に関する法律第12条第1項の規定によりその敷地及び構造に係る劣化の状況の点検を要する建築物を定める政令
消防法	第十四条の三の二	○	【危険物の規制に関する政令】 第七条の三、第八条の五
	第十七条、第十七条の三の二、第十七条の三の三	× (公共建築)	【令】 第六条、第七条、第三十五条、第三十六条、別表第一
人事院規則 10-4	第十五条、第三十二条、第三十四条	×	別表第七、別表第八
事務所衛生基準規則	第九条、第十条	×	
建築物における衛生的環境の確保に関する法律	第四条	○	第二条 【令】 第一条
高圧ガス保安法	第三十五条、第三十五条の二	○	【一般高圧ガス保安規則】 第七十九条、第八十三条 【冷凍保安規則】 第四十条、第四十四条
水道法	第三十四条の二	○	第三条 【令】 第二条
電気事業法	第三十九条、第四十二条	○	第三十八条 【令】 第五十条
ガス事業法	第四十条の二	×	第二条 【則】 第百七条
浄化槽法	第七条、第八条、第九条、第十条、第十一条	×	第二条
ボイラー及び圧力容器安全規則	第三十二条、第六十七条	○	第一条 【労働安全衛生法施行令】 第一条

※［条件の有無］○：義務付けする施設、設備等について、規模等の条件が付されているもの

3．自主点検

1）自主点検は、下記の表に掲げる項目のうち該当するものについて、施設等運営者が建築保全業務共通仕様書に準じて行う。

■施設の自主点検項目

大項目	中項目	小項目
建築	建築	建築
電気設備	電灯・動力設備	電灯・動力設備
	受変電設備	受変電設備

	自家発電設備	自家発電設備
	直流電源設備	直流電源設備
	交流無停電電源設備	交流無停電電源設備
機械設備	温熱源機器	運転・監視記録
		鋳鉄製ボイラー・鋼製ボイラー
		真空式温水発生機・無圧式温水発生機
		温風暖房機
	冷熱源機器	運転・監視記録
		冷熱源機器
	空気調和等関連機器	空気調和等関連機器
	給排水衛生機器	給排水衛生機器
		循環ろ過装置
監視制御設備	中央監視制御設備	中央監視制御装置
搬送設備	昇降機	昇降機

４．日常点検

１）施設等運営者は始業点検、終業点検、巡回パトロール等を実施し、適切な管理を行うこと。

２）建築物等について、目視等の簡易な方法により建築物の劣化及び不具合の状況を把握し、保守の措置を適切に講ずることにより所定の機能を維持するための軽微な修繕を行い、事故・故障等の未然の防止に資するよう管理すること。

３）施設等運営者は、施設、設備等が損傷、破損または滅失したとき及びそれを発見したときは、直ちに九州地方整備局に報告するものとする。

５．スタッフ管理・研修

１）日常管理業務に加え、施設利用者の案内や苦情・要望、事故・災害時非常時における緊急対応が適切に行われるよう、一元的な管理体制を構築しなければならない。

２）運営体制人員は、円滑な管理運営を行うため、施設利用者数の動向に基づき弾力的に配置するものとする。

３）施設等運営者は、九州地方整備局が実施または要請するスタッフ管理・研修、公園全体での調整連携等への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行うこと。

第 42 条 危機管理

１．事故・災害

１）緊急時連絡体制構築

施設等運営者は、緊急連絡体制表を作成し、九州地方整備局に提出すること。また、施設内に掲示をすること。

２）予防対策

①　施設等運営者は、施設を運営している期間中は毎月１回、施設の消防設備等の自主点

検を実施し、異常を発見した場合は九州地方整備局に書面により報告するものとする。

② 本業務を行う場所若しくは、その周辺に第三者が存する場合または立ち入る恐れがある場合には、危険防止に必要な措置を九州地方整備局に報告の上、当該措置を講じ事故の発生を防止する。

3）初期対応

① 施設等運営者は、九州地方整備局の指示に従い、公園利用者及び施設利用者に対する案内及び緊急の対応等のサービスに努めること。

② 万一、設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止または運転制限をする等の措置をした上で、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく書面にて九州地方整備局に報告すること。なお、必要に応じ臨時に精密検査を行い、その原因を究明し、機能復旧に努めると共に、再発防止のための必要な措置をとること。

③ その他事故等が発生したとき、またはその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取り、施設等運営者が作成した緊急連絡体制に基づき関係機関へ連絡し、次の各号に掲げる事項について、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、書面等により九州地方整備局に報告するものとする。なお、九州地方整備局が策定した事故等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

1）事故発生日時。

2）事故発生場所。

3）事故発生の原因。

4）事故の程度。

5）人身事故の場合は、医師の診断結果又は被害者本人又はその家族等から得られた情報

6）被災者の氏名、性別、年齢、連絡先。

7）事故処理の概略。

8）再発防止など改善策等。

2．異常事態対策

1）施設等運営者は、九州地方整備局が実施又は要請する異常事態対策への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行う。

2）施設等運営者は、異常な事案が発生した場合、その内容・初期対応状況等を、速やかに九州地方整備局へ報告するとともに、関係機関に連絡する。

第５章 施設管理

第 43 条 基本事項

１．施設等運営者は、消耗品交換・修繕の実施に際して、許可を受けた施設内及びその周辺の環境を良好に維持することを心掛けなければならない。

２．施設等運営者は、収益施設内及び許可範囲内を常に良好な状態で維持し、公園内で実施されている他業務と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行い、実施することとする。

３．設備及び管理備品は施設等運営者の注意義務で管理すること。

第 44 条 清掃等

１．施設等運営者は、許可を受けた範囲内並びにその周辺の環境について、常に清潔かつ快適な環境を保持するために、計画的な清掃管理を実施するものとする。

２．施設等運営者が、清掃を実施する際には、施設利用者ならびに公園利用者の安全確保に十分注意するものとする。

３．施設等運営者は、自らが実施する清掃と維持管理業務受託者が実施する清掃について、その清掃範囲及び夾雑物が混合しないように注意するものとする。

第 45 条 工事等

１．施設等運営者は、消耗品の交換や施設等運営者が自ら実施する修繕工事の実施に際して、事前に九州地方整備局と協議を行ない、施工計画に係る書類を作成し、業務着手までに九州地方整備局に提出するものとする。また施工計画に変更が生じた場合の対応についても同様とする。

２.施設等運営者が、消耗品の交換や施設等運営者が自ら実施する修繕工事を実施する際には、施設利用者ならびに公園利用者の安全確保に十分注意するとともに、施設等運営者の責任において常に公園の観察を行ない、善良なる管理を行うものとする。

３．施設等運営者は、自らが実施する修繕工事について、その施工範囲及び構造物が、許可を受けた範囲及び許可を受けた構造物であることに注意するものとする。

第46条 安全管理

１．施設運営者は、収益施設に係る清掃や修繕工事を実施するにあたり、施設利用者の安全確保に十分注意をすると共に、施設運営者の責任において常に施設周辺の観察を行ない、善良なる管理を行なうものとする。

２．施設運営者は、収益施設に係る清掃や修繕工事に関連する工事車両の運転については、入園者の迷惑とならないよう必要に応じ誘導員を配置するとともに、「国営海の中道海浜公園園内業務における車両通行規則」基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、「国営海の中道海浜公園園内業務における車両通行規則」及び「公園内車両通行および作業心得」を遵守して走行するものとする。車両の運転については、公園利用者及び施設利用者の安全確保を第一として必要に応じ誘導員を配置するとともに、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

3．車両は「国営海の中道海浜公園園内業務における車両通行規則」及び「公園内車両通行および作業心得」を遵守して走行するものとする。また、作業にかかる車両の持込みは最小にとどめ、入園者の迷惑とならない場所へすみやかに移動するものとする。
4．施設運営者は、公園利用者や施設利用者に対する安全確保上必要があると判断される作業実施時に、作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示すること等の安全管理を徹底するものとする。
5．作業中は、園内の施設工作物ならびに樹木等を破損しない様に十分注意するものとする。
6．作業従事者は、服装ならびに言動に注意し、公園利用者ならびに施設利用者に不快感を与えないよう留意するものとする。

第６章 財産管理

第 47 条 台帳管理

１．施設等運営者が施行した固定資産（償却資産）については、「固定資産税における家屋と償却資産の分離申出書」を所轄の税務事務所に提出するものとする。

２．運営に関する備品等（建物除く）の費用、管理区域に関る建物管理費（消耗品の購入、貸与した備品類の修理等）は、施設等運営者の負担とする。

第 48 条 備品の取り扱い

１．管理備品の取扱い

許可を受けた収益施設の運営に必要な備品は、施設等運営者が全て準備するものとする。

ただし、業務開始時に九州地方整備局が費用を負担した備品の引き継ぎを受けた場合は、施設等運営者は、本業務完了の際、残存する備品で九州地方整備局がその費用を負担したものについて当該備品を九州地方整備局に引き渡す。ただし、翌年度以降において当該契約が引き続き締結され、当該業務に継続して使用されるものはこの限りではない。

残存する備品とは、本業務において管理上必要となった機械器具、その他の物品の内、原状のまま比較的長期の使用に耐え、取得価格（消費税込み）が２万円以上のものをいう。なお、その取扱いについては、九州地方整備局が定める規定等による。

２．特定施設・備品の取扱い

施設等運営者は、施設の管理・運営に必要な機器・設備等を持ち込むことができる。

ただし、「本章 第22条 業務の完了・引継、原状回復等」に記載があるとおり、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）または、契約が解除された場合、九州地方整備局及び新たな施設等運営者と十分に協議の上、書面をもって下記事項について事務引き継ぎを行い、公園の管理に支障が生じないようにする。この際、施設等運営者が設置した特定施設・備品を撤去し速やかに管理物件を速やかに原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。ただし、原状回復することが不可能若しくは不適当な場合、九州地方整備局の書面による承認を得て原状回復せずに引き渡すことができる。

さらには、原状回復する際に残存価値が残される場合であっても、「本章 第23条 立退料等の不請求」にあるとおり、九州地方整備局に対し施設等運営者の施設の買取等を請求することを禁じていることを踏まえ、施設等運営者の一切の責任のもとで機器・設備等を持ち込むこととする。

＜特定施設・備品に関する方針＞

１）自転車に関する方針

①　自転車引継に関する方針

現施設等運営者より、現在使用している自転車を全台有償で引継ぐものとする。また、次期施設等運営者に対しても同様に、自転車全台を有償で引継ぐものとする。

②　自転車購入に関する方針

施設等管理運営者は、耐用年数や使用状況を考慮して計画的に自転車の更新を行うものとする。ただし、更新する自転車は自転車の品質を保証する公的機関の認定を受けた

もの（JIS マーク、SG マーク、BAA マーク等が表示されたもの）でなければならない。

また、自転車安全整備店における点検・整備後に貼られるTS マークの認定から外れた自転車又は故障や事故で安全性の確保が保てない自転車については随時更新をするものとする。

なお、特殊自転車（二人乗り自転車等）については、公的機関認定の対象外及びTSマーク認定の整備対象外であることから、九州地方整備局の許可を得た上で購入をするものとする。

JIS マーク：＜JIS＞＝＜日本工業規格＞。一定の品質についてJISで規定し、製品等が当該JISの各要件に適合していることを証明するために、製品等に表示するマーク。

SG マーク：財団法人製品安全協会主催の制度。対象の製品毎に安全性品質に関する認定基準を定め、基準に適合した製品にのみに表示されるマーク。

BAA マーク：社団法人自転車協会の制定する制度。自転車安全基準に適合した自転車に貼付されるマーク。ブレーキテスト、制動性能テスト等を行い、製造時業者または輸入事業者の名前、ブランド名、車体番号等も表示される。

TS マーク：公益財団法人日本交通管理技術協会が発行するマーク。年１回自転車安全整備士が点検・整備をすることで自転車の安全性が認定されるもの。１年間の付帯保険付。

③　自転車の安全管理に関する方針

貸出自転車は、毎年自転車安全整備士による点検・整備を行い、TSマーク認定を受けなければならない。

④　自転車管理台帳に関する方針

施設等運営者は、一台ごとの購入日、修繕履歴等を記載した自転車管理台帳を作成し管理を行うこととする。なお、自転車管理台帳は次期施設等運営者に引継ぐものとする。

２）特定施設に関する方針

①　小型遊戯施設の引継ぎに関する方針※

現特定公園施設運営者及び施設等運営者の協議において、現在使用している小型遊戯施設を有償又は無償で引継ぐものとする。また、次期施設等運営者に対しても同様の取り扱いとする。

※小型遊戯施設は落札者決定後の九州地方整備局との協議により運営することとなった場合に限る。

②　園内移動施設の停留所の引継ぎに関する方針

現特定公園施設運営者及び施設等運営者の協議において、現在使用している停留所を有償又は無償で引継ぐものとする。また、次期施設等運営者に対しても同様の取り扱いとする。

３）その他の特定備品に関する方針

①　特定備品の引継ぎに関する方針

現施設等運営者より現在使用している特定備品の残置については、施設等運営者、九州地方整備局及び現施設等運営者による協議により決定することができる。なお、残置する

特定備品についての有償・無償等協議については、現施設等運営者及び施設等運営者の協議において決定すること。また、次期施設等運営者に対しても同様の取り扱いとする。

② 特定備品台帳に関する方針

施設運営者は、施設毎に特定備品台帳を作成すること。作成にあたっては、備品毎に購入代金・購入日・修繕履歴等を記載すること。なお、引き継ぐ特定備品台帳は次期施設等運営者に引き継ぐものとする。

3．機器・設備等を持ち込む費用、電気工事等の措置等に必要な経費及び持ち込んだ設備・機器等から生じる経費（電気代、コピー代、電話代等）、原状回復に必要な経費は、施設等運営者の負担とする。

第 49 条 本業務の引継

1．施設等運営者は、業務の履行が満了するとき（継続して、契約した場合は除く）または、契約が解除された場合は、九州地方整備局及び新たな施設等運営者と十分に事務引き継ぎを行い、施設の管理運営に支障が生じないようにする。この際、速やかに施設を原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。ただし、原状回復することが不可能若しくは不適当な場合、九州地方整備局へ書面により承諾を得て原状回復せずに引き渡すことができる。

2．不可抗力その他、九州地方整備局や施設等運営者の責めに帰することができない事由により管理の継続が困難となった場合は、九州地方整備局と施設等運営者は管理の継続の可否について協議すること。

3．施設等運営者は、本業務の履行期限（継続して、契約した場合は除く）または、契約が解除されるまでは、施設の管理運営が円滑に実施されるよう業務実施体制（第28条記載）を維持すること。

4．履行期限後において補償すべき事態が発覚し、その原因が履行期間内の瑕疵等が明らかな場合は、その費用は施設等運営者が負担する。

第２編 国営海の中道海浜公園収益施設等管理運営個別規定書　収益事業編

第１章 駐車場

第１条 総則

施設等運営者は、駐車場の管理運営に際して、関係法令等を遵守し、施設利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めるものとする。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は九州地方整備局及び調査職員と協議するものとする。

第２条 施設の利用目的

駐車場は、公園利用者の国営海の中道海浜公園への来園手段である車両等を、公園利用時間内に限り保管する場所を提供することを施設の目的とする。

第３条 運営対象施設

運営対象施設は次のとおりとする。なお、許可範囲に関しては別途提示する。

■運営対象施設一覧（常設駐車場）

施設名称	大　型	普　通	原付・自動二輪	必須／裁量
西駐車場Ａ	－	675 台	100 台	必須
西駐車場Ｂ	26 台	366 台 (10 台)	－	必須
西駐車場Ｃ	16 台	437 台	－	必須
海の中道駅口駐車場	－	492 台 (6 台)	－	必須
ワンダーワールド口駐車場	5 台	315 台 (6 台)	－	必須
光と風の広場駐車場	13 台	582 台 (10 台)	－	必須

※( )内は身障者用駐車台数

第４条 責任者の選任

施設等運営者は、施設担当責任者を選任したうえで駐車場の管理運営にあたらせるものとする。

第５条 運営日時

１．施設等運営者は、原則として本公園の公開日を営業日とする。

２．施設等運営者は、原則として公開時間に合わせた営業時間とし、発券時間は周辺道路の渋滞や施設の利用状況により臨機に対応し、施設利用者へのサービスの提供を安定的に行うこと。

３．繁忙日等の対応及びイベント等開催のため、公園の公開日時を変更した場合には、調査職員又は維持管理業務受託者より変更内容を通知するので施設利用者へのサービス等適切に対応すること。

第６条 利用料金

利用料金は、九州地方整備局長の指定する料金を上限とし、社会的に理解が得られる料金とする。臨時駐車場の利用料金についても同様である。

■利用料金の一覧（九州地方整備局が定める上限）

車種	利用料金		備考
	一般	パスポート提示	
大型（１日）	1,550 円	－	車体総重量 ８ｔ以上、最大積載量 ５ｔ以上、または乗車定員が 30 名以上の車両。
普通（１日）	520 円	420 円	上記以外の自動車。
二輪（1 日）	260 円	210 円	自動二輪車及び原付自転車。
身障者等	無料	無料	運転手または同乗者が身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を提示した場合、駐車料金が免除。同乗者が 11 名以上の場合、2 名の方の手帳の提示が必要。

第７条 業務の内容

１．施設等運営者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

１）駐車場の運営（料金収受及び領収含む。）に関すること。

２）駐車場の維持管理に関すること。

３）駐車場の安全管理に関すること。

４）前各号に掲げる業務に付随するもの。

第８条 施設の運営

1．駐車場の運営

１）施設等運営者は、西駐車場ＡＢＣ、海の中道駅口駐車場及びワンダーワールド口駐車場においては、料金ブースに必要人

員を配置し、駐車場利用料金の徴収及び領収書の発行等を行う。

２）施設等運営者は、駐車場管理機器等の施設・設備のある光と風の広場駐車場においては、駐車場利用料金の徴収を駐車場管理機器の精算機において１日１回以上行うものとし、回収にあたっては十分注意を払い行うものとする。その際、つり銭を補充するなどの金銭管理を行うこと。なお、施設利用者のうち身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の提示者には、デイキャンプ場受付にて駐車場無料券の発券をおこなうものとし、年間パスポート提示者には、デイキャンプ場受付にて年間パスポート提示時の駐車料金を徴収し、駐車場券を発券する等安定的な利用者サービスの提供をおこなうこと。

３）原則として、施設利用者が全て退出することを確認し閉場することとするが、著しく退出が遅延し、施設利用者を確認することができない場合は、残車両を確認し、記録すること。なお、残車両所有の施設利用者から、退出の申し出があった場合は、適切に対処すること。

４）駐車場の混雑具合に応じて誘導員等を配置する等、適切な運営を行うこと。

５）運営条件に定めていない事項に関しては、必要に応じて協議することとする。

２．繁忙期の対応

１）駐車場が満車になることが予測される場合は、あらかじめその対策をたて、必要に応じ自主事業として本公園内に臨時駐車場を確保するとともに、警備、案内・誘導員を増員するなど、事前に必要な措置を講じるものとする。

2）施設等運営者は、繁忙期の混雑状況に応じて、誘導員数、配置を工夫する等円滑な誘導に努める。

3）繁忙期においては、周辺道路の渋滞等が予想されるので、各駐車場への誘導・引き込み方法等について、あらかじめその対策をたて、調査職員に協議し承諾を得ること。また、施設利用者に対してホームページ等により各駐車場毎のリアルタイムな入庫状況等の情報を提供するなど施設利用者に安定的なサービスを行うこと。

2．利用制限等

1）次の各号に該当する場合は、駐車場の利用を拒否することができるものとする。

①駐車場利用者が遵守事項を守らない場合又は業務従事者の指示に従わない場合。

②危険物を積載している車両、その他駐車場の管理上支障のある車両が駐車しようとしている場合。

第９条 施設・設備等の維持管理

1．施設等運営者は、西駐車場ＡＢＣ、海の中道駅口駐車場、ワンダーワールド口駐車場においては、以下の施設・設備等の維持管理等を行う。また、光と風の広場駐車場における繁忙期における対応も以下のとおりとする。

1）施設等運営者は、西駐車場ＡＢＣ、海の中道駅口駐車場及びワンダーワールド口駐車場においては、施設が有する機能を最大限に活用するとともに、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面、衛生面、機能面及び景観に留意して適切な管理を行うこと。

2）施設等運営者は、駐車場施設・設備の機能を保持し、日常の円滑な運用に支障が生じないよう、消防法等の関係法令を遵守し、日常的な保守・点検や必要な備品等の管理、調達を行うことで適切な維持管理を行うこと。

2．施設等運営者は、駐車場管理機器等の施設・設備のある光と風の広場駐車場においては、以下の施設・設備等の維持管理等を行う。

1）駐車場管理機器については、九州地方整備局が施設等運営者に貸与するが、施設等運営者は、日常的な保守・点検を行うことで適切な維持管理を行うこと。なお、当該施設・設備の保守・点検については、九州地方整備局が別途実施する。

2）営業開始前に、駐車場管理機器の電源を入れ、機器に故障・損傷等がないか、正常に作動するかを確認するとともに、営業中は、駐車場管理機器の運転の作動状況を確認・監視し、業務終了時には、駐車場機器の電源を確実に切る。

3）機器の故障について連絡や表示がある場合は、機器に付属するマニュアル等に従い、適切に処理し、完全な状態に回復する。

4）駐車場機器について万一故障が発生し、ただちに回復する見込のないときは、回復までの間、車両の入出場は手動で行う。このとき、料金計算は料金計算機を使用するなどの方法により、迅速かつ確実に行い、入出場車両に支障をきたさないようにする。

5）その他の駐車場の施設・設備についても、施設等運営者は、施設が有する機能を最大限に活用するとともに、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面、衛生

面、機能面及び景観に留意して適切な管理を行うこと。

6）施設等運営者は，その他の駐車場施設・設備の機能を保持し、日常の円滑な運用に支障が生じないよう、消防法等の関係法令を遵守し、日常的な保守・点検や必要な備品等の管理、調達を行うことで適切な維持管理を行うこと。

3．駐車場内にある植栽地の植物管理を行うこと。なお、実施に当たっては、別紙10「個別仕様書（植物）」に準じて実施すること。

第 10 条 安全管理

1．駐車場運営における安全管理は、本規定書第１編第９条によるほか以下の事項に留意すること。

1）施設等運営者は、施設利用者の安全に万全の注意を払い、安全管理を行うものとする。

2）補修、その他管理上やむを得ない理由があるときは、駐車場の全部又は一部を休止することができるものとする。

3）管理上必要があると認められるときは、駐車場の出入口の全部又は一部を閉鎖することができるものとする。

4）駐車場内において、災害や事故が発生し、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取ることとする。

5）やむを得ず、駐車場の全部又は一部を休止・閉鎖・変更する際は公園利用者及び施設利用者に的確に告知すると共に調査職員に報告するものとする。

6）緊急車両等の入出場については適宜協力をすること。

7）施設等運営者は、施設利用者の安全確保、施設状況の把握、及び施設利用案内等を行うため、定期的に巡視を実施するものとする。また、事件、事故または災害等緊急時対応、不審物の有無確認や拾得物への対処、清掃状況の点検等も併せて行うものとする。

第 11 条 緊急時の対応

災害や事件、事故等が発生した際には、本規定書第１編第４章「安全衛生管理」を参照し対応することとする。

第 12 条 費用負担

1．駐車場運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費、清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等等）、運営に関する備品等（建物除く）の費用及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

2．駐車場の満車表示など施設利用者の利便に資する移動式看板（既設の看板の更新も含む）他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。

ただし、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこととなることとなること、さらには、原状回復する際に残存価値が残される場合であっても、

九州地方整備局に対し施設等運営者の施設の買い取り等を請求することを禁じていることを踏まえ、施設等運営者の一切の責任のもとで機器・設備等を持ち込むこととする。

3．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、管理備品等を破損または紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費または施設等運営者が定める損害料を徴収する。

4．九州地方整備局の職員や業務等で入園する業務入園者からは、駐車料を徴収することはできない。

第 13 条 責任の範囲

1．次の各号に該当する場合は、九州地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うものとする。

1）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することのできない事由によって生じた車両及び施設利用者の損害。

2）車両に残された貴重品、その他物品及び取付物に関する損害。

2．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者は車両の滅失又は損傷について、当該車両の時価、損害の程度を考慮してその損害を賠償すること。

3．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。ただし、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求める。

第 14 条 施設利用上の注意

1．施設利用者に対し、以下の各号について看板等において注意を促すとともに、利用者に適切な利用指導を行うものとする。

1）場内での車両通行速度は、時速20km/h を超えないこと。

2）場内での追い越しをしないこと。

3）喫煙又は火気の取り扱いをしないこと。

4）標識又は係員の指示に従うこと。

5）車両を離れるときは、エンジンを停止し、ドア及びトランクには施錠し、盗難に備えること。

6）公害防止の為、エンジンを空ぶかししないこと。

7）施設、他の車両及びその取付物等への損害、又はその他の事故を目撃した時は施設等運営者へ速やかに連絡すること。

8）施設利用者及びその関係者（同乗者含む。）が故意又は過失により駐車場の施設並びに他の車両に損害を与えたときは、当事者がその損害賠償を行うこと。

9）「車いす使用者用駐車スペース」は該当車両がいつでも利用できるよう、一般施設利用者は利用を控えること。

10）その他、施設等運営者の業務又は他の施設利用者の妨げになるような行為はしないこと。

11）九州地方整備局より指示された禁止行為等。

第２章 レンタサイクル施設

第 15 条 総則

施設等運営者は、レンタサイクル施設の管理運営に際して、関係法令等を遵守し、施設利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めるものとする。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は九州地方整備局及び調査職員と協議するものとする。

第 16 条 施設の目的

レンタサイクル施設は、国営海の中道海浜公園において施設利用者への自転車の貸出しを行うことを施設の目的とする。また、自動二輪車等を持ち込むなど施設利用者及び公園利用者に対する安全確保に反する行為をしてはならない。

第 17 条 運営対象施設

運営対象施設は次のとおりとする。

■運営対象施設一覧

施設名称	現行運営台数（参考）	備考	必須／裁量
西サイクリングセンター	９２６台	車種別内訳は別添 40 参照	必須
ワンダーワールドロサイクリングセンター	２１０台	車種別内訳は別添 40 参照	必須
駅口サイクリングセンター	１６９台	車種別内訳は別添 40 参照	必須
光と風の広場口サイクリングセンター	１１５台	車種別内訳は別添 40 参照	必須
港サイクリングセンター	※保管及び自転車整備場として活用		裁量
計	１，４２０台		

第 18 条 責任者の選任

施設等運営者は、施設担当責任者を選任したうえでレンタサイクル施設の管理運営にあたらせるものとする。

第 19 条 運営日時

１．施設等運営者は、原則として本公園の公開日を営業日とする。

２．施設等運営者は、原則として公開時間に合わせた営業時間とし、発券時間は原則、本公園の開園時間から閉園時間の１時間前までとする。なお、発券終了時間については、施設利用の状況等から臨機に対応し、施設利用者へのサービスの提供を安定的に行うこと。

３．繁忙日等対応及びイベント等開催のため、公園の公開日時を変更した場合には、調査職員等より変更内容を通知するので施設利用者へのサービス等適切に対応すること。

第 20 条 利用料金

１．施設利用者へ提供する自転車貸出の利用料金は、九州地方整備局長の指定する料金を上限とし、社会的に理解が得られる料金とする。

■現行利用料金一覧（九州地方整備局が定める上限）

種類	車種	利用料金（超過料金）
貸自転車	大人（15 歳以上）	3 時間…400 円（30 分ごとに 70 円） 1 日券…700 円
	小人（小・中学生）	3 時間…250 円（30 分ごとに 30 円） 1 日券…400 円
	電動自転車	1 日…2,000 円（うち保証金 1,000 円） ※保証金は、返却後に返金する。

※身体障がい者手帳および療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を提示された方は、本人および介護の方１名について半額。
※超過料金については、季節により増減している。

第 21 条 業務内容

１．施設等運営者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。
　１）自転車の貸出（料金収受及び領収発行含む。）に関すること。
　２）レンタサイクル施設の維持管理に関すること。
　３）自転車の利用に伴う苦情処理に関すること。
　４）前各号に掲げる業務に付随するもの。
２．日常の管理上で必要があると認められたときは、自転車の貸出の全部又は一部を中止することができるものとする。
３．自転車の貸出を中止することが、施設利用者へ影響が与えると考えられる場合は、九州地方整備局と協議を行う。

第 22 条 施設の運営

１．サイクリングセンターの運営
　１）施設等運営者は、各サイクリングセンターに必要人員を配置し、自転車貸出に伴う利用料金の徴収及び領収書の発行、自転車の貸出、自転車の整備等を行う。
　２）施設等運営者は、自転車の貸出開始前にサイクリングコースに異常がないか確認を行うこととする。
　３）施設等運営者は、レンタル自転車について第24条に基づく点検を行い、異常のないことを確認した上で貸し出すものとする。
　４）施設等運営者は、閉園後全ての自転車が返却されているか台数確認を行い、不足している場合はサイクリングコース等の探索を行い、未返却車両がないか確認をするものとする。
　５）施設等運営者は、待ち時間が長時間になることが予測される場合は、あらかじめその対策をたて、待機場所を設置する等、事前に必要な措置を講じるものとする。
　６）施設等運営者は、貸し自転車及びサイクリングコース利用にあたっての注意事項やサイクリングコース図を施設利用者に配布するなど安全かつ良好な施設利用がなされるよう努めなければならない。
　７）運営条件に定めていない事項に関しては、必要に応じて調査職員と協議すること。

第 23 条 施設・設備等の維持管理

1．施設等運営者は、施設利用者が安全かつ快適に利用できるよう、常に清潔かつ快適な状態に維持するため、以下の各号に掲げる業務を行うものとする。

1）施設及び施設周辺の清掃及び塵芥処理。

2）施設の点検整備及び軽微な補修又は故障の修理。

3）その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等。

第 24 条 安全管理

1．施設等運営者は、施設利用者が安全かつ快適に自転車を利用されるよう心がけ、常に自転車を正常な状態で維持するため、日常点検、定期点検、一斉点検を行う。

2．日常点検、定期点検、一斉点検については、下記頻度等により実施する。

1）日常点検：自転車貸出し時、及び返却時に毎回、車両及びその周辺等の点検を行い、良好な環境維持に努めること。

2）定期点検：概ね四半期ごとに１回、繁忙期前後で全保有車両を順次点検し、安全な環境整備に努めること。

3）一斉点検：年１回、自転車安全整備士の資格者によりＴＳマークの点検を、全保有車両を対象に行い、有効期限が切れないよう注意すること。なお、特殊自転車（二人乗り自転車等）については、公的機関認定の対象外、及びＴＳマーク認定の整備対象外であることから、自転車安全整備士がＴＳマーク認定自転車と同等の点検を行い、利用者の安全を確保すること。

3．施設等運営者は、日常点検として、自転車を貸出し時及び自転車返却時に次の各号をはじめ安全に関する項目について、点検を行うこととする。

1）貸出し時

①目視による車両の汚れの点検。

②目視・触検によるタイヤの空気圧、スポークの不具合、ブレーキの動作確認、ハンドルの歪み、チェーンの緩み等の点検。

③自転車の注意事項や操作方法等の説明を行う。特に、超過料金、ヘルメット着用及びスピード出しすぎ注意の安全走行についての案内は確実に伝えること。

④サドルの高さ調整を行うこと。

⑤施設利用者に不都合がないかを確認後、貸出しを行うこと。

2）返却時

①施設利用者から走行中に不都合がなかったかを確認すること。

②施設利用者から指摘があった場合は、その部分及び関連部分を点検すること。

③「自転車業務日報」を定め、点検結果を転記すること。

4．施設等運営者は、定期点検として、全保有車両を順次、次の各号に示す点検項目に従い点検を行うこととする。なお、点検の実施は、平日及び閑散期とする。

1）フレーム・前ホーク　：目視・打検による点検。

2）ハンドル　：目視・触検・作動による点検。

3）タイヤ・スポーク　：目視・触検による点検。
4）ギヤクランク　：目視・触検による点検。
5）ペダル　：目視・触検・作動による点検。
6）ブレーキ　：目視・触検・作動による点検。
7）チェーン　：目視・触検・作動による点検。
8）サドル　：目視・触検・作動による点検。
9）スタンド　：目視・触検・作動による点検。
10）鍵　：目視・触検・作動による点検。
11）子供乗せ用かご　：目視・触検・作動による点検。
12）ボルト　：目視・触検による点検。
13）変速機　：作動による点検。
14）その他　：その他、異常箇所があった場合に、異常箇所を追加点検。

5．点検後は以下の各号に示す処理を行う。
1）点検時に異常があった場合、自転車修理カードを添付し貸出し禁止とする。また、異常のある車両は他の車両と分けて１箇所にまとめておく。
2）異常箇所等の修繕については、軽微なものは担当者が行い、専門技術を要するものは自転車安全整備士の資格者が行うこと。
3）修理終了後、確認を行った後、貸出し禁止を解除すること。

6．点検の結果は、「自転車業務日報」を定めた上で、転記する。

7．その他、繁忙期においても、前項までに示す点検等項目を確実に行うものとし、日常点検を担当する者の技術力向上のため、自転車安全整備士による点検講習を受講する。

8．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

第 25 条 緊急時の対応

1．施設等運営者は、次の各号に掲げる事項が発生した場合は、貸出の一時中止・変更又は休止等について、調査職員と綿密な協議を行うものとする。協議の結果、貸出を一時中止・変更又は休止するときは、駐車場ゲート、公園ゲート及びサイクリングセンター前に営業休止の掲示を行う等公園利用者及び施設利用者に適切に告知するものとする。
1）地震、台風、大雨、大雪等悪天候または自然災害のため、走行に危険が予想されるとき。
2）事故などの不測の事態が生じたとき。
3）緊急事態が発生し、又はその発生が予想されるとき。
4）公園の管理運営上、サイクリングコースの一部又は全部の利用中止の必要が生じたとき。
5）九州地方整備局より指示があったとき。

2．施設等運営者は、前項の規定により自転車貸出を中止したときは、再開の前にサイクリングコースに異常のないことを確認しなければならない。

3．サイクリングコース等において事故が発生し又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で次の各号について、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職

員に報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日書面により九州地方整備局に報告すものとする。

1）事故発生日時。
2）事故発生場所。
3）事故発生の原因。
4）事故の程度。
5）人身事故の場合は、医師の診断結果又は被害者本人及びその家族等から得られた情報。
6）被災者の氏名、性別、年齢、連絡先。
7）事故処理の概略。
8）再発防止など改善策等。

第 26 条 費用負担

1．貸出に供する自転車の購入費用。

貸出に供する自転車の購入についてはすべて施設等運営者の費用によるものとする。

なお、新規・更新購入にあたっては、普通自転車、子ども同乗機能付き自転車、子供用自転車、補助付き自転車、タンデム（２人乗り）自転車各々の利用状況等から適切な車種及び台数について調査職員と協議し書面をもって、九州地方整備局に承諾を受けて購入すること（参考：現在の車種毎保有台数は、別添40参照）。

また、貸出に供する自転車は、自転車の品質を保証する公的機関の認定を受けたものでなければならない。また、購入後にＴＳマーク（財団法人日本交通管理技術協会）の取得をした自転車は、ＴＳマーク取得基準に適合しなくなった時点で新車に更新を行うものとする。

2．レンタサイクル施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、券売機を始めとする運営に関する備品等（建物除く）の費用、許可区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

3．その他、ヘルメット、修理に必要な備品類（タイヤチューブ等）、空気入れ等本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で必要な数を準備すること。ただし、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復すること。

4．前項までに記載の設備・備品に関する修理や劣化等による交換費用についても、施設等運営者の負担とする。

5．施設利用者の不適切な使用により、レンタル自転車を破損（パンクを含む）または紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費または施設等運営者が定める損害料を徴収する。

6．施設等運営者は、業務終了時には本規定書第１編第６章「財産管理第46条」に記載のとお

り、保有する自転車を次期施設等運営者に引き継ぐものとする。

第 27 条 責任の範囲

1．次の各号に該当する場合は、九州地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うものとする。

1）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することのできない事由によって生じた施設利用者の損害。

2）施設等運営者の過失あるいは貸出自転車の整備不良等に依らない損害。

2．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者はその損害を賠償すること。

3．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。ただし、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求める。

第 28 条 施設利用上の注意

施設運営者は、施設利用者に対し、以下の各号について注意喚起及び利用者指導等を行うこと。

1）自転車を使用しようとするときは、あらかじめ試乗し、ハンドル・ブレーキ・その他の装置が確実に操作でき整備が良好であることを確認すること。

2）乗車中又は使用中に自転車の装置について不良箇所が発生したときは、直ちに乗車を停止すること。

3）安全運転をすること。

4）備え付けのヘルメットを着用するよう促すこと。

5）乗車又は使用中に故意又は過失の有無にかかわらずその発生した傷害物件損害その他の事故による補償の請求を九州地方整備局に対して行わないこと。

6）無謀運転（競い合う行為）、酒気帯び運転、その他施設利用者及び公園利用者等に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

7）危険箇所、不適当な場所、サイクリングコース以外の場所での使用をしないこと。

8）公園利用者等の通行障害となるような行為をしないこと。

9）自転車の構造・装置等の改造及び変更をしないこと。

10）サイクルポケット（駐輪場）以外に駐輪しないこと。

第３章 飲食・物販施設

第 29 条 総則

施設等運営者は、飲食・物販施設の管理運営に際して、関係法令等を遵守し、施設利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めるものとする。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は九州地方整備局及び調査職員と協議するものとする。

第 30 条 施設の利用目的

飲食･物販施設は､国営海の中道海浜公園において飲食及び物販サービスを提供することを、施設の利用目的とする。

第 31 条 運営対象施設

運営対象施設は次のとおりとする。なお、施設等運営者は利用の状況や施設利用者及び公園利用者の声等から当該施設以外で常設の飲食・物販施設を追加実施できるものとし、その際は事前に九州地方整備局に書面をもって許可を受けるものとする。なお、許可された場合には追加施設分の使用料（日割り計算）を支払うことと。

■運営対象施設一覧

＜飲食・物販施設＞

施設名称	営業場所	必須／裁量
子供の広場休憩所レストラン及び売店（ワンダーシャトル）	ワンダーワールドエリア	必須
大芝生広場レストハウス内売店	芝生のエリア	必須
マリンワールド駐車場横売店	文化施設群エリア	必須
アニマルミュージアムショップ（動物の森レストハウス内）	動物の森	必須

第 32 条 責任者の選任

施設等運営者は、施設担当責任者、防火管理者、食品衛生責任者等、管理運営上法的に必要な資格を保持する者を選任した上で、飲食施設及び物販施設の管理運営にあたらせるものとする。

第 33 条 運営日時

１．施設等運営者は、原則として本公園の公開日を営業日、公開時間を営業時間とする。

■飲食・物販施設の営業日一覧

施設名称	営業日
子供の広場休憩所レストラン及び売店（ワンダーシャトル）	原則として公園の公開日・公開時間
大芝生広場レストハウス内売店	原則として公園の公開日・公開時間
マリンワールド駐車場横売店	原則として公園の公開日・公開時間
アニマルミュージアムショップ（動物の森レストハウス内）	原則として公園の公開日・公開時間

２．休園日以外に休業する場合や営業時間を短縮場合は、施設等運営者は原則、九州地方整備局と事前に協議を行い、書面により承諾を受けるものとする。

３．繁忙期等対応及び行催事の開催等により、公園の公開日時を変更した場合には調査職員より変更内容を通知するので適切に対応すること。

第 34 条 利用料金

施設利用者へ提供する商品の内容及び販売価格等は九州地方整備局と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支のバランスを鑑みながら、市場価格に準じて定める。

なお、販売品目等は施設利用者のニーズを把握し、その見直しを図るなど、満足度の向上に努めること。見直しを行う際は、九州地方整備局と事前に協議し書面により承諾を受けるものとする。

■サービス内容等一覧（参考：現行の販売・貸出品目）

＜飲食・物販施設＞

施設名称	販売・貸出品目
子供の広場休憩所レストラン及び売店（ワンダーシャトル）	麺類、丼物等のご飯類、ファーストフード類、バーベキューセット、その他調理した料理品（軽食類）、氷菓類、飲物類（アルコール飲料を含む）、菓子類、ソフトクリーム、フィルム類、キーホルダー、クラフト、御土産等
大芝生広場レストハウス内売店	飲物類、調理した料理品（軽食類等）、ソフトクリーム、菓子類、雑貨類、雨具類、御土産等、パターゴルフ用品貸出、ディスクゴルフ用品貸出等
マリンワールド駐車場横売店	飲物類、ソフトクリーム、氷菓子類、菓子類、雑貨類、雨具類、御土産等
アニマルミュージアムショップ	飲物類、ソフトクリーム、氷菓子類、菓子類、雑貨類、雨具類、御土産等

第 35 条 繁忙期の対応

施設等運営者は繁忙期の管理運営にあたって、各飲食・物販施設のスタッフを適切に配置し安定的なサービスの提供に努めるとともに、飲食施設の供給機能を補完し施設利用者へのサービス提供を強化するため、本規定書第３編第３章に基づき自主事業として臨時飲食施設を設置することができる。

第 36 条 業務の内容

１．施設等運営者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

１）飲食・物販施設の運営（販売・料金徴収等含む）に関すること。

２）飲食・物販施設の維持管理に関すること。

３）飲食・物販施設利用に伴う苦情処理に関すること。

４）前各号に掲げる業務に付随するもの。

第 37 条 施設・設備の維持管理

施設等運営者は、施設利用者が快適に施設を利用できるよう、常に清潔かつ快適な状態に維持することに努めるものとし、日常管理として、以下の各号に掲げる業務を行うものとする。

1）施設に係る清掃及び塵芥処理。

2）施設の点検整備及び軽微な補修又は故障の修理。

3）その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等。

第 38 条 安全衛生管理

1．衛生管理及び安全管理は、施設等運営者において全責任を負うものとする。

2．食品衛生法、消防法等の関係諸法令及び規則に基づき、安全衛生管理計画書（本規定書第１編第28条）を作成し、九州地方整備局に提出し承諾を受けるものとする。また、安全衛生管理計画書作成にあたっては、以下に示す項目のほか、十分な衛生管理及び安全管理等を行うとともに事故防止に努めるものとする。

1）運営にあたる全職員を対象として、年１回の健康診断を実施すること。調理した料理品等を販売・提供する事業を行うスタッフは、健康診断検査の結果、安全衛生上問題となる異常がある場合は、完全に回復したとの医師の診断が得られるまで職場復帰は認めないこと。また、下痢を起こしているなど体調不良者は出勤させてはならない。

2）消防法に基づき、消火器点検を年２回実施し、不備なものは随時取り替えること。

3）消防法に基づき、避難訓練、消火器訓練等を年２回実施すること。

3．上記法定点検等の結果については、遅滞なく九州地方整備局に報告すること。

4．飲食施設は、施設利用者に満足していただけるよう、商品管理の徹底、消防設備の点検、身だしなみ等、常に清潔、快適かつ安全な状態に維持するものとする。そのため、以下の管理を実施する。

1）始業及び終業時には、ガス、電気等を使う火災につながる器具の点検を行うとともに、清掃状態や施設の不具合についても点検を行うこと。

2）毎日の始業事に、服装、髪型、アクセサリー、爪、健康状態、頭髪について点検を行い、安全衛生や施設利用者の利用満足度の向上に努めること。

3）毎日、害虫の発生状況を点検し、必要に応じ適切な害虫駆除を行うこと。

4）清掃点検項目を定めた上で、これに基づき清掃を行い、テーブルや厨房内、カウンター、排水溝、厨房機器、ごみ箱の点検を行うこと。

5）毎日、売店商品の保管状況点検を行い、賞味期限切れ製品等を供することのないよう、賞味期限、腐敗、変色、異味、異臭などを確認すること。

6）毎日、冷蔵庫、冷凍庫等の温度点検を行うこと。

7）緊急時には、緊急連絡事項の取り扱いに関する規約と緊急連絡体制に基づいて、九州地方整備局、維持管理業務事業者をはじめ、関係機関に対し迅速に連絡・対応すること。

8）納品を行う業者に対して、書面及び日常的な安全運転の指導を行うこと。

9）運営に当たる全職員を対象として、腸内細菌検査のための検便検査を年２回実施し、検査の結果、異常がある者は、二次検査で異常の有無を確認し正常であることが確認され

ない限り、就業を認めないこととするなど、二次感染の防止に努めること。

5．食中毒等の事故が発生したとき、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で次の各号について、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日書面により九州地方整備局に報告すものとする。なお、食中毒等社会的な影響や人的影響等を伴うときは、九州地方整備局がマスコミ対応等を行うが、その際、九州地方整備局の求めに応じ施設等運営者は迅速かつ適切に協力しなければならない。また、九州地方整備局が策定した事故等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

1）事故発生日時。
2）事故発生場所。
3）事故発生の原因。
4）事故の程度。
5）人身事故の場合は、医師の診断結果又は被害者本人及びその家族等から得られた情報。
6）被災者の氏名、性別、年齢、連絡先。
7）事故処理の概略。
8）再発防止など改善策等。

6．食中毒等により、施設利用者に対して、人的損害を及ぼした場合は、施設等運営者の責任において、その賠償を行う。

7．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

第 39 条 費用負担

1．飲食・物販施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、運営に関する備品等（建物除く）の費用、管理区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

2．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。ただし、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。

3．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損または紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費または施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第 40 条 責任の範囲

1．次の各号に該当する場合は、九州地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うものとする。

1）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することのできない事由によって生じた施設利用者の損害。

2）施設等運営者の過失に依らない損害。

2．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者はその損害を賠償すること。

3．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。ただし、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求める。

第 41 条 施設利用上の注意

施設運営者は、施設利用者に対し、以下の各号について注意喚起及び利用者指導等を行うこと。

1）危険物を持ち込み、その他、秩序を乱し、風紀を害する恐れがある者。

2）公園で定める制限事項に違反する者。

3）ペット等の動物。ただし、身体障害者補助犬となる盲導犬、介助犬、聴導犬については除く。

4）その他施設利用者及び公園利用者の安全、快適を妨げる者。

第４章 デイキャンプ場

第 42 条 総則

施設等運営者は、デイキャンプ場の管理運営に際して、関係法令等を遵守し、利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めるものとする。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は九州地方整備局及び調査職員と協議するものとする。

第 43 条 施設の目的

デイキャンプ場は、本公園において施設利用者へのサイト（バーベキューを行う区画）の予約受付、バーベキュー器具の貸出し、食材等の販売・提供と施設利用者のための駐車場の運営を施設の目的とする。

第 44 条 運営対象施設

運営対象施設は次のとおりである。

■運営対象施設一覧

施設名称	規模等	必須／裁量
デイキャンプ場	40サイト	必須
炊飯棟	２棟	必須
デイキャンプ場受付及び資材倉庫	－	必須
デイキャンプ場倉庫	－	必須
デイキャンプ場駐車場	普通72台（3台）	必須

※デイキャンプ場駐車場の（ ）書きは、身障者用駐車台数

第 45 条 責任者の選任

施設等運営者は、施設担当責任者、食品衛生責任者等、管理運営上法的に必要な資格を保持する者を選任した上で、デイキャンプ場の管理運営にあたらせるものとする。

第 46 条 運営日時

１．運営日時は提案された内容とする。なお、運営期間を短縮又は延長する場合は、施設等運営者は、事前に九州地方整備局に届け出る。

運営日時

■営業日

原則として３月第３土曜日から11月第２日曜日

■営業時間

① ７月第３土曜日から８月３１日までの土・日・祝日及び８月13日から15日迄は、10時00分から19時30分

② 上記①以外のサンシャインプール営業期間中は、10時00分から18時00分

③ 上記①②以外の営業期間中は、10時00分から17時00

第 47 条 利用料金

施設利用者へ提供するサイト使用料、器具貸出品目及び価格、飲食品目及び価格は、提案された内容とするが、価格は九州地方整備局長と協議の上、周辺類似事例に基づき、デイキャンプ場の収支バランス（使用料含む）を鑑みながら、市場価格に準じて定める。

＜参考＞

■現行のサービス内容等一覧

施設名称	貸出・販売品目
デイキャンプ場	器具貸出 バーベキューフルセット（コンロ、網、鉄板、炭、火バサミ、軍手、トング、皿、箸、紙おしぼり）　、バーベキューコンロセット（コンロ、網、火バサミ、トング)、テーブルセット（折りたたみテーブル×１、折りたたみチェア×５)、鉄板セット（鉄板、ヘラ、油)、クッキングセット（まな板、包丁、ザル、ボール、トング)、網、鉄板、鍋、コンロ、お玉、折りたたみテーブル、折りたたみイス、リアカー、テント、２人掛けベンチシート、クーラーボッス 手ぶらＤＥうみなかセット 食材提供、器具レンタル、火付け、セッティング、後片づけ、ごみ回収について事業提携している専門事業者を紹介する業務

第 48 条 業務内容

１．施設等運営者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

１）利用に伴う受付・調整に関すること。

２）利用料金の徴収に関すること。

３）バーベキュー器具の貸出に関すること。

４）デイキャンプ場の利用に伴う苦情処理に関すること。

５）デイキャンプ場駐車場の運営（料金徴収及び領収含む。）、維持管理及び安全管理に関すること。

６）前各号に掲げる業務に付随するもの。

２．日常の管理上で必要があると認められたときは、デイキャンプ場の全部又は一部の利用を中止することができるものとする。

３.デイキャンプ場の利用を中止することが､施設利用者へ影響が与えると考えられる場合は、九州地方整備局と協議を行う。

４．施設利用者の利便を向上するため、食材等を販売・提供することができるものとし、食材等の販売・提供（現行の手ぶらＤＥうみなかセットと同様の事業含む。）を行う際には、事前に九州地方整備局に承諾を受けるものとする。

第 49 条 施設の運営

１．予約受付

１）施設等運営者は、デイキャンプ場の利用について、２ヶ月前から利用日まで予約を受け付け、先着順で予約調整を行うこと。

２）施設等運営者は、予約受付のための専用の電話・ＦＡＸを用意すること。

２．器材貸出、食材販売・提供

1）施設等運営者は、デイキャンプ場利用者のために、器材貸出を行うこと。また、第48条４項で九州地方整備局に承諾を得た場合に行う食材等の販売・提供を行うこと。

3．天候の変化に対応するためのサービスについて等、運営条件に定めていない事項に関しては、必要に応じて調査職員と協議すること。

4．利用制限等

1）次の各号に該当する場合は、利用を禁止するものとする。

① 危険物を持ち込み、その他、秩序を乱し、風紀を害する恐れがある者

② 公園で定める制限事項に違反する者

③ 付添者を伴わない中学生未満の者

④ その他施設利用者及び公園利用者の安全、快適を妨げる者。

5．デイキャンプ場駐車場の運営にあたっては、以下の事項に留意すること。

1）施設等運営者はデイキャンプ場受付に必要人員を配置し、駐車料金の徴収及び領収の発行を行う。（駐車場利用料金は本規定書第２編第６条に準ずる）

2）デイキャンプ場駐車場利用者のうち身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の提示者には、駐車場無料券の発券を行うものとする。また、年間パスポート提示者には、年間パスポート提示時の駐車料金を徴収し、駐車券を発券する等安定的な利用者サービスの提供を行うこと。

3）デイキャンプ場駐車場の混雑具合に応じて誘導員等を配置する等、適切な運営を行うこと。

4）繁忙期の対応については、本規定書第２編第１章第８条第２項によるものとする。

5）運営条件に定めの無い事項に関しては、必要に応じ協議すること。

第 50 条 施設・設備等の維持管理

1．施設等運営者は、施設利用者が快適に施設を利用できるよう、常に施設を良好な状態に維持することに努めるものとし、日常管理として、以下の各号に掲げる業務を行うものとする。

1）施設に係る清掃及び塵芥処理（掃き掃除は毎日、舗装面洗浄は月１回実施）

2）施設の点検整備及び軽微な補修又は故障の修理

3）その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等

2．デイキャンプ場駐車場の維持管理については、本規定書第２編第１章第９条によるものとする。

第 51 条 安全衛生管理

1．衛生管理及び安全管理は、施設等運営者において全責任を負うものとする。

2．食品衛生法、消防法等の関係諸法令及び規則に基づき、安全衛生管理計画書及び緊急時連絡体制を定めて、九州地方整備局に提出すること。また、安全衛生管理計画書作成にあたっては、以下に示す項目のほか、十分な衛生管理及び安全管理等を行うとともに事故防止に努めるものとする。

1）運営にあたる全職員を対象として、年１回の健康診断を実施すること。九州地方整備局

の承諾を受け、直接食材を販売・提供する事業行うこととなった場合には、健康診断検査の結果、安全衛生上問題となる異常がある者は、完全に回復したとの医師の診断が得られるまで職場復帰は認めないこと。また、下痢を起こしているなど体調不良者は出勤させてはならない。

2）消防法に基づき、消火器点検を年２回実施し、期限切れ等不備なものは随時取り替えること。

3）消防法に基づき、避難訓練、消火器訓練等を年２回実施すること。

3．上記法定点検等の結果については、遅滞なく九州地方整備局に報告すること。

4．飲食施設は、施設利用者に満足していただけるよう、商品管理の徹底、消防設備の点検、業務従事者の身だしなみ等、常に清潔、快適かつ安全な状態に維持するものとする。そのため、以下の管理を実施する。

1）始業及び終業時には、ガス、電気等を使う火災につながる器具の点検を行うとともに、清掃状態や施設の不具合についても点検を行うこと。

2）毎日の始業事に、服装、髪型、アクセサリー、爪、健康状態、頭髪について点検を行い、安全衛生や施設利用者の利用満足度の向上に努めること。

3）毎日、害虫の発生状況を点検し、必要に応じ適切な害虫駆除を行うこと。

4）清掃点検項目を定めた上で、これに基づき清掃を行い、テーブルや厨房内、カウンター、排水溝、厨房機器、ごみ箱の点検を行うこと。

5）九州地方整備局の承諾を受け、直接食材を販売・提供する事業を行うこととなった場合には、毎日、売店商品の保管状況点検を行い、賞味期限切れ製品等を供することのないよう、賞味期限、腐敗、変色、異味、異臭などを確認すること。

6）九州地方整備局の承諾を受け、直接食材を販売・提供する事業を行うこととなった場合には、毎日、冷蔵庫、冷凍庫等の温度点検を行うこと。

7）緊急時には、緊急連絡事項の取り扱いに関する規約と緊急連絡体制に基づいて、九州地方整備局、維持管理業務事業者をはじめ、関係機関に対し迅速に連絡・対応すること。

8）納品を行う業者に対して、書面及び日常的な安全運転の指導を行うこと。

9）九州地方整備局の承諾を受け、直接食材を販売・提供する事業を行うこととなった場合には、運営に当たる全職員を対象として、腸内細菌検査のための検便検査を年２回実施し、検査の結果、異常がある者は、二次検査で異常の有無を確認し正常であることが確認されない限り、就業を認めないこととするなど、二次感染の防止に努めること。

5．食中毒等の事故が発生したとき、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で、次の各号について、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、書面により九州地方整備局に報告するものとする。なお、食中毒等社会的な影響や人的影響等を伴うときは、九州地方整備局がマスコミ対応等を行うが、その際、九州地方整備局の求めに応じ施設等運営者は迅速かつ適切に協力しなければならない。また、九州地方整備局が策定した事故等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

1）事故発生日時。

２）事故発生場所。
３）事故発生の原因。
４）事故の程度。
５）人身事故の場合は、医師の診断結果又は被害者本人及びその家族等から得られた情報
６）被災者の氏名、性別、年齢、連絡先。
７）事故処理の概略。
８）再発防止など改善策等。

６．食中毒等により、施設利用者に対して、人的損害を及ぼした場合は、施設等運営者の責任において、その賠償を行う。

７．デイキャンプ場駐車場の安全管理については、本規定書第２編第１章第10条によるものとする。

第 52 条 費用負担

１．デイキャンプ場運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、貸出に供するバーベキュー器具を始めとする運営に関する備品等（建物除く）の費用、天候の変化に対応するためのサービス等に関わる費用、許可区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

２．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。但し、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復すること。

３．施設利用者の不適切な使用により、バーベキュー器具を破損等した場合は、原則施設利用者責任として、修理費または施設等運営者が定める損害料を徴収する。

４．費用負担のうちデイキャンプ場駐車場に関する事項については、本規定書第２編第１章第12条によるものとする。

第 53 条 責任の範囲

１．次の各号に該当する場合は、九州地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うものとする。

１）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することのできない事由によって生じた施設利用者の損害。

２）施設等運営者の過失等に依らない損害。

２．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者はその損害を賠償すること。

３．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。ただし、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者

に損害の賠償を求める。

４．デイキャンプ場駐車場における利用者に対する賠償等の責任の範囲については、本規定書第２編第１章第13条によるものとする。

第 54 条 施設利用上の注意

施設等運営者は、施設利用者に対し、以下の各号について注意喚起及び利用者指導を行うこと。

なお、利用者指導を行ってもルール等を守らない施設利用者については、強制的に退場させる事ができるものとする。

１）指定された場所以外では、バーベキューを行わないこと。また、直火での利用は行わないこと。

２）他の利用者の安全又は公園施設の正常な利用に支障を及ぼす恐れのある行為は行わないこと。

３）海浜部における事故等は公園管理者及び施設運営者は一切の責任を負わない。

４）バーベキュー終了後は、利用した場所及びレンタル器具を清掃の上、返却を行うこと。

５）他の利用者の快適性を損なう音響等の発生を伴う行為は行わないこと。

６）公園管理者が設置した喫煙所以外での喫煙は行わないこと。

７）他の利用者の安全又は公園施設の正常な利用に支障を及ぼす恐れのある行為

８）以下の物品を持ち込まないこと。

① ゴルフクラブ、ゴルフボール

② 銃及び刀剣類（モデルガン・木刀・竹刀、その他これに類するもの）

③ ブーメラン、弓矢、パチンコ、ラジコン飛行機、その他これらに類するもの

④ 花火、火薬、大量のガス

⑤ 木製バット、金属製バット、野球のボール（キャッチボール専用球は除く）、ソフトボール

⑥ スケートボード、キックボード

⑦ その他、施設利用者及び公園利用者の安全かつ施設利用に支障を及ぼし、公園施設を毀損する恐れがあるもの

９）ペットの持込は、犬・猫・ウサギ・ハムスター・その他これらに類するものに限り、随伴者が引き綱（リード）又はカゴ（ゲージ）等によりペット類の行動を完全制御できる状態で随伴する場合に限る。なお、糞尿・ブラッシング等の処理及び他の利用者とのトラブルについては、随伴者自らの責任において対応すること。

第５章 サンシャインプール

第 55 条 総則

施設等運営者は、サンシャインプールの管理運営に際して、関係法令等を遵守し、施設利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めるとともに、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に管理運営を行うものとする。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は九州地方整備局と協議するものとする。

第 56 条 施設の目的

サンシャインプールは、国営海の中道海浜公園において施設利用者への遊泳を目的としたプール施設の提供を行うことを施設の目的とする。

第 57 条 運営対象施設

運営対象施設は次のとおりとする。

■運営対象施設一覧

〈プール〉

施設名称	営業場所	必須／裁量
サンシャインプール （管理棟、ロッカー棟、便所、機械棟、植栽地等の付帯施設含む）	パークエリア	必須

＜プール内売店＞

施設名称	営業場所	必須／裁量
プール内売店Ａ	サンシャインプール内	必須
プール内売店Ｂ	サンシャインプール内	必須
プール内売店Ｃ	サンシャインプール内	必須

第 58 条 責任者の選任

施設等運営者は、施設担当責任者を選任したうえでサンシャインプールの管理運営にあたらせるものとする。

第 59 条 運営日時

１．施設等運営者は、原則として７月第２土曜日・日曜日、７月第３土曜日から８月末まで、９月の土曜日・日曜日・祝日（９月最終土曜日・日曜日は除く）の公園開園日を運営期間とする。なお、運営期間を短縮又は延長する場合は、施設等運営者は、事前に九州地方整備局と協議し、書面により提出するものとする。

２．施設等運営者は、原則として以下の時間を営業時間とする。

■営業時間

①７月第２土曜日・日曜日、７月第３土曜日から８月末まで：９：００～１８：００

②９月の土曜日・日曜日・祝日（９月最終土曜日・日曜日は除く）：９：００～１７：００

第 60 条 利用料金

施設利用者へ提供するプールの利用料金は、九州地方整備局と協議のうえ、周辺類似事例及び収益施設全体のバランスを考慮し定めるものとする。

■＜参考＞現行利用料金一覧

区分			プール利用料金（一人につき）	備考
普通料金	一般	15 才以上の者 ６才以上 15 才未満の者 ３才以上６才未満の者	1,590 円 830 円 160 円	
	団体	15 才以上の者 ６才以上 15 才未満の者 ３才以上６才未満の者	1,270 円 670 円 110 円	団体は、３才以上の者 15 人以上をいう

※上記の額を超えない範囲で、必要に応じ利用促進を図るため別に割引料金を定めることができる。

第 61 条 業務の内容

施設等運営者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

１）プールの運営に関すること。

２）プールの各施設、設備等維持管理に関すること。

３）プールの安全衛生管理に関すること。

４）プールの利用に伴う苦情処理に関すること。

５）前各号に掲げる業務に付随するもの。

第 62 条 プール入場券の販売等

１．プール入場券の発券方法等は、原則として次の各号によるものとする。

１）プール入場券は、公園入口において公園入園料を含む通し券として発行するものとする。なお、プールゲートにおいては、プール入場券のみの発行も行う。

２）団体券は、団体を構成する人数分の枚数を発行するものとする。

３）発券方法は、手売り又は自動券売機によるものとする。

２．プール入場券の前売りを行う場合は、次の各号によるものとする。

１）前売券は、プールの開設前及び開園期間中に施設等運営者が販売し、その代金を収納する。

２）前売券は、公園入園整理券代を含むものとし、プール利用料金は団体扱いとする。

なお、前売券には、入園整理券（３才以上６才未満の者を除く。）を組みにしておき、利用者がこの券で入園できるようにする。

３．プールモニター券によるプール利用を行う場合は、次によるものとする。

プールモニター券による利用者は、公園窓口で公園入園料を含むプール入場券を購入して入園し、プールを利用できるものとする。

４．招待券によるプール利用を行う場合は、次によるものとする。

招待券には、入園整理券を組みにしておき、利用者がこの券で入園できるようにする。

５．企業等補助券によるプール利用を行う場合は、次の各号によるものとする。

１）利用券は、官庁、企業が福利厚生施設として利用する場合に限り、適宜、発行する。

２）利用券による場合は、団体扱いとする。

３）企業等補助券は、公園入園料を含む通し券として発行するものとする。

６．プール付属のロッカー利用料金は、第74条第２項によるものとし、使用中の鍵の保管は使用者の責任とする。

７．上記の利用料金は、いずれも消費税を含むものとする。

８．発行済みの入園（場）及び利用券は、原則として払戻しはしないものとする。

ただし、天災その他の不可抗力により公園の利用ができない場合、又は止むを得ない理由があると認められるときは、払戻しすることができるものとする。

９．施設利用者で、プール場外へ退場し、当日のうちに再入場を希望する者は、プールゲートで再入場券を指定の箇所で受けるものとする。施設利用者が再入場する場合は、再入場券をプール係員が確認し、再入場を認める。

10．プール入場券に含まれている公園の入園料は、利用者が公園に入園した日に国庫に振り替えるものとする。また、プールモニター券、招待券、企業等補助券で利用者が公園に入園した場合は、入園した日に集計した入園料相当額を国庫に納入する。

第 63 条 営業開始前後の対策

１．サンシャインプールの安全な管理運営を行うため、施設等運営者は安全衛生管理計画書を作成し、６月末日までに九州地方整備局に提出するものとする。なお、作成に当たっては、「プールの安全標準指針（平成19年３月文部科学省及び国土交通省）」、「遊泳用プールの衛生基準について（平成19年５月28日厚生労働省）」、「福岡県プール衛生指導要綱」並びにその他関係法令を参考にすること。

２．施設等運営者は、下記に示す項目を盛り込んだ安全衛生管理計画書を基にプール安全衛生管理マニュアルを作成し、点検等を行うものとする。本点検において、異常が発見された場合は、直ちに九州地方整備局に報告し、修理、交換を行うなど対応を協議する。

１）消防法に基づき定期点検等を実施し、消防設備の現状把握及び良好な状態の維持に努めるとともに、不具合箇所が発生した場合には速やかに九州地方整備局に報告し、対策を協議すること。

①自動火災報知機設備、消火器設備、誘導灯設備、非常警報設備の外観確認、動作等の確認等、外観・機能点検を年２回実施。（１回目：毎年３月、２回目：毎年プール営業前の６月に実施。）

②自動火災報知機設備、消火器設備、誘導灯設備、非常警報設備の配線の絶縁抵抗等の確認のための総合点検を年１回実施。（毎年３月に実施。）

③消防訓練をプール営業従事者対象に年１回実施。（毎年６月に実施。）

２）点検に関するチェックシートを作成し、プール施設・設備の使用期間前及び使用期間後の点検を行う。特に、次の事項については重点的に点検を行う。

①排水口の蓋がネジやボルト等で正常な位置に堅固に固定されているか。（蓋の重量による固定、針金による固定は不可。）

②蓋等やこれを固定しているネジ、ボルト等に腐食、変形、欠落、緩み、亀裂、破損等の

異常がないか。

③配管の取り付け口に吸い込み防止金具等が取り付けられているか。

④プールが安全で快適に利用できるよう開園前清掃が確実に行われているか。

3）「遊泳用プールの衛生基準について（平成19年５月28日健発第0528003号厚生労働省健康局長通知）」、「福岡県プール衛生指導要綱」に従い水質検査を実施する。（詳細は、「本章 第68条 プールの水管理」を参照のこと。）

4）プール営業期間中にネジ、ボルト等が破損、欠落した場合に備え、ネジやボルト等の予備、必要な工具をプール管理棟に備えておく。

3．施設等運営者は、プール安全衛生管理マニュアルに従い、プール管理体制の構築、監視員の教育、プール施設の点検を行うものとする。（監視員等の教育訓練についての詳細は、「本章 第65条 監視員等の教育」を参照のこと。）

4．施設の点検にあたっては、九州地方整備局が立ち会うものとする。なお、給水口、排水口、吐出口については、専門業者と共に点検すること。また、点検の際には過去の点検結果との照合を行い、僅かでも異常がないか確認すること。

5．点検の結果、施設の整備や改修を行う場合は、九州地方整備局と協議を行い、必要な措置を講じるものとする。

6．施設等運営者は、営業開始前に、施設全体の一斉清掃を行うとともに、プールエリアを区切る外柵の設置など、必要な施設・設備の設営を行うものとする。なお、営業開始前の一斉清掃の内容は以下のとおりである。

1）業務区域：プール水槽、プールサイド、プール管理棟、便所、腰洗い槽、足洗い槽、北管理棟、ロッカー棟及びその周辺、水遊び広場、売店等サンシャインプールエリア内全て

2）清掃内容は以下の項目を実施すること。

①プール槽、プールサイド等（所定場所に応じてデッキブラシ、高圧洗浄、バキューム車、ワックス洗浄を行う）

②ロッカー棟の床清掃

③日よけ等仮設工作物の配置

④プールエリア内の草刈り及びごみ拾い

⑤プール開園準備及び諸行事の設営補助

⑥テーブル、イス、ごみ箱、灰皿、監視台、案内板、コースロープ等の配置

⑦その他九州地方整備局又は管理責任者が指示する作業

7．施設等運営者は、給水口、排水口、吐出口の蓋、ネジ、ボルト等について異常がないか確認するものとする。

8．施設等運営者は、営業期間中の管理日誌、点検チェックシート等の記録について、営業終了の翌日から５年間保管するものとする。

第 64 条 プール監視体制の構築

1．プールの監視を円滑に遂行するため、下記の体制を構築する。

1）施設担当責任者：プールの管理及び運営の総括にあたる。なお、施設担当責任者を補佐

する施設担当責任者代理も選任する。

2）管理責任者：現場に常駐し、プールについての管理上の権限を行使し、安全で衛生的なプールの現場統括にあたる。管理責任者には、プール施設管理士講習、プール衛生管理者、ウォータスライド講習、普通救命講習を受講した者をあてる。

3）衛生管理者：水質に関する基礎的知識、プール水の浄化消毒知識を有し、プール管理のための施設の維持、水質浄化装置の運転管理、その他施設の日常の衛生管理にあたる。衛生管理者には、プール衛生管理者講習及び普通救命講習を受講した者をあてる。

4）管理棟スタッフ：管理責任者の指示に従い、プールの利用案内、監視状況の確認、トイレの清掃状況の確認等を行う。管理棟に通常１名／日を配置し、土曜日、日曜日、祝日、お盆期間（８月13日～15日）については、１～２名／日を配置する。

5）監視員：施設利用者が安全に利用できるよう、施設利用者の監視及び指導等を行うとともに、事故等の発生時に救助活動を行う。監視員は次の４種類に分類し、配置する。

①監視隊長：監視について経験豊富で、かつ高度な判断力並びに業務の総合的な指導等の能力を有する者をあてる。他の監視員を総括、指導するとともに、管理責任者や衛生管理者と連絡を密にして安全衛生管理につとめる。監視隊長には、６年以上の監視経験があり、日本赤十字社水上安全法救助員の資格を有する者をあてる。プール開園期間中１名／日を配置する。

②監視副長：監視について経験豊富で、かつ的確な判断力を有する者をあてる。流水プール、森の湖プール、恐竜噴水プール、ウォータージャングルにそれぞれ１名（計４名／日）を配置し、担当エリアの監視を行うとともに、あわせて、監視隊長の補佐、各プールの監視員を指導、監督する。監視副長には、３年以上の監視経験があり、日本赤十字社水上安全法救助員の資格を有する者をあてる。

③監視員：監視隊長、監視副長の指示に従って担当エリアの監視を行い、安全衛生管理に努める。監視員は、「日本赤十字社水上安全法救助員短期講習」又はこれと同等の講習を受講した者で普通救命資格を有し、50m以上の泳力のある者をあてる。

④巡回監視員：監視隊長の指示に従い、１時間に１回プール内を巡回し、プール内の巡回警備（刺青対応等）、各工作物（仮設日よけ、外柵、看板等）の点検及び清掃等を行う。また、ロッカー棟の出入口及びロッカー棟内に常駐し、安全管理に努める。

6）救護員：プール内にて傷病者が発生した場合に応急救護にあたる。期間中、看護師を１名以上常駐させる。また、施設利用者が多くなる日曜、祝日、お盆期間（８月13日～15日）については、看護師２名以上を常駐させ応急救護にあたる。

7）施設維持管理員：プール内施設が常に安全快適に利用できるよう、機械室に４名常駐させ、主に電気・機械施設の維持管理を行う。

8）クリーンスタッフ：原則として通常期は５名体制（２交代制）、繁忙期は６名体制（２交代制）にて、プール内が常に清潔に保たれるよう清掃・ごみ処理を行う。

9）バス運行管理員：海の中道駅口、西口、ワンダーワールドロから入園する施設利用者のためにバスによる園内送迎を行い、施設利用者の利便を図る。運行速度は時速20km以下の走行を徹底し、利用状況に応じてバス停留所に誘導員を適宜配置するなど、安全管理の徹

底を図る。

10）巡回警備員：盗難や痴漢等の犯罪防止及び刺青をしている者への注意喚起をするため巡回を行う。

２．施設等運営者は、施設利用者の安全を確保するため、プール営業期間中の監視員の配置については、一般的な監視の重点ポイントに加え、サンシャインプールの施設的な特徴や過去における利用状況を踏まえ、適正な箇所に適正な人数の監視員を配置する。また、利用状況に応じて、適宜監視員数を増員すること。

第 65 条 監視員等の教育

施設等運営者は、プール営業開始前に、監視員等に対して「日本赤十字社水上安全救助員短期講習」またはそれと同等の講習会を受講させるとともに、監視員スタッフマニュアルを別に定めた上で、これに基づいて、以下の監視員等の教育・訓練を実施する。

１）すべての監視員に対して、次に示す事項を中心とした安全管理にかかる教育・訓練を実施する。また、プール営業期間中に新たに雇用した監視員へは、就業前に同様の教育・訓練を実施する。

①プールの施設概要

②プール施設内での事故防止対策

③事故発生等緊急時の措置と救護

２）プール営業期間中においては、定期的に緊急事態の発生を想定した実地訓練を行う。また、毎日の始業及び終業において、ヒヤリハットの事例等について監視員に発表させ、翌日以降の安全管理に備える。

①飛び込み事故や溺水事故を想定した、緊急連絡方法の周知、訓練を行う。

②異常等の察知からポンプの非常停止までの手順及び所要時間の計測を行う訓練を、毎週１回プール営業終了後に実施する。

③毎日の始業及び終業時に「ヒヤリとしたこと」、「ハットしたこと」、「気がかりなこと」、「施設利用者からの苦情」等について、監視員より発表させ、即時、状況に応じた対策を講じる。

３）教育・訓練の実施記録は、その記録を５年間保管する。

第 66 条 営業期間中のプール点検

１．施設等運営者は、プール営業期間中において、「福岡県プール衛生指導要綱」、及び「遊泳用プールの衛生基準について」（平成19年５月28日健発第0528003号厚生労働省健康局長通知）に従い水質検査を実施するほか（詳細は、第２編 第68条「プールの水管理」を参照のこと。）、プール安全衛生管理マニュアルに従い、監視業務、施設利用者への指導、緊急時の対応、施設利用者への情報提供、衛生管理、電気機械設備管理等、下記に示す点検等を行うものとする。本点検において異常が発見された場合は、管理責任者は直ちにその対策を講じることとする。なお、各種点検表については、事前に定め、それに点検結果等を記録するとともに、５年間保管する。

■点検項目

項目	主な内容	実施時期	報告のフロー
プール日誌（施設担当責任者用）	・日々の入場者数、最高気温、水温、スタッフ配置人数、迷子件数等の基本情報の記録。 ・事故、雷対応記録。	毎営業日	管理責任者
救護日誌	・救護者の基本情報及び発生場所、症状、処置方法、発生原因の記録。	毎営業日	
安全巡視報告書	・監視が適正に行われているかの確認及び指導。 ・清掃状況及び不審物の有無の確認及び指導。 ・巡回中の施設利用者への案内・利用制限等の臨機な対応。	毎営業日	管理棟スタッフ ↓ 管理責任者
始業・終業報告書	・各種情報共有。 ・ヒヤリハットの事例及びその対策。事例については、監視員控室に常時掲示する。 ・クレームとその内容。	毎営業日	監視隊長 ↓ 管理責任者
業務開始前点検表 業務終了後点検表	・排水口等の点検。 ・水位、塩素濃度、救命具、表示物の確認 ・プールやスライダー本体及び足洗い槽等の付属施設の確認	毎営業日	監視員 ↓ 監視副長 ↓ 監視隊長 ↓ 管理責任者
訓練報告書	・溺水等の事故を想定した訓練。	毎日 ※吸い込み事故訓練実施日除く	監視隊長 ↓ 管理責任者
	・排水口等における吸い込み事故等を想定した訓練。	毎週１回	監視隊長 ↓ 管理責任者
プール日誌（監視員用）	・水質、気温、水温の測定。 ・清掃状況、異常個所の有無の確認。	毎営業日	監視員 ↓ 監視副長 ↓ 監視隊長 ↓ 管理責任者
環（排）水口等点検表	・環水口、排水口、排水升の状況やボルト等の点検。 ・足洗い槽の管理や点検。	毎営業日	監視員 ↓ 監視副長 ↓ 監視隊長 ↓ 管理責任者
巡回監視員日報	・置き引き、喫煙、迷子、違反・迷惑行為、清掃状況等の点検。 ・工作物（足洗い槽、仮設日よけ、外柵、看板等）の点検。	毎営業日	巡回監視員 ↓ 監視隊長 ↓ 管理責任者
日々の点検結果の掲示	・プール入口に看板を設置し、プールの安全性の確認状況を掲示。 ・日々点検結果、気温、水温、湿度を記録（９時、12 時、14 時）。	毎営業日	管理棟スタッフ （看板記入者）

２.九州地方整備局は、必要に応じ施設等運営者による業務の履行状況を検査するものとする。

なお、検査方法及び期間については、別途協議の上決定するものとする。

第 67 条 施設・設備の維持管理

1．施設等運営者は、施設利用者が快適に施設を利用できるよう、常に施設を良好な状態に維持することに努めるものとし、日常管理として、以下の各号に掲げる業務を行うものとする。

1）施設に係る清掃及び塵芥処理。

2）施設の点検整備及び軽微な補修又は故障の修理。

3）その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等。

2．施設等運営者は、営業開始前及び営業終了後、及び九州地方整備局が指示したときは、次の各号に示す巡視・点検を行う。

1）運転前には、電気系統、バルブの開閉、水位の確認等の点検を行う。

2）美観や設備の機能回復等のため、定期的（３～４回/年）に設備の総点検を行う。なお、長期休止後の再運転前も同様に設備の総点検を行うものとする。

3）損傷防止のため、点検の結果に基づき、調整、給油、部品交換、修理、清掃を行う。

4）巡視・点検結果は、点検報告書として取りまとめ、九州地方整備局に報告する。

5）その他、ポンプ施設等の点検内容は次のとおりである。

■点検項目

名称	点検内容
水中ポンプ	a)電流計の指針のよる負荷状態 b)絶縁抵抗 c)モーターの封水 d)防錆状態 e)ケーブルの損傷
陸上ポンプ	a)ポンプの負荷状態 b)軸受部の異音・振動 c)カップリングの点検 d)ドレインパイプの排水状態 e)ボトル・ナットの緩み f)漏水発生の点検 g)軸受部オイル点検 h)モーターの絶縁抵抗
ろ過設備	a) 動作確認 b) ろ材の状態 c) 配管、バルブの発錆、漏水状態 d) 池内の水の状態
滅菌・殺藻設備	a)動作確認 b)消毒・殺藻素材の状態 c)配管、バルブの発錆、漏水状態 d)消毒・殺藻濃度または強度
水景制御盤	a)箱体(塗装・損傷・扉の開閉・施錠・扉のパッキン) b)盤面(電圧・電流計・表示灯・銘板・スイッチ動作) c)盤内(端子のゆるみ・配線の変色・換気装置) d)タイマー(時刻修正・動作確認) e)漏電ブレーカー(動作確認) f)サーマルリレー(動作確認・設定値の確認) g)警報回路(動作確認) h)絶縁測定

３．施設等運営者は、営業期間外において、サンシャインプール内の施設を良好な状態に維持することに努めること。

第 68 条 プールの水管理

１．プールへの給水は、近隣地域等への影響のないよう、水道管理者である福岡市と事前に協議を行い、その協議結果に基づき行うこと。

２．「福岡県プール衛生指導要綱」、及び「遊泳用プールの衛生基準について」（平成19年５月28日健発第0528003号厚生労働省健康局長通知）に基づき、営業開始前及び月１回定期での水質管理を行うとともに、営業期間中は毎日、１時間ごとに残留塩素濃度の検査を行い、記録すること。なお、その結果、遊離残留塩素が基準値を下回るなど水質が悪化した場合には、速やかに塩素濃度調整や給水等による水質向上のための措置を行う。

１）プール等取締条例施行規則に基づき、毎時１回監視員が遊離残留塩素を計測。プール開園期間中、２回、専門機関により、水素イオン濃度、濁度、過マンガン酸カリウム消費量、大腸菌群、一般細菌の検査を実施。

２）厚生労働省通知に基づき、年１回以上専門機関により、総トリハロメタン濃度の検査を実施。

３．福岡市東区東保健所の水質検査等が実施されるときは、施設等運営者は協力すること。

■水質等基準

項目	基準値	測定回数
水素イオン濃度	pH値5.8から8.6まで	１時間毎
濁度	２度を超えない	１時間毎
過マンガン酸カリウム消費量	12mg/lを超えない	１回/月以上
大腸菌群	50ml中に検出されない	１回/月以上
一般細菌	１mlにつき200CFUを超えない	１回/月以上
遊離残留塩素	0.4mg/l以上1.0mg/l以下	１時間毎
総トリハロメタン濃度	おおむね0.2mg/l以下	１回/月以上

４．営業期間中の清掃作業で以下の作業を実施する。

１）巡回清掃：営業期間中は利用状況等に応じてクリーンスタッフにより、プールサイドや床面他の掃き掃除、水洗い、ごみ拾い、ごみ箱のごみ回収等を行う。また、便所、ロッカー棟の建物清掃や水面の落ち葉等のごみ拾い等を適宜行う。

２）プールクリーナー清掃：営業時間外においてプールクリーナーを使用し、監視員等により適宜プール内の砂等を除去する。

３）管理棟スタッフによる巡回：営業時間内において毎時１回、管理棟スタッフにより、各建物、プール、プールサイド等の清掃状態のチェックを行い、不具合があった場合には、速やかに不具合を解消する。

第 69 条 営業の休止

１．施設利用者の健康管理及び安全管理の徹底を図るため、悪天候等により以下の基準のいず

れかを満たす場合には、状況に応じてプールの営業を休止できるものとする。なお、プール営業休止の判断をする時刻を管理等運営者が変更したい場合には、九州地方整備局と協議するものとする。

1）午前９時の時点で、「プールの水温が22℃以上」に満たない場合。なお、午後１時の時点で、再度判断を行うこととする。

2）午前９時の時点で、「プールの水温と気温の合計が44℃未満」であり、「午後から水温と気温の大幅な上昇が見込まれない」場合。なお、午後１時の時点で、再度判断を行うこととする。

3）午前９時の時点で、「気温が水温よりも低く」、かつ、「午後から水温を上回る気温の上昇が見込まれない」場合。なお、午後１時の時点で、再度判断を行うこととする。

4）「雷における避難命令が発令されており、今後のプール運営が行えない」と判断される場合。

5）「午前７時における気象情報において台風の予想進路が九州地方を示している」場合。

2．営業休止の基準が満たされた場合において、休止の最終判断は原則として管理責任者が行う。但し、管理責任者が不在の場合は、その他管理者が行う。営業を休止する場合には、直ちに九州地方整備局へ連絡を行い、調整を図るものとする。

第 70 条 緊急時の対応

1．施設等運営者は、雷の発生に伴う適切な措置を組織的に行い、かつ、施設利用者を雷の被害から防護することを目的に、以下の手順に従って、対応する。

1）プール営業中に雷の発生が予想される場合は、雷対策班を編成し、雷避難誘導体制により、施設利用者の避難誘導を的確に行う。

2）雷の発生が予想される場合は、管理責任者は、自ら又は職員を配置し、襲雷警報機及び落雷システムによる観測、雷雲による雷鳴、稲光を観測し、その状況を施設担当責任者に報告する。管理責任者は、プール営業期間中の雷情報を的確に収集するため、気象情報会社等と雷情報に関する気象情報提供を受けるものとする。

3）雷に関する発令は、予報及び避難の２種類として、管理責任者が発令し又は解除するものとする。発令は、雷避難誘導体制により実施する。発令の伝達は、プールエリア放送設備により行うとともに、メガホン等を使用して施設利用者に周知させる。

4）雷予報を発令した場合は、次の事項の措置を行うものとする。

①スライダープールの滑走を中止し、滑走台から施設利用者を退場させること。

②各プールの遊泳者及び休憩中の施設利用者に、雷発生時の避難場所を周知させること。

③休憩中の監視員は、速やかに避難場所へ配置につき避難命令に備えること。

④発券及び改札については施設利用者に雷が発生し接近している旨を告げて発券及び改札を行うこと。

⑤入場者が著しく多く、雑踏による不測の事故が発生する恐れがある場合、つとめて雷の接近前に退場を促すように配慮する。

5）避難を発令した場合は、次の事項の方法により施設利用者の安全確保を図る。

①発券及び出改札を中止すること。
②建物へ施設利用者を速やかに誘導すること。
③雷情報を随時放送し施設利用者に状況を周知すること。
④入場券を所持し入場しようとする施設利用者には、出改札係は事情を説明し、入場を一時中止すること。

6）落雷の恐れがなくなったと判断された場合には、施設担当責任者の決定を受けて管理責任者が発令を解除する。発令解除は、避難した施設利用者に対し放送により行うものとする。また、不測の事態を防止するため、各監視員は監視場所に付いて施設利用者の誘導を行う。

7）管理責任者は、落雷によって施設利用者またはプール施設に被害が発生した場合は以下の事項の措置をとるものとする。
①救急救護等、人命救助を最優先に行うこと。
②二次被害を防止するため、プール利用の一時中止を行うこと。
③混乱を防止するため、放送等を通じて施設利用者に適宜情報提供を行うとともに、安全な場所へ施設利用者を避難誘導する。
④被害の状況、対応措置等について、速やかに所轄警察署、消防署に連絡するとともに、九州地方整備局あて報告するものとする。

2．施設等運営者は、前項の雷他災害や事故等、施設利用者の安全を確保するため、安全衛生管理計画書に加え、緊急時連絡体制を定めて、十分な安全衛生管理を行うと共に事故防止に努めるものとする。万一、人命に影響を及ぼす事故等が発生したとき、又はその恐れがあるときは、人命の救助を最優先として施設等運営者は速やかに必要な措置をとるものとする。

1）管理責任者は、事故発生の報告を受けた時は、緊急時連絡体制に基づき、九州地方整備局をはじめ関係機関に連絡する。また、溺者発見時や環水口の異常発生時においては、それぞれに緊急伝達体制を事前に定め、これらに基づいて、適切な対応を行う。

2）プールエリアの救護について、下記の体制を整えるものとする。
①管理棟スタッフ、監視員、クリーンスタッフ等は事故発生の連絡を受けたときは速やかに管理責任者に連絡するとともに負傷者の救護にあたる。
②負傷者や急病人の発生に備え、プール管理棟に救護室を設置するとともに、救急器具や負傷者搬送用具を常備する。
③看護師は平日１名、土曜日、日曜日、祝日、お盆期間（８月13日～15日）は、看護師２名体制で救急業務にあたること。

3）事故発生時には、以下の事項の措置を行うものする
①事故が発生し、さらに二次被害の恐れがある場合、施設担当責任者（施設担当責任者が不在の場合は、管理責任者）はプール施設の全部又は一部に使用を中止するなど、必要な措置を講ずること。
②救急車搬送の場合、管理責任者は医師への状況説明が必要な場合等、必要に応じてスタッフを同行させるとともに、直ちに交代要員の手配を行うこと。
③管理責任者は、プールに職員を派遣して事故対応に当たらせる他、搬送先の病院に職員

を派遣して負傷の程度等、関連情報の収集にあたらせること。

第 71 条 費用負担

1．サンシャインプール運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、運営に関する備品等（建物除く）の費用、管理区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

2．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。但し、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに原状に回復すること。

3．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損または紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費または施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第 72 条 施設利用上の注意

1．施設等運営者は、施設利用者に対して、次の各号に掲げる禁止事項を始めとして、施設利用者の安全確保上必要な事項を遵守するよう看板等で注意を促すものとする。

1）潜水及び飛び込み。
2）プール内でのたんはき、鼻かみ、放尿。
3）ボール投げ等。（混雑の度合いによりチーフ監視員の指示により、制限しない場合もある。）
4）プールサイド（水面隣接地。）での飲食。
5）定められた履物以外の使用。
6）サンオイルを使用しての遊泳。（シャワー励行。）
7）喫煙所以外での喫煙。
8）水着を着用しない者の遊泳。（ラッシュガード、遊泳用パンツは除く。）
9）プールを汚染するような不潔な行為。（乳児用のオムツ着用等。）
10）遊泳中における、時計、眼鏡類（競泳用ゴーグルを除く。）の着用。
11）スライダープールにおける同一滑り台での２人同時滑走、又は逆走。
12）他人に危害を及ぼしたり、迷惑となるような行為。（悪ふざけ等）
13）飲酒しての遊泳。

2．以下に示す物品については、持ち込みをさせないよう、施設利用者に遵守するよう指導するものとする。

1）プールエリア内への持ち込み禁止物品は次のとおりとする。
①潜水用具一式。
②オール又は動力機を備え付けて航行するもの又は搬送するもの。
③波乗り用板又はこれに類するもの。

④アルコール類及びプールを汚染する恐れのあるもの。

⑤ビン類等危険物。

⑥動物。（但し介助犬は可）

⑦その他、その物の使用及び破損により遊泳者に危害を及ぼすと認められるもの。

2）プール内への持ち込み禁止物品は次のとおりである。

①飲食物、タオル、シャツ、オムツ（水遊び用オムツ含む。）等衛生上好ましくないもの。

②ネックレス、イヤリング、ブレスレット等の装身用類。

③その他、その物の使用及び破損により遊泳者に危害を及ぼすと認められるもの。

3．施設等運営者は、施設利用者の安全を確保するため、次の各号に該当する者は、原則としてプール利用を禁止するものとする。

1）心身に異常があると思われる者。

2）伝染病の疾患があると思われる者。

3）過度な酒気を帯びていると思われる者。

4）保護者又は付き添い人のない幼児（6歳未満の者）。

5）介添えが必要な者で、介添え者がいない者。

6）暴力団関係者、刺青、タトゥー（シールを含む）をした者。

7）他の施設利用者に危害を及ぼす恐れのある物品、迷惑となるような物品を携帯している者。

8）管理責任者又は監視員の指導に従わない者。

9）その他特に遊泳上不適と思われる者。

10）発熱や咳等の症状があり、インフルエンザ等の伝染性疾病感染の疑いのある者。

第 73 条 売店の管理運営

1．プールに附帯する売店の管理運営にあたっては、本規定書第２編第３章「飲食・物販施設」に準じ、適切な管理運営を行うものとする。

2．サンシャインプール内の売店はプール営業日に営業することとする。なお、定休日以外に休業する場合や運営期間を短縮又は延長する場合は、施設等運営者は、事前に九州地方整備局と協議し、書面により提出するものとする。

■営業時間

プール営業時間と同様とする。

第 74 条 コインロッカーの管理運営

1．施設等運営者は、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面、衛生面、機能面、景観及び防犯面に留意して適切な管理を行うこと。

2．利用料金は、九州地方整備局長と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支のバランスを鑑みながら、市場価格に準じて定める。

■＜参考＞現行利用料金一覧

施設名称	利用料金

コインロッカー（小型）	100 円（2,466 口）
コインロッカー（大型）	200 円（　122 口）

3．コインロッカー運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費、清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）、コインロッカーの購入（国が貸与するコインロッカー2,588口を除く）、設置、交換、撤去並び保守・故障対応等に要する費用、コインロッカーの安全対策に要する費用、その他運営に関する備品等（建物除く）の費用及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

4．コインロッカーの売上金回収等に要する経費は、施設等運営者の負担とする。

5．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。ただし、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、九州地方整備局及び新たな施設等運営者と十分に協議の上、書面をもって事務引き継ぎを行い、公園の管理に支障が生じないようにする。この際、施設等運営者が設置した特定施設・備品を撤去し速やかに原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。

ただし、原状回復することが不可能若しくは不適当な場合、九州地方整備局の書面による承諾を得て原状回復せずに引き渡すことができる。

なお、原状回復する際に新たな施設運営者が必要としなかった特定施設・備品に残存価値が残される場合であっても、九州地方整備局に対し施設等運営者の施設の買い取り等を請求することはできない。

6．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損または紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費または施設等運営者が定める損害料を徴収する。

7．商品管理、売上金回収・つり銭補充等の金銭管理など、自動販売機の維持管理については、施設等運営者が行うこと。

8．コインロッカーの清掃を実施するとともに、衛生管理については、関係法令を遵守するとともに徹底を図ること。

9．コインロッカーを設置するにあたっては、据付面を十分に確認したうえで設置すること。

10．コインロッカーの安全管理は、施設等運営者において全責任を負うものとする。

11．コインロッカーに関する事故が発生したとき、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で、次の各号について、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員等に報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく書面により九州地方整備局に報告するものとする。

1）事故発生日時。

2）事故発生場所。

3）事故発生の原因。

4）事故の程度。

5）人身事故の場合は、医師の診断結果又は被害者本人及びその家族等から得られた情報。

6）被災者の氏名、性別、年齢、連絡先。

７）事故処理の概略。

８）再発防止など改善策等。

12. 公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

13. コインロッカーの設置に関する必要な手続きは、施設等運営者が行うこと。

14. コインロッカーの設置にあたっては、事前に九州地方整備局と協議し、必要な手続きを実施したうえで設置すること。

15. コインロッカーを第三者に譲渡又は貸与してはならないこと。

16. 忘れ物等残存物の発見をしたときは、所定の手続きを行いできる限りの便宜をはかること。

第 75 条 施設利用者送迎用園内バスの運行

施設利用者の利便を図るため、サンシャインプールの開業期間にあっては、施設利用者の送迎用園内バスとして海の中道駅口とサンシャインプールの間で、送迎用園内バスを運行するものとする。なお、運行にあたっては、施設等運営者は「プールシャトルバス運行計画」を作成し、九州地方整備局に提出した上で、計画に従って適切な管理運営を行うものとする。なお、運行は以下の各号により行う。

１）運行コース：海の中道駅口とサンシャインプール間。（原則プールを基点に西口～プール入口ルート及びワンダーワールド前～海の中道駅口～プール入口ルートの２ルートとする。ただし繁忙期は、光と風の広場入口～プール入口ルートも有り。）

２）運行期間・間隔：プール開園期間、時間内で、約１５分間隔。

３）確保車両数：バス１０～１２台程度を確保し運行。

４）料金：無料

第６章 自動販売機

第 76 条 設置箇所、販売内容・料金等

１．自動販売機での販売は、清涼飲料水、乳酸飲料及び乳製品、動物の餌等を考えている。

２．自動販売機で酒類及びたばこの販売は行わないこと。

３．自動販売機の大きさについては、市場にある一般的なものとする。

４．施設等運営者は、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面、衛生面、機能面、景観及び防犯面に留意して適切な管理を行うこと。

５．設置箇所及び設置台数は、別添39「収益施設運営対象区域図（自動販売機［清涼飲料水］）のとおりとし、当該自動販売機について管理・運営は必須とする。なお、利用の状況や利用者の声等から追加設置出来るものとし、その際は事前に九州地方整備局に書面をもって許可を受けるものとする。なお、許可された場合には追加面積分の使用料（日割り計算）を支払うこと。

６．自動販売機（プールエリアは除く）の外観については白色で統一し販売機前面には本公園のロゴを挿入すること。

７．自動販売機は、出来るかぎりユニバーサルデザイン型自動販売機を導入すること。

第 77 条 費用負担

１．自動販売機運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費、清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等等）、自動販売機の購入、設置、機械の交換、撤去並びに保守・故障対応等に要する費用、自動販売機に装着する漏電・漏水等安全対策に要する費用、防犯対策に必要な費用（例：監視カメラ（画像が保存できるもの）、屋外自販機用防犯シャッター、夜間巡回等）、その他運営に関する備品等（建物除く）の費用及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

２．自動販売機の商品の補充、売上金回収等に要する経費、自動販売機周辺に設置する回収ボックスの設置及び空き容器回収に要する費用は、施設等運営者の負担とする。

　その他園内のごみ箱についても、空き容器等の発生量に応じて、維持管理業務受託者との間で、応分の費用負担を行う。その際、事前に九州地方整備局と協議の上、費用分担ルール及び費用分担結果の九州地方整備局との確認方法について決定すること。

３．自動販売機の設置に伴う電気・排水工事の追加工事を必要とする場合はそれに要する経費は、施設等運営者の負担とする。

４．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。ただし、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。

５．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損または紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費または施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第 78 条 自動販売機の維持管理

１．商品管理、売上金回収・つり銭補充等の金銭管理など、自動販売機の維持管理については、

施設等運営者が行うこと。また、常に商品の賞味期限に注意するとともに、売り切れ商品がないよう努めること。

2．自動販売機に併設して、選別回収タイプの回収ボックスを設置することとし、施設等運営者の責任で適切に管理するとともに空き容器を回収・処分すること。

3．自動販売機の清掃を実施するとともに、衛生管理及び感染症対策については、関係法令を遵守するとともに徹底を図ること。

4．自動販売機を設置するにあたっては、据付面を十分に確認したうえで設置すること。

第 79 条 安全管理

1．自動販売機の安全管理は、施設等運営者において全責任を負うものとする。

2．自販機に関する事故が発生したとき、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で、次の各号について、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく書面により九州地方整備局に報告するものとする。なお、食中毒・賞味期限切れ商品の販売等社会的な影響や人的影響等を伴うときは、九州地方整備局がマスコミ対応等を行うが、その際、九州地方整備局の求めに応じ施設等運営者は迅速かつ適切に協力しなければならない。また、九州地方整備局が策定した事故等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

1）事故発生日時。

2）事故発生場所。

3）事故発生の原因。

4）事故の程度。

5）人身事故の場合は、医師の診断結果又は被害者本人及びその家族等から得られた情報。

6） 被災者の氏名、性別、年齢、連絡先。

7）事故処理の概略。

8）再発防止など改善策等。

3．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

第 80 条 その他留意事項

1．自動販売機の設置に関する必要な手続きは、施設等運営者が行うこと。

2．自動販売機の設置にあたっては、事前に九州地方整備局と協議し、必要な手続きを実施したうえで設置すること。

3．販売商品等については事前に九州地方整備局と協議し、決定すること。

4．自動販売機を第三者に譲渡又は貸与してはならないこと。

5．販売品の搬入・廃棄物の搬出時間及び経路については、九州地方整備局の指示に従うこと。

6．自動販売機（プールエリアは除く）については、閉園時間帯の自販機荒らし等を防止する為に必要となる対策（例：監視カメラ（画像が保存できるもの）、屋外自販機用防犯シャッ

ター、夜間巡視等）を講ずること。

第７章 小型遊戯施設

第 81 条 総則

施設等運営者は、小型遊戯施設の管理運営に際して、関係法令等を尊守し、施設利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めるものとする。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は九州地方整備局及び調査職員と協議するものとする。

第 82 条 施設の目的

小型遊戯施設は、海の中道海浜公園において施設利用者への遊戯施設の提供を行うことを施設の目的とする。

第 83 条 運営対象施設

運営対象施設は次のとおりとする。なお、これらの施設は、全て施設等運営者が設置し、管理する公園施設とする。

■運営対象施設一覧

施設名称	構造等	必須／裁量
Ｆ１バッテリーカー	走路長 69m、コース幅 2.4m	裁量
ミニＳＬ	線路長 360m、駅舎（鉄骨造、103 ㎡）	裁量
エジプト迷路	躯体木造、床コンクリート造	裁量
ゴーカート	走路長 640m（３コース）、ピット（鉄骨造、336 ㎡）、作業ヤード 468 ㎡	裁量
日本の名車歴史館	建屋（鉄骨造２階建、1046.31 ㎡）	裁量

※上記施設以外の必要な備品等については、現所有者からの譲渡・貸与又は施設等運営者による用意とする。

第 84 条 運営の協議

１．施設等運営者は、落札予定者の決定後に小型遊戯施設の運営日時を設定し、九州地方整備局と協議した上で、収益施設運営計画書により表示しなければならない。施設の運営日時の設定にあたっては、小型遊戯施設を一括として取り扱わなければならない。

２.本業務において小型遊戯施設を収益施設としない場合は、当該施設は原状回復されるため、安全性・作業性の確保の観点から管理運営期間を含め当該施設の周辺区域の利用を著しく制限するとともに、施設撤去後は相当期間において更地となる場合がある。

第 85 条 運営日時

前条により小型遊戯施設を収益施設とする場合、運営日時は次のとおりとする。

１．施設等運営者は、原則として開園時間に合わせた営業時間とする。ただし、発券時間及び施設利用受付時間は本公園の開園時間から閉園時間の30分前までとし、施設利用者へのサービスの提供を安定的に行うこと。

２．繁忙日等対応、及び冬期イベント等開催のため、営業日や運営時間を変更する場合は、事前に九州地方整備局と協議し、書面により提出することとする。

３．行催事の開催等により、公園利用者の利便を確保する上で必要が認められるときは、九州

地方整備局より営業時間の延長または短縮の指示を行うことがある。

第 86 条 本業務期間終了後の施設取扱

施設等運営者は、本業務期間終了後、次期施設等運営者が小型遊戯施設を収益施設とする場合には、当該施設を引き継ぐものとする。ただし、次期施設等運営者が当該施設を収益施設としない場合には、施設等運営者は速やかに原状回復しなければならない。原状回復に必要な経費は、施設等運営者の負担とする。

第 87 条 本業務期間中の業務の解除

不可抗力その他、九州地方整備局や施設等運営者の責めに帰することが出来ない事由により管理の継続が困難となった場合を除き、施設等運営者自らが業務を解除することは出来ない。ただし、前条の本業務期間終了後の施設取扱による原状回復に係る経費を加味した上で、これ以上の業務実施が困難となった場合は、九州地方整備局と協議の上、管理許可の廃止に係る手続きを行うものとする。

この場合においても、施設等運営者は速やかに原状回復するものとし、原状回復に必要な経費は施設等運営者の負担とする。また、年度途中に管理許可の廃止となった場合は、使用料の返還は行わないものとする。

第 88 条 責任者の選任

施設等運営者は、施設担当責任者を選任したうえで小型遊戯施設の管理運営にあたらせるものとする。

第 89 条 利用料金

小型遊戯施設の利用料金は、九州地方整備局と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支のバランスを鑑みながら、市場価格に準じて定める。

■＜参考＞現行利用料金一覧

施設名称	利用料金	備考
Ｆ１バッテリーカー	200 円	６歳以下は、付添者が必要。
ミニＳＬ	200 円	５歳未満は、15 歳以上の付添者（有料）が必要。
エジプト迷路	300 円	６歳未満は、15 歳以上の付添者（有料）が必要。
ゴーカート	400 円（１人）	身長 130cm 未満は、15 歳以上の付添者（有料）が必要。
日本の名車歴史館	500 円	６歳未満は、15 歳以上の付添者（有料）が必要。

※身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を提示した心身障害者本人及びその介護者１名については、コイン挿入式を除く遊戯施設の利用料金を半額とする。

■＜参考＞現行利用券の販売方法

販売箇所	券売所	自動券売機	備考
ゴーカート乗り場	－	○	共通券１台及び単券１台
ミニＳＬ乗り場	－	○	単券１台
エジプト迷路	○	○	共通券１台及び単券１台
日本の名車歴史館	－	○	単券１台

■＜参考＞現行券種

１．遊戯施設別単券

２．共通回数券

①100円券×９枚＋50円券×４枚（1,100円分）を1,000円にて販売。

②200円券×６枚＋100円券×10枚＋50円券×４枚（2,400円分）を2,000円にて販売。

３．グループ割引

15人以上のグループを対象に、ワンダーワールド内にあるコイン利用を除く遊戯施設に使用可能な100円券×９枚＋50円券×４枚（1,100円分）を800円にて販売。

４．公園年間パスポート割引

公園年間パスポートを提示した者に、ワンダーワールド内にあるコイン利用を除く遊戯施設に使用可能な100円券×９枚＋50円券×４枚（1,100円分）を800円にて販売。

５．マリンワールド年間パスポート、海の中道青少年海の家が発行する「ワンダーワールド利用割引券」を提示した者に、ワンダーワールド内にあるコイン利用を除く遊戯施設に使用可能な100円券×９枚＋50円券×４枚（1,100円分）を800円にて販売。

第 90 条 業務内容

１．施設等運営者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

１）小型遊戯施設の運営に関すること。

２）小型遊戯施設の維持管理に関すること。

３）小型遊戯施設の利用に伴う苦情処理に関すること。

４）前各号に掲げる業務に付随するもの。

２．日常の管理上で必要があると認められたときは、小型遊戯施設の利用の全部又は一部を中止することができるものとする。

３．小型遊戯施設の利用を中止することが、施設利用者へ影響を与えると考えられる場合は、九州地方整備局と協議を行う。

第 91 条 施設の運営

１．施設等運営者は、小型遊戯施設に必要人員を配置し、利用料金の徴収、小型遊戯施設乗降のサポート、利用中の小型遊戯施設の安全確認等を行うものとする。

２．施設等運営者は、待ち時間が長時間になることが予測される場合は、あらかじめその対策をたて、待機場所を設置する等、事前に必要な措置を講じるものとする。

３．施設等運営者は、施設の混雑状況に応じて、導線を工夫する等円滑な誘導に努めること。

４．運営条件に定めていない事項に関しては、必要に応じて九州地方整備局と協議すること。

第 92 条 施設･設備等の維持管理

１．施設等運営者は、施設利用者が安全かつ快適に利用できるよう、常に施設を良好な状態に維持することに努めるものとし、以下の各号に掲げる業務を行うものとする。

１）日常管理

①施設に係る清掃

②施設の点検整備及び軽微な補修又は故障の修理

③その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等

２）定期点検（毎年６月と12月に実施）

①施設の保守点検・補修・取替え等

2．定期点検期間以外においても施設の異常を発見したときは、直ちに運営を中止し、点検・補修等の安全対策に必要な処置を講ずるものとする。

第 93 条 安全管理

小型遊戯施設における安全管理は、本規定書第１編第１章第９条によるほか以下の事項に留意すること。

1）施設等運営者は、施設利用者の安全に万全の注意を払い、安全管理を行うものとする。

2）修理、その他管理上やむを得ない理由があるときは、小型遊戯施設の全部又は一部を休止することができるものとする。

3）小型遊戯施設において、災害や事故が発生し、又はその恐れがあるときには、速やかに必要な措置を取ることとする。

4）やむを得ず、小型遊戯施設の全部又は一部を休止・変更する際は公園利用者及び施設利用者に的確に周知するとともに調査職員に報告するものとする。

第 94 条 緊急時の対応

1．営業休止の基準は、以下のとおりとする。

1）平均風速が15m／秒以上の悪天候等安全管理上支障をきたすおそれのあるとき（施設等運営者の判断による）。ただし、日本の名車歴史館を除く。

2）近くで雷が発生し、落雷のおそれがあるとき。

3）雨天のとき。ただし、施設利用客に迷惑のかからない程度の雨天時、日本の名車歴史館を除く。

4）有感地震のとき。

5）その他、故障等の緊急事態が発生又は発生が予想されるとき。

2．施設等運営者は、前項の規定により営業を休止したときは、再開の前に施設に異常のないことを確認しなければならない。

3．施設等運営者は、施設利用者の安全を確保するため利用制限規則等を定めて十分な安全指導を行い、事故防止に努めるものとする。

4．施設等運営者は、事故が発生し又はその恐れがあるときは、直ちに必要な措置を取るとともに、書面により調査職員に報告するものとする。

第 95 条 費用負担

1．施設等の譲渡・貸与に関わる一切の費用及び手続き等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

2．小型遊戯施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費、清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕等）及び各種保険料、さらには施設等運営者が自ら設置した工作物、施設等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

3．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。ただし、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。

4．前項までに記載の設備・備品に関する修理や劣化等による交換費用についても、施設等運営者の負担とする。

5．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損または紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費または施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第 96 条 責任の範囲

1．次の各号に該当する場合は、九州地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うものとする。

1）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することのできない事由によって生じた施設利用者の損害。

2）施設等運営者の過失あるいは小型遊戯施設の整備不良等に依らない損害。

2．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者はその損害を賠償すること。

3．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。ただし、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求める。

第 97 条 施設利用上の注意

1．施設等運営者は、施設利用者に対し、次の各号に該当する者は、原則として小型遊戯施設の利用を禁止すること。

1）酒気を帯びた者、その他身体に悪影響があると思われる者。

2）秩序を乱し、風俗を害する恐れのある者。

3）小型遊戯施設で定める規制事項に違反する者。

4）その他運転に支障を及ぼす恐れのある者、係員の安全指導に従わない者。

2．次の各号に該当する物は、原則として小型遊戯施設への持込を禁止すること。

1）アルコール類（酒、ビール、ウィスキー等）及び飲み物、食べ物類。

2）ビン類及び危険物類等。

3）小動物等のペット。ただし、身体障害者補助犬となる盲導犬、介助犬、聴導犬は除く。

4）運転に支障を及ぼす恐れのある過大な手回り品、その他小型遊戯施設で定める物。

第８章 園内交通施設

第 98 条 総則

施設等運営者は、園内交通施設の管理運営に際して、関係法令等を遵守し、公園利用者及び施設利用者の安全を十分に確保した上で、園内交通施設の運営・運行管理について、その責任体制を明確にし、適正な運営と運行の安全を図るものとする。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は九州地方整備局と協議するものとする。

第 99 条 施設の目的

園内交通施設は、高齢者や身体の不自由な方等公園利用者の公園内の移動を補助するとともに、海の中道海浜公園において施設利用者への遊戯施設を提供することを目的とする。

第 100 条 運営対象施設

運営対象施設は次のとおりである。

なお、車両の仕様及び台数は、施設等運営者の提案によるものとし、九州地方整備局と協議した上で、車両の導入を行うこととする。

■運営対象施設一覧

施設名称	営業場所	必須／裁量
園内交通車両、車庫、停留所 13 箇所	パークエリア	裁量

第 101 条 責任者の選任

施設等運営者は、園内交通施設の運行にあたり、施設担当責任者及び運行管理者を選任した上で、園内交通施設の運行にあたらせるものとする。

第 102 条 運営日時

１．運営日時は、施設等運営者の提案によるものとし、九州地方整備局と協議した上で、収益施設運営計画書により表示しなければならない。ただし、フラワーピクニック（３月～５月）及びうみなか☆はなまつり（９月～11月）の期間中は原則運営するものとする。

２．施設等運営者は、原則として本公園の開園日を営業日とする。ただし、公園の休園日及び車輌定期点検日、荒天その他管理上の観点から適当でないと判断できる場合は運休日とし、除くものとする。

３.園内の運行は､原則として開園時間から閉園時間の30分前までに合わせた営業時間とする。

４．繁忙日等対応、及び冬期イベント等開催のため、運営時間を延長または変更する場合は、九州地方整備局に書面により提出することとする。

５．行催事の開催等により、公園利用者の利便を確保する上で必要が認められるときは、九州地方整備局より営業時間の延長または短縮の指示を行うことがある。

第 103 条 利用料金

施設利用者へ提供する園内交通施設の利用料金は、九州地方整備局と協議の上、周辺類似事

例及び収益施設全体のバランスを考慮し定めるものとする。

■＜参考＞現行利用料金一覧

種類	区分	利用料金	備考
一般券（１回）	大人（15 歳以上）	300 円	
	小人（3 歳以上 15 歳未満）	100 円	
１日フリーパス券	3 歳以上一律	500 円	当日限り有効

※身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を提示した心身障害者本人及びその介護者１名については、利用料金を半額とする。

※１日フリーパス券は、ゴールデンウィーク期間中及び無料入園日等多客が予想される場合は、販売を中止することができる。

第 104 条 業務の内容

施設等運営者は、次の業務を行うものとする。

１）園内交通施設の運行及び利用料金の徴収、領収書の発行に関すること。

２）園内交通施設の維持管理に関すること。

３）園内交通施設利の安全管理に関すること。

４）園内交通施設の利用に伴う苦情処理に関すること。

５）前各号に掲げる業務に付随すること。

第 105 条 施設の運営

１．運行ルートは、施設等運営者の提案によるものとし、九州地方整備局と協議した上で、収益施設運営計画書により表示しなければならない。

■＜参考＞現行運行通常ルート・停留所

ルート	停留所	ルート図
通常ルート①（３月～11 月）	ワンダーワールド前→海の中道駅前→潮見台→シーサイドヒルシオヤ前→動物の森（東門）→動物の森（正門）→森の家→スカイドルフィン→西口→西サイクリングセンター前→観覧車前→ワンダーワールド前	別途掲示する
通常ルート②（12 月～２月）	ワンダーワールド前→海の中道駅前→動物の森（東門）→動物の森（正門）→森の家→スカイドルフィン→西口→西サイクリングセンター前→観覧車前→ワンダーワールド前	別途掲示する

２．運行ルートの設定により、新たに停留所を設置又は現在の停留所を移設する必要がある場合には、事前に九州地方整備局と協議しなければならない。

３．運行ルートにおいて、管理用園路は15km/h以内、園路は10km/h以内で走行する。公園の利用状況によっては、公園利用者の安全に万全を期するよう、さらに減速して走行する。

第 106 条 施設・設備等の維持管理

施設等運営者は、施設利用者が快適に施設を利用できるよう、常に施設を良好な状態に維持することに努めるものとし、日常管理として、以下の各号に掲げる業務を行うものとする。

１）施設に係る清掃

２）施設の点検整備及び軽微な補修又は故障の修理

３）その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等

第 107 条 安全管理

１．衛生管理及び安全管理は、施設等運営者において全責任を負うものとする。

２．営業開始前の準備

１）園内交通施設の安全な管理運営を行うために、施設等運営者は安全衛生管理計画書を定めて九州地方整備局に提出するものとする。なお、作成にあたっては関係法令を遵守すること。

２）施設等運営者は、園内交通施設安全衛生管理計画書に従い、管理体制の構築、業務従事者の教育、車両の点検を行うこと。

３．営業期間中の管理運営

１）施設等運営者は、園内交通施設安全衛生管理計画書に従い、利用者への指導、車両の点検、緊急時の対応、利用者への情報提供、衛生管理を行うこと。

４．営業終了後の対応

１）施設等運営者は、営業期間中の管理日誌、点検チェックシート等の記録について、営業終了の翌日から５年間保存すること。

５．運行管理者は、以下に示す点検検査等を行い、園内交通施設が正常であるか確認し、機械的な事故の防止並びに安全かつ快適な運行を図るよう努めるものとする。

１）始業終業点検。

２）身だしなみチェック。

３）清掃チェック。

４）１ケ月点検。

５）納品業者への指導管理。

６）定期点検（１年次）。

７）消防避難訓練。

６．点検検査に当たっては、次の各号に掲げる注意事項を守り安全作業に心がけることとする。ただし、毎日点検については安全作業に十分心がけ、下記にはよらない。

１）作業服及び安全帽を必ず着用すること。

２）靴は必要に応じ安全靴、又はこれと同等以上のものを着用のこと。

７．施設等運営者は点検表（または運行日誌）の様式を作成し、運行予定日には、運転者及び車掌は毎日園内交通施設の運行開始前に試運転を行うとともに、点検表（または運行日誌）により始業終業点検を行い、異常のないことを確認する。また、実施の記録を点検表（または運行日誌）に記載する。点検の上、異常が発見された場合は速やかに運行管理者に報告の上、異常の処置を行う。なお、点検項目は以下のとおりである。

１）乗降口扉に破損はないか。座席、床、ボディー等に破損はないか。

２）エンジン音に異常はないか。

３）ブレーキの効きは十分か。

４）ハンドルのあそびに異常はないか。

５）タイヤの摩耗は正常範囲か。

6）バンパー等車体に損傷はないか。

7）ミラーその他機器に異常はないか。

8）放送設備は正常に働くか。

8．身だしなみチェックリストを作成した上で、これに基づいて、当日従事する者全員を対象として、身だしなみのチェックを行い、公園利用者及び施設利用者に不快感を与えないよう努めること。

9．運転者及び車掌は、始業前に乗車する車両の清掃を行い、公園利用者及び施設利用者に不快感を与えないよう努めるものとする。また、実施の記録を点検表（または運行日誌）に記載する。

10．運行管理者は標準検査項目及び１ヶ月点検表を作成し、それに基づいて１ヶ月点検を行い安全運行に努める。また、１ヶ月点検表に実施の記録を記載する。なお、点検の上、異常が発見された場合は速やかに九州地方整備局に報告し、異常の処置を行う。

11．納品業者（修理業者含む）へ公園諸規則遵守の指導を行い、許可証の有無、許可証番号、氏名、納品経路の確認を適時行う。

12．年１回、下記検査項目に基づき検査項目１ヶ年検査表を作成の上、これにより定期検査（１年次）を行う。また、１ヶ年検査表に実施の記録を記載する。なお、点検の上、異常が発見された場合は速やかに九州地方整備局に報告し、異常の処置を行う。

■１ヶ年検査の内容一覧

検査項目	検査内容	備考
構造物	１．シャーシー等のリベット、ボルトの弛み等の良否 ２．各取付部の摩耗、欠損等の有無 ３．消火器、報知機等作動の良否	
放送設備 信号・通信	１．電線の腐食、支持物等の損傷の有無及び取付状態の良否	
車体・搬器	１．軸取付部の各組立ボルトの弛み及び外部の状態、異常の有無 ２．タイヤの摩耗、欠損の有無、作動の良否 ３．各車軸、取付部等の給油状態の良否	
駆動装置 制御装置	１．エンジン・プラグの異常の有無 ２．各軸受組立部の摩耗及び異常の有無 ３．制御片の摩耗及び制動片と制動輪の間隔等の良否 ４．接続部の摩耗作用の良否	必要により油の取替
制御回路	１．バッテリーの接続状態、バッテリー液の状態、各端子の取付等異常の有無 ２．各計器類の作用の良否	

13．公園利用者及び施設利用者の安全な誘導とともに迅速に消火活動が行えるよう本業務に従事するスタッフ全員を対象に年１回、消防避難訓練を行う。

14．次の各事項に該当する場合は、設備の一部、又は全般にわたりその状態及び作用について、臨時検査を行う。

1）製作又は購入したとき。

2）一時休止後仕様を再開したとき。

3）災害その他運転事故が生じたとき。

4）重要な改造又は、修理をしたとき。

5）その他必要があるとき。

15．次の各事項に該当する場合は、試運転を行う。

１）始業前。

２）諸点検をしたとき。

３）その他必要があるとき。

16．第６項に規定する点検検査等の実施の記録は、１ヶ月毎に取りまとめ九州地方整備局に提出し、確認を得るものとする。

17．施設等運営者は、前項に規定する点検検査等の記録を３年以上保存するものとする。

18．施設等運営者は、車輌ごとに運行日誌を備え、運転回数、利用状況、天候状態その他運行管理上必要な事項を運行日誌に記載し、これを１年以上保存するものとする。

第 108 条 研修

施設等運営者は、運行に従事する者に対して、当該業務遂行上必要な知識及び技能を習得させるため研修を年１回以上行うものとする。研修は次の項目について行うこと。

１）園内交通施設に関する一般知識。

２）園内交通施設の運行及び点検の方法。

３）悪天候時、地震発生時に講ずべき措置。

４）故障時に講ずべき措置。

５）人身事故発生時に必要な応急措置、救急方法等に関する知識及びその訓練。

６）緊急時における関係部署への連絡方法及びその訓練。

７）海の中道海浜公園についての一般知識。

８）園内交通施設及びその利用者等の安全を確保するために必要な事項。

９）関係法令その他必要な事項。

第 109 条 緊急時の対応

施設等運営者は次の各号に該当するときは運行を一時中止・変更、又は休止するものとし、九州地方整備局に報告するものとする。また、施設等運営者は、園内交通施設の運行を一時中止したときは、運転再開の前に各部の点検を行い、異常のないことを確認しなければならない。なお、運行の一時中止・変更又は休止する際には公園利用者及び施設利用者に的確に告知することとする。

１）地震、台風、大雨、大雪等大規模な自然災害や悪天候のため、運行に危険が予想されるとき。

２）公園利用者が多く、運行コースにおいて運行が困難と認められるとき。

３）事故又は故障等により運転不能のとき。

４）緊急事態が発生し、又はその発生が予想されるとき。

５）その他九州地方整備局の指示があったとき。

第 110 条 費用負担

１．園内交通施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費

等）、園内交通施設への車両の導入、交換、撤去並びに保守・故障対応等に要する費用を始めとする運営に関する設備・備品等（建物除く）の費用、園内交通施設の安全対策に要する費用、停留所の設置又は移設に要する費用、管理区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

2．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。ただし、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。

3．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損または紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費または施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第 111 条 施設利用上の注意

施設利用者に対し、以下の各号について注意喚起を促すものとする。

1）運転手等の安全指示に従うこと。

2）運転に支障を及ぼす恐れのある行為を行わないこと。

3）他の公園利用者及び施設利用者に迷惑を及ぼすおそれのある行為を行わないこと。

4）強度の酒気を帯びていると判断できる状態で乗車しないこと。

5）子供（6歳未満）が単独で乗車しないこと。

6）手回り品・危険物（別途提示する。）を所持して乗車しないこと。

第３編 国営海の中道海浜公園収益施設等管理運営個別規定書　自主事業編

第１章 自主事業

第１条 総則

１．施設等運営者は、収益施設運営のほか、本公園の利用促進並びに公園利用者の利便の向上のために、独立採算により行催事・広報の実施、臨時駐車場の運営及び臨時飲食施設の運営等、自主事業を実施することができる。なお、本規定書第３編には想定される、行催事・広報、臨時駐車場、臨時飲食施設についてのみ記載しているので、施設等運営者がその他の事業を行う場合は、その内容に沿った規定書を追加するものとする。

２．施設等運営者は、自主事業を行う場合は原則14日前までに九州地方整備局に都市公園法第５条、第６条及び第12条の許可を受けなければならない。なお、都市公園法第５条又は第６条が許可された場合には、都市公園法施行令第20条の規定に基づき、使用料等を支払わなければならない。

３．施設等運営者は、自主事業を行う場合は事前に調査職員と協議した上で本規定書第１編第28条に基づき下記の内容を記した自主事業計画書を提出し九州地方整備局の承諾を得るものとし、その自主事業計画書に基づき善良な管理者のもと運営・管理をおこなうこと。

［自主事業計画書（基本編）の記載事項］

①業務内容（事業の内容、価格及びサービス内容、行催事・広報の内容等）

②詳細の自主事業の期間・時間の設定

③業務の実施方針（料金等徴収の仕組み等含む）

④業務の実施工程（業務の順序及び手順）

⑤業務の実施体制

⑥連絡体制(緊急時含む)

⑦その他（自主事業実施上必要と思われる事項）

［自主事業計画書（安全衛生管理計画編）の記載事項］

①従業員衛生管理指導マニュアル（接遇、身だしなみ等を含む）

②食品の安全衛生規定

③危機管理マニュアル（災害・事故等発生時の行動マニュアル含む）

④その他（安全衛生上必要と思われる事項）

４．施設等運営者は、自主事業が許可期間を終了した場合は、自主事業を実施した管理物件を速やかに原状に回復し、九州地方整備局に引き渡すのとする。原状回復にあたり、九州地方整備局より不備を指摘された場合には、適切に対応すること。

第２章 自主事業における行催事・広報

第２条 総則

１．施設等運営者は、本規定書第３編第１章第１条第１項及び第２項に基づき、自主事業として行催事・広報を実施することができる。

２．行催事を開催する場合は、本公園の利用者増につながる各種行催事の主催、共催等も可能とする。又、施設等運営者が直接実施するだけでなく、九州地方整備局及び維持管理業務受託者が行う行催事・広報に資金等の協力を行うこともできる。

３．自主事業の内容については、本公園利用に相応しくない場合、その実施を認めない場合がある。このため施設等運営者は、事前に調査職員と協議を行うこと。

４．施設等運営者は、自主事業実施による公園施設の利用が他の公園利用者による利用や安全に支障が生じないよう、十分に調整を図って対応すること。

５．施設等運営者は、自主事業により行催事・広報を実施する場合は、事前に調査職員と協議した上で、本規定書第３編第１章第１条第３項に基づき自主事業計画書を九州地方整備局に提出し、承諾を受けなければならない。

６．施設等運営者は、自主事業の実施にあたり、都市公園法第５条又は第６条の許可を受けた範囲の維持管理にかかる費用（水道、電気料金を含む）を負担するものとする。

７．施設等運営者は、自主事業の実施にあたり、協賛企業から協賛金を募り、実施費用にあてることができる。なお、この場合、以下の点に留意すること。

１）施設等運営者は、事前に九州地方整備局の承諾を得た上で、自主事業の実施場所及び各ゲートに協賛企業の名称等の表示等を行うことができる。（はり紙、はり札等、広告旗、立て看板等、広告幕及びアドバルーン等への協賛企業名の表示。）。この場合、関係法令等を遵守すること。なお、協賛企業の名称、ロゴマーク又はブランド名称等は表示できるが、商品の名称等は一切表示できない。

２）施設等運営者は、事前に九州地方整備局の承諾を得た上で、協賛企業に自己の協賛内容を広報宣伝させることができる。

３）施設等運営者は、事前に九州地方整備局の承諾を得た上で、自らが作成する自主事業に関するポスター・パンフレット・スタッフジャンパー等に、協賛企業の名称等を表示させることができる。

８．施設等運営者は、九州地方整備局及び調査職員が自主事業に関する収支状況等の報告を求めた場合には、それに応じなければならない。

第３条 緊急時の対応

災害や事件・事故等が発生した際には、本規定書第１編第４章「安全衛生管理」を参照し対応すること。

第４条 費用負担

１．自主事業により行催事・広報等に関わる一切の費用（実施に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費、清掃費、消耗品の購入等）、運営に関する備品等の費用及び各種保険料、さ

らには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

2．本規定書第３編第１章第１条第４項に係る経費はすべて施設等運営者の負担とする。

3．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、管理備品等を破損または紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費または施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第５条 安全管理

1．施設等運営者は、自主事業による行催事参加者及び公園理利用者の安全に万全の注意を払い、安全管理を行うものとする。

2．自主事業による行催事において、災害や事故が発生し、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で、速やかに、調査職員に口頭、電話、メール等により報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく書面により九州地方整備局に報告すること。

3．緊急車両等の入出場については適宜協力をすること。

4．施設等運営者は、施設利用者及び公園利用者の安全確保、施設状況の把握、及び施設利用案内等を行うため、定期的に巡視を実施するものとする。また、事件、事故または災害等緊急時対応、不審物の有無確認や拾得物への対処、清掃状況の点検等も併せて行うものとする。

5．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

第３章 臨時駐車場

第６条 総則

１．施設等運営者は、繁忙日及び行催事開催日等駐車場が不足する事が予想される場合は、本規定書第３編第１章第１条第１項及び第２項に基づきに基づき自主事業として臨時駐車場を実施することができる。

２．施設等運営者は、自主事業として臨時駐車場を実施する場合は、事前に調査職員と協議した上で、本規定書第３編第１章第１条第３項に基づき自主事業計画書を九州地方整備局に提出し、承諾を受けなければならない。

３．臨時駐車場への案内は、臨時駐車場の使用時に限定して、看板を設置し、施設利用者の指導を行う。特に公園利用及び施設利用者の安全確保には細心の注意を行う。

５．臨時駐車場の安全管理として、臨時駐車場の出入口部及び駐車スペース（駐車行為）等に安全誘導員を適宜配備する。

４．臨時駐車場の使用時は、一般園地との範囲区分が明確となるよう、移動看板及び簡易柵等を設置する。

７．施設利用者が全て退出することを確認し閉場することとする。なお、著しく退出が遅延し、施設利用者を確認することができない場合は、残車両を確認し、記録すること。なお、残車両の所有者及び使用者から、退出の申し出があった場合は、適切に対処すること。

８．臨時駐車場の利用料金は、常設駐車場と同一料金とし、安全管理費に要する費用が駐車料金による収益を超過した場合も、その差額については施設等運営者が負担し適切な安全管理を行うものとする。

９．公園内に臨時駐車場を設置する場合の使用料は、本規定書第１編第15条の定めに従うものとする。

10．運営条件に定めていない事項に関しては、必要に応じて九州地方整備局及び調査職員と協議することとする。

第７条 利用制限等

１）次の各号に該当する場合は、駐車場の利用を拒否することができるものとする。

① 駐車場利用者が遵守事項を守らない場合又は業務従事者の指示に従わない場合。

② 危険物を積載している車両、その他駐車場の管理上支障のある車両が駐車しようとしている場合。

第８条 臨時駐車場の運営上の注意点

臨時駐車場の運営に際して、駐車場利用料金の徴収及び領収証の発行、安全管理、緊急時の対応、費用負担、責任の範囲、利用者指導及び施設等運営者が行うべき事項については、本規定書第２編第１章駐車場の定めに準ずるものとする。

第９条 施設・設備等の維持管理

１．施設等運営者は、臨時駐車場においては、以下の施設・設備等の維持管理等を行う。

1）施設等運営者は、臨時駐車場において、施設が有する機能を最大限に活用するとともに、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面等に留意して適切な管理を行うこと。

2）施設等運営者は、駐車場施設の機能を保持し、日常の円滑な運用に支障が生じないよう、消防法等の関係法令を遵守し、保守・点検や必要な備品等の管理、調達を行うことで適切な維持管理を行うこと。

3）施設等運営者は、臨時駐車場に使用する場所が臨時駐車場使用後、一般利用に支障等が生じる事のないよう万全を期すこと。なお、万一問題が生じた場合には施設利用者の責任において、原状回復を行うこと。

第 10 条 安全管理

1．施設等運営者は、施設利用者及び公園利用者の安全に万全の注意を払い、安全管理を行うものとする。

2．駐車場内において、災害や事故が発生し、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で、速やかに、調査職員に口頭、電話、メール等により報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく書面により九州地方整備局に報告すること。

3．緊急車両等の入出場については適宜協力をすること。

4．施設等運営者は、施設利用者及び公園利用者の安全確保、施設状況の把握、及び施設利用案内等を行うため、定期的に巡視を実施するものとする。また、事件、事故または災害等緊急時対応、不審物の有無確認や拾得物への対処、清掃状況の点検等も併せて行うものとする。

5．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

第 11 条 緊急時の対応

災害や事件、事故等が発生した際には、本規定書第１編第４章「安全衛生管理」を参照し対応すること。

第 12 条 費用負担

1．臨時駐車場運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費、清掃費、消耗品の購入等）、運営に関する備品等の費用及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

2．臨時駐車場の満車表示など施設利用者の利便に資する移動式看板（既設の看板の更新も含む）他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。

3．本規定書第３編第３章第１条第４項に係る経費はすべて施設等運営者の負担とする。

4．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、管理備品等を破損または紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費または施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第 13 条 責任の範囲

1．次の各号に該当する場合は、九州地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うものとする。

1）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することのできない事由によって生じた車両及び施設利用者の損害。

2）車両に残された貴重品、その他物品及び取付物に関する損害。

2．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者は車両の滅失又は損傷について、当該車両の時価、損害の程度を考慮してその損害を賠償すること。

3．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。ただし、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求める。

第 14 条 施設利用上の注意

1．施設利用者に対し、以下の各号について看板等において注意を促すとともに、利用者に適切な利用指導を行うものとする。

1）場内での車両通行速度は、時速20km/h を超えないこと。

2）場内での追い越しをしないこと。

3）喫煙又は火気の取り扱いをしないこと。

4）標識又は係員の指示に従うこと。

5）車両を離れるときは、エンジンを停止し、ドア及びトランクには施錠し、盗難に備えること。

6）公害防止の為、エンジンを空ぶかししないこと。

7）施設、他の車両及びその取付物等への損害、又はその他の事故を目撃した時は施設等運営者へ速やかに連絡すること。

8）施設利用者及びその関係者（同乗者含む。）が故意又は過失により駐車場の施設並びに他の車両に損害を与えたときは、当事者がその損害賠償を行うこと。

9）「車いす使用者用駐車スペース」は該当車両がいつでも利用できるよう、一般施設利用者は利用を控えること。

10）その他､施設等運営者の業務又は他の施設利用者の妨げになるような行為はしないこと。

11）九州地方整備局より指示された禁止行為等。

第４章 臨時飲食・物販施設の運営

第 15 条 総則

１．施設等運営者は、本規定書第３編第１章第１条第１項及び第２項に基づき自主事業として臨時飲食・物販施設を実施することができる。

２．施設等運営者は、自主事業として臨時飲食・物販施設を実施する場合は、本規定書第３編第１章
第１条第３項に基づき自主事業計画書を調査職員に提出し、承諾を受けなければならない。

３．臨時飲食・物販施設の名称や販売品目・販売価格を表示した看板等を設置する場合は公園利用者の安全確保には細心の注意を行う。

４.提供する商品の内容及び販売価格等は九州地方整備局と協議の上､周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支のバランスを鑑みながら、市場価格に準じて定める。なお、販売品目等は施設利用者のニーズを把握し、その見直しを図るなど、満足度の向上に努めること。

６．公園内に臨時飲食・物販施設を設置する場合の使用料は、本規定書第１編第１章第14条に定めに従うものとする。

７．運営条件に定めていない事項に関しては、必要に応じて九州地方整備局及び調査職員と協議すること。

第 16 条　臨時飲食施設の運営上の注意点

臨時飲食施設の運営に際して、責任者の選任、利用料金、業務の内容、施設・設備の維持管理、安全衛生管理、費用負担、責任の範囲、施設利用上の注意に~~に~~ついては、本規定書第２編第３章飲食・物販施設の定めに準ずるものとする。

第 17 条 施設・設備の維持管理

施設等運営者は、施設利用者が快適に施設を利用できるよう、常に清潔かつ快適な状態に維持することに努めるものとし、日常管理として、以下の各号に掲げる業務を行うものとする。

１）施設及び施設周辺に係る清掃及び塵芥処理。

２）施設の点検整備又は故障の修理。

３）その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等。

第 18 条 安全衛生管理

１．衛生管理及び安全管理は、施設等運営者において全責任を負うものとする。

２．食品衛生法、消防法等の関係諸法令及び規則に基づき、安全衛生管理計画書（本規定書第１編第２章第28条）を作成し、九州地方整備局の承諾を受けるものとする。安全衛生管理計画書作成にあたっては、以下に示す項目のほか、十分な衛生管理及び安全管理等を行うとともに事故防止に努めるものとする。

１）運営にあたる全職員を対象として、年１回の健康診断を実施すること。調理した料理品等を販売・提供する事業を行うスタッフは、健康診断検査の結果、安全衛生上問題となる異常がある場合者は、完全に回復したとの医師の診断が得られるまで職場復帰は認めない

こと。また、下痢を起こしているなど体調不良者は出勤させてはならない。

2）消防法に基づき、消火器点検を年２回実施し、不備なものは随時取り替えること。

3）消防法に基づき、避難訓練、消火器訓練等を年２回実施すること。

3．上記法定点検等の結果については、遅滞なく九州地方整備局に報告すること。

4．飲食施設は、施設利用者に満足していただけるよう、商品管理の徹底、消防設備の点検、身だしなみ等、常に清潔、快適かつ安全な状態に維持するものとする。そのため、以下の管理を実施する。

1）始業及び終業時には、ガス、電気等を使う火災につながる器具の点検を行うとともに、清掃状態や施設の不具合についても点検を行うこと。

2）毎日の始業事に、服装、髪型、アクセサリー、爪、健康状態、頭髪について点検を行い、安全衛生や施設利用者の利用満足度の向上に努めること。

3）毎日、害虫の発生状況を点検し、必要に応じ適切な害虫駆除を行うこと。

4）清掃点検項目を定めた上で、これに基づき清掃を行い、テーブルや厨房内、カウンター、排水溝、厨房機器、ごみ箱の点検を行うこと。

5）毎日、売店商品の保管状況点検を行い、賞味期限切れ製品等を供することのないよう、賞味期限、腐敗、変色、異味、異臭などを確認すること。

6）毎日、冷蔵庫、冷凍庫等の温度点検を行うこと。

7）緊急時には、緊急連絡事項の取り扱いに関する規約と緊急連絡体制に基づいて、九州地方整備局、維持管理業務事業者をはじめ、関係機関に対し迅速に連絡・対応すること。

8）納品を行う業者に対して、書面及び日常的な安全運転の指導を行うこと。

9）運営に当たる全職員を対象として、腸内細菌検査のための検便検査を年２回実施し、検査の結果、異常がある者は、二次検査で異常の有無を確認し正常であることが確認されない限り、就業を認めないこととするなど、二次感染の防止に努めること。

5．食中毒等の事故が発生したとき、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で次の各号について、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく書面により九州地方整備局に報告すものとする。なお、食中毒等社会的な影響や人的影響等を伴うときは、九州地方整備局がマスコミ対応等を行うが、その際、九州地方整備局の求めに応じ施設等運営者は迅速かつ適切に協力しなければならない。また、九州地方整備局が策定した事故等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

1）事故発生日時。

2）事故発生場所。

3）事故発生の原因。

4）事故の程度。

5）人身事故の場合は、医師の診断結果又は被害者本人及びその家族等から得られた情報。

6）被災者の氏名、性別、年齢、連絡先。

7）事故処理の概略。

８）再発防止など改善策等。

６．食中毒等により、施設利用者に対して、人的損害を及ぼした場合は、施設等運営者の責任において、その賠償を行う。

７．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

第 19 条 費用負担

１．臨時飲食・物販施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、運営に関する備品等（建物除く。）の費用、管理区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

２．本規定書第３編第１章第１条第４項に係る経費はすべて施設等運営者の負担とする。

３．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損または紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費または施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第 20 条 責任の範囲

１．次の各号に該当する場合は、九州地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うものとする。

１）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することのできない事由によって生じた施設利用者の損害。

２）施設等運営者の過失に依らない損害。

２．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者はその損害を賠償すること。

３．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。ただし、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求める。

第 21 条 施設利用上の注意

施設運営者は、施設利用者に対し、以下の各号について注意喚起及び利用者指導等を行うこと。

１）危険物を持ち込み、その他、秩序を乱し、風紀を害する恐れがある者。

２）公園で定める制限事項に違反する者。

３）ペット等の動物。ただし、身体障害者補助犬となる盲導犬、介助犬、聴導犬については除く。

４）その他施設利用者及び公園利用者の安全、快適を妨げる者。

従来の実施状況に関する情報の開示

1　従来の実施に要した経費

（単位：千円）

			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	人件費	常勤職員			
		非常勤職員			
	物件費				
	委託費等	委託費定額部分	757,952	649,033	666,138
		成果報酬等			
		旅費その他			
計（ａ）			757,952	649,033	666,138
参考値（ｂ）	減価償却費				
	退職給付費用				
	間接部門費				
（ａ）＋（ｂ）			757,952	649,033	666,138

（注意事項）
- 委託費定額部分の内訳は以下のとおりである。
- 平成 25 年 4 月　1 日に 1.5ha 供用している。
- 業務毎の委託費は精算報告書（別紙 14）を参照。

運営維持管理業務（収益施設等管理業務にかかる費用を除く）

（単位：千円）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
植物管理	229,051	168,328	173,973
動物管理	58,164	54,423	55,177
建物管理	18,700		
施設・設備維持管理費		80,143	72,419
工作物管理	28,341		
清掃	46,956		
公園管理費		257,679	258,543
諸掛	131,577		
運営管理費	143,447		
一般管理費	65,623	57,554	56,682
消費税	36,093	30,906	49,344
合計	757,952	649,033	666,138

- 平成 19 年度から平成 21 年度は公募、平成 22 年度から平成 24 年度は企画競争、平成 25 年度から平成 27 年度は一般競争（総合評価落札方式）により特定された事業者との３箇年契約により業務を実施。

２　従来の実施に要した人員　（単位：人）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
常勤職員	0	0	0
非常勤職員	0	0	0

（平成 25 年度の業務従事者に求められる知識・経験等）

１．知識、経験に関する要件

・同種又は類似業務の経験

２．技術力に関する要件

〇植物管理業務

・1級造園施工管理技士

（過去の業務従事者に求められる知識・経験等）

・入札の対象となる業務は全て外部委託として実施していた。業務実施の際、従事者に求められる知識・経験等は以下の通りであった。（平成25年）

１．知識、経験に関する要件

配置予定者	①本業務全体マネジメント及び企画立案業務の業務責任者（総括責任者）	②施設・設備維持管理業務の業務責任者	③植物管理業務の業務責任者	④動物管理業務の業務責任者
業務の経験	下記1）～2）のいずれかを対象とした業務全体のマネジメント及び企画立案業務の実績を有し、かつ下記ｱ）～ｳ）のいずれかの経験を有すること	下記1）～2）のいずれかを対象とした施設・設備維持管理業務の実績を有し、かつ下記ｴ）の経験を有していること。	下記1）～2）のいずれかを対象とした植物管理業務に関する業務の実績を有し、かつ下記ｴ）の経験を有していること。	下記1）～2）のいずれかを対象とした動物管理業務に関する業務の実績を有し、かつ下記ｴ）の経験を有していること。
	1）都市公園の種別として総合公園以上 2）レクリエーション施設又は観光・商業施設で2ha以上の園地管理を行っている施設 ｱ）延べ２年以上の総括責任者の経験 ｲ）延べ３年以上の業務責任者の経験 ｳ）総括責任者または業務責任者の経験を有し、かつ技術士（建設部門：都市及び地方計画）または技術士（総合技術監理部門：建設）の資格を有する者 ｴ）延べ２年以上の業務責任者の経験			

２．技術力に関する要件

なし

（業務の繁閑の状況とその対応）

なし

（注記事項）

- 運営維持管理業務の人員のみ（収益施設等管理運営業務に係る人員は除く。）。
- 平成 24 年度では委託企業の職員 23 名、臨時職員 19 名、常勤パート 25 名
- 平成 25 年度では委託企業の職員 24 名、臨時職員 16 名、常勤パート 18 名
- 平成 26 年度では委託企業の職員 24 名、臨時職員 13 名、常勤パート 19 名
- 従事者にもとめられる知識や技術は、平成 25 年時の資格要件である

３　従来の実施に要した施設及び設備（委託事業者に対して供与した施設・設備）
・　別紙 2 主要公園施設一覧、別紙 3 主要建築物一覧、別紙 22 提供施設一覧表及び提供機械器具一覧表、別紙 34 建物及び工作物に関する修繕履歴の記録を参照
（注記事項） ・　運営維持管理業務の施設・設備のみ（収益施設等管理運営業務に係る施設・設備は除く。）。

４　従来の実施における目的の達成の程度						
■年間指標						
	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	目標計画	実　績	目標計画	実　績	目標計画	実　績
公園全体の年間利用者数		2,008,184 人		2,066,757 人		2,058,610 人
パークエリアの年間利用者数		1,050,057 人		1,033,000 人		1,038,569 人
福岡県外からの利用者の割合		16.9%		20.1%		20.1%
パークエリアの障がい者の年間入園者数		11,662 人		12,033 人		14,248 人
パークエリアのシルバー層（65 歳以上）の年間入園者数		25,036 人		28,015 人		25,427 人
利用実態調査アンケートの「非常に満足」「まあまあ満足」の合計回答比率		96.6%		97.2%		98.3%
大規模花修景に関する「非常に満足」の平均回答比率		58.7%		70.8%		70.7%
主催・共催イベント開催回数		150 回		180 回		192 回
主催・共催イベント参加人数		658,703 人		646,728 人		634,735 人
ホームページの総アクセス件数（トップページアクセス数をカウント）		700,184 件		890,072 件		972,068 件
マスコミによる報道件数		499 件		642 件		678 件

■四半期毎の指標								
	平成 24 年度							
	4～6 月		7～9 月		10～12 月		1～3 月	
	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績
公園全体の年間利用者数		513,994 人		801,498 人		397,788 人		294,904 人
パークエリアの年間利用者数		295,712 人		440,362 人		197,961 人		116,766 人
利用実態調査アンケートの「非常に満足」「まあまあ満足」の合計回答比率		97.3%		92.8%		98.9%		97.7%

■四半期毎の指標								
	平成 25 年度							
	4～6 月		7～9 月		10～12 月		1～3 月	
	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績
公園全体の年間利用者数		557,741 人		801,442 人		386,026 人		321,548 人
パークエリアの年間利用者数		338,131 人		395,135 人		186,968 人		112,766 人
利用実態調査アンケートの「非常に満足」「まあまあ満足」の合計回答比率		98.7%		95.5%		97.1%		97.3%

■四半期毎の指標								
	平成 26 年度							
	4～6 月		7～9 月		10～12 月		1～3 月	
	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績
公園全体の年間利用者数		559,796 人		787,486 人		393,738 人		317,590 人
パークエリアの年間利用者数		331,510 人		383,326 人		197,319 人		126,414 人
利用実態調査アンケートの「非常に満足」「まあまあ満足」の合計回答比率		98.2%		97.9%		98.8%		96.2%

（注記事項）

1．（指標の意義、選定根拠）

運営管理の基本方針に基づいた公園の管理運営による効果を客観的に評価するための指標。

運営管理の重点事項を選定している。

2．（目標値・計画値の設定根拠）

現在は設定しない。

3．（実績の計算・把握の方法）

実施要項1.3.4.モニタリング方法による。

管理者からの管理月報及び公園の利用に関するアンケート調査より。

4．表中の注記は以下のとおり。

※1：公園利用者数の集計方法は別紙 15 による。

※2：パークエリアとは、本公園の利用に際し、入園料を徴収する区域のこと（別紙1参照。）

※3：毎年国で春･夏･秋・冬の平日･休日の計 8 日間調査を行っている「海の中道海浜公園利用実態調査アンケート」（別紙 16）のF3「ご住所（お住まいのご住所をお知らせください）」の「福岡県以外の住所」の回答比率

※4：「海の中道海浜公園利用実態調査」（別紙 16）のQ9「本日公園には満足されましたか」における「非常に満足」「まあまあ満足」の回答比率。

※5：フラワーピクニック（3月下旬から5月上旬）期間中に7日間実施する「花修景満足度調査」（別紙 16）において「非常に満足」の平均回答比率。

※6：主催・共催等イベントの延べ参加人数のカウントは、イベント期間中入園者数やイベント期間中の入園者数に過去の実績等から便宜的に割合を乗じて算出しているものについては、カウントの対象としない。

※7：マスコミ報道件数の目標とは、以下のそれぞれの件数と合計件数。

委託費による有料広告・掲載、紙面買取等の広報についてはカウントできないが、委託費によらない自主事業等による広報はカウントできるものとする。

・テレビ（NHK・民放）・ラジオ（AM、FM）の放送件数で、1番組につき1カウントとする。

・財団法人日本新聞協会加盟の新聞・販売や配布エリアが福岡市東区域及びそれを超える範囲の雑誌

・情報誌への紙面掲載件数で、新聞については1紙／回につき1カウントとし、雑誌・情報誌については、1冊／回につき1カウントとする。但しホームページ等インターネット記事掲載は除く。

5　従来の実施方法等

従来の実施方法

・業務区分表参照

（事業の目的を達成する観点から重視している事項）

・地域特性を生かした植物管理、当公園の施設特性を生かした動物管理、多様な利用プログラムの提供、情報の受発信の充実を一元的に検討し、利用者数及び満足度を目標としている。

（注記事項）

・別紙 15－入園者数、別紙－16 公園利用に関するアンケート調査、別紙－18 マスコミによる報道関係資料、別紙―17 イベント一覧表、別紙－19 ホームページアクセス件数を参照。

【業務区分表】

	業務内容	業務細目	現状（25-27年度）			民間競争入札(28年度以降)			備考
			国土交通省	A（受託者）	A以外の業者	国土交通省	B（受託者）	B以外の業者	（作業時期・頻度・条件等）
国営海の中道海浜公園運営維持管理業務	①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務	マネジメント		○			○		
	②企画運営管理業務の業務責任者	企画運営管理		○			○		
	③施設・設備維持管理業務	維持修繕・保守点検		○	○		○	○	
		清掃		○	○		○	○	
	④植物管理業務	植物管理		○	○		○	○	
	⑤動物管理業務	動物管理		○			○		
	⑥収益施設等管理運営業務	収益施設運営		○			○		
		自主事業		○			○		

精算報告書

別紙１４

【平成２４年度】

【国営海の中道海浜公園運営維持管理業務】　（単位：円）

項目	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (C)=(A)-(B)	増減率（%） (D)=(C)/(A)
植物管理費	206,513,000	229,050,669	△ 22,537,669	△ 10.92%
動物管理費	56,970,000	58,164,541	△ 1,194,541	△ 2.10%
建物管理費	19,360,000	18,700,561	659,439	3.41%
工作物管理費	23,627,000	28,340,696	△ 4,713,696	△ 19.96%
清掃費	47,837,000	46,955,828	881,172	1.85%
諸掛	131,015,000	131,576,774	△ 561,774	△ 0.43%
利用者指導費	87,797,000	79,364,582	8,432,418	9.61%
自動車維持費	3,569,000	3,949,215	△ 380,215	△ 10.66%
広報宣伝費	39,649,000	48,262,977	△ 8,613,977	△ 21.73%
運営管理費	170,914,000	143,446,931	27,467,069	16.08%
人件費	157,890,000	132,215,090	25,674,910	16.27%
旅費	993,000	472,503	520,497	52.42%
庁費	12,031,000	10,759,338	1,271,662	10.57%
直接業務費	656,236,000	656,236,000	0	
一般管理費	65,623,000	65,623,000	0	
消費税	36,092,950	36,092,950	0	
合　計	757,951,950	757,951,950	0	

【平成２５年度】

【国営海の中道海浜公園運営維持管理業務】　（単位：円）

項目	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (C)=(A)-(B)	増減率（%） (D)=(C)/(A)
業務全体のﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ及び企画立案業務				
業務等運営費	131,107,480	128,086,672	3,020,808	2.31%
人件費	122,935,088	118,273,360	4,661,728	3.80%
連絡旅費	162,432	456,262	△ 293,830	△ 180.90%
調査旅費	153,467	0	153,467	100.00%
研修旅費	198,581	30,705	167,876	84.54%
会議費	118,692	92,796	25,896	21.82%
厚生経費	296,533	462,942	△ 166,409	△ 56.12%
管理雑費	7,242,687	8,770,607	△ 1,527,920	△ 21.10%
出改札等補助	66,727,537	73,718,036	△ 6,990,499	△ 10.48%
市民参加活動費	1,220,000	1,086,033	133,967	10.99%
巡視等	2,741,722	3,293,881	△ 552,159	△ 20.14%
諸材料購入費	1,831,936	3,997,209	△ 2,165,273	△ 118.20%
自動車維持費	2,353,765	5,118,734	△ 2,764,969	△ 117.48%
広報宣伝費	29,473,395	29,473,397	△ 2	△ 0.01%
行事費	14,800,000	12,905,701	1,894,299	12.80%
施設・設備維持管理業務	85,570,000	80,142,596	5,427,404	6.35%
建物維持修繕	4,428,000	4,814,974	△ 386,974	△ 8.74%
建物設備維持修繕	1,800,000	1,068,850	731,150	40.62%
工作物管理工	16,580,000	19,256,297	△ 2,676,297	△ 16.15%
設備維持修繕	9,537,000	9,892,089	△ 355,089	△ 3.73%
清掃工	53,225,000	45,110,386	8,114,614	15.25%
植物管理業務	146,052,424	168,327,996	△ 22,275,572	△ 15.26%
芝生管理工	29,634,355	32,540,068	△ 2,905,713	△ 9.81%
低木管理工	17,467,057	20,755,601	△ 3,288,544	△ 18.83%
ﾊﾞﾗ園管理工	5,195,438	5,448,215	△ 252,777	△ 4.87%
高木管理工	10,865,121	11,361,047	△ 495,926	△ 4.57%
林地管理工	3,178,710	3,449,578	△ 270,868	△ 8.53%
草地管理工	0	790,000	△ 790,000	
花壇管理工	42,846,968	45,049,904	△ 2,202,936	△ 5.15%
花畑管理工	17,112,967	26,770,070	△ 9,657,103	△ 56.44%
田畑管理工	1,031,808	695,000	336,808	32.65%
特殊（温室）管理工	7,220,000	11,316,513	△ 4,096,513	△ 56.74%
特殊管理工	11,500,000	10,152,000	1,348,000	11.73%
動物管理業務	58,792,000	54,422,441		
直接業務費	540,670,259	560,572,696	△ 19,902,437	
間接業務費	19,902,437	0	19,902,437	
一般管理費	56,057,304	57,554,105	△ 1,496,801	
消費税	30,831,500	30,906,340	△ 74,840	
合　計	647,461,500	649,033,141	△ 1,571,641	

【平成２６年度】

【国営海の中道海浜公園運営維持管理業務】　（単位：円）

項目	予定経費 (A)	支出額 (B)	過不足額 (C)=(A)-(B)	増減率（%） (D)=(C)/(A)
業務全体のﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ及び企画立案業務				
業務等運営費	131,107,480	132,720,746	△ 1,613,266	△ 1.24%
人件費	122,935,088	123,662,403	△ 727,315	△ 0.60%
連絡旅費	162,432	443,513	△ 281,081	△ 173.05%
調査旅費	153,467	0	153,467	100.00%
研修旅費	198,581	0	198,581	100.00%
会議費	118,692	99,853	18,839	15.88%
厚生経費	296,533	537,780	△ 241,247	△ 81.36%
管理雑費	7,242,687	7,977,197	△ 734,510	△ 10.15%
出改札等補助	66,727,537	71,004,891	△ 4,277,354	△ 6.42%
市民参加活動費	1,220,000	1,106,134	113,866	9.34%
巡視等	2,741,722	3,084,556	△ 342,834	△ 12.51%
諸材料購入費	1,831,936	4,132,235	△ 2,300,299	△ 125.57%
自動車維持費	2,353,765	4,970,913	△ 2,617,148	△ 111.19%
広報宣伝費	28,767,395	28,767,395	0	
行事費	14,800,000	12,756,364	2,043,636	13.81%
施設・設備維持管理業務	85,570,000	72,419,344	13,150,656	15.37%
建物維持修繕	4,428,000	2,349,959	2,078,041	46.93%
建物設備維持修繕	1,800,000	634,954	1,165,046	64.73%
工作物管理工	16,580,000	17,409,888	△ 829,888	△ 5.01%
設備維持修繕	9,537,000	8,873,357	663,643	6.96%
清掃工	53,225,000	43,151,186	10,073,814	18.93%
植物管理業務	146,390,875	173,972,784	△ 27,581,909	△ 18.85%
芝生管理工	29,630,306	47,939,972	△ 18,309,666	△ 61.80%
低木管理工	17,467,057	23,871,050	△ 6,403,993	△ 36.67%
ﾊﾞﾗ園管理工	5,282,163	7,149,499	△ 1,867,336	△ 35.36%
高木管理工	10,865,121	11,462,699	△ 597,578	△ 5.50%
林地管理工	3,178,710	310,000	2,868,710	90.25%
草地管理工	0	916,000	△ 916,000	
花壇管理工	43,026,063	42,712,951	313,112	0.73%
花畑管理工	17,189,647	22,123,142	△ 4,933,495	△ 28.71%
田畑管理工	1,031,808	1,095,640	△ 63,832	△ 6.19%
特殊（温室）管理工	7,220,000	8,150,831	△ 930,831	△ 12.90%
特殊管理工	11,500,000	8,241,000	3,259,000	28.34%
動物管理業務	58,616,000	55,177,349		
直接業務費	540,126,710	560,112,711	△ 19,986,001	
間接業務費	19,986,001	0	19,986,001	
一般管理費	56,011,289	56,682,104	△ 670,815	
消費税	49,289,920	49,343,584	△ 53,664	
合　計	665,413,920	666,138,399	△ 724,479	

公園利用者数

■公園利用者数

【平成24年度】

（人）

入園者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
有料	西入口	38,801	29,724	12,746	63,591	78,923	20,694	29,927	19,058	7,718	2,278	16,100	23,047	342,607
	西ｻｲｸ入口	14,090	13,470	4,794	6,969	18,170	7,351	14,919	6,387	1,251	2,227	5,246	12,568	107,442
	海の中道駅入口	12,573	14,411	5,861	11,610	30,101	6,559	10,710	6,968	2,614	2,434	3,338	8,856	116,035
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	9,294	9,972	3,383	5,041	11,018	4,113	8,684	3,480	8,234	1,499	2,190	5,896	72,804
	光と風に広場入口	2,250	4,127	1,589	2,424	2,743	2,673	2,452	1,354	350	523	950	1,511	22,946
	カモ池入口	116	152	67	69	85	110	104	58	39	44	62	83	989
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	0	0	11,224	49,360	4,549	0	0	0	0	0	0	65,133
有料 計		77,124	71,856	28,440	100,928	190,400	46,049	66,796	37,305	20,206	9,005	27,886	51,961	727,956
無料	西入口	17,770	20,759	2,055	14,034	19,145	5,354	23,764	3,797	1,007	844	3,117	5,314	116,960
	西ｻｲｸ入口	10,689	17,319	1,850	2,421	4,958	2,477	13,144	2,644	409	881	2,454	4,796	64,042
	海の中道駅入口	9,734	11,438	867	2,482	5,228	1,404	9,181	1,401	509	408	1,674	2,348	46,674
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	7,096	10,940	1,393	1,852	3,164	1,482	10,491	1,272	2,401	683	1,197	2,327	44,298
	光と風に広場入口	1,820	3,652	357	424	344	918	2,787	341	175	183	272	650	11,923
	カモ池入口	271	279	6	7	31	18	313	16	2	7	4	11	965
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				11,883	22,847	2,512							37,242
無料 計		47,380	64,387	6,528	33,103	55,717	14,165	59,680	9,471	4,503	3,006	8,718	15,446	322,104
合計		124,504	136,243	34,968	134,031	246,117	60,214	126,476	46,776	24,709	12,011	36,604	67,407	1,050,060

入園者数		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
有料	西入口	81,271	163,208	56,703	41,425	342,607
	西ｻｲｸ入口	32,354	32,490	22,557	20,041	107,442
	海の中道駅入口	32,845	48,270	20,292	14,628	116,035
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	22,649	20,172	20,398	9,585	72,804
	光と風に広場入口	7,966	7,840	4,156	2,984	22,946
	カモ池入口	335	264	201	189	989
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	65,133	0	0	65,133
有料 計		177,420	337,377	124,307	88,852	727,956
無料	西入口	40,584	38,533	28,568	9,275	116,960
	西ｻｲｸ入口	29,858	9,856	16,197	8,131	64,042
	海の中道駅入口	22,039	9,114	11,091	4,430	46,674
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	19,429	6,498	14,164	4,207	44,298
	光と風に広場入口	5,829	1,686	3,303	1,105	11,923
	カモ池入口	556	56	331	22	965
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	37,242	0	0	37,242
無料 計		118,295	102,985	73,654	27,170	322,104
合計		295,715	440,362	197,961	116,022	1,050,060

別紙１５

有料内訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
大人	西入口	27,442	21,881	7,082	50,026	46,656	12,055	20,504	11,621	4,107	1,692	11,462	16,611	231,139
	西ｻｲｸ入口	8,979	9,935	3,354	4,414	11,642	5,088	10,403	4,044	826	1,491	3,491	8,209	71,876
	海の中道駅入口	9,103	12,515	5,100	6,575	17,638	4,801	8,120	5,394	2,402	2,101	2,685	6,499	82,933
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	6,975	7,813	2,596	3,410	6,802	3,040	6,122	2,460	7,175	1,082	1,622	4,012	53,109
	光と風に広場入口	1,877	3,686	1,451	2,197	2,433	2,145	2,062	1,101	290	454	796	1,214	19,706
	カモ池入口	94	122	57	57	75	103	81	52	34	39	52	66	832
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				6,204	28,318	2,719							37,241
シルバー	西入口	1,797	1,648	401	373	1,072	355	2,288	716	105	182	297	1,048	10,282
	西ｻｲｸ入口	1,147	861	220	130	297	276	1,372	353	119	137	223	822	5,957
	海の中道駅入口	876	866	212	162	327	171	994	252	41	86	116	582	4,685
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	485	505	160	118	223	127	598	212	149	59	78	369	3,083
	光と風に広場入口	59	88	21	19	14	348	76	66	22	22	45	77	857
	カモ池入口	11	22	10	9	4	5	16	5	5	2	6	14	109
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				11	49	3							63
小人	西入口	9,562	6,195	5,263	13,192	31,195	8,284	7,135	6,721	3,506	404	4,341	5,388	101,186
	西ｻｲｸ入口	3,964	2,674	1,220	2,425	6,231	1,987	3,144	1,990	306	599	1,532	3,537	29,609
	海の中道駅入口	2,594	1,030	549	4,873	12,136	1,587	1,596	1,322	171	247	537	1,775	28,417
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	1,834	1,654	627	1,513	3,993	946	1,964	808	910	358	490	1,515	16,612
	光と風に広場入口	314	353	117	208	296	180	314	187	38	47	109	220	2,383
	カモ池入口	11	8	0	3	6	2	7	1	0	3	4	3	48
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				5,009	20,993	1,827							27,829

【平成25年度】

（人）

入園者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
有料	西入口	37,064	43,294	11,983	36,247	65,074	23,114	18,267	18,776	4,307	3,677	11,540	21,488	294,831
	西ｻｲｸ入口	15,654	14,324	5,105	6,675	15,764	12,072	11,137	6,297	1,889	3,749	3,530	10,073	106,269
	海の中道駅入口	11,618	10,701	6,936	15,433	24,445	9,008	9,544	8,778	4,020	2,992	3,667	7,678	114,820
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	12,231	12,251	4,476	6,162	12,357	7,407	7,238	4,668	11,487	3,481	2,734	8,120	92,612
	光と風に広場入口	2,517	4,610	1,650	2,551	2,157	3,828	2,210	1,677	469	780	662	1,221	24,332
	カモ池入口	95	145	84	74	63	104	113	82	45	92	75	125	1,097
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				13,638	43,085	3,048							59,771
有料 計		79,179	85,325	30,234	80,780	162,945	58,581	48,509	40,278	22,217	14,771	22,208	48,705	693,732
無料	西入口	21,635	25,942	2,138	13,303	17,119	7,174	23,399	4,086	968	1,397	2,163	4,985	124,309
	西ｻｲｸ入口	13,690	18,961	1,680	2,308	4,324	3,935	15,452	2,594	760	1,717	2,012	4,069	71,502
	海の中道駅入口	8,560	10,448	764	2,222	3,410	1,862	6,911	849	601	531	619	1,832	38,609
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	11,909	14,556	1,951	2,125	2,871	3,007	9,896	1,971	3,269	1,538	1,337	3,492	57,922
	光と風に広場入口	4,663	4,411	882	416	344	1,083	4,225	410	126	197	871	306	17,934
	カモ池入口	642	541	20	9	2	6	422	19	6	5	2	9	1,683
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				11,370	15,403	536							27,309
無料 計		61,099	74,859	7,435	31,753	43,473	17,603	60,305	9,929	5,730	5,385	7,004	14,693	339,268
合計		140,278	160,184	37,669	112,533	206,418	76,184	108,814	50,207	27,947	20,156	29,212	63,398	1,033,000

入園者数		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
有料	西入口	92,341	124,435	41,350	36,705	294,831
	西ｻｲｸ入口	35,083	34,511	19,323	17,352	106,269
	海の中道駅入口	29,255	48,886	22,342	14,337	114,820
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	28,958	25,926	23,393	14,335	92,612
	光と風に広場入口	8,777	8,536	4,356	2,663	24,332
	カモ池入口	324	241	240	292	1,097
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	59,771	0	0	59,771
有料 計		194,738	302,306	111,004	85,684	693,732
無料	西入口	49,715	37,596	28,453	8,545	124,309
	西ｻｲｸ入口	34,331	10,567	18,806	7,798	71,502
	海の中道駅入口	19,772	7,494	8,361	2,982	38,609
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	28,416	8,003	15,136	6,367	57,922
	光と風に広場入口	9,956	1,843	4,761	1,374	17,934
	カモ池入口	1,203	17	447	16	1,683
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	27,309	0	0	27,309
無料 計		143,393	92,829	75,964	27,082	339,268
合計		338,131	395,135	186,968	112,766	1,033,000

有料内訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
大人	西入口	25,612	33,996	6,821	22,659	38,140	14,511	11,788	10,954	2,646	2,661	8,776	16,534	195,098
	西ｻｲｸ入口	9,822	10,454	3,544	4,197	10,094	8,401	7,244	4,256	1,283	2,413	2,516	6,399	70,623
	海の中道駅入口	7,094	8,749	5,972	9,750	14,498	6,993	7,045	7,583	3,613	2,481	3,179	5,709	82,666
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	9,013	9,520	3,466	4,004	7,601	5,384	5,274	3,329	9,937	2,482	2,149	5,678	67,837
	光と風に広場入口	2,047	3,981	1,399	2,335	1,883	3,281	1,804	1,397	404	663	540	989	20,723
	カモ池入口	83	127	74	62	52	94	97	68	39	76	51	98	921
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				7,351	24,124	1,928							33,403
シルバー	西入口	2,065	2,258	512	384	912	428	1,253	640	166	251	208	1,369	10,446
	西ｻｲｸ入口	1,387	1,135	349	124	256	285	1,045	340	117	192	160	594	5,984
	海の中道駅入口	947	911	211	131	233	231	718	288	63	118	86	367	4,304
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	788	850	244	137	242	209	433	244	232	160	100	357	3,996
	光と風に広場入口	74	117	95	13	25	194	94	60	28	49	30	53	832
	カモ池入口	10	16	9	4	5	4	13	8	5	14	15	16	119
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				7	50	1							58
小人	西入口	9,387	7,040	4,650	13,204	26,022	8,175	5,226	7,182	1,495	765	2,556	3,585	89,287
	西ｻｲｸ入口	4,445	2,735	1,212	2,354	5,414	3,386	2,848	1,701	489	1,144	854	3,080	29,662
	海の中道駅入口	3,577	1,041	753	5,552	9,714	1,784	1,781	907	344	393	402	1,602	27,850
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	2,430	1,881	766	2,021	4,514	1,814	1,531	1,095	1,318	839	485	2,085	20,779
	光と風に広場入口	396	512	156	203	249	353	312	220	37	68	92	179	2,777
	カモ池入口	2	2	1	8	6	6	3	6	1	2	9	11	57
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				6,280	18,911	1,119							26,310

【平成26年度】

（人）

入園者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
有料	西入口	31,821	44,309	12,050	59,677	53,047	27,871	25,333	30,361	4,238	3,211	12,076	26,138	330,132
	西ｻｲｸ入口	12,979	16,444	6,014	5,639	15,771	13,022	12,051	7,745	1,971	3,722	2,635	14,277	112,270
	海の中道駅入口	8,564	14,821	5,427	11,729	20,715	8,817	7,975	5,440	2,024	2,759	2,202	8,380	98,853
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	9,252	13,449	5,285	5,975	11,956	8,921	7,533	6,186	14,719	3,367	2,141	11,982	100,766
	光と風に広場入口	2,147	4,802	2,101	2,034	2,379	5,317	1,909	2,161	434	829	1,183	1,930	27,226
	カモ池入口	105	207	146	115	116	187	80	88	43	51	33	110	1,281
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				11,816	29,489	3,713							45,018
有料 計		64,868	94,032	31,023	96,985	133,473	67,848	54,881	51,981	23,429	13,939	20,270	62,817	715,546
無料	西入口	19,711	31,298	2,293	13,046	10,238	7,475	20,438	5,151	541	1,123	1,392	6,143	118,849
	西ｻｲｸ入口	10,296	21,222	2,152	1,896	4,347	4,549	10,653	3,075	692	1,280	1,178	5,378	66,718
	海の中道駅入口	7,199	15,231	1,332	2,989	3,249	1,960	5,912	1,676	802	536	431	2,499	43,816
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	6,839	11,412	2,167	2,774	3,279	3,822	7,228	2,678	3,485	1,543	1,281	4,766	51,274
	光と風に広場入口	2,269	6,127	1,075	540	636	2,031	3,769	439	128	1,026	214	557	18,811
	カモ池入口	222	726	16	4	39	32	350	7	4	14	4	23	1,441
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				6,387	14,418	1,309							22,114
無料 計		46,536	86,016	9,035	27,636	36,206	21,178	48,350	13,026	5,652	5,522	4,500	19,366	323,023
合計		111,404	180,048	40,058	124,621	169,679	89,026	103,231	65,007	29,081	19,461	24,770	82,183	1,038,569

入園者数		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
有料	西入口	88,180	140,595	59,932	41,425	330,132
	西ｻｲｸ入口	35,437	34,432	21,767	20,634	112,270
	海の中道駅入口	28,812	41,261	15,439	13,341	98,853
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	27,986	26,852	28,438	17,490	100,766
	光と風に広場入口	9,050	9,730	4,504	3,942	27,226
	カモ池入口	458	418	211	194	1,281
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	45,018	0	0	45,018
有料 計		189,923	298,306	130,291	97,026	715,546
無料	西入口	53,302	30,759	26,130	8,658	118,849
	西ｻｲｸ入口	33,670	10,792	14,420	7,836	66,718
	海の中道駅入口	23,762	8,198	8,390	3,466	43,816
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	20,418	9,875	13,391	7,590	51,274
	光と風に広場入口	9,471	3,207	4,336	1,797	18,811
	カモ池入口	964	75	361	41	1,441
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	22,114	0	0	22,114
無料 計		141,587	85,020	67,028	29,388	323,023
合計		331,510	383,326	197,319	126,414	1,038,569

有料内訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
大人	西入口	21,941	34,589	6,896	46,295	31,162	17,994	15,640	21,405	2,906	2,333	8,713	20,043	229,917
	西ｻｲｸ入口	7,780	11,470	4,085	3,624	9,911	8,731	7,980	5,017	1,300	2,366	1,874	9,019	73,157
	海の中道駅入口	5,753	12,221	4,622	7,010	12,686	6,861	5,643	4,453	1,681	2,340	1,904	6,141	71,315
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	6,276	10,181	3,964	3,896	7,707	6,598	5,450	4,289	12,349	2,397	1,652	8,434	73,193
	光と風に広場入口	1,720	4,019	1,852	1,747	2,114	4,355	1,566	1,738	354	655	1,045	1,504	22,669
	カモ池入口	86	174	116	103	95	168	50	60	32	41	26	73	1,024
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				6,174	16,452	2,354							24,980
シルバー	西入口	1,569	2,250	365	386	854	941	2,157	1,268	111	172	216	1,765	12,054
	西ｻｲｸ入口	1,191	1,155	306	146	314	320	1,140	383	132	193	170	785	6,235
	海の中道駅入口	834	881	219	151	243	211	988	211	58	69	63	463	4,391
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	534	697	233	162	283	194	564	294	519	133	107	481	4,201
	光と風に広場入口	66	152	64	39	23	114	103	119	32	45	58	108	923
	カモ池入口	17	21	24	12	17	14	26	24	9	7	6	23	200
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				7	52	3		62					124
小人	西入口	8,311	7,470	4,789	12,996	21,031	8,936	7,536	7,688	1,221	706	3,147	4,330	88,161
	西ｻｲｸ入口	4,008	3,819	1,623	1,869	5,546	3,971	2,931	2,345	539	1,163	591	4,473	32,878
	海の中道駅入口	1,977	1,719	586	4,568	7,786	1,745	1,344	776	285	350	235	1,776	23,147
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	2,442	2,571	1,088	1,917	3,966	2,129	1,519	1,603	1,851	837	382	3,067	23,372
	光と風に広場入口	361	631	185	248	242	848	240	304	48	129	80	318	3,634
	カモ池入口	2	12	6	0	4	5	4	4	2	3	1	14	57
	※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口				5,635	12,985	1,356							19,976

■入園者数のカウント方法

■「ﾊﾟｰｸエリア」入園者数のカウント方法

ﾊﾟｰｸｴﾘｱ入園者	西入口入園者数			西ｻｲｸ入口入園者数			海の中道駅入口入園者数			ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口入園者数			光と風に広場入口入園者数			カモ池入口入園者数			※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口入園者数		
重複無	計	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料
① =A+D+G+J+M+P+S	A=B+C	B	C	D=E+F	E	F	G=H+I	H	I	J=K+L	K	L	M=N+O	N	O	P=Q+R	Q	R	S=T+U	T	U

注　※1　開設期間は、ﾌﾟｰﾙｵｰﾌﾟﾝ時のみ

■「無料エリア」入園者数のカウント方法

無料ｴﾘｱ入園者	ﾘｿﾞｰﾄｴﾘｱ											近隣広場
	ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ入館者			ｻﾞ・ﾙｲｶﾞﾝｽﾞ			ﾏﾘｰﾅ			茶室	無料	無料
重複無	重複無			重複有			重複無					
	計	有料	無料	計	宿泊者数	ﾚｽﾄﾗﾝ等	計	ﾏﾘｰﾅ	ﾃﾆｽ			
②＝ｱ+ｴ+ｷ+ｺ+ｻ+ｼ	ｱ=ｲ+ｳ	ｲ	ｳ	ｴ=ｵ+ｶ	ｵ	ｶ	ｷ=ｸ+ｹ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ

調査日	４月　　日	平・休
調査地点		

海の中道海浜公園　花修景に関する満足度調査表

本日は国営海の中道海浜公園にご来園頂き誠にありがとうございます。

国営海の中道海浜公園では、3 月 29 日～5 月 6 日の期間『フラワーピクニック 2014』を開催しています。『フラワーピクニック 2014』は“福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか”をテーマとして、公園のスケールメリット生かした、大規模花修景を実施しています。

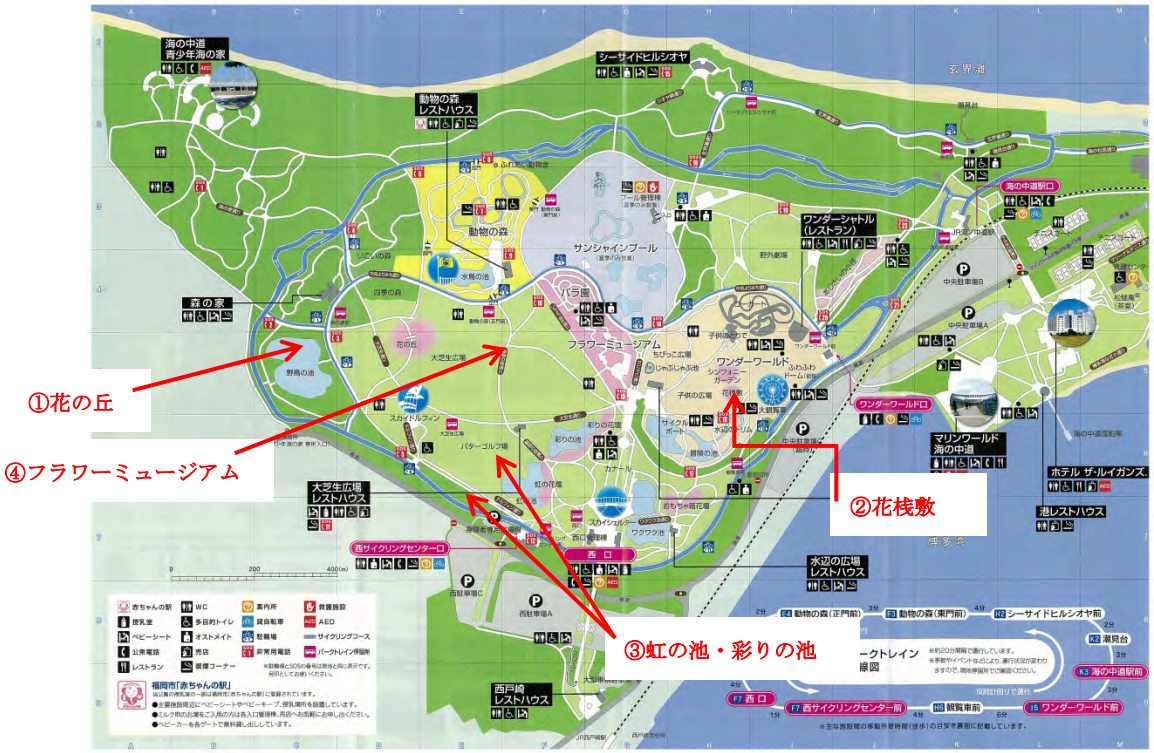
【花修景】

①花の丘（大芝生広場）	ﾈﾓﾌｨﾗ、ｶﾘﾌｫﾙﾆｱﾎﾟﾋﾟｰ、ｶﾘﾌｫﾙﾆｱﾃﾞｰｼﾞｰ（ひな菊）	230 万本
②花桟敷（子供の広場）	ﾈﾓﾌｨﾗと一年草のお花を使った“花の地上絵”	50 万本
③虹の池・彩りの池	チューリップ	28 万本
④フラワーミュージアム	宿根草や一年草の種々の草花	15 万本

Q. 本日、公園のお花（大規模花修景）には満足されましたか。また、百点満点では何点になりますか。（○はひとつ）

１．非常に満足	２．まあまあ満足	３．やや不満	４．非常に不満

＿＿＿＿＿＿＿点



海の中道海浜公園　利用実態調査アンケート（春季）

本日は海の中道海浜公園をご利用いただき誠にありがとうございます。ただいま海の中道海浜公園では、よりよい公園づくりのために当公園をご利用いただきました方々のご意見・ご要望をお伺いしております。何卒ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

2014年　海の中道海浜公園

Q1. 本日はどなたと海浜公園に来られましたか。（○印は1つのみ）

1．一人で
2．友人・知人と
3．カップルで
4．ご夫婦のみで
5．ご家族連れで（大人：　人、小人：　人）
6．学校等で
7．地域の団体で
8．職場の団体で
9．その他（　）

Q2. 本日はどの交通機関で来られましたか。（○印はいくつでも）

1．鉄道
2．路線バス
3．貸切バス
4．自家用車
5．バイク
6．自転車
7．タクシー
8．徒歩のみ
9．市営渡船（ベイサイドからの船）
10．海中ライン（ベイサイドからの高速船）
11．海中ライン（シーサイドももちからの高速船）
12．その他（　）

Q3. 海浜公園に来園されるのにかかった所要時間はどれくらいでしたか。（○印は1つのみ）

1．30分未満
2．1時間未満
3．1時間～1時間30分未満
4．1時間30分～2時間未満
5．2時間以上

Q4. 本日の来園時間と退園時間をお知らせください。（24時間表記でご記入ください）

来園時間		退園時間
＿＿＿時＿＿＿分頃	～	＿＿＿時＿＿＿分頃

Q5. 本日、海浜公園でどのようなことをされましたか。（○印はいくつでも）

1．散歩
2．花を見た
3．のんびりした
4．食事
5．子供を遊ばせた
6．自然を満喫した
7．運動した
8．催し物を楽しんだ
9．遊園地で遊んだ
10．その他（　）

Q6. もし海浜公園でできるとしたらどんなことをしてみたいですか。（○印はいくつでも）

1．ペットと遊ぶ
2．キャンプ
3．たき火
4．花火
5．木登り
6．野球
7．凧揚げ
8．砂浜で遊ぶ
9．オートキャンプ
10．自作品の発表会（コンサート含む）
11．海水浴（マリンスポーツ含む）
12．その他（　）

Q7. 本日、海浜公園に来られた理由をお知らせください。（○印はいくつでも）

1．近いから
2．交通の便がよいから
3．施設に魅力があるから
4．料金が安いから
5．イベントが魅力的だから
6．話題性があるから
7．家族で楽しめるから
8．遊園地があるから
9．自然が豊かだから
10．花がきれいだから
11．景色がよいから
12．一日中遊べるから
13．動物園があるから
14．プールがあるから
15．その他（　）

Q8. 次のA～Eの施設を利用されたことはありますか。
また、ご利用経験のある方は最近1年間でのご利用の平均回数をお知らせください。（○印は各1つずつ）

	ご利用経験の有無		ご利用頻度（年間平均回数）
A 海浜公園（パークエリア）			1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
B 光と風の広場	1．利用したことはない	2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
C サンシャインプール	1．利用したことはない	2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
D マリンワールド	1．利用したことはない	2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
E ホテル（マリーナ、テニスコートを含む）	1．利用したことはない	2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて

※ホテルについては「食事」や「買い物」での利用も含みます

Q9. 本日、公園には満足されましたか。また、百点満点では何点になりますか。（○印は1つのみ）

1．非常に満足　2．まあまあ満足　3．やや不満　4．非常に不満

＿＿＿＿＿＿＿＿点

Q10. 本日、公園のお花（花修景）には満足されましたか。また、百点満点では何点になりますか。（○印は1つのみ）

1．非常に満足　2．まあまあ満足　3．やや不満　4．非常に不満

＿＿＿＿＿＿＿＿点

Q11. 最近の海浜公園に関する情報は何で得られましたか。（○印はいくつでも）

1．新聞記事
2．テレビ（情報番組）
3．テレビ（CM）
4．ラジオ
5．市政だよりなどの市町村広報紙
6．まっぷる・るるぶなどの旅行本
7．じゃらん・九州ウォーカー・おでかけ九州などのイベント情報誌
8．くまにちすぱいすなどの新聞折込
9．リビング誌などのフリーペーパー
10．その他雑誌・情報誌（　）
11．チラシ（学校配布分）
12．チラシ（新聞折込）
13．チラシ（その他）
14．ポスター
15．友人・知人から聞いて
16．公園のホームページ
17．公園以外のホームページ
18．毎年来ている
19．商業施設でのPR活動
20．その他（　）

Q12. 海浜公園のイベントでご存じのものをお知らせください。（○印はいくつでも）

1．フラワーピクニック
2．うみなか☆はなまつり
3．バラミュージアム
4．ｸﾘｽﾏｽ・ｷｬﾝﾄﾞﾙﾅｲﾄ
5．海の中道はるかぜマラソン
6．トライアスロン大会
7．海の中道リレーマラソン
8．県民さわやかマラソン
9．国際クロスカントリー大会
10．マウンテンバイク選手権
11．ディスクゴルフ大会
12．新春餅つき大会
13．動物の森1日飼育員
14．プールのイベント
15．コンサート
16．森づくり・農体験
17．森の家の木工作
18．海と森のエコツアー
19．その他（　）
20．特になし

Q12-1. これらのイベントの中で実際に参加されたことがあるものをすべてお知らせください。（左記の番号でいくつでもご記入ください）

Q13. 今後、海浜公園で行ってほしいイベントをお知らせください。（○印はいくつでも）

1．コンサートや演劇
2．スポーツ大会・教室
3．各種ゲーム大会
4．自然観察会
5．園芸教室や植木市
6．地域の祭り
7．花火大会
8．野鳥観察会
9．その他（　）
10．特になし

Q14. 本日、おすすめ施設マップをご利用されたかお知らせください。（○印は1つのみ）

1．利用した　→ Q14-1 へお進みください
2．利用していない　→Q15 へお進みください

Q14-1. ＜利用した方へ＞おすすめ施設マップは満足されましたか。また、百点満点では何点になりますか。（○印は1つのみ）

1．非常に満足　2．まあまあ満足　3．やや不満　4．非常に不満

＿＿＿＿＿＿＿＿点

Q14-2. ＜利用した方へ＞おすすめ施設マップに対する意見をお聞かせください。（自由記入欄）

Q15. ＜全員の方へ＞「フラワーピクニック2014」を行なっていましたが、ご存知でしたか。（○印は1つのみ）

1．知っていた　→ Q15-1 へお進みください
2．知らなかった　→Q16 へお進みください

→ ウラ面のご記入もお願いいたします。

Q15-1. ＜知っている方へ＞「フラワーピクニック 2014」に関する情報は何から得ましたか。（○印はいくつでも）

1．新聞記事	7．じゃらん・九州ｳｫｰｶｰ・おでかけ九州などのイベント情報誌	13．友人・知人から聞いて
2．テレビ（情報番組）	8．くまにちすぱいすなどの新聞折込	14．公園のホームページ
3．テレビ （CM）	9．リビング誌などのフリーペーパー	15．公園以外のホームページ
4．ラジオ	10．その他雑誌・情報誌（ ）	16．毎年来ている
5．市政だよりなどの市町村広報紙	11．チラシ（学校配布分）	17．商業施設等でのＰＲ活動
6．まっぷる・るるぶなどの旅行本	12．ポスター	18．その他
		（ ）

Q16. 最近1年間に行かれた九州内のテーマパークや遊園地をお知らせください。（○印はいくつでも）

1．スペースワールド	7．福岡市動植物園	13．長崎バイオパーク	19．別府うみたまご(ﾏﾘﾝﾊﾟﾚｽ)
2．到津の森公園	8．マリノアシティ福岡	14．ハーモニーランド	20．国営吉野ヶ里歴史公園
3．かしいかえん	9．キャナルシティ博多	15．どんぐり村	21．九州国立博物館
4．油山市民の森	10．だざいふえん	16．嬉野メルヘン村	22．その他（ ）
5．マリゾン・福岡タワー	11．三井グリーンランド	17．くじゅう花公園	23．特になし
6．福岡ドーム	12．ハウステンボス	18．海響館（下関水族館）	

Q17. 公園の「年間パスポート」をご存知ですか。[大人 4,100 円、子供 800 円で 1 年間入園自由]（○印はひとつのみ）

1．知っていた	2．知らなかった

Q17-1. 年間パスポートの購入についてお知らせください。（○印は1つのみ）

1．購入済み	7．購入する予定	13．購入する予定はない

Q18. 海浜公園に関するご意見・ご要望をご自由にご記入ください。（良い点や改善点など）

Q19. 本日ご利用された、またはご利用予定の施設及びサービスをお知らせください。（○印はいくつでも）

【出入口】	13．大芝生広場	28．大観覧車
1．海の中道駅口	14．スカイドルフィン	29．ホテル ザ・ルイガンズ
2．ワンダーワールド口	15．花の丘	30．マリンワールド（水族館）
3．西口	16．森の家	31．環境共生の森
4．サイクリング口	17．いこいの森	32．シーサイドヒル シオヤ
【施設】	18．野鳥の池	33．潮見台
5．おもちゃ箱花壇	19．動物の森	34．みらい橋 北側広場
6．冒険の池（ｻｲｸﾙﾎﾞｰﾄ）	20．野外劇場	【サービス】
7．虹の花壇	21．あじさいの小径	35．ランニングコース
8．フラワーミュージアム	22．ワンダーワールド(遊園地)	36．パターゴルフ
9．バラ園	23．ワンダーシャトル（ﾚｽﾄﾗﾝ）	37．ディスクゴルフ
10．シンフォニーガーデン/花桟敷	24．サンシャインプール	38．貸し自転車
11．子供の広場 管理棟	25．ちびっこ広場/じゃぶじゃぶ池	39．パークトレイン
12．彩りの花壇	26．トリム広場	40．その他
	27．水辺のトリム	（ ）

Q20. 本日のご利用された施設の順路をお知らせください。園内で利用された（立ち寄られた）施設をその順に Q19 の選択肢からご記入ください。また、移動手段もあわせてお知らせください。（入口・出口は1～4から選択。左詰めでご記入ください。）

入口 ⇒ 1 ⇒ 2 ⇒ 3 ⇒ 4 ⇒ 5 ⇒ 6 ⇒ 7 ⇒ 8 ⇒ 出口

〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕

※移動手段は下記の選択肢から選んで〔 〕内に番号でご記入ください。

1．徒歩　2．自転車　3．園内バス



◇あなた様、自身についてお知らせください。

F1. 性別
1．男性
2．女性

F2. 年齢（○印は1つのみ）			
1．10代	3．30代	5．50代	7．65歳以上
2．20代	4．40代	6．60～64歳	

F3. ご住所（お住まいのご住所をお知らせください）

＿＿＿＿＿＿県　＿＿＿＿＿＿市・郡　＿＿＿＿＿＿区・町・村

～ご協力 誠にありがとうございました～

海の中道海浜公園　利用実態調査アンケート（夏季）

本日は海の中道海浜公園をご利用いただき誠にありがとうございます。ただいま海の中道海浜公園では、よりよい公園づくりのために当公園をご利用いただきました方々のご意見・ご要望をお伺いしております。何卒ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

2014年　海の中道海浜公園

Q1. 本日はどなたと海浜公園に来られましたか。（○印は1つのみ）

1．一人で
2．友人・知人と
3．カップルで
4．ご夫婦のみで
5．ご家族連れで（大人：　人、小人：　人）
6．学校等で
7．地域の団体で
8．職場の団体で
9．その他（　）

Q2. 本日はどの交通機関で来られましたか。（○印はいくつでも）

1．鉄道
2．路線バス
3．貸切バス
4．自家用車
5．バイク
6．自転車
7．タクシー
8．徒歩のみ
9．市営渡船（ベイサイドからの船）
10．海中ライン（ベイサイドからの高速船）
11．海中ライン（シーサイドももちからの高速船）
12．その他（　）

Q3. 海浜公園に来園されるのにかかった所要時間はどれくらいでしたか。（○印は1つのみ）

1．30分未満
2．1時間未満
3．1時間～1時間30分未満
4．1時間30分～2時間未満
5．2時間以上

Q4. 本日の来園時間と退園時間をお知らせください。（24時間表記でご記入ください）

来園時間		退園時間
＿＿＿時＿＿＿分頃	～	＿＿＿時＿＿＿分頃

Q5. 本日、海浜公園でどのようなことをされましたか。（○印はいくつでも）

1．散歩
2．花を見た
3．のんびりした
4．食事
5．子供を遊ばせた
6．自然を満喫した
7．運動した
8．催し物を楽しんだ
9．遊園地で遊んだ
10．その他（　）

Q6. もし海浜公園でできるとしたらどんなことをしてみたいですか。（○印はいくつでも）

1．ペットと遊ぶ
2．キャンプ
3．たき火
4．花火
5．木登り
6．野球
7．凧揚げ
8．砂浜で遊ぶ
9．オートキャンプ
10．自作品の発表会（コンサート含む）
11．海水浴（マリンスポーツ含む）
12．その他（　）

Q7. 本日、海浜公園に来られた理由をお知らせください。（○印はいくつでも）

1．近いから
2．交通の便がよいから
3．施設に魅力があるから
4．料金が安いから
5．イベントが魅力的だから
6．話題性があるから
7．家族で楽しめるから
8．遊園地があるから
9．自然が豊かだから
10．花がきれいだから
11．景色がよいから
12．一日中遊べるから
13．動物園があるから
14．プールがあるから
15．その他（　）

Q8. 次のA～Eの施設を利用されたことはありますか。
また、ご利用経験のある方は最近1年間でのご利用の平均回数をお知らせください。（○印は各1つずつ）

	ご利用経験の有無	ご利用頻度（年間平均回数）
A 海浜公園（パークエリア）		1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
B 光と風の広場	1．利用したことはない　2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
C サンシャインプール	1．利用したことはない　2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
D マリンワールド	1．利用したことはない　2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
E ホテル（マリーナ、テニスコートを含む）	1．利用したことはない　2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて

※ホテルについては「食事」や「買い物」での利用も含みます

Q9. 本日、公園には満足されましたか。また、百点満点では何点になりますか。（○印は1つのみ）

1．非常に満足　2．まあまあ満足　3．やや不満　4．非常に不満

＿＿＿＿＿＿＿＿点

Q10. 本日、公園のお花（花修景）には満足されましたか。また、百点満点では何点になりますか。（○印は1つのみ）

1．非常に満足　2．まあまあ満足　3．やや不満　4．非常に不満

＿＿＿＿＿＿＿＿点

Q11. 最近の海浜公園に関する情報は何で得られましたか。（○印はいくつでも）

1．新聞記事
2．テレビ（情報番組）
3．テレビ（CM）
4．ラジオ
5．市政だよりなどの市町村広報紙
6．まっぷる・るるぶなどの旅行本
7．じゃらん・九州ウォーカー・おでかけ九州などのイベント情報誌
8．くまにちすぱいすなどの新聞折込
9．リビング誌などのフリーペーパー
10．その他雑誌・情報誌（　）
11．チラシ（学校配布分）
12．チラシ（新聞折込）
13．チラシ（その他）
14．ポスター
15．友人・知人から聞いて
16．公園のホームページ
17．公園以外のホームページ
18．毎年来ている
19．商業施設でのPR活動
20．その他（　）

Q12. 海浜公園のイベントでご存じのものをお知らせください。（○印はいくつでも）

1．フラワーピクニック
2．うみなか☆はなまつり
3．バラミュージアム
4．ｸﾘｽﾏｽ・ｷｬﾝﾄﾞﾙﾅｲﾄ
5．海の中道はるかぜマラソン
6．トライアスロン大会
7．海の中道リレーマラソン
8．県民さわやかマラソン
9．国際クロスカントリー大会
10．マウンテンバイク選手権
11．ディスクゴルフ大会
12．新春餅つき大会
13．動物の森1日飼育員
14．プールのイベント
15．コンサート
16．森づくり・農体験
17．森の家の木工作
18．海と森のエコツアー
19．その他（　）
20．特になし

Q12-1. これらのイベントの中で実際に参加されたことがあるものをすべてお知らせください。（左記の番号でいくつでもご記入ください）

Q13. 今後、海浜公園で行ってほしいイベントをお知らせください。（○印はいくつでも）

1．コンサートや演劇
2．スポーツ大会・教室
3．各種ゲーム大会
4．自然観察会
5．園芸教室や植木市
6．地域の祭り
7．花火大会
8．野鳥観察会
9．その他（　）
10．特になし

Q14. 本日、おすすめ施設マップをご利用されたかお知らせください。（○印は1つのみ）

1．利用した　→ Q14-1 へお進みください
2．利用していない　→Q16 へお進みください

Q14-1. ＜利用した方へ＞おすすめ施設マップは満足されましたか。また、百点満点では何点になりますか。（○印は1つのみ）

1．非常に満足　2．まあまあ満足　3．やや不満　4．非常に不満

＿＿＿＿＿＿＿＿点

Q14-2. ＜利用した方へ＞おすすめ施設マップに対する意見をお聞かせください。（自由記入欄）

→ ウラ面のご記入もお願いいたします。

－別紙262－

Q16. 最近1年間に行かれた九州内のテーマパークや遊園地をお知らせください。（〇印はいくつでも）

1．スペースワールド	7．福岡市動植物園	13．長崎バイオパーク	19．別府うみたまご(ﾏﾘﾝﾊﾟﾚｽ)
2．到津の森公園	8．マリノアシティ福岡	14．ハーモニーランド	20．国営吉野ヶ里歴史公園
3．かしいかえん	9．キャナルシティ博多	15．どんぐり村	21．九州国立博物館
4．油山市民の森	10．だざいふえん	16．嬉野メルヘン村	22．その他（　　）
5．マリゾン・福岡タワー	11．三井グリーンランド	17．くじゅう花公園	23．特になし
6．福岡ドーム	12．ハウステンボス	18．海響館（下関水族館）	

Q17. 公園の「年間パスポート」をご存知ですか。[大人 4,100 円、子供 800 円で 1 年間入園自由]（〇印はひとつのみ）

1．知っていた	2．知らなかった

Q17-1. 年間パスポートの購入についてお知らせください。（〇印は1つのみ）

1．購入済み	2．購入する予定	3．購入する予定はない

Q18. 海浜公園に関するご意見・ご要望をご自由にご記入ください。（良い点や改善点など）

Q19. 本日ご利用された、またはご利用予定の施設及びサービスをお知らせください。（〇印はいくつでも）

【出入口】	13．大芝生広場	28．大観覧車
1．海の中道駅口	14．スカイドルフィン	29．ホテル　ザ・ルイガンズ
2．ワンダーワールド口	15．花の丘	30．マリンワールド（水族館）
3．西口	16．森の家	31．環境共生の森
4．サイクリング口	17．いこいの森	32．シーサイドヒル　シオヤ
【施設】	18．野鳥の池	33．潮見台
5．おもちゃ箱花壇	19．動物の森	34．みらい橋　北側広場
6．冒険の池（ｻｲｸﾙﾎﾞｰﾄ）	20．野外劇場	【サービス】
7．虹の花壇	21．あじさいの小径	35．ランニングコース
8．フラワーミュージアム	22．ワンダーワールド(遊園地)	36．パターゴルフ
9．バラ園	23．ワンダーシャトル（ﾚｽﾄﾗﾝ）	37．ディスクゴルフ
10．シンフォニーガーデン/花桟敷	24．サンシャインプール	38．貸し自転車
11．子供の広場　管理棟	25．ちびっこ広場/じゃぶじゃぶ池	39．パークトレイン
12．彩りの花壇	26．トリム広場	40．その他
	27．水辺のトリム	（　　）

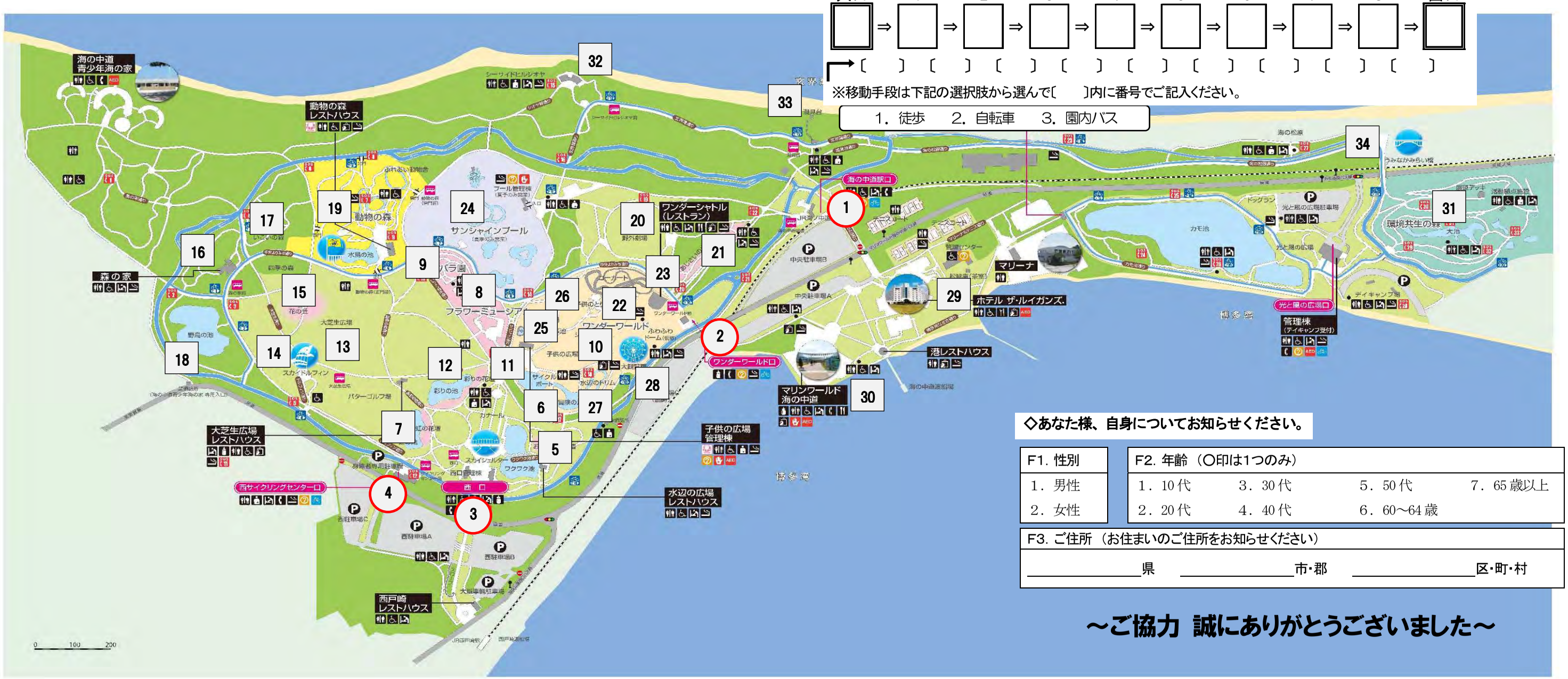
Q20. 本日のご利用された施設の順路をお知らせください。園内で利用された（立ち寄られた）施設をその順に Q19 の選択肢からご記入ください。また、移動手段もあわせてお知らせください。（入口・出口は1～4から選択。左詰めでご記入ください。）

入口 ⇒ 1 ⇒ 2 ⇒ 3 ⇒ 4 ⇒ 5 ⇒ 6 ⇒ 7 ⇒ 8 ⇒ 出口

〔　〕〔　〕〔　〕〔　〕〔　〕〔　〕〔　〕〔　〕

※移動手段は下記の選択肢から選んで〔　〕内に番号でご記入ください。

1．徒歩　2．自転車　3．園内バス



◇あなた様、自身についてお知らせください。

F1. 性別
1．男性
2．女性

F2. 年齢（〇印は1つのみ）			
1．10 代	3．30 代	5．50 代	7．65 歳以上
2．20 代	4．40 代	6．60～64 歳	

F3. ご住所（お住まいのご住所をお知らせください）

＿＿＿＿＿県　＿＿＿＿＿市・郡　＿＿＿＿＿区・町・村

～ご協力 誠にありがとうございました～

海の中道海浜公園　利用実態調査アンケート（秋季）

本日は海の中道海浜公園をご利用いただき誠にありがとうございます。ただいま海の中道海浜公園では、よりよい公園づくりのために当公園をご利用いただきました方々のご意見・ご要望をお伺いしております。何卒ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

2014年　海の中道海浜公園

Q1. 本日はどなたと海浜公園に来られましたか。（○印は1つのみ）

1．一人で
2．友人・知人と
3．カップルで
4．ご夫婦のみで
5．ご家族連れで（大人：　人、小人：　人）
6．学校等で
7．地域の団体で
8．職場の団体で
9．その他（　）

Q2. 本日はどの交通機関で来られましたか。（○印はいくつでも）

1．鉄道
2．路線バス
3．貸切バス
4．自家用車
5．バイク
6．自転車
7．タクシー
8．徒歩のみ
9．市営渡船（ベイサイドからの船）
10．海中ライン（ベイサイドからの高速船）
11．海中ライン（シーサイドももちからの高速船）
12．その他（　）

Q3. 海浜公園に来園されるのにかかった所要時間はどれくらいでしたか。（○印は1つのみ）

1．30分未満
2．1時間未満
3．1時間～1時間30分未満
4．1時間30分～2時間未満
5．2時間以上

Q4. 本日の来園時間と退園時間をお知らせください。（24時間表記でご記入ください）

来園時間		退園時間
＿＿＿時＿＿＿分頃	～	＿＿＿時＿＿＿分頃

Q5. 本日、海浜公園でどのようなことをされましたか。（○印はいくつでも）

1．散歩
2．花を見た
3．のんびりした
4．食事
5．子供を遊ばせた
6．自然を満喫した
7．運動した
8．催し物を楽しんだ
9．遊園地で遊んだ
10．その他（　）

Q6. もし海浜公園でできるとしたらどんなことをしてみたいですか。（○印はいくつでも）

1．ペットと遊ぶ
2．キャンプ
3．たき火
4．花火
5．木登り
6．野球
7．凧揚げ
8．砂浜で遊ぶ
9．オートキャンプ
10．自作品の発表会（コンサート含む）
11．海水浴（マリンスポーツ含む）
12．その他（　）

Q7. 本日、海浜公園に来られた理由をお知らせください。（○印はいくつでも）

1．近いから
2．交通の便がよいから
3．施設に魅力があるから
4．料金が安いから
5．イベントが魅力的だから
6．話題性があるから
7．家族で楽しめるから
8．遊園地があるから
9．自然が豊かだから
10．花がきれいだから
11．景色がよいから
12．一日中遊べるから
13．動物園があるから
14．プールがあるから
15．その他（　）

Q8. 次のA～Eの施設を利用されたことはありますか。
また、ご利用経験のある方は最近1年間でのご利用の平均回数をお知らせください。（○印は各1つずつ）

	ご利用経験の有無	ご利用頻度（年間平均回数）
A 海浜公園（パークエリア）		1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
B 光と風の広場	1．利用したことはない　2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
C サンシャインプール	1．利用したことはない　2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
D マリンワールド	1．利用したことはない　2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
E ホテル（マリーナ、テニスコートを含む）	1．利用したことはない　2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて

※ホテルについては「食事」や「買い物」での利用も含みます

Q9. 本日、公園には満足されましたか。また、百点満点では何点になりますか。（○印は1つのみ）

1．非常に満足　2．まあまあ満足　3．やや不満　4．非常に不満

＿＿＿＿＿＿＿＿点

Q10. 本日、公園のお花（花修景）には満足されましたか。また、百点満点では何点になりますか。（○印は1つのみ）

1．非常に満足　2．まあまあ満足　3．やや不満　4．非常に不満

＿＿＿＿＿＿＿＿点

Q11. 最近の海浜公園に関する情報は何で得られましたか。（○印はいくつでも）

1．新聞記事
2．テレビ（情報番組）
3．テレビ（CM）
4．ラジオ
5．市政だよりなどの市町村広報紙
6．まっぷる・るるぶなどの旅行本
7．じゃらん・九州ウォーカー・おでかけ九州などのイベント情報誌
8．くまにちすぱいすなどの新聞折込
9．リビング誌などのフリーペーパー
10．その他雑誌・情報誌（　）
11．チラシ（学校配布分）
12．チラシ（新聞折込）
13．チラシ（その他）
14．ポスター
15．友人・知人から聞いて
16．公園のホームページ
17．公園以外のホームページ
18．毎年来ている
19．商業施設でのＰＲ活動
20．その他（　）

Q12. 海浜公園のイベントでご存じのものをお知らせください。（○印はいくつでも）

1．フラワーピクニック
2．うみなか☆はなまつり
3．バラミュージアム
4．ｸﾘｽﾏｽ･ｷｬﾝﾄﾞﾙﾅｲﾄ
5．海の中道はるかぜマラソン
6．トライアスロン大会
7．海の中道リレーマラソン
8．県民さわやかマラソン
9．国際クロスカントリー大会
10．マウンテンバイク選手権
11．ディスクゴルフ大会
12．新春餅つき大会
13．動物の森１日飼育員
14．プールのイベント
15．コンサート
16．森づくり・農体験
17．森の家の木工作
18．海と森のエコツアー
19．その他（　）
20．特になし

Q12-1. これらのイベントの中で実際に参加されたことがあるものをすべてお知らせください。（左記の番号でいくつでもご記入ください）

Q13. 今後、海浜公園で行ってほしいイベントをお知らせください。（○印はいくつでも）

1．コンサートや演劇
2．スポーツ大会・教室
3．各種ゲーム大会
4．自然観察会
5．園芸教室や植木市
6．地域の祭り
7．花火大会
8．野鳥観察会
9．その他（　）
10．特になし

Q14. 本日、おすすめ施設マップをご利用されたかお知らせください。（○印は1つのみ）

1．利用した → Q14-1 へお進みください
2．利用していない →Q15 へお進みください

Q14-1. ＜利用した方へ＞おすすめ施設マップは満足されましたか。また、百点満点では何点になりますか。（○印は1つのみ）

1．非常に満足　2．まあまあ満足　3．やや不満　4．非常に不満

＿＿＿＿＿＿＿＿点

Q14-2. ＜利用した方へ＞おすすめ施設マップに対する意見をお聞かせください。（自由記入欄）

Q15. ＜全員の方へ＞「うみなか　はなまつり」を行なっていましたが、ご存知でしたか。（○印は1つのみ）

1．知っていた → Q15-1 へお進みください
2．知らなかった　→Q16 へお進みください

→ ウラ面のご記入もお願いいたします。

Q15-1. ＜知っている方へ＞「うみなか はなまつり」に関する情報は何から得ましたか。（○印はいくつでも）

1．新聞記事	7．じゃらん・九州ｳｫｰｶｰ・おでかけ九州などのイベント情報誌	13．友人・知人から聞いて
2．テレビ（情報番組）		14．公園のホームページ
3．テレビ （CM）	8．くまにちすぱいすなどの新聞折込	15．公園以外のホームページ
4．ラジオ	9．リビング誌などのフリーペーパー	16．毎年来ている
5．市政だよりなどの市町村広報紙	10．その他雑誌・情報誌（ ）	17．商業施設等でのＰＲ活動
6．まっぷる・るるぶなどの旅行本	11．チラシ（学校配布分）	18．その他
	12．ポスター	（ ）

Q16. 最近1年間に行かれた九州内のテーマパークや遊園地をお知らせください。（○印はいくつでも）

1．スペースワールド	7．福岡市動植物園	13．長崎バイオパーク	19．別府うみたまご(ﾏﾘﾝﾊﾟﾚｽ)
2．到津の森公園	8．マリノアシティ福岡	14．ハーモニーランド	20．国営吉野ヶ里歴史公園
3．かしいかえん	9．キャナルシティ博多	15．どんぐり村	21．九州国立博物館
4．油山市民の森	10．だざいふえん	16．嬉野メルヘン村	22．その他（ ）
5．マリゾン・福岡タワー	11．三井グリーンランド	17．くじゅう花公園	23．特になし
6．福岡ドーム	12．ハウステンボス	18．海響館（下関水族館）	

Q17. 公園の「年間パスポート」をご存知ですか。[大人 4,100 円、子供 800 円で 1 年間入園自由]（○印はひとつのみ）

1．知っていた　　2．知らなかった

Q17-1. 年間パスポートの購入についてお知らせください。（○印は1つのみ）

1．購入済み　　2．購入する予定　　3．購入する予定はない

Q18. 海浜公園に関するご意見・ご要望をご自由にご記入ください。（良い点や改善点など）

Q19. 本日ご利用された、またはご利用予定の施設及びサービスをお知らせください。（○印はいくつでも）

【出入口】	13．大芝生広場	28．大観覧車
1．海の中道駅口	14．スカイドルフィン	29．ホテル　ザ・ルイガンズ
2．ワンダーワールド口	15．花の丘	30．マリンワールド（水族館）
3．西口	16．森の家	31．環境共生の森
4．サイクリング口	17．いこいの森	32．シーサイドヒル　シオヤ
【施設】	18．野鳥の池	33．潮見台
5．おもちゃ箱花壇	19．動物の森	34．みらい橋　北側広場
6．冒険の池（ｻｲｸﾙﾎﾞｰﾄ）	20．野外劇場	【サービス】
7．虹の花壇	21．あじさいの小径	35．ランニングコース
8．フラワーミュージアム	22．ワンダーワールド(遊園地)	36．パターゴルフ
9．バラ園	23．ワンダーシャトル（ﾚｽﾄﾗﾝ）	37．ディスクゴルフ
10．シンフォニーガーデン/花桟敷	24．サンシャインプール	38．貸し自転車
11．子供の広場　管理棟	25．ちびっこ広場/じゃぶじゃぶ池	39．パークトレイン
12．彩りの花壇	26．トリム広場	40．その他
	27．水辺のトリム	（ ）

Q20. 本日のご利用された施設の順路をお知らせください。園内で利用された（立ち寄られた）施設をその順に Q19 の選択肢からご記入ください。また、移動手段もあわせてお知らせください。（入口・出口は1～4から選択。左詰めでご記入ください。）

入口 ⇒ 1 ⇒ 2 ⇒ 3 ⇒ 4 ⇒ 5 ⇒ 6 ⇒ 7 ⇒ 8 ⇒ 出口

〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕

※移動手段は下記の選択肢から選んで〔　〕内に番号でご記入ください。

1．徒歩　2．自転車　3．園内バス



◇あなた様、自身についてお知らせください。

F1. 性別
1．男性
2．女性

F2. 年齢（○印は1つのみ）			
1．10代	3．30代	5．50代	7．65歳以上
2．20代	4．40代	6．60～64歳	

F3. ご住所（お住まいのご住所をお知らせください）

＿＿＿＿＿県　＿＿＿＿＿市・郡　＿＿＿＿＿区・町・村

～ご協力 誠にありがとうございました～

海の中道海浜公園　利用実態調査アンケート（冬季）

本日は海の中道海浜公園をご利用いただき誠にありがとうございます。ただいま海の中道海浜公園では、よりよい公園づくりのために当公園をご利用いただきました方々のご意見・ご要望をお伺いしております。何卒ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

2015年　海の中道海浜公園

Q1. 本日はどなたと海浜公園に来られましたか。（○印は1つのみ）

1．一人で
2．友人・知人と
3．カップルで
4．ご夫婦のみで
5．ご家族連れで（大人：　人、小人：　人）
6．学校等で
7．地域の団体で
8．職場の団体で
9．その他（　）

Q2. 本日はどの交通機関で来られましたか。（○印はいくつでも）

1．鉄道
2．路線バス
3．貸切バス
4．自家用車
5．バイク
6．自転車
7．タクシー
8．徒歩のみ
9．市営渡船（ベイサイドからの船）
10．海中ライン（ベイサイドからの高速船）
11．海中ライン（シーサイドももちからの高速船）
12．その他（　）

Q3. 海浜公園に来園されるのにかかった所要時間はどれくらいでしたか。（○印は1つのみ）

1．30分未満
2．1時間未満
3．1時間～1時間30分未満
4．1時間30分～2時間未満
5．2時間以上

Q4. 本日の来園時間と退園時間をお知らせください。（24時間表記でご記入ください）

来園時間		退園時間
＿＿＿時＿＿＿分頃	～	＿＿＿時＿＿＿分頃

Q5. 本日、海浜公園でどのようなことをされましたか。（○印はいくつでも）

1．散歩
2．花を見た
3．のんびりした
4．食事
5．子供を遊ばせた
6．自然を満喫した
7．運動した
8．催し物を楽しんだ
9．遊園地で遊んだ
10．その他（　）

Q6. もし海浜公園でできるとしたらどんなことをしてみたいですか。（○印はいくつでも）

1．ペットと遊ぶ
2．キャンプ
3．たき火
4．花火
5．木登り
6．野球
7．凧揚げ
8．砂浜で遊ぶ
9．オートキャンプ
10．自作品の発表会（コンサート含む）
11．海水浴（マリンスポーツ含む）
12．その他（　）

Q7. 本日、海浜公園に来られた理由をお知らせください。（○印はいくつでも）

1．近いから
2．交通の便がよいから
3．施設に魅力があるから
4．料金が安いから
5．イベントが魅力的だから
6．話題性があるから
7．家族で楽しめるから
8．遊園地があるから
9．自然が豊かだから
10．花がきれいだから
11．景色がよいから
12．一日中遊べるから
13．動物園があるから
14．プールがあるから
15．その他（　）

Q8. 次のA～Eの施設を利用されたことはありますか。
また、ご利用経験のある方は最近1年間でのご利用の平均回数をお知らせください。（○印は各1つずつ）

	ご利用経験の有無	ご利用頻度（年間平均回数）
A 海浜公園（パークエリア）		1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
B 光と風の広場	1．利用したことはない　2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
C サンシャインプール	1．利用したことはない　2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
D マリンワールド	1．利用したことはない　2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて
E ホテル（マリーナ、テニスコートを含む）	1．利用したことはない　2．利用したことがある	1．1年に10回以上　3．1年に3～5回　5．1年に1回未満 2．1年に6～9回　4．1年に1～2回　6．今回が初めて

※ホテルについては「食事」や「買い物」での利用も含みます

Q9. 本日、公園には満足されましたか。また、百点満点では何点になりますか。（○印は1つのみ）

1．非常に満足　2．まあまあ満足　3．やや不満　4．非常に不満

＿＿＿＿＿＿＿＿点

Q10. 本日、公園のお花（花修景）には満足されましたか。また、百点満点では何点になりますか。（○印は1つのみ）

1．非常に満足　2．まあまあ満足　3．やや不満　4．非常に不満

＿＿＿＿＿＿＿＿点

Q11. 最近の海浜公園に関する情報は何で得られましたか。（○印はいくつでも）

1．新聞記事
2．テレビ（情報番組）
3．テレビ（CM）
4．ラジオ
5．市政だよりなどの市町村広報紙
6．まっぷる・るるぶなどの旅行本
7．じゃらん・九州ウォーカー・おでかけ九州などのイベント情報誌
8．くまにちすぱいすなどの新聞折込
9．リビング誌などのフリーペーパー
10．その他雑誌・情報誌（　）
11．チラシ（学校配布分）
12．チラシ（新聞折込）
13．チラシ（その他）
14．ポスター
15．友人・知人から聞いて
16．公園のホームページ
17．公園以外のホームページ
18．毎年来ている
19．商業施設でのＰＲ活動
20．その他（　）

Q12. 海浜公園のイベントでご存じのものをお知らせください。（○印はいくつでも）

1．フラワーピクニック
2．うみなか☆はなまつり
3．バラミュージアム
4．ｸﾘｽﾏｽ･ｷｬﾝﾄﾞﾙﾅｲﾄ
5．海の中道はるかぜマラソン
6．トライアスロン大会
7．海の中道リレーマラソン
8．県民さわやかマラソン
9．国際クロスカントリー大会
10．マウンテンバイク選手権
11．ディスクゴルフ大会
12．新春餅つき大会
13．動物の森１日飼育員
14．プールのイベント
15．コンサート
16．森づくり・農体験
17．森の家の木工作
18．海と森のエコツアー
19．その他（　）
20．特になし

Q12-1. これらのイベントの中で実際に参加されたことがあるものをすべてお知らせください。（左記の番号でいくつでもご記入ください）

Q13. 今後、海浜公園で行ってほしいイベントをお知らせください。（○印はいくつでも）

1．コンサートや演劇
2．スポーツ大会・教室
3．各種ゲーム大会
4．自然観察会
5．園芸教室や植木市
6．地域の祭り
7．花火大会
8．野鳥観察会
9．その他（　）
10．特になし

Q14. 本日、おすすめ施設マップをご利用されたかお知らせください。（○印は1つのみ）

1．利用した　→ Q14-1 へお進みください
2．利用していない　→Q16 へお進みください

Q14-1. ＜利用した方へ＞おすすめ施設マップは満足されましたか。また、百点満点では何点になりますか。（○印は1つのみ）

1．非常に満足　2．まあまあ満足　3．やや不満　4．非常に不満

＿＿＿＿＿＿＿＿点

Q14-2. ＜利用した方へ＞おすすめ施設マップに対する意見をお聞かせください。（自由記入欄）

→ ウラ面のご記入もお願いいたします。

Q16. 最近1年間に行かれた九州内のテーマパークや遊園地をお知らせください。（〇印はいくつでも）

1．スペースワールド	7．福岡市動植物園	13．長崎バイオパーク	19．別府うみたまご(ﾏﾘﾝﾊﾟﾚｽ)
2．到津の森公園	8．マリノアシティ福岡	14．ハーモニーランド	20．国営吉野ヶ里歴史公園
3．かしいかえん	9．キャナルシティ博多	15．どんぐり村	21．九州国立博物館
4．油山市民の森	10．だざいふえん	16．嬉野メルヘン村	22．その他（　　）
5．マリゾン・福岡タワー	11．三井グリーンランド	17．くじゅう花公園	23．特になし
6．福岡ドーム	12．ハウステンボス	18．海響館（下関水族館）	

Q17. 公園の「年間パスポート」をご存知ですか。[大人 4,100 円、子供 800 円で 1 年間入園自由]（〇印はひとつのみ）

1．知っていた　　2．知らなかった

Q17-1. 年間パスポートの購入についてお知らせください。（〇印は1つのみ）

1．購入済み　　2．購入する予定　　3．購入する予定はない

Q18. 海浜公園に関するご意見・ご要望をご自由にご記入ください。（良い点や改善点など）

Q19. 本日ご利用された、またはご利用予定の施設及びサービスをお知らせください。（〇印はいくつでも）

【出入口】	13．大芝生広場	28．大観覧車
1．海の中道駅口	14．スカイドルフィン	29．ホテル　ザ・ルイガンズ
2．ワンダーワールド口	15．花の丘	30．マリンワールド（水族館）
3．西口	16．森の家	31．環境共生の森
4．サイクリング口	17．いこいの森	32．シーサイドヒル　シオヤ
【施設】	18．野鳥の池	33．潮見台
5．おもちゃ箱花壇	19．動物の森	34．みらい橋　北側広場
6．冒険の池（ｻｲｸﾙﾎﾞｰﾄ）	20．野外劇場	【サービス】
7．虹の花壇	21．あじさいの小径	35．ランニングコース
8．フラワーミュージアム	22．ワンダーワールド(遊園地)	36．パターゴルフ
9．バラ園	23．ワンダーシャトル（ﾚｽﾄﾗﾝ）	37．ディスクゴルフ
10．シンフォニーガーデン/花桟敷	24．サンシャインプール	38．貸し自転車
11．子供の広場　管理棟	25．ちびっこ広場/じゃぶじゃぶ池	39．パークトレイン
12．彩りの花壇	26．トリム広場	40．その他
	27．水辺のトリム	（　　）

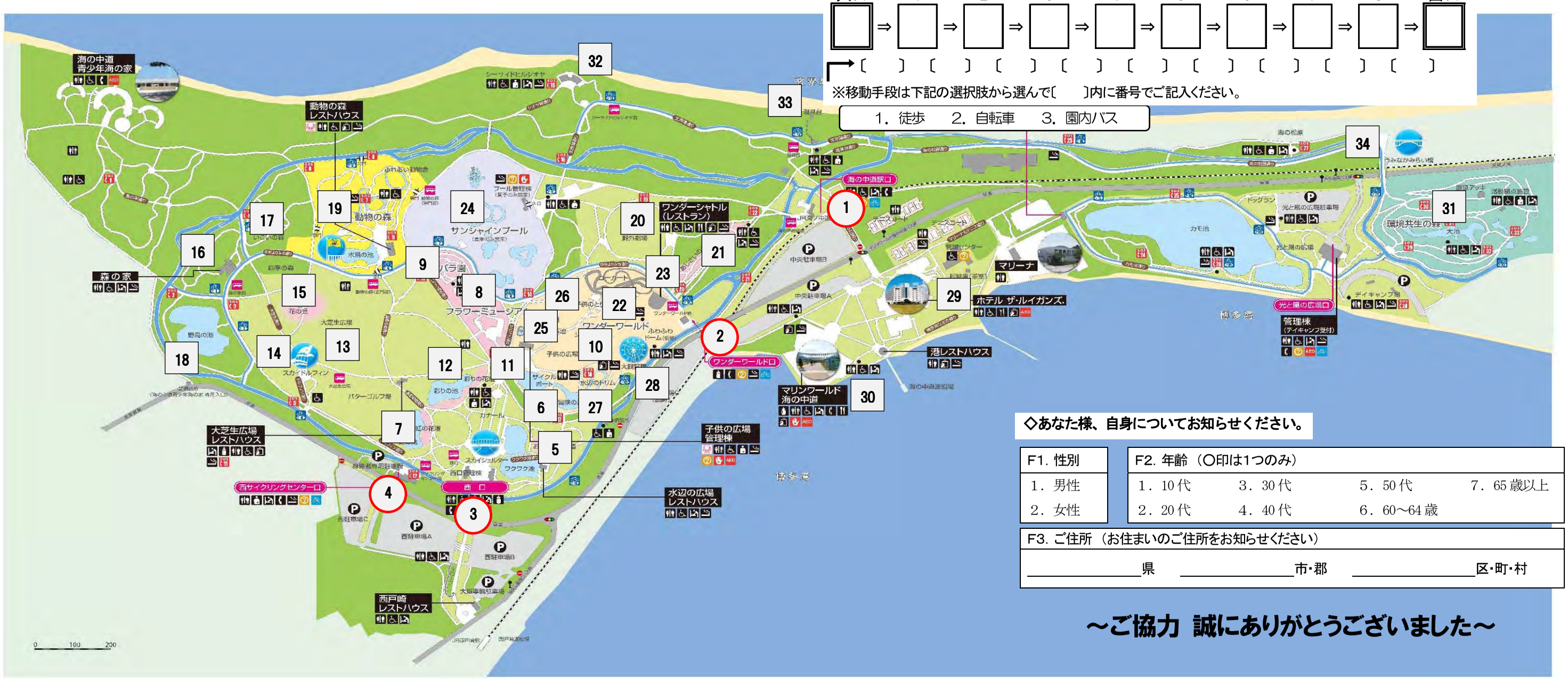
Q20. 本日のご利用された施設の順路をお知らせください。園内で利用された（立ち寄られた）施設をその順に Q19 の選択肢からご記入ください。また、移動手段もあわせてお知らせください。（入口・出口は1～4から選択。左詰めでご記入ください。）

入口 ⇒ 1 ⇒ 2 ⇒ 3 ⇒ 4 ⇒ 5 ⇒ 6 ⇒ 7 ⇒ 8 ⇒ 出口

〔　〕〔　〕〔　〕〔　〕〔　〕〔　〕〔　〕〔　〕

※移動手段は下記の選択肢から選んで〔　〕内に番号でご記入ください。

1．徒歩　2．自転車　3．園内バス



◇あなた様、自身についてお知らせください。

F1. 性別
1．男性
2．女性

F2. 年齢（〇印は1つのみ）			
1．10 代	3．30 代	5．50 代	7．65 歳以上
2．20 代	4．40 代	6．60～64 歳	

F3. ご住所（お住まいのご住所をお知らせください）

＿＿＿＿＿県　＿＿＿＿＿市・郡　＿＿＿＿＿区・町・村

～ご協力 誠にありがとうございました～

■平成24－26年度　イベント実績

【平成24年度】

□件数　（回）

	主催		共催		後援		持込	小計
	参加費無料	参加費徴収	参加費無料	参加費徴収	参加費無料	参加費徴収		
イベント・行事	93	42	6	9	0	0	32	182
環境学習プログラム	17	10	3	0	0	0	0	30

□参加者数　（人）

	主催		共催		後援		持込	小計
	参加費無料	参加費徴収	参加費無料	参加費徴収	参加費無料	参加費徴収		
イベント・行事	601,404	16,856	15,923	24,520	0	0	63,377	722,080
環境学習プログラム	5,800	342	1,395	0	0	0	0	7,537

※展示系イベントでイベント期間中入園者数やイベント期間中の入園者数に過去の実績等から便宜的に割合を乗じて算出しているものについては、カウントの対象としない。

【平成25年度】

□件数　（回）

	主催		共催		後援		持込	小計
	参加費無料	参加費徴収	参加費無料	参加費徴収	参加費無料	参加費徴収		
イベント・行事	114	55	3	8	0	0	23	203
環境学習プログラム	23	10	2	0	0	0	0	35

□参加者数　（人）

	主催		共催		後援		持込	小計
	参加費無料	参加費徴収	参加費無料	参加費徴収	参加費無料	参加費徴収		
イベント・行事	612,197	7,564	11,430	15,637	0	0	26,735	673,563
環境学習プログラム	13,315	353	930	0	0	0	0	14,598

※展示系イベントでイベント期間中入園者数やイベント期間中の入園者数に過去の実績等から便宜的に割合を乗じて算出しているものについては、カウントの対象としない。

【平成26年度】

□件数　（回）

	主催		共催		後援		持込	小計
	参加費無料	参加費徴収	参加費無料	参加費徴収	参加費無料	参加費徴収		
イベント・行事	125	56	3	7	1	0	35	227
環境学習プログラム	22	7	2	0	0	0	0	31

□参加者数　（人）

	主催		共催		後援		持込	小計
	参加費無料	参加費徴収	参加費無料	参加費徴収	参加費無料	参加費徴収		
イベント・行事	596,356	5,187	15,972	16,837	383	0	59,878	694,613
環境学習プログラム	15,056	293	972	0	0	0	0	16,321

※展示系イベントでイベント期間中入園者数やイベント期間中の入園者数に過去の実績等から便宜的に割合を乗じて算出しているものについては、カウントの対象としない。

【平成24年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	4月1日	5月6日	FP2012 海の中道フラワーピクニック2012	来園者	「福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか」をテーマに、福岡を代表する春まつりとして、花や緑に関連した様々なイベントを開催し、花いっぱいの公園を楽しんでいただいた。	199,764	期間中来園者	園内全域 協賛金、参加費	無料
主催	4月1日	4月7日	FP2012 春色気分！にがおえ師と一緒に描こう	一　般 希望者	プロが描いた似顔絵の背景に、チューリップなどの春の花や 蝶などを自分で描いて作品を仕上げていただいた。	25	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	4月1日	5月6日	FP2012 うみなかフラワーガーデン・コンテスト プロフェッショナル部門	来園者	共通のテーマを設けて、プロの創作花壇を制作し腕を競う花壇コンクールを実施した。	－	－	彩りの花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2012 うみなかフラワーガーデン・コンテスト 市民参加部門	来園者	共通のテーマを設けて、公募で集まった地域市民による創作花壇コンクールを実施した。	－	－	彩りの花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2012 みんなでつくる花物語～ふくおかワイワイ花壇～	来園者	福岡市緑のコーディネーターの皆さんがデザインし、公募で集まったボランティアによる植え付けした花壇を FP期間中に来園者にご覧いただいた。	－	－	彩の花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2012 花時計花壇	来園者	「海の中道フラワーピクニック2012」のメインテーマである"福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか"を表現した花壇を地元西日本大学緑地環境学科ガーデンデザインコースの学生の皆さんによるデザインと植栽、メンテナンスにより、FP期間中の花壇を素敵に演出した。	－	－	花時計花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2012 ハンギングバスケット展	来園者	日本ハンギングバスケット協会福岡県支部により、花時計インフォメーション広場周辺に、ハンギングバスケット作品による花空間を演出し、来場者にお楽しみいただいた。	－	－	花時計広場	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2012 九州バラ回廊パネル展	来園者	この春リニューアルオープンするバラ園の見どころや、バラの魅力、九州でバラを楽しめるおすすめ施設などをフラワーミュージアム内企画展示室にパネルにて紹介した。	－	－	フラワーミュージアム企画展示室	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2012 手作りポストカートをつくろう	一　般 希望者	公園のポストカードで塗り絵を楽しみながら、手作りポストカードを作っていただいた。	316	参加者	花時計広場	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2012 ヤギ駅長「九太郎」	来園者	海の中道駅口にて、動物の森のトカラヤギのヤギの駅長「九太郎」がお客様をお迎えした。FP期間中はヤギ駅長の記念スタンプを海の中道駅口に設置し、希望者に押していただいた。	－	－	海ノ中道駅前広場	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2012 ポニー乗馬体験	一　般 希望者	テンガロンハットやバンダナを身に付け、ウエスタンカウボーイ気分で乗馬体験をお楽しみいただいた。（4/30のみ雨天中止）	1,462	参加者	動物の森ふれあい広場 参加費	有料
主催	4月1日	5月6日	FP2012 動物ふれあい広場	一　般 希望者	ヤギ、ヒツジ、リクガメ等の動物たちと自由に触れ合ってもらった。	17,546	参加者	動物の森ふれあい広場	無料
主催	4月1日	6月10日	FP2012 動物の森スタンプラリー	一　般 希望者	ベネッセコーポレーション特別企画として、スタンプを集めるとプレゼントがもらえるスタンプラリーを開催した。	22,843	参加者	動物の森	無料
主催	4月1日	3月23日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験していただいた。	519	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	4月1日	3月31日	海と森の学びナビ 森の楽校 ※環境学習プログラム	一　般 希望者	木の実等を使ったクラフト体験を通じて、環境や自然について学ぶことが出来る環境学習プログラムを行った。	4,559	参加者	森の家　工作室	無料
主催	4月1日	3月31日	昔遊びの広場	一　般 希望者	海の中道サポートクラブの協力により、竹馬や竹とんぼなど昔懐かしい遊びの体験をお楽しみいただいた。	14,120	参加者	子供の広場	無料
主催	4月1日		FP2012 ビーチクリーンキャンペーン ～春の玄界灘を楽しむ～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	きれいな海や海岸をみんなと一緒に取り戻すため、海岸清掃活動を実施し、参加者に「環境を守ることの大切さ」について考えていただきました。	128	参加者	海の中道駅口～潮見台エリア	無料
主催	4月7日		FP2012 うみなかフラワーガーデン・コンテスト ～ガーデニング講習会～	申込み 参加者	フラワーガーデン・コンテスト出展花壇を巡りながら、杉井明美さんにワンポイントアドバイスなどをしていただくガーデニング講習会を開催した。	85	参加者	花時計広場～ガーデンコンテスト会場	無料
主催	4月7日		FP2012 志賀島・海の中道ガイドツアー ～志賀島の歴史・食、海浜公園の花を楽しむ～	申込み 参加者	海の中道海浜公園を出発点とし、公園に咲く春の花々を楽しむほか、志賀島まで足を伸ばして食や歴史を学ぶガイドツアーを実施した。	10	参加者	西口周辺～志賀島 参加費、自主事業費	有料
主催	4月8日		みらいの森体験塾 ～春色の万華鏡づくり～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	今年度最初の体験塾として、ボランティアのガイドツアーと自然の素材を用いた春の万華鏡づくりを楽しんでいただいた。	7	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	4月8日		FP2012 生命の「らせん」をアートで楽しむ	申込み 参加者	自然に隠れた様々な「らせん」を見つけ、生命の神秘を感じるアート体験をして頂いた。	16	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	4月14日	4月15日	FP2012 チューリップガイドツアー	一　般 希望者	チューリップ花壇を案内しながら、見どころや季節の花の楽しみ方、ご家庭で園芸を楽しむ際のワンポイントアドバイスを紹介した。	18	参加者	花時計広場	無料
主催	4月14日	4月15日	FP2012 春色パステルの花束づくり	一　般 希望者	春の花に公園の木の実などの素材を組み合わせて、子供から大人まで低価格で楽しめる手軽に楽しめるフラワーアレンジメント教室を開催した。	78	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	4月15日		FP2012 九州大学吹奏楽団　スプリングコンサート2012	来園者	春らしい華やかな曲からしっとりした曲まで、数々の名曲をお届けします。楽団員によるパフォーマンスもお楽しみ頂いた。	800	参加者	子供の広場特設ステージ	無料

【平成24年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	4月21日	4月22日	FP2012 挿し芽ポットづくり	一　般 希望者	フラワーミュージアムやシンフォニーガーデンから採取した草花で挿し芽ポットを作る体験をしていただいた。	94	参加者	花時計広場	無料
主催	4月22日		FP2012 うみなかアコフェス	来園者	福岡から発信するアコースティックのムーブメントを作っていく、期待のアーティストを集めたライブコンサートを開催した。	500	参加者	子供の広場特設ステージ・園内各所	無料
主催	4月22日		森のファミリー探検隊 「森のすみか探検隊」 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	五感を使って、自然の中の出会いを家族で楽しんでいただいた。クラフトやエコクッキング、鳥や水生昆虫のすみかを探し探検を体験した。	68	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	4月22日		FP2012 環境共生の森「みんなで森をつくろう！」 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	小さな子供も楽しそうの植樹をしていた。また、環境共生の森のコンセプトも伝え、森づくりに興味を持っていただいた。	76	参加者	環境共生の森	無料
主催	4月28日	4月30日	FP2012 プリザーブドフラワー体験教室	一　般 希望者	プリザーブドフラワーを使ったアレンジメント作品の体験教室を開催した。また生花からのプリザーブドフラワーの作り方なども紹介した。	69	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	4月28日	5月6日	FP2012 すくすく親子de広場 ～アートバザール～	来園者	木工やアクセサリーなどの手づくり体験も楽しめるアートバザールを開催した。	1,200	参加者	子供の広場管理棟前 参加費	有料
主催	4月28日		FP2012 うみなかキッズコンサート	来園者	子供たちを対象に出演者を公募し、元気いっぱいの歌や踊りなどのパフォーマンスを披露していただいた。	500	参加者	子供の広場特設ステージ	無料
主催	4月29日	4月30日	FP2012 すくすく親子de広場 みんなでつくる巨大アート～大きな木をお花でいっぱいにしよう～	一　般 希望者	カラフルに色付けした玉子パックのお花を作り、会場に設置した大きな木をお花でいっぱいにするワークショップイベントを開催した。	139	参加者	子供の広場管理棟	無料
主催	4月29日	5月6日	ヒツジの毛刈り体験	一　般 希望者	飼育スタッフによる解説を交えながらヒツジの毛をはさみで切る体験を行った。その後飼育スタッフによる羊用バリカンでの毛刈り実演を行った。	200	参加者	動物の森飼育管理棟前	無料
主催	4月29日	5月6日	フェルトボール作り体験	一　般 希望者	刈ったばかりのヒツジの毛を使ってフェルトボールを作る体験を行った。	550	参加者	動物の森飼育管理棟前	無料
主催	4月29日		FP2012 福岡市消防音楽隊いのちのコンサート	来園者	福岡市消防音楽隊とカラーガード隊による見事なパレードと楽しいコンサート、華麗な演技を楽しんでいただいた。	2,000	参加者	子供の広場特設ステージ 協賛金	無料
主催	4月30日		FP2012 うみなかファミリーステージ「ワンワンとあそぼうショー」	来園者	NHK「いないいないばぁ！」の人気者"ワンワン"と体操のお兄さんによる親子のふれあいを中心としたステージを開催した。	700	参加者	子供の広場特設ステージ 協賛金	無料
主催	5月3日	5月5日	FP2012 癒しのこけ玉づくり体験教室	一　般 希望者	土とみどりに触れて、季節を感じる"こけ玉体験教室"を開催した。会場では子どもから高齢者まで楽しめる園芸活動の紹介なども行った。	123	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	5月4日	5月5日	ディスクゴルフチャレンジ　G	一　般 希望者	より多くのお客様にディスクゴルフの事を知っていただくとともに、ゴールデンウィーク期間中にご来園いただいたお客に楽しんでいただくことが出来るよう毎月行っている「ディスクゴルフチャレンジ」の規模を大きくして開催した。	710	参加者	大芝生広場	無料
主催	5月5日		森のファミリー探検隊 「塩の道探検隊」 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	五感を使って、自然の中の出会いを家族で楽しんでいただいた。海浜部へ出て、海辺の生物や漂流物を探した。	38	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	5月6日		FP2012 お花のフェイスペインティングとネイル体験	一　般 希望者	春のお花をイメージにしたフェイスペインティングとネイルアートの体験を開催した。	53	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	5月6日		FP2012 ふくこい祭りinうみなか	来園者	フラワーピクニック最終日の締め括りとして、参加チームによる演舞や審査会ほか、全参加チームによる総踊りの披露を行なった。	2,000	参加者	子供の広場特設ステージ	無料
主催	5月6日		FP2012 環境共生の森「みんなで森をつくろう！」 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	多くの家族連れの参加があり、晴天のもと無事に開催できた。「植樹メモリアル」として、公園内の間伐材で作成したコースターをプレゼントした。	102	参加者	環境共生の森	無料
主催	5月12日	6月3日	うみなかバラミュージアム2012 ～あなただけのバラ物語はじまる～	来園者	「バラ園」と「フラワーミュージアム」とを「バラ」でつなぐ「うみなかバラミュージアム」期間限定オープンに合わせて、バラにまつわる様々なイベントを開催した。	65,299	期間中来園者	バラ園・フラワーミュージアム	無料
主催	5月12日	5月27日	うみなかバラミュージアム2012 バラのプリザーブドフラワー教室	一　般 希望者	花時計広場において、初めての方でも気軽に楽しんでいただけるバラをメインとしたプリザーブドフラワーの体験教室を行った。	92	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	5月12日	6月3日	うみなかバラミュージアム2012 九州バラ回廊パネル展示	来園者	九州のバラの名所をつなぐ「九州バラ回廊」の取り組みを紹介するほか、バラに纏わる文化、歴史、品種の面白さまで楽しめるエピソードなどをわかりやすく紹介した。	－	－	フラワーミュージアム企画展示室	無料
主催	5月12日	6月3日	うみなかバラミュージアム2012 バラミュージアムガイドツアー	一　般 希望者	フラワーボランティアの皆様の協力による、バラミュージアムのガイドツアーを期間中の土日祝日に開催した。	30	参加者	バラ園・フラワーミュージアム	無料
主催	5月12日	6月3日	うみなかバラミュージアム2012 あなたのバラ探しゲーム	一　般 希望者	バラフレンズの皆様の協力の下、設置されたボックスからおみくじのようにバラカードを引き、今日のあなたにお勧めのバラをバラミュージアムに探しに行く、バラ探しゲームを行った。	5,288	参加者	バラ園・フラワーミュージアム	無料
主催	5月12日	6月3日	うみなかバラミュージアム2012 あなたもバラの香りソムリエ	一　般 希望者	バラフレンズの皆様の協力の下、その日その日で見頃・香り頃のバラを選び、お客様にその香りをワインのように自分の言葉で表現していただき、ブラックボードに書き残していただいた。	1,354	参加者	バラ園内パーゴラ	無料

【平成24年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	5月12日		春のうみなかタグラグビーフェスタ（新規）	申込み参加者	初めてタグラグビーを体験するお子様の参加も可能な個人参加から、タグラグビーのチーム参加まで、幅広く参加いただくことが可能なタグラグビーの交流ゲームを開催した。	99	参加者	大芝生広場 参加費	有料
主催	5月19日	5月20日	うみなかバラミュージアム2012 バラのフラワークラフト教室	一　般 希望者	花時計広場において、初めての方でも気軽に楽しんでいただくことができるバラや季節の花々を用いたフラワークラフトの体験教室を行った。	95	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	5月26日	6月2日	うみなかバラミュージアム2012 バラとハーブでアロマ体験	一　般 希望者	フラワーボランティアの皆様の協力よる、ハーブを使ったバスソルト作り体験とローズウォーターによる香りの体験教室を行った。	88	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	5月26日	11月10日	紙ヒコーキ教室	一　般 希望者	紙ヒコーキ（ペーパーエアクラフト）の作り方や遊び方の体験教室を行なった。作った紙ヒコーキを使っての滞空時間トライアルも14時から開催した。	158	参加者	大芝生広場 参加費	有料
主催	5月27日	3月24日	海と森の学びナビ 自然学び体験教室 森のクラフト編 ※環境学習プログラム	一　般 希望者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室を行なった。	324	参加者	森の家 レクチャールーム他	無料
主催	5月27日		みらいの森体験塾 ～ちまきづくり体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	みらいの森に生育しているヨシやホソイを使いボランティアスタッフのガイドのもとチマキづくり体験を実施した。	23	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	5月31日		第１回国営海の中道海浜公園グラウンドゴルフ大会	申込み 参加者	福岡県グラウンド・ゴルフ協会福岡市支部の協力により、地域のグラウンドゴルフ愛好家の方の大会を開催した。	260	参加者	大芝生広場 参加費	有料
主催	6月3日		みらいの森体験塾 ～海と森のエコツアー～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	多くのファミリーの参加があり、盛況に開催できた。当日は風が強く、少し肌寒い感じとなった。また、海浜部での安全管理のため、ロープやライフジャケットを準備し、安全面に配慮して	15	参加者	環境共生の森	無料
主催	6月17日		みらいの森体験塾 ～じゃがいも収穫体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	今年2月に植え付けした春じゃがの収穫を行った。じゃがいもの生育過程について、フリップを用いてガイドを行い、参加者がじゃがいもについて理解を深めることができるように実施した。また、掘りたてのじゃがいもを焼き、試食を	48	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	7月21日	9月2日	カブトムシハウス2012	来園者	500匹のカブトムシやクワガタを見て、触って、楽しめるカブトムシハウスを設置したほか、レストハウスではパネルの展示を行いました。また、262セットの販売も行いました。（1ペア、虫かご、ゼリー、堆肥込）	8,276	参加者	動物の森	無料
主催	7月22日	11月25日	海と森の学びナビ 自然学び体験教室 森の探検編 ※環境学習プログラム	一　般 希望者	屋外でのゲームも取り入れ、生き物たちの生き残りの知恵をんでいただいた。	151	参加者	森の家 レクチャールーム・四季の森	無料
主催	7月22日		みらいの森体験塾 ～水辺のいきものさがし～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	夏休みを迎えた家族連れを対象に開催した。いのちの池でヤゴ、オタマジャクシ、ザリガニ、ハイイロゲンゴウロウなど多くのいきものを採取し、観察をした。また、印象に残ったいきものを絵に描いた。暑い日であったが、熱中症などもなく無事にプログラムを終えることができた。	20	参加者	環境共生の森	無料
主催	8月1日	8月2日	動物の森1日飼育員	申込み 参加者	小学生及び中学生を対象に、動物の森での飼育作業を通じて動物に関する知識や飼育員の仕事を学ぶことができるプログラムを実施した。	159	参加者	動物の森 参加費	有料
主催	8月4日	8月19日	うみなか自然発見塾 ～サマースクール～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	小学生の親子を対象に、海浜公園ならではのプログラムを提供し、こどもたちにたくましくなっていただけるよう実施した。今年は、マリンワールドと連携し、夜のパノラマ大水槽観察を行い、2日間の日程で実施した。	96	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	9月1日	11月25日	動物の森スタンプラリー	一　般 希望者	動物の森に設置されたスタンプを集めると素敵なプレゼントがもらえる、スタンプラリーを開催した。	9,220	参加者	動物の森	無料
主催	9月8日	9月9日	累計入園者数5,000万人達成記念　花の種プレゼント	来園者	開園以来の累計入園者数が5,000万人を達成したことを記念して、先着5,000名のお客様に花の種をプレゼントした。	5,000	参加者	公園入口	無料
主催	9月22日	9月23日	動物ふれあいDAY	一　般 希望者	普段は柵越しであまり触れることのできない、ポニー、ラマ、ウサギ、ヤギ、ヒツジなどの動物たちの息を感じるぐらいまで近寄って、触れて「いのちの輝き」を感じてもらえるイベントを開催した。	7,424	参加者	動物の森	無料
主催	9月29日	11月11日	うみなか☆はなまつり2012	来園者	200万本のコスモスやコキア、バラを中心に秋の花々で園内を彩るとともに、各種イベントを開催した。	153,662	期間中来園者	園内全域	無料
主催	9月29日	9月30日	うみなか☆はなまつり2012 芸術の秋！にがおえ師と一緒に描こう	一　般 希望者	プロが描いた似顔絵の背景に、コスモスや赤とんぼなど秋のモチーフを描いたり、貼ったりして作品を仕上げてもらった。	15	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	9月29日	11月10日	うみなか☆はなまつり2012 公園deアート ドリンちゃんと遊ぶワークショップ（ボール遊び）	一　般 希望者	ドリンちゃんの目と口は子供たちを楽しませてくれる不思議な遊具となっており、目にある的を狙ったり、ひげの口にボールのエサを投げ入れたりして楽しんでもらった。	2,468	参加者	くじらやま	無料
主催	9月29日	11月10日	うみなか☆はなまつり2012 公園deアート ドリンちゃんと遊ぶワークショップ（海の仲間を作ろう）	一　般 希望者	ドリンちゃんの仲間（海の生き物）をつくるお絵かきワークショップを開催し、「ドリンちゃん」の輪郭をかたどるようにネットに展示した。	830	参加者	くじらやま	無料
主催	9月29日	11月11日	うみなか☆はなまつり2012 ポニー乗馬体験	一　般 希望者	テンガロンハットやバンダナを身に付け、ウエスタンカウボーイ気分で乗馬体験を楽しんでもらった。	1,361	参加者	動物の森ふれあい広場 参加費	有料

【平成24年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	9月29日	11月11日	うみなか☆はなまつり2012 公園 de アート～くじらやまのドリンちゃん～	来園者	地域活性や社会教育の場としての公園の新たな可能性を創出することを目的として、公園と地域の学生や子供たちとの協働で実施するアート・プロジェクトを行った。	－	－	くじらやま	無料
主催	9月29日	11月11日	うみなか☆はなまつり2012 動物ふれあい広場	一　般 希望者	ヤギ、ヒツジ、リクガメ等の動物たちと自由に触れ合ってもらった。	13,258	参加者	動物の森ふれあい広場	無料
主催	9月29日	11月11日	うみなか☆はなまつり2012 九州バラ回廊パネル展示＆スタンプラリー	来園者	「九州バラ回廊」を紹介するパネル展示や、各施設を巡ってスタンプを集めると、抽選で素敵なプレゼントがもらえるスタンプラリーを開催した。	－	－	フラワーミュージアム企画展示室	無料
主催	9月29日	11月11日	うみなか☆はなまつり2012 ダリアとバラの品種コレクション展示	来園者	鉢の入れ替えによりダリアからバラへ移行する品種展示を行った。巨大輪のダリアの展示を始め、フレグランスさんでおなじみ有島薫さんおすすめのバラ展示も行った。	－	－	フラワーミュージアム企画展示室	無料
主催	10月6日	10月8日	うみなか☆はなまつり2012 癒しのこけ玉づくり体験教室	一　般 希望者	土と緑に触れて、季節を感じる"こけ玉体験教室"を開催した。また、会場では子供から高齢者まで楽しめる園芸活動の紹介なども行った。	108	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	10月6日		うみなか☆はなまつり2012 九州大学吹奏楽団　コンサート	来園者	華やかな曲からしっとりした曲まで、数々の名曲をお届けした。楽団員によるパフォーマンスも楽しんでいただいた。	800	参加者	子供の広場特設ステージ	無料
主催	10月7日		みらいの森体験塾 ～秋の虫みっけ！バッタの仲間をつかまえよう～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	当日は、あたたかい日和となり、トノサマバッタやショウリョウバッタなど9種類の昆虫を観察することができた。大人、子供問わずバッタ探しに夢中であった。また、バッタ飛ばし大会も行い、盛り上がりをみせた。	6	参加者	環境共生の森	無料
主催	10月8日		うみなか☆はなまつり2012 うみなかﾌｧﾐﾘｰｽﾃｰｼﾞ「ﾜﾝﾜﾝとあそぼうｼｮｰ」	来園者	NHK「いないいないばぁ！」の人気者"ワンワン"やが出演する、親子のふれあいをテーマにした楽しいステージイベントを行なった。	4,000	参加者	子供の広場特設テージ	無料
主催	10月13日	10月14日	うみなか☆はなまつり2012 秋のお花のアートフラワー教室	一　般 希望者	コスモスや秋の小花をモチーフとしたアートフラワーで、壁掛けやテーブルにおけるタイプのお花のクラフトを行った。	55	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	10月20日	10月21日	うみなか☆はなまつり2012 ママ＆キッズのオーガニックアロマオイルでしっとりつるつるアイテムづくり体験教室	一　般 希望者	好きな香りのオーガニックアロマオイルを選んで、しゅわしゅわバスボムやしっとりアロマリップクリーム、つるつるアロマクリーム作り体験を行った。	68	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	10月20日	11月10日	うみなか☆はなまつり2012 バラミュージアムガイドツアー	一　般 希望者	フラワーボランティアの皆様の協力によるガイドツアーを開催した。	16	参加者	花時計広場	無料
主催	10月20日	11月11日	うみなか☆はなまつり2012 バラフレンズ協力イベント「あなたのバラ探しゲーム」	一　般 希望者	フラワーミュージアム入口及びバラ園に設置されたボックスからバラの名前の書かれたカードを選んで、あなたにおすすめのバラをバラミュージアムに探しに行く、バラ探しゲームを開催した。	2,641	参加者	フラワーミュージアム入口、バラ園	無料
主催	10月20日	11月11日	うみなか☆はなまつり2012 バラフレンズ協力イベント「あなたもバラの香りソムリエ」	一　般 希望者	バラフレンズの協力のもと、バラの香りを楽しんだ後に、その香りをワインのように自分の言葉で表現してメッセージボードに書き残してもらった。	896	参加者	バラ園	無料
主催	10月20日		うみなか☆はなまつり2012 おやこフェスタ2012in海の中道海浜公園	来園者	大きな芝生の原っぱの中で、「親子であそぶ」、「親子でまなぶ」をテーマとして、「スポーツ」「エコ」「食育」などの様々なイベントを開催した。	5,000	参加者	大芝生広場	無料
主催	10月21日		うみなか☆はなまつり 2012 福岡市消防音楽隊いのちのコンサート	来園者	福岡市消防音楽隊出演による楽しいコンサートとカラーガード隊による見事なパレードと楽しいコンサート、華麗な演技を行った。	2,000	参加者	西口～花桟敷～観覧車前～子供の広場特設ステージ	無料
主催	10月27日	10月28日	うみなか☆はなまつり2012 ハロウィンなりきりワークショップ	一　般 希望者	自分たちで紙に好きな絵を描いて、切り貼り合わせて三角帽子を作ってかぶっていただいた。	77	参加者	西口カナール	無料
主催	10月27日	10月28日	うみなか☆はなまつり2012 ハロウィンキャンディープレゼント	一　般 希望者	小学生以下の子供を対象に、ハロウィンなりきりワークショップのスタッフに「トリック　オア　トリート！」の合言葉を言うと、キャンディーがもらえるイベントを行った。	566	参加者	西口カナール	無料
主催	10月27日	11月10日	うみなか☆はなまつり2012 バラとハーブでアロマ体験	一　般 希望者	公園内で採れたハーブを使ったバスソルト作り体験と、バラの花びらを蒸留して作ったローズウォーターの香りの体験教室を行った。	34	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	10月27日		うみなか☆はなまつり2012 志賀島・海の中道ガイドツアー～志賀島の歴史・食、海浜公園の花を楽しむ～	申込み 参加者	公園内に咲き誇る秋の花々を楽しんでいただき、志賀島の歴史や文化を学びながら玄界灘の新鮮な魚介を堪能するガイドツアーを行った。	14	参加者	海の中道海浜公園および志賀島 参加費、自主事業費	有料
主催	10月28日	11月3日	うみなか☆はなまつり2012 バラの香りのキャンドルデコ体験～オリジナルのローズケーキキャンドルを作ろう～	一　般 希望者	バラの香りをつけたケーキ型のキャンドルの土台に、粘土のように使えるキャンドルシートでバラの花を作って飾り、さらに専用のペンでデコレートしてキャンドルを仕上げてもらった。	61	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	10月28日		うみなか☆はなまつり2012 うみなかキッズコンサート	来園者	子供たちを対象に出演者を公募し、子供たちならではの元気いっぱいの歌や踊りなどのパフォーマンスを披露していただいた。	600	参加者	子供の広場特設ステージ	無料
主催	10月28日		うみなか☆はなまつり2012 香りのローズセミナー	申込み 参加者	ガーデンローズの世界では言わずと知れた名アドバイザーで、「フレグランスさん」の愛称で親しまれている「有島薫」氏を講師に迎え、香りの楽しみ方や植え替えの実演といったローズセミナーを開催した。	66	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	10月28日		うみなか☆はなまつり2012 有島薫と巡るバラ園ツアー	申込み 参加者	うみなかバラミュージアムの会場を、ロザリアン有島薫氏と一緒に巡るガイドツアーを開催した。	70	参加者	バラ園	無料

【平成24年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	10月28日		みらいの森体験塾 ～秋の虫みっけ！バッタの仲間をつかまえよう～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	天候が心配であったが、色々なバッタが見られ子供たちはもちろん親御さんも童心にかえってバッタを観察していた。前日の雨の影響かコウロギが全く見られなかった。	10	参加者	環境共生の森	無料
主催	11月3日	11月11日	うみなか☆はなまつり2012 ハンギングバスケットコンテスト2012 in うみなか	来園者	市民の皆様から「うみなかの秋を彩る」をテーマにしたハンギングバスケット作品50点を募集し、花時計広場に展示し、広場を花いっぱいに	－	－	花時計広場	無料
主催	11月3日	12月2日	「第37回児童および幼児動物画コンクール」作品展示会	来園者	夏期に実施した動物画コンクールに応募された、全作品（マリンワールドへの応募作品を除く）の展示会を開催した。	1,411	参加者	森の家	無料
主催	11月3日		うみなか☆はなまつり2012 コスモス刈り取りボランティア体験	申込み参加者	花の丘のキバナコスモス、ミックスの播種部分の刈取り（抜き取り）を行った。子どもたちでも簡単に抜く事ができ、楽しみにながら作業をしていた。コスモスの種についても説明をし、参加者には好評であった。	83	参加者	花の丘	無料
主催	11月4日		みらいの森体験塾 ～秋の恵みで草木染め～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	環境共生の森にあるセイタカアワダチソウとタマネギの皮を使った染物体験を行った。両方とも良い色に染まり参加者は満足していた。	10	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	11月4日		うみなか☆はなまつり2012 バラのプリザーブドフラワー教室	一　般 希望者	初めての方でも気軽に楽しむことができる、パウダーオアシスを使ったバラのプリザーブドフラワーの体験教室を行った。	13	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	11月11日		海と森の学びナビ 森のファミリー探検隊「秋の恵探検隊」 ※環境学習プログラム	申込み参加者	海の中道海浜公園の広大な自然の中で、生物や自然について、様々な角度から親子で楽しく学んでもらった。今回は、秋の木の実や生き物を探しに散策を行った。	24	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	11月11日		うみなか☆はなまつり2012 コキア刈り取りボランティア体験	申込み参加者	市民の皆様と一緒に虹の池のコキアの掘取り体験を行った。作業体験を通して、鑑賞するだけでは知ることができないコキアの育ち方を学ぶことができた。また、参加者には掘取ったコキアのプレゼントを行った。	69	参加者	虹の池	無料
主催	11月12日		うみなか☆はなまつり2012 公園deアート ドリンちゃんとシャボン玉ワークショップ	一　般 希望者	ドリンちゃん完成を記念して、みんなでドリンちゃんに登り、シャボン玉を吹き、ドリンちゃんの潮吹き体験を楽しむワークショップを開催した。	66	参加者	くじらやま	無料
主催	11月18日		みらいの森体験塾 ～秋の大収穫祭～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	森づくり（下草刈り）体験や落花生、サトイモ、サツマイモの収穫体験を行った。また収穫した作物の試食を行った。	93	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	12月2日		みらいの森体験塾 ～やってみよう農体験！「大根掘り取り・大根干し編」～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	9月に植え付けを行った、ダイコンとじゃがいもを収穫した。ダイコンは来週のたくわん漬けに向けてはざかけに干す作業も行った。	35	参加者	環境共生の森	無料
主催	12月9日		みらいの森体験塾 ～やってみよう農体験！「たくあん漬け編」～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	12/2のみらいの森体験塾で収穫し、干していた大根を使って、昔ながらのたくあん漬けを行った。	7	参加者	環境共生の森	無料
主催	12月21日	1月14日	干支展～2013巳年～	来園者	来年の干支である巳にちなみ、巳にちなんだ展示を行った。	5,970	参加者	動物の森	無料
主催	12月22日	12月24日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト	来園者	野外劇場のすり鉢状の地形を利用し、一般参加のボランティアの協力によって、10,000本のキャンドルを利用したグラウンドアートを制作する夜間開園イベントを開催した。	9,503	期間中の夜間入園者	ワンダーワールド及び野外劇場 協賛金、参加費、自主事業費	有料
主催	12月22日	12月24日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト～市民参加によるキャンドルアートの作成	申込み参加者	イベント期間中12/22～24の3日間、ボランティア参加による1万本のキャンドルアートの作成を行った。	246	参加者	野外劇場	無料
主催	12月22日	12月24日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト～イルミネーション「動物たちのクリスマス」	来園者	ワンダーワールド内の大観覧車付近に、シャンパングラスタワーや動物たちのイルミネーションスポットを設置し、クリスマスを祝う動物たちの姿を楽しんでもらった。	－	－	ワンダーワールド	無料
主催	12月22日	12月24日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト～冬の花火	来園者	期間中毎日、冒険の池付近から約300発のクリスマスをイメージした冬の花火を打ち上げ、冬の夜空に浮かぶ花火とキャンドルアートのコラボレーションを楽しんでもらった。	－	－	ワンダーワールド	無料
主催	12月22日	12月24日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト～メッセージキャンドル	一　般 希望者	家族や恋など大切な人に向けて「幸せ」への願いを込めて、紙袋にメッセージを記入してもらい、参加者の方々にキャンドルを灯してもらった。	544	参加者	ワンダーワールド 参加費	有料
主催	12月22日	12月24日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト～クラフト体験	一　般 希望者	自分好みの色の「塩」を瓶に入れていき、カラフルでかわいい自分だけのキャンドルを作るクラフトを体験いただいた。	181	参加者	ワンダーワールド 参加費	有料
主催	12月22日	12月24日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト～クリスマスミニコンサート	来園者	期間中、毎日皆様に楽しんでもらえるミニコンサートを開催した。	1,500	参加者	ワンダーワールド	無料
主催	12月22日	12月24日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト～キャンドルアート観覧サービス	一　般 希望者	野外劇場下の舗装部分に高所作業車を準備し、十分な安全管理の下（安全帯の着用）でお客様に上空10mからのキャンドルアートの眺めを楽しんでいただいた。	396	参加者	野外劇場 協賛金、参加費	有料
主催	1月2日	1月3日	新春イベント～お正月を遊ぼう～	一　般 希望者	お正月ならではの凧づくりや凧揚げを体験してもらったほか、竹馬やコマ回しなどの昔あそびの体験コーナーでも楽しんでもらえた。	68	参加者	子供の広場・子供の広場管理棟 参加費	有料
主催	1月6日		みらいの森体験塾 ～里のお正月体験～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	どんど焼きや凧揚げ、コマ、書初め、芋ぜんざいのふるまいなど里のお正月を楽しんでいただいた。また、RKBラジオ、JCOMの取材が入り、場の雰囲気も盛り上がっていた。	28	参加者	環境共生の森 参加費	有料

【平成24年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	1月12日	1月14日	干支展～2013巳年～ワークショップ	一　般 希望者	来年の干支である巳にちなみ、巳にちなんだワークショップをZooボランティア主体で行った。	67	参加者	動物の森レストハウス 参加費	有料
主催	1月13日		新春イベント～新春もちつき大会～	一　般 希望者	アビスパ福岡の協力のもと、選手やマスコットキャラクターと一緒にお餅つきやサッカー体験が楽しめるイベントを開催した。	571	参加者	ワンダーワールド	無料
主催	1月20日		みらいの森体験塾 ～リースづくりとカモカルタ～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森に生育しているクズを利用したリースづくりそしてカルタを通じてカモを学ぶ体験プログラムを行った。	3	参加者	環境共生の森 光と風の広場レクチャールーム 参加費	有料
主催	2月3日		みらいの森体験塾 ～冬の自然探し体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ペットボトルの風車を作ったり、海浜部の植物や流れ藻の観察を行った。	19	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	2月17日		みらいの森体験塾 ～やってみよう農体験！「春のじゃがいも植付編」～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	寒い中でのプログラムとなったが、参加者はメークイン、キタアカリ、男爵の植付けを楽しく行った。	18	参加者	環境共生の森	無料
主催	3月16日	3月31日	FP2013 動物の森スタンプラリー	一　般 希望者	ベネッセコーポレーション特別企画として、スタンプを集めるとプレゼントがもらえるスタンプラリーを開催した。	5,407	参加者	動物の森	無料
主催	3月16日		FP2013 福岡ワイワイ花壇 植付作業	申込み 参加者	福岡県・福岡市と協力して、ボランティアの皆さんによる花壇づくりを実施した。	130	参加者	彩の花壇	無料
主催	3月30日	3月31日	FP2013 海の中道フラワーピクニック2013	来園者	「福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか」をテーマに、福岡を代表する春まつりとして、花や緑に関連した様々なイベントを開催した。	15,615	期間中来園者	園内全域	無料
主催	3月30日	3月31日	FP2013 うみなかフラワーガーデン・コンテスト プロフェッショナル部門	来園者	「花いっぱい、うみなか」をテーマに、プロフェッショナルによる出展花壇の展示を行った。	－	－	彩りの花壇	無料
主催	3月30日	3月31日	FP2013 うみなかフラワーガーデン・コンテスト 市民参加部門	来園者	「花いっぱい、うみなか」をテーマに、市民参加による出展花壇の展示を行った。	－	－	彩りの花壇	無料
主催	3月30日	3月31日	FP2013 みんなでつくる花物語～ふくおかワイワイ花壇～	来園者	福岡市緑のコーディネーターの皆さんがデザインし、県民ボランティアの皆さんが植え付けたボランティア花壇の展示を行った。	－	－	彩の花壇	無料
主催	3月30日	3月31日	FP2013 花時計花壇	来園者	「海の中道フラワーピクニック2013」のメインテーマである〝福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか〟を表現した花壇を演出した。	－	－	花時計花壇	無料
主催	3月30日	3月31日	FP2013 ハンギングバスケット展	来園者	日本ハンギングバスケット協会福岡県支部の協力により、「ハンギングバスケットマスター」が作るハンギングバスケット作品の展示を行った。	－	－	花時計広場	無料
主催	3月30日	3月31日	FP2013 あなたの花さがし	一　般 希望者	公園内のお花を楽しみながら、くじで引いたカードに書かれているお花を見つけていただくセルフガイドプログラムを開催した。	691	参加者	花時計広場	無料
主催	3月30日	3月31日	FP2013 動物ふれあいDAY	来園者	普段は柵越しであまり触れることのできない動物たちに近寄って、触れて「いのちの輝き」を感じてもらえるイベントを開催した。	6,600	参加者	動物の森	無料
主催	3月30日	3月31日	FP2013 デコクレイクラフト体験	一　般 希望者	ふわふわの軽量粘土を用いて好きな色でパラとマカロンをつくり、オリジナルのフォトフレームをつくる体験イベントを開催した。	39	参加者	花時計広場 参加費	有料
主催	3月30日		FP2013 うみなか自然発見塾 ～ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｽｸｰﾙ～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	春休みを迎えた小学生を対象に、みらいの森で農体験、団子作りや自然観察体験を行った。	15	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	3月30日		FP2013 オープニング花の種プレゼント	一　般 希望者	フラワーピクニックのオープニングを記念して、ご来園いただいたお客様先着5,000名に花の種をプレゼントした。	5,000	参加者	公園入口	無料
主催	3月31日		FP2013 ビーチクリーンキャンペーン ※環境学習プログラム	申込み 参加者	きれいな海や海岸をみんなと一緒に取り戻すため、海岸清掃活動を実施し、参加者に「環境を守ることの大切さ」を伝えた。	219	参加者	海の中道駅口～潮見台エリア	無料
年間合計					135件　618,260人				

【平成24年度　共催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
共催	4月8日		第25回海の中道はるかぜマラソン大会	申込み参加者	今回で25回目を数える市民マラソン大会を、3km、5km、10km、ハーフマラソンの4部門で開催し、4,638名のランナーが出場した。	4,638	参加者	大芝生広場及び園内特設コース 参加費	有料
共催	5月27日		ラブ・アースクリーンアップ2012　海岸清掃 ※環境学習プログラム	申込み参加者	社会貢献活動の一環として、また、国営海の中道海浜公園の清潔なイメージアップに繋げるため、「NPOふくおかの会」が主催する「ラブアースクリーンアップ2012」の活動に参加し、清掃活動を行なった。	445	参加者	玄界灘側海浜部	無料
共催	9月15日	9月16日	リレー・フォー・ライフin福岡	申込み参加者	光と風の広場において、リレー形式で24時間歩き、みんなでタスキをつなげることによって、生きる希望や勇気が生まれることを目指すがん啓発のチャリティイベントを開催した。	1,333	参加者	光と風の広場 参加費	有料
共催	10月6日	10月7日	福岡トライアスロンフェスタ2012	申込み参加者	小中学生を対象としたキッズトライアスロンと、1チーム3名で構成する団体戦のトライアスロンEKIDENとスーパスプリント九州・沖縄選手権大会の各競技を開催した。	1,851	参加者	プール前及び園内特設コース 参加費	有料
共催	10月8日		全国造園フェスティバル2012	来園者	造園のすばらしい技術を参加者に知ってもらえるよう、花苗のプレゼントや無料造園相談コーナーなど緑に関する催しを行った。	500	参加者	子供の広場	無料
共催	10月13日	10月14日	第5回ユニバーサルキャンプin九州	申込み参加者	自然の中でのキャンプ体験を通し、お互いがサポートし合うことで、障害の有無に関わらず、一人一人が尊厳を持つ対等な関係であることを学ぶイベントを開催した。	40	参加者	光と風の広場デイキャンプ場 参加費	有料
共催	10月21日		土木の日ファミリーフェスタ	来園者	「土木の日」にちなみ、ブルドーザー等のはたらく乗り物の展示・試乗体験や、その他土木にちなんだクイズやクラフト等を行った。	14,000	参加者	子供の広場	無料
共催	10月26日		第9回スポレクさわやかウォーキング	申込み参加者	障がいをお持ちの方が家族やボランティアと一緒に、公園内の花の鑑賞やウォーキングを楽しみながら交流を図った。	28	参加者	園内全域	無料
共催	10月28日		コスモ アースコンシャスアクトクリーンキャンペーン ※環境学習プログラム	申込み参加者	抽選で400名の参加者を募り、海浜公園内で海岸清掃を行った。	450	参加者	潮見台付近海岸	無料
共催	11月3日		RKBビーチクリーンキャンペーン ※環境学習プログラム	申込み参加者	抽選で500名の参加者を募り、第一部は海浜公園内で海岸清掃を、第二部はマリンワールドでタレントによるミニコンサートを楽しんでもらった。	500	参加者	玄界灘海浜部及びマリンワールド	無料
共催	11月4日		第17回海の中道リレーマラソン	申込み参加者	大芝生広場において、42.195キロを10名以内のチームでたすきリレーしながら完走を目指す、リレーマラソン大会を開催した。	2,696	参加者	大芝生広場及び周辺特設コース 参加費	有料
共催	11月18日		2012福岡県民さわやかマラソン	申込み参加者	福岡県民の健康増進を図ることを目的に、1キロ～10キロまでの様々なクラスを設けたマラソン大会を開催した。	2,165	参加者	大芝生広場及び園内特設コース 参加費	有料
共催	12月16日		MTB3時間耐久選手権	申込み参加者	周回1.5キロの特設コースを3時間で何周回ることができるかを競うMTBの競技会を開催した。	212	参加者	プール前および野外劇場 参加費	有料
共催	2月23日		第27回福岡国際クロスカントリー大会/第27回海の中道市民クロカン	申込み参加者	国内トップアスリートによるクロスカントリーの大会と一般参加が可能な市民クロカンを行った。	7,059	参加者	大芝生広場及び園内特設コース 参加費	有料
共催	3月24日		第26回海の中道はるかぜマラソン大会	申込み参加者	今回で26回目を数える市民マラソン大会を、3km、5km、10km、ハーフマラソンの4部門で開催した。	4,526	参加者	大芝生広場及び園内特設コース 参加費	有料
年間合計					15件	40,443人			

【平成24年度　持込イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
持込	5月4日		JR九州ウォーキング	一　般 希望者	海ノ中道駅をスタート・ゴールとし、公園内を周遊するウォーキングイベントを行った。	1,600	参加者	園内全域	無料
持込	5月19日		野外コンサート「CIRCLE'12」	申込み 参加者	野外劇場においてオムニバス形式の野外コンサートを行った。	4,052	参加者	野外劇場	有料
持込	5月19日		西日本シティ銀行職員組合　自然満喫ウォークラリー大会	申込み 参加者	西日本シティ銀行職員組合員とその家族を対象として、園内全域を対象としたウォークラリー大会と、大芝生広場で遊びのブースを行った。	247	参加者	園内全域・大芝生広場	無料
持込	6月2日	6月3日	リベルタサッカー大会	申込み 参加者	大芝生広場を会場に、リベルタサッカースクールに所属している幼児、小学生チームによるサッカー大会を行った。	1,747	参加者	大芝生広場	無料
持込	6月30日	7月1日	第22回福岡オープン・アルティメットトーナメント	申込み 参加者	九州のアルティメットプレーヤーの交流と日本各地や海外プレイヤー参加による交流を目的の大会を実施しました。	151	参加者	大芝生広場	有料
持込	7月7日	7月8日	リベルタサッカー大会	申込み 参加者	大芝生広場を会場に、リベルタサッカースクールに所属している幼児、小学生チームによるサッカー大会を行った。	1,914	参加者	大芝生広場	無料
持込	7月28日	7月29日	野外コンサート「HIGHER GROUND 2012 FINAL」	申込み 参加者	野外劇場においてオムニバス形式の野外コンサートを行った。7/28（土）　14,366人 7/29（日）　17,142人	31,508	参加者	野外劇場	有料
持込	9月9日		少年ラグビー交流試合	申込み 参加者	NPO法人　草ヶ江ヤングラガーズの主催により、鞘ヶ谷ラグビースクールとの交流試合を大芝生広場にて実施した。	653	参加者	大芝生広場	無料
持込	9月23日		少年ラグビー交流試合	申込み 参加者	NPO法人　草ヶ江ヤングラガーズの主催により、長崎ラグビースクールとの交流試合を大芝生広場にて実施した。	1,323	参加者	大芝生広場	無料
持込	10月7日		健康さわやかウォーキング	申込み 参加者	健康保険の被保険者等の健康の保持増進を図るため、ウォークラリーを行った。	38	参加者	園内全域	有料
持込	10月20日		東薬健保　健康ウォーク	申込み 参加者	健康保険の被保険者を対象に各チェックポイントでパズルのピースを集めてパズルを完成させるウォークラリーを行った。	190	参加者	園内全域	無料
持込	10月21日		JR九州ウォーキング	一　般 希望者	海ノ中道駅をスタート・ゴールとし、公園内を周遊するウォーキングイベントを行った。	1,600	参加者	園内全域	無料
持込	10月28日		トラック協会ファミリーウォーク	申込み 参加者	福岡県トラック協会福岡支部主催のウォーキング大会を実施した。	488	参加者	園内全域	有料
持込	10月29日	11月2日	2012ゴールデンオールディーズ・ワールドラグビーフェスティバル福岡	申込み 参加者	35才以上の選手によるラグビーの国際大会を大芝生広場にて開催した。	3,164	参加者	大芝生広場	有料
持込	11月11日		リベルタサッカー大会	申込み 参加者	大芝生広場を会場に、リベルタサッカースクールに所属している幼児、小学生チームによるサッカー大会を行った。	1,030	参加者	大芝生広場	無料
持込	11月18日		西戸崎校区自治会ウォークラリー	申込み 参加者	家族や地域の方々とのコミュニケーションを図り、健康づくりと体力の向上を促進することを目的としてウォークラリーを行った。	52	参加者	園内全域	無料
持込	11月23日		第25回うさぎSANコンテスト	申込み 参加者	ウサギの飼育愛好家を対象にビューティコンテストやカミカミ競争、健康診断等を行った。	29	参加者	大芝生広場（動物の森正門前）	無料
持込	11月24日	11月25日	ディスクゴルフ九州オープン	申込み 参加者	日本ディスクゴルフ協会が主催する、ディスクゴルフの公式戦を大芝生広場特設コースにおいて実施した。	120	参加者	大芝生広場	有料
持込	12月1日		福岡市消防局駅伝	申込み 参加者	福岡市消防局主催の駅伝大会を開催した。	757	参加者	プール前広場～園内全域	有料
持込	12月1日	12月2日	リベルタサッカー大会	申込み 参加者	大芝生広場を会場に、リベルタサッカースクールに所属している幼児、小学生チームによるサッカー大会を行った。	1,658	参加者	大芝生広場	無料
持込	12月9日		リベルタサッカー大会	申込み 参加者	大芝生広場を会場に、リベルタサッカースクールに所属している幼児、小学生チームによるサッカー大会を行った。	1,801	参加者	大芝生広場	無料
持込	12月16日		リベルタサッカー大会	申込み 参加者	大芝生広場を会場に、リベルタサッカースクールに所属している幼児、小学生チームによるサッカー大会を行った。	1,795	参加者	大芝生広場	無料
持込	2月2日		新宮高校歩こう祭	申込み 参加者	新宮高校から志賀島まで往復34kmの訓練歩行を実施した。	703	参加者	海の中道駅口無料区域・光と風の広場無料区域	無料
持込	2月2日		リベルタサッカー大会	申込み 参加者	大芝生広場を会場に、リベルタサッカースクールに所属している幼児、小学生チームによるサッカー大会を行った。	846	参加者	大芝生広場	無料
持込	2月3日		リベルタ親子サッカー大会	申込み 参加者	大芝生広場を会場に、リベルタサッカースクールに所属している幼児、小学生チームによる親子サッカー大会を行った。	368	参加者	大芝生広場	無料
持込	2月7日		城東高校マラソン大会	申込み 参加者	地元高校である城東高校のマラソン大会を実施した。	1,309	参加者	園内	無料
持込	2月9日		逃走イベント　SUTAKORA SASSA	申込み 参加者	ハンターにつかまらないように、親子で公園内に隠された宝探しを行うレクリエーションイベントを開催した。	144	参加者	大芝生広場/いこいの森/野鳥の池他	有料
持込	3月2日	3月3日	リベルタサッカー大会	申込み 参加者	大芝生広場を会場に、リベルタサッカースクールに所属している幼児、小学生チームによるサッカー大会を行った。	1,577	参加者	大芝生広場	無料
持込	3月3日		FUKUSAYA CROSS 自転車スクール	申込み 参加者	自転車競技の普及と子供や初心者の自転車技術とマナーの向上を目的に、スクーリングを行い、習得した技術を使っての記録会を行っ	174	参加者	プール前広場	有料
持込	3月9日		アルティメット大会	申込み 参加者	大学生のアルティメットプレーヤーの交流と、普及を目的として大会を実施した。	99	参加者	大芝生広場	有料
持込	3月10日		リベルタサッカー大会	申込み 参加者	大芝生広場を会場に、リベルタサッカースクールに所属している幼児、小学生チームによるサッカー大会を行った。	1,712	参加者	大芝生広場	無料
持込	3月17日		福岡ウォーカー 第1回 福岡FUNラン リレーマラソンin海の中道	申込み 参加者	大芝生広場を使用して、4～10人1チームで1周約1.6kmを周回し、42.195kmをリレーで走るマラソン大会を開催した。	528	参加者	大芝生広場	有料
年間合計						32件　63,377人			

【平成24年度　環境学習プログラム】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	4月1日	3月31日	海と森の学びナビ 森の楽校 ※環境学習プログラム	一　般 希望者	木の実等を使ったクラフト体験を通じて、環境や自然について学ぶことが出来る環境学習プログラムを行った。	4,559	参加者	森の家　工作室	無料
主催	4月1日		FP2012 ビーチクリーンキャンペーン ～春の玄界灘を楽しむ～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	きれいな海や海岸をみんなと一緒に取り戻すため、海岸清掃活動を実施し、参加者に「環境を守ることの大切さ」について考えていただきました。	128	参加者	海の中道駅口～潮見台エリア	無料
主催	4月8日		みらいの森体験塾 ～春色の万華鏡づくり～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	今年度最初の体験塾として、ボランティアのガイドツアーと自然の素材を用いた春の万華鏡づくりを楽しんでいただいた。	7	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	4月22日		森のファミリー探検隊 「森のすみか探検隊」 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	五感を使って、自然の中の出会いを家族で楽しんでいただいた。クラフトやエコクッキング、鳥や水生昆虫のすみかを探し探検を体験した。	68	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	4月22日		FP2012 環境共生の森「みんなで森をつくろう！」 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	小さな子供も楽しそうの植樹をしていた。また、環境共生の森のコンセプトも伝え、森づくりに興味を持っていただいた。	76	参加者	環境共生の森	無料
主催	5月5日		森のファミリー探検隊 「塩の道探検隊」 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	五感を使って、自然の中の出会いを家族で楽しんでいただいた。海浜部へ出て、海辺の生物や漂流物を探した。	38	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	5月6日		FP2012 環境共生の森「みんなで森をつくろう！」 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	多くの家族連れの参加があり、晴天のもと無事に開催できた。「植樹メモリアル」として、公園内の間伐材で作成したコースターをプレゼントした。	102	参加者	環境共生の森	無料
主催	5月27日	3月24日	海と森の学びナビ 自然学び体験教室 森のクラフト編 ※環境学習プログラム	一　般 希望者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室を行なった。	324	参加者	森の家 レクチャールーム他	無料
主催	5月27日		みらいの森体験塾 ～ちまきづくり体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	みらいの森に生育しているヨシやホソイを使いボランティアスタッフのガイドのもとチマキづくり体験を実施した。	23	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	6月3日		みらいの森体験塾 ～海と森のエコツアー～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	多くのファミリーの参加があり、盛況に開催できた。当日は風が強く、少し肌寒い感じとなった。また、海浜部での安全管理のため、ロープやライフジャケットを準備し、安全面に配慮して	15	参加者	環境共生の森	無料
主催	6月17日		みらいの森体験塾 ～じゃがいも収穫体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	今年2月に植え付けした春じゃがの収穫を行った。じゃがいもの生育過程について、フリップを用いてガイドを行い、参加者がじゃがいもについて理解を深めることができるように実施した。また、掘りたてのじゃがいもを焼き、試食を	48	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	7月22日	11月25日	海と森の学びナビ 自然学び体験教室 森の探検編 ※環境学習プログラム	一　般 希望者	屋外でのゲームも取り入れ、生き物たちの生き残りの知恵をんでいただいた。	151	参加者	森の家 レクチャールーム・四季の森	無料
主催	7月22日		みらいの森体験塾 ～水辺のいきものさがし～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	夏休みを迎えた家族連れを対象に開催した。いのちの池でヤゴ、オタマジャクシ、ザリガニ、ハイイロゲンゴウロウなど多くのいきものを採取し、観察をした。また、印象に残ったいきものを絵に描いた。暑い日であったが、熱中症などもなく無事にプログラムを終えることができた。	20	参加者	環境共生の森	無料
主催	8月4日	8月19日	うみなか自然発見塾 ～サマースクール～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	小学生の親子を対象に、海浜公園ならではのプログラムを提供し、こどもたちにたくましくなっていただけるよう実施した。今年は、マリンワールドと連携し、夜のパノラマ大水槽観察を行い、2日間の日程で実施した。	96	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	10月7日		みらいの森体験塾 ～秋の虫 みっけ！バッタの仲間をつかまえよう～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	当日は、あたたかい日和となり、トノサマバッタやショウリョウバッタなど9種類の昆虫を観察することができた。大人、子供問わずバッタ探しに夢中であった。また、バッタ飛ばし大会も行い、盛り上がりをみせた。	6	参加者	環境共生の森	無料
主催	10月28日		みらいの森体験塾 ～秋の虫 みっけ！バッタの仲間をつかまえよう～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	天候が心配であったが、色々なバッタが見られ子供たちはもちろん親御さんも童心にかえってバッタを観察していた。前日の雨の影響かコウロギが全く見られなかった。	10	参加者	環境共生の森	無料
主催	11月4日		みらいの森体験塾 ～秋の恵みで草木染め～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	環境共生の森にあるセイタカアワダチソウとタマネギの皮を使った染物体験を行った。両方とも良い色に染まり参加者は満足していた。	10	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	11月11日		海と森の学びナビ 森のファミリー探検隊「秋の恵探検隊」 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	海の中道海浜公園の広大な自然の中で、生物や自然について、様々な角度から親子で楽しく学んでもらった。今回は、秋の木の実や生き物を探しに散策を行った。	24	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	11月18日		みらいの森体験塾 ～秋の大収穫祭～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	森づくり（下草刈り）体験や落花生、サトイモ、サツマイモの収穫体験を行った。また収穫した作物の試食を行った。	93	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	12月2日		みらいの森体験塾 ～やってみよう農体験！「大根掘り取り・大根干し編」～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	9月に植え付けを行った、ダイコンとじゃがいもを収穫した。ダイコンは来週のたくわん漬けに向けてはざかけに干す作業も行った。	35	参加者	環境共生の森	無料
主催	12月9日		みらいの森体験塾 ～やってみよう農体験！「たくあん漬け編」～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	12/2のみらいの森体験塾で収穫し、干していた大根を使って、昔ながらのたくあん漬けを行った。	7	参加者	環境共生の森	無料

【平成24年度　環境学習プログラム】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	1月6日		みらいの森体験塾 ～里のお正月体験～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	どんど焼きや凧揚げ、コマ、書初め、芋ぜんざいのふるまいなど里のお正月を楽しんでいただいた。また、RKBラジオ、JCOMの取材が入り、場の雰囲気も盛り上がっていた。	28	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	1月20日		みらいの森体験塾 ～リースづくりとカモカルタ～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森に生育しているクズを利用したリースづくりそしてカルタを通じてカモを学ぶ体験プログラムを行った。	3	参加者	環境共生の森 光と風の広場レクチャールーム 参加費	有料
主催	2月3日		みらいの森体験塾 ～冬の自然探し体験～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ペットボトルの風車を作ったり、海浜部の植物や流れ藻の観察を行った。	19	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	2月17日		みらいの森体験塾 ～やってみよう農体験！「春のじゃがいも植付編」～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	寒い中でのプログラムとなったが、参加者はメークイン、キタアカリ、男爵の植付けを楽しく行った。	18	参加者	環境共生の森	無料
主催	3月30日		FP2013 うみなか自然発見塾 ～ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｽｸｰﾙ～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	春休みを迎えた小学生を対象に、みらいの森で農体験、団子作りや自然観察体験を行った。	15	参加者	環境共生の森 参加費	有料
主催	3月31日		FP2013 ビーチクリーンキャンペーン ※環境学習プログラム	申込み参加者	きれいな海や海岸をみんなと一緒に取り戻すため、海岸清掃活動を実施し、参加者に「環境を守ることの大切さ」を伝えた。	219	参加者	海の中道駅口～潮見台エリア	無料
年間合計					27件	6,142人			

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
共催	5月27日		ラブ・アースクリーンアップ2012　海岸清掃 ※環境学習プログラム	申込み参加者	社会貢献活動の一環として、また、国営海の中道海浜公園の清潔なイメージアップに繋げるため、「NPOふくおかの会」が主催する「ラブアースクリーンアップ2012」の活動に参加し、清掃活動を行なった。	445	参加者	玄界灘側海浜部	無料
共催	10月28日		コスモ アースコンシャスアクトクリーンキャンペーン ※環境学習プログラム	申込み参加者	抽選で400名の参加者を募り、海浜公園内で海岸清掃を行った。	450	参加者	潮見台付近海岸	無料
共催	11月3日		RKBビーチクリーンキャンペーン ※環境学習プログラム	申込み参加者	抽選で500名の参加者を募り、第一部は海浜公園内で海岸清掃を、第二部はマリンワールドでタレントによるミニコンサートを楽しんでもらった。	500	参加者	玄界灘海浜部及びマリンワールド	無料
年間合計					3件	1,395人			

【平成25年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	4月1日	5月6日	FP2013 海の中道フラワーピクニック2013	来園者	「福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか」をテーマに、福岡を代表する春まつりとして、花や緑に関連した様々なイベントを開催し、花いっぱいの公園を楽しんでいただいた。	237,773	期間中来園者	園内全域 4/1～5/6参加者数	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2013 第2回うみなかフラワーガーデン・コンテスト　プロフェッショナル部門　花壇展示	来園者	共通のテーマを設けて、プロの創作花壇を制作し腕を競う花壇コンクールを実施した。	―	―	彩りの花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2013 第2回うみなかフラワーガーデン・コンテスト　市民参加部門	来園者	共通のテーマを設けて、公募で集まった地域市民による創作花壇コンクールを実施した。	―	―	彩りの花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2013 ふくおかワイワイ花壇展示	来園者	福岡市緑のコーディネーターの皆さんがデザインし、県民ボランティアの皆さんが作成する市民参加による花壇を展示した。	―	―	彩の花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2013 花時計花壇展示	来園者	西日本短期大学の協力により、「海の中道フラワーピクニック」のメインテーマである"福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか"を表現した花	―	―	花時計	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2013 ハンギングバスケット展	来園者	日本ハンギングバスケット協会福岡県支部の協力により、「ハンギングバスケットマスター」が作るハンギングバスケット作品を展示した。	―	―	花時計広場	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2013 あなたの花さがし	一　般 希望者	設置されたボックスから花の名前の書かれたカードを選んで、あなたにおすすめの花を探しに行く、花探しゲームを開催した。	5,515	参加者	フラワーミュージアム	無料
主催	4月1日	3月31日	海と森の学びナビ 森の楽校 ※環境学習プログラム	一　般 希望者	木の実等を使ったクラフト体験を通じて、環境や自然について学ぶことが出来る環境学習プログラムを行った。	12,506	参加者	森の家　工作室	無料
主催	4月6日	4月7日	FP2013 春色気分！にがおえ師といっしょに描こう	一　般 希望者	にがおえ師の方が描いた顔のまわりに、花やチョウの飾りを自分で貼ったり色鉛筆や絵の具を使って絵を描いたりして作品を仕上げていた	5	参加者	花時計広場	有料
主催	4月6日	5月6日	FP2013 ヤギ駅長「九太郎」 ※動物の森プログラム	来園者	海の中道駅口にて、動物の森のトカラヤギのヤギの駅長「九太郎」がお客様をお迎えした。	―	―	海ノ中道駅前広場	無料
主催	4月6日	5月6日	FP2013 ポニー乗馬体験 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	テンガロンハットやバンダナを身に付け、ウエスタンカウボーイ気分でポニー乗馬体験をお楽しみいただいた。	1,219	参加者	動物の森ふれあい広場	有料
主催	4月6日	5月26日	FP2013 動物ふれあい広場 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	動物の森ふれあい広場にて、ヤギ、ヒツジ、リクガメ、ミニブタ等の動物たちと自由にふれあっていただいた。	22,282	参加者	動物の森ふれあい広場	無料
主催	4月6日	6月9日	FP2013 動物の森スタンプラリー ※動物の森プログラム	一　般 希望者	動物の森において、ベネッセコーポレーション特別企画として、スタンプを集めるとプレゼントがもらえるスタンプラリーを開催した。	20,769	参加者	動物の森	無料
主催	4月6日	6月30日	昔遊びの広場	一　般 希望者	子供の広場にて、昔懐かしい竹馬やフラフープ、ゴム鉄砲作り、輪投げなどの遊びを提供した。子供だけでなく、大人も一緒に楽しく遊んでいた。	7,600	参加者	子供の広場	無料
主催	4月7日	4月27日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを指導し、初めての方でも楽しみながら体験していただくことができるイベントを実施した。	32	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	4月7日		みらいの森体験塾 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	寒い中でのイベント実施だったが、ボランティアの指導の下、万華鏡作りを行えた。ゆったりとした時間配分でイベント実施が行えた。	25	参加者	環境共生の森	有料
主催	4月7日		FP2013 第2回うみなかフラワーガーデン・コンテスト ～ガーデニング講	申込み 参加者	出展花壇を巡りながら、杉井明美氏にワンポイントアドバイスなどをしていただくガーデニング講習会を開催した。	56	参加者	ガーデンコンテスト会場	無料
主催	4月13日	4月14日	FP2013 チューリップガイドツアー	一　般 希望者	参加内訳 4/13：28人、4/14：14人　年齢層の高い方の参加が多かった。チューリップの品種の話や、全体の修景の話を盛り込んでガイドを行った。ご家庭で庭づくりをされている方もおり、興味をもって聞いていただけた。	42	参加者	集合：西サイクリングセンター口そば 場所：チューリップ花壇	無料
主催	4月13日	4月14日	FP2013 春を彩る香りと色のワークショップ	一　般 希望者	エッセンシャルオイルで心ときめく春の香りのルームスプレーづくりと春カラーに胸ときめく自分だけのオリジナル春色リップグロスづくりを行うイベントを実施した。	32	参加者	花時計広場	有料
主催	4月14日		FP2013 うみなかキッズコンサート	来園者	子供たちを対象に出演者を公募し、元気いっぱいの歌や踊りなどのパフォーマンスを披露するステージイベントを実施した。	400	参加者	子供の広場特設ステージ	無料
主催	4月20日	4月27日	FP2013 挿し芽ポットづくり	一　般 希望者	4/20(土)は雨天中止。フラワーミュージアムやシンフォニーガーデンから採取した草花で挿し芽ポットをつくる体験イベントを実施した。	80	参加者	花時計広場	有料
主催	4月20日		FP2013 九州大学吹奏楽団スプリングコンサート	来園者	実施予定日の4/20は雨天の為、翌日4/21に順延して開催した。演奏だけでなく、寸劇やダンス等のパフォーマンスも合わせたステージ構成で、家族連れを中心とした多くの来園者に楽しんでいただけた。	300	参加者	子供の広場特設ステージ	無料
主催	4月21日	4月28日	FP2013 春のお花のアートフラワー体験教室	一　般 希望者	春の花をモチーフとした本格的なアートフラワーで、壁掛けやテーブルにおけるタイプのお花のクラフトをつくる体験教室を実施した。	46	参加者	花時計広場	有料
主催	4月21日		海と森の学びナビ 森のﾌｧﾐﾘｰ探検隊① ※環境学習プログラム	申込み 参加者	園内で春の植物を観察したり、虫追いをして昆虫観察をして春を楽しむプログラムを行った。また、葉っぱや野の花を使ったしおりを作成し	52	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	4月21日		FP2013 環境共生の森「みんなで森をつくろう！」 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	100名超の参加者の大規模イベントで3グループに分けての実施を行ったが、グループの人数②偏りがあったので、次回のイベントでは、均等に分けることを心がけてイベント運営を行	98	参加者	環境共生の森	無料
主催	4月27日	5月6日	ヒツジの毛刈り体験 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	飼育スタッフによる解説を交えながらヒツジの毛をはさみで切る体験を行った。その後飼育スタッフによる羊用バリカンでの毛刈り実演を	222	参加者	動物の森飼育管理棟前	無料
主催	4月27日	5月6日	フェルトボール作り体験 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	刈ったばかりのヒツジの毛を使ってフェルトボールを作る体験を行った。	954	参加者	動物の森飼育管理棟前	無料
主催	4月27日		FP2013 うみなかアコフェス	来園者	福岡県を中心に活躍するアーティスト5組によるアコースティックライブコンサートを実施した。C-1 cupと同会場」で開催したため、来場者も多く、イベント会場全体の賑やかしにも	500	参加者	大芝生広場	無料

【平成25年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	4月28日		FP2013 福岡市消防音楽隊いのちのコンサート	来園者	福岡市消防隊とカラーガード隊によるカナール噴水近くから子供の広場までのパレード、及び子供の広場特設ステージでのステージパフォーマンスを実施した。	3,000	参加者	花時計～子供の広場特設ステージ	無料
主催	4月29日		FP2013 うみなかファミリーステージ「ワンワンとあそぼうショー」	来園者	NHK「いないいないばぁ！」の人気キャラクター"ワンワン"と体操のお兄さんによる親子のふれあいを中心としたステージを開催した。	4,000	参加者	大芝生広場特設ステージ	無料
主催	4月29日		FP2013 バラのプリザーブドフラワー体験教室	一　般 希望者	バラのプリザーブドフラワーとカラーオアシスを使った、小さなお子さんでも楽しめるアレンジメントの体験教室を実施した。	30	参加者	花時計広場	無料
主催	5月3日		FP2013 環境共生の森「みんなで森をつくろう！」 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	天候も晴れていて、多くの参加者を見込んでいたが当日のキャンセル等もあり参加人数は減った。	90	参加者	環境共生の森	無料
主催	5月3日		FP2013 お花のボディペインティングとネイル体験	一　般 希望者	春のお花をイメージしたボディペインティングとネイルアート体験を行った。	89	参加者	花時計広場	有料
主催	5月4日	5月6日	FP2013 癒しのこけ玉体験教室	一　般 希望者	土とみどりに触れて、季節を感じる"こけ玉体験教室"を開催した。目玉や飾りをつけてかわいいオリジナルのこけ玉を作っていただいた。	148	参加者	花時計広場	有料
主催	5月5日		海と森の学びナビ 森のﾌｧﾐﾘｰ探検隊② ※環境学習プログラム	申込み 参加者	園内でアリジゴク(ウスバカゲロウ)の観察したり、ビオトープでおたまじゃくし、ヤゴ、めだかの観察を行った。また室内では、針金とクリップで作ることが出来るバッタを作り好評であった。	56	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	5月6日		FP2013 ふくこい祭りinうみなか	来園者	フラワーピクニック最終日の締め括りとして、コンテスト式のよさこいイベントを実施した。九州・山口で活動するよさこいチーム18団体が参加し、イベントを盛り上げた。	2,500	参加者	子供の広場特設ステージ	無料
主催	5月11日	6月2日	うみなかバラまつり	来園者	香りの良いバラを集めたフレグランスローズエリアなどが楽しめるバラ園を中心に、約230品種2,000株の色とりどりのバラをお楽しみいただいた。	60,619	期間中 来園者	バラ園・フラワーミュージアム・西口カナール	無料
主催	5月11日	5月18日	うみなかバラまつり お花とミツバチのみつろうキャンドルづくり ※花交流プログラム	一　般 希望者	ミツバチがたくさんのお花から集めたみつろうで、2種類のキャンドルを作るイベントを開催した。	16	参加者	花時計広場	有料
主催	5月11日	6月1日	うみなかバラまつり バラガイドツアー	一　般 希望者	フラワーボランティアが、フラワーミュージアムからバラ園まで、バラの品種や特徴についてのガイドを行った。ご夫婦で参加される方が多く、全体的に年齢層が高い方が多かった。	19	参加者	受付：花時計広場	無料
主催	5月11日	6月2日	うみなかバラまつり あなたのバラ探しゲーム	一　般 希望者	バラフレンズの皆様の協力により、フラワーミュージアム前・バラ園にそれぞれ設置されたボックスから12種類のバラの名前の書かれたカードを選んで、あなたにおすすめのバラを探しに行く、バラ探しゲームを開催した。	4,280	参加者	バラ園・フラワーミュージアム	無料
主催	5月11日	6月2日	うみなかバラまつり あなたもバラの香りソムリエ	一　般 希望者	バラフレンズの皆様の協力のもと、バラの香りを楽しんでいただき、ワインのように自分の言葉で表現してもらい、メッセージボードに書き残していただいた。	1,070	参加者	バラ園内	無料
主催	5月11日	6月2日	うみなかバラまつり 九州バラ回廊スタンプラリー	一　般 希望者	当公園を中心に、福岡市植物園、エコパーク水俣バラ園、グリーンパーク、はな阿蘇美、かのやばら園を巡るスタンプラリーを実施した。対象のバラ園2か所以上のスタンプの押印を応募条件とし、抽選で、各ばら園の提供する宿泊券等の賞品をプレゼントする。	126	参加者	花時計広場	無料
主催	5月11日	6月2日	うみなかバラまつり バラ品種コレクション展示	来園者	ご家庭で育てやすいバラ、最新品種のバラなどの品種展示をした。	―		フラワーミュージアム企画展示室	無料
主催	5月11日	6月2日	うみなかバラまつり バラとアリスのクイズラリー ～Alice in Rose Garden～	一　般 希望者	"不思議の国のアリス"になぞらえたクイズを解きながら、西口からカナール、花時計、フラワーミュージアム、バラ園へと、バラの見どころスポットを巡るクイズラリーを実施し、参加者には、記念のポストカードをプレゼントした。	1,500	参加者	受付：西口ゲート	無料
主催	5月12日	5月19日	うみなかバラまつり バラのプリザーブドフラワー教室	一　般 希望者	初めての方でも気軽に楽しんでいただくことが出来るバラを使ったプリザーブドフラワーの体験教室を開催した。	18	参加者	花時計広場	有料
主催	5月12日	5月25日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験していただいたほか、10時からマンスリートーナメントを実施した。	71	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	5月12日		チューリップ球根掘り取りボランティア体験 ※花いっぱいプログラム	申込み 参加者	虹の池横の花壇で、チューリップ、ムスカリの球根掘り取るボランティア活動を行った。大人から子供まで楽しそうに活動をしていた。今後の球根管理についても指導を行い、参加者は熱心に耳を傾けていた。	112	参加者	虹の池	無料
主催	5月19日		みらいの森体験塾～ちまき作り体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	当日は雨天の予報だった為、事前のキャンセルが続出した。他の参加者については、受付前に集合して、光風口で昼食を食べていた。	16	参加者	環境共生の森	有料
主催	5月25日	6月1日	うみなかバラまつり バラとハーブでアロマ体験 ※花交流プログラム	一　般 希望者	園内で採取したハーブを使ったバスソルト作りとローズウォーターの香り体験を実施した。女性の参加が多く、男性や、お子様の参加はほとんどなかった。	13	参加者	花時計広場	有料
主催	5月25日		紙ヒコーキ教室	一　般 希望者	紙ヒコーキ(ペーパーエアクラフト)の作り方や遊び方の体験教室を行なった。天候にも恵まれ、大芝生広場にて楽しく紙飛行機を飛ばす	11	参加者	大芝生広場	有料
主催	5月26日	6月2日	うみなかバラまつり デコクレイクラフト体験教室 ※花交流プログラム	一　般 希望者	ふわふわの軽量粘土を使ってバラや小さな花を好きな色でつくり、リボンでデコレーションしてオリジナルのミニティッシュボックスをつくる体験教室を開催した。	2	参加者	花時計広場	有料

【平成25年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	5月26日	6月2日	夏鳥コアジサシの子育て応援隊2013	申込み参加者	“コアジサシ”の繁殖支援と、一般市民への啓発を目的に、コアジサシのデコイ（おとり模型）を作成し、玄界灘側海浜部の砂浜に設置した。	34	参加者	(5/26)管理センター1F会議室 (6/2)光と風の広場レクチャールーム	無料
主催	5月26日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～お花のステンドグラス～ ※環境学習プログラム	一　般 希望者	蒸し暑い1日であったが、当日参加もあり、あらかじめ採取しておいた花や葉っぱを使い、家族で楽しく、色とりどりのステンドグラスを作成した。	28	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	5月26日		うみなかバラまつり はじめてのお花撮影教室	申込み参加者	福岡県内で活躍する写真家 浦瀧 恵美子氏を講師に迎え、写真の初心者を対象にした、デジタルカメラできれいにバラを撮影できる講習	9	参加者	水辺のレストハウス、バラ園	有料
主催	6月9日	6月22日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナー、投げ方などを体験していただいた。家族連れ、初心者の方や遠方からの来園者にも楽しんでいただいた。	47	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	6月9日		みらいの森体験塾 ～海と森のエコツアー～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	里地と松林の関係を学ぶプログラムとして解説や観察を交えて楽しんで頂けた。実施時間中に、雨が降ったため、傘を差した状態でのイベント運営だった為、活動がしにくかった。	15	参加者	環境共生の森	無料
主催	6月16日		みらいの森体験塾 ～春じゃがの収穫体験～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	2月に植付けたじゃがいも収穫であったが、例年よりも大きさが小ぶりだったが参加者は掘りたてのじゃがいもや畑の作物の持ち帰りで、好評であった。下草狩りを行う事で、森づくりへの取り組みも行った。	36	参加者	環境共生の森	有料
主催	6月23日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～木でつくる手作りアクセサリー～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	木の実や葉っぱなどの自然素材を使って、アクセサリーを作る体験教室を行った。天候が悪かったため、参加者数が少なかった。	22	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	6月29日	1月12日	みらいの森自然体験スクール ※環境学習プログラム	申込み参加者	年間を通して、森づくりや農作業、自然観察などの活動に加え、環境教育プログラム「プロジェクトワイルド」を使って楽しく環境学習が出来るイベントを実施した。（開催日：6/29参加：	59	参加者	環境共生の森	無料
主催	7月7日	7月20日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナー、投げ方などを体験していただいた。	27	参加者	大芝生広場	無料
主催	7月14日		大人のための一日飼育員体験	申込み参加者	大人（高校生以上）を対象とした1日飼育体験を実施した。飼育体験をとおして動物に対する興味をより持っていただけた。	20	参加者	動物の森	有料
主催	7月20日	8月18日	カブトムシハウス ※動物の森プログラム	一　般 希望者	およそ500匹のカブトムシやクワガタを見て、触って、楽しめるカブトムシハウスを設置したほか、レストハウスではパネルの展示を行いました。また、217セットの販売も行いました。（1ペア、虫かご、ゼリー、堆肥込）	4,204	参加者	動物の森	無料
主催	7月21日		みらいの森体験塾 ～水辺のいきものさがし～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、いのちの池にすむ生き物を観察するプログラムを開催した。	37	参加者	環境共生の森	無料
主催	7月28日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ※環境学習プログラム	申込み参加者	屋内での生き物を題材にしたゲームや、いこいの森を探検し、生き物さがしを行うプログラムを開催した。	42	参加者	森の家	無料
主催	8月3日	8月4日	うみなか自然発見塾 ～サマースクール～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	野外調理や自然観察等を行った。夜間には、マリンワールドでの観察タイムを設け、イルカショーの見学も行った。	54	参加者	環境共生の森	有料
主催	8月7日	8月8日	動物の森1日飼育員 ※動物の森プログラム	申込み参加者	小学生4･5･6年生及び中学生を対象に、、動物の森での飼育作業を通じて動物に関する知識や飼育員の仕事を学ぶことができるプログラムを実施した。	157	参加者	動物の森	有料
主催	8月11日	8月24日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナー、投げ方などを体験していただいた。気温が高く暑い日であったため、参加者が少なかった。8/24は悪天候の為中止した。	12	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	8月11日		親子マリンスポーツ体験教室 カッター体験	申込み参加者	参加者のほとんどが初めてのカッター体験であったが、海の中道青少年海の家の協力で大きな事故もなくカッター体験を楽しんでいただけた。	21	参加者	博多湾（海の中道マリーナ）	有料
主催	8月19日	8月20日	うみなか自然発見塾 ～サマースクール～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	1泊2日のイベントで共生の森とマリンワールドを使って行った。2度目ということもあり運営側には少し余裕があった。	43	参加者	環境共生の森	有料
主催	9月1日	11月10日	昔遊びの広場	一　般 希望者	海の中道サポートクラブの協力により、竹馬や竹とんぼ、ゴム鉄砲など昔懐かしい遊びの体験イベントを開催した。	5,500	参加者	子供の広場	無料
主催	9月8日	9月21日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルール、マナーや投げ方の指導を行い、実際にコースをまわった。	75	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	9月8日		大人のための一日飼育員体験 ※動物の森プログラム	申込み参加者	大人（高校生以上）を対象とした1日飼育体験を実施した。飼育体験をとおして動物に対する興味をより持っていただけた。	18	参加者	動物の森	有料
主催	9月14日	12月1日	動物の森スタンプラリー ※動物の森プログラム	一　般 希望者	動物の森において、ベネッセコーポレーション特別企画として、スタンプを集めるとプレゼントがもらえるスタンプラリーを開催した。	13,681	参加者	動物の森	無料
主催	9月15日		みらいの森体験塾 ～秋のじゃがいもを植えよう～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアによる環境共生の森の自然ガイドのほか、ボランティアの指導により、ダイコンの播種や秋じゃがを植付ける農体験プログラムを行った。	22	参加者	環境共生の森	無料

【平成25年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	9月15日		うみなか夢プログラム 『子ども走り方教室～かけっこで1番になる方法～』	申込み参加者	運動会に向けて、プロスポーツトレーナーによる「かけっこが早くなるコツ」を学ぶ走り方教室を開催した。	22	参加者	大芝生広場	有料
主催	9月21日	9月23日	動物ふれあいDAY ※動物の森プログラム	一　般 希望者	普段は柵越しであまり触れることのできない、ポニー、ラマ、ウサギ、ヤギ、ヒツジなどのエリアを開放し、動物たちの息を感じるぐらいまでの距離に近寄って、触れて、感じてもらえるイベントを開催した。	7,614	参加者	動物の森	無料
主催	9月21日		紙ヒコーキ教室	一　般 希望者	ボランティアにより、紙ヒコーキ（ペーパーエアクラフト）の作り方や遊び方、飛ばし方を指導する体験教室を実施した。	9	参加者	大芝生広場	有料
主催	9月21日		第2回うみなかタグラグビーフェスタ	申込み参加者	小学生から一般のタグラグビーのチーム参加まで、幅広く参加いただくことが可能なタグラグビーの交流ゲームを開催した。	175	参加者 応援者	大芝生広場	有料
主催	9月22日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ※環境学習プログラム	申込み参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の枝や実などの素材を使ったタペストリー作りを行った。	51	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	9月28日	11月10日	うみなか☆はなまつり	来園者	地域・市民との協働により、花に関するイベントや芸術・文化の香る様々な催しを通じ、秋の公園の魅力を発信するイベントを開催した。	141,626	期間中来園者	園内全域	無料
主催	9月28日	11月10日	うみなか☆はなまつり 九州バラ回廊パネル展示＆スタンプラリー	来園者	海の中道を中心に、九州のバラ園の紹介パネルを展示するほか、各バラ園を巡るスタンプラリーを開催した。	91	参加者	子供の広場管理棟	無料
主催	9月28日	11月10日	うみなか☆はなまつり ポニー乗馬体験 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	テンガロンハットやバンダナを身に付け、ウエスタンカウボーイ気分でポニー乗馬体験をお楽しみいただいた。	2,617	参加者	動物の森 ふれあい広場	有料
主催	9月28日	11月10日	うみなか☆はなまつり 動物ふれあい広場 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	動物の森ふれあい広場にて、ヤギ、ヒツジ、リクガメ、ミニブタ等の動物たちと自由にふれあっていただいた。	13,644	参加者	動物の森 ふれあい広場	無料
主催	9月28日	11月10日	うみなか☆はなまつり カピバラ＆リスザル餌やり体験 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	カピバラやリスザルについて飼育員のガイドを聞きながら、エサやり体験を行打イベントを実施した。	1,363	参加者	動物の森	無料
主催	9月29日	10月14日	うみなか☆はなまつり デコクレイクラフト体験教室 ※花交流プログラム	一　般 希望者	初めての方でも気軽に楽しんでいただけるふわふわの軽量粘土を使ったデコクレイクラフトの体験教室を行った。	9	参加者	花時計広場	有料
主催	10月5日	11月2日	うみなか☆はなまつり ミュージアムガイドツアー	一　般 希望者	フラワーボランティアのガイドによってフラワーミュージアムのバラや企画展示室などを説明するツアーを開催した。	16	参加者	集合：花時計広場	無料
主催	10月5日	11月10日	うみなか☆はなまつり ヤギ駅長と一緒にお散歩 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	海中駅口の人気者として定着した「ヤギ駅長の九太郎」と一緒にお散歩したり、触れあったりするイベントを実施した。	686	参加者	海の中道駅口	無料
主催	10月6日	11月4日	うみなか☆はなまつり 癒しのこけ玉体験教室 ※花交流プログラム	一　般 希望者	土と緑に触れて、季節を感じる。“こけ玉体験教室”を開催し、目玉や飾りをつけてかわいいオリジナルのこけ玉がつくっていただいた。	49	参加者	花時計広場	有料
主催	10月6日		みらいの森体験塾 ～秋の虫見っけ～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森で見られるバッタを観察するプログラムを開催した。	36	参加者	環境共生の森	無料
主催	10月6日		うみなか☆はなまつり 九州大学吹奏楽団　コンサート	来園者	九州大学吹奏楽部の協力により、花いっぱいの会場の中で、吹奏楽が楽しめるイベントを開催した。	800	参加者	子供の広場特設ステージ	無料
主催	10月6日		動物のお医者さんに聞いてみよう ※動物の森プログラム	申込み参加者	動物の森の獣医の仕事はどのようなものかを体験したり、お話しを聞いたりするイベントを開催した。	12	参加者	動物の森	有料
主催	10月6日		うみなか夢プログラム 『子ども走り方教室～かけっこで1番になる方法～』	申込み参加者	秋の運動会に向けて、プロスポーツトレーナーによる「かけっこが早くなるコツ」を学ぶ走り方教室を開催した。	32	参加者	大芝生広場	有料
主催	10月12日	10月14日	うみなか☆はなまつり 公園deアート～サンドアートinうみなか～ 砂像展示	来園者	公園の魅力の一つである潮見台からの玄界灘の雄大な景観を広くPRすることを目的とし、海の守り神「人魚」と「少年」をモチーフとした砂像を制作・展示した。	―	―	潮見台エリア	無料
主催	10月12日		うみなか☆はなまつり 挿し芽ポットづくり ※花交流プログラム	一　般 希望者	フラワーボランティアの協力により、園内で採取した挿し穂を用いた挿し芽ポット作りのイベントを開催した。	42	参加者	花時計広場	無料
主催	10月12日		うみなか☆はなまつり 笑いヨガ教室	申込み参加者	笑いの体操と呼吸法を組み合わせた健康体操「笑いヨガ」を、海浜公園の自然の中でコスモスの花々を眺めながら体験できるイベントを開催した。	25	参加者	森の家	無料
主催	10月13日	10月14日	うみなか☆はなまつり 公園deアート～サンドアートinうみなか～ 砂で星形アートを作ろう	申込み参加者	潮見台近くに設置された砂像の周りに、作品の一部となる小型の星形砂像を作るワークショップを開催した。	194	参加者	潮見台エリア	無料
主催	10月13日	10月26日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルール、マナーや投げ方の指導を行い、実際にコースをまわった。	45	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	10月13日		全国造園フェスティバル	来園者	造園のすばらしい技術を参加者に知ってもらえるよう、花苗のプレゼントや無料造園相談コーナーなど緑に関する催しを開催した。	500	参加者	子供の広場	無料
主催	10月13日		うみなか☆はなまつり 福岡市消防音楽隊ふれあいコンサート	来園者	福岡市消防音楽隊とカラーガード隊によるパレードと楽しいコンサートを開催した。	2,000	参加者	子供の広場特設ステージ	無料
主催	10月13日		うみなか☆はなまつり 秋のお花のｱｰﾄﾌﾗﾜｰ体験教室 ※花交流プログラム	一　般 希望者	初めての方でも気軽に楽しんでいただける、アートフラワーを使った体験教室を行った。	21	参加者	子供の広場	有料
主催	10月13日		うみなか☆はなまつり 芸術の秋！にがおえ師と描こう ※花交流プログラム	一　般 希望者	にがおえ師が描いた似顔絵の背景を、コスモスや赤とんぼなど秋のモチーフで飾って作品を仕上げていただいた。	31	参加者	子供の広場	有料

【平成25年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	10月14日		うみなか夢プログラム 『環境遊び』	一　般 希望者	環境紙芝居や環境カルタ、大正琴の演奏などの、環境遊びプログラムを開催した。	30	参加者	子供の広場	無料
主催	10月19日		うみなか☆はなまつり うみなかファミリーステージ「ワンワンとあそぼうショー」	来園者	NHK「いないいないばぁ！」の人気者"ワンワン"や元体操のお兄さんが出演する、親子のふれあいをテーマにした楽しいステージイベントを行なった。	3,000	参加者	大芝生広場特設ステージ	無料
主催	10月19日		うみなか☆はなまつり おやこフェスタ2013in海の中道海浜公園	来園者	大きな芝生の原っぱの中で、「親子であそぶ」、「親子でまなぶ」をテーマとして、「スポーツ」「エコ」「食育」などの様々なイベントを開催した。	4,000	参加者	大芝生広場	無料
主催	10月20日		海と森の学びナビ 森のﾌｧﾐﾘｰ探検隊 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	五感を使って、自然の中の出会いや発見を家族で楽しめる体験プログラムを開催した。	40	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	10月20日		うみなか☆はなまつり バラのプリザーブドフラワー教室	一　般 希望者	プリザーブドフラワーを使った、小さなお子様でも楽しめるアレンジメントの体験教室を行った。	8	参加者	花時計広場	有料
主催	10月26日	11月10日	うみなか☆はなまつり あなたのバラ探しゲーム	一　般 希望者	バラフレンズの皆様の協力により、フラワーミュージアム前・バラ園にそれぞれ設置されたボックスからバラの名前の書かれたカードを選んで、あなたにおすすめのバラを探しに行く、バラ探しゲームを開催した。	2,680	参加者	バラ園	無料
主催	10月26日	11月10日	うみなか☆はなまつり あなたもバラの香りソムリエ	一　般 希望者	バラの香りを楽しんでいただき、ワインのように自分の言葉で表現してもらい、メッセージボードに書き残していただいた。	670	参加者	バラ園	無料
主催	10月27日		うみなか☆はなまつり ロザリアン有島薫氏による香りのローズセミナー	申込み 参加者	有島薫氏を講師に迎え、香りの楽しみ方や植え替えの実演といったローズセミナーを開催した。	30	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	10月27日		うみなか☆はなまつり ロザリアン有島薫氏と巡るバラ園ツアー	申込み 参加者	有島薫氏と一緒にバラ園を巡るガイドツアーを開催した。バラを鑑賞しながら、秋バラの魅力やバラの育て方についてのアドバイスを解説した。	30	参加者	バラ園	無料
主催	10月27日		みらいの森体験塾 ～秋の収穫祭～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、秋の実りを収穫し、味わうプログラムを行った。	117	参加者	環境共生の森	有料
主催	10月27日		うみなか☆はなまつり バラのコサージュづくり ※花交流プログラム	一　般 希望者	福岡バラ会の協力によりバラの生花を使ったコサージュ作り体験イベントを開催した。	7	参加者	花時計広場	有料
主催	11月2日		うみなか☆はなまつり お花とミツバチのみつろうキャンドルづくり ※花交流プログラム	一　般 希望者	ミツバチがたくさんのお花から集めたみつろうで、2種類のキャンドルづくりを行う体験教室を開催した。	2	参加者	花時計広場	有料
主催	11月2日		うみなか☆はなまつり 笑いヨガ教室	申込み 参加者	笑いの体操と呼吸法を組み合わせた健康体操「笑いヨガ」を、海浜公園の自然の中で体験できるイベントを開催した。	35	参加者	森の家	無料
主催	11月3日	11月10日	うみなか☆はなまつり ハンギングバスケットコンテスト2013inうみなか ※花交流プログラム	来園者	市民の皆様から「花まつり」をテーマにしたハンギングバスケット作品50点を募集し、花時計広場を花いっぱいに演出した。	―	―	花時計広場	無料
主催	11月4日		うみなか☆はなまつり コスモス刈り取りボランティア体験 ※花いっぱいプログラム	申込み 参加者	市民の皆様と一緒に花の丘のコスモスの刈取り体験を開催した。	78	参加者	花の丘	無料
主催	11月4日		動物のお医者さんに聞いてみよう ※動物の森プログラム	申込み 参加者	動物の森の獣医の仕事はどのようなものかを体験したり、お話しを聞いたりするイベントを開催した。	12	参加者	動物の森	有料
主催	11月9日		紙ヒコーキ教室	一　般 希望者	紙ヒコーキの作り方や飛ばし方をボランティアの協力により指導する体験教室を開催した。	12	参加者	大芝生広場	有料
主催	11月9日		うみなか☆はなまつり コキア刈り取りボランティア体験 ※花いっぱいプログラム	申込み 参加者	市民の皆様と一緒に虹の池のコキアの掘取り体験を開催した。	74	参加者	虹の池、 彩りの池	無料
主催	11月10日	11月23日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールや投げ方を指導して、楽しんでいただいた。	58	参加者	大芝生広場 ディスクゴルフコース	無料
主催	11月10日		みらいの森体験塾 ～秋の恵みで草木染め体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森に自生するセイタカアワダチソウを使い染物体験を開催した。	15	参加者	環境共生の森	有料
主催	11月10日		うみなか☆はなまつり 花育プログラム～ハンギングバスケット体験～ ※花育プログラム	申込み 参加者	花や緑に親しむ機会を通して、やさしさや美しさを感じる気持ちを育むことを目的として、子ども向けのハンギングバスケットづくり体験を開催した。	23	参加者	花時計広場	有料
主催	11月10日		うみなか夢プログラム 『子ども走り方教室～かけっこで1番になる方法～』	申込み 参加者	秋の運動会に向けて、プロスポーツトレーナーによる「かけっこが早くなるコツ」を学ぶ走り方教室を開催した。	18	参加者	大芝生広場	有料
主催	11月16日		スロージョギング教室in海の中道	申込み 参加者	日頃あまり運動をしていない方でも、安心して取り組むことができる「スロージョギング教室」を開催した。	11	参加者	光と風の広場ﾚｸﾁｬｰﾙｰﾑ、カモ池周辺	有料
主催	11月24日		みらいの森体験塾 ～リースづくり体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森に自生するツルや木の実を使いクリスマス用のリース作り体験を開催した。	20	参加者	環境共生の森	有料
主催	11月24日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアの協力により、公園で採集したコキアを使ったほうきづくりの教室を開催した。	39	参加者	森の家 レクチャールーム	無料
主催	12月7日		スロージョギング教室in海の中道	申込み 参加者	日頃あまり運動をしていない方でも、安心して取り組むことができる「スロージョギング教室」を開催した。	18	参加者	光と風の広場ﾚｸﾁｬｰﾙｰﾑ、カモ池周辺	有料
主催	12月8日	12月21日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナー、投げ方などを体験していただいた。	36	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	12月8日		みらいの森体験塾 ～たくわん漬け体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、たくわん漬け体験を実施した。	6	参加者	環境共生の森	無料

【平成25年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	12月8日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ※環境学習プログラム	申込み参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実や松ぼっくりを使ってミニクリスマスツリー作りを行った。	48	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	12月14日		チューリップ球根植付 ボランティア体験	申込み参加者	公園内の花修景づくりを一般のお客様と共同で育て、公園への愛着をより深めていただくことを目的に、春の園内を彩るチューリップ花壇の植付体験を行った。	76	参加者	彩りの花壇・虹の花壇	無料
主催	12月23日	12月25日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト	来園者	野外劇場のすり鉢状の地形を利用し、一般参加のボランティアの協力によって、10,000本のキャンドルを利用したグラウンドアートを制作し、ロマンティックな雰囲気を楽しめる夜間開園イベントを開催した。	11,954	期間中の夜間入園者	ワンダーワールド及び野外劇場	無料
主催	12月23日	12月25日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト ～メッセージキャンドル	一　般 希望者	家族や恋人…大切な人に向けて「幸せ」への願いを込めて、紙袋にメッセージを記入していただき、参加者の方々にキャンドルを灯していただいた。	671	参加者	野外劇場	有料
主催	12月23日	12月25日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト ～オリジナルキャンドルづくり	一　般 希望者	色とりどりのキャンドルを使って、オリジナルのキャンドルつくり体験を楽しんでいただいた。	323	参加者	ワンダーワールド	有料
主催	12月23日	12月25日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト ～クリスマスミニコンサート	来園者	クリスマスの雰囲気をより楽しんでいただけるミニコンサートを開催した。	300	参加者	ワンダーワールド	無料
主催	12月23日	12月25日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト ～冬の花火	来園者	冒険の池付近から約300発のクリスマスをイメージした冬の花火を打ち上げ、冬の夜空に浮かぶ花火とキャンドルアートのコラボレーションを楽しんでいただいた。	―	―	ワンダーワールド	無料
主催	12月23日	12月25日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト ～キャンドルアート観覧サービス	一　般 希望者	野外劇場下の舗装部分に高所作業車を準備し、十分な安全管理の下（安全帯の着用）でお客様に上空10mからのキャンドルアートの眺めを楽しんでいただいた。	585	参加者	野外劇場	有料
主催	12月23日	12月26日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト ～キャンドルボランティア体験	申込み参加者	イベント期間中12/23～25の3日間、とその翌日12/26にボランティアを募り、1万本のキャンドルアートの作成とその片付けを行なった。	268	参加者	野外劇場	無料
主催	1月2日	1月3日	新春イベント～お正月を遊ぼう～	一　般 希望者	お正月ならではの凧づくり体験をお楽しみいただいた。	84	参加者	子供の広場・子供の広場管理棟	有料
主催	1月12日	1月25日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナー、投げ方などを体験していただいた。	15	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	1月12日		みらいの森体験塾 ～里のお正月体験～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって里のお正月を楽しむプログラムを実施した。	24	参加者	環境共生の森	有料
主催	1月13日		新春イベント～新春もちつき大会～	一　般 希望者	アビスパ福岡の協力のもと、選手と一緒にお餅つきやサッカー体験が楽しめるイベントを開催した。	700	参加者	ワンダーワールド	無料
主催	1月26日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室⑩ ※環境学習プログラム	申込み参加者	自然学びボランティアが主体となり、園内を散策し、冬の生き物や木の実を観察するプログラムを開催した。	5	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	1月26日		みらいの森体験塾 ～カモ観察体験～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、カモ池に飛来するカモの観察会やカモをメインにしたカルタとりを行った。	3	参加者	環境共生の森 光と風の広場レクチャールーム	有料
主催	2月1日		スロージョギング教室in海の中道	申込み参加者	日頃あまり運動をしていない方でも、安心して取り組むことができる「スロージョギング教室」を開催した。	16	参加者	光と風の広場レクチャールーム、カモ池周辺	有料
主催	2月2日		みらいの森体験塾 ～冬の自然を体感しよう～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森の冬の自然を体感するプログラムを実施した。	14	参加者	環境共生の森	無料
主催	2月15日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験していただいた。	11	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	2月16日		みらいの森体験塾 ～春じゃがを植えよう～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、春じゃがの植付けを行う農体験プログラムを実施していただいた。	4	参加者	環境共生の森	無料
主催	2月23日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室⑪ ※環境学習プログラム	申込み参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室を行った。	25	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	3月1日		スロージョギング教室in海の中道④	申込み参加者	日頃あまり運動をしていない方でも、安心して取り組むことができる「スロージョギング教室」を開催した。	13	参加者	光と風の広場レクチャールーム、カモ池周辺	有料
主催	3月2日	3月15日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験していただいた。	44	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	3月2日		消防訓練	申込み参加者	野外劇場内芝生面での火災発生を想定し、通報、消防車輌の誘導、放水までの一連の訓練を実施した。訓練のあとは、子ども達を対象に消火器の使い方の実習、訓練に使用した消防車輌の展示及び試乗を体験していただいた。	23	参加者	野外劇場	無料

【平成25年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	3月5日		海の中道海浜公園ユニバーサルデザインセミナー	申込み参加者	公園の管理運営に携わる参加者にユニバーサルデザインに関する公園取組の紹介と、評価・意見をいただくことを目的としたセミナーを開催した。参加者全44名（講師2名、外部関係者21名、公園スタッフ21名）	44	参加者	海の中道管理センター1F会議室	無料
主催	3月6日		第2回国営海の中道海浜公園グラウンドゴルフ大会	申込み参加者	ユニバーサルデザインの取り組みの一環として、シルバー世代の方でも気軽に楽しめる健康応援プログラムとして「グラウンド・ゴルフ大会」を開催した。	506	参加者	大芝生広場	有料
主催	3月8日		FP2014 みんなでつくる花物語～ふくおかワイワイ花壇～ 植付作業	申込み参加者	福岡県・福岡市と協力して、ボランティアの皆さんによる花壇づくりを実施した。	140	参加者	彩りの花壇	無料
主催	3月15日	3月31日	FP2014 動物の森スタンプラリー ※動物の森プログラム	一　般希望者	動物の森において、ベネッセコーポレーション特別企画として、スタンプを集めるとプレゼントがもらえるスタンプラリーを開催した。	3,029	参加者	動物の森	無料
主催	3月21日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室⑫※環境学習プログラム	一　般希望者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室や自然体験ゲームを行った。	20	参加者	子どもの広場	無料
主催	3月23日		動物のお医者さんに聞いてみよう③ ※動物の森プログラム	申込み参加者	動物の森の獣医の仕事はどのようなものかを体験したり、お話しを聞いたりするイベントを開催した。	12	参加者	動物の森	有料
主催	3月29日	3月31日	FP2014 海の中道フラワーピクニック2014	来園者	「福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか」をテーマに、福岡を代表する春まつりとして、花や緑に関連した様々なイベントを開催し、花いっぱいの公園を楽しんでいただいた。	4,686	期間中来園者	園内全域	無料
主催	3月29日	3月30日	FP2014 動物ふれあいDAY	来園者	普段は柵越しであまり触れることのできない、ポニー、ラマ、ウサギ、ヤギ、ヒツジなどのエリアを開放し、動物たちの息を感じるぐらいまでの距離に近寄って、触れて、感じてもらえるイベントを開催した。	770	参加者	動物の森	無料
主催	3月29日	3月31日	FP2014 ヤギ駅長の配置	来園者	海の中道駅口にて、動物の森のトカラヤギ「九太郎」をヤギ駅長として配置しお客様をお迎えした。	―	―	海の中道駅口付近	無料
主催	3月29日	3月31日	FP2014 フラワーピクニック写真コンテスト	一　般希望者	春の公園で撮影された写真コンテストの応募を開始した。	―	―	園内全域	無料
主催	3月29日	3月31日	FP2014 第3回うみなかフラワーガーデン・コンテスト プロフェッショナル部門　花壇展示	来園者	「海の中道フラワーピクニック2014」のメインテーマである“花いっぱい、うみなか”をテーマとしたフラワーガーデン・コンテストに応募されたプロの創作花壇の展示を行った。	―	―	彩りの花壇	無料
主催	3月29日	3月31日	FP2014 第3回うみなかフラワーガーデン・コンテスト 市民参加部門　花壇展示	来園者	「海の中道フラワーピクニック2014」のメインテーマである“花いっぱい、うみなか”をテーマとしたフラワーガーデン・コンテストに応募された地域市民による創作花壇の展示を行った。	―	―	彩りの花壇	無料
主催	3月29日	3月31日	FP2014 花時計花壇	来園者	西日本短期大学の協力により、「海の中道フラワーピクニック」のメインテーマである″福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか″を表現した花壇の展示を行った。	―	―	花時計	無料
主催	3月29日	3月31日	FP2014 ハンギングバスケット展	来園者	日本ハンギングバスケット協会福岡県支部の協力により、「ハンギングバスケットマスター」が作るハンギングバスケット作品の展示を行った。	―	―	花時計広場	無料
主催	3月29日	3月31日	FP2014 あなたの花さがし	一　般希望者	設置されたボックスから花の名前の書かれたカードを選んで、その花を探しに行くセルフガイドプログラムを開催した。	84	参加者	フラワーミュージアム	無料
主催	3月29日		FP2014 第3回うみなかフラワーガーデン・コンテスト 審査会	申込み参加者	「海の中道フラワーピクニック2014」のメインテーマである“花いっぱい、うみなか”をテーマとしたフラワーガーデン・コンテストの審査会・表彰式等を開催した。	19	参加者	彩りの花壇	無料
主催	3月30日		FP2014 親子で楽しむクラフトイベント 春色気分！にがおえ師と描こう	一　般希望者	にがおえ師が描いた顔のまわりを、花やチョウの飾りを自分で貼ったり描いたりして作品を仕上げる体験イベントを開催した。	9	参加者	花時計広場イベントテント	有料
年間合計						169件　619,761人			

【平成25年度　共催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
共催	4月12日		第10回障がい者さわやかウォーキング	申込み参加者	障がいをお持ちの方が家族やボランティアと一緒に、公園内の花の鑑賞やウォーキングを楽しみながら交流を図った。	35	参加者	園内全域	有料
共催	6月16日		ラブ・アースクリーンアップ2013海岸清掃	申込み参加者	全国で開催される「ラブ・アースクリーンアップ2013」の一環として、玄界灘海浜部の海岸清掃活動を行った。	500	参加者	玄界灘海浜部	無料
共催	9月14日	9月15日	リレー・フォー・ライフin福岡	申込み参加者	リレー形式で24時間歩き、みんなでタスキをつなげることによって、生きる希望や勇気が生まれることを目指すがん啓発チャリティイベントを開催した。	1,079	参加者	光と風の広場	有料
共催	9月28日	9月29日	福岡トライアスロンフェスタ2013	申込み参加者	小中学生を対象としたキッズトライアスロンと、1チーム3名で構成する団体戦のトライアスロンEKIDENとスーパスプリント九州・沖縄選手権大会の各競技を開催した。	1,803	参加者応援者	サンシャインプール前及び園内特設コース	有料
共催	10月20日		うみなか☆はなまつり土木の日ファミリーフェスタ	来園者	「土木の日」にちなみ、ブルドーザー等のはたらく乗り物の展示・試乗体験や、その他土木にちなんだ様々な体験イベントを開催した。	10,500	参加者	子供の広場	無料
共催	10月27日		コスモ アースコンシャスアクトクリーンキャンペーン	申込み参加者	抽選で400名の参加者を募り、海浜公園内で海岸清掃を行った。	430	参加者	潮見台付近海岸	無料
共催	11月2日	11月3日	ユニバーサルキャンプin九州	申込み参加者	お互いがサポートし合うことで、障害の有無に関わらず、一人一人が尊厳を持つ対等な関係であることを学ぶことを目的に、デイキャンプ場でキャンプ体験イベントを開催した。	45	参加者	光と風の広場デイキャンプ場	有料
共催	11月10日		チャリティ・ラン＆ウォーク2013 in うみのなかみち	申込み参加者	難病の子どもたちの夢を実現するためのチャリティ・イベントとして、10kmラン、5kmラン、3kmウォークを開催した。	172	参加者	光と風の広場	有料
共催	11月17日		福岡県民さわやかマラソン	申込み参加者	福岡県民の健康アップを目的に、1キロ～10キロまでの様々なクラスを設けたマラソン大会を開催した。	2,043	参加者	大芝生広場及び園内特設コース	有料
共催	2月22日		福岡国際クロスカントリー大会/海の中道市民クロカン	申込み参加者	国内トップアスリートによるクロスカントリーの大会と一般参加が可能な市民クロカンを行った。	6,427	参加者応援者	大芝生広場及び園内特設コース	有料
共催	3月23日		海の中道はるかぜマラソン大会	申込み参加者	今回で27回目を数える市民マラソン大会を、3km、5km、10km、ハーフマラソンの4部門で開催した。	4,033	参加者	大芝生広場及び園内特設コース	有料
年間合計					11件	27,067人			

【平成25年度　持込イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
持込	4月13日		第一薬科大学新入生歓迎イベント	申込み参加者	新入生相互交流及びクラブ紹介を主体とした、教師・上級生との融和を目的にフレンドシップツアー（新入生歓迎遠足）を実施した。	311	参加者	野外劇場	無料
持込	5月4日		JR九州ウォーキング	申込み参加者	海ノ中道駅をスタート・ゴールとし、公園内を周遊するウォーキングイベントを行った。	1,600	参加者	園内全域	無料
持込	5月11日		西日本シティ銀行職員組合　社内ウォークラリー大会	申込み参加者	園内全域を使用したウォークラリーで、家族連れをメインとした多くの参加者が楽しんでした。	337	参加者	園内全域 大芝生広場	無料
持込	5月12日		福岡県農協健保歩け歩け大会	申込み参加者	福岡県農協健保の組合員とその家族を対象として、園内をウォークラリー形式で各自ウォーキングした後、大芝生広場でゲーム等のレクリエーションを行った。	93	参加者	園内全域 大芝生広場	無料
持込	5月18日		野外コンサート「CIRCLE'13」	申込み参加者	カフェ系、ナチュラル系のアーティストを中心としたオムニバス形式のコンサートを開催した。	6,022	参加者	野外劇場	有料
持込	5月19日		ウォーキングラリー	申込み参加者	国籍にとらわれない参加者同士の親睦を深めることを目的とし、公園内の季節のビューポイントや草木を巡るウォーキングラリーイベントを実施した。	39	参加者	園内全域	有料
持込	6月1日		西部電機グループ海の中道公園ウォーク	申込み参加者	西口広場をスタート地点として、子供の広場、潮見台、花の丘を通って一周約5kmのウォーキングを行った。	213	参加者	園内全域	無料
持込	6月5日		写真撮影会	申込み参加者	事前申し込みをしたグループを対象に、愛犬をプロのカメラマンが撮影する撮影会を実施した。	8	参加者	園内全域	無料
持込	6月15日	6月16日	リベルタサッカー大会	申込み参加者	大芝生広場を会場に、リベルタサッカースクールに所属している幼児、小学生チームによるサッカー大会を実施した。	1,584	参加者	大芝生広場	無料
持込	6月22日		ラグビー交流試合	申込み参加者	「九州大学医学部ラグビー部」と「九州ドクターズ」との交流試合を実施した。交流試合ということもあり、参加人数は少なかったが、動きが激しく見ごたえのある競技に、一般の公園利用者も見入っていた。	46	参加者	大芝生広場	無料
持込	6月29日	6月30日	第23回福岡オープン・アルティメットトーナメント	申込み参加者	九州のアルティメットプレーヤーの交流と日本各地や海外プレイヤー参加による交流を目的の大会を実施する。	513	参加者	大芝生広場	有料
持込	7月27日		野外コンサート「SID 10th Anniversary TOUR 2013」	申込み参加者	「SID」の10周年記念コンサートを開催した。	4,186	参加者	野外劇場	有料
持込	8月18日		ディスクゴルフ海中サマーカップ	申込み参加者	福岡県ディスクゴルフ協会が主催する、ディスクゴルフの大会を大芝生広場特設コースにおいて実施した。	25	参加者	大芝生広場	有料
持込	9月7日		親子オリンピック	申込み参加者	各スポーツクラブに所属する会員同士や、その親子の親睦を図ることを目的として、二人三脚、リレー、綱引き等の親子で楽しめるレクリエーションを実施した。雨天の中での実施であったため、予定していたよりも参加者が少なく、実施内容も縮小して実施した。	40	参加者	大芝生広場	有料
持込	10月27日		トラック協会ファミリーウォーク	申込み参加者	福岡県トラック協会福岡支部主催のウォーキング大会を実施した。	555	参加者	大芝生広場 園内全域	有料
持込	11月24日		海の中道リレーマラソン	申込み参加者	42.195キロを10名以内のチームでたすきリレーしながら完走を目指すマラソン大会を開催した。	3,053	参加者	大芝生広場 周辺特設コース	有料
持込	11月30日	12月1日	ディスクゴルフ九州オープン	申込み参加者	日本ディスクゴルフ協会が主催する、ディスクゴルフの公式戦を大芝生広場特設コースにおいて実施した。	198	参加者	大芝生広場	有料
持込	12月15日		グルメランin福岡・海の中道海浜公園	申込み参加者	グルメとマラソンが楽しめるイベントとして、10kmラン、リレーマラソン、シャッフルマラソンにエントリー可能なマラソン大会を開催した。	1,013	参加者	大芝生広場 周辺特設コース	有料
持込	2月1日		新宮高校歩こう祭	申込み参加者	新宮高校から志賀島まで往復34kmの訓練歩行を実施した。	720	参加者	海の中道駅口無料区域・光と風の広場無料区域	無料
持込	2月13日		城東高校マラソン大会	申込み参加者	福岡工業大学附属 城東高等学校の校内マラソン大会を開催した。	1,355	参加者	園内全域	無料
持込	3月2日		かち歩き大会	申込み参加者	平和台から志賀島までの31kmを歩くウォーキングイベントを開催した。	281	参加者	西サイクリングセンター口前無料区域	無料
持込	3月9日		全国スイーツマラソンin福岡	申込み参加者	スイーツとマラソンが楽しめるイベントとして、10kmラン、リレーマラソン、シャッフルマラソンにエントリー可能なマラソン大会を開催した。	3,964	参加者	園内全域	有料
持込	3月16日		福岡ウォーカー 第2回 福岡FUNラン リレーマラソンin海の中道	申込み参加者	大芝生広場を使用して、4～10人1チームで1周約1.6kmを周回し、ハーフと42.195kmをリレーで走るマラソン大会を開催した。	579	参加者	大芝生広場	有料
年間合計					23件	26,735人			

【平成25年度　環境学習プログラム】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	4月1日	3月31日	海と森の学びナビ 森の楽校 ※環境学習プログラム	一　般 希望者	木の実等を使ったクラフト体験を通じて、環境や自然について学ぶことが出来る環境学習プログラムを行った。	12,506	参加者	森の家　工作室	無料
主催	4月7日		みらいの森体験塾 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	寒い中でのイベント実施だったが、ボランティアの指導の下、万華鏡作りを行えた。ゆったりとした時間配分でイベント実施が行えた。	25	参加者	環境共生の森	有料
主催	4月21日		海と森の学びナビ 森のﾌｧﾐﾘｰ探検隊① ※環境学習プログラム	申込み 参加者	園内で春の植物を観察したり、虫追いをして昆虫観察をして春を楽しむプログラムを行った。また、葉っぱや野の花を使ったしおりを作成し	52	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	4月21日		FP2013 環境共生の森「みんなで森をつくろう！」 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	100名超の参加者の大規模イベントで3グループに分けての実施を行ったが、グループの人数②偏りがあったので、次回のイベントでは、均等に分けることを心がけてイベント運営を行	98	参加者	環境共生の森	無料
主催	5月3日		FP2013 環境共生の森「みんなで森をつくろう！」 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	天候も晴れていて、多くの参加者を見込んでいたが当日のキャンセル等もあり参加人数は減った。	90	参加者	環境共生の森	無料
主催	5月5日		海と森の学びナビ 森のﾌｧﾐﾘｰ探検隊② ※環境学習プログラム	申込み 参加者	園内でアリジゴク（ウスバカゲロウ）の観察したり、ビオトープでおたまじゃくし、ヤゴ、めだかの観察を行った。また室内では、針金とクリップで作ることが出来るバッタを作り好評であった。	56	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	5月19日		みらいの森体験塾～ちまき作り体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	当日は雨天の予報だった為、事前のキャンセルが続出した。他の参加者については、受付前に集合して、光風口で昼食を食べていた。	16	参加者	環境共生の森	有料
主催	5月26日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～お花のステンドグラス～ ※環境学習プログラム	一　般 希望者	蒸し暑い1日であったが、当日参加もあり、あらかじめ採取しておいた花や葉っぱを使い、家族で楽しく、色とりどりのステンドグラスを作成した。	28	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	6月9日		みらいの森体験塾 ～海と森のエコツアー～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	里地と松林の関係を学ぶプログラムとして解説や観察を交えて楽しんで頂けた。実施時間中に、雨が降ったため、傘を差した状態でのイベント運営だった為、活動がしにくかった。	15	参加者	環境共生の森	無料
主催	6月16日		みらいの森体験塾 ～春じゃがの収穫体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	2月に植付けたじゃがいも収穫であったが、例年よりも大きさが小ぶりだったが参加者は掘りたてのじゃがいもや畑の作物の持ち帰りで、好評であった。下草狩りを行う事で、森づくりへの取り組みも行った。	36	参加者	環境共生の森	有料
主催	6月23日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～木でつくる手作りアクセサリー～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	木の実や葉っぱなどの自然素材を使って、アクセサリーを作る体験教室を行った。天候が悪かったため、参加者数が少なかった。	22	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	6月29日	1月12日	みらいの森自然体験スクール ※環境学習プログラム	申込み 参加者	年間を通して、森づくりや農作業、自然観察などの活動に加え、環境教育プログラム「プロジェクトワイルド」を使って楽しく環境学習が出来るイベントを実施した。（開催日：6/29参加：	59	参加者	環境共生の森	無料
主催	7月21日		みらいの森体験塾 ～水辺のいきものさがし～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、いのちの池にすむ生き物を観察するプログラムを開催した。	37	参加者	環境共生の森	無料
主催	7月28日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	屋内での生き物を題材にしたゲームや、いこいの森を探検し、生き物さがしを行うプログラムを開催した。	42	参加者	森の家	無料
主催	8月3日	8月4日	うみなか自然発見塾 ～サマースクール～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	野外調理や自然観察等を行った。夜間には、マリンワールドでの観察タイムを設け、イルカショーの見学も行った。	54	参加者	環境共生の森	有料
主催	8月19日	8月20日	うみなか自然発見塾 ～サマースクール～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	1泊2日のイベントで共生の森とマリンワールドを使って行った。2度目ということもあり運営側には少し余裕があった。	43	参加者	環境共生の森	有料
主催	9月15日		みらいの森体験塾 ～秋のじゃがいもを植えよう～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアによる環境共生の森の自然ガイドのほか、ボランティアの指導により、ダイコンの播種や秋じゃがを植付ける農体験プログラムを行った。	22	参加者	環境共生の森	無料
主催	9月22日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の枝や実などの素材を使ったタペストリー作りを行った。	51	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	10月6日		みらいの森体験塾 ～秋の虫見っけ～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森で見られるバッタを観察するプログラムを開催した。	36	参加者	環境共生の森	無料
主催	10月20日		海と森の学びナビ 森のﾌｧﾐﾘｰ探検隊 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	五感を使って、自然の中の出会いや発見を家族で楽しめる体験プログラムを開催した。	40	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	10月27日		みらいの森体験塾 ～秋の収穫祭～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、秋の実りを収穫し、味わうプログラムを行った。	117	参加者	環境共生の森	有料
主催	11月10日		みらいの森体験塾 ～秋の恵みで草木染め体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森に自生するセイタカアワダチソウを使い染物体験を開催した。	15	参加者	環境共生の森	有料
主催	11月24日		みらいの森体験塾 ～リースづくり体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森に自生するツルや木の実を使いクリスマス用のリース作り体験を開催した。	20	参加者	環境共生の森	有料
主催	11月24日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアの協力により、公園で採集したコキアを使ったほうきづくりの教室を開催した。	39	参加者	森の家 レクチャールーム	無料
主催	12月8日		みらいの森体験塾 ～たくわん漬け体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、たくわん漬け体験を実施した。	6	参加者	環境共生の森	無料
主催	12月8日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実や松ぼっくりを使ってミニクリスマスツリー作りを行った。	48	参加者	森の家レクチャールーム他	無料

【平成25年度　環境学習プログラム】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	1月12日		みらいの森体験塾 ～里のお正月体験～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって里のお正月を楽しむプログラムを実施した。	24	参加者	環境共生の森	有料
主催	1月26日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室⑩ ※環境学習プログラム	申込み参加者	自然学びボランティアが主体となり、園内を散策し、冬の生き物や木の実を観察するプログラムを開催した。	5	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	1月26日		みらいの森体験塾 ～カモ観察体験～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、カモ池に飛来するカモの観察会やカモをメインにしたカルタとりを行った。	3	参加者	環境共生の森 光と風の広場レクチャールーム	有料
主催	2月2日		みらいの森体験塾 ～冬の自然を体感しよう～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森の冬の自然を体感するプログラムを実施した。	14	参加者	環境共生の森	無料
主催	2月16日		みらいの森体験塾 ～春じゃがを植えよう～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、春じゃがの植付けを行う農体験プログラムを実施していただいた。	4	参加者	環境共生の森	無料
主催	2月23日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室⑪ ※環境学習プログラム	申込み参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室を行った。	25	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	3月21日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室⑫※環境学習プログラム	一　般希望者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室や自然体験ゲームを行った。	20	参加者	子どもの広場	無料
年間合計					33件	13,668人			

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
共催	6月16日		ラブ・アースクリーンアップ2013 海岸清掃	申込み参加者	全国で開催される「ラブ・アースクリーンアップ2013」の一環として、玄界灘海浜部の海岸清掃活動を行った。	500	参加者	玄界灘海浜部	無料
共催	10月27日		コスモ アースコンシャスアクト クリーンキャンペーン	申込み参加者	抽選で400名の参加者を募り、海浜公園内で海岸清掃を行った。	430	参加者	潮見台付近海岸	無料
年間合計					2件	930人			

【平成26年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	4月1日	5月6日	FP2014 海の中道フラワーピクニック2014	来園者	「福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか」をテーマに、福岡を代表する春まつりとして、花や緑に関連した様々なイベントを開催し、花いっぱいの公園を楽しんでいただいた。	214,431	期間中来園者	園内全域	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2014 第3回うみなかフラワーガーデン・コンテスト　市民参加部門　花壇展示	来園者	「海の中道フラワーピクニック2014」のメインテーマである“花いっぱい、うみなか”をテーマとしたフラワーガーデン・コンテストに応募された地域市民による創作花壇の展示を行った。	－	－	彩りの花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2014 第3回うみなかフラワーガーデン・コンテスト　プロフェッショナル部門　花壇展示	来園者	「海の中道フラワーピクニック2014」のメインテーマである“花いっぱい、うみなか”をテーマとしたフラワーガーデン・コンテストに応募されたプロの創作花壇の展示を行った。	－	－	彩りの花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2014 みんなでつくる花物語～ふくおかワイワイ花壇～	来園者	一般公募により花壇デザインを決定し、県民ボランティアの皆さんが作成する市民参加による花壇を展示した。	－	－	彩の花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2014 花時計花壇	来園者	西日本短期大学の協力により、「海の中道フラワーピクニック」のメインテーマである〝福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか〟を表現した花壇を展示した。	－	－	花時計	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2014 あなたの花さがし	一　般 希望者	設置されたボックスから花の名前の書かれたカードを選んで、その花を探しに行くセルフガイドプログラムを開催した。	3,022	参加者	フラワーミュージアム	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2014 ハンギングバスケット展	来園者	日本ハンギングバスケット協会福岡県支部の協力により、「ハンギングバスケットマスター」が作るハンギングバスケット作品を展示した。	－	－	花時計広場	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2014 フラワーピクニック写真コンテスト	申込み 参加者	春の公園で撮影された写真コンテストを開催した。	37	参加者	園内全域	無料
主催	4月1日	5月6日	FP2014 ヤギ駅長「九太郎」 ※動物の森プログラム	来園者	「海の中道フラワーピクニック」の期間中、海の中道駅口でヤギの駅長「九太郎を展示し、お迎えをした。	－	－	海ノ中道駅前広場	無料
主催	4月1日	6月8日	FP2014 動物の森スタンプラリー ※動物の森プログラム	一　般 希望者	動物の森において、ベネッセコーポレーション特別企画として、スタンプを集めるとプレゼントがもらえるスタンプラリーを開催した。	17,904	参加者	動物の森	無料
主催	4月1日	3月31日	海と森の学びナビ 森の楽校 ※環境学習プログラム	一　般 希望者	木の実等を使ったクラフト体験を通じて、環境や自然について学ぶことが出来る環境学習プログラムを行った。	12,054	参加者	森の家工作室	無料
主催	4月1日	3月31日	海と森の学びナビ いこいの森ﾄﾚｼﾞｬｰﾊﾝﾃｨﾝｸﾞ ※環境学習プログラム	一　般 希望者	森の家を拠点に、ミッションカードのクイズを解きながら、環境についても学ぶことができるプログラムを行った。	737	参加者	森の家ほか	無料
主催	4月1日	3月31日	海と森の学びナビ うみなか情報ギャラリー ※環境学習プログラム	一　般 希望者	海浜公園や周辺の歴史、海の環境について学ぶことが出来るパネルを設置し、その中にクイズを取り入れ、環境について学ぶことができるプログラムを行った。	1,700	参加者	シーサイドヒルシオヤ	無料
主催	4月5日	5月6日	FP2014 昔遊びの広場	一　般 希望者	海の中道サポートクラブの協力により、竹馬や竹とんぼなど昔懐かしい遊びの体験ができるイベントを開催した。	4,000	参加者	子供の広場	無料
主催	4月5日	5月6日	FP2014 動物ふれあい広場 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	ヤギ、ヒツジ、リクガメ等の動物たちと自由に触れ合うことができる場所として、ふれあい広場を開催した。	16,681	参加者	動物の森ふれあい広場	無料
主催	4月5日	5月6日	FP2014 カピバラ&リスザル餌やり体験 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	動物たちの中でも人気の高いカピバラとリスザルへの餌やりを体験するプログラムを実施した。	1,467	参加者	動物の森	無料
主催	4月5日	5月6日	FP2014 ヤギ駅長と一緒にお散歩 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	海の中道駅口において、お客様に人気の「ヤギ駅長」とお散歩をし、ふれあえるプログラムを実施した。	713	参加者	海ノ中道駅前広場	無料
主催	4月6日	4月13日	FP2014 チューリップガイドツアー	一　般 希望者	130品種のチューリップが咲き誇る虹の花壇を案内しながら、花壇の見どころやご家庭でチューリップを楽しむ際のワンポイントアドバイスを紹介するガイドツアーを実施した。	25	参加者	虹の花壇	無料
主催	4月6日	4月26日	FP2014 ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験するイベントを開催した。	103	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	4月6日		FP2014 笑いヨガ教室	申込み 参加者	海浜公園の自然の中で春の花々を眺めながら、笑いの体操と呼吸法を組み合わせた健康体操「笑いヨガ」の体験教室を実施した。	7	参加者	彩りの花壇、花の丘	無料
主催	4月6日		うみなか夢プログラム 『みんなでうたおうプロジェクト』	来園者	来園している子供達と一緒になってひとつの曲を歌い、その後合唱団のメンバーによる歌を披露するイベントを開催した。	27	参加者	子供の広場 フラワーステージ	無料
主催	4月19日		海と森の学びナビ 森のﾌｧﾐﾘｰ探検隊① ※環境学習プログラム	申込み 参加者	春の草花をテーマとして、五感を使って、家族で楽しめる体験プログラムを開催した。	9	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	4月26日	5月6日	ヒツジの毛刈り体験 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	飼育スタッフによる解説を交えながらヒツジの毛をはさみで切る体験を実施した。その後飼育スタッフによる羊用バリカンでの毛刈り実演を行った。	171	参加者	動物の森飼育管理棟前	無料
主催	4月26日	5月6日	フェルトボール作り体験 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	刈ったばかりのヒツジの毛を使ってフェルトボールを作る体験プログラムを実施した。	1,275	参加者	動物の森飼育管理棟前	無料
主催	4月26日		FP2014 うみなかキッズコンサート	来園者	小学生以下を対象に出演者を一般公募し、元気いっぱいの歌やダンスなどのパフォーマンスを披露していただくステージイベントを開催した。	1,000	参加者	大芝生広場 特設ステージ	無料

【平成26年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	4月27日		FP2014 福岡市消防音楽隊ふれあいコンサート	来園者	福岡市消防音楽隊とカラーガード隊によるパレードとコンサートを開催した。	4,000	参加者	大芝生広場 特設ステージ	無料
主催	4月27日		FP2014 うみなかアコフェス	来園者	福岡から発信するアコースティックミュージックを楽しんでいただくオムニバス形式のミニコンサートを開催した。	3,000	参加者	大芝生広場 特設ステージ	無料
主催	4月29日		FP2014 うみなかファミリーステージ～ワンワンとあそぼうショー～	来園者	人気のワンワンがやってくる「うみなかファミリーステージ」を開催した。	4,000	参加者	大芝生広場 特設ステージ	無料
主催	4月29日		うみなか夢プログラム 『吹奏楽』	来園者	大芝生広場の特設ステージで、子供向けの曲をメインとした吹奏楽のコンサートを開催した。	2,000	参加者	大芝生広場 特設ステージ	無料
主催	4月29日		うみなか夢プログラム 『ダンス』	来園者	大芝生広場の特設ステージで、子どもと大人混合のダンスチームによるダンスパフォーマンスを実施した。	800	参加者	大芝生広場 特設ステージ	無料
主催	5月3日	5月11日	うみなかバラまつり2014 お母さんに贈る大きなバラの花束つくり	一　般 希望者	バラのメッセージカードにお母さんへの気持ちを書いて貼り付け、大きな花束の絵を完成させた。参加者にはささやかなプレゼントを進呈した。	582	参加者	子供の広場管理棟	無料
主催	5月3日		FP2014 みんなで森をつくろう！ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	一般の来園者とともに、50年後に向けた森づくりとして植樹体験を行った。	108	参加者	環境共生の森	無料
主催	5月3日		FP2014 親子で楽しむクラフトイベント 挿し芽ポットづくり	一　般 希望者	フラワーボランティアにご協力いただき、園内の植物を使った挿し芽ポット作りイベントを実施した。	123	参加者	花時計広場イベントテント	無料
主催	5月4日		JR九州ウォーキング in 海の中道海浜公園	一　般 希望者	JR海ノ中道駅をスタート・ゴールとして、シーサイドヒルシオヤや花の丘などの春の見どころを巡る約6kmのウォーキングイベントを開催した。	1,532	参加者	JR海ノ中道駅～園内全域	無料
主催	5月5日		海と森の学びナビ 森のﾌｧﾐﾘｰ探検隊 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	五感を使って、自然の中の出会いを家族で楽しめる体験プログラムを開催します。今回は春植物との遊びをテーマに行います。	27	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	5月6日		FP2014 ふくこいまつりinうみなか	来園者	フラワーピクニック開催最終日の締めくくりとして、各地で活動しているよさこいチームによる「ふくこい」の競演を披露した。	3,000	参加者	子どもの広場特設ステージ	無料
主催	5月6日		FP2014 笑いヨガ教室	申込み 参加者	海浜公園の自然の中で、笑いの体操と呼吸法を組み合わせた健康体操「笑いヨガ」の体験教室を実施した。	16	参加者	彩りの花壇	無料
主催	5月10日	5月17日	うみなかバラまつり バラガイドツアー	一　般 希望者	フラワーボランティアにご協力いただき、主にフラワーミュージアム内のツルバラについてのガイドツアーを行なった。 参加者内訳 5/10　8人 5/17　5人 5/31　5人	18	参加者	花時計広場（受付）	無料
主催	5月10日	6月1日	うみなかバラまつり2014	来園者	香りの良いバラを集めたフレグランスローズエリアなどが楽しめるバラ園を中心に、約240品種2,200株の色とりどりのバラをお楽しみいただいた。	73,167	期間中来園者	バラ園・フラワーミュージアム・西口カナール	無料
主催	5月10日	6月1日	うみなかバラまつり 九州バラ回廊スタンプラリー	一　般 希望者	海の中道を中心に、北はグリーンパークから、南はかのやばら園までをつなぐ、「九州バラ回廊」キャンペーンを展開。各バラ園を巡ると豪華賞品があたるスタンプラリーを実施した。	233	参加者	バラ園内東屋（応募用紙は各入園ゲートで配布）	無料
主催	5月10日	6月1日	うみなかバラまつり あなたのバラ探しゲーム	一　般 希望者	設置されたボックスからバラの名前の書かれたカードを選んで、あなたにおすすめのバラを探しに行くという、セルフガイドのバラ探しゲームを開催した。	5,537	参加者	バラ園	無料
主催	5月10日	6月1日	うみなかバラまつり あなたもバラの香りソムリエ	一　般 希望者	バラの香りを楽しんでいただき、ワインのように自分の言葉で表現してもらい、メッセージボードに書き残していただくセルフガイドプログラムを行った。	1,376	参加者	バラ園	無料
主催	5月10日	6月29日	昔遊びの広場	一　般 希望者	海の中道サポートクラブの協力により、竹馬や竹とんぼなど昔懐かしい遊びの体験ができるイベントを開催した。	3,170	参加者	子供の広場	無料
主催	5月11日	5月24日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験するイベントを開催した。	64	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	5月17日		うみなかバラまつり ヒラヤマスギでブローチづくり	一　般 希望者	ヒラヤマスギの松ぼっくりなどの自然素材を使ったクラフト体験を実施した。	29	参加者	バラ園内東屋	無料
主催	5月24日		うみなかバラまつり 香りのローズセミナー	申込み 参加者	ガーデンローズの世界では言わずと知れた名アドバイザー「有島薫」氏を講師に迎えてのローズセミナーを開催した。	38	参加者	森の家レクチャールーム	無料
主催	5月24日		うみなかバラまつり 有島薫氏と巡るバラ園ツアー	申込み 参加者	バラ園をロザリアン有島薫氏と一緒に巡るガイドツアーを開催した。	48	参加者	バラ園	無料
主催	5月25日		チューリップ球根掘り取り体験ボランティア	申込み 参加者	市民の皆様と一緒に、チューリップの球根掘り取り体験を行った。作業体験を通して、球根の育ち方を学ぶとともに、参加者には掘り取った球根の一部をプレゼントした。	251	参加者	虹・彩りの池 チューリップ花壇	無料
主催	5月31日		海と森の学びナビ スポーツGOMI拾いinうみなか	申込み 参加者	チームで力を合わせてゴミを拾い、その質と量を競い合う、地球に最もやさしいスポーツ、「スポーツGOMI拾い」を開催した。	58	参加者	潮見台付近海岸	無料
主催	6月1日	6月15日	夏鳥コアジサシの子育て応援隊2014	申込み 参加者	“コアジサシ”の繁殖支援と、一般市民への啓発を目的に、コアジサイのデコイ（鳥の模型）を作成し、園内の砂浜に設置した。	34	参加者	光と風の広場レクチャールーム	無料

【平成26年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	6月1日		みらいの森体験塾 ～海と森のエコツアー～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、海の中道における森と海のつながりについて学ぶプログラムを行った。	30	参加者	環境共生の森	無料
主催	6月8日	6月21日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら学ぶ体験会を行った。	49	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	7月6日	7月19日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験するイベントを開催した。	17	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	7月19日	8月17日	クワガタ・カブトムシハウス ※動物の森プログラム	一　般 希望者	カブトムシやクワガタを見て、触って、楽しめるクワガタ・カブトムシハウスを設置した。	5,259	参加者	動物の森	無料
主催	7月19日	8月31日	つくろう！あそぼう！ ～コースターを作ってみよう～	一　般 希望者	押し花や折り紙を使ってコースター作りを行った。	469	参加者	子供の広場管理棟	無料
主催	7月20日	1月11日	みらいの森自然体験スクール ※環境学習プログラム		年間を通して、森づくりや農作業、自然観察などの活動に加え、環境教育プログラム「プロジェクトワイルド」を使って楽しく環境学習が出来るイベントを開催した。7/20-17名　晴時々曇 9/7-(21名)　晴時々曇 11/30-雨天中止 1/11-(12名)　晴時々曇	50		環境共生の森	無料
主催	7月20日		みらいの森体験塾 ～水辺のいきものさがし～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、いのちの池にすむ生き物を観察するプログラムを開催した。また、環境学習プログラム（プロジェクトワイルド）を用いていきものや環境について学んだ。	21	参加者	環境共生の森	無料
主催	7月27日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～草花のステンドグラスづくり～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した草花などの素材を使ったクラフト教室を行った。	39	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	8月10日	8月23日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験する講習会を開催した。	28	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	8月24日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～木のアクセサリーづくり～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室を行った。	22	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	8月30日		みんなで森を育てよう ～草刈ボランティア～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	苗木の健全な成長のための下草刈りを体験するボランティアイベントを実施した。	43	参加者	環境共生の森	無料
主催	9月6日	9月28日	つくろう！あそぼう！ ～チラシのビーズでネックレスを作ろう！～	一　般 希望者	チラシで作ったビーズを使ってネックレス作りを行った。	272	参加者	子供の広場管理棟	無料
主催	9月6日	11月9日	昔遊びの広場	一　般 希望者	海の中道サポートクラブの協力により、竹馬や竹とんぼ、コマなど昔懐かしい遊びを体験できるプログラムを開催した。	4,950	参加者	子供の広場	無料
主催	9月7日		みらいの森体験塾 ～秋のじゃがいもを植えよう～ ※みらいの森自然体験スクール ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、ダイコンや秋じゃがを植付ける農体験プログラムを開催した。また、環境学習プログラム（プロジェクトワイルド）を用いて環境学習について学んだ。	7	参加者	環境共生の森	無料
主催	9月14日	9月27日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験するイベントを開催した。	40	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	9月20日	9月28日	動物ふれあいDAY ※動物の森プログラム	一　般 希望者	ポニー、ラマ、ウサギ、ヤギ、ヒツジなどの動物たちの息を感じるぐらいまで近寄って、触れて「いのちの輝き」を感じてもらえるイベントを開催した。	8,270	参加者	動物の森	無料
主催	9月21日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～木の実をつかったタペストリーづくり～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室を開催した。	43	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	10月4日	11月9日	うみなか☆はなまつり	来園者	地域・市民との協働により、花に関するイベントや芸術・文化の香る様々な催しを通じ、秋の公園の魅力を発信するイベントを開催した。	119,920	期間中来園者	園内全域	無料
主催	10月4日	11月9日	うみなか☆はなまつり ヤギ駅長「九太郎」 ※動物の森プログラム	来園者	「うみなか☆はなまつり」の期間中、海の中道駅口でヤギの駅長「九太郎を展示し、お迎えをした。	―	―	海ノ中道駅前広場	無料
主催	10月4日	11月9日	うみなか☆はなまつり ヤギ駅長と一緒にお散歩 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	海の中道駅口において、お客様に人気の「ヤギ駅長」とお散歩をし、ふれあえるプログラムを実施した。	473	参加者	海ノ中道駅前広場	無料
主催	10月4日	11月9日	うみなか☆はなまつり カピバラ&リスザル餌やり体験 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	動物たちの中でも人気の高いカピバラとリスザルへの餌やりを体験するプログラムを実施した。	358	参加者	動物の森	無料
主催	10月4日	11月9日	うみなか☆はなまつり 動物ふれあい広場 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	ヤギ、ヒツジ、リクガメ等の動物たちと自由に触れ合うことができる場所として、ふれあい広場を開催した。	10,442	参加者	動物の森ふれあい広場	無料
主催	10月4日	11月9日	うみなか☆はなまつり コスモスの品種コレクション展示	来園者	さまざまな花色、花型のコスモスの品種を展示紹介した。	―	―	フラワーミュージアム企画展示室	無料
主催	10月4日	11月9日	うみなか☆はなまつり 九州バラ回廊パネル展示	来園者	九州各地のバラ園をつなぐ「九州バラ回廊」の取り組みやバラの香り・食・文化などをわかりやすくするパネル展示を行った。	―	―	バラ園内東屋	無料
主催	10月4日	11月9日	つくろう！あそぼう！ ～まつぼっくりのけん玉作り～	一　般 希望者	紙コップとまつぼっくりを使ってけん玉つくりを行った。	421	参加者	子供の広場管理棟	無料

【平成26年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	10月4日		海と森の学びナビ 森のﾌｧﾐﾘｰ探検隊 ※環境学習プログラム	申込み参加者	五感を使って、自然の中の出会いを家族で楽しめる体験プログラムを開催します。今回は秋の恵みをテーマに行った。	15	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	10月4日		挿し芽ポットづくり	一　般 希望者	フラワーボランティアにご協力いただき、園内の植物を使った挿し芽ポット作りイベントを実施した。 参加人数内訳 10/4:35人、10/18:68人	103	参加者	花時計広場イベントテント	無料
主催	10月11日		九州大学吹奏楽団 オータムコンサート	来園者	九州産業大学吹奏楽団による吹奏楽コンサートを開催した。	800	参加者	ワンダーワールド	無料
主催	10月12日	10月25日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験する講習会を行った。	63	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	10月18日	11月1日	うみなか☆はなまつり フラワーミュージアムガイドツアー	一　般 希望者	フラワーボランティアにご協力いただき、フラワーミュージアム入口からバラ園入口までのガイドツアーを実施した。	8	参加者	花時計広場（受付）	無料
主催	10月18日		おやこフェスタ2014in海の中道海浜公園	来園者	広大な大芝生広場で、「親子であそぶ」「親子でまなぶ」をテーマとして、「スポーツ」「エコ」「食育」等の体験ブースのほか、ペットボトルキャップを集めて発展途上国のこども達にワクチンを寄贈する取やさしい心の種プロジェクト等、様々なイベントを開催した。	10,000	参加者	大芝生広場	無料
主催	10月18日		うみなかファミリーステージ ～ワンワンとあそぼうショー～	来園者	人気のワンワンがやってくる「うみなかファミリーステージ」を開催した。	3,000	参加者	大芝生広場 特設ステージ	無料
主催	10月18日		うみなか夢プログラム 『吹奏楽』	来園者	大芝生広場の特設ステージで、子供向けの曲をメインとした吹奏楽ミニコンサートを実施した。	1,500	参加者	大芝生広場　特設ステージ	無料
主催	10月18日		フラワーミュージアムガイドツアー	一　般 希望者	フラワーボランティアにご協力いただき、フラワーミュージアム入口からバラ園入口までのガイドツアーを実施した。	7	参加者	花時計広場（受付）	無料
主催	10月19日		公園DEアート	一　般 希望者	ユニバーサルデザインとアートが融合した園内サイン作りのワークショップを開催した。	61	参加者	子供の広場	無料
主催	10月25日	11月9日	うみなか☆はなまつり あなたのバラ探しゲーム	一　般 希望者	設置されたボックスからバラの名前の書かれたカードを選んで、あなたにおすすめのバラを探しに行く、セルフガイドのバラ探しゲームを開催した。	1,160	参加者	バラ園	無料
主催	10月25日	11月9日	うみなか☆はなまつり あなたもバラの香りソムリエ	一　般 希望者	バラの香りを楽しんでいただき、ワインのように自分の言葉で表現してもらい、メッセージボードに書き残していただくセルフガイドプログラムを行った。	290	参加者	バラ園	無料
主催	10月25日		Photo class in うみなか	申込み参加者	九州産業大学の写真学科の協力による写真の取り方教室を開催した。	13	参加者	水辺のレストハウス	無料
主催	11月2日	11月9日	うみなか☆はなまつり ハンギングバスケットコンテスト	来園者	日本ハンギングバスケット協会福岡県支部の協力により、ハンギングバスケット作品を展示した。	－	－	花時計広場	無料
主催	11月2日		うみなか☆はなまつり 笑いヨガ教室	申込み参加者	海浜公園の自然の中で春の花々を眺めながら、笑いの体操と呼吸法を組み合わせた健康体操「笑いヨガ」の体験教室を実施した。	7	参加者	彩りの花壇、花の丘	無料
主催	11月3日		うみなか☆はなまつり コスモス抜き取りボランティア体験 ※花いっぱいプログラム	申込み参加者	市民の皆様と一緒に花の丘のコスモスの刈取り体験を実施した。	100	参加者	花の丘	無料
主催	11月8日		うみなか☆はなまつり コキア抜き取りボランティア体験 ※花いっぱいプログラム	申込み参加者	市民の皆様と一緒に虹の池, 彩りの池のコキアの掘取り体験を行った。	57	参加者	虹の池、彩りの池	無料
主催	11月9日	11月24日	ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験する講習会を開催した。	47	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	11月15日	12月23日	つくろう！あそぼう！ ～クリスマスツリー作り～	一　般 希望者	子供の広場管理棟において、保育士スタッフによる人気のワークショップを開催した。	117	参加者	子供の広場管理棟	無料
主催	11月23日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～秋の自然観察～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室や自然体験ゲームを行った。	33	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	11月29日	1月12日	ヒツジと一緒に写真を撮ろう！		ヒツジと一緒に写真撮影ができるコーナーを設置し、来園者に自由に写真撮影をしていただいた。	1,800		動物の森ふれあい舎前	無料
主催	12月7日		みらいの森体験塾 ～たくわんを漬けよう～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、昔ながらのたくわん漬けを行った。	6	参加者	環境共生の森	無料
主催	12月13日		チューリップ球根植付ボランティア体験	申込み参加者	公園内の花修景づくりを一般のお客様と共同で育て、公園への愛着をより深めていただくことを目的に、春の園内を彩るチューリップ花壇の植付体験を行った。	22	参加者	彩りの花壇・虹の花壇	無料
主催	12月14日		みらいの森体験塾＆自然学び体験教室 ～リースづくり体験～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森の自然素材を使いオリジナルのリース作り体験プログラムを行った。	27	参加者	森の家	無料
主催	12月14日		干支の地上絵づくりボランティア体験	申込み参加者	はなまつりで公園を彩ったコキアやまつぼっくりを使い、干支の地上絵を一般参加者と協働で作成した。	25	参加者	ワンダーワールドくじら山	無料

【平成26年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	12月23日	12月25日	うみなかクリスマスキャンドルナイト	来園者	野外劇場の地形を利用し、一般参加のボランティアの協力によって、10,000本のキャンドルを利用したグラウンドアートを制作する夜間開園イベントを開催した。	16,175	期間中来園者	ワンダーワールド及び野外劇場	無料
主催	12月23日	12月25日	うみなかクリスマスキャンドルナイト ～冬の花火	来園者	冒険の池付近から約300発のクリスマスをイメージした冬の花火を打ち上げ、冬の夜空に浮かぶ花火とキャンドルアートのコラボレーションを楽しんでいただいた。	―	―	ワンダーワールド	無料
主催	12月23日	12月26日	うみなかクリスマスキャンドルナイト ～キャンドルボランティア	申込み参加者	12/23～25の3日間、ボランティア参加による1万本のキャンドルアートの作成を行った。イベントの片付けボランティアも併せて募集し、より地域に密着したイベントを目指すこととした。	456	参加者	ワンダーワールド及び野外劇場	無料
主催	1月2日	1月12日	つくろう！あそぼう！ ～絵馬作り～	一　般 希望者	子供の広場管理棟において、保育士スタッフによる人気のワークショップを開催した。	55	参加者	子供の広場管理棟	無料
主催	1月12日		新春もちつき大会	一　般 希望者	アビスパ福岡の協力のもと、選手と一緒にお餅つきやサッカー体験が楽しめるイベントを開催した。	550	参加者	ワンダーワールド	無料
主催	1月17日	2月1日	つくろう！あそぼう！ ～節分の鬼のお面をつくろう～	一　般 希望者	子供の広場管理棟において、保育士スタッフによる人気のワークショップを開催した。	63	参加者	子供の広場管理棟	無料
主催	1月25日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験する講習会を開催した。	15	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	1月25日		みらいの森体験塾＆自然学び体験教室 ～カモの観察をしよう～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、カモ池に飛来するカモの観察会やクラフトづくりを行った。	14	参加者	環境共生の森	無料
主催	2月7日	3月1日	つくろう！あそぼう！ ～ひな飾りをつくろう～	一　般 希望者	子供の広場管理棟において、保育士スタッフによる人気のワークショップを開催した。	92	参加者	子供の広場管理棟	無料
主催	2月14日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーの指導を行い、楽しみながら体験できる講習会を行った。	17	参加者	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	2月15日		みらいの森体験塾 ～春のじゃがいもを植えよう～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、春じゃがの植付けをする農体験プログラムを行った。	5	参加者	環境共生の森	無料
主催	2月22日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～コキアでほうきづくり～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室や自然体験ゲームを行った。	8	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	3月5日		第3回国営海の中道海浜公園グラウンド・ゴルフ大会	申込み参加者	ユニバーサルデザインの取り組みの一環として、シルバー世代の方でも気軽に楽しめる健康応援プログラムとして「グラウンド・ゴルフ大会」を開催した。	569	参加者	大芝生広場	有料
主催	3月7日	3月31日	FP2015 みんなでつくる花物語 ～ふくおかワイワイ花壇～	来園者	福岡市緑のコーディネーターの皆さんがデザインし、県民ボランティアの皆さんが作成する市民参加による花壇を展示した。	―	―	彩の花壇	無料
主催	3月7日	3月31日	つくろう！あそぼう！ ～お花のブローチをつくろう～	一　般 希望者	子供の広場管理棟において、保育士スタッフによる人気のワークショップを開催した。	379	参加者	子供の広場管理棟	無料
主催	3月7日		スロージョギング教室in海の中道	申込み参加者	日頃あまり運動をしていない方でも、安心して取り組むことができ、健康づくりはもちろん、これからマラソンを始めたいという方にもおすすめの「スロージョギング教室」を開催しました。	8	参加者	光と風の広場レクチャールーム、カモ池周辺	有料
主催	3月14日	3月31日	FP2015 花時計花壇	来園者	西日本短期大学の協力により、「海の中道フラワーピクニック」のメインテーマである"福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか"を表現した花	―	―	花時計	無料
主催	3月15日		動物のお医者さんに聞いてみよう ※動物の森プログラム	申込み参加者	小学生を対象に、動物園の獣医師の仕事を知ってもらう体験プログラム「動物のお医者さんに聞いてみよう！」を実施した。	11	参加者	動物の森	有料
主催	3月28日	3月29日	FP2015 昔遊びの広場	一　般 希望者	海の中道サポートクラブの協力により、竹馬や竹とんぼなど昔懐かしい遊びを体験できるプログラムを開催した。	650	参加者	子供の広場	無料
主催	3月28日	3月31日	FP2015 海の中道フラワーピクニック2015	来園者	「福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか」をテーマに、福岡を代表する春まつりとして、花や緑に関連した様々なイベントを開催し、花いっぱいの公園を楽しんでいただいた。	25,439	期間中来園者	園内全域	無料
主催	3月28日	3月31日	FP2015 ヤギ駅長「九太郎」 ※動物の森プログラム	来園者	「海の中道フラワーピクニック」の期間中、海の中道駅口でヤギの駅長「九太郎」がお迎えした。	―	―	海ノ中道駅前広場	無料
主催	3月28日	3月31日	FP2015 動物ふれあい広場 ※動物の森プログラム	一　般 希望者	ヤギ、ヒツジ、リクガメ等の動物たちと自由に触れ合うことができる場所として、ふれあい広場を開催した。	2,780	参加者	動物の森ふれあい広場	無料
主催	3月28日	3月31日	FP2015 第4回うみなかフラワーガーデンコンテスト　市民参加部門　花壇展示	来園者	「海の中道フラワーピクニック2015のメインテーマである"花いっぱい、うみなか"をテーマとして、応募の市民団体によって制作された花壇を展示した。	―	―	彩りの花壇	無料
主催	3月28日	3月31日	FP2015 第4回うみなかフラワーガーデンコンテスト　プロフェッショナル部門　花壇展示	来園者	「海の中道フラワーピクニック2015のメインテーマである"花いっぱい、うみなか"をテーマとして、応募の市民団体によって制作された花壇を展示した。	―	―	彩りの花壇	無料

【平成26年度　主催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	3月28日	3月31日	FP2015 あなたの花さがし	一　般 希望者	設置されたボックスから花の名前の書かれたカードを選んで、その花を探しに行くセルフガイドプログラムを開催した。	359	参加者	フラワーミュージアム	無料
主催	3月28日	3月31日	FP2015 ハンギングバスケット展示	一　般 希望者	日本ハンギングバスケット協会福岡県支部の協力により、「ハンギングバスケットマスター」が作るハンギングバスケット作品を展示した。	―	―	花時計広場	無料
主催	3月28日		みらいの森体験塾 ～おいしい春を探しにいこう～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、春の環境共生の森でよもぎ団子を作成するプログラムを行った。	16	参加者	環境共生の森	有料
主催	3月28日		FP2015 ガーデニング講習会	申込み 参加者	フラワーガーデンコンテストの出展花壇を巡りながら、藤原良治さんにワンポイントアドバイスなどをしていただくガーデニング講習会を開催した。	37	参加者	花時計広場、彩の花壇	無料
主催	3月29日		FP2015 ビーチクリーンキャンペーン	申込み 参加者	きれいな海や海岸を取り戻すため、一般公募ボランティアと企業ボランティア（リコージャパン株式会社）による海岸清掃活動を実施した。	204	参加者	玄界灘側海岸	無料
年間合計					181件	601,543人			

【平成26年度　共催イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
共催	9月13日	9月14日	リレー・フォー・ライフin福岡	申込み参加者	リレー形式で24時間歩き、みんなでタスキをつなげることによって、生きる希望や勇気が生まれることを目指すがん啓発チャリティイベントを開催した。	1,300	参加者	光と風の広場	有料
共催	10月4日	10月5日	福岡トライアスロンフェスタ2014	申込み参加者	小中学生を対象としたキッズトライアスロンと、1チーム3名で構成する団体戦のトライアスロンEKIDENとスーパスプリント九州・沖縄選手権大会の各競技を行った。	2,042	参加者	サンシャインプール前及び園内特設コース	有料
共催	10月19日		土木の日ファミリーフェスタ	来園者	「土木の日」にちなみ、ブルドーザー等のはたらく乗り物の展示・試乗体験や、その他土木にちなんだ様々な体験イベントを実施した。	15,000	参加者	子供の広場	無料
共催	10月26日		コスモ アースコンシャスアクトクリーンキャンペーン	申込み参加者	抽選で400名の参加者を募り、海浜公園内で海岸清掃を行った。	392	参加者	潮見台付近海岸/光と風の広場/デイキャンプ場	無料
共催	11月2日		ディスカウントドラッグコスモスクリーンキャンペーン2014	申込み参加者	抽選で500名の参加者を募り、海浜公園内で海岸清掃を開催した。	580	参加者	玄界灘海浜部	無料
共催	11月8日	11月9日	第7回ユニバーサルキャンプin九州2014	申込み参加者	障がいの有無にかかわらず「みんなが一緒にいきいきと暮らせる社会」の実現を目指し、さまざまな参加者が寝食を共にする一泊二日のキャンプ体験を開催した。	47	参加者	光と風の広場デイキャンプ場	有料
共催	11月16日		チャリティ・ラン＆ウォーク2014 in うみのなかみち	申込み参加者	難病の子どもたちの夢を実現するためのチャリティ・イベントとして、10kmラン、5kmラン、3kmウォークを開催した。	314	参加者	光と風の広場	有料
共催	11月30日		2014福岡県民さわやかマラソン大会	申込み参加者	福岡県民の健康アップを目的に、1キロ～10キロまでの様々なクラスを設けたマラソン大会を開催した。	2,256	参加者	大芝生広場及び園内特設コース	有料
共催	2月21日		福岡国際クロスカントリー大会/海の中道市民クロカン	申込み参加者	国内トップアスリートによるクロスカントリーの世界選手権代表選考会と一般参加が可能な市民クロカンを行った。	6,941	参加者応援者	大芝生広場及び園内特設コース	有料
共催	3月22日		海の中道はるかぜマラソン大会	申込み参加者	3km、5km、10km、ハーフマラソンの4部門の市民マラソンを開催した。	3,937	参加者	大芝生広場及び園内特設コース	有料
年間合計					10件	32,809人			

【平成26年度　後援イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
後援	10月18日		2014福岡・海の中道撮影会	申込み参加者	写真文化の向上、ならびに地域文化の発展と継承の大切さを啓発することを目的に、公園内の自然等を活用した写真撮影会を開催した。	383	参加者	園内全域	無料
年間合計					1件	383人			

【平成26年度　持込イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
持込	5月17日		野外コンサート「CIRCLE'14」	申込み参加者	カフェ系、ナチュラル系のアーティストを中心としたオムニバス形式のコンサートを開催した。	5,606	参加者	野外劇場	有料
持込	5月18日		九州大学吹奏楽連盟合同親睦会	申込み参加者	九州大学吹奏連盟の合同親睦会として、公園内でウォークラリーを開催した。	398	参加者	園内全域及び子供の広場特設ステージ	有料
持込	5月18日	5月25日	キッズ時計撮影会	申込み参加者	公園の豊かな自然や雰囲気のある景色を背景に、プロのフォトグラファーによる写真撮影を行った。	60	参加者	カナール	無料
持込	6月7日	6月8日	コスプレピクニックinうみなか	申込み参加者	「海の中道海浜公園」の緑に囲まれた広大なロケーションを利用したコスプレーヤーの交流会・撮影会を実施した。	133	参加者	園内全域	有料
持込	6月14日	6月15日	第39回 文部科学大臣杯 全日本アルティメット選手権大会 九州/沖縄地区予選	申込み参加者	アルティメット競技の普及とプレーヤーの交流を目的に、全日本アルティメット選手権大会の九州・沖縄地区の予選会を開催した。	234	参加者	大芝生広場	有料
持込	6月15日		EOS学園地域別講座in 福岡	申込み参加者	公園内にて、カメラの写真撮影教室の実習講習を実施した。被写体は園内の植物とし、プロ写真家による写真撮影の基礎や応用テクニックを学んでいただいた。	14	参加者	フラワーミュージアム	有料
持込	6月22日		ラグビーの交流試合	申込み参加者	筑紫丘ラグビークラブジュニアスクールと熊本ラグビースクールとの間で、小学生、幼稚園生によるミニラグビーの試合を実施した。	233	参加者	大芝生広場	無料
持込	7月13日		野外ｺﾝｻｰﾄ「HKT48アリーナツアー～可愛い子にはもっと旅をさせよ～」	申込み参加者	アイドルグループHKT48の野外コンサートを開催した。	8,328	参加者	野外劇場	有料
持込	7月19日	7月20日	第24回福岡オープン・ミックスアルティメット・トーナメント	申込み参加者	九州を中心としたアルティメットプレーヤーの交流と、福岡地区への普及をを目的に、アルティメット競技の大会を実施した。	408	参加者	大芝生広場	有料
持込	7月26日	7月27日	野外ｺﾝｻｰﾄ NUMBER SHOT2014	申込み参加者	野外劇場においてオムニバス形式の野外コンサートを行った。	21,173	参加者	野外劇場	有料
持込	8月31日		少年ラグビー交流試合	申込み参加者	草ヶ江ヤングラガーズとニュージーランドからラグビーホームスティで来日する子供たちとの交流試合を実施した。	332	参加者	大芝生広場	無料
持込	9月7日		少年ラグビー交流試合	申込み参加者	北九州で活躍する少年ラグビークラブ「鞘ヶ谷ラグビースクール」と「草ヶ江ヤングラガーズクラブ」との交流試合を実施した。	654	参加者	大芝生広場	無料
持込	9月14日		リベルタサッカースクールサッカー大会	申込み参加者	リベルタサッカースクール主催による幼児、小学生対象のサッカー大会を開催した。	527	参加者	大芝生広場	無料
持込	9月15日		福岡博多ライオンズクラブ50周年記念杯 少年ラグビーの交流試合	申込み参加者	大芝生広場で福岡博多ライオンズクラブ50周年を記念した少年ラグビーの試合を行った。また、昼休憩時に主催イベント"うみなかタグラグビーフェスタ"の参加者との交流ミニゲームを行い、親睦を深めた。	197	参加者	大芝生広場	無料
持込	9月21日		少年ラグビー交流試合	申込み参加者	長崎で活動する少年ラグビークラブ「長崎ラグビースクール」と「草ヶ江ヤングラガーズクラブ」との交流試合を実施した。	598	参加者	大芝生広場	無料
持込	9月27日	9月28日	ワンちゃんお散歩ロケーション撮影会	申込み参加者	ペット(犬)と参加者が後援内を散歩している様子をプロカメラマンが撮影する写真撮影会を実施した。	14	参加者	フラワーミュージアム、カナール、スカイシェルター	有料
持込	10月12日		西戸崎校区家族ハイキング	申込み参加者	西戸崎校区住民の親睦と健康つくりを目的としたウォークラリーを開催した。	33	参加者	園内全域	無料
持込	10月25日	10月26日	キッズ時計 ファミリーフォト撮影会	申込み参加者	公園の豊かな自然や雰囲気のある景色を背景に、プロのフォトグラファーによる写真撮影を行い、普段の記念写真とは一味違う非日常の体験を楽しんで頂いた。	360	参加者	カナール	無料
持込	10月25日		写真撮影会	申込み参加者	写真愛好家たちの交流と撮影技術の向上を目的として、公園の風景や女性モデルを対象とした写真撮影会を開催した。	3	参加者	フラワーミュージアム、カナール、スカイシェルター	有料
持込	10月26日		トラック協会ファミリーウォーク	申込み参加者	福岡県トラック協会福岡支部主催のウォーキング大会を実施した。	536	参加者	大芝生広場及び園内全域	有料
持込	11月3日		海の中道 あるけあるけ大会	申込み参加者	凸版印刷株式会社の写真および家族の健康増進を目的としたウォーキングイベントを開催した。	130	参加者	園内全域	無料
持込	11月9日		写真撮影会	申込み参加者	写真愛好家たちの交流と撮影技術の向上を目的として、公園の風景や女性モデルを対象とした写真撮影会を開催した。	3	参加者	花の丘、バラ園、彩りの花壇、シンフォニーガーデン	有料
持込	11月16日		リベルタ福岡地区予選大会（秋の部）	申込み参加者	リベルタサッカースクール主催による幼児、小学生対象のサッカー大会を開催した。	1,088	参加者	大芝生広場	無料
持込	11月22日		Color Me Rad in 福岡	申込み参加者	3kmコースの中で、4ヶ所に設置する「カラーステーション」で撒かれるカラーパウダーを纏いながら走るランニングイベントを開催した。	8,165	参加者	野外劇場及び園内特設コース	有料
持込	11月23日		第19回国営海の中道海浜公園リレーマラソン	申込み参加者	10名以内のチームでたすきリレーしながら42.195キロの完走を目指すリレーマラソン大会を開催した。	2,099	参加者	大芝生広場及び園内特設コース	有料

【平成26年度　持込イベント】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
持込	12月6日	12月7日	ディスクゴルフ競技大会　第28回九州オープン	申込み参加者	日本ディスクゴルフ協会が主催する、ディスクゴルフの公式戦を大芝生広場特設コースにおいて実施した。	72	参加者	大芝生広場	有料
持込	12月14日		第3回福岡FUNラン リレーマラソンin海の中道	申込み参加者	福岡市におけるスポーツ振興と多世代に渡るマラソンイベント参加を促進することによる健康づくりを目的として、大芝生広場周回して42.195kmを4～5名のリレーで走るリレーマラソン大会を開催した。	1,117	参加者	大芝生広場	有料
持込	2月12日		第13回城東高校全校マラソン大会	申込み参加者	生徒の健全な心身育成の為、自己の可能性を試すとともに、クラスの団結を図ることを目的とし、全校生徒が完走を目指すマラソン大会を開催した。	1,394	参加者	大芝生広場及び園内特設コース	無料
持込	2月15日		第4回福岡FUNラン リレーマラソンin海の中道	申込み参加者	福岡市におけるスポーツ振興と多世代に渡るマラソンイベント参加を促進することによる健康づくりを目的として、42.195kmを4～5名のリレーで走るリレーマラソン大会を開催した。	501	参加者	カモ池周回及び玄界灘側園路	有料
持込	2月28日		九州学生アルティメット大会	申込み参加者	九州の大学生によるアルティメットの競技大会「九州学生アルティメット大会」を開催した。	52	参加者	大芝生広場	有料
持込	3月7日		お散歩撮影会	申込み参加者	ワンちゃん連れのお客様の普段のお散歩風景を、かまえず自然な姿で撮影する「お散歩撮影会」を開催した。	2	参加者	大芝生広場、フラワーミュージアム、シーサイドヒルシオヤ周辺	無料
持込	3月8日		全国スイーツマラソンin福岡	申込み参加者	スイーツとマラソンが楽しめるイベントとして、10kmラン、リレーマラソン、シャッフルマラソンにエントリー可能なマラソン大会を開催した。	4,461	参加者	大芝生広場及び園内特設コース	有料
持込	3月15日		第5回福岡FUNラン リレーマラソンin海の中道	申込み参加者	フルマラソン、ハーフマラソンを複数名のリレーで走るリレーマラソン大会を開催した。	465	参加者	大芝生広場及び園内特設コース	有料
持込	3月18日		九州学生アルティメット大会	申込み参加者	九州の大学生によるアルティメットの競技大会「九州学生アルティメット大会」を開催した。	92	参加者	大芝生広場	無料
持込	3月28日	3月29日	ファミリー×キッズ時計撮影会	申込み参加者	公園の豊かな自然や雰囲気のある景色を背景に、プロのフォトグラファーによる写真撮影を行い、普段の記念写真とは一味違う非日常の体験を楽しんで頂いた。	396	参加者	カナール	無料
年間合計					35件	59,878人			

【平成26年度　環境学習プログラム】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	4月1日	3月31日	海と森の学びナビ 森の楽校 ※環境学習プログラム	一　般 希望者	木の実等を使ったクラフト体験を通じて、環境や自然について学ぶことが出来る環境学習プログラムを行った。	12,054	参加者	森の家工作室	無料
主催	4月1日	3月31日	海と森の学びナビ いこいの森ﾄﾚｼﾞｬｰﾊﾝﾃｨﾝｸﾞ ※環境学習プログラム	一　般 希望者	森の家を拠点に、ミッションカードのクイズを解きながら、環境についても学ぶことができるプログラムを行った。	737	参加者	森の家ほか	無料
主催	4月1日	3月31日	海と森の学びナビ うみなか情報ギャラリー ※環境学習プログラム	一　般 希望者	海浜公園や周辺の歴史、海の環境について学ぶことが出来るパネルを設置し、その中にクイズを取り入れ、環境について学ぶことができるプログラムを行った。	1,700	参加者	シーサイドヒルシオヤ	無料
主催	4月6日		みらいの森体験塾 ～春色の万華鏡づくり～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森の春を感じるプログラムを開催した。また、春の素材を使って万華鏡作りを行い、自然観察を行った。	28	参加者	環境共生の森	有料
主催	4月19日		海と森の学びナビ 森のﾌｧﾐﾘｰ探検隊① ※環境学習プログラム	申込み 参加者	春の草花をテーマとして、五感を使って、家族で楽しめる体験プログラムを開催した。	9	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	5月3日		FP2014 みんなで森をつくろう！ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	一般の来園者とともに、50年後に向けた森づくりとして植樹体験を行った。	108	参加者	環境共生の森	無料
主催	5月5日		海と森の学びナビ 森のﾌｧﾐﾘｰ探検隊 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	五感を使って、自然の中の出会いを家族で楽しめる体験プログラムを開催します。今回は春植物との遊びをテーマに行います。	27	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	5月18日		みらいの森体験塾 ～ちまき作り体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森に自生するアシを利用し,昔ながらのちまき作り体験を行った。	24	参加者	環境共生の森	有料
主催	5月31日		海と森の学びナビ スポーツGOMI拾いinうみなか ※環境学習プログラム	申込み 参加者	チームで力を合わせてゴミを拾い、その質と量を競い合う、地球に最もやさしいスポーツ、「スポーツGOMI拾い」を開催した。	58	参加者	潮見台付近海岸	無料
主催	6月1日		みらいの森体験塾 ～海と森のエコツアー～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、海の中道における森と海のつながりについて学ぶプログラムを行った。	30	参加者	環境共生の森	無料
主催	6月7日		海と森の学びナビ 地引網体験 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	地元漁師の皆さんの指導のもとで本格的な地引網を体験いただいた。	110	参加者	志賀島海水浴場（海の状況の影響により変更）	有料
主催	7月20日	1月11日	みらいの森自然体験スクール ※環境学習プログラム	申込み 参加者	年間を通して、森づくりや農作業、自然観察などの活動に加え、環境教育プログラム「プロジェクトワイルド」を使って楽しく環境学習が出来るイベントを開催した。7/20-17名　晴時々曇 9/7-（21名）　晴時々曇 11/30-雨天中止 1/11-（12名）　晴時々曇	50	参加者	環境共生の森	無料
主催	7月20日		みらいの森体験塾 ～水辺のいきものさがし～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、いのちの池にすむ生き物を観察するプログラムを開催した。また、環境学習プログラム（プロジェクトワイルド）を用いていきものや環境について学んだ。	21	参加者	環境共生の森	無料
主催	7月27日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～草花のステンドグラスづくり～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した草花などの素材を使ったクラフト教室を行った。	39	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	8月24日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～木のアクセサリーづくり～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室を行った。	22	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	8月30日		みんなで森を育てよう ～草刈ボランティア～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	苗木の健全な成長のための下草刈りを体験するボランティアイベントを実施した。	43	参加者	環境共生の森	無料
主催	9月7日		みらいの森体験塾 ～秋のじゃがいもを植えよう～ ※みらいの森自然体験スクール ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、ダイコンや秋じゃがを植付ける農体験プログラムを開催した。また、環境学習プログラム（プロジェクトワイルド）を用いて環境学習について学んだ。	7	参加者	環境共生の森	無料
主催	9月21日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～木の実をつかったタペストリーづくり～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室を開催した。	43	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	10月4日		海と森の学びナビ 森のﾌｧﾐﾘｰ探検隊 ※環境学習プログラム	申込み 参加者	五感を使って、自然の中の出会いを家族で楽しめる体験プログラムを開催します。今回は秋の恵みをテーマに行った。	15	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	10月26日		みらいの森体験塾 ～秋の収穫祭～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、秋の実りを収穫し、味わうプログラムを実施した。	92	参加者	環境共生の森	有料
主催	11月23日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～秋の自然観察～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室や自然体験ゲームを行った。	33	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	12月7日		みらいの森体験塾 ～たくわんを漬けよう～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、昔ながらのたくわん漬けを行った。	6	参加者	環境共生の森	無料
主催	12月14日		みらいの森体験塾＆自然学び体験教室 ～リースづくり体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森の自然素材を使いオリジナルのリース作り体験プログラムを行った。	27	参加者	森の家	無料
主催	1月11日		みらいの森体験塾 ～里のお正月体験～ ※環境学習プログラム	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって里のお正月を楽しむプログラムを行います。また、プロジェクトワイルドを用いた環境学習を体験していただいた。	21	参加者	環境共生の森	有料

【平成26年度　環境学習プログラム】

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
主催	1月25日		みらいの森体験塾＆自然学び体験教室 ～カモの観察をしよう～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、カモ池に飛来するカモの観察会やクラフトづくりを行った。	14	参加者	環境共生の森	無料
主催	2月1日		みらいの森体験塾 ～冬の自然を体験しよう～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、みらいの森の冬の自然を体感するプログラムを実施した。	2	参加者	環境共生の森	有料
主催	2月15日		みらいの森体験塾 ～春のじゃがいもを植えよう～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、春じゃがの植付けをする農体験プログラムを行った。	5	参加者	環境共生の森	無料
主催	2月22日		海と森の学びナビ 自然学び体験教室 ～コキアでほうきづくり～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	自然学びボランティアが主体となり、公園で採集した木の実などの素材を使ったクラフト教室や自然体験ゲームを行った。	8	参加者	森の家レクチャールーム他	無料
主催	3月28日		みらいの森体験塾 ～おいしい春を探しにいこう～ ※環境学習プログラム	申込み参加者	ボランティアのガイドによって、春の環境共生の森でよもぎ団子を作成するプログラムを行った。	16	参加者	環境共生の森	有料
年間合計					29件	15,349人			

イベント区分	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	参加人数計上根拠	備考	イベント種別
共催	10月26日		コスモ アースコンシャスアクト クリーンキャンペーン	申込み参加者	抽選で400名の参加者を募り、海浜公園内で海岸清掃を行った。	392	参加者	潮見台付近海岸/光と風の広場/デイキャンプ場	無料
共催	11月2日		ディスカウントドラッグコスモス クリーンキャンペーン2014	申込み参加者	抽選で500名の参加者を募り、海浜公園内で海岸清掃を開催した。	580	参加者	玄界灘海浜部	無料
年間合計					2件	972人			

【平成24年度　マスコミ等による報道件数】

	新聞	TV	ラジオ	雑誌	情報誌 その他	合計
4月	29	26	4	7	14	80
5月	6	7	2	9	7	31
6月	10	4	0	5	13	32
7月	6	3	1	4	11	25
8月	3	7	0	1	5	16
9月	7	8	2	10	17	44
10月	45	11	5	6	10	77
11月	7	4	0	11	11	33
12月	15	3	1	7	15	41
1月	3	4	2	2	5	16
2月	22	3	1	5	11	42
3月	27	12	1	8	14	62
合計	180	92	19	75	133	499

※委託費による有料広告等は除く
※ホームページ等インターネット記事掲載は除く

【平成24年度　新聞　報道件数】

番号	媒体名	年月日	内容
1	西日本新聞	平成24年4月1日	サクラだより
2	西日本新聞	平成24年4月2日	HIGHERGROUND2012
3	西日本新聞	平成24年4月2日	サクラだより
4	西日本新聞	平成24年4月3日	サクラだより
5	西日本新聞	平成24年4月4日	サクラだより
6	長崎新聞	平成24年4月5日	フラワーピクニックについて
7	西日本新聞	平成24年4月5日	サクラだより
8	西日本新聞	平成24年4月6日	サクラだより
9	西日本新聞	平成24年4月7日	サクラだより
10	西日本新聞	平成24年4月8日	サクラだより
11	西日本新聞	平成24年4月10日	サクラだより
12	朝日新聞	平成24年4月11日	花の丘
13	西日本新聞	平成24年4月11日	サクラだより
14	西日本新聞	平成24年4月12日	サクラだより
15	西日本新聞	平成24年4月13日	サクラだより
16	読売新聞	平成24年4月15日	海の中道フラワーピクニック2012
17	毎日新聞	平成24年4月15日	海の中道フラワーピクニック2012
18	朝日新聞	平成24年4月15日	海の中道フラワーピクニック2012
19	西日本新聞	平成24年4月15日	海の中道フラワーピクニック2012
20	毎日新聞	平成24年4月16日	海の中道はるかぜマラソン大会（大会結果）
21	読売新聞	平成24年4月17日	花の丘・フラワーピクニック2012
22	毎日新聞	平成24年4月18日	花の丘のネモフィラ
23	西日本新聞	平成24年4月19日	地上絵
24	読売新聞	平成24年4月20日	C-1　cup
25	大分合同新聞	平成24年4月20日	フラワーピクニック2012・C-1cup
26	朝日新聞	平成24年4月22日	C-1cup
27	西日本新聞	平成24年4月26日	海の中道フラワーピクニック2012
28	西日本新聞	平成24年4月27日	シンフォニーガーデンを手掛け毛利晶子氏発案のオープンガーデン開催
29	読売新聞	平成24年4月30日	海の中道はるかぜマラソン大会（試合結果）
	4月　小計	29件	
30	西日本新聞	平成24年5月1日	ヒツジの赤ちゃんとGW情報
31	朝日新聞	平成24年5月14日	バラ園リニューアルオープン
32	西日本新聞	平成24年5月16日	CIRCLE12
33	大分合同新聞	平成24年5月18日	バラミュージアム・あなたもバラの香りソムリエ・あなたのバラ探しゲーム
34	西日本新聞	平成24年5月20日	春のうみなかタグラグビー大会
35	西日本新聞	平成24年5月23日	HIGHER　GROUND　2012
	5月　小計	6件	
36	西日本新聞	平成24年6月4日	HIGHER GROUND2012
37	西日本新聞	平成24年6月6日	HIGHER GROUND2012
38	朝日新聞	平成24年6月8日	公園全般の紹介
39	毎日新聞	平成24年6月8日	プレーリードッグの赤ちゃん
40	読売新聞	平成24年6月10日	JR博多シティ　(10万本　バラ色絨毯)インフォラータ
41	朝日新聞	平成24年6月10日	JR博多シティ　(10万本　バラ色絨毯)インフォラータ
42	西日本新聞	平成24年6月11日	プレーリードッグの赤ちゃん
43	日本経済新聞	平成24年6月12日	プレーリードッグの赤ちゃん
44	産経新聞	平成24年6月13日	プレーリードッグの赤ちゃん」
45	読売新聞	平成24年6月14日	HIGHER GROUND2012
	6月　小計	10件	
46	読売新聞	平成24年7月10日	動物の森一日飼育員・サマースクール募集記事
47	西日本新聞	平成24年7月20日	動物の森1日飼育員
48	読売新聞	平成24年7月21日	カブトムシハウス
49	西日本新聞	平成24年7月23日	HIGHER GROUND 2012 FINAL
50	西日本新聞	平成24年7月27日	HIGHER GROUND 2012 FINAL
51	西日本新聞	平成24年7月28日	ハマナデシコ
	7月　小計	6件	
52	読売新聞	平成24年8月2日	カブトムシハウス2012

53	朝日新聞	平成24年8月20日	ヒマワリ畑
54	毎日新聞	平成24年8月23日	ヒマワリ畑
	8月　小計	3件	
55	読売新聞	平成24年9月1日	リレー・フォー・ライフin福岡
56	読売新聞	平成24年9月4日	フラワーミュージアムのパンパスグラス
57	毎日新聞	平成24年9月7日	来園者5000万人達成（8/26プールで撮影の写真掲載あり）
58	朝日新聞	平成24年9月14日	パンパスグラス（フラワーミュージアム）
59	読売新聞	平成24年9月14日	2012県民さわやかマラソン大会
60	朝日新聞	平成24年9月15日	リレー・フォー・ライフin福岡
61	読売新聞	平成24年9月27日	うみなか＊はなまつり・200万本の花の丘
	9月　小計	7件	
62	西日本新聞	平成24年10月2日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
63	西日本新聞	平成24年10月3日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
64	西日本新聞	平成24年10月4日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
65	毎日新聞	平成24年10月5日	パンパスグラス（フラワーミュージアム）白露にちなみ
66	西日本新聞	平成24年10月5日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
67	西日本新聞	平成24年10月6日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
68	読売新聞	平成24年10月7日	花の丘のコスモス（キバナコスモス）
69	朝日新聞	平成24年10月7日	福岡西方沖地震（地震の爪痕、震災展示室）
70	西日本新聞	平成24年10月7日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
71	読売新聞	平成24年10月8日	スーパーキッズトライアスロン選手権（大会結果）
72	西日本新聞	平成24年10月8日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
73	西日本新聞	平成24年10月9日	スーパーキッズトライアスロン選手権（大会結果）
74	西日本新聞	平成24年10月9日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
75	西日本新聞	平成24年10月10日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
76	長崎新聞	平成24年10月11日	うみなか＊はなまつり(コスモスの写真提供有) うみなか＊はなまつり2012・バラミュージアム・ガーデンテ
77	西日本新聞	平成24年10月11日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
78	西日本新聞	平成24年10月12日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
79	西日本新聞	平成24年10月12日	ゴールデンオールディーズワールドラグビーフェスティバル2012
80	西日本新聞	平成24年10月13日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
81	西日本新聞	平成24年10月14日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
82	西日本新聞	平成24年10月16日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
83	西日本新聞	平成24年10月17日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
84	読売新聞	平成24年10月18日	土木の日ファミリーフェスタ2012
85	西日本新聞	平成24年10月18日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
86	西日本新聞	平成24年10月18日	うみなか＊はなまつり
87	大分合同新聞	平成24年10月19日	うみなか＊はなまつり2012.・ガーデンテラス・ヤギ駅
88	西日本新聞	平成24年10月19日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
89	西日本新聞	平成24年10月20日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
90	西日本新聞	平成24年10月21日	土木の日ファミリーフェスタ2012
91	西日本新聞	平成24年10月21日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）

92	西日本新聞	平成24年10月22日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
93	西日本新聞	平成24年10月23日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
94	西日本新聞	平成24年10月24日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
95	読売新聞	平成24年10月25日	地上絵
96	西日本新聞	平成24年10月25日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
97	西日本新聞	平成24年10月26日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
98	西日本新聞	平成24年10月27日	コキア
99	毎日新聞	平成24年10月27日	コキア
100	西日本新聞	平成24年10月27日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
101	西日本新聞	平成24年10月28日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
102	西日本新聞	平成24年10月28日	ゴールデンオールディーズワールドラグビーフェス
103	西日本新聞	平成24年10月29日	ゴールデンオールディーズ・ワールドラグビーフェスティバル2012・
104	西日本新聞	平成24年10月29日	コスモスだより（九州内のコスモスのみどころの開花状況を掲載）
105	西日本新聞	平成24年10月30日	ゴールデンオールディーズワールドラグビーフェスティバル2012
106	読売新聞	平成24年10月31日	ゴールデンオールディーズワールドラグビーフェスティバル2012
	10月　小計	45件	
107	毎日新聞	平成24年11月1日	花の地上絵（空撮）
108	西日本新聞	平成24年11月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト　デザイン募集
109	西日本新聞	平成24年11月1日	ゴールデンオールディーズワールドラグビーフェス
110	西日本新聞	平成24年11月3日	ゴールデンオールディーズ・ワールドラグビーフェスティバル2012
111	読売新聞	平成24年11月3日	うみなかクリスマスキャンドルナイト　キャンドルアートのデザイン募集
112	西日本新聞	平成24年11月8日	花の地上絵
113	西日本新聞	平成24年11月26日	福岡県民さわやかマラソン大会（大会結果）
	11月　小計	7件	
114	読売新聞	平成24年12月7日	うみなかクリスマスキャンドルボランティア募集記事
115	読売新聞	平成24年12月7日	うみなかクリスマスキャンドルナイト　ボランティアスタッフ募集
116	読売新聞	平成24年12月14日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
117	読売新聞	平成24年12月15日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
118	毎日新聞	平成24年12月20日	動物の森　干支展
119	西日本新聞	平成24年12月20日	動物の森体験ボランティア募集
120	西日本新聞	平成24年12月21日	はるかぜマラソン大会
121	大分合同新聞	平成24年12月21日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
122	読売新聞	平成24年12月22日	動物の森干支展
123	読売新聞	平成24年12月22日	凧づくり体験・干支展
124	毎日新聞	平成24年12月23日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
125	西日本新聞	平成24年12月23日	うみなかクリスマスキャンドルナイト ※高所作業車18：00頃乗車予約
126	朝日新聞	平成24年12月23日	高所作業車からのキャンドルナイト撮影 授賞式も撮
127	朝日新聞	平成24年12月30日	海の中道海浜公園　お正月イベント・干支展
128	読売新聞	平成24年12月30日	海の中道海浜公園　お正月イベント・干支展
	12月　小計	15件	
129	西日本新聞	平成25年1月16日	アビスパ選手がもちつきを行っている模様
130	読売新聞	平成25年1月21日	動物の森ZOOボランティア　体験ボランティアについ
131	読売新聞	平成25年1月25日	CIRCLE´13
	1月　小計	3件	
132	読売新聞	平成25年2月2日	ふれあい動物舎の利用風景

133	読売新聞	平成25年2月9日	みらいの森体験教室・環境共生の森サポート・ボランティア募集
134	西日本新聞	平成25年2月13日	福岡国際クロスカントリー大会
135	読売新聞	平成25年2月13日	福岡国際クロスカントリー大会
136	毎日新聞	平成25年2月13日	福岡国際クロスカントリー大会（招待選手発表）
137	朝日新聞	平成25年2月13日	福岡国際クロスカントリー大会（招待選手発表）
138	朝日新聞	平成25年2月16日	福岡国際クロスカントリー大会
139	読売新聞	平成25年2月17日	海の中道フラワーピクニック2013　花の植付ボランティア募集
140	朝日新聞	平成25年2月17日	海の中道フラワーピクニック2013　花の植付ボランティア募集
141	西日本新聞	平成25年2月17日	海の中道フラワーピクニック2013　花の植付ボランティア募集
142	毎日新聞	平成25年2月17日	海の中道フラワーピクニック2013　花の植付ボランティア募集
143	朝日新聞	平成25年2月18日	ナノハナ（動物の森）、ニホンズイセン
144	朝日新聞	平成25年2月18日	福岡国際クロスカントリー大会
145	西日本新聞	平成25年2月20日	動物の森フラミンゴを題材に写真コンテストに応募。その写真が特選を受賞したとのこと
146	朝日新聞	平成25年2月23日	福岡国際クロスカントリー大会（本日のスポーツ）
147	毎日新聞	平成25年2月23日	福岡国際クロスカントリー大会
148	西日本新聞	平成25年2月23日	福岡国際クロスカントリー大会
149	読売新聞	平成25年2月23日	福岡国際クロスカントリー大会
150	朝日新聞	平成25年2月24日	福岡国際クロスカントリー大会
151	毎日新聞	平成25年2月24日	福岡国際クロスカントリー大会
152	西日本新聞	平成25年2月24日	福岡国際クロスカントリー大会
153	読売新聞	平成25年2月24日	福岡国際クロスカントリー大会
	2月　小計	22件	
154	朝日新聞	平成25年3月4日	福岡国際クロスカントリー大会、市民クロカン
155	毎日新聞	平成25年3月5日	福岡国際クロスカントリー
156	朝日新聞	平成25年3月11日	フクサヤクロス
157	読売新聞	平成25年3月11日	フクサヤクロス
158	読売新聞	平成25年3月16日	うみなかキッズコンサート出演者募集
159	読売新聞	平成25年3月16日	フラワーピクニックイベント「みんなで森をつくろう！」
160	西日本新聞	平成25年3月17日	さくら開花情報
161	毎日新聞	平成25年3月18日	クロス自転車試合結果
162	西日本新聞	平成25年3月18日	さくら開花情報
163	毎日新聞	平成25年3月18日	ラグビー試合結果
164	西日本新聞	平成25年3月19日	さくら開花情報
165	西日本新聞	平成25年3月20日	さくら開花情報
166	西日本新聞	平成25年3月21日	さくら開花情報
167	西日本新聞	平成25年3月22日	さくら開花情報
168	西日本新聞	平成25年3月23日	さくら開花情報
169	西日本新聞	平成25年3月24日	さくら開花情報
170	西日本新聞	平成25年3月25日	さくら開花情報
171	西日本新聞	平成25年3月26日	さくら開花情報
172	西日本新聞	平成25年3月27日	さくら開花情報
173	朝日新聞	平成25年3月28日	虹の池・彩りの池（チューリップ）
174	読売新聞	平成25年3月28日	チューリップ
175	西日本新聞	平成25年3月28日	さくら開花情報
176	大分合同新聞	平成25年3月29日	フラワーピクニックの告知
177	西日本新聞	平成25年3月29日	さくら開花情報
178	西日本新聞	平成25年3月30日	スイセン・フラワーピクニックの紹介
179	西日本新聞	平成25年3月30日	さくら開花情報
180	西日本新聞	平成25年3月31日	さくら開花情報
	3月　小計	27件	

【平成24年度　TV　報道件数】

番号	媒体名	年月日	内容
1	TVQ	平成24年4月4日	フラワーピクニック2012・お花の紹介
2	TNC（テレビ西日本）	平成24年4月4日	ネモフィラやチューリップなど春の花の紹介
3	FBS（福岡放送）	平成24年4月5日	山本華世、ブルーリバー川原豪介が毎回気になる通りを歩き、そこにあるお店や人を紹介する「通っちゃお！」（毎週木曜日） 春休み中のこの日は海の中道を歩きます。そこで見つけたお弁当屋さんの商品を持ち込みフラワーピクニック会場で花々を見ながら試
4	RKB	平成24年4月7日	志賀島・海の中道ガイドツアー 福岡の観光地の紹介として、ガイドツアーの模様を同行取材。
5	テレビ東京	平成24年4月7日	園内の花、桜を出演者2人が散策しながら楽しむ
6	RKB	平成24年4月9日	ディスクゴルフ他
7	KBC	平成24年4月11日	花の丘（朝日新聞）の掲載記事を見ながら紹介
8	KBC	平成24年4月12日	視聴者から寄せられた動物の森の写真を紹介。
9	NHK	平成24年4月13日	バラフレンズ募集
10	FBS（福岡放送）	平成24年4月15日	MC伊藤舞の「まいさんぽ」園内を花を中心にリポート。来援客インタビュー（光と風も同様に）
11	FBS（福岡放送）	平成24年4月16日	花の丘
12	NHK	平成24年4月18日	花の丘　ネモフィラ
13	TVQ	平成24年4月18日	花の地上絵
14	NHK	平成24年4月19日	フラワーピクニック2012とイベント情報
15	FBS（福岡放送）	平成24年4月19日	C-1　cup
16	KBC	平成24年4月19日	ヒツジの赤ちゃんの取材
17	NHK	平成24年4月19日	花の丘　ネモフィラ
18	FBS（福岡放送）	平成24年4月23日	C-1　CUP全般
19	NHK	平成24年4月23日	花の丘　ネモフィラ
20	TNC（テレビ西日本）	平成24年4月24日	GWのお出かけ情報として、生中継で紹介。（ヤギ駅長～花の地上絵～動物の森　ヒツジの赤ちゃん）
21	FBS（福岡放送）	平成24年4月24日	C-1　CUP全般
22	FBS（福岡放送）	平成24年4月27日	フラワーピクニック2012
23	TNC（テレビ西日本）	平成24年4月28日	ゴールでウィーク行楽情報　子羊と春の花
24	TNC（テレビ西日本）	平成24年4月28日	ヒツジの毛刈り・ヒツジの赤ちゃん
25	FBS（福岡放送）	平成24年4月30日	ヒツジの毛刈り・ヒツジの赤ちゃん
26	TNC（テレビ西日本）	平成24年4月30日	GWのにぎわい
	4月　小計	26件	
27	NHK	平成24年5月1日	GWおでかけ情報（花の丘）
28	TVQ	平成24年5月4日	ヒツジの親子と毛刈り
29	NHK	平成24年5月13日	バラ園リニューアルオープン
30	TVQ	平成24年5月17日	バラ園リニューアル
31	J-COM	平成24年5月18日	うみなかバラミュージアム、オープン
32	RKB	平成24年5月24日	バラミュージアム
33	TNC（テレビ西日本）	平成24年5月30日	動物の森（プレーリードッグの赤ちゃんが巣穴から顔を出した」映像の取材
	5月　小計	7件	
34	FBS（福岡放送）	平成24年6月1日	プレーリードッグ赤ちゃん
35	TVQ	平成24年6月4日	プレーリードッグの赤ちゃん誕生
36	KBC	平成24年6月8日	プレーリードッグの赤ちゃん
37	KBC	平成24年6月30日	天童よしみが園内散策（動物の森など）
	6月　小計	4件	
38	TVQ	平成24年7月5日	フラワーミュージアム（ハス・スイレン）
39	NHK	平成24年7月24日	ミソハギ
40	TVQ	平成24年7月30日	カブトムシハウス2012来場客の楽しむ声
	7月　小計	3件	
41	FBS（福岡放送）	平成24年8月2日	一日飼育員
42	TNC（テレビ西日本）	平成24年8月14日	間もなく見頃を迎えるヒマワリを撮影し、ニュースで
43	FBS（福岡放送）	平成24年8月15日	ヒマワリの撮影
44	TVQ	平成24年8月16日	ヒマワリ畑の撮影
45	NHK	平成24年8月23日	パンパスグラス（映像のみ）
46	テレビ東京	平成24年8月24日	各地で活躍した様々な動物駅長たちの中で、ヤギ駅長を紹介

47	NHK	平成24年8月28日	コキアについて（映像のみ）
	8月　小計	7件	
48	FBS（福岡放送）	平成24年9月3日	パンパスグラス撮影（フラワーミュージアム）
49	RKB	平成24年9月6日	フラワーミュージアムのパンパスグラス、キキョウ、オミナエシ
50	TVQ	平成24年9月7日	パンパスグラス撮影（フラワーミュージアム）
51	FBS（福岡放送）	平成24年9月13日	初秋の風物詩、彼岸花が見頃
52	TVQ	平成24年9月13日	彼岸花が見頃の様子を取材
53	FBS（福岡放送）	平成24年9月14日	パンパスグラス撮影
54	NHK	平成24年9月18日	動物ふれあいデーとうみなか＊はなまつり
55	FBS（福岡放送）	平成24年9月22日	動物ふれあいDAY
	9月　小計	8件	
56	FBS（福岡放送）	平成24年10月1日	ヤギ駅長「九太郎」
57	TVQ	平成24年10月2日	花の丘（コスモス咲き始め）場合によってはキバナコスモスも撮影有
58	FBS（福岡放送）	平成24年10月5日	10月の三連休に向けて九州各地の花施設等おすすめスポットとして200万本のコスモスが咲く花の丘をコ
59	FBS（福岡放送）	平成24年10月9日	花の丘のコスモス
60	TNC（テレビ西日本）	平成24年10月11日	花の丘とコキア
61	RKB	平成24年10月16日	花の丘コスモス、コキア
62	TVQ	平成24年10月19日	真っ赤に色づいた「コキア」・その周辺で咲く「コスモス・ダリア」など秋の花をニュース番組で紹介
63	TVQ	平成24年10月21日	レジャー情報の中で、花の丘を紹介。
64	TVQ	平成24年10月21日	「福岡地区土木の日ファミリーフェスタ」をニュース番組で紹介
65	TNC（テレビ西日本）	平成24年10月31日	コスモスの咲く広場を散歩する幼児の様子を撮影 取材協力：海の中道海浜公園及びイベント「うみなか＊はなまつり」の紹介有
66	RKB	平成24年10月31日	花の地上絵
	10月　小計	11件	
67	日本テレビ	平成24年11月7日	「フサオマキザル」の生態について
68	NHK	平成24年11月8日	コスモスの映像（一般の方からの投稿映像）
69	TNC（テレビ西日本）	平成24年11月9日	バラとダリア（両方取材したが、バラのみ放送） ダリアは後日放送予定
70	TNC（テレビ西日本）	平成24年11月13日	バラとダリア（バラは9日に放送済み）
	11月　小計	4件	
71	鹿児島MBC南日本放送	平成24年12月7日	公園全般（冬の福岡を楽しむ小旅行が番組の内容で、自然を楽しめる場所として紹介したい）
72	NHK	平成24年12月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイトの告知
73	NHK	平成24年12月25日	ハボタン（花時計）
	12月　小計	3件	
74	KBC	平成25年1月2日	お正月イベント（にぎわい）凧づくりなど
75	NHK	平成25年1月10日	おもちゃ箱花壇又はフラワーミュージアムのネリネ
76	J-COM	平成25年1月11日	みらいの森体験塾～里のお正月体験
77	TNC（テレビ西日本）	平成25年1月28日	動物の森・ナノハナ
	1月　小計	4件	
78	J-COM	平成25年2月1日	新春もちつき大会
79	RKB	平成25年2月20日	菜の花・水仙
80	TVQ	平成25年2月22日	ナノハナ
	2月　小計	3件	
81	KBC	平成25年3月7日	ナノハナ、3/11から始まるナノハナ畑での動物の放牧について
82	NHK	平成25年3月12日	咲き始めたチューリップ
83	TVQ	平成25年3月15日	ナノハナとラマ、カンガルー
84	NHK	平成25年3月21日	サイクリングコース沿い　ユキヤナギ
85	NHK	平成25年3月22日	ポニーの赤ちゃん「ハク」取材
86	FBS（福岡放送）	平成25年3月25日	サクラ

87	RKB	平成25年3月25日	フラワーピクニック開催告知
88	NHK	平成25年3月27日	チューリップ
89	TVQ	平成25年3月29日	ポニーの赤ちゃん誕生
90	TVQ	平成25年3月29日	フラワーピクニックの開催予告(福岡市の枠)
91	TNC(テレビ西日本)	平成25年3月30日	イベント開催初日のにぎわい、チューリップ
92	TNC(テレビ西日本)	平成25年3月30日	イベント開催初日のにぎわい、チューリップ
	3月　小計	12件	

【平成24年度　ラジオ　報道件数】

番号	媒体名	年月日	内容
1	SBCラジオ	平成24年4月3日	あららトラベル　コーナー内にてフラワーピクニック2012の紹介
2	クロスFM	平成24年4月4日	現在開催中の「海の中道フラワーピクニック2012」について、生放送中で紹介
3	KBCラジオ	平成24年4月13日	「C-1cup　in　Uminaka」についてスタジオお邪魔して紹介。
4	クロスFM	平成24年4月18日	バラフレンズ募集
	4月　小計	4件	
5	クロスFM	平成24年5月5日	フラワーピクニック（お花の情報、5/5.5/6のイベントについて）
6	RKBラジオ	平成24年5月13日	バラ園で過ごす母の日
	5月　小計	2件	
	6月　小計	0件	
7	エフエムラジオ新潟	平成24年7月26日	新潟空港からの旅を楽しんでいただくため、とっておきの情報をお届けする観光情報番組です。国営海の中道海浜公園のみどころをインタビュー・動物園である動物の森で生まれたばかりのあかちゃんのかわいさをレポート・飼育員の方に人気のある動物をインタ
	7月　小計	1件	
	8月　小計	0件	
8	エフエムラジオ新潟	平成24年9月4日	新潟空港からの旅を楽しんでいただくため、とっておきの情報をお届けする観光情報番組です。国営海の中道海浜公園の全般的な紹介。
9	RKBラジオ	平成24年9月25日	パンパスグラスを中心として初秋の植物
	9月　小計	2件	
10	クロスFM	平成24年10月13日	うみなか＊はなまつり
11	LOVE　FM	平成24年10月14日	うみなか＊はなまつり
12	SBCラジオ	平成24年10月16日	うみなか＊はなまつり　花の地上絵他
13	RKBラジオ	平成24年10月20日	おやこフェスタ
14	FM萩（FM NANAKO）	平成24年10月31日	キャンドルナイトデザイン案募集
	10月　小計	5件	
	11月　小計	0件	
15	MBCラジオ（鹿児島）	平成24年12月21日	うみなかクリスマスキャンドルナイトの告知（生放送のラジオ番組内で電話インタビュー）
	12月　小計	1件	
16	RKBラジオ	平成25年1月6日	みらいの森体験塾～里のお正月体験
17	RKBラジオ	平成25年1月23日	スナッピー　生取材（ナノハナ開花情報）　いずれかの時間で1～2分程度
	1月　小計	2件	
18	RKBラジオ	平成25年2月20日	生取材（野鳥情報）　いずれかの時間で1～2分程度
	2月　小計	1件	
19	MBCラジオ（鹿児島）	平成25年3月22日	フラワーピクニック2013の告知（生放送のラジオ番組内で電話インタビュー）
	3月　小計	1件	

【平成24年度　雑誌　報道件数】

番号	媒体名	年月日	内容
1	月刊ぷらざ　TOBU	平成24年4月1日	フラワーピクニック2012
2	Leak	平成24年4月1日	フラワーピクニック2012・ネモフィラ
3	月刊情報タウンみやざき	平成24年4月1日	フラワーピクニック2012
4	じゃらん	平成24年4月2日	海の中道フラワーピクニック・無料入園日
5	福岡ウォーカー	平成24年4月20日	バラミュージアム・九州の絶景リストとして海の中道
6	子づれDECHA・CHA・C	平成24年4月25日	うみなかバラミュージアム
7	トライアングル	平成24年4月28日	フラワーピクニック2012・バラミュージアム
	4月　小計	7件	
8	月刊情報タウンみやざき	平成24年5月1日	フラワーピクニック2012
9	福岡ウォーカー	平成24年5月20日	HIGHER　GROUND2012
10	福岡ウォーカー	平成24年5月20日	ローズトリップ2012
11	月刊スキップ	平成24年5月21日	HIGHER　GROUND2012
12	月刊スキップ	平成24年5月21日	バラミュージアム
13	めさーじゅ	平成24年5月25日	HIGHER　GROUND2012
14	月刊情報タウンみやざき	平成24年5月27日	ディスクゴルフチャレンジ・海と森の学びナビ・
15	トライアングル	平成24年5月28日	HIGHER GROUND2012
16	トライアングル	平成24年5月28日	デイキャンプ場
	5月　小計	9件	
17	ガーデン＆ガーデン	平成24年6月1日	海の中道フラワーピクニック2012・
18	福岡ウォーカー	平成24年6月20日	光と風の広場　デイキャンプ場・手ぶらDEうみなか セットクーポン・
19	福岡ウォーカー	平成24年6月20日	ディスクゴルフチャレンジ
20	子づれDECHA・CHA・C HA	平成24年6月25日	子づれでCHACHACHAの表紙の撮影（モデル親子を連れて、ふわんポリン、水遊び場、スカイドルフィン、水辺のトリムなど）
21	じゃらん	平成24年6月30日	園内全般（レンタサイクル・ゴーカート・サンシャインプール・カブトムシハウス・ふわんポリン）
	6月　小計	5件	
22	月刊情報タウンみやざき	平成24年7月1日	HIGHER GROUND 2012 FINAL
23	じゃらん	平成24年7月1日	ワンダーワールド内のふわんポリンなど、小さな子供が遊べる遊具を中心に撮影
24	月刊スキップ	平成24年7月20日	ヒマワリ畑
25	月刊情報タウンみやざき	平成24年7月27日	カブトムシハウス2012・ヒマワリ畑
	7月　小計	4件	
26	月刊情報タウンみやざき	平成24年8月27日	動物ふれあいDAY・うみなか＊はなまつり
	8月　小計	1件	
27	driver	平成24年9月1日	日本の名車歴史館
28	ニナーズ	平成24年9月1日	デイキャンプ場
29	福岡ウォーカー	平成24年9月1日	みらいの森体験塾　やってみよう農体験「種まき・植
30	ファンファンファンwith はっぴーママ	平成24年9月1日	動物ふれあいDAY
31	DOKI！	平成24年9月1日	うみなか＊はなまつり
32	香港　Umagazine	平成24年9月14日	香港で最大の発行部数を誇る旅行情報誌『Umagazine』の秋号で韓国・釜山と福岡を特集するにあたり、イメージ写真として花畑を背景に自転車に乗ったモデルさんを撮影したいという要望があり、貴公園をご紹介します。当日は自転車で「虹の花壇」と「フラ
33	ワイヤーママ佐賀版	平成24年9月14日	園内全般紹介・うみなか＊はなまつり・動物ふれあい広場・ポニーの乗馬体験・
34	外戸本	平成24年9月20日	土木の日ファミリーフェスタ2012
35	福岡ウォーカー	平成24年9月20日	うみなかはなまつり2012・ワンワンとあそぼうショー・動物の森
36	月刊情報タウンみやざき	平成24年9月27日	うみなか＊はなまつり
	9月　小計	10件	

37	じゃらん	平成24年10月1日	じゃらん10/1発売号でコスモス特集。今回のテーマがコスモスを見ながらピクニック。海中でモデルがお弁当を広げているようなイメージカットの撮影。
38	エンターティメントビジネス	平成24年10月10日	HIGHER　GROUND　2012～FINAL～　の動員数など
39	月刊スキップ	平成24年10月20日	うみなか＊はなまつり2012・ガーデンテラスオープン・うみなかバラミュージアム
40	福岡ウォーカー	平成24年10月20日	福岡市消防音楽隊いのちのコンサート
41	月刊情報タウンみやざき	平成24年10月27日	うみなかバラミュージアム・動物の森スタンプラリー
42	月刊タウン情報クマモト	平成24年10月27日	うみなかバラミュージアム
	10月　小計	6件	
43	犬吉猫吉	平成24年11月1日	うさぎSANコンテスト
44	家族応援BOOK	平成24年11月1日	みらいの森体験塾・ポニー乗馬体験・動物ふれあい広場・紙ヒコーキ教室・ディスクゴルフチャレンジ・自然学び体験教室　森の探検編
45	Travie	平成24年11月1日	韓国における「九州」の情報発信の媒体。韓国人に対して、ラグジュアリーな九州旅行を楽しんでもらう。長崎、佐賀、福岡のラグジュアリーな旅をご紹介します。その中で、園内の動物の森を紹介します。
46	月刊スキップ	平成24年11月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
47	福岡ウォーカー	平成24年11月20日	クリスマスキャンドルナイトについて うみなかクリスマスキャンドルナイト（観覧車の紹介含む）・メッセージ
48	趣味の園芸	平成24年11月21日	有島薫先生のページ（画像　撮影協力/海の中道海浜公園）
49	リセット	平成24年11月25日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
50	リセット	平成24年11月26日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
51	めさーじゅ	平成24年11月26日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
52	リセット	平成24年11月26日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
53	ぐらんざ	平成24年11月30日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
	11月　小計	11件	
54	月刊情報タウンみやざき	平成24年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
55	じゃらん	平成24年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
56	エルフ	平成24年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
57	ワイヤーママ佐賀版	平成24年12月14日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
58	月刊スキップ	平成24年12月20日	動物の森体験ボランティア募集
59	福岡ウォーカー	平成24年12月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
60	月刊情報タウンみやざき	平成24年12月27日	干支展・お正月を遊ぼう
	12月　小計	7件	
61	福岡ウォーカー	平成25年1月20日	福岡ウォーカー第1回福岡FUNランリレーマラソンin海の中道
62	めさーじゅ	平成25年1月25日	FUKUSYA　CROSS
	1月　小計	2件	
63	月刊情報タウンみやざき	平成25年2月1日	動物の森バースデーサービス
64	素敵なカントリー	平成25年2月7日	海の中道フラワーピクニック2013
65	月刊スキップ	平成25年2月20日	CIRCLE´13
66	福岡ウォーカー	平成25年2月20日	福岡ウォーカー　ランラン倶楽部　ランニング場所と
67	外戸本	平成25年2月20日	海の中道フラワーピクニック2013
	2月　小計	5件	
68	月刊情報タウンみやざき	平成25年3月1日	フラワーピクニック告知
69	My GARDEN	平成25年3月16日	バラ園情報
70	福岡ウォーカー	平成25年3月20日	福岡ウォーカー　フラワーピクニックイベント紹介
71	福岡ウォーカー	平成25年3月20日	福岡ウォーカー　光と風の広場　ドッグラン紹介
72	めさーじゅ	平成25年3月25日	春フェスCIRCLE'13
73	リセット	平成25年3月26日	フラワーピクニック2013
74	リセット	平成25年3月26日	フラワーピクニック2013
75	月刊情報タウンみやざき	平成25年3月27日	マリンコンテスト
	3月　小計	8件	

【平成24年度　情報誌・その他　報道件数】

番号	媒体名	年月日	内容
1	いっと	平成24年4月1日	海の中道フラワーピクニック2012
2	ぱど	平成24年4月1日	園内桜の紹介
3	きりしまフォーラム	平成24年4月1日	海の中道フラワーピクニック2012
4	たいたいBOOK	平成24年4月1日	園内全般
5	あおぞら	平成24年4月1日	海の中道フラワーピクニック2012・背景にバラ園の写真使用
6	ココミル	平成24年4月1日	公園全般（野鳥の池など）
7	住友生命相互会社カレン	平成24年4月1日	海の中道フラワーピクニック2012
8	すぱいす（くまもと生活応援紙）	平成24年4月6日	海の中道フラワーピクニック2012
9	サンデー福岡東	平成24年4月14日	九州大学吹奏楽部スプリングコンサート
10	ことりっぷ 福岡	平成24年4月15日	園内全般
11	リトル・ママ	平成24年4月16日	海の中道フラワーピクニック2012
12	博多新聞	平成24年4月18日	フラワーピクニック2012
13	サンデー福岡東	平成24年4月21日	うみなかキッズコンサート・C-1CUP・すくすく親子de
14	サンデー福岡東	平成24年4月28日	うみなかバラミュージアム
	4月　小計	14件	
15	リビング福岡　中央版	平成24年5月12日	ローズトリップ2012
16	リビング福岡　中央版	平成24年5月12日	ローズトリップ2012
17	サンデー福岡東	平成24年5月19日	バラミュージアム・あなたのバラ探しゲーム・あなたもバラのソムリエ・バラとハーブでアロマ体験
18	動物園　ぴあ　全国版	平成24年5月20日	動物の森全般
19	POSS	平成24年5月25日	うみなかバラミュージアム
20	リビング福岡　中央版	平成24年5月26日	ローズトリップ2012
21	サンデー福岡東	平成24年5月26日	みらいの森体験塾～ちまきづくり体験～
	5月　小計	7件	
22	でかナビ（西日本新聞）	平成24年6月1日	のりもの・遊具共通回数券プレゼント
23	きりしまフォーラム	平成24年6月1日	バラミュージアム
24	情報プラザ通信	平成24年6月1日	あじさいの小径
25	名鉄沿線おでかけマガジン　Wind	平成24年6月1日	公園全般
26	サンデー福岡東	平成24年6月2日	動物の森バースデイサービス・みらいの森体験塾～海と森のエコツアー～
27	サンデー福岡東	平成24年6月9日	ディスクゴルフチャレンジ
28	POSS	平成24年6月22日	HIGHER GROUND2012
29	POSS	平成24年6月22日	HIGHER GROUND2012
30	サンデー福岡東	平成24年6月23日	自然学び体験教室　森のクラフト編
31	福岡都市圏障がい者ボウリング大会チラシ	平成24年6月24日	アジサイの小路・など
32	博多新聞	平成24年6月27日	ディスクゴルフチャレンジ
33	福岡小学生新聞	平成24年6月30日	カブトムシハウス2012
34	FUKUMANA　Press（ふくまな　プレス）	平成24年6月30日	高校進学者向けのパンフレットに福岡の人気スポットとして紹介。内容はHPより入手し作成します。
	6月　小計	13件	
35	体協るじゃすと	平成24年7月1日	福岡トライアスロンフェスタ2012
36	情報プラザ通信	平成24年7月1日	デイキャンプ場
37	アン・ナップル	平成24年7月1日	動物の森バースデイサービス
38	近畿日本ツーリスト九州（夏のファミリースペシャ	平成24年7月1日	海浜公園全般の紹介。
39	サンデー福岡東	平成24年7月14日	動物の森1日飼育委員・自然学び体験教室　森の体
40	そらいろ	平成24年7月15日	デイキャンプ場
41	サンデー福岡東	平成24年7月21日	うみなか自然発見塾～サマースクール～・カブトムシハウス2012
42	うふふ福岡	平成24年7月25日	海の中道海浜公園全般
43	サンデー福岡東	平成24年7月28日	森の楽校クラフト
44	サンデー福岡東	平成24年7月28日	デイキャンプ場
45	福岡県民共済「いいね」	平成24年7月31日	海の中道海浜公園全般
	7月　小計	11件	
46	でかナビ（西日本新聞）	平成24年8月1日	読者プレゼント・動物ふれあいDAY

47	エバーグリーン	平成24年8月1日	福岡県造園業教会の記事（その中にうみなか＊はなまつりの告知あり）
48	アン・ナップル	平成24年8月1日	デイキャンプ場開園時間延長
49	サンデー福岡東	平成24年8月4日	海からのおくりもの展
50	サンデー福岡東	平成24年8月25日	動物の森バースデイサービス
	8月　小計	5件	
51	かしいびより	平成24年9月1日	海と森の学びナビ・動物ふれあいDAY・うみなか＊はなまつり
52	クロスロードふくおか	平成24年9月1日	うみなか＊はなまつり
53	ぱど	平成24年9月1日	動物ふれあいDAY
54	ぱど	平成24年9月1日	動物ふれあいDAY
55	ぱど	平成24年9月1日	動物ふれあいDAY
56	ぱど	平成24年9月1日	動物ふれあいDAY
57	情報プラザ通信	平成24年9月1日	うみなか＊はなまつり
58	アン・ナップル	平成24年9月1日	みらいの森体験塾～やってみよう！農体験～
59	くらし応援ペーパー　すまいる。	平成24年9月1日	うみなか＊はなまつり・公園全般
60	GAコミュニケーション	平成24年9月1日	うみなか＊はなまつり・うみなかバラミュージアム・ローズセミナー
61	サンデー福岡東	平成24年9月8日	みらいの森体験塾　やってみよう農体験
62	福岡市政だより	平成24年9月15日	福岡県民さわやかマラソン大会
63	サンデー福岡東	平成24年9月22日	動物ふれあいDAY
64	サンデー福岡東	平成24年9月22日	うみなか＊はなまつり・200万本の花の丘・地上絵・スペシャルイベントなど
65	チャオ	平成24年9月28日	うみなか＊はなまつり・乗り物共通回数券読者プレ
66	サンデー福岡東	平成24年9月29日	うみなかキッズコンサート
67	サンデー福岡東	平成24年9月29日	環境共生の森サポートボランティア
	9月　小計	17件	
68	いっと	平成24年10月1日	うみなか＊はなまつり
69	オーシャンズ・フクオカ	平成24年10月1日	福岡トライアスロンフェスタ2012・2012ゴールデンオールディーズワールドラグビーフェスティバル福岡・2012福岡県民さわやかマラソン大会
70	リトル・ママ	平成24年10月1日	おやこフェスタ2012
71	福岡市政だより	平成24年10月1日	造園フェスティバル・スポレクさわやかウォーキング
72	福岡市政だより	平成24年10月15日	土木の日ファミリーフェスタ2012・ワールドラグビーフェスティバル2012
73	サンデー福岡東	平成24年10月20日	うみなかまごころショップ・みらいの森体験塾
74	安旅＆安遊び	平成24年10月20日	動物の森（ヤギ、ヒツジ餌やり体験・モルモットの抱っこ体験）
75	POSS	平成24年10月26日	うさぎSANコンテスト
76	サンデー福岡東	平成24年10月27日	みらの森体験塾～秋の恵みで草木染め体験～
77	博多新聞	平成24年10月31日	バラのプリザーブドフラワー・紙ヒコーキ教室・公園deアートドリンちゃんとシャボン玉ワークショップ
	10月　小計	10件	
78	福たび	平成24年11月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
79	福岡マップ トマールフク	平成24年11月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
80	JR九州旅行　シャレ旅in福岡	平成24年11月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
81	サンデー福岡東	平成24年11月3日	キャンドルアートデザイン募集
82	サンデー福岡東	平成24年11月10日	環境共生の森　秋の大収穫祭
83	サンデー福岡東	平成24年11月17日	自然学び体験教室　森の体験編
84	フクオカ・ビィーキ	平成24年11月23日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
85	チャオ	平成24年11月24日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
86	サンデー福岡東	平成24年11月24日	みらいの森体験塾
87	福岡小学生新聞	平成24年11月30日	うみなかクリスマスキャンドルナイト・
88	ぐりっこだより（篠栗町社会福祉協議会）	平成24年11月30日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
	11月　小計	11件	
89	ぐるなび	平成24年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
90	情報プラザ通信	平成24年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
91	クロスロードふくおか	平成24年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト

92	Enjoy,PRINCE!（日産プリンス福岡）	平成24年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
93	docomoのとびら	平成24年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
94	福岡NOW	平成24年12月1日	海の中道3時間耐久MTB選手権2012　告知
95	サンデー福岡東	平成24年12月1日	動物の森バースデイサービス
96	ぱど	平成24年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2012
97	ぱど	平成24年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2012
98	博多新聞	平成24年12月5日	干支展・うみなかクリスマスキャンドルナイト
99	サンデー福岡東	平成24年12月8日	うみなかクリスマスキャンドルナイト　ボランティア募
100	福岡市政だより	平成24年12月15日	年末年始の主な施設の休み情報
101	サンデー福岡東	平成24年12月22日	動物の森～干支展～・動物の森体験ボランティア説
102	サンデー福岡東	平成24年12月22日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2012・1万本のキャンドルアート・冬の花火
103	サンデー福岡東	平成24年12月29日	リースづくりとカモカルタ
	12月　小計	15件	
104	エバーグリーン	平成25年1月1日	海の中道植栽ボランティア
105	オーシャンズ・フクオカ	平成25年1月1日	第27回福岡国際クロスカントリー大会
106	サンデー福岡東	平成25年1月12日	新春もちつき大会
107	サンデー福岡東	平成25年1月19日	バースデーサービスの告知
108	サンデー福岡東	平成25年1月26日	みらいの森体験塾～冬の自然を体感しよう～
	1月　小計	5件	
109	福岡市政だより	平成25年2月1日	海の中道フラワーピクニック花の植付ボランティア募集・うみなかフラワーガーデンコンテスト
110	サンデー福岡東	平成25年2月2日	サポートボランティア募集中
111	フクオカ・ビィーキ	平成25年2月8日	海の中道海浜公園の春の花の紹介
112	サンデー福岡東	平成25年2月9日	うみなかフラワーガーデン・コンテスト出展作品募
113	POSS	平成25年2月22日	CIRCLE´13
114	POSS	平成25年2月22日	CIRCLE´13
115	サンデー福岡東	平成25年2月23日	動物の森バースディサービス・海と森の学びナビ自然学び体験教室
116	チャオ	平成25年2月25日	海の中道フラワーピクニック2013・
117	博多新聞	平成25年2月27日	博多夢松原の会　活動について
118	博多新聞	平成25年2月27日	海の中道フラワーピクニック2013
119	福岡小学生新聞	平成25年2月28日	海の中道フラワーピクニック2013
	2月　小計	11件	
120	福岡県だより	平成25年3月1日	海の中道フラワーピクニック2013
121	クロスロードふくおか	平成25年3月1日	海の中道フラワーピクニック2013
122	HOT PEPPER	平成25年3月1日	サクラ情報
123	Enjoy,PRINCE!（日産プリンス福岡）	平成25年3月1日	フラワーピクニック告知
124	情報プラザ通信	平成25年3月1日	サクラ情報
125	西鉄バスの取説	平成25年3月1日	園内
126	福博花しるベチラシ	平成25年3月1日	フラワーピクニック告知
127	リビング福岡　中央版	平成25年3月2日	ヤギ駅長
128	サンデー福岡東	平成25年3月9日	うみなかキッズコンサート参加者募集
129	福岡市政だより	平成25年3月15日	サクラ情報
130	サンデー福岡東	平成25年3月16日	ビーチクリーンキャンペーン参加者募集
131	サンデー福岡東	平成25年3月23日	フラワーピクニック2013
132	アサ福岡！ヒル福岡！ヨル福岡！	平成25年3月25日	フラワーピクニック2013
133	サンデー福岡東	平成25年3月30日	フラワーピクニック2013
	3月　小計	14件	

【平成25年度　マスコミ等による報道件数】

	新聞	TV	ラジオ	雑誌	情報誌 その他	合計
4月	49	24	2	7	19	101
5月	9	12	3	6	11	41
6月	13	13	1	1	13	41
7月	14	17	2	6	16	55
8月	16	19	1	2	3	41
9月	8	13	4	3	32	60
10月	35	12	1	4	17	69
11月	7	6	0	12	25	50
12月	16	9	0	4	16	45
1月	13	8	1	1	14	37
2月	13	2	0	3	18	36
3月	33	4	1	8	20	66
合計	226	139	16	57	204	642

※委託費による有料広告等は除く
※ホームページ等インターネット記事掲載は除く

【平成25年度　新聞　報道件数】

	媒体名	年月日	内容
1	西日本新聞	平成25年4月1日	サクラだより
2	西日本新聞	平成25年4月1日	はるかぜマラソン
3	西日本新聞	平成25年4月2日	フラワーピクニック2013
4	西日本新聞	平成25年4月2日	サクラだより
5	西日本新聞	平成25年4月3日	サクラだより
6	西日本新聞	平成25年4月4日	サクラだより
7	西日本新聞	平成25年4月5日	ネモフィラ
8	西日本新聞	平成25年4月5日	ポニーの赤ちゃん取材
9	読売新聞	平成25年4月6日	フラワーピクニック2013
10	朝日新聞	平成25年4月8日	チューリップ
11	毎日新聞	平成25年4月8日	ネモフィラ
12	朝日新聞	平成25年4月9日	ネモフィラ
13	西日本新聞	平成25年4月13日	花の地上絵
14	読売新聞	平成25年4月17日	ネモフィラ(花の丘)
15	博多新聞(西日本新聞)	平成25年4月17日	うみなかバラまつり
16	宮崎日日新聞	平成25年4月18日	フラワーピクニック2013
17	佐賀新聞	平成25年4月19日	ネモフィラ
18	読売新聞	平成25年4月20日	ふれあいデーの様子
19	西日本新聞	平成25年4月21日	フラワーピクニック開催
20	読売新聞	平成25年4月22日	サッカーの試合結果
21	西日本新聞	平成25年4月23日	カピバラの赤ちゃん
22	日本経済新聞	平成25年4月23日	カピバラの赤ちゃん
23	北海道新聞	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
24	佐賀新聞	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
25	長崎新聞	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
26	大分合同新聞	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
27	熊本日日新聞	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
28	千葉日報	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
29	日本海新聞(鳥取)	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
30	秋田魁新報	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
31	新潟日報	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
32	富山新聞	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
33	信濃毎日新聞	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
34	四国新聞社	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
35	山陽新聞	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
36	福井新聞	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
37	京都新聞	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
38	静岡新聞	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
39	下野新聞(栃木)	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
40	神戸新聞	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
41	東京中日スポーツ	平成25年4月23日	カピバラの三つ子誕生(共同通信社記事)
42	産経新聞	平成25年4月24日	カピバラの赤ちゃん
43	交通新聞	平成25年4月25日	園内各施設について
44	西日本新聞	平成25年4月25日	シンフォニーガーデン
45	朝日新聞	平成25年4月25日	フラワーピクニック2013
46	西日本新聞	平成25年4月26日	フラワーピクニック2013
47	聖教新聞	平成25年4月26日	フラワーピクニック2013
48	朝日新聞	平成25年4月28日	C-1 cup in　Uminaka
49	西日本新聞	平成25年4月28日	グランドゴルフ(西戸崎近隣公園)
	4月　小計	49件	
50	西日本新聞	平成25年5月7日	GWの来園者数について
51	毎日新聞	平成25年5月8日	マーラの赤ちゃん
52	大分合同新聞	平成25年5月10日	うみなかバラまつり2013
53	読売新聞	平成25年5月11日	うみなかバラまつり2013
54	読売新聞	平成25年5月11日	ポニーの親子
55	朝日新聞	平成25年5月13日	うみなかバラまつり2013
56	日本経済新聞	平成25年5月14日	うみなかバラまつり2013
57	西日本新聞	平成25年5月18日	紙ヒコーキ教室
58	毎日新聞	平成25年5月18日	フラワーボランティア募集
	5月　小計	9件	
59	西日本新聞	平成25年6月4日	サンシャインプール
60	毎日新聞	平成25年6月7日	コブハクチョウの赤ちゃん
61	西日本新聞	平成25年6月12日	リスザルの赤ちゃん
62	長崎新聞	平成25年6月13日	アジサイ
63	毎日新聞	平成25年6月15日	アイランドシティコミュニティ新聞　園内全体
64	読売新聞	平成25年6月17日	西戸崎近隣公園　グラウンドゴルフ
65	読売新聞	平成25年6月22日	1日飼育員体験
66	朝日新聞	平成25年6月25日	サンシャインプール
67	西日本新聞	平成25年6月26日	ディスクゴルフチャレンジ
68	西日本新聞	平成25年6月27日	大人のための1日飼育員
69	西日本新聞	平成25年6月29日	大人のための一日飼育委員体験
70	西日本新聞	平成25年6月30日	サンシャインプール
71	西日本新聞	平成25年6月30日	西戸崎近隣公園　グラウンドゴルフ
	6月　小計	13件	
72	読売新聞	平成25年7月1日	西戸崎近隣公園　グラウンドゴルフ　西戸崎友好クラブGG月
73	長崎新聞	平成25年7月7日	サンシャインプール親子招待券プレゼント
74	西日本新聞	平成25年7月7日	西戸崎近隣公園　グラウンドゴルフ　西戸崎友好クラブ月例
75	日本経済新聞	平成25年7月9日	猛暑による入園者数について
76	大分合同新聞	平成25年7月12日	サンシャインプール
77	西日本新聞	平成25年7月13日	サンシャインプール
78	西日本新聞	平成25年7月17日	花の地上絵デザイン募集
79	毎日新聞	平成25年7月18日	花の地上絵デザイン募集
80	朝日新聞	平成25年7月18日	サマースクール参加者募集
81	西日本新聞	平成25年7月18日	サマースクール、動物の森1日飼育員
82	読売新聞	平成25年7月20日	1日飼育員体験参加者募集
83	西日本新聞	平成25年7月21日	サンシャインプール

84	日本経済新聞	平成25年7月27日	ヤギ駅長九太郎
85	西日本新聞	平成25年7月30日	体験教室の協力員募集
	7月　小計	14件	
86	日本経済新聞	平成25年8月2日	プールのにぎわい
87	読売新聞	平成25年8月3日	大人のための一日飼育員の様子
88	西日本新聞	平成25年8月4日	西戸崎近隣公園　グラウンドゴルフ月例会
89	読売新聞	平成25年8月5日	西戸崎近隣公園　グラウンドゴルフ月例会
90	朝日新聞	平成25年8月7日	プール広告
91	朝日新聞	平成25年8月8日	プール広告
92	毎日新聞	平成25年8月11日	カブトムシハウス
93	西日本新聞	平成25年8月14日	動物の森　1日飼育員体験
94	朝日新聞	平成25年8月16日	サンシャインプール　涼を求める人たち
95	朝日新聞	平成25年8月16日	入園者数について
96	読売新聞	平成25年8月17日	サンシャインプール　夏のにぎわい
97	西日本新聞	平成25年8月19日	サンシャインプール　涼求め人の波
98	読売新聞	平成25年8月24日	花の地上絵デザイン募集
99	西日本新聞	平成25年8月26日	西戸崎近隣公園　グランドゴルフ月例会
100	西日本新聞	平成25年8月28日	動物ふれあいDAY・うみなか＊はなまつり
101	日本経済新聞	平成25年8月31日	夏の風物詩
	8月　小計	16件	
102	毎日新聞	平成25年9月1日	プールのにぎわい
103	読売新聞	平成25年9月2日	西戸崎近隣公園　グラウンドゴルフ　西戸崎友好クラブGG月
104	西日本新聞	平成25年9月3日	コキアもこもこ
105	西日本新聞	平成25年9月15日	うみなかはなまつり
106	読売新聞	平成25年9月21日	動物ふれあいDAY
107	西日本新聞	平成25年9月24日	パンパスグラス
108	朝日新聞	平成25年9月25日	ヒガンバナ
109	大分合同新聞	平成25年9月27日	うみなかはなまつり2013
	9月　小計	8件	
110	西日本新聞	平成25年10月1日	コスモスだより
111	読売新聞	平成25年10月2日	さわやかマラソン参加者募集
112	西日本新聞	平成25年10月2日	コスモスだより
113	西日本新聞	平成25年10月3日	コスモスだより
114	毎日新聞	平成25年10月4日	園弁アイデア募集
115	西日本新聞	平成25年10月4日	コスモスだより
116	西日本新聞	平成25年10月5日	コスモスだより
117	西日本新聞	平成25年10月6日	コスモスだより
118	西日本新聞	平成25年10月6日	ヤギ副駅長の就任式
119	北海道新聞	平成25年10月6日	共同通信社提供　JR副駅長就任式
120	産経新聞	平成25年10月6日	共同通信社提供　JR副駅長就任式
121	西日本新聞	平成25年10月7日	コスモスだより
122	西日本新聞	平成25年10月8日	コスモスだより
123	西日本新聞	平成25年10月9日	コスモスだより
124	西日本新聞	平成25年10月10日	コスモスだより
125	西日本新聞	平成25年10月11日	コスモスだより
126	西日本新聞	平成25年10月12日	ふるさとマルシェ＆まごころショップ
127	西日本新聞	平成25年10月12日	コスモスだより
128	西日本新聞	平成25年10月13日	コスモスだより
129	西日本新聞	平成25年10月13日	リハビリウォーキング
130	西日本新聞	平成25年10月14日	コスモスだより
131	西日本新聞	平成25年10月16日	コスモスだより
132	西日本新聞	平成25年10月17日	コスモスだより
133	西日本新聞	平成25年10月18日	コスモスだより
134	読売新聞	平成25年10月18日	スーパーキッズトライアスロン選手権大会
135	西日本新聞	平成25年10月19日	コスモスだより
136	西日本新聞	平成25年10月20日	コスモスだより
137	西日本新聞	平成25年10月20日	うみなかはなまつり2013、土木の日ファミリーフェスタ2013
138	西日本新聞	平成25年10月21日	コスモスだより
139	西日本新聞	平成25年10月22日	コスモスだより
140	西日本新聞	平成25年10月23日	コスモスだより
141	西日本新聞	平成25年10月24日	コスモスだより
142	西日本新聞	平成25年10月25日	コスモスだより
143	読売新聞	平成25年10月26日	ヤギ駅長とお散歩しよう
144	西日本新聞	平成25年10月30日	うみなかはなまつり2013
	10月　小計	35件	
145	読売新聞	平成25年11月4日	西戸崎近隣公園　西戸崎友好クラブ（グラウンドゴルフ）
146	朝日新聞	平成25年11月14日	スロージョギング教室in海の中道
147	読売新聞	平成25年11月14日	チューリップ球根植え付け体験ボランティア募集
148	西日本新聞	平成25年11月18日	土木の日ファミリーフェスタ
149	読売新聞	平成25年11月23日	チューリップ球根植え付け体験ボランティア募集
150	西日本新聞	平成25年11月25日	県民さわやかマラソン大会
151	西日本新聞	平成25年11月26日	チューリップ球根植付体験ボランティア募集
	11月　小計	7件	
152	読売新聞	平成25年12月2日	西戸崎近隣公園　西戸崎友好クラブ（グランドゴルフ）
153	西日本新聞	平成25年12月4日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
154	朝日新聞	平成25年12月5日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
155	朝日新聞	平成25年12月5日	うみなかクリスマスキャンドルナイトボランティア募集
156	西日本新聞	平成25年12月8日	西戸崎近隣公園　西戸崎友好クラブ月例会（グランドゴルフ）
157	読売新聞	平成25年12月14日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
158	大分合同新聞	平成25年12月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
159	毎日新聞	平成25年12月20日	冬咲きチューリップ
160	読売新聞	平成25年12月21日	たこづくり体験、新春餅つき大会
161	西日本新聞	平成25年12月21日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
162	西日本新聞	平成25年12月24日	うみなかクリスマスキャンドルナイト　高所作業車からの撮影
163	朝日新聞	平成25年12月24日	うみなかクリスマスキャンドルナイト　高所作業車からの撮影
164	朝日新聞	平成25年12月29日	冬咲きチューリップ

165	西日本新聞	平成25年12月29日	第18回全国スイーツマラソンin福岡
166	朝日新聞	平成25年12月30日	たこ作り
167	読売新聞	平成25年12月30日	凧作り、サッカー体験
	12月　小計	16件	
168	西日本新聞	平成26年1月9日	新春もちつき大会告知
169	読売新聞	平成26年1月11日	来年の干支である馬（ポニー）の取材
170	西日本新聞	平成26年1月12日	西戸崎近隣公園　西戸崎友好クラブ月例会（グラウンドゴル
171	西日本新聞	平成26年1月14日	新春もちつき大会の様子
172	西日本新聞	平成26年1月14日	第18回全国スイーツマラソンin福岡
173	西日本新聞	平成26年1月21日	冬咲きチューリップ
174	朝日新聞	平成26年1月23日	第28回海の中道市民クロカン参加者募集
175	読売新聞	平成26年1月25日	第2回海の中道海浜公園グラウンドゴルフ
176	西日本新聞	平成26年1月25日	スロージョギング教室イン海の中道
177	西日本新聞	平成26年1月27日	西戸崎近隣公園　西戸崎友好クラブ月例会（グラウンドゴル
178	西日本新聞	平成26年1月28日	第18回全国スイーツマラソンin福岡
179	西日本新聞	平成26年1月29日	プチボランティア募集
180	西日本新聞	平成26年1月30日	全国スイーツマラソンin福岡
	1月　小計	13件	
181	西日本新聞	平成26年2月1日	松枯れ防除対策活動告知
182	読売新聞	平成26年2月3日	西戸崎近隣公園　西戸崎友好クラブ（グラウンドゴルフ）
183	西日本新聞	平成26年2月5日	第18回全国スイーツマラソンin福岡
184	西日本新聞	平成26年2月6日	第18回全国スイーツマラソンin福岡
185	西日本新聞	平成26年2月7日	第18回全国スイーツマラソンin福岡
186	読売新聞	平成26年2月22日	スロージョギング大会in海の中道
187	朝日新聞	平成26年2月22日	福岡国際クロスカントリー大会
188	朝日新聞	平成26年2月22日	福岡国際クロカン本日開催
189	西日本新聞	平成26年2月22日	福岡国際クロカン本日開催
190	朝日新聞	平成26年2月23日	福岡国際クロスカントリー大会
191	西日本新聞	平成26年2月23日	福岡国際クロカン
192	西日本新聞	平成26年2月24日	西戸崎近隣公園　西戸崎友好クラブ月例会
193	西日本新聞	平成26年2月26日	動物ふれあいDAY告知
	2月　小計	13件	
194	朝日新聞	平成26年3月3日	第28回海の中道市民クロカン、第28回福岡国際クロスカントリー大会結果
195	読売新聞	平成26年3月3日	雁ノ巣レクリエーションセンター　第28回福岡城東ライオンズクラブ旗争奪少年野球大会開会式
196	読売新聞	平成26年3月3日	西戸崎近隣公園　西戸崎友好クラブ
197	西日本新聞	平成26年3月4日	ナノハナ
198	朝日新聞	平成26年3月10日	ナノハナ
199	読売新聞	平成26年3月10日	全国スイーツマラソンin福岡
200	西日本新聞	平成26年3月10日	全国スイーツマラソンin福岡
201	毎日新聞	平成26年3月10日	全国スイーツマラソンin福岡
202	西日本新聞	平成26年3月18日	サクラだより
203	日本経済新聞	平成26年3月18日	海の中道フラワーピクニック2014
204	西日本新聞	平成26年3月19日	サクラだより
205	西日本新聞	平成26年3月20日	サクラだより
206	西日本新聞	平成26年3月21日	サクラだより
207	日本経済新聞	平成26年3月22日	公園紹介
208	西日本新聞	平成26年3月22日	サクラだより
209	西日本新聞	平成26年3月23日	サクラだより
210	西日本新聞	平成26年3月24日	サクラだより
211	西日本新聞	平成26年3月25日	サクラだより
212	西日本新聞	平成26年3月26日	サクラだより
213	西日本新聞	平成26年3月26日	動物ふれあいDAY
214	西日本新聞	平成26年3月27日	サクラだより
215	朝日新聞	平成26年3月27日	海の中道フラワーピクニック2014
216	読売新聞	平成26年3月27日	海の中道フラワーピクニック2014
217	西日本新聞	平成26年3月28日	サクラだより
218	西日本新聞	平成26年3月28日	国営海の中道公園事務所護岸工事
219	西日本新聞	平成26年3月29日	サクラだより
220	読売新聞	平成26年3月29日	うみなかキッズコンサート
221	西日本新聞	平成26年3月29日	海の中道フラワーピクニック2014
222	西日本新聞	平成26年3月30日	サクラだより
223	西日本新聞	平成26年3月30日	海の中道はるかぜマラソン大会
224	西日本新聞	平成26年3月30日	近隣公園　西戸崎友好クラブ月例会（グラウンドゴルフ）
225	西日本新聞	平成26年3月31日	サクラだより
226	読売新聞	平成26年3月31日	近隣公園　西戸崎友好クラブ（グラウンドゴルフ）
	3月　小計	33件	

【平成25年度　テレビ　報道件数】

	媒体名	年月日	内容
1	FBS(福岡放送)	平成25年4月3日	ネモフィラ、チューリップ
2	RKB	平成25年4月5日	チューリップ、ネモフィラ
3	TNC(テレビ西日本)	平成25年4月8日	ネモフィラ
4	FBS(福岡放送)	平成25年4月10日	動物の赤ちゃん(ポニー、カンガルー)
5	TNC(テレビ西日本)	平成25年4月12日	花の地上絵
6	KBC	平成25年4月12日	ネモフィラ(地上絵・花の丘)
7	RKB	平成25年4月12日	動物の赤ちゃん(ポニー、カンガルー)
8	J-COM	平成25年4月17日	フラワーピクニックの紹介(生電話)
9	J-COM	平成25年4月19日	フラワーピクニックのにぎわい(計21回放送)
10	TNC(テレビ西日本)	平成25年4月22日	動物(ポニー、カンガルーなど)
11	NHK	平成25年4月22日	カピバラの親子
12	TVQ	平成25年4月22日	カピバラ親子
13	FBS(福岡放送)	平成25年4月23日	カピバラ赤ちゃん
14	フジテレビ	平成25年4月24日	カピバラの三つ子誕生【東京中日スポーツ(共同通信社記事)記事解説】
15	KBC	平成25年4月25日	カピバラ赤ちゃん
16	TVQ	平成25年4月26日	ネモフィラ(花の丘)
17	RKB	平成25年4月26日	動物の赤ちゃん(ポニー、カンガルー)
18	NHK	平成25年4月27日	C-1 cup in Uminaka
19	NHK	平成25年4月27日	C-1 cup in Uminaka
20	TNC(テレビ西日本)	平成25年4月28日	C-1 cup in Uminaka
21	RKB	平成25年4月29日	園内から生中継、GWのにぎわい、グルメ情報、花情報
22	RKB	平成25年4月29日	ネモフィラ(花の地上絵)
23	NHK	平成25年4月29日	GWのにぎわい(ネモフィラなど)
24	KBC	平成25年4月29日	ヒツジの毛刈りイベント
	4月　小計	24件	
25	TNC(テレビ西日本)	平成25年5月6日	バラ園
26	TVQ	平成25年5月6日	GWのにぎわい
27	RKB	平成25年5月6日	バラまつり告知
28	NHK	平成25年5月10日	バラ園(状況)
29	KBC	平成25年5月10日	動物の森の赤ちゃん(フサオマキザル)
30	KBC	平成25年5月14日	動物の森の赤ちゃん(マーラ)
31	FBS(福岡放送)	平成25年5月16日	マーラ赤ちゃん・フサオマキザル赤ちゃん
32	TNC(テレビ西日本)	平成25年5月16日	フサオマキザルの赤ちゃん
33	TVQ	平成25年5月17日	バラ園
34	NHK	平成25年5月17日	マーラ・フサオマキザルの赤ちゃん
35	NHK	平成25年5月17日	マーラ・フサオマキザルの赤ちゃん
36	RKB	平成25年5月20日	動物の赤ちゃん(カピバラ、マーラ、フサオマキザル)、リスザル、ポニー
	5月　小計	12件	
37	KBC	平成25年6月3日	コブハクチョウのヒナ
38	TVQ	平成25年6月4日	コブハクチョウのヒナ、リスザルの赤ちゃん
39	FBS(福岡放送)	平成25年6月10日	ボリビアリスザルの赤ちゃん
40	FBS(福岡放送)	平成25年6月10日	リスザルの赤ちゃん
41	NHK	平成25年6月12日	リスザルの赤ちゃん
42	KBC	平成25年6月12日	リスザルの赤ちゃん
43	NHK	平成25年6月12日	リスザルの赤ちゃん
44	NHK	平成25年6月12日	リスザルの赤ちゃん
45	TNC(テレビ西日本)	平成25年6月13日	リスザルの赤ちゃん
46	NHK	平成25年6月27日	ハルシャギク
47	TVQ	平成25年6月28日	ハルシャギク
48	TNC(テレビ西日本)	平成25年6月29日	ハルシャギク
49	TNC(テレビ西日本)	平成25年6月29日	ハルシャギク
	6月　小計	13件	
50	RKB	平成25年7月9日	サンシャインプール
51	RKB	平成25年7月12日	サンシャインプール(週末おすすめ情報)
52	TVQ	平成25年7月13日	サンシャインプール式典
53	FBS(福岡放送)	平成25年7月13日	サンシャインプールオープン
54	TNC(テレビ西日本)	平成25年7月13日	サンシャインプールオープン
55	NHK	平成25年7月14日	大人のための一日飼育員
56	KBC(九州朝日放送)	平成25年7月14日	大人のための1日飼育員体験
57	TNC(テレビ西日本)	平成25年7月15日	大人のための一日飼育体験
58	NHK	平成25年7月19日	リスザル赤ちゃん(サツキ)
59	TNC(テレビ西日本)	平成25年7月22日	カブトムシハウス
60	TNC(テレビ西日本)	平成25年7月23日	リスザルの赤ちゃん(サツキ)
61	NHK	平成25年7月23日	カブトムシハウス
62	NHK	平成25年7月23日	カブトムシハウス
63	KBC(九州朝日放送)	平成25年7月30日	デイキャンプ場(バーベキュー体験)
64	KBC(九州朝日放送)	平成25年7月30日	プール利用状況
65	RKB	平成25年7月31日	プロが飼いたいペットについてのインタビュー
66	NHK	平成25年7月31日	リスザルの赤ちゃん(サツキちゃん)
	7月　小計	17件	
67	TNC(テレビ西日本)	平成25年8月1日	ビーチファッション特集
68	TVQ	平成25年8月3日	サンシャインプール
69	TNC(テレビ西日本)	平成25年8月7日	1日飼育員体験
70	FBS(福岡放送)	平成25年8月7日	動物の森1日飼育員体験
71	KBC(九州朝日放送)	平成25年8月9日	プール賑わい、イベント様子
72	TVQ	平成25年8月10日	サンシャインプール
73	TNC(テレビ西日本)	平成25年8月11日	ヒマワリ畑
74	NHK	平成25年8月11日	親子マリンスポーツ教室カッター体験
75	FBS(福岡放送)	平成25年8月12日	サンシャインプールのにぎわい
76	FBS(福岡放送)	平成25年8月13日	プールの様子

77	TVQ	平成25年8月14日	ヒマワリ
78	KBC（九州朝日放送）	平成25年8月15日	サンシャインプール
79	KBC（九州朝日放送）	平成25年8月15日	プール利用状況
80	RKB	平成25年8月19日	プールのにぎわい
81	NHK	平成25年8月20日	パンパスグラス
82	TVQ	平成25年8月27日	コキア
83	NHK	平成25年8月27日	コキア
84	FBS（福岡放送）	平成25年8月27日	コキア
85	RKB	平成25年8月27日	プールの様子、子どもたちへのインタビュー
	8月　小計	19件	
86	TNC（テレビ西日本）	平成25年9月1日	夏休み最後のプールのにぎわい
87	TVQ	平成25年9月5日	パンパスグラス
88	RKB	平成25年9月14日	リレーフォーライフ
89	TNC（テレビ西日本）	平成25年9月15日	ヒガンバナ
90	RKB	平成25年9月18日	うみなかはなまつり
91	TVQ	平成25年9月18日	うみなかはなまつり
92	J-COM	平成25年9月20日	うみなかはなまつり
93	フジテレビ	平成25年9月21日	福岡県の人気レジャースポットとして、海の中道海浜公園を紹介（全域）
94	TBS	平成25年9月21日	公園全体
95	TNC（テレビ西日本）	平成25年9月22日	動物ふれあいDAY
96	FBS（福岡放送）	平成25年9月24日	プール最終日の様子
97	KBC（九州朝日放送）	平成25年9月25日	うみなかはなまつり
98	KBC（九州朝日放送）	平成25年9月28日	うみなかはなまつり
	9月　小計	13件	
99	サガテレビ	平成25年10月3日	うみなかはなまつり
100	NHK	平成25年10月3日	コキア
101	TVQ	平成25年10月4日	うみなかはなまつりのイベント紹介
102	TNC（テレビ西日本）	平成25年10月4日	うみなか＊はなまつり　週末イベント情報・花・遊び場
103	KKT（熊本県民テレビ）	平成25年10月11日	うみなかはなまつり
104	NCC長崎文化放送	平成25年10月11日	うみなかはなまつり
105	YAB 山口朝日放送	平成25年10月11日	うみなかはなまつり
106	TVQ	平成25年10月19日	海の中道海浜公園内でヨガの番組撮影
107	KBC（九州朝日放送）	平成25年10月23日	サイクリングコースの紹介、公園の紹介
108	J-COM	平成25年10月25日	うみなかはなまつり（動物ふれあい、フラワーミュージアム、ガーデンテラス）
109	TVQ	平成25年10月26日	海の中道海浜公園内でヨガの番組撮影
110	TVQ	平成25年10月27日	みらいの森体験塾～秋の収穫祭～開催！
	10月　小計	12件	
111	TVQ	平成25年11月2日	海の中道海浜公園内でヨガの番組撮影
112	TVQ	平成25年11月9日	海の中道海浜公園内でヨガの番組撮影
113	TNC（テレビ西日本）	平成25年11月11日	動物の森 「ウマとロバの違い」
114	NHK	平成25年11月11日	公園全般
115	NHK	平成25年11月14日	公園全般
116	TVQ	平成25年11月21日	バラ園
	11月　小計	6件	
117	TNC（テレビ西日本）	平成25年12月12日	バラ園
118	NHK	平成25年12月21日	クリスマスキャンドルナイトの告知
119	TNC（テレビ西日本）	平成25年12月23日	クリスマスキャンドルナイト
120	RKB	平成25年12月23日	うみなかクリスマスキャンドルナイト　高所作業者からの撮影
121	FBS（福岡放送）	平成25年12月24日	クリスマスキャンドルナイト
122	TVQ	平成25年12月24日	うみなかクリスマスキャンドルナイト　高所作業車からの撮影
123	TBS	平成25年12月25日	イルミネーション特集
124	KBC（九州朝日放送）	平成25年12月25日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
125	KBC（九州朝日放送）	平成25年12月25日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
	12月　小計	9件	
126	TVQ	平成26年1月9日	チューリップ温室展示
127	FBS（福岡放送）	平成26年1月14日	チューリップ温室
128	RKB	平成26年1月17日	新春もちつき大会
129	TNC（テレビ西日本）	平成26年1月23日	冬咲きチューリップ
130	フジテレビ	平成26年1月25日	動物の森・2013年に生まれた赤ちゃん
131	TNC（テレビ西日本）	平成26年1月29日	スロージョギング
132	FBS（福岡放送）	平成26年1月30日	ニホンズイセン
133	NHK	平成26年1月31日	紙ヒコーキボランティアの活動風景
	1月　小計	8件	
134	TVQ	平成26年2月24日	ナノハナ
135	NHK	平成26年2月25日	ナノハナ
	2月　小計	2件	
136	NHK	平成26年3月1日	スロージョギング教室の様子
137	TNC（テレビ西日本）	平成26年3月4日	ナノハナ
138	FBS（福岡放送）	平成26年3月22日	マラソン練習風景・ランニングコース案内
139	TVQ	平成26年3月27日	スイセン花壇
	3月　小計	4件	

【平成25年度　ラジオ　報道件数】

	媒体名	年月日	内容
1	KBCラジオ	平成25年4月3日	フラワーピクニック、ネモフィラ
2	RKBラジオ	平成25年4月23日	カピバラの赤ちゃん
	4月　小計	2件	
3	クロスFM	平成25年5月4日	ゴールデンウィークのイベント情報（生電話）
4	RKBラジオ	平成25年5月12日	スナッピーによる生中継、野鳥の池（愛鳥週間にちなんで、バードウォッチングがテーマ）
5	RKBラジオ	平成25年5月15日	バラ園
	5月　小計	3件	
6	KBCラジオ	平成25年6月18日	ボリビアリスザル、コブハクチョウ
	6月　小計	1件	
7	RKBラジオ	平成25年7月13日	スナッピー：プールオープン初日のにぎわいの様子
8	RKBラジオ	平成25年7月27日	カブトムシハウス
	7月　小計	2件	
9	RKBラジオ	平成25年8月19日	スナッピーによる生中継（プールのにぎわい）
	8月　小計	1件	
10	RKBラジオ	平成25年9月15日	リレーフォーライフの取材
11	RKBラジオ	平成25年9月18日	コキア
12	RKBラジオ	平成25年9月27日	パンパスグラス
13	クロスFM	平成25年9月28日	「うみなか＊はなまつり」イベント案内
	9月　小計	4件	
14	クロスFM	平成25年10月19日	ディスクゴルフの魅力について
	10月　小計	1件	
15	KBCラジオ	平成26年1月27日	冬咲きチューリップ
	1月　小計	1件	
16	RKBラジオ	平成26年3月16日	フラワーピクニック予告
	3月　小計	1件	

【平成25年度　雑誌　報道件数】

	媒体名	年月日	内容
1	じゃらん	平成25年4月1日	フラワーピクニック2013、C-1 cup
2	月刊情報タウンみやざき	平成25年4月1日	フラワーピクニック、C-1 cup
3	九州ウォーカー	平成25年4月20日	うみなかバラまつり、CIRCLE’13、うみなかファミリーステージ、C-1cup
4	Leak（リーク）	平成25年4月20日	ネモフィラ・バラ
5	月刊スキップ	平成25年4月20日	うみなかバラまつり2013
6	チャオ	平成25年4月26日	うみなかバラまつり2013
7	トライアングル	平成25年4月28日	フラワーピクニック2013
	4月　小計	7件	
8	旅行読売	平成25年5月1日	ネモフィラ
9	月刊情報タウンみやざき	平成25年5月1日	うみなかバラまつり2013
10	じゃらん	平成25年5月1日	BBQ,フラワーピクニック2013
11	素敵なカントリー	平成25年5月7日	うみなかバラまつり2013
12	福岡ウォーカー	平成25年5月20日	じゃぶじゃぶ池
13	ぐらんざ	平成25年5月31日	フォトコンテスト結果発表、アジサイ情報など
	5月　小計	6件	
14	じゃらん	平成25年6月1日	サンシャインプール
	6月　小計	1件	
15	ファンファンファンwithはっぴーママ	平成25年7月1日	公園全般
16	じゃらん	平成25年7月1日	サンシャインプール
17	まっぷる	平成25年7月15日	サンシャインプール
18	エルフ	平成25年7月19日	サンシャインプール親子招待券プレゼント
19	外戸本	平成25年7月20日	サンシャインプール
20	月刊情報タウンみやざき	平成25年7月27日	カブトムシハウス
	7月　小計	6件	
21	Leak（リーク）	平成25年8月20日	うみなか＊はなまつり
22	月刊スキップ	平成25年8月20日	大人のための一日飼育員体験参加者募集
	8月　小計	2件	
23	ファンファンファンwithはっぴーママ	平成25年9月1日	うみなかはなまつり
24	月刊情報タウンみやざき	平成25年9月1日	動物ふれあいDAY
25	福岡ウォーカー	平成25年9月20日	うみなかはなまつり
	9月　小計	3件	
26	じゃらん	平成25年10月1日	うみなかはなまつり、ふるさとマルシェ
27	月刊情報タウンみやざき	平成25年10月1日	うみなかはなまつり
28	福岡ウォーカー	平成25年10月19日	土木の日ファミリーフェスタ2013
29	月刊情報タウンみやざき	平成25年10月27日	うみなかはなまつり
	10月　小計	4件	
30	ファンファンファンwithはっぴーママ	平成25年11月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
31	じゃらん	平成25年11月1日	うみなかはなまつり
32	ソトコト	平成25年11月1日	公園紹介
33	福岡ウォーカー	平成25年11月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
34	月刊スキップ	平成25年11月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
35	月刊シティ情報おおいた	平成25年11月25日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
36	リセット福岡版	平成25年11月26日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
37	リセット北九州版	平成25年11月26日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
38	リセット筑後版	平成25年11月26日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
39	月刊情報タウンみやざき	平成25年11月27日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
40	KYUSHUデートスペシャルなび	平成25年11月28日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
41	じゃらん	平成25年11月30日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
	11月　小計	12件	
42	月刊スキップ	平成25年12月20日	スロージョギング
43	福岡ウォーカー	平成25年12月20日	うみなかクリスマスキャンドル、新春餅つき大会
44	リセット筑後版	平成25年12月26日	プレゼントページ　乗り物回数券プレゼント
45	月刊情報タウンみやざき	平成25年12月27日	新春餅つき大会
	12月　小計	4件	
46	福岡ウォーカー	平成26年1月20日	福岡FUNランリレーマラソン
	1月　小計	1件	
47	エルフ	平成26年2月1日	第28回福岡国際クロスカントリー
48	福岡ウォーカー	平成26年2月20日	全国スイーツマラソンin福岡、第2回福岡FUNラン　リレーマラソン大会
49	月刊情報タウンみやざき	平成26年2月27日	海の中道フラワーピクニック
	2月　小計	3件	
50	月刊第三文明	平成26年3月1日	クリスマスキャンドルナイト2013
51	クロスロードふくおか	平成26年3月1日	海の中道フラワーピクニック2014
52	ファンファンファンwithはっぴーママ	平成26年3月1日	海の中道フラワーピクニック2014
53	犬吉猫吉	平成26年3月1日	海の中道フラワーピクニック2014
54	エルフ	平成26年3月1日	海の中道フラワーピクニック2014
55	福岡ウォーカー	平成26年3月20日	フラワーピクニック2014
56	月刊情報タウンみやざき	平成26年3月27日	海の中道フラワーピクニック2014、第3回C-1 cup in Uminaka
57	月刊タウン情報クマモト	平成26年3月27日	海の中道フラワーピクニック2014
	3月　小計	8件	

【平成25年度　情報誌・その他　報道件数】

	媒体名	年月日	内容
1	でかナビ（西日本新聞）	平成25年4月1日	フラワーピクニック2013
2	福たび	平成25年4月1日	フラワーピクニック2013、ネモフィラ
3	オーシャンズ・フクオカ	平成25年4月1日	チューリップ
4	ぱど	平成25年4月1日	フラワーピクニック2013
5	情報プラザ通信	平成25年4月1日	フラワーピクニック2013
6	たいたいBOOK	平成25年4月1日	公園紹介
7	福岡市障がい者スポーツ協会　会報誌	平成25年4月1日	第10回障がい者さわやかウォーキング
8	JR九州ウォーキング	平成25年4月1日	公園内について
9	福岡観光ガイドブック	平成25年4月1日	フラワーピクニック
10	住友生命相互会社カレンダー	平成25年4月1日	フラワーピクニック2013
11	サンデー福岡東	平成25年4月6日	フラワーピクニック2013、ヤギ駅長
12	フクオカ・ピィーキ	平成25年4月12日	カリフォルニアデイジー
13	あんふぁん	平成25年4月12日	フラワーピクニック2013
14	サンデー福岡東	平成25年4月13日	パラフレンズ
15	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年4月13日	パラフレンズ募集
16	福岡市政だより	平成25年4月15日	イベント情報
17	JR博多シティ　ローズマルシェ	平成25年4月19日	うみなかパラまつり
18	すぱいす（くまもと生活応援紙）	平成25年4月19日	フラワーピクニック2013
19	ポス	平成25年4月26日	CIRCLE'13
	4月　小計	19件	
20	ぐりっこだより（篠栗町社会福祉協議会）	平成25年5月1日	フラワーピクニック2013
21	あおぞら	平成25年5月1日	うみなかパラまつり2013
22	おっしょい福スポ	平成25年5月1日	花火師　児島　光男さんについて
23	住友生命相互会社カレンダー	平成25年5月1日	うみなかパラまつり2013
24	けん・けん・ぱ！	平成25年5月10日	うみなかパラまつり2013
25	福岡市政だより	平成25年5月15日	コアジサシのデコイ作り
26	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年5月18日	うみなかパラまつり2013
27	サンデー福岡東	平成25年5月18日	うみなかパラまつり2013
28	ポス	平成25年5月24日	うみなかパラまつり2013
29	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年5月25日	うみなかパラまつり2013
30	サンデー福岡東	平成25年5月25日	うみなかパラまつり2013
	5月　小計	11件	
31	福たび	平成25年6月1日	海と森の学びナビ
32	情報プラザ通信	平成25年6月1日	アジサイについて
33	かすやキッズネット	平成25年6月1日	森の楽校
34	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年6月1日	自然学び体験教室
35	サンデー福岡東	平成25年6月1日	自然学び体験教室
36	クロスロードふくおか	平成25年6月1日	夏休みおすすめ情報（プール、動物の森など）
37	ガーデン＆ガーデン	平成25年6月1日	フラワーピクニック2013
38	サンデー福岡東	平成25年6月15日	未来の森自然体験スクール
39	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年6月15日	未来の森自然体験スクール
40	アサ福岡！ヒル福岡！ヨル福岡！	平成25年6月21日	サンシャインプール
41	チャオ	平成25年6月28日	サンシャインプール、カブトムシハウス、ヒマワリ
42	サンデー福岡東	平成25年6月29日	動物の森ZOOナビ、大人のための1日飼育員体験
43	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年6月29日	動物の森ZOOナビ、大人のための1日飼育員体験
	6月　小計	13件	
44	情報プラザ通信	平成25年7月1日	デイキャンプ場
45	ma'am（マーム）	平成25年7月1日	サンシャインプール内紹介、撮影会
46	JR東海ツアーズ	平成25年7月1日	サンシャインプール
47	あんふぁん	平成25年7月5日	デイキャンプ場紹介
48	サンデー福岡東	平成25年7月6日	動物の森バースデーサービス
49	けん・けん・ぱ！	平成25年7月10日	子育て応援フェスティバル（協賛）
50	リトル・ママ	平成25年7月10日	サンシャインプール
51	けん・けん・ぱ！	平成25年7月10日	サンシャインプール(親子ペア招待券プレゼント)
52	サンデー福岡東	平成25年7月13日	海と森の学びナビ自然学び体験教室森の体験編
53	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年7月13日	海と森の学びナビ自然学び体験教室森の体験編
54	スキップ	平成25年7月20日	サンシャインプール親子ペア招待券プレゼント
55	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年7月20日	サンシャインプール、うみなか自然発見塾
56	サンデー福岡東	平成25年7月20日	サンシャインプール、うみなか自然発見塾
57	プリーズ	平成25年7月25日	サンシャインプール
58	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年7月27日	動物の森バースデイサービス、カブトムシハウス
59	サンデー福岡東	平成25年7月27日	動物の森バースデイサービス、カブトムシハウス
	7月　小計	16件	
60	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年8月3日	50万本の花の地上絵デザイン募集
61	サンデー福岡東	平成25年8月3日	50万本の花の地上絵デザイン募集
62	サンデー福岡東	平成25年8月10日	うみなか夢プログラム協力ボランティア募集中
	8月　小計	3件	
63	クロスロードふくおか	平成25年9月1日	うみなかはなまつり
64	ぱど東区・新宮エリア	平成25年9月1日	うみなか夢プログラム協力ボランティア募集
65	ぱど早良区・城南区エリア	平成25年9月1日	うみなか夢プログラム協力ボランティア募集
66	ぱど吉塚・箱崎・糟屋エリア	平成25年9月1日	うみなか夢プログラム協力ボランティア募集
67	ぱど春日・那珂川・大野城エリア	平成25年9月1日	うみなか夢プログラム協力ボランティア募集
68	ぱど南区・博多区南部エリア	平成25年9月1日	うみなか夢プログラム協力ボランティア募集
69	福岡県だより	平成25年9月1日	2013福岡県民さわやかマラソン大会
70	情報プラザ通信	平成25年9月1日	うみなかはなまつり
71	福たび	平成25年9月1日	うみなかはなまつり
72	ぱど糸島・西区エリア	平成25年9月1日	うみなか夢プログラム協力ボランティア募集
73	ぱど西区・早良区エリア	平成25年9月1日	うみなか夢プログラム協力ボランティア募集
74	シティリビング　福岡	平成25年9月1日	BBQ　手ぶらDEうみなかセット
75	ぱど東区・新宮エリア	平成25年9月1日	プールでトマト開催
76	ぱど早良区・城南区エリア	平成25年9月1日	プールでトマト開催
77	ぱど吉塚・箱崎・糟屋エリア	平成25年9月1日	プールでトマト開催
78	ぱど春日・那珂川・大野城エリア	平成25年9月1日	プールでトマト開催

79	ぱど南区・博多区南部エリア	平成25年9月1日	プールでトマト開催
80	ぱど糸島・西区エリア	平成25年9月1日	プールでトマト開催
81	ぱど西区・早良区エリア	平成25年9月1日	プールでトマト開催
82	サンデー福岡東	平成25年9月7日	うみなかはなまつり2013
83	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年9月7日	うみなかはなまつり2013
84	けん・けん・ぱ！	平成25年9月10日	園弁プロジェクト
85	サンデー福岡東	平成25年9月14日	動物ふれあいDAY
86	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年9月14日	動物ふれあいDAY
87	そらいろ	平成25年9月15日	うみなかはなまつり
88	月刊スキップ	平成25年9月20日	うみなかはなまつり（コスモス）
89	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年9月21日	うみなかキッズコンサート出演者募集
90	サンデー福岡東	平成25年9月21日	うみなかキッズコンサート出演者募集
91	ポス北九州版	平成25年9月27日	うみなかはなまつり2013
92	チャオ	平成25年9月27日	うみなかはなまつり
93	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年9月28日	笑いヨガ体験教室
94	サンデー福岡東	平成25年9月28日	笑いヨガ体験教室
	9月　小計	32件	
95	ぱど東区・新宮エリア	平成25年10月1日	うみなかはなまつり
96	ぱど糸島・西区エリア	平成25年10月1日	うみなかはなまつり
97	ぱど早良区・城南区エリア	平成25年10月1日	うみなかはなまつり
98	ぱど西区・早良区エリア	平成25年10月1日	うみなかはなまつり
99	ぱど吉塚・箱崎・糟屋エリア	平成25年10月1日	うみなかはなまつり
100	フクオカ・サイエンスマンス	平成25年10月1日	うみなかはなまつりイベント情報
101	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年10月5日	サンドアートinうみなか
102	サンデー福岡東	平成25年10月5日	サンドアートinうみなか
103	家族応援BOOK	平成25年10月7日	うみなかはなまつりイベント情報
104	サンデー福岡東	平成25年10月12日	土木の日ファミリーフェスタ2013
105	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年10月12日	土木の日ファミリーフェスタ2013
106	リトル・ママ	平成25年10月15日	うみおなかはなまつり
107	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年10月19日	動物の森ZOOボランティア募集中
108	サンデー福岡東	平成25年10月19日	動物の森ZOOボランティア募集中
109	ジョイン	平成25年10月20日	うみなかはなまつり
110	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年10月26日	キャンドルアートデザイン募集
111	サンデー福岡東	平成25年10月26日	キャンドルアートデザイン募集
	10月　小計	17件	
112	ぱど早良区・城南区エリア	平成25年11月1日	園弁コンテスト
113	ぱど西区・早良区エリア	平成25年11月1日	園弁コンテスト
114	ぱど糸島・西区エリア	平成25年11月1日	園弁コンテスト
115	ぱど南区・博多区南部エリア	平成25年11月1日	園弁コンテスト
116	ぱど春日・那珂川・大野城エリア	平成25年11月1日	園弁コンテスト
117	ぱど吉塚・箱崎・糟屋エリア	平成25年11月1日	園弁コンテスト
118	ぱど東区・新宮エリア	平成25年11月1日	園弁コンテスト
119	福たび	平成25年11月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
120	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年11月2日	第1回園弁（そのべん）コンテスト開催
121	サンデー福岡東	平成25年11月2日	第1回園弁（そのべん）コンテスト開催
122	フクオカ・ピィーキ	平成25年11月8日	秋バラ紹介
123	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年11月9日	スロージョギング教室
124	サンデー福岡東	平成25年11月9日	スロージョギング教室
125	福岡博覧	平成25年11月15日	公園紹介
126	サンデー福岡東	平成25年11月16日	海と森の学びナビ自然学び体験教室～コキアのほうきづくり～
127	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年11月16日	海と森の学びナビ自然学び体験教室～コキアのほうきづくり～
128	ポス北九州版	平成25年11月22日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
129	ポス熊本版	平成25年11月22日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
130	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年11月23日	チューリップ球根植付体験ボランティア募集
131	サンデー福岡東	平成25年11月23日	チューリップ球根植付体験ボランティア募集
132	プリーズ	平成25年11月25日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
133	チャオ	平成25年11月29日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
134	サンデー福岡東	平成25年11月30日	海と森の学びナビ自然学び体験教室　ミニクリスマスツリーづくり
135	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年11月30日	海と森の学びナビ自然学び体験教室　ミニクリスマスツリーづくり
136	リビング福岡	平成25年11月30日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
	11月　小計	25件	
137	情報プラザ通信	平成25年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
138	クロスロードふくおか	平成25年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
139	ぱど早良区・城南区エリア	平成25年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
140	ぱど春日・那珂川・大野城エリア	平成25年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
141	ぱど南区・博多区南部エリア	平成25年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
142	ぱど糸島・西区エリア	平成25年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
143	ぱど西区・早良区エリア	平成25年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
144	ぱど東区・新宮エリア	平成25年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
145	ぱど吉塚・箱崎・糟屋エリア	平成25年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
146	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年12月14日	キャンドルナイトボランティア募集
147	サンデー福岡東	平成25年12月14日	キャンドルナイトボランティア募集
148	るるぶ	平成25年12月15日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
149	福岡市政だより	平成25年12月15日	福岡県内の施設休園情報
150	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成25年12月21日	プチボランティア活動参加者募集
151	サンデー福岡東	平成25年12月21日	プチボランティア活動参加者募集
152	サンデー福岡東	平成25年12月28日	新春イベントお正月をあそぼう
	12月　小計	16件	
153	志賀島だより	平成26年1月1日	公園案内
154	福岡市政だより	平成26年1月1日	海の中道市民クロカン
155	オーシャンズ・フクオカ	平成26年1月1日	第28回福岡国際クロスカントリー大会
156	エバーグリーン	平成26年1月1日	表紙写真、公園紹介
157	福岡観光マップ　トマールフクオカ	平成26年1月1日	新春餅つき大会、冬咲きチューリップ
158	けん・けん・ぱ！	平成26年1月10日	園弁
159	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年1月11日	新春餅つき大会
160	サンデー福岡東	平成26年1月11日	新春餅つき大会
161	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年1月18日	無料スマートフォンアプリ「うみなかナビ」誕生

162	サンデー福岡東	平成26年1月18日	無料スマートフォンアプリ「うみなかナビ」誕生
163	ポス	平成26年1月24日	第18回全国スイーツマラソンin福岡
164	ポス	平成26年1月24日	第18回全国スイーツマラソンin福岡
165	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年1月25日	海と森の学びナビ　森の楽校環境プログラム
166	サンデー福岡東	平成26年1月25日	海と森の学びナビ　森の楽校環境プログラム
	1月　小計	14件	
167	ぱど	平成26年2月1日	スロージョギング教室in海の中道
168	ぱど	平成26年2月1日	スロージョギング教室in海の中道
169	ぱど	平成26年2月1日	スロージョギング教室in海の中道
170	ぱど	平成26年2月1日	スロージョギング教室in海の中道
171	ぱど	平成26年2月1日	スロージョギング教室in海の中道
172	ぱど	平成26年2月1日	スロージョギング教室in海の中道
173	ぱど	平成26年2月1日	スロージョギング教室in海の中道
174	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年2月1日	第2回グラウンドゴルフ大会
175	サンデー福岡東	平成26年2月1日	第2回グラウンドゴルフ大会
176	あんふぁん	平成26年2月7日	日本の名車歴史館
177	サンデー福岡東	平成26年2月8日	自然学び体験教室　森のクラフト編
178	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年2月8日	自然学び体験教室　森のクラフト編
179	福岡市政だより	平成26年2月15日	福岡国際クロスカントリー大会、うみなかフラワーガーデンコンテスト作品募集、海の中道「フラワーピクニック」花の植え付けボランティア
180	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年2月15日	プチボランティアをしてみよう
181	サンデー福岡東	平成26年2月15日	プチボランティアをしてみよう
182	Leak（リーク）	平成26年2月20日	海の中道フラワーピクニック
183	チャオ	平成26年2月28日	海の中道フラワーピクニック2014
184	HOT PEPPER	平成26年2月28日	桜並木
	2月　小計	18件	
185	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年3月1日	バラフレンズ募集中
186	サンデー福岡東	平成26年3月1日	バラフレンズ募集中
187	福たび	平成26年3月1日	森の楽校、海の中道フラワーピクニック2014、金印探訪
188	JR九州ウォーキング	平成26年3月1日	公園内について
189	情報プラザ通信	平成26年3月1日	季節の情報　桜
190	福岡観光ガイドブック	平成26年3月1日	園内紹介
191	旅行ガイド（香港版）	平成26年3月1日	公園紹介
192	福岡観光マップ　トマールフクオカ	平成26年3月3日	森の楽校、フラワーピクニック2014
193	サンデー福岡東	平成26年3月8日	うみなかキッズコンサート出演者募集中
194	けん・けん・ぱ！	平成26年3月10日	海の中道フラワーピクニック2014
195	サンデー福岡東	平成26年3月15日	海の中道フラワーピクニック2014
196	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年3月22日	ZOOナビ
197	サンデー福岡東	平成26年3月22日	ZOOナビ
198	POSS 北九州版	平成26年3月28日	海の中道フラワーピクニック2014
199	ぱど早良区・城南区エリア	平成26年3月28日	海の中道フラワーピクニック2014
200	ぱど東区・新宮エリア	平成26年3月28日	海の中道フラワーピクニック2014
201	ぱど南区・博多区南部エリア	平成26年3月28日	海の中道フラワーピクニック2014
202	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年3月29日	動物ふれあいDAY
203	サンデー福岡東	平成26年3月29日	動物ふれあいDAY
204	福博花しるベチラシ	平成26年3月29日	海の中道フラワーピクニック2014
	3月　小計	20件	

【平成26年度　マスコミ等による報道件数】

	新聞	TV	ラジオ	雑誌	情報誌 その他	合計
4月	23	15	3	7	24	72
5月	20	11	4	3	14	52
6月	19	12	0	7	18	56
7月	15	20	1	4	17	57
8月	23	21	2	3	8	57
9月	25	6	3	5	17	56
10月	47	13	4	4	17	85
11月	16	1	0	3	18	38
12月	30	14	1	4	27	76
1月	16	4	2	3	6	31
2月	24	8	0	4	14	50
3月	22	6	0	3	17	48
合計	280	131	20	50	197	678

※委託費による有料広告等は除く
※ホームページ等インターネット記事掲載は除く

【平成26年度　新聞　報道件数】

	媒体名	年月日	内容
1	西日本新聞	平成26年4月1日	サクラだより
2	西日本新聞	平成26年4月2日	サクラだより
3	西日本新聞	平成26年4月3日	サクラだより
4	西日本新聞	平成26年4月3日	笑いヨガ教室
5	西日本新聞	平成26年4月4日	サクラだより
6	西日本新聞	平成26年4月4日	うみなか元気な夢のコンサート
7	大分合同新聞	平成26年4月4日	海の中道フラワーピクニック2014
8	西日本新聞	平成26年4月5日	サクラだより
9	西日本新聞	平成26年4月6日	サクラだより
10	西日本新聞	平成26年4月8日	花の地上絵
11	読売新聞	平成26年4月9日	花の丘ネモフィラ
12	朝日新聞	平成26年4月12日	第27回エフエム福岡・海ノ中道はるかぜマラソン大会結果
13	西日本新聞	平成26年4月16日	うみなかキッズコンサート
14	日本経済新聞	平成26年4月16日	みどりの日の無料開放施設
15	読売新聞	平成26年4月19日	海の中道フラワーピクニック2014
16	交通新聞	平成26年4月21日	50万本で花の地上絵
17	西日本新聞	平成26年4月21日	C-1カップの紹介
18	西日本新聞	平成26年4月22日	入園料の値上げについて
19	毎日新聞	平成26年4月22日	ネモフィラの紹介
20	西日本新聞	平成26年4月23日	食の祭典！　第3回C -1cup
21	熊本日日新聞	平成26年4月24日	C-1cup
22	西日本新聞	平成26年4月24日	食の祭典！　第3回C -1cup
23	朝日新聞	平成26年4月27日	花の丘(ネモフィラ)
	4月　小計	23件	
24	西日本新聞	平成26年5月1日	NUMBER　SHOT　2014　告知
25	西日本新聞	平成26年5月1日	スポーツGOMI拾い in うみなか
26	西日本新聞	平成26年5月3日	フラワーガーデンコンテストの紹介
27	西日本新聞	平成26年5月9日	CIRCLE`14
28	大分合同新聞	平成26年5月9日	うみなかバラまつり　2014　の紹介
29	西日本新聞	平成26年5月10日	スポーツGOMI　拾い　in うみなか
30	毎日新聞	平成26年5月10日	うみなかバラまつり2014
31	毎日新聞	平成26年5月12日	大人のための1日飼育員体験募集
32	読売新聞	平成26年5月13日	NUMBER SHOT2014
33	毎日新聞	平成26年5月13日	大人のための1日飼育員体験募集　料金の記事訂正
34	西日本新聞	平成26年5月14日	CIRCLE´ 14
35	読売新聞	平成26年5月16日	うみなかバラまつり2014
36	西日本新聞	平成26年5月17日	バラ園
37	読売新聞	平成26年5月17日	動物のお医者さんに聞いてみよう！
38	日本経済新聞	平成26年5月20日	うみなかバラまつり2014
39	朝日新聞	平成26年5月22日	一日飼育体験参加募集
40	西日本新聞	平成26年5月28日	親子でコアジサシのデコイを作ろう
41	朝日新聞	平成26年5月29日	じゃぶじゃぶ池（気温30度超えと絡めて）
42	読売新聞	平成26年5月30日	NUMBER　SHOT2014
43	読売新聞	平成26年5月31日	紙飛行機を飛ばす会
	5月　小計	20件	
44	西日本新聞	平成26年6月1日	スポーツGOMI拾い大会
45	西日本新聞	平成26年6月1日	西戸崎友好クラブ
46	読売新聞	平成26年6月2日	西戸崎友好クラブ
47	読売新聞	平成26年6月4日	スポーツGOMI拾い in うみなか
48	朝日新聞	平成26年6月7日	プレーリードッグと コブハクチョウ　の赤ちゃん
49	西日本新聞	平成26年6月8日	地引き網体験
50	西日本新聞	平成26年6月11日	海の中道海浜公園開園前のキャンプ博多について
51	西日本新聞	平成26年6月11日	『大人のための1日飼育員体験』
52	読売新聞	平成26年6月11日	スロージョギング教室
53	読売新聞	平成26年6月14日	スポーツGOMI拾い
54	西日本新聞	平成26年6月18日	プレーリードッグの赤ちゃん
55	毎日新聞	平成26年6月18日	フラワーボランティア募集
56	西日本新聞	平成26年6月23日	西戸崎友好クラブ
57	読売新聞	平成26年6月23日	西戸崎友好クラブ
58	西日本新聞	平成26年6月24日	サンシャインプール広告
59	博多新聞（西日本新聞）	平成26年6月25日	カブトムシハウス
60	毎日新聞	平成26年6月25日	大人のための1日飼育員体験　募集
61	西日本新聞	平成26年6月29日	西戸崎友好クラブ
62	読売新聞	平成26年6月30日	サンシャインプール
	6月　小計	19件	
63	西日本新聞	平成26年7月1日	カブトムシハウス・ヒマワリ畑・　サンシャインプールの入場料　プレゼント
64	西日本新聞	平成26年7月2日	コキアでほうき
65	西日本新聞	平成26年7月5日	プールオープン
66	読売新聞	平成26年7月5日	コアジサシ応援隊イベント
67	西日本新聞	平成26年7月6日	海の中道のプール プレオープン

68	西日本新聞	平成26年7月8日	大人のための一日飼育員体験
69	朝日新聞	平成26年7月8日	7/11　HKT野外コンサート中止
70	宇部日報	平成26年7月10日	サンシャインプール親子ペア5組に招待券
71	毎日新聞	平成26年7月12日	サンシャインプール プレオープン
72	大分合同新聞	平成26年7月18日	サンシャインプール
73	読売新聞	平成26年7月19日	クワガタ・カブトムシハウス
74	読売新聞	平成26年7月22日	サンシャインプール
75	毎日新聞	平成26年7月22日	クワガタ・カブトムシハウス
76	毎日新聞	平成26年7月25日	うみなか自然発見塾
77	西日本新聞	平成26年7月31日	プール最高！九州猛暑日（じゃぶじゃぶ池）
	7月　小計	15件	
78	朝日新聞	平成26年8月1日	クワガタ・カブトムシハウス
79	西日本新聞	平成26年8月3日	西戸崎友好クラブ月例会
80	読売新聞	平成26年8月4日	西戸崎友好クラブ
81	朝日新聞	平成26年8月7日	サンシャインプール
82	西日本新聞	平成26年8月12日	クワガタカブトムシハウス
83	西日本新聞	平成26年8月13日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン
84	朝日新聞	平成26年8月14日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン
85	西日本新聞	平成26年8月16日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン
86	西日本新聞	平成26年8月17日	8月　猛暑日なし
87	読売新聞	平成26年8月19日	ふわふわ　コキア
88	日本経済新聞	平成26年8月19日	お盆のプールと水族館の入場者数
89	西日本新聞	平成26年8月20日	サンシャインプール
90	読売新聞	平成26年8月21日	大人のための1日飼育体験
91	朝日新聞	平成26年8月22日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014福岡
92	西日本新聞	平成26年8月23日	コキア　見頃
93	西日本新聞	平成26年8月25日	西戸崎友好クラブ
94	朝日新聞	平成26年8月25日	プール来場者減少
95	朝日新聞	平成26年8月27日	飲酒運転の取り締まり
96	博多新聞（西日本新聞）	平成26年8月27日	動物ふれあいDAY
97	読売新聞	平成26年8月28日	降水量　平年の倍、屋外施設不調　屋内施設は好調
98	毎日新聞	平成26年8月28日	プールの客足減
99	毎日新聞	平成26年8月29日	サンシャインプール
100	西日本新聞	平成26年8月31日	各施設の夏休みの来場者状況
	8月　小計	23件	
101	産経新聞	平成26年9月1日	夏休み最終日の行楽地
102	読売新聞	平成26年9月1日	西戸崎友好クラブ
103	毎日新聞	平成26年9月1日	サンシャインプール（夏休み最後のにぎわい）
104	西日本新聞	平成26年9月6日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン　2014　福岡　の告知イベント
105	朝日新聞	平成26年9月6日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン　2014　福岡　の告知イベント
106	朝日新聞	平成26年9月8日	飲酒運転の取り締まり
107	西日本新聞	平成26年9月10日	雁ノ巣干潟 護岸改修工事に伴い移動した生物のその後
108	朝日新聞	平成26年9月10日	コキア
109	毎日新聞	平成26年9月11日	OUTDOOR PARK IN UMINAKA
110	読売新聞	平成26年9月14日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン　2014福岡
111	西日本新聞	平成26年9月15日	パンパスグラス、園内の賑わい
112	西日本新聞	平成26年9月15日	昔遊び体験
113	西日本新聞	平成26年9月15日	2014県民さわやかマラソン大会
114	西日本新聞	平成26年9月17日	パンパスグラス
115	読売新聞	平成26年9月17日	パンパスグラス
116	読売新聞	平成26年9月17日	2014県民さわやかマラソン大会
117	熊本日日新聞	平成26年9月18日	OUTDOOR PARK IN UMINAKA
118	読売新聞	平成26年9月18日	OUTDOOR PARK IN UMINAKA
119	大分合同新聞	平成26年9月19日	OUTDOOR PARK IN UMINAKA
120	西日本新聞	平成26年9月20日	うみなか＊はなまつり【明日のメモ】
121	西日本新聞	平成26年9月21日	OUTDOOR PARK IN UMINAKA
122	西日本新聞	平成26年9月21日	「スペシャル感謝デー」 開催
123	朝日新聞	平成26年9月28日	うみなか＊はなまつり
124	西日本新聞	平成26年9月29日	西戸崎友好クラブ
125	読売新聞	平成26年9月29日	西戸崎友好クラブ
	9月　小計	25件	
126	西日本新聞	平成26年10月1日	コスモスだより
127	西日本新聞	平成26年10月2日	コスモスだより
128	読売新聞	平成26年10月2日	うみなか＊はなまつり2014
129	佐賀新聞	平成26年10月3日	うみなか＊はなまつり
130	西日本新聞	平成26年10月3日	コスモスだより
131	西日本新聞	平成26年10月4日	コスモスだより
132	毎日新聞	平成26年10月4日	うみなか＊はなまつり2014
133	西日本新聞	平成26年10月5日	コスモスだより
134	西日本新聞	平成26年10月5日	土木の日ファミリーフェスタ　、うみなか*はなまつり
135	読売新聞	平成26年10月5日	2014スーパーキッズトライアスロン選手権大会
136	西日本新聞	平成26年10月6日	コスモスだより

137	西日本新聞	平成26年10月7日	コスモスだより
138	西日本新聞	平成26年10月8日	コスモスだより
139	西日本新聞	平成26年10月9日	コスモスだより
140	西日本新聞	平成26年10月10日	コスモスだより
141	西日本新聞	平成26年10月11日	コスモスだより
142	朝日新聞	平成26年10月11日	コキア
143	朝日新聞	平成26年10月11日	全日写連撮影会
144	西日本新聞	平成26年10月12日	コスモスだより
145	西日本新聞	平成26年10月13日	コスモスだより
146	西日本新聞	平成26年10月15日	コスモスだより
147	西日本新聞	平成26年10月16日	コスモスだより
148	西日本新聞	平成26年10月17日	コスモスだより
149	大分合同新聞	平成26年10月17日	うみなか*はなまつり2014
150	西日本新聞	平成26年10月18日	コスモスだより
151	西日本新聞	平成26年10月19日	うみなか*はなまつり2014 ♂土木の日ファミリーフェスタ2014
152	西日本新聞	平成26年10月19日	コスモスだより
153	朝日新聞	平成26年10月19日	2014福岡・海の中道撮影会
154	西日本新聞	平成26年10月20日	コスモスだより
155	西日本新聞	平成26年10月20日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
156	西日本新聞	平成26年10月21日	コスモスだより
157	西日本新聞	平成26年10月22日	コスモスだより
158	西日本新聞	平成26年10月22日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
159	西日本新聞	平成26年10月23日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
160	西日本新聞	平成26年10月23日	コスモスだより
161	西日本新聞	平成26年10月23日	「うみなかクリスマスキャンドルナイト」アートデザイン募集
162	西日本新聞	平成26年10月24日	コスモスだより
163	西日本新聞	平成26年10月25日	コスモスだより
164	西日本新聞	平成26年10月26日	コスモスだより
165	西日本新聞	平成26年10月27日	Photo class in うみなか
166	西日本新聞	平成26年10月27日	コスモスだより
167	西日本新聞	平成26年10月28日	コスモスだより
168	西日本新聞	平成26年10月29日	コスモスだより
169	西日本新聞	平成26年10月29日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
170	西日本新聞	平成26年10月30日	コスモスだより
171	西日本新聞	平成26年10月31日	コスモスだより
172	西日本新聞	平成26年10月31日	第23回スイーツマラソンin福岡
	10月　小計	47件	
173	西日本新聞	平成26年11月2日	スーパーキッズトライアスロン選手権大会
174	西日本新聞	平成26年11月2日	西戸崎友好クラブ月例会
175	西日本新聞	平成26年11月3日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
176	読売新聞	平成26年11月3日	西戸崎友好クラブ
177	西日本新聞	平成26年11月6日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
178	西日本新聞	平成26年11月16日	土木の日ファミリーフェスタ
179	西日本新聞	平成26年11月16日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
180	西日本新聞	平成26年11月17日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
181	西日本新聞	平成26年11月19日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
182	読売新聞	平成26年11月20日	チューリップ球根植え付け体験募集
183	西日本新聞	平成26年11月22日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト
184	西日本新聞	平成26年11月23日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
185	毎日新聞	平成26年11月26日	Color Me Rad FUKUOKA
186	読売新聞	平成26年11月27日	スロージョギング教室 in海の中道
187	西日本新聞	平成26年11月28日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
188	西日本新聞	平成26年11月30日	西戸崎友好クラブ月例会
	11月　小計	16件	
189	西日本新聞	平成26年12月1日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
190	読売新聞	平成26年12月1日	西戸崎友好クラブ
191	博多新聞(西日本新聞)	平成26年12月3日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
192	西日本新聞	平成26年12月4日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
193	西日本新聞	平成26年12月4日	うみなかクリスマス・キャンドルナイト　ボランティア募集
194	読売新聞	平成26年12月4日	干支の地上絵を作ろう！
195	西日本新聞	平成26年12月5日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
196	西日本新聞	平成26年12月9日	動物の森「ヒツジフォトサービス」
197	西日本新聞	平成26年12月10日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
198	読売新聞	平成26年12月11日	うみなかクリスマスキャンドルナイト　ボランティア募集
199	西日本新聞	平成26年12月13日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
200	西日本新聞	平成26年12月14日	2014県民さわやかマラソン大会
201	西日本新聞	平成26年12月16日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
202	西日本新聞	平成26年12月18日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
203	長崎新聞	平成26年12月18日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
204	読売新聞	平成26年12月18日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
205	西日本新聞	平成26年12月19日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡
206	西日本新聞	平成26年12月19日	第28回はるかぜマラソン大会
207	朝日新聞	平成26年12月19日	2014福岡・海の中道撮影会　各賞の入賞者が決定

208	西日本新聞	平成26年12月21日	干支の地上絵
209	毎日新聞	平成26年12月21日	花の地上絵の写真
210	西日本新聞	平成26年12月24日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
211	毎日新聞	平成26年12月24日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
212	朝日新聞	平成26年12月25日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
213	読売新聞	平成26年12月25日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
214	朝日新聞	平成26年12月29日	ヒツジの地上絵
215	毎日新聞	平成26年12月29日	ヒツジの地上絵
216	朝日新聞	平成26年12月30日	新春イベント情報「たこ作り、ダルマ絵付け」
217	読売新聞	平成26年12月30日	新春イベント情報「たこ作り、ダルマ絵付け」
218	西日本新聞	平成26年12月31日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
	12月　小計	30件	
219	読売新聞	平成27年1月4日	ヒツジの地上絵
220	西日本新聞	平成27年1月4日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
221	西日本新聞	平成27年1月5日	浸透圧発電
222	毎日新聞	平成27年1月5日	ヒツジのフォトサービス
223	西日本新聞	平成27年1月6日	うみなかボールフェスタ
224	読売新聞	平成27年1月8日	全国スイーツマラソン大会
225	西日本新聞	平成27年1月9日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
226	西日本新聞	平成27年1月10日	新春餅つき大会
227	西日本新聞	平成27年1月12日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
228	西日本新聞	平成27年1月13日	第23回全国スイーツマラソン　in福岡　参加者募集
229	朝日新聞	平成27年1月15日	第２９回海の中道市民クロカン 参加者募集
230	西日本新聞	平成27年1月20日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
231	西日本新聞	平成27年1月22日	第3回国営海の中道海浜公園グラウンド・ゴルフ大会参加者募集
232	西日本新聞	平成27年1月23日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
233	西日本新聞	平成27年1月23日	スロージョギング
234	西日本新聞	平成27年1月27日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
	1月　小計	16件	
235	西日本新聞	平成27年2月1日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
236	西日本新聞	平成27年2月2日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
237	西日本新聞	平成27年2月3日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
238	西日本新聞	平成27年2月4日	第3回海の中道海浜公園グラウンド・ゴルフ大会
239	読売新聞	平成27年2月5日	第3回海の中道海浜公園グラウンド・ゴルフ大会
240	西日本新聞	平成27年2月5日	環境共生の森サポートボランティア募集
241	西日本新聞	平成27年2月6日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
242	西日本新聞	平成27年2月13日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
243	中日新聞	平成27年2月13日	福岡国際クロスカントリー大会
244	朝日新聞	平成27年2月15日	海の中道フラワーピクニック2015　花の植え付けボランティア募集
245	毎日新聞	平成27年2月15日	海の中道フラワーピクニック2015　花の植え付けボランティア募集
246	西日本新聞	平成27年2月15日	海の中道フラワーピクニック2015　花の植え付けボランティア募集
247	読売新聞	平成27年2月15日	海の中道フラワーピクニック2015　花の植え付けボランティア募集
248	朝日新聞	平成27年2月17日	ナノハナ畑
249	読売新聞	平成27年2月19日	花の植え付けボランティア募集
250	西日本新聞	平成27年2月20日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
251	朝日新聞	平成27年2月21日	福岡国際クロスカントリーに出場する選手の記者会見
252	朝日新聞	平成27年2月21日	福岡国際クロスカントリー
253	西日本新聞	平成27年2月21日	スロージョギング
254	毎日新聞	平成27年2月22日	福岡国際クロスカントリー選手権
255	西日本新聞	平成27年2月22日	福岡国際クロスカントリー
256	朝日新聞	平成27年2月22日	福岡国際クロスカントリー
257	博多新聞（西日本新聞）	平成27年2月25日	海の中道フラワーピクニック　2015
258	西日本新聞	平成27年2月26日	うみなかキッズコンサート出演者募集
	2月　小計	8件	
259	西日本新聞	平成27年3月2日	福岡国際クロスカントリー
260	読売新聞	平成27年3月5日	うみなかキッズコンサート出演者募集中！
261	西日本新聞	平成27年3月6日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
262	朝日新聞	平成27年3月8日	福岡国際クロスカントリー
263	西日本新聞	平成27年3月9日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
264	西日本新聞	平成27年3月12日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
265	西日本新聞	平成27年3月16日	海の中道フラワーピクニック2015
266	東京新聞	平成27年3月19日	海の中道フラワーピクニック2015
267	朝日新聞	平成27年3月20日	春の癒しスポット　海の中道海浜公園
268	西日本新聞	平成27年3月25日	サクラだより
269	西日本新聞	平成27年3月25日	フラワーピクニック2015
270	読売新聞	平成27年3月26日	海の中道フラワーピクニック
271	西日本新聞	平成27年3月26日	海の中道観覧車 ８月末廃止
272	西日本新聞	平成27年3月26日	海の中道フラワーピクニック2015
273	西日本新聞	平成27年3月26日	サクラだより
274	西日本新聞	平成27年3月27日	サクラだより
275	西日本新聞	平成27年3月28日	サクラだより
276	西日本新聞	平成27年3月29日	サクラだより

277	毎日新聞	平成27年3月29日	大観覧車8月で終了
278	西日本新聞	平成27年3月30日	サクラだより
279	毎日新聞	平成27年3月30日	海の中道はるかぜマラソン
280	西日本新聞	平成27年3月31日	サクラだより
	3月　小計	22件	

【平成26年度　テレビ　報道件数】

	媒体名	年月日	内容
1	TVQ	平成26年4月4日	フラワーピクニック開催（ネモフィラ・チューリップ）
2	KBC（九州朝日放送）	平成26年4月9日	花の地上絵（ネモフィラ）
3	FBS（福岡放送）	平成26年4月9日	ネモフィラ（花の丘）
4	FBS（福岡放送）	平成26年4月10日	「生活最強!物体X」のコーナーで、西サイクリングセンターでの便利グッズを使っての自転車整備状況を紹介。自転車のメンテナンス後、海の中道フラワーピクニック開催中の花いっぱいの公園内でのサイクリングの魅力を紹介
5	TNC（テレビ西日本）	平成26年4月10日	花の丘のネモフィラ
6	RKB	平成26年4月10日	花の地上絵
7	J-COM	平成26年4月11日	うみなか夢プログラム「みんなで歌おうプロジェクト」開催の様子
8	RKB	平成26年4月11日	フラワーピクニックイベント・見ごろの花の紹介
9	TNC（テレビ西日本）	平成26年4月15日	ヤギ駅長
10	NHK	平成26年4月24日	視聴者投稿（チューリップ、花の地上絵、花の丘）
11	RKB	平成26年4月25日	動物とのふれあい
12	KBC（九州朝日放送）	平成26年4月26日	GWの情報（C-1 cup in Uminakaなど）
13	KBC（九州朝日放送）	平成26年4月29日	福岡のホットな話題をタイムリーにお届けする企画コーナー「深オイ」で、「C-1 CUP in Uminaka」を紹介
14	TNC（テレビ西日本）	平成26年4月29日	C-1cup
15	FBS（福岡放送）	平成26年4月29日	花の地上絵、無料日の告知
	4月　小計	15件	
16	TVQ	平成26年5月2日	フラワーピクニック（ネモフィラ・バラ）
17	NOTTV	平成26年5月3日	公園を楽しむ様子
18	BSジャパン	平成26年5月3日	3/22日経新聞「日経プラスワン」に紹介された公園ランキングの紹介　海の中道海浜公園の紹介
19	KBC（九州朝日放送）	平成26年5月3日	GWのおでかけ情報（無料日の案内、園内の花など）
20	RKB	平成26年5月6日	フラワーピクニック（GW期間中のにぎわい）
21	KBC（九州朝日放送）	平成26年5月7日	フラワーピクニック（GW期間中の公園風景）
22	KBC（九州朝日放送）	平成26年5月7日	笑いヨガ体験教室の様子
23	KBC（九州朝日放送）	平成26年5月16日	バラ園、バラまつり
24	TNC（テレビ西日本）	平成26年5月17日	バラ園
25	KBC（九州朝日放送）	平成26年5月23日	スイレン
26	TVQ	平成26年5月27日	スイレン
	5月　小計	11件	
27	TNC（テレビ西日本）	平成26年6月3日	コブハクチョウの赤ちゃん
28	KBC（九州朝日放送）	平成26年6月4日	動物の赤ちゃん
29	TVQ	平成26年6月4日	プレーリードッグとコブハクチョウの赤ちゃん
30	J-COM	平成26年6月6日	動物の森
31	KBC（九州朝日放送）	平成26年6月9日	モルモットの赤ちゃん
32	KBC（九州朝日放送）	平成26年6月9日	動物の森の赤ちゃん誕生（朝日新聞記事）
33	フジテレビ	平成26年6月10日	女優上原美佐氏が園内を散策している様子を撮影♂福岡ベイエリア観光スポット紹介
34	TNC（テレビ西日本）	平成26年6月10日	プレーリードッグの赤ちゃん
35	TNC（テレビ西日本）	平成26年6月17日	リスザルの赤ちゃん
36	TVQ	平成26年6月19日	リスザルの赤ちゃん
37	KBC（九州朝日放送）	平成26年6月20日	リスザルの赤ちゃん
38	FBS（福岡放送）	平成26年6月27日	リスザルの赤ちゃん
	6月　小計	12件	
39	FBS（福岡放送）	平成26年7月1日	中継（動物の赤ちゃん、1日飼育体験告知）
40	FBS（福岡放送）	平成26年7月7日	サンシャインプール
41	TNC（テレビ西日本）	平成26年7月12日	プール開き
42	TVQ	平成26年7月12日	プール開き
43	FBS（福岡放送）	平成26年7月12日	サンシャインプール
44	KBC（九州朝日放送）	平成26年7月12日	サンシャインプール
45	NHK福岡放送局	平成26年7月12日	サンシャインプール
46	NHK福岡放送局	平成26年7月12日	サンシャインプール
47	NHK	平成26年7月17日	ハマナデシコ
48	NHK	平成26年7月17日	ハマナデシコ
49	TVQ	平成26年7月19日	ゴーカートなど（海の中道界隈のレジャースポット）
50	RKB	平成26年7月21日	デイキャンプ場♂利用者へのインタビューなど（生中継）
51	TNC（テレビ西日本）	平成26年7月21日	クワガタ・カブトムシハウス
52	FBS（福岡放送）	平成26年7月21日	大人のための一日飼育体験　サンシャインプール
53	RKB	平成26年7月22日	クワガタ・カブトムシハウス
54	NHK	平成26年7月24日	フラワーミュージアム
55	フジテレビ	平成26年7月25日	園内のヒマワリ『テディベアを紹介』
56	TVQ	平成26年7月25日	クワガタ・カブトムシハウス
57	TNC（テレビ西日本）	平成26年7月28日	サンシャインプール
58	KBC（九州朝日放送）	平成26年7月30日	サンシャインプール（お客様にインタビュー）
	7月　小計	20件	
59	NCC長崎文化放送	平成26年8月1日	サンシャインプール
60	YAB山口朝日放送	平成26年8月2日	サンシャインプール
61	KBC（九州朝日放送）	平成26年8月4日	サンシャインプール
62	STSサガテレビ	平成26年8月6日	サンシャインプール
63	TNC（テレビ西日本）	平成26年8月11日	プール（お盆前の賑わい）
64	NHK	平成26年8月12日	虹の池　コキア
65	RKB	平成26年8月13日	サンシャインプール
66	RKB	平成26年8月13日	サンシャインプール（お盆のにぎわい）
67	NHK	平成26年8月14日	サンシャインプール（お盆のにぎわい）
68	RKB	平成26年8月14日	サンシャインプール
69	FBS（福岡放送）	平成26年8月16日	コアジサシ保護の取り組み
70	KBC（九州朝日放送）	平成26年8月18日	雨続きで行楽地・客足減（海の中道サンシャインプール）西日本新聞記事紹介

71	KBC（九州朝日放送）	平成26年8月18日	雨続きで客足減（海の中道サンシャインプール）朝日新聞記事紹介
72	RKB	平成26年8月19日	サンシャインプール
73	RKB	平成26年8月21日	サンシャインプール
74	RKB	平成26年8月23日	動物の森、パークトレイン、ワンダーシャトル
75	FBS（福岡放送）	平成26年8月25日	コキア
76	TVQ	平成26年8月28日	パンパスグラス・コキア
77	TNC（テレビ西日本）	平成26年8月29日	サンシャインプール
78	FBS（福岡放送）	平成26年8月29日	プールの入園者数低について
79	RKB	平成26年8月31日	ラグビー交流試合
	8月　小計	21件	
80	TVQ	平成26年9月1日	サンシャインプール（入園者数低について）
81	NOTTV	平成26年9月5日	宝塚歌劇の次世代を担うタカラジェンヌと旬な有名人が海の中道海浜公園を訪れる様子を撮影。観覧車から公園を紹介するほか、野外劇場などを撮影予定。
82	TVQ	平成26年9月6日	サンシャインプール（密着取材：スタッフ等）
83	FBS（福岡放送）	平成26年9月10日	パンパスグラス（フラワーミュージアム）
84	KBC（九州朝日放送）	平成26年9月20日	OUTDOOR PARK IN UMINAKAについて
85	TNC（テレビ西日本）	平成26年9月21日	動物ふれあいDAY
	9月　小計	6件	
86	YAB 山口朝日放送	平成26年10月3日	はなまつり告知
87	NCC長崎文化放送	平成26年10月3日	はなまつり告知
88	FBS（福岡放送）	平成26年10月9日	コキア
89	サガテレビ	平成26年10月9日	はなまつり告知
90	J-COM	平成26年10月14日	うみなか＊はなまつり（生電話）
91	NHK	平成26年10月14日	コキア
92	NHK	平成26年10月14日	コキア
93	TNC（テレビ西日本）	平成26年10月14日	スーパーキッズトライアスロン
94	KBC（九州朝日放送）	平成26年10月16日	コキア
95	FBS（福岡放送）	平成26年10月16日	コスモス
96	KBC（九州朝日放送）	平成26年10月18日	おやこフェスタ2014in海の中道海浜公園【中継】
97	FBS（福岡放送）	平成26年10月26日	うみなか＊はなまつりの様子
98	KBC（九州朝日放送）	平成26年10月30日	海の中道レンタサイクルについて、公園内でサイクリング風景撮影
	10月　小計	13件	
99	J-COM	平成26年11月26日	うみなかクリスマスキャンドルナイト（生電話）
	11月　小計	1件	
100	NHK	平成26年12月9日	ネリネ（季節の映像）
101	NHK	平成26年12月12日	ネリネ（季節の映像）
102	FBS（福岡放送）	平成26年12月15日	干支ヒツジの地上絵
103	NHK	平成26年12月17日	ハボタン（季節の映像）
104	NHK	平成26年12月18日	干支の地上絵
105	TNC（テレビ西日本）	平成26年12月18日	干支の地上絵
106	KBC（九州朝日放送）	平成26年12月20日	クリスマスキャンドルナイトについて
107	TVQ	平成26年12月21日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
108	FBS（福岡放送）	平成26年12月23日	クリスマスキャンドルナイト 生中継
109	TNC（テレビ西日本）	平成26年12月23日	クリスマスキャンドルナイト 生中継
110	TVQ	平成26年12月24日	クリスマスキャンドルナイト
111	KBC（九州朝日放送）	平成26年12月24日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
112	RKB	平成26年12月25日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
113	NHK	平成26年12月26日	干支の地上絵
	12月　小計	14件	
114	FBS（福岡放送）	平成27年1月5日	動物の森のヒツジ
115	J-COM	平成27年1月7日	新春もちつき大会（生電話）
116	KBC（九州朝日放送）	平成27年1月8日	あったか特集の前ふりで、ヒツジと撮影+フォトサービスも紹介あり
117	RKB	平成27年1月12日	新春もちつき大会、冬咲きチューリップ
	1月　小計	4件	
118	J-COM	平成27年2月1日	新春もちつき大会、サッカーゲーム等
119	TVQ	平成27年2月3日	ナノハナ畑
120	TNC（テレビ西日本）	平成27年2月7日	ナノハナ畑より天気予報を生中継（簡易中継）
121	TNC（テレビ西日本）	平成27年2月10日	ナノハナ畑の開花情報
122	RKB	平成27年2月13日	菜の花と動物たち
123	FBS（福岡放送）	平成27年2月17日	動物の森にてリクガメの温浴の作業風景♂動物の森のナノハナ
124	FBS（福岡放送）	平成27年2月18日	ナノハナ畑・ニホンスイセン・ウメ
125	FBS（福岡放送）	平成27年2月19日	ナノハナ畑・ニホンスイセン・ウメ
	2月　小計	8件	
126	東京MXテレビ	平成27年3月2日	アイドル「東京パフォーマンスドール」の福岡出身の浜崎香帆というメンバーが「紹介したい福岡の観光地ベスト3」といった題目で海の中道海浜公園を紹介
127	TNC（テレビ西日本）	平成27年3月4日	クリスマスローズ
128	J-COM	平成27年3月25日	海の中道フラワーピクニック告知（生電話）
129	RKB	平成27年3月26日	西日本新聞の記事を受けて、観覧車営業中止の案内
130	KBC（九州朝日放送）	平成27年3月26日	観覧車営業中止について
131	KBC（九州朝日放送）	平成27年3月27日	観覧車について(福岡の観覧車スポット3か所を紹介)
	3月　小計	6件	

【平成26年度　ラジオ　報道件数】

	媒体名	年月日	内容
1	KBCラジオ	平成26年4月2日	フラワーピクニック（GW期間までのイベント案内・花情報など）
2	RKBラジオ	平成26年4月14日	フラワーピクニック（ネモフィラなど）
3	LOVE　FM	平成26年4月25日	C-1 cup in uminaka
	4月　小計	3件	
4	RKBラジオ	平成26年5月10日	うみなかバラまつり2014
5	KBCラジオ	平成26年5月16日	うみなかバラまつり2014
6	RKBラジオ	平成26年5月31日	スポーツゴミ拾い大会の様子
7	RKBラジオ	平成26年5月31日	大人のための一日飼育員体験
	5月　小計	4件	
8	RKBラジオ	平成26年7月12日	プールオープン
	7月　小計	1件	
9	RKBラジオ	平成26年8月19日	プールの様子（雨続きの中で昨年との比較）
10	KBCラジオ	平成26年8月28日	コキアの様子
	8月　小計	2件	
11	RKBラジオ	平成26年9月15日	動物の森、サンシャインプール
12	エフエム福岡	平成26年9月18日	プチボランティアの紹介
13	KBCラジオ	平成26年9月19日	OUTDOOR PARK IN UMINAKA開催予告
	9月　小計	3件	
14	FM福岡	平成26年10月3日	うみなかはなまつり告知
15	FM福岡	平成26年10月9日	うみなかはなまつり告知
16	FM福岡	平成26年10月14日	うみなかはなまつり告知
17	FM福岡	平成26年10月17日	うみなかはなまつり告知
	10月　小計	4件	
18	KBCラジオ	平成26年12月17日	【生電話】クリスマスキャンドルナイト・ヒツジのフォトサービス
	12月　小計	1件	
19	RKBラジオ	平成27年1月2日	動物の森のヒツジ、フォトサービス
20	KBCラジオ	平成27年1月9日	1/12　新春餅つき大会、サッカー体験
	1月　小計	2件	

【平成26年度　雑誌　報道件数】

	媒体名	年月日	内容
1	まっぷる	平成26年4月1日	公園全体の紹介
2	じゃらん	平成26年4月1日	海の中道フラワーピクニック2014
3	まっぷる	平成26年4月1日	海の中道海浜公園の紹介
4	福岡ウォーカー	平成26年4月19日	C-1カップ、うみなかバラまつり、CIRCLE’14、福岡FUNランリレーマラソンin海の中道
5	新假期（香港雑誌）	平成26年4月21日	フラワーピクニック2014
6	月刊スキップ	平成26年4月21日	海の中道フラワーピクニック2014
7	月刊情報タウンみやざき	平成26年4月27日	うみなかバラまつり2014
	4月　小計	7件	
8	じゃらん	平成26年5月1日	公園内の紹介
9	ファンファンファンwithはっぴーママ	平成26年5月1日	うみなかバラまつり2014　紹介
10	月刊スキップ	平成26年5月20日	NUMBER　SHOT2014
	5月　小計	3件	
11	月刊情報タウンみやざき	平成26年6月1日	うみなかバラまつり2014
12	おともだち	平成26年6月1日	公園内の紹介
13	じゃらん	平成26年6月1日	デイキャンプ場
14	じゃらん	平成26年6月1日	サンシャインプール
15	九州ウォーカー	平成26年6月13日	NUMBER SHOT 2014、デイキャンプ場、プール
16	福岡ウォーカー	平成26年6月20日	「海の中道サンシャインプール」 オープン
17	九州ウォーカー	平成26年6月27日	サンシャインプール・デイキャンプ場
	6月　小計	7件	
18	月刊情報タウンみやざき	平成26年7月1日	NUMBER　SHOT 2014　カブトムシハウス
19	ファンファンファンwithはっぴーママ	平成26年7月1日	サンシャインプール・動物の森など♂サンシャインプール招待券
20	福岡ウォーカー	平成26年7月19日	NUMBER SHOT
21	女性自身	平成26年7月29日	デイキャンプ場でバーベキュー
	7月　小計	4件	
22	月刊情報タウンみやざき	平成26年8月1日	森の楽校
23	行楽（中国旅行情報誌）	平成26年8月5日	園内全般
24	福岡ウォーカー	平成26年8月20日	ディスクゴルフ体験、OUTDOOR　PARK IN　UMINAKA
	8月　小計	3件	
25	ファンファンファンwithはっぴーママ	平成26年9月1日	うみなか＊はなまつり
26	月刊情報タウンみやざき	平成26年9月1日	OUTDOOR PARK IN UMINAKA
27	犬吉猫吉	平成26年9月1日	ドッグラン
28	じゃらん	平成26年9月1日	うみなか＊はなまつり　2014　♂デイキャンプ場
29	福岡ウォーカー	平成26年9月20日	うみなか＊はなまつり
	9月　小計	5件	
30	月刊情報タウンみやざき	平成26年10月1日	うみなか*はなまつり
31	じゃらん	平成26年10月1日	うみなか*はなまつり　2014
32	旅の手帖	平成26年10月10日	うみなか＊はなまつり　2014
33	福岡ウォーカー	平成26年10月20日	第3回福岡FUNラン、リレーマラソンin海の中道
	10月　小計	4件	
34	JUST　HEALTH	平成26年11月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
35	ファンファンファンwithはっぴーママ	平成26年11月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
36	月刊スキップ	平成26年11月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
	11月　小計	3件	
37	じゃらん	平成26年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
38	KYUSHUデートスペシャルなび	平成26年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2014
39	anemone	平成26年12月9日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
40	福岡ウォーカー	平成26年12月12日	ヒツジのフォトスタンド　干支の地上絵
	12月　小計	4件	
41	月刊情報タウンみやざき	平成27年1月1日	お正月をあそぼう（凧作り）
42	ファンファンファンwithはっぴーママ	平成27年1月1日	ヒツジのフォトサービス
43	福岡ウォーカー	平成27年1月20日	第3回福岡FUNランリレーマラソンin海の中道
	1月　小計	3件	
44	月刊情報タウンみやざき	平成27年2月1日	ふれあい動物舎
45	子づれDECHA・CHA・CHA	平成27年2月10日	海の中道フラワーピクニック2015
46	Leak（リーク）	平成27年2月20日	海の中道フラワーピクニック2015
47	九州ウォーカー	平成27年2月20日	第28回海の中道フラワーピクニック2015
	2月　小計	4件	
48	ファンファンファンwithはっぴーママ	平成27年3月1日	海の中道フラワーピクニック2015
49	月刊ホークス	平成27年3月1日	うみなかボールフェスタin海の中道海浜公園
50	月刊情報タウンみやざき	平成27年3月1日	森の楽校
	3月　小計	3件	

【平成26年度　情報誌・その他　報道件数】

	媒体名	年月日	内容
1	るるぶFREE	平成26年4月1日	ジャパン　トライアスロン　EKIDEN　イン福岡
2	福岡市政だより	平成26年4月1日	大合唱プロジェクト「うみなか元気な夢のコンサート」
3	JR九州だより	平成26年4月1日	香椎駅フラワーガーデン
4	情報プラザ通信	平成26年4月1日	海の中道フラワーピクニック2014
5	たいたいBOOK	平成26年4月1日	公園施設案内
6	New Flash（メイク・ア・ウィッシュオブジャパン）	平成26年4月1日	第3回チャリティラン＆ウォークinうみなか
7	オーシャンズ・フクオカ	平成26年4月1日	海の中道フラワーピクニック2014
8	A.C.P.C.navi Yearbook	平成26年4月1日	公園施設紹介
9	住友生命保険相互会社カレンダー	平成26年4月1日	海の中道フラワーピクニック2014
10	サンデー福岡都心	平成26年4月5日	公園見守り隊募集
11	サンデー福岡東区	平成26年4月5日	公園見守り隊募集
12	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年4月12日	平成27年の「花の地上絵」デザイン募集
13	サンデー福岡都心	平成26年4月12日	平成27年の「花の地上絵」デザイン募集
14	サンデー福岡東区	平成26年4月12日	平成27年の「花の地上絵」デザイン募集
15	ワイヤーママ佐賀版	平成26年4月14日	海の中道フラワーピクニック2014
16	リトル・ママ	平成26年4月15日	海の中道フラワーピクニック2014
17	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年4月19日	笑いヨガ体験教室参加者募集
18	サンデー福岡東区	平成26年4月19日	笑いヨガ体験教室参加者募集
19	サンデー福岡都心	平成26年4月19日	笑いヨガ体験教室参加者募集
20	遊・悠・WEST　5月・6月号	平成26年4月20日	公園施設紹介
21	チャオ	平成26年4月25日	うみなかバラまつり2014
22	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年4月26日	スポーツGOMI拾い大会inうみなか参加チーム募集
23	サンデー福岡都心	平成26年4月26日	スポーツGOMI拾い大会inうみなか参加チーム募集
24	サンデー福岡東区	平成26年4月26日	スポーツGOMI拾い大会inうみなか参加チーム募集
	4月　小計	24件	
25	福岡市政だより	平成26年5月1日	デコイ（鳥の模型）作り
26	MOCO(モコ)	平成26年5月1日	サイクリングの紹介
27	福岡県民共済「いいね」	平成26年5月1日	動物とのふれあい紹介
28	福岡市修学旅行　学習・体験ブック	平成26年5月1日	森づくり体験・海岸清掃
29	サンデー福岡東区	平成26年5月10日	うみなかバラまつり2014
30	けん・けん・ぱ！	平成26年5月10日	自転車安全教室の開催　紹介
31	サンデー福岡都心	平成26年5月10日	うみなかバラまつり2014
32	サンデー福岡東区	平成26年5月17日	ZOOナビ毎日開催中！
33	サンデー福岡都心	平成26年5月17日	ZOOナビ毎日開催中！
34	サンデー福岡東区	平成26年5月24日	フラワーボランティア募集中
35	サンデー福岡都心	平成26年5月24日	フラワーボランティア募集中
36	めさーじゅ	平成26年5月26日	あじさいの小径
37	サンデー福岡都心	平成26年5月31日	動物のお医者さんに聞いてみよう
38	サンデー福岡東区	平成26年5月31日	動物のお医者さんに聞いてみよう
	5月　小計	14件	
39	情報プラザ通信	平成26年6月1日	あじさいの小径
40	ぱど東区・新宮エリア	平成26年6月1日	動物の森　バースデーサービス
41	ぱど吉塚・箱崎・糟屋エリア	平成26年6月1日	動物の森　バースデーサービス
42	クロスロードふくおか	平成26年6月1日	夏休みは うみなかで遊ぼう！
43	サンデー福岡都心	平成26年6月7日	親子でコアジサシのデコイを作ろう
44	サンデー福岡東区	平成26年6月7日	親子でコアジサシのデコイを作ろう
45	Brillo	平成26年6月9日	園内の紹介
46	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年6月14日	光と風の広場デイキャンプ場　・うみなかファミリーフェスタ
47	サンデー福岡東区	平成26年6月14日	光と風の広場デイキャンプ場　・うみなかファミリーフェスタ
48	サンデー福岡東区	平成26年6月14日	光と風の広場デイキャンプ場　・うみなかファミリーフェスタ
49	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年6月21日	大人のための1日飼育体験 参加募集
50	サンデー福岡都心	平成26年6月21日	大人のための1日飼育体験 参加募集
51	サンデー福岡東区	平成26年6月21日	大人のための1日飼育体験 参加募集
52	めさーじゅ	平成26年6月25日	Color Me Red FUKUOKA　　2014福岡県民さわやかマラソン大会
53	チャオ	平成26年6月27日	サンシャインプール
54	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年6月28日	自然学び体験教室　草花のステンドグラスづくり
55	サンデー福岡東区	平成26年6月28日	自然学び体験教室　草花のステンドグラスづくり
56	サンデー福岡都心	平成26年6月28日	自然学び体験教室　草花のステンドグラスづくり
	6月　小計	18件	
57	野鳥だより	平成26年7月1日	野鳥の池・カモ池　　ガン・カモハクチョウ類調査結果
58	オーシャンズ・フクオカ	平成26年7月1日	福岡トライアスロンフェスタ2014
59	わくわく課外授業	平成26年7月1日	夏のイベント告知、スーパーキッズ トライアスロン選手権大会
60	福岡市修学旅行学習・体験ガイドブック	平成26年7月1日	海と森の自然について学ぶ体験プログラム♂国営海の中道海浜公園
61	情報プラザ通信	平成26年7月1日	光と風の広場　デイキャンプ場
62	ぱど	平成26年7月1日	海の中道サンシャインプール＆カブトムシハウス
63	あんふぁん	平成26年7月4日	じゃぶじゃぶ池・子供のとりでなど
64	サンデー福岡都心	平成26年7月5日	クワガタ・カブトムシハウスがオープン
65	サンデー福岡東区	平成26年7月5日	クワガタ・カブトムシハウスがオープン
66	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年7月5日	クワガタ・カブトムシハウスがオープン
67	けん・けん・ぱ！	平成26年7月10日	じゃぶじゃぶ池（夏のレジャー特集）
68	リトル・ママ	平成26年7月10日	サンシャインプール
69	ワイヤーママ佐賀版	平成26年7月14日	サンシャインプール　動物の森にカブトムシハウスが登場♂サンシャインプール招待券
70	そらいろ	平成26年7月15日	サンシャインプール・カブトムシハウス　オープン　サンシャインプール親子ペア招待券
71	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年7月19日	サンシャインプール、サンシャインプール入場券プレゼント、動物の森一日飼育員参加者募集
72	サンデー福岡都心	平成26年7月19日	サンシャインプール、サンシャインプール入場券プレゼント、動物の森一日飼育員参加者募集
73	サンデー福岡東区	平成26年7月19日	サンシャインプール、サンシャインプール入場券プレゼント、動物の森一日飼育員参加者募集
	7月　小計	17件	
74	ぱど東区・新宮エリア	平成26年8月1日	サンシャインプールの親子ペア招待券
75	ぱど吉塚・箱崎・糟屋エリア	平成26年8月1日	サンシャインプールの親子ペア招待券
76	ラーラぱど	平成26年8月1日	サンシャインプールの親子ペア招待券
77	サンデー福岡東区	平成26年8月9日	草刈りボランティア募集
78	ふくおかニュース	平成26年8月25日	うみなか＊はなまつり 2014
79	フクオカ・ビィーキ	平成26年8月29日	動物の森
80	サンデー福岡都心	平成26年8月30日	昔遊びの広場
81	サンデー福岡東区	平成26年8月30日	昔遊びの広場
	8月　小計	8件	
82	クロスロードふくおか	平成26年9月1日	うみなか＊はなまつり2014
83	福たび	平成26年9月1日	うみなか＊はなまつり2014
84	情報プラザ通信	平成26年9月1日	うみなか＊はなまつり
85	福岡市政だより	平成26年9月1日	OUTDOOR PARK IN UMINAKA
86	サンデー福岡都心	平成26年9月6日	動物の森　バースデーサービス
87	サンデー福岡東区	平成26年9月6日	動物の森　バースデーサービス
88	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年9月13日	OUTDOOR PARK IN UMINAKA
89	サンデー福岡都心	平成26年9月13日	OUTDOOR PARK IN UMINAKA
90	サンデー福岡東区	平成26年9月13日	OUTDOOR PARK IN UMINAKA
91	リトル・ママ	平成26年9月20日	おやこフェスタ2014

92	サンデー福岡都心	平成26年9月20日	動物ふれあいDAY　ZOOナビ
93	サンデー福岡東区	平成26年9月20日	動物ふれあいDAY　ZOOナビ
94	めさーじゅ	平成26年9月25日	Color Me Rad FUKUOKA♂2014福岡県民さわやかマラソン大会
95	めさーじゅ	平成26年9月25日	うみなかクリスマス　キャンドルナイト
96	チャオ	平成26年9月26日	うみなか＊はなまつり
97	ポス	平成26年9月26日	うみなか＊はなまつり
98	ぐるなび	平成26年9月26日	うみなか＊はなまつり
	9月　小計	17件	
99	ぱど	平成26年10月1日	土木の日ファミリーフェスタ2014
100	福岡市政だより	平成26年10月1日	県民さわやかマラソン大会
101	フクオカ・サイエンスマンス	平成26年10月1日	紙ヒコーキ体験教室・草木染め体験・クリスマスクラフトづくり
102	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年10月4日	うみなか*はなまつり2014
103	サンデー福岡都心	平成26年10月4日	うみなか*はなまつり2014
104	サンデー福岡東区	平成26年10月4日	うみなか*はなまつり2014
105	サンデー下関	平成26年10月4日	うみなか*はなまつり2014
106	福岡市政だより	平成26年10月15日	海の中道遺跡
107	needs Hong Kong	平成26年10月15日	うみなか＊はなまつり2014
108	サンデー福岡東区	平成26年10月18日	うみなかキャンドルナイト　みんなのデザイン大募集
109	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年10月18日	うみなかキャンドルナイト　みんなのデザイン大募集
110	サンデー福岡都心	平成26年10月18日	うみなかキャンドルナイト　みんなのデザイン大募集
111	サンデー福岡東区	平成26年10月25日	期間限定　花時計売店
112	サンデー福岡都心	平成26年10月25日	期間限定　花時計売店
113	リセット	平成26年10月26日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
114	リセット	平成26年10月26日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
115	住友生命保険相互会社カレンダー	平成26年10月29日	うみなか*はなまつり　2014
	10月　小計	17件	
116	サンデー福岡東区	平成26年11月1日	コスモス抜き取りボランティア参加者募集
117	サンデー福岡都心	平成26年11月1日	コスモス抜き取りボランティア参加者募集
118	福たび	平成26年11月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
119	福岡観光マップ トマールフクオカ	平成26年11月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
120	家族応援BOOK	平成26年11月1日	ポニー乗馬体験♂動物ふれあい広場・森の楽校～木工作体験～
121	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年11月8日	スロージョギング教室in海の中道参加者募集
122	サンデー福岡都心	平成26年11月8日	スロージョギング教室in海の中道参加者募集
123	サンデー福岡東区	平成26年11月8日	スロージョギング教室in海の中道参加者募集
124	フクオカ・ビィーキ	平成26年11月14日	Color Me Rad FUKUOKA
125	サンデー福岡東区	平成26年11月22日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
126	サンデー福岡都心	平成26年11月22日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
127	めさーじゅ	平成26年11月25日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
128	ポス熊本版	平成26年11月28日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
129	ポス北九州版	平成26年11月28日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
130	チャオ	平成26年11月28日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
131	サンデー福岡東区	平成26年11月29日	チューリップ球根植付体験ボランティア募集
132	サンデー福岡都心	平成26年11月29日	チューリップ球根植付体験ボランティア募集
133	リビング福岡	平成26年11月29日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
	11月　小計	18件	
134	ぱど西区・早良区エリア	平成26年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2014
135	ぱど早良区・城南区エリア	平成26年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2014
136	ぱど糸島・西区エリア	平成26年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2014
137	ぱど南区・博多区南部エリア	平成26年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2014
138	ぱど那珂川・春日・大野城エリア	平成26年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2014
139	ぱど東区・新宮エリア	平成26年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2014
140	ぱど吉塚・箱崎・糟屋エリア	平成26年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2014
141	ぱど大野城・太宰府・筑紫野エリア	平成26年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2014
142	情報プラザ通信	平成26年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト、干支の地上絵を作ろう！
143	クロスロードふくおか	平成26年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
144	にしてつニュース	平成26年12月1日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
145	ぱど	平成26年12月2日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2014
146	あんふぁん	平成26年12月5日	うみなかクリスマスキャンドルナイト2014
147	フクオカ・ビィーキ	平成26年12月5日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
148	サンデー福岡東区	平成26年12月6日	うみなかクリスマスキャンドルナイト　ボランティアスタッフ募集
149	サンデー福岡都心	平成26年12月6日	うみなかクリスマスキャンドルナイト　ボランティアスタッフ募集
150	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年12月6日	うみなかクリスマスキャンドルナイト　ボランティアスタッフ募集
151	サンデー福岡都心	平成26年12月13日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
152	サンデー福岡東区	平成26年12月13日	うみなかクリスマスキャンドルナイト
153	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年12月13日	動物の森　バースデイサービス　うみなかクリスマスキャンドルナイト
154	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年12月20日	ヒツジのフォトサービス
155	サンデー福岡都心	平成26年12月20日	ヒツジのフォトサービス
156	サンデー福岡東区	平成26年12月20日	ヒツジのフォトサービス
157	フクオカ・ビィーキ	平成26年12月26日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
158	サンデー福岡東区	平成26年12月27日	ZOOナビ
159	サンデー福岡都心	平成26年12月27日	ZOOナビ
160	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成26年12月27日	ZOOナビ
	12月　小計	27件	
161	フクオカ・ビィーキ	平成27年1月9日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
162	サンデー福岡都心	平成27年1月10日	ヒツジのフォトサービス
163	フクオカ・ビィーキ	平成27年1月23日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
164	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成27年1月24日	スロージョギング参加者募集中
165	Messa-jyu	平成27年1月26日	第23回全国スイーツマラソンin福岡
166	サンデー福岡東区	平成27年1月31日	第3回グラウンド・ゴルフ大会　参加者募集
	12月　小計	6件	
167	サンデー福岡都心	平成27年2月7日	みらいの森体験塾～春のじゃがいもを植えよう～
168	サンデー福岡東区	平成27年2月7日	みらいの森体験塾～春のじゃがいもを植えよう～
169	サンデー福岡都心	平成27年2月14日	「第4回うみなかフラワーガーデンコンテスト」作品大募集、自然学び体験教室～コキアでほうきづくり～
170	サンデー福岡東区	平成27年2月14日	「第4回うみなかフラワーガーデンコンテスト」作品大募集、自然学び体験教室～コキアでほうきづくり～
171	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成27年2月14日	「第4回うみなかフラワーガーデンコンテスト」作品大募集、自然学び体験教室～コキアでほうきづくり～
172	福岡市政だより	平成27年2月15日	「フラワーピックニック」花の植え付けボランティア募集
173	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成27年2月21日	2015福岡国際クロスカントリー、“ふくおかわいわい花壇”花の植え付けボランティア募集
174	サンデー福岡都心	平成27年2月21日	2015福岡国際クロスカントリー、“ふくおかわいわい花壇”花の植え付けボランティア募集
175	サンデー福岡東区	平成27年2月21日	2015福岡国際クロスカントリー、“ふくおかわいわい花壇”花の植え付けボランティア募集
176	Messa-jyu	平成27年2月25日	海の中道フラワーピクニック2015
177	ポス	平成27年2月27日	海の中道フラワーピクニック2015
178	チャオ	平成27年2月27日	海の中道フラワーピクニック2015
179	サンデー福岡都心	平成27年2月28日	ふれあい動物舎
180	サンデー福岡東区	平成27年2月28日	ふれあい動物舎
	2月　小計	14件	
181	福たび	平成27年3月1日	海の中道フラワーピクニック
182	HOT PEPPER	平成27年3月1日	桜並木の下でサイクリング

183	情報プラザ通信	平成27年3月1日	ソメイヨシノ　1600本
184	クロスロードふくおか	平成27年3月1日	海の中道フラワーピクニック2015
185	福岡観光マップ トマールフクオカ	平成27年3月1日	海の中道フラワーピクニック2015
186	ぱど　南区・博多区南部エリア	平成27年3月1日	スロージョギング教室in海の中道
187	ぱど　東区・新宮エリア	平成27年3月1日	スロージョギング教室in海の中道
188	ぱど　吉塚・箱崎・粕屋エリア	平成27年3月1日	スロージョギング教室in海の中道
189	サンデー宗像・福津・古賀・新宮	平成27年3月7日	うみなかキッズコンサート出演者募集中！
190	ワイヤーママ佐賀版	平成27年3月14日	海の中道海浜公園の紹介、読者プレゼント　乗り物回数券　1100円分
191	サンデー福岡東区	平成27年3月14日	“プチ”ボランティア活動参加者募集　海と森の学びナビ　森の楽校
192	そらいろ	平成27年3月15日	第28回海の中道フラワーピクニック2015
193	サンデー福岡都心	平成27年3月21日	ビーチクリーンキャンペーン清掃活動員募集
194	Messa-jyu	平成27年3月25日	海の中道フラワーピクニック　2015♂優待クーポン券
195	フクオカ・ビィーキ	平成27年3月27日	海の中道フラワーピクニック2015
196	サンデー福岡東区	平成27年3月28日	海の中道フラワーピクニック2015
197	JR九州ウォーキング	平成27年3月1日	入園無料！海の中道海浜公園で遊んだあとは西戸崎駅周辺でおもてなし
	3月　小計	17件	

別紙１９

ホームページ総アクセス件数

（単位:件数）

	H24	H25	H26
4 月	73,873	132,160	112,542
5 月	77,817	112,688	120,747
6 月	53,336	64,069	70,379
7 月	82,123	100,839	106,991
8 月	85,771	101,601	103,818
9 月	49,213	75,685	89,894
10 月	78,413	85,652	102,627
11 月	36,901	37,741	53,474
12 月	31,223	41,214	44,563
1 月	25,456	31,813	37,802
2 月	35,928	33,362	40,625
3 月	70,130	73,248	88,606
合計	700,184	890,072	972,068

総アクセス件数の集計方法

総アクセス件数は「トップページの訪問数」とする。なお、計測は futomi's CGI Cafe - 高機能アクセス解析 CGI Professional 4.11.13 によるアクセスログ解析による。

※訪問数：延べ訪問者数（同一ＩＰはカウントする）

以下のページのカウント数（重複は考慮しない）

http://www.uminaka.go.jp/

開園時間延伸状況

■開園時間の変更状況

【平成 24 年度】

期間	平成 24 年 4 月 28 日(土)～30日(月)、5 月 3 日(木)～6 日(日)
内容	ゴールデンウィーク期間中の閉園時刻延長
現行	9:30～17:30
変更	9:30～18:30(パークエリア)

期間	平成 24 年 5 月 19 日(土)
内容	野外コンサート
現行	9:30～17:30
変更	9:30～20:30(パークエリア)

期間	平成 24 年 7 月 28 日(土)～29 日(日)
内容	野外コンサート
現行	9:00～18:30
変更	9:00～22:00(パークエリア)

期間	平成 24 年 8 月 4 日(土)～5 日(日)、18 日(土)～19 日(日)
内容	サマースクール
現行	9:00～18:30
変更	9:00～翌 9:00(光と風の広場エリア)

期間	平成 24 年 9 月 15 日(土)～16 日(日)
内容	リレー・フォー・ライフ in 福岡
現行	9:00～18:30
変更	9:00～翌 9:00(光と風の広場エリア)

期間	平成 24 年 10 月 13 日(土)～14 日(日)
内容	ユニバーサルキャンプ
現行	9:30～17:30
変更	9:30～翌 9:30(光と風の広場エリア)

期間	平成 24 年 12 月 22 日(土)～24 日(月)
内容	うみなかクリスマスキャンドルナイト
現行	9:30～17:00
変更	9:30～21:00(パークエリア)

【平成 25 年度】

期間	平成 25 年 4 月 28 日(日)、29 日(月)、5 月 3 日(金)～6 日(月)
内容	ゴールデンウィーク期間中の閉園時刻延長
現行	9:30～17:30
変更	9:30～18:30(パークエリア)

期間	平成 25 年 5 月 18 日(土)
内容	野外コンサート
現行	9:30～17:30
変更	9:30～20:30(パークエリア)

期間	平成 25 年 7 月 27 日(土)
内容	野外コンサート
現行	9:00～18:30
変更	9:00～20:30(パークエリア)

期間	平成 26 年 9 月 13 日(土)～14 日(日)
内容	リレー・フォー・ライフ in 福岡
現行	9:00～18:30
変更	9:00～翌 9:00(光と風の広場エリア)

期間	平成 25 年 11 月 2 日(土)～3 日(日)
内容	ユニバーサルキャンプ
現行	9:30～17:30
変更	9:30～翌 9:30(光と風の広場エリア)

期間	平成 25 年 12 月 23 日(月)～25 日(水)
内容	うみなかクリスマスキャンドルナイト
現行	9:30～17:00
変更	9:30～21:00(パークエリア)

【平成 26 年度】

期間	平成 26 年 4 月 27 日(日)、29 日(火)、5 月 3 日(土)～6 日(火)
内容	ゴールデンウィーク期間中の閉園時刻延長
現行	9:30～17:30
変更	9:30～18:30(パークエリア)

期間	平成 26 年 5 月 17 日(土)
内容	野外コンサート
現行	9:30～17:30
変更	9:30～22:00(パークエリア)

期間	平成 26 年 7 月 13 日(日)　※7 月 11 日(金)は開催中止
内容	野外コンサート
現行	9:00～18:30
変更	9:00～22:00(パークエリア)

期間	平成 26 年 7 月 26 日(土)～27 日(日)
内容	野外コンサート
現行	9:00～18:30
変更	9:00～22:00(パークエリア)

期間	平成 26 年 9 月 13 日(土)～14 日(日)
内容	リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014 福岡
現行	9:00～18:30
変更	9:00～翌 9:00(光と風の広場エリア)

期間	平成 26 年 11 月 8 日(土)～9 日(日)
内容	ユニバーサルキャンプ
現行	9:30～17:30
変更	9:30～翌 9:30(光と風の広場エリア)

期間	平成 26 年 12 月 23 日(火)～25 日(木)
内容	うみなかクリスマスキャンドルナイト
現行	9:30～17:00
変更	9:30～21:30(パークエリア)

別紙２１

混雑時の状況

●入園者数・駐車台数・貸自転車比較

H24		H25		H26		入園者数（人）			駐車台数（台）		
						H24	H25	H26	H24	H25	H26
4月25日	水	4月25日	木	4月25日	金	2,092	3,777	7,249	542	499	527
4月26日	木	4月26日	金	4月26日	土	1,808	9,161	11,766	248	794	2,674
4月27日	金	4月27日	土	4月27日	日	7,284	7,229	25,516	751	1,420	3,795
4月28日	土	4月28日	日	4月28日	月	7,106	36,831	220	2,005	5,168	50
4月29日	日	4月29日	月	4月29日	火	23,128	19,774	11,322	4,982	4,256	2,583
4月30日	月	4月30日	火	4月30日	水	2,529	1,662	889	2,085	215	113
5月1日	火	5月1日	水	5月1日	木	4,373	3,419	2,942	988	442	342
5月2日	水	5月2日	木	5月2日	金	1,785	7,436	5,620	834	1,028	806
5月3日	木	5月3日	金	5月3日	土	4,551	14,137	16,069	2,709	3,264	3,564
5月4日	金	5月4日	土	5月4日	日	26,364	35,976	44,602	5,685	5,008	5,829
5月5日	土	5月5日	日	5月5日	月	28,762	23,767	13,936	6,102	5,084	4,123
5月6日	日	5月6日	月	5月6日	火	9,428	12,760	19,858	3,416	2,810	3,606
計						119,210	175,929	159,989	30,347	29,988	28,012

H24		H25		H26		貸自転車（台）					
						H24	H25	H26	H24	H25	H26
4月25日	水	4月25日	木	4月25日	金	6	298	187			
4月26日	木	4月26日	金	4月26日	土	76	412	2,213			
4月27日	金	4月27日	土	4月27日	日	168	1,806	2,735			
4月28日	土	4月28日	日	4月28日	月	1,872	3,712	52			
4月29日	日	4月29日	月	4月29日	火	3,399	3,015	1,696			
4月30日	月	4月30日	火	4月30日	水	137	180	94			
5月1日	火	5月1日	水	5月1日	木	519	286	333			
5月2日	水	5月2日	木	5月2日	金	259	767	619			
5月3日	木	5月3日	金	5月3日	土	1,563	3,097	2,790			
5月4日	金	5月4日	土	5月4日	日	3,596	3,587	3,102			
5月5日	土	5月5日	日	5月5日	月	3,744	3,622	2,688			
5月6日	日	5月6日	月	5月6日	火	2,823	3,022	2,744			
計						18,162	23,804	19,253			








asics
asics


木工作体験
コーナー
受付
作りたい工作を
フクロウのいる
棚から選んでね







提　供　建　物　一　覧　表

公園施設名	建物番号	用途	構造	単位	数量	面積（㎡）	摘要
管理施設	21	管理センター（庁舎）	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	1503.00	
管理施設	23	車庫	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	108.70	
管理施設	62	車庫	プレハブ	棟	1	33.10	
管理施設	102	車庫	鉄筋コンクリート	棟	1	82.00	
管理施設	32	焼却場	鉄筋コンクリート	棟	1	104.45	
管理施設	104	焼却場	鉄筋コンクリート	棟	1	246.16	
管理施設	10	西口管理棟	鉄筋コンクリート	棟	1	227.34	
管理施設	28-2	動物の森管理棟	鉄筋コンクリート	棟	1	71.19	
管理施設	69	動物の森治療棟	鉄筋コンクリート	棟	1	31.50	
管理施設	34	動物の森レストハウス	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	108.00	
管理施設	61	子供の広場管理棟	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	91.76	
管理施設	70	倉庫	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	267.38	
管理施設	81	海の中道駅口管理棟	木造	棟	1（一部）	48.00	
管理施設	111	観覧車口管理棟	木造	棟	1（一部）	97.02	
管理施設	114	子供の広場総合案内所	鉄筋コンクリート	棟	1	106.62	
管理施設	127	いこいの森ビジターセンター	木造	棟	1	676.43	
管理施設	135	光と風の広場管理棟	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	324.43	
管理施設	135	光と風の広場レクチャー室	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	105.00	
管理施設	139	カモ池口管理棟	木造	棟	1（一部）	14.58	
管理施設	121	焼却炉棟	鉄骨造	棟	1	532.00	
管理施設	122	仮置場棟	鉄骨造	棟	1	198.00	
管理施設	159	ドッグラン管理棟	木造	棟	1	44.70	
管理施設		環境共生の森活動拠点施設	鉄骨造	棟	1	173.10	
管理施設		動物の森隔離舎	鉄筋コンクリート	棟	1	498.80	

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
自動券売機（1号機）	ＢＭＩ-5-4	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（2号機）	ＢＭＩＥ-1-3	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（3号機）	ＢＭＩＥ-1-3	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（4号機）	ＢＭＩＥ-2-7Ａ	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（5号機）	ＢＭＩ-5-4	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（6号機）	ＢＭＩ-5-4	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（7号機）	ＢＭＩ-5-4	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（8号機）	ＢＭＩ-5-4	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（9号機）	ＢＭＩＥ-2-7Ａ	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（10号機）	ＢＭＩ-5-4	個	1	H25.4.1　～
自動券売機	ＰＭＫＢ-10Ｆ	個	1	H25.4.1　～
イスズ散水車	福岡88　せ17-18	個	1	H25.4.1　～
三菱２tﾄﾗｯｸ（ｸﾚｰﾝ付）	福岡100　さ33-76	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ｽｽﾞｷLet'sⅡ）	福岡市東あ362	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ｽｽﾞｷLet'sⅡ）	福岡市東あ364	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ｽｽﾞｷLet'sⅡ）	福岡市東あ367	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ｽｽﾞｷMOLLeT）	福岡市東あ401	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ｽｽﾞｷMOLLeT）	福岡市東あ402	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ｽｽﾞｷMOLLeT）	福岡市東あ410	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ﾎﾝﾀﾞＧａｎｏｐｙ）	福岡市東は4473	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ﾎﾝﾀﾞＴｏday）	福岡市東は4474	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ﾎﾝﾀﾞＴｏday）	福岡市東は4475	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ﾎﾝﾀﾞＴｏday）	福岡市東は4476	個	1	H25.4.1　～
ホイルローダ	ＺＷ40	個	1	H25.4.1　～
裁断機（ｶｯﾃｨﾝｸﾞﾌﾟﾛｯﾀ）	ＰＳＮ-1200	個	1	H25.4.1　～
映像装置（小動物用X線装置）	VPX-10A	個	1	H25.4.1　～
せん孔機（ﾃﾞｼﾞﾀﾙ彫刻機）	ME-300	個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
硬貨計数機	ﾛｰﾚﾙＵＭＳ-10	個	2	H25.4.1　～
硬貨計数機（硬貨選別収納機）	ﾛｰﾚﾙＬＨＳ-1002	個	1	H25.4.1　～
いす	ｳﾁﾀﾞハイバック	個	2	H25.4.1　～
いす		個	11	H25.4.1　～
いす	木製ﾍﾞﾝﾁW1480*D1480*H398	個	3	H25.4.1　～
いす	木製ﾍﾞﾝﾁＬ1290*H830	個	1	H25.4.1　～
片袖机		個	2	H25.4.1　～
いす	長型	個	3	H25.4.1　～
いす（ﾛﾋﾞｰ用）	3連式	個	2	H25.4.1　～
雑印刷機（ラミネータ）	ＬＰＶ6507	個	1	H25.4.1　～
ｲﾒｰｼﾞｽｷｬﾅ	ｴﾌﾟｿﾝ　GT9000	個	1	H25.4.1　～
雑医療器具	車椅子	個	12	H25.4.1　～
雑車	車椅子	個	10	H25.4.1　～
雑医療器具	人口蘇生機	個	1	H25.4.1　～
雑医療器具	診察台	個	1	H25.4.1　～
雑医療器具	余剰ｶﾞｽ排除装置	個	1	H25.4.1　～
雑医療器具	自動体外式除細動器	個	1	H25.4.1　～
キャリングケース	自動体外式除細動器用	個	1	H25.4.1　～
車椅子	自操式	個	8	H25.4.1　～
電動車椅子	ﾔﾏﾊﾒｲﾄ	個	5	H25.4.1　～
電動車椅子	ﾔﾏﾊﾒｲﾄ	個	3	H25.4.1　～
電動車椅子	介護者兼用	個	4	H25.4.1　～
保育器（インキュベーター）	ｷｬｽﾀｰ付架台付	個	1	H25.4.1　～
ラジオカセット	technics RS-TR4750	個	1	H25.4.1　～
テレビ	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸＴＨ-14ＲＦ2	個	1	H25.4.1　～
テレビ	東芝15ＺＲ5	個	2	H25.4.1　～
テレビ（32型）	ＣＴ90070	個	1	H25.4.1　～
テレビ（32型）	ﾋﾞｸﾀｰ　1500i	個	1	H25.4.1　～
レシーバー	パナソニック	個	1	H25.4.1　～
ビデオデッキ（BS内臓）	東芝ＲＭ-Ｂ11	個	1	H25.4.1　～
ビデオデッキ（DVD・VHS一体型）	ﾋﾞｸﾀｰ　HR-DS1	個	1	H25.4.1　～
アンプ	ﾗﾑｻﾞ　WP9100	個	1	H25.4.1　～
アンプ	UNI-PEX	個	1	H25.4.1　～
ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ	ﾕﾆﾍﾟｯｸｽ	個	3	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ		個	2	H25.4.1　～
スピーカー		個	2	H25.4.1　～
スピーカースタンド		本	2	H25.4.1　～
ﾐｷｻｰ	ﾗﾑｻﾞ　WR-XO2	個	1	H25.4.1　～
MDﾌﾟﾚｰﾔｰ	SONY　MD　DECK　MDS-D500	個	1	H25.4.1　～
ＤＶＤレコーダー	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸＤＭＲ-200Ｈ	個	1	H25.4.1　～
ＤＶＤレコーダー	三菱ＤＶＲ-ＨＳ315	個	1	H25.4.1　～
ＤＶＤレコーダー	東芝ＲＤ-ＸＹ44	個	1	H25.4.1　～
雑誌架		個	4	H25.4.1　～
テレビ	SONY　RM-J186	個	1	H25.4.1　～
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ	ｷｬﾉﾝ　IXY	個	4	H25.4.1　～
空気清浄器	ﾅｼｮﾅﾙ　F-10F2	個	1	H25.4.1　～
雑計算機（紙幣対応）	ﾛｰﾚﾙＦ1000	個	1	H25.4.1　～
雑計算機	ｶｼｵﾚｼﾞｽﾀｰ　DL-1837	個	2	H25.4.1　～
万力（卓上型）		個	10	H25.4.1　～
万力		個	4	H25.4.1　～
かんな	HL-6A	個	1	H25.4.1　～
雑工具	小型ﾊﾞﾝﾄﾞｿｰ2114C	個	1	H25.4.1　～
雑工作機器	ﾍﾞﾙﾄｻﾝﾀﾞ	個	2	H25.4.1　～
雑工作機器	電動水砥ぎ機RS205A	個	1	H25.4.1　～
雑工作機器	変速ｼﾞｸﾞｿｰJ-65V	個	1	H25.4.1　～
雑工作機器	糸鋸盤　AF2	個	5	H25.4.1　～
雑工作機器	卓上帯鋸盤Cut-350	個	2	H25.4.1　～
雑工作機器	木工小型集じん機410	個	1	H25.4.1　～
食器棚	900*440*1800	個	2	H25.4.1　～
書架		個	1	H25.4.1　～
雑誌架		個	1	H25.4.1　～
雑誌架		個	2	H25.4.1　～
雑棚（薬品棚）	ｳﾁﾀﾞ	個	1	H25.4.1　～
雑棚（展示ﾎｰﾙ）		個	3	H25.4.1　～
台車	ＤＬＡ-ＤＩＡ	個	1	H25.4.1　～
リヤカー（積載荷重100kg）		個	2	H25.4.1　～
リヤカー（折りたたみ式）		個	1	H25.4.1　～
寝台		個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（4／14）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
望遠鏡	GEOMA-80-A	個	4	H25.4.1　～
レンズ	18-55㎜	個	1	H25.4.1　～
レンズ	55-200㎜	個	1	H25.4.1　～
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ（一眼ﾚﾌ）	CANON DIGITAL X	個	1	H25.4.1　～
デジタルビデオカメラ	ｿﾆｰＤＣＲ-ＤＶＤ403	個	1	H25.4.1　～
書庫	ＵＨ-Ｓ11Ｆ1	個	9	H25.4.1　～
掃除機（集じん機）	SMV-101ATLⅡ	個	2	H25.4.1　～
掃除機	東芝VCS960	個	1	H25.4.1　～
ゴミ収集箱	缶瓶・普通ゴミ用	個	2	H25.4.1　～
洗濯機（全自動7kg）		個	2	H25.4.1　～
洗濯機（全自動5kg）		個	1	H25.4.1　～
衣類乾燥機（6kgﾕﾆｯﾄ台付）		個	2	H25.4.1　～
衣類乾燥機（4kgﾕﾆｯﾄ台付）		個	1	H25.4.1　～
測定記録機	ｾｲｺｰｽﾎﾟｰﾂﾌﾟﾘﾝﾀｰCT-1000	個	1	H25.4.1　～
漏水感知器	NJK-180A	個	1	H25.4.1　～
フラワーポット	丸形100*90*81	個	6	H25.4.1　～
雑医療器具	介護箱（保育付）	個	1	H25.4.1　～
フラワーポット	角形43*99*39	個	3	H25.4.1　～
フラワーポット	壺φ45*Ｈ70	個	2	H25.4.1　～
フラワーポット	壺φ65*Ｈ70	個	2	H25.4.1　～
フラワーポット	壺φ50*Ｈ60	個	2	H25.4.1　～
フラワーポット	壺φ40*Ｈ50	個	2	H25.4.1　～
フラワーポット	角形65*55*62	個	4	H25.4.1　～
雑ﾚｸﾘｰｪｰｼｮﾝ用具	ｻｯｶｰｺﾞｰﾙ	個	2	H25.4.1　～
雑ﾚｸﾘｰｪｰｼｮﾝ用具	ﾃﾞｨｽｸｺﾞﾙﾌｺﾞｰﾙ	個	18	H25.4.1　～
雑ﾚｸﾘｰｪｰｼｮﾝ用具	特大ｼﾞｬﾝﾎﾞﾎﾞｰﾙ	個	6	H25.4.1　～
雑ﾚｸﾘｰｪｰｼｮﾝ用具	多目的ｻｰｸﾙ	個	3	H25.4.1　～
冷蔵庫	東芝ＧＲ-ＨＢ30Ａ	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	ﾅｼｮﾅﾙＮＲ-Ｂ13Ｔ3	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	ﾅｼｮﾅﾙＮＲ-Ｆ46Ｋ2-Ｈ	個	1	H25.4.1　～
両袖机		個	5	H25.4.1　～
片袖机	W-148	個	20	H25.4.1　～
机（平）		個	20	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（５／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
机（平）	W3200*D1600*H700	個	1	H25.4.1　～
丸机		個	2	H25.4.1　～
机（会議用）	1800*600	個	23	H25.4.1　～
演卓		個	1	H25.4.1　～
ワゴン（机用）	W400*D600*H610	個	4	H25.4.1　～
無線電話装置（携帯用）	NBB-465	個	6	H25.4.1　～
無線電話装置（車載用）	ﾊﾞﾈｯﾄ、ｱｲｼｽ	個	2	H25.4.1　～
衝立	2連	個	1	H25.4.1　～
衝立	3連	個	1	H25.4.1　～
雑台	おむつ交換用	個	1	H25.4.1　～
テレビ台（木製、棚板4枚）	ﾜｶﾂｷ製	個	1	H25.4.1　～
発電機	HONDA inverterEU24i	個	2	H25.4.1　～
タイマー	ｾｲｺｰｽﾎﾟｰﾂﾀｲﾏｰ	個	2	H25.4.1　～
テント	折りたたみ式	枚	3	H25.4.1　～
テント	3.5m×4.5m	枚	3	H25.4.1　～
担架	四つ折	個	1	H25.4.1　～
キャビネット	A41列2段	個	2	H25.4.1　～
キャビネット	コクヨ1列2段	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	3人用	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	1人用	個	1	H25.4.1　～
保管庫（中軽量ｵｰﾌﾟﾝ型）	ｺｸﾖＪＯＩＥＡ606	個	4	H25.4.1　～
ぬいぐるみ		個	1	H25.4.1　～
いす	ｳﾁﾀﾞ　Ｊ Ａ-10	個	2	H25.4.1　～
いす	ロビー用	個	16	H25.4.1　～
自動体外式除細動器（ｹｰｽ付）		個	2	H25.4.1　～
自動うがい機	ｱﾙﾎｰｽＧＬ型	個	1	H25.4.1　～
雑衛生機器	自動手指消毒器	個	4	H25.4.1　～
雑計算機	ＤＣ-8	個	2	H25.4.1　～
雑計算機（紙幣対応）	ﾛｰﾚﾙＦ-1500Ｂ	個	1	H25.4.1　～
雑計算機	ﾛｰﾚﾙＬＣＳ10	個	1	H25.4.1　～
雑計算機（硬貨選別機）	ﾛｰﾚﾙＬＣＳ10	個	2	H25.4.1　～
紙幣計算機	ﾛｰﾚﾙＮＣ-1500	個	3	H25.4.1　～
書庫		個	1	H25.4.1　～
雑机		個	1	H25.4.1　～

提　供　機　械　器　具　一　覧　表

（６／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
雑ついたて	PP-E1215	個	4	H25.4.1　～
鋼製保管庫	3×3　引き違い	個	1	H25.4.1　～
担架	処置車	個	1	H25.4.1　～
金庫	片開き	個	1	H25.4.1　～
はかり	上皿天秤	個	1	H25.4.1　～
キャビネット	２列１８段	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	３人用	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	檻（ﾓﾝｷｰｹﾞｰｼﾞ	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	動物用産科器具（黒沢式	個	1	H25.4.1　～
テスター	３２０１－０１（回路計	個	1	H25.4.1　～
顕微鏡	ｵﾘﾝﾊﾟｽ左眼BHF323	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	18角ｶｽﾄ付・EAC2300	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	油圧式手術台（PX型	個	1	H25.4.1　～
雑鞄	医療バック	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	血球計算盤（ﾉｲﾊﾞｳｴﾙ検付	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	バリカン（羊用	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	処置台(2枚用・消毒盤台	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	殺菌保管庫（15W	個	1	H25.4.1　～
透写台	2×3	個	1	H25.4.1　～
雑医療器具	診察台	個	1	H25.4.1　～
サイドワゴン	器械台・手すり付	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	プランター（ｷﾝｸﾞ	個	4	H25.4.1　～
図書	野生動物の獣医学	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	インキュベーター(WE555	個	1	H25.4.1　～
漏水感知器	記録器・8204-20	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	白血球分類器(12基	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫	６×３・ﾌﾟﾗｽSG503R	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫	６×３・ﾌﾟﾗｽSS503R	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫	引出式・ﾌﾟﾗｽB5-4	個	1	H25.4.1　～
ジュラルミンケース	A型・450×383×215	個	1	H25.4.1　～
統計表示板	公園者用	個	1	H25.4.1　～
図書	世界の哺乳類　１・２巻	個	1	H25.4.1　～
下駄箱	６人用（ナイキ	個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（７／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
下駄箱	１２人用（ナイキ	個	1	H25.4.1　～
陳列ケース	カウンターケース	個	2	H25.4.1　～
陳列ケース	傾斜ケース	個	1	H25.4.1　～
陳列ケース	傾斜ケース	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品（うさぎ固定器）	押田式・KN-317B	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	吸入器（シニック	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	解剖台（ステンレス製	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	プランター(ｷﾝｸﾞ・1600AW	個	4	H25.4.1　～
公園管理用品	プランター(ｷﾝｸﾞ・1200AW	個	6	H25.4.1　～
プラニメーター	ｳﾁﾀﾞ・NOKP9015	個	1	H25.4.1　～
金庫	片開き(ｲﾄｰNO503	個	1	H25.4.1　～
ついたて	鋼製(KP-54	個	2	H25.4.1　～
陳列ケース	傾斜・180×50×120	個	2	H25.4.1　～
鋼製保管庫	ｳﾁﾀﾞ3×3	個	1	H25.4.1　～
顕微鏡用写真撮影装置(ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰｾｯﾄ	ｵﾘﾝﾊﾟｽｶﾒﾗﾚﾝｽﾞ付	個	1	H25.4.1　～
サイドワゴン	回診車(PI-58	個	1	H25.4.1　～
煮沸消毒器	KM-86-1	個	1	H25.4.1　～
雑医療器具	診察台(KC-230	個	1	H25.4.1　～
寝台	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾍﾞｯﾄﾞ・BC-105N	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品(ｳｴｽﾀﾝ鞍	鞍（ﾎﾟﾆｰ用	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	剥製（フラミンゴ）	個	1	H25.4.1　～
机（OA用）（ワープロデスク	WP-30	個	1	H25.4.1　～
キャビネット（ファイリング	１列４段(ｷﾊﾗNO4614	個	1	H25.4.1　～
パネル(ｳﾞｧﾝﾃｱﾝ	ｼﾙﾊﾞｰｸﾞﾚｰ・900×1800	個	7	H25.4.1　～
鋼製保管庫	６×３　引違いガラス	個	1	H25.4.1　～
机（会議用）（卓子	ITO・SF-2T	個	14	H25.4.1　～
鋼製保管庫（引違い	６×３(ｽﾁｰﾙ戸・300-0400	個	1	H25.4.1　～
図書	原色花き園芸大辞典	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	孵卵器(P-1008	個	1	H25.4.1　～
ホワイトボード	1200×1250	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	ホールカッター(ﾊﾟｰｴｰﾄﾞ	個	1	H25.4.1　～
リヤカー	4尺大型	個	3	H25.4.1　～
図書	造園学雑誌	個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（８／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
望遠レンズ	ﾆｺﾝAF300mmf4ED	個	1	H25.4.1　～
金庫(片開き	耐火庫・くまひらRX-63D	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品（プールクリーナー	ﾐﾔｶﾜ式2型	個	1	H25.4.1　～
血圧計	HEM802F	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	電気入れ墨器(ｽﾎﾟﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ	個	1	H25.4.1　～
入札箱	ｱｸﾘﾙ製	個	1	H25.4.1　～
机（両袖）	両袖2号・E-2	個	1	H25.4.1　～
雑印字器具(ナンバリング	ﾗｲｵﾝ・M-32D	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	バリカン（羊用	個	1	H25.4.1　～
図書	ばら・花図鑑	個	1	H25.4.1　～
ファンヒーター（石油	ﾅｼｮﾅﾙ・OH-30A	個	1	H25.4.1　～
ルームエアコン（ｸｰﾗｰ	三菱重工・SRK-182	個	1	H25.4.1　～
ファンヒーター（石油	ﾅｼｮﾅﾙ・OH-30A	個	1	H25.4.1　～
電動ドリル	ゼノアオーガ(WAG431	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(両開き	３×３(ｺｸﾖSD-3325AY	個	1	H25.4.1　～
下駄箱	６人用(ｺｸﾖSL-6AY	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	３人用(ｺｸﾖLK-3AY	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	薬品庫(335-210G・ｹﾆｽG型	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(引違いガラス	上置TC-6GT	個	2	H25.4.1　～
ロッカー	２人用(ﾗｲｵﾝ・721V	個	1	H25.4.1　～
雑台	ファクシミリ台(FS-10	個	1	H25.4.1　～
陳列ケース	ｱﾙﾐ・ﾊｲｹｰｽ木目調	個	2	H25.4.1　～
動物管理用品	インキュベーター(卓上型	個	1	H25.4.1　～
はしご	ｱﾙﾐ梯子	個	1	H25.4.1　～
机（両袖）	両袖・ｲﾅﾊﾞE-2号	個	2	H25.4.1　～
いす（肘付回転）	肘付・ﾄﾖ1-3384V	個	3	H25.4.1　～
鋼製保管庫(引違いガラス	ｺｸﾖS-615-G	個	1	H25.4.1　～
図面保管庫(丸筒	ﾗｲｵﾝVAO-75	個	1	H25.4.1　～
ビデオカメラ(８ミリ	SONNY・CCD-TR205	個	1	H25.4.1　～
噴霧器	ﾅｼｮﾅﾙMS-4	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	輸液加湿器	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(引違いガラス	３×６(ｳﾁﾀﾞ260-4572	個	2	H25.4.1　～
鋼製保管庫(片開き	ｳﾁﾀﾞ260-4530	個	1	H25.4.1　～
机（作業用）	ｳﾁﾀﾞ383-8185	個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（９／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
鋼製保管庫(引違い	TC-69-L13	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品（野菜切り器	VA20・100V	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	ｼｬｰﾌﾟ ST-320-VE	個	1	H25.4.1　～
PH残留塩素計	プルポン	個	1	H25.4.1　～
マイクロレンズ	60㎜・ﾏｲｸﾛAF	個	1	H25.4.1　～
いす	ｳﾁﾀﾞ T-18	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	３人用(3連2号	個	2	H25.4.1　～
鋼製保管庫（引違いガラス	６×３	個	1	H25.4.1　～
キャビネット	B4・3列10段・21M-565D	個	1	H25.4.1　～
自記温度湿度計	ｼｸﾞﾏ・ﾐﾆｷｭｰﾌﾞ	個	2	H25.4.1　～
動物管理用品	バリカン(羊用	個	1	H25.4.1　～
いす	小型回転(ﾗｲｵﾝSC-222	個	2	H25.4.1　～
机（会議用）	ﾗｲｵﾝ493-29	個	1	H25.4.1　～
机（会議用）	ﾗｲｵﾝ493-29・vt1875	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	剥製（マナヅル）	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	電気焼灼器	個	1	H25.4.1　～
机（片袖）	ｺｸﾖSD-BS1171F	個	3	H25.4.1　～
図面保管庫	ﾗｲｵﾝAO-5F	個	1	H25.4.1　～
雑誌架(ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄｽﾀﾝﾄﾞ	750×1600×300	個	4	H25.4.1　～
雑誌架(ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｽﾀﾝﾄﾞ	800×800×600	個	4	H25.4.1　～
雑誌架(ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄｽﾀﾝﾄﾞ	750×1000×300	個	1	H25.4.1　～
ゴミ収集箱	ﾘｻｲｸﾙﾊｳｽ101号・ｶﾝ太	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	３人用(3連2号・303-3432	個	1	H25.4.1　～
机（作業用）	ｳﾁﾀﾞ 378-2260	個	1	H25.4.1　～
机（わき）	ｳﾁﾀﾞ 378-2203	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	東芝GR-A15AH	個	1	H25.4.1　～
イオンメーター	TI-5120	個	1	H25.4.1　～
水位計	ロープ式	個	1	H25.4.1　～
噴霧器	日立・BS-2100	個	1	H25.4.1　～
テレビ(ｶﾗｰ	ﾅｼｮﾅﾙTH24WG20	個	1	H25.4.1　～
ビデオデッキ(BS付	ﾅｼｮﾅﾙNH-HB40	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	東芝GR-K15AT	個	1	H25.4.1　～
テント	ﾛｲﾔﾙﾊﾟﾜｰﾃﾝﾄ（文字入り	個	3	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（１０／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
テント	ﾛｲﾔﾙﾊﾟﾜｰﾃﾝﾄ(文字入り	個	2	H25.4.1　～
雑ついたて(ﾛｰﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	ｳﾁﾀﾞS-1375C	個	6	H25.4.1　～
雑ついたて(ﾛｰﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	ｳﾁﾀﾞS-130SC	個	9	H25.4.1　～
鋼製保管庫(両開き	ｳﾁﾀﾞT-10D	個	2	H25.4.1　～
鋼製保管庫(引出式	ｳﾁﾀﾞLA-10	個	2	H25.4.1　～
机（両袖）	ｳﾁﾀﾞ188B型	個	1	H25.4.1　～
机（両袖）	ｳﾁﾀﾞGX-L	個	1	H25.4.1　～
いす（肘付回転）	ｳﾁﾀﾞED-563	個	1	H25.4.1　～
雑誌架(ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄｽﾀﾝﾄﾞ	ｺｸﾖZR-DS184	個	1	H25.4.1　～
手指消毒器	ｻﾗﾔHC-210C	個	2	H25.4.1　～
雑誌架(ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄｽﾀﾝﾄﾞ	ｺｸﾖZR-DS185	個	1	H25.4.1　～
百葉箱	単葉・片流れ・壁掛け式	個	1	H25.4.1　～
顕微鏡	ﾆｺﾝﾌｧｰﾌﾞﾙ	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(両開き	ｳﾁﾀﾞT-10D	個	4	H25.4.1　～
いす（肘付回転）	ｳﾁﾀﾞJF260・202-3704	個	7	H25.4.1　～
机（両袖）	ｳﾁﾀﾞS-168・505-0168	個	2	H25.4.1　～
冷蔵庫	ﾅｼｮﾅﾙNR-B17T	個	1	H25.4.1　～
拡大鏡(ﾙｰﾍﾟ	ﾛｰﾃﾞﾝｽﾄｯｸﾙｰﾍﾟ・3X	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	鞍	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(両開き	ｳﾁﾀﾞT-10D	個	8	H25.4.1　～
テント(文字入り	ﾛｲﾔﾙﾊﾟﾜｰﾃﾝﾄ・2K×2K	個	2	H25.4.1　～
テント(文字入り	2K×4K	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(ﾋﾞｼﾞﾈｽﾕﾆｯﾄ・引違い	ｺｸﾖBWW-N5F1	個	12	H25.4.1　～
鋼製保管庫(ﾋﾞｼﾞﾈｽﾜｰﾙA型・引違い	ｺｸﾖBWA-H09F1N	個	2	H25.4.1　～
机（両袖）	ｳﾁﾀﾞS-168・505-0168	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品(電気メス	ｼﾙﾊﾞｰﾒﾃﾞｨｶﾙSL-1PR	個	1	H25.4.1　～
PH残留塩素計	ﾌﾟﾛﾎﾟﾝ	個	1	H25.4.1　～
炊飯器	ﾀｲｶﾞｰJNO-A360	個	1	H25.4.1　～
加湿器	ﾅｼｮﾅﾙFE14KFS	個	2	H25.4.1　～
ワゴン	ｳﾁﾀﾞWJ-4S	個	20	H25.4.1　～
ワゴン(PC	ｳﾁﾀﾞ2型	個	12	H25.4.1　～
ワゴン(PC	ｳﾁﾀﾞ2S型	個	14	H25.4.1　～
机（片袖）	机（片袖）W-168	個	1	H25.4.1　～
机（片袖）	机（片袖）W-148	個	2	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
アンプ(PAｾｯﾄ1式	UNI-PEX	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(両開き	ｳﾁﾀﾞT-10	個	2	H25.4.1　～
冷蔵庫	富士通ER-L22E	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	富士通ER-L22E-V	個	1	H25.4.1　～
物品保管庫	ﾗﾊﾞｰﾒｲﾄﾞRMH-3746	個	1	H25.4.1　～
物品保管庫	ﾗﾊﾞｰﾒｲﾄﾞRMH-3747	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	ﾌﾟｰﾙｸﾘｰﾅｰ(SP-64型	個	1	H25.4.1　～
シュレッダー	ﾘｶｯﾄﾌﾛｱﾀｲﾌﾟ3143fs	個	1	H25.4.1　～
デジタルカメラ	FINEPIX2900Z	個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスアンプ	800MHz・WX-282C	個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスマイク	800MHz・WX-4100A	個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスマイク	800MHz・WX-4300A	個	1	H25.4.1　～
テント(ﾛｲﾔﾙﾊﾟﾜｰﾃﾝﾄ	2K×2K　青白	個	5	H25.4.1　～
リヤカー	ｱﾙｶｰﾄ（ｽﾄﾚｯﾁｬｰ付	個	4	H25.4.1　～
リヤカー	ｱﾙｶｰﾄ	個	3	H25.4.1　～
データ読み取り機(MOﾄﾞﾗｲﾌﾞUSB	MOA-AX230H/USB	個	1	H25.4.1　～
ルームエアコン	ﾀﾞｲｷﾝLSVM1JA	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	ｼｬｰﾌﾟSJ-23D	個	1	H25.4.1　～
冷凍庫		個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	ﾌﾟｰﾙｸﾘｰﾅｰ・ﾐﾔｶﾜ式2型	個	1	H25.4.1　～
テント(ﾛｲﾔﾙﾊﾟﾜｰﾃﾝﾄ	3.6×3.6	個	1	H25.4.1　～
データ読み取り機(CDR/RW	KXL-RW11MN・Mac版	個	1	H25.4.1　～
手押しカンナ	HL-6A	個	1	H25.4.1　～
パーソナルコンピュータ	imacG3・350MHz	個	1	H25.4.1　～
プリンタ(OKIﾌﾟﾘﾝﾀｰ	MICROLINE1032PS	個	4	H25.4.1　～
テント(ｸｲｯｸﾃﾝﾄ	3000×4000	個	2	H25.4.1　～
鋼製保管庫(オープン型	ｳﾁﾀﾞSU-2	個	8	H25.4.1　～
テント(ｸｲｯｸﾃﾝﾄ	3000×4000	個	3	H25.4.1　～
空気清浄機(脱臭機ｶﾞｽﾄﾙ	G-1-S	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品(播種機	TSA-ひばり	個	2	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
湯沸器	RUS51TT	個	1	H25.4.1　～
物品保管庫	RMH-3747	個	2	H25.4.1　～
図書	アーバンガーデニング	個	1	H25.4.1　～
デジタルカメラ	CAMEDIA・C-730UZ	個	3	H25.4.1　～
噴霧器	VSC4510	個	1	H25.4.1　～
図書	Ａ－Ｚ園芸植物百科事典	個	1	H25.4.1　～
いす(応接用（一人用）	ウチダRP-14	個	1	H25.4.1　～
応接用(ｾﾝﾀｰﾃｰﾌﾞﾙ	ｳﾁﾀﾞP14型	個	1	H25.4.1　～
タイムレコーダー(ﾀｲﾑﾊﾟｯｸ	ｱﾏﾉ	個	1	H25.4.1　～
タイムレコーダー	MRX-30	個	2	H25.4.1　～
図書	農薬便覧	個	1	H25.4.1　～
机（会議用）	楠ﾃｰﾌﾞﾙ	個	1	H25.4.1　～
テレビ	ｶﾗｰ	個	1	H25.4.1　～
電子はかり(天秤	EK-320HR	個	1	H25.4.1　～
金庫	片開き・SSE	個	1	H25.4.1　～
金庫	片開き・KS-50E-F	個	1	H25.4.1　～
ソフトウェア	イラストレーター	個	1	H25.4.1　～
ソフトウェア	イラストレーター	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	多人数用・4連2段8人用	個	4	H25.4.1　～
データ読み取り機(ﾎﾟｹｯﾄ	LID571	個	2	H25.4.1　～
金庫	片開き・KMX-20SDA	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	貨幣計算機(ｺｲﾝｿｰﾀｰSCS-10(	個	1	H25.4.1　～
テレビ	液晶(東芝32C3500	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	三菱MRCU33M(W)	個	1	H25.4.1　～
洗濯機	三洋AWDE105ZA	個	3	H25.4.1　～
ホワイトボード	1810×910	個	1	H25.4.1　～
机（片袖）	ｺｸﾖSD-MXZ117V3W	個	4	H25.4.1　～
机（わき）	ｺｸﾖSD-MXZ47EV4W	個	1	H25.4.1　～
ワゴン	ｺｸﾖSD-MXZ46AF11	個	2	H25.4.1　～
いす（肘付回転）	ｺｸﾖCR-G422F5JP59W	個	4	H25.4.1　～
机（片袖）	ﾄﾖｾｯﾄCSE-1876HCG	個	1	H25.4.1　～
書庫(引違いガラス	３×４・ﾄﾖｾｯﾄ・ｶﾞﾗｽEA-34(	個	1	H25.4.1　～
書庫(引違い	３×６・ﾄﾖｾｯﾄTG-36SS	個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
書庫(引き違い	ﾄﾖｾｯﾄTG-36HG	個	3	H25.4.1　～
食器戸棚(ｵﾌｨｰｽｷｯﾁﾝ	ﾄﾖｾｯﾄGS-S750R	個	1	H25.4.1　～
ロッカー(6人用	多人数用・LK-322D	個	2	H25.4.1　～
ロッカー(4人用	多人数用・ELKD-4S	個	1	H25.4.1　～
ロッカー(9人用	多人数用・ESLK-9	個	1	H25.4.1　～
ホワイトボード	EA×36×S	個	1	H25.4.1　～
アンプ(CDｶｾｯﾄ付ﾜｲﾔﾚｽ	WA-852D	個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスアンプ		個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスマイク	WM-8400	個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスマイク(ﾂｰﾋﾟｰｽ	WM-8100	個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスマイク		個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスアンプ		個	1	H25.4.1　～
テント	ワンタッチ設置式	個	2	H25.4.1　～
冷蔵庫	３ドア　３４５Ｌ	個	1	H25.4.1　～
机（角型）	Ｔ字脚1500×750㎜	個	1	H25.4.1　～
収納台車	折りたたみ机用	個	2	H25.4.1　～
収納台車	パイプ椅子用	個	2	H25.4.1　～
書庫	上置き　オープン棚	個	1	H25.4.1　～
書庫	下置き　ガラス両開き戸	個	1	H25.4.1　～
ホワイトボード	回転式	個	1	H25.4.1　～
台車	ハンドル折りたたみ式	個	2	H25.4.1　～
ロッカー	９人用	個	2	H25.4.1　～
望遠鏡	フィールドスコープ　50㎜	個	5	H25.4.1　～
三脚	フィールドスコープ用	個	5	H25.4.1　～
双眼鏡	36㎜　８倍　防水	個	10	H25.4.1　～
雑写真光学機器	監視カメラ（野外観察用）	個	2	H25.4.1　～
雑音響機器	バットディテクター	個	5	H25.4.1　～
冷蔵庫	東芝ＧＧＲ３８ＺＶ	個	1	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　ウェイブ	個	4	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　バンプ	個	3	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　コーン	個	1	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　ウォール	個	2	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　パッド	個	1	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　スパイダー	個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　マウンド	個	1	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　ヌードル	個	10	H25.4.1　～
いす	ベビーチェア	個	12	H25.4.1　～
食卓	全天候型木製テーブル	個	28	H25.4.1　～
食卓	ステンレステーブル	個	18	H25.4.1　～
下駄箱	２０人用	個	4	H25.4.1　～
電動車椅子		個	3	H25.4.1　～
印字器	点字プリンター（TP2000L）	個	1	H25.4.1　～
ブルーレコーダー	パナソニック　DMRBZT600	台	1	H25.4.1　～
デジタルビデオカメラ	ソニー　HDRCX560VB	台	1	H25.4.1　～
チェーンソー	ゼノア　G3501EZ型	台	2	H25.4.1　～
金庫	片開き（KMX-50SDA）	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	半自動券売機	個	3	H25.4.1　～
遊具	ウミガメ	個	4	H25.5.20　～
遊具	ヒトデ	個	4	H25.5.20　～
いす	授乳椅子（一人がけ）	個	3	H25.5.29　～
いす	授乳ベンチ（二人がけ）	個	2	H25.5.29　～
雑ついたて	アコーディオンスクリーン	個	2	H25.5.29　～
テント	フレーム、屋根幕、三方幕、前面幕	組	10	H25.12.10　～
遠心分離器	動物血液検査用	個	1	H25.12.19　～
全身麻酔機器	小動物用	個	1	H25.12.19　～
ソフトウェア	券面編集ソフト	個	1	H26.3.25　～
自動券売機	高額紙幣対応型	個	1	H26.3.25　～
自動券売機	高額紙幣対応型	個	1	H26.3.25　～
自動券売機	高額紙幣対応型	個	1	H26.3.25　～
球根掘り取り機	Ｂ-80　トラクタ牽引式	個	1	H26.4.25
電気のこぎり	バンドソー ＨＩＴＡＣＨＩ　ＣＢ１８ＦＡ３	個	1	H27.1.19　～

別紙23

リース物品(リスト)

種別	物件名	単位	数量
車両	ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄﾄﾗｯｸｽﾍﾟｼｬﾙ	台	1
	ｽｽﾞｷｷｬﾘｰ	台	2
	ﾄﾖﾀﾊｲｴｰｽ	台	1
	ﾏﾂﾀﾞﾎﾞﾝｺﾞﾄﾗｯｸ	台	2
	ﾄﾖﾀﾀｳﾝｴｰｽﾊﾞﾝ	台	1
	ﾄﾖﾀｴｽﾃｨﾏ	台	1
	日産ﾊﾞﾈｯﾄﾄﾗｯｸ	台	1
	日産ｸﾘｯﾊﾟｰﾄﾗｯｸ	台	1
運営用機器			
事務用機器	パソコン	台	43
	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ	台	1
	プリンター	台	4
	カラープリンター	台	1
	ストレージサーバー	台	1
	衛星携帯電話	台	5
	複写機	台	1
	複写機（FAX機能付）	台	1
	大型印刷機	台	1
	硬貨選別機	台	2
	紙幣選別機	台	1
	硬貨計算機	台	2

備品以外の残存物品関係（リスト）

【平成24年度】

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
	総務グループ			
1	付箋紙(小)	個	25	
2	付箋紙(中)	個	13	
3	付箋紙(大)	個	29	
4	付箋紙(特大)	個	20	
5	ノート(B5)	冊	2	
6	レベルブック	冊	2	
7	キングファイル(3cm)	冊	4	
8	キングファイル(5cm)	冊	4	
9	キングファイル(6cm)	冊	4	
10	フラットファイル	冊	44	
11	蛍光ペン	本	63	
12	ボールペン	本	36	
13	ボールペン(替え芯)	本	73	
14	マジック(細)	本	36	
15	マジック(太)	本	37	
16	鉛筆	本	15	
17	ホワイトボードマーカー	本	30	
18	ホワイトボードマーカー(詰め替え用)	本	16	
19	消しゴム	個	37	
20	砂消し	個	21	
21	修正テープ	個	2	
22	修正テープ(カートリッジ)	個	12	
23	テプラ	個	182	
24	ガムテープ	巻	56	
25	布テープ	巻	10	
26	セロテープ	巻	24	
27	両面テープ	巻	26	
28	のり	本	14	
29	メンディングテープ	巻	1	
30	インデックス(大)	袋	27	
31	インデックス(中)	袋	21	
32	ホッチキス針	箱	16	
33	乾電池(単1)	本	24	
34	乾電池(単2)	本	18	
35	乾電池(単3)	本	35	

36	乾電池(単4)	本	50	
37	コピー用紙(A3)	冊	7	
38	コピー用紙(A4)	冊	20	
39	レターボックス	個	22	
40	ポロシャツ	着	480	
41	ブルゾン	着	165	
42	防寒着	着	176	
	業務グループ（管理係）			
1	アーチ	個	1	FM用
2	浅型一輪車	台	1	直営用
3	アルミ園芸三脚 240	本	1	剪定用
4	アルミガーデンパラソル 210ﾊﾝﾄﾞﾙWH アルミ製	本	3	FM用
5	アルミガーデンパラソル 250ハンドルWH	本	1	
6	移植ゴテ	本	20	FV用
7	eプランター 500×250×118	個	10	マリンワールド設置分
8	イボ竹 Nポール 26φ×2700	本	50	ゴーヤカーテン用
9	エクセレントフラワーアーチ 1740*490*2020mmｸﾞﾘｰﾝ	基	2	バラ園用
10	オベリスク	個	4	FM用
11	折込式のこぎり ＰＭ-21	本	11	センター用、温室用
12	化繊ホウキ 短柄	本	1	温室用
13	化繊ホウキ 長柄	本	6	直営+温室用
14	カメラケース ｻﾝﾜｻﾌﾟﾗｲDGBG43	個	4	
15	刈込ばさみ アルミ柄 MS-4	本	1	FV用
16	刈払機 BIGM BC23CSN	台	1	
17	脚立 3段ｽﾃｯﾌﾟ	脚	2	直営用
18	業務用ホースドラム ドラム部 50m用	個	3	
19	キリコ巻取り器リール 巻幅65mm	個	1	
20	キリコ巻取り器台座 据置型	個	1	
21	軽量剪定鋏 K-1000	本	1	低木剪定用
22	工業用扇風機 YKS-A45	台	4	温室用
23	工事用黒板 300*450	台	1	温室用
24	コルクボード 45×90cm	枚	1	直営用
25	サック用ベルト	本	2	
26	サック用革ベルト	本	1	
27	散水チューブ	巻	1	
28	散水ホース Gラインアルバ 40mm×20m	本	4	花の丘灌水用
29	三本クワ 1050mmﾀﾓ柄付	本	1	
30	遮光シート 2m×10m	枚	25	チューリップ花壇遮光用
31	集草袋 GB6064 170L用	個	2	直営用
32	ジョウロ 8L	個	4	センター用
33	書籍（造園安全衛生管理の手引き）	冊	1	センター用
34	真中ブラシ	本	1	
35	スプリンクラー カクダイ 546-010	個	5	FM用
36	スプリンクラー カクダイ 5470-13	個	3	
37	セルトレー 72穴	枚	32	温室生産用
38	剪定皮サック 2段式	個	1	

39	剪定鋸　ズバット300	本	1	
40	剪定ばさみ 岡恒 200㎜	本	3	
41	扇風機　FS-30LW	台	1	直営・節電用
42	大自タイヤストッパー	個	2	1tトラック用
43	台車　金象印ｷｬﾘｰﾗｯｸ	台	1	ボランティア用
44	タイヤストッパー ゴム製	セット	1	軽トラック用
45	高枝切　3.0-5D	本	1	高木枝切り用
46	高枝切　HAYAUCHI4段	本	1	高木枝打ち用
47	高枝切ノコギリ　ｼﾙｷｰｽﾞﾊﾞｯﾄ2段	本	1	
48	デジタルカメラ　EX-Z35 ﾊﾞｯﾃﾘｰ	台	2	
49	デジタルカメラ　ｷｬﾉﾝIXY220F　ｼﾙﾊﾞｰ	台	4	
50	鉄ピン　1000×12	本	500	チューリップ花壇遮光用
51	テラコッタ　φ400	基	8	
52	テラコッタ　φ600	基	1	
53	テラコッタ鉢　φ420×H510	個	6	バラ鉢用
54	テラコッタ鉢　φ52×H46	個	2	バラ鉢用
55	テラコッタ鉢　φ55×H55	個	15	バラ鉢用
56	テラコッタ鉢　φ62×H61	個	3	バラ鉢用
57	テラコッタ鉢　φ620×H610	個	17	バラ鉢用
58	ノーマルベンチ	基	15	ｼﾝﾌｫﾆｰｶﾞｰﾃﾞﾝ、バラ園用
59	ノコギリ　TL-30	本	1	FV用
60	ノコギリ　ｼﾙｷｰｽﾞﾊﾞｯﾄ	本	2	
61	八角テーブル　110cm	台	12	カナール ガーデンテラス用
62	バッテリー　ｷｬﾉﾝ NB-11L	個	2	
63	花切バサミ　165ｍｍ	本	6	温室・ゲート用
64	花切ハサミ　180㎜	本	3	
65	花切バサミ　ﾁｶﾏｻ　T-550	本	1	直営用
66	花切バサミ　岡恒　200㎜	本	2	直営用
67	花切バサミ　近正ｽﾃﾝ　200㎜	本	2	直営用
68	パラソルベース　15Kg　円形	個	12	カナール ガーデンテラス用
69	フォールディングチェアー　肘付	脚	48	カナール ガーデンテラス用
70	太丸高枝切りばさみ　1000mm　N-153	本	5	FV2本、直営3本
71	太丸高枝切りばさみ　2000mm　N-155	本	1	FV用
72	プラスチック擬木　φ60*700　12φ*1穴	本	300	花畑周辺囲い用
73	プラスティックラティス　WP900×1800cm	枚	4	FM用
74	プラスティックラティス用地中杭	本	4	FM用
75	プラスティックラティス用柱　H＝1800	本	4	FM用
76	フラワースタンド　ストレート型	基	4	FM、西サイクリング用
77	ブルーシート　約2.7×約3.6m	枚	2	センター用
78	ブルーシート　1.8×1.8m	枚	4	直営用
79	ブルーシート　2.6×3.5m	枚	1	直営用
80	防藻エコグリーンホース　内径18×50m	巻	3	花の丘チューブ灌水用
81	防藻エコグリーンホース　内径25×50m	巻	15	花の丘チューブ灌水用
82	保護メガネ　TMY　ｸﾘｱ	個	1	直営作業用
83	保護メガネ　ｷﾞｽｹ　ｸﾘｱ	個	1	直営作業用
84	ポット土詰め器（スピードポッター）Ｌ30Ｐ　標準穴	台	1	温室用

85	無地ホワイトボード　横型　600*900	枚	4	温室用
86	目盛バケツ　10L	個	1	温室用
87	木製パラソル 270cm アイボリー	本	8	数が減った
88	木製ベンチ	台	16	カナール ガーデンテラス用
89	リクライニング リラックスチェア G72006グリーン	基	10	カナール ガーデンテラス用
	業務グループ(施設係)			
1	リョービ掃除機（VC-23）	台	2	ドッグランカモの糞清掃用
2	耐圧ホース（15×17）	m	10	
3	電工用ドライバー	本	2	
4	ニッパー	本	1	
5	テストハンマー	本	1	
6	石頭ハンマー	本	1	
7	ウォータープライヤー	本	1	
8	モンキーレンチ	本	1	
9	白高輝度停止位置看板（鉄枠1400＊550）	台	6	
10	スコッチコーン（反射/白H700）	本	40	カラーコーン
11	コーンバー（白黄色ゴム輪タイプ2m）	本	20	カラーコーンバー
12	コーンベース（2ｋｇ）	個	40	カラーコーン用重り
13	二方向矢印板（樹脂製　緑白450＊900）	台	4	置き型　誘導標識
14	ローポンプスーパープラス	個	1	排水管清掃機
15	スタンド式工場扇風機	台	2	水辺のレストハウス用
16	手押芝刈機（180ml）	台	1	ドッグラン用
17	パネル・デ・スクリーン　（1170×762mm）	基	10	置き型柵
18	ウエイト（溶融亜鉛メッキ）	基	20	置き型柵用ウエイト
19	胴付長靴（K型）26	足	2	26cm、28cm池、噴水清掃用
20	掃除用具入れ（ダスコットⅣ）　W455*D525*H1790	台	2	海の中道駅、大芝生レストハウストイレ用
21	ビューティーフェンス　H1180*W1000 青	枚	18	立入禁止措置に使用
22	ビューティーベース角型13.5ｋｇ255mm*225m	個	18	立入禁止措置に使用
23	ビューティージョイント	個	10	立入禁止措置に使用
24	作業メガネ	個	2	
25	除菌マット（緑・グレー750×900mm）	枚	30	口蹄疫・鳥インフル防疫用（緑20枚・グレー10枚）
26	単管パイプ　1.8厚　1mピン付	本	30	日除け仮設用
27	ゴージャスマット（茶　600*900）	枚	4	口蹄疫・鳥インフル防疫用
28	モンキーレンチ（200mm）	個	1	工具
29	ネジザウルス	個	1	クギ抜き用工具
30	ニッパー（斜150mm）	個	1	工具
31	モーターレンチ（280mm）	個	1	工具
32	アルミ製脚立（MR210S）	台	1	
33	ホームツールセット（工具55ピース）	個	1	工具
34	ショートラチェットドライバー（超薄型22mm）	個	2	工具
35	打込み丸カン	本	80	12φ×1,000mm　人止めロープ柵用杭
36	安全帯	個	4	高所作業用
37	パネル・デ・スクリーン　（1,170×762mm）	基	10	置き型柵

38	ウエイト（溶融亜鉛メッキ7.5kg/個）	個	20	置き型柵用ウエイト
39	ハーリンチェアー2　（グリーン）	脚	60	移動式ベンチ
40	ハーリンテーブル（TB-036　グリーン）	台	15	移動式テーブル
41	バール（小）	本	2	工具
42	インパクトドライバー	台	1	東芝　CIEP10VA 清掃作業
43	高圧用スプレーホース	本	1	8.5×50m　イカダ空気用
44	防毒マスク（G-7、GM31、GM12）	個	3	鳥インフル対策消毒用
45	セーフティーゴーグル（GS-56M）	個	3	
46	除菌マット（695㎜×995㎜）	枚	20	口蹄疫・鳥インフル防疫用
47	水中ポンプ(工新ボンディSM-625X)	個	1	
48	消火器	本	7	
49	二方向矢印板　（緑、矢印無）	枚	6	園内誘導サインとして使用
50	ニューコーンサイン（白無地片面キャップ付）	枚	8	コーンに取り付け使用するサイン
51	ラチェット	個	1	工具
52	ラジオペンチ（150㎜）	個	2	工具
53	ベンチ工具（175㎜）	個	1	工具
54	消防ホース（オスメス金具付40A）	本	2	水辺のトリムの池清掃用
55	3段切替ノズル（消防ホース用40A）	個	1	水辺のトリムの池清掃用
56	ストレートノズル（40A）	個	1	水辺のトリムの池清掃用
57	遊具用年齢シール（3－6歳用）	枚	20	園内遊具用
58	ソフトスコッチコーンＳＣＨ-70ＢＷ	本	15	立入禁止等に使用するカラーコーン
59	カラーリングバーＣＲＢ-20Ｂ	本	15	カラーコーン用バー
60	光るコーンリングＧＯＲ-Ｄ4	個	15	カラーコーン用ウエイト
61	矢印板ＳＲ型　ＡＲ-14Ｓ	台	2	園内誘導サインとして使用
62	標識MA板（300㎜×600㎜クギ穴4）	枚	10	立入禁止表示に使用
63	扇風機	基	4	工業用×2、家庭用×2
64	ラウンドアンブレラ（φ2,000×H2,220㎜グリーン）	本	4	ピクニックテーブルの日除けに使用
65	アンブレラ用ベース	個	4	ピクニックテーブルの日除けに使用
66	ハーリンチェアー2（ホワイト）	脚	60	ふわんポリン周囲のイス
67	ハーリンテーブル（ホワイト）	台	15	ふわんポリン周囲のテーブル
68	スチール棚（5段　グレー）	個	16	電気室・倉庫内整理等に使用
69	メタルラック（5段　60W）	個	2	電気室・倉庫内整理等に使用
70	ネットコーン（NC-70B）	本	70	風に強く転倒しにくいカラーコーン
71	のぼり用ポール	本	80	イベント誘導用のぼりポール
72	スマートロードポップサイン　SSW-9G	個	2	ふわんポリン周囲規制用
73	フォーサインスタン　ドFSS-45Y	個	4	ふわんポリン周囲規制用
74	ソフトスコッチコーン　GSU-70W	本	30	ふわんポリン周囲規制用
75	リングバー　34φ×2m	本	30	ふわんポリン周囲規制用
76	カラーパイプバリケード、青/白反射	基	20	立入禁止柵として使用
77	日置デジタルカードテスター	個	1	電気設備保守用
78	バンカーレーキミズノ　573	本	1	ふわんポリン砂場均し用
79	アキュカーブレーキ　574-ｃｐｔ	本	2	ふわんポリン砂場均し用
80	LEDライト　白色　ストレート	個	4	夜間イベント用
81	トナカイ	個	2	夜間イベント用
82	清水用水中ポンプ	台	1	夜間イベント用

83	LEDネットライト　180球　1.2m×2.4m	枚	10	夜間イベント用
84	樹脂製コーンサイン　KKSP-43K	枚	20	誘導・立入禁止等に使用
85	動物捕獲用檻H1,000×W1,000×L2,000	基	1	イノシシ捕獲用檻
86	集じん機	台	2	カモのフン清掃用外
87	三角旗　黄色ナイロンタフタ生地1200×1800	枚	2	旗サイン用
88	除菌マット　695㎜×995㎜MR-120-300-0	枚	20	出入口消毒用マット
90	デジタルカメラ　CASIO　EX	台	4	維持管理業務記録用
91	SDカード	枚	4	デジタルカメラ用ハード
92	外付けハードディスク　BUFFALO	台	1	写真等デジタルデーター記録用
93	サクションホース	m	50	清掃用排水用ホース
94	シリンダー錠　南京錠	個	24	施錠用
95	消防ホース　40A×20m	本	2	水辺のトリムの池清掃用
96	ニューコーンサイン	枚	6	清掃時誘導看板用コーン取付
97	塩素測定用キット	個	2	遊べる噴水塩素測定用
98	塩素・PH測定器	個	2	じゃぶじゃぶ池塩素測定用
99	エコメッシュ　1m×50m　オレンジ色	本	1	立入禁止等に使用するネット
100	置き型柵　パネル・デ・スクリーン	基	10	置き柵
101	LEDランタン	個	2	夜間イベント用
102	アルミローラー　φ20ストレート	本	10	ローラー滑り台直線部分交換用
103	アルミローラー　φ20テーパー	本	10	ローラー滑り台曲がり部分交換用
104	アルミローラー　φ203連アルミ	本	10	幅広滑り台部品
105	SBバケツ	個	50	計画停電対策用（トイレ手洗い用）
106	柄杓	個	30	計画停電対策用（トイレ手洗い用）
107	ウオーキングメジャー	個	1	タイヤ回転式作業距離測定用
108	台車　ＴＲＵＳＣＯピンク色	台	1	荷物運搬用台車
109	LED投光器　赤	個	4	夜間イベント用
110	モップ絞り器S	個	2	建物内水拭き用モップ絞り
	企画グループ(企画係)			
1	胴長	本	2	環境共生の森
2	狩払用カマ	本	2	環境共生の森
3	金ダライ	個	6	環境共生の森
4	集草用レーキ	本	2	環境共生の森
5	三角ホー鍬	本	4	環境共生の森
6	IH段付鍋	個	5	環境共生の森
7	卓上IH調理器	個	4	環境共生の森
8	電気ケトル	個	1	環境共生の森
9	アルミ　大型鍋	個	2	環境共生の森
10	備中鍬	本	5	環境共生の森
11	連結棚	台	3	環境共生の森
12	八角木槌	本	1	環境共生の森
13	ワゴンカート	台	1	環境共生の森
14	ジョウロ	本	4	環境共生の森
15	寄付白書2010	冊	1	環境共生の森
16	焼印	本	2	環境共生の森
17	飯ごう	個	20	環境共生の森

18	料理用大鍋	個	1	環境共生の森
19	コーンバー	本	110	企画
20	長机	本	26	企画
21	折りたたみイス	個	140	企画
22	A型看板（小）	基	12	企画
23	テント用ウェイト	個	78	企画
24	拡声器	個	6	企画
25	コーヒーメーカー	個	0	企画
26	加湿器	個	1	企画
27	姿見（鏡）	個	1	企画
28	ハンマー（大）	個	4	企画
29	ハンマー（小）	個	2	企画
30	木槌	個	0	企画
31	クリスマスツリー※イルミネーション	本	4	企画
32	パンフレットスタンド	基	2	環境共生の森
33	ボルトレスラック	基	1	環境共生の森
34	折りたたみ式コンテナ	個	23	企画
35	ブルーシート（4.5*4.5）	枚	0	企画
36	ブルーシート（5.3*5.3）	枚	0	企画
37	カンガルー台座※イルミネーション	個	2	企画
38	ウサギ（壁掛けタイプ）※イルミネーション	体	2	企画
39	ウサギ（LEDタイプ）※イルミネーション	体	1	企画
40	青い鳥（LEDタイプ）※イルミネーション	体	2	企画
41	鳥（LEDタイプ）※イルミネーション	体	2	企画
42	白鳥（LEDタイプ）※イルミネーション	体	2	企画
43	白鳥（台座つき）※イルミネーション	体	2	企画
44	超軽量ホワイトボード	基	1	企画
45	コーン用　ゴム重石	個	0	企画
46	コンパネ（900ｘ1800ｘ10）	枚	30	企画
47	スポットライト（大）用　足	個	2	企画
48	スポットライト（大）用　部材	個	4	企画
49	丸椅子	個	28	企画
50	コードリール　50m	個	11	企画
51	コードリール　30m	個	5	企画
52	鉄ピン　大（テント等固定）	本	24	企画
53	鉄ピン　小（テント等固定）	本	2	企画
54	パーティション　900ｘ1800	枚	20	企画
55	パーティション　900ｘ900	枚	18	企画
56	パーティション用　足	本	40	企画
57	イーゼル	個	7	企画
58	空気入れ	台	1	企画
59	木製ラック（3段）	基	4	企画
60	スピーカーケーブル　20m	本	2	企画
61	イレパネ　B1	枚	5	企画

62	イレパネ　A1	枚	10	企画
63	イレパネ　A3	枚	24	企画
64	ポスト	個	2	企画
65	ブルーシート（5.4*5.4）	枚	1	企画
66	ブルーシート（5.5*5.5）	枚	5	企画
67	ＤＶＤプレーヤー（東芝SD310J	基	1	企画（動物ふれあいいのちの輝き展）
68	ブロンズランタン（74410000）	個	20	企画（うみなかクリスマスキャンドルナイト）
69	ブルーシート（5.4ｘ7.3）	枚	8	企画（うみなかクリスマスキャンドルナイト）
70	中国製ホワイトラティス（1800×900mm）	枚	81	企画（ハンギングバスケット展）
71	セーフティーコーン（2.8kg）青	本	450	イベント対応用
72	コーン用バー（2m）	本	300	イベント対応用
73	書籍「新訂図解植物観察辞典」	冊	1	環境学習プログラム
74	書籍「図説植物用語事典」	冊	1	環境学習プログラム
75	書籍「木に咲く花-合弁花単子葉・裸子植物」	冊	1	環境学習プログラム
76	書籍「木に咲く花-離弁花」	冊	1	環境学習プログラム
77	書籍「野に咲く花」	冊	1	環境学習プログラム
78	書籍「葉で見わける樹木」	冊	1	環境学習プログラム
79	書籍「樹皮ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
80	書籍「紅葉ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
81	書籍「冬芽ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
82	書籍「昆虫の食草・食樹ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
83	書籍「種子たちの知恵-身近な植物に発見！」	冊	1	環境学習プログラム
84	書籍「どんぐりハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
85	ミニコーン（別名：マーカー、橙色）	個	390	スポーツイベント等
86	ラインカー（プラスチック製、黒）	台	2	スポーツイベント等
87	外付ハードディスク（ＨＤＬＳ1.ＯＴＵ2Ｊ（Ｆ1.0）	個	2	イベントデータ整理
88	デジタルカメラ（ペンタックス、ＯＰＴＩＯWG1ＰＬ（ＰＬ）	個	2	イベントデータ記録
89	デジタルカメラ用メディア（東芝、ＳＤＥ016G4）	個	2	イベントデータ記録
90	デジタルカメラバッテリー（ソニー、ＮＰＦG1（ＳＳＳ））	個	3	イベントデータ記録
91	カラー竹馬（適応身長110cm以下）	個	5	昔遊び広場
92	カラー竹馬（適応身長120～140cm）	個	5	昔遊び広場
93	カラー竹馬（適応身長150cm以上）	個	5	昔遊び広場
94	ポスターパネル（B1、防水タイプ）	枚	12	展示イベント用
95	パンフレットスタンド	台	1	展示イベント用
96	A型ポスタースタンド（Ｂ１サイズ）	台	8	イベント情報表示用
97	ポスタースタンド用保持パイプ（B1用）	台	8	イベント情報表示用
98	ウエイト（11kg）	個	16	イベント情報表示用
99	折りたたみテーブル（軽量タイプ1800×450）	台	40	
100	回転灯（12/24V兼用）	個	20	
101	三本鍬	本	5	環境共生の森
102	トウ鍬	本	5	環境共生の森

103	木蓋　（アルミ　大型鍋用）	個	1	環境共生の森
104	電動ドリル	個	1	環境共生の森
105	携帯顕微鏡	個	6	環境共生の森
	企画グループ（広報係）			
1	パンフレットスタンド	基	1	
2	印刷料金2009	冊	1	
3	印刷料金2010	冊	1	
4	印刷料金2011	冊	1	
5	印刷料金2012	冊	1	
6	台車	基	1	（広報室）
7	コルクボード（600㎜×900㎜）	枚	1	事務所内掲示板／キャンペーン（破損）
8	花瓶	個	2	キャンペーン用（広報室）
9	コンパクトメガホン	個	2	キャンペーン用（広報室）
10	パンフレットスタンド（卓上）	基	4	キャンペーン用（広報室）
	業務グループ（動物）			
1	インパクトドライバー	個	2	
2	ドライバービット(10本入り)	個	1	
3	ペンチ	本	5	
4	ラジオペンチ	本	2	
5	ニッパー	本	3	
6	鋸	本	2	
7	鋸替刃	本	3	
8	プラスドライバー	本	3	
9	マイナスドライバー	本	2	
10	金槌	本	3	
11	デジタルノギス	個	1	
12	ジグソー	台	2	
13	ジグソー替刃	組	1	
14	管理作業用自転車	台	8	
15	角スコップ	本	4	
16	剣スコップ	本	4	
17	フォーク4本爪	本	2	
18	一輪車	台	3	
19	灯光器	個	3	
20	胴長靴	個	3	
21	ホイッスル	個	1	馴致用
22	カセットコンロ	台	1	
23	カーボンヒーター	個	2	ふれあい舎お客様用
24	動物用カーボンヒーター	個	3	
25	インシュロック（250㎜）	袋	3	
26	インシュロック（300㎜）	袋	2	
27	ブルーシート（3.6×3.6m）	枚	2	隔離舎用
28	ブルーシート（5.4×5.4m）	枚	2	隔離舎用

29	ブルーシート（5.4×7.2m）	枚	1	オガクズ用
30	ブルーシート（10×10m）	枚	1	堆肥用
31	蓋付容器（200ℓ）	個	4	野菜入れ
32	ふれあい舎用エプロン（大）	枚	40	お客様用
33	ふれあい舎用エプロン（小）	枚	130	〃
34	動物着ぐるみ	着	10	
35	作業ズボン	枚	8	
36	ネイチャーガイドベスト	着	4	ZOOナビ用
37	ボランティア用スタッフジャンバー	着	35	
38	野菜切機替刃	個	4	
39	動物ケージ（62cm×87cm）	個	2	
40	餌バット（角）	個	5	
41	防水シート（3.6m×3.6m）	枚	1	
42	蓋つきバケツ	個	10	
43	ミルミキサー	個	1	
44	木工用ドリルセット	個	1	
45	捕獲網	本	3	
46	ジョウロ（10ℓ）	個	1	
47	金剛打ロープ（6mm×40m）	巻	1	家畜名札用
48	USB(2GB)	個	3	
49	ポリ網（6.5m×4.8m）	枚	1	
50	ポリ網（6.8m×6.2m）	枚	1	
51	ワイヤレスアンプ用電池ケース	個	1	
52	蓋付バケツ	個	4	
53	タライ(75ℓ)	個	3	
54	メタルミニワゴン(900mm)	台	3	
55	ミニ食器棚	個	1	ボランティア用
56	デスク(120)	台	1	レストハウス展示用
57	書棚	台	3	〃
58	ラック	台	1	〃
59	タイトルプレーン	台	1	ラベル印刷機
60	扇風機	台	2	イベント用
61	壁掛け扇風機	台	2	ふれあい舎お客様用
62	デジタルカメラ	台	4	
63	仕上げサンダー(布ペーパー対応用)	台	2	
64	コンプレッサー	機	1	
65	小型動力噴霧器	台	1	
66	メガホン(拡声器)	個	3	
67	ハンズフリー拡声器	個	1	
68	掃除機	台	1	
69	冷蔵庫(小)	台	1	ボランティア休憩用
70	電気ポット	個	1	〃
71	デジタルキッチン秤	個	1	
72	体重計	台	2	
73	電気削蹄器	台	1	
74	ホワイトボード(1800×900)	枚	1	

75	ホワイトボード(850×500)	枚	3	
76	ポスターグリップ	枚	3	
77	イーゼル	台	3	
78	書籍「新飼育ハンドブック　Ｎｏ.5」	冊	5	
79	書籍「動物園学」	冊	1	
80	書籍「世界動物大図鑑-ANIMAL」	冊	1	
81	書籍「小学館ネオポケット　動物」	冊	1	
82	書籍「小学館ネオポケット　植物」	冊	1	
83	書籍「小学館ネオポケット　昆虫」	冊	1	
84	書籍「小学館ネオポケット　魚」	冊	1	
85	書籍「小学館の図鑑NEO-本物の大きさ絵本原寸大とうぶつ館」	冊	1	
86	書籍「ニューワイド学研の図鑑　一生の図鑑」	冊	1	
87	書籍「ほんとのおおきさ・動物園」	冊	1	
88	書籍「もっとほんとのおおきさ・動物園」	冊	1	
89	書籍「ほんとのおおきさ・なかよし動物園」	冊	1	
90	書籍「くらべる図鑑」	冊	1	
91	書籍「もっとくらべる図鑑」	冊	1	
92	子宮内膜炎用ホーミングマイシン	箱	1	抗生物質
93	バイトリル15mg錠	箱	5	〃
94	バイトリル50mg錠	箱	4	〃
95	チエナム静注	箱	2	〃
96	ダイメトンB注20%	箱	1	〃
97	メタカムチュアブル錠1.0mg	箱	1	抗炎症薬
98	水性デキサメサゾン注A	箱	1	〃
99	プレドニゾロン	箱	2	〃
100	ダーマキット（真菌培養）	箱	1	検査
101	エスプラインインフルエンザA&B-N	箱	3	〃
102	ディフクイック（染色液）	セット	1	〃
103	ギムザ液（染色液）	セット	1	〃
104	グラム染色液	セット	1	〃
105	バイコックス	本	7	駆虫薬
106	コンバントリン錠	箱	1	〃
107	アスゾール錠	箱	2	〃
108	フルモキサール散	箱	1	〃
109	ピカシンポアオン	箱	1	〃
110	フロントライン	箱	3	〃
111	カルドメックチュアブル	箱	5	〃
112	デパラシン	箱	1	〃
113	ミヤリサン	箱	2	消化器薬
114	プロテアーゼ	箱	1	〃
115	プリンペラン錠剤	箱	1	〃
116	グリセリン浣腸	箱	3	〃
117	モーサン	箱	2	〃
118	硫酸マグネシウム	箱	8	〃

119	ガスモチン	箱	1	〃
120	炭酸水素ナトリウム	箱	1	〃
121	コンスーベン内服薬	箱	2	〃
122	人工カルス塩	箱	4	〃
123	アンチセダン	本	2	麻酔薬
124	メイロング	箱	6	ビタミン剤
125	パンカルG散	袋	10	〃
126	ビタメジン静注	管	10	〃
127	レバチオ液	本	7	〃
128	アニビタン100注射液	箱	1	〃
129	カルチコール注射液	管	30	カルシウム剤
130	ソルラクトD	本	15	補液剤
131	5%ブドウ糖500ml	本	20	〃
132	ソリタT-1	本	10	〃
133	生理食塩水	本	7	〃
134	エクイバランペースト	本	14	劇薬
135	ドミトール	本	4	〃
136	セラクタール2%	本	4	〃
137	アトロピン（タナベ）	管	55	〃
138	アトロピン（フソー）	箱	2	〃
139	イソフルン	本	1	〃
140	テラプチク	箱	3	〃
141	ネグホン	本	1	〃
142	動物用日脳TCワクチン	本	1	〃
143	馬インフルエンザワクチン	箱	1	〃
144	馬3種混合ワクチン	本	2	〃
145	ND・OEワクチン	本	1	〃
146	ツベルクリン	本	1	〃
147	ベノキシール	本	9	点眼薬
148	D.E.X	本	10	〃
149	コンドロン点眼液	本	40	〃
150	タリビット眼軟膏	本	10	〃
151	ヒアレイン	本	52	〃
152	アズレン	箱	2	〃
153	カタリン	本	2	〃
154	復方ヨードグリセリン	本	1	消毒薬
155	ラポック液	本	4	〃
156	クリアキル	缶	1	〃
157	消毒用エタノール50%	本	30	〃
158	消毒用エタノール70%	箱	1	〃
159	クレンテ	袋	50	〃
160	オキシドール液	本	12	〃
161	ゼクトン	缶	1	〃
162	ペースサン	袋	10	〃
163	フロリードDクリーム	本	20	外用薬

164	オキナゾールクリーム	本	5	〃
165	ハイセチンP軟膏	箱	2	〃
166	オキシテトラサイクリン乳房炎用液NZ	箱	3	〃
167	フランセチンTパウダー	本	1	〃
168	イントラサイトジェル	箱	1	〃
169	エアーサロンパス	本	1	〃
170	ハイドロサイトプラス	箱	2	〃
171	タウリン	箱	4	強肝剤
172	ネオヘキサメチオニン	箱	2	〃
173	強力ネオミノファーゲンシー	管	5	〃
174	ネオミノファーゲンG配合錠	箱	1	〃
175	ヘパリンNa	箱	1	血液擬固抑制薬
176	尿素	本	1	試薬
177	ヤバシライム	箱	1	〃
178	プロピレングリコール	本	2	〃
179	四ホウ酸ナトリウム	本	1	〃
180	アセトカルミン溶液	本	1	〃
181	無水エタノール	本	1	〃
182	ホウ酸	本	1	〃
183	ジェチルエーテル	本	1	〃
184	ディスポ注射針18G	箱	3	
185	ディスポ注射針19G×11/2	箱	1	
186	ディスポ注射針20G×11/2	箱	1	
187	ディスポ注射針21G×5/8	箱	2	
188	ディスポ注射針22G	箱	3	
189	ディスポ注射針23G	箱	2	
190	ディスポ注射針24G×1	箱	2	
191	ディスポ注射針25G×5/8	箱	1	
192	ディスポ注射針26G×1/2	箱	1	
193	ディスポシリンジ1ml、2.5ml、5ml、10ml、20ml、30ml	箱	6	
194	サージカルテープ（12.5mm×9m、25mm×9m、50mm×9m各1	箱	3	
195	フィクソルムストレッチ（5cm×10m）	箱	1	
196	ハイドロコロイドテープ（2.5cm×2m）	箱	1	
197	伸縮包帯（7.5cm×9m）	巻	8	
198	伸縮包帯（5cm×9m）	巻	2	
199	ベトラップ（5cm×4.5m）	巻	15	自着性包帯
200	ベトラップ（7.5cm×4.6m）	巻	17	〃
201	セラオビ（25mm×5m）	巻	9	〃
202	スパンテックス（2.5cm×5m）	巻	5	粘着性包帯
203	スパンテックス（3.75cm×5m）	巻	4	〃
204	クリーンネット（0.8cm×25m、2cm×25m、2.5cm×25m各1巻）	巻	3	チュウブ包帯
205	ストッキネット（2.8cm×18m）	巻	1	
206	ストッキネット（5.1cm×23m）	巻	1	
207	スコッチキャストTMプラス-J（7.6cm×3.6m）	巻	2	キャスト材（ギブス）
208	スコッチキャストTMプラス-J（5.0cm×3.6m）	巻	5	〃

209	キャストパッド（7.5cm×3.6m、5.0cm×3.6m各1袋）	袋	1	ギブス用
210	コーバン（25mm×4.5m）	箱	3	自着性包帯
211	輸液セット（点滴筒あり・なし各1）	箱	2	
212	ディスポ　メス　10、11、15、21、23	箱	5	
213	処置キット	箱	1	
214	酸素ボンベ7m3	本	1	
215	酸素ボンベ1.5m3	本	4	
216	酸素ボンベ0.5m3	本	2	
217	マイクロチップ	個	32	
218	スライドガラス	箱	1	
219	カバーガラス（18mm×18mm）	箱	1	

備品以外の残存物品関係（リスト）

【平成25年度】

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
	企画運営課（総務・経理係）			
1	付箋紙(小)	個	10	
2	付箋紙(中)	個	2	
3	付箋紙(大)	個	25	
4	付箋紙(特大)	個	4	
5	ノート(B5)	冊	3	
6	レベルブック	冊	7	
7	キングファイル(3cm)	冊	6	
8	キングファイル(5cm)	冊	4	
9	キングファイル(6cm)	冊	2	
10	フラットファイル	冊	37	
11	蛍光ペン	本	77	
12	ボールペン	本	37	
13	ボールペン(替え芯)	本	98	
14	マジック(細)	本	23	
15	マジック(太)	本	18	
16	鉛筆	本	12	
17	ホワイトボードマーカー	本	17	
18	ホワイトボードマーカー(詰め替え用)	本	9	
19	消しゴム	個	48	
20	砂消し	個	21	
21	修正テープ	個	3	
22	修正テープ(カートリッジ)	個	8	
23	テプラ	個	144	
24	ガムテープ	巻	57	
25	布テープ	巻	12	
26	セロテープ	巻	12	
27	両面テープ	巻	12	
28	のり	本	13	
29	メンディングテープ	巻	3	
30	インデックス(大)	袋	15	
31	インデックス(中)	袋	21	
32	ホッチキス針	箱	22	
33	乾電池(単1)	本	8	
34	乾電池(単2)	本	20	
35	乾電池(単4)	本	36	
36	コピー用紙(A3)	冊	5	
37	コピー用紙(A4)	冊	31	
38	レターボックス	個	22	

39	ポロシャツ	着	513	
40	ブルゾン	着	434	
41	防寒着	着	176	
42	コミュニケーションボード	枚	6	
43	高齢者疑似体験セット	個	1	
	企画運営課(企画係)			
1	胴長	本	2	環境共生の森
2	狩払用カマ	本	2	環境共生の森
3	金ダライ	個	6	環境共生の森
4	集草用レーキ	本	2	環境共生の森
5	三角ホー鍬	本	4	環境共生の森
6	IH段付鍋	個	5	環境共生の森
7	卓上IH調理器	個	4	環境共生の森
8	電気ケトル	個	1	環境共生の森
9	アルミ　大型鍋	個	2	環境共生の森
10	備中鍬	本	5	環境共生の森
11	連結棚	台	3	環境共生の森
12	八角木槌	本	1	環境共生の森
13	ワゴンカート	台	1	環境共生の森
14	ジョウロ	本	4	環境共生の森
15	焼印	本	2	環境共生の森
16	飯ごう	個	20	環境共生の森
17	料理用大鍋	個	1	環境共生の森
18	コーンバー	本	110	企画
19	長机	本	26	企画
20	折りたたみイス	個	140	企画
21	A型看板（小）	基	12	企画
22	テント用ウェイト	個	78	企画
23	拡声器	個	6	企画
24	加湿器	個	1	企画
25	姿見（鏡）	個	1	企画
26	ハンマー（大）	個	1	企画
27	ハンマー（小）	個	1	企画
28	クリスマスツリー※イルミネーション	本	4	企画
29	パンフレットスタンド	基	2	環境共生の森
30	ボルトレスラック	基	1	環境共生の森
31	折りたたみ式コンテナ	個	23	企画
32	ブルーシート（4.5*4.5）	枚	3	企画
33	カンガルー台座※イルミネーション	個	2	企画
34	ウサギ（壁掛けタイプ）※イルミネーション	体	2	企画
35	ウサギ（LEDタイプ）※イルミネーション	体	1	企画
36	青い鳥（LEDタイプ）※イルミネーション	体	2	企画
37	鳥（LEDタイプ）※イルミネーション	体	2	企画
38	白鳥（LEDタイプ）※イルミネーション	体	2	企画
39	白鳥（台座つき）※イルミネーション	体	2	企画
40	コンパネ（900ｘ1800ｘ10）	枚	30	企画
41	丸椅子	個	19	企画
42	コードリール　50m	個	11	企画
43	コードリール　30m	個	5	企画
44	鉄ピン　大（テント等固定）	本	24	企画

45	鉄ピン　小（テント等固定）	本	2	企画
46	パーティション　900ｘ1800	枚	20	企画
47	パーティション　900ｘ900	枚	18	企画
48	パーティション用　足	本	40	企画
49	イーゼル	個	7	企画
50	空気入れ	台	1	企画
51	木製ラック（3段）	基	4	企画
52	スピーカーケーブル　20m	本	2	企画
53	イレパネ　B1	枚	5	企画
54	イレパネ　A1	枚	10	企画
55	イレパネ　A3	枚	20	企画
56	ポスト	個	1	企画
57	ブルーシート（5.4*5.4）	枚	1	企画
58	ブルーシート（5.5*5.5）	枚	5	企画
59	ＤＶＤプレーヤー（東芝SD310J	基	1	企画（動物ふれあいいのちの輝き展）
60	ブロンズランタン（74410000）	個	17	企画（うみなかクリスマスキャンドルナイト）
61	ブルーシート（5.4ｘ7.3）	枚	8	企画（うみなかクリスマスキャンドルナイト）
62	中国製ホワイトラティス（1800×900mm）	枚	81	企画（ハンギングバスケット展）
63	セーフティーコーン（2.8kg）青	本	450	イベント対応用
64	コーン用バー（2m）	本	300	イベント対応用
	企画運営課(市民交流係)			
1	書籍「新訂図解植物観察辞典」	冊	1	環境学習プログラム
2	書籍「図説植物用語事典」	冊	1	環境学習プログラム
3	書籍「木に咲く花-合弁花単子葉・裸子植物」	冊	1	環境学習プログラム
4	書籍「木に咲く花-離弁花」	冊	1	環境学習プログラム
5	書籍「野に咲く花」	冊	1	環境学習プログラム
6	書籍「葉で見わける樹木」	冊	1	環境学習プログラム
7	書籍「樹皮ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
8	書籍「紅葉ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
9	書籍「冬芽ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
10	書籍「昆虫の食草・食樹ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
11	書籍「種子たちの知恵-身近な植物に発見！」	冊	1	環境学習プログラム
12	書籍「どんぐりハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
13	ミニコーン（別名：マーカー、橙色）	個	390	スポーツイベント等
14	ラインカー（プラスチック製、黒）	台	1	スポーツイベント等
15	外付ハードディスク（ＨＤＬＳ1.ＯＴＵ2Ｊ（Ｆ1.0）	個	2	イベントデータ整理
16	デジタルカメラ（ペンタックス、ＯＰＴＩＯWG1ＰＬ（ＰＬ）	個	1	イベントデータ記録
17	デジタルカメラ用メディア（東芝、ＳＤＥ016G4）	個	2	イベントデータ記録
18	デジタルカメラバッテリー（ソニー、ＮＰＦG1（ＳＳＳ））	個	3	イベントデータ記録
19	カラー竹馬（適応身長110cm以下）	個	5	昔遊び広場
20	カラー竹馬（適応身長120～140cm）	個	5	昔遊び広場
21	カラー竹馬（適応身長150cm以上）	個	5	昔遊び広場
22	ポスターパネル（B1、防水タイプ）	枚	12	展示イベント用
23	パンフレットスタンド	台	1	展示イベント用
24	A型ポスタースタンド（Ｂ１サイズ）	台	8	イベント情報表示用
25	ポスタースタンド用保持パイプ（B1用）	台	8	イベント情報表示用
26	ウエイト（11kg）	個	16	イベント情報表示用
27	折りたたみテーブル（軽量タイプ1800×450）	台	40	
28	回転灯（12/24V兼用）	個	20	
29	三本鍬	本	5	環境共生の森
30	トウ鍬	本	5	環境共生の森

31	木蓋　（アルミ　大型鍋用）	個	1	環境共生の森
32	電動ドリル	個	1	環境共生の森
33	携帯顕微鏡	個	6	環境共生の森
34	コルクボード（600㎜×900㎜）	枚	5	環境共生の森
35	折りたたみテーブル（軽量タイプ1800×450）	台	5	環境共生の森
	企画運営課（広報係）			
1	パンフレットスタンド	基	1	
2	印刷料金2010	冊	1	
3	印刷料金2011	冊	1	
4	印刷料金2012	冊	1	
5	印刷料金2013	冊	1	
6	台車	基	1	（広報室）
7	コルクボード（600㎜×900㎜）	枚	1	事務所内掲示板／キャンペーン（破損）
8	花瓶	個	2	ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ用（広報室）
9	コンパクトメガホン	個	2	ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ用（広報室）
10	パンフレットスタンド（卓上）	基	4	ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ用（広報室②/香椎駅①/西サロ①）
	植物管理課			
1	アーチ(バラ2人掛けベンチ囲い)	個	1	FM用
2	浅型一輪車	台	1	直営用
3	アルミ園芸三脚　240	本	1	剪定用
4	アルミガーデンパラソル　210ﾊﾝﾄﾞﾙWH　アルミ製	本	3	FM用
5	アルミガーデンパラソル　250ハンドルWH	本	1	FM用
6	移植ゴテ	本	20	FV用
7	eプランター　500×250×118	個	10	マリンワールド設置分
8	イボ竹　Nポール　26φ×2700	本	50	ゴーヤカーテン用
9	エクセレントフラワーアーチ　1740*490*2020ｍｍｸﾞﾘｰﾝ	基	2	バラ園用
10	オベリスク	個	4	FM用
11	折込式のこぎり　ＰＭ-21	本	11	センター用、温室用
12	化繊ホウキ　短柄	本	1	温室用
13	化繊ホウキ　長柄	本	6	直営+温室用
14	カメラケース　ｻﾝﾜｻﾌﾟﾗｲDGBG43	個	4	
15	刈込ばさみ　アルミ柄　MS-4	本	1	FV用
16	刈払機　BIGM　BC23CSN	台	1	
17	脚立　3段ｽﾃｯﾌﾟ	脚	2	直営用
18	業務用ホースドラム　ドラム部　50m用	個	3	
19	キリコ巻取り器リール　巻幅65mm	個	1	
20	キリコ巻取り器台座　据置型	個	1	
21	軽量剪定鋏　K-1000	本	1	低木剪定用
22	工業用扇風機　YKS-A45	台	4	温室用(2基は共生の森で使用中)
23	工事用黒板　300*450	台	1	温室用
24	コルクボード　45×90cm	枚	1	直営用
25	サック用ベルト	本	2	
26	サック用革ベルト	本	1	
27	散水チューブ	巻	1	
28	散水ホース　Gラインアルバ　40ｍｍ×20m	本	4	花の丘灌水用
29	三本クワ　1050mmﾀﾓ柄付	本	1	
30	遮光シート　2m×10m	枚	25	チューリップ花壇遮光用
31	集草袋　GB6064　170L用	個	2	直営用
32	ジョウロ　8L	個	4	センター用
33	書籍（造園安全衛生管理の手引き）	冊	1	センター用

34	真中ブラシ	本	1	
35	スプリンクラー カクダイ 546-010	個	5	FM用
36	スプリンクラー カクダイ 5470-13	個	3	
37	セルトレー 72穴	枚	32	温室生産用
38	剪定皮サック 2段式	個	1	
39	剪定鋸 ズバット300	本	1	
40	剪定ばさみ 岡恒 200mm	本	3	
41	扇風機 FS-30LW	台	1	直営・節電用
42	大自タイヤストッパー	個	2	1tトラック用
43	台車 金象印ｷｬﾘｰﾗｯｸ	台	1	ボランティア用
44	タイヤストッパー ゴム製	セット	1	軽トラック用
45	高枝切 3.0-5D	本	1	高木枝切り用
46	高枝切 HAYAUCHI4段	本	1	高木枝打ち用
47	高枝切ノコギリ ｼﾙｷｰｽﾞﾊﾞｯﾄ2段	本	1	
48	デジタルカメラ EX-Z35 ﾊﾞｯﾃﾘｰ	台	2	
49	デジタルカメラ ｷｬﾉﾝIXY220F ｼﾙﾊﾞｰ	台	4	
50	鉄ピン 1000×12	本	500	チューリップ花壇遮光用
51	テラコッタ φ400	基	8	
52	テラコッタ φ600	基	1	
53	テラコッタ鉢 φ420×H510	個	6	バラ鉢用
54	テラコッタ鉢 φ52×H46	個	2	バラ鉢用
55	テラコッタ鉢 φ55×H55	個	15	バラ鉢用
56	テラコッタ鉢 φ62×H61	個	3	バラ鉢用
57	テラコッタ鉢 φ620×H610	個	17	バラ鉢用
58	ノーマルベンチ	基	15	ｼﾝﾌｫﾆｰｶﾞｰﾃﾞﾝ、バラ園用
59	ノコギリ TL-30	本	1	FV用
60	ノコギリ ｼﾙｷｰｽﾞﾊﾞｯﾄ	本	2	
61	八角テーブル 110cm	台	12	カナール ガーデンテラス用
62	バッテリー ｷｬﾉﾝ NB-11L	個	2	
63	花切バサミ 165mm	本	6	温室・ゲート用
64	花切ハサミ 180mm	本	3	
65	花切バサミ ﾁｶﾏｻ T-550	本	1	直営用
66	花切バサミ 岡恒 200mm	本	2	直営用
67	花切バサミ 近正ｽﾃﾝ 200mm	本	2	直営用
68	パラソルベース 15Kg 円形	個	12	カナール ガーデンテラス用
69	フォールディングチェアー 肘付	脚	48	カナール ガーデンテラス用
70	太丸高枝切りばさみ 1000mm N-153	本	5	FV2本、直営3本
71	太丸高枝切りばさみ 2000mm N-155	本	1	FV用
72	プラスチック擬木 φ60*700 12φ*1穴	本	300	花畑周辺囲い用
73	プラスティックラティス WP900×1800cm	枚	4	FM用
74	プラスティックラティス用地中杭	本	4	FM用
75	プラスティックラティス用柱 H＝1800	本	4	FM用
76	フラワースタンド ストレート型	基	4	FM、西サイクリング用
77	ブルーシート 約2.7×約3.6m	枚	2	センター用
78	ブルーシート 1.8×1.8m	枚	4	直営用
79	ブルーシート 2.6×3.5m	枚	1	直営用
80	防藻エコグリーンホース 内径18×50m	巻	3	花の丘チューブ灌水用
81	防藻エコグリーンホース 内径25×50m	巻	15	花の丘チューブ灌水用
82	保護メガネ TMY ｸﾘｱ	個	1	直営作業用
83	保護メガネ ｷﾞｽｹ ｸﾘｱ	個	1	直営作業用
84	ポット土詰め器（スピードポッター） L30P 標準穴	台	1	温室用
85	無地ホワイトボード 横型 600*900	枚	4	温室用

86	目盛バケツ　10L	個	1	温室用
87	木製パラソル 270cm アイボリー	本	5	カナール ガーデンテラス用
88	木製ベンチ(2人掛け)	台	12	カナール ガーデンテラス用
89	リクライニング リラックスチェア G72006グリーン	基	2	カナール ガーデンテラス用
90	小型農薬保管庫	台	1	温室用、H25購入
91	丸棒付カードホルダー 27型	本	200	各花壇、花畑花名板用、H25購入
92	剪定鋸 210mm	本	10	剪定用、H25購入
93	人力噴霧機　MH9D-1	台	3	薬剤散布用、H25購入
94	フレンドパイプ　67-120cm	本	1	薬剤散布用、H25購入
95	3Mマスク　8812-DS1	枚	6	薬剤散布用、H25購入
96	グローブ　Y117（L）	組	1	薬剤散布用、H25購入
97	ワンタッチ計量器	個	1	薬剤散布用、H25購入
98	花切り鋏　180mm	本	5	花壇、バラ園花殻摘み用、H25購入
99	乾湿両用集塵機　VC-1100(掃除機)	台	2	メリケントキンソウ種子取り用、H25購入
100	消火栓ノズル（噴霧ノズル付）　40A	個	1	花壇、花畑灌水用、H25購入
101	カラーコーン	個	40	安全措置用、H25購入
102	コーンバー	個	40	安全措置用、H25購入
103	コーンウェイト 2kg	個	40	安全措置用、H25購入
104	噴霧器 9L	台	1	温室薬剤散布用、H25購入
105	ライン引きA型 EFA-003	台	1	花壇、花畑デザイン用、H25購入
106	スプリンクラー カクダイ5470-13	個	5	フラワーミュージアム灌水用、H25購入
107	インパクトスプリンクラー	個	16	花畑灌水用、H25購入
108	ホース 内径15mm×50m	巻	6	花畑灌水用、H25購入
109	ホース 内径15mm×30m	巻	1	花畑灌水用、H25購入
110	トリプルスプリンクラー	個	12	花畑灌水用、H25購入
111	バルススプリンクラー	個	3	花畑灌水用、H25購入
112	ちりとり	個	1	作業車輌清掃用、H25購入
113	長柄化繊箒	本	1	作業車輌清掃用、H25購入
114	散水チューブ　キリコ A3型　100m巻	本	1	灌水用、H25購入
115	育苗箱　T-1型	枚	190	温室用、H25購入
116	消防ホース　40A×20m	本	2	灌水用、H25購入
117	ドライワイパー	本	1	園路等水切り用、H25購入
118	ラティス木製フェンス 900×1800×t35	枚	16	花装飾用、H25購入
119	木製ラウンドプランター　深型　40cm	個	12	花装飾用、H25購入
120	木製半割りボートプランター　L	個	10	花装飾用、H25購入
121	木製オーバルプランター L	個	6	花装飾用、H25購入
122	木製オーバルプランター LL	個	6	花装飾用、H25購入
123	木製ポートプランター用マルチスタンド	個	6	花装飾用、H25購入
	施設設備管理課			
1	カラーコーン	個	130	立入規制等安全管理用
2	カラーコーンバー	本	50	立入規制等安全管理用
3	カラーコーン用サインポケット	枚	30	立入規制等安全管理用
4	カラーコーン（反射/白H700）	本	40	立入規制等安全管理用
5	カラーコーンバー（白黄色ゴム輪タイプ2m）	本	20	立入規制等安全管理用
6	カラーコーン用ウエイト　光るコーンリングＧＯＲ-Ｄ4	個	15	立入規制等安全管理用
7	カラーコーンバーＣＲＢ-20Ｂ	本	15	立入規制等安全管理用
8	カラーコーン用ウエイト　コーンベース（2ｋｇ）	個	240	立入規制等安全管理用
9	ニューコーンサイン	枚	6	立入規制等安全管理用
10	ニューコーンサイン（白無地片面キャップ付）	枚	8	立入規制等安全管理用
11	カラーコーン　ネットコーン（NC-70B）	本	70	立入規制等安全管理用
12	カラーコーンサイン	枚	90	立入規制等安全管理用

13	カラーコーン　ソフトスコッチコーンＳＣＨ-70ＢＷ	本	15	立入規制等安全管理用
14	くぐり防止用フェンス　幅0.6ｍ×15ｍ	巻	5	立入規制等安全管理用
15	ウェイト用バッグ	袋	20	立入規制等安全管理用
16	ネットフェンス　幅1ｍ×50ｍ	巻	5	立入規制等安全管理用
17	標識ネット　幅1ｍ×10ｍ	巻	20	立入規制等安全管理用
18	防獣ネット　幅1ｍ×50ｍ	巻	9	立入規制等安全管理用
19	防獣ネット用杭　L1200～L1500	本	214	立入規制等安全管理用
20	ロープ　5㎜	ｍ	50	立入規制等安全管理用
21	ロープ　9㎜	ｍ	1,050	立入規制等安全管理用
22	単管バリケード	本	30	立入規制等安全管理用
23	カラーパイプバリケード、青/白反射	基	20	立入規制等安全管理用
24	ビューティージョイント	個	10	立入規制等安全管理用
25	ビューティーフェンス　H1180*W1000青	枚	18	立入規制等安全管理用
26	ビューティーベース角型13.5ｋｇ255ｍｍ*225ｍ	個	18	立入規制等安全管理用
27	エコメッシュ　1ｍ×50ｍ　オレンジ色	本	1	立入規制等安全管理用
28	標識MA板（300㎜×600㎜クギ穴4）	枚	10	立入規制等安全管理用
29	白高輝度停止位置看板（鉄枠1400＊550）	台	6	立入規制等安全管理用
30	置き型柵　パネル・デ・スクリーン	基	10	立入規制等安全管理用
31	二方向矢印板（樹脂製　緑白450＊900）	台	4	立入規制等安全管理用
32	パネル・デ・スクリーン（1170×762㎜）	基	10	立入規制等安全管理用
33	パネル・デ・スクリーン（1,170×762㎜）	基	10	立入規制等安全管理用
34	置き型柵　ウエイト（溶融亜鉛メッキ）	基	20	立入規制等安全管理用
35	置き型柵　ウエイト（溶融亜鉛メッキ7.5kg/個）	個	20	立入規制等安全管理用
36	二方向矢印板　（緑、矢印無）	枚	6	立入規制等安全管理用
37	矢印板ＳＲ型　ＡＲ-14Ｓ	台	2	立入規制等安全管理用
38	打込み丸カン　12φ×1,000㎜　人止めロープ柵用杭	本	80	立入規制等安全管理用
39	サインスタンド（注水タイプ）小	台	5	園路広場等案内看板用
40	サインスタンド（注水タイプ）大	台	5	園路広場等案内看板用
41	メッセージボード	台	20	園路広場等案内看板用
42	ガーデンパラソル　白	本	2	園路広場等の休憩施設用
43	リクライニングチェア	脚	10	園路広場等の休憩施設用
44	ハーリンテーブル（TB-036　グリーン）	台	10	休憩スペース用（移動式）
45	ハーリンチェアー2　（グリーン）	脚	44	休憩スペース用（移動式）
46	アンブレラ用ベース	個	4	ピクニックテーブルの日除けに使用
47	ラウンドアンブレラ（φ2,000×H2,220㎜グリーン）	本	4	ピクニックテーブルの日除けに使用
48	ハーリンチェアー2（ホワイト）	脚	66	ふわんポリン休憩スペース用
49	ハーリンテーブル（ホワイト）	台	27	ふわんポリン休憩スペース用
50	3芯LED用Y字延長コード（白コード）	個	2	冬季夜間開園時装飾用
51	3芯LED用コントローラー（黒コード）	個	4	冬季夜間開園時装飾用
52	3芯LED用コントローラー（白コード）	個	5	冬季夜間開園時装飾用
53	ジョイントLED用コントローラー	個	6	冬季夜間開園時装飾用
54	LEDネットライト　180球　1.2ｍ×2.4ｍ	枚	10	冬季夜間開園時装飾用
55	LEDライト　白色　ストレート	個	4	冬季夜間開園時装飾用
56	LEDライト（3芯・ｺﾞｰﾙﾄﾞ・ｽﾄﾚｰﾄ・黒ｺｰﾄﾞ　10ｍ）	本	20	冬季夜間開園時装飾用
57	LEDライト（3芯・白・ｽﾄﾚｰﾄ・ｸﾘｱｺｰﾄﾞ　10ｍ）	本	27	冬季夜間開園時装飾用
58	LEDライト（ｺﾞｰﾙﾄﾞ・ｽﾄﾚｰﾄ・ｸﾘｱｺｰﾄﾞ　10ｍ）	本	10	冬季夜間開園時装飾用
59	LEDライト（桜色・ｽﾄﾚｰﾄ・ｸﾘｱｺｰﾄﾞ　11ｍ）	本	10	冬季夜間開園時装飾用
60	LEDﾗｲﾄ（ｼﾞｮｲﾝﾄﾀｲﾌﾟ・ｺﾞｰﾙﾄﾞ・ｽﾄﾚｰﾄ・黒ｺｰﾄﾞ10ｍ）	本	30	冬季夜間開園時装飾用
61	LEDﾗｲﾄ（ｼﾞｮｲﾝﾄﾀｲﾌﾟ・白・ｽﾄﾚｰﾄ・黒ｺｰﾄﾞ10ｍ）	本	30	冬季夜間開園時装飾用
62	LEDライト（白・ｽﾄﾚｰﾄ・ｸﾘｱｺｰﾄﾞ　10ｍ）	本	10	冬季夜間開園時装飾用
63	LEDランタン	個	2	冬季夜間開園時装飾用
64	LED投光器　赤	個	4	冬季夜間開園時装飾用

65	トナカイ	個	2	冬季夜間開園時装飾用
66	胴付長靴（K型）26	足	2	噴水等工作物清掃用
67	3段切替ノズル（消防ホース用40A）	個	1	噴水等工作物清掃用
68	ストレートノズル（40A）	個	1	噴水等工作物清掃用
69	消防ホース　40A×20m	本	2	噴水等工作物清掃用
70	消防ホース（オスメス金具付40A）	本	2	噴水等工作物清掃用
71	耐圧ホース（15×17）	m	10	噴水等工作物清掃用
72	サクションホース	m	50	噴水等工作物清掃用
73	水中ポンプ	台	1	噴水等工作物清掃用
74	水中ポンプ	台	1	噴水等工作物清掃用
75	送水ホース　40mm	m	75	噴水等工作物清掃用
76	耐圧ホース　15mm	m	30	噴水等工作物清掃用
77	高圧用スプレーホース	本	1	噴水等工作物清掃用
78	水中ポンプ(工新ボンディSM-625X)	個	1	噴水等工作物清掃用
79	ローポンプスーパープラス	個	1	噴水等工作物清掃用
80	リョービ掃除機（VC-23）	台	2	カモの糞清掃用
81	集じん機	台	2	カモの糞清掃用
82	手押芝刈機（180ml）	台	1	ドッグラン用
83	モップ絞り器S	個	4	建物清掃用
84	掃除用具入れ（タスコットⅣ）　W455*D525*H1790	台	2	建物清掃用
85	SBバケツ	個	50	建物清掃用
86	柄杓	個	30	建物清掃用
87	鎌	本	20	園路広場除草等清掃作業用
88	スクレーパー	本	10	遊具・工作物等清掃作業用
89	ゴージャスマット（茶　600*900）	枚	3	口蹄疫・鳥インフル等防疫・消毒用
90	除菌マット（緑・グレー750×900mm）	枚	30	口蹄疫・鳥インフル等防疫・消毒用
91	除菌マット　695mm×995mmMR-120-300-0	枚	20	口蹄疫・鳥インフル等防疫・消毒用
92	ブルーシート　5.4m□	枚	2	子供の広場雨漏り等建物管理用
93	玄関マット	枚	2	子供の広場管理棟設置用
94	ジョイントマット　60cm□	枚	180	子供の広場管理棟設置用
95	塩素・PH測定器	個	2	じゃぶじゃぶ池塩素測定用
96	塩素測定用キット	個	2	遊べる噴水塩素測定用
97	シリンダー錠　南京錠	個	24	建物管理用
98	三角旗　黄色ナイロンタフタ生地1200×1800	枚	8	旗サイン用
99	のぼり用ポール	本	80	案内誘導用
100	消火器	本	7	消防設備
101	アキュカーブレーキ　574-ｃｐｔ	本	2	ふわんポリン等遊具管理用
102	バンカーレーキミズノ　573	本	1	ふわんポリン等遊具管理用
103	スマートロードポップサイン　SSW-9G	個	2	ふわんポリン等遊具管理用
104	ソフトスコッチコーン　GSU-70W	本	30	ふわんポリン等遊具管理用
105	フォーサインスタン　ドFSS-45Y	個	4	ふわんポリン等遊具管理用
106	リングバー　34φ×2m	本	30	ふわんポリン等遊具管理用
107	アルミローラー　φ20テーパー	本	10	ローラー滑り台用
108	アルミローラー　φ20ストレート	本	10	ローラー滑り台用
109	アルミローラー　φ203連アルミ	本	10	ローラー滑り台用
110	単管パイプ　1.8厚　1mピン付	本	30	夏季西口ゲート等日除け用
111	日除け用シェード　（2m×3m）	枚	6	夏季西口ゲート等日除け用
112	ネジザウルス	個	2	工具
113	グラインダ	台	1	工具
114	ハンマードリル	台	1	工具
115	ウォータープライヤー	本	2	工具
116	テストハンマー	本	1	工具

117	ニッパー	本	2	工具
118	モンキーレンチ	本	1	工具
119	石頭ハンマー	本	1	工具
120	電工用ドライバー	本	2	工具
121	インパクトドライバー	台	1	工具
122	ショートラチェットドライバー（超薄型22mm）	個	2	工具
123	ニッパー（斜150mm）	個	1	工具
124	バール（小）	本	2	工具
125	ベンチ工具（175mm）	個	1	工具
126	ホームツールセット（工具55ピース）	個	1	工具
127	モーターレンチ（280mm）	個	1	工具
128	モンキーレンチ（200mm）	個	1	工具
129	ラジオペンチ（150mm）	個	3	工具
130	ラチェット	個	2	工具
131	安全帯	個	4	作業安全管理用
132	懐中電灯	本	1	作業安全管理用
133	台車　ＴＲＵＳＣＯピンク色	台	1	作業安全管理用
134	アルミ製脚立（MR210S）	台	1	作業安全管理用
135	セーフティーゴーグル（GS-56M）	個	3	作業安全管理用
136	作業メガネ	個	2	作業安全管理用
137	防毒マスク（G-7、GM31、GM12）	個	3	作業安全管理用
138	工業用扇風機	基	4	作業安全管理用
139	家庭用扇風機	基	2	作業安全管理用
140	スチール棚（5段　グレー）	個	16	記録文書等保管用
141	メタルラック（5段　60W）	個	2	記録文書等保管用
142	カラーボックス	個	3	西口資機材収納用
143	動物捕獲用檻Ｈ1,000×Ｗ1,000×Ｌ2,000	基	1	イノシシ捕獲用檻
144	ウオーキングメジャー	個	1	タイヤ回転式作業距離測定用
145	デジタルカメラ　CASIO	台	4	記録業務用
146	外付けハードディスク　BUFFALO	台	1	記録業務用
147	SDカード	枚	4	記録業務用
148	日置デジタルカードテスター	個	1	電気設備保守用
	動物管理課			
1	インパクトドライバー	個	2	補修等
2	ドライバービット(10本入り)	個	1	〃
3	コードレスドライバドリル3.6ｖ	個	1	〃
4	ペンチ	本	4	〃
5	ラジオペンチ	本	2	〃
6	ニッパー	本	3	〃
7	鋸	本	2	〃
8	鋸替刃	本	2	〃
9	金切り鋸	本	1	〃
10	金切り鋸替刃	本	1	〃
11	プラスドライバー	本	3	〃
12	マイナスドライバー	本	2	〃
13	金槌	本	3	〃
14	デジタルノギス	個	1	〃
15	ジグソー	台	2	〃
16	ジグソー替刃	組	1	〃
17	管理作業用自転車	台	8	飼育用
18	角スコップ	本	4	補修等

19	剣スコップ	本	4	〃
20	フォーク4本爪	本	2	飼育用
21	一輪車	台	3	〃
22	灯光器	個	4	〃
23	懐中電灯	個	2	〃
24	胴長靴	個	3	〃
25	安全帯	個	2	補修用
26	ブースターケーブル	本	1	ホイルローダー用
27	ホイッスル	個	1	馴致用
28	カセットコンロ	台	1	イベント用
29	カーボンヒーター	個	2	ふれあい舎お客様用
30	動物用カーボンヒーター	個	7	動物飼育用
31	インシュロック（200mm）	袋	1	補修用
32	インシュロック（250mm）	袋	2	〃
33	ブルーシート（3.6×5.4m）	枚	2	隔離舎用
34	蓋付容器（200ℓ）	個	4	野菜入れ
35	ふれあい舎用エプロン（大）	枚	30	お客様用
36	ふれあい舎用エプロン（小）	枚	100	〃
37	動物着ぐるみ	着	10	
38	ネイチャーガイドベスト	着	4	ZOOナビ用
39	ボランティア用スタッフジャンバー	着	35	
40	野菜切機替刃	個	4	
41	動物ケージ（465mm×465mm×650mm）	個	5	
42	キャリーケース	個	2	動物運搬用
43	蓋つきバケツ	個	5	
44	ミルミキサー	個	1	
45	木工用ドリルセット	個	1	補修用
46	捕獲網	本	5	
47	遮光ネット	枚	2	
48	ジョウロ（10ℓ）	個	1	
49	金剛打ロープ（6mm×40m）	巻	1	家畜名札用
50	USB(2GB)	個	3	写真管理用
51	USB(4GB)	個	2	〃
52	ワイヤレスアンプ用電池ケース	個	1	イベント用
53	タライ(75ℓ)	個	3	
54	メタルミニワゴン(900mm)	台	3	
55	ミニ食器棚	個	1	ボランティア用
56	デスク(120)	台	1	レストハウス展示用
57	書棚	台	3	〃
58	ラック	台	1	〃
59	タイトルプレーン	台	1	ラベル印刷機
60	床置き式扇風機	台	2	獣舎乾燥用
61	壁掛け扇風機	台	2	ふれあい舎お客様用
62	デジタルカメラ	台	4	写真管理用
63	仕上げサンダー(布ペーパー対応用)	台	2	補修用
64	コンプレッサー	機	1	
65	小型動力噴霧器	台	1	消毒用
66	メガホン(拡声器)	個	3	イベント用
67	ハンズフリー拡声器	個	1	〃
68	掃除機	台	1	
69	冷蔵庫(小)	台	1	ボランティア休憩用
70	電気ポット	個	1	〃

71	デジタルキッチン秤	個	1	飼料計量用
72	秤(20kg)	個	1	〃
73	秤(4kg)	個	1	〃
74	体重計	台	2	
75	電波掛時計	個	1	ふれあい舎設置用
76	電気削蹄器	台	1	
77	ホワイトボード(1800×900)	枚	1	
78	ホワイトボード(850×500)	枚	3	
79	ポスターグリップ	枚	3	
80	イーゼル	台	3	イベント用
81	書籍「新飼育ハンドブック　Ｎｏ.5」	冊	5	
82	書籍「動物園学」	冊	1	
83	書籍「逐条解説　家畜伝染病予防法」	冊	1	
84	書籍「世界動物大図鑑-ANIMAL」	冊	1	
85	書籍「小学館ネオポケット　動物」	冊	1	
86	書籍「小学館ネオポケット　植物」	冊	1	
87	書籍「小学館ネオポケット　昆虫」	冊	1	
88	書籍「小学館ネオポケット　魚」	冊	1	
89	書籍「小学館の図鑑NEO-本物の大きさ絵本原寸大とうふつ館」	冊	1	
90	書籍「ニューワイド学研の図鑑　一生の図鑑」	冊	1	
91	書籍「ほんとのおおきさ・動物園」	冊	1	
92	書籍「もっとほんとのおおきさ・動物園」	冊	1	
93	書籍「ほんとのおおきさ・なかよし動物園」	冊	1	
94	書籍「くらべる図鑑」	冊	1	
95	書籍「もっとくらべる図鑑」	冊	1	
96	ディスポ注射針　18Ｇ×1 1/2	箱	1	
97	ディスポ注射針　18Ｇ×5/8	箱	3	
98	ディスポ注射針　19Ｇ×1 1/2	箱	2	
99	ディスポ注射針　19Ｇ×5/8	箱	2	
100	ディスポ注射針　21Ｇ×5/8	箱	3	
101	ディスポ注射針　22Ｇ×1 1/4	箱	2	
102	ディスポ注射針　22Ｇ×1	箱	1	
103	ディスポ注射針　22Ｇ×5/8	箱	2	
104	ディスポ注射針　23Ｇ×1	箱	2	
105	ディスポ注射針　23Ｇ×5/8	箱	2	
106	ディスポ注射針　24Ｇ×1	箱	1	
107	ディスポ注射針　25Ｇ×5/8	箱	3	
108	ディスポ注射針　26Ｇ×1/2	箱	1	
109	翼付針25G	箱	1	
110	翼付針23G	箱	2	
111	翼付針18G	箱	1	
112	ディスポシリンジ　ツベルクリン用	箱	2	
113	ディスポシリンジ　1ml	箱	3	
114	ディスポシリンジ　2.5ml	箱	2	
115	ディスポシリンジ　2.5ml針付き	箱	1	
116	ディスポシリンジ　5ml	箱	2	
117	ディスポシリンジ　10ml	箱	2	
118	ディスポシリンジ　20ml	箱	2	
119	ディスポシリンジ　30ml	箱	1	
120	ディスポシリンジ（カテーテルチップ）　30ml	箱	2	
121	ディスポシリンジ　50ml	箱	2	
122	ディスポシリンジ（カテーテルチップ）　50ml	箱	1	

123	外科用強弯角針　5	袋	9	
124	外科用強弯角針　4	袋	5	
125	外科用強弯角針　3	袋	4	
126	外科用強弯角針　1	袋	3	
127	外科用強弯角針　0	袋	3	
128	ポリゾーブ3-0	本	1	合成吸収糸
129	ポリゾーブ4-0	本	1	〃
130	ポリゾーブ5-0	本	2	〃
131	サージカルマスク	箱	11	
132	手術用マスク	箱	3	
133	ペーパーマスク	箱	2	
134	手術用手袋　7	箱	2	
135	手術用手袋　6　1/2	箱	1	
136	ビニール手袋　S	箱	3	
137	ビニール手袋　M	箱	5	
138	ビニール手袋　L	箱	7	
139	アイソレーションキャップ	箱	1	
140	酸素マスクゴム小	個	1	
141	酸素マスクゴム中	個	1	
142	麻酔器蛇管	個	3	
143	ディスポーザブル麻酔用バッグ	個	3	
144	フェザーディスポガード	箱	1	毛そり用カミソリ
145	フェザー替刃メス	箱	2	
146	フェザー替刃メスハンドル	本	8	
147	顔・まゆそり	箱	3	
148	ディスポーザブルstapleリムーバー	個	4	縫合用ステープラー用リムーバー
149	ポリエチレンサージカルテープ（25㎜×9m）	箱	2	
150	ポリエチレンサージカルテープ（50㎜×9m）	箱	2	
151	不織布サージカルテープ（12.5㎜×9m）	箱	1	
152	スズランサージカルテープ（50㎜×9m）	箱	1	
153	フィクソルムストレッチ（5cm×10m）	箱	1	
154	ハイドロコロイドテープ（2.5cm×2m）	箱	1	
155	伸縮包帯（7.5cm×9m）	巻	6	
156	ベトラップ（5cm×4.5m）	箱	2	自着性包帯
157	ベトラップ（7.5cm×4.6m）	巻	9	〃
158	セラオビ（25㎜×5m）	巻	3	〃
159	スパンテックス（2.5cm×5m）	巻	1	粘着性包帯
160	スパンテックス（3.75cm×5m）	巻	5	〃
161	スパンテックス（7.5cm×5m）	箱	2	〃
162	エラテックス（2.5cm×5m）	箱	5	〃
163	クリーンネット（0.8cm×25m）	巻	1	チューブ包帯
164	クリーンネット（2cm×25m）	巻	1	〃
165	クリーンネット（2.5cm×25m）	巻	1	〃
166	ストッキネット（2.8cm×18m）	巻	1	〃
167	ストッキネット（5.1cm×23m）	巻	1	〃
168	プレスネット（7.5cm×20m）	巻	1	〃
169	スコッチキャストTM3J（7.6cm×3.6m）	箱	1	キャスト材（ギプス）
170	スコッチキャストTMプラス-J（5.0cm×3.6m）	箱（巻）	1（4）	〃
171	キャストパッド（7.5cm×3.6m）	袋	2	ギプス用下巻き材
172	キャストパッドプラス（5.0cm×3.6m）	袋	1	〃
173	オルテックス	箱	1	〃
174	コーバン（25㎜×4.5m）	箱	1	自着性包帯

175	サムスプリント	巻	1	副木材
176	エリザベスカラー	個	1	ペットカラー
177	ハイレンドール	パック	3	レントゲン現像液
178	ハイレンフィックス	パック	2	レントゲン定着液
179	輸液セット（点滴筒あり）	箱	1	
180	輸液セット（点滴筒なし）	箱	1	
181	ディスポ　メス　10	箱	2	
182	ディスポ　メス　11	箱	2	
183	ディスポ　メス　15	箱	1	
184	ディスポ　メス　21	箱	3	
185	ディスポ　メス　23	箱	2	
186	処置キット	箱	4	
187	カット綿（4cm×4cm）	箱	1	
188	カット綿（8cm×16cm）	袋	1	
189	ハイゼガーゼ	袋	1	
190	酸素ボンベ7m3	本	1	
191	酸素ボンベ1.5m3	本	3	
192	酸素ボンベ0.5m3	本	2	
193	マイクロチップ	袋（個）	6（3）	
194	スライドガラス	箱	1	
195	カバーガラス（18mm×18mm）	箱	2	
196	カバーガラス（22mm×22mm）	箱	3	
197	カバーガラス（18mm×24mm）	箱	5	
198	キムワイプ	箱	1	
199	ペーパータオル	箱	5	
200	動物用体温計	本	7	
201	テラマイシンＬＡ注射液	本	4	抗生物質
202	バクテロン散5%	箱（袋）	4（2）	〃
203	カナマイシン注NZ	本	1	〃
204	カナマイシンシロップ明治	本	1	〃
205	スペルゾン静注用0.5g	管	7	〃
206	ケフレックスシロップ用細粒	本	1	〃
207	ホスミシン細粒40%	箱（包）	3（89）	〃
208	ホスミシンドライシロップ	本	3	〃
209	ネオテラミックス	袋	2	〃
210	子宮内膜炎用ホーミングマイシン	本	3	〃
211	バイトリル2.5%HV液	本	4	〃
212	バイトリル10%注射液	本	2	〃
213	バイトリルワンショット	本	1	〃
214	バイトリル15mg錠	箱	2	〃
215	バイトリル50mg錠	箱	2	〃
216	バイトリル150mg錠	箱	1	〃
217	マイシリンゾル	本	2	〃
218	ビブラマイシン錠50ｍｇ	錠	80	〃
219	チエナム静注	本	8	〃
220	バチリオン錠100	錠	20	〃
221	モダケミン静注	箱	1	〃
222	モダシン	箱	1	〃
223	アミカマイシン	箱（管）	1（7）	〃
224	ラセナゾリン注射用1g	管	9	〃
225	ロセフィン静注用	箱	1	〃
226	セファクリア錠	錠	111	〃

227	ビクシリン	箱	1	〃
228	アプシードシロップ	本	1	合成抗菌薬
229	ダイメトンB注20%	本	9	〃
230	ダイメトン粒状	本	1	〃
231	グリセチンＶ錠	箱（錠）	3（9）	抗真菌薬
232	ナイスタチン錠	錠	30	〃
233	フルコナゾール	錠	20	〃
234	イトコラゾール錠100「MEEK」	錠	15	〃
235	リマダイル100	本	3	抗炎症薬
236	リマダイル75	本	3	〃
237	リマダイル25	本	2	〃
238	ポンタールカプセル	缶	1	〃
239	バナミン注射液5%	本	1	〃
240	デカドロンエリキシル	本	1	〃
241	メタカム0.5%注射液	本	1	〃
242	メロキシカム錠5mg	箱	1	〃
243	メタカムチュアブル錠1.0mg	錠	11	〃
244	水性デキサメサゾン注A	本	8	〃
245	コルソンＰ	本	1	〃
246	プレドニゾロン	箱（管）	2（4）	〃
247	プレドニゾロン錠	錠	39	〃
248	エスピレ座薬	錠	90	解熱薬
249	小児用バファリン	錠	8	解熱鎮痛薬
250	ダーマキット	箱	4	真菌培養
251	エスプラインインフルエンザA&B-N	箱（個）	4（1）	ウイルス検査キット
252	ディフクイック	セット	1	染色液
253	ヘマカラー	セット	1	〃
254	ギムザ液	セット	1	〃
255	グラム染色液	セット	1	〃
256	エンテランニュー	本	1	封入剤
257	エマージョンオイル	本	1	顕微鏡用油浸オイル
258	バイコックス	本	5	駆虫薬
259	アイボメックトピカル	箱	1	〃
260	コンバントリンドライシロップ	包	22	〃
261	コンバントリン錠	箱	1	〃
262	アスゾール錠	箱（錠）	2（50）	〃
263	フルモキサール散	箱（包）	1（11）	〃
264	ミルベマイシンA顆粒	本	1	〃
265	ドロンシット錠	錠	10	〃
266	ドロンシット注射液	本	1	〃
267	サンマコー粉剤	袋	1	〃
268	スパトニン注射液	本	1	〃
269	カマラ	本	1	〃
270	ピカシンポアオン	箱	1	〃
271	フロントラインスプレー	本	6	〃
272	フロントライン	箱(本)	3(15)	〃
273	アンサイロール	本	5	〃
274	カルドメックチュアブルP272	箱（個）	2（5）	〃
275	カルドメックチュアブルP136	箱	9	〃
276	カルドメックチュアブルP68	箱	10	〃
277	デパラシン	箱（包）	1（42）	〃
278	ミヤリサン	箱（袋）	1（3）	消火器剤

279	プロテアーゼ「アマノ」	箱	1	〃
280	プリンペラン注射薬	箱（管）	2（1）	〃
281	プリンペラン錠剤	錠	98	〃
282	ギンベル散	包	4	〃
283	グリセリン浣腸「オヲダ」120	箱	3	〃
284	スパスメントラル	本	5	〃
285	モーサン	箱（袋）	1（9）	〃
286	加香ひまし油	本	9	〃
287	硫酸マグネシウム	箱	8	〃
288	ガスモチン	錠	98	〃
289	炭酸水素ナトリウム	箱	1	〃
290	サラゾピリン	錠	80	〃
291	フェロベリンＡ	錠	600	〃
292	ブスコパン錠	錠	80	〃
293	ビオフェルミンR錠	錠	70	〃
294	ベルパリン	本	3	〃
295	シンラック	本	6	〃
296	コンスーベン内用液	箱	2	〃
297	ガスナインS	本	1	〃
298	人工カルス塩「ヤマゼン」	箱	4	〃
299	ビオラクト	包	30	〃
300	アンチセダン	本	3	麻酔薬
301	ハルシオン0.25mg	錠	70	〃
302	ハルシオン0.125mg	錠	70	〃
303	アネトカインゼリー	本	3	〃
304	キシロカインゼリー	本	4	〃
305	ビタメジン静注	管	23	ビタミン
306	メイロング	箱	2	〃
307	パンカルG酸	袋	19	〃
308	アスコルビン酸	本	3	〃
309	アスコルビン酸注射液	管	31	〃
310	レバチオ液	箱	12	〃
311	デュファフラルフォルテ	本	2	〃
312	アニビタン100注射液	箱（管）	3（4）	〃
313	マスチゲンＢ	管	38	〃
314	プロＥＱ	個	4	〃
315	カルチコール注射液	管	34	カルシウム
316	ソルラクトD	箱（袋）	1（16）	補液
317	5%ブドウ糖　500ml	本	20	〃
318	5%ブドウ糖　250ml	本	6	〃
319	ソリタ　T-1	本	10	〃
320	生理食塩水	箱（袋）	1（12）	〃
321	デキストラン	本	9	〃
322	酢酸鉛	本	1	劇薬
323	パラスチミン	箱（管）	1（2）	〃
324	ベサネコール	箱（管）	2（2）	〃
325	テルペラン	箱（管）	1（2）	〃
326	エクイバランペースト	本	14	〃
327	キモチーム	箱	2	〃
328	ネオアスP	管	34	〃
329	ヨードチンキ	本	6	〃
330	硝酸銀	本	2	〃

331	抱水クロラール	本	1	〃
332	フェノバルビタール	本	1	〃
333	ボログルコン酸カルシウム	本	2	〃
334	強力OSM	管	2	〃
335	ボスミン注	管	17	〃
336	ブスコパン注	箱	1	〃
337	ドミトール	本	3	〃
338	セラクタール2%	本	2	〃
339	馬用セラクタール	本	7	〃
340	動物用ケタラール50	本	1	〃
341	塩酸ケタミン原末	g	37.5	〃
342	塩酸ケタミン5%溶液	本	1	〃
343	アトロピン「タナベ」	管	55	〃
344	アトロピン「フソー」	箱	2	〃
345	イソフル	本	4	〃
346	キシロカイン0.5%	本	3	〃
347	キシロカイン1%	本	3	〃
348	キシロカイン2%	本	2	〃
349	キシロカインスプレー	本	1	〃
350	スタドール	箱	1	〃
351	テラプチク	箱（管）	3（9）	〃
352	塩プロ注「ミタカ」	箱	1	〃
353	コンベレン	本	3	〃
354	ソムノペンチル	本	2	〃
355	メヂバール	管	3	〃
356	パドリン注	箱	1	〃
357	アンナカ	管	6	〃
358	ドプラム	本	2	〃
359	ジゴシン	管	9	〃
360	ペリアクチン散1%	本	1	〃
361	ファンギソンシロップ	管	8	〃
362	ネグホン	袋	1	〃
363	サンピロ	本	15	〃
364	硫酸ｹﾞﾝﾀﾏｲｼﾝ点眼液	本	5	〃
365	動物用日脳TCワクチン	本	1	〃
366	馬インフルエンザワクチン	箱	1	〃
367	馬3種混合ワクチン	本	3	〃
368	ND・OEワクチン	本	1	〃
369	ツベルクリン	本	1	〃
370	ホルマリン	本	21	劇薬・劇物
371	苛性ソーダ	本	1	劇物
372	メタノール	本	1	〃
373	キシレン	本	1	〃
374	アンモニア水	本	2	〃
375	水酸化カリウム	本	1	〃
376	硝酸ストリキニーネ	本	1	毒物
377	エンドックス	缶	1	殺鼠剤
378	コロソブロック	箱	1	〃
379	ホリゾン	箱（管）	1（6）	向精神薬
380	ドルミカム	箱	2	〃
381	セルシン100倍散	缶	1	〃
382	ソムノペンチル	本	2	〃

383	ノイボルミチン	本	6	点眼薬
384	エコリシン	本	6	〃
385	ＦＡＤ点眼液サンデン	本	20	〃
386	ムコゾーム	本	17	〃
387	アズレン	箱（本）	1（13）	〃
388	カタリンK	本	2	〃
389	アイブライト	本	3	〃
390	ベノキシール	本	9	〃
391	D.E.X	本	10	〃
392	コンドロン点眼液	本	57	〃
393	ヒアレイン	本	70	〃
394	チアブート	本	8	〃
395	オフロキサシン眼軟膏	箱	1	〃
396	復方ヨードグリセリン	本	1	消毒薬
397	ラポテック液	本	2	〃
398	ステリクロン液	本	5	〃
399	クリアキル　１l	本	3	〃
400	クリアキル　18l	缶	2	〃
401	消毒用イソプロピルアルコール50%	本	23	〃
402	消毒用イソプロアルコール50%	本	9	〃
403	消毒用イソプロパノール50%	箱	5	〃
404	消毒用イソプロアルコール70%	本	1	〃
405	消毒用エタノール（純70%）	本	1	〃
406	消毒用エタノール（70%）	本	25	〃
407	消毒用エタプロコール（70%）	本	10	〃
408	消毒用イソプロピルアルコール70%	箱	1	〃
409	スクラビイン4%液	本	1	〃
410	希ヨードチンキ	本	2	〃
411	クリンナップA	本	9	〃
412	クレンテ	袋	50	〃
413	フェノール水	本	1	〃
414	オキシドール	本	13	〃
415	ゼクトン	缶	3	〃
416	アクリノール	本	6	〃
417	クレゾール	本	1	〃
418	ネオヨジン、PVPﾖｰﾄﾞ液L（ｲｿｼﾞﾝ液）	本	10	〃
419	PVPﾖｰﾄﾞ液10%	本	1	〃
420	パコマ　１l	本	15	〃
421	パコマ　18l	缶	3	〃
422	ペースサン	袋	18	〃
423	パルバスター液	缶	4	〃
424	ソルコセリル軟膏	本	9	外用薬
425	ブロメライン軟膏	本	8	〃
426	ドルバロン	本	7	〃
427	フロリードD液	本	5	〃
428	フロリードDクリーム	本	11	〃
429	パナログ軟膏	本	5	〃
430	オキナゾールクリーム	本	5	〃
431	エンシェントクリーム	本	5	〃
432	アラントロックス軟膏	本	1	〃
433	アンドレス軟膏	個	1	〃
434	クラーゲン	個	2	〃

435	ハイセチンP軟膏	箱（本）	1（3）	〃
436	オイラックス	本	3	〃
437	ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ乳房炎用液NZ	箱（本）	2（7）	〃
438	アクアチムローション	本	10	〃
439	キャビロン非ｱﾙｺｰﾙ性皮膜スプレー	本	1	〃
440	フランセチンＴ パウダー	本	1	〃
441	外科用アロンアルファ	箱	1	〃
442	ノベクタンスプレー	本	1	〃
443	テラ・コートリルスプレー	本	1	〃
444	ダーマボンド	箱	1	〃
445	ダーマバリア	本	5	〃
446	エアーサロンパス	本	1	〃
447	MS冷シップ	袋	34	〃
448	キチパックＰ	箱（枚）	1（2）	〃
449	グラニュゲル	本	5	〃
450	イントラサイトジェル	箱	1	〃
451	オキシセル　4つ折り	本	1	〃
452	オキシセル　8つ折り	本	1	〃
453	スポンゼル	箱	2	〃
454	ベテキチン　10cm×10cm	箱	2	〃
455	ベテキチン　 5cm×5cm	枚	2	〃
456	ハイドロサイトADプラス	枚	3	〃
457	ハイドロサイトプラス	箱	2	〃
458	オリーブ油	本	3	〃
459	ノルバックレンズ	本	2	〃
460	ヘルスシャンプー	本	11	〃
461	ノルバサンシャンプー	本	1	〃
462	ゲンタシン軟膏	本	8	〃
463	ゲーベンクリーム	個	5	〃
464	タウリン	箱	10	強肝剤
465	ネオヘキサメチオニン	箱（本）	3（1）	〃
466	タチオン	管	28	〃
467	ネオファーゲンC配合錠	箱	1	〃
468	ランデールチオンS	錠	90	解毒剤
469	ネオアスシロップ	本	1	鎮咳薬
470	ムコフィリン	箱（管）	2（9）	去痰薬
471	ネオフィリン	管	9	気管支拡張薬
472	フェニラミン注	管	48	抗ヒスタミン薬
473	ラドン	箱	3	〃
474	ラシックス	箱（管）	1（7）	利尿薬
475	フルバミド	箱	1	〃
476	ダイアモックス錠	錠	70	〃
477	ラドンナ注	箱	1	〃
478	ビタカンファー	箱	1	中枢神経興奮薬
479	ソルコセリル注	箱	1	組織呼吸賦活剤
480	トランサミン注	管	5	抗プラスミン剤
481	トランサミン錠250mｌ	錠	88	〃
482	ボスミン液	本	1	血管収縮薬
483	ヘパリンNa	本	3	血液凝固抑制薬
484	ＡＴＰ　注	箱（管）	1（10）	アデノシン三リン酸Na製剤
485	ジースインプラント2本入り	箱	4	発情抑制剤
486	ジースインプラント5本入り	箱	1	〃

487	アトニン-0	箱	2	オキシトシン製剤
488	単シロップ	本	1	シロップ
489	ウロストン	包	17	尿路結石排泄促進剤
490	パム静注500mg	箱	1	有機リン剤中毒解毒剤
491	ブロサポ	包	8	産道粘滑薬
492	かぜシロップＳ	本	1	綜合風邪薬
493	尿素	本	1	試薬
494	ヤバシライム	箱	1	〃
495	塩化ナトリウム	本	1	〃
496	グリセリン	本	3	〃
497	流動パラフィン	本	2	〃
498	プロピレングリコール	本	4	〃
499	四ホウ酸ナトリウム	本	1	〃
500	アセトカルミン溶液	本	1	〃
501	無水エタノール	本	1	〃
502	ジメチルスルホキシド	本	1	〃
503	ジエチルエーテル（ｴﾁﾙｴｰﾃﾙ）	本	1	〃
504	リン酸一ナトリウム	本	1	〃
505	リン酸二ナトリウム	本	1	〃
506	ホウ酸	本	1	〃
507	塩化マグネシウム	本	2	〃

備品以外の残存物品関係（リスト）

【平成26年度】

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
	企画運営課（総務・経理係）			
1	付箋紙(小)	個	27	
2	付箋紙(中)	個	4	
3	付箋紙(大)	個	9	
4	付箋紙(特大)	個	5	
5	ノート(B5)	冊	8	
6	レベルブック	冊	6	
7	キングファイル(3cm)	冊	0	
8	キングファイル(5cm)	冊	0	
9	キングファイル(6cm)	冊	0	
10	フラットファイル	冊	51	
11	蛍光ペン	本	41	
12	ボールペン	本	33	
13	ボールペン(替え芯)	本	57	
14	マジック(細)	本	18	
15	マジック(太)	本	24	
16	鉛筆	本	16	
17	ホワイトボードマーカー	本	18	
18	ホワイトボードマーカー(詰め替え用)	本	16	
19	消しゴム	個	3	
20	砂消し	個	20	
21	修正テープ	個	2	
22	修正テープ(カートリッジ)	個	14	
23	テプラ	個	127	
24	ガムテープ	巻	5	
25	布テープ	巻	5	
26	セロテープ	巻	4	
27	両面テープ	巻	15	
28	のり	本	12	
29	メンディングテープ	巻	2	
30	インデックス(大)	袋	7	
31	インデックス(中)	袋	14	
32	ホッチキス針	箱	16	
33	乾電池(単1)	本	16	
34	乾電池(単2)	本	14	
35	乾電池(単4)	本	28	
36	コピー用紙(A3)	冊	5	
37	コピー用紙(A4)	冊	24	
38	レターボックス	個	22	

39	ポロシャツ	着	513	
40	ブルゾン	着	434	
41	防寒着	着	176	
42	コミュニケーションボード	枚	6	
43	高齢者疑似体験セット	個	1	
	企画運営課(企画係)			
1	長机	本	26	企画
2	折りたたみテーブル（軽量タイプ1800×450）	台	40	企画
3	折りたたみイス	個	140	企画
4	A型看板（小）	基	12	企画
5	テント用ウェイト	個	78	企画
6	拡声器	個	6	企画
7	加湿器	個	1	企画
8	姿見（鏡）	個	1	企画
9	ハンマー（大）	個	1	企画
10	ハンマー（小）	個	1	企画
11	折りたたみ式コンテナ	個	14	企画 H26追加購入(14個)
12	ブルーシート（4.5*4.5）	枚	3	企画
13	ブルーシート（5.4*5.4）	枚	3	企画 H26追加購入(2枚)
14	ブルーシート（5.5*5.5）	枚	5	企画
15	ブルーシート（5.4×7.3）	枚	8	企画
16	コンパネ（900×1800×10）	枚	30	企画
17	丸椅子	個	49	企画 H26追加購入(30個)
18	コードリール　50m	個	11	企画
19	コードリール　30m	個	5	企画
20	鉄ピン　大（テント等固定）	本	24	企画
21	鉄ピン　小（テント等固定）	本	50	企画 H26追加購入(48本)
22	パーティション　900×1800	枚	20	企画
23	パーティション　900×900	枚	18	企画
24	パーティション用　足	本	40	企画
25	イーゼル	個	7	企画
26	空気入れ	台	1	企画
27	木製ラック（3段）	基	4	企画
28	スピーカーケーブル　20m	本	2	企画
29	イレパネ　B1	枚	5	企画
30	イレパネ　A1	枚	10	企画
31	イレパネ　A3	枚	20	企画
32	ポスターパネル（B1、防水タイプ）	枚	12	展示イベント用
33	パンフレットスタンド	台	1	展示イベント用
34	A型ポスタースタンド（Ｂ１サイズ）	台	8	イベント情報表示用
35	ポスタースタンド用保持パイプ（B1用）	台	8	イベント情報表示用
36	看板用ウエイト（11kg）	個	16	イベント情報表示用
37	ポスト	個	1	企画
38	ＤＶＤプレーヤー（東芝SD310J	基	1	企画（動物ふれあいいのちの輝き展）
39	外付ハードディスク（ＨＤＬＳ1.ＯＴＵ2Ｊ（Ｆ1.0）	個	2	イベントデータ整理
40	デジタルカメラ（ペンタックス、ＯＰＴＩＯWG1ＰＬ（ＰＬ）	個	1	イベントデータ記録
41	デジタルカメラ用メディア（東芝、ＳＤＥ016G4）	個	2	イベントデータ記録
42	デジタルカメラバッテリー（ソニー、ＮＰＦG1（ＳＳＳ））	個	3	イベントデータ記録
43	ブロンズランタン（74410000）	個	17	企画（うみなかクリスマスキャントルナイト）
44	中国製ホワイトラティス（1800×900mm）	枚	81	企画（ハンギングバスケット展）

45	セーフティーコーン（2.8kg）青	本	450	スポーツイベント等
46	コーン用バー（2m）	本	410	スポーツイベント等
47	ミニコーン（別名：マーカー、橙色）	個	390	スポーツイベント等
48	ラインカー（プラスチック製、黒）	台	1	スポーツイベント等
49	回転灯（12/24V兼用）	個	20	持込イベント用
50	車両マグネット（園内作業中）	枚	60	持込イベント用 H26購入
51	胴長	着	3	環境イベント用 H26購入
52	クーラーボックス	個	1	スポーツイベント用 H26購入
53	テント横幕（2間）	枚	20	H26購入
54	テント横幕（4間）	枚	20	H26購入
55	折りたたみベンチ	脚	20	ステージイベント用 H26購入
56	自転車	台	10	持込イベント用 H26購入
57	巻尺	個	4	H26購入
	企画運営課（市民交流係）			
1	書籍「新訂図解植物観察辞典」	冊	1	環境学習プログラム
2	書籍「図説植物用語事典」	冊	1	環境学習プログラム
3	書籍「木に咲く花-合弁花単子葉・裸子植物」	冊	1	環境学習プログラム
4	書籍「木に咲く花-離弁花」	冊	1	環境学習プログラム
5	書籍「野に咲く花」	冊	1	環境学習プログラム
6	書籍「葉で見わける樹木」	冊	1	環境学習プログラム
7	書籍「樹皮ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
8	書籍「紅葉ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
9	書籍「冬芽ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
10	書籍「昆虫の食草・食樹ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
11	書籍「種子たちの知恵-身近な植物に発見！」	冊	1	環境学習プログラム
12	書籍「どんぐりハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
13	カラー竹馬（適応身長110cm以下）	個	5	昔遊び広場
14	カラー竹馬（適応身長120～140cm）	個	5	昔遊び広場
15	カラー竹馬（適応身長150cm以上）	個	5	昔遊び広場
16	三本鍬	本	5	環境共生の森
17	トウ鍬	本	5	環境共生の森
18	木蓋　（アルミ　大型鍋用）	個	1	環境共生の森
19	電動ドリル	個	1	環境共生の森
20	携帯顕微鏡	個	6	環境共生の森
21	コルクボード（600㎜×900㎜）	枚	5	環境共生の森
22	折りたたみテーブル（軽量タイプ1800×450）	台	5	環境共生の森
23	胴長	本	2	環境共生の森
24	狩払用カマ	本	2	環境共生の森
25	金ダライ	個	6	環境共生の森
26	集草用レーキ	本	4	環境共生の森 H26年度2本追加購入
27	三角ホー鍬	本	4	環境共生の森
28	IH段付鍋	個	5	環境共生の森
29	卓上IH調理器	個	4	環境共生の森
30	電気ケトル	個	1	環境共生の森
31	アルミ　大型鍋	個	2	環境共生の森
32	備中鍬	本	5	環境共生の森
33	連結棚	台	3	環境共生の森
34	八角木槌	本	1	環境共生の森
35	ワゴンカート	台	1	環境共生の森
36	ジョウロ	本	4	環境共生の森
37	焼印	本	2	環境共生の森

38	飯ごう	個	20	環境共生の森
39	料理用大鍋	個	1	環境共生の森
40	パンフレットスタンド	基	2	環境共生の森
41	ボルトレスラック	基	1	環境共生の森
42	折りたたみコンテナ	個	23	環境共生の森
43	鎌	本	100	環境共生の森　H26年度30本追加購入
44	ホームベンチ	基	7	イベント用　　H26年度購入
45	ステップ踏み台	基	3	ボランティア活動用　　H26年度購入
46	羽釜の蓋	個	3	イベント用　　H26年度購入
47	テーブル	台	6	西戸崎レストハウス　H26購入
48	椅子	脚	24	西戸崎レストハウス　H26購入
49	キャスター付パネル	台	10	西戸崎レストハウス　H26購入
50	パンフレットスタンド	台	2	西戸崎レストハウス　H26購入
	企画運営課（広報係）			
1	パンフレットスタンド	基	1	キャンペーン用(広報室)
2	印刷料金2010	冊	1	
3	印刷料金2011	冊	1	
4	印刷料金2012	冊	1	
5	印刷料金2013	冊	1	
6	台車	基	1	（広報室）
7	コルクボード（600㎜×900㎜）	枚	1	事務所内掲示板／キャンペーン（破損）
8	花瓶	個	2	ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ用（広報室）
9	コンパクトメガホン	個	2	ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ用（広報室）
10	パンフレットスタンド（卓上）	基	4	ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ用（広報室②/香椎駅①/西サロ①）
11	デジタルカメラ　ｷｬﾉﾝIXY630　ｼﾙﾊﾞｰ	個	1	記録撮影用　H26購入
12	SDカード　8G（上記カメラ用）	個	1	記録撮影用　H26購入
13	イレパネB1サイズ	基	5	海中駅口①港レストハウス①広報室③　H26購入
14	鍵付きポストボックス	個	1	スタンプラリー用　H26購入
15	うみなかはなまつり横断幕	基	1	香椎駅設置用　H26購入
16	フラワーピクニック横断幕	基	1	香椎駅設置用　H25購入
17	脚立	基	1	記録撮影用　H24購入
18	カメラスタンド	基	1	記録撮影用　H24購入
	植物管理課			
1	アーチ(バラ2人掛けベンチ囲い)	個	1	FM用
2	浅型一輪車	台	1	直営用
3	アルミ園芸三脚 240	本	1	剪定用
4	アルミガーデンパラソル 210ﾊﾝﾄﾞﾙWH アルミ製	本	3	FM用
5	アルミガーデンパラソル 250ハンドルWH	本	1	FM用
6	移植ゴテ	本	20	FV用
7	eプランター　500×250×118	個	10	マリンワールド設置分
8	イボ竹　Nポール　26φ×2700	本	50	ゴーヤカーテン用
9	エクセレントフラワーアーチ　1740*490*2020ｍｍｸﾞﾘｰﾝ	基	2	バラ園用
10	オベリスク	個	4	FM用
11	折込式のこぎり　ＰＭ-21	本	11	センター用、温室用
12	化繊ホウキ 短柄	本	1	温室用
13	化繊ホウキ 長柄	本	6	直営+温室用
14	カメラケース ｻﾝﾜｻﾌﾟﾗｲDGBG43	個	4	

15	刈込ばさみ アルミ柄 MS-4	本	1	FV用
16	刈払機 BIGM BC23CSN	台	1	
17	脚立 3段ｽﾃｯﾌﾟ	脚	2	直営用
18	業務用ホースドラム ドラム部 50m用	個	3	
19	キリコ巻取り器リール 巻幅65mm	個	1	
20	キリコ巻取り器台座 据置型	個	1	
21	軽量剪定鋏 K-1000	本	1	低木剪定用
22	工業用扇風機 YKS-A45	台	4	温室用(2基は共生の森で使用中)
23	工事用黒板 300*450	台	1	温室用
24	コルクボード 45×90cm	枚	1	直営用
25	サック用ベルト	本	2	
26	サック用革ベルト	本	1	
27	散水チューブ	巻	1	
28	散水ホース Gラインアルバ 40mm×20m	本	4	花の丘灌水用
29	三本クワ 1050mmタモ柄付	本	1	
30	遮光シート 2m×10m	枚	25	チューリップ花壇遮光用
31	集草袋 GB6064 170L用	個	2	直営用
32	ジョウロ 8L	個	4	センター用
33	書籍（造園安全衛生管理の手引き）	冊	1	センター用
34	真中ブラシ	本	1	
35	スプリンクラー カクダイ 546-010	個	5	FM用
36	スプリンクラー カクダイ 5470-13	個	3	
37	セルトレー 72穴	枚	32	温室生産用
38	剪定皮サック 2段式	個	1	
39	剪定鋸 ズバット300	本	1	
40	剪定ばさみ 岡恒 200mm	本	3	
41	扇風機 FS-30LW	台	1	直営・節電用
42	大自タイヤストッパー	個	2	1tトラック用
43	台車 金象印ｷｬﾘｰﾗｯｸ	台	1	ボランティア用
44	タイヤストッパー ゴム製	セット	1	軽トラック用
45	高枝切 3.0-5D	本	1	高木枝切り用
46	高枝切 HAYAUCHI4段	本	1	高木枝打ち用
47	高枝切ノコギリ ｼﾙｷｰｽﾞﾊﾞｯﾄ2段	本	1	
48	デジタルカメラ EX-Z35 ﾊﾞｯﾃﾘｰ	台	2	
49	デジタルカメラ ｷｬﾉﾝIXY220F ｼﾙﾊﾞｰ	台	3	
50	鉄ピン 1000×12	本	500	チューリップ花壇遮光用
51	テラコッタ φ400	基	8	
52	テラコッタ φ600	基	1	
53	テラコッタ鉢 φ420×H510	個	6	バラ鉢用
54	テラコッタ鉢 φ52×H46	個	2	バラ鉢用
55	テラコッタ鉢 φ55×H55	個	15	バラ鉢用
56	テラコッタ鉢 φ62×H61	個	3	バラ鉢用
57	テラコッタ鉢 φ620×H610	個	17	バラ鉢用
58	ノーマルベンチ	基	15	ｼﾝﾌｫﾆｰｶﾞｰﾃﾞﾝ、バラ園用
59	ノコギリ TL-30	本	1	FV用
60	ノコギリ ｼﾙｷｰｽﾞﾊﾞｯﾄ	本	2	
61	八角テーブル 110cm	台	6	カナール ガーデンテラス用
62	バッテリー ｷｬﾉﾝ NB-11L	個	2	
63	花切バサミ 165mm	本	6	温室・ゲート用
64	花切ハサミ 180mm	本	3	
65	花切バサミ ﾁｶﾏｻ T-550	本	1	直営用
66	花切バサミ 岡恒 200mm	本	2	直営用

67	花切バサミ　近正ｽﾃﾝ　200㎜	本	2	直営用
68	パラソルベース 15Kg 円形	個	12	カナール ガーデンテラス用
69	フォールディングチェアー 肘付	脚	0	カナール ガーデンテラス用
70	太丸高枝切りばさみ 1000mm N-153	本	5	FV2本、直営3本
71	太丸高枝切りばさみ 2000mm N-155	本	1	FV用
72	プラスチック擬木　φ60*700　12φ*1穴	本	300	花畑周辺囲い用
73	プラスティックラティス　WP900×1800cm	枚	4	FM用
74	プラスティックラティス用地中杭	本	4	FM用
75	プラスティックラティス用柱　H＝1800	本	4	FM用
76	フラワースタンド ストレート型	基	4	FM、西サイクリング用
77	ブルーシート　約2.7×約3.6m	枚	2	センター用
78	ブルーシート 1.8×1.8m	枚	4	直営用
79	ブルーシート 2.6×3.5m	枚	1	直営用
80	防藻エコグリーンホース　内径18×50m	巻	3	花の丘チューブ灌水用
81	防藻エコグリーンホース　内径25×50m	巻	15	花の丘チューブ灌水用
82	保護メガネ　TMY　ｸﾘｱ	個	1	直営作業用
83	保護メガネ　ｷﾞｽｹ　ｸﾘｱ	個	1	直営作業用
84	ポット土詰め器（スピードポッター）Ｌ30Ｐ　標準穴	台	1	温室用
85	無地ホワイトボード　横型　600*900	枚	4	温室用
86	目盛バケツ　10L	個	1	温室用
87	木製パラソル 270cm アイボリー	本	5	カナール ガーデンテラス用
88	木製ベンチ(2人掛け)	台	12	カナール ガーデンテラス用
89	リクライニング リラックスチェア G72006グリーン	基	0	カナール ガーデンテラス用
90	小型農薬保管庫	台	1	温室用、H25購入
91	丸棒付カードホルダー 27型	本	200	各花壇、花畑花名板用、H25購入
92	剪定鋸 210mm	本	10	剪定用、H25購入
93	人力噴霧機　MH9D-1	台	3	薬剤散布用、H25購入
94	フレンドパイプ　67-120cm	本	1	薬剤散布用、H25購入
95	3Mマスク　8812-DS1	枚	6	薬剤散布用、H25購入
96	グローブ　Y117（L）	組	1	薬剤散布用、H25購入
97	ワンタッチ計量器	個	1	薬剤散布用、H25購入
98	花切り鋏　180mm	本	5	花壇、バラ園花殻摘み用、H25購入
99	乾湿両用集塵機　VC-1100(掃除機)	台	2	メリケントキンソウ種子取り用、H25購入
100	消火栓ノズル（噴霧ノズル付）　40A	個	1	花壇、花畑灌水用、H25購入
101	カラーコーン	個	40	安全措置用、H25購入
102	コーンバー	個	40	安全措置用、H25購入
103	コーンウェイト 2kg	個	40	安全措置用、H25購入
104	噴霧器 9L	台	1	温室薬剤散布用、H25購入
105	ライン引きA型 EFA-003	台	1	花壇、花畑デザイン用、H25購入
106	スプリンクラー カクダイ5470-13	個	5	フラワーミュージアム灌水用、H25購入
107	インパクトスプリンクラー	個	16	花畑灌水用、H25購入
108	ホース 内径15mm×50m	巻	8	花畑灌水用、H26追加購入
109	ホース 内径15mm×30m	巻	2	花畑灌水用、H26追加購入
110	トリプルスプリンクラー	個	12	花畑灌水用、H25購入
111	バルススプリンクラー	個	3	花畑灌水用、H25購入
112	ちりとり	個	1	作業車輌清掃用、H25購入
113	長柄化繊箒	本	1	作業車輌清掃用、H25購入
114	散水チューブ　キリコ A3型　100m巻	本	1	灌水用、H25購入
115	育苗箱　T-1型	枚	190	温室用、H25購入
116	消防ホース　40A×20m	本	2	灌水用、H25購入
117	ドライワイパー	本	1	園路等水切り用、H25購入
118	ラティス木製フェンス 900×1800×t35	枚	20	花装飾用、H26追加購入

119	ラティス木製フェンス 900×1770×t35	枚	4	ガーデンオブジェ用、H26購入
120	木製ラウンドプランター 深型 40cm	個	12	花装飾用、H25購入
121	木製半割りボートプランター L	個	10	花装飾用、H25購入
122	木製オーバルプランター L	個	6	花装飾用、H25購入
123	木製オーバルプランター LL	個	6	花装飾用、H25購入
124	木製ポートプランター用マルチスタンド	個	6	花装飾用、H25購入
125	スタンディングミニバスケット H=1.4m	個	4	花装飾用、H26購入
126	スタンディングミニバスケット用下部コンテナ	個	4	花装飾用、H26購入
127	デザインコンテナ DC-42-150 H=1.5m	個	3	花装飾用、H26購入
128	デザインコンテナ DC-42-75	個	1	花装飾用、H26購入
129	高枝切ノコギリ ｼﾙｷｰ はやうち 2段	本	1	高木枝打ち用 H26購入
130	生垣バリカン マキタ MUH406	台	1	低木刈込用 H26購入
131	ジョウロ 6L	個	1	H26購入
132	手押し芝刈り機 トラッドモア―20	台	1	ドックラン用 H26購入
133	デジタルカメラ canon IXY630SL	台	1	記録用 H26購入
134	キャスター付草刈飛散ガード（ＨＢＥ-1521Ｋガーネット）	台	1	直営用 H26購入
135	500ℓタンク タマローリーLT-500	個	1	灌水用 H26購入
136	タンク用ホース 20m	本	1	灌水用 H26購入
137	木製スタンプ台（H1100,W/D350	基	3	チューリップクイズラリー用 H26年度制作
138	灌水用ホース（網入り、黒、15㎜×50m	巻	4	業務灌水用 H26年度購入
139	ホースリール（金象 プロ用 メタルL	基	2	業務灌水用 H26年度購入
140	台車（ハラッス）ホースリール運搬用	基	2	業務灌水用 H26年度購入
141	KTファイバーマット（W2m 3等分×10m）	巻	10	花畑散策路土留め工用 H26年度購入
142	トリカルネット（W2m×100m）	巻	1	花畑散策路土留め工用 H26年度購入
143	木目調プラメタル看板（ 600×600㎜、支柱付き）	枚	8	野花であそぼ！誘導用
	施設設備管理課			
1	カラーコーン	個	180	立入規制等安全管理用
2	カラーコーンバー	本	30	立入規制等安全管理用
3	カラーコーン用サインポケット	枚	20	立入規制等安全管理用
4	カラーコーン（反射/白Ｈ700）	本	40	立入規制等安全管理用
5	カラーコーンバー（白黄色ゴム輪タイプ2m）	本	20	立入規制等安全管理用
6	カラーコーン用ウエイト 光るコーンリングＧＯＲ-Ｄ4	個	15	立入規制等安全管理用
7	カラーコーンバーＣＲＢ-20Ｂ	本	15	立入規制等安全管理用
8	カラーコーン用ウエイト コーンベース（2ｋｇ）	個	240	立入規制等安全管理用
9	ニューコーンサイン	枚	6	立入規制等安全管理用
10	ニューコーンサイン（白無地片面キャップ付）	枚	8	立入規制等安全管理用
11	カラーコーン ネットコーン（NC-70B）	本	70	立入規制等安全管理用
12	カラーコーンサイン	枚	90	立入規制等安全管理用
13	カラーコーン ソフトスコッチコーンＳＣＨ-70ＢＷ	本	15	立入規制等安全管理用
14	くぐり防止用フェンス 幅0.6m×15m	巻	5	立入規制等安全管理用
15	ウェイト用バッグ	袋	20	立入規制等安全管理用
16	ネットフェンス 幅1m×50m	巻	5	立入規制等安全管理用
17	標識ネット 幅1m×10m	巻	20	立入規制等安全管理用
18	トリカルネット(W62 黒)	m	250	立入規制等安全管理用
19	防獣ネット 幅1m×50m	巻	9	立入規制等安全管理用
20	防獣ネット用杭 L1200～L1500	本	564	立入規制等安全管理用
21	ロープ 5㎜	m	150	立入規制等安全管理用
22	ロープ 6㎜	m	1400	立入規制等安全管理用
23	ロープ 9㎜	m	1,050	立入規制等安全管理用
24	単管バリケード	本	70	立入規制等安全管理用
25	カラーパイプバリケード、青/白反射	基	20	立入規制等安全管理用

26	ビューティージョイント	個	10	立入規制等安全管理用
27	ビューティーフェンス　　H1180*W1000青	枚	18	立入規制等安全管理用
28	ビューティーベース角型13.5ｋｇ255ｍｍ*225ｍ	個	18	立入規制等安全管理用
29	エコメッシュ　1ｍ×50ｍ　オレンジ色	本	1	立入規制等安全管理用
30	標識MA板（300㎜×600㎜クギ穴4）	枚	10	立入規制等安全管理用
31	白高輝度停止位置看板（鉄枠1400＊550）	台	6	立入規制等安全管理用
32	置き型柵　パネル・デ・スクリーン	基	10	立入規制等安全管理用
33	二方向矢印板（樹脂製　緑白450＊900）	台	4	立入規制等安全管理用
34	パネル・デ・スクリーン（1170×762㎜）	基	10	立入規制等安全管理用
35	パネル・デ・スクリーン（1,170×762㎜）	基	10	立入規制等安全管理用
36	置き型柵　ウエイト（溶融亜鉛メッキ）	基	20	立入規制等安全管理用
37	置き型柵　ウエイト（溶融亜鉛メッキ7.5kg/個）	個	20	立入規制等安全管理用
38	二方向矢印板　（緑、矢印無）	枚	6	立入規制等安全管理用
39	矢印板ＳＲ型　ＡＲ-14Ｓ	台	2	立入規制等安全管理用
40	打込み丸カン　12φ×1,000㎜　人止めロープ柵用杭	本	80	立入規制等安全管理用
41	サインスタンド（注水タイプ）小	台	25	園路広場等案内看板用
42	サインスタンド（注水タイプ）大	台	15	園路広場等案内看板用
43	メッセージボード	台	30	園路広場等案内看板用
44	ガーデンパラソル　白	本	2	園路広場等の休憩施設用
45	リクライニングチェア	脚	10	園路広場等の休憩施設用
46	ハーリンテーブル（TB-036　グリーン）	台	20	休憩スペース用（移動式）
47	ハーリンチェアー2　（グリーン）	脚	84	休憩スペース用（移動式）
48	アンブレラ用ベース	個	4	ピクニックテーブルの日除けに使用
49	ラウンドアンブレラ（φ2,000×H2,220㎜グリーン）	本	4	ピクニックテーブルの日除けに使用
50	ハーリンチェアー2（ホワイト）	脚	126	ふわんポリン休憩スペース用
51	ハーリンテーブル（ホワイト）	台	27	ふわんポリン休憩スペース用
52	3芯LED用Y字延長コード（白コード）	個	2	冬季夜間開園時装飾用
53	3芯LED用コントローラー（黒コード）	個	4	冬季夜間開園時装飾用
54	3芯LED用コントローラー（白コード）	個	5	冬季夜間開園時装飾用
55	ジョイントLED用コントローラー	個	6	冬季夜間開園時装飾用
56	LEDネットライト　180球　1.2ｍ×2.4ｍ	枚	10	冬季夜間開園時装飾用
57	LEDライト　白色　ストレート	個	4	冬季夜間開園時装飾用
58	LEDライト（3芯・ｺﾞｰﾙﾄﾞ・ｽﾄﾚｰﾄ・黒ｺｰﾄﾞ　10ｍ）	本	20	冬季夜間開園時装飾用
59	LEDライト（3芯・白・ｽﾄﾚｰﾄ・ｸﾘｱｺｰﾄﾞ　10ｍ）	本	27	冬季夜間開園時装飾用
60	LEDライト（ｺﾞｰﾙﾄﾞ・ｽﾄﾚｰﾄ・ｸﾘｱｺｰﾄﾞ　10ｍ）	本	40	冬季夜間開園時装飾用
61	LEDライト（桜色・ｽﾄﾚｰﾄ・ｸﾘｱｺｰﾄﾞ　11ｍ）	本	10	冬季夜間開園時装飾用
62	LEDﾗｲﾄ（ｼﾞｮｲﾝﾄﾀｲﾌﾟ・ｺﾞｰﾙﾄﾞ・ｽﾄﾚｰﾄ・黒ｺｰﾄﾞ10ｍ）	本	30	冬季夜間開園時装飾用
63	LEDﾗｲﾄ（ｼﾞｮｲﾝﾄﾀｲﾌﾟ・白・ｽﾄﾚｰﾄ・黒ｺｰﾄﾞ10ｍ）	本	60	冬季夜間開園時装飾用
64	LEDライト（白・ｽﾄﾚｰﾄ・ｸﾘｱｺｰﾄﾞ　10ｍ）	本	10	冬季夜間開園時装飾用
65	ＬＥＤフラワーライト	個	2	冬季夜間開園時装飾用
66	ＬＥＤスノーフレークライト(100球、青白)	個	3	冬季夜間開園時装飾用
67	ＬＥＤストレートライト(5連、青白)	個	1	冬季夜間開園時装飾用
68	イルミネーションホワイト100球　6m	個	3	冬季夜間開園時装飾用
69	イルミネーションホワイト96球　1.2m	個	3	冬季夜間開園時装飾用
70	LEDランタン	個	2	冬季夜間開園時装飾用
71	LED投光器　赤	個	4	冬季夜間開園時装飾用
72	トナカイ	個	2	冬季夜間開園時装飾用
73	クリスマスツリー※イルミネーション	本	4	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
74	カンガルー台座※イルミネーション	個	2	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
75	ウサギ（壁掛けタイプ）※イルミネーション	体	2	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
76	ウサギ（LEDタイプ）※イルミネーション	体	1	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
77	青い鳥（LEDタイプ）※イルミネーション	体	2	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行

78	鳥（LEDタイプ）※イルミネーション	体	2	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
79	白鳥（LEDタイプ）※イルミネーション	体	2	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
80	白鳥（台座つき）※イルミネーション	体	2	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
81	胴付長靴（K型）26	足	2	噴水等工作物清掃用
82	3段切替ノズル（消防ホース用40A）	個	1	噴水等工作物清掃用
83	ストレートノズル（40A）	個	1	噴水等工作物清掃用
84	消防ホース　40A×20m	本	2	噴水等工作物清掃用
85	消防ホース（オスメス金具付40A）	本	2	噴水等工作物清掃用
86	耐圧ホース（15×17）	m	10	噴水等工作物清掃用
87	サクションホース	m	50	噴水等工作物清掃用
88	水中ポンプ	台	1	噴水等工作物清掃用
89	水中ポンプ	台	1	噴水等工作物清掃用
90	送水ホース　40mm	m	75	噴水等工作物清掃用
91	耐圧ホース　15mm	m	30	噴水等工作物清掃用
92	高圧用スプレーホース	本	1	噴水等工作物清掃用
93	ホースリール 50m巻用	個	2	噴水等工作物清掃用
94	水中ポンプ(工新ボンディSM-625X)	個	1	噴水等工作物清掃用
95	ローポンプスーパープラス	個	1	噴水等工作物清掃用
96	デジタル計り	個	1	噴水等工作物清掃用
97	リョービ掃除機（VC-23）	台	2	カモの糞清掃用
98	集じん機	台	2	カモの糞清掃用
99	手押芝刈機（180ml）	台	1	ドッグラン用
100	モップ絞り器S	個	4	建物清掃用
101	掃除用具入れ（タスコットⅣ）　　W455*D525*H1790	台	2	建物清掃用
102	SBバケツ	個	50	建物清掃用
103	柄杓	個	30	建物清掃用
104	衛生容器 12L、ペダルボックス	個	10	建物清掃用
105	衛生容器 5L、ペダルボックス	個	10	建物清掃用
106	鎌	本	15	園路広場除草等清掃作業用
107	スクレーパー	本	10	遊具・工作物等清掃作業用
108	ゴージャスマット（茶　600*900）	枚	3	口蹄疫・鳥インフル等防疫・消毒用
109	除菌マット（緑・グレー750×900mm）	枚	30	口蹄疫・鳥インフル等防疫・消毒用
110	除菌マット　695mm×995mmMR-120-300-0	枚	20	口蹄疫・鳥インフル等防疫・消毒用
111	ブルーシート　5.4m□	枚	2	子供の広場雨漏り等建物管理用
112	玄関マット	枚	2	子供の広場管理棟設置用
113	ジョイントマット　60cm□	枚	180	子供の広場管理棟設置用
114	塩素・PH測定器	個	2	じゃぶじゃぶ池塩素測定用
115	塩素測定用キット	個	2	遊べる噴水塩素測定用
116	シリンダー錠　南京錠 40	個	36	建物管理用
117	シリンダー錠　南京錠 7000	個	6	外周フェンス柵用
118	三角旗　黄色ナイロンタフタ生地1200×1800	枚	12	旗サイン用
119	のぼり用ポール	本	80	案内誘導用
120	消火器	本	17	消防設備
121	消防ホース(65A×20mアルミカプラ付)	本	2	消防設備
122	アキュカーブレーキ　574-ｃｐｔ	本	2	ふわんポリン等遊具管理用
123	バンカーレーキミズノ　573	本	1	ふわんポリン等遊具管理用
124	スマートロードポップサイン　SSW-9G	個	2	ふわんポリン等遊具管理用
125	ソフトスコッチコーン　GSU-70W	本	30	ふわんポリン等遊具管理用
126	フォーサインスタン　ドFSS-45Y	個	4	ふわんポリン等遊具管理用
127	リングバー　34φ×2m	本	30	ふわんポリン等遊具管理用
128	アルミローラー　φ20テーパー	本	10	ローラー滑り台用
129	アルミローラー　φ20ストレート	本	10	ローラー滑り台用

130	アルミローラー　φ203連アルミ	本	10	ローラー滑り台用
131	単管パイプ　1.8厚　1mピン付	本	30	夏季西口ゲート等日除け用
132	日除け用シェード　（2m×3m）	枚	6	夏季西口ゲート等日除け用
133	ネジザウルス	個	2	工具
134	グラインダ	台	1	工具
135	ハンマードリル	台	1	工具
136	ウォータープライヤー	本	2	工具
137	テストハンマー	本	1	工具
138	ニッパー	本	2	工具
139	モンキーレンチ	本	1	工具
140	石頭ハンマー	本	1	工具
141	電工用ドライバー	本	2	工具
142	インパクトドライバー	台	1	工具
143	ショートラチェットドライバー（超薄型22mm）	個	2	工具
144	ニッパー（斜150mm）	個	1	工具
145	バール（小）	本	2	工具
146	ベンチ工具（175mm）	個	1	工具
147	ホームツールセット（工具55ピース）	個	1	工具
148	モーターレンチ（280mm）	個	1	工具
149	モンキーレンチ（200mm）	個	1	工具
150	ラジオペンチ（150mm）	個	3	工具
151	ラチェット	個	2	工具
152	タップ・ダイスセット	個	1	工具
153	ヒーターキット	個	1	工具
154	ラチェットドライバー	個	1	工具
155	メガネラチェットスパナ	個	1	工具
156	バーナー(ﾊﾟﾜｰﾄｰﾁRZ-730)	個	1	工具
157	バイスプライヤー(250mm)	個	1	工具
158	ミニルーター(EM RT-100)	個	1	工具
159	小型バイス(60mm)	個	15	工具
160	圧着ペンチ	個	1	工具
161	斜ニッパー	個	1	工具
162	パーツケース	個	4	工具箱
163	パーツストッカー	個	2	工具箱
164	ユニットケース	個	5	工具箱
165	コンテナ(ブルー)	個	3	工具箱
166	工具箱	個	1	工具箱
167	安全帯	個	4	作業安全管理用
168	懐中電灯	本	1	作業安全管理用
169	台車　ＴＲＵＳＣＯピンク色	台	1	作業安全管理用
170	アルミ製脚立（MR210S）	台	1	作業安全管理用
171	セーフティーゴーグル（GS-56M）	個	3	作業安全管理用
172	作業メガネ	個	2	作業安全管理用
173	防毒マスク（G-7、GM31、GM12）	個	3	作業安全管理用
174	工業用扇風機	基	4	作業安全管理用
175	家庭用扇風機	基	2	作業安全管理用
176	誘導ライト	個	4	作業安全管理用
177	スチール棚（5段　グレー）	個	16	記録文書等保管用
178	メタルラック（5段　60W）	個	8	記録文書等保管用
179	カラーボックス	個	3	西口資機材収納用
180	動物捕獲用檻Ｈ1,000×Ｗ1,000×Ｌ2,000	基	1	イノシシ捕獲用檻
181	ウオーキングメジャー	個	1	タイヤ回転式作業距離測定用

182	デジタルカメラ　CASIO	台	4	記録業務用
183	外付けハードディスク　BUFFALO	台	1	記録業務用
184	SDカード	枚	4	記録業務用
185	日置デジタルカードテスター	個	1	電気設備保守用
	動物管理課			
1	インパクトドライバー	個	2	補修等
2	ドライバービット(10本入り)	個	1	〃
3	コードレスドライバドリル3.6ｖ	個	1	〃
4	ペンチ	本	4	〃
5	ラジオペンチ	本	2	〃
6	ニッパー	本	3	〃
7	鋸	本	2	〃
8	鋸替刃	本	2	〃
9	金切り鋸	本	1	〃
10	金切り鋸替刃	本	1	〃
11	プラスドライバー	本	3	〃
12	マイナスドライバー	本	2	〃
13	金槌	本	3	〃
14	ヤスリ	本	2	〃
15	デジタルノギス	個	1	〃
16	ジグソー	台	2	〃
17	ジグソー替刃	組	1	〃
18	肩掛け式草刈り機	台	1	動物エリア草刈用
19	チップソー刃	枚	1	肩掛け式草刈り機替刃
20	管理作業用自転車	台	8	飼育用
21	角スコップ	本	3	補修等
22	剣スコップ	本	2	〃
23	フォーク4本爪	本	2	飼育用
24	一輪車	台	3	〃
25	灯光器	個	3	〃
26	懐中電灯	個	2	〃
27	胴長靴	個	3	〃
28	安全帯	個	2	安全器具
29	ブースターケーブル	本	1	ホイルローダー用
30	カセットコンロ	台	1	イベント用
31	カーボンヒーター	個	2	ふれあい舎お客様用
32	動物用カーボンヒーター	個	7	動物飼育用
33	ブルーシート（2.7×3.6m）	枚	1	隔離舎用
34	ブルーシート（5.4×7.2m）	枚	1	〃
35	よしず（8尺）	枚	5	動物エリア用
36	蓋付容器（200ℓ）	個	4	野菜入れ
37	ふれあい舎用エプロン（大）	枚	20	お客様用
38	ふれあい舎用エプロン（小）	枚	70	〃
39	動物着ぐるみ	着	8	〃
40	ネイチャーガイドベスト	着	3	ZOOナビ用
41	ボランティア用スタッフジャンバー	着	35	
42	包丁	本	10	調餌用
43	野菜切機替刃	個	2	〃
44	動物ケージ（465mm×465mm×650mm）	個	4	
45	キャリーケース	個	2	動物運搬用
46	蓋つきバケツ	個	5	

47	ミルミキサー	個	1	
48	木工用ドリルセット	個	1	補修用
49	捕獲網	本	5	
50	遮光ネット	枚	2	
51	ジョウロ（10ℓ）	個	1	
52	ワイヤレスアンプ用電池ケース	個	1	イベント用
53	タライ(75ℓ)	個	3	
54	メタルミニワゴン(900㎜)	台	3	
55	ミニ食器棚	個	1	ボランティア用
56	デスク(120)	台	1	レストハウス展示用
57	書棚	台	3	〃
58	ラック	台	1	〃
59	タイトルプレーン	台	1	ラベル印刷機
60	バリアポップサイン	台	5	案内看板掲示用
61	パイプバリケード	台	15	イベント用
62	カラーコーン	個	30	〃
63	コーンバー	本	20	〃
64	コーンベース	個	30	〃
65	床置き式扇風機	台	2	獣舎乾燥・熱中症対策用
66	壁掛け扇風機	台	2	ふれあい舎お客様用
67	デジタルカメラ	台	4	写真管理用
68	ラミネーター	台	1	案内看板用
69	仕上げサンダー(布ペーパー対応用)	台	2	補修用
70	コンプレッサー	機	1	
71	小型動力噴霧器	台	1	消毒用
72	メガホン(拡声器)	個	3	イベント用
73	ハンズフリー拡声器	個	1	〃
74	掃除機	台	2	レストハウス清掃用
75	冷蔵庫(小)	台	1	ボランティア休憩用
76	電気ポット	個	1	〃
77	デジタルキッチン秤	個	2	飼料計量用
78	秤(50kg)	個	1	〃
79	秤(20kg)	個	1	〃
80	秤(4kg)	個	1	〃
81	体重計	台	2	動物計測用
82	電波掛時計	個	1	ふれあい舎設置用
83	電気削蹄器	台	1	
84	ホワイトボード(1800×900)	枚	1	
85	ホワイトボード(850×500)	枚	3	
86	ポスターグリップ	枚	3	
87	イーゼル	台	3	イベント用
88	USB(4GB)	個	3	データ整理用
89	書籍「新飼育ハンドブック　Ｎｏ.5」	冊	5	
90	書籍「動物園学」	冊	1	
91	書籍「逐条解説　家畜伝染病予防法」	冊	1	
92	書籍「世界動物大図鑑-ANIMAL」	冊	1	
93	書籍「小学館ネオポケット　動物」	冊	1	
94	書籍「小学館ネオポケット　植物」	冊	1	
95	書籍「小学館ネオポケット　昆虫」	冊	1	
96	書籍「小学館ネオポケット　魚」	冊	1	
97	書籍「小学館の図鑑NEO-本物の大きさ絵本原寸大とうぶつ館」	冊	1	
98	書籍「ニューワイド学研の図鑑　一生の図鑑」	冊	1	

99	書籍「ほんとのおおきさ・動物園」	冊	1	
100	書籍「もっとほんとのおおきさ・動物園」	冊	1	
101	書籍「ほんとのおおきさ・なかよし動物園」	冊	1	
102	書籍「くらべる図鑑」	冊	1	
103	書籍「もっとくらべる図鑑」	冊	1	
104	書籍「動物園動物管理学」	冊	1	
105	書籍「ウサギ・フェレット・げっ歯類の内科と外科」	冊	1	
106	書籍「エキゾチックアニマルのための薬物投与ハンドブック」	冊	1	
107	ディスポ注射針　18G×1 1/2	箱	1	
108	ディスポ注射針　18G×1	箱	1	
109	ディスポ注射針　18G×5/8	箱	2	
110	ディスポ注射針　19G×1 1/2	箱	2	
111	ディスポ注射針　19G×5/8	箱	2	
112	ディスポ注射針　20G×1 1/2	箱	2	
113	ディスポ注射針　21G×5/8	箱	3	
114	ディスポ注射針　22G×1 1/4	箱	2	
115	ディスポ注射針　22G×1	箱	1	
116	ディスポ注射針　22G×5/8	箱	2	
117	ディスポ注射針　23G×1	箱	2	
118	ディスポ注射針　23G×5/8	箱	2	
119	ディスポ注射針　24G×1	箱	1	
120	ディスポ注射針　25G×5/8	箱	3	
121	ディスポ注射針　25G×1	箱	4	
122	ディスポ注射針　26G×1/2	箱	2	
123	翼付針25G	箱	1	
124	翼付針23G	箱	1	
125	翼付針18G	箱	1	
126	ディスポシリンジ　ツベルクリン用	箱	3	
127	ディスポシリンジ　1ml	箱	3	
128	ディスポシリンジ　2.5ml	箱	3	
129	ディスポシリンジ　2.5ml針付き	箱	0	
130	ディスポシリンジ　5ml	箱	2	
131	ディスポシリンジ　10ml	箱	1	
132	ディスポシリンジ　20ml	箱	3	
133	ディスポシリンジ　30ml	箱	3	
134	ディスポシリンジ（カテーテルチップ）　30ml	箱	2	
135	ディスポシリンジ　50ml	箱	0	
136	ディスポシリンジ（カテーテルチップ）　50ml	箱	1	
137	外科用強弯角針　5	袋	9	
138	外科用強弯角針　4	袋	5	
139	外科用強弯角針　3	袋	4	
140	外科用強弯角針　2	袋	2	
141	外科用強弯角針　1	袋	6	
142	外科用強弯角針　0	袋	3	
143	酸素マスクゴム小	個	1	
144	酸素マスクゴム中	個	1	
145	麻酔器蛇管	個	3	
146	ディスポーザブル麻酔用バッグ	個	3	
147	フェザー替刃メス	箱	4	
148	フェザー替刃メスハンドル	本	8	
149	ディスポーザブルstapleリムーバー	個	4	縫合用ステープラー用リムーバー
150	エリザベスカラー	個	1	ペットカラー

151	ハイレンドール	パック	1	レントゲン現像液
152	ハイレンフィックス	パック	1	レントゲン定着液
153	ディスポ　メス　10	箱	2	
154	ディスポ　メス　11	箱	2	
155	ディスポ　メス　15	箱	0	
156	ディスポ　メス　21	箱	3	
157	ディスポ　メス　23	箱	2	
158	処置キット	箱	4	
159	酸素ボンベ7m3	本	1	
160	酸素ボンベ1.5m3	本	3	
161	酸素ボンベ0.5m3	本	2	
162	マイクロチップ	袋	5	
163	スライドガラス	箱	2	
164	カバーガラス（18mm×18mm）	箱	3	
165	カバーガラス（22mm×22mm）	箱	3	
166	カバーガラス（18mm×24mm）	箱	5	
167	動物用体温計	本	6	
168	バリカン	個	1	
169	ネックガード	枚	2	Ｘ線防護用
170	鼻鏡	個	1	
171	テラマイシンＬＡ注射液	箱	1	抗生物質
172	バクテロン散5%	箱	4	〃
173	カナマイシン注NZ	本	1	〃
174	カナマイシンシロップ明治	本	1	〃
175	スペルゾン静注用0.5g	管	7	〃
176	ケフレックスシロップ用細粒	本	1	〃
177	ホスミシン細粒40%	箱	1	〃
178	ホスミシンドライシロップ	本	3	〃
179	ネオテラミックス	袋	2	〃
180	子宮内膜炎用ホーミングマイシン	箱	1	〃
181	バイトリル2.5%HV液	本	4	〃
182	バイトリル10%注射液	本	1	〃
183	バイトリルワンショット	本	1	〃
184	バイトリル15mg錠	箱	2	〃
185	バイトリル50mg錠	箱	2	〃
186	バイトリル150mg錠	箱	3	〃
187	マイシリンゾル	本	2	〃
188	ビブラマイシン錠50ｍｇ	錠	80	〃
189	バチリオン錠100	錠	20	〃
190	モダケミン静注	箱	1	〃
191	モダシン	箱	1	〃
192	アミカマイシン	箱（管）	1（7）	〃
193	ラセナゾリン注射用1g	管	9	〃
194	ロセフィン静注用	箱	1	〃
195	セファクリア錠	箱	1	〃
196	インダスト点滴・静注用	箱	1	〃
197	ハリゾン錠	箱	1	〃
198	クロロマイセチン錠	箱	1	〃
199	ビクシリン	本	1	合成抗菌薬
200	アプシードシロップ	本	9	〃
201	ダイメトンB注20%	本	1	〃
202	ダイメトン粒状	箱	3	抗真菌薬

203	グリセチンＶ錠	錠	30	〃
204	ナイスタチン錠	錠	20	〃
205	フルコナゾール	錠	15	〃
206	イトコラゾール錠100「MEEK」	本	3	抗炎症薬
207	リマダイル100	本	3	〃
208	リマダイル75	本	2	〃
209	リマダイル25	缶	1	〃
210	ポンタールカプセル	本	1	〃
211	バナミン注射液5%	本	1	〃
212	デカドロンエリキシル	本	1	〃
213	メタカム0.5%注射液	箱	1	〃
214	メタカムチュアブル錠1.0mg	本	7	〃
215	水性デキサメサゾン注A	本	1	〃
216	コルソンＰ	箱	2	〃
217	プレドニゾロン	箱	1	〃
218	プレドニゾロン錠	錠	90	解熱薬
219	エスピレ座薬	錠	8	解熱鎮痛薬
220	小児用バファリン	箱	4	真菌培養
221	ダーマキット	箱	3	ウイルス検査キット
222	エスプラインインフルエンザA&B-N	セット	1	染色液
223	ディフクイック	セット	1	〃
224	ヘマカラー	セット	1	〃
225	ギムザ液	セット	1	〃
226	グラム染色液	本	1	封入剤
227	エンテランニュー	本	1	顕微鏡用油浸オイル
228	エマージョンオイル	本	5	駆虫薬
229	バイコックス	箱	1	〃
230	アイボメックトピカル	包	22	〃
231	コンバントリンドライシロップ	箱	1	〃
232	コンバントリン錠	箱	2	〃
233	アスゾール錠	箱	1	〃
234	フルモキサール散	本	1	〃
235	ミルベマイシンA顆粒	錠	10	〃
236	ドロンシット錠	本	1	〃
237	ドロンシット注射液	袋	1	〃
238	サンマコー粉剤	本	1	〃
239	スパトニン注射液	本	1	〃
240	カマラ	箱	1	〃
241	ピカシンポアオン	本	6	〃
242	フロントラインスプレー	箱	3	〃
243	フロントライン	本	5	〃
244	アンサイロール	箱	2	〃
245	カルドメックチュアブルP272	箱	9	〃
246	カルドメックチュアブルP136	箱	10	〃
247	カルドメックチュアブルP68	箱	1	〃
248	デパラシン	箱	1	消化器剤
249	ミヤリサン	箱	1	〃
250	プロテアーゼ「アマノ」	箱	2	〃
251	プリンペラン注射薬	箱	3	〃
252	グリセリン浣腸「オヲダ」120	本	5	〃
253	スパスメントラル	箱	1	〃
254	モーサン	本	9	〃

255	加香ひまし油	箱	8	〃
256	硫酸マグネシウム	箱	1	〃
257	炭酸水素ナトリウム	錠	80	〃
258	サラゾピリン	錠	600	〃
259	フェロベリンＡ	錠	80	〃
260	ブスコパン錠	錠	70	〃
261	ビオフェルミンR錠	本	3	〃
262	ベルパリン	本	6	〃
263	シンラック	箱	2	〃
264	コンスーベン内用液	本	1	〃
265	ガスナインS	箱	4	〃
266	人工カルス塩「ヤマゼン」	包	30	〃
267	ビオラクト	本	3	麻酔薬
268	アンチセダン	錠	70	〃
269	ハルシオン0.25mg	錠	70	〃
270	ハルシオン0.125mg	本	3	〃
271	アネトカインゼリー	本	4	〃
272	キシロカインゼリー	管	23	ビタミン
273	ビタメジン静注	箱	1	〃
274	メイロング	袋	12	〃
275	パンカルＧ酸	本	3	〃
276	アスコルビン酸	管	19	〃
277	アスコルビン酸注射液	箱	7	〃
278	レバチオ液	本	2	〃
279	デュファフラルフォルテ	箱	3	〃
280	アニビタン100注射液	管	38	〃
281	マスチゲンＢ	個	4	〃
282	プロＥＱ	管	34	カルシウム
283	カルチコール注射液	箱	10	補液
284	ソルラクトD	本	20	〃
285	5%ブドウ糖　500ml	本	6	〃
286	5%ブドウ糖　250ml	本	10	〃
287	ソリタ　T-1	箱	10	〃
288	生理食塩水	本	9	〃
289	デキストラン	本	1	劇薬
290	酢酸鉛	箱	1	〃
291	パラスチミン	箱	2	〃
292	ベサネコール	箱	1	〃
293	テルペラン	本	14	〃
294	エクイバランペースト	本	2	〃
295	エクイバランゴールド	箱	2	〃
296	キモチーム	管	34	〃
297	ネオアスP	本	6	〃
298	ヨードチンキ	本	2	〃
299	硝酸銀	本	1	〃
300	抱水クロラール	本	1	〃
301	フェノバルビタール	本	2	〃
302	ボログルコン酸カルシウム	管	2	〃
303	強力OSM	管	17	〃
304	ボスミン注	箱	1	〃
305	ブスコパン注	本	3	〃
306	ドミトール	本	2	〃

307	セラクタール2%	本	7	〃
308	馬用セラクタール	本	1	〃
309	動物用ケタラール50	g	37.5	〃
310	塩酸ケタミン原末	本	1	〃
311	塩酸ケタミン5%溶液	管	55	〃
312	アトロピン「タナベ」	箱	2	〃
313	アトロピン「フソー」	本	1	〃
314	イソフル	本	3	〃
315	キシロカイン0.5%	本	3	〃
316	キシロカイン1%	本	2	〃
317	キシロカイン2%	本	1	〃
318	キシロカインスプレー	箱	1	〃
319	スタドール	箱	3	〃
320	テラプチク	箱	1	〃
321	塩プロ注「ミタカ」	本	3	〃
322	コンベレン	本	2	〃
323	ソムノペンチル	管	3	〃
324	メヂバール	箱	1	〃
325	パドリン注	管	6	〃
326	アンナカ	本	2	〃
327	ドプラム	管	9	〃
328	ジゴシン	本	1	〃
329	ペリアクチン散1%	管	8	〃
330	ファンギソンシロップ	袋	1	〃
331	ネグホン	本	15	〃
332	サンピロ	本	5	〃
333	硫酸ｹﾞﾝﾀﾏｲｼﾝ点眼液	箱	5	〃
334	馬インフルエンザワクチン	本	1	〃
335	ND・OEワクチン	本	1	〃
336	ツベルクリン	本	21	劇薬・劇物
337	ホルマリン	本	1	劇物
338	苛性ソーダ	本	1	〃
339	メタノール	本	1	〃
340	キシレン	本	2	〃
341	アンモニア水	本	1	〃
342	水酸化カリウム	本	1	〃
343	硝酸ストリキニーネ	缶	1	毒物
344	エンドックス	箱	1	殺鼠剤
345	コロソブロック	箱（管）	1（6）	〃
346	ホリゾン	箱	2	向精神薬
347	ドルミカム	缶	1	〃
348	セルシン100倍散	本	2	〃
349	ソムノペンチル	本	6	〃
350	ノイボルミチン	本	6	点眼薬
351	エコリシン	本	20	〃
352	ＦＡＤ点眼液サンデン	本	17	〃
353	ムコゾーム	本	2	〃
354	カタリンK	本	3	〃
355	アイブライト	本	9	〃
356	ベノキシール	本	10	〃
357	D.E.X	本	57	〃
358	コンドロン点眼液	本	8	〃

359	チアブート	箱	1	〃
360	オフロキサシン眼軟膏	箱	1	〃
361	ファルキサシン点眼液	箱	1	〃
362	復方ヨードグリセリン	本	2	消毒薬
363	ラポテック液	本	5	〃
364	ステリクロン液	本	3	〃
365	クリアキル　１l	缶	2	〃
366	クリアキル　18l	本	12	〃
367	消毒用イソプロピルアルコール50%	箱	3	〃
368	消毒用イソプロパノール50%	本	1	〃
369	消毒用エタノール（70%）	本	18	〃
370	消毒用エタプロコール（70%）	本	9	〃
371	消毒用イソプロピルアルコール70%	箱	1	〃
372	スクラビイン4%液	本	1	〃
373	希ヨードチンキ	本	2	〃
374	クリンナップA	本	9	〃
375	クレンテ	袋	30	〃
376	フェノール水	本	1	〃
377	オキシドール	本	13	〃
378	ゼクトン	缶	1	〃
379	アクリノール	本	6	〃
380	クレゾール	本	1	〃
381	ネオヨジン、PVPﾖｰﾄﾞ液L（ｲｿｼﾞﾝ液）	本	4	〃
382	PVPﾖｰﾄﾞ液10%	本	1	〃
383	パコマ　１l	本	14	〃
384	パコマ　18l	缶	3	〃
385	ペースサン	箱	1	〃
386	パルバスター液	缶	4	〃
387	ソルコセリル軟膏	本	9	〃
388	ブロメライン軟膏	本	7	外用薬
389	ドルバロン	本	7	〃
390	フロリードD液	本	18	〃
391	フロリードDクリーム	本	11	〃
392	パナログ軟膏	本	5	〃
393	オキナゾールクリーム	本	4	〃
394	エンシェントクリーム	本	5	〃
395	アラントロックス軟膏	本	1	〃
396	アンドレス軟膏	個	1	〃
397	クラーゲン	個	2	〃
398	ハイセチンP軟膏	箱	1	〃
399	オイラックス	本	3	〃
400	ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ乳房炎用液NZ	箱	2	〃
401	アクアチムローション	本	10	〃
402	キャビロン非ｱﾙｺｰﾙ性皮膜スプレー	本	1	〃
403	フランセチンＴ パウダー	本	1	〃
404	外科用アロンアルファ	箱	1	〃
405	クイックストップ	個	1	〃
406	ノベクタンスプレー	本	1	
407	テラ・コートリルスプレー	本	1	〃
408	ダーマボンド	箱	1	〃
409	ダーマバリア	本	5	〃
410	エアーサロンパス	本	1	〃

411	MS冷シップ	袋	34	〃
412	キチパックＰ	箱	1	〃
413	グラニュゲル	本	5	〃
414	イントラサイトジェル	箱	1	〃
415	オキシセル　4つ折り	本	1	〃
416	オキシセル　8つ折り	本	1	〃
417	スポンゼル	箱	2	〃
418	ベテキチン　10cm×10cm	箱	2	〃
419	ハイドロサイトADプラス	枚	3	〃
420	ハイドロサイトプラス	箱	2	〃
421	オリーブ油	本	3	〃
422	ノルバックレンズ	本	2	〃
423	ヘルスシャンプー	本	11	〃
424	ノルバサンシャンプー	本	1	〃
425	ゲンタシン軟膏	本	8	〃
426	ゲーベンクリーム	個	5	〃
427	タウリン	箱	2	〃
428	ネオヘキサメチオニン	箱	1	強肝剤
429	タチオン	管	28	〃
430	ネオファーゲンC配合錠	箱	1	〃
431	ランデールチオンS	錠	90	〃
432	ネオアスシロップ	本	1	解毒剤
433	ムコフィリン	箱（管）	2（9）	鎮咳薬
434	ネオフィリン	管	9	去痰薬
435	フェニラミン注	管	48	気管支拡張薬
436	ラドン	箱	3	抗ヒスタミン薬
437	ラシックス	箱	1	〃
438	フルバミド	箱	1	利尿薬
439	ダイアモックス錠	錠	70	〃
440	ラドンナ注	箱	1	〃
441	ビタカンファー	箱	1	〃
442	ソルコセリル注	箱	1	中枢神経興奮薬
443	トランサミン注	管	5	組織呼吸賦活剤
444	トランサミン錠250ml	箱	1	抗プラスミン剤
445	ボスミン液	本	2	〃
446	ヘパリンNa	箱	1	血管収縮薬
447	ＡＴＰ　注	箱	1	血液凝固抑制薬
448	ジースインプラント2本入り	箱	4	アデノシン三リン酸Na製剤
449	ジースインプラント5本入り	箱	1	発情抑制剤
450	アトニン-O	箱	2	〃
451	単シロップ	本	1	オキシトシン製剤
452	ウロストン	包	16	シロップ
453	パム静注500mg	箱	1	尿路結石排泄促進剤
454	ブロサポ	包	8	有機リン剤中毒解毒剤
455	かぜシロップＳ	本	1	産道粘滑薬
456	尿素	本	1	綜合風邪薬
457	ヤバシライム	箱	1	試薬
458	塩化ナトリウム	本	1	〃
459	グリセリン	本	3	〃
460	流動パラフィン	本	2	〃
461	プロピレングリコール	本	4	〃
462	四ホウ酸ナトリウム	本	1	〃

463	アセトカルミン溶液	本	1	〃
464	無水エタノール	本	1	〃
465	ジメチルスルホキシド	本	1	〃
466	ジエチルエーテル（ｴﾁﾙｴｰﾃﾙ）	本	1	〃
467	リン酸一ナトリウム	本	1	〃
468	リン酸二ナトリウム	本	1	〃
469	ホウ酸	本	1	〃
470	塩化マグネシウム	本	2	〃

別紙２５

貸与車両の使用状況・維持管理状況

【平成 24 年度】

貸　与　車　輌　稼　動　実　績　報　告　書

24年　4月分　（自　1日）

（至 30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印

現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
普通自動車	アイシス ３０－８７	パトロール用	1,464	30	45.40			58,799
普通自動車	バネット １３－３５		500	29	15.30			24,156
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３-７６	作　業　用	95	8	3.00			17,422
散　水　車	イスズ １７-１８	作　業　用	0	0	0.00			9,527
ホイルローダー		作　業　用	－	16	16.00			総作業時間 454

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

貸　与　車　輌　稼　動　実　績　報　告　書

23年　4月分　（自　1日）

（至30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印

現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	107	8	6.50			10,737
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連　絡　用	147	11	9.20			7,761
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連　絡　用	60	5	3.50			9,070
原動機付自転車	スズキ ３６２	連　絡　用	50	4	3.10			21,386
原動機付自転車	スズキ ３６４	連　絡　用	51	4	3.20			16,858
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	481	30	30.10			19,419
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	253	20	16.00			19,090
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	456	30	28.30			25,999
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	232	19	14.30			45,426
原動機付自転車	スズキ ３６７	業　務　用	78	5	5.00			17,291

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年　5月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
普通自動車	アイシス ３０－８７	パトロール用	1,263	31	39.30			60,062
普通自動車	バネット １３－３５		477	29	15.00			24,633
2ﾄﾝトラック （ユニック付）	３３-７６	作　業　用	148	7	4.30			17,570
散　水　車	イスズ １７-１８	作　業　用	0	0	0.00			9,527
ホイルローダー		作　業　用	－	24	24.00			総作業時間 478時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示
※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年　5月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付 自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	111	9	7.00			10,848
原動機付 自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	116	9	7.20			7,877
原動機付 自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	105	8	6.40			9,175
原動機付 自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	69	5	4.30			21,455
原動機付 自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	13	1	1.00			16,871
原動機付 自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	477	31	30.00			19,896
原動機付 自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	217	18	13.40			19,307
原動機付 自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	503	31	31.30			26,502
原動機付 自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	334	31	21.00			45,760
原動機付 自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	6	1	0.30			17,297

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年　6月分　（自　1日）
（至 30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
普通自動車	アイシス ３０－８７	パトロール用	1,381	30	43.10			61,443
普通自動車	バネット １３－３５		371	27	11.30			25,004
2ﾄﾝトラック （ユニック付）	３３-７６	作　業　用	60	7	1.50			17,630
散　水　車	イスズ １７-１８	作　業　用	19	2	0.30			9,546
ホイルローダー		作　業　用	－	11	11.00			総作業時間 489

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示
※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年　6月分　（自　1日）
（至 30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付 自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	17	1	1.10			10,865
原動機付 自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	131	10	8.20			8,008
原動機付 自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	96	7	6.00			9,271
原動機付 自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	56	4	3.30			21,511
原動機付 自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	0	0	0.00			16,871
原動機付 自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	483	30	30.20	4,588	ｳｲﾝｶｰﾚﾝｽﾞ及球交換・ ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ球交換	20,379
原動機付 自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	250	19	15.40	13,125	ﾌﾛﾝﾄﾀｲﾔ交換	19,557
原動機付 自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	416	30	26.00			26,918
原動機付 自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	398	29	25.00			46,158
原動機付 自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	30	3	2.00			17,327

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年　7月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
普通自動車	アイシス ３０－８７	パトロール用	1,445	31	45.10			62,888
普通自動車	バネット １３－３５		595	29	18.30			25,599
2ﾄﾝトラック （ユニック付）	３３-７６	作　業　用	67	6	2.05			17,697
散　水　車	イスズ １７-１８	作　業　用	66	3	2.05			9,612
ホイルローダー		作　業　用	－	5	12.00			総作業時間 501時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示
※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年　7月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付 自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	64	5	4.00			10,929
原動機付 自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	237	18	15.00			8,245
原動機付 自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	226	18	14.10			9,497
原動機付 自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	168	13	10.30			21,679
原動機付 自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	3	1	0.20			16,874
原動機付 自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	637	31	40.00			21,016
原動機付 自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	278	22	17.30			19,835
原動機付 自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	297	23	18.40			27,215
原動機付 自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	280	22	17.30			46,438
原動機付 自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	34	3	2.10			17,361

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年 8月分 （自 1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
普通自動車	アイシス ３０－８７	パトロール用	1,553	31	48.30			64,441
普通自動車	バネット １３－３５		493	27	15.30			26,092
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３-７６	作 業 用	86	3	2.40			17,783
散 水 車	イスズ １７-１８	作 業 用	430	22	13.30			10,042
ホイルローダー		作 業 用	―	5	14.00			総作業時間 515時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示
※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

23年 8月分 （自 1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連 絡 用	51	4	3.20			10,980
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連 絡 用	236	18	14.50			8,481
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連 絡 用	117	9	7.30			9,614
原動機付自転車	スズキ ３６２	連 絡 用	158	12	10.00			21,837
原動機付自転車	スズキ ３６４	連 絡 用	21	2	1.30			16,895
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	761	31	47.40			21,777
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	229	18	14.30			20,064
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	279	22	17.30			27,494
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	300	24	18.50			46,738
原動機付自転車	スズキ ３６７	業 務 用	64	5	4.00	14,658	ﾊﾞｯﾃﾘｰ交換	17,425

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年　9月分　（自　1日）
（至 30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
普通自動車	アイシス ３０－８７	パトロール用	1,494	30	46.40			65,935
普通自動車	バネット １３－３５		513	29	16.05			26,605
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３-７６	作　業　用	140	8	4.20			17,923
散　水　車	イスズ １７-１８	作　業　用	92	7	2.50			10,134
ホイルローダー		作　業　用	－	8	8.00			総作業時間 523時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年　9月分　（自　1日）
（至30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			10,980
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連　絡　用	253	20	16.00			8,734
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連　絡　用	183	14	11.30			9,797
原動機付自転車	スズキ ３６２	連　絡　用	89	7	5.40	2,625	ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ球交換	21,926
原動機付自転車	スズキ ３６４	連　絡　用	25	2	1.40			16,920
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	635	30	39.50			22,412
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	363	30	22.50			20,427
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	255	21	16.00			27,749
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	246	21	15.30			46,984
原動機付自転車	スズキ ３６７	業　務　用	77	6	5.00			17,502

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年　10月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	60	10	1.50			17,983
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	45	3	1.30			10,179
ホイルローダー		作　業　用	―	3	3.00			総作業時間 526時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年　10月分　（自　1日）
（至31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	20	2	1.20	14,868	ﾊﾞｯﾃﾘｰ交換	11,000
原動機付自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	197	15	12.30			8,931
原動機付自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	192	15	12.00			9,989
原動機付自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	38	3	2.30			21,964
原動機付自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	42	3	2.40			16,962
原動機付自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	519	31	32.30			22,931
原動機付自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	294	23	18.30			20,721
原動機付自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	345	29	21.40			28,094
原動機付自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	282	23	17.40	55,860	タイヤ交換 ブレーキVベルト修理	47,266
原動機付自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	101	8	6.30			17,603

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

貸　与　車　輌　稼　動　実　績　報　告　書

24年　11月分　（自　1日）
（至 30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	75	5	2.20			18,058
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	52	5	1.30			10,231
ホイルローダー		作　業　用	―	3	16.00			総作業時間 542時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

貸　与　車　輌　稼　動　実　績　報　告　書

24年　11月分　（自　1日）
（至30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	6	1	0.30			11,006
原動機付自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	190	5	12.00			9,121
原動機付自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	121	9	7.40			10,110
原動機付自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	30	3	2.00			21,994
原動機付自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	17	1	1.10			16,979
原動機付自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	626	30	39.10			23,557
原動機付自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	246	19	15.30			20,967
原動機付自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	321	28	20.10			28,415
原動機付自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	336	25	21.00			47,602
原動機付自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	22	2	1.30			17,625

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年 12月分 （自 1日）
（至 31日）

（共用区域） 借 受 人 印
現場監督の認印 印 作成者氏名 印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作 業 用	132	11	4.05			18,190
散 水 車	イスズ １７−１８	作 業 用	0	0	0.00			10,231
ホイルローダー		作 業 用	−	0時間	0.00			総作業時間 542時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年 12月分 （自 1日）
（至31日）

（共用区域） 借 受 人 印
現場監督の認印 印 作成者氏名 印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
原動機付 自 転 車	スズキ ４０２	連 絡 用	0	0	0.00			11,006
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７５	連 絡 用	58	5	3.40			9,179
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７６	連 絡 用	44	3	2.50			10,154
原動機付 自 転 車	スズキ ３６２	連 絡 用	8	1	0.30			22,002
原動機付 自 転 車	スズキ ３６４	連 絡 用	0	0	0.00			16,979
原動機付 自 転 車	スズキ ４０１	パトロール用	324	27	20.20			23,881
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７３	パトロール用	304	20	19.00	74,940	マフラー交換	21,271
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７４	パトロール用	277	19	17.30			28,692
原動機付 自 転 車	スズキ ４１０	パトロール用	246	18	15.30			47,848
原動機付 自 転 車	スズキ ３６７	業 務 用	5	1	0.30			17,630

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

25年 1月分 （自 1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作 業 用	100	4	3.05			18,290
散 水 車	イスズ １７−１８	作 業 用	0	0	0.00			10,231
ホイルローダー		作 業 用	―	2	15.00			総作業時間 557時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

25年 1月分 （自 1日）
（至31日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
原動機付 自 転 車	スズキ ４０２	連 絡 用	0	0	0.00			11,006
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７５	連 絡 用	45	3	3.00			9,224
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７６	連 絡 用	16	1	1.00			10,170
原動機付 自 転 車	スズキ ３６２	連 絡 用	11	1	0.50			22,013
原動機付 自 転 車	スズキ ３６４	連 絡 用	2	1	0.10	2,650	ﾊﾟﾝｸ修理	16,981
原動機付 自 転 車	スズキ ４０１	パトロール用	251	19	15.50	51,408	ﾏﾌﾗｰ交換、Vﾍﾞﾙﾄ修理	24,132
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７３	パトロール用	366	29	23.00			21,637
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７４	パトロール用	260	20	16.20	3,650	ｷｯｸｷﾞｱｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ	28,952
原動機付 自 転 車	スズキ ４１０	パトロール用	185	14	11.40			48,033
原動機付 自 転 車	スズキ ３６７	業 務 用	23	2	1.30			17,653

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

25年 2月分 （自 1日）
（至 28日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作 業 用	102	6	3.10			18,392
散 水 車	イスズ １７−１８	作 業 用	62	2	2.00			10,293
ホイルローダー		作 業 用	―	10	28.00			総作業時間 585時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

25年 2月分 （自 1日）
（至28日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
原動機付 自 転 車	スズキ ４０２	連 絡 用	7	1	0.30			11,013
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７５	連 絡 用	78	6	5.00			9,302
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７６	連 絡 用	31	2	2.00			10,201
原動機付 自 転 車	スズキ ３６２	連 絡 用	3	1	0.20			22,016
原動機付 自 転 車	スズキ ３６４	連 絡 用	4	1	0.20			16,985
原動機付 自 転 車	スズキ ４０１	パトロール用	308	20	19.20			24,440
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７３	パトロール用	267	17	16.50			21,904
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７４	パトロール用	157	12	10.00	38,860	駆動系修理	29,109
原動機付 自 転 車	スズキ ４１０	パトロール用	190	15	12.00			48,223
原動機付 自 転 車	スズキ ３６７	業 務 用	4	1	0.20			17,657

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年 3月分 （自 1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作 業 用	44	7	1.20			18,436
散 水 車	イスズ １７−１８	作 業 用	17	4	0.30			10,310
ホイルローダー		作 業 用	―	8	28.00			総作業時間 613時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

貸 与 車 輌 稼 動 実 績 報 告 書

24年 3月分 （自 1日）
（至31日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
原動機付 自 転 車	スズキ ４０２	連 絡 用	0	0	0.00			11,013
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７５	連 絡 用	177	13	11.10			9,479
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７６	連 絡 用	84	7	5.20			10,285
原動機付 自 転 車	スズキ ３６２	連 絡 用	0	0	0.00			22,016
原動機付 自 転 車	スズキ ３６４	連 絡 用	8	1	0.30			16,993
原動機付 自 転 車	スズキ ４０１	パトロール用	379	30	23.50			24,819
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７３	パトロール用	320	20	20.00			22,224
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７４	パトロール用	305	19	19.10			29,414
原動機付 自 転 車	スズキ ４１０	パトロール用	224	17	14.00			48,447
原動機付 自 転 車	スズキ ３６７	業 務 用	30	3	2.00			17,687

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

【平成 25 年度】

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

25年　4月分　（自　1日）
（至 30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	15	2	0.30			18,451
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			10,310
ホイルローダー		作　業　用	―	5	9.00			総作業時間 622

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

23年　4月分　（自　1日）
（至30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	60	5	3.30			11,073
原動機付自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	146	11	9.05			9,625
原動機付自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	211	16	13.05			10,496
原動機付自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	0	0	0.00			22,016
原動機付自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	40	3	2.10			17,033
原動機付自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	466	36	29.05			25,285
原動機付自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	211	16	13.05			22,435
原動機付自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	449	35	28.05			29,863
原動機付自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	330	26	20.20			48,777
原動機付自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	21	2	1.10			17,708

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用実 績 報 告 書

25年　5月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	137	8	4.30			18,588
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			10,310
ホイルローダー		作　業　用	−	6	7.00			総作業時間 629

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示
※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年　5月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	29	2	1.30			11,102
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連　絡　用	156	12	9.30			9,781
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連　絡　用	88	7	5.20			10,584
原動機付自転車	スズキ ３６２	連　絡　用	0	0	0.00			22,016
原動機付自転車	スズキ ３６４	連　絡　用	124	10	7.20			17,157
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	348	31	21.20			25,633
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	225	18	14.05			22,660
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	306	31	19.05			30,169
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	298	31	18.20			49,075
原動機付自転車	スズキ ３６７	業　務　用	11	1	0.20			17,719

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年 6月分 （自 1日）
（至 30日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作 業 用	124	10	3.50			18,712
散 水 車	イスズ １７−１８	作 業 用	42	4	1.20			10,352
ホイルローダー		作 業 用	―	9	26.00			総作業時間 655

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示
※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25 6月分 （自 1日）
（至 30日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連 絡 用	0	0	0.00			11,102
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連 絡 用	58	5	3.20			9,839
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連 絡 用	55	4	3.10			10,639
原動機付自転車	スズキ ３６２	連 絡 用	8	1	0.10			22,024
原動機付自転車	スズキ ３６４	連 絡 用	41	3	2.20			17,198
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	285	30	17.30			25,918
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	397	19	24.30			23,057
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	526	30	32.30			30,695
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	201	29	12.20			49,276
原動機付自転車	スズキ ３６７	業 務 用	28	3	1.20			17,747

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年　7月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	102	7	3.10			18,814
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	6	1	0.10			10,358
ホイルローダー		作　業　用	―	9	36.00			総作業時間 691時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示
※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年　7月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			11,102
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連　絡　用	66	5	4.05			9,905
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連　絡　用	80	6	5.00			10,719
原動機付自転車	スズキ ３６２	連　絡　用	0	0	0.00			22,024
原動機付自転車	スズキ ３６４	連　絡　用	131	11	8.05			17,329
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	503	39	31.10			26,421
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	398	31	24.30			23,455
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	429	33	26.30			31,124
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	321	25	20.05			49,597
原動機付自転車	スズキ ３６７	業　務　用	59	5	3.20			17,806

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年　8月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	113	10	3.30			18,927
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	68	1	2.05			10,426
ホイルローダー		作　業　用	―	6	5.00			総作業時間 696時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示
※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年　8月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			11,102
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連　絡　用	142	11	8.30			10,047
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連　絡　用	191	15	11.30			10,910
原動機付自転車	スズキ ３６２	連　絡　用	35	3	2.05			22,059
原動機付自転車	スズキ ３６４	連　絡　用	99	8	6.05			17,428
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	525	41	32.30			26,946
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	360	28	22.10			23,815
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	244	19	15.05			31,368
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	307	24	19.05			49,904
原動機付自転車	スズキ ３６７	業　務　用	67	5	4.05			17,873

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

25年　9月分　（自　1日）
（至 30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	173	9	5.30			19,100
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	132	7	4.05			10,558
ホイルローダー		作　業　用	―	6	16.00			総作業時間 712時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

25年　9月分　（自　1日）
（至30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			11,102
原動機付自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	131	10	8.05			10,178
原動機付自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	190	15	11.30			11,100
原動機付自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	38	3	2.10			22,097
原動機付自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	72	6	4.10			17,500
原動機付自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	613	48	38.10			27,559
原動機付自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	601	47	37.20			24,416
原動機付自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	495	39	30.30			31,863
原動機付自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	318	25	19.30			50,222
原動機付自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	27	2	1.20			17,900

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

25年　10月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	214	14	6.40			19,314
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	87	8	2.40			10,645
ホイルローダー		作　業　用	—	9	25.00			総作業時間 737時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

25年　10月分　（自　1日）
（至31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			11,102
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連　絡　用	182	14	11.10			10,360
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連　絡　用	211	16	13.05			11,311
原動機付自転車	スズキ ３６２	連　絡　用	41	3	2.20			22,138
原動機付自転車	スズキ ３６４	連　絡　用	96	7	6.00			17,596
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	506	39	31.00			28,065
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	354	28	22.05			24,770
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	492	38	30.20			32,355
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	315	25	19.20			50,537
原動機付自転車	スズキ ３６７	業　務　用	33	3	2.05			17,933

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

25年　11月分　（自　1日）
（至 30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	118	9	3.40			19,432
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	15	2	0.30			10,660
ホイルローダー		作　業　用	―	3	3.00			総作業時間 740時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

25年　11月分　（自　1日）
（至30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			11,102
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連　絡　用	54	4	3.10			10,414
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連　絡　用	113	9	7.05			11,424
原動機付自転車	スズキ ３６２	連　絡　用	0	0	0.00			22,138
原動機付自転車	スズキ ３６４	連　絡　用	133	10	8.10			17,729
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	534	42	33.10			28,599
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	455	35	28.10			25,225
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	591	46	36.30			32,946
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	213	17	13.10			50,750
原動機付自転車	スズキ ３６７	業　務　用	6	0	0.10			17,939

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年　12月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	114	8	3.30			19,546
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	28	1	0.50			10,688
ホイルローダー		作　業　用	―	6	11.00			総作業時間 751時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年　12月分　（自　1日）
（至31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			11,102
原動機付自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	82	6	5.10			10,495
原動機付自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	87	7	5.30			11,511
原動機付自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	7	1	0.30			22,145
原動機付自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	106	8	6.40			17,835
原動機付自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	374	29	23.30			28,973
原動機付自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	389	31	0.30			25,614
原動機付自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	374	29	23.30			33,320
原動機付自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	192	15	12.00			50,942
原動機付自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	13	1	1.00			17,952

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

26年　1月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	95	11	3.00			19,641
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			10,688
ホイルローダー		作　業　用	−	4	17.00			総作業時間 768時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

26年　1月分　（自　1日）
（至31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			11,102
原動機付自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	52	4	3.20			10,548
原動機付自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	121	9	7.40			11,632
原動機付自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	5	0	0.30			22,150
原動機付自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	43	3	2.50			17,878
原動機付自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	462	37	5.00			29,435
原動機付自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	500	40	7.20			26,114
原動機付自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	368	29	23.00			33,688
原動機付自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	303	24	19.00			51,245
原動機付自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	2	0	0.10			17,954

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

26年　2月分　（自　1日）
（至 28日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	37	2	1.10			19,678
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			10,688
ホイルローダー		作　業　用	−	7	16.00			総作業時間 784時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

26年　2月分　（自　1日）
（至28日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			11,102
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連　絡　用	64	5	4.00			10,612
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連　絡　用	57	4	3.40			11,689
原動機付自転車	スズキ ３６２	連　絡　用	0	0	0.00			22,150
原動機付自転車	スズキ ３６４	連　絡　用	15	1	1.00			17,893
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	398	32	1.00			29,833
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	416	33	2.00			26,530
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	130	10	8.20			33,818
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	200	16	1.00			51,445
原動機付自転車	スズキ ３６７	業　務　用	13	0	0.00			17,967

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

26年　3月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	208	5	6.30			19,886
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	103	11	3.10			10,791
ホイルローダー		作　業　用	―	5	11.00			総作業時間 795時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

26年　3月分　（自　1日）
（至31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			11,102
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連　絡　用	116	9	7.20			10,728
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連　絡　用	136	11	8.30			11,825
原動機付自転車	スズキ ３６２	連　絡　用	0	0	0.00			22,150
原動機付自転車	スズキ ３６４	連　絡　用	148	12	9.20			18,041
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	694	54	43.30			30,527
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	436	34	27.20			26,966
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	280	22	17.30			34,098
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	376	29	23.30			51,821
原動機付自転車	スズキ ３６７	業　務　用	36	3	2.20			18,003

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

【平成 26 年度】

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

26年 4月分 （自 1日）
（至 30日）

（共用区域） 借 受 人 印
現場監督の認印 印 作成者氏名 印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作 業 用	7	1	0.10			19,893
散 水 車	イスズ １７−１８	作 業 用	0	0	0.00			10,791
ホイルローダー		作 業 用	―	2	4.00			総作業時間 799

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

23年 4月分 （自 1日）
（至30日）

（共用区域） 借 受 人 印
現場監督の認印 印 作成者氏名 印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連 絡 用	0	0	0.00			11,102
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連 絡 用	116	9	7.20			10,844
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連 絡 用	157	12	10.00			11,982
原動機付自転車	スズキ ３６２	連 絡 用	0	0	0.00			22,150
原動機付自転車	スズキ ３６４	連 絡 用	93	7	6.00			18,134
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	593	46	37.10			31,120
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	374	29	23.30			27,340
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	278	22	17.30			34,376
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	405	32	25.30			52,226
原動機付自転車	スズキ ３６７	業 務 用	300	23	18.50			18,303

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用実 績 報 告 書

26年　5月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	73	7	2.20			19,966
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	28	3	0.50			10,819
ホイルローダー		作　業　用	―	4	12.00			総作業時間 811 時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示
※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年　5月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			11,102
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連　絡　用	190	15	12.00	22,086	タイヤ交換修繕	11,034
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連　絡　用	291	23	18.20			12,273
原動機付自転車	スズキ ３６２	連　絡　用	54	4	3.30			22,204
原動機付自転車	スズキ ３６４	連　絡　用	175	14	11.00			18,309
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	568	45	11.30			31,688
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	342	27	21.30			27,682
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	457	37	4.40			34,833
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	366	29	23.00	9,072	タイヤ交換	52,592
原動機付自転車	スズキ ３６７	業　務　用	501	40	7.30			18,804

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

26年 6月分 （自 1日）
（至 30日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作 業 用	64	7	2.00			20,030
散 水 車	イスズ １７−１８	作 業 用	101	4	3.10			10,819
ホイルローダー		作 業 用	−	7	18.00			総作業時間 829

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示
※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25 6月分 （自 1日）
（至 30日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
原動機付 自 転 車	スズキ ４０２	連 絡 用	0	0	0.00			11,102
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７５	連 絡 用	143	11	9.00			11,177
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７６	連 絡 用	222	17	14.00			12,495
原動機付 自 転 車	スズキ ３６２	連 絡 用	20	2	1.20			22,224
原動機付 自 転 車	スズキ ３６４	連 絡 用	82	6	5.10			18,391
原動機付 自 転 車	スズキ ４０１	パトロール用	423	33	26.30	15,984	タイヤ交換	32,111
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７３	パトロール用	411	33	1.50			28,093
原動機付 自 転 車	スズキ ４４７４	パトロール用	442	35	3.40	8,640	タイヤ交換	35,275
原動機付 自 転 車	スズキ ４１０	パトロール用	398	32	1.00			52,990
原動機付 自 転 車	スズキ ３６７	業 務 用	0	0	0.00			18,804

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

26年　7月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	504	13	15.40			20,534
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	70	4	2.05			10,990
ホイルローダー		作　業　用	−	14	33.00			総作業時間 862時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示
※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年　7月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	59	5	3.50			11,161
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連　絡　用	207	16	13.00			11,384
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連　絡　用	344	27	21.30			12,839
原動機付自転車	スズキ ３６２	連　絡　用	54	4	3.30			22,278
原動機付自転車	スズキ ３６４	連　絡　用	156	12	9.50			18,547
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	348	27	21.50			32,459
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	432	35	3.00			28,525
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	356	28	22.20			35,631
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	355	28	22.20			53,345
原動機付自転車	スズキ ３６７	業　務　用	0	0	0.00			18,804

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

26年　8月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作 業 用	96	6	3.00			20,630
散 水 車	イスズ １７−１８	作 業 用	133	6	4.10			11,123
ホイルローダー		作 業 用	−	5	8.00			総作業時間 870時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示
※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年　8月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘 要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連 絡 用	0	0	0.00			11,161
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連 絡 用	190	15	12.00			11,574
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連 絡 用	221	17	14.00	3,240	パンク修理	13,060
原動機付自転車	スズキ ３６２	連 絡 用	48	4	3.00			22,326
原動機付自転車	スズキ ３６４	連 絡 用	108	8	6.50			18,655
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	435	35	3.20			32,894
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	414	33	2.00			28,939
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	237	18	15.00			35,868
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	256	20	16.00			53,601
原動機付自転車	スズキ ３６７	業 務 用	2	0	10.00			18,806

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

26年　9月分　（自　1日）
（至 30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	189	12	6.00			20,819
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	229	14	7.10			11,352
ホイルローダー		作　業　用	―	7	17.00			総作業時間 887時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年　9月分　（自　1日）
（至30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	1	0	0.10	18,371	バッテリー交換	11,162
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連　絡　用	302	24	19.00			11,876
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連　絡　用	341	27	23.30			13,401
原動機付自転車	スズキ ３６２	連　絡　用	45	4	3.00			22,371
原動機付自転車	スズキ ３６４	連　絡　用	59	5	3.50			18,714
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	453	37	4.30			33,347
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	358	28	22.30			29,297
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	428	35	2.50	14,201	部品交換	36,296
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	402	32	1.10			54,003
原動機付自転車	スズキ ３６７	業　務　用	1	0	0.10			18,807

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

26年　10月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	234	12	7.20			21,053
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	107	6	3.20			11,459
ホイルローダー		作　業　用	―	8	3.00			総作業時間 914時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

25年　10月分　（自　1日）
（至31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	98	8	6.10			
原動機付自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	333	26	22.00			
原動機付自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	247	19	15.30			
原動機付自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	25	2	1.40			
原動機付自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	52	4	3.20			
原動機付自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	482	38	30.10			
原動機付自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	427	34	2.50	3,974	ﾍｯﾄﾗｲﾄ球交換	
原動機付自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	375	29	23.30	15,595	バッテリー交換	
原動機付自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	452	36	4.20			
原動機付自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	1	0	0.10			

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

26年　11月分　（自　1日）
（至 30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	45	4	1.30			21,098
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			11,459
ホイルローダー		作　業　用	―	7	2.00			総作業時間 940時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年　11月分　（自　1日）
（至30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	18	1	1.10			11,278
原動機付自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	213	17	13.30			12,422
原動機付自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	174	14	11.00			13,822
原動機付自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	40	3	2.30			22,436
原動機付自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	100	8	6.20			18,866
原動機付自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	458	37	4.40			34,287
原動機付自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	351	27	22.00			30,075
原動機付自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	281	22	17.40			37,052
原動機付自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	409	33	1.40			54,864
原動機付自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	0	0	0.00			18,808

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

26年　12月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	188	12	6.00			21,286
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			11,459
ホイルローダー		作　業　用	―	9	18.00			総作業時間 958時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

25年　12月分　（自　1日）
（至31日）

（共用区域）　　借 受 人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	6	0	0.30			11,102
原動機付自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	78	6	5.00			10,495
原動機付自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	118	9	7.30			11,511
原動機付自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	16	1	1.00			22,145
原動機付自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	85	7	5.10			17,835
原動機付自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	348	27	21.50			28,973
原動機付自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	471	38	5.30			25,614
原動機付自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	180	14	11.20			33,320
原動機付自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	350	27	22.00			50,942
原動機付自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	0	0	0.00			17,952

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

27年　1月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	53	4	4.40			21,339
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			11,459
ホイルローダー		作　業　用	―	7	17.00			総作業時間 999時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

27年　1月分　（自　1日）
（至31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	5	0	0.30			11,289
原動機付自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	78	6	5.00			12,578
原動機付自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	57	4	3.40			13,997
原動機付自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	18	1	1.10			22,470
原動機付自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	77	6	5.00			19,028
原動機付自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	354	28	22.10			34,989
原動機付自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	448	36	4.00			30,994
原動機付自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	196	15	12.20			37,428
原動機付自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	447	36	4.00			55,661
原動機付自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	0	0	0.00			18,808

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

27年　2月分　（自　1日）
（至 28日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	39	2	1.10			21,378
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	55	4	1.40			11,514
ホイルローダー		作　業　用	―	5	7.00			総作業時間 1,006時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

27年　2月分　（自　1日）
（至28日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			11,289
原動機付自　転　車	スズキ ４４７５	連　絡　用	166	13	10.30			12,744
原動機付自　転　車	スズキ ４４７６	連　絡　用	63	5	4.00			14,060
原動機付自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	0	0	0.00			22,470
原動機付自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	15	1	1.00			19,043
原動機付自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	267	21	16.50			35,256
原動機付自　転　車	スズキ ４４７３	パトロール用	329	26	20.40			31,323
原動機付自　転　車	スズキ ４４７４	パトロール用	185	14	11.40			37,613
原動機付自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	282	22	17.40			55,943
原動機付自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	0	0	0.00			18,808

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

27年　3月分　（自　1日）
（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	76	7	2.20			21,454
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	55	9	1.40			11,569
ホイルローダー		作　業　用	―	4	7.00			総作業時間 1,013時間

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

※ホイルローダーは、走行距離メーターがない為、作業時間数を表示

提 供 施 設 等 使 用 実 績 報 告 書

27年　3月分　（自　1日）
（至31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			11,289
原動機付自転車	スズキ ４４７５	連　絡　用	173	13	11.00			12,917
原動機付自転車	スズキ ４４７６	連　絡　用	161	13	10.10			14,221
原動機付自転車	スズキ ３６２	連　絡　用	31	2	2.00			22,501
原動機付自転車	スズキ ３６４	連　絡　用	29	2	2.00			19,072
原動機付自転車	スズキ ４０１	パトロール用	472	38	5.30			35,728
原動機付自転車	スズキ ４４７３	パトロール用	460	37	4.50			31,783
原動機付自転車	スズキ ４４７４	パトロール用	407	33	1.30			38,020
原動機付自転車	スズキ ４１０	パトロール用	415	33	1.10			56,358
原動機付自転車	スズキ ３６７	業　務　用	1	0	0.00			18,809

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

危機管理対応実績・報告①＜事故対応編＞

【H24】

	事故	事件	病気（急性症状）	病気（既往症悪化）	車両事故	その他	計
4月	61		4	1	2		68
5月	66		4	1	1		72
6月	23		3	1			27
7月	24		2	1		1	28
8月	14		4	2		1	21
9月	19		3	1		1	24
10月	62	1	5	0		2	70
11月	8		1	0			9
12月	4		0	1			5
1月	3		0	0	1		4
2月	6		0	0	1		7
3月	37		2	0			39
計	327	1	28	8	5	5	374

【H25】

	事故	事件	病気（急性症状）	病気（既往症悪化）	車両事故	その他	計
4月	92		5	1	1	1	100
5月	110		4	4			118
6月	43		1	0		1	45
7月	19		9	1			29
8月	10	1	9	1		1	22
9月	44	1	2	1			48
10月	56		1	1			58
11月	14		2	0			16
12月	4		0	0	1		5
1月	4		0	0			4
2月	9		1	0			10
3月	39		1	0			40
計	444	2	35	9	2	3	495

【H26】

	事故	事件	病気（急性症状）	病気（既往症悪化）	車両事故	その他	計
4月	60		4	3		1	68
5月	131	2	5	2		1	141
6月	52		3	0			55
7月	27		6	2		2	37
8月	50	1	7	0			58
9月	86		1	0	1		88
10月	62		6	5			73
11月	19		2	0			21
12月	4		0	3			7
1月	5		0	0			5
2月	4		0	0			4
3月	43		2				45
計	543	3	36	15	1	4	602

危機管理対応実績（事故対応）

【平成24年度】

場所	原因	病状	件数
大芝生広場、スカイドルフィン	他人との接触による転倒等	擦過傷、熱中症、打撲、捻挫	12
子供の広場（アスレチックも含む）	バランスを崩して転落	擦過傷、裂傷、打撲、切傷、刺傷	89
園路	歩行中に転倒等	骨折、打撲、切傷、意識障害	0
サイクリングコース	不注意による転倒	擦過傷、捻挫、打撲、切傷、裂傷	53
動物の森	不注意による怪我	擦過傷、咬傷、刺傷	9
駐車場	車酔いなどによる体調不良等	熱中症、車酔い、捻挫	7
デイキャンプ	不注意による怪我（火傷など）	擦過傷、火傷、刺傷	0
ドッグラン	飼犬同士のケンカによる怪我	擦過傷、咬傷	0
プール	プールサイドでの転倒等	擦過傷、熱中症	0
園内（各ゲート、森の家）	不注意による怪我等	擦過傷、刺傷、切傷、出血	24
ワンダーワールド周辺	不注意による遊具等での怪我	擦過傷、熱中症、挟傷、裂傷、打撲	100
ふわんぽりん	不注意による遊具等での怪我	擦過傷、裂傷、打撲、切傷、捻挫	51
その他（不明、園外含む）		頭痛　歯痛　発熱 腹痛　生理痛　下痢	29
合計			374

救急車依頼件数　５件、巡回連絡車による病院への搬送　0件、物損事故　0件、
盗難　0件、その他　0件

【平成25年度】

場所	原因	病状	件数
大芝生広場、スカイドルフィン	他人との接触による転倒等	擦過傷、熱中症、打撲、捻挫	17
子供の広場（アスレチックも含む）	バランスを崩して転落	擦過傷、裂傷、打撲、切傷、刺傷	90
園路	歩行中に転倒等	骨折、打撲、切傷、意識障害	0
サイクリングコース	不注意による転倒	擦過傷、捻挫、打撲、切傷、裂傷	78
動物の森	不注意による怪我	擦過傷、咬傷、刺傷	13
駐車場	車酔いなどによる体調不良等	熱中症、車酔い	6
デイキャンプ	不注意による怪我（火傷など）	擦過傷、火傷、刺傷	0
ドッグラン	飼犬同士のケンカによる怪我	擦過傷、咬傷	0
プール	プールサイドでの転倒等	擦過傷、熱中症	0
園内（各ゲート、森の家）	不注意による怪我等	擦過傷、刺傷、切傷、出血	18
ワンダーワールド周辺	不注意による遊具等での怪我	擦過傷、熱中症、挟傷、裂傷、打撲	147
ふわんぽりん	不注意による遊具等での怪我	擦過傷、裂傷、打撲、切傷、捻挫	75
その他（不明、園外含む）		頭痛　歯痛　発熱 腹痛　生理痛　下痢	51
合　計			495

救急車依頼件数　６件、巡回連絡車による病院への搬送　0件、物損事故　0件、
盗難　0件、その他　0件

【平成26年度】

場所	原因	病状	件数
大芝生広場、スカイドルフィン	他人との接触による転倒等	擦過傷、熱中症、打撲、捻挫	15
子供の広場（アスレチックも含む）	バランスを崩して転落	擦過傷、裂傷、打撲、切傷、刺傷	116
園路	歩行中に転倒等	骨折、打撲、切傷、意識障害	1
サイクリングコース	不注意による転倒	擦過傷、捻挫、打撲、切傷、裂傷	110
動物の森	不注意による怪我	擦過傷、咬傷、刺傷	24
駐車場	車酔いなどによる体調不良等	熱中症、車酔い	2
デイキャンプ	不注意による怪我（火傷など）	擦過傷、火傷、刺傷	0
ドッグラン	飼犬同士のケンカによる怪我	擦過傷、咬傷	0
プール	プールサイドでの転倒等	擦過傷、熱中症	2
園内（各ゲート、森の家）	不注意による怪我等	擦過傷、刺傷、切傷、出血	16
ワンダーワールド周辺	不注意による遊具等での怪我	擦過傷、熱中症、挟傷、裂傷、打撲	203
ふわんぽりん	不注意による遊具等での怪我	擦過傷、裂傷、打撲、切傷、捻挫	66
その他（不明、園外含む）		頭痛　歯痛　発熱 腹痛　生理痛　下痢	47
合　計			602

救急車依頼件数　５件、巡回連絡車による病院への搬送　0件、物損事故　0件、
盗難　0件、その他　0件

●H24事故

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2012/4/1	事故	負傷	遊具に当たり負傷 右頬打撲	子供の広場	お客様	4	男			
2012/4/1	事故	負傷	遊戯中に転倒 左頬擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	6	女			
2012/4/1	事故	負傷	遊戯中に転倒 前額部打撲、擦過傷	子供の広場	お客様	3	男			
2012/4/1	事故	負傷	遊戯中に転倒 右肘、右膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	8	男			
2012/4/1	事故	負傷	遊戯中に転倒 両膝擦過傷	中央駐車場	お客様	4	女			
2012/4/1	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝擦過傷	子供の広場	お客様	7	男			
2012/4/1	事故	負傷	転倒し、とげが刺さる 右指刺傷	子供の広場	お客様	1	男			
2012/4/2	事故	負傷	遊戯中にとげが刺さる 右手第二指刺傷	子供の広場	お客様	7	女			
2012/4/2	事故	負傷	遊戯中にボールを踏み外す 左足甲捻挫	子供の広場	お客様	13	女			
2012/4/4	事故	負傷	転がりながら下りて負傷 左肘摩擦傷	ふわんぽりん	お客様	10	男			
2012/4/5	事故	負傷	二人乗り自転車走行中にバランスを崩し転倒 左膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	24	男			
2012/4/5	事故	負傷	気づかないうちにとげが刺さる	子供の広場	お客様	22	女			
2012/4/7	事故	負傷	遊戯中に転ぶ 右手第一指爪剥離	ふわんぽりん	お客様	9	女			
2012/4/7	事故	負傷	転んでとげが刺さる 右手掌刺傷	ワンダーシャトル前	お客様	5	男			
2012/4/8	事故	負傷	トランクのドアで負傷 右第二指挟み傷	駐車場	お客様	59	女			
2012/4/8	事故	負傷	遊戯中に転倒 右前腕部打撲	ふわんぽりん	お客様	9	女			
2012/4/8	事故	負傷	素足で歩いてとげが刺さる 両足底刺傷	シオヤ展望デッキ	お客様	2	女			
2012/4/8	事故	負傷	転倒して負傷 鼻下部擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	男			
2012/4/8	事故	負傷	ぶらんこから転落 背部打撲	子供の広場	お客様	4	女			
2012/4/8	事故	負傷	転倒して負傷 右肘、右膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2012/4/8	事故	負傷	気づかないうちにとげが刺さる 右大腿部刺傷	子供の広場	お客様	8	男			

2012/4/8	事故	負傷	係留していた熱気球が突風にあおられ、落下 腰打撲	大芝生広場(マラソン大会会場)	持込イベント等スタッフ	43	男			
2012/4/8	事故	負傷	係留していた熱気球が突風にあおられ、落下 左肩鎖骨骨折	大芝生広場(マラソン大会会場)	持込イベント等スタッフ	28	男			
2012/4/8	事故	負傷	係留していた熱気球が突風にあおられ、落下 腰椎骨折	大芝生広場(マラソン大会会場)	持込イベント等スタッフ	64	女			
2012/4/11	事故	負傷	走行中にバランスを崩し転倒 左膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	4	男			
2012/4/14	事故	負傷	転倒して負傷 鼻下部擦過傷	子供の広場	お客様	2	男			
2012/4/14	事故	負傷	転倒して負傷 右肘、右膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	5	女			
2012/4/15	事故	負傷	遊戯中に椅子の角で負傷 左眉部切傷	子供の広場管理棟内	お客様	2	男			
2012/4/15	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指爪剥離	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2012/4/15	事故	負傷	走って転ぶ 両膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	3	男			
2012/4/15	事故	負傷	気づかないうちにとげが刺さる 右手第一指刺傷	ワンダーシャトル付近	お客様	6	女			
2012/4/15	事故	負傷	走って転ぶ 左眉部擦過傷	子供の広場	お客様	2	男			
2012/4/15	事故	負傷	遊戯中にぶつかる 鼻出血	ふわんぽりん	お客様	11	女			
2012/4/15	事故	負傷	レンタサイクル運転中の転倒事故 全身強打	うみなかみらい橋付近	お客様	65	女			
2012/4/21	事故	負傷	つまづいて転倒 左膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	8	女			
2012/4/22	事故	負傷	来園途中に、船の中で段差につまづく 右足甲捻挫		お客様	61	男			
2012/4/22	事故	負傷	昔遊びで工作中に負傷 右手第一指切傷	子供の広場	お客様	9	男			
2012/4/22	事故	負傷	子供と遊戯中に壁にぶつかる 額部、右膝　打撲、擦過傷	子供のとりで　しのびのぬけみち	お客様	42	女			
2012/4/23	事故	負傷	自転車走行中に虫に刺される 額部虫刺され	サイクリングコース	お客様	41	女			
2012/4/28	事故	負傷	転倒し負傷 両手掌擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	59	男			
2012/4/28	事故	負傷	転倒し負傷 右膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	7	男			
2012/4/28	事故	負傷	裸足でつまづく 右足第三指爪剥離	ワンダーシャトル前	お客様	6	男			
2012/4/28	事故	負傷	転倒し負傷 左膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	3	男			

2012/4/29	事故	負傷	蜂に刺される 右指第一、二指間刺傷	子供の広場	お客様	5	男			
2012/4/29	事故	負傷	歩行中に転倒 左膝、左頬、右手掌　打撲、擦過傷	子供の広場	お客様	71	女			
2012/4/29	事故	負傷	歩行中に転倒 右膝擦過傷	子供の広場	お客様	6	男			
2012/4/29	事故	負傷	自転車で転倒 歯一部欠損、左肩擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2012/4/29	事故	負傷	自転車で転倒 左手掌擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2012/4/29	事故	負傷	歩行中に転倒 左膝擦過傷	子供の広場	お客様	5	男			
2012/4/29	事故	負傷	遊戯中にぶつかる 左膝打撲	ふわんぽりん	お客様	6	男			
2012/4/29	事故	負傷	つまづいて転ぶ 左膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	1	男			
2012/4/29	事故	負傷	つまづいて転ぶ 左手掌擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	4	男			
2012/4/29	事故	負傷	裸足で遊戯中に負傷 左足第一指擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	8	女			
2012/4/29	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒する 左手掌、左肩擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2012/4/29	事故	負傷	歩行中、子供が走ってきてぶつかり転倒する 左側頭部、左肘打撲	ワンダーシャトル前	お客様	3	女			
2012/4/29	事故	負傷	遊戯中に他の子が跳ぶ反動で転倒 左大腿捻挫	ふわんぽりん	お客様	4	女			
2012/4/29	事故	負傷	遊戯中に転倒 右肘打撲	ふわんぽりん	お客様	4	女			
2012/4/29	事故	負傷	階段を踏み外し転倒 両膝擦過傷	ローラー滑り台横の階段	お客様	75	女			
2012/4/29	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 後頭部、右膝　擦過傷、切傷	サイクリングコース	お客様	11	男			
2012/4/29	事故	負傷	うんていで遊戯中、手を滑らせ転落 左前腕切傷	子供の広場	お客様	9	男			
2012/4/29	事故	負傷	ポケットに手を入れて、とげが刺さる 右第三指刺傷	子供の広場	お客様	65	女			
2012/4/29	事故	負傷	歩行中に転倒 右膝擦過傷	子供の広場	お客様	3	男			
2012/4/29	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 両膝、右肘、左手掌　擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2012/5/1	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 右大腿、右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2012/5/1	事故	負傷	走って転倒 右膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	男			

2012/5/1	事故	負傷	遊戯中にバランスを崩し転倒 右肘捻挫	ふわんぽりん	お客様	8	女			
2012/5/4	事故	負傷	遊戯中に負傷 右膝捻挫	ローラー滑り台	お客様	2	男			
2012/5/4	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 右膝、胸部　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	9	男			
2012/5/4	事故	負傷	走って転倒 額部擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	女			
2012/5/4	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 左手掌擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	男			
2012/5/4	事故	負傷	自転車返却時にムカデに刺される 右手第二指刺傷	西サイクリング口	お客様	8	女			
2012/5/4	事故	負傷	遊戯中にとげが刺さる 右手掌刺傷	子供の広場	お客様	2	男			
2012/5/4	事故	負傷	づまづいて転倒 両膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	女			
2012/5/4	事故	負傷	づまづいて転倒 両膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	8	女			
2012/5/4	事故	負傷	母親が抱いていて落とす 顔面擦過傷	子供の広場	お客様	不明	女			
2012/5/4	事故	負傷	遊戯中に挟んで負傷 右足首捻挫	サイクルボート	お客様	6	女			
2012/5/4	事故	負傷	気づかないうちにとげが刺さる 右手第一指刺傷	子供の広場	お客様	8	女			
2012/5/4	事故	負傷	走って転倒 額部擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	男			
2012/5/4	事故	負傷	走って転倒 右肘擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	5	女			
2012/5/5	事故	負傷	つまづいて転倒 左膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	6	女			
2012/5/5	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 顎部、左頬、右肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	11	女			
2012/5/5	事故	負傷	遊戯中にぶつかり負傷 右足第一指爪剥離	ふわんぽりん	お客様	9	女			
2012/5/5	事故	負傷	遊戯中にぶつかり負傷 右足首捻挫	ふわんぽりん	お客様	6	男			
2012/5/5	事故	負傷	遊戯中にぶつかり転倒 左足第一指切傷	ふわんぽりん	お客様	11	男			
2012/5/5	事故	負傷	自転車走行中にタイヤのカバーに靴が挟まれ転倒 右下肢裂傷	サイクリングコース	お客様	12	女			
2012/5/5	事故	負傷	ゴーカートに乗るため並んでいたら虫に刺される 右膝下刺傷	ワンダーワールド	お客様	8	女			
2012/5/5	事故	負傷	遊戯中にぶつかり負傷 左足甲捻挫	ふわんぽりん	お客様	9	男			

2012/5/5	事故	負傷	つまづいて転倒 両膝、右手掌　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	3	男			
2012/5/5	事故	負傷	つまづいて転倒 左膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	女			
2012/5/5	事故	その他	自転車走行中にバランスを崩し転倒 左膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2012/5/5	事故	負傷	つまづいて転倒 左膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	3	男			
2012/5/5	事故	負傷	遊戯中に転倒 鼻出血	ふわんぽりん	お客様	9	男			
2012/5/5	事故	負傷	椅子に座っていてムカデに刺される 左大腿、左膝　虫刺され	インフォメーション裏	お客様	37	女			
2012/5/5	事故	負傷	つまづいて転倒 右膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	1	男			
2012/5/5	事故	負傷	パターゴルフで遊戯中に毛虫に刺される 右首筋　虫刺され	大芝生広場	お客様	6	男			
2012/5/5	事故	負傷	滑り台で遊戯中にとげが刺さる 右手掌刺傷	子供の広場	お客様	7	女			
2012/5/5	事故	負傷	気づかないうちにとげが刺さる 左手掌刺傷	子供の広場	お客様	10	女			
2012/5/5	事故	負傷	つまづいて転倒 左膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	5	女			
2012/5/5	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 右膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	12	男			
2012/5/5	事故	負傷	遊戯中に挟んで負傷 右足甲挟み傷	ローラー滑り台	お客様	2	男			
2012/5/6	事故	負傷	うんていで遊戯中に負傷 右手皮膚剥離	子供の広場	お客様	6	男			
2012/5/6	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝捻挫	ふわんぽりん	お客様	5	女			
2012/5/6	事故	負傷	づまづいて転倒 左膝、右手掌　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	10	女			
2012/5/6	事故	負傷	自転車で、姉妹で競争して転倒 右下肢、両足第一指　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	7	女			
2012/5/6	事故	負傷	じゃぶじゃぶ池の排水溝の網に引っ掛かる 左足第四指切傷	じゃぶじゃぶ池	お客様	11	女			
2012/5/6	事故	負傷	自転車の荷台乗せより落ちる 右頬擦過傷、打撲	ワンダーワールドロ付近	お客様	1	男			
2012/5/12	事故	負傷	階段を踏み外し転倒 右眉部擦過傷	子供の広場	お客様	5	男			
2012/5/12	事故	負傷	つまづいて転倒 両膝、右手掌　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	4	女			
2012/5/12	事故	負傷	ザイルクライムで遊戯中にロープが首に当たり負傷　　頚部摩擦傷	子供の広場	お客様	10	男			

2012/5/12	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 右膝、右肘、左手第二指、口唇、鼻下　擦過傷	サイクリングコース	お客様	12	女			
2012/5/12	事故	負傷	タグラグビーイベント中に参加者同士が衝突 額裂傷、前歯2本折	大芝生広場	お客様	11	男			
2012/5/13	事故	負傷	走って転倒 右肘擦過傷	子供の広場	お客様	4	男			
2012/5/13	事故	負傷	石につまづき転倒 右腹部擦過傷	動物の森	お客様	9	女			
2012/5/13	事故	負傷	転倒して負傷 右足第一指擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2012/5/13	事故	負傷	転倒し、以前の怪我の部分を剥離する 右膝皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	7	男			
2012/5/19	事故	負傷	遊戯中に負傷 両肘擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	5	男			
2012/5/19	事故	負傷	遊戯中に負傷 右肘、右膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	女			
2012/5/19	事故	負傷	遊戯中に負傷 左下腿擦過傷	動物の森	お客様	7	女			
2012/5/19	事故	負傷	自転車走行中に負傷 顔、右膝　切傷、擦過傷	サイクリングコース	お客様	57	男			
2012/5/19	事故	負傷	遊戯中に負傷 左肘、頭部　擦過傷、打撲	ワンダーシャトル前	お客様	5	男			
2012/5/19	事故	負傷	遊戯中に負傷 両膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	3	女			
2012/5/20	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝擦過傷	ふわんぽりん	お客様	4	女			
2012/5/20	事故	負傷	遊戯中に負傷 両膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2012/5/20	事故	負傷	園内での「鬼ごっこ」遊びの最中に転倒 右鎖骨骨折。	子どもの広場花時計周辺	お客様	23	男			
2012/5/24	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手、右肩　異物刺入、擦過傷	子供の広場	お客様	28	男			
2012/5/26	事故	負傷	遊戯中に負傷 左下腿　虫刺され	水辺のトリム	お客様	7	女			
2012/5/26	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	女			
2012/5/27	事故	負傷	遊戯中に負傷 左手第二指　突き指	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2012/5/27	事故	負傷	自転車走行中に負傷 顔、右肘　切傷、擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2012/5/27	事故	負傷	遊戯中に負傷 両膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	男			
2012/5/27	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手、右足　擦過傷	子供の広場	お客様	5	男			

2012/6/3	事故	負傷	転倒した時に手をついて負傷 左手首捻挫	ふわんぽりん	お客様	6	男			
2012/6/3	事故	負傷	歩行中につまづき転倒 右膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	9	男			
2012/6/3	事故	負傷	歩行中につまづき転倒 両膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	男			
2012/6/3	事故	負傷	歩行中につまづき転倒 右膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	4	男			
2012/6/3	事故	負傷	物につまづき負傷 左足第一指皮膚剥離	ワンダーシャトル前	お客様	4	女			
2012/6/3	事故	負傷	木を踏んで負傷 左足　異物刺入	ワンダーシャトル前	お客様	10	男			
2012/6/3	事故	負傷	転倒し負傷 右膝擦過傷	西駐車場	お客様	2	女			
2012/6/3	事故	負傷	裸足で遊戯中に負傷 左足裏　異物刺入	子供の広場	お客様	3	男			
2012/6/3	事故	負傷	裸足で遊戯中に負傷 右足裏　異物刺入	子供の広場	お客様	9	男			
2012/6/6	事故	負傷	遊戯中に転倒し負傷 右肘擦過傷	子供の広場	お客様	5	男			
2012/6/9	事故	負傷	歩行中に転倒し負傷 右膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	1	女			
2012/6/9	事故	負傷	スカイドルフィンでよそ見をしていて負傷 前頭部、左下肢打撲	スカイドルフィン	お客様	9	女			
2012/6/9	事故	負傷	レンタサイクル運転中の転倒事故 後頭部（打撲、切傷）負傷	リゾートエリア園路／マリーナ付近	お客様	5	女			
2012/6/10	事故	負傷	遊戯中につまづき負傷 右足第四足　切傷	水辺のトリム	お客様	4	男			
2012/6/10	事故	負傷	走って転倒 両膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	7	女			
2012/6/10	事故	負傷	自転車で転倒 右膝擦過傷、腹痛	サイクリングコース	お客様	7	女			
2012/6/10	事故	負傷	ふわんぽりん遊戯中に擦る 左膝擦過傷	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2012/6/10	事故	負傷	インフォメーション前で転倒し負傷 右膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	7	男			
2012/6/10	事故	負傷	ふわんぽりんで手をつき負傷 左手第四指　突き指	ふわんぽりん	お客様	11	男			
2012/6/10	事故	負傷	遊戯中にとげが刺さる 左足　異物刺入	水辺のトリム	お客様	5	女			
2012/6/10	事故	負傷	シャワー周辺のメリケントケン草のとげが刺さる 両足底　異物刺入	子供の広場	お客様	7	女			
2012/6/10	事故	負傷	杖が不安定になり転倒 左前頭部　擦過傷、打撲	バラ園入口	お客様	83	女			

2012/6/10	事故	負傷	正座でふわんぽりんを滑り負傷 両足背　熱傷	ふわんぽりん	お客様	10	女			
2012/6/11	事故	負傷	木に触りとげが刺さる 右手第三指　刺傷	動物の森	お客様	2	女			
2012/6/23	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 右膝、右手擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2012/7/1	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 右眉部擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2012/7/6	事故	負傷	サイクリングコースで自転車同士がぶつかり負傷 両手、左膝、左肘擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2012/7/6	事故	負傷	水辺のトリムでロープと鉄の間に挟み負傷 左手第五指　打撲	水辺のトリム	お客様	11	女			
2012/7/7	事故	負傷	走って転倒 両手、両膝、両肘擦過傷	子供の広場	お客様	3	男			
2012/7/7	事故	負傷	側溝に足を滑らせる 右アキレス部擦過傷	西口	お客様	13	男			
2012/7/7	事故	負傷	ふわんぽりんで転倒し負傷 左肘打撲	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2012/7/8	事故	負傷	歩行時にひっかかり転倒 左肘切傷	子供の広場	お客様	10	女			
2012/7/8	事故	負傷	親子自転車の前部より転倒 前頭部擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2012/7/8	事故	負傷	走って転倒 右膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2012/7/8	事故	負傷	木を踏みとげが刺さる 右足裏　異物刺入	水辺のトリム	お客様	8	女			
2012/7/15	事故	負傷	転倒し負傷 顔　擦過傷、打撲	子供の広場	お客様	1	女			
2012/7/15	事故	負傷	インフォメーション付近にて転倒 両膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	女			
2012/7/15	事故	負傷	ベンチから後ろ向きに転倒 前頭部擦過傷、打撲	大芝生広場	お客様	2	男			
2012/7/16	事故	負傷	歩行中痛みがあり棘を見つける 左足裏　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	44	男			
2012/7/21	事故	負傷	つまづき負傷 右足第一指　皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2012/7/22	事故	負傷	自転車走行中に転倒 右下肢、左膝打撲	サイクリングコース	お客様	72	女			
2012/7/22	事故	負傷	自転車走行中に転倒 左膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2012/7/22	事故	負傷	走って転倒 右膝擦過傷	子供の広場	お客様	2	女			
2012/7/27	事故	負傷	自転車走行中に転倒 左膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			

2012/7/28	事故	負傷	遊戯中にムカデに噛まれる 右足　虫刺され	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2012/7/28	事故	負傷	遊戯中に蜂に刺される 左手第三指　虫刺され	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2012/7/29	事故	負傷	転倒し負傷 左肘擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2012/7/29	事故	負傷	転倒し負傷 右膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2012/7/29	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 右膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	男			
2012/8/1	事故	負傷	口唇部　虫刺され	動物の森	お客様	12	男			
2012/8/3	事故	負傷	じゃぶじゃぶ池で滑って転倒 下顎切傷	じゃぶじゃぶ池	お客様	6	女			
2012/8/3	事故	負傷	スカイドルフィン遊戯中の転倒 額部裂傷	スカイドルフィン	お客様	8	男			
2012/8/4	事故	負傷	強風で飛ばされた看板を避けようとして転倒 右肘、右下腿　擦過傷	西口	お客様	8	女			
2012/8/4	事故	負傷	臨時売店メニュー看板倒伏による負傷 右ひじ・右ひざ擦傷	西口ゲート前広場	お客様	6				
2012/8/8	事故	負傷	ふわんぽりんで体勢を崩し転倒 右肘脱臼、骨折疑い	ふわんぽりん	お客様	11	女			
2012/8/10	事故	負傷	走って転倒 両膝、左手掌擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	女			
2012/8/13	事故	負傷	走って転倒 右肘、右膝、右手擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	6	女			
2012/8/20	事故	負傷	自転車走行中、下り坂でバランスを崩し転倒 左肩、左手第五指　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	女			
2012/8/21	事故	負傷	ゴーカートで立ち上がり転倒、道路で口唇を打つ 上部口唇　切創	ゴーカート場	お客様	1	男			
2012/8/21	事故	負傷	じゃぶじゃぶ池の中でとげが刺さる 右足底部　異物刺入	じゃぶじゃぶ池	お客様	8	男			
2012/8/25	事故	負傷	走って転倒 右肘擦過傷	子供の広場	お客様	3	女			
2012/8/27	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 左膝、左下肢擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2012/8/27	事故	負傷	遊戯中に転倒 両足首捻挫	ふわんぽりん	お客様	10	男			
2012/8/31	事故	負傷	虫が飛んできて負傷 頚部　虫刺され	子供の広場	お客様	8	男			
2012/9/1	事故	負傷	工作中にとげが刺さる 右手第四指　異物刺入	森の家	お客様	8	男			
2012/9/1	事故	負傷	遊戯中に顔面より転倒 口唇打撲	スカイドルフィン	お客様	6	女			

2012/9/1	事故	負傷	転倒し負傷 右肘、右膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	4	女			
2012/9/2	事故	負傷	ベビーカーより転倒 顔　打撲	動物の森	お客様	0	男			
2012/9/3	事故	負傷	ローラー滑り台付近の芝生で負傷 左足関節捻挫	ワンダーワールド	お客様	29	女			
2012/9/5	事故	負傷	ボランティア草刈作業中のアシナガバチ刺され 左手親指負傷	環境共生の森	ボランティア					
2012/9/7	事故	負傷	蜂に刺される 右手第一指、左手第二指　虫刺され	動物の森	お客様	35	女			
2012/9/15	事故	負傷	走って転倒 左肘擦過傷	ワンダーワールド	お客様	8	女			
2012/9/22	事故	負傷	木に触りとげが刺さる 左手掌　刺傷	子供の広場	お客様	11	女			
2012/9/22	事故	負傷	タイルの凸凹にひっかかり転倒 前頭部、顔　打撲、擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	3	女			
2012/9/22	事故	負傷	転倒し負傷 前額部擦過傷、打撲	ワンダーシャトル前	お客様	1	女			
2012/9/22	事故	負傷	自転車で転倒 左膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	女			
2012/9/22	事故	負傷	走って転倒 左膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	4	男			
2012/9/23	事故	負傷	ベンチにて、爪の中に湾曲状態で異物挿入 右手第二指　異物刺入	潮見台	お客様	4	女			
2012/9/23	事故	負傷	転倒し負傷 右膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	8	女			
2012/9/23	事故	負傷	噴水で遊んでいて手を踏まれる 左手第四指　打撲	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2012/9/24	事故	負傷	遊戯中に友達とぶつかり体勢を崩し転倒 右足第一指　爪剥離	ふわんぽりん	お客様	9	男			
2012/9/27	事故	負傷	走って転倒 顔　打撲、擦過傷	子供の広場	お客様	1	女			
2012/9/30	事故	負傷	自転車の鍵を持ったまま遊び、手に刺さる 左手切創	ふわんぽりん	お客様	8	男			
2012/10/2	事故	負傷	噴水洗浄作業中事故 左手中指裂傷	西口壁泉噴水	スタッフ	68	男			
2012/10/7	事故	負傷	ローラー滑り台で負傷 左下肢打撲	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2012/10/7	事故	負傷	自転車走行中に強風にあおられ転倒 後頭部、右側頭部　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	2	男			
2012/10/7	事故	負傷	歩いて転倒 右膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	1	女			
2012/10/7	事故	負傷	自転車で転倒 右肘擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	女			

2012/10/7	事故	負傷	自転車で転倒 左膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	女			
2012/10/7	事故	負傷	自転車の前かごから転倒 下顎切傷	ワンダーワールドロ	お客様	2	男			
2012/10/7	事故	負傷	草むらで負傷 左下肢皮膚剥離	不明	お客様	7	女			
2012/10/7	事故	負傷	走って段差につまづき転倒 両手掌擦過傷	子供の広場	お客様	6	男			
2012/10/7	事故	負傷	走って転倒 左前額部、左肘擦過傷	子供の広場	お客様	2	男			
2012/10/7	事故	負傷	喫煙所の柵の木片が刺さる 右手掌　異物刺入	子供の広場	お客様	37	男			
2012/10/7	事故	負傷	歩行中、人とぶつかりそうになりバランスを崩し転倒　　両膝、左手掌擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	7	女			
2012/10/7	事故	負傷	歩行中、孫が急に前に飛び出し、バランスを崩し転倒　右膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	47	女			
2012/10/7	事故	負傷	平均台でバランスを崩し負傷 下顎部裂傷	水辺のトリム	お客様	6	女			
2012/10/7	事故	負傷	トライアスロン参加中の自転車からの落車 背中強打、左肺出血	シーサイドヒルシオヤ付近コース	お客様	50	女			
2012/10/8	事故	負傷	走って転倒 左膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2012/10/8	事故	負傷	転倒し負傷 左膝、右肘擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	3	女			
2012/10/8	事故	負傷	自転車で転倒 右膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	不明	不明			
2012/10/8	事故	負傷	走って転倒 左膝、顔　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	5	男			
2012/10/8	事故	負傷	つまづき負傷 右足第一指　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	7	男			
2012/10/8	事故	負傷	転倒し負傷 左膝擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	1	女			
2012/10/8	事故	負傷	遊戯中に走って転倒 左肘捻挫	子供の広場	お客様	6	男			
2012/10/8	事故	負傷	つまづき転倒 左膝擦過傷	子供の広場	お客様	2	男			
2012/10/8	事故	負傷	走って転倒 左手掌、左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	3	女			
2012/10/8	事故	負傷	走って転倒 左膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	7	男			
2012/10/9	事故	負傷	遊戯中に蜂に刺される 左肩刺傷	スカイドルフィン付近	お客様	7	女			
2012/10/12	事故	負傷	走って転倒 両膝擦過傷	子供の広場	お客様	4	男			

2012/10/13	事故	負傷	ホットボンドが付着し、皮膚と共に剥離する 右前腕　熱傷	森の家	お客様	7	男			
2012/10/13	事故	負傷	つまづき転倒 前額部、左膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2012/10/13	事故	負傷	自転車で転倒 右肘、両膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2012/10/13	事故	負傷	ふわんぽりんで人とぶつかる 右肘打撲	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2012/10/13	事故	負傷	二人乗り自転車の後ろで、くいに足を引っ掛ける 左足打撲、擦過傷	サイクリングコース	お客様	25	女			
2012/10/14	事故	負傷	ふわんぽりんで負傷 左足捻挫	ふわんぽりん	お客様	2	女			
2012/10/14	事故	負傷	ふわんぽりんで人にぶつかる 鼻出血	ふわんぽりん	お客様	4	男			
2012/10/14	事故	負傷	遊具で遊んで負傷 左足関節、右肘　捻挫、擦過傷	子供の広場	お客様	9	男			
2012/10/14	事故	負傷	つまづき転倒 前額部擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2012/10/14	事故	負傷	自転車同士でぶつかる 左手擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	男			
2012/10/14	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 右肘擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	女			
2012/10/14	事故	負傷	椅子に触ってとげが刺さる 右手第二指　刺傷	子供の広場	お客様	31	男			
2012/10/14	事故	負傷	遊戯中に転倒 右膝擦過傷	子供の広場	お客様	7	女			
2012/10/14	事故	負傷	椅子から転倒 頭打撲	ワンダーワールド	お客様	1	男			
2012/10/14	事故	負傷	ローラー滑り台で負傷 左手第一指　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	69	女			
2012/10/15	事故	負傷	遊戯中にバランスを崩し転倒 左足捻挫	ふわんぽりん	お客様	11	女			
2012/10/15	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 右肘、右膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2012/10/20	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 左膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	54	女			
2012/10/20	事故	負傷	走って転倒 左膝擦過傷	ワンダーワールドロ	お客様	8	女			
2012/10/20	事故	負傷	友達の自転車とぶつかりそうになり転倒 右頬、右膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2012/10/20	事故	負傷	工作中にボンドが睫毛に付着 眼瞼内部に軽度発赤	森の家	お客様	5	男			
2012/10/21	事故	負傷	ふわんぽりん着地時に負傷 左膝捻挫	ふわんぽりん	お客様	9	女			

2012/10/21	事故	負傷	自転車走行中に転倒 左前腕擦過傷	サイクリングコース	お客様	11	男			
2012/10/21	事故	負傷	転倒し負傷 右肘、右手擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2012/10/21	事故	負傷	つまづき転倒 左膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2012/10/21	事故	負傷	段差に引っ掛かり転倒 左足関節捻挫	水辺のトリム	お客様	10	男			
2012/10/21	事故	負傷	ふわんぽりん着地時に負傷 左足捻挫	ふわんぽりん	お客様	9	女			
2012/10/21	事故	負傷	転倒し負傷 前頭部打撲	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2012/10/21	事故	負傷	うんていから落ちる 上口唇擦過傷、腫脹	子供の広場	お客様	6	男			
2012/10/27	事故	負傷	走って転倒 顔擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	3	女			
2012/10/28	事故	負傷	自転車で転倒 頭打撲、擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2012/10/28	事故	負傷	遊具から落ちる 後頭部打撲	子供の広場	お客様	5	女			
2012/10/28	事故	負傷	走って転倒 右膝擦過傷	子供の広場	お客様	6	女			
2012/10/29	事故	負傷	遊戯中に転倒 左足第五指　骨折疑い	ふわんぽりん	お客様	9	男			
2012/10/29	事故	負傷	ラグビー大会出場中の衝突事故 左側肋骨2本骨折	大芝生広場	お客様	54	男			
2012/11/3	事故	負傷	工作中にボンドで負傷 左手第一指、右手第一、三、四指　火傷	森の家	お客様	36	男			
2012/11/4	事故	負傷	ふわんぽりんで遊戯中に靴擦れを起こす 右足背　靴擦れ	ふわんぽりん	お客様	8	女			
2012/11/9	事故	負傷	鉄の棒にぶつける 右下肢打撲、擦過傷	水辺のトリム	お客様	12	女			
2012/11/10	事故	負傷	競争してスピードを出しすぎ、転倒 右肘、右側頭部　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	10	男			
2012/11/23	事故	負傷	ふわんぽりんで転倒 左膝打撲	ふわんぽりん	お客様	4	女			
2012/11/23	事故	負傷	ふわんぽりんで負傷 左足擦過傷	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2012/11/25	事故	負傷	走って転倒 右膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2012/11/28	事故	負傷	友達とぶつかり歯が当たる 頭切傷	海の家	お客様	11	男			
2012/12/3	事故	負傷	ふわんぽりんで負傷 左足関節捻挫	ふわんぽりん	お客様	11	男			

2012/12/16	事故	負傷	遊具に乗りそこね転倒 鼻打撲	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2012/12/16	事故	負傷	走って転倒 両膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2012/12/27	事故	負傷	ふわんぽりんで負傷 右足関節捻挫	ふわんぽりん	お客様	9	男			
2013/1/5	事故	負傷	自転車でぶつかり転倒し、眼鏡のフレームで切る 左眼瞼切傷	サイクリングコース	お客様	73	男			
2013/1/13	事故	負傷	自転車で転倒 右膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2013/1/20	事故	負傷	ふわんぽりんで負傷 左足捻挫	ふわんぽりん	お客様	11	女			
2013/2/3	事故	負傷	走って転倒	子供の広場	お客様	3	女			
2013/2/7	事故	負傷	自転車で転倒 右膝挫創	サイクリングコース	お客様	10	男			
2013/2/11	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 左膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2013/2/11	事故	負傷	遊戯中に転倒 左足第一指　爪剥離	ふわんぽりん	お客様	9	女			
2013/2/23	事故	負傷	階段を踏み外し転倒 顔、両下肢　打撲、擦過傷	子供の広場	お客様	37	女			
2013/2/25	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足首捻挫	ふわんぽりん	お客様	10	男			
2013/3/3	事故	負傷	森の家前で、自転車の前かごから転倒 頭打撲、擦過傷	森の家	お客様	4	男			
2013/3/9	事故	負傷	走って転倒 前頭部打撲	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2013/3/10	事故	負傷	鉄棒から滑り落ちる 背部擦過傷	子供の広場	お客様	6	女			
2013/3/16	事故	負傷	遊具のローラー滑り台で、爪の深部に異物挿入 左手第四指　異物刺入	スカイドルフィン	お客様	4	男			
2013/3/16	事故	負傷	木を触って木屑が挿入 左手第四指　異物刺入	子供の広場	お客様	7	男			
2013/3/16	事故	負傷	手すりを触って負傷 左手第二指、左手掌　異物刺入	シオヤ	お客様	6	女			
2013/3/17	事故	負傷	ベンチに座ろうと手をつき、とげが刺さる 右手　異物刺入	ワンダーシャトル前	お客様	10	女			
2013/3/21	事故	負傷	爪が割れて剥がれる 左足第一指　爪剥離	ふわんぽりん	お客様	3	女			
2013/3/23	事故	負傷	なわとびで転倒 左膝擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2013/3/23	事故	負傷	ボールで遊戯中に転倒 左膝擦過傷	子供の広場	お客様	8	女			

2013/3/23	事故	負傷	サファリペット付近に段差があり転倒 左眼瞼裂傷、腫脹	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2013/3/23	事故	負傷	駐車場で車から降りたときに負傷 右足首骨折疑い	西駐車場	お客様	38	女			
2013/3/24	事故	負傷	自転車で転倒 右膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	4	女			
2013/3/25	事故	負傷	自転車走行中に転倒 左手第二指　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	女			
2013/3/25	事故	負傷	自転車走行中に転倒 左膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	12	男			
2013/3/26	事故	負傷	自転車の前かごから転落 前頭部打撲	動物の森	お客様	3	男			
2013/3/26	事故	負傷	ふわんぽりんで子供同士がぶつかり負傷 右膝打撲	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2013/3/26	事故	負傷	自転車同士ぶつかり負傷 下顎部擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2013/3/26	事故	負傷	ふわんぽりんで足をぶつける 右足第一指　打撲	ふわんぽりん	お客様	11	男			
2013/3/28	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 左膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	男			
2013/3/28	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 左肘、頬、手甲、右手第一指　擦過傷	サイクリングコース	お客様	11	男			
2013/3/29	事故	負傷	ふわんぽりんで着地時に負傷 右足関節捻挫	ふわんぽりん	お客様	8	男			
2013/3/29	事故	負傷	赤ちゃんを抱いて歩行中、テントのひもを避けようとしてバランスを崩し転倒　頭打撲　疼痛	ワンダーワールド	お客様	68	女			
2013/3/30	事故	負傷	裸足で歩き負傷 右足第一指　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2013/3/30	事故	負傷	自転車走行中、木の枝に引っ掛かる 右側腹部　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	男			
2013/3/30	事故	負傷	自転車で転倒 右膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	12	男			
2013/3/30	事故	負傷	つまづき転倒 左手掌　擦過傷	子供の広場	お客様	2	女			
2013/3/30	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 左手第一指　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2013/3/30	事故	負傷	走って転倒 両膝、右下腿　擦過傷、打撲	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2013/3/30	事故	負傷	遊戯中に以前の傷が擦れて出血 左膝擦過傷	ふわんぽりん	お客様	10	男			
2013/3/30	事故	負傷	ふわんぽりんで着地時に負傷 右足関節捻挫	ふわんぽりん	お客様	10	女			
2013/3/30	事故	負傷	遊戯中負傷 右足第四指　切傷	ふわんぽりん	お客様	8	女			

2013/3/31	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足関節捻挫、軽度腫脹	ふわんぽりん	お客様	8				
2013/3/31	事故	負傷	遊具に当たり負傷 左下腿打撲、軽度内出血	水辺のトリム	お客様	10				
2013/3/31	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 顔、右手首　擦過傷、捻挫	サイクリングコース	お客様	8				
2013/3/31	事故	負傷	階段を踏み外し転倒 右腰　擦過傷	子供の広場	お客様	9				
2013/3/31	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 左膝擦過傷	サイクリングコース	お客様	10				
2013/3/31	事故	負傷	つまづき転倒 左膝擦過傷	子供の広場	お客様	24				

●H24事件

発生日時	事故の 大分類	事故の 種類			負傷者 の分類	負傷者 年齢	負傷者 の性別	相手方 の分類	相手方 の年齢	相手方 の性別
2012/10/15	事件	死亡	作業員による園内での遺体発見	虹の池	お客様	79	女			

●H24病気（急性症病）

発生日時	事故の 大分類	事故の 種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者 の分類	負傷者 年齢	負傷者 の性別	相手方 の分類	相手方 の年齢	相手方 の性別
2012/4/2	病気（急性症状）	発症	鼻出血		お客様	9	女			
2012/4/15	病気（急性症状）	発症	頭痛		お客様	34	男			
2012/4/15	病気（急性症状）	発症	頭痛		お客様	6	女			
2012/4/15	病気（急性症状）	発症	頭痛		お客様	34	女			
2012/5/4	病気（急性症状）	発症	頭痛		お客様	42	男			
2012/5/4	病気（急性症状）	発症	歯痛		お客様	7	女			
2012/5/5	病気（急性症状）	発症	頭痛		お客様	6	男			
2012/5/13	病気（急性症状）	発症	下痢		お客様	10	男			
2012/6/8	病気（急性症状）	発症	バイキングランチの後から腹痛		お客様	65	女			
2012/6/17	病気（急性症状）	発症	食後ふわんぽりんで遊び、嘔吐する	ふわんぽりん	お客様	1	男			
2012/6/29	病気（急性症状）	発症	食後ふわんぽりんで遊び、嘔吐する	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2012/7/28	病気（急性症状）	発症	コンサート会場にて気分不良　熱中症		お客様	36	男			

2012/7/31	病気（急性症状）	発症	熱中症疑い　妊娠4か月	ワンダーシャトル内	お客様	26	女			
2012/7/31	病気（急性症状）	発症	BBQ中の急性症状発症 急性アルコール中毒	デイキャンプ場	お客様	24	男			
2012/8/1	病気（急性症状）	発症	腹痛　吐き気	動物の森	お客様	10	男			
2012/8/18	病気（急性症状）	発症	めまいで倒れる　睡眠不足　頭痛	西口	お客様	12	女			
2012/8/19	病気（急性症状）	発症	車酔いと熱中症疑い　嘔吐	西口	お客様	7	女			
2012/8/28	病気（急性症状）	発症	意識障害　痙攣	SL機関車乗り場	お客様	0	女			
2012/9/2	病気（急性症状）	発症	園内打合せ中に吐き気、めまい 熱中症の疑い	光と風の広場	持込イベント等 スタッフ		女			
2012/9/3	病気（急性症状）	発症	熱中症疑い　嘔吐	ワンダーシャトル前	お客様	41	女			
2012/9/10	病気（急性症状）	発症	胃痛　下痢		お客様	21	女			
2012/9/23	病気（急性症状）	発症	腹痛　全身蕁麻疹	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2012/10/8	病気（急性症状）	発症	熱性痙攣疑い　嘔吐		お客様	2	男			
2012/10/11	病気（急性症状）	発症	頭痛　発熱	森の家	お客様	6	男			
2012/10/16	病気（急性症状）	発症	学校のウォークラリー中に気分不良　頭痛	子供の広場	お客様	10	女			
2012/10/21	病気（急性症状）	発症	コンサート鑑賞中に気分不良　低血圧　吐気　冷汗	フラワーステージ	お客様	66	男			
2012/10/28	病気（急性症状）	発症	冷たい飲み物を飲んだ後、胃痛		お客様	43	女			
2012/11/5	病気（急性症状）	発症	38度台の高熱　頭痛	子供の広場	お客様	4	男			
2013/3/16	病気（急性症状）	発症	5カ月の妊婦、来園時より気分不良	西口	お客様	30	女			
2013/3/28	病気（急性症状）	発症	頭痛　嘔吐		お客様	12	女			

●H24病気（既往症悪化）

発生日時	事故の 大分類	事故の 種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者 の分類	負傷者 年齢	負傷者 の性別	相手方 の分類	相手方 の年齢	相手方 の性別
2012/4/7	既往症悪化	発症	肉離れ　自宅で負傷		お客様	40	男			
2012/5/18	既往症悪化	負傷	来園前に転倒し、左足の腫脹疼痛ひどくなる	西口	お客様	44	女			

2012/6/10	既往症悪化	発症	偏頭痛と乗り物酔いがあり、気分不良で動けなくなる	西口	お客様	34	女			
2012/7/30	既往症悪化	発症	2日前より両足関節に軽度の腫脹と発赤出現する	子供の広場	お客様	28	女			
2012/8/1	既往症悪化	発症	起床時より頭痛あり　家庭で内服し来園	動物の森	お客様	11	女			
2012/8/15	既往症悪化	負傷	姉に手を引っ張られる　右肘　肘内障既往あり	ワンダーシャトル前	お客様	4	女			
2012/9/7	既往症悪化	発症	頭痛　以前より時々症状あり		お客様	11	男			
2012/12/23	既往症悪化	発症	心臓疾患あり、胸痛　気分不良		ボランティア	64	男			

●H24車両事故

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2012/4/20	車両事故	その他	通勤途中の追突事故 ケガなし	園外	スタッフ					
2012/4/29	車両事故	その他	駐車場内来園車両同士の衝突事故 首捻挫	中央駐車場C	お客様	30	女			
2012/5/1	車両事故	その他	駐車場内来園車両同士の接触事故 ケガなし	中央駐車場A						
2013/1/9	車両事故	施設等破損	車両運転中の低木折損事故 ケガなし	リゾートエリア内	お客様					
2013/2/3	車両事故	その他	お客様車両同士の接触事故 ケガなし	中央駐車場	お客様	32	男			

●H24その他

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2012/7/22	その他	負傷	右足靴擦れ		お客様	4	女			
2012/8/29	その他	負傷	お客様が連れてこられた犬に噛まれる 右膝負傷	西サイクリングセンター口	スタッフ		女			
2012/9/2	その他	負傷	両足靴擦れ		お客様	4	女			
2012/10/6	その他	負傷	左手の豆の皮膚が剥離する	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2012/10/21	その他	負傷	鼻腔内にティッシュを詰め、取れなくなる		お客様	2	男			

●H25事故

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2013/4/2	事故	負傷	雨で濡れた路面で スリップし転倒、痛みのため気分不良　左頬、顎、頚部、左手第四・五指、右手掌　擦過傷	サイクリングコース	お客様	15	男			
2013/4/3	事故	負傷	自転車でぶつかり負傷 前額部　切傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2013/4/3	事故	負傷	自転車で転倒 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	11	女			
2013/4/3	事故	負傷	ふわんぽりんで着地時に負傷 左足関節　骨折疑い	ふわんぽりん	お客様	8	男			
2013/4/3	事故	負傷	自転車同士ぶつかり負傷 左下腿　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	75	男			
2013/4/3	事故	負傷	自転車同士ぶつかり負傷 両膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	13	女			
2013/4/3	事故	負傷	自転車同士ぶつかり負傷 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	女			
2013/4/4	事故	負傷	自転車の前かごから転落 口唇部　切傷、打撲	サイクリングコース	お客様	3	男			
2013/4/4	事故	負傷	自転車で転倒 右大腿、顔　打撲、擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2013/4/4	事故	負傷	遊戯中に負傷 右前腕　骨折疑い	ふわんぽりん	お客様	12	男			
2013/4/4	事故	負傷	6歳の子供に抱かれ転倒 前額部　打撲	ワンダーワールド	お客様	1	男			
2013/4/4	事故	負傷	赤ちゃんを抱いて転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2013/4/5	事故	負傷	遊戯中に転倒 後頭部　打撲	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2013/4/5	事故	負傷	プランターを飛び越えようとしてつまづき転倒 右膝　擦過傷	大芝生広場	お客様	5	女			
2013/4/5	事故	負傷	滑り台で踏み外し負傷 下顎部　切傷	子供の広場	お客様	5	男			
2013/4/5	事故	負傷	ふわんぽりんで着地時に負傷 左足第一指　切傷	ふわんぽりん	お客様	10	女			
2013/4/5	事故	負傷	歩行中わき見をして転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2013/4/8	事故	負傷	遊戯中に転倒 左眼瞼　打撲	ふわんぽりん	お客様	6	男			
2013/4/8	事故	負傷	遊戯中に転倒 右手第一指　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	女			
2013/4/8	事故	負傷	ローラー滑り台で着地の際に転倒 右脛　打撲	スカイドルフィン	お客様	6	男			

2013/4/9	事故	負傷	自転車走行中に転倒 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	女			
2013/4/13	事故	負傷	ベンチで木屑が刺さる 右手第五指　異物刺入	水辺のトリム	お客様	6	女			
2013/4/13	事故	負傷	テーブルにぶつける 鼻出血、頭打撲	ワンダーシャトル前	お客様	7	男			
2013/4/13	事故	負傷	走って転倒 左膝、左手　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	10	男			
2013/4/13	事故	負傷	走って転倒 左手　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2013/4/13	事故	負傷	走って転倒 右手　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/4/14	事故	負傷	気づかないうちにズボンの中にムカデが入っていて負傷　　左下肢　咬傷	花時計前	お客様	60	女			
2013/4/14	事故	負傷	車から降りたとき段に気付かず転倒 右足　捻挫	西駐車場	お客様	59	女			
2013/4/14	事故	負傷	ふわんぽりんで両膝をついて負傷 両膝　熱傷	ふわんぽりん	お客様	9	女			
2013/4/14	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	4	女			
2013/4/14	事故	負傷	自転車走行中、木に触り刺さる 右手第三指　異物刺入	サイクリングコース	お客様	7	男			
2013/4/14	事故	負傷	走って転倒 前頭部　打撲	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2013/4/14	事故	負傷	元からあったいぼを遊戯中に擦り、出血 左手　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	10	女			
2013/4/14	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	7	男			
2013/4/21	事故	負傷	車椅子で移動中、段差につまづき転倒 後頭部　打撲	海中口	お客様	23	男			
2013/4/21	事故	負傷	トンビか鷹に突かれる 顔　切傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	女			
2013/4/21	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2013/4/21	事故	負傷	遊戯中に友達の爪が当たる 右手　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	10	女			
2013/4/21	事故	負傷	遊戯中に爪が引っ掛かり切れる 右足第一指　切創	ふわんぽりん	お客様	8	男			
2013/4/26	事故	負傷	作業中にムカデに噛まれる 右手第三指　咬傷	子供の広場		63	男			
2013/4/27	事故	負傷	転倒し極小の棘が多数、母親が安全ピンで取り発赤 両手　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	1	男			
2013/4/27	事故	負傷	転倒し棘が刺さる 右手　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	5	男			

2013/4/27	事故	負傷	自転車走行中に転倒 右前額部、左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2013/4/27	事故	負傷	キッズフアフアドームで遊戯中に転倒 右肘　捻挫	大芝生広場	お客様	7	男			
2013/4/27	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/4/27	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2013/4/27	事故	負傷	裸足で遊んで負傷 左足　切傷	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2013/4/27	事故	負傷	遊戯中に人に踏まれる 左踵　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2013/4/27	事故	負傷	走って転倒 右肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2013/4/28	事故	負傷	裸足で遊戯中に負傷 左足裏　切傷	子供の広場	お客様	6	男			
2013/4/28	事故	負傷	椅子に座ろうとして蜂に刺される 左大腿　刺傷	子供の広場	お客様	8	女			
2013/4/28	事故	負傷	ラーメンを食べている時にこぼし、汁がかかる 右大腿、両下肢　火傷	大芝生広場	お客様	7	女			
2013/4/28	事故	負傷	遊戯中にかさぶたが取れる 左肘　出血	不明	お客様	12	男			
2013/4/28	事故	負傷	じゃぶじゃぶ池で遊戯中に転倒 左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	5	女			
2013/4/28	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 右手第一指　刺傷	子供の広場	お客様	8	女			
2013/4/28	事故	負傷	不明 陰部　切傷	子供の広場	お客様	9	女			
2013/4/28	事故	負傷	遊戯中に転倒 右足首　捻挫	ふわんぽりん	お客様	5	女			
2013/4/28	事故	負傷	遊戯中に転倒 両膝　擦過傷	子供の広場	お客様	6	男			
2013/4/28	事故	負傷	アクアロールで目が回り転倒 右肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2013/4/28	事故	負傷	つまづいて転倒 両膝、左手掌　擦過傷	子供の広場	お客様	5	女			
2013/4/28	事故	負傷	フリスビー練習中にぶつかり、相手の歯が当たる 左側頭部　切傷	大芝生広場	お客様	22	女			
2013/4/28	事故	負傷	裸足で遊戯中に負傷 右足　皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	9	女			
2013/4/28	事故	負傷	裸足で遊び、遊具で擦る 左アキレス部　擦過傷	水辺のトリム	お客様	7	男			
2013/4/28	事故	負傷	子供とボールで遊び負傷 左手第五指　突き指	子供の広場	お客様	36	女			

2013/4/28	事故	負傷	走って転倒 左手　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2013/4/28	事故	負傷	ふわんぽりんで着地時に負傷 右足関節　捻挫	ふわんぽりん	お客様	5	女			
2013/4/28	事故	負傷	自転車で転倒 右肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2013/4/28	事故	負傷	ふわんぽりんで手を突き負傷 右手　打撲	ふわんぽりん	お客様	8	女			
2013/4/28	事故	負傷	裸足で遊び、棘が刺さる 右足　異物刺入	ふわんぽりん	お客様	4	女			
2013/4/28	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2013/4/28	事故	負傷	自転車で転倒 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2013/4/28	事故	負傷	走って転倒 左膝　切傷	ワンダーワールド	お客様	8	男			
2013/4/28	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2013/4/29	事故	負傷	丸太につまづき転倒 左頬　擦過傷	子供の広場	お客様	8	男			
2013/4/29	事故	負傷	アスレチックのロープで打つ 左前額部　打撲	子供の広場	お客様	6	女			
2013/4/29	事故	負傷	遊具の椅子で打つ 左上眼瞼　切傷	子供の広場	お客様	3	男			
2013/4/29	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2013/4/29	事故	負傷	自転車で転倒 両手　擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2013/4/29	事故	負傷	走って転倒 左手　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2013/4/29	事故	負傷	つまづき転倒 左膝　擦過傷	じゃぶじゃぶ池	お客様	6	男			
2013/4/29	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2013/4/29	事故	負傷	ベビーカーより転倒 下顎部、左手背部　擦過傷	西口	お客様	4	男			
2013/4/29	事故	負傷	自転車走行中に転倒 左肘　打撲	サイクリングコース	お客様	4	男			
2013/4/29	事故	負傷	歩行中に転倒、花壇の木屑が深部に刺さる 左手第一・二指間　異物刺入	彩りの花壇	お客様	4	男			
2013/4/29	事故	負傷	管理棟の階段でつまづき転倒 左前額部　打撲	子供の広場	お客様	2	男			
2013/4/29	事故	負傷	芝生で転倒 左頬、左前額部　擦過傷、打撲	子供の広場	お客様	1	男			

2013/4/29	事故	負傷	自転車で転倒 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2013/4/29	事故	負傷	自転車で転倒 頬　切傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2013/4/29	事故	負傷	自転車で転倒 左手、右膝　異物刺入、擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2013/4/29	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2013/4/29	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第五指　打撲	ふわんぽりん	お客様	8	女			
2013/4/30	事故	負傷	イカダ橋で足を滑らせ負傷 前額部　打撲	水辺のトリム	お客様	10	男			
2013/5/1	事故	負傷	走って転倒 左手第五指　切傷	子供の広場	お客様	1	男			
2013/5/3	事故	負傷	階段を踏み外し負傷 右足首　捻挫	西口	お客様	12	女			
2013/5/3	事故	負傷	遊具より足を滑らせ転落し、遊具で腰を打つ 腰　打撲、擦過傷	水辺のトリム	お客様	11	女			
2013/5/3	事故	負傷	椅子にぶつけ負傷 眉　打撲	動物の森	お客様	7	男			
2013/5/3	事故	負傷	走って転倒 左肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2013/5/3	事故	負傷	転倒し負傷 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	1	女			
2013/5/3	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	子供の広場	お客様	16	女			
2013/5/3	事故	負傷	平均台より転倒 後頭部　切傷	子供の広場	お客様	2	男			
2013/5/3	事故	負傷	ふわんぽりんで隣の子とぶつかり転倒 左足関節　捻挫	ふわんぽりん	お客様	9	男			
2013/5/3	事故	負傷	遊具の椅子で刺す 左手第一指　異物刺入	子供の広場	お客様	2	女			
2013/5/3	事故	負傷	木に触り負傷 左手第五指　異物刺入	子供の広場	お客様	41	男			
2013/5/3	事故	負傷	走って転倒 左肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2013/5/3	事故	負傷	ふわんぽりんで滑り負傷 両足　熱傷	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2013/5/3	事故	負傷	フェリー乗り場で転倒 右膝　擦過傷	フェリー乗り場	お客様	41	男			
2013/5/3	事故	負傷	ヤギに噛まれる 左手第二指　咬傷	海中口	お客様	6	男			
2013/5/3	事故	負傷	転倒し負傷 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	7	男			

2013/5/3	事故	負傷	走って転倒 右肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2013/5/4	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2013/5/4	事故	負傷	遊戯中に爪が引っ掛かる 右足第一指　切傷	ふわんぽりん	お客様	9	男			
2013/5/4	事故	負傷	自転車で転倒 右下腿　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2013/5/4	事故	負傷	走って転倒 右膝、左肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	8	女			
2013/5/4	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第五指　爪剥離	ふわんぽりん	お客様	12	女			
2013/5/4	事故	負傷	遊戯中に負傷 左手　打撲	ふわんぽりん	お客様	4	女			
2013/5/4	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　切傷	ふわんぽりん	お客様	3	女			
2013/5/4	事故	負傷	自転車で転倒 左肘、右アキレス部　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	6	男			
2013/5/4	事故	負傷	遊具のチェーンに挟み負傷 右手第四指　皮膚剥離、骨折疑い	水辺のトリム	お客様	4	女			
2013/5/4	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手掌　異物刺入	子供の広場	お客様	9	男			
2013/5/4	事故	負傷	遊具より転落 左肘　擦過傷	子供の広場	お客様	4	男			
2013/5/4	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	4	女			
2013/5/4	事故	負傷	自転車走行中ぶつかりそうになり転倒 右手第三指　捻挫	サイクリングコース	お客様	7	女			
2013/5/4	事故	負傷	裸足で遊戯中に負傷 左足裏　異物刺入	子供の広場	お客様	7	女			
2013/5/4	事故	負傷	椅子から転落 前頭部　切傷	子供の広場	お客様	2	女			
2013/5/4	事故	負傷	自転車走行中バランスを崩し転倒、患部に石が入る 額　裂傷	サイクリングコース	お客様	3	女			
2013/5/4	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手第三指　切傷	子供の広場	お客様	4	男			
2013/5/4	事故	負傷	つまづいて転倒 両膝　擦過傷	子供の広場	お客様	3	女			
2013/5/4	事故	負傷	遊戯中に踏まれる 左手第一指　捻挫	ふわんぽりん	お客様	5	女			
2013/5/4	事故	負傷	つまづき転倒 左手掌　擦過傷	子供の広場	お客様	2	男			
2013/5/4	事故	負傷	遊戯中に負傷 右下腿　打撲	子供の広場	お客様	41	女			

2013/5/4	事故	負傷	裸足で遊戯中に負傷 左足第五指　擦過傷	水辺のトリム	お客様	9	女			
2013/5/4	事故	負傷	じゃぶじゃぶ池で遊戯中に負傷 左足第三指　切傷	じゃぶじゃぶ池	お客様	8	女			
2013/5/4	事故	負傷	つまづき転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	1	女			
2013/5/4	事故	負傷	出店のコードに引っ掛かり転倒 両膝、右肘　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	8	女			
2013/5/5	事故	負傷	芝生で転倒 左手掌　異物刺入	子供の広場	お客様	6	女			
2013/5/5	事故	負傷	腕力ロープウェイで対面よりロープを引っ張られ、指を挟む　　右手第一・二指　打撲	水辺のトリム	お客様	14	女			
2013/5/5	事故	負傷	遊戯中に手を突き棘が刺さる 右手第三指　異物刺入	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2013/5/5	事故	負傷	喫煙所の柵を触り、木屑が刺さる 右手掌　異物刺入	西サイクリング口	お客様	5	男			
2013/5/5	事故	負傷	ブランコより転落 右肘　擦過傷	子供の広場	お客様	6	男			
2013/5/5	事故	負傷	ドルフィン滑り台で棘が刺さる 右手第一指爪間　異物刺入	スカイドルフィン	お客様	4	男			
2013/5/5	事故	負傷	階段でつまづく 下口唇、下顎部　裂傷	西口	お客様	1	女			
2013/5/5	事故	負傷	水泡になり破れる 右足第一指　皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	8	女			
2013/5/5	事故	負傷	遊戯中に人とぶつかる 左眼　打撲	ふわんぽりん	お客様	8	女			
2013/5/5	事故	負傷	走って転倒 左膝、右肘　打撲、擦過傷	ワンダーワールド	お客様	10	男			
2013/5/5	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2013/5/5	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2013/5/5	事故	負傷	ゲートの段差につまづき負傷 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/5/5	事故	負傷	自転車で転倒 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	女			
2013/5/5	事故	負傷	つまづき転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2013/5/5	事故	負傷	裸足で遊び負傷 左足第二指　切傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2013/5/5	事故	負傷	サイクリングコースの椅子に座り負傷 左踵部　異物刺入	サイクリングコース	お客様	3	女			
2013/5/5	事故	負傷	遊戯中に人とぶつかる 右眉部　打撲	ふわんぽりん	お客様	10	男			

2013/5/5	事故	負傷	ポールにひっかかり転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2013/5/5	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2013/5/5	事故	負傷	遊戯中に水泡が破れる 右足裏　皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	12	男			
2013/5/5	事故	負傷	裸足で遊んで負傷 右足第二指　切傷	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2013/5/5	事故	負傷	ドルフィン滑り台で着地時に転倒 右頬　擦過傷	スカイドルフィン	お客様	1	女			
2013/5/6	事故	負傷	自転車で転倒 両膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	女			
2013/5/6	事故	負傷	友達とぶつかり負傷 右足第一指　切傷	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2013/5/6	事故	負傷	自転車で転倒 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2013/5/6	事故	負傷	転倒し負傷 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2013/5/6	事故	負傷	遊具に挟み負傷 左手第二指　皮膚剥離	水辺のトリム	お客様	6	女			
2013/5/6	事故	負傷	つまづき負傷 右足第一指　皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2013/5/6	事故	負傷	走って転倒 左肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2013/5/6	事故	負傷	自転車で転倒 両手、頬　擦過傷、皮膚剥離	サイクリングコース	お客様	9	男			
2013/5/6	事故	負傷	素足で遊んでいて芝で切る 右足底　切傷	水辺のトリム	お客様	5	男			
2013/5/6	事故	負傷	着地時に負傷 左足関節　捻挫	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2013/5/6	事故	負傷	転倒し負傷 鼻　打撲	ワンダーワールド	お客様	1	女			
2013/5/6	事故	負傷	父親におんぶされた状態で転倒 頭　打撲	サイクリングコース	お客様	0	女			
2013/5/11	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2013/5/11	事故	負傷	裸足で遊び負傷 右足第一指　切傷	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2013/5/12	事故	負傷	走って転倒 右肘　擦過傷	子供の広場	お客様	3	男			
2013/5/12	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	こどもの砦	お客様	8	男			
2013/5/12	事故	負傷	草で滑り転倒 右肘　擦過傷	こどもの砦	お客様	6	男			

2013/5/12	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2013/5/12	事故	負傷	遊戯中に水泡がつぶれる 左足裏　皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	10	男			
2013/5/12	事故	負傷	自転車で転倒 顔面、左手　打撲、擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	男			
2013/5/12	事故	負傷	走って転倒 右肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2013/5/12	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/5/12	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2013/5/12	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2013/5/12	事故	負傷	自転車で転倒 左膝、後頭部　擦過傷、挫傷	サイクリングコース	お客様	11	男			
2013/5/12	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/5/12	事故	負傷	裸足で遊び負傷 右足第一指　切傷	ふわんぽりん	お客様	7	男			
2013/5/14	事故	負傷	車椅子利用、多目的トイレで便座へ移乗時転倒 左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	60	女			
2013/5/16	事故	負傷	母親に踏まれて負傷 右足　打撲	ふわんぽりん	お客様	2	女			
2013/5/18	事故	負傷	遊戯中に踏まれる 右手第二指　打撲	ふわんぽりん	お客様	3	女			
2013/5/18	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2013/5/18	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/5/18	事故	負傷	じゃぶじゃぶ池の中で滑って転倒 下顎部　擦過傷	じゃぶじゃぶ池	お客様	5	男			
2013/5/18	事故	負傷	歩行中につまづいて転倒 右膝　擦過傷	子供の広場	お客様	4	女			
2013/5/18	事故	負傷	自転車にぶつける 左下腿　打撲	サイクリングコース	お客様	7	女			
2013/5/18	事故	負傷	裸足で遊び負傷 右足第二指　切傷	ふわんぽりん	お客様	5	女			
2013/5/18	事故	負傷	砂をかけられる 両目　異物刺入	ふわんぽりん	お客様	5	女			
2013/5/18	事故	負傷	走って顔面から転倒 顔面　擦過傷、切傷	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2013/5/25	事故	負傷	移動中、高さのあるベビーカーより転倒 後頭部　打撲	花時計	お客様	1	男			

2013/5/25	事故	負傷	走って転倒 両膝、左肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2013/5/26	事故	負傷	遊戯中に豆が破れる 左足　皮膚剥離	子供の広場	お客様	3	男			
2013/5/26	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2013/5/27	事故	負傷	ローラー滑り台着地時に転倒 左肘　擦過傷	ローラー滑り台	お客様	4	男			
2013/5/27	事故	負傷	遊戯中に、高学年の子4，５人が滑ってきて下敷きになる　右下肢　捻挫	ふわんぽりん	お客様	4	男			
2013/5/27	事故	負傷	遊戯中に後ろから押されて転倒 両膝、左手掌　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	12	男			
2013/6/2	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2013/6/2	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2013/6/3	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 右肘、右腰部　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	8	男			
2013/6/3	事故	負傷	砂場で遊戯中に砂が入る 両目　眼痛、充血	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2013/6/6	事故	負傷	遊戯中に負傷 左手　擦過傷	スカイドルフィン	お客様	1	女			
2013/6/8	事故	負傷	転倒し負傷 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	9	男			
2013/6/8	事故	負傷	走って転倒 右肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2013/6/8	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2013/6/10	事故	負傷	走って転倒 両膝、右肘　擦過傷	子供の広場	お客様	1	女			
2013/6/15	事故	負傷	ふわんぽりんで着地時に負傷 左膝　捻挫	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2013/6/15	事故	負傷	裸足で遊び負傷 両足第一指　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2013/6/15	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	動物の森	お客様	2	女			
2013/6/15	事故	負傷	遊具に手を突く 右手第五指　突き指	水辺のトリム	お客様	32	女			
2013/6/16	事故	負傷	傘の金具で切る 右手第二指　切傷	不明	お客様	75	男			
2013/6/16	事故	負傷	遊戯中に負傷 両下腿　捻挫	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2013/6/16	事故	負傷	遊戯後に痛みを訴える 右足第五指　捻挫	ふわんぽりん	お客様	2	男			

2013/6/16	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/6/16	事故	負傷	自転車で転倒 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2013/6/16	事故	負傷	サイクルバーで遊戯中に足を踏み外し負傷 右足関節　捻挫、骨折の疑い	子供の広場	お客様	39	男			
2013/6/16	事故	負傷	裸足で遊び負傷 左足第一指　皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2013/6/16	事故	負傷	つまづき転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	1	女			
2013/6/16	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/6/16	事故	負傷	自転車で転倒 左肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2013/6/16	事故	負傷	着地時に負傷 右足関節　捻挫	ふわんぽりん	お客様	10	女			
2013/6/22	事故	負傷	遊戯中に負傷 左前腕　虫刺され	不明	お客様	8	女			
2013/6/22	事故	負傷	自転車で転倒 左肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	女			
2013/6/22	事故	負傷	裸足で自転車に乗り負傷 左足第一指　皮膚剥離	サイクリングコース	お客様	7	男			
2013/6/22	事故	負傷	遊戯中に豆がつぶれる 右足第一指　水泡	ふわんぽりん	お客様	10	女			
2013/6/23	事故	負傷	スズメバチに刺される 左側頭部、左手第二指　虫刺され	サイクリングコース	お客様	6	女			
2013/6/23	事故	負傷	スズメバチに刺された子供を助けようとして刺される 左側頭部　虫刺され	サイクリングコース	スタッフ	72	男			
2013/6/23	事故	負傷	自転車で転倒 右膝、左肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2013/6/29	事故	負傷	自転車で転倒 左膝、左手掌　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	男			
2013/6/29	事故	負傷	遊戯中に負傷 口腔内　打撲	じゃぶじゃぶ池	お客様	4	女			
2013/6/29	事故	負傷	遊具から転倒 口腔内　切傷	子供の広場	お客様	4	女			
2013/6/29	事故	負傷	草むらで蚊に刺される 左踵、左肘　虫刺され	不明	お客様	2	女			
2013/6/29	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/6/29	事故	負傷	園内の地面の凸凹につまづき転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2013/6/29	事故	負傷	遊戯中に人にぶつかる 頭　打撲	ふわんぽりん	お客様	6	男			

2013/6/29	事故	負傷	噴水で遊戯中に負傷 左足第一指　切傷	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2013/6/29	事故	負傷	自転車で転倒 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	男			
2013/6/30	事故	負傷	遊戯中に負傷 右膝　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2013/6/30	事故	負傷	自転車走行中にブレーキをかけそこない転倒 下顎部、右手関節　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	女			
2013/7/7	事故	負傷	転倒し負傷 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2013/7/7	事故	負傷	プールサイドで滑り、転倒 左肘　擦過傷	サンシャインプール	お客様	5	女			
2013/7/7	事故	負傷	つまづき転倒 右肘　擦過傷	子供の広場	お客様	1	女			
2013/7/9	事故	負傷	走って転倒 左手第三・四指　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	男			
2013/7/13	事故	負傷	走って転倒 左肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2013/7/14	事故	負傷	じゃぶじゃぶ池中央の、最上段から下段へ落ちる 前頭部　擦過傷、打撲	じゃぶじゃぶ池	お客様	2	男			
2013/7/14	事故	負傷	つまづき転倒 右肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2013/7/15	事故	負傷	自転車で転倒 右下腿　擦過傷	サイクリングコース	お客様	14	男			
2013/7/15	事故	負傷	海岸で遊び、貝殻で切る 左足　切傷	不明	お客様	6	男			
2013/7/18	事故	施設等破損	肩掛式刈払機で小石飛ばし建物施設ガラス破損 ケガなし	環境共生の森　拠点施設	スタッフ					
2013/7/20	事故	負傷	噴水で遊戯中に転倒 左膝、顔　擦過傷、打撲	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2013/7/21	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	子供の広場	お客様	3	女			
2013/7/21	事故	負傷	フリスビーの練習中に負傷 右足背　捻挫	大芝生広場	お客様	18	女			
2013/7/21	事故	負傷	自転車で転倒 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	女			
2013/7/23	事故	負傷	走っていて、落ち葉で滑り転倒 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	男			
2013/7/26	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2013/7/27	事故	負傷	障がい者で歩行不安定、つまづき転倒 後頭部　擦過傷、打撲	西サイクリングロ	お客様	20	男			
2013/7/27	事故	負傷	つまづき転倒 前頭部　擦過傷、打撲	ワンダーワールド	お客様	1	女			

2013/7/28	事故	負傷	自転車で転倒 前頭部　打撲、血腫	サイクリングコース	お客様	9	女			
2013/7/30	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足首　捻挫	ふわんぽりん	お客様	12	男			
2013/8/7	事故	負傷	走って転倒 口唇　裂傷	西口	お客様	3	女			
2013/8/9	事故	負傷	スポーツ中に負傷 右足関節　捻挫	大芝生広場	お客様	19	男			
2013/8/9	事故	負傷	バスから降りる際に負傷 右足関節　捻挫	大芝生広場	お客様	18	女			
2013/8/13	事故	負傷	自転車走行中に転倒 右足第一・二指間　裂傷	サイクリングコース	お客様	13	男			
2013/8/14	事故	負傷	裸足で移動中に負傷 両足第一指　異物刺入	サンシャインプール	お客様	10	男			
2013/8/14	事故	負傷	遊具のパイプ部に座り負傷 臀部　熱傷	ワンダーワールド	お客様	26	女			
2013/8/14	事故	負傷	自転車で転倒 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2013/8/15	事故	負傷	自転車で転倒 右踵骨部、右肘、右側腹部　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	8	男			
2013/8/19	事故	負傷	両膝　擦過傷	西口	お客様	7	男			
2013/8/22	事故	負傷	園内作業中にスズメバチに刺される 右手　虫刺され、広範囲に発赤	こどもの砦	スタッフ	57	男			
2013/8/27	事故	負傷	自転車走行中に急ブレーキをかけ転倒 左手首　打撲	サイクリングコース	お客様	5	女			
2013/8/27	事故	負傷	歩行中につまづき転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	1	女			
2013/8/27	事故	負傷	ローラー滑り台で遊戯中に負傷 両臀部　軽度熱傷	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2013/9/8	事故	負傷	自転車で転倒 両手　皮膚剥離	サイクリングコース	お客様	36	男			
2013/9/8	事故	負傷	遊戯中に負傷 右膝　打撲	ふわんぽりん	お客様	7	男			
2013/9/8	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/9/8	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/9/8	事故	負傷	遊戯中に負傷 右膝　捻挫	ふわんぽりん	お客様	6	男			
2013/9/8	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2013/9/14	事故	負傷	転倒し負傷 右肩　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	女			

2013/9/14	事故	負傷	遊戯中に負傷 左下腿　打撲	ふわんぽりん	お客様	6	男			
2013/9/15	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2013/9/15	事故	負傷	走って転倒 左肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/9/15	事故	負傷	走って転倒 顔　打撲、擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2013/9/16	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	駐車場	お客様	3	女			
2013/9/16	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　爪剥離	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2013/9/16	事故	負傷	棘と一緒に皮膚を剥く 右手第四指　皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/9/21	事故	負傷	草むらで毛虫に刺される 左足底　虫刺され	子供の広場	お客様	5	男			
2013/9/21	事故	負傷	遊戯中に負傷 右肘　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2013/9/21	事故	負傷	踏み外し負傷 左下肢、右手第一・二・三指　打撲	スカイドルフィン	お客様	8	女			
2013/9/21	事故	負傷	走って顔面から転倒 鼻出血	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2013/9/22	事故	負傷	遊戯中に転倒 後頭部　打撲	タコの滑り台	お客様	3	女			
2013/9/22	事故	負傷	遊戯中に、自宅での傷を再度負傷 右膝　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2013/9/22	事故	負傷	気付かないうちにとげが刺さる 左手第二指　刺傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	男			
2013/9/22	事故	負傷	手をついて棘が刺さる 左手掌　刺傷	タコの滑り台前の木道	お客様	3	女			
2013/9/22	事故	負傷	木道を裸足で歩いて棘が刺さる 両足裏　刺傷	タコの滑り台前の木道	お客様	5	男			
2013/9/22	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	13	女			
2013/9/22	事故	負傷	子供前後乗せ使用中、ギアチェンジの不具合により転倒　右上腕、両手　擦過傷	サイクリングコース	お客様	35	男			
2013/9/22	事故	負傷	子供前後乗せ使用中、ギアチェンジの不具合により転倒　　右膝、右頬　擦過傷	サイクリングコース	お客様	2	男			
2013/9/22	事故	負傷	子供前後乗せ使用中、ギアチェンジの不具合により転倒　　右肘、右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2013/9/22	事故	負傷	段差につまづき転倒 左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	3	女			
2013/9/22	事故	負傷	つまづいて転倒 左膝　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	1	女			

2013/9/22	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 左手掌　擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2013/9/22	事故	負傷	遊戯中に負傷 右目　異物挿入	不明	お客様	6	男			
2013/9/22	事故	負傷	歩行中につまづき転倒 左肘　擦過傷	子供の広場	お客様	8	男			
2013/9/23	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2013/9/23	事故	負傷	ローラー滑り台から転がり負傷 右膝　挫創	こどもの砦	お客様	8	男			
2013/9/23	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足関節　捻挫	ふわんぽりん	お客様	9	女			
2013/9/23	事故	負傷	自転車で転倒 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	男			
2013/9/24	事故	負傷	走って転倒 右頬　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	3	女			
2013/9/28	事故	負傷	砂場で裸足で遊び負傷 右足　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2013/9/28	事故	負傷	走って転倒 両膝、右肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2013/9/28	事故	負傷	遊戯中に踏まれる 左膝　打撲	ふわんぽりん	お客様	4	女			
2013/9/28	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2013/9/28	事故	負傷	気付かないうちに負傷 左手掌　異物刺入	不明	お客様	2	男			
2013/9/28	事故	負傷	ぶつかり転倒 右肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2013/9/29	事故	負傷	遊戯中飛び跳ねた時に舌を噛む 舌　挫創	ふわんぽりん	お客様	8	女			
2013/9/29	事故	負傷	遊戯中に引っ掛かる 左手第二指　爪剥離	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2013/10/1	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	3	女			
2013/10/1	事故	負傷	自転車走行中に手を放し転倒 右膝、右手第一・二指　擦過傷	サイクリングコース	お客様	56	女			
2013/10/6	事故	負傷	ローラー滑り台で擦れる 臀部　熱傷	こどもの砦	お客様	6	女			
2013/10/6	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	こどもの砦	お客様	4	男			
2013/10/6	事故	負傷	自転車で転倒 両膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2013/10/6	事故	負傷	走って転倒 両膝、両手　擦過傷	こどもの砦	お客様	6	女			

2013/10/6	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2013/10/6	事故	負傷	自転車転倒事故 頭部切創・出血	西ｻｲｸﾘﾝｸﾞｾﾝﾀｰ前広場	お客様	3	男			
2013/10/7	事故	負傷	段差につまづき転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2013/10/12	事故	負傷	遊戯中に手すりに触り負傷 右肘　擦過傷	タコの滑り台	お客様	2	女			
2013/10/12	事故	負傷	遊具から落ちる 右足首　捻挫、腫脹、疼痛	水辺のトリム	お客様	28	女			
2013/10/12	事故	負傷	遊戯中に友達とぶつかる 鼻出血	ふわんぽりん	お客様	7	男			
2013/10/12	事故	負傷	手をついて棘が刺さる 左前腕　刺傷	タコの滑り台前の木道	お客様	8	男			
2013/10/12	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝　擦過傷	スカイドルフィン	お客様	9	男			
2013/10/12	事故	負傷	遊戯中に負傷 左肘　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2013/10/12	事故	負傷	走って転倒 右肘　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	2	女			
2013/10/12	事故	負傷	つまづき転倒 左膝　擦過傷	ワンダーシャトル前	お客様	5	女			
2013/10/13	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 前額部、左側頭部　打撲	サイクリングコース	お客様	5	女			
2013/10/13	事故	負傷	裸足で遊戯中に負傷 左足第五指　異物刺入	子供の広場	お客様	7	女			
2013/10/13	事故	負傷	遊戯中に負傷 左手第五指　爪剥離	子供の広場	お客様	10	女			
2013/10/13	事故	負傷	フラミンゴの柵を触り負傷 左手第三指　異物刺入	動物の森	お客様	2	男			
2013/10/13	事故	負傷	足がからみ転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	1	男			
2013/10/13	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足関節　捻挫	子供の広場	お客様	7	男			
2013/10/13	事故	負傷	スピードを出しすぎバランスを崩し転倒 右側頭部、右肘　打撲、擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2013/10/13	事故	負傷	つまづいて転倒 左手掌　擦過傷	子供の広場	お客様	6	女			
2013/10/13	事故	負傷	ロバかラマに、頭を撫でようとして噛まれる 左手第三指　咬症	動物の森	お客様	58	男			
2013/10/13	事故	負傷	自転車走行中ペダルを踏み外し転倒 左下肢　打撲	サイクリングコース	お客様	9	女			
2013/10/13	事故	負傷	着地時に踏み外し負傷 右足関節　捻挫	ふわんぽりん	お客様	9	女			

2013/10/13	事故	負傷	段差につまづき負傷 右足関節　捻挫	ワンダーワールド	お客様	42	女			
2013/10/13	事故	負傷	遊戯中に人にぶつかる 右顔面　打撲	ふわんぽりん	お客様	9	女			
2013/10/13	事故	負傷	着地が上手くいかず負傷 左足第一指　爪剥離	ふわんぽりん	お客様	10	男			
2013/10/13	事故	負傷	着地時に人を避けようとして転倒 左肘関節　捻挫	ふわんぽりん	お客様	8	男			
2013/10/13	事故	負傷	滑って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2013/10/14	事故	負傷	つまづき転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2013/10/14	事故	負傷	くじら山を滑走していて転倒 右肘、右大腿　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	64	男			
2013/10/14	事故	負傷	芝生で遊戯中に棘が刺さる 左手掌　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	11	男			
2013/10/14	事故	負傷	ゴーカート乗車中、後続車に追突される 左眼尻　切傷	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2013/10/14	事故	負傷	スピードを出しすぎバランスを崩し転倒 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2013/10/14	事故	負傷	下り坂でバランスを崩し転倒 左膝　擦過傷、切傷	サイクリングコース	お客様	12	女			
2013/10/14	事故	負傷	走ってつまづく 左肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2013/10/14	事故	負傷	つまづいて転倒 左膝、右肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	8	男			
2013/10/15	事故	負傷	砂場で裸足で遊戯中に棘が刺さる 左足第一指　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	7	男			
2013/10/18	事故	負傷	つまづいて転倒 左膝　擦過傷	西口	お客様	6	女			
2013/10/18	事故	負傷	トイレで転倒 口唇　擦過傷	西口	お客様	6	男			
2013/10/18	事故	負傷	気付かないうちに負傷 右手第二指　刺傷	子供の広場	お客様	7	男			
2013/10/18	事故	負傷	遊戯中に負傷 右肘　捻挫	タコの滑り台	お客様	3	女			
2013/10/19	事故	負傷	自転車走行中にハンドルを切ろうとして転倒 下顎部　軽度裂傷	サイクリングコース	お客様	3	女			
2013/10/19	事故	負傷	移動中にスズメバチに刺される 左肘内側　刺傷	大芝生広場	お客様	72	男			
2013/10/19	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 右足底　異物刺入	タコの滑り台前の木道	お客様	6	男			
2013/10/20	事故	負傷	つながれていた犬を触ろうとして噛まれる 下口唇、下顎　咬症	サイクリングコース	お客様	10	女			

2013/10/20	事故	負傷	うんていより転落 右頬　擦過傷	子供の広場	お客様	6	男			
2013/10/20	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	中央駐車場	お客様	5	女			
2013/10/20	事故	負傷	木のベンチに触り棘が刺さる 左手第三指　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2013/10/27	事故	負傷	荷乗せに子供を乗せたまま離れ、自転車が転倒する 右眉部　切傷	ワンダーワールドロ	お客様	4	男			
2013/10/27	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手第一指　皮膚剥離	ローラー滑り台	お客様	9	男			
2013/10/27	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 左手掌　擦過傷	サイクリングコース	お客様	12	女			
2013/11/2	事故	負傷	遊戯中にロープで挟む 左手第五指　挟傷	水辺のトリム	お客様	8	男			
2013/11/2	事故	負傷	遊戯中にロープで挟む 左手甲　挟傷	水辺のトリム	お客様	5	女			
2013/11/4	事故	負傷	つまづき転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2013/11/4	事故	負傷	遊戯中に負傷 右下肢、左膝　擦過傷	ローラー滑り台	お客様	8	男			
2013/11/4	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 左手第二指　刺傷	ワンダーワールド	お客様	7	男			
2013/11/4	事故	負傷	遊戯中に木に触り負傷 右手第三指　切傷	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2013/11/4	事故	負傷	つまづき転倒 右手掌　異物刺入	子供の広場	お客様	5	男			
2013/11/5	事故	負傷	木道で滑り、手をつく 左手第二指　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	3	女			
2013/11/11	事故	負傷	遊戯中に負傷 額、右手腹　打撲、擦過傷	子供の広場	お客様	5	男			
2013/11/14	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	3	女			
2013/11/16	事故	負傷	裸足で遊戯中に棘が刺さる 左足裏　刺傷	たこのあし前木道	お客様	4	女			
2013/11/24	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 左額、眉部、右手首　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	10	女			
2013/11/24	事故	負傷	遊具より転落 左眼上鼻部　裂傷	子供の広場	お客様	5	女			
2013/11/30	事故	負傷	段差に気付かず転倒 右膝　鼻　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2013/12/8	事故	負傷	着地に失敗して負傷 左足関節　捻挫	ふわんぽりん	お客様	9	女			
2013/12/14	事故	負傷	遊戯中にロープで負傷 右手第二指、掌　摩擦傷	水辺のトリム	お客様	34	男			

2013/12/15	事故	負傷	遊具からバランスを崩して転落 頭、左前頭葉　擦過傷、打撲	子供の広場	お客様	3	女			
2013/12/15	事故	負傷	自家用車のドアに挟まれる 右手第三指　打撲、骨折疑い	駐車場	お客様	3	男			
2014/1/3	事故	負傷	凧作り工作中に負傷 右手第二指　異物刺入	子供の広場	お客様	34	女			
2014/1/13	事故	負傷	遊具の入り口で負傷 右頬　打撲	子供の広場	お客様	5	女			
2014/1/19	事故	負傷	つまづき転倒 右膝　擦過傷	子供の広場	お客様	4	男			
2014/1/26	事故	負傷	清掃作業員がカンガルーに襲われ負傷 左肩脱臼	動物の森	スタッフ	73	女			
2014/2/1	事故	負傷	ベンチから落ち負傷 額　打撲	動物の森	お客様	3	男			
2014/2/1	事故	負傷	砂場で裸足で遊戯中に棘が刺さる 右足裏　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	9	女			
2014/2/2	事故	負傷	自転車に乗ろうとして横転 左耳　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2014/2/2	事故	負傷	遊戯中に負傷 右肘　擦過傷	ローラー滑り台	お客様	4	男			
2014/2/16	事故	負傷	観覧車近くの木から落ち、全身を強打 頭　打撲、擦過傷、顔面蒼白	ワンダーワールド	お客様	36	男			
2014/2/22	事故	負傷	タイヤのアスレチックから後ろ向きに転倒 後頭部　打撲、腫脹	水辺のトリム	お客様	8	女			
2014/2/22	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 左手　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	7	男			
2014/2/22	事故	負傷	自転車で転倒 後頭部　打撲　腫脹	サイクリングコース	お客様	3	女			
2014/2/23	事故	負傷	自転車で転倒 後頭部　打撲	サイクリングコース	お客様	6	男			
2014/3/1	事故	負傷	転んで手をつき負傷 右手掌　切傷	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2014/3/6	事故	負傷	転んで手をつき、石のような異物が入り、そこから出血 右手掌　異物刺入	大芝生広場	お客様	85	女			
2014/3/8	事故	負傷	木の実を触って棘が刺さる 両手掌　異物刺入	子供の広場	お客様	4	男			
2014/3/11	事故	負傷	備品移動作業中の転倒事故 頭部裂傷	ワンダーワールド口	スタッフ	61	女			
2014/3/15	事故	負傷	食べ物を狙ってきた鳥に噛まれる 左手　切傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2014/3/15	事故	負傷	自転車で転倒 右手第五指　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	男			
2014/3/16	事故	負傷	転倒し負傷 左手掌、右膝　擦過傷	動物の森	お客様	3	女			

2014/3/16	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/3/16	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足首　捻挫	ふわんぽりん	お客様	8	女			
2014/3/16	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　擦過傷	水辺のトリム	お客様	9	女			
2014/3/16	事故	負傷	転倒し負傷 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/3/16	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手第五指　捻挫	ふわんぽりん	お客様	13	女			
2014/3/17	事故	負傷	ベンチに触り棘が刺さる 左手第一・二指間　異物刺入	水辺のトリム	お客様	10	男			
2014/3/17	事故	負傷	遊戯中バランスを崩し、指から着地し負傷 右手第一指　捻挫	ふわんぽりん	お客様	9	女			
2014/3/21	事故	負傷	エアーボールで遊戯中に負傷 右足第一指　捻挫	ワンダーワールド	お客様	44	男			
2014/3/21	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足首　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2014/3/22	事故	負傷	イカダ橋で遊戯中、対面者とぶつかりそうになり転倒 左足　打撲、切傷	水辺のトリム	お客様	8	男			
2014/3/22	事故	負傷	花壇の隅にぶつかり転倒 右膝　擦過傷	子供の広場	お客様	6	女			
2014/3/22	事故	負傷	自転車で転倒 下口唇、顎　擦過傷	サイクリングコース	お客様	2	女			
2014/3/22	事故	負傷	ふわんぽりんで人とぶつかる 鼻出血	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2014/3/22	事故	負傷	リスザルに噛まれる 右手　咬傷	動物の森	お客様	20	女			
2014/3/23	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2014/3/23	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 両膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	49	女			
2014/3/23	事故	負傷	リスザルに噛まれる 右手　咬傷	動物の森	お客様	5	男			
2014/3/23	事故	負傷	自転車で転倒 両膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	女			
2014/3/23	事故	負傷	階段で転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2014/3/23	事故	負傷	インフォメーションのトイレのドアで挟む 左手　切傷	インフォメーション	お客様	2	男			
2014/3/23	事故	負傷	転倒して負傷 額、鼻　擦過傷、腫脹	ワンダーワールド	お客様	1	男			
2014/3/23	事故	負傷	走って転倒 右肘　擦過傷	子供の広場	お客様	11	男			

2014/3/24	事故	負傷	自転車走行中、草むらに乗り上げ転倒 右手掌、左下肢　擦過傷	サイクリングコース	お客様	11	女			
2014/3/24	事故	負傷	転倒して棘が刺さる 左手掌、右上腕内側　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	4	男			
2014/3/24	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2014/3/27	事故	負傷	自転車から転んだ時に口を噛み負傷 下口唇　切傷	サイクリングコース	お客様	3	女			
2014/3/28	事故	負傷	自転車で転倒 左膝、顎　擦過傷、切傷	サイクリングコース	お客様	10	女			
2014/3/28	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手第一指　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	8	女			
2014/3/28	事故	負傷	隣にいた小さい子供に引っ掛かれる 顔　擦過傷	動物の森	お客様	2	男			
2014/3/28	事故	負傷	割れていた爪が、遊戯中に剥がれる 左足第一指　爪剥離	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2014/3/31	事故	負傷	自転車で転倒 左頬　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			

●H25事件

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2013/8/14	事件	その他	公園内での盗撮行為疑惑 ケガなし	マリンワールド駐車場付近						
2013/9/7	事件	施設等破損	第三者の人為的行為による工作物等器物損壊 ケガなし	西口・子供の広場・ワンダーワールド						

●H25病気（急性症病）

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2013/4/5	病気（急性症状）	発症	気分不良　嘔気	ワンダーシャトル前	お客様	65	男			
2013/4/10	病気（急性症状）	発症	下腹部痛　乗り物酔い	マリンワールド付近	お客様	17	女			
2013/4/23	病気（急性症状）	発症	遠足で来園、発熱する	子供の広場	お客様	17	男			
2013/4/26	病気（急性症状）	発症	気分不良		お客様	7	女			
2013/4/28	病気（急性症状）	発症	気分不良		お客様	7	女			
2013/5/4	病気（急性症状）	発症	発熱	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2013/5/4	病気（急性症状）	発症	気分不良　嘔気		お客様	4	女			

2013/5/6	病気(急性症状)	発症	車中で気分不良　嘔吐　下痢	西口	お客様	42	女			
2013/5/6	病気(急性症状)	発症	作業中に気分不良　頭痛　嘔吐	花時計	ボランティア	67	女			
2013/6/9	病気(急性症状)	発症	頭痛		お客様	27	女			
2013/7/8	病気(急性症状)	発症	観覧車乗車中に気分不良、熱中症　妊娠8か月		お客様	27	女			
2013/7/9	病気(急性症状)	発症	園内移動中に　熱中症疑い	動物の森	お客様	34	女			
2013/7/14	病気(急性症状)	発症	来園後、暑さで気分不良　頭痛		お客様	38	女			
2013/7/16	病気(急性症状)	発症	屋外で作業中　熱中症疑い	動物の森	スタッフ	21	女			
2013/7/20	病気(急性症状)	発症	気分不良　頭痛		お客様	8	男			
2013/7/21	病気(急性症状)	発症	胃部不快感		お客様	8	男			
2013/7/22	病気(急性症状)	発症	発熱		お客様	0	男			
2013/7/22	病気(急性症状)	発症	幼稚園の団体で入園　熱中症疑い　頭痛		お客様	6	女			
2013/7/30	病気(急性症状)	発症	気分不良　胃痛		お客様	9	女			
2013/8/7	病気(急性症状)	発症	飼育体験で来園、気分不良　頭痛　発熱	動物の森	お客様	11	女			
2013/8/11	病気(急性症状)	発症	入園を待っている時に　熱中症疑い	西口	お客様	9	男			
2013/8/13	病気(急性症状)	発症	プールで気分不良　日射病　嘔吐　歩行困難	サンシャインプール	お客様	19	女			
2013/8/14	病気(急性症状)	発症	遊戯中に気分不良　頭痛	動物の森	お客様	5	女			
2013/8/15	病気(急性症状)	発症	じゃぶじゃぶ池で遊んだ後から頭痛　発熱　熱中症疑い		お客様	5	男			
2013/8/20	病気(急性症状)	発症	来園途中の車中で車酔い	西口	お客様	9	男			
2013/8/20	病気(急性症状)	発症	来園途中の車中で車酔い	西口	お客様	9	女			
2013/8/20	病気(急性症状)	発症	遊戯中に嘔吐　軽度熱中症疑い	動物の森	お客様	10	女			
2013/8/22	病気(急性症状)	発症	ゲート付近で倒れる　貧血、車酔い、軽度熱中症疑い	西口	お客様	10	女			
2013/9/14	病気(急性症状)	発症	暑さで気分不良　胃部不快感		お客様	5	男			

2013/9/22	病気(急性症状)	発症	プールからの帰路時　気分不良　腹痛　下痢	西口	お客様	10	女			
2013/10/20	病気(急性症状)	発症	出演終了し一時間後、気分不良　過呼吸	子供の広場ステージ	お客様	16	女			
2013/11/4	病気(急性症状)	発症	腹痛		お客様	13	男			
2013/11/4	病気(急性症状)	発症	頭痛	ワンダーワールド	お客様	45	女			
2014/2/13	病気(急性症状)	発症	マラソン中、急な悪寒で倒れる	大芝生広場	お客様	17	男			
2014/3/22	病気(急性症状)	発症	食後に嘔吐	ワンダーワールド	お客様	9	女			

●H25既往症悪化

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2013/4/29	既往症悪化	負傷	以前の傷をかきむしる　左手擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2013/5/4	既往症悪化	負傷	昨日自宅で負傷、腫脹する　右手第五指捻挫		お客様	47	男			
2013/5/4	既往症悪化	負傷	昨日自宅で刺される　左下肢　虫刺され		お客様	7	女			
2013/5/15	既往症悪化	発症	昼食でサザエ丼を食べた後から嘔吐、来園後も気分不良		お客様	27	男			
2013/5/26	既往症悪化	発症	船酔いし来園　嘔吐	ふわんぽりん	お客様	6	男			
2013/7/29	既往症悪化	負傷	自宅で調理中に熱湯をこぼす　右大腿部　熱傷		お客様	23	女			
2013/8/28	既往症悪化	負傷	右手第五指　前日にバラの棘が刺さる　腫脹　疼痛		お客様	62	女			
2013/9/8	既往症悪化	負傷	前日、海で亀に噛まれる　左手第四指　皮膚剥離		お客様	6	男			
2013/10/2	既往症悪化	負傷	肘内障の既往あり　遊戯中人とぶつかり挙上不可　疼	ふわんぽりん	お客様	3	男			

●H25車両事故

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2013/4/14	車両事故	その他	駐車場ブース扉による車両(ﾄﾞｱﾐﾗｰ)の損傷 ケガなし	中央駐車場						
2013/12/1	車両事故	施設等破損	車両事故による駐車場フェンス等の破損 ケガなし	ワンダーワールド口駐車場業務用出入口						

●H25その他

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別

2013/4/14	その他	負傷	両足　靴擦れ		お客様	34	女			
2013/6/30	その他	負傷	両足　靴擦れ		お客様	9	女			
2013/8/3	その他	負傷	両足第一指　靴擦れ　長距離歩いていたら		お客様	8	男			

●Ｈ26事故

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2014/4/1	事故	負傷	気付かないうちに棘が刺さる 右手第二指　刺傷	不明	お客様	9	女			
2014/4/1	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足首　擦過傷	水辺のトリム	お客様	12	男			
2014/4/2	事故	負傷	転倒して負傷 右肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	9	男			
2014/4/2	事故	負傷	自転車で転倒 両膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2014/4/2	事故	負傷	遊戯中に負傷 左手第二・三・四指　突き指	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2014/4/2	事故	負傷	棘が刺さる 左手第三指　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	63	女			
2014/4/2	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足首　捻挫	ふわんぽりん	お客様	9	男			
2014/4/3	事故	負傷	転倒して負傷 額　打撲、腫脹	西口駐車場	お客様	6	男			
2014/4/3	事故	負傷	自転車で転倒 右肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2014/4/5	事故	負傷	トリムコースで遊戯中に手が滑り転落 右肘　骨折疑い	子供の広場	お客様	8	男			
2014/4/6	事故	負傷	コンクリートの壁にぶつかる 口唇　切傷	動物の森	お客様	5	男			
2014/4/6	事故	負傷	転倒し負傷 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2014/4/6	事故	負傷	人とぶつかり、その人が手に持っていた木の棒に当たる 左耳　切傷	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2014/4/6	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 左手掌　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2014/4/6	事故	負傷	歩行中にわき見をして木の枝に当たる 右目尻　擦過傷	子供の広場	お客様	9	男			
2014/4/6	事故	負傷	歩行中に転倒 鼻孔部　擦過傷	子供の広場	お客様	1	女			
2014/4/7	事故	負傷	ベンチに触り棘が刺さる 左手掌　異物刺入	スカイドルフィン	お客様	1	男			
2014/4/7	事故	負傷	ベンチに触り棘が刺さる 右手第五指　異物刺入	スカイドルフィン	お客様	34	女			
2014/4/8	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　爪剥離	ふわんぽりん	お客様	2	女			
2014/4/8	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手第四指　切傷	子供の広場	お客様	4	女			

2014/4/10	事故	負傷	自転車で転倒 顔、額、両膝、手　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	女			
2014/4/11	事故	負傷	遊具で頭をぶつける 額　打撲	スカイドルフィン	お客様	8	男			
2014/4/11	事故	負傷	自転車で転倒 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2014/4/15	事故	負傷	ドッジボールをしていて負傷 左手第三・四指　捻挫	大芝生広場	お客様	16	男			
2014/4/16	事故	負傷	遊戯中に負傷 鼻出血	大芝生広場	お客様	17	女			
2014/4/18	事故	負傷	段差につまづき転倒 右膝　擦過傷	子供の広場	お客様	5	女			
2014/4/19	事故	負傷	自転車で転倒 左手第一指　擦過傷	サイクリングコース	お客様	11	男			
2014/4/19	事故	負傷	遊具でぶつける 額　打撲	子供の広場	お客様	2	男			
2014/4/19	事故	負傷	走って転倒 右肘　擦過傷	子供の広場	お客様	5	男			
2014/4/19	事故	負傷	遊戯中に負傷 後頭部　打撲	たこのあし滑り台	お客様	1	男			
2014/4/20	事故	負傷	自転車で転倒 左足第一指　爪剥離	サイクリングコース	お客様	10	女			
2014/4/23	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷、切傷	子供の広場	お客様	12	男			
2014/4/24	事故	負傷	歩いて転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2014/4/25	事故	負傷	歩いて転倒 両膝　擦過傷	子供の広場	お客様	5	男			
2014/4/26	事故	負傷	自転車で転倒 右肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	女			
2014/4/26	事故	負傷	棘が刺さる 右踵　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	33	男			
2014/4/26	事故	負傷	つまづき転倒 右膝　擦過傷	水辺のトリム	お客様	6	女			
2014/4/26	事故	負傷	木に触れて負傷 左手掌　異物刺入	子供の広場	お客様	5	女			
2014/4/26	事故	負傷	つまづき転倒 左肘　擦過傷	子供の広場	お客様	3	男			
2014/4/26	事故	負傷	エアーボールにぶつかり飛ばされて負傷 後頭部　打撲、腫脹	ワンダーワールド	お客様	1	女			
2014/4/26	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	7	男			

2014/4/26	事故	負傷	歩行中つまづき転倒 鼻孔部　擦過傷	子供の広場	お客様	1	女			
2014/4/26	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　擦過傷	たこのあし	お客様	3	女			
2014/4/26	事故	負傷	歩いて転倒 左肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2014/4/26	事故	負傷	歩いて転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2014/4/26	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　爪剥離	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2014/4/26	事故	負傷	つまづき負傷 額　裂傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2014/4/27	事故	負傷	歩行中に棘が刺さる 左足裏　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2014/4/27	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/4/27	事故	負傷	子供を抱きながら滑走し、着地時に負傷 左足首　捻挫	たこのあし	お客様	31	女			
2014/4/27	事故	負傷	濡れた路面で滑る 両膝　擦過傷	じゃぶじゃぶ池	お客様	14	男			
2014/4/27	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	花の丘	お客様	4	男			
2014/4/27	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2014/4/27	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　皮膚剥離	たこのあし	お客様	3	女			
2014/4/27	事故	負傷	遊戯中に負傷 左手掌　異物刺入	水辺のトリム	お客様	9	男			
2014/4/27	事故	負傷	自転車で転倒 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	男			
2014/4/27	事故	負傷	転倒して負傷 左膝　擦過傷	動物の森	お客様	5	男			
2014/4/27	事故	負傷	転倒して負傷 額　打撲	ワンダーワールド	お客様	1	男			
2014/4/27	事故	負傷	自転車のかごに乗っていて落ちる 顎、口唇　擦過傷	サイクリングコース	お客様	2	女			
2014/4/28	事故	負傷	滑り台着地時に臀部から落ち負傷 臀部　打撲	子供の広場	お客様	13	女			
2014/4/29	事故	負傷	自転車で転倒 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2014/4/29	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　爪剥離	ふわんぽりん	お客様	4	女			

2014/5/1	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝　打撲	ふわんぽりん	お客様	4	女			
2014/5/2	事故	負傷	遊戯中に兄とぶつかる 左耳裏　切傷	ふわんぽりん	お客様	5	女			
2014/5/2	事故	負傷	遊戯中にぶつかり転倒し、手をつき負傷 左手首　骨折疑い	ふわんぽりん	お客様	5	女			
2014/5/2	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 後頭部、左手首、肘、脹脛　打撲、擦過傷	サイクリングコース	お客様	12	男			
2014/5/3	事故	負傷	ドッジボールをしていて負傷 左手第二指　捻挫	大芝生広場	お客様	42	女			
2014/5/3	事故	負傷	ウッドデッキで転倒 左手第四・五指　異物刺入	シオヤ	お客様	6	女			
2014/5/3	事故	負傷	看板に触れて負傷 左手第三指　異物刺入	西サイクリングロ	お客様	8	男			
2014/5/3	事故	負傷	滑り台着地時に体を打つ 負傷部位特定できず　打撲	たこのあし	お客様	2	女			
2014/5/3	事故	負傷	発赤、掻痒感を訴える 左大腿内側　虫刺され	子供の広場	お客様	4	女			
2014/5/3	事故	負傷	自転車走行中スピードを出しすぎ転倒、ヘルメット未着用　　右頭頂部、左胸部　擦過傷、打撲	光と風	お客様	7	男			
2014/5/3	事故	負傷	歩いて転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	9	女			
2014/5/3	事故	負傷	遊戯中に負傷 両肘　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2014/5/3	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　爪剥離	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2014/5/3	事故	負傷	転倒し負傷 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/5/3	事故	負傷	遊戯中に負傷 顎　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2014/5/3	事故	負傷	自転車走行中、自分と他者の自転車間に手を挟む 左手背、左指　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	8	女			
2014/5/3	事故	負傷	遊戯中に豆がつぶれる 両足裏	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2014/5/3	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　捻挫	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2014/5/3	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足首　捻挫	ふわんぽりん	お客様	7	男			
2014/5/3	事故	負傷	歩行中に負傷 左足裏　皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2014/5/3	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			

2014/5/3	事故	負傷	自転車で転倒 右足第一指　皮膚剥離	サイクリングコース	お客様	6	男			
2014/5/3	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2014/5/3	事故	負傷	遊戯中に負傷 左手掌　擦過傷	たこのあし	お客様	4	女			
2014/5/3	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2014/5/3	事故	負傷	木の丸太を渡る所で、丸太の間に落ち負傷 鼻出血、口唇　打撲	動物の森	お客様	2	男			
2014/5/3	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	11	男			
2014/5/3	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手甲　擦過傷	たこのあし	お客様	4	女			
2014/5/4	事故	負傷	走って転倒 鼻　擦過傷	子供の広場	お客様	2	女			
2014/5/4	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	5	男			
2014/5/4	事故	負傷	自転車走行中に娘と接触し転倒 右膝　打撲、骨折疑い	サイクリングコース	お客様	49	女			
2014/5/4	事故	負傷	自転車走行中にスピードを出しすぎ転倒 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	11	女			
2014/5/4	事故	負傷	遊戯中に転倒 右手甲　擦過傷	水辺のトリム	お客様	36	女			
2014/5/4	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	女			
2014/5/4	事故	負傷	歩いて転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	1	不明			
2014/5/4	事故	負傷	落ちていたつまようじが刺さる 右足裏　切傷	ワンダーワールド	お客様	10	男			
2014/5/4	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右頬　打撲	サイクリングコース	お客様	5	女			
2014/5/4	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2014/5/4	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 左手第二指　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	9	男			
2014/5/4	事故	負傷	転倒し負傷 左手掌、左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2014/5/4	事故	負傷	まめができて痛む 左足第一指	ワンダーワールド	お客様	9	女			
2014/5/4	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足首　捻挫	ふわんぽりん	お客様	8	女			

2014/5/4	事故	負傷	走って転倒 顔、右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2014/5/4	事故	負傷	遊戯中にとげが刺さる 左手第二指　異物刺入	たこのあし	お客様	4	男			
2014/5/4	事故	負傷	走って転倒 右肘、顔　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	8	男			
2014/5/4	事故	負傷	歩いて転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2014/5/4	事故	負傷	歩いて転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2014/5/4	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足首　捻挫	ふわんぽりん	お客様	11	女			
2014/5/4	事故	負傷	走って転倒 両膝、右肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	10	女			
2014/5/4	事故	負傷	遊戯中に走って木にぶつかる 額部　裂傷	大芝生広場	お客様	7	男			
2014/5/4	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	水辺のトリム	お客様	11	女			
2014/5/4	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 左足裏　刺傷	子供の広場	お客様	10	女			
2014/5/4	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	子供の広場	お客様	4	女			
2014/5/4	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 左手甲　刺傷	子供の広場	お客様	4	女			
2014/5/4	事故	負傷	遊戯中に人とぶつかる 左手第四指　切傷	子供の広場	お客様	8	女			
2014/5/4	事故	負傷	椅子を触り棘が刺さる 左手掌、左膝　刺傷	子供の広場	お客様	1	男			
2014/5/5	事故	負傷	ベビーカーから落ちる 額　打撲、擦過傷	ワンダーワールド	お客様	0	男			
2014/5/5	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右膝、右足甲　擦過傷	サイクリングコース	お客様	3	男			
2014/5/5	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2014/5/5	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	12	女			
2014/5/5	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	8	男			
2014/5/5	事故	負傷	自転車で転倒 後頭部　打撲	サイクリングコース	お客様	2	女			
2014/5/5	事故	負傷	遊戯中に転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	7	女			

2014/5/5	事故	負傷	つまづき転倒 額部　打撲	子供の広場	お客様	1	男			
2014/5/5	事故	負傷	ベンチに触り棘が刺さる 左手第五指　刺傷	子供の広場	お客様	2	男			
2014/5/5	事故	負傷	じゃぶじゃぶ池で足を滑らせ転倒し、遊具の角で負傷 左眼上　打撲、切傷	じゃぶじゃぶ池	お客様	4	男			
2014/5/5	事故	負傷	パターゴルフ使用中に、子供のパターが当たる 額部　裂傷	大芝生広場	お客様	32	女			
2014/5/5	事故	負傷	父親の自転車の後ろに乗っていて、後輪に足を挟む 左足首　挟傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2014/5/6	事故	負傷	管理棟内キッズコーナーの椅子から転落 額　打撲	子供の広場	お客様	2	女			
2014/5/6	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	10	男			
2014/5/6	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	9	女			
2014/5/6	事故	負傷	遊戯中に負傷 左脛　打撲	子供の広場	お客様	67	男			
2014/5/6	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	3	女			
2014/5/6	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　爪剥離	ふわんぽりん	お客様	4	女			
2014/5/6	事故	負傷	気付かないうちに負傷 左手第二指　異物刺入	子供の広場	お客様	14	女			
2014/5/6	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右肩　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	女			
2014/5/6	事故	負傷	遊戯中に負傷 両膝、右足第一指　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2014/5/6	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第五指　爪剥離	ワンダーワールド	お客様	1	男			
2014/5/6	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手第二指　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	9	女			
2014/5/6	事故	負傷	自転車から転落 額　打撲	サイクリングコース	お客様	3	女			
2014/5/6	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左足、左手第二指　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	7	女			
2014/5/7	事故	負傷	吊り橋で遊戯中に負傷 左手掌　異物刺入	子供の広場	お客様	4	男			
2014/5/8	事故	負傷	つまづき転倒 右膝　擦過傷	子供の広場	お客様	4	男			
2014/5/9	事故	負傷	歩いて転倒 左膝　擦過傷	西口	お客様	4	女			

2014/5/9	事故	負傷	転倒し負傷 左肘、左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	12	男			
2014/5/10	事故	負傷	遊戯中に負傷 左手掌　異物刺入	子供の広場	お客様	6	男			
2014/5/10	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 左手　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	4	男			
2014/5/10	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	男			
2014/5/10	事故	負傷	気付かないうちに棘が刺さる 右手第二指　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2014/5/10	事故	負傷	自転車走行中に負傷 両膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	女			
2014/5/10	事故	負傷	走ってくる子供を避けようとして転倒 右手掌、右膝　擦過傷	子供の広場	お客様	42	男			
2014/5/10	事故	負傷	気付かないうちに棘が刺さる 左手第三指　異物刺入	子供の広場	お客様	42	女			
2014/5/11	事故	負傷	ザイルクライムのゴム部を手で強く擦る 左手第二指　軽度熱傷	子供の広場	お客様	4	女			
2014/5/17	事故	負傷	駐輪所でつまづき転倒 左手掌　切創	サイクリングコース	お客様	6	男			
2014/5/17	事故	負傷	気が付いたら刺さっていた 左手掌　異物刺入	シオヤ	お客様	6	男			
2014/5/17	事故	負傷	裸足で遊戯中に負傷 左足第一指、左足甲　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/5/17	事故	負傷	歩いて転倒 左膝、左手掌　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2014/5/17	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/5/17	事故	負傷	歩いて転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	1	女			
2014/5/17	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝　捻挫	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2014/5/17	事故	負傷	遊戯中に負傷 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/5/18	事故	負傷	歩いて転倒 額　打撲	ワンダーワールド	お客様	1	男			
2014/5/18	事故	負傷	気付かないうちに棘が刺さる 左足裏　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2014/5/18	事故	負傷	つまづき転倒 右膝　擦過傷	子供の広場	お客様	2	男			
2014/5/18	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			

2014/5/18	事故	負傷	走って転倒 右足第一指、左足第一指　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/5/18	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2014/5/18	事故	負傷	歩いて転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2014/5/18	事故	負傷	歩行中に負傷 左足第二指　爪剥離	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2014/5/18	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2014/5/18	事故	負傷	滑り棒で遊戯中に 右手第四指　皮膚剥離	子供の広場	お客様	7	男			
2014/5/18	事故	負傷	バレーボール遊戯中、芝に手をつき棘が刺さる 右手掌　異物刺入	子供の広場	お客様	14	男			
2014/5/18	事故	負傷	走って滑る 右肘　擦過傷	じゃぶじゃぶ池	お客様	6	男			
2014/5/24	事故	負傷	遊戯中に人とぶつかる 右手第一指　捻挫	ふわんぽりん	お客様	10	男			
2014/5/24	事故	負傷	つまづき転倒 左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	2	男			
2014/5/24	事故	負傷	歩行中に棘が刺さる 左足裏　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/5/24	事故	負傷	気付かないうちに負傷 左足第一指　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/5/24	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝、左手掌　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/5/24	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　爪剥離、皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/5/24	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 右手第四指　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	35	男			
2014/5/24	事故	負傷	歩いて転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/5/25	事故	負傷	歩いて転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/5/25	事故	負傷	歩いて転倒 両膝、口唇　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/5/25	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左膝、左手掌　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	女			
2014/5/25	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2014/5/25	事故	負傷	西口駐車場トイレ付近で走って転倒 額　裂傷	西口	お客様	3	男			

2014/5/27	事故	負傷	自転車走行中に坂道で転倒 左手掌　裂傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2014/5/31	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 左足裏　異物刺入	じゃぶじゃぶ池	お客様	3	男			
2014/5/31	事故	負傷	走って転倒 右肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2014/5/31	事故	負傷	走って転倒 両膝、右手掌　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/5/31	事故	負傷	滑り台の着地時に負傷 左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	4	男			
2014/6/1	事故	負傷	管理棟内で滑って負傷 左眼瞼周囲　打撲	子供の広場	お客様	1	女			
2014/6/1	事故	負傷	歩いて転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/6/1	事故	負傷	うんていのような遊具で遊戯中に、まめがつぶれる 左手掌	水辺のトリム	お客様	8	女			
2014/6/1	事故	負傷	うんていより落ちる 下顎部、右膝　擦過傷	子供の広場	お客様	6	男			
2014/6/1	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足首　捻挫	ふわんぽりん	お客様	9	女			
2014/6/2	事故	負傷	水飲み場の排水溝の柵に挟む 右足第五指　爪剥離	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2014/6/5	事故	負傷	レンタサイクル運転中の転倒事故 胸部打撲	スカイドルフィン付近園路	お客様	40	男			
2014/6/7	事故	負傷	歩いて転倒 右肘、右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2014/6/8	事故	負傷	歩いて転倒 左肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/6/8	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	男			
2014/6/8	事故	負傷	走って転倒 両膝、左手掌　擦過傷	子供の広場	お客様	4	男			
2014/6/8	事故	負傷	遊戯中に自分の爪が当たった 左足第一指　切傷	ふわんぽりん	お客様	7	女			
2014/6/8	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左膝、右肘、右手掌　擦過傷	サイクリングコース	お客様	11	男			
2014/6/8	事故	負傷	サイクリングコース途中にある手すりで、棘が刺さる 右手第三指　異物刺入	サイクリングコース	お客様	6	男			
2014/6/8	事故	負傷	遊戯中に人とぶつかる 左足第一指　皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2014/6/8	事故	負傷	自転車同士でぶつかり負傷 両脛部　捻挫、腫脹	サイクリングコース	お客様	7	女			

2014/6/8	事故	負傷	遊戯中に負傷 右膝　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	6	男			
2014/6/8	事故	負傷	歩いて転倒 右肘、右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2014/6/13	事故	負傷	作業中にムカデに噛まれる 左足首　虫刺され	海中口	園内作業員	21	男			
2014/6/14	事故	負傷	芝生を裸足で歩いて負傷 右足底　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2014/6/14	事故	負傷	遊戯中に負傷 両膝　擦過傷	たこのあし	お客様	4	女			
2014/6/14	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　切傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/6/14	事故	負傷	棘が刺さる 右手第二指　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	41	男			
2014/6/15	事故	負傷	靴の中に蜂が入り、刺される 右足第一指　虫刺され	子供の広場	お客様	4	男			
2014/6/15	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左肘、左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2014/6/15	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2014/6/15	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	6	男			
2014/6/15	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	3	女			
2014/6/15	事故	負傷	遊戯中に負傷 左肘　擦過傷	子供の広場	お客様	8	女			
2014/6/15	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	子供の広場	お客様	4	女			
2014/6/15	事故	負傷	遊戯中に負傷 右肘　擦過傷	子供の広場	お客様	6	男			
2014/6/15	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　捻挫	ふわんぽりん	お客様	11	女			
2014/6/15	事故	負傷	ふわんぽりん横の芝生の、ぶら下がり器具から転落 鼻、口唇、頬　擦過傷、打撲	ワンダーワールド	お客様	7	男			
2014/6/15	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 両足裏　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	9	女			
2014/6/15	事故	負傷	遊戯中に負傷 右肘　擦過傷	たこのあし	お客様	7	女			
2014/6/15	事故	負傷	移動中に転倒 両膝　擦過傷	動物の森	お客様	3	男			
2014/6/15	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手第一指　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	8	男			

2014/6/16	事故	負傷	裸足で遊戯中に棘が刺さる 右足裏　刺傷	じゃぶじゃぶ池	お客様	2	男			
2014/6/23	事故	負傷	着地時に負傷 右手第三指　突き指	ふわんぽりん	お客様	11	女			
2014/6/26	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/6/28	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2014/6/28	事故	負傷	着地時に転倒 左足第一指　皮膚剥離、切傷	ふわんぽりん	お客様	11	男			
2014/6/28	事故	負傷	自転車で転倒 左膝、左腰　擦過傷	サイクリングコース	お客様	11	女			
2014/6/28	事故	負傷	走って転倒 左肘、左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2014/6/28	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2014/6/28	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 左足裏　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	4	男			
2014/6/28	事故	負傷	遊戯中に豆がつぶれる 両足第一指	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2014/6/28	事故	負傷	自転車で転倒 右脛　打撲	サイクリングコース	お客様	9	女			
2014/6/29	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2014/6/29	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左手第一指　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2014/6/29	事故	負傷	自転車で転倒 頭　打撲	サイクリングコース	お客様	6	女			
2014/6/29	事故	負傷	裸足で歩行中に負傷 右足底　異物刺入	水辺のトリム	お客様	7	女			
2014/6/29	事故	負傷	転倒したところを友達の自転車にひかれる 上口唇、右上肢　切傷、擦過傷	サイクリングコース	お客様	3	女			
2014/7/5	事故	負傷	遊戯中に踏まれ、二時間後に腫脹と痛みが出現 右手第一指　捻挫、腫脹	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2014/7/5	事故	負傷	遊具で棘が刺さる 右手第三指　刺傷	子供の広場	お客様	4	男			
2014/7/5	事故	負傷	噴水で水遊びをしていて転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	1	男			
2014/7/5	事故	負傷	階段で転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/7/5	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第四指　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	6	男			

2014/7/5	事故	負傷	歩行中に負傷 左足第一指　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	7	男			
2014/7/8	事故	負傷	芝につまづき転倒 右肘、右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/7/12	事故	負傷	遊戯中に転倒 腰　打撲	子供の広場	お客様	22	女			
2014/7/12	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	4	男			
2014/7/12	事故	負傷	走って転倒 左脛　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/7/12	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/7/19	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　爪剥離	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2014/7/19	事故	負傷	遊戯中に転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/7/19	事故	負傷	噴水で裸足で遊戯中に負傷 左足第一指　爪剥離、皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/7/19	事故	負傷	蚊に刺されて掻きむしり、赤く腫れる 両足数か所　虫刺され	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/7/20	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足甲　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2014/7/20	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足裏　皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	33	男			
2014/7/20	事故	負傷	走って転倒 左肘、両膝　擦過傷	子供の広場	お客様	4	男			
2014/7/20	事故	負傷	遊戯中に負傷 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/7/21	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/7/21	事故	負傷	鬼ごっこをしていて転倒 左肘、左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	13	男			
2014/7/21	事故	負傷	遊戯中にまめがつぶれる 両足第一指	ふわんぽりん	お客様	13	男			
2014/7/23	事故	負傷	自転車走行中にペダルが当たる 左脛　打撲	サイクリングコース	お客様	14	男			
2014/7/27	事故	負傷	噴水で遊戯中に転倒 左手第二・三指　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2014/7/27	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右手第三指　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	男			
2014/7/28	事故	負傷	遊戯中に転倒 右膝　擦過傷	子供の広場	お客様	6	女			

2014/7/31	事故	負傷	自転車走行中に負傷 両膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	13	男			
2014/8/6	事故	負傷	一日飼育員で包丁を使っている時に負傷 左手第四指　切傷	動物の森	お客様	11	男			
2014/8/6	事故	負傷	自転車走行中、気付かないうちに 右上腕　虫刺され	サイクリングコース	お客様	7	男			
2014/8/9	事故	負傷	遊戯中に負傷 左脛　打撲	水辺のトリム	お客様	7	女			
2014/8/9	事故	負傷	遊戯中に負傷 両膝　擦過傷	たこのあし	お客様	4	女			
2014/8/9	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左足第一指、右足第三指　擦過傷	サイクリングコース	お客様	3	女			
2014/8/12	事故	負傷	子供が上にいたカブトムシを触ろうとした時に、置いて あった木箱が母親の足に落下　　左足背　骨折疑い	動物の森（カブト虫ハウス）	お客様	46	女			
2014/8/12	事故	負傷	滑り台横の土手で滑り落ちる 右膝、右上肢　擦過傷	たこのあし	お客様	5	男			
2014/8/12	事故	負傷	木台座付きカウンター落下 左足甲の打撲	クワガタ・カブトムシハウス	お客様		女			
2014/8/13	事故	負傷	遊戯中に負傷 両足甲　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	11	女			
2014/8/13	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	女			
2014/8/13	事故	負傷	遊戯中、指が内側に強く折れ曲がる 左足第一指　擦過傷、捻挫	ふわんぽりん	お客様	10	女			
2014/8/13	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/8/14	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手第一指　切傷	水辺のトリム	お客様	7	男			
2014/8/16	事故	負傷	自転車走行中に負傷 両膝、右手掌、右肩　擦過傷	サイクリングコース	お客様	19	男			
2014/8/17	事故	負傷	気付かないうちに負傷 右足甲　打撲	サンシャインプール	お客様	7	女			
2014/8/17	事故	負傷	自転車の前かごに乗せていて、目を離したすきに転倒 鼻　打撲	西サイクリング口	お客様	1	男			
2014/8/17	事故	負傷	テーブルの脚に引っ掛かり転倒 左肘、左下肢　擦過傷	子供の広場	お客様	64	女			
2014/8/17	事故	負傷	ザイルクライムのロープに付いていた毛虫に刺される 左口角　虫刺され	子供の広場	お客様	10	女			
2014/8/17	事故	負傷	駐輪場で、隣の自転車に当たって負傷 右肩　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2014/8/23	事故	負傷	遊戯中に負傷 下顎部　裂傷	じゃぶじゃぶ池	お客様	4	男			

2014/8/23	事故	負傷	遊戯中に負傷 右肘　擦過傷	たこのあし	お客様	2	男			
2014/8/23	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/8/24	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右脹脛　擦過傷	サイクリングコース	お客様	40	男			
2014/8/24	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/8/25	事故	負傷	バーベキュー会場で、蜂に刺される 左手掌　虫刺され	光と風	お客様	33	女			
2014/8/27	事故	負傷	左手掌　虫刺され	子供の広場	お客様	24	女			
2014/8/28	事故	負傷	階段から転げ落ちる 両膝　擦過傷	動物の森	お客様	7	男			
2014/8/28	事故	負傷	後ろ向きに転倒 背中　擦過傷	じゃぶじゃぶ池	お客様	6	男			
2014/8/29	事故	負傷	気付かないうちに負傷 左手首　虫刺され	子供の広場	お客様	8	女			
2014/8/30	事故	負傷	遊戯中に負傷 鼻出血	ふわんぽりん	お客様	6	男			
2014/8/30	事故	負傷	友達の腕が勢いよく当たる 鼻出血	ふわんぽりん	お客様	7	男			
2014/8/30	事故	負傷	自転車同士で接触する 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	女			
2014/8/30	事故	負傷	自転車同士で接触する 右肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	女			
2014/8/30	事故	負傷	歩いて転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	1	女			
2014/8/30	事故	負傷	自転車の前かごに乗せていて、目を離した隙に転倒 下顎部、口腔内　擦過傷、打撲、裂傷	西サイクリングロ	お客様	1	男			
2014/8/30	事故	負傷	走って転倒 右肘、右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/8/30	事故	負傷	遊戯中に負傷 下顎　裂傷	じゃぶじゃぶ池	お客様	6	女			
2014/8/30	事故	負傷	遊具で負傷 右手第二指　異物刺入	子供の広場	お客様	5	男			
2014/8/30	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2014/8/30	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2014/8/30	事故	負傷	噴水で遊戯中に負傷 両足第一指　爪剥離	ワンダーワールド	お客様	2	女			

2014/8/31	事故	負傷	人とぶつかり負傷 右肘、頭　擦過傷、打撲	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2014/8/31	事故	負傷	噴水で遊戯中に負傷 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/8/31	事故	負傷	アスレチックから転落 下顎　裂傷	水辺のトリム	お客様	4	女			
2014/8/31	事故	負傷	工作中に軽いやけどをする 左手第一指　水泡	森の家	お客様	11	男			
2014/8/31	事故	負傷	走って転倒 鼻下　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/8/31	事故	負傷	他の自転車と接触して転倒 左肘、後頭部　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	5	男			
2014/8/31	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 左足裏　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2014/8/31	事故	負傷	遊戯中に負傷 左手首　捻挫	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2014/8/31	事故	負傷	ラグビーイベント出場中の衝突事故 右手首付近骨折	大芝生広場	お客様	14	男			
2014/9/2	事故	負傷	二台で自転車走行中にぶつかり、自転車が転倒 右耳裏　打撲	サイクリングコース	お客様	1	男			
2014/9/2	事故	負傷	二台で自転車走行中にぶつかり転倒 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	28	女			
2014/9/2	事故	負傷	二台で自転車走行中にぶつかり転倒 右手第五指　擦過傷	サイクリングコース	お客様	30	男			
2014/9/5	事故	負傷	毛虫のような小さい虫に刺される 首　虫刺され	動物の森	お客様	6	男			
2014/9/6	事故	負傷	走って転倒 両膝、両手掌　擦過傷	動物の森	お客様	2	女			
2014/9/6	事故	負傷	階段の踏み外し事故 転倒と後頭部打撲（裂傷）	水辺のレストハウス	お客様	52	男			
2014/9/7	事故	負傷	気付かないうちに負傷 左足第一指　出血	サイクリングコース	お客様	5	女			
2014/9/7	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2014/9/7	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	動物の森	お客様	1	男			
2014/9/7	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2014/9/7	事故	負傷	遊戯中にまめが痛む 右足裏　水泡	ワンダーワールド	お客様	10	女			
2014/9/7	事故	負傷	小さい子供に噛まれる 右腕　切傷	ワンダーワールド	お客様	7	男			

2014/9/7	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2014/9/7	事故	負傷	両手がふさがっている時につまづき転倒 左肘、右膝　打撲、擦過傷	ワンダーワールド	お客様	66	男			
2014/9/8	事故	負傷	裸足で遊戯中に負傷 左足第一指　切傷	子供の広場	お客様	3	男			
2014/9/10	事故	負傷	遊具で遊戯中に負傷 歯茎、上口唇　切傷	子供の広場	お客様	4	女			
2014/9/13	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足甲　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	3	女			
2014/9/13	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	6	男			
2014/9/13	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2014/9/13	事故	負傷	遊戯中にとげが刺さる 左足甲　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	0	女			
2014/9/13	事故	負傷	木を触って棘が刺さる 左手第三指　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2014/9/13	事故	負傷	隣に停めてあった自転車との間で指を挟む 左手第五指　挫創	サイクリングコース	お客様	1	女			
2014/9/14	事故	負傷	裸足で遊戯中に棘が刺さる 両足裏、両足甲　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	0	女			
2014/9/14	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 右膝　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2014/9/14	事故	負傷	歩いて転倒 右肘、右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2014/9/14	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	男			
2014/9/14	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 右手掌　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	7	女			
2014/9/14	事故	負傷	滑り台で遊戯中に負傷 臀部　擦過傷	たこのあし	お客様	8	女			
2014/9/14	事故	負傷	遊戯中に負傷 左手第四指　突き指	ふわんぽりん	お客様	9	女			
2014/9/14	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2014/9/14	事故	負傷	滑り台で遊戯中に負傷 右肘　擦過傷	たこのあし	お客様	6	女			
2014/9/14	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手第四指　皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	15	女			
2014/9/14	事故	負傷	ベビーカーから落ちる 額　打撲、擦過傷	ワンダーワールド	お客様	1	男			

2014/9/14	事故	負傷	気付かないうちに 左手首　虫刺され	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2014/9/14	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右腕　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2014/9/14	事故	負傷	走って段差につまづき転倒 左下肢　擦過傷	動物の森	お客様	7	男			
2014/9/14	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 右足裏　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2014/9/14	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	森の家	お客様	8	女			
2014/9/14	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 左手第一指　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	9	女			
2014/9/14	事故	負傷	トンネルで遊戯中に負傷 左足第一指　皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2014/9/15	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2014/9/15	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第二・三指　爪剥離、切傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/9/15	事故	負傷	遊戯中に負傷 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2014/9/15	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　擦過傷	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2014/9/15	事故	負傷	自転車から転落 額　打撲	サイクリングコース	お客様	1	男			
2014/9/15	事故	負傷	工作中にカッターで切る 左手第二指　切傷	森の家	お客様	5	女			
2014/9/15	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	6	女			
2014/9/15	事故	負傷	滑り台で遊戯中に負傷 右肘　摩擦傷	たこのあし	お客様	4	男			
2014/9/15	事故	負傷	遊戯中にまめができる 両足裏　水泡	ワンダーワールド	お客様	12	女			
2014/9/15	事故	負傷	インフォメーションの入口ドアを開けた時に挟む 右足第一指　皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2014/9/15	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/9/15	事故	負傷	歩いて転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/9/15	事故	負傷	自転車走行中に負傷 右肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2014/9/15	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	9	女			

2014/9/20	事故	負傷	遊戯中に転倒 右肘　擦過傷	子供の広場	お客様	5	女			
2014/9/20	事故	負傷	遊戯中にとげが刺さる 右足裏　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	5	女			
2014/9/21	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 右膝、両手掌、顔面　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2014/9/21	事故	負傷	凧上げイベント中に、他の人の凧糸が首に巻きつく 左頚部　摩擦傷	光と風	お客様	5	男			
2014/9/21	事故	負傷	お客様のフリスビーが当たる 鼻　出血	光と風	イベントスタッフ	19	男			
2014/9/21	事故	負傷	自転車走行中に転倒 口唇、左肘　擦過傷、切傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2014/9/21	事故	負傷	自転車走行中に転倒 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2014/9/21	事故	負傷	自転車走行中に横転 額、上腹部　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	7	男			
2014/9/22	事故	負傷	着地時にバランスを崩し負傷 右上肢　捻挫	ふわんぽりん	お客様	2	女			
2014/9/23	事故	負傷	歩いて転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/9/23	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左肩、左足首　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2014/9/23	事故	負傷	サッカーボールで遊戯中に転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	8	男			
2014/9/23	事故	負傷	遊戯中に、皮膚が少し擦れる 左足首　水泡	ふわんぽりん	お客様	4	男			
2014/9/23	事故	負傷	遊戯中に転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2014/9/23	事故	負傷	遊戯中に負傷 右膝　捻挫	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2014/9/23	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左脛　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2014/9/27	事故	負傷	段差に気付かずつまづく 右膝　擦過傷	動物の森	お客様	16	女			
2014/9/27	事故	負傷	遊戯中に負傷 左肘、左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	7	女			
2014/9/27	事故	負傷	遊戯中に転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	8	女			
2014/9/28	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	11	女			
2014/9/28	事故	負傷	ふわんぽりんを囲う紐が首元にひっかかり後ろ向きに転倒　　下顎、首、後頭部　擦過傷、打撲	ふわんぽりん	お客様	4	男			

2014/9/28	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　爪剥離	ふわんぽりん	お客様	4	女			
2014/9/28	事故	負傷	走って転倒 左肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2014/9/28	事故	負傷	子供の自転車に当たって負傷 右足首　擦過傷	サイクリングコース	お客様	34	女			
2014/9/28	事故	負傷	他の人のフリスビーが当たる 左眼下　打撲	子供の広場	お客様	4	女			
2014/9/28	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	8	女			
2014/9/28	事故	負傷	遊戯中に転落してブロックに当たる 右下肢　擦過傷	水辺のトリム	お客様	9	女			
2014/9/28	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足第一指　爪剥離	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2014/9/28	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左膝、右肘、左手掌　擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	女			
2014/9/29	事故	負傷	遊戯中に子供を避けようとしてバランスを崩し転倒 右足首　骨折疑い	ふわんぽりん	お客様	23	男			
2014/9/29	事故	負傷	着地の際バランスを崩し転倒 右足第四指　骨折疑い	ふわんぽりん	お客様	9	女			
2014/10/3	事故	負傷	ローラー滑り台上の、ネットの遊具から転落 額、左こめかみ　打撲、擦過傷	たこのあし	お客様	6	男			
2014/10/4	事故	負傷	トライアスロンコース内、プール近くの木から落ちて負傷 右手首　捻挫	園路	お客様	8	男			
2014/10/4	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2014/10/4	事故	負傷	遊戯中に棘が刺さる 両足裏　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	3	男			
2014/10/4	事故	負傷	歩行中に転倒 額　打撲	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/10/4	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2014/10/5	事故	負傷	二人乗り自転車で転倒 右膝、右足首　擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2014/10/5	事故	負傷	走って転倒 両手掌、左膝　擦過傷	動物の森	お客様	4	女			
2014/10/5	事故	負傷	観覧車前のコードに引っ掛かり転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2014/10/5	事故	負傷	遊戯中に負傷 両足第一指　爪剥離	ワンダーワールド	お客様	9	男			
2014/10/5	事故	負傷	急ブレーキをかけた時に自転車のサドルで強打する 陰部　切傷、打撲	ワンダーワールドロ	お客様	6	女			

2014/10/5	事故	負傷	トライアスロン参加者のウォーミングアップ中事故 目の下の骨・肋骨の骨折	サンシャインプール内	お客様	43	男			
2014/10/7	事故	負傷	遊戯中に転倒 右前腕部　捻挫	ふわんぽりん	お客様	8	男			
2014/10/10	事故	負傷	転倒して負傷 左手第一指　捻挫	子供の広場	お客様	8	女			
2014/10/11	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2014/10/11	事故	負傷	遊戯中に負傷 右膝　捻挫	ふわんぽりん	お客様	6	男			
2014/10/11	事故	負傷	鬼ごっこをしていて負傷 左足第一指　捻挫	ワンダーワールド	お客様	6	男			
2014/10/11	事故	負傷	段差でつまづく 左肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/10/11	事故	負傷	着地時に負傷 左手関節　捻挫	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2014/10/11	事故	負傷	友達とかけっこをしていて転倒 左膝　擦過傷	動物の森	お客様	6	女			
2014/10/11	事故	負傷	自転車走行中、出ていた枝を避けようとして転倒 左膝、左肘　擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2014/10/15	事故	負傷	着地時に負傷 右足第一指　骨折	ふわんぽりん	お客様	5	女			
2014/10/18	事故	負傷	走って転倒 両膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/10/18	事故	負傷	遊戯中に負傷 鼻出血、右足第一指　捻挫	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2014/10/18	事故	負傷	つまづき転倒 前額部　擦過傷、腫瘤	西口	お客様	3	男			
2014/10/18	事故	負傷	工作中にカッターで切る 左手第一指　切傷	森の家	お客様	14	男			
2014/10/18	事故	負傷	移動中、虫に刺される 左下肢　虫刺され	バラ園	お客様	3	男			
2014/10/19	事故	負傷	滑り台の着地時に、前のめりに転倒 鼻下　擦過傷	たこのあし	お客様	3	男			
2014/10/19	事故	負傷	サッカーをしていて転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2014/10/19	事故	負傷	手をつき棘が刺さる 右手掌　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	7	男			
2014/10/19	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2014/10/19	事故	負傷	歩行中に転倒 右手第二指　切傷	園外通路(ホテルルイガンズ辺り	お客様	8	女			

2014/10/19	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	2	女			
2014/10/19	事故	負傷	遊戯中にとげが刺さる 右手第一指　異物刺入	たこのあし前木道	お客様	6	女			
2014/10/19	事故	負傷	転倒し壁にぶつける 額　打撲	ワンダーワールド	お客様	1	男			
2014/10/19	事故	負傷	エアーボール付近の小さい送風機に手を突っ込み負傷 右手第二指　皮膚剥離	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2014/10/19	事故	負傷	走って転倒 左肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	8	女			
2014/10/19	事故	負傷	ゴーカートから降りた時につまづいて転倒 左外踝部　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	7	男			
2014/10/19	事故	負傷	シーソーから飛び降り負傷 左肘　擦過傷	子供の広場	お客様	3	男			
2014/10/19	事故	負傷	遊具から滑り落ち、遊具の角で打つ 前額部　打撲	子供の広場	お客様	4	男			
2014/10/19	事故	負傷	着地時に負傷 右足関節　捻挫	ふわんぽりん	お客様	8	女			
2014/10/19	事故	負傷	管理棟内で、走ってきた子供にぶつかる 右口腔内　裂傷	子供の広場	お客様	2	男			
2014/10/19	事故	負傷	走って転倒 左下肢　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/10/19	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2014/10/19	事故	負傷	気付かないうちにとげが刺さる 左手第二指　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/10/19	事故	負傷	地面に手をついていた時に、上から人に踏まれる 右手第一指　打撲	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2014/10/20	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足裏　皮膚剥離	ふわんぽりん	お客様	12	男			
2014/10/24	事故	負傷	滑り台着地時に頭から転倒、直後に嘔吐する 嘔吐、額　打撲	たこのあし	お客様	7	男			
2014/10/24	事故	負傷	木造の上り坂に寝転がり棘が刺さる 左膝　異物刺入	サイクリングコース	お客様	3	男			
2014/10/25	事故	負傷	走って転倒 右手掌　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2014/10/25	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手掌　擦過傷	子供の広場	お客様	6	男			
2014/10/25	事故	負傷	走って転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2014/10/25	事故	負傷	気付かないうちに棘が刺さる 右手第二指　異物刺入	ワンダーワールド	お客様	4	女			

2014/10/25	事故	負傷	歩いて転倒 額　打撲	ワンダーワールド	お客様	1	男			
2014/10/25	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第一指　爪剥離	ふわんぽりん	お客様	3	女			
2014/10/26	事故	負傷	ローラー滑り台の手すりにぶつかる 前額部　裂傷	子供の広場	お客様	4	女			
2014/10/26	事故	負傷	自転車走行中に転倒 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	女			
2014/10/26	事故	負傷	レストラン前の階段で転倒	ワンダーワールド	お客様	1	女			
2014/10/26	事故	負傷	前かごに乗って走行中、自転車ごと転倒 前額部　擦過傷	サイクリングコース	お客様	2	女			
2014/10/30	事故	負傷	ベンチに触って棘が刺さる 右手第四指　異物刺入	水辺のトリム	お客様	4	女			
2014/11/2	事故	負傷	椅子から、眠くて落ちる 後頭部　打撲	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2014/11/3	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足甲　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2014/11/3	事故	負傷	遊戯中に負傷 両膝、右肘　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2014/11/3	事故	負傷	駐輪場で、前かごに乗せたまま目を離した隙に転倒 前頭部　脳挫傷疑い	サイクリングコース	お客様	4	女			
2014/11/3	事故	負傷	コンビネーション遊具で遊戯中に棘が刺さる 左手第三指　異物刺入	子供の広場	お客様	10	男			
2014/11/3	事故	負傷	ボールで遊んでいる時にまめがつぶれる 右手掌　水泡	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2014/11/3	事故	負傷	遊戯中に負傷 右足第二指　爪剥離	ふわんぽりん	お客様	5	男			
2014/11/3	事故	負傷	エアーボールの中で負傷 左手掌　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	9	男			
2014/11/3	事故	負傷	自転車転倒事故 頭強打、軽い脳震盪	動物の森	お客様	4	女			
2014/11/10	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒 左肘、額　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2014/11/22	事故	負傷	自転車走行中に横転 額　打撲	サイクリングコース	お客様	6	男			
2014/11/23	事故	負傷	遊戯中に転倒 左腕　擦過傷	じゃぶじゃぶ池	お客様	4	男			
2014/11/23	事故	負傷	二人で滑り台を滑っていて、後ろから妹にぶつかる 前歯　脱臼	たこのあし	お客様	4	男			
2014/11/23	事故	負傷	滑り台で、後ろから滑ってきた兄とぶつかる 後頭部　打撲	たこのあし	お客様	3	女			

2014/11/23	事故	負傷	前乗せ自転車に乗せていて転倒 顎、口唇　擦過傷	サイクリングコース	お客様	3	女			
2014/11/23	事故	負傷	トンネルの中で立ち上がった時に負傷 額　打撲	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2014/11/24	事故	負傷	遊戯中に負傷 左膝　捻挫	ふわんぽりん	お客様	3	男			
2014/11/24	事故	負傷	丸太の吊り橋の遊具から転落 後頭部　打撲	子供の広場	お客様	3	男			
2014/11/29	事故	負傷	自転車から横転 下顎、顔、両手掌、左膝　裂傷、擦過傷	サイクリングコース	お客様	13	男			
2014/12/6	事故	負傷	遊戯中に転倒 上口唇内側　切傷	ふわんぽりん	お客様	4	男			
2014/12/7	事故	負傷	滑り台の一番上まで上がっている途中に転倒 左手首　捻挫	たこのあし	お客様	5	男			
2014/12/7	事故	負傷	ふわんぽりん遊戯中に、肘の上に姉が乗っかり負傷 左肘関節　捻挫	ふわんぽりん	お客様	6	男			
2014/12/26	事故	負傷	滑り台で遊戯中に棘が刺さる 右手第五指　刺傷	スカイドルフィン	お客様	37	女			
2015/1/4	事故	負傷	ゴーカートを運んでいる途中にアクセルがかかり、バランスを崩し転倒　　後頭部　打撲	ワンダーワールド	スタッフ	35	男			
2015/1/18	事故	負傷	らせん階段の途中、狭い隙間で立ち上がり、上の段にぶつける　　頭　打撲	ワンダーワールド	お客様	11	女			
2015/1/25	事故	負傷	木の柵に触り、棘が刺さる 左手掌　異物刺入	シオヤ	お客様	7	女			
2015/1/25	事故	負傷	自転車走行中に転倒 顔、左膝、両手甲　擦過傷、打撲	サイクリングコース	お客様	8	男			
2015/1/31	事故	負傷	二人乗り自転車の車輪とペダルの間に挟まる 左膝、左足首　擦過傷、捻挫	サイクリングコース	お客様	7	男			
2015/2/11	事故	負傷	自転車走行中に負傷 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2015/2/14	事故	負傷	ストライダーに乗っていて転倒 額　打撲	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2015/2/15	事故	負傷	遊戯中に転倒 左膝　打撲	ふわんぽりん	お客様	2	女			
2015/2/28	事故	負傷	アスレチックから落ち、下にあった石で負傷 両脛、左大腿　擦過傷、打撲	水辺のトリム	お客様	9	女			
2015/3/4	事故	負傷	転んだ時に石で顎を打つ。 下顎部　擦過傷、裂傷	フラワーミュージアム	お客様	3	男			
2015/3/7	事故	負傷	タイヤがぶら下がっている遊具から落ち、背中を強打 背部　打撲	子供の広場	お客様	11	男			
2015/3/7	事故	負傷	裸足で走っていてつまづく。 左足親指　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	5	男			

2015/3/8	事故	負傷	遊戯中に落ちてコンクリートで打撲 左膝　打撲	水辺のトリム	お客様	4	女			
2015/3/8	事故	負傷	遊戯中に転倒 右下肢　擦過傷	水辺のトリム	お客様	30	男			
2015/3/8	事故	負傷	走って転ぶ 左膝　擦過傷	子供の広場	お客様	4	男			
2015/3/8	事故	負傷	走って転ぶ 額部　打撲	子供の広場	お客様	2	女			
2015/3/8	事故	負傷	遊戯中に坂から転げ落ちる 左頬　打撲	くじら雲坂	お客様	5	男			
2015/3/8	事故	負傷	遊戯中に転ぶ 右頬　打撲	子供の広場	お客様	5	男			
2015/3/15	事故	負傷	転倒して負傷 両膝　擦過傷	子供の広場	お客様	5	女			
2015/3/15	事故	負傷	ふわんぽりんで勢いよく滑り落ちる 鼻、唇　鼻出血、擦過傷	ふわんぽりん	お客様	2	男			
2015/3/15	事故	負傷	エアーボール遊戯中に転倒し強打する 右肩　打撲	ワンダーワールド	お客様	11	男			
2015/3/20	事故	負傷	転倒し負傷、腫脹（＋） 額　打撲	じゃぶじゃぶ池	お客様	3	女			
2015/3/21	事故	負傷	自転車走行中に転倒 右手第一・二指間　　切傷	サイクリングコース	お客様	16	女			
2015/3/21	事故	負傷	木造の床で転倒し、棘が刺さる 両手掌　異物刺入	海中口	お客様	4	男			
2015/3/21	事故	負傷	リスザルに噛まれる 左手第二指　咬傷	動物の森	お客様	5	女			
2015/3/21	事故	負傷	小学生の男の子が転がってきて、ぶつかり負傷 右足第五指　打撲	ふわんぽりん	お客様	11	女			
2015/3/21	事故	負傷	ボール遊びをしていて負傷 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2015/3/22	事故	負傷	遊戯中に負傷 右手第二指　異物刺入	子供の広場	お客様	5	女			
2015/3/22	事故	負傷	よそ見をしていてつまづき転倒 左眉部　擦過傷	子供の広場	お客様	77	女			
2015/3/22	事故	負傷	自転車走行中にバランスを崩し転倒。 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2015/3/22	事故	負傷	自転車から転倒 左耳　切傷	サイクリングコース	お客様	4	男			
2015/3/22	事故	負傷	走って転倒 左膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2015/3/24	事故	負傷	走って転ぶ 額部　裂傷(2.5cm)	水辺のトリム	お客様	4	男			

2015/3/28	事故	負傷	昔あそびに参加、工作の時カッターで切る 左手掌　切傷	子供の広場	お客様	10	男			
2015/3/28	事故	負傷	ホテルルイガンズで、朝食の時にやけどする。 左手第二・三指　水疱	園外	お客様	8	女			
2015/3/28	事故	負傷	つまづいて転倒し、椅子の角でぶつける 額　打撲	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2015/3/29	事故	負傷	自転車走行中に転倒 左下肢　擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	女			
2015/3/29	事故	負傷	遊戯中に友達とぶつかる 鼻出血	子供の広場	お客様	10	男			
2015/3/29	事故	負傷	アスレチックのロープで擦れ、爪が根元から剥がれる。 左手第五指　爪剥離	水辺のトリム	お客様	6	女			
2015/3/29	事故	負傷	転倒し負傷 額　打撲　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2015/3/29	事故	負傷	遊戯中に負傷 左足首　捻挫	ふわんぽりん	お客様	8	男			
2015/3/29	事故	負傷	滑り台の横の坂で転倒 右膝　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	8	女			
2015/3/30	事故	負傷	木道を歩行中につまずいて転ぶ 両手掌　刺傷（とげ）	ワンダーワールド	お客様	11	男			
2015/3/30	事故	負傷	遊戯中に転ぶ 左膝　擦過傷	水辺のトリム	お客様	7	女			
2015/3/30	事故	負傷	走行中にバランスを崩し転倒 後頭部左肘　下肢　打撲、擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	男			
2015/3/30	事故	負傷	遊戯中に転ぶ 右足第一指　切傷	ふわんぽりん	お客様	8	男			
2015/3/31	事故	負傷	遊戯中に転ぶ 左頸　擦過傷	動物の森	お客様	10	男			
2015/3/31	事故	負傷	走行中にバランスを崩し転倒する 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	12	男			
2015/3/31	事故	負傷	妹を抱こうとして足を捻る 左足首　捻挫	ワンダーワールド	お客様	8	男			
2015/3/31	事故	負傷	二人乗り自転車で走行中にバランスを崩し転倒 左膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	19	女			
2015/3/31	事故	負傷	二人乗り自転車の後ろに乗り走行中にバランスを崩し転倒 右肩右膝足首　擦過傷	サイクリングコース	お客様	21	女			
2015/3/31	事故	負傷	走行中にバランスを崩し転倒する 右膝　擦過傷	サイクリングコース	お客様	18	女			

●Ｈ26事件

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2014/5/8	事件	火災	炭バケツの熱による物品溶解及び発煙 ケガなし	デイキャンプ場						
2014/5/13	事件	施設等破損	建物施設ガラス破損 ケガなし	デイキャンプ場						
2014/8/31	事件	その他	お客様車両への当て逃げ ケガなし	光風駐車場						

●H26急性症病（２月末現在）

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2014/4/2	病気（急性症状）	発症	気分不良　嘔吐	子供の広場	お客様	6	男			
2014/4/19	病気（急性症状）	発症	鼻出血　急に	子供の広場	お客様	29	女			
2014/4/21	病気（急性症状）	発症	昼食後、走り回って気分不良になり嘔吐する		お客様	5	男			
2014/4/29	病気（急性症状）	発症	園内散策中の急性症状発症 突然のアレルギー症状（全身発疹、震え）	大芝生広場	お客様	20	男			
2014/5/2	病気（急性症状）	発症	頭痛		お客様	30	男			
2014/5/10	病気（急性症状）	発症	胃の不快感	子供の広場	お客様	39	男			
2014/5/18	病気（急性症状）	発症	ポテトフライとかき氷を摂取後、腹痛を起こす	子供の広場	お客様	9	女			
2014/5/18	病気（急性症状）	発症	鼻出血　歩行中急に	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2014/5/22	病気（急性症状）	発症	走っていたら急に顔が真っ赤になり暑くなる　軽度熱中症	動物の森	お客様	5	女			
2014/6/7	病気（急性症状）	発症	急性虫垂炎の疑い	西サイクリングロ	お客様	33	女			
2014/6/14	病気（急性症状）	発症	昼食後に　嘔吐、発熱	子供の広場	お客様	1	女			
2014/6/29	病気（急性症状）	発症	妊婦　移動の車と船で気分不良		お客様	24	女			
2014/7/11	病気（急性症状）	発症	コンサート設営スタッフ　作業中に　熱中症	野外劇場	イベントスタッフ	19	男			
2014/7/20	病気（急性症状）	発症	熱性痙攣	子供の広場	お客様	1	女			
2014/7/21	病気（急性症状）	発症	生理痛		お客様	不明	女			

2014/7/26	病気（急性症状）	発症	頭痛	ワンダーワールド	お客様	不明	女			
2014/7/27	病気（急性症状）	発症	コンサートスタッフ　誘導中に立ちくらみと頭痛　熱中症	子供の広場	イベントスタッフ	20	男			
2014/7/28	病気（急性症状）	発症	頭痛		お客様	38	女			
2014/8/7	病気（急性症状）	発症	一日飼育員　気分不良、鼻血、熱中症	動物の森	お客様	11	女			
2014/8/11	病気（急性症状）	発症	腎臓結石疑い　左腰部の激痛、嘔吐、冷汗		お客様	29	男			
2014/8/17	病気（急性症状）	発症	移動中に突然、嘔吐と頭痛、一時的に意識喪失状態 倒れた時に頭頂部と左肘を打撲　熱中症	大芝生広場	お客様	35	男			
2014/8/26	病気（急性症状）	発症	自転車走行中に　気分不良	サイクリングコース	お客様	6	男			
2014/8/27	病気（急性症状）	発症	動物を触ってトイレに行き、手洗い前に目を触って発症 右目　腫脹、湿疹、痒み	動物の森	お客様	10	女			
2014/8/30	病気（急性症状）	発症	日射病　自転車で移動中に頭痛と腹痛出現	サイクリングコース	お客様	6	女			
2014/8/31	病気（急性症状）	発症	頭痛		お客様	30	女			
2014/9/14	病気（急性症状）	発症	鼻出血　歩行中急に	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2014/10/5	病気（急性症状）	発症	生理痛	ワンダーワールド	お客様	39	女			
2014/10/11	病気（急性症状）	発症	頭痛	子供の広場	お客様	20	女			
2014/10/12	病気（急性症状）	発症	下痢	ワンダーワールド	屋台スタッフ	63	女			
2014/10/12	病気（急性症状）	発症	歩行中に倒れ、痙攣　意識障害	光と風	お客様	12	女			
2014/10/18	病気（急性症状）	発症	腹痛	大芝生広場	お客様	27	女			
2014/10/26	病気（急性症状）	発症	ふわんぽりん遊戯中に気分が悪くなる	ふわんぽりん	お客様	6	女			
2014/11/9	病気（急性症状）	発症	遠足で来園、遊戯中に急にぐったりする　発熱	子供の広場	お客様	9	男			
2014/11/23	病気（急性症状）	発症	ふわんぽりんを跳んでいたら気持ち悪くなり嘔吐する	ふわんぽりん	お客様	4	男			
2015/3/30	病気（急性症状）	発症	遊戯中に自然と出血 鼻出血		お客様	10	女			
2015/3/31	病気（急性症状）	発症	気分不良を訴え来室1時間30分程睡眠をとる　その後 保護者希望にて解熱剤投与する		お客様	9	男			

●H26既往症悪化（２月末現在）

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2014/4/16	既往症悪化	発症	小麦粉アレルギーによる全身蕁麻疹	大芝生広場	お客様	17	女			
2014/4/27	既往症悪化	発症	パニック症状　移動中に動悸と過呼吸が出現	シオヤ	お客様	40	女			
2014/4/29	既往症悪化	発症	アナフィラキシーショック　アレル原不明で今回三度目	フラワーガーデン	お客様	20	男			
2014/5/5	既往症悪化	負傷	元々皮膚が弱くかぶれていた所が、遊戯中にひどくなり出血する　手指数か所	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2014/5/22	既往症悪化	発症	保育園の団体　朝から微熱があり、来園後に発熱と悪寒	子供の広場	お客様	4	男			
2014/7/13	既往症悪化	発症	腰椎ヘルニア　杖歩行者 コンサートで来園し両下肢のだるさ訴える	ワンダーワールド	お客様	31	男			
2014/7/26	既往症悪化	発症	坐骨神経痛の既往有　コンサートで来園、帰りにこぶら返しを起こす　　左下腿三頭筋　痙攣、疼痛、歩行困難	西口	お客様	51	女			
2014/10/11	既往症悪化	発症	軽度心発作　ペースメーカーを挿入している 移動中、突然意識混濁を起こし倒れる	子供の広場	お客様	7	男			
2014/10/18	既往症悪化	発症	発熱　数日前の風邪がぶり返す	ワンダーワールド	お客様	1	男			
2014/10/18	既往症悪化	発症	作業中急に　過呼吸	動物の森	スタッフ	24	女			
2014/10/24	既往症悪化	発症	作業中急に　過呼吸	動物の森	スタッフ	24	女			
2014/10/31	既往症悪化	発症	作業中急に　過呼吸	動物の森	スタッフ	24	女			
2014/12/12	既往症悪化	発症	作業中急に　過呼吸	動物の森	スタッフ	24	女			
2014/12/13	既往症悪化	発症	作業中急に　過呼吸	動物の森	スタッフ	24	女			
2014/12/27	既往症悪化	発症	4日前からずっと腹痛を訴える	ワンダーワールド	お客様	3	男			

●H26車両事故

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2014/9/28	車両事故	施設等破損	運転ミスによる日よけ単管パイプ及び車両破損 ケガなし	西口						

●H26その他(2月末現在)

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2014/4/6	その他	負傷	靴擦れ	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2014/5/4	その他	負傷	靴擦れ		お客様	40	男			
2014/7/20	その他	負傷	靴擦れ	子供の広場	お客様	8	女			
2014/7/20	その他	負傷	靴擦れ	子供の広場	お客様	6	男			

危機管理対応実績（自然災害、火災）

【平成２４年度】

場所	原因	災害、火災状況	件数
フラワーミュージアム	現地風速15m/s以上の強風（4/3～4）	倒木	1
サイクリングコース	現地風速15m/s以上の強風（4/3～4）	倒木	5
大芝生広場	現地風速15m/s以上の強風（4/3～4）	倒木	1
カモ池口	現地風速15m/s以上の強風（4/3～4）	倒木	1
県道（マリンワールドバス停付近）	現地風速15m/s以上の強風（4/3～4）	倒木	3
サイクリングコース	集中豪雨（7/3）	一部冠水	7
園路	集中豪雨（7/3）	一部冠水	8
カモ池ウッドデッキ	集中豪雨（7/3）	一部冠水	1
サイクリングコース	集中豪雨（7/13～7/16）	一部冠水	4
園路	集中豪雨（7/13～7/16）	一部冠水	10
カモ池ウッドデッキ	集中豪雨（7/13～7/16）	一部冠水	1
彩の池	集中豪雨（7/13～7/16）	増水	1
虹の池	集中豪雨（7/13～7/16）	増水	1
光と風の広場	集中豪雨（7/16）	園路崩落	1
園内全域	大雨警報発令に伴う開園前点検：１回	なし	
合計			57

消防車要請件数　0件、その他　0件

別紙２７

【平成２５年度】

場所	原因	災害、火災状況	件数
サイクリングコース	集中豪雨（8/14）	一部冠水	6
園路	集中豪雨（8/14）	一部冠水	6
サイクリングコース	集中豪雨（8/30～31）	一部冠水	3
園路	集中豪雨（8/30～31）	一部冠水	15
サイクリングコース	集中豪雨（11/10）	一部冠水	3
園路	集中豪雨（11/10）	一部冠水	10
園内全域	大雨警報発令に伴う開園前点検：１回	なし	
園内全域	大雨警報発令に伴う園内点検：１回	なし	
園内全域	暴風警報発令に伴う開園前点検：１回	なし	
合　計			43

消防車要請件数　0件、その他　0件

【平成２６年度】

場所	原因	災害、火災状況	件数
サイクリングコース	集中豪雨（7/3）	一部冠水	7
園路	集中豪雨（7/3）	一部冠水	12
園路	集中豪雨（7/7～8）	一部冠水	2
サイクリングコース	集中豪雨（7/12～13）	一部冠水	3
園路	集中豪雨（7/12～13）	一部冠水	7
彩の池	集中豪雨（7/12～13）	増水	1
虹の池	集中豪雨（7/12～13）	増水	1
カモ池ウッドデッキ	集中豪雨（7/12～13）	一部冠水	1
サイクリングコース	集中豪雨（8/20）	一部冠水	5
園路	集中豪雨（8/20）	一部冠水	8
動物の森	集中豪雨（8/20）	一部冠水	3
カモ池ウッドデッキ	集中豪雨（8/20）	一部冠水	1
サイクリングコース	集中豪雨（8/22）	一部冠水	12
園路	集中豪雨（8/22）	一部冠水	13
動物の森	集中豪雨（8/22）	一部冠水	2
カモ池ウッドデッキ	集中豪雨（8/22）	一部冠水	2
花の丘	台風接近（10/13）	コスモス倒伏、塩害	1
大芝生広場	台風接近（10/13）	倒木	1
カナール付近	台風接近（10/13）	倒木	3
西駐車場	台風接近（10/13）	倒木	1
中央駐車場	台風接近（10/13）	倒木	2
花桟敷	台風接近（10/13）	地上絵倒伏、塩害	1
シオヤ	台風接近（10/13）	倒木	1
園内全域	大雨警報発令に伴う園内点検：２回	なし	
合　計			90

消防車要請件数　0件、その他　0件

別紙２８

危機管理対応実績（野生動物）

【平成２４年度】

場所	原因	災害、火災状況	件数
園内全域	カラス・トンビ	利用者への注意喚起サインの設置	1
トリム広場付近便所	スズメバチ	巣を発見し駆除を実施。8/25	1
合計			2

救急車要請件数　0件、その他　0件

【平成２５年度】

場所	原因	災害、火災状況	件数
園内全域	カラス・トンビ	利用者への注意喚起サインの設置	1
海の中道渡船場	スズメバチ	巣を発見し駆除を実施。5/12	1
サイクリングコース（水辺のトリム付近）	スズメバチ	お客様刺傷事故。巣を発見し駆除を実施。6/23	1
子供のとりで	スズメバチ	巣を発見し駆除を実施。8/22	1
合　計			4

救急車要請件数　1件、その他　0件

【平成２６年度】

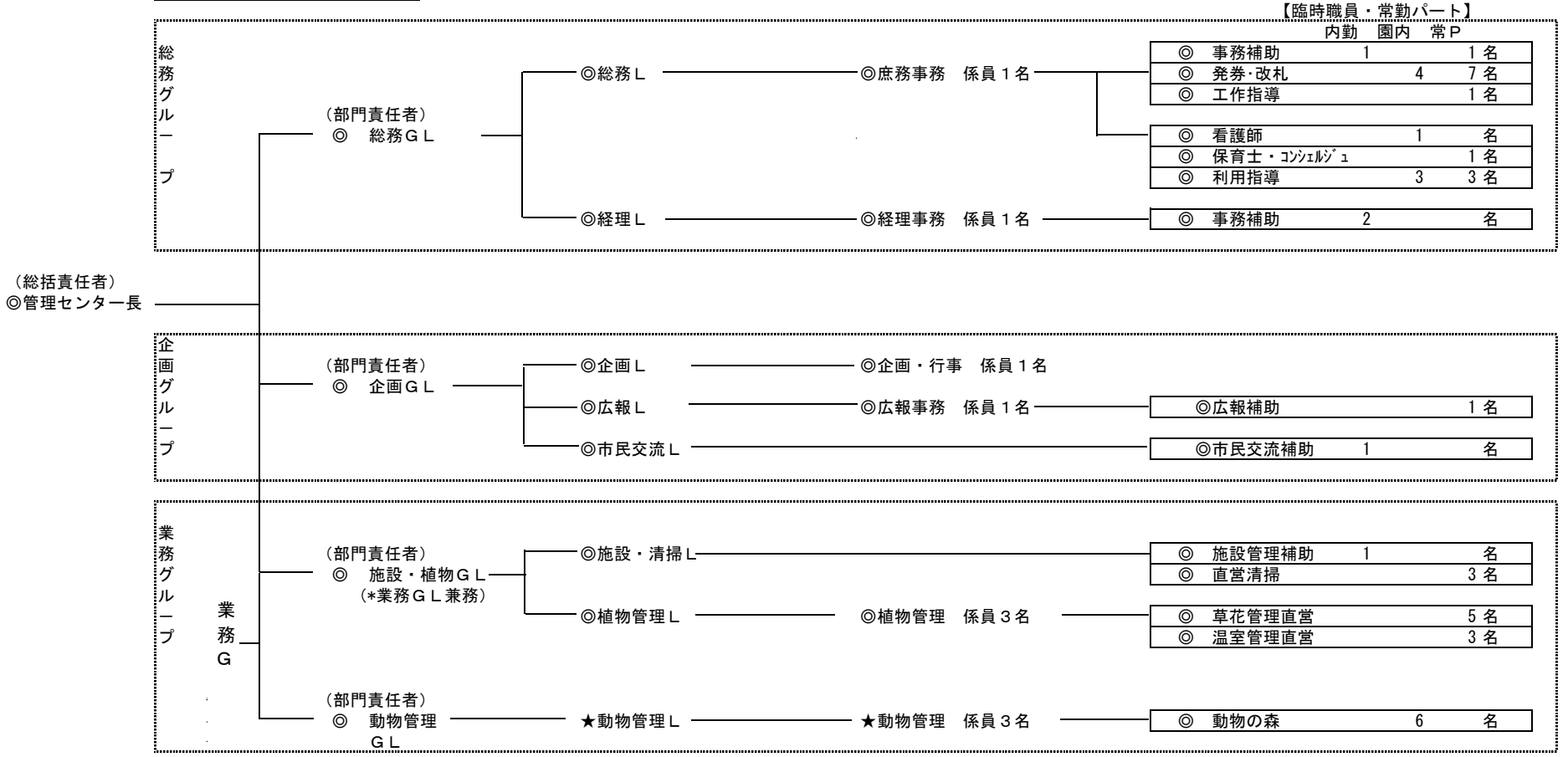
場所	原因	災害、火災状況	件数
園内全域	カラス・トンビ	利用者への注意喚起サインの設置	1
トリム広場	スズメバチ	巣を発見し駆除を実施。9/20	1
大芝生広場	スズメバチ	巣を発見し駆除を実施。11/28	1
合　計			3

救急車要請件数　0件、その他　0件

職員・臨時職員・常勤パート等の配置（H24年度）

運営管理職員	動物管理職員	臨職 内勤	臨職 園内	常勤 ﾊﾟｰﾄ
19	4	5	14	25

※臨職内勤とは管理ｾﾝﾀｰ従事者でありそれ以外を園内として整理
※これ以外に期間パート（アルバイト）が存在する。

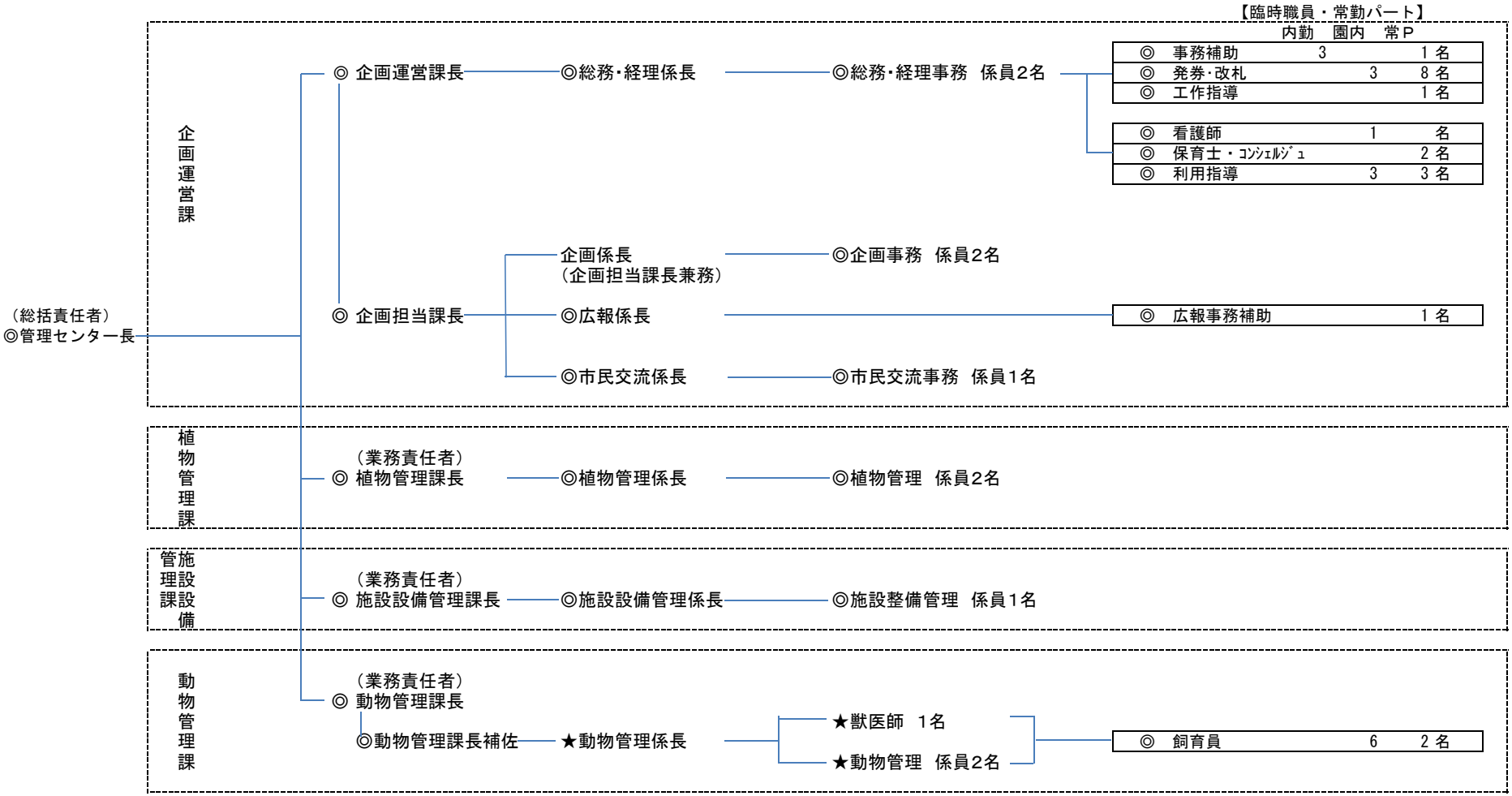


別紙２９

職員・臨時職員・常勤パート等の配置（H25年度）

運営管理職員	動物管理職員	臨職内勤	臨職園内	常勤パート
20	4	3	13	18

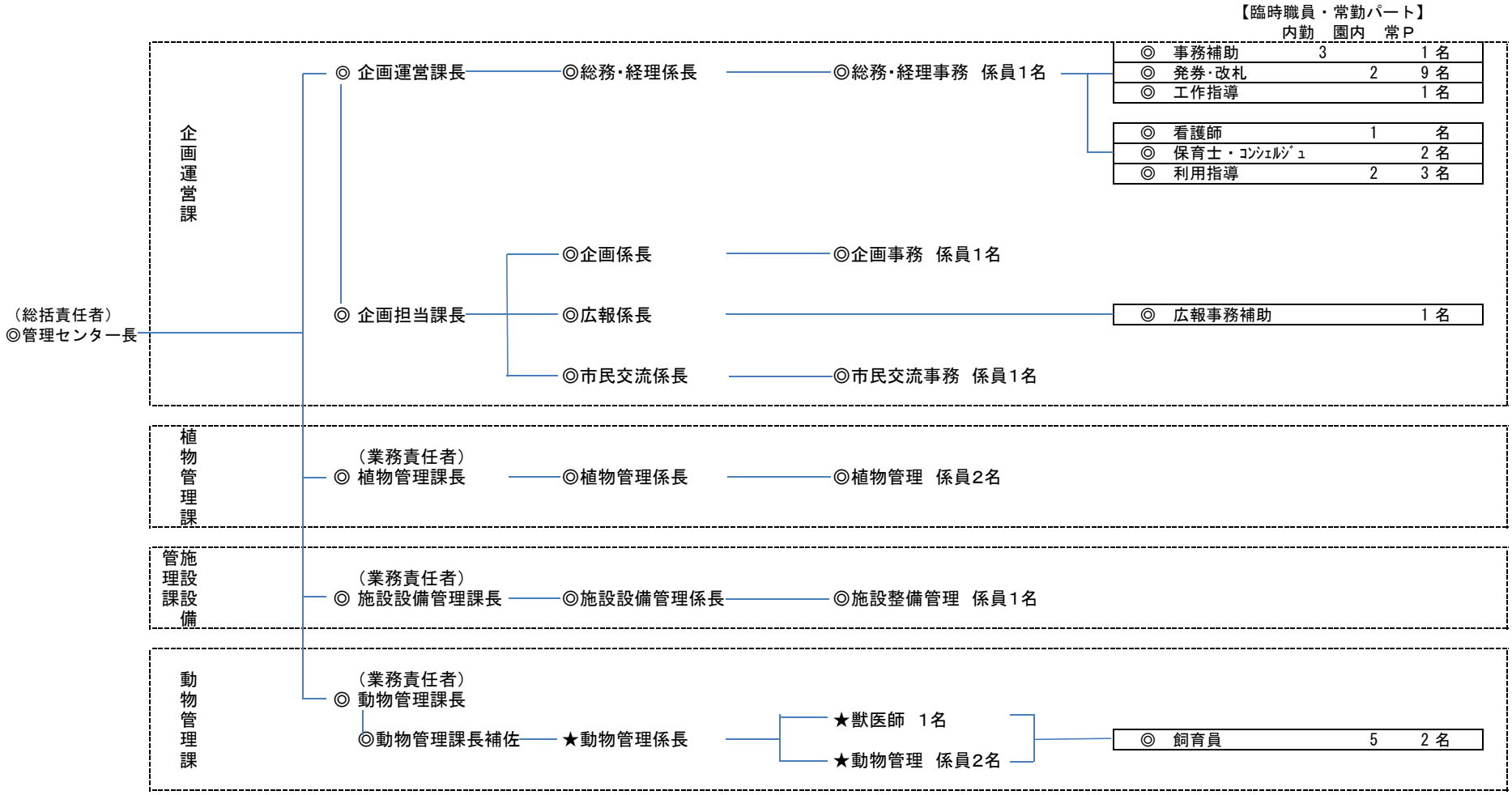
※臨職内勤とは管理ｾﾝﾀｰ従事者でありそれ以外を園内として整理
※これ以外に期間パート（アルバイト）が存在する。



職員・臨時職員・常勤パート等の配置（H26年度）

運営管理職員	動物管理職員	臨職 内勤	臨職 園内	常勤 ﾊﾟｰﾄ
20	4	3	10	19

※臨職内勤とは管理ｾﾝﾀｰ従事者でありそれ以外を園内として整理
※これ以外に期間パート（アルバイト）が存在する。



別紙３０

総括責任者による外部会議への出席

【平成 24 年度】

センター長の挨拶の実績

	平成 24 年度
4月	8 日　はるかぜマラソン大会(開会挨拶)
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10 月	
11 月	4 日　リレーマラソン国営海の中道海浜公園大会(開会挨拶)
12 月	
1月	
2月	
3月	24 日　はるかぜマラソン大会(開会挨拶) 31 日　ビーチクリーンキャンペーン(開会挨拶)
合計回数	**4 回**

センター長が参加する会合等

会合名	主催者	
管理運営委員会	国営海の中道海浜公園事務所	2 回/月
連絡調整会議	国営海の中道海浜公園事務所	1 回/月
UD 連絡調整会議	国営海の中道海浜公園事務所	2 回/年
日本動物園水族館協会九州・沖縄ブロック園館長会議	同左	2 回/年
日本動物園水族館協会総会	同左	1 回/年
福岡県観光連盟総会	同左	1 回/年
福岡国際クロスカントリー実行委員会	同左	1 回/年
東福岡沿岸警備協力会総会	同左（福岡県東警察署）	1 回/年

【平成 25 年度】

センター長の挨拶の実績

	平成 25 年度
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10 月	
11 月	24 日　リレーマラソン国営海の中道海浜公園大会(開会挨拶)
12 月	
1月	
2月	
3月	23 日　はるかぜマラソン大会(開会挨拶)
合計回数	**2 回**

センター長が参加する会合等

会合名	主催者	
管理運営委員会	国営海の中道海浜公園事務所	2 回/月
連絡調整会議	国営海の中道海浜公園事務所	1 回/月
UD 検討委員会及び連絡調整会議	国営海の中道海浜公園事務所	3 回/年
日本動物園水族館協会九州・沖縄ブロック園館長会議	同左	2 回/年
日本動物園水族館協会総会	同左	1 回/年
福岡県観光連盟総会	同左	1 回/年
福岡国際クロスカントリー実行委員会	同左	1 回/年
東福岡沿岸警備協力会総会	同左（福岡県東警察署）	1 回/年

【平成 26 年度】

センター長の挨拶の実績

	平成 26 年度
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10 月	
11 月	23 日　リレーマラソン国営海の中道海浜公園大会(開会挨拶)
12 月	
1月	
2月	
3月	22 日　はるかぜマラソン大会(開会挨拶) 29 日　ビーチクリーンキャンペーン(開会挨拶)
合計回数	**3 回**

センター長が参加する会合等

会合名	主催者	
管理運営委員会	国営海の中道海浜公園事務所	2 回/月
連絡調整会議	国営海の中道海浜公園事務所	1 回/月
UD 検討委員会及び連絡調整会議	国営海の中道海浜公園事務所	3 回/年
日本動物園水族館協会九州・沖縄ブロック園館長会議	同左	2 回/年
日本動物園水族館協会総会	同左	1 回/年
福岡県観光連盟総会	同左	1 回/年
福岡国際クロスカントリー実行委員会	同左	1 回/年
東福岡沿岸警備協力会総会	同左（福岡県東警察署）	1 回/年

【苦情、要望等集計（平成24年度）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
良い点	2	6	2	4	15	2	9	3	2	2	2	6	55
お気づきの点	11	14	6	6	18	13	20	8	0	3	9	7	115
合計	13	20	8	10	33	15	29	11	2	5	11	13	170

【よい点、お気づきの点の内訳】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
良い点	公園全般	0	6	1	3	9	2	7	1	1	2	1	6	39
	行事・広報 指導関係	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	施設関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	植物管理関係	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	特定公園施設 収益関係	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	利用者ｻｰﾋﾞｽ ﾍﾟｯﾄ・ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ関係	0	0	1	0	6	0	1	2	0	0	1	0	11
	計	2	6	2	4	15	2	9	3	2	2	2	6	55
お気づきの点	公園全般	7	7	3	0	7	3	10	3	0	1	3	2	46
	行事・広報 指導関係	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	3	8
	施設関係	2	2	1	4	4	2	2	3	0	0	0	0	20
	植物管理関係	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
	特定公園施設 収益関係	0	0	1	0	1	2	0	0	0	1	2	0	7
	利用者ｻｰﾋﾞｽ ﾍﾟｯﾄ・ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ関係	1	4	1	2	4	3	6	1	0	0	3	2	27
	計	11	14	6	6	18	12	20	8	0	3	9	7	114

【投書場所内訳】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
西口	1	2	4	6	9	6	11	6	1	1	2	7	56
西サイクロ	2	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	7
港サイク													
海中口	2	2	0	0	5	1	1	2	0	1	1	1	16
ワンダーワールドロ	3	1	1	0	1	0	2	0	0	0	0	1	9
子供の広場	0	2	1	0	2	4	2	1	0	0	0	0	12
動物の森	0	2	1	1	3	2	1	0	0	1	1	2	14
インフォメーションセンター	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4
森の家	2	4	0	2	9	0	2	0	0	0	2	1	22
プール（夏期のみ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大芝生売店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光と風の広場	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
カモ池口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シオヤ	3	5	0	0	4	1	5	2	1	0	4	1	26
ドッグラン	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	13	20	8	10	33	15	29	11	2	5	11	13	170

【苦情、要望等集計(平成25年度)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
良い点	9	14	3	1	4	2	9	1	1	4	1	2	51
お気づきの点	11	11	1	2	3	3	1	1	3	4	3	5	48
合計	20	25	4	3	7	5	10	2	4	8	4	7	99

【よい点、お気づきの点の内訳】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
良い点	公園全般	3	5	2	1	4	0	7	1	1	3	1	2	30
	行事・広報 指導関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	施設関係	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6
	植物管理関係	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	特定公園施設 収益関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者ｻｰﾋﾞｽ ﾍﾟｯﾄ・ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ関係	3	4	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	10
	計	9	14	3	1	4	2	9	1	1	4	1	2	51
お気づきの点	公園全般	1	4	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7
	行事・広報 指導関係	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4
	施設関係	2	1	0	1	3	1	0	0	1	0	0	0	9
	植物管理関係	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	特定公園施設 収益関係	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
	利用者ｻｰﾋﾞｽ ﾍﾟｯﾄ・ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ関係	6	5	0	1	0	0	0	0	1	3	2	4	22
	計	11	11	1	2	3	3	1	1	3	4	3	5	48

【投書場所内訳】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
西口	12	11	1	1	2	2	0	0	1	2	0	0	32
西サイクロ	0	2	0	0	0	1	1	0	2	1	1	3	11
港サイク													0
海中口	1	1	0	1	0	0	2	1	1	0	0	0	7
ワンダーワールド口	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	7
子供の広場	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
動物の森	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
インフォメーションセンター	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
森の家	2	1	2	1	4	0	4	0	0	3	0	2	19
プール(夏期のみ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大芝生売店	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
光と風の広場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
カモ池口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シオヤ	3	3	1	0	1	2	2	0	0	1	0	0	13
ドッグラン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	25	4	3	7	5	10	2	4	8	4	7	99

【苦情、要望等集計(平成26年度)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
良い点	4	7	2	4	0	7	3	3	0	1	3	12	46
お気づきの点	5	10	3	1	4	9	3	2	3	0	1	12	53
合計	9	17	5	5	4	16	6	5	3	1	4	24	99

【よい点、お気づきの点の内訳】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
良い点	公園全般	0	3	1	2	0	6	0	3	0	1	3	5	24
	行事・広報 指導関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設関係	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	植物管理関係	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	特定公園施設 収益関係	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	5
	利用者ｻｰﾋﾞｽ ﾍﾟｯﾄ・ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ関係	0	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0	3	9
	計	4	7	2	4	0	7	3	3	0	1	3	12	46
お気づきの点	公園全般	1	1	0	1	0	2	0	0	1	0	0	4	10
	行事・広報 指導関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設関係	2	4	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	11
	植物管理関係	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	4
	特定公園施設 収益関係	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	5
	利用者ｻｰﾋﾞｽ ﾍﾟｯﾄ・ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ関係	2	3	1	0	1	4	3	0	1	0	0	5	20
	計	5	10	3	1	4	6	3	2	3	0	1	12	50

【投書場所内訳】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
西口	3	6	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4	15
西サイクロ	3	3	0	0	1	2	1	4	0	0	0	0	14
港サイク													0
海中口	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	6
ワンダーワールド口	0	2	2	0	2	2	0	0	1	0	0	0	9
子供の広場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
インフォメーションセンター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
森の家	1	2	2	3	0	3	0	1	0	0	0	4	16
プール(夏期のみ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大芝生売店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光と風の広場	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	4
カモ池口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シオヤ	0	1	0	1	0	4	4	0	2	1	1	7	21
ドッグラン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
不明	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
管理センター	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
計	9	17	5	5	4	16	6	5	3	1	4	24	99

【行催事開催時の広報（紙媒体）実績】　（単位：枚数）

イベント名	形態区分		H24	H25	H26	備考/配布先
バラまつり	ポスター	B2縦	600	400	200	自治体・公共機関・交通機関等配布
		B3横	ー	100	ー	
	チラシ	B4縦	150,000	130,000	130,000	新聞折込、公共機関・交通機関等配布
夏休みチラシ	チラシ	A3折	490,000	ー	ー	小学校・幼稚園・公共機関・交通機関等配布
		B4縦	ー	490,000	510,000	
うみなか＊はなまつり	ポスター	A1縦	700	ー	ー	自治体・公共機関・交通機関等配布
		B2縦	ー	600	600	
		B3横	ー	200	200	
	チラシ	B3折	2,020,000	1,650,000	1,540,000	新聞折込、小学校・幼稚園・公共機関・交通機関等配布
健康いきいきフェスタ	チラシ	B4縦	ー	ー	200,000	新聞折込、公共機関・交通機関等配布
おやこフェスタ	チラシ	A4縦	25,000	ー	25,000	幼稚園配布
クリスマスキャンドルナイト	ポスター	B2縦	120	120	200	自治体・公共機関・交通機関等配布
	チラシ	B4縦	270,000	250,000	240,000	新聞折込、小学校・幼稚園・公共機関・交通機関等配布
フラワーピクニック	ポスター	B2縦	650	600	500	自治体・公共機関・交通機関等配布
		B3横	200	300	ー	
	チラシ	B3折	1,945,000	1,660,000	1,600,000	新聞折込、小学校・幼稚園・公共機関・交通機関等配布

【平成24年度】

NO	日付	内容
1	H24.4.3	海の中道海浜公園に一気に春が訪れました！ ～春の花が次々、見ごろを迎えています～
2	H24.4.17	30万本の花の地上絵が見ごろを迎えました！ ～第10回目の花の地上絵は、“花いっぱいうみなか”がテーマ～
3	H24.4.23	ゴールデンウィークも海の中道海浜公園に行こう！ ～ヒツジの赤ちゃんデビュー！花の見どころもまだまだ続きます～
4	H24.5.1	バラ園リニューアルオープン！ 開花に合わせてイベント「うみなかバラミュージアム」を開催。
5	H24.5.7	”香りのバラ”の楽しみ方、お教えします ～5月12日からイベント「うみなかバラミュージアム」開催～
6	H24.5.21	バラが見ごろを迎えています！”あなたのバラを探し”してみませんか？ ～市民ボランティア「バラフレンズ」がご案内します～
7	H24.5.29	プレーリードッグの赤ちゃんが 巣穴から顔を出しました！
8	H24.6.14	海の中道海浜公園の夏のフラワーリレーはアジサイから始まる 「あじさいの小径」でアジサイ3分咲き
9	H24.6.19	うみなかのアジサイコレクション 梅雨に入って、アジサイが始まりました
10	H24.7.2	西日本最大級の『海の中道サンシャインプール』 7月14日、グランドオープン！
11	H24.7.5	夏休みはうみなかで遊ぼう！ 子ども限定“夏のスペシャルイベント”開催
12	H24.7.17	デイキャンプ場開園時間延長 ～夏のうみなかは午後から満喫！～
13	H24.7.20	～この夏、君もカブトムシ博士になろう！～ 「カブトムシハウス」夏休み限定オープン！！
14	H24.8.13	夏休み最後の思い出は海の中道海浜公園で うみなか自然発見塾～夏を満喫！サマースクール～
15	H24.8.13	間もなく見ごろ！3万8千本のヒマワリ畑 ～黄金色の大パノラマ～
16	H24.8.30	巨大ススキ　パンパスグラスが見ごろです
17	H24.8.31	来園者5，000万人達成！
18	H24.9.11	初秋の風物詩ヒガンバナが群落で見ごろを迎えております
19	H24.9.11	50年後に向けて一緒に豊かな森を育てよう！ 環境共生の森サポート・ボランティア募集します
20	H24.9.14	9/22・23だけの”とっておきの二日間”！ 「動物ふれあいDAY」開催！
21	H24.9.14	キッズならではの元気いっぱいの歌や踊り等のパフォーマンス うみなかキッズコンサート出演者募集中!！
22	H24.9.21	うみなか＊はなまつり開催します！ 西口カナールがリニューアル　5,000㎡の“ガーデンテラス”オープン！
23	H24.10.5	イベントを一緒に盛り上げましょう！ バラフレンズ募集します
24	H24.10.5	秋のフラワーリレー第1弾 花の丘200万本のコスモス　まもなく5分咲きです！
25	H24.10.11	志賀島の歴史・食、うみなかの花を満喫しよう！ ～志賀島・海の中道ガイドツアー参加者を募集します～
26	H24.10.15	秋のフラワーリレー第2弾 うみなか新名所　秋を染め上げるコキア
27	H24.10.15	クリスマスキャンドルナイト ～1万本のキャンドル・アートデザイン募集中！～
28	H24.10.18	バラ香る　うみなか秋！10/20～11/11 「うみなかバラミュージアム」開催します
29	H24.10.23	春よりも大きくスケールアップ！ 50万本の花の地上絵が見ごろを迎えました！
30	H24.10.25	うみなかでハロウィンを楽しもう！ ～「うみなか＊はなまつり」は、後半も見どころ満載です～
31	H24.11.2	秋バラが見ごろを迎えています うみなかバラミュージアム開催中（～11/11）
32	H24.11.21	キャンドルナイト・ボランティア募集
33	H24.12.3	動物の森ZOOボランティア 体験ボランティア募集！
34	H24.12.3	うみなかクリスマスキャンドルナイト 1万本のキャンドルアートの絵柄決定！

NO	日付	内容
35	H24.12.5	動物の森のお正月イベント 今年は巳年、干支展開催します！
36	H24.12.10	うみなかクリスマスキャンドルナイト開催概要
37	H24.12.17	うみなかクリスマスキャンドルナイト間もなく開催 高所作業車からの取材用撮影の予約受付開始！
38	H25.12.28	お正月はうみなかで 「里のお正月体験」を開催します！
39	H25.12.28	1月2日3日　新春イベント～お正月を遊ぼう！
40	H25.1.11	1月13日　新春もちつき大会　開催！
41	H25.1.21	海の中道フラワーピクニック2013 「第2回うみなかフラワーガーデン・コンテスト」作品募集中！！
42	H25.1.21	一足早い春、到来！ ナノハナが咲き始めました
43	H25.1.28	ニホンズイセンが間もなく見頃を迎えます 現在、5分咲きになりました
44	H25.3.1	キッズならではの元気いっぱいの歌や踊り等のパフォーマンス うみなかキッズコンサート出演者募集中!！
45	H25.3.6	3/16 ふくおかワイワイ花壇植え付け行います
46	H25.3.6	ビーチクリーンキャンペーン ～春の玄界灘を楽しむ～ボランティア募集！
47	H25.3.6	金印探訪バスツアー参加者募集中！
48	H25.3.18	海の中道フラワーピクニック2013 いよいよ開催！
49	H25.3.21	おもちゃ箱花壇に広がる黄色い絨毯 ～スイセンが見頃になりました～
50	H25.3.21	水辺に映り込む28万球の春色パレット ～チューリップとムスカリの競演が始まりました～
51	H25.3.21	ポニーの赤ちゃんが生まれました ～3/30・31は「動物ふれあいDAY」を開催します。～

【平成25年度】

NO	日付	内容
1	H25.4.2	花の丘のネモフィラが見ごろを迎えました
2	H25.4.11	50万本の花の地上絵が見ごろを迎えました！
3	H25.4.18	動物の森の人気者！ カピバラの三つ子が誕生しました
4	H25.4.24	全国からご当地グルメが大集合 C-1 cup in Uminaka開催
5	H25.5.2	「うみなかバラまつり2013」開催します 5/11（土）～6/2（日）
6	H25.5.2	ワンダーワールドエリア 5/11　新遊具誕生します
7	H25.5.10	バラが見ごろを迎えました
8	H25.5.15	動物の森ではベビーラッシュ
9	H25.5.23	みらいの森自然体験スクール参加者募集！
10	H25.5.29	コブハクチョウのヒナが誕生しました
11	H25.6.7	ボリビアリスザルの赤ちゃんが生まれました
12	H25.6.11	「あじさいの小径」3分咲き
13	H25.6.19	「大人のための一日飼育員体験」参加者募集！
14	H25.6.26	ハルシャギクが見ごろを迎えています
15	H25.7.3	30万人でにぎわう「海の中道サンシャインプール」 今夏、7月13日、オープン！！
16	H25.7.3	今年の夏休みは、海の中道海浜公園で決まり！子ども向け・スペシャルイベント参加者募集中！！
17	H25.7.9	花の地上絵デザイン募集中！
18	H25.7.16	人工哺育中のサツキちゃん、すくすく成長中！
19	H25.7.16	触れて、観察しよう！ 「カブトムシハウス」夏休み限定公開
20	H25.7.24	うみなか夢プログラム協力ボランティア募集中！
21	H25.7.31	この夏は、海の中道海浜公園でたくましくなれる！
22	H25.8.9	3万8千本のヒマワリ畑、間もなく見ごろ！
23	H25.8.9	リスザルとカピバラの共存展示を 期間限定で行います
24	H25.8.12	3万8千本のヒマワリ畑、見ごろを迎えました！
25	H25.8.22	ライトグリーンのコキアは夏だけ！
26	H25.8.29	秋の訪れ… パンパスグラスが見ごろを迎えています
27	H25.9.5	動物ふれあいデー開催
28	H25.9.10	日本の秋の原風景でおなじみのヒガンバナが 見ごろを迎えております
29	H25.9.17	うみなか＊はなまつり、いよいよ開催
30	H25.9.26	海の中道海浜公園“園弁プロジェクト”始動
31	H25.9.26	動物の森で大活躍！ZOOボランティア ボランティア募集中
32	H25.10.2	～秋のフラワーリレー第一弾～ 花の丘の北斜面のコスモス畑が間もなく見ごろを迎えます
33	H25.10.2	クリスマスキャンドルナイト 1万本のキャンドルアートデザイン募集中！
34	H25.10.2	初勤務！ 海ノ中道駅にヤギ副駅長が就任します

NO	日付	内容
35	H25.10.7	秋のフラワーリレー第2弾～ 一足早いコキアの紅葉！ 花の丘のコスモスが間もなく見ごろを迎えます
36	H25.10.7	ふるさとマルシェ&まごころショップ限定オープン
37	H25.10.7	笑いヨガ教室参加者募集
38	H25.10.17	秋の海の中道海浜公園はイベントがたくさん 10/19(土)おやこフェスタ、10/20(日)土木の日ファミリーフェスタ開催！！
39	H25.10.21	コスモス、台風の被害後、回復を見せています！
40	H25.10.21	みらいの森体験塾～秋の収穫祭～開催！
41	H25.10.31	チューリップ球根植付体験ボランティア募集！
42	H25.11.7	スロージョギング®教室参加者募集！
43	H25.11.11	香りの秋バラ、間もなく見ごろを迎えます
44	H25.11.22	キャンドルナイトボランティア募集
45	H25.11.29	市民共同でつくる1万本の壮大なキャンドルアート ーうみなかクリスマスキャンドルナイト2013開催　1223～1225—
46	H25.12.6	海の中道海浜公園で過ごすお正月～新春凧作り＆里のお正月体験＆新春餅つき大会～
47	H25.12.13	スマートフォンアプリ『うみなかナビ』スタート！！
48	H25.12.16	春を先取り！？ 冬咲きチューリップの展示を行います
49	H25.12.16	～うみなかクリスマスキャンドルナイト間もなく開催～ 高所作業車からの取材用撮影の予約開始！
50	H25.1.7	今週末は、うみなかでお正月を楽しもう！
51	H25.1.7	グランドゴルフ大会参加者募集中

【平成26年度】

NO	日付	内容
1	H26.4.1	花の丘のネモフィラが見ごろを迎えました
2	H26.4.8	50万本の花の地上絵が見ごろを迎えています
3	H26.4.18	C-1 cup in Uminaka開催
4	H26.4.18	「スポーツGOMI拾い大会inうみなか」初開催！ ～現在、参加チーム募集中です～
5	H26.4.28	「うみなかバラまつり2014」開催します
6	H26.5.1	『大人のための1日飼育員体験』参加者募集！
7	H26.5.9	5月10日（土）より“うみなかバラまつり2014”スタート バラが間もなく見ごろを迎えます
8	H26.5.21	スイレンの可憐な花が咲き始めました
9	H26.5.30	コブハクチョウのヒナが誕生しました
10	H26.5.30	プレーリードッグの赤ちゃんが巣穴から顔を出しました！
11	H26.6.13	ボリビアリスザルの赤ちゃんが生まれました
12	H26.6.20	『大人のための1日飼育員体験』参加者募集！
13	H26.6.27	みらいの森　自然体験スクール参加者募集！
14	H26.6.27	海浜植物　ハマナデシコが咲きはじめました
15	H26.7.2	30万人でにぎわう『海の中道サンシャインプール』 今夏、7月12日、オープン！！
16	H26.7.2	子ども向け・スペシャルスペシャルイベント参加者募集中！！
17	H26.7.15	クワガタ・カブトムシハウス夏休み限定オープン
18	H26.7.25	3万8千本のヒマワリ畑、咲き始めました！
19	H26.7.31	3万8千本のヒマワリ畑、見ごろを迎えました ～黄金色の大パノラマ～
20	H26.7.31	夏休みとっておきイベント！動物の森1日飼育員・サマースクール開催します
21	H26.8.12	成長中のかわいいグリーンコキア～フワフワ・モコモコの不思議な植物～
22	H26.8.25	秋の気配を感じるようになりました　巨大ススキ「パンパスグラス」が見ごろを迎えています
23	H26.8.25	この秋、“うみなか”からアウトドアライフを提案するイベントを初開催！OUTDOOR PARK IN UMINAKA
24	H26.9.3	～秋が近づいてきました～ 秋を彩る巨大ススキ『パンパスグラス』と『ヒガンバナ』
25	H26.9.3	9月20日から1週間は『動物愛護週間』です 動物ふれあいDAY開催！
26	H26.9.11	来週末、アウトドアプログラム満載イベント初開催！！ OUTDOOR PARK IN UMINAKA
27	H26.9.18	カラフルなコスモスの競演 「うみなか＊はなまつり2014」
28	H26.10.3	クリスマスキャンドルナイト 1万本のキャンドルアートデザイン募集中
29	H26.10.3	健康いきいきフェスタ＆ふるさとマルシェ開催！
30	H27.10.7	まんまるコキア、真っ赤に色づきました
31	H26.10.23	NPOはぁとスペースと九州産業大学との地域連携によるユニバーサルデザインチェックを実施します。
32	H26.10.23	台風を乗り越え、コスモスが見ごろを迎えています！
33	H26.11.5	スロージョキング教室参加者募集
34	H26.11.5	来春の海の中道海浜公園を彩る チューリップ球根植付体験ボランティア募集！

NO	日付	内容
35	H26.11.20	10,000本のキャンドルアートをみんなのチカラで灯そう！キャンドルナイトボランティア募集中！
36	H26.11.20	2015年は、未年…ヒツジの巨大アート、制作参加者大募集！
37	H26.11.28	市民共同でつくる1万本の壮大なキャンドルアート ～うみなかクリスマスキャンドルナイト開催～
38	H26.12.12	年明けは、1月2日より開園します 海の中道海浜公園で過ごすお正月
39	H26.12.12	干支の地上絵「ヒツジの巨大アート」製作します
40	H26.12.16	巨大なヒツジの親子が海の中道海浜公園に登場しました！
41	H26.12.16	『うみなかボールフェスタ』参加者募集中
42	H26.12.16	高所作業車からの取材用撮影の予約開始！
43	H26.12.22	春をもとめて… 冬咲きチューリップの展示が始まりました
44	H26.12.22	年賀状の撮影、まだ間に合います！
45	H27.1.6	1月12日（祝）海の中道海浜公園でお餅つき！
46	H27.1.6	第3回グラウンド・ゴルフ大会参加者募集中
47	H27.1.28	ナノハナが間もなく見ごろを迎えます
48	H27.1.28	海の中道フラワーピクニック2015「第4回うみなかフラワーガーデン・コンテスト」作品募集中！
49	H27.1.28	環境共生の森サポート・ボランティア募集中！
50	H27.2.5	うみなかキッズコンサート出演者募集中！
51	H27.2.24	冬の貴婦人　クリスマスローズが咲き始めました

公園利用者に無償で貸与している物品一覧

【平成２４年度】

●西口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		36	28	2	3	5	6	47	9	0	0	4	12
電動カート		14	8	7	4	2	2	14	3	1	2	0	8
ベビーカー		280	298	77	57	83	126	304	110	18	31	89	176
計		330	334	86	64	90	134	365	122	19	33	93	196
一日平均	車椅子	1.2	0.9	0.07	0.1	0.16	0.2	1.52	0.3	0	0	0.14	0.39
	電動カート	0.47	0.26	0.23	0.13	0.06	0.07	0.45	0.1	0.03	0.06	0	0.26
	ベビーカー	9.33	9.61	2.57	1.84	2.68	4.2	9.81	3.67	0.58	1	3.07	5.68
一日最大	車椅子	6	4	1	1	2	3	7	2	0	0	2	5
	電動カート	2	2	2	3	1	1	3	2	1	2	0	2
	ベビーカー	32	32	12	11	10	24	35	34	7	7	22	22

●西サイクロ

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		69	54	14	6	11	10	87	8	0	2	7	24
電動カート		60	67	17	9	12	22	71	15	6	5	6	43
ベビーカー		93	107	22	28	45	41	116	37	3	2	27	81
計		222	228	53	43	68	73	274	60	9	9	40	148
一日平均	車椅子	2.3	1.74	0.47	0.19	0.35	0.33	2.81	0.27	0	0.06	0.24	0.77
	電動カート	2	2.16	0.57	0.29	0.39	0.73	2.29	0.5	0.19	0.16	0.21	1.39
	ベビーカー	3.1	3.45	0.73	0.9	1.45	1.37	3.74	1.23	0.1	0.06	0.93	2.61
一日最大	車椅子	15	11	3	2	2	2	9	2	0	0	1	5
	電動カート	6	10	7	4	2	5	6	3	2	1	1	7
	ベビーカー	17	25	6	5	6	12	28	8	2	1	5	13

●海中口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		9	12	2	1	2	6	10	2	0	0	0	5
電動カート		8	11	5	0	1	3	6	9	0	1	1	11
ベビーカー		65	63	26	33	40	31	80	18	10	9	15	52
計		82	86	33	34	43	40	96	29	10	10	16	68
一日平均	車椅子	0.3	0.39	0.07	0.03	0.06	0.2	0.32	0.07	0	0	0	0.16
	電動カート	0.27	0.35	0.17	0	0.03	0.1	0.19	0.3	0	0.03	0.03	0.35
	ベビーカー	2.17	2.03	0.87	1.06	1.29	1.03	2.58	0.6	0.32	0.29	0.52	1.68
一日最大	車椅子	2	3	1	1	1	2	3	1	0	0	0	1
	電動カート	3	2	2	0	1	1	1	2	0	1	1	3
	ベビーカー	11	10	6	9	5	8	22	5	2	3	5	10

●ワンダーワールド口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		10	7	0	5	0	4	15	3	1	0	1	5
電動カート		9	6	1	0	2	1	9	5	0	0	1	6
ベビーカー		94	137	65	43	67	56	117	44	9	17	36	78
計		113	150	66	48	69	61	141	52	10	17	38	89
一日平均	車椅子	0.33	0.23	0	0.16	0	0.13	0.48	0.1	0.03	0	0.03	0.16
	電動カート	0.3	0.19	0.03	0	0.06	0.03	0.29	0.17	0	0	0.03	0.19
	ベビーカー	3.13	4.42	2.17	1.39	2.16	1.87	3.77	1.47	0.29	0.55	1.24	2.52
一日最大	車椅子	3	2	0	1	0	1	4	2	1	0	1	2
	電動カート	3	2	1	0	1	1	2	2	0	0	1	1
	ベビーカー	19	22	15	8	7	11	21	11	2	5	10	13

●光と風の広場口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		2	4	1	0	1	2	1	0	0	0	0	2
電動カート		0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0
ベビーカー		0	2	0	1	0	0	1	0	1	1	0	1
計		2	7	2	2	1	2	4	0	1	1	0	1
一日平均	車椅子	0.07	0.13	0.03	0	0.03	0.07	0.03	0	0	0	0	0.06
	電動カート	0	0.03	0.03	0.03	0	0	0.06	0	0	0	0	0
	ベビーカー	0	0.06	0	0.03	0	0	0.03	0	0.03	0.03	0	0.03
一日最大	車椅子	1	3	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1
	電動カート		1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	ベビーカー	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1

●カモ池口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電動カート													
ベビーカー		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一日平均	車椅子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電動カート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベビーカー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一日最大	車椅子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電動カート												
	ベビーカー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

公園利用者に無償で貸与している物品一覧

【平成２５年度】

●西口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		32	40	10	4	4	4	35	10	2	2	0	6
電動カート		17	23	12	2	0	3	13	3	1	2	0	3
ベビーカー		207	305	99	73	68	121	261	84	25	52	51	142
計		256	368	121	79	72	128	309	97	28	56	51	151
一日平均	車椅子	1.07	1.29	0.33	0.13	0.13	0.13	1.13	0.33	0.06	0.06	0	0.19
	電動カート	0.57	0.74	0.4	0.06	0	0.1	0.42	0.1	0.03	0.06	0	0.1
	ベビーカー	6.9	9.84	3.3	2.35	2.19	4.03	8.42	2.8	0.81	1.68	1.76	4.58
一日最大	車椅子	9	10	2	2	2	3	10	4	2	1	0	2
	電動カート	4	5	3	1	0	1	4	2	1	1	0	2
	ベビーカー	28	30	27	11	7	16	35	16	4	11	15	23

●西サイクロ

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		80	90	8	4	9	16	70	20	3	5	3	22
電動カート		55	76	9	12	4	22	53	10	5	6	7	20
ベビーカー		111	101	27	29	17	61	94	34	7	22	14	45
計		246	267	44	45	30	99	217	64	15	33	24	87
一日平均	車椅子	2.67	2.9	0.27	0.13	0.29	0.53	2.26	0.67	0.1	0.16	0.1	0.71
	電動カート	1.83	2.45	0.3	0.39	0.13	0.73	1.71	0.33	0.16	0.19	0.24	0.65
	ベビーカー	3.7	3.26	0.9	0.94	0.55	2.03	3.03	1.13	0.23	0.71	0.48	1.45
一日最大	車椅子	11	18	3	2	2	3	12	4	2	2	2	5
	電動カート	7	10	5	3	2	6	12	3	3	2	2	6
	ベビーカー	24	24	4	5	3	17	15	8	2	5	4	9

●海中口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		10	7	0	1	1	8	6	3	1	2	0	3
電動カート		10	10	0	0	1	5	8	5	0	3	0	8
ベビーカー		66	73	18	18	31	47	41	25	9	13	20	48
計		86	90	18	19	33	60	55	33	10	18	20	59
一日平均	車椅子	0.33	0.23	0	0.03	0.03	0.27	0.19	0.1	0.03	0.06	0	0.1
	電動カート	0.33	0.32	0	0	0.03	0.17	0.26	0.17	0	0.1	0	0.26
	ベビーカー	2.2	2.35	0.6	0.58	1	1.57	1.32	0.83	0.29	0.42	0.69	1.55
一日最大	車椅子	2	3	0	2	1	5	3	1	1	1	0	1
	電動カート	2	1	0	0	1	2	1	2	0	1	0	2
	ベビーカー	14	12	3	4	4	10	9	5	1	3	7	11

●ワンダーワールドロ

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		17	18	5	1	1	12	6	5	1	3	2	3
電動カート		20	17	3	0	3	0	9	2	1	2	0	3
ベビーカー		143	139	81	51	52	80	113	43	19	44	23	62
計		180	174	89	52	56	92	128	50	21	49	25	68
一日平均	車椅子	0.57	0.58	0.17	0.03	0.03	0.4	0.19	0.17	0.03	0.1	0.07	0.1
	電動カート	0.67	0.55	0.1	0	0.1	0	0.29	0.07	0.03	0.06	0	0.1
	ベビーカー	4.77	4.48	2.7	1.65	1.68	2.67	3.65	1.43	0.61	1.42	0.79	2
一日最大	車椅子	3	4	4	1	1	2	4	2	1	1	2	1
	電動カート	4	3	2	0	1	0	2	2	1	1	0	1
	ベビーカー	25	23	12	5	5	12	16	7	5	8	5	8

●光と風の広場口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		1	4	3	0	0	2	4	1	0	0	2	0
電動カート		1	3	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0
ベビーカー		0	5	1	1	0	1	2	1	0	0	0	1
計		2	12	4	1	0	3	6	3	0	1	3	1
一日平均	車椅子	0.03	0.13	0.1	0	0	0.07	0.13	0.03	0	0	0.07	0
	電動カート	0.03	0.1	0	0	0	0	0	0.03	0	0.03	0.03	0
	ベビーカー	0	0.16	0.03	0.03	0	0.03	0.06	0.03	0	0	0	0.03
一日最大	車椅子	1	2	1	0	0	1	3	1	0	0	2	0
	電動カート	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0
	ベビーカー	0	2	1	1	0	1	2	1	0	0	0	1

●カモ池口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
電動カート													
ベビーカー		2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
計		2	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0
一日平均	車椅子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.03	0	0
	電動カート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベビーカー	0.07	0.03	0.03	0	0	0	0	0	0	0.03	0	0
一日最大	車椅子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	電動カート												
	ベビーカー	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

公園利用者に無償で貸与している物品一覧

【平成２６年度】

●西口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		16	38	4	1	0	13	23	10	0	0	5	10
電動カート		10	19	2	0	1	3	17	7	2	1	1	5
ベビーカー		236	339	125	54	80	152	264	154	17	41	32	202
計		262	396	131	55	81	168	304	171	19	42	38	217
一日平均	車椅子	0.53	1.23	0.13	0.03	0	0.43	0.74	0.33	0	0	0.17	0.32
	電動カート	0.33	0.61	0.07	0	0.03	0.1	0.55	0.23	0.06	0.03	0.03	0.16
	ベビーカー	7.87	10.94	4.17	1.74	2.58	5.07	8.52	5.13	0.55	1.32	1.1	6.52
一日最大	車椅子	3	7	1	1	0	5	3	3	0	0	1	3
	電動カート	2	3	1	0	1	1	4	2	2	1	1	2
	ベビーカー	33	33	23	10	13	19	33	22	5	11	10	26

●西サイクロ

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		50	79	12	3	5	7	82	19	0	2	4	11
電動カート		61	65	15	11	7	15	55	18	0	4	7	25
ベビーカー		74	86	37	22	26	57	64	26	8	14	13	56
計		185	230	64	36	38	79	201	63	8	20	24	92
一日平均	車椅子	1.67	2.55	0.4	0.1	0.16	0.23	2.65	0.63	0	0.06	0.14	0.35
	電動カート	2.03	2.1	0.5	0.35	0.23	0.5	1.77	0.6	0	0.13	0.24	0.81
	ベビーカー	2.47	2.77	1.23	0.71	0.84	1.9	2.06	0.87	0.26	0.45	0.45	1.81
一日最大	車椅子	6	8	3	1	2	2	6	3	0	1	2	4
	電動カート	7	10	4	5	2	3	6	5	0	2	4	4
	ベビーカー	12	12	7	6	6	12	12	6	4	4	2	10

●海中口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		12	12	7	0	1	2	4	4	1	0	0	1
電動カート		8	18	12	5	2	6	12	1	1	2	2	3
ベビーカー		55	76	27	17	33	46	49	18	26	16	12	63
計		75	106	46	22	36	54	65	23	28	18	14	67
一日平均	車椅子	0.4	0.39	0.23	0	0.03	0.07	0.13	0.13	0.03	0	0	0.03
	電動カート	0.27	0.58	0.4	0.16	0.06	0.2	0.39	0.03	0.03	0.06	0.07	0.1
	ベビーカー	1.83	2.45	0.9	0.55	1.06	1.53	1.58	0.6	0.84	0.52	0.41	2.03
一日最大	車椅子	3	3	1	0	1	1	2	3	1	0	0	1
	電動カート	2	2	2	1	1	3	2	1	1	1	2	2
	ベビーカー	15	14	5	4	3	8	9	6	11	4	3	8

●ワンダーワールド口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		12	18	4	1	2	3	11	4	4	3	0	9
電動カート		5	6	2	2	2	7	16	5	1	3	2	7
ベビーカー		110	146	78	46	74	115	91	73	30	41	25	104
計		127	170	84	49	78	125	118	82	35	47	27	120
一日平均	車椅子	0.4	0.58	0.13	0.03	0.06	0.1	0.35	0.13	0.13	0.1	0	0.29
	電動カート	0.17	0.19	0.07	0.06	0.06	0.23	0.52	0.17	0.03	0.1	0.07	0.23
	ベビーカー	3.67	4.71	2.6	1.48	2.39	3.83	2.94	2.43	0.97	1.32	0.86	3.35
一日最大	車椅子	3	3	2	1	2	1	3	2	2	2	0	2
	電動カート	2	2	1	1	1	2	5	2	1	2	2	2
	ベビーカー	18	21	14	7	14	15	20	12	5	10	4	10

●光と風の広場口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		1	4	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0
電動カート		0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ベビーカー		2	4	0	0	0	1	2	0	0	0	2	1
計		3	9	0	0	0	3	5	1	0	0	2	1
一日平均	車椅子	0.03	0.13	0	0	0	0.03	0.1	0.03	0	0	0	0
	電動カート	0	0.03	0	0	0	0.03	0	0	0	0	0	0
	ベビーカー	0.07	0.13	0	0	0	0.03	0.06	0	0	0	0.07	0.03
一日最大	車椅子	1	2	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0
	電動カート	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	ベビーカー	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	2	1

●カモ池口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電動カート													
ベビーカー		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
一日平均	車椅子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電動カート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベビーカー	0	0	0	0.03	0	0	0	0	0	0	0	0
一日最大	車椅子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電動カート												
	ベビーカー	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

建物・工作物に係る修繕等履歴

＜建　物＞

単位：円（税抜）

規模	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
大規模（50万円以上）	2	1,567,000	2	1,465,450	1	513,000	2	1,181,817
中規模（10～50万円未満）	22	4,918,324	13	3,672,600	10	1,902,480	15	3,497,801
小規模（10万円未満）	23	1,165,210	28	1,126,662	30	1,123,801	27	1,138,558
計	47	7,650,534	43	6,264,712	41	3,539,281	44	5,818,176

＜工作物＞

単位：円（税抜）

規模	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
大規模（50万円以上）	12	8,642,816	12	8,908,170	10	7,439,526	11	8,330,171
中規模（10～50万円未満）	66	15,785,390	62	13,169,731	58	13,181,973	62	14,045,698
小規模（10万円未満）	54	2,443,832	50	2,669,991	56	2,754,156	53	2,622,660
計	132	26,872,038	124	24,747,892	124	23,375,655	127	24,998,528

＜建物及び工作物の合計＞

単位：円（税抜）

規模	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
大規模（50万円以上）	14	10,209,816	14	10,373,620	11	7,952,526	13	9,511,987
中規模（10～50万円未満）	88	20,703,714	75	16,842,331	68	15,084,453	77	17,543,499
小規模（10万円未満）	77	3,609,042	78	3,796,653	86	3,877,957	80	3,761,217
計	179	34,522,572	167	31,012,604	165	26,914,936	170	30,816,704

【平成24年度　建物管理】

番号	連番	契約日	年度	工種	細別	件名	金額：円（税抜）	規模
1	1	H24.4.7	24	建物	管理棟修繕	管理ｾﾝﾀｰ屋根補修	163,800	2
2	2	H24.5.2	24	建物	管理棟修繕	自動扉保守点検	58,000	3
3	3	H24.6.1	24	建物	管理棟修繕	管理ｾﾝﾀｰ出入口ﾄﾞｱ･ﾋﾝｼﾞ取替	50,000	3
4	4	H24.6.20	24	建物	管理棟修繕	管理ｾﾝﾀｰ更衣室洗面器排水詰まり修理	80,000	3
5	5	H24.7.1	24	建物	管理棟修繕	管理ｾﾝﾀｰ1階網戸取付作業	200,000	2
6	6	H24.10.2	24	建物	管理棟修繕	光と風の広場管理棟電動ｸﾞﾘﾙｼｬｯﾀｰ修理	15,000	3
7	7	H24.11.28	24	建物	管理棟修繕	ｼｰｻｲﾄﾞﾋﾙｼｵﾔ内部塗装作業	130,550	2
8	8	H24.12.9	24	建物	管理棟修繕	管理ｾﾝﾀｰ床補修	44,100	3
9	9	H25.2.13	24	建物	管理棟修繕	子供の広場管理棟排煙窓修理	100,800	2
10	10	H25.3.11	24	建物	管理棟修繕	管理ｾﾝﾀｰｶｰﾃﾝ縫製･取付作業	90,136	3
11	11	H24.5.2	24	建物	休憩所修繕	自動扉保守点検	186,500	2
12	12	H24.10.5	24	建物	休憩所修繕	ﾜﾝﾀﾞｰｼｬﾄﾙﾄｲﾚ重量ｼｬｯﾀｰ補修	258,600	2
13	13	H24.11.7	24	建物	休憩所修繕	水辺の広場ﾚｽﾄﾊｳｽ塗装作業	191,440	2
14	14	H24.11.14	24	建物	休憩所修繕	西ｻｲｸﾘﾝｸﾞｾﾝﾀｰ休憩所塗装作業	274,620	2
15	15	H24.4.7	24	建物	車庫・倉庫等修繕	動物の森飼料庫雨漏り外補修	232,400	2
16	16	H24.4.23	24	建物	車庫・倉庫等修繕	電気室外扉修理	78,000	3
17	17	H24.10.17	24	建物	車庫・倉庫等修繕	ｶﾞﾗｽ温室側窓開閉機修繕	90,000	3
18	18	H24.12.14	24	建物	車庫・倉庫等修繕	温室外扉修繕	25,000	3
19	19	H25.1.9	24	建物	車庫・倉庫等修繕	動物収容柵製作作業	226,000	2
20	20	H25.2.14	24	建物	車庫・倉庫等修繕	ﾋﾂｼﾞｴﾘｱ外柵その他補修作業	193,800	2
21	21	H24.4.25	24	建物	便所修繕	4月分簡易水洗ﾄｲﾚ4棟ﾘｰｽ料	13,667	3
22	22	H24.4.30	24	建物	便所修繕	5月分簡易水洗ﾄｲﾚﾘｰｽ料	48,333	3
23	23	H24.5.2	24	建物	便所修繕	自動扉保守点検	280,000	2
24	24	H24.5.7	24	建物	便所修繕	仮設ﾄｲﾚし尿処理手数料	5,524	3
25	25	H24.5.12	24	建物	便所修繕	ﾜﾝﾀﾞｰｼｬﾄﾙﾄｲﾚ入口ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ取替	15,000	3
26	26	H24.10.5	24	建物	便所修繕	ﾍﾞﾋﾞｰｼｰﾄ外修繕	232,492	2
27	27	H24.11.9	24	建物	便所修繕	多目的ﾄｲﾚ手摺補修	14,150	3
28	28	H24.11.15	24	建物	便所修繕	光と風の広場管理棟多目的ﾄｲﾚ自動ﾄﾞｱ修理	101,000	2
29	29	H24.12.2	24	建物	便所修繕	西池ﾚｽﾄﾊｳｽﾄｲﾚ外給水配管及びﾊﾞﾙﾌ修繕	40,000	3
30	30	H24.12.20	24	建物	便所修繕	管理ｾﾝﾀｰ男子ﾄｲﾚ排水破損修理	80,000	3
31	31	H25.1.2	24	建物	便所修繕	ｶﾅｰﾙ付近ﾄｲﾚ外修繕	267,440	2
32	32	H25.2.16	24	建物	便所修繕	ｼｵﾔ女子便所土間排水詰まり修理	94,800	3
33	33	H25.2.27	24	建物	便所修繕	動物の森身障者ﾄｲﾚ扉修理	67,000	3
34	34	H24.8.21	24	建物	建物その他修繕	動物の森洗濯機2台修理	52,000	3
35	35	H25.1.30	24	建物	建物その他修繕	動物の森洗濯機修理	24,500	3
36	36	H24.4.1	24	建物	空調設備維持修繕	大芝生ﾚｽﾄﾊｳｽｼｬﾜｰ用給湯器修繕	239,172	2
37	37	H24.4.18	24	建物	空調設備維持修繕	ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ空調機取替	283,810	2
38	38	H24.5.2	24	建物	空調設備維持修繕	空調設備保守点検	787,000	1
39	39	H24.5.21	24	建物	空調設備維持修繕	管理ｾﾝﾀｰｸｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ補給水配管修理	66,000	3
40	40	H24.8.25	24	建物	空調設備維持修繕	光と風の広場管理棟空調機修理	95,000	3
41	41	H24.10.2	24	建物	空調設備維持修繕	動物の森治療室ｴｱｺﾝ修繕	283,900	2
42	42	H24.8.4	24	建物	消防設備維持修繕	光と風の広場自動火災報知器取替修理	19,000	3
43	43	H24.4.2	24	建物	建物清掃	管理ｾﾝﾀｰ日常清掃業務	780,000	1
44	44	H24.4.2	24	建物	建物清掃	ｼｵﾔﾚｽﾄﾊｳｽ清掃業務	243,000	2
45	45	H24.5.16	24	建物	建物清掃	管理ｾﾝﾀｰ定期清掃業務	498,000	2
46	46	H24.10.11	24	建物	建物清掃	森の家外臨時清掃	206,000	2
47	47	H25.2.14	24	建物	建物清掃	動物の森ﾚｽﾄﾊｳｽ外臨時清掃	125,000	2
							7,650,534	

【平成24年度　工作物管理】

番号	連番	契約日	年度	工種	細別	件名	金額：円（税抜）	規模
1	1	H24.4.1	24	工作物	園路広場修繕	大型看板補修作業	103,000	2
2	2	H24.4.9	24	工作物	園路広場修繕	ﾊﾞﾗ園･ｻｲｸﾘﾝｸﾞｺｰｽ追加看板設置作業	151,000	2
3	3	H24.4.15	24	工作物	園路広場修繕	ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ利用案内制作･設置作業	172,000	2
4	4	H24.5.20	24	工作物	園路広場修繕	ｶﾓ池口看板製作･設置外作業	87,000	3
5	5	H24.5.21	24	工作物	園路広場修繕	遊べる噴水平板補修	43,000	3
6	6	H24.6.7	24	工作物	園路広場修繕	海の家警備詰所前看板製作･設置	130,000	2
7	7	H24.7.2	24	工作物	園路広場修繕	日除け設置作業	390,000	2
8	8	H24.7.2	24	工作物	園路広場修繕	公園内ﾊﾞｽ園路補修	610,000	1
9	9	H24.7.3	24	工作物	園路広場修繕	園内平板外不陸補修作業	76,870	3
10	10	H24.7.4	24	工作物	園路広場修繕	ﾌﾟｰﾙ前大看板補修作業	31,000	3
11	11	H24.7.25	24	工作物	園路広場修繕	ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟ舗装外園路補修	264,000	2
12	12	H24.7.29	24	工作物	園路広場修繕	ﾏﾘｰﾅ看板作成･設置	33,000	3
13	13	H24.9.5	24	工作物	園路広場修繕	公園内園路補修作業	460,000	2
14	14	H24.9.11	24	工作物	園路広場修繕	秋季イベント案内ｻｲﾝ製作･設置･撤去作業	372,100	2
15	15	H24.9.14	24	工作物	園路広場修繕	園内標識ｻｲﾝ補修	45,000	3
16	16	H24.9.17	24	工作物	園路広場修繕	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ誘導看板外製作･設置	93,000	3
17	17	H24.9.18	24	工作物	園路広場修繕	ｶﾅｰﾙ噴水渡り橋製作･設置	400,000	2
18	18	H24.10.2	24	工作物	園路広場修繕	日除け解体作業	76,900	3
19	19	H24.10.2	24	工作物	園路広場修繕	園内平板外不陸補修作業	123,000	2
20	20	H24.10.20	24	工作物	園路広場修繕	ｶﾗｽ注意看板製作･設置作業	78,000	3
21	21	H24.11.7	24	工作物	園路広場修繕	西口噴水前日除け解体作業	51,500	3
22	22	H24.11.7	24	工作物	園路広場修繕	園内ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ外修繕	239,000	2
23	23	H24.12.1	24	工作物	園路広場修繕	虹の池雨水排管及び桝設置作業	163,000	2
24	24	H25.1.23	24	工作物	園路広場修繕	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ内ﾄｲﾚ誘導看板設置作業	147,500	2
25	25	H25.2.1	24	工作物	園路広場修繕	ﾊﾝﾏｰﾄﾞﾘﾙ1台外1件ﾚﾝﾀﾙ料	1,650	3
26	26	H25.2.13	24	工作物	園路広場修繕	園内平板等不陸補修作業	153,750	2
27	27	H25.2.16	24	工作物	園路広場修繕	ﾊﾞﾗ園内丘造成作業	485,000	2
28	28	H25.3.6	24	工作物	園路広場修繕	ﾌﾗﾜｰﾋﾟｸﾆｯｸ2013誘導看板製作･設置	700,000	1
29	29	H25.3.13	24	工作物	園路広場修繕	公園内ﾊﾞｽ園路外舗装補修	480,000	2
30	30	H24.6.9	24	工作物	遊具維持修繕	ｽｶｲﾄﾞﾙﾌｨﾝ修繕	858,000	1
31	31	H24.8.22	24	工作物	遊具維持修繕	園内遊具外修繕	538,000	1
32	32	H25.1.9	24	工作物	遊具維持修繕	ｽｶｲﾄﾞﾙﾌｨﾝﾃﾞｯｷ塗装	215,000	2
33	33	H25.1.23	24	工作物	遊具維持修繕	遊具定期点検	1,181,116	1
34	34	H25.2.2	24	工作物	遊具維持修繕	ｺﾝﾊﾞﾝ遊具修繕	990,000	1
35	35	H24.4.5	24	工作物	工作物その他修繕	動物の森正面入口塗装	186,080	2
36	36	H24.4.7	24	工作物	工作物その他修繕	ﾃｰﾌﾞﾙ修繕	22,000	3
37	37	H24.4.7	24	工作物	工作物その他修繕	ﾌﾗｯｸﾞﾎﾟｰﾙ移設作業	187,700	2
38	38	H24.4.10	24	工作物	工作物その他修繕	中央駐車場案内ｻｲﾝ修繕	65,000	3
39	39	H24.4.17	24	工作物	工作物その他修繕	ﾊﾞﾗ園塗装作業	169,970	2
40	40	H24.4.18	24	工作物	工作物その他修繕	子供の砦手摺り外修繕	88,400	3
41	41	H24.4.18	24	工作物	工作物その他修繕	ﾊﾟﾈﾙ･ﾃﾞ･ｽｸﾘｰﾝ組立･設置	285,000	2
42	42	H24.4.25	24	工作物	工作物その他修繕	ﾊﾞﾗ園･ﾌﾗﾜｰﾐｭｰｼﾞｱﾑ･動物の森塗装作業	130,640	2
43	43	H24.4.26	24	工作物	工作物その他修繕	野外卓修繕	21,500	3
44	44	H24.4.28	24	工作物	工作物その他修繕	大芝生ﾚｽﾄﾊｳｽ前背付ﾍﾞﾝﾁ修繕	172,800	2
45	45	H24.5.2	24	工作物	工作物その他修繕	ﾊﾞﾗ園展望台設置	550,000	1
46	46	H24.5.6	24	工作物	工作物その他修繕	ﾊﾞﾗ園ﾄｲﾚ前縁台修繕	125,500	2
47	47	H24.5.6	24	工作物	工作物その他修繕	ﾊﾞﾘｹｰﾄﾞ塗装作業	91,100	3
48	48	H24.5.8	24	工作物	工作物その他修繕	ﾌﾗﾐﾝｺﾞ･ﾃﾝﾄｼｪﾙﾀｰ設置作業	325,000	2
49	49	H24.5.12	24	工作物	工作物その他修繕	野外卓大及び小修繕	165,600	2
50	50	H24.6.1	24	工作物	工作物その他修繕	園内ｺﾞﾐ箱塗装	101,040	2
51	51	H24.6.13	24	工作物	工作物その他修繕	ﾌﾗﾜｰﾐｭｰｼﾞｱﾑ内ﾍﾞﾝﾁ塗装	275,000	2
52	52	H24.7.1	24	工作物	工作物その他修繕	園内ｺﾞﾐ箱塗装	174,570	2
53	53	H24.7.28	24	工作物	工作物その他修繕	掲示板ｶﾞﾗｽ戸滑車取替	7,000	3
54	54	H24.7.29	24	工作物	工作物その他修繕	園内ｺﾞﾐ箱塗装	152,000	2
55	55	H24.8.5	24	工作物	工作物その他修繕	ﾘｿﾞｰﾄｴﾘｱ背付ﾍﾞﾝﾁ修繕	221,500	2

56	56	H24.8.22	24	工作物	工作物その他修繕	園内ｺﾞﾐ箱塗装	153,810	2
57	57	H24.9.12	24	工作物	工作物その他修繕	光と風の広場ﾊﾟﾗｿﾙ･ﾍﾞﾝﾁ塗装	207,180	2
58	58	H24.10.2	24	工作物	工作物その他修繕	光と風の広場ｱｰﾁ･ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ鉄骨塗装	143,470	2
59	59	H24.10.5	24	工作物	工作物その他修繕	光と風の広場花びらﾃﾝﾄ張替	250,000	2
60	60	H24.10.11	24	工作物	工作物その他修繕	動物顔出し看板床補修	109,900	2
61	61	H24.11.1	24	工作物	工作物その他修繕	西口ﾄｲﾚ棟横門扉修繕	254,300	2
62	62	H24.12.2	24	工作物	工作物その他修繕	虹の池外ﾍﾞﾝﾁ塗装作業	162,845	2
63	63	H24.12.5	24	工作物	工作物その他修繕	電照ｱｸﾘﾙ製作	60,600	3
64	64	H24.12.14	24	工作物	工作物その他修繕	ふわんぽりんｼｪﾙﾀｰ横幕取付作業	40,000	3
65	65	H24.12.14	24	工作物	工作物その他修繕	西口広場ﾊﾟﾗｿﾙ及びﾍﾞﾝﾁ外塗装作業	170,100	2
66	66	H25.1.2	24	工作物	工作物その他修繕	子供の広場ﾊﾟｰｺﾞﾗ･ﾍﾞﾝﾁ塗装	272,110	2
67	67	H25.1.2	24	工作物	工作物その他修繕	海の中道駅前ﾍﾞﾝﾁ修繕	206,300	2
68	68	H25.1.9	24	工作物	工作物その他修繕	西口広場ﾊﾟﾗｿﾙﾃﾝﾄ補修	154,000	2
69	69	H25.1.15	24	工作物	工作物その他修繕	ﾊﾟﾗｿﾙ･照明ﾎﾟｰﾙ外塗装	108,880	2
70	70	H24.4.12	24	工作物	電気設備維持修繕	園内建物設備改修作業	170,000	2
71	71	H24.7.1	24	工作物	電気設備維持修繕	7月分計画停電対応用発電機13台外ﾘｰｽ料	379,820	2
72	72	H24.7.9	24	工作物	電気設備維持修繕	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ室外非常用電源設置作業	407,000	2
73	73	H24.7.27	24	工作物	電気設備維持修繕	計画停電による発電機ﾘｰｽ料	428,125	2
74	74	H24.10.5	24	工作物	電気設備維持修繕	近隣広場ﾄｲﾚ電源ﾎﾞｯｸｽ設置外作業	280,000	2
75	75	H24.10.12	24	工作物	電気設備維持修繕	発電機及び投光機ﾚﾝﾀﾙ料	29,600	3
76	76	H24.10.24	24	工作物	電気設備維持修繕	ﾊﾞｽ停照明用電源敷設作業	260,000	2
77	77	H24.12.5	24	工作物	電気設備維持修繕	高所作業車1台ﾚﾝﾀﾙ料	51,580	3
78	78	H24.12.11	24	工作物	電気設備維持修繕	夜間開園時照明施設設置･撤去（投光機ﾚﾝﾀﾙ料）	125,500	2
79	79	H24.12.18	24	工作物	電気設備維持修繕	ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ設置及び撤去作業	520,000	1
80	80	H24.12.18	24	工作物	電気設備維持修繕	「うみなかｸﾘｽﾏｽｷｬﾝﾄﾞﾙ」発電機2台ﾚﾝﾀﾙ料	58,810	3
81	81	H25.1.9	24	工作物	電気設備維持修繕	動物の森冷凍庫交換	86,500	3
82	82	H25.1.23	24	工作物	電気設備維持修繕	高所作業車1台ﾚﾝﾀﾙ料	43,600	3
83	83	H25.2.14	24	工作物	電気設備維持修繕	発電機1台修理	25,000	3
84	84	H25.3.1	24	工作物	電気設備維持修繕	ﾓﾙﾓｯﾄ舎電源引込外作業	120,000	2
85	85	H24.4.9	24	工作物	水道設備維持修繕	光と風の広場ｶﾓ池横ﾄｲﾚ水栓取替	25,000	3
86	86	H24.4.11	24	工作物	水道設備維持修繕	観覧車裏消火栓嵩上げ作業	127,000	2
87	87	H24.4.23	24	工作物	水道設備維持修繕	ﾃﾆｽｺｰﾄ横水道ﾒｰﾀｰ取替	44,000	3
88	88	H24.5.20	24	工作物	水道設備維持修繕	ﾌﾗﾐﾝｺﾞ池排水ﾊﾞﾙﾌﾞ修繕	190,000	2
89	89	H24.6.13	24	工作物	水道設備維持修繕	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝﾄｲﾚ上水切替作業	24,000	3
90	90	H24.7.25	24	工作物	水道設備維持修繕	近隣広場ﾃﾆｽｺｰﾄ横漏水修理	33,100	3
91	91	H24.7.28	24	工作物	水道設備維持修繕	動物の森ﾐｽﾄｼｬﾜｰ取付	95,000	3
92	92	H24.8.5	24	工作物	水道設備維持修繕	西口ﾐｽﾄｼｬﾜｰ取付	79,000	3
93	93	H24.8.15	24	工作物	水道設備維持修繕	子供の広場ﾐｽﾄ用ﾌｨﾙﾀｰ取替	24,000	3
94	94	H24.10.5	24	工作物	水道設備維持修繕	動物の森ﾎﾟﾆｰ舎水道修理	43,600	3
95	95	H24.12.24	24	工作物	水道設備維持修繕	海の中道駅付近上水漏水修繕	70,322	3
96	96	H25.1.23	24	工作物	水道設備維持修繕	水飲み場自閉水栓ﾌﾟﾗｸﾞ止め作業	6,700	3
97	97	H25.2.23	24	工作物	水道設備維持修繕	浄水器ﾌｨﾙﾀｰ取替点検	22,000	3
98	98	H24.4.18	24	工作物	水循環設備維持修繕	ﾌﾗﾜｰﾐｭｰｼﾞｱﾑ内ｹﾞｰﾄ弁取替	32,000	3
99	99	H24.4.23	24	工作物	水循環設備維持修繕	大芝生井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ配管漏水修理	70,000	3
100	100	H24.5.1	24	工作物	水循環設備維持修繕	5月分じゃぶじゃぶ池外水質分析測定	45,000	3
101	101	H24.5.10	24	工作物	水循環設備維持修繕	ﾊﾞﾗ園散水栓修理	7,500	3
102	102	H24.5.15	24	工作物	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池制御盤及びﾎﾟﾝﾌﾟ盤修理	150,000	2
103	103	H24.6.14	24	工作物	水循環設備維持修繕	6月分じゃぶじゃぶ池外水質分析測定	24,000	3
104	104	H24.7.1	24	工作物	水循環設備維持修繕	7月分じゃぶじゃぶ池外水質分析測定	24,000	3
105	105	H24.8.4	24	工作物	水循環設備維持修繕	8月分じゃぶじゃぶ池外水質分析測定	24,000	3
106	106	H24.8.6	24	工作物	水循環設備維持修繕	ﾌﾗﾜｰﾐｭｰｼﾞｱﾑ電磁弁取替	23,000	3
107	107	H24.9.8	24	工作物	水循環設備維持修繕	9月分じゃぶじゃぶ池外水質分析測定	24,000	3
108	108	H24.10.2	24	工作物	水循環設備維持修繕	ｶﾅｰﾙ池付近排水弁蓋嵩下げ作業	47,500	3
109	109	H24.10.3	24	工作物	水循環設備維持修繕	大芝生井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ量水器取替	525,000	1
110	110	H24.10.13	24	工作物	水循環設備維持修繕	大芝生加圧ﾀﾝｸｴｱｰ補給ﾊﾞﾙﾌﾞ取付外作業	42,000	3
111	111	H25.1.9	24	工作物	水循環設備維持修繕	彩の池噴水No.2ﾎﾟﾝﾌﾟ点検	42,000	3
112	112	H25.3.11	24	工作物	水循環設備維持修繕	ﾌﾗﾜｰﾐｭｰｼﾞｱﾑ漏水修理	19,000	3

113	113	H25.3.13	24	工作物	水循環設備維持修繕	ｼﾝﾌｫﾆｰｶﾞｰﾃﾞﾝ散水栓修理	31,000	3
114	114	H24.11.30	24	工作物	放送設備維持修繕	園内放送設備点検	700,000	1
115	115	H24.5.1	24	工作物	電話設備維持修繕	園内非常用電話･身障者ﾄｲﾚ警報設備点検	150,000	2
116	116	H24.7.23	24	工作物	電話設備維持修繕	園内非常電話改修作業	70,000	3
117	117	H24.4.5	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備ﾌﾘｸﾄ取替	62,000	3
118	118	H24.4.11	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ(P1-6No.2)分解整備	740,700	1
119	119	H24.4.12	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	ﾃﾞｨｷｬﾝﾌﾟ場横汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ取替	280,000	2
120	120	H24.5.7	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備制御盤修理	180,000	2
121	121	H24.5.8	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ(P1-6No.1)分解整備	460,000	2
122	122	H24.6.6	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備保守点検	730,000	1
123	123	H24.7.4	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	ﾏﾝﾎｰﾙﾎﾟﾝﾌﾟ点検作業	55,000	3
124	124	H24.7.13	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	西口ﾄｲﾚ汚水桝取替及び管修理	468,000	2
125	125	H24.9.3	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	P1-6汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ室ﾏｸﾞﾈｯﾄｽｲｯﾁ外取替	190,000	2
126	126	H24.9.5	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	P1-6ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ回路修繕作業	103,300	2
127	127	H24.9.14	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ室脱臭装置活性炭入替作業	496,000	2
128	128	H24.12.8	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	ﾌﾗﾜｰﾐｭｰｼﾞｱﾑ前汚水配管敷設作業	360,000	2
129	129	H25.1.2	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	P1-6ﾎﾟﾝﾌﾟ漏電ﾌﾞﾚｰｶｰ取替	236,000	2
130	130	H25.1.2	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	大芝生広場FRPﾏﾝﾎｰﾙ蓋取替作業	27,500	3
131	131	H25.1.9	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	花時計横排水管布設替作業	461,000	2
132	132	H25.2.6	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	水鳥の池No.1流水ﾎﾟﾝﾌﾟ整備	450,000	2
							26,872,038	

【平成25年度　建物管理】

番号	連番	契約日	年度	工種	細別	件名	金額：円（税抜）	規模
1	48	H25.4.6	25	建物	管理棟修繕	光と風の広場管理棟電動ｸﾞﾘﾙｼｬｯﾀｰ修理作業	470,000	2
2	49	H25.4.6	25	建物	管理棟修繕	ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ内ｶｰﾃﾝ取付外作業	95,213	3
3	50	H25.4.18	25	建物	管理棟修繕	自動扉保守点検	58,000	3
4	51	H25.5.22	25	建物	管理棟修繕	子供の広場管理棟ﾄﾞｱ修繕	35,680	3
5	52	H25.8.6	25	建物	管理棟修繕	西口管理棟ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ修繕	62,740	3
6	53	H25.12.5	25	建物	管理棟修繕	子供の広場管理棟ﾀｲﾙ修繕	69,469	3
7	54	H25.4.18	25	建物	休憩所修繕	自動扉保守点検	186,500	2
8	55	H25.4.20	25	建物	休憩所修繕	渡船場ｽﾛｰﾌﾟ外修繕	163,700	2
9	56	H25.5.1	25	建物	休憩所修繕	芝生広場小屋ｶﾞﾗｽ修繕	5,000	3
10	57	H25.6.19	25	建物	休憩所修繕	大芝生ﾚｽﾄﾊｳｽ建具修繕	75,000	3
11	58	H25.7.9	25	建物	休憩所修繕	西戸崎ﾚｽﾄﾊｳｽ天井石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張替	23,060	3
12	59	H25.4.5	25	建物	車庫・倉庫等修繕	ｸｼﾞｬｸ舎屋根修繕	441,800	2
13	60	H25.8.13	25	建物	車庫・倉庫等修繕	D地区電動ｼｬｯﾀｰ修繕	464,000	2
14	61	H25.8.21	25	建物	車庫・倉庫等修繕	動物の森飼料庫屋根補修	285,000	2
15	62	H25.4.13	25	建物	便所修繕	西ｻｲｸﾘﾝｸﾞｾﾝﾀｰ多目的ﾄｲﾚ外修繕	67,000	3
16	63	H25.4.18	25	建物	便所修繕	自動扉保守点検	280,000	2
17	64	H25.6.1	25	建物	便所修繕	園内便所点検票外設置作業	147,900	2
18	65	H25.6.9	25	建物	便所修繕	渡船場丸便所多目的ﾄｲﾚ扉修繕	695,500	1
19	66	H25.6.19	25	建物	便所修繕	ﾜﾝﾀﾞｰｼｬﾄﾙﾄｲﾚ小便器用ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾙﾌﾞ修繕	21,500	3
20	67	H25.7.24	25	建物	便所修繕	ｶﾓ池口ﾄｲﾚ自動扉修繕	70,000	3
21	68	H25.10.13	25	建物	便所修繕	海の松原ﾄｲﾚ小便器修繕	54,700	3
22	69	H25.12.17	25	建物	便所修繕	ﾊﾞﾗ園シャワートイレ修繕	30,000	3
23	70	H26.3.5	25	建物	便所修繕	光と風の広場ﾃﾞｨｷｬﾝﾌﾟ場受付横ﾄｲﾚ扉修繕	15,000	3
24	71	H25.6.16	25	建物	建物その他修繕	光と風の広場口外券売機修理	390,100	2
25	72	H25.8.19	25	建物	建物その他修繕	海の中道駅口自動券売機修理	24,600	3
26	73	H25.8.21	25	建物	建物その他修繕	ｶﾓ池口外自動券売機修理	117,200	2
27	74	H25.10.2	25	建物	建物その他修繕	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ口自動券売機修理	79,600	3
28	75	H25.10.6	25	建物	建物その他修繕	海の中道駅口自動券売機修理	24,600	3
29	76	H25.11.21	25	建物	建物その他修繕	カモ池口自動券売機修理	24,600	3
30	77	H25.12.1	25	建物	建物その他修繕	カモ池口自動券売機修理	24,600	3
31	78	H25.12.19	25	建物	建物その他修繕	海の中道駅口自動券売機修理	24,600	3
32	79	H25.12.27	25	建物	建物その他修繕	光と風の広場口自動券売機修理	24,600	3
33	80	H26.2.12	25	建物	建物その他修繕	光と風の広場自動券売機修理	24,600	3
34	81	H26.2.19	25	建物	建物その他修繕	動物の森ﾚｽﾄﾊｳｽ浄水器ﾌｨﾙﾀｰ取替	22,000	3
35	82	H25.5.1	25	建物	空調設備維持修繕	空調設備保守点検	769,950	1
36	83	H25.6.26	25	建物	空調設備維持修繕	ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ空調設備点検整備	8,000	3
37	84	H25.7.3	25	建物	空調設備維持修繕	動物の森ﾚｽﾄﾊｳｽ空調機ｶﾞﾗﾘ修繕	53,700	3
38	85	H25.7.3	25	建物	空調設備維持修繕	ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ管理棟ｴｱｺﾝ修理	23,800	3
39	86	H26.2.1	25	建物	空調設備維持修繕	光と風の広場管理棟空調機修理	103,400	2
40	87	H25.6.7	25	建物	消防設備維持修繕	管理ｾﾝﾀｰ誘導灯取替	52,000	3
41	88	H25.6.15	25	建物	消防設備維持修繕	廃消火器処分費	33,000	3
42	89	H25.4.18	25	建物	建物清掃	ｼｵﾔﾚｽﾄﾊｳｽ清掃	423,000	2
43	90	H25.9.18	25	建物	建物清掃	森の家・動物の森ﾚｽﾄﾊｳｽ・水辺のﾚｽﾄﾊｳｽ清掃	200,000	2
							6,264,712	

【平成25年度　工作物管理】

番号	連番	契約日	年度	工種	細別	件名	金額：円（税抜）	規模
1	133	H25.4.17	25	工作物	園路広場修繕	ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ前歩道修理	171,100	2
2	134	H25.4.22	25	工作物	園路広場修繕	動物の森内ﾍﾞﾝﾁ外修繕	126,100	2
3	135	H25.4.27	25	工作物	園路広場修繕	うみなかﾊﾞﾗまつり看板製作設置・撤去作業	155,000	2
4	136	H25.4.30	25	工作物	園路広場修繕	うみなかﾊﾞﾗまつりのぼり製作設置・撤去作業	176,500	2
5	137	H24.5.2	25	工作物	園路広場修繕	ﾌﾗﾜｰﾐｭｰｼﾞｱﾑﾀｲﾙ外園路補修工事	950,000	1
6	138	H25.5.14	25	工作物	園路広場修繕	子供の砦園路補修	66,420	3
7	139	H25.5.20	25	工作物	園路広場修繕	大型看板施設名称変更作業	128,000	2
8	140	H25.5.20	25	工作物	園路広場修繕	ｼｵﾔﾚｽﾄﾊｳｽ周辺側溝蓋改修	250,000	2
9	141	H25.5.29	25	工作物	園路広場修繕	大型看板補修外作業	49,000	3
10	142	H25.6.5	25	工作物	園路広場修繕	管理ｾﾝﾀｰ周り舗装修繕	750,000	1
11	143	H25.6.9	25	工作物	園路広場修繕	ｼｵﾔ階段手摺修繕	310,200	2
12	144	H25.6.15	25	工作物	園路広場修繕	ｻｲｸﾘﾝｸﾞ園路不陸整正及び拡張工事	700,000	1
13	145	H25.7.1	25	工作物	園路広場修繕	園内陥没箇所外補修作業	149,250	2
14	146	H25.7.5	25	工作物	園路広場修繕	西口仮設日除け設置作業	468,000	2
15	147	H25.7.20	25	工作物	園路広場修繕	秋季花修景予告看板製作・設置・撤去作業	145,000	2
16	148	H25.7.20	25	工作物	園路広場修繕	ﾎﾃﾙ前ﾚﾝｶﾞﾌﾞﾛｯｸ補修工事	180,000	2
17	149	H25.7.24	25	工作物	園路広場修繕	西口仮設日除け屋根材張替作業	160,000	2
18	150	H25.8.3	25	工作物	園路広場修繕	子供の広場管理棟付近平板補修作業	33,000	3
19	151	H25.9.5	25	工作物	園路広場修繕	「うみなか＊はなまつり」のぼり製作・設置・撤去作業	225,400	2
20	152	H25.9.5	25	工作物	園路広場修繕	「うみなか＊はなまつり」看板製作・設置作業	181,000	2
21	153	H25.9.18	25	工作物	園路広場修繕	西口仮設日除け解体作業	136,000	2
22	154	H25.10.9	25	工作物	園路広場修繕	ﾌﾟｰﾙ出口舗装・側溝蓋改修工事	600,000	1
23	155	H25.11.24	25	工作物	園路広場修繕	ｼﾞｮｷﾞﾝｸﾞｺｰｽ案内誘導看板外撤去	93,560	3
24	156	H25.12.10	25	工作物	園路広場修繕	野外劇場内腐食鉄蓋修繕	42,000	3
25	157	H26.2.12	25	工作物	園路広場修繕	西口ｱﾌﾟﾛｰﾁ橋案内誘導標識修繕	230,000	2
26	158	H26.3.2	25	工作物	園路広場修繕	ﾃﾞｨｽｸｺﾞﾙﾌ外案内看板修繕	225,500	2
27	159	H26.3.6	25	工作物	園路広場修繕	森の家ｻｲｸﾙﾎﾟｹｯﾄ外設置作業	70,000	3
28	160	H26.3.17	25	工作物	園路広場修繕	海の中道ﾌﾗﾜｰﾋﾟｸﾆｯｸ2014誘導看板外設営	800,000	1
29	161	H25.4.4	25	工作物	遊具維持修繕	ｺﾝﾊﾟﾝ遊具汽車・客車外修繕	211,000	2
30	162	H25.5.14	25	工作物	遊具維持修繕	ｽｶｲﾄﾞﾙﾌｨﾝゆらりんﾈｯﾄ修繕	198,950	2
31	163	H25.6.24	25	工作物	遊具維持修繕	子供のとりで滑り台ﾛｰﾗｰ仕分け作業	39,375	3
32	164	H25.7.1	25	工作物	遊具維持修繕	遊具注意喚起看板製作・設置作業	260,000	2
33	165	H25.7.2	25	工作物	遊具維持修繕	コンパン遊具汽車修繕	228,000	2
34	166	H25.7.16	25	工作物	遊具維持修繕	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞﾐｽﾄﾃﾝﾄ減圧弁取付	20,000	3
35	167	H25.7.17	25	工作物	遊具維持修繕	ｺﾝﾋﾞﾈｰｼｮﾝ外遊具修繕	258,000	2
36	168	H25.8.3	25	工作物	遊具維持修繕	ローラー滑り台ﾛｰﾗｰ取替	324,000	2
37	169	H25.8.10	25	工作物	遊具維持修繕	こどもの砦ﾘﾝｸﾞﾄﾝﾈﾙ注意表示幕設置	101,000	2
38	170	H25.8.14	25	工作物	遊具維持修繕	ぶらぶらﾀｲﾔ外修繕	86,000	3
39	171	H25.8.28	25	工作物	遊具維持修繕	遊具注意書きサイン製作	141,000	2
40	172	H25.10.11	25	工作物	遊具維持修繕	遊具定期点検	944,970	1
41	173	H25.10.23	25	工作物	遊具維持修繕	ｺﾝｸﾘｰﾄ遊具基礎露出箇所補修	25,750	3
42	174	H25.11.6	25	工作物	遊具維持修繕	空気膜構造遊具定期点検	406,946	2
43	175	H26.1.21	25	工作物	遊具維持修繕	ｻﾞｲﾙｸﾗｲﾑ外修繕	41,000	3
44	176	H26.3.13	25	工作物	遊具維持修繕	ワンカﾛｰﾌﾟｳｪｲ修繕	20,500	3
45	177	H25.4.10	25	工作物	工作物その他修繕	バラ園ロープ柵設置工事	184,000	2
46	178	H25.4.10	25	工作物	工作物その他修繕	ﾊﾞﾗ園ﾊﾞｰｺﾞﾗ柱補修	255,000	2
47	179	H25.5.25	25	工作物	工作物その他修繕	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞﾛ壁面ﾀｲﾙ修繕	184,000	2
48	180	H25.6.12	25	工作物	工作物その他修繕	B・D地区工作物点検	78,750	3
49	181	H25.6.22	25	工作物	工作物その他修繕	動物の森排水桝設置工事	320,000	2
50	182	H25.6.26	25	工作物	工作物その他修繕	園内消火栓設備点検作業	105,000	2
51	183	H25.7.2	25	工作物	工作物その他修繕	ﾍﾞﾝﾁ及び喫煙所ﾗﾃｨｽ塗装	232,245	2
52	184	H25.7.6	25	工作物	工作物その他修繕	動物の森門扉補修	349,400	2
53	185	H25.7.10	25	工作物	工作物その他修繕	高所作業車1台ﾚﾝﾀﾙ料	174,000	2
54	186	H25.7.15	25	工作物	工作物その他修繕	くじらぐもふわんポリン周辺舗装外打ち水作業	78,750	3
55	187	H25.7.16	25	工作物	工作物その他修繕	動物の森ﾐｽﾄﾌｧﾝ1台ﾚﾝﾀﾙ料	53,100	3

56	188	H25.7.20	25	工作物	工作物その他修繕	清掃詰所入口門扉補修	62,500	3
57	189	H25.8.14	25	工作物	工作物その他修繕	B・D・ﾘｿﾞｰﾄ地区工作物点検	52,500	3
58	190	H25.8.17	25	工作物	工作物その他修繕	動物の森ﾐｽﾄﾌｧﾝﾚﾝﾀﾙ料	25,800	3
59	191	H25.8.18	25	工作物	工作物その他修繕	くじら山ネット張替作業	92,250	3
60	192	H25.9.5	25	工作物	工作物その他修繕	仮設休憩所用ﾃﾝﾄﾚﾝﾀﾙ設営・撤去業務	220,000	2
61	193	H25.9.18	25	工作物	工作物その他修繕	カモ池ﾌｪﾝｽ設置作業	119,600	2
62	194	H25.10.3	25	工作物	工作物その他修繕	仮設休憩用ﾃﾝﾄ台風対策措置	100,000	2
63	195	H25.10.5	25	工作物	工作物その他修繕	B・Dﾘｿﾞｰﾄ地区工作物点検	76,800	3
64	196	H25.10.20	25	工作物	工作物その他修繕	仮設休憩用ﾃﾝﾄﾚﾝﾀﾙ（期間延長）	12,800	3
65	197	H25.10.23	25	工作物	工作物その他修繕	ﾘｿﾞｰﾄｴﾘｱ海岸沿い陥没補修外作業	79,100	3
66	198	H25.11.1	25	工作物	工作物その他修繕	ﾗﾝﾆﾝｸﾞｺｰｽ案内誘導看板設置業務	649,200	1
67	199	H25.12.5	25	工作物	工作物その他修繕	ﾊﾞﾘｶｰ外修繕	58,531	3
68	200	H25.12.11	25	工作物	工作物その他修繕	ふわんぽりんｼｪﾙﾀｰ横幕取付作業	40,000	3
69	201	H26.1.18	25	工作物	工作物その他修繕	タイヤﾄﾝﾈﾙ外修繕	284,000	2
70	202	H26.1.22	25	工作物	工作物その他修繕	動物の森車椅子用ｹﾞｰﾄ修繕	157,240	2
71	203	H26.2.2	25	工作物	工作物その他修繕	環境学習ｾﾙﾌｶﾞｲﾄﾞﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ制作・設置	489,000	2
72	204	H26.2.19	25	工作物	工作物その他修繕	B・D・ﾘｿﾞｰﾄ地区工作物点検	46,100	3
73	205	H25.4.6	25	工作物	電気設備維持修繕	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ電源引込外作業	121,000	2
74	206	H25.4.20	25	工作物	電気設備維持修繕	虹池・彩りの池補給水制御盤外ﾘﾚｰ交換	76,300	3
75	207	H25.5.29	25	工作物	電気設備維持修繕	虹池・彩りの池補給用ﾎﾟﾝﾌﾟ盤ﾏｸﾞﾈｯﾄﾘﾚｰ外交換	93,930	3
76	208	H25.6.5	25	工作物	電気設備維持修繕	管理ｾﾝﾀｰ制御盤ﾀｲﾑｽｲｯﾁ外電気設備改修作業	215,000	2
77	209	H25.7.18	25	工作物	電気設備維持修繕	ﾘｿﾞｰﾄｴﾘｱ外灯設備点検・回収作業	38,000	3
78	210	H25.9.11	25	工作物	電気設備維持修繕	カモ池仮設照明設置外作業	74,000	3
79	211	H25.11.11	25	工作物	電気設備維持修繕	分電盤補強作業	66,000	3
80	212	H25.12.4	25	工作物	電気設備維持修繕	動物ﾄﾋﾟｱﾘｰ改修作業	150,000	2
81	213	H25.12.16	25	工作物	電気設備維持修繕	発電機4台・投光器9台ﾚﾝﾀﾙ料	174,200	2
82	214	H25.12.18	25	工作物	電気設備維持修繕	ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ設置及び撤去作業	285,000	2
83	215	H26.2.20	25	工作物	電気設備維持修繕	動物の森洗濯機修理	26,200	3
84	216	H26.3.5	25	工作物	電気設備維持修繕	子供の広場ﾄｲﾚ漏電ﾌﾞﾚｰｶｰ外取替修繕	37,000	3
85	217	H25.4.10	25	工作物	水道設備維持修繕	ﾌﾟｰﾙろ過器内部補修及びろ材入替作業	674,000	1
86	218	H25.4.20	25	工作物	水道設備維持修繕	大芝生井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ逆止弁修理	156,300	2
87	219	H25.6.19	25	工作物	水道設備維持修繕	ｱｼﾞｻｲ園井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ修繕	115,000	2
88	220	H25.7.17	25	工作物	水道設備維持修繕	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞﾐｽﾄﾄﾝﾈﾙ設置作業	84,375	3
89	221	H25.7.20	25	工作物	水道設備維持修繕	ﾐｽﾄﾄﾝﾈﾙ給水工事及び材料搬入	178,000	2
90	222	H25.7.20	25	工作物	水道設備維持修繕	井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ設備散水栓設置	170,000	2
91	223	H25.8.1	25	工作物	水道設備維持修繕	ﾎﾃﾙ横給水管漏水修繕	112,000	2
92	224	H25.8.6	25	工作物	水道設備維持修繕	大芝生ﾄｲﾚ横ﾊﾞﾙﾌﾞ修繕	58,000	3
93	225	H25.8.12	25	工作物	水道設備維持修繕	テニスコート横漏水修理	120,000	2
94	226	H25.8.17	25	工作物	水道設備維持修繕	動物の森内手洗器外修繕	43,600	3
95	227	H25.10.2	25	工作物	水道設備維持修繕	潮見台ﾄｲﾚ横上水漏水修理	50,000	3
96	228	H25.10.27	25	工作物	水道設備維持修繕	大芝生ﾄｲﾚ付近上水漏水修理	52,000	3
97	229	H25.11.4	25	工作物	水道設備維持修繕	動物の森内水飲み器修理	12,800	3
98	230	H25.11.28	25	工作物	水道設備維持修繕	動物の森ｶﾝｶﾞﾙｰｴﾘｱ漏水修理	43,000	3
99	231	H26.2.12	25	工作物	水道設備維持修繕	ﾘｿﾞｰﾄｴﾘｱ漏水修理	100,000	2
100	232	H25.4.13	25	工作物	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池外水質分析測定	224,000	2
101	233	H25.4.20	25	工作物	水循環設備維持修繕	西口ｹﾞｰﾄ内噴水外電磁弁取替	179,400	2
102	234	H25.7.5	25	工作物	水循環設備維持修繕	虹の池・彩の池噴水風速制御装置設置	630,000	1
103	235	H25.7.20	25	工作物	水循環設備維持修繕	プール前噴水ﾌｪﾆｯｸｽ噴水ﾎﾟﾝﾌﾟ修繕	410,000	2
104	236	H25.8.1	25	工作物	水循環設備維持修繕	森の家前埋設ﾊﾞﾙﾌﾞ修繕外6件	117,800	2
105	237	H25.8.6	25	工作物	水循環設備維持修繕	ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ前散水栓ﾎﾞｯｸｽ取替	31,000	3
106	238	H25.8.6	25	工作物	水循環設備維持修繕	わくわく池系統井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ修繕	142,000	2
107	239	H25.8.14	25	工作物	水循環設備維持修繕	西口管理棟付近中水漏水修繕	129,000	2
108	240	H25.8.21	25	工作物	水循環設備維持修繕	大芝生広場散水用ﾎﾟﾝﾌﾟ仮設工事	361,600	2
109	241	H25.8.28	25	工作物	水循環設備維持修繕	冒険の池井水配管工事	60,000	3
110	242	H25.9.18	25	工作物	水循環設備維持修繕	ｶﾅｰﾙ芝生地漏水修理	85,000	3
111	243	H25.10.23	25	工作物	水循環設備維持修繕	大芝生広場井水ﾎﾟﾝﾌﾟ水位計修繕	280,000	2
112	244	H26.2.5	25	工作物	水循環設備維持修繕	水鳥の池水中ﾎﾟﾝﾌﾟ取替作業	28,500	3

113	245	H26.2.26	25	工作物	水循環設備維持修繕	観覧車井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ外修繕	484,000	2
114	246	H25.8.1	25	工作物	放送設備維持修繕	光と風の広場定時放送用CD演奏機修繕	226,000	2
115	247	H25.11.28	25	工作物	放送設備維持修繕	園内放送設備点検	700,000	1
116	248	H26.3.17	25	工作物	放送設備維持修繕	西口・光と風の広場定時放送用ｶｰﾄﾞ2枚製作	46,000	3
117	249	H25.4.30	25	工作物	電話設備維持修繕	ｶﾅｰﾙ多目的ﾄｲﾚ警報点検	2,000	3
118	250	H25.5.1	25	工作物	電話設備維持修繕	ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ内線電話修繕	18,000	3
119	251	H25.8.16	25	工作物	電話設備維持修繕	ｶﾅｰﾙﾄｲﾚ呼出表示設備修理	66,700	3
120	252	H25.5.29	25	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ設備保守点検	730,000	1
121	253	H25.7.5	25	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟP1-5No.1分解整備	780,000	1
122	254	H25.7.17	25	工作物	汚水処理設備維持修繕	大芝生C便所汚水管詰り清掃	70,000	3
123	255	H25.11.9	25	工作物	汚水処理設備維持修繕	ﾃﾆｽｺｰﾄ入口付近汚水排管漏水修理	90,000	3
124	256	H25.12.17	25	工作物	汚水処理設備維持修繕	動物の森ふれあい舎ﾏﾝﾎｰﾙﾎﾟﾝﾌﾟ修繕	74,000	3
							24,747,892	

【平成26年度　建物管理】

番号	連番	契約日	年度	工種	細別	件名	金額：円（税抜）	規模
1	91	H26.4.4	26	建物	管理棟修繕	ワンダーワールドロシャッター修理	138,250	2
2	92	H26.4.8	26	建物	管理棟修繕	動物の森管理棟ブラインド外修繕	105,180	2
3	93	H26.4.9	26	建物	管理棟修繕	自動扉保守点検（年間）	58,000	3
4	94	H26.7.16	26	建物	管理棟修繕	ワンダーワールドロ内トイレ網戸取付修繕	9,000	3
5	95	H26.8.18	26	建物	管理棟修繕	管理センター入口ドア鍵修繕	12,000	3
6	96	H27.2.1	26	建物	管理棟修繕	光と風の広場管理棟水栓漏水修繕	16,100	3
7	97	H26.4.9	26	建物	休憩所修繕	自動扉保守点検（年間）	186,500	2
8	98	H26.4.16	26	建物	休憩所修繕	西戸崎レストハウス窓ガラス修繕	22,361	3
9	99	H26.7.16	26	建物	休憩所修繕	シオヤレストハウス排煙窓外修繕	41,600	3
10	100	H26.9.14	26	建物	休憩所修繕	シオヤレストハウス外修繕	129,000	2
11	101	H26.12.3	26	建物	車庫・倉庫等修繕	ワンダーワールド電気室鍵修繕	20,000	3
12	102	H27.1.20	26	建物	車庫・倉庫等修繕	ガラス温室側窓開閉器修繕	101,800	2
13	103	H27.2.21	26	建物	車庫・倉庫等修繕	Ｄ地区倉庫ベンチレーター修繕	134,000	2
14	104	H26.4.1	26	建物	便所修繕	大芝生広場Ｃ便所内倉庫錠前修繕	25,000	3
15	105	H26.4.9	26	建物	便所修繕	自動扉保守点検（年間）	280,000	2
16	106	H26.4.23	26	建物	便所修繕	海の中道駅口便所便器詰り修繕	31,000	3
17	107	H26.5.11	26	建物	便所修繕	カナール便所出水不良修繕	16,200	3
18	108	H26.7.2	26	建物	便所修繕	光と風の広場多目的便所自動扉修繕	90,000	3
19	109	H26.8.3	26	建物	便所修繕	動物の森レストハウス便所外誘導サイン修繕	71,000	3
20	110	H26.9.10	26	建物	便所修繕	渡船場女子便所窓ガラス修繕	31,640	3
21	111	H26.9.1	26	建物	便所修繕	バラ園小便器自動水洗外修繕	63,430	3
22	112	H26.11.14	26	建物	便所修繕	ワンダーシャトル便所便座修繕	13,000	3
23	113	H26.12.1	26	建物	便所修繕	バラ園便所シャワートイレ修繕	24,600	3
24	114	H26.12.25	26	建物	便所修繕	ガードマン口横便所ドア修繕	47,800	3
25	115	H27.1.11	26	建物	便所修繕	光と風の広場排水機場便所修繕	13,000	3
26	116	H27.2.18	26	建物	便所修繕	海の中道駅口便所窓修繕	72,000	3
27	117	H27.3.1	26	建物	便所修繕	バラ園便所洗浄器修繕	34,670	3
28	118	H26.5.8	26	建物	建物その他修繕	西口管理棟自動券売機修繕	37,600	3
29	119	H26.5.19	26	建物	建物その他修繕	海の中道駅口自動券売機修繕	62,600	3
30	120	H26.6.6	26	建物	建物その他修繕	西口管理棟自動券売機修繕	24,600	3
31	121	H26.7.1	26	建物	建物その他修繕	西サイクロ外自動券売機修繕	49,200	3
32	122	H26.7.16	26	建物	建物その他修繕	花桟敷ログハウスウッドデッキ修繕	128,750	2
33	123	H26.8.12	26	建物	建物その他修繕	海の中道駅口外自動券売機修繕	40,200	3
34	124	H26.9.1	26	建物	建物その他修繕	西口管理棟自動券売機修繕	55,000	3
35	125	H26.10.10	26	建物	建物その他修繕	西口管理棟自動券売機修繕	52,600	3
36	126	H26.12.3	26	建物	建物その他修繕	西口管理棟自動券売機修繕	24,600	3
37	127	H26.6.4	26	建物	空調設備維持修繕	空調設備保守点検	513,000	1
38	128	H26.8.11	26	建物	空調設備維持修繕	光と風の広場管理棟エアコン修繕	40,000	3
39	129	H27.2.25	26	建物	空調設備維持修繕	光と風の広場管理棟エアコン修繕	25,000	3
40	130	H26.4.3	26	建物	建物清掃	シオヤレストハウス清掃（年間）	423,000	2
41	131	H26.9.18	26	建物	建物清掃	森の家外休憩所定期清掃	276,000	2
							3,539,281	

【平成26年度　工作物管理】

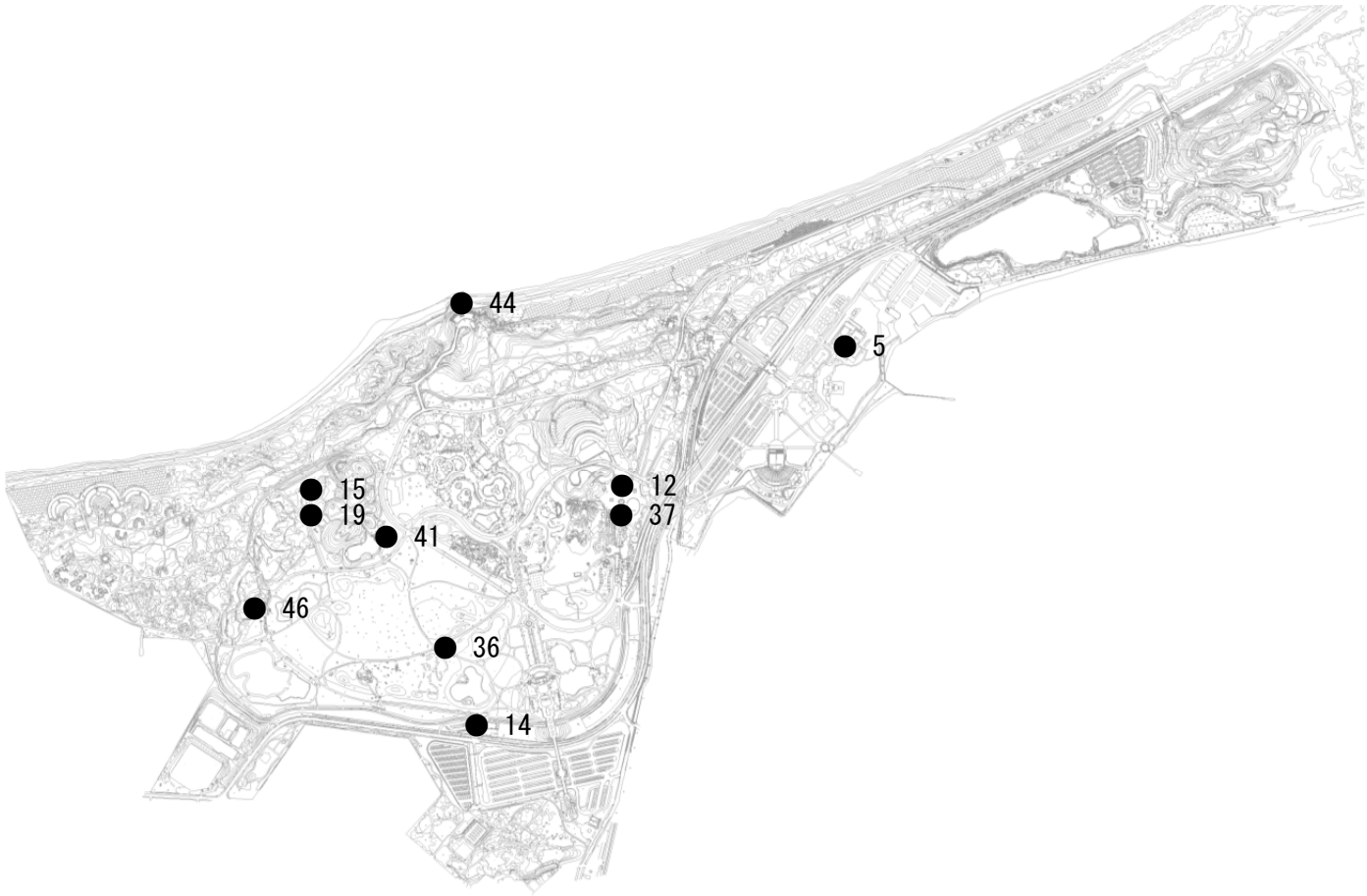
番号	連番	契約日	年度	工種	細別	件名	金額：円（税抜）	規模
1	257	H26.4.13	26	工作物	園路広場修繕	西口仮設日除け設置作業	67,000	3
2	258	H26.4.20	26	工作物	園路広場修繕	フラワーピクニックテント等設営撤去作業	120,000	2
3	259	H26.4.20	26	工作物	園路広場修繕	バラまつり案内看板設営撤去作業	80,000	3
4	260	H26.4.26	26	工作物	園路広場修繕	フラワーミュージアム段差すりつけ外作業	116,250	2
5	261	H26.5.19	26	工作物	園路広場修繕	駐車場売店横日除け設置作業	127,000	2
6	262	H26.5.31	26	工作物	園路広場修繕	園路舗装補修工事	758,000	1
7	263	H26.5.31	26	工作物	園路広場修繕	光と風の広場外案内誘導看板修繕	238,700	2
8	264	H26.6.5	26	工作物	園路広場修繕	園路舗装補修工事	642,000	1
9	265	H26.6.22	26	工作物	園路広場修繕	ワンダーワールドロ外案内誘導看板修繕	275,500	2
10	266	H26.7.3	26	工作物	園路広場修繕	仮設日除け設置作業	441,477	2
11	267	H26.7.5	26	工作物	園路広場修繕	野外卓修繕	244,100	2
12	268	H26.7.9	26	工作物	園路広場修繕	西口案内誘導看板外修繕	275,000	2
13	269	H26.7.9	26	工作物	園路広場修繕	仮設日除け復旧作業	80,100	3
14	270	H26.7.20	26	工作物	園路広場修繕	木製ラチスサイン設置修繕	540,000	1
15	271	H26.7.23	26	工作物	園路広場修繕	仮設日除け設置作業	89,100	3
16	272	H26.8.9	26	工作物	園路広場修繕	海の中道駅口外案内誘導看板修繕	272,000	2
17	273	H26.8.12	26	工作物	園路広場修繕	リゾートエリア陥没箇所試掘調査	92,593	3
18	274	H26.9.7	26	工作物	園路広場修繕	リクライニングチェア設置作業	276,700	2
19	275	H26.9.7	26	工作物	園路広場修繕	サイクリングコース外案内誘導看板修繕	277,500	2
20	276	H26.9.24	26	工作物	園路広場修繕	うみなかはなまつりステージバナー設置・撤去作業	155,000	2
21	277	H26.9.24	26	工作物	園路広場修繕	うみなかはなまつり案内誘導看板設置・撤去作業	250,000	2
22	278	H26.9.28	26	工作物	園路広場修繕	仮設日除け撤去作業	127,820	2
23	279	H26.10.19	26	工作物	園路広場修繕	ドッグラン外案内誘導看板修繕	196,000	2
24	280	H26.10.27	26	工作物	園路広場修繕	園路舗装補修工事	460,000	2
25	281	H26.11.21	26	工作物	園路広場修繕	ふわんポリンシェルター横幕取付作業	40,000	3
26	282	H27.1.6	26	工作物	園路広場修繕	海の中道駅口付近舗装修繕	67,500	3
27	283	H27.1.11	26	工作物	園路広場修繕	野外卓修繕	220,000	2
28	284	H27.1.21	26	工作物	園路広場修繕	マリンワールド前自然石舗装修繕	300,000	2
29	285	H27.1.21	26	工作物	園路広場修繕	花の丘付近ゴムチップ舗装修繕	544,000	1
30	286	H27.1.31	26	工作物	園路広場修繕	西口駐車場歩道橋法面柵設置外修繕	71,500	3
31	287	H27.2.4	26	工作物	園路広場修繕	リゾートエリア案内誘導看板修繕	200,000	2
32	288	H27.2.11	26	工作物	園路広場修繕	平ベンチ修繕	466,000	2
33	289	H27.3.8	26	工作物	園路広場修繕	フラワーピクニック案内看板設置作業	700,000	1
34	290	H27.3.11	26	工作物	園路広場修繕	汚水ポンプ室付近側溝蓋設置修繕	60,500	3
35	291	H27.3.12	26	工作物	園路広場修繕	顔出し看板外修繕	156,600	2
36	292	H26.4.10	26	工作物	遊具維持修繕	イカダ渡り修繕	462,760	2
37	293	H26.5.12	26	工作物	遊具維持修繕	子供の広場コンパン遊具外修繕	55,000	3
38	294	H26.6.4	26	工作物	遊具維持修繕	子供のとりで砂充填・滑り台土留め作業	178,000	2
39	295	H26.5.8	26	工作物	遊具維持修繕	子供のとりで水遊び場通水管詰り修繕	35,000	3
40	296	H26.6.11	26	工作物	遊具維持修繕	油圧ショベルリース	38,140	3
41	297	H26.10.19	26	工作物	遊具維持修繕	子供のとりで注意喚起看板修繕	39,000	3
42	298	H26.11.4	26	工作物	遊具維持修繕	子供の広場コンパン遊具外修繕	514,000	1
43	299	H26.11.19	26	工作物	遊具維持修繕	水辺のトリム遊具外修繕	90,500	3
44	300	H26.12.12	26	工作物	遊具維持修繕	遊具定期点検	1,346,526	1
45	301	H27.1.13	26	工作物	遊具維持修繕	コンパン遊具外修繕	91,000	3
46	302	H27.2.18	26	工作物	遊具維持修繕	子供の広場新規遊具ベンチ設置修繕	160,880	2
47	303	H26.4.2	26	工作物	工作物その他修繕	Ｂ・Ｄ・リゾート地区工作物点検（4月）	33,700	3
48	304	H26.4.2	26	工作物	工作物その他修繕	仮設休憩用テントレンタル業務	268,000	2
49	305	H26.5.12	26	工作物	工作物その他修繕	移動用柵外溶接修繕	144,000	2
50	306	H26.6.4	26	工作物	工作物その他修繕	フラワーミュージアム内パーゴラ修繕	108,650	2
51	307	H26.6.11	26	工作物	工作物その他修繕	Ｂ・Ｄ・リゾート地区工作物点検（6月）	33,700	3
52	308	H26.6.25	26	工作物	工作物その他修繕	わくわく池・丸池排水管切替修繕	277,000	2
53	309	H26.7.19	26	工作物	工作物その他修繕	Ｂ・Ｄ・リゾート地区工作物点検（7月）	50,625	3
54	310	H26.8.28	26	工作物	工作物その他修繕	花の丘雨水桝及び排水管設置	373,149	2
55	311	H26.8.4	26	工作物	工作物その他修繕	マリンワールド付近海岸立入禁止柵設置	135,000	2

56	312	H26.9.1	26	工作物	工作物その他修繕	Ｂ・Ｄ・リゾート地区工作物点検（9月）	50,625	3
57	313	H26.9.1	26	工作物	工作物その他修繕	大芝生広場雨水桝設置	142,593	2
58	314	H26.9.10	26	工作物	工作物その他修繕	水辺のトリム横消火栓ボックス修繕	8,000	3
59	315	H26.10.1	26	工作物	工作物その他修繕	Ｂ・Ｄ・リゾート地区工作物点検（10月）	37,125	3
60	316	H26.10.1	26	工作物	工作物その他修繕	ふわんポリン横シェルターテント張替修繕	135,000	2
61	317	H26.10.8	26	工作物	工作物その他修繕	仮設休憩用テントレンタル業務	205,000	2
62	318	H26.10.10	26	工作物	工作物その他修繕	大芝生広場レストハウス前ゴミ箱修繕	104,000	2
63	319	H26.10.17	26	工作物	工作物その他修繕	カモ池デッキテント外修繕	165,000	2
64	320	H26.12.1	26	工作物	工作物その他修繕	光と風の広場雨水排水管修繕	42,000	3
65	321	H27.1.14	26	工作物	工作物その他修繕	動物の森門扉修繕	412,500	2
66	322	H27.2.4	26	工作物	工作物その他修繕	Ｂ・Ｄ・リゾート地区工作物点検（2月）	37,125	3
67	323	H27.2.18	26	工作物	工作物その他修繕	害獣忌避剤散布作業	80,000	3
68	324	H27.2.21	26	工作物	工作物その他修繕	潮見台シェルター外塗装修繕	158,250	2
69	325	H27.3.4	26	工作物	工作物その他修繕	動物の森アーチ型ゲート修繕	41,200	3
70	326	H27.3.8	26	工作物	工作物その他修繕	Ｂ・Ｄ・リゾート地区工作物点検（3月）	37,125	3
71	327	H26.4.13	26	工作物	電気設備維持修繕	西サイクリングセンター多目的便所警報装置修繕	6,500	3
72	328	H26.5.2	26	工作物	電気設備維持修繕	子供の広場仮設電源設置外作業	44,000	3
73	329	H26.6.18	26	工作物	電気設備維持修繕	動物の森洗濯機修理	18,900	3
74	330	H26.7.2	26	工作物	電気設備維持修繕	野外劇場アプローチライト絶縁改修	89,000	3
75	331	H26.8.3	26	工作物	電気設備維持修繕	動物の森洗濯機修理	12,980	3
76	332	H26.9.1	26	工作物	電気設備維持修繕	光と風の広場照明設備絶縁改修外修繕	222,000	2
77	333	H26.9.25	26	工作物	電気設備維持修繕	ワンダーワールドロ電磁接触器取替外修繕	130,000	2
78	334	H26.10.22	26	工作物	電気設備維持修繕	子供の広場屋外分電盤改修外修繕	204,000	2
79	335	H26.11.1	26	工作物	電気設備維持修繕	マリーナ付近外灯絶縁改修修繕	55,000	3
80	336	H26.12.1	26	工作物	電気設備維持修繕	キャンドルナイト発電機・投光機リース	167,550	2
81	337	H26.12.8	26	工作物	電気設備維持修繕	キャンドルナイトイルミネーション装飾作業	300,000	2
82	338	H26.4.16	26	工作物	水道設備維持修繕	動物の森手洗い器自動水洗修繕	22,450	3
83	339	H26.4.25	26	工作物	水道設備維持修繕	西口付近露出配管外修繕	34,000	3
84	340	H26.7.4	26	工作物	水道設備維持修繕	ワンダーワールドミスト設営作業	52,800	3
85	341	H26.7.13	26	工作物	水道設備維持修繕	動物の森ミストファンリース	26,900	3
86	342	H26.7.11	26	工作物	水道設備維持修繕	動物の森手洗器自動水洗外修繕	52,000	3
87	343	H26.8.6	26	工作物	水道設備維持修繕	漏水調査用量水器設置修繕	925,000	1
88	344	H26.8.20	26	工作物	水道設備維持修繕	漏水調査及び仕切弁切込み修繕	212,037	2
89	345	H26.9.3	26	工作物	水道設備維持修繕	動物の森手洗い器自動水洗修繕	49,000	3
90	346	H26.9.8	26	工作物	水道設備維持修繕	ワンダーワールドゴーカートコース付近漏水修繕	175,926	2
91	347	H26.9.13	26	工作物	水道設備維持修繕	子供のトリム付近漏水修繕	111,112	2
92	348	H26.9.24	26	工作物	水道設備維持修繕	バラ園便所裏漏水修繕	143,519	2
93	349	H26.10.3	26	工作物	水道設備維持修繕	マリンワールド駐車場売店付近漏水修繕	47,000	3
94	350	H26.10.7	26	工作物	水道設備維持修繕	動物の森量水器交換修繕	206,400	2
95	351	H26.10.26	26	工作物	水道設備維持修繕	動物の森カピバラ舎付近漏水修繕	73,149	3
96	352	H27.1.6	26	工作物	水道設備維持修繕	ワンダーワールド付近給水管漏水調査	36,000	3
97	353	H27.1.11	26	工作物	水道設備維持修繕	動物の森レストハウス授乳室浄水器フィルター交換修繕	22,000	3
98	354	H27.2.2	26	工作物	水道設備維持修繕	動物の森カナダガン収容場所水栓設置修繕	132,000	2
99	355	H27.2.18	26	工作物	水道設備維持修繕	動物の森東門横漏水修繕	65,000	3
100	356	H27.2.28	26	工作物	水道設備維持修繕	野鳥の池付近漏水修繕	37,000	3
101	357	H26.4.10	26	工作物	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池外水質分析測定（年間）	220,000	2
102	358	H26.4.16	26	工作物	水循環設備維持修繕	散水栓ＢＯＸ取替	25,000	3
103	359	H26.6.25	26	工作物	水循環設備維持修繕	カナール１系濾過装置修繕	174,000	2
104	360	H26.7.9	26	工作物	水循環設備維持修繕	プール前噴水分解点検修繕	86,000	3
105	361	H26.7.9	26	工作物	水循環設備維持修繕	大芝生広場散水用仮設ポンプ設置	250,000	2
106	362	H26.9.3	26	工作物	水循環設備維持修繕	東池ポンプ室内補給水ポンプフート弁修繕	13,120	3
107	363	H26.9.1	26	工作物	水循環設備維持修繕	大芝生広場散水用仮設ポンプ設置（延長）	51,599	3
108	364	H27.1.10	26	工作物	水循環設備維持修繕	子供の広場中水配管漏水修繕	41,000	3
109	365	H27.3.5	26	工作物	水循環設備維持修繕	カナール噴水補給水ポンプ制御盤修繕	277,000	2
110	366	H26.12.3	26	工作物	放送設備維持修繕	放送設備点検	700,000	1
111	367	H27.1.26	26	工作物	放送設備維持修繕	高所作業車リース	41,600	3
112	368	H27.3.1	26	工作物	放送設備維持修繕	西サイクリングセンター付近放送設備修繕	27,000	3

113	369	H26.5.8	26	工作物	電話設備維持修繕	子供の広場管理棟内線電話機取替	21,000	3
114	370	H26.4.16	26	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ設備保守点検	770,000	1
115	371	H26.5.3	26	工作物	汚水処理設備維持修繕	観覧車横マンホールポンプ点検	33,000	3
116	372	H26.5.12	26	工作物	汚水処理設備維持修繕	観覧車横マンホールポンプ交換修繕	277,000	2
117	373	H26.8.9	26	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプP1-5修繕	170,000	2
118	374	H26.8.20	26	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ室脱臭装置活性炭入替作業	496,000	2
119	375	H26.10.2	26	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプP1-5脱臭装置ファン修繕	242,000	2
120	376	H26.10.4	26	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプP1-5切替スイッチ修繕	61,000	3
121	377	H26.11.20	26	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプP1-3脱臭装置ファン修繕	176,000	2
122	378	H27.2.7	26	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプP1-1-1修繕	75,000	3
123	379	H27.3.4	26	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプP1-4サーマル交換修繕	87,000	3
124	380	H27.3.4	26	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプP1-1洗浄用放水口修繕	270,000	2
							23,375,655	

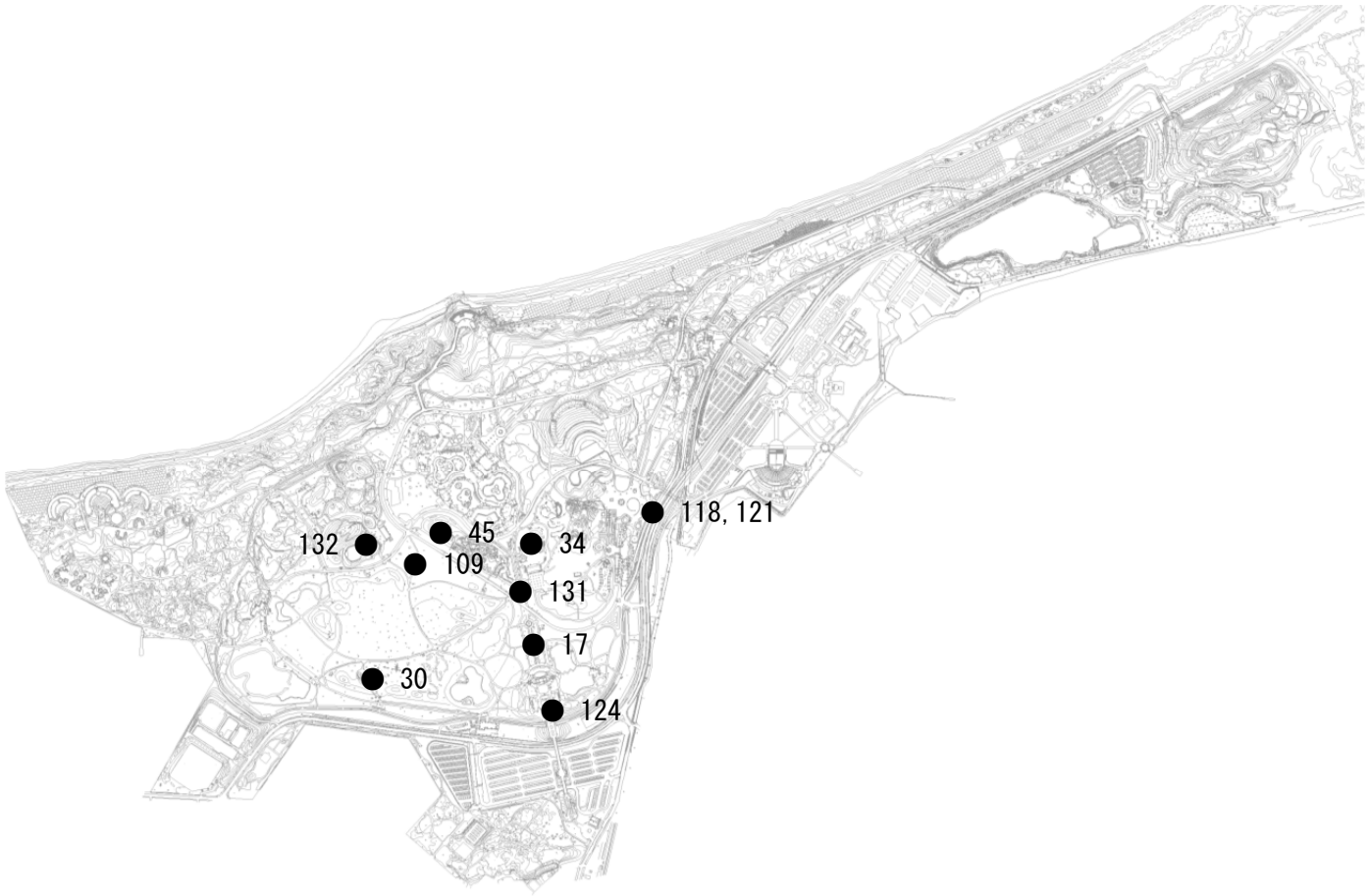
【平成 24 年度　建物管理　主要修繕及び実施位置図】

番号	連番	年度	工種	細別	件名	金額：円（税抜）
5	5	24	建物	管理棟修繕	管理ｾﾝﾀｰ 1 階網戸取付作業	200,000
12	12	24	建物	休憩所修繕	ﾜﾝﾀﾞｰｼｬﾄﾙﾄｲﾚ重量ｼｬｯﾀｰ補修	258,600
14	14	24	建物	休憩所修繕	西ｻｲｸﾘﾝｸﾞｾﾝﾀｰ休憩所塗装作業	274,620
15	15	24	建物	車庫・倉庫等修繕	動物の森飼料庫雨漏り外補修	232,400
19	19	24	建物	車庫・倉庫等修繕	動物収容柵製作作業	226,000
36	36	24	建物	空調設備維持修繕	大芝生ﾚｽﾄﾊｳｽｼｬﾜｰ用給湯器修繕	239,172
37	37	24	建物	空調設備維持修繕	ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ空調機取替	283,810
41	41	24	建物	空調設備維持修繕	動物の森治療室ｴｱｺﾝ修繕	283,900
44	44	24	建物	建物清掃	ｼｵﾔﾚｽﾄﾊｳｽ清掃業務	243,000
46	46	24	建物	建物清掃	森の家外臨時清掃	206,000



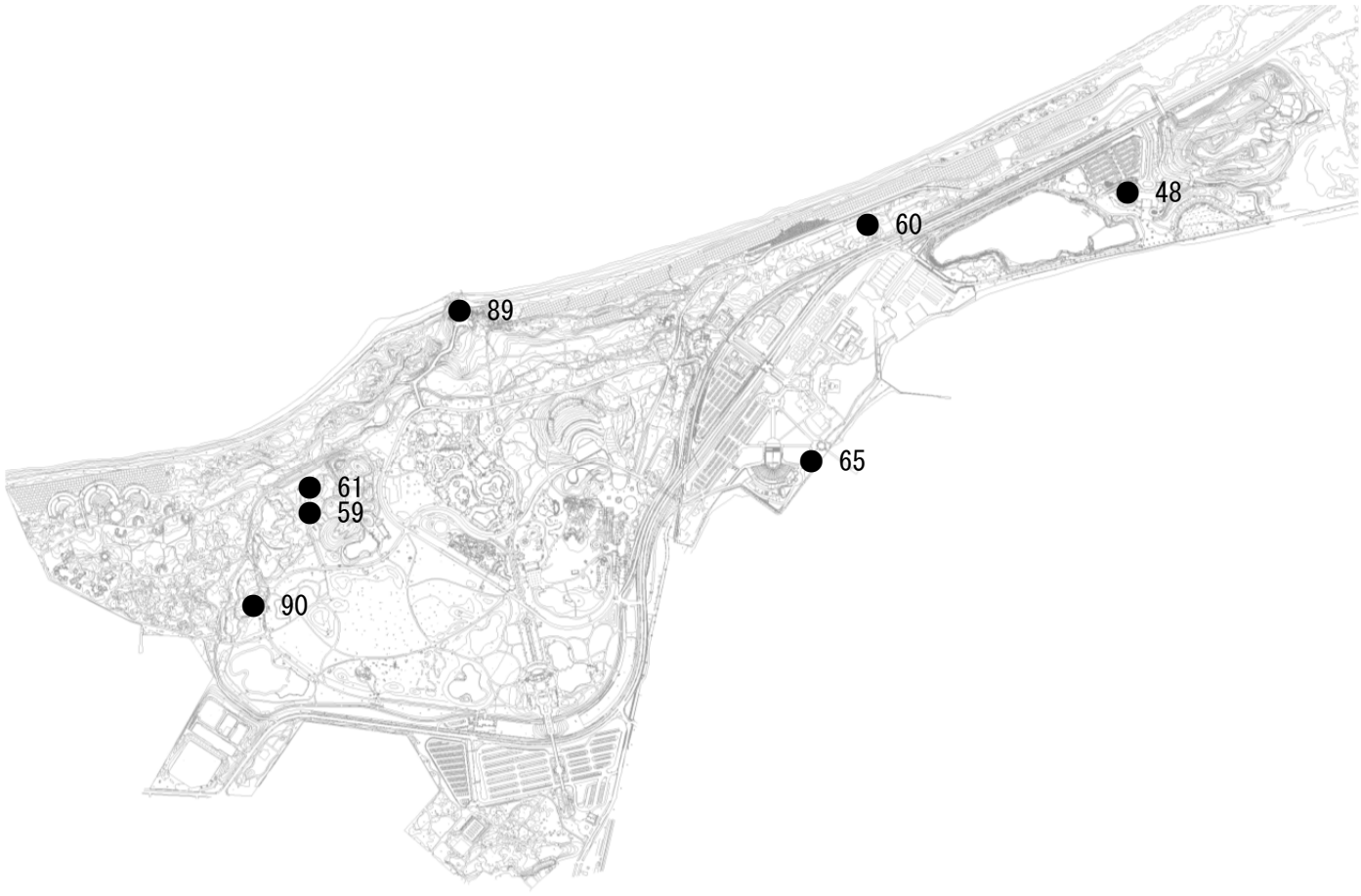
【平成 24 年度　工作物管理　主要修繕及び実施位置図】

番号	連番	年度	工種	細別	件名	金額：円（税抜）
17	17	24	工作物	園路広場修繕	ｶﾅｰﾙ噴水渡り橋製作･設置	400,000
30	30	24	工作物	遊具維持修繕	ｽｶｲﾄﾞﾙﾌｨﾝ修繕	858,000
34	34	24	工作物	遊具維持修繕	ｺﾝﾊﾞﾝ遊具修繕	990,000
45	45	24	工作物	工作物その他修繕	ﾊﾞﾗ園展望台設置	550,000
109	109	24	工作物	水循環設備維持修繕	大芝生井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ量水器取替	525,000
118	118	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ(P1-6No.2)分解整備	740,700
121	121	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ(P1-6No.1)分解整備	460,000
124	124	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	西口ﾄｲﾚ汚水桝取替及び管修理	468,000
131	131	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	花時計横排水管布設替作業	461,000
132	132	24	工作物	汚水処理設備維持修繕	水鳥の池 No.1 流水ﾎﾟﾝﾌﾟ整備	450,000



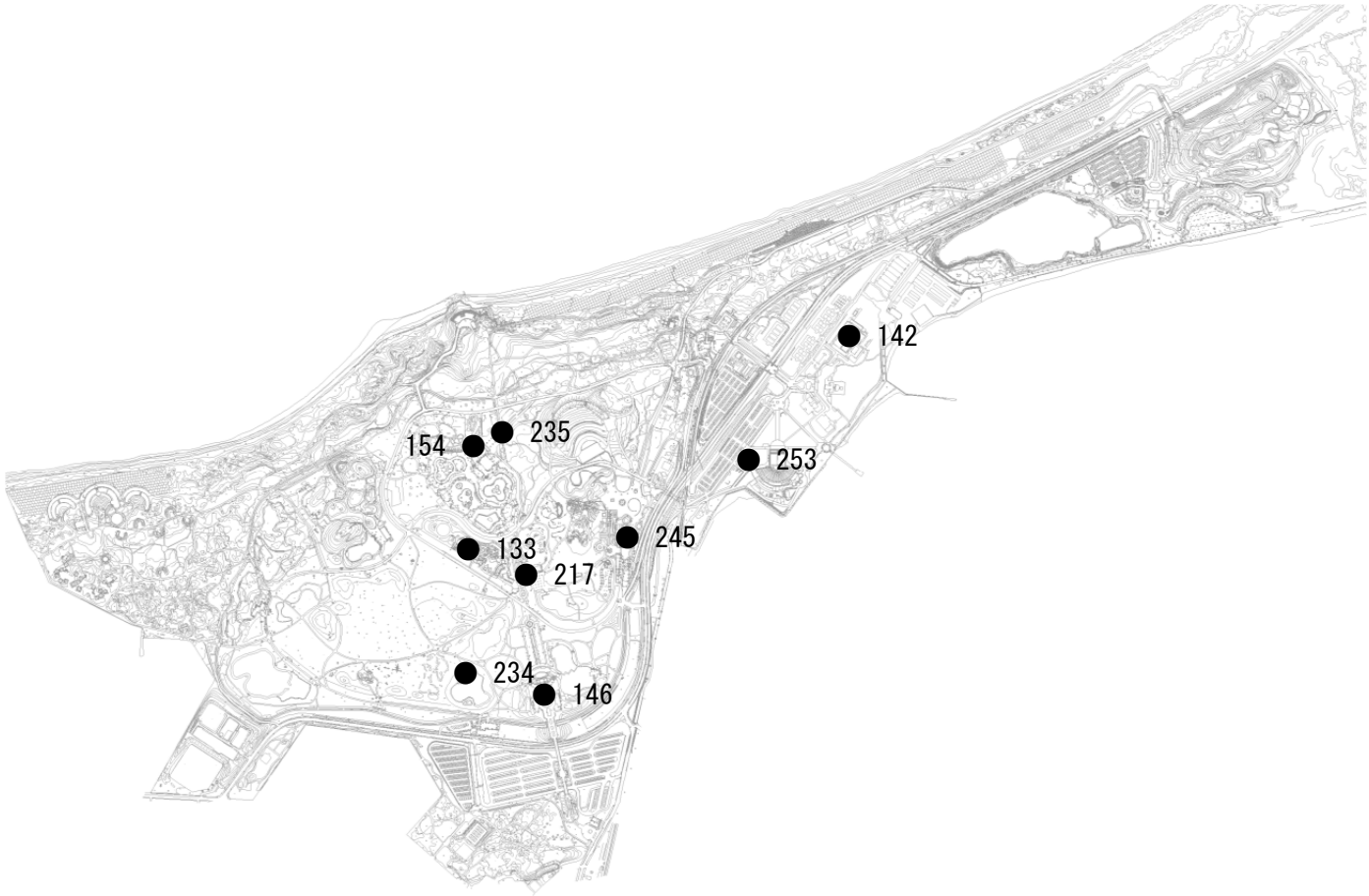
【平成 25 年度　建物管理　主要修繕及び実施位置図】

番号	連番	年度	工種	細別	件名	金額：円（税抜）
1	48	25	建物	管理棟修繕	光と風の広場管理棟電動ｼｬｯﾀｰ修理	470,000
12	59	25	建物	車庫・倉庫等修繕	ｸｼﾞｬｸ舎屋根修繕	441,800
13	60	25	建物	車庫・倉庫等修繕	D 地区電動ｼｬｯﾀｰ修繕	464,000
14	61	25	建物	車庫・倉庫等修繕	動物の森飼料庫屋根補修	285,000
18	65	25	建物	便所修繕	渡船場丸便所多目的ﾄｲﾚ扉修繕	695,500
42	89	25	建物	建物清掃	ｼｵﾔﾚｽﾄﾊｳｽ清掃	423,000
43	90	25	建物	建物清掃	森の家・動物の森ﾚｽﾄﾊｳｽ・水辺のﾚｽﾄﾊｳｽ清掃	200,000



【平成 25 年度　工作物管理　主要修繕及び実施位置図】

番号	連番	年度	工種	細別	件名	金額：円（税抜）
1	133	25	工作物	園路広場修繕	ﾌﾗﾜｰﾐｭｰｼﾞｱﾑﾀｲﾙ外園路補修工事	950,000
10	142	25	工作物	園路広場修繕	管理ｾﾝﾀｰ周り舗装修繕	750,000
14	146	25	工作物	園路広場修繕	西口仮設日除け設置作業	468,000
22	154	25	工作物	園路広場修繕	ﾌﾟｰﾙ出口舗装・側溝蓋改修工事	600,000
85	217	25	工作物	水道設備維持修繕	ﾌﾟｰﾙろ過器内部補修及びろ材入替作業	674,000
102	234	25	工作物	水循環設備維持修繕	虹の池・彩の池噴水風速制御装置設置	630,000
103	235	25	工作物	水循環設備維持修繕	プール前噴水ﾌｪﾆｯｸｽ噴水ﾎﾟﾝﾌﾟ修繕	410,000
113	245	25	工作物	水循環設備維持修繕	観覧車井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ外修繕	484,000
121	253	25	工作物	汚水処理設備維持修繕	汚水ﾎﾟﾝﾌﾟ P1-5No.1 分解整備	780,000



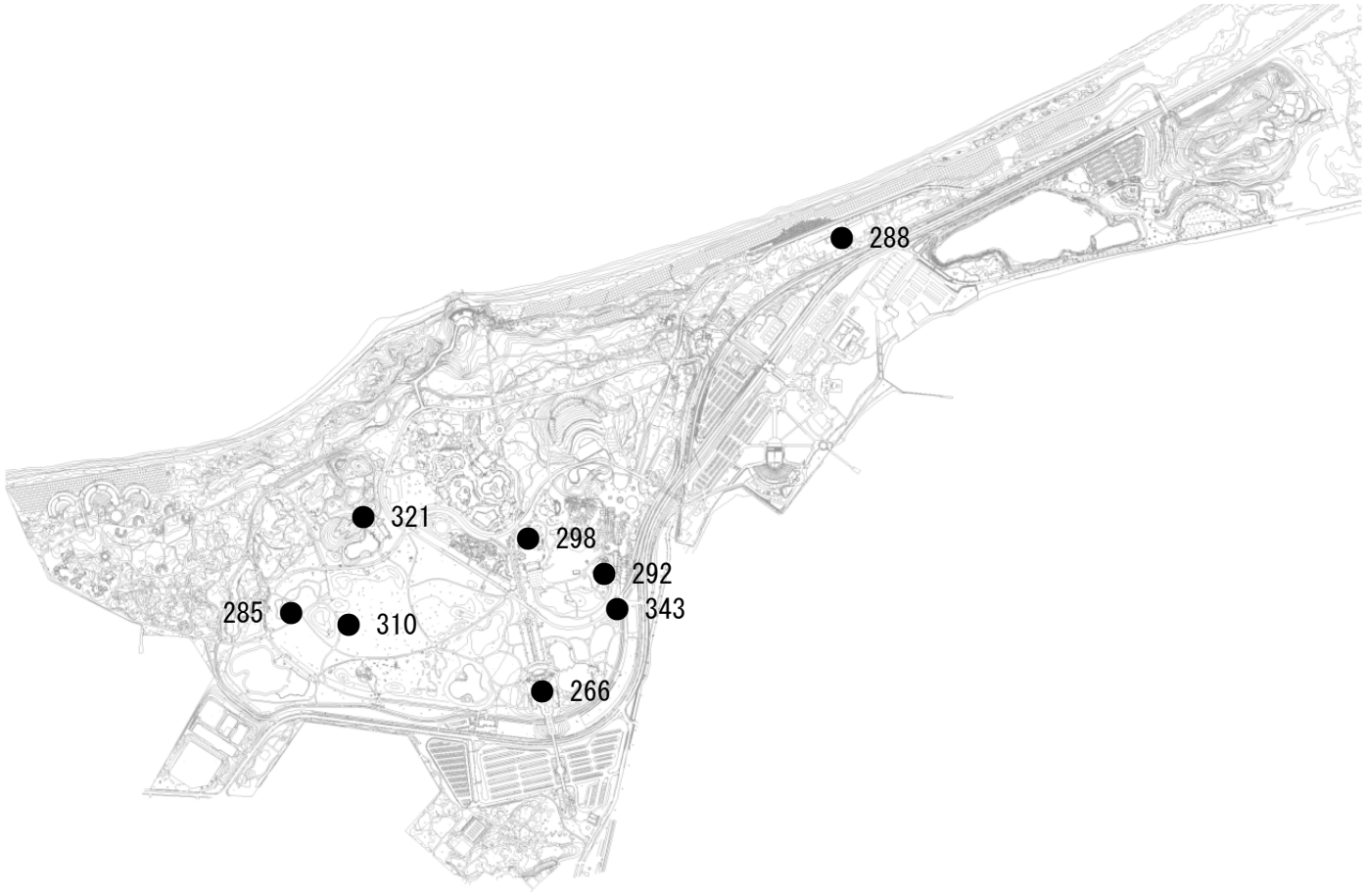
【平成 26 年度　建物管理　主要修繕及び実施位置図】

番号	連番	年度	工種	細別	件名	金額：円（税抜）
1	91	26	建物	管理棟修繕	ワンダーワールドロシャッター修理	138,250
13	103	26	建物	車庫・倉庫等修繕	Ｄ地区倉庫ベンチレーター修繕	134,000
32	122	26	建物	建物その他修繕	花桟敷ログハウスウッドデッキ修繕	128,750
40	130	26	建物	建物清掃	シオヤレストハウス清掃（年間）	423,000
41	131	26	建物	建物清掃	森の家外休憩所定期清掃	276,000



【平成 26 年度　工作物管理　主要修繕及び実施位置図】

番号	連番	年度	工種	細別	件名	金額：円（税抜）
10	266	26	工作物	園路広場修繕	仮設日除け設置作業	441,477
29	285	26	工作物	園路広場修繕	花の丘付近ゴムチップ舗装修繕	544,000
32	288	26	工作物	園路広場修繕	平ベンチ修繕	466,000
36	292	26	工作物	遊具維持修繕	イカダ渡り修繕	462,760
42	298	26	工作物	遊具維持修繕	子供の広場コンパン遊具外修繕	514,000
54	310	26	工作物	工作物その他修繕	花の丘雨水桝及び排水管設置	373,149
65	321	26	工作物	工作物その他修繕	動物の森門扉修繕	412,500
87	343	26	工作物	水道設備維持修繕	漏水調査用量水器設置修繕	925,000



廃棄棄物の取扱

対象物	種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	予定数量
事業系一般廃棄物	可燃ゴミ	kg	32,664	36,136	40,032	
	不燃ゴミ	kg	0	96	77	
	混合ゴミ	kg	33,000	24,550	12,600	
	金属くず類	kg				
	空きビン ガラスくず類	kg	3,020	2,213	2,310	
	段ボール 古紙	kg	2,080	1,985	2,265	
	ペットボトル	kg	4,630	5,680	5,470	
	空き缶	kg	4,080	2,768	2,363	
合　　計		kg	79,474	73,428	65,117	

農薬、肥料、土壌改良剤リスト

【平成24年度】

〈主な薬剤〉

品名	年間使用量	単位
スミチオン乳剤	8,000	ml
トレボン乳剤	6,500	ml
トップジン水和剤	5,000	g
ジマンダイセン	3,500	g
ダコニール水和剤	6,500	ml
ベンレート水和剤	3,000	g
石灰硫黄合剤	54	L
マッチ乳剤	1,000	ml
サンヨール乳剤	7,500	ml
アファーム乳剤	3,000	ml
トリフミン水和剤	3,000	g
スピノエース顆粒水和剤	600	g
サプロール乳剤	6,000	ml
オルトラン水和剤	11,500	g
スプラサイト乳剤	1,000	ml
ダニカット乳剤	1,500	ml
ダニトロンフロアブル	2,500	ml
DDVP乳剤	750	ml
ディプテレックス乳剤	1,500	ml
デナポン粒剤	2	kg
オサダン水和剤	1,500	g
展着剤　シンダイン	500	g
バンブーチャコール	80	L
クズコロン液剤	500	ml
トップジンMペースト	500	g
マラソン乳剤	500	ml
カルホス乳剤	150	ml
スミパイン	12	L

〈主な肥料〉

品名	年間使用量	単位
バーディグリーン	3,438.17	kg
ハイコントロール16-5-10	6	kg
バーディラージ	3,900	kg
ちから3号	2,565.40	kg
まるやま3号	653.20	kg
マグボーン	480	kg
油粕	340	kg
硫酸カリ	80	kg
熔性燐肥	120	kg
くみあい48	120	kg
住友液肥1号	80	kg
ハイポネックス	15	kg
エコロング	10	kg
おまかせ顆粒	120	kg

〈主な土壌改良剤〉

品名	年間使用量	単位

牛糞堆肥	4,365	kg
牛糞堆肥	20	㎥
堆肥　2tダンプ	50	台
堆肥　2tダンプ	200	㎥
リサイクル堆肥	800	㎥
ネオカルエキソ	260	kg
炭酸苦土石灰	460	kg
苦土石灰	40	kg

【平成25年度】

〈主な薬剤〉

品名	年間使用量	単位
スミチオン乳剤	24,590	ml
トレボン乳剤	3,500	ml
トップジンM	2,250	g
マッチ乳剤	4,500	ml
トリフミン水和剤	2,700	g
サンヨール乳剤	4,500	ml
オルトラン水和剤	7,000	g
ベンレート水和剤	5,500	g
アファーム乳剤	2,500	ml
デルフィン水和剤	5,000	g
ジマンダイセン水和剤	6,000	g
ディブテレックス乳剤	1,500	ml
サブロール乳剤	1,500	ml
スプラサイド乳剤	1,500	ml
ダコニール水和剤	1,500	ml
デナポン粒剤	6	kg
オルトラン粒剤	9	kg
ダニカット乳剤	500	ml
石灰硫黄合剤	54	L
ナメキール粒剤	700	g
アージラン液剤	7,500	ml
ラウンドアップ	17,500	ml

〈主な肥料〉

品名	年間使用量	単位
バーディグリーン	240	kg
バーディラージ	1,700	kg
ちから3号	2,400	kg
ウッドエース4号	117	kg
まるやま3号	340	kg
マグボーン	580	kg
油粕	380	kg
熔性燐肥	120	kg
硫酸カリ	100	kg
住友液肥1号	80	kg
住友液肥2号	40	kg
微粉ハイポネックス	21	kg

〈主な土壌改良剤〉

品名	年間使用量	単位
有機堆肥	3,330	kg
苦土石灰	400	kg
腐葉土	3,600	L
ホワイトローム	1,500	L

培養土	13,000	L
赤玉土	420	L
鹿沼土	140	L
リサイクル堆肥	750	㎥

【平成26年度】

〈主な薬剤〉

品名	年間使用量	単位
ベンレート水和剤	3,250	g
トレボン乳剤	3,750	ml
トップジンM水和剤	2,250	g
マッチ乳剤	750	ml
サプロール乳剤	3,750	ml
マラソン乳剤	3,000	ml
ダコニール水和剤	1,750	ml
オルトラン水和剤	3,750	g
スミチオン乳剤	22,750	ml
トリフミン水和剤	2,250	g
ダニカット乳剤	2,500	ml
スピノエース水和剤	300	g
サンヨール乳剤	1,500	ml
ジマンダイセン水和剤	3,000	g
バロック乳剤	250	ml
アリエッティ	1,000	g
モレスタン水和剤	750	g
アファーム乳剤	1,500	ml
オルトラン粒剤	9	kg
ナメキール	800	g
HB-101	1,200	cc
キトサン溶液	2	kg

〈主な肥料〉

品名	年間使用量	単位
バーディーラージ	2,874	kg
パーディーグリーン	300	kg
熔性燐肥	2,534	kg
普通化成肥料	80	kg
ちから3号	210	kg
鶏糞	1,995	kg
硫酸カリ	95	kg
油粕	595	kg
アミノ酸液肥	670	ml
アミノ酸液肥	20	kg
アミノアルファ	500	g
アルギンゴールドエキス	700	g
糖力UP	1,090	ml
糖力UP	2	kg
菌力UP	5	kg
第一燐酸加里	4,510	g
硝酸マグネシウム	585	g
住友液肥1号	20	kg
住友液肥2号	15	kg
ハイポネックス微粉	3.88	kg
リキダス	450	ml
ペンタキープスーパー	1	kg
コーソゴールド	2	kg

まるやま	460	kg
マグボーン	480	kg

〈主な土壌改良剤〉

品名	年間使用量	単位
腐葉土	4,200	L
ホワイトローム	3,250	L
バーミキュライト	1,800	L
ピートモス	107	㎥
培養土	12,250	L
有機堆肥	6,510	L
ネオカルエキソ	20	kg
恵土	160	kg
ベントナイト	75	kg
バーミキュライト	900	kg
苦土石灰	1,760	kg
赤玉土	990	L
鹿沼土	420	L

農 薬 散 布

【平成24年度】

区分	場所	樹木名	使用薬剤	使用量	単位	備考
高木	リゾート	サザンカ、ヤブツバキ	スミチオン乳剤	1,500	ml	チャドクガ
	リゾート	クロマツ	ジマンダイセン水和剤	500	g	病害
	リゾート	サザンカ、ヤブツバキ	トレボン乳剤	500	ml	チャドクガ
	リゾート、子供の広場	フェニックス	スミパイン	600	ml	オオオサゾウムシ
低木	バラ園他	バラ	ダコニール水和剤	6,500	ml	うどんこ病、黒点病
	バラ園他	バラ	オサダン水和剤	1,500	g	ハダニ
	バラ園他	バラ	トレボン乳剤	3,500	ml	コガネムシ類
	バラ園他	バラ	トリフミン水和剤	3,000	g	黒点病
	バラ園他	バラ	ダニカット乳剤	1,500	ml	ハダニ
	バラ園他	バラ	ダントロンフロアブル	1,500	ml	うどんこ病
	バラ園他	バラ	マッチ乳剤	1,750	ml	オオタバコガ
	バラ園他	バラ	トップジンM水和剤	5,000	g	アブラムシ、ヨトウムシ、チュウレンジハバチ、黒点病
	バラ園他	バラ	石灰硫黄合剤	54	L	殺菌殺虫
	バラ園他	バラ	DDVP乳剤	750	ml	マメコガネムシ、アブラムシ
	バラ園他	バラ	サンヨール乳剤	7,500	ml	黒点病
	バラ園他	バラ	オルトラン水和剤	6,000	g	アブラムシ、ヨトウムシ、チュウレンジハバチ
	バラ園他	バラ	ベンレート水和剤	3,300	g	黒点病
	バラ園他	バラ	ディープテレックス乳剤	1,500	ml	マメコガネムシ、アブラムシ
	バラ園他	バラ	アファーム乳剤	3,000	ml	オオタバコガ
	バラ園他	バラ	ジマンダイセン水和剤	6,000	g	黒点病
	バラ園他	バラ	スミチオン乳剤	1,500	ml	アブラムシ
	バラ園他	バラ	サプロール乳剤	6,000	ml	黒点病
	バラ園他	バラ	スピノエース顆粒水和剤	600	g	チュウレンジハバチ、オオタバコガ
	光と風の広場	低木	スミチオン乳剤	2,000	ml	セアカゴケグモ
	西口(西)	ボックスウッド	トレボン乳剤	1,600	ml	ツゲノメイガ
	西口駐車場周辺	ボックスウッド	トレボン乳剤	900	ml	ツゲノメイガ
	西口(西)	ボックスウッド	スミチオン乳剤	2,000	ml	ツゲノメイガ
	西口駐車場周辺	ボックスウッド	スミチオン乳剤	1,000	ml	ツゲノメイガ
草花	彩の花壇・虹の花壇	コキア	オルトラン水和剤	1,000	g	害虫
花畑	補助幹線園路	ヒマワリ	デナポン	2	kg	ヨトウムシ
	補助幹線園路	ヒマワリ	オルトラン水和剤	2,000	g	ヨトウムシ
	補助幹線園路	寒咲ハナナ	ダントロンフロアブル	600	ml	ハクサイハダニ
	補助幹線園路	寒咲ハナナ	マラソン乳剤	300	ml	ハクサイハダニ
	補助幹線園路	寒咲ハナナ	スプラサイド乳剤	600	ml	ハクサイハダニ
	動物の森	寒咲ハナナ	ダントロンフロアブル	400	ml	ハクサイハダニ
	動物の森	寒咲ハナナ	マラソン乳剤	200	ml	ハクサイハダニ
	動物の森	寒咲ハナナ	スプラサイド乳剤	400	ml	ハクサイハダニ
	共生の森	ラッカセイ	トップジンM水和剤	250	g	害虫
	共生の森	トウモロコシ	カルホス乳剤	150	ml	害虫
	花の丘	コスモス	オルトラン水和剤	3,000	g	ヨトウムシ

別紙

農 薬 散 布

【平成25年度】

区分	場所	樹木名	使用薬剤	使用量	単位	備考
高木	リゾート	サザンカ、ヤブツバキ	スミチオン乳剤	1500	ml	チャドクガ
	リゾート	クロマツ	スミチオン乳剤	1000	ml	マツカレハ
	リゾート	クロマツ	ダニカット乳剤	1000	ml	ハダニ
	リゾート	サザンカ、ヤブツバキ	ディプテレックス乳剤	1500	ml	チャドクガ
	光と風の広場	高木	トレボン乳剤	1,000	ml	セアカゴケグモ
低木	バラ園他	バラ	マラソン乳剤	750	ml	黒点病
	バラ園他	バラ	トリフミン水和剤	2,750	g	黒点病
	バラ園他	バラ	マッチ乳剤	1,500	ml	オオタバコガ
	バラ園他	バラ	トップジンM水和剤	2,250	g	黒点病、うどんこ病
	バラ園他	バラ	石灰硫黄合剤	54	L	殺菌殺虫
	バラ園他	バラ	サンヨール乳剤	4,500	ml	黒点病、灰色カビ病、オオタバコガ
	バラ園他	バラ	オルトラン水和剤	3,000	g	オオタバコガ、アブラムシ
	バラ園他	バラ	ベンレート水和剤	3,750	g	黒点病、うどんこ病
	バラ園他	バラ	アファーム乳剤	1,500	ml	オオタバコガ
	バラ園他	バラ	デルフィン水和剤	1,500	g	オオタバコガ

	バラ園他	バラ	ジマンダイセン水和剤	6,000	g	黒点病
	バラ園他	バラ	スミチオン乳剤	3,000	ml	オオタバコガ、コガネムシ
	バラ園他	バラ	サプロール乳剤	1,500	ml	黒点病
	バラ園他	バラ	スプラサイド乳剤	1,500	ml	カミキリ、コガネムシ
	リゾート	マツ	トレボン乳剤	1,500	ml	セアカゴケグモ
	光と風の広場	低木	トレボン乳剤	1,000	ml	セアカゴケグモ
	西口(西)	ボックスウッド	スミチオン乳剤	9,300	ml	ツゲノメイガ
	西口駐車場周辺	ボックスウッド	スミチオン乳剤	4,700	ml	ツゲノメイガ
芝生	リゾート		ラウンドアップ	11,500	ml	オオキンケイギク
	リゾート		アージラン液剤	1,600	ml	オオキンケイギク
	光と風の広場		ラウンドアップ	6,000	ml	オオキンケイギク
	光と風の広場		アージラン液剤	1,400	ml	オオキンケイギク
	自転車園路(東)		アージラン液剤	4,000	ml	オオキンケイギク
草花	園内花壇	草花	アファーム乳剤	1,000	ml	害虫
	園内花壇	草花	オルトラン水和剤	3	kg	害虫
	園内花壇	草花	スミチオン乳剤	500	ml	害虫
	彩の花壇・虹の花壇	コスモス	マッチ乳剤	500	ml	オオタバコガ
	園内花壇	草花	ナメキール粒剤	700	g	ナメクジ
花畑	補助幹線園路	ヒマワリ	オルトラン水和剤	3,000	g	ヨトウムシ
	補助幹線園路	ヒマワリ	デナポン粒剤	6	kg	ヨトウムシ
	補助幹線園路	ヒマワリ	デルフィン水和剤	1,000	g	ヨトウムシ
	花の丘	コスモス	デルフィン水和剤	2,500	g	ヨトウムシ
	花の丘	コスモス	マッチ乳剤	2,500	ml	オオタバコガ
	花桟敷	コスモス	オルトラン水和剤	1,000	g	オオタバコガ
	補助幹線園路	寒咲ハナナ	ダコニール水和剤	1,000	ml	さび病
	動物の森	寒咲ハナナ	ダコニール水和剤	500	ml	さび病

別紙

農 薬 散 布

【平成26年度】

区分	場所	樹木名	使用薬剤	使用量	単位	備考
高木	リゾート	サザンカ、コブシ、ツバキ	スミチオン乳剤	1,000	ml	チャドクガ、コブシハバチ
	リゾート	サザンカ、ツバキ	スミチオン乳剤	1,000	ml	チャドクガ
	リゾート	クロマツ	ベンレート水和剤	1,000	ml	ウドンコ病
	リゾート	クロマツ	バロック乳剤	250	ml	ハダニ
	光と風	サクラ	スミチオン乳剤	500	ml	イラガ
	西駐車場	プラタナス	スミチオン乳剤	500	ml	イラガ
	自転車園路(西)	サクラ	スミチオン乳剤	500	ml	イラガ
	動物の森	シンジュ	スミチオン乳剤	500	ml	イラガ
低木	バラ園他	バラ	トレボン乳剤	4,500	ml	アブラムシ、オオタバコガ
	バラ園他	バラ	トリフミン水和剤	1,250	g	黒点病、ウドンコ病
	バラ園他	バラ	マッチ乳剤	1,500	ml	アブラムシ、オオタバコガ
	バラ園他	バラ	トップジンM水和剤	2,250	g	黒点病、ウドンコ病
	バラ園他	バラ	サンヨール水和剤	1,500	ml	黒点病、灰色カビ病、オオタバコガ
	バラ園他	バラ	ダコニール水和剤	750	ml	灰色カビ病
	バラ園他	バラ	オルトラン水和剤	1,500	g	アブラムシ、オオタタバコガ
	バラ園他	バラ	ベンレート水和剤	3,000	g	黒点病、ウドンコ病
	バラ園他	バラ	ダニカット乳剤	1,500	ml	オオタバコガ、コガネムシ
	バラ園他	バラ	ピノエース水和剤	300	g	オオタバコガ、コガネムシ
	バラ園他	バラ	モレスタン水和剤	750	g	黒点病、ウドンコ病
	バラ園他	バラ	アファーム乳剤	1,500	ml	オオタバコガ
	バラ園他	バラ	ジマンダイセン水和剤	3,000	g	黒点病、ウドンコ病
	バラ園他	バラ	スミチオン乳剤	3,750	ml	オオタバコガ、コガネムシ、アブラムシ
	バラ園他	バラ	サプロール乳剤	3,750	ml	黒点病
	バラ園他	バラ	マラソン乳剤	3,000	ml	マメコガネ、アブラムシ
	西口(西)	ボックスウッド	スミチオン乳剤	10,000	ml	ツゲノメイガ
	西口駐車場周辺	ボックスウッド	スミチオン乳剤	5,000	ml	ツゲノメイガ
草花	彩の花壇・虹の花壇	コキア	アリエッティ	1,800	g	立ち枯れ病
花畑	補助幹線園路	ヒマワリ	オルトラン水和剤	1,000	g	ヨトウムシ
	補助幹線園路	寒咲ハナナ	ダコニール水和剤	1,000	ml	さび病
	動物の森	寒咲ハナナ	トリフミン水和剤	500	g	さび病

樹 幹 注 入

【平成24年度】
■樹幹注入実績
〈実績本数、回数〉　　グリーンガード本数（マツ本数）

場所	本/年	回/年
西口(西)	440(96)	1回/年
リゾート	400(53)	1回/年
計	840(149)	

【平成25年度】
■樹幹注入実績
〈実績本数、回数〉　　グリーンガードNEO本数（マツ本数）

場所	本/年	回/年
リゾート	133(27)	1回/年
大芝生広場	258(40)	1回/年
動物の森	1,109(175)	1回/年
計	1,500(242)	

【平成26年度】
■樹幹注入実績
〈実績本数、回数〉　　グリーンガードNEO本数（マツ本数）

場所	本/年	回/年
管理センター実績なし	( )	回/年
計	( )	

植物性廃棄物の取り扱い

年度	月	草本(㎥)					木本(㎥)				
		発生量	処分量	完成量	利用量	備考	発生量	処分量	完成量	利用量	備考
24	4	230.80					40.65			39	環境共生の森植樹地土壌改良
	5	340.25	102				103.60	324		180	環境共生の森畑、虹・彩の花壇土壌改良ほか
	6	217.30					218.25		910	12	環境共生の森畑土壌改良 ※完成量は、草・木混合
	7	214.30	545				127.30	439		800	花の丘土壌改良
	8	198.15					25.95				
	9	373.55					143.50				
	10	420.40	1,126				35.90	521	650		※完成量は、草・木混合
	11	362.10					84.45			200	花桟敷土壌改良
	12	22.80					95.70				
	1	21.30					91.65			49	桜根廻りマルチング
	2	43.15					38.50			3	マツ植樹土壌改良
	3	28.00	809				29.50	388		76	アジサイの小径マルチング
		2,472.10	2,582				1,034.95	1,672	1,560	1,359	
25	4	77.00					13.50			22	環境共生の森植樹地土壌改良
	5	159.25					28.50			2	環境共生の森畑土壌改良
	6	180.50					85.00			26	環境共生の森ほか畑土壌改良
	7	166.50					153.50		792	630	花の丘・花桟敷土壌改良 ※完成量は、草・木混合
	8	171.00					26.00	449			※処分量は草・木混合
	9	198.00					38.00				
	10	379.50					32.00			22	補助幹線花畑土壌改良
	11	255.00					21.00				
	12	126.50					66.00	815			※処分量は草・木混合
	1	5.50					137.00				
	2	23.00					15.00		644	37	野外劇場ツツジ移植土壌改良ほか ※完成量は、草・木混合
	3	94.50					6.00			67	環境共生の森植樹地土壌改良ほか
		1,836.25					621.50	1,264	1,436	806	
26	4	116.00					3.00				
	5	217.00					58.00			3	環境共生の森畑土壌改良
	6	299.00					105.00	436		22	補助幹線花畑土壌改良 ※処分量は草・木混合
	7	359.00					255.00		1,025	850	花の丘・花桟敷土壌改良 ※完成量は、草・木混合
	8	257.50					24.00				
	9	317.00					65.50				
	10	244.00					69.00			20	補助幹線花畑土壌改良
	11	288.50					34.50			60	花桟敷土壌改良
	12	53.50					42.50			25	野外劇場ツツジ移植土壌改良
	1	33.50					63.00				
	2	27.00					24.50			77	環境共生の森植樹地土壌改良ほか
	3	95.00					78.50		434	2	バラ園土壌改良
		2,307.00					822.50	436	1,459	1,059	

※処分方法
・草本：堆肥化
・木本：堆肥化、チップ化
・H25、H26は、実態として機械の性能上、処分(チップ化)を草本と木を混合しながら行っているため、一括して木本の処分量で一括計上。
・H21-23実績調書では、草本、木本それぞれで完成量を計上したが、実際は、混合した状態での完成量計上のため、実態を木本のところで一括計上。

作業手順

堆肥化作業

材料	園内の植物発生材 刈芝・剪定枝・松枯損木等
↓	
破砕	材料を破砕。材料の破砕機への投入はバックホウで行う。
↓	
畝（台形）形成	破砕後の材料をホイールローダー等で、高さ2m程度の台形に積み上げる。
↓	
切り返し・灌水	バックホウを使用し、台形の層の内側と外側を撹拌、切り返しし発酵を均等化させる。
↓	
熟成・水分調整	材料を屋根のある場所、もしくはシート等で雨を避け、堆肥を熟成させ同時に水分を調整する。
↓	
ふるい分け	約20㎜メッシュのふるい分け機でふるい分ける。
↓	
堆肥	景観木や樹林地、花畑や花壇などの土壌改良材、園内の植物栽培用堆肥として活用。

収益施設利用者数、売上等

別紙４１

■収益施設利用者数

【平成 24 年度】

＜飲食・物販施設利用客数＞　（単位：人）

	大芝生広場売店	中央駐車場売店	文化施設群ｴﾘｱ売店	アニマルショップ	月計
4月	5,204	2,877	463	3,590	12,134
5月	4,482	3,513	650	4,115	12,760
6月	1,525	2,016	317	1,248	5,106
7月	1,622	2,978	969	819	6,388
8月	1,928	11,751	2,063	1,473	17,215
9月	1,234	2,476	325	1,386	5,421
10月	6,066	2,206	320	4,061	12,653
11月	1,881	839	190	916	3,826
12月	1,581	402	－	216	2,199
1月	219	506	－	326	1,051
2月	1,305	720	－	729	2,754
3月	3,641	1,621	305	2,189	7,756
合計	30,688	31,905	5,602	21,068	89,263

【平成 25 年度】

＜飲食・物販施設利用客数＞　（単位：人）

	大芝生広場売店	ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ駐車場売店	文化施設群ｴﾘｱ売店	アニマルショップ	月計
4月	5,941	2,547	368	4,101	12,957
5月	4,903	3,993	724	4,640	14,260
6月	1,651	3,020	320	1,048	6,039
7月	600	3,618	1,018	732	5,968
8月	865	5,531	2,374	1,109	9,879
9月	1,562	3,338	524	1,985	7,409
10月	3,677	2,306	321	3,114	9,418
11月	1,543	1,003	189	992	3,727
12月	528	496	－	314	1,338
1月	481	861	－	431	1,773
2月	874	837	－	467	2,178
3月	2,693	1,967	－	1,804	6,464
合計	25,318	29,517	5,838	20,737	81,410

（中央駐車場売店はﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ駐車場売店に売店名変更。文化施設群ｴﾘｱ売店は 11 月末で営業終了）

【平成 26 年度】

＜飲食・物販施設利用客数＞　　（単位：人）

	大芝生広場売店	ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ駐車場売店	アニマルショップ		月計
4月	4,856	2,540	2,809		10,205
5月	5,706	4,155	5,109		14,970
6月	1,333	4,518	1,326		7,177
7月	921	3,168	826		4,915
8月	1,145	5,812	1,599		8,556
9月	2,562	3,019	2,487		8,068
10月	4,608	1,911	2,986		9,505
11月	2,160	1,611	1,443		5,214
12月	705	574	277		1,556
1月	510	759	521		1,790
2月	927	668	479		2,074
3月	3,876	2,545	3,123		9,544
合計	29,309	31,280	22,985		83,574

収益施設利用者数、売上等

■収益施設利用者数

【平成 24 年度】

＜レンタサイクル施設＞　　（単位:台）

	西サイクル			海の中道駅サイクル			ワンダーワールドロサイクル		
	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計
4 月	8,745	4,954	13,699	2,571	1,229	3,800	3,044	1,734	4,778
5 月	9,197	5,084	14,281	2,605	1,059	3,664	3,305	1,778	5,083
6 月	3,590	1,597	5,187	1,054	362	1,416	1,090	474	1,564
7 月	2,519	1,401	3,920	1,203	498	1,701	857	386	1,243
8 月	3,442	2,384	5,826	2,160	1,033	3,193	1,342	834	2,176
9 月	3,990	1,871	5,861	1,500	449	1,949	1,331	647	1,978
10 月	9,448	4,808	14,256	2,403	836	3,239	3,056	1,609	4,665
11 月	3,366	1,974	5,340	955	382	1,337	958	604	1,562
12 月	636	385	1,021	278	132	410	219	172	391
1 月	1,257	760	2,017	448	194	642	440	264	704
2 月	3,466	2,053	5,519	988	432	1,420	881	538	1,419
3 月	7,351	4,325	11,676	2,335	1,182	3,517	2,143	1,372	3,515
合計	57,007	31,596	88,603	18,500	7,788	26,288	18,666	10,412	29,078

（単位：台）

	光と風の広場サイクル			うち一輪車			貸し自転車合計
	大人	子供	計				
4 月	354	207	561	－	－	－	22,838
5 月	523	264	787	－	－	－	23,815
6 月	84	26	110	－	－	－	8,277
7 月	95	52	147	－	－	－	7,011
8 月	90	48	138	－	－	－	11,333
9 月	98	59	157	－	－	－	9,945
10 月	307	185	492	－	－	－	22,652
11 月	69	34	103	－	－	－	8,342
12 月	4	6	10	－	－	－	1,832
1 月	25	19	44	－	－	－	3,407
2 月	80	57	137	－	－	－	8,495
3 月	107	62	169	－	－	－	18,877
合計	1,836	1,019	2,855	－	－	－	146,824

【平成 25 年度】

＜レンタサイクル施設＞　　（単位:台）

	西サイクル			海の中道駅サイクル			ワンロサイクル		
	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計
4 月	9,239	5,412	14,651	2,655	1,150	3,805	3,776	1,969	5,745
5 月	9,297	4,772	14,069	2,619	858	3,477	3,893	1,940	5,833
6 月	3,147	1,430	4,577	1,102	337	1,439	1,335	580	1,915
7 月	1,668	855	2,523	961	350	1,311	658	298	956
8 月	2,123	1,484	3,607	1,532	599	2,131	963	657	1,620
9 月	5,851	3,013	8,864	2,099	662	2,761	2,028	1,134	3,162
10 月	8,206	4,016	12,222	2,371	788	3,159	3,066	1,762	4,828
11 月	3,642	2,069	5,711	1,081	391	1,472	1,311	807	2,118
12 月	1,051	653	1,704	469	187	656	429	285	714
1 月	2,270	1,489	3,759	730	312	1,042	821	566	1,387
2 月	2,361	1,210	3,571	793	285	1,078	826	448	1,274
3 月	5,856	3,644	9,500	2,266	978	3,244	2,471	1,759	4,230
合計	54,711	30,047	84,758	18,678	6,897	25,575	21,577	12,205	33,782

（単位：台）

	光と風の広場サイクル			うち一輪車			貸し自転車合計
	大人	子供	計				
4 月	305	169	474	－	－	－	24,675
5 月	484	265	749	－	－	－	24,128
6 月	69	37	106	－	－	－	8,037
7 月	49	21	70	－	－	－	4,860
8 月	25	15	40	－	－	－	7,398
9 月	186	72	258	－	－	－	15,045
10 月	302	165	467	－	－	－	20,676
11 月	91	67	158	－	－	－	9,459
12 月	18	8	26	－	－	－	3,100
1 月	39	32	71	－	－	－	6,259
2 月	37	20	57	－	－	－	5,980
3 月	98	70	168	－	－	－	17,142
合計	1,703	941	2,644	－	－	－	146,759

【平成 26 年度】

＜レンタサイクル施設＞　　（単位:台）

	西サイクル			海の中道駅サイクル			ワンロサイクル		
	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計
4 月	7,367	4,215	11,582	2,340	1,054	3,394	2,685	1,649	4,334
5 月	10,195	5,157	15,352	3,076	1,075	4,151	3,729	1,994	5,723
6 月	4,137	1,937	6,074	1,314	443	1,757	1,631	851	2,482
7 月	1,893	1,023	2,916	1,206	481	1,687	948	436	1,384
8 月	4,184	2,622	6,806	2,086	961	3,047	1,796	1,207	3,003
9 月	7,860	4,115	11,975	2,346	718	3,064	2,806	1,585	4,391
10 月	7,093	3,459	10,552	2,324	557	2,881	2,517	1,250	3,767
11 月	4,551	2,769	7,320	1,362	520	1,882	1,617	1,099	2,716
12 月	1,012	616	1,628	533	177	710	526	344	870
1 月	2,139	1,390	3,529	596	295	891	938	621	1,559
2 月	1,568	766	2,334	571	197	768	626	357	983
3 月	8,127	5,368	13,495	2,733	1,194	3,927	3,232	2,170	5,402
合計	60,126	33,437	93,563	20,487	7,672	28,159	23,051	13,563	36,614

（単位：台）

	光と風の広場サイクル			うち一輪車			貸し自転車合計
	大人	子供	計				
4 月	203	88	291				19,601
5 月	451	268	719				25,945
6 月	143	50	193				10,506
7 月	76	29	105				6,092
8 月	157	80	237				13,093
9 月	502	262	764				20,194
10 月	370	168	538				17,738
11 月	173	119	292				12,210
12 月	24	24	48				3,256
1 月	69	41	110				6,089
2 月	31	21	52				4,137
3 月	284	146	430				23,254
合計	2,483	1,296	3,779				162,115

＜駐車場＞

【平成 24 年度】

個別満車回数

月	大型車	小型車	二輪車	計	最大日	最大日の駐車台数	最大日における満車になった時間	満車になった回数	西駐	中央駐	光風駐
4 月	311	33,587	158	34,056	4 月 29 日(日)	4,982		2	1	1	
5 月	454	36,386	185	37,025	5 月 5 日(土)	6,102		6	2	2	2
6 月	146	15,934	55	16,135	6 月 10 日(日)	1,979					
7 月	172	34,481	148	34,801	7 月 29 日(日)	4,014					
8 月	169	77,216	314	77,699	8 月 19 日(日)	4,835		6	4	2	
9 月	207	25,426	116	25,749	9 月 2 日(日)	3,933	12:00～14:30 に満車				
10 月	510	33,308	190	34,008	10 月 21 日(日)	4,919					
11 月	268	15,223	72	15,563	11 月 4 日(日)	2,430	15:00 に満車解消				
12 月	50	13,088	52	13,190	12 月 24 日(月)	1,825					
1 月	11	10,100	28	10,139	1 月 13 日(日)	1,118					
2 月	203	14,365	48	14,616	2 月 23 日(土)	2,106					
3 月	187	25,060	145	25,392	3 月 24 日(日)	3,702					
年度計	2,688	334,174	1,511	338,373							

【平成 25 年度】

個別満車回数

月	大型車	小型車	二輪車	計	最大日	最大日の駐車台数	最大日における満車になった時間	満車になった回数	西駐	ワン海駐	光風駐
4 月	197	24,234	106	24,537	4 月 28 日(日)	5,168		4	2	2	
5 月	326	27,636	165	28,127	5 月 5 日(日)	5,084		7	4	3	
6 月	40	8,572	56	8,668	6 月 16 日(日)	1,675					
7 月	19	19,288	96	19,403	7 月 14 日(日)	3,010					
8 月	17	43,564	198	43,779	8 月 18 日(日)	3,319		5	4	1	
9 月	20	18,363	115	18,498	9 月 22 日(日)	3,290	12:00～14:30 に満車				
10 月	87	19,097	98	19,282	10 月 13 日(日)	4,152					
11 月	51	8,978	56	9,085	11 月 24 日(日)	1,940	15:00 に満車解消				
12 月	5	5,903	21	5,929	12 月 24 日(火)	1,323					
1 月	1	4,190	6	4,197	1 月 13 日(月)	482					
2 月	23	5,560	20	5,603	2 月 22 日(土)	1,677					
3 月	22	13,514	91	13,627	3 月 23 日(日)	3,553					
年度計	808	198,899	1,028	200,735							

【平成 26 年度】

個別満車回数

月	大型車	小型車	二輪車	計	最大日	最大日の駐車台数	最大日における満車になった時間	満車になった回数	西駐	ワン海駐	光風駐
4 月	154	20,513	96	20,763	4 月 27 日(日)	3,795	12:00～14:30 に満車 15:00 に満車解消	2	2		
5 月	282	31,445	145	31,872	5 月 4 日(日)	5,829		4	3	1	
6 月	36	9,812	26	9,874	6 月 29 日(日)	2,188					
7 月	40	18,194	141	18,375	7 月 20 日(日)	2,947					
8 月	39	39,008	99	39,146	8 月 31 日(日)	4,355		4	2	2	
9 月	94	19,421	96	19,611	9 月 14 日(日)	4,076					
10 月	116	18,840	97	19,053	10 月 19 日(日)	3,896					
11 月	81	12,585	70	12,736	11 月 23 日(日)	2,368					
12 月	18	6,363	28	6,409	12 月 26 日(金)	1,440					
1 月	0	2,490	6	2,496	1 月 25 日(日)	544					
2 月	40	4,963	13	5,016	2 月 21 日(土)	1,708					
3 月	19	17,394	104	17,517	3 月 22 日(日)	3,294					
年度計	919	201,028	921	202,868							

■デイキャンプ場利用者数

	平成 24 年度			
	団体件数	大人	子供	計
4 月	9	1,106	149	1,255
5 月	10	2,411	289	2,700
6 月	7	909	53	962
7 月	13	1,779	140	1,919
8 月	14	2,190	199	2,389
9 月	8	1,042	95	1,137
10 月	12	1,640	239	1,879
11 月	3	298	70	368
3 月	4	356	80	436
合計	80	11,731	1,314	13,045

	平成 25 年度			
	団体件数	大人	子供	計
4 月	7	961	211	1,172
5 月	5	2,239	536	2,775
6 月	5	955	85	1,040
7 月	11	2,098	170	2,268
8 月	8	1,857	174	2,031
9 月	12	1,797	124	1,921
10 月	12	1,820	289	2,109
11 月	2	640	93	733
3 月	2	212	51	263
合計	64	12,579	1,733	14,312

	平成 26 年度			
	団体件数	大人	子供	計
4 月	10	1,202	280	1,482
5 月	20	2,494	478	2,972
6 月	16	1,243	99	1,342
7 月	14	1,544	222	1,766
8 月	17	1,831	201	2,032
9 月	13	1,631	208	1,839
10 月	6	1,379	227	1,606
11 月	4	552	67	619
3 月				
合計	100	11,876	1,782	13,658

■国営海の中道海浜公園施設修繕履歴（H24-26）

○飲食・物販施設

期間	項目	回数／年	年間金額(円)	主な修繕	備考
H24 年度	修繕				
	清掃	2	15,200	ﾜｯｸｽ・窓ガラス等清掃ほか	
H25 年度	修繕	1	26,800	陳列棚修繕	
	清掃	2	14,600	ﾜｯｸｽ・窓ガラス等清掃ほか	
H26 年度	修繕		32,000	ｱﾙﾐｻｯｼ・引き戸修繕	
	清掃	2	26,200	ﾜｯｸｽ・窓ガラス等清掃ほか	

○デイキャンプ場

期間	項目	回数／年	年間金額(円)	主な修繕	備考
H24 年度	修繕	0	0		
H25 年度	修繕	0	0		
	除草	年間管理	334,051	芝生管理	
	清掃				
H26 年度	修繕	2	91,200	案内看板修繕等	
	除草	年間管理	373,200	芝生管理	
	清掃				

○駐車場

期間	項目	回数／年	年間金額(円)	主な修繕	備考
H24 年度	修繕	7	271,100	半自動精算機修繕等	
	除草	年間管理	3,236,354		
	清掃		1,521,219		
	巡視		9,788,790		
H25 年度	修繕	3	82,510	半自動精算機修繕等	
	除草	年間管理	2,679,000		
	清掃		704,363		
	巡視		5,067,272		
H26 年度	修繕	7	226,200	半自動精算機修繕等	
	除草	年間管理	2,813,680		
	清掃		1,052,422		
	巡視		5,948,784		

○サイクリング施設

期間	項目	回数／年	年間金額（円）	主な修繕	備考
H24 年度	修繕	8	458,462	照明修繕、自転車修繕等	
	巡視				
H25 年度	修繕	18	770,380	自動券売機修繕、自転車修繕等	
	巡視				
H26 年度	修繕	18	606,588	自動券売機修繕、自転車修繕等	
	巡視				

■国営海の中道海浜公園施設資産一覧（1/N）

施設名	区分	詳細	数量等	所有者	公募記載
	建物	木造（ログハウス）	一式	テナント	
		自動販売機防犯設備(園内 27 カ所)	一式	テナント	
	建物付属設備	売店厨房設備	一式	テナント	
		金属ｼｬｯﾀｰ(動物の森売店)	一式	テナント	
		電気設備(自販機)	一式	テナント	
	器具備品	冷凍庫	一式	テナント	
		製氷機	一式	テナント	
		電子レンジ	一式	テナント	
		冷凍冷蔵庫	一式	テナント	
		厨房機器	一式	テナント	
		ｴｱｺﾝ	一式	テナント	
		監視カメラシステム	一式	テナント	
		木製ｶｳﾝﾀｰ・ｺｰﾅｰｶｳﾝﾀｰ・ﾚｼﾞ台	一式	テナント	
		エスプレッソマシーン	一式	テナント	
		AED	一式	テナント	
	構築物				
	ｿﾌﾄｳｪｱ	デイキャンプ場予約システム	一式	テナント	

■収益施設売上額

1．固定的収益施設

施設区分		売上額（千円）	備考
施設区分	施設名／内訳	（3 箇年平均）	
デイキャンプ場	①サイト利用料	832	
	②レンタル料	365	
	③デイキャンプ駐車場	1,327	
売店	①大芝生売店	12,251	貸パター、ディスク含む
	②マリン駐車場売店（中央駐車場売店）	13,568	
	③文化施設群売店	1,589	H24.～H25 のみ営業
	④動物の森アニマルショップ売店	11,030	
駐車場	①　西駐車場	66,762	
	②　海中口ﾜﾝ口駐車場（中央駐車場）	46,021	
	③　光と風の広場駐車場	4,300	
サイクリング施設	①　西サイクロ	30,874	
	②　海中口	9,413	
	③　ワンダーワールドロ	11,132	
	④　光と風の広場口	1,091	
自動販売機	①　　自動販売機	39,826	

■国営海の中道海浜公園施設事故等報告件数（H24-26）

項目	事故等件数		
	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
レストラン・売店	1 件	0 件	0 件
駐車場	3 件	1 件	2 件
自転車	1 件	1 件	2 件
デイキャンプ場	0 件	0 件	1 件
自販機	0 件	0 件	0 件
合計	5 件	2 件	5 件

収益施設従業員数一覧

【平成 24 年度】

施設区分		面積	従業員数(人)			備考			
施設区分	施設名/内訳	(m^2)	通常期	繁忙期	閑散期				
飲食施設	①レストラン A	建物 敷地							
	②レストラン B	建物 敷地							
	③レストラン C	建物 敷地							
物販施設	①大芝生広場売店	41	2 人	2～5 人	2 人	面積:設置管理許可又は占用面積			
	②中央駐車場売店	37.9	1 人	1～3 人	1 人	面積:設置管理許可又は占用面積			
	③港売店	47	1 人	1 人	1 人	面積:設置管理許可又は占用面積			
	④ｱﾆﾏﾙﾐｭｰｼﾞｱﾑｼｮｯﾌﾟ	15.14	1 人	1 人	1 人	面積:設置管理許可又は占用面積			
駐車場						普通車	大型車	身障用	計
	①西駐車場	75,984	1 人	2～3 人	1 人	1478 台	42 台	38 台	1558 台
	②中央駐車場	40.670	2 人	2～4 人	2 人	1329 台	20 台	16 台	1515 台
	③光と風の広場駐車場	17.115	0 人	0～1 人	0 人	582 台	13 台	10 台	605 台
	③デイキャンプ駐車場	2.559	1 人	1 人	1 人	72 台	0 台	3 台	75 台
サイクリング施設						大人用	子供用	タンデム	計
	①西サイクリング	一輪車 871	2 人	2～6 人	2 人	570 台	342 台	60 台	972 台
	②海中駅口サイクル	157	1 人	1～2 人	1 人	108 台	42 台	15 台	165 台
	③観覧車口サイクル	209	1 人	1～2 人	1 人	125 台	65 台	15 台	205 台
	④光と風の広場サイクル	287	1 人	1 人	1 人	82 台	28 台	10 台	120 台

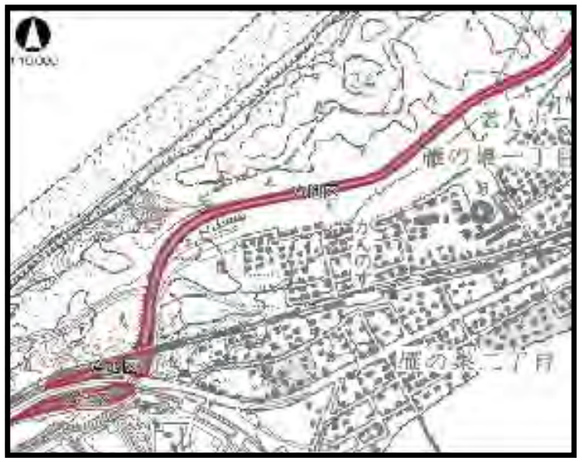
【平成 25 年度】

施設区分		面積	従業員数(人)			備考
施設区分	施設名/内訳	(m^2)	通常期	繁忙期	閑散期	
飲食施設	①レストラン A	建物 敷地				
	②レストラン B	建物 敷地				
	③レストラン C	建物 敷地				
物販施設	①大芝生広場売店	146	2 人	2～5 人	2 人	面積:設置管理許可又は占用面積
	②ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ駐車場売店	38	1 人	1～2 人	1 人	面積:設置管理許可又は占用面積
	③港売店	223.46	1 人	1 人	1 人	面積:設置管理許可又は占用面積
	④ｱﾆﾏﾙﾐｭｰｼﾞｱﾑｼｮｯﾌﾟ	15.14	1 人	1 人	1 人	面積:設置管理許可又は占用面積
駐車場						普通車 / 大型車 / 身障用 / 計
	①西駐車場	75,984 臨時	1 人	2～3 人	1 人	1478 台 / 42 台 / 10 台 / 1530 台
	②海の中道駅口駐車場	23.540	2 人	2～4 人	2 人	492 台 / 0 台 / 6 台 / 498 台
	②ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞﾛ駐車場	14.000	0 人	0 人	0 人	315 台 / 5 台 / 5 台 / 325 台
	③光と風の広場駐車場	17,115	0 人	0～1 人	0 人	582 台 / 13 台 / 10 台 / 605 台
	③デイキャンプ駐車場	2,559	1 人	1 人	1 人	72 台 / 0 台 / 3 台 / 75 台
サイクリング施設						大人用 / 子供用 / タンデム / 計
	①西サイクリング	一輪車 871	2 人	2～6 人	2 人	693 台 / 190 台 / 55 台 / 938 台
	②海中駅口サイクル	157	1 人	1～2 人	1 人	135 台 / 30 台 / 15 台 / 180 台
	③観覧車口サイクル	209	1 人	1～2 人	1 人	185 台 / 46 台 / 18 台 / 249 台
	③港サイクル	287	0 人	1 人	0 人	
	④光と風の広場口ｻｲｸﾙ	296	1 人	1 人	1 人	125 台 / 20 台 / 12 台 / 157 台

【平成 26 年度】

施設区分		面積		従業員数(人)			備考			
施設区分	施設名/内訳	(m^2)		通常期	繁忙期	閑散期				
飲食施設	①レストラン A	建物 敷地								
	②レストラン B	建物 敷地								
	③レストラン C	建物 敷地								
物販施設	①大芝生広場売店	146		2 人	2～5 人	2 人	面積:設置管理許可又は占用面積			
	②ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ駐車場売店	38		1 人	1～2 人	1 人	面積:設置管理許可又は占用面積			
	③ｱﾆﾏﾙﾐｭｰｼﾞｱﾑｼｮｯﾌﾟ	15.14		1 人	1～2 人	1 人	面積:設置管理許可又は占用面積			
駐車場							普通車	大型車	身障用	計
	①西駐車場	75,984 臨時		1 人	2～3 人	1 人	1478 台	42 台	10 台	1530 台
	②海の中道駅口駐車場	23.540		2 人	2～4 人	2 人	492 台	0 台	6 台	498 台
	②ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞﾛ駐車場	14.000		0 人	0 人	0 人	315 台	5 台	5 台	325 台
	③光と風の広場駐車場	17,115		0 人	0～1 人	0 人	582 台	13 台	10 台	605 台
	③デイキャンプ駐車場	2,559		1 人	1 人	1 人	72 台	0 台	3 台	75 台
サイクリング施設							大人用	子供用	タンデム	計
	①西サイクリング	一輪車	871	2 人	2～6 人	2 人	693 台	190 台	55 台	938 台
	②海中駅口サイクル		157	1 人	1～2 人	1 人	135 台	30 台	15 台	180 台
	③観覧車口サイクル		209	1 人	1～2 人	1 人	185 台	46 台	18 台	249 台
	③港サイクル		287	0 人	1 人	0 人				
	③光風サイクル		296	1 人	1 人	1 人	125 台	20 台	12 台	157 台

海の中道海浜公園　供用区域図



地区名
A地区
B地区
C地区
D地区

地区名	総面積(ha)
A地区	2.7
B地区	41.8
C地区	190.7
D地区	58.2

供用順	供用開始日	面積(ha)	地区	A地区	B地区	C地区	D地区
1	昭和56年10月20日	58.7	C	0	0	58.7	0
2	昭和58年4月1日	8.4	C	0	0	8.4	0
3	昭和58年6月24日	6	C	0	0	6	0
4	昭和59年4月21日	5.3	C	0	0	5.3	0
5	昭和59年6月29日	6	C	0	0	6	0
6	昭和60年4月13日	6	C	0	0	6	0
7	昭和61年4月12日	6	C	0	0	6	0
8	昭和61年7月11日	5.6	C	0	0	5.6	0
9	昭和62年4月25日	13.8	C	0	0	13.8	0
10	昭和62年10月26日	7.4	C	2.7	0	7.4	0
11	昭和63年10月26日	4.3	C	0	0	4.3	0
12	平成元年3月17日	11.5	A、C	0	0	8.8	0
13	平成元年7月29日	3.9	C、D	0	0	1.2	2.7
14	平成2年3月24日	13.4	C、D	0	0	7.7	5.7
15	平成3年8月1日	6.1	C、D	0	0	4.3	1.8
16	平成4年12月18日	8.3	C	0	0	8.3	0
17	平成5年10月8日	11.8	C	0	0	11.8	0
18	平成6年4月22日	3.7	C、D	0	2.2	0	1.5
19	平成6年7月20日	1.5	C	0	0	1.5	0
20	平成7年4月15日	1.4	C	0	0	1.4	0
24	平成7年7月21日	1	C	0	0	1	0
22	平成9年4月1日	9	C	0	0	9	0
23	平成11年4月12日	6.4	C	0	0	6.4	0
24	平成14年3月21日	24.7	B、C	0	24.3	0.4	0
25	平成17年3月19日	19.2	D	0	0	0	19.2
26	平成22年3月20日	15.3	B	0	15.3	0	0
27	平成23年3月19日	27.3	D	0	0	0	27.3
28	平成25年4月1日	1.4	C	0	0	1.4	0

供用順	供用開始日
1	昭和56年10月20日
2	昭和58年4月1日
3	昭和58年6月24日
4	昭和59年4月21日
5	昭和59年6月29日
6	昭和60年4月13日
7	昭和61年4月12日
8	昭和61年7月11日
9	昭和62年4月25日
10	昭和62年10月26日
11	昭和63年10月26日
12	平成元年3月17日
13	平成元年7月29日
14	平成2年3月24日
15	平成3年8月1日
16	平成4年12月18日
17	平成5年10月8日
18	平成6年4月22日
19	平成6年7月20日
20	平成7年4月15日
24	平成7年7月21日
22	平成9年4月1日
23	平成11年4月12日
24	平成14年3月21日
25	平成17年3月19日
26	平成22年3月20日
27	平成23年3月19日
28	平成25年4月1日

別紙４２

別紙４３

空調設備点検機器

	施設名	品名・型番	台数
1	管理センター	ダイキン工業　FHCP56BC（室内機）	4
		ダイキン工業　RZYP224CAH（室外機）	1
		日立　RAS-AP690DG3(JE)（室外機）	1
		日立　RCI-AP45K4（室内機）	2
		日立　RCI-AP36K4（室内機）	6
		日立　RCI-AP28K4（室内機）	4
		日立　RCB-AP140K1（室内機）	1
		日立　RAS-AP224DG3（JE）（室外機）	1
		日立　RPI-AP1680KFG（室内機）	1
		日立　RCI-AP112GHP1(JE)（室外機）	1
		日立　RCI-AP40GH1(JE)（室外機）	1
		日立　PSC-A16RS1（ﾜﾝﾀｯﾁｺﾝﾄﾛｰﾗｰ）	1
		三菱　LGH-N65RX(全熱交換器)	1
		三菱　PZ-N65RF（同上全熱交換器の予備ﾌｨﾙﾀｰ）	1
		三菱　LGH-N35CX(全熱交換器)	1
		三菱　PZ-N35CF（同上全熱交換器の予備ﾌｨﾙﾀｰ）	1
2	水辺の広場レストハウス	三菱 パッケージ空気調和機室外機（耐重塩害仕様） PUZ-ERP22KA4-BSG	2
		三菱 パッケージ型空気調和機室内機（床置型） PUZ-RP224BA6	2
		三菱　全熱交換ユニット（天吊型）　SCH-50ESH2	2
		ダイキンドレンポンプアップキッド　K-DU202E	1
3	西口管理棟	ダイキン空冷ヒートポンプエアコン　SRYP8HA	1
4	動物の森レストハウス	ダイキン空冷ヒートポンプエアコン　SRY20HA	1
5	大芝生広場レストハウス	ダイキン空冷ヒートポンプエアコン　SRY15HA	1
6	子供の広場管理棟	三菱 パッケージエアコンユニット MPF-RP280BA3	4
		三菱 インバート室外機　MPUZ-ERP280KA-BSG	4
7	環境共生の森活動拠点	三菱 壁掛形　MSZ-AXV220-W-IN	1
		三菱 壁掛形　MUZ- AXV220	1

汚水ポンプ設備点検内容

１．　汚水ポンプ（当公園内の汚水（下水）を福岡市の下水本管に流すための汚水ポンプ）数

① 汚水ポンプ室内　　：　10 箇所（各：ポンプ 2 台・操作盤 1 面）
② マンホールポンプ所　：　10 箇所（各：ポンプ 2 台・操作盤 1 面）

２．　点検時期（年 2 回）

① 夏季
② 冬季

３．　点検内容

① ポンプ絶縁抵抗
② モーター抵抗
③ 運転時電流
④ 運転時電圧
⑤ 運転時振動
⑥ 異常音
⑦ 盤内各端子の増締
⑧ 各表示灯の点灯確認
⑨ 各スイッチ類の作動確認
⑩ サーマル設定確認
⑪ 補助リレー外観点検
⑫ フロートスイッチ作動確認
⑬ 盤内絶縁抵抗

放送設備点検内容

１．点検箇所

① 西口管理棟
② 子供の広場管理棟
③ インフォメーションセンター
④ 動物の森管理棟
⑤ 渡船場管理棟
⑥ シオヤ展望管理棟
⑦ 光と風の広場管理棟の放送設備
⑧ 環境共生の森拠点施設
⑨ いこいの森
⑩海の松原
⑪屋外スピーカー

２．点検内容

① 機器清掃（放送装置架）
② 外観点検（放送装置架、スピーカー）
③ 動作確認（放送装置架、各スピーカーユニットの音声確認）
※ 音声確認はＢＧＭを使用し、各スピーカー１個について現地で点検確認を行うものとする。

３．点検機器（放送装置架）

① モニターパネル
② 120W 電力増幅器
③ アンプ前置増幅パネル
④ マイク放送選択パネル
⑤ アンプ用チャンネルセレクターパネル
⑥ リモート制御パネル
⑦ 出力制御パネル
⑧ 入力端子パネル
⑨ 電源パネル及び増設電源パネル
⑩ バッテリー
⑪ ハンドマイク
⑫ チューナー
⑬ カセットデッキ
⑭ ＣＤデッキ

４．点検機器（屋外用スピーカー）

トーンゾイレスピーカー（ポール取付型・ポールH= 3～10ｍ、建物取付型） ： 207台

５．その他の放送装置

① 避雷回路盤
② 卓上マイクユニット

別紙４６

動 物 管 理 実 績

平成24年度

動　物　名	頭 数	餌　の　種　類	日当たり標準餌量（kg）	年間餌量（kg）
ヒツジ	11	乾草、ペレット	13～15	4,700～5,500
シバヤギ	9	乾草、ペレット	6～8	2,200～2,900
トカラヤギ	6	乾草、ペレット	3～4	1,100～1,500
ミミナガヤギ	2	乾草、ペレット	2～3	700～1,100
ラマ	13	乾草、ペレット	27～30	9,900～11,000
クロクモザル	6	ニンジン、イモ、青菜、バナナ、ミカン、卵、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ	5～6	1,800～2,200
フサオマキザル	17	ニンジン、イモ、青菜、バナナ、ミカン、卵、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ	9～10	3,300～3,700
リスザル	82	ニンジン、イモ、バナナ、ミカン、zoo ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ、ウズラ卵	13～15	4,700～5,500
ウサギ	27	乾草、ウサギペレット	5～6	1,800～2,200
カピバラ	12	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	23～25	8,400～9,100
マーラ	29	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	24～27	8,800～9,900
モルモット	75	乾草、ウサギペレット	3～4	1,100～1,500
プレーリードッグ	16	乾草、ウサギペレット、ニンジン青菜	2～3	700～1,100
カンガルー	14	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	24～25	8,800～9,100
ミニブタ・イノシシ	4	ブタ用ペレット	2～3	700～1,100
サラブレット	1	乾草、ペレット	10～12	3,700～4,400
シェットランドポニー	3	乾草、ペレット	12～14	4,400～5,100
ミゼットポニー	2	乾草、ペレット	4～6	1,500～2,200
ロバ	3	乾草、ペレット	3～4	1,100～1,500
水鳥	45	水禽用ペレット	10	3,700
フラミンゴ	72	フラミンゴペレット	15～17	5,500～6,200
インドクジャク	13	青菜、成鶏用ツブエ	5～6	1,800～2,200
ホロホロチョウ	37	成鶏用ツブエ	4	1,500
コンゴウインコ	7	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	2	700
タイハクオウム	2	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	1	400
ﾖｳﾑ・ｱｵﾎﾞｳｼｲﾝｺ・ｷｴﾘﾎﾞｳｼｲﾝｺ	5	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	1	400
マナヅル	4	ツル用ペレット	2	700
ﾑﾂｱｼｶﾞﾒ・ｹﾂﾞﾒﾘｸｶﾞﾒ・ﾋｮｳﾓﾝﾘｸｶﾞﾒ	4	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、	1～2	400～700
ハコガメ	5	カメの餌	0.08	30

動 物 管 理 実 績

平成25年度

動　物　名	頭 数	餌　の　種　類	日当たり標準餌量（kg）	年間餌量（kg）
ヒツジ	11	乾草、ペレット	13～15	4,700～5,500
シバヤギ	7	乾草、ペレット	5～6	1,800～2,200
トカラヤギ	5	乾草、ペレット	2～3	700～1,100
ミミナガヤギ	1	乾草、ペレット	1	400
ラマ	12	乾草、ペレット	24～26	8,800～9,500
クロクモザル	6	ニンジン、イモ、青菜、バナナ、ミカン、卵、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ	5～6	1,800～2,200
フサオマキザル	20	ニンジン、イモ、青菜、バナナ、ミカン、卵、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ	10～11	3,700～4,000
リスザル	83	ニンジン、イモ、バナナ、ミカン、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ、ウズラ卵	13～15	4,700～5,500
ウサギ	23	乾草、ウサギペレット	5～6	1,800～2,200
カピバラ	15	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	28～30	10,200～11,000
マーラ	27	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	22～24	8,000～8,800
モルモット	80	乾草、ウサギペレット	3～4	1,100～1,500
プレーリードッグ	14	乾草、ウサギペレット、ニンジン青菜	2～3	700～1,100
カンガルー	20	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	33～35	12,000～12,800
ミニブタ・イノシシ	4	ブタ用ペレット	2～3	700～1,100
シェットランドポニー	4	乾草、ペレット	12～14	4,400～5,100
ミゼットポニー	2	乾草、ペレット	4～6	1,500～2,200
ロバ	3	乾草、ペレット	3～4	1,100～1,500
水鳥	45	水禽用ペレット	10	3,700
フラミンゴ	71	フラミンゴペレット	15～17	5,500～6,200
インドクジャク	12	青菜、成鶏用ツブエ	5～6	1,800～2,200
ホロホロチョウ	29	成鶏用ツブエ	3	1,100
コンゴウインコ	7	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	2	700
タイハクオウム	2	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	1	400
ﾖｳﾑ・ｱｵﾎﾞｳｼｲﾝｺ・ｷｴﾘﾎﾞｳｼｲﾝｺ	4	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	1	400
マナヅル	4	ツル用ペレット	2	700
ﾑﾂｱｼｶﾞﾒ・ｹﾂﾞﾒﾘｸｶﾞﾒ・ﾋｮｳﾓﾝﾘｸｶﾞﾒ	4	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、	1～2	400～700
ハコガメ	5	カメの餌	0.08	30

動 物 管 理 実 績

平成26年度

動　物　名	頭 数	餌　の　種　類	日当たり標準餌量（kg）	年間餌量（kg）
ヒツジ	9	乾草、ペレット	11～14	4,000～5,100
シバヤギ	6	乾草、ペレット	4～5	1,500～1,800
トカラヤギ	5	乾草、ペレット	2～3	700～1,100
ミミナガヤギ	2	乾草、ペレット	2～3	700～1,100
ラマ	11	乾草、ペレット	22～24	8,000～8,800
クロクモザル	6	ニンジン、イモ、青菜、バナナ、ミカン、卵、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ	5～6	1,800～2,200
フサオマキザル	17	ニンジン、イモ、青菜、バナナ、ミカン、卵、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ	9～10	3,300～3,700
リスザル	98	ニンジン、イモ、バナナ、ミカン、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ、ウズラ卵	12～15	4,400～5,500
ウサギ	24	乾草、ウサギペレット	5～6	1,800～2,200
カピバラ	7	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	13～15	4,700～5,500
マーラ	28	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	23～25	8,400～9,100
モルモット	103	乾草、ウサギペレット	4～5	1,500～1,800
プレーリードッグ	15	乾草、ウサギペレット、ニンジン青菜	1～2	400～700
カンガルー	22	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	36～38	13,100～13,900
ミニブタ、イノシシ	5	ブタ用ペレット	2～3	700～1,100
シェットランドポニー	4	乾草、ペレット	12～14	4,400～5,100
ミゼットポニー	2	乾草、ペレット	4～5	1,500～1,800
ウエルッシュポニー	1	乾草、ペレット	2～3	700～1,100
ロバ	3	乾草、ペレット	3～4	1,100～1,500
水鳥	36	水禽用ペレット	10	3,700
フラミンゴ	70	フラミンゴペレット	14～16	5,100～5,800
インドクジャク	11	青菜、成鶏用ツブエ	3～4	1,000～1,500
ホロホロチョウ	28	成鶏用ツブエ	3	1,100
コンゴウインコ	9	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	2	700
タイハクオウム	2	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	1	400
ﾖｳﾑ・ｱｵﾎﾞｳｼｲﾝｺ・ｷｴﾘﾎﾞｳｼｲﾝｺ	4	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	1	400
マナヅル	4	ツル用ペレット	2	700
ﾑﾂｱｼｶﾞﾒ・ｹﾂﾞﾒﾘｸｶﾞﾒ・ﾋｮｳﾓﾝﾘｸｶﾞﾒ	4	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、	1～2	400～700
ハコガメ	5	カメの餌	0.08	30

平成24年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
●抗生剤					
テラマイシンＬＡ注射液	3本	1箱+1管	カンガルー病、膿瘍	カンガルー、リスザル等	
バクテロン散5%	0	4箱	使用実績なし		
鼻内用カナマイシン	0	0	使用実績なし		
カナマイシン注NZ	0	1本	使用実績なし		
カナマイシンシロップ明治	0	1本	使用実績なし		
スペルゾン静注用0.5g	0	7管	使用実績なし		
ケフレックスシロップ用細粒	0	1本	使用実績なし		
ホスミシン細粒40%	1.5箱	2箱	感染症予防	リスザル	
ホスミシンドライシロップ	0	1本	使用実績なし		
ネオテラミックス	0	2袋	使用実績なし		
子宮内膜炎用ホーミングマイシン	4本	1箱	膣脱	ラマ	
バイトリル2.5%HV液	6本	3本	カンガルー病	カンガルー	
バイトリル10%注射液	1本	2本	感染症予防	ウサギ・モルモット等	
バイトリルワンショット	1本	1本	感染症予防	コブハクチョウ・マーラ等	
バイトリル15mg錠	8箱	4箱	感染症予防	ウサギ・モルモット等	
バイトリル50mg錠	8箱	3箱	感染症予防	ウサギ・カピバラ等	
バイトリル150mg錠	0	0	使用実績なし		
マイシリンゾル	1本	4本	感染症予防	ラマ・ヒツジ	
ビブラマイシン錠50ｍｇ	0	80錠	使用実績なし		
バナンドライシロップ	0		使用実績なし		
インダスト点滴・静注用	0	0	使用実績なし		
チエナム静注	5本	2箱	カンガルー病	カンガルー	
バチリオン錠100	0	20錠	使用実績なし		
モダケミン静注	0	1箱	使用実績なし		
プランジン	0	0	使用実績なし		
モダシン	0	1箱	使用実績なし		
ロキファン	0	0	使用実績なし		
アミカマイシン	0	1箱+7管	使用実績なし		
ラセナゾリン注射用1g	0	9管	使用実績なし		
ロセフィン静注用	0	1箱	使用実績なし		
セファクリア錠	0.5箱	160錠	感染症予防	リスザル	
タナロキシン	0	0	使用実績なし		
ビクシリン	0	1箱	使用実績なし		
ハリゾン錠	0	0	使用実績なし		
アプシードシロップ	0	1本	使用実績なし		
ダイメトンB注20%	0	1箱	使用実績なし		
ダイメトン粒状	0	1本	使用実績なし		
トリブリッセン	0	0	使用実績なし		
トリメノール散	25ｇ	0	コクシジウム症	ミミナガヤギ	
●抗真菌薬					
グリセチンＶ錠	1箱	3箱+9錠	真菌症	モルモット、トカラヤギ	
ナイスタチン錠	0	30錠	使用実績なし		
フルコナゾール	0	20錠	使用実績なし		
イトコラゾール錠100「MEEK」	1錠	15錠	真菌症	ヨウム	
●抗炎症薬					
リマダイル100	0	3本	使用実績なし		
リマダイル75	0	3本	使用実績なし		
リマダイル25	0	2本	使用実績なし		
フィナジン注射液１％	0	0	使用実績なし		
ポンタールカプセル	0	1缶	使用実績なし		
バナミン注射液5%	15ｍｌ	3本	鎮痛	ポニー、ミミナガヤギ等	
デカドロンエリキシル	0	1本	使用実績なし		
メタカム0.5%注射液	0	1本	使用実績なし		
メロキシカム錠5mg	0	0	使用実績なし		
メタカムチュアブル錠1.0mg	0	1箱	使用実績なし		
水性デキサメサゾン注A	5ｍｌ	1箱+1管	ショック改善	ワラビー、マーラ、ヒツジ等	
コルソンＰ	0	1本	使用実績なし		

平成24年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
プレドニゾロン	6m l	2箱+5管	抗炎症	カンガルー、ウサギ等	
プレドニゾロン錠	0	0	使用実績なし		
メチロン注	0	0	使用実績なし		
エスピレ座薬	0	90錠	使用実績なし		
小児用バファリン	0	8錠	使用実績なし		
●駆虫薬					
バイコックス	2本	7本	コクシジウム症	ヒツジ、カピバラ、ポニー等	
メイポール10	0	0	使用実績なし		
モキシデック	2箱	0	予防的駆虫	ヒツジ、ヤギ	
イベルメック	0.5本	0	駆虫	ﾓﾙﾓｯﾄ、ｳｻｷﾞ、ﾐﾐﾅｶﾞﾔｷﾞ等	
アイボメック	0	0	使用実績なし		
アイボメックトピカル	0	0	使用実績なし		
コンバントリンドライシロップ	0	22包	使用実績なし		
コンバントリン錠	0	1箱	使用実績なし		
アスゾール錠	1.5箱	2箱+50錠	駆虫	カピバラ	
フルモキサール散	1包	1箱+11包	駆虫	ウサギ	
ミルベマイシンA顆粒	0	1本	使用実績なし		
ドロンシット錠	0	10錠	使用実績なし		
ドロンシット注射液	0	1本	使用実績なし		
サンマコー粉剤	0	1袋	使用実績なし		
フェンベンダゾール	0	0	使用実績なし		
スパトニン注射液	0	1本	使用実績なし		
カンパス	0	0	使用実績なし		
カマラ	0	1本	使用実績なし		
ウェルパン	0	0	使用実績なし		
ピカシンポアオン	0	1箱	使用実績なし		
フロントラインスプレー	0	6本	使用実績なし		
アドバンテージスポット	0	0	使用実績なし		
フロントライン	0	3箱	使用実績なし		
アンサイロール	0	5本	使用実績なし		
カルドメックチュアブルP272	0	2箱+5個	使用実績なし		
カルドメックチュアブルP136	0	9箱	使用実績なし		
カルドメックチュアブルP68	0	10箱	使用実績なし		
デパラシン	0	1箱+42包	使用実績なし		
ネグホン	200ｇ	1袋	駆虫	ウサギ、モルモット等	
●消化器薬					
ミヤリサン	4箱	2箱	消化器症状の改善	ミミナガヤギ、カピバラ等	
プロテアーゼ「アマノ」	0	1箱	使用実績なし		
プリンペラン注射薬	0	7管	使用実績なし		
プリンペラン錠剤	0	1箱	使用実績なし		
ギンベル散	1包	6包	消化器症状の改善	カピバラ	
グリセリン浣腸「オヲダ」120	0	3箱	使用実績なし		
スパスメントラル	0	5本	使用実績なし		
ベリチーム顆粒	0	0	使用実績なし		
モーサン	1箱	2箱	消化器症状の改善	カピバラ、ミニブタ等	
加香ひまし油	0	8本	使用実績なし		
硫酸マグネシウム	0	8箱	使用実績なし		
ガスモチン	0	1箱	使用実績なし		
炭酸水素ナトリウム	0	1箱	使用実績なし		
サラゾピリン	0	80錠	使用実績なし		
フェロベリンA	0	600錠	使用実績なし		
ブスコパン錠	0	80錠	使用実績なし		
ビオフェルミンR錠	0	70錠	使用実績なし		
ビオフェルミンS錠	14錠	0	消化器症状の改善	クモザル	
ベルバリン	0	3本	使用実績なし		
シンラック	0	6本	使用実績なし		
コンスーベン内用液	0	2箱	使用実績なし		
ガスナインS	0	1本	使用実績なし		

平成24年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
ガスピタン	0	0	使用実績なし		
人工カルス塩「ヤマゼン」	0	4箱	使用実績なし		
タンニン酸	0	0	使用実績なし		
ビオラクト	0	30包	使用実績なし		
●麻酔薬					
アンチセダン	3本	2本	麻酔覚醒	ウサギ、モルモット、ラマ等	
ハルシオン0.25mg	0	70錠	使用実績なし		
ハルシオン0.125mg	0	70錠	使用実績なし		
リスミー	0	0	使用実績なし		
アネトカインゼリー	0	3本	使用実績なし		
キシロカインゼリー	0	5本	使用実績なし		
●ビタミン剤					
ビタメジン静注	0	23管	使用実績なし		
メイロング	4箱	6箱	栄養補助	カンガルー	
パンカルG酸	1袋	20袋	栄養補助	ヒツジ等	
アスコルビン酸	2本	2本	栄養補助	モルモット	
アスコルビン酸注射液	2管	37管	栄養補助	モルモット	
エーフィード	4ｋｇ	0	栄養補助	カピバラ等	
レバチオ液	24箱	18本	強肝	リスザル	
デュファフラルフォルテ	0	2本	使用実績なし		
アニビタン100注射液	2箱	1箱	補液	リスザル、ウサギ、ヒツジ等	
マスチゲンＢ	3管	38管	貧血治療	ヒツジ	
プロＥＱ	6個	10個	栄養補助	ウマ	
カルチコール注射液	0	34管	使用実績なし		
●補液					
ソルラクトD	100袋	15袋	補液	マーラ、ウサギ、ヒツジ等	
5%ブドウ糖　500ml	0	20本	使用実績なし		
5%ブドウ糖　250ml	0	8本	使用実績なし		
グリセオール	0	0	使用実績なし		
ソリタ　T-1	0	10本	使用実績なし		
キシリット注5%	0	0	使用実績なし		
生理食塩水	17袋	13本	患部の洗浄等	マーラ、ウサギ等	
デキストラン	0	9本	使用実績なし		
●劇薬					
酢酸鉛	0	1本	使用実績なし		
パラスチミン	0	1箱+4管	使用実績なし		
ベサネコール	0	2箱+2管	使用実績なし		
テルペラン	8管	1箱	消化器症状の改善	ウサギ、カンガルー	
エクイバランペースト	0	14本	使用実績なし		
エクイバランゴールド	0	0	使用実績なし		
キモチーム	1箱+1管	1箱+4管	消炎	カンガルー	
ネオアスP	0	34管	使用実績なし		
ヨードチンキ	0	5本	使用実績なし		
硝酸銀	0	2本	使用実績なし		
抱水クロラール	0	1本	使用実績なし		
フェノバルビタール	0	1本	使用実績なし		
ボログルコン酸カルシウム	0	2本	使用実績なし		
強力OSM	0	2管	使用実績なし		
ボスミン注	0	17管	使用実績なし		
ブスコパン注	0	1箱	使用実績なし		
ドミトール	1本	4本	麻酔	ウサギ、モルモット、ラマ等	
セラクタール2%	2本	2本	麻酔	ラマ	
馬用セラクタール	0	7本	使用実績なし		
動物用ケタラール50	12.4ml	46.6ml	使用実績なし		
塩酸ケタミン原末	0	37.5g	使用実績なし		
塩酸ケタミン5%溶液	0	1本	使用実績なし		
アトロピン「タナベ」	0	55管	使用実績なし		
アトロピン「フソー」	0	2箱	使用実績なし		

平成24年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
イソフル	1本	2本	麻酔	マーラ、ウサギ等	
イソゾール	0	0	使用実績なし		
キシロカイン0.5%	1本	3本	局所麻酔	マーラ、ウサギ等	
キシロカイン1%	0	3本	使用実績なし		
キシロカイン2%	0	2本	使用実績なし		
キシロカインスプレー	0	1本	使用実績なし		
スタドール	0	1箱	使用実績なし		
テラプチク	2管	3箱+9管	ショック改善	カンガルー、マーラ	
コントミン注	0	0	使用実績なし		
塩プロ注「ミタカ」	0	1箱	使用実績なし		
コンベレン	0	3本	使用実績なし		
ソムノペンチル	0	2本	使用実績なし		
メヂバール	0	3管	使用実績なし		
パドリン注	0	1箱	使用実績なし		
アンナカ	0	6管	使用実績なし		
ドプラム	0	2本	使用実績なし		
ジゴシン	0	9管	使用実績なし		
ペリアクチン散1%	1ｇ	1本	食欲不振の改善	ウサギ	
インダシン座薬	0	0	使用実績なし		
ネオマイゾン注	0	0	使用実績なし		
クロロマイセチン	0	0	使用実績なし		
ファンギゾンシロップ	0	8管	使用実績なし		
ネグホン	200g	1	駆虫	ウサギ、モルモット等	
サンピロ	0	15本	使用実績なし		
硫酸ｹﾞﾝﾀﾏｲｼﾝ点眼液	0	6本	使用実績なし		
リフタマイシン	0	0	使用実績なし		
動物用日脳TCワクチン	10ml	1本		ポニー、ロバ、ウマ	
馬インフルエンザワクチン	10本	1箱		ポニー、ロバ、ウマ	
馬3種混合ワクチン	10本	2本		ポニー、ロバ、ウマ	
ND・OEワクチン	10.5ｍｌ	1本		エジプトガン、ホロホロチョウ	
ツベルクリン	0	1本	使用実績なし		
硝酸ストリキニーネ	0	1本	使用実績なし		
●向精神薬					
ホリゾン	0	1箱+6管	使用実績なし		
ドルミカム	0	2箱	使用実績なし		
セルシン100倍散	0	1缶	使用実績なし		
ネンブタール	0	0	使用実績なし		
ソムノペンチル	0	2本	使用実績なし		
●点眼薬					
ノイボルミチン	0	6本	使用実績なし		
エコリシン	0	6本	使用実績なし		
ＦＡＤ点眼液サンデン	0	20本	使用実績なし		
ムコゾーム	0	17本	使用実績なし		
アズレン	15本	2箱+1本	結膜炎	リスザル、ウサギ、マーラ	
タチオン	0	0	使用実績なし		
カタリンK	0	2本	使用実績なし		
アイブライト	0	3本	使用実績なし		
ベノキシール	0	9本	使用実績なし		
D.E.X	0	10本	使用実績なし		
コンドロン点眼液	0	57本	使用実績なし		
サンテゾーン	0	0	使用実績なし		
タリビット眼軟膏	1箱	12本	結膜炎、角膜潰瘍等	リスザル、ウサギ、マーラ	
ＡＺ	0	0	使用実績なし		
フランビタン	0	0	使用実績なし		
リンデロンＡ	0	0	使用実績なし		
チオグルタン	0	0	使用実績なし		
ヒアレイン	11本	101本	角膜潰瘍	リスザル、ウサギ、マーラ	
チアブート	0	8本	使用実績なし		

平成24年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
オフロキサシン眼軟膏	0	0	使用実績なし		
●消毒薬					
復方ヨードグリセリン	0	1本	使用実績なし		
ヒビテン液　5%	0	0	使用実績なし		
ラポテック液	0.5本	4本	消毒	マーラ、ラマ等	
オスバン液	0	0	使用実績なし		
ステリクロン液	0	0	使用実績なし		
クリアキル　1l	0	9本	使用実績なし		
クリアキル　18l	0	1缶	使用実績なし		
消毒用エタノール50%	0	32本	使用実績なし		
消毒用エタノール50%	9箱	3箱	消毒	ヒト	
消毒用エタノール70%	2本	45本	消毒	ヒト	
消毒用エタノール70%	0	1箱	使用実績なし		
スクラビイン4%液	1本	1本	消毒	ヒト	
希ヨードチンキ	0	2本	使用実績なし		
クリンナップA	0	9本	使用実績なし		
クレンテ	30袋	50袋	消毒	獣舎等	
オキシドール	0	14本	使用実績なし		
ヒビスコールＳジェル	0	0	使用実績なし		
ゼクトン	2缶	1缶	消毒	エリア	
ネオクレハゾール	0	0	使用実績なし		
ヒオビテングルコネート液	0	0	使用実績なし		
イソジンガーグル	0	0	使用実績なし		
アクリノール	0	6本	使用実績なし		
ガードオール	0	0	使用実績なし		
クレゾール	0	1本	使用実績なし		
ネオヨジン、PVPﾖｰﾄﾞ液L（ｲｿｼﾞﾝ液）	2本	15本	消毒	ウサギ、モルモット、ラマ等	
PVPﾖｰﾄﾞ液10%	0	1本	使用実績なし		
パコマ　1l	0	15本	使用実績なし		
パコマ　18l	0	3缶	使用実績なし		
ペースサン	0	10袋	使用実績なし		
パルバスター液	0	4缶	使用実績なし		
フェノール水	0	1本	使用実績なし		
●外用薬			使用実績なし		
ソルコセリル軟膏	0	9本	使用実績なし		
ブロメライン軟膏	0	10本	使用実績なし		
ドルバロン	4本	19本	真菌症	トカラヤギ等	
フロリードD液	2本	6本	真菌症	トカラヤギ等	
フロリードDクリーム	0	20本	使用実績なし		
セパリンT軟膏	0	0	使用実績なし		
パナログ軟膏	0	5本	使用実績なし		
オキナゾールクリーム	0	6本	使用実績なし		
エンシェントクリーム	1本	6本	真菌症	トカラヤギ等	
蹄病軟膏	0	0	使用実績なし		
アラントロックス軟膏	0	1本	使用実績なし		
カンメルパスタ	0	0	使用実績なし		
アンドレス軟膏	0	0	使用実績なし		
クラーゲン	1個	1個	消炎鎮痛	ミミナガヤギ、シバヤギ等	
ベテファーレン	0	0	使用実績なし		
ハイセチンP軟膏	3本	2箱+3本	使用実績なし		
リンデロンVG軟膏	0	0	使用実績なし		
コロスキン	0	0	使用実績なし		
シッカニン軟膏	0	0	使用実績なし		
セリングリーン	0	0	使用実績なし		
オイラックス	0	3本	使用実績なし		
ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ乳房炎用液NZ	1箱	3箱	外傷治療	ウサギ、マーラ等	
アクアチムローション	0	10本	使用実績なし		
キャビロン非ｱﾙｺｰﾙ性皮膜スプレー	0	1本	使用実績なし		

平成24年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
フランセチンＴ パウダー	4本	1本	外傷治療	ロバ等	
外科用アロンアルファ	0	1箱	使用実績なし		
ノベクタンスプレー	0	1本	使用実績なし		
テラ・コートリルスプレー	0	1本	使用実績なし		
ダーマボンド	0	1箱	使用実績なし		
ダーマバリア	0	5本	使用実績なし		
イサロパン	0	0	使用実績なし		
エアーサロンパス	0	1本	使用実績なし		
MS冷シップ	0	34袋	使用実績なし		
デルマゾール	0	0	使用実績なし		
ペリオクリン歯科用軟膏	0	0	使用実績なし		
キチパックＰ	0	1箱+2枚	使用実績なし		
グラニュゲル	0	7本	外傷治療		
イントラサイトジェル	0	1箱	使用実績なし		
オキシセル　4つ折り	0	1本	使用実績なし		
オキシセル　8つ折り	0	1本	使用実績なし		
スポンゼル	0	2箱	使用実績なし		
ベテキチン　10cm×10cm	0	2箱	使用実績なし		
ベテキチン　5cm×5cm	0	2枚	使用実績なし		
ハイドロサイトADプラス	0	3枚	使用実績なし		
ハイドロサイトプラス	0	2箱	使用実績なし		
オリーブ油	0	2本	使用実績なし		
ノルバックレンズ	0	2本	使用実績なし		
ヘルスシャンプー	0	14本	使用実績なし		
ノルバサンシャンプー	0	1本	使用実績なし		
ゲンタシン軟膏	0	0	使用実績なし		
ゲーベンクリーム	0	0	使用実績なし		
フィブラストスプレー	0	0	使用実績なし		
●その他					
タウリン	24箱	4箱	強肝	リスザル	
ネオヘキサメチオニン	6本	1箱+2本	補液	ヒツジ、ウサギ、マーラ等	
タチオン	0	28管	使用実績なし		
強力ネオミノファーゲンシー	0	9管	使用実績なし		
ネオファーゲンC配合錠	1箱	1箱	強肝	リスザル	
ランデールチオンS	0	90錠	使用実績なし		
ネオアスシロップ	0	1本	使用実績なし		
ムコフィリン	0	2箱+9管	使用実績なし		
ムコダイン錠	0	0	使用実績なし		
ネオフィリン（注射薬）	0	9管	使用実績なし		
ネオフィリン（経口薬）	0	0	使用実績なし		
フェニラミン注	0	48管	使用実績なし		
ラドン	0	3箱	使用実績なし		
ピレチア2.5%	0	0	使用実績なし		
メイロン	0	0	使用実績なし		
ラシックス	0	1箱+7管	使用実績なし		
フルバミド	0	1箱	使用実績なし		
ダイアモックス錠	0	70錠	使用実績なし		
ラドンナ注	0	1箱	使用実績なし		
ビタカンファー	0	1箱	使用実績なし		
ソルコセリル注	0	1箱	使用実績なし		
トランサミン注	0	1箱	止血		
トランサミン錠250ml	0	0	使用実績なし		
ボスミン液	0	1本	止血		
ヘパリンNa	1本	1箱	血液凝固防止	ヒツジ等	
ロバキシン	0	0	使用実績なし		
ＡＴＰ　注	0	1箱+10管	使用実績なし		
ジースインプラント2本入り	0	4箱	使用実績なし		
ジースインプラント5本入り	0	1箱	使用実績なし		

平成24年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
アトニン-0	0	2箱	使用実績なし		
単シロップ	0	1本	使用実績なし		
ウロストン	3包	17包	尿石症	ミニブタ	
パム静注500mg	0	1箱	使用実績なし		
ブロサポ	0	8包	使用実績なし		
かぜシロップＳ	0	1本	使用実績なし		

平成25年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
●抗生剤					
テラマイシンＬＡ注射液	7本	4本	カンガルー病、膿瘍	カンガルー、トウブハコガメ等	
バクテロン散5%	0	4箱+2袋	使用実績なし		
鼻内用カナマイシン	0	0	使用実績なし		
カナマイシン注NZ	0	1本	使用実績なし		
カナマイシンシロップ明治	0	1本	使用実績なし		
スペルゾン静注用0.5g	0	7管	使用実績なし		
ケフレックスシロップ用細粒	0	1本	使用実績なし		
ホスミシン細粒40%	111包	2箱+89包	感染症予防	ヒツジ、シバヤギ	
ホスミシンドライシロップ	0	3本	使用実績なし		
ネオテラミックス	0	2袋	使用実績なし		
子宮内膜炎用ホーミングマイシン	2本	3本	膣脱	ラマ	
バイトリル2.5%HV液	0	4本	使用実績なし		
バイトリル10%注射液	3本	2本	膿瘍	ウサギ、モルモット等	
バイトリルワンショット	1本	1本	感染症予防	コブハクチョウ、マーラ等	
バイトリル15mg錠	6箱	2箱	感染症予防	ウサギ、モルモット等	
バイトリル50mg錠	5箱	2箱	感染症予防	ウサギ、カピバラ等	
バイトリル150mg錠	4箱	1箱	感染症予防	カピバラ等	
マイシリンゾル	21ml	2本	感染症予防	ラマ、ヒツジ	
ビブラマイシン錠50ｍｇ	0	80錠	使用実績なし		
バナンドライシロップ	0	0	使用実績なし		
インダスト点滴・静注用	0	0	使用実績なし		
チエナム静注	12本	8本	カンガルー病	カンガルー	
バチリオン錠100	0	20錠	使用実績なし		
モダケミン静注	0	1箱	使用実績なし		
プランジン	0	0	使用実績なし		
モダシン	0	1箱	使用実績なし		
ロキファン	0	0	使用実績なし		
アミカマイシン	0	1箱+7管	使用実績なし		
ラセナゾリン注射用1g	0	9管	使用実績なし		
ロセフィン静注用	0	1箱	使用実績なし		
セファクリア錠	49錠	111錠	感染症予防	リスザル、ミニブタ	
タナロキシン	0	0	使用実績なし		
ビクシリン	0	1箱	使用実績なし		
ハリゾン錠	0	0	使用実績なし		
アプシードシロップ	0	1本	使用実績なし		
ダイメトンB注20%	1本	9本	コクシジウム症	ラマ	
ダイメトン粒状	0	1本	使用実績なし		
トリブリッセン	0	0	使用実績なし		
トリメノール散	25ｇ	0	コクシジウム症	ミミナガヤギ	
●抗真菌薬					
グリセチンＶ錠	0	3箱+9錠	使用実績なし		
ナイスタチン錠	0	30錠	使用実績なし		
フルコナゾール	0	20錠	使用実績なし		
イトコラゾール錠100「MEEK」	0	15錠	使用実績なし		
●抗炎症薬					
リマダイル100	0	3本	使用実績なし		
リマダイル75	0	3本	使用実績なし		
リマダイル25	0	2本	使用実績なし		
フィナジン注射液１％	0	0	使用実績なし		
ポンタールカプセル	0	1缶	使用実績なし		
バナミン注射液5%	3ml	1本	鎮痛	ポニー、ラマ	
デカドロンエリキシル	0	1本	使用実績なし		
メタカム0.5%注射液	3本	1本	鎮痛・消炎	マーラ、モルモット等	
メロキシカム錠5mg	0	1箱	使用実績なし	マーラ等	
メタカムチュアブル錠1.0mg	157錠	11錠	鎮痛・消炎	モルモット等	
水性デキサメサゾン注A	3本	8本	ショック治療	ヒツジ等	
コルソンＰ	0	1本	使用実績なし		

平成25年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
プレドニゾロン	1本	2箱+4管	消炎	モルモット、ウサギ等	
プレドニゾロン錠	161錠	39錠	消炎	モルモット、ウサギ等	
メチロン注	0	0	使用実績なし		
エスピレ座薬	0	90錠	使用実績なし		
小児用バファリン	0	8錠	使用実績なし		
●駆虫薬					
バイコックス	2本	5本	コクシジウム症	マーラ等	
メイポール10	0	0	使用実績なし		
モキシデック	0	0	使用実績なし		
イベルメック	2本	0	駆虫	ﾓﾙﾓｯﾄ、ｳｻｷﾞ、ﾐﾐﾅｶﾞﾔｷﾞ等	
アイボメック	0	0	使用実績なし		
アイボメックトピカル	10ml	1箱	駆虫	ヤギ、ヒツジ	
コンバントリンドライシロップ	0	22包	使用実績なし		
コンバントリン錠	0	1箱	使用実績なし		
アスゾール錠	0	2箱+50錠	使用実績なし		
フルモキサール散	0	1箱+11包	使用実績なし		
ミルベマイシンA顆粒	0	1本	使用実績なし		
ドロンシット錠	0	10錠	使用実績なし		
ドロンシット注射液	0	1本	使用実績なし		
サンマコー粉剤	0	1袋	使用実績なし		
フェンベンダゾール	0	0	使用実績なし		
スパトニン注射液	0	1本	使用実績なし		
カンパス	0	0	使用実績なし		
カマラ	0	1本	使用実績なし		
ウェルパン	0	0	使用実績なし		
ピカシンポアオン	0	1箱	使用実績なし		
フロントラインスプレー	0	6本	使用実績なし		
アドバンテージスポット	0	0	使用実績なし		
フロントライン	0	3箱	使用実績なし		
アンサイロール	0	5本	使用実績なし		
カルドメックチュアブルP272	0	2箱+5個	使用実績なし		
カルドメックチュアブルP136	0	9箱	使用実績なし		
カルドメックチュアブルP68	0	10箱	使用実績なし		
デパラシン	0	1箱+42包	使用実績なし		
ネグホン	250ｇ	1袋	駆虫	ウサギ、モルモット等	
●消化器薬					
ミヤリサン	5箱+7包	1箱+3袋	消化器症状の改善	ミミナガヤギ、ヤギ、ヒツジ等	
プロテアーゼ「アマノ」	0	1箱	使用実績なし		
プリンペラン注射薬	6管	2箱+1管	消化器症状の改善	ウサギ、モルモット	
プリンペラン錠剤	2錠	98錠	消化器症状の改善	ウサギ、モルモット	
ギンベル散	2包	4包	消化器症状の改善	ラマ	
グリセリン浣腸「オヲダ」120	0	3箱	使用実績なし		
スパスメントラル	0	5本	使用実績なし		
ベリチーム顆粒	0	0	使用実績なし		
モーサン	1包	1箱+9袋	消化器症状の改善	カピバラ、ミニブタ等	
加香ひまし油	0	9本	使用実績なし		
硫酸マグネシウム	0	8箱	使用実績なし		
ガスモチン	2錠	98錠	消化器症状の改善	ウサギ、モルモット	
炭酸水素ナトリウム	0	1箱	使用実績なし		
サラゾピリン	0	80錠	使用実績なし		
フェロベリンA	0	600錠	使用実績なし		
ブスコパン錠	0	80錠	使用実績なし		
ビオフェルミンR錠	0	70錠	使用実績なし		
ビオフェルミンS錠	0	0	使用実績なし		
ベルバリン	0	3本	使用実績なし		
シンラック	0	6本	使用実績なし		
コンスーベン内用液	0	2箱	使用実績なし		
ガスナインS	0	1本	使用実績なし		

平成25年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
ガスピタン	0	0	使用実績なし		
人工カルス塩「ヤマゼン」	0	4箱	使用実績なし		
タンニン酸	0	0	使用実績なし		
ビオラクト	0	30包	使用実績なし		
●麻酔薬					
アンチセダン	1本	3本	麻酔覚醒	ウサギ、モルモット、ラマ等	
ハルシオン0.25mg	0	70錠	使用実績なし		
ハルシオン0.125mg	0	70錠	使用実績なし		
リスミー	0	0	使用実績なし		
アネトカインゼリー	0	3本	使用実績なし		
キシロカインゼリー	0	4本	使用実績なし		
●ビタミン剤					
ビタメジン静注	0	23管	使用実績なし		
メイロング	4箱	2箱	栄養補助	カンガルー	
パンカルG酸	1袋	19袋	栄養補助	ヒツジ等	
アスコルビン酸	3本	3本	栄養補助	モルモット	
アスコルビン酸注射液	6管	31管	栄養補助	モルモット	
エーフィード	4ｋｇ	0	栄養補助	カピバラ等	
レバチオ液	24箱	12箱	強肝	リスザル	
デュファフラルフォルテ	0	2本	使用実績なし		
アニビタン100注射液	4箱+6管	3箱+4管	栄養補助	リスザル、ウサギ、ヒツジ等	
マスチゲンＢ	0	38管	使用実績なし		
プロＥＱ	6個	4個	栄養補助	ウマ	
カルチコール注射液	0	34管	使用実績なし		
●補液					
ソルラクトD	79袋	1箱+16袋	補液	マーラ、ウサギ、ヒツジ等	
5%ブドウ糖　500ml	0	20本	使用実績なし		
5%ブドウ糖　250ml	0	6本	使用実績なし		
グリセオール	0	0	使用実績なし		
ソリタ　T-1	0	10本	使用実績なし		
キシリット注5%	0	0	使用実績なし		
生理食塩水	41袋	1箱+12袋	洗浄等	マーラ、ウサギ等	
デキストラン	0	9本	使用実績なし		
●劇薬					
酢酸鉛	0	1本	使用実績なし		
パラスチミン	2管	1箱+2管	消化器症状の改善		
ベサネコール	0	2箱+2管	使用実績なし		
テルペラン	3管	1箱+2管	消化器症状の改善	ラマ、ミミナガヤギ	
エクイバランペースト	0	14本	使用実績なし		
エクイバランゴールド	0	0	使用実績なし		
キモチーム	0	2箱	使用実績なし		
ネオアスP	0	34管	使用実績なし		
ヨードチンキ	0	6本	使用実績なし		
硝酸銀	0	2本	使用実績なし		
抱水クロラール	0	1本	使用実績なし		
フェノバルビタール	0	1本	使用実績なし		
ボログルコン酸カルシウム	0	2本	使用実績なし		
強力OSM	0	2管	使用実績なし		
ボスミン注	0	17管	使用実績なし		
ブスコパン注	0	1箱	使用実績なし		
ドミトール	3本	3本	麻酔	ウサギ、モルモット、ラマ等	
セラクタール2%	2本	2本	麻酔	ラマ	
馬用セラクタール	0	7本	使用実績なし		
動物用ケタラール50	10.0ml	36.6ml	麻酔	マーラ等	
塩酸ケタミン原末	0	37.5g	使用実績なし		
塩酸ケタミン5%溶液	0	1本	使用実績なし		
アトロピン「タナベ」	0	55管	使用実績なし		
アトロピン「フソー」	0	2箱	使用実績なし		

平成25年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
イソフル	2本	4本	麻酔	マーラ、ウサギ等	
イソゾール	0	0	使用実績なし		
キシロカイン0.5%	0	3本	使用実績なし		
キシロカイン1%	0	3本	使用実績なし		
キシロカイン2%	0	2本	使用実績なし		
キシロカインスプレー	0	1本	使用実績なし		
スタドール	0	1箱	使用実績なし		
テラプチク	0	3箱+9管	使用実績なし		
コントミン注	0	0	使用実績なし		
塩プロ注「ミタカ」	0	1箱	使用実績なし		
コンベレン	0	3本	使用実績なし		
ソムノペンチル	0	2本	使用実績なし		
メヂバール	0	3管	使用実績なし		
パドリン注	0	1箱	使用実績なし		
アンナカ	0	6管	使用実績なし		
ドプラム	0	2本	使用実績なし		
ジゴシン	0	9管	使用実績なし		
ペリアクチン散1%	0	1本	使用実績なし		
インダシン座薬	0	0	使用実績なし		
ネオマイゾン注	0	0	使用実績なし		
クロロマイセチン	0	0	使用実績なし		
ファンギゾンシロップ	0	8管	使用実績なし		
ネグホン	250g	0	ウサギ、モルモット等		
サンピロ	0	15本	使用実績なし		
硫酸ｹﾞﾝﾀﾏｲｼﾝ点眼液	1本	5本	結膜炎等		
リフタマイシン	0	0	使用実績なし		
動物用日脳TCワクチン	10ml	1本	感染症予防	ポニー、ロバ、ウマ	
馬インフルエンザワクチン	10本	1箱	感染症予防	ポニー、ロバ、ウマ	
馬3種混合ワクチン	10本	3本	感染症予防	ポニー、ロバ、ウマ	
ND・OEワクチン	1ml	1本	感染症予防	エジプトガン、ホロホロチョウ	
ツベルクリン	0.1ml	1本	結核の診断	フサオマキザル	
硝酸ストリキニーネ	0	1本	使用実績なし		
●向精神薬					
ホリゾン	0	1箱+6管	使用実績なし		
ドルミカム	0	2箱	使用実績なし		
セルシン100倍散	0	1缶	使用実績なし		
ネンブタール	0	0	使用実績なし		
ソムノペンチル	0	2本	使用実績なし		
●点眼薬					
ノイボルミチン	0	6本	使用実績なし		
エコリシン	0	6本	使用実績なし		
ＦＡＤ点眼液サンデン	0	20本	使用実績なし		
ムコゾーム	0	17本	使用実績なし		
アズレン	8本	1箱+13本	結膜炎	リスザル、ウサギ、マーラ	
タチオン	0	0	使用実績なし		
カタリンK	0	2本	使用実績なし		
アイブライト	0	3本	使用実績なし		
ベノキシール	0	9本	使用実績なし		
D.E.X	0	10本	使用実績なし		
コンドロン点眼液	0	57本	使用実績なし		
サンテゾーン	0	0	使用実績なし		
タリビット眼軟膏	12本	0	結膜炎、角膜潰瘍等	ウサギ、マーラ、モルモット等	
ＡＺ	0	0	使用実績なし		
フランビタン	0	0	使用実績なし		
リンデロンＡ	0	0	使用実績なし		
チオグルタン	0	0	使用実績なし		
ヒアレイン	11本	70本	角膜潰瘍	ウサギ、マーラ、モルモット等	
チアブート	0	8本	使用実績なし		

平成25年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
オフロキサシン眼軟膏	1箱	1箱	結膜炎、角膜潰瘍等	ウサギ、マーラ、モルモット等	
●消毒薬					
復方ヨードグリセリン	0	1本	使用実績なし		
ヒビテン液　5%	0	0	使用実績なし		
ラポテック液	0.5本	2本	消毒	マーラ、ラマ等	
オスバン液	0	0	使用実績なし		
ステリクロン液	0	5本	使用実績なし		
クリアキル　1l	6本	3本	消毒	獣舎等	
クリアキル　18l	1缶	2缶	消毒	獣舎等	
消毒用イソプロピルアルコール50%	0	23本	使用実績なし		
消毒用イソプロアルコール50%	0	9本	使用実績なし		
消毒用イソプロパノール50%	13箱	5箱	消毒		
消毒用イソプロアルコール70%	0	1本	使用実績なし		
消毒用エタノール（純70%）	0	1本	使用実績なし		
消毒用エタノール（70%）	0	25本	使用実績なし		
消毒用エタプロコール（70%）	0	10本	使用実績なし		
消毒用イソプロピルアルコール70%	0	1箱	使用実績なし		
スクラビイン4%液	1本	1本	消毒	ヒト	
希ヨードチンキ	0	2本	使用実績なし		
クリンナップA	0	9本	使用実績なし		
クレンテ	20袋	50袋	消毒	獣舎等	
オキシドール	0	13本	使用実績なし		
ヒビスコールＳジェル	0	0	使用実績なし		
ゼクトン	2缶	3缶	消毒	エリア	
ネオクレハゾール	0	0	使用実績なし		
ヒオビテングルコネート液	0	0	使用実績なし		
イソジンガーグル	0	0	使用実績なし		
アクリノール	0	6本	使用実績なし		
ガードオール	0	0	使用実績なし		
クレゾール	0	1本	使用実績なし		
ネオヨジン、PVPﾖｰﾄﾞ液L（ｲｿｼﾞﾝ液）	5本	10本	消毒	ウサギ、モルモット、ポニー等	
PVPﾖｰﾄﾞ液10%	0	1本	使用実績なし		
パコマ　1l	0	15本	使用実績なし		
パコマ　18l	0	3缶	使用実績なし		
ペースサン	0	18袋	使用実績なし		
パルバスター液	0	4缶	使用実績なし		
フェノール水	0	1本	使用実績なし		
●外用薬					
ソルコセリル軟膏	0	9本	使用実績なし		
ブロメライン軟膏	2本	8本	外傷治療	ハコガメ等	
ドルバロン	12本	7本	真菌症	トカラヤギ等	
フロリードD液	2本	5本	真菌症	ムツアシガメ等	
フロリードDクリーム	9本	11本	真菌症	カンガルー等	
セパリンT軟膏	0	0	使用実績なし		
パナログ軟膏	0	5本	使用実績なし		
オキナゾールクリーム	0	5本	使用実績なし		
エンシェントクリーム	0	5本	使用実績なし		
蹄病軟膏	0	0	使用実績なし		
アラントロックス軟膏	0	1本	使用実績なし		
カンメルパスタ	0	0	使用実績なし		
アンドレス軟膏	2個	1個	消炎鎮痛	ウマ等	
クラーゲン	1個	2個	消炎鎮痛	ウマ等	
ベテファーレン	0	0	使用実績なし		
ハイセチンP軟膏	5本	1箱+3本	外傷治療	ポニー、ミニブタ等	
リンデロンVG軟膏	0	0	使用実績なし		
コロスキン	0	0	使用実績なし		
シッカニン軟膏	0	0	使用実績なし		
セリングリーン	0	0	使用実績なし		

平成25年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
オイラックス	0	3本	使用実績なし		
ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ乳房炎用液NZ	3本	2箱+7本	外傷治療	ウサギ、マーラ等	
アクアチムローション	0	10本	使用実績なし		
キャビロン非ｱﾙｺｰﾙ性皮膜スプレー	1本	1本	外傷治療	カンガルー等	
フランセチンＴ パウダー	4本	1本	外傷治療	ポニー等	
外科用アロンアルファ	2箱	1箱	外傷治療	ミミナガヤギ等	
ノベクタンスプレー	0	1本	使用実績なし		
テラ・コートリルスプレー	0	1本	使用実績なし		
ダーマボンド	0	1箱	使用実績なし		
ダーマバリア	0	5本	使用実績なし		
イサロパン	0	0	使用実績なし		
エアーサロンパス	0	1本	使用実績なし		
MS冷シップ	0	34袋	使用実績なし		
デルマゾール	0	0	使用実績なし		
ペリオクリン歯科用軟膏	0	0	使用実績なし		
キチパックＰ	0	1箱+2枚	使用実績なし		
グラニュゲル	2本	5本	外傷治療	ハコガメ、マーラ	
イントラサイトジェル	0	1箱	使用実績なし		
オキシセル　4つ折り	0	1本	使用実績なし		
オキシセル　8つ折り	0	1本	使用実績なし		
スポンゼル	0	2箱	使用実績なし		
ベテキチン　10cm×10cm	0	2箱	使用実績なし		
ベテキチン　5cm×5cm	0	2枚	使用実績なし		
ハイドロサイトADプラス	0	3枚	使用実績なし		
ハイドロサイトプラス	0	2箱	使用実績なし		
オリーブ油	0	3本	使用実績なし		
ノルバックレンズ	0	2本	使用実績なし		
ヘルスシャンプー	3本	11本	洗体	シバヤギ等	
ノルバサンシャンプー	0	1本	使用実績なし		
ゲンタシン軟膏	2本	8本	外傷治療	ウサギ、ハコガメ等	
ゲーベンクリーム	0	5個	使用実績なし		
フィブラストスプレー	0	0	使用実績なし		
●その他					
タウリン	24箱	10箱	強肝	リスザル	
ネオヘキサメチオニン	16本	3箱+1本	補液	ヒツジ、ウサギ、マーラ等	
タチオン	0	28管	使用実績なし		
強力ネオミノファーゲンシー	0	0	使用実績なし		
ネオファーゲンC配合錠	1箱	1箱	強肝	リスザル	
ランデールチオンS	0	90錠	使用実績なし		
ネオアスシロップ	0	1本	使用実績なし		
ムコフィリン	0	2箱+9管	使用実績なし		
ムコダイン錠	0	0	使用実績なし		
ネオフィリン（注射薬）	0	48管	使用実績なし		
ネオフィリン（経口薬）	0	0	使用実績なし		
フェニラミン注	0	0	使用実績なし		
ラドン	0	3箱	使用実績なし		
ピレチア2.5%	0	0	使用実績なし		
メイロン	0	0	使用実績なし		
ラシックス	0	1箱+7管	使用実績なし		
フルバミド	0	1箱	使用実績なし		
ダイアモックス錠	0	70錠	使用実績なし		
ラドンナ注	0	1箱	使用実績なし		
ビタカンファー	0	1箱	使用実績なし		
ソルコセリル注	0	1箱	使用実績なし		
トランサミン注	5管	5管	止血	モルモット	
トランサミン錠250ml	12錠	88錠	使用実績なし	モルモット	
ボスミン液	1本	1本	止血	マーラ等	
ヘパリンNa	1本	3本	血液凝固防止	ヒツジ等	

平成25年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
ロバキシン	0	0	使用実績なし		
ＡＴＰ　注	0	1箱+10管	使用実績なし		
ジースインプラント2本入り	0	4箱	使用実績なし		
ジースインプラント5本入り	0	1箱	使用実績なし		
アトニン-0	0	2箱	使用実績なし		
単シロップ	0	1本	使用実績なし		
ウロストン	0	17包	使用実績なし		
パム静注500mg	0	1箱	使用実績なし		
ブロサポ	0	8包	使用実績なし		
かぜシロップＳ	0	1本	使用実績なし		
鼻炎シロップ	2本	0	鼻炎	フサオマキザル	

平成26年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
●抗生剤					
テラマイシンＬＡ注射液	6本	1箱+１本	カンガルー病、感染症予防	カンガルー、トウブハコガメ等	
バクテロン散5%	0	4箱+2袋	使用実績なし		
鼻内用カナマイシン	0	0	使用実績なし		
カナマイシン注NZ	0	1本	使用実績なし		
カナマイシンシロップ明治	0	1本	使用実績なし		
スペルゾン静注用0.5g	0	7管	使用実績なし		
ケフレックスシロップ用細粒	0	1本	使用実績なし		
ホスミシン細粒40%	89包	3箱	感染症予防	ヒツジ、シバヤギ	
ホスミシンドライシロップ	0	3本	使用実績なし		
ネオテラミックス	0	2袋	使用実績なし		
子宮内膜炎用ホーミングマイシン	2本	１箱+1本	膣脱	ラマ	
バイトリル2.5%HV液	0	4本	使用実績なし		
バイトリル10%注射液	3本	1本	感染症予防	ウサギ、モルモット等	
バイトリルワンショット	2本	1本	感染症予防	コブハクチョウ、マーラ等	
バイトリル15mg錠	4箱	2箱	感染症予防	ウサギ、モルモット等	
バイトリル50mg錠	1箱	2箱	使用実績なし		
バイトリル150mg錠	7箱	3箱	感染症予防	カピバラ等	
マイシリンゾル	0	2本	使用実績なし		
ビブラマイシン錠50ｍｇ	0	80錠	使用実績なし		
バナンドライシロップ	0	0	使用実績なし		
インダスト点滴・静注用	1箱	1箱	カンガルー病	カンガルー	
チエナム静注	3箱	0	カンガルー病	カンガルー	
バチリオン錠100	0	20錠	使用実績なし		
モダケミン静注	0	1箱	使用実績なし		
プランジン	0	0	使用実績なし		
モダシン	0	1箱	使用実績なし		
ロキファン	0	0	使用実績なし		
アミカマイシン	0	1箱+7管	使用実績なし		
ラセナゾリン注射用1g	0	9管	使用実績なし		
ロセフィン静注用	0	1箱	使用実績なし		
セファクリア錠	1箱	1箱	感染症予防	リスザル、ミニブタ	
タナロキシン	0	0	使用実績なし		
ビクシリン	0	8本	使用実績なし		
ハリゾン錠	0	1箱	使用実績なし		
クロロマイセチン錠	0	1箱	使用実績なし		
アプシードシロップ	0	1本	使用実績なし		
ダイメトンB注20%	0	9本	使用実績なし		
ダイメトン粒状	0	1本	使用実績なし		
トリブリッセン	0	0	使用実績なし		
トリメノール散	50ｇ	0	コクシジウム症	ミミナガヤギ	
●抗真菌薬					
グリセチンＶ錠	0	3箱+9錠	使用実績なし		
ナイスタチン錠	0	30錠	使用実績なし		
フルコナゾール	0	20錠	使用実績なし		
イトコラゾール錠100「MEEK」	0	15錠	使用実績なし		
●抗炎症薬					
リマダイル100	0	3本	使用実績なし		
リマダイル75	0	3本	使用実績なし		
リマダイル25	0	2本	使用実績なし		
フィナジン注射液１%	0	0	使用実績なし		
ポンタールカプセル	0	1缶	使用実績なし		
バナミン注射液5%	3ml	1本	鎮痛	ポニー、ラマ	
デカドロンエリキシル	0	1本	使用実績なし		
メタカム0.5%注射液	4本	1本	鎮痛・消炎	マーラ、モルモット等	
メロキシカム錠5mg	60錠	40錠	鎮痛・消炎	マーラ等	
メタカムチュアブル錠1.0mg	11錠	1箱	鎮痛・消炎	モルモット等	
水性デキサメサゾン注A	1本	7本	ショック治療	ヒツジ等	

平成26年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
コルソンＰ	0	1本	使用実績なし		
プレドニゾロン	1本	2箱+2管	消炎	モルモット、ウサギ等	
プレドニゾロン「F」	0	2箱	使用実績なし		
プレドニゾロン錠	161錠	20錠	消炎	モルモット、ウサギ等	
メチロン注	0	0	使用実績なし		
エスピレ座薬	0	90錠	使用実績なし		
小児用バファリン	0	8錠	使用実績なし		
●駆虫薬					
バイコックス	4本	1本	コクシジウム症	マーラ等	
メイポール10	0	0	使用実績なし		
モキシデック	0	0	使用実績なし		
イベルメック	2本	1本	駆虫	ﾓﾙﾓｯﾄ、ｳｻｷﾞ、ﾐﾐﾅｶﾞﾔｷﾞ等	
アイボメック	0	0	使用実績なし		
アイボメックトピカル	0	1箱	使用実績なし		
コンバントリンドライシロップ	0	22包	使用実績なし		
コンバントリン錠	0	1箱	使用実績なし		
アスゾール錠	2箱	2箱	駆虫	カンガルー	
フルモキサール散	95包	16包	駆虫	ウサギ、モルモット	
ミルベマイシンA顆粒	0	1本	使用実績なし		
ドロンシット錠	0	10錠	使用実績なし		
ドロンシット注射液	0	1本	使用実績なし		
サンマコー粉剤	0	1袋	使用実績なし		
フェンベンダゾール	0	0	使用実績なし		
スパトニン注射液	0	1本	使用実績なし		
カンパス	0	0	使用実績なし		
カマラ	0	1本	使用実績なし		
ウェルパン	0	0	使用実績なし		
ピカシンポアオン	0	1箱	使用実績なし		
フロントラインスプレー	0	6本	使用実績なし		
アドバンテージスポット	0	0	使用実績なし		
フロントライン	0	3箱(15本)	使用実績なし		
アンサイロール	0	5本	使用実績なし		
カルドメックチュアブルP272	0	2箱+5個	使用実績なし		
カルドメックチュアブルP136	0	9箱	使用実績なし		
カルドメックチュアブルP68	0	10箱	使用実績なし		
デパラシン	0	1箱+42包	使用実績なし		
ネグホン	250ｇ	0	駆虫	ウサギ、モルモット等	
●消化器薬					
ミヤリサン	10箱	1箱	消化器症状の改善	カンガルー、ヤギ、ヒツジ等	
プロテアーゼ「アマノ」	0	1箱	使用実績なし		
プリンペラン注射薬	8管	1箱+3管	消化器症状の改善	ウサギ、モルモット	
プリンペラン錠剤	26錠	72錠	消化器症状の改善	ウサギ、モルモット	
ギンベル散	3包	3包	消化器症状の改善	ラマ	
グリセリン浣腸「オヲダ」120	2本	2箱+8本	消化器症状の改善	ラマ	
スパスメントラル	0	5本	使用実績なし		
ベリチーム顆粒	0	0	使用実績なし		
モーサン	9袋	1箱+9袋	消化器症状の改善	ミニブタ、ヒツジ	
加香ひまし油	0	9本	使用実績なし		
硫酸マグネシウム	0	8箱	使用実績なし		
ガスモチン	0	98錠	使用実績なし		
炭酸水素ナトリウム	0	1箱	使用実績なし		
サラゾピリン	0	80錠	使用実績なし		
フェロベリンA	0	600錠	使用実績なし		
ブスコパン錠	0	80錠	使用実績なし		
ビオフェルミンR錠	0	70錠	使用実績なし		
ビオフェルミンS錠	0	0	使用実績なし		
ベルバリン	0	3本	使用実績なし		
シンラック	0	6本	使用実績なし		

平成26年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
コンスーベン内用液	0	2箱	使用実績なし		
ガスナインS	0	1本	使用実績なし		
ガスピタン	0	0	使用実績なし		
人工カルス塩「ヤマゼン」	0	4箱	使用実績なし		
タンニン酸	0	0	使用実績なし		
ビオラクト	0	30包	使用実績なし		
●麻酔薬					
アンチセダン	2本	1本	麻酔覚醒	ポニー、モルモット、ラマ等	
ハルシオン0.25mg	0	70錠	使用実績なし		
ハルシオン0.125mg	0	70錠	使用実績なし		
リスミー	0	0	使用実績なし		
アネトカインゼリー	0	3本	使用実績なし		
キシロカインゼリー	1	4本	局所麻酔	ポニー等	
●ビタミン剤					
ビタメジン静注	0	23管	使用実績なし		
メイロング	5箱	1箱	栄養補助	カンガルー	
パンカルG酸	7袋	12袋	栄養補助	ヒツジ等	
アスコルビン酸	2本	3個	栄養補助	モルモット	
アスコルビン酸注射液	12管	19管	栄養補助	モルモット	
エーフィード	30ｇ	0	栄養補助	モルモット等	
レバチオ液	26箱	8箱	強肝	リスザル	
デュファフラルフォルテ	0	2本	使用実績なし		
アニビタン100注射液	5箱	1箱	栄養補助	リスザル、ウサギ、ヒツジ等	
マスチゲンＢ	0	38管	使用実績なし		
プロＥＱ	0	4個	使用実績なし		
カルチコール注射液	0	34管	使用実績なし		
●補液					
ソルラクトD	26袋	10袋	補液	ｳｻｷﾞ、ｼﾊﾞﾔｷﾞ、ｺﾌﾞﾊｸﾁｮｳ等	
5%ブドウ糖　500ml	0	19本	使用実績なし		
5%ブドウ糖　250ml	0	6本	使用実績なし		
グリセオール	0	0	使用実績なし		
ソリタ　T-1	0	10本	使用実績なし		
キシリット注5%	0	0	使用実績なし		
生理食塩水	42袋	10袋	洗浄等	マーラ、ウサギ等	
デキストラン	0	9本	使用実績なし		
●劇薬					
酢酸鉛	0	1本	使用実績なし		
パラスチミン	0	2箱+2管	使用実績なし		
ベサネコール	0	2箱+2管	使用実績なし		
テルペラン	12管	2箱	消化器症状の改善	ラマ、ミミナガヤギ	
エクイバランペースト	0	14本	使用実績なし		
エクイバランゴールド	4本	2本	駆虫	ポニー、ロバ	
キモチーム	0	2箱	使用実績なし		
ネオアスP	0	34管	使用実績なし		
ヨードチンキ	0	6本	使用実績なし		
硝酸銀	0	2本	使用実績なし		
抱水クロラール	0	1本	使用実績なし		
フェノバルビタール	0	1本	使用実績なし		
ボログルコン酸カルシウム	0	2本	使用実績なし		
強力OSM	0	2管	使用実績なし		
ボスミン注	0	15管	使用実績なし		
ブスコパン注	0	1箱	使用実績なし		
ドミトール	4本	2本	麻酔	ウサギ、モルモット、ラマ等	
セラクタール2%	2本	2本	麻酔	ラマ	
馬用セラクタール	0	7本	使用実績なし		
動物用ケタラール50	26.4ml	1本	麻酔	ポニー等	
塩酸ケタミン原末	0	37.5g	使用実績なし		
塩酸ケタミン5%溶液	0	1本	使用実績なし		

平成26年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
アトロピン「タナベ」	0	55管	使用実績なし		
アトロピン「フソー」	0	2箱	使用実績なし		
イソフル	3本	1本	麻酔	ウサギ、モルモット、リスザル等	
イソゾール	0	0	使用実績なし		
キシロカイン0.5%	0	3本	使用実績なし		
キシロカイン1%	0	3本	使用実績なし		
キシロカイン2%	0	2本	使用実績なし		
キシロカインスプレー	1本	1本	局所麻酔	ウサギ等	
スタドール	0	1箱	使用実績なし		
テラプチク	0	3箱+9管	使用実績なし		
コントミン注	0	0	使用実績なし		
塩プロ注「ミタカ」	0	1箱	使用実績なし		
コンベレン	0	3本	使用実績なし		
ソムノペンチル	0	2本	使用実績なし		
メヂバール	0	3管	使用実績なし		
パドリン注	0	1箱	使用実績なし		
アンナカ	0	6管	使用実績なし		
ドプラム	0	2本	使用実績なし		
ジゴシン	0	9管	使用実績なし		
ペリアクチン散1%	0	1本	使用実績なし		
インダシン座薬	0	0	使用実績なし		
ネオマイゾン注	0	0	使用実績なし		
クロロマイセチン	0	0	使用実績なし		
ファンギソンシロップ	0	8管	使用実績なし		
ネグホン	50g	0	ウサギ、モルモット等		
サンピロ	0	15本	使用実績なし		
硫酸ｹﾞﾝﾀﾏｲｼﾝ点眼液	0	5本	使用実績なし		
リフタマイシン	0	0	使用実績なし		
動物用日脳TCワクチン	8ml	1本	感染症予防	ポニー、ロバ、ウマ	
馬インフルエンザワクチン	8本	5本	感染症予防	ポニー、ロバ、ウマ	
馬3種混合ワクチン	14本	0	感染症予防	ポニー、ロバ、ウマ	
ND・OEワクチン	2.5ml	1本	感染症予防	エジプトガン、ホロホロチョウ	
ツベルクリン	0	1本	使用実績なし		
硝酸ストリキニーネ	0	1本	使用実績なし		
●向精神薬					
ホリゾン	0	1箱+6管	使用実績なし		
ドルミカム	0	3箱	使用実績なし		
セルシン100倍散	0	1缶	使用実績なし		
ネンブタール	0	0	使用実績なし		
ソムノペンチル	0	2本	使用実績なし		
●点眼薬					
ノイボルミチン	0	6本	使用実績なし		
エコリシン	0	6本	使用実績なし		
ＦＡＤ点眼液サンデン	0	20本	使用実績なし		
ムコゾーム	0	17本	使用実績なし		
アズレン	11本	1箱+2本	結膜炎	リスザル、ウサギ、マーラ	
タチオン	0	0	使用実績なし		
カタリンK	0	2本	使用実績なし		
アイブライト	0	3本	使用実績なし		
ベノキシール	0	9本	使用実績なし		
D.E.X	0	10本	使用実績なし		
コンドロン点眼液	0	57本	使用実績なし		
サンテゾーン	0	0	使用実績なし		
タリビット眼軟膏	0	0	使用実績なし		
ＡＺ	0	0	使用実績なし		
フランビタン	0	0	使用実績なし		
リンデロンＡ	0	0	使用実績なし		
チオグルタン	0	0	使用実績なし		

平成26年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
ヒアレイン	90本	80本	角膜潰瘍	ウサギ、マーラ、モルモット等	
チアブート	0	8本	使用実績なし		
ファルキサシン点眼液	0	1箱	使用実績なし		
オフロキサシン眼軟膏	8本	1箱+2本	結膜炎、角膜潰瘍等	ウサギ、マーラ、モルモット等	
●消毒薬					
復方ヨードグリセリン	0	1本	使用実績なし		
ヒビテン液　5%	0	0	使用実績なし		
ラポテック液	1本	1本	消毒	マーラ、ラマ等	
オスバン液	0	0	使用実績なし		
ステリクロン液	0	5本	使用実績なし		
クリアキル　1l	2本	0	消毒	獣舎等	
クリアキル　18l	1缶	1缶	消毒	獣舎等	
消毒用イソプロピルアルコール50%	11本	12本	消毒	ヒト	
消毒用イソプロアルコール50%	9本	0	消毒	ヒト	
消毒用イソプロパノール50%	13箱	3箱	消毒	ヒト	
消毒用イソプロアルコール70%	1本	0	消毒	ヒト	
消毒用エタノール（70%）	7本	18本	消毒	ヒト	
消毒用エタプロコール（70%）	1本	9本	消毒	ヒト	
消毒用イソプロピルアルコール70%	0	1箱	使用実績なし		
スクラビイン4%液	1本	1本	消毒	ヒト	
希ヨードチンキ	0	2本	使用実績なし		
クリンナップA	0	9本	使用実績なし		
クレンテ	50袋	30袋	消毒	獣舎等	
フェノール水	0	1本	使用実績なし		
オキシドール	0	12本	使用実績なし		
ヒビスコールＳジェル	0	0	使用実績なし		
ゼクトン	2缶	1缶	消毒	エリア	
ネオクレハゾール	0	0	使用実績なし		
ヒオビテングルコネート液	0	0	使用実績なし		
イソジンガーグル	0	0	使用実績なし		
アクリノール	0	6本	使用実績なし		
ガードオール	0	0	使用実績なし		
クレゾール	0	1本	使用実績なし		
ネオヨジン、PVPﾖｰﾄﾞ液L（ｲｿｼﾞﾝ液）	11本	4本	消毒	ウサギ、モルモット、ポニー等	
PVPﾖｰﾄﾞ液10%	0	1本	使用実績なし		
パコマ　1l	1本	14本	消毒	獣舎等	
パコマ　18l	0	3缶	使用実績なし		
ペースサン	0	1箱+8袋	使用実績なし		
パルバスター液	0	5缶	使用実績なし		
●外用薬					
ソルコセリル軟膏	0	9本	使用実績なし		
ブロメライン軟膏	2本	6本	外傷治療	ミニブタ	
ドルバロン	0	7本	使用実績なし		
フロリードD液	0	18本	使用実績なし		
フロリードDクリーム	0	11本	使用実績なし		
セパリンT軟膏	0	0	使用実績なし		
パナログ軟膏	0	5本	使用実績なし		
オキナゾールクリーム	1本	4本	真菌症	モルモット、トカラヤギ等	
エンシェントクリーム	0	5本	使用実績なし		
蹄病軟膏	0	0	使用実績なし		
アラントロックス軟膏	0	1本	使用実績なし		
カンメルパスタ	0	0	使用実績なし		
アンドレス軟膏	2個	1個	消炎鎮痛	アカツクシガモ、トカラヤギ等	
クラーゲン	0	2個	使用実績なし		
ベテファーレン	0	0	使用実績なし		
ハイセチンP軟膏	3本	1箱	外傷治療	モルモット、ポニー等	
リンデロンVG軟膏	0	0	使用実績なし		
コロスキン	0	0	使用実績なし		

平成26年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
シッカニン軟膏	0	0	使用実績なし		
セリングリーン	0	0	使用実績なし		
オイラックス	0	3本	使用実績なし		
ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ乳房炎用液NZ	7本	2箱	外傷治療	マーラ等	
アクアチムローション	0	10本	使用実績なし		
キャビロン非ｱﾙｺｰﾙ性皮膜スプレー	0	1本	使用実績なし		
フランセチンＴ パウダー	4本	1本	外傷治療	ポニー等	
外科用アロンアルファ	6箱	1箱	外傷治療	カンガルー等	
ノベクタンスプレー	0	0	使用実績なし		
テラ・コートリルスプレー	0	1本	使用実績なし		
ダーマボンド	0	1箱	使用実績なし		
ダーマバリア	0	5本	使用実績なし		
イサロパン	0	0	使用実績なし		
エアーサロンパス	0	1本	使用実績なし		
MS冷シップ	0	34袋	使用実績なし		
デルマゾール	0	0	使用実績なし		
ペリオクリン歯科用軟膏	0	0	使用実績なし		
キチパックＰ	0	1箱+2枚	使用実績なし		
グラニュゲル	0	5本	使用実績なし		
イントラサイトジェル	0	1箱	使用実績なし		
オキシセル　4つ折り	0	1本	使用実績なし		
オキシセル　8つ折り	0	1本	使用実績なし		
スポンゼル	0	2箱	使用実績なし		
ベテキチン　10cm×10cm	0	2箱	使用実績なし		
ベテキチン　5cm×5cm	2枚	0枚	外傷治療	カンガルー等	
ハイドロサイトADプラス	0	3枚	使用実績なし		
ハイドロサイトプラス	0	2箱	使用実績なし		
オリーブ油	0	3本	使用実績なし		
ノルバックレンズ	0	2本	使用実績なし		
ヘルスシャンプー	2本	9本	洗体	シバヤギ等	
ノルバサンシャンプー	0	1本	使用実績なし		
ゲンタシン軟膏	2本	6本	外傷治療	ウサギ、ハコガメ等	
ゲーベンクリーム	0	5個	使用実績なし		
フィブラストスプレー	1本	1本	外傷治療	カンガルー	
●その他					
タウリン	27箱	2箱	強肝	リスザル	
ネオヘキサメチオニン	8本	1箱+3本	補液	ヒツジ、ウサギ、マーラ等	
タチオン	0	28管	使用実績なし		
強力ネオミノファーゲンシー	0	0	使用実績なし		
ネオファーゲンC配合錠	1箱	1箱	強肝	リスザル	
ランデールチオンS	0	90錠	使用実績なし		
ネオアスシロップ	0	1本	使用実績なし		
ムコフィリン	0	2箱+9管	使用実績なし		
ムコダイン錠	0	1	使用実績なし		
ネオフィリン（注射薬）	0	1箱	使用実績なし		
ネオフィリン（経口薬）	0	1箱	使用実績なし		
フェニラミン注	0	48管	使用実績なし		
ラドン	0	3箱	使用実績なし		
ピレチア2.5%	0	0	使用実績なし		
メイロン	0	0	使用実績なし		
ラシックス	0	1箱+7管	使用実績なし		
フルバミド	0	1箱	使用実績なし		
ダイアモックス錠	0	70錠	使用実績なし		
ラドンナ注	0	1箱	使用実績なし		
ビタカンファー	0	1箱	使用実績なし		
ソルコセリル注	0	1箱	使用実績なし		
トランサミン注	5管	2箱	止血	モルモット、ミニブタ	
トランサミン錠250ml	88錠	1箱	止血	モルモット、ミニブタ	

平成26年度　動物の森　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
ボスミン液	3本	2本	止血	マーラ等	
ヘパリンNa	1本	1箱+2本	血液凝固防止	ヒツジ等	
ロバキシン	0	0	使用実績なし		
ＡＴＰ　注	0	1箱+10管	使用実績なし		
ジースインプラント2本入り	0	4箱	使用実績なし		
ジースインプラント5本入り	0	1箱	使用実績なし		
アトニン-0	0	2箱	使用実績なし		
単シロップ	0	1本	使用実績なし		
ウロストン	1包	14包	尿石症	モルモット	
パム静注500mg	0	1箱	使用実績なし		
ブロサポ	0	8包	使用実績なし		
かぜシロップＳ	0	0	使用実績なし		
鼻炎シロップ	0	0	使用実績なし		

動物ふれあい活動実績（平成24～26年度実績）

●平成24年度

実施内容	実施頻度	備　　考
ふれあい舎	361回	休園日以外毎日
動物ふれあい広場	35回	春季及び秋季の週末
動物ふれあい教室	17回	ふれあい舎団体利用
動物ふれあいＤＡＹ	2回	動物エリア解放
出前授業「動物飼育委員会」	1回	地元の小学校
乗馬体験	27回	春季及び秋季の週末
一日飼育員体験	2回	小中学生
飼育員の動物ガイド	32回	春季及び秋季の週末
オウムインコDAYのガイド	16回	オウムとインコのガイド

●平成25年度

実施内容	実施頻度	備　　考
ふれあい舎	361回	休園日以外毎日
動物ふれあい広場	31回	春季及び秋季の週末
動物ふれあい教室	16回	ふれあい舎団体利用
動物ふれあいＤＡＹ	5回	動物エリア解放
出前授業「動物飼育委員会」	3回	地元の小学校
乗馬体験	25回	春季及び秋季の週末
一日飼育員体験	4回	小中学生2回・大人2回
職場体験	4回	小中学生の職場体験
飼育員の動物ガイド	150回	餌やり等のガイド
動物のお医者さんに聞いてみよう	3回	獣医師の体験イベント

●平成26年度

実施内容	実施頻度	備　　考
ふれあい舎	360回	休園日以外毎日
動物ふれあい広場	22回	春季及び秋季の週末
動物ふれあい教室	14回	ふれあい舎団体利用
動物ふれあいＤＡＹ	2回	動物エリア解放
出前授業「動物飼育委員会」	3回	地元の小学校
乗馬体験	21回	春季及び秋季の週末
一日飼育員体験	5回	小中学生2回・大人3回
職場体験	6回	小中高校生の職場体験
ディスカバリーキャンプ(野外スクール)	1回	青少年海の家との協働イベント
飼育員の動物ガイド	162回	餌やり等のガイド
動物のお医者さんに聞いてみよう	5回	獣医師の体験イベント

国営海の中道海浜公園運営維持管理業務の運営状況（業務評定）について（案）[試行]

【概要】

公園名	国営海の中道海浜公園
所在地	福岡県福岡市東区西戸崎
事業者	○○、○○、○○共同体
履行期間	自：平成28年4月1日　　至：平成32年1月31日
評価対象年度	平成○○年度

【目標達成状況】

設定した目標指標と目標値		達成状況	備考
①公園全体の利用者数	年間204.5万人		
②パークエリアの利用者数	年間104.1万人		
③福岡県外からの来園割合	19.00%		
④パークエリアの障がい者利用者数	年間1.3万人		
⑤パークエリアのシルバー層の利用者数	年間2.8万人		
⑥非常に満足とまあまあ満足の合計回答比率	95.00%		
⑦大規模花修景の非常に満足の回答比率	67.00%		
⑧主催・共催等イベント開催回数	年間174回		
⑨主催・共催等イベント延べ参加人数	年間64.7万人		
⑩マスコミによる報道件数	年間606件		
⑪HPの総アクセス件数	年間85.4万件		

【運営状況】

評価内容		
評価ランク		優　・　良　・　可
特記事項	特に評価すべき事項	
	改善が望まれる事項	
	今後の課題	
	備　考	

（提出様式１－１）

競争参加資格確認申請書

平成　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
九 州 地 方 整 備 局 長 殿

住　　所
商号又は名称
代 表 者 氏 名　　印
（担　当　者）
所属部署
氏　　名
電話番号
FAX番号
E-mail

（共同企業体の場合は、以下のように記入すること。）
住　　所　共同体事務所の所在地
商号又は名称H28-31 国営海の中道海浜公園
運営維持管理業務◇◇・○○共同体
代表者氏名　　印

平成27年●月●日付けで入札公告のありました「H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務」に係わる競争に参加する資格について、関係書類を添えて申請します。

なお、添付書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

（提出様式1－2）
○企業の業務実績

担当する分担業務:○○業務				
会社名:○○○○(株)				
業務名	発注者	受注形態	業務概要	履行期間
○○○○○○○○○業務 内容種別　1)　2)	○○県	・単独 ・共同企業体 (・代表者・代表者以外)	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月 ～ 平成○年○月
  内容種別　1)　2)				
企業の延べ業務年数				○ヶ月
1級造園施工管理技士保有者数（植物管理業務のみ記入） 平成２８年４月１日時点　○名				

注1:業務概要欄には業務の具体的内容が分かるよう記述する。
注2:面積、植栽地の存在が分かる資料（施工図面、空中写真、地形図等）を添付する。図面等で植栽地の存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。
注3:動物の飼育頭数、施設規模・内容がわかる資料を添付する。図面等で動物管理施設存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。
注4:実績として記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等の写しを提出する。
注5:複数の業務を記載する場合は行を追加して記入する。
注6:記載する業務件数による評価は行わない。
注7:内容種別欄は実施要項3．2．の「表1　企業の業務実績等に関する要件」の1)～2)のいずれか該当するものを選び○を記入する。
注8:実施要項3．2．の「表7　企業の業務実績等に関する要件」の注意事項に沿って記載する。
注9:参加する法人の会社概要がわかる公表資料(会社紹介パンフレット、HP等)を別途提出する。

（提出様式1－3）

○総括（業務）責任者の業務実績

担当する分担業務：○○業務

ふりがな
氏名

生年月日　　年　　月　　日

会社名・所属・役職

○○会社・○○部・○○部長

保有資格（植物管理業務責任者は、1級造園施工管理技士を必ず記入すること）

・1級造園施工管理技士（登録番号：　　）　（取得年月日：　年　月　日）

業務名	発注者	受注形態	業務概要	期間	総括責任者の経験期間	業務責任者の経験期間	業務経験の期間
○○○○○○○○○○業務 内容種別 1）2）3）4）	○○	・単独 ・共同企業体（・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月
○○○○○○○○○○業務 内容種別 1）2）3）4）	○○	・単独 ・共同企業体（・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月	平成○年○月～平成○年○月	○月～平成○年○月
総括責任者の延べ経験年数					○年○ヶ月		
業務責任者の延べ経験年数						○年○ヶ月	
業務経験の延べ経験年数							○年○ヶ月

注1：業務概要欄には業務の具体的内容が分かるよう記述する。

注2：面積、植栽地の存在が分かる資料（施工図面、空中写真、地形図等）を添付すること。図面等で植栽地の存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。

注3：動物の飼育頭数、施設規模・内容がわかる資料を添付する。図面等で動物管理施設存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。

注4：実績として記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を提出する。

注5：経験年数が複数件にまたがる場合は行を追加して記入する。

注6：企画書の提出時に雇用関係が無い場合は、業務開始時までに雇用される念書（任意様式）及び業務経験証明書（様式1－8）を添付する。

注7：内容種別欄は実施要項3．3．「表8　配置予定者の業務実績等に関する要件」の1）～4）のいずれか該当するものを選び○を記入する。

注8：実施要項3．3．配置予定者の業務実績等に関する要件の実施体制に沿って記載する。

注9：実施要項3．3．に定める業務を分割し複数の業務責任者を配置できない。配置した場合には、特定しない。ただし、実施要項に定める範囲において兼務は可能とする。

(提出様式１－４)守秘性に関する要件

○守秘義務に関し、下記の処置が講じられているか記載する。

イ. 社内規則等(守秘義務に関する規程及びその罰則規が明示されているものに限る)制定について

ロ. 守秘義務に関する研修、講習等の定期的な実施について

注1: 守秘義務に関する規程及びその罰則規定を定めた社内の規則等(該当ページのみ)を添付することとし、該当部分に下線を引くこと。

共同体の場合は、各構成員それぞれの提出様式１－4を作成し、かつ各構成員それぞれの守秘義務に関する規程及びその罰則を定めた社内の規則等(該当ページのみ)を添付することとし、該当部分に下線を引くこと。

（提出様式１－５－１）業務実施体制

［実施要項で定める業務責任者］

実施要項3.3.に定める業務責任者	具体的な業務内容	雇用形態				資格、能力、実務経験年数等（業務内容に対する適切性について記載）	1週間の予定勤務時間								備考
		常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		月	火	水	木	金	土	日	計	
総括責任者		○	－	－			8	8	8	8	8	0	0	40	代表企業 ○○会社 九州　太郎
企画運営管理業務責任者							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○
施設・設備維持管理業務責任者							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○
植物管理業務責任者							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○
動物管理業務責任者							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○
収益施設等管理運営業務責任者							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○

※ 組織図（業務実施のための管理機構）を添付する（任意様式）。
※ 総括責任者および業務責任者が資格要件の条件を満たさない場合は特定しない。
※ 備考欄には、所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。共同体の場合は、各構成員の所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。
※ 実施要項　３．３．に定める業務を分割し複数の業務責任者を配置できない。配置した場合には、特定しない。ただし、実施要項に定める範囲において兼務は可能とする。
※ ［実施要項以外で提案する業務責任者の下に配置し、責任者を補佐する者］を配置する場合には、別紙に記入すること。
※ 総括責任者及び総括責任者以外の業務責任者は、原則、実施期間中専任（注）とする。なお、病気・死亡等の事情によりやむを得ず総括責任者又は総括責任者以外の業務責任者を変更する場合は、上記に掲げる基準を満たし、かつ、当初の者と同等以上の者を配置するものとし、予め九州地方整備局の承諾を得るものとする。
（注：専任とは、他の工事及び業務等に係る職務を兼務せず、常時継続的に当該業務に係る職務にのみ従事していることをいう。ただし、契約の締結後、業務開始するまでの期間（準備期間）は専任を要しない。）

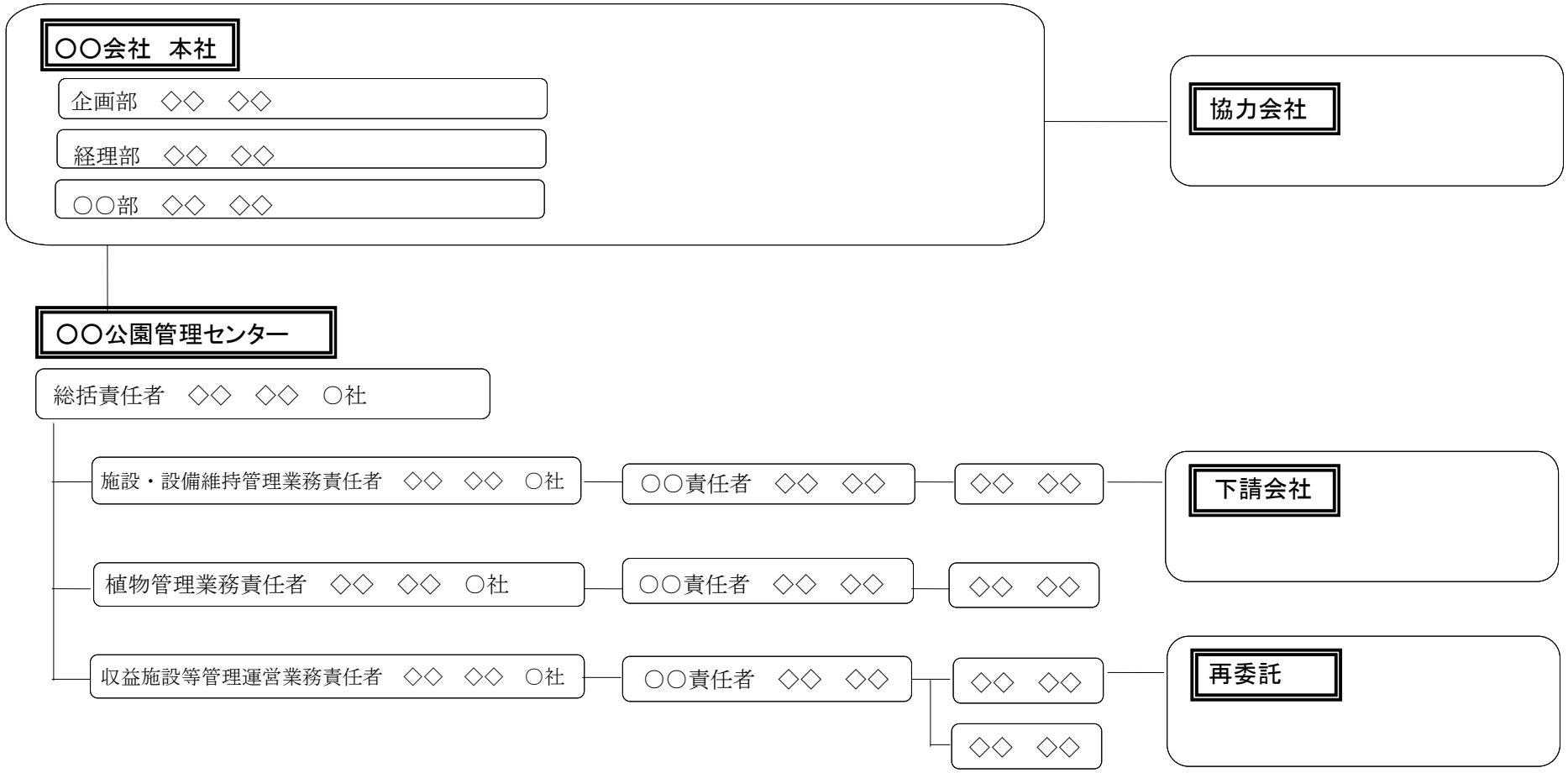
（別紙）

［実施要項以外で提案する業務責任者の下に配置し、責任者を補佐する者］

業務責任者の下に配置し、責任者を補佐する者	具体的な業務内容	雇用形態				資格、能力、実務経験年数等（業務内容に対する適切性について記載）	1週間の予定勤務時間								備考
		常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）										
△△業務責任者の下		○	－	－			月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○
○○係長							8	8	8	8	8	0	0	40	
□□業務責任者の下							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○
○○リーダー															
							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○
							月	火	水	木	金	土	日	計	○○会社 ○○　○○

※［実施要項で定める業務責任者］の下に配置するのか責任区分を明確にすること。
※［実施要項で定める業務責任者］と併せた組織図（業務実施のための管理機構）を添付する（任意様式）。
※ 災害、繁忙期等の緊急時を含み、現地を支援する本社等の体制（責任体制、現地体制）を記載する。
※ 配置予定人員の枠が足りなければ、追加して記入する。
※ 備考欄には、所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。共同体の場合は、各構成員の所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。（氏名が未確定の場合は、氏名について、記載しなくてもよい）
※ 業務責任者の下に配置し、業務責任者を補佐する者を変更する場合は、当該業務に精通した者を配置するものとし、予め九州地方整備局の承諾を得るものとする。

業務実施体制　組織図（業務実施のための管理機構）　（作成例）



注１：共同体の場合は、責任者の氏名の後に構成企業名を記載すること。

注２：災害、繁忙期等の緊急時における体制（責任体制、現地体制）についても分かるように記載すること。

(提出様式1－5－2) 業務実施における対応方針

・迅速かつ円滑な意志決定及び臨機の対応等の体制に関し、緊急時等においても混乱なく対応できる水準を超えた優れた提案を記述。

※上記について、組織面、費用面の対応等を具体的に記載すること。

※A4版１枚以内にまとめる(図表含む。)。
※文字寸法は10.5ﾎﾟｲﾝﾄ以上。
※白黒片面印刷で提出すること。

(提出様式1－5－3)

○申請した総括責任者以外で同一企業に在籍する総括責任者(代替総括責任者)の業務実績

ふりがな 氏名 生年月日　　年　　月　　日							
会社名・所属・役職 ○○会社・○○部・○○部長							
保有資格 ・技術士(建設部門:都市及び地方計画) (登録番号:　　)　(取得年月日:　年　月　日)							
業務名	発注者	受注形態	業務概要	期間	総括責任者の経験期間	業務責任者の経験期間	業務経験の期間
○○○○○○○○○○ 業務 内容種別 1) 2) 3) 4) 5)	○○	・単独 ・共同企業体 (・代表者・代表者以外)	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月
○○○○○○○○○○ 業務 内容種別 1) 2) 3) 4) 5)	○○	・単独 ・共同企業体 (・代表者・代表者以外)	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月	平成○年○月 ～ 平成○年○月	○月 ～ 平成○年○月
総括責任者の延べ経験年数					○年○ヶ月		
業務責任者の延べ経験年数						○年○ヶ月	
業務経験　の延べ経験年数							○年○ヶ月

(提出様式１－６)実施方針

※A4版２枚以内にまとめる(図表含む。)。
※文字寸法は10.5ﾎﾟｲﾝﾄ以上。
※別紙年間業務計画を添付する。それ以外の添付資料は認めない。
※白黒片面印刷で提出すること。

（別紙）

年間業務計画（作成例）

工　種	種別	実施頻度	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
植物管理	芝生管理	●回／年												
	低木管理	●回／年												
	高木管理	●回／年												
	草花管理	●回／年												
●●●●														
●●●●														
●●●●														
●●●●														

(提出様式1－7)再委託又は、下請負の予定(協力企業の名称等)

企　業　名		代表者名	
所　在　地			
再委託する理由及び具体的内容 分担業務内容			

企　業　名		代表者名	
所　在　地			
再委託する理由及び具体的内容 分担業務内容			

企　業　名		代表者名	
所　在　地			
再委託する理由及び具体的内容 分担業務内容			

注１：再委託又は、下請負（予定含む）がある場合に記入する。

注２：原則として、小規模な業務※を除き、記載された以外の業務を再委託又は下請負する場合には、金額および必要性等について協議が必要となる。
※　小規模な業務とは、基本的に契約金額が100万円未満の業務等

注３：再委託又は、下請負の枠が足りなければ、追加して記入すること。

注４：組織図（業務実施のための管理機構）に記入すること。

念書(例)（申請書類提出時に当該法人と雇用関係が無い場合）

支出負担行為担当官
九州地方整備局長　様

念書（例）

株式会社○○○○と九州太郎は、現在雇用関係に無いが、下記の場合において雇用契約を締結するものとする。

記

国土交通省九州地方整備局で、平成27年●月●日付けで入札公告のあった「H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務」と契約締結した場合。

平成２８年○月○日

住所
電話番号
会社名　株式会社○○○○
代表者　代表取締役社長△△　△△　印

住所

氏名　　九州　太郎　印

(提出様式1－8)業務経験証明書

氏名(ふりがな)	九州　太郎 (　　年　　月　　日生)
会社名	□□□□株式会社
業務実績	○○業務の○○責任者として従事。
従事期間	年　　月　　日 ～ 年　　月　　日
備考	

上記の通りであることを証明します。

平成２７年○月○日

住　所

電話番号
会社名　　□□□□株式会社

代表者　　役職名　　氏名　　印

（提出様式１－９－１）

平成　　年　　月　　日

収益施設運営実績書

国土交通省　九州地方整備局　　殿

（申込者）社　名

代表者　　印

所在地

TEL(FAX)

下記収益施設について、運営実績書を提出します。

記

(記入例)

	国営海の中道海浜公園　収益施設名	収益施設運営実績（※１）		収益施設運営予定（※２）	
		企業としての実績	配置予定者としての実績	申請者（共同体構成員を含む）	申請者以外の者（再委託・下請け等）
1	駐車場				○ ((株)○○)
2	レンタサイクル	◎	◎		
3	飲食・物販施設				○ (未定)
4	デイキャンプ場	◎ ((株)○○)	◎ (○○太郎)	○ ((株)○○)	
5	自動販売機	○ ((株)○○)		○ ((株)○○)	
6	コインロッカー	○ ((株)○○)		○ ((株)○○)	

（提出様式１－９－１）の注意事項

※１　収益施設運営実績について、実施要項３．２．企業の業務実績に関する要件、及び３．３．配置予定者の業務実績に関する要件の「⑤収益施設等運営業務」で申請している収益施設に「◎」を記入し、その他実績を有する収益実績は「○」を記入する（共同体の場合は、代表企業又は構成員の実績でも可。その場合「◎」、「○」のあとに実績のある者を具体的に記入する。（例「○（(株)○○）」、「◎（○○太郎）」）

又、「◎」、「○」を記入した施設の全ての施設について（提出様式１－９－３）に記入すること。

※２　収益施設運営予定について、国営○○公園において、申請者または申請者以外の者で行うのかいずれかに「○」を記入する。なお、収益施設運営実績の申請者と収益施設運営予定の申請者が必ずしも同一箇所でなくてもよい。（共同体の場合は、代表企業又は構成員の実績でも可。その場合「○」のあとに実績のある者を具体的に記入する。（例「○（(株)○○）」、「○（○○太郎）」）。申請者以外の者が未定の場合は、「○」のあとに「未定」と記載すること。（例「○（未定）」）

又、申請者以外の者によって実施し、予定している企業等がある場合は、（提出様式１－７）に記載すること。

※３　「H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務」に入札参加しようとする者は、公園施設と連携して収益施設を運営することから、H28-31国営海の中道海浜公園収益施設管理運営規定書の事項を確認の上、収益施設運営実績書を提出しなければならない。

また、「H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務」の受託者（収益施設の施設運営者）は、収益施設について都市公園法第５条の申請を行い、許可を受け所定の使用料を国へ支払わなければならない。

※４　共同体として参加する者が提出する場合は、H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務について、代表企業を申請者とする。

（提出様式１－９－２）

収益施設名：〇〇

会社の概要

（１）以下について記入するものとする。

①社名	（　　）
②業種（主・副）	（　　・　　）
③設立	（　　年　　月）
④資本金	（　　円）
⑤従業員数	（　　人）
⑥株式	（　上場　・　非上場　）
⑦株主数	（　　人）
⑧営業範囲	（　九州地方・全国　）
⑨年商	（　　円）

（２）下記の最新資料を添付するものとする。

①会社概要書等
②登記簿謄本
③財務諸表（過去3ケ年分）

※　提出様式１－９－１で記載している全ての収益施設の施設等運営者について記載すること。（収益施設運営実績、収益施設運営予定を含む）

※　財務諸表については、決算報告に使用された「貸借対照表」「損益計算書」「営業報告書」「利益の処分又は損失の処理に関する議案」等（過去３ケ年分）を提出するものとする。

※　申請者以外の者については、上記（２）②、③は提出しなくてもよい。ただし、落札者決定された場合は、業務計画書提出時までに提出するものとする。

※　申請者以外の者が未定の場合は、上記（１）①社名に「未定」と記載すること。ただし、落札者決定された場合は、本様式と上記（２）①～③を業務計画書提出時までに提出するものとする。

（提出様式１－９－３）

○○施設運営実績

項　　目	内　　容
・施設名 ・所在地 ・開設年	（記入例） ・○○○○　　○○店 ・福岡県○○市○○１－２－３ ・平成○年○月
・業態 ・取扱品目 ・主な客層	（記入例） ・○○商店 ・軽飲食、お土産類、清涼飲料水等 ・家族連れ、観光客
・構造 ・規模	（記入例） ・構　　造　　木造 ・延床面積　　401.88㎡ ・客席面積　　300㎡ ・席　　数　　100席 ・厨房面積　　50㎡ ・駐 車 場　　平面駐車場　普通車20台
・売上高	（記入例） ・120,000千円／年（過去３カ年の平均）
・従業員数	（記入例） ・社員３人、補員５人

※　提出様式１－９－１の収益施設運営実績の◎及び○と記載した箇所についてそれぞれ１件以上記載すること。企業及び配置予定者の業務実績が同じ収益施設で異なる施設（別の施設）の場合は、それぞれ記載すること。　又、施設等により物理的条件より記載が難しい場合であっても実施している概要がわかる内容を記載すること。

※　売上高は、過去３ヶ年の平均とし、実績がないものは、過去２年又は１年でもよい。又１年に満たない場合は、予定金額でもよい。

※　実績を証明する登記簿又は契約書等の写しと、自由様式で施設概要がわかる資料又は写真等を２～３枚添付すること。

なお、自由様式は、Ａ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

（提出様式１－１０）

（第１面）

平成　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
九州地方整備局長
金尾　健司　殿

（郵便番号　　）
入札参加事業者　住　　所

電話番号（　　）　　－

商　　号
又は名称

氏　　名　　㊞

（法人にあっては、代表者氏名）

法定代理人　　㊞
氏　　名

入 札 参 加 事 業 者 等 確 認 書

この書面の記載事項は、事実に相違ありません。

（留意事項）

１　この書面及び提出書類は、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律第１０条各号に規定されている欠格事由該当性の審査に必要であり、この書面及び提出書類に記載されている個人情報については、欠格事由該当性の審査のため、必要な範囲において利用し又は警察庁等関係行政機関に対し提供します。

２　この書面とともに、第８面の一覧表に示す書類の提出をお願いします。

３．提出した様式のデータおよび電磁的記録媒体（第８面※８参照）をCD－Rで提出願います。

1　入札参加事業者

個人・法人の別	□　個　人	□　法　人

ア　入札参加事業者が個人の場合

フリガナ	生年月日 （性別）	本　籍
氏　名		住　所
フリガナ		事業活動の内容
商号又は屋号		
	（　）	

イ　入札参加事業者が法人の場合

フリガナ	主たる事務所の所在地
商号又は名称	代表者の氏名
事業活動の内容	

（記載上の注意）

1　「個人・法人の別」は、該当するものに○印を付けて下さい。

2　「商号又は屋号」は、商号登記をしているときはその商号を、商号登記していないときは屋号等の名称のうち１個を記載して下さい。

2　法定代理人

フリガナ	生年月日 （性別）	本　籍
氏　名		住　所
	（　）	
	（　）	

（記載上の注意）

1　「法定代理人」は、

①　入札参加事業者（法人の場合は、当該法人の役員）

②　入札参加事業者の親会社等（法人の場合は、当該法人の役員）

が、法第１０条第６号に規定する「営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者」である場合に、当該未成年者の法定代理人を記載して下さい。

2　記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第２面の次に添付して下さい。

３　役　員　等

フ　リ　ガ　ナ	生年月日（性別）	本　　籍
氏　　名	役職名又は名称	住　　所
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	

（記載上の注意）

１　入札参加事業者が法人の場合に記載して下さい。

２　「役員等」とは、役員（理事、取締役、執行役、業務を執行する社員、監事、監査役又はこれらに準ずる者）及び相談役、顧問等名称のいかんを問わず、役員と同等以上の支配力を有する者をいい、その全てを記載して下さい。

３　記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第３面の次に添付して下さい。

４　主要株主・主要出資者

発行済株式の総数		出資総額	

ア　主要株主・主要出資者が個人の場合

フ リ ガ ナ 氏　　名	生年月日（性別）	本　　籍 住　　所 所有株式数又は出資金額	 割　　合
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		
	（　）		

イ　主要株主・主要出資者が法人の場合

フリガナ	フリガナ	主たる事務所の所在地	
商号又は名称	代表者氏名	所有株式数又は出資金額	割　　合

（記載上の注意）

１　主要株主とは、発行済株式の総数の１００分の５以上の株式を所有する株主をいいます。

２　主要出資者とは、出資総額の１００分の５以上の額に相当する出資をしている者をいいます。

３　割合は、「所有株式数（出資金額）／発行済株式の総数（出資総額）×１００」とします。

４　法第１０条第９号の親会社等に該当する場合は、第６面の「５親会社等」欄に記載して下さい。

５　記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、個人の場合は第４面の次に、法人の場合は第５面の次にそれぞれ添付して下さい。

５　親会社等

ア　施行令第３条第１項第１号に該当する場合

○　個人の場合

フ リ ガ ナ	生年月日（性別）	本　　籍		
氏　　名		住　　所		
		議決権の総数	所有する議決権の数	割　　合
	（　　）			

○　法人の場合

フ リ ガ ナ	フ リ ガ ナ	主 た る 事 務 所 の 所 在 地		
商号又は名称	代表者氏名	議決権の総数	所有する議決権の数	割　　合

イ　施行令第３条第１項第２号に該当する場合

フ リ ガ ナ	フ リ ガ ナ	主 た る 事 務 所 の 所 在 地
商号又は名称	代表者氏名	その役員に占める自己の役員等の割合

ウ　施行令第３条第１項第３号に該当する場合

フ リ ガ ナ	フ リ ガ ナ	主 た る 事 務 所 の 所 在 地
商号又は名称	代表者氏名	その代表権を有する役員の地位を占める自己の役員等の氏名

（記載上の注意）

１　「親会社等」には、入札参加事業者と次の関係（特定支配関係）にある者（施行令第３条第１項第１号から第３号まで）を記載して下さい。

①　その株主（株主総会において決議をすることができる事項の全部につき議決権を行使することができない株主を除く。）又は総出資者の議決権の過半数を有していること。（第１号）

②　その役員（理事、取締役、執行役、業務を執行する社員又はこれらに準ずる者をいう。）に占める自己の役員又は職員（過去２年間に役員又は職員であった者を含む。以下同じ。）の割合が２分の１を超えていること。（第２号）

③　その代表権を有する役員の地位を自己又はその役員若しくは職員が占めていること。（第３号）

２　親会社等に該当するものがある場合は、その該当する欄に記載して下さい。

３　その役員に占める自己の役員等の割合は、「入札参加事業者における自己の役員等の数／入札参加事業者の役員の数×１００」とします。

６　親会社等の役員等

法人の商号又は名称		
フリガナ	生年月日（性別）	本　　籍
氏　　名	役職名又は名称	住　　所

	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	

	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	
	（　　）	

（記載上の注意）

１　親会社等が法人の場合は、当該法人の役員等（第３面でいう「役員等」に同じ。）を全て記載して下さい。

２　記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第７面の次に添付して下さい。

7　提出書類

この書面のほか、下表に示す提出書類のうち、該当するものを提出して下さい。なお、提出する
書類については、チェック欄に○印を付けて下さい。

提　出　書　類　一　覧　表	ﾁｪｯｸ
1　住民票の写し（外国人の場合は外国人登録原票の写し）※1【落札者決定後】	
①　入札参加事業者（個人）	
②　入札参加事業者（個人）の法定代理人※2	
③　入札参加事業者（法人）の役員	
④　入札参加事業者（法人）の役員の法定代理人	
⑤　入札参加事業者（法人）の役員と同等以上の支配力を有する者※3	
⑥　入札参加事業者（法人）の親会社等※4（個人）	
⑦　入札参加事業者（法人）の親会社等（個人）の法定代理人	
⑧　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員	
⑨　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員の法定代理人	
⑩　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員と同等以上の支配力を有する者	
2　登記事項証明書（履歴事項全部証明書）※5	
⑪　入札参加事業者（法人）	
⑫　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）	
3　戸籍抄本※6	
⑬　入札参加事業者（個人）	
⑭　入札参加事業者（法人）の役員	
⑮　入札参加事業者（法人）の親会社等（個人）	
⑯　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員	
4　未成年者登記簿の謄本※7	
⑰　入札参加事業者（個人）	
⑱　入札参加事業者（法人）の役員	
⑲　入札参加事業者（法人）の親会社等（個人）	
⑳　入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員	
5　誓約書　［別添］	
㉑　入札参加事業者（個人）	
㉒　入札参加事業者（法人）	
6　電磁的記録媒体※8	

※1　住民票の写しは、本籍地の記載のあるものとし、外国人登録原票の写しは、その者が外国人で外国人登録をしている場合に提出して下さい。また、いずれも発行後６ヶ月以内のものを提出して下さい。

※2　法定代理人とは、その者が営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者の場合の当該未成年者の法定代理人をいいます。

※３　役員と同等以上の支配力を有する者とは、正規の役員ではないが、相談役、顧問等名称のいかんを問わず、役員と同等以上の支配力を有する者をいいます。

※４　親会社等とは、入札参加事業者と施行令第３条第１項各号のいずれかに該当する関係（特定支配関係）を有する者とします。

※５　登記事項証明書（履歴事項全部証明書）は、発行後６ヶ月以内のものを提出して下さい。

※６　戸籍抄本は、その者が営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者の場合及びその者が未成年者で婚姻により成年に達したものとみなされている場合（民法第７５３条）に提出して下さい。

※７　未成年者登記簿の謄本は、その者が未成年者であって、営業に関し成年者と同一の行為能力を有する場合（婚姻により成年に達したものとみなされている場合を除く。）に提出して下さい。

※８　電磁的記録媒体の作成要領

意見聴取に必要な電磁的記録は、氏名カナ、氏名漢字、生年月日、性別とし、これらをＣ　Ｓ　Ｖ 形式（ 例えば、エクセル、アクセス等）により、電磁的記録媒体（ ＣＤ－Ｒ）に以下の要領で記録する。

①　氏名カナは、半角で記録し、姓と名の間を半角で１マス空ける。

②　氏名漢字は、全角で記録し、姓と名の間を全角で１ マス空ける。なお、常用漢字でない等の理由により、漢字が記録不可能な場合は、当該漢字に代えて平仮名を記録する。

③　生年月日のうち、年、月及び日については、半角の２ 桁で記録する。元号については、明治の場合は「M」、大正の場合は「T」、昭和の場合は「S」、平成の場合は「H」と半角で記録する。

④　性別については、男性の場合は「M」、女性の場合は「F」と半角で記録する。

⑤　氏名カナ、氏名漢字、元号、年、月、日及び性別は、それぞれセル毎で区切る。

⑥　記載例（データ上の記載）

昭和３　８　年７　月１　４　日生まれの公共太郎（ 男性）の場合は、

氏名カナ(半角)	氏名漢字(漢字)	元号(半角)	年	月	日	性別
ｺｳｷｮｳ ﾀﾛｳ	公共　太郎	S	38	7	14	M

[別添]

支出負担行為担当官
九州地方整備局長
金尾　健司　殿

平成　　年　　月　　日
住　　所
商号又は名称
代表者氏名　　㊞

誓約書

平成27年●月●日付けで公告のありました「H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務」の入札に参加するにあたり、下記のとおり誓約します。

記

1　競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号）第15条において準用する第10条各号に該当する者でないこと。

2　予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

3　他の入札参加者又は所属する共同体以外の共同体の構成員との間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

1）資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。

①親会社と子会社の関係にある場合

②親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

2）人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし②については、会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。

①一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合

②一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合

4　国営海の中道海浜公園運営維持管理業務有識者委員会の構成員又は構成員が属する事業者ではないこと。

5　業務の一部について再委託等を行わせる場合、暴力団又は暴力団関係者を再委託先としないこと。又、再委託先等が暴力団又は暴力団関係者と知りながらそれを容認して再委託契約を継続させないこと。

6　申請書類の内容については事実と相違ないこと。

上記誓約に相違があった場合は、入札参加の取消し、契約解除等の措置又は処分も甘受し、一切の意義を申し立てないことを併せて誓約します。

以上

申請書類における留意事項について

１．提出部数は１部とし、通しの頁数を次の例ように頁右下に記載するものとする。（例　1／10，2／10･･･9／10，10／10）。

２．提出様式１－２「企業の業務実績」
①記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を必ず添付すること。
②単体および共同体の担当する分担業務については、「本業務全体の計画立案及びマネジメント業務」、「企画運営管理業務」、「施設・設備維持管理業務」「植物管理業務」、「動物管理業務」、「収益施設等運営業務」とし、さらに細かく業務を分担する場合には「施設・設備維持管理業務のうち、施設管理」などの記載とし、独自に「総合運営管理業務（例）」など独自の名称は作らないこと。
③本業務全体の計画立案及びマネジメント業務の実績については、説明書１．（２）１）で記載しているとおり、必ず「本公園の運営維持管理全般について目標及び業務計画を策定し、多岐にわたる業務について総合的な調整を行い、適切な進捗管理を実施」した会社とし、その内容について契約書で記載されていない場合は、その内容が確認できる業務の仕様書等も添付すること。
④共同体の場合は、本業務全体の企画立案及びマネジメント業務を担当する企業を代表企業とすること。

３．提出様式１－３「総括（業務）責任者等の業務実績」
①記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を必ず添付すること。
②「本業務全体の計画立案及びマネジメント業務」、「企画運営管理業務」、「施設・設備維持管理業務」、「植物管理業務」、「動物管理業務」、「収益施設等運営業務」の業務責任者においては、業務を分割し複数の業務責任者を配置できないものとする。なお、複数　配置した場合には、特定しない。
ただし、実施要領に定めた範囲において兼務は可能とする。
③共同体の場合は、本業務全体の企画立案及びマネジメント業務を担当する総括責任者を代表企業の社員（予定を含む）とすること。また、「所属・役職」の欄に会社名を記載すること。

４．提出様式１－４「守秘性に関する要件」
①守秘義務に関する規定を定めた社内の規則等(該当ページのみ)を添付すること。また、共同体の場合は、構成員毎に様式１－４の提出及び守秘義務に関する規定を定めた社内の規則等(該当ページのみ)を添付すること。該当部分に下線を引くこと。

５．提出様式１－５－１「業務実施体制」
①共同体の場合は、備考欄に所属企業名および職務、配置予定者の氏名を記載すること。
②組織図（業務実施のための体制図）を添付すること。その際に担当する分担業務を記載すること。
③実施要項３．３．表２に定める業務を分割し複数の業務責任者を配置できないものとする。なお、複数配置した場合には、特定しない。

６．提出様式１－５－２「業務実施における対応方針」
Ａ４版片面１枚以内で、文字寸法は１０．５ポイント以上とすること。
図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとし、判読できない場合は、図表等を評価しない場合がある。
白黒片面印刷で提出すること。

７．提出様式１－６「実施方針」
Ａ４版片面２枚以内で、文字寸法は１０．５ポイント以上とすること。
図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９

ポイント程度までとし、判読できない場合は、図表等を評価しない場合がある。
白黒片面印刷で提出すること。

８．提出様式１－１０「入札参加事業者等確認書」
落札者は、住民票の写し（外国人の場合は外国人登録原票の写し）について、落札決定日から２週間以内に提出すること。
様式のデータおよび電磁的記録媒体（第８面参照）をCD－Rで提出すること。

（提出様式２－１）

企画書

業務の名称　　H28-31国営海の中道海浜公園運営維持管理業務

履行期限　　平成　　年　　月　　日

標記業務について、企画書を提出します。

平成　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
九州地方整備局長
　　金尾 健司 殿

提出者）住　　所
　　電話番号
　　会 社 名
　　代 表 者 役職名　　氏　　名　　印

作成者）担当部署
　　氏　　名
　　電話番号
　　ＦＡＸ
　　Ｅ－mail

（共同企業体の場合は、以下のように記入すること。）
　　住　所　：共同体事務所の所在地
　　電話番号：共同体事務所の電話番号
　　FAX　：共同体事務所のFAX番号
　　会社名　：○○○○業務
　　　△△・○○共同体
　　代表者　：△△㈱　役職名　　氏名　印

注）紙入札方式による場合は代表者印を押印してください。

（提出様式２－２―１）

１）目標とする公園利用者数の確保に関する提案

基本的な考え方・方針

○○○を基本的な方針として、○○○

１．本公園全体及びパークエリアの年間及び四半期毎の公園利用者数【数値目標】

（単位：万人）

年目	1年目					2年目					3年目				
本公園全体の公園利用者	1	2	3	4	年間	1	2	3	4	年間	1	2	3	4	年間
パークエリアの公園利用者	1	2	3	4	年間	1	2	3	4	年間	1	2	3	4	年間

4年目（第3四半期）			
1	2	3	年間
1	2	3	年間

２．パークエリアの福岡県外からの利用者の割合【数値目標】　（単位：%）

年目	1年目	2年目	3年目	4年目
県外からの利用割合				

３．ﾊﾟｰｸｴﾘｱの障がい者年間利用者数・ｼﾙﾊﾞｰ層の年間利用者数【数値目標】（単位：人）

年目	1年目	2年目	3年目	4年目
障がい者の利用者数				
シルバー層の利用者数				

１．企画提案項目：○○○の活用

・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。

・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

３．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

４．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

５．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

※目標とする数値を各年度設定の上、その利用者数確保に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※企画提案４～５に、既存地形や本公園の特性を踏まえた上でユニバーサルデザインの積極的な対応について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。

※子供の広場の大観覧車周辺の工事を予定しているため､大観覧車及びその周辺は平成27年9月～28年3月の間は利用ができないものとして、企画提案を行うこと。

※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。

※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―２）

２）利用者満足度の確保に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

年間及び四半期ごとの公園の運営に関する「非常に満足」と「まあまあ満足」の回答比率
【数値目標】　（単位：％）

年目	1年目					2年目					3年目				
非常に満足・まあまあ満足の合計比率	1	2	3	4	年間	1	2	3	4	年間	1	2	3	4	年間

	4年目（第3四半期）			
	1	2	3	年間

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※目標とする数値を設定の上、その満足度数の向上に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※子供の広場の大観覧車周辺の工事を予定しているため、大観覧車及びその周辺は平成27年9月～28年3月の間は利用ができないものとして、企画提案を行うこと。
※第４四半期の目標については、実施要項の表９に示すとおり、利用実態調査の過去の実績がないので、第１～第３四半期の満足度や年間の満足度を勘案し任意に設定すること。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―３）

３）公園特性を生かした植物管理に関する提案

基本的な考え方・方針
○○○を基本的な方針として、○○○

大規模花修景に関する「非常に満足」の平均回答比率【数値目標】　（単位：%）

年目	1年目					2年目					3年目				
非常に満足の比率	1	2	3	4	年間	1	2	3	4	年間	1	2	3	4	年間

4年目（第3四半期）			
1	2	3	年間

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※目標とする数値を設定の上、その満足度数の向上に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―４）

４）公園特性及び資源、施設を活かした運営管理に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※企画提案項目１．～５．に、「動物の森」の施設の特性を生かした、効率的かつ効果的な飼育・展示について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―５）

５）多様な利用プログラムの提供に関する提案

基本的な考え方・方針

○○○を基本的な方針として、○○○

主催・共催等により実施する年間イベント総数

	１年目		２年目		３年目		４年目	
	開催数（回）	延べ参加人数（人）	開催数（回）	延べ参加人数（人）	開催数（回）	延べ参加人数（人）	開催数（回）	延べ参加人数（人）
年間総数								

主催・共催等イベントの開催回数、延べ参加人数【数値目標】

主催・共催等イベント名	委託費／徴収	１年目		２年目		３年目		４年目	
		開催数（回）	延べ参加人数（人）	開催数（回）	延べ参加人数（人）	開催数（回）	延べ参加人数（人）	開催数（回）	延べ参加人数（人）
□□イベント									

１．企画提案項目：○○○の実施

・具体的な企画提案：○○○において、・・・・○○○を実施します。

・期待される効果：○○○を実施することにより、・・が期待されます。

２．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

３．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

４．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

５．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

※企画提案項目ごとに、目標の実施、達成に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※主催・共催イベント欄には、都市緑化系、スポーツ系、自然環境系、環境学習系、教育・教養系など多様なイベントについて、代表的なものを最大３０個まで記載することが出来る。また、１年に複数回開催するイベントについては、延べ参加人数を記載する。

※委託費及び徴収欄は、委託費のみでおこなうイベントを、委託費と記載する。また、委託費で行うが材料代等の実費は公園利用者から徴収するイベントを、徴収と記載する。

※自主事業の自主イベントの企画提案については「（提出様式２－２―１０）自主事業に関する提案」に記述するものとし、本様式では委託費で行う行催事（材料代等実費を公園利用者から徴収すること等ができるものを含む）のみを記載すること。

※主催・共催イベントとは、単に利用促進のためだけではなく、イベントの社会的意義が高く、それを主催・共催等することにより、本公園及び国土交通省のイメージアップにつながる場合に開催できるものである。

※開催数は、同一イベントを複数回開催する場合、連日での開催は１回とカウントする。

※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。

※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―６）

６）情報受発信の充実に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

マスコミ報道件数・ホームページアクセス件数【数値目標】　（単位：件）

年目	１年目	２年目	３年目	４年目
年間マスコミ報道件数	○○	○○	○○	○○
年間ホームページアクセス件数	○○	○○	○○	○○

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果

※各企画提案項目には１から５までの通し番号を付けること。
※マスコミ報道件数やホームページアクセス件数の目標を設定の上、それら実施、達成に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―７）

７）地域との連携活動・市民との協働活動に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○と連携
・具体的な企画提案：○○○と連携し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○と連携することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果

※企画提案項目１．～２．に、周辺自治体や学校、地域住民等関係機関や関係者との連携体制、協力体制の構築に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目３．～５．に、ボランティアやＮＰＯ団体との連携方策及びボランティア活動の充実・継続に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―８）

８）公園利用者等の安全を確保する管理手法に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※企画提案項目１．～２．に、本公園の特性を踏まえた上で、公園利用者の安全・安心を確保する施設管理及び運営管理について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。また、既存地形や本公園の特性を踏まえた上で、ハード面、ソフト面でのユニバーサルデザイン対応について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案を記述する。
※企画提案項目３．に、公園スタッフに関する事故を未然に防ぐ取組について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―９）

９）緊急時及び非常時の対応に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の実施
・具体的な企画提案：○○○について、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○をすることにより、・・・・の防止が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※企画提案項目１．～２．に、緊急事態を想定し、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目３．～４．に、トラブル時や緊急時に円滑に対応し、かつ被害を拡大させないためのハード面・ソフト面での体制、対策について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目５．に、繁忙期において、混乱回避のための対応策について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―１０）

１０）自主事業に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の実施
・具体的な企画提案：○○○において、・・・・○○○を実施します。
・期待される効果：○○○を実施することにより、・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※公園の目的・魅力の向上の観点について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※自主事業：事業者の独立採算により行う事業をいう。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―１１）

１１）収益施設の運営に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が見込まれます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

６．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

７．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

８．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※企画提案項目１．**駐車場**における利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目２．**レンタサイクル施設**における利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目３．**飲食・物販施設**における利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目４．**デイキャンプ場**における利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目５．**サンシャインプール**における利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目６．**自動販売機**における利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目７．**小型遊戯施設**における利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目８．**園内交通施設**における利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２―１２の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―１２）

１２）各業務の最低水準（現行基準）として示された仕様書に対する、改善提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．改善提案項目：○○○工
・設計数量：○○ｍ２
・変更数量：○○ｍ２
・変更可能な理由：○○○を導入し、・・○○の質が向上（○○を削減）します。
・期待される効果：○○○を導入することにより、・・・の削減が見込まれます。

２．改善提案項目：
・設計数量：
・変更数量：
・変更可能な理由：
・期待される効果：

３．改善提案項目：
・設計数量：
・変更数量：
・変更可能な理由：
・期待される効果：

４．改善提案項目：
・設計数量：
・変更数量：
・変更可能な理由：
・期待される効果：

５．改善提案項目：
・設計数量：
・変更数量：
・変更可能な理由：
・期待される効果

※改善提案による質の維持向上又は経費の削減（あるいはその両方）に関する提案について、実現性のある改善提案および期待される効果を具体的に記述する。
※設計数量が変更となる場合には、数量総括表に変更数量を記述して提出すること。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

【別添】

企画書の提案に関する注意事項等

１．各企画提案および改善提案について、着眼点が他と比較して優れており、具体性、実現性があり、当該公園において適切かつ効果的なものであるか等の妥当性について総合的な観点から評価する。

２．様式 2-2-1～様式 2-2-10 及び様式 2-2-12 の企画提案および改善提案の頁数は、説明図表を含めＡ４版２頁以内とする。
上記頁数を超えた場合、加点評価対象は２頁目までに記載されている内容とし、３頁目以降に記載した内容は加点評価対象としない。ただし、３頁目以降に記載した内容（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

３．様式 2-2-11 の企画提案および改善提案の頁数は、説明図表を含めＡ４版３頁以内とする。
上記頁数を超えた場合、加点評価対象は３頁目までに記載されている内容とし、４頁目以降に記載した内容は加点評価対象としない。ただし、４頁目以降に記載した内容（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

４．様式 2-2-1～様式 2-2-10 及び様式 2-2-12 の企画提案の項目数は最大５項目までとし、記載の順に１から５までの通し番号を付けること。
加点評価対象は番号１から５の企画提案項目までとし、これを超えた企画提案項目は加点評価対象としない。また、通し番号の記載がない企画提案項目についても加点評価対象としない。ただし、超過した企画提案項目又は通し番号の記載がない企画提案項目（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

５．様式 2-2-11 の企画提案の項目数は最大８項目までとし、記載の順に１から８までの通し番号を付けること。
加点評価対象は番号１から８の企画提案項目までとし、これを超えた企画提案項目は加点評価対象としない。また、通し番号の記載がない企画提案項目についても加点評価対象としない。ただし、超過した企画提案項目又は通し番号の記載がない企画提案項目（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

６．改善提案は、記載の順に１から通し番号を付けること。
通し番号の記載がない改善提案項目については加点評価対象としない。ただし、通し番号の記載がない改善提案項目（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。
頁数は、上記２．によるものとする。

７．１つの企画提案項目は１つの着目対象（○○対策、等）に限って設定すること。
複数の着目対象に対する企画提案項目を記載した場合には、当該企画提案項目を加点評価対象としない場合がある。ただし、当該企画提案項目（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

８．１つの企画提案項目に対する具体的な企画提案は、業務の特性及び現場条件等を考慮のうえ、企画提案項目とした着目対象に関して効果を発現させるための実施方法（効果を高めるために付帯して行うものを含む。）を具体的に記載する。

曖昧な表現及び「仕様書に基づき履行」等の簡易な表現はしないこと。

９.以下に示すような企画提案項目は､標準案と同程度であり効果が期待できないものとし、加点評価しない。

①仕様書及び関係法令を遵守した標準的な内容

10．以下に示すような企画提案項目は、実施を認めないもの（履行不可）とする。

①関係法令に違反するもの
②入園料、使用料等の増減を変更させるもの
③開園日時を変更させるもの（主催イベントなど仕様書で明示してあるのもは除く）

11．文字寸法は１０．５ポイント以上とする。図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとし、判読できない場合は、図表等を評価しない場合がある。

12．白黒片面印刷で提出するものとする。

13．企画書の提出部数は１部とし、通しの頁数を以下の例ように頁右下に記載するものとする。（例　1／10，2／10･･･9／10，10／10）。

14．企画書に個別法人および個別グループ等が特定できる記載内容（法人名、個人名など）がある場合は、その記載された頁に該当する実施要項表３に示す｢区分｣は加点評価対象としない。ただし、当該区分（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

（例）　▲▲会社　　→　　当法人
■■財団　　→　　当法人
◇◇共同体　　→　　当法人
□□グループ　　→　　関連グループ　等
※固有の名称は用いないこと。

15．各企画提案および改善提案を作成する上で、同様な内容を記述する場合は、該当箇所に｢（再掲）｣と記載すること。ただし、加点対象とするが、実施要項表３に示す｢区分｣によって評価が異なる場合がある。

（様式３）

Ｈ２８－３１国営海の中道海浜公園

収益施設運営計画書

提　　出　　様　　式

国土交通省　九州地方整備局

【企画書提出時に提出すること】
（様式３－１）

平成　　年　　月　　日

収益施設運営計画書

国土交通省　九州地方整備局　殿

（申込者）社　名

代表者　　印

所在地

TEL(FAX)

下記施設について、H28-31 国営海の中道海浜公園収益施設運営計画書を提出します。

記

（1）所 在 地　福岡県福岡市東区西戸崎
（2）対象施設
駐　　車　　場：西駐車場Ａ・Ｂ・Ｃ、海の中道駅口駐車場、ワンダーワールド口駐車場光と風の広場駐車場、
レンタサイクル：西サイクリングセンター、駅口サイクリングセンター、
ワンダーワールドロサイクリングセンター、
光と風の広場口サイクリングセンター、
港サイクリングセンター（整備場）
飲食・物販施設：子どもの広場休憩所レストラン及び売店、大芝生レストハウス内売店、マリンワールド駐車場横売店、アニマルミュージアムショップ、プール内売店Ａ・Ｂ・Ｃ
デイキャンプ場：デイキャンプ場（40 ｻｲﾄ）、炊飯棟（2 棟）、デイキャンプ場倉庫、
デイキャンプ場受付及び資材倉庫（光と風の広場管理棟内）
ﾃﾞｲｷｬﾝﾌﾟ場駐車場
サンシャインプール：サンシャインプール、コインロッカー
自 動 販 売 機：清涼飲料水等　建物内 14 台・屋外 53 台、動物の餌　屋外 14 台
小型遊戯施設：Ｆ１バッテリーカー、ミニＳＬ、エジプト迷路、ゴーカート、日本の名車歴史館
園内交通施設：園内交通車両、車庫、停留所 13 カ所
※共同体として参加する者が提出する場合は、H28-31 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務　　について、業務全体の計画立案及びマネージメント業務をする者とする。

（様式３－２）

収益施設運営計画

（1）運営施設全体の運営計画
・基本的な考え方
・取組方策
・繁忙期、閑散期に対応した運営方針

※運営施設全体の運営計画について、基本的な考え方及び取組方策を具体的に記述すること。
　また、混雑期、閑散期に対応方針も具体的に記述すること。
※図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

（2）収益施設の運営に関する提案

１．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：〇〇〇を設定し・・・・・・・・実施します。
・期待される効果：〇〇〇を設定することにより、・・・・・・・・・・が見込まれます。

２．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

６．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

７．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

８．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※企画提案１から８まで通し番号を付けること。
※企画提案項目１．は、**駐車場**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目２．は、**レンタサイクル**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目３．は、**飲食・物販施設**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目４．は、**デイキャンプ場**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目５．は、**サンシャインプール**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目６．は、**自動販売機**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目７．は、**小型遊戯施設**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目８．は、**園内交通施設**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※文字サイズは、１０．５ポイント以上とする。図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとする。白黒片面印刷で提出するものする。
※本様式に記述した企画提案については、企画書提出様式２－２－１１と同様な内容とする。

（３－１）駐車場の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書及び規定書に示す運営期間、運営時間、料金を超える提案は不可とする。

（３－２）レンタサイクルの運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書及び規定書に示す運営期間、運営時間、料金を超える提案は不可とする。

（３－３）飲食・物販施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書及び規定書に示す運営期間、運営時間を超える提案は不可とする。

（３－４）デイキャンプ場の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書及び規定書に示す運営期間、運営時間を超える提案は不可とする。

（３－５）サンシャインプールの運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書及び規定書に示す運営期間、運営時間を超える提案は不可とする。

（３－６）自動販売機の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

（３－７）小型遊戯施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間（運営の可否を含む）
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書及び規定書に示す運営期間、運営時間を超える提案は不可とする。

（３－８）園内交通施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス等
運営期間、運営時間
料金設定
車両の仕様及び台数
運行ルート
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス等を具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書及び規定書に示す運営期間、運営時間を超える提案は不可とする。

H28－31
国営海の中道海浜公園運営維持管理業務

別添資料

平成27年7月

国土交通省　九州地方整備局

仕様書に関連する別添・様式

分類	資料No	資料名	頁番号
共通仕様書	別添 1	公園平面図	1
	別添 2	国土交通本省委託契約取扱要領	2
	別添 3	提供建物一覧及び図面	21
	別添 4	危機管理マニュアル	49
	別添 5	国営海の中道海浜公園　BCPマニュアル	52
	別添 6	管理運営委員会規約	61
	別添 7	提供施設一覧表（建築物）	65
	別添 8	提供施設一覧表（機械器具等）	66
	別添 9	園内施設（遊具等）位置図	80
	別添 10	国営海の中道海浜公園運営維持管理業務実施に要する提供施設等の取扱いについて	81
	別添 11	国営海の中道海浜公園運営維持管理業務で取得した備品の取り扱い	84
業務全体のマネジメント及び企画立案	別添 12	国営海の中道海浜公園　整備プログラム	89
	別添 13	国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱い要領	100
	別添 14	国営海の中道海浜における行為の禁止等に関する取扱い要領の細目	105
	別添 15	国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則、通行証（ひな形）及び公園内車両通行および作業心得（ひな形）	107
	別添 16	立入禁止区域への立入届出書	115
	別添 17	都市公園法第6条及び第12条に基づく許可申請書	116
	別添 18	園内におけるロケーション等の許可に関する取扱要領	124
業務全体のマネジメン	別添 19	国営海の中道海浜公園　野外劇場利用及び野外コンサート等の許可に関する要領	125
	別添 20	ボランティア活動規約（ひな形）	128
	別添 21	国営海の中道海浜公園　サインマニュアル	132
	別添 22	国営海の中道海浜公園　グラフィックマニュアル	145
	別添 23	国営海の中道海浜公園　取材申込書	154

分類	資料No	資料名	頁番号
ト及び企画立案	別添 24	接客・接遇について	155
	別添 25	パスポート発行	200
	別添 26	巡視計画書（現業務受託者）及び巡視日誌	202
	別添 27	防災業務計画書及び国営海の中道海浜公園事務所防災計画書支部運営要領	217
施設維持管理	別添 28	建物に係る点検位置図	338
	別添 29	工作物に係る点検位置図　管理施設	339
植物管理業務	別添 30	芝生管理区域図	346
	別添 31	中低木管理区域図	347
	別添 32	高木管理区域図	348
	別添 33	林地管理区域図	349
	別添 34	草花管理区域図	350
	別添 35	特殊管理区域図及びバラ園管理図	351
動物管理業務	別添 36	動物異動報告書	352
収益施設等管理運営規定書	別添 37	都市公園法第5条2項に基づく設置管理許可申請書	354
	別添 38	臨時物販施設等一覧	356
	別添 39	収益施設運営対象区域図	362
	別添 40	海の中道貸自転車車種別保有台数	370
様式	様式 1	管理月報	372
	様式 2	管理四半期報	374
	様式 3	委託業務実施の記録	375

国営海の中道海浜公園計画平面図



国土交通本省委託契約取扱要領

平成１３年４月２日
国官会第２９３号

改　正　　平成１７年６月　２日　　国官会第３２１－２号
改　正　　平成１７年９月　１日　　国官会第８２３号
改　正　　平成２０年８月　１日　　国官会第８３６－２号
改　正　　平成２０年９月１７日　　国官会第９８４号
改　正　　平成２２年３月２３日　　国官会第２１１７号

（通　則）

第１　国土交通本省の所掌業務を委託契約を締結して国以外の者に委託する場合の取扱いについては、他の法令等に定めるもの並びに各委託事業に係る委託契約書又は委託費の取り扱いに関する要領等に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

（委託業務実施要領）

第２　支出負担行為担当官（分任支出負担行為担当官を含む。以下「担当官」という。）は、業務委託をしようとするときは、次に掲げる項目を明らかにした委託業務実施要領（以下「実施要領」という。）を、委託しようとする者に送付するものとする。

一　名称
二　委託料の限度額
三　業務の目的及び内容
四　業務の実施場所
五　業務の実施期間
六　その他必要な事項（成果物の仕様）

（委託料の算定）

第３　担当官は、実施要領に基づく委託料の積算調書を作成する。

（実施計画書等の提出）

第４　担当官は、第２により実施要領の送付を受けこれを受託しようとする者（以下「受託者」という。）から、次に掲げる計画書等を提出させるものとする。なお、変更しようとするときも同様とする。

一　実施計画書（別記様式第１）
二　四半期別必要経費内訳書（別記様式第２）
三　承諾書
四　受託者が業務の一部（「主たる部分」を除く。）を第三者に委任し、又は請け負わせようとするとき（以下「再委託」という。）は、再委託（変更等）承諾申請書（別記様

式第３）

五　再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われるときは、その履行体制に関する書面（別記様式第４）

六　その他担当官が必要とする書類

（契約の締結）

第５　担当官は、受託者から第４に掲げる書類を受理し、その内容を審査のうえ適当と認めたときは、別紙委託契約書により委託契約を締結するものとする。

２　委託契約書の各条項により難い特別の事情がある場合においては、必要に応じ適宜条項を変更することができる。

（報告書等の提出）

第６　担当官は、受託者が当該業務の委託を完了したときは、遅滞なく、次に掲げる報告書（正副２通）を成果物に添えて提出させるものとする。

一　完了報告書（別記様式第５）

二　精算報告書（別記様式第６）

三　委託費経費内訳報告書（別記様式第７）

四　残存物件報告書（別記様式第８）

２　担当官は、受託者が第７第３項による補正命令に基づき当該業務の委託を完了したときは、遅滞なく、次に掲げる報告書（正副２通）を成果物に添えて提出させるものとする。

一　補正完了報告書（別記様式第５に準ずる様式）

二　精算報告書

三　残存物件報告書

（検　査　等）

第７　担当官は、第６第１項の成果物及び完了報告書等を受理したときは、自ら又は国土交通本省会計事務取扱細則（以下「細則」という。）第３２条に基づき補助者に命じて検査を行うものとする。

２　前項により検査を命じられた職員（以下「検査職員」という。）は、前項の検査の結果不合格と認めたときは、細則第３３条に定める検査調書に次に掲げる付記して担当官に提出するものとする。

一　不合格である旨

二　不合格と認めた理由

三　その措置についての意見

３　担当官は、第１項の検査の結果不合格と認めたとき、又は前項の検査調書受理したときは受託者に対し、補正を命ずるものとする。

４　第１項の規定は、第６第２項の成果物及び補正完了報告書等を受理した場合に準用する。

５　検査職員は、第１項（第４項において準用する場合を含む。）の検査の結果合格と認

めたときは、細則第３３条により検査調書を担当官に提出するものとする。

（担当職員の任命等）

第８　担当官は、必要があると認めたときは、次に掲げる事務を行わせるため、担当職員を任命し、任命後すみやかに受託者に通知するものとする。

一　委託業務の処理状況についての調査

二　委託料の経理状況についての監査

三　その他委託業務についての必要な指示

（概　算　払）

第９　担当官は、必要があると認めたときは、受託者に対し概算払を請求させることができる。

（委託費の精算）

第10　担当官は、受託者から第６の報告を受けたときは、遅滞なくその内容を審査し、適正と認めたときは、委託費の額を確定し、これを受託者に通知するものとする。

（請求書の受理）

第11　担当官は、受託者から官署支出官官職宛ての請求書を受理するものとし、受理後は、必要書類を添えて官署支出官に回付するものとする。

附則

１．この要領は、平成１３年４月２日から適用する。

附則（平成１７年６月２日国官会第３２１－２号）

１．この要領は、平成１７年６月２日から適用する。

附則（平成１７年９月１日国官会第８２３号）

１．この要領は、平成１７年９月１日から適用する。

附則（平成２０年８月１日国官会第８３６－２号）

１．この要領は、平成２０年８月１日から適用する。

附則（平成２０年９月１７日国官会第９８４号）

１．この要領は、平成２０年１０月１日以降に入札手続を開始する契約について適用する。

附則（平成２２年３月２３日国官会第２１１７号）

１．この要領は、平成２２年４月１日から適用する。

委　託　契　約　書

委託業務の名称　　（委託件名）
委託業務実施期間　自　平成　　年　　月　　日
　　至　平成　　年　　月　　日
委託料の限度額　　￥　◆◆，◆◆◆，◆◆◆―
　　（うち消費税及び地方消費税額　￥◆◆◆，◆◆◆―）
成果物の納入場所　国土交通本省

頭書業務の委託について、委託者　支出負担行為担当官国土交通省　○○○○◆◆◆◆を甲とし、受託者　□□□□◆◆◆◆を乙とし、次の条項により委託契約を締結する。

（総　則）

第１条　乙は、委託業務実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、頭書の委託料の限度額をもって、頭書の委託業務実施期間（以下「実施期間」という。）までに、頭書の委託業務（以下「委託業務」という。）を完了しなければならない。

２　前項の実施要領に明記されていない事項があるときは、甲乙協議して定めるものとする。

（権利義務の譲渡等）

第２条　乙は、この契約によって生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、又は承継してはならない。ただし、書面により甲の承諾を得たときは、この限りではない。

（再委託の禁止等）

第３条　乙は、業務の全部を一括して又は主たる部分を第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。ただし、第三者への委任が業務の一部であり、書面により甲の承諾を得たときはこの限りではない。

２　前項の「主たる部分」とは、業務における総合的企画、業務遂行管理、手法の決定及び技術的判断等をいうものとする。

３　乙は、業務の一部（「主たる部分」を除く。）を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは（以下「再委託」という。）は、あらかじめ再委託の相手方の住所、氏名、再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び契約金額等について記載した書面を甲に提出し、承諾を得なければならない。

なお、再委託の内容を変更しようとするときも同様とする。

４　前項の規定は、乙がコピー、ワープロ、印刷、製本、トレース、資料整理、計算処理、模型製作、翻訳、参考書籍・文献購入、消耗品購入、会場借上等の軽微な業務を再委託しようとするときには、適用しない。

５　第３項なお書きの規定は、軽微な変更に該当するときには、適用しない。

６　乙が、委託業務の一部を第三者に委託する場合において、これに伴う第三者の行為については、その責任を乙が負うものとする。

（履行体制の把握）

第４条　乙は、前条第３項の承諾を得た場合において、再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われるときは、前条第４項の軽微な業務を除き、あらかじめ当該複数段階の再委託の相手方の住所、氏名、再委託を行う業務の範囲を記載した書面（以下「履行体制に関する書面」という。）を甲に提出しなければならない。履行体制に関する書面の内容を変更しようとするときも同様とする。

２　乙は、前項の場合において、甲が契約の適正な履行確保のため必要な報告等を求めた場合には、これに応じなければならない。

３　乙が委託業務の一部を第三者に委託する場合において、これに伴う第三者の行為については、その責任を乙が負うものとする。

（実施計画書等の変更等）

第５条　乙は、実施計画書及び四半期別必要経費内訳書の変更（当該金額の相互間における二割以内の変更を除く。）をしようとするときは、変更後の実施計画書及び四半期別必要経費内訳書を甲に提出し承認を受けなければならない。

２　甲は、前項の変更後の実施計画書及び四半期別必要経費内訳書について遅滞なくその内容を審査し、不適当と認めたときには、乙と協議するものとする。

３　甲は、必要と認めるときは、乙に対して委託業務の処理状況につき調査を行い、又は報告を求めることができる。

（委託業務の内容の変更等）

第６条　甲は、必要がある場合には、委託業務の内容を変更し、又は委託業務を一時中止し、若しくは打ち切ることができる。この場合において、実施期間又は委託料を変更する必要があるときは、甲乙協議して書面によりこれを定めるものとする。

２　前条第１項及び第２項の規定は、前項の場合について準用する。

３　第１項の場合において、乙が損害を受けたときは、甲は、その損害を賠償するものとし、その額は、甲乙協議して定めるものとする。

（実施期間の延長等）

第７条　乙は、その責に帰することができない事由により、実施期間までに委託業務を完了することができないことが明らかとなったときは、甲に対して遅延なくその理由を付して、実施期間の延長を求めることができる。この場合において、その延長日数は、甲乙協議して定めるものとする。

２　甲は、乙の責に帰する事由により実施期間までに委託業務を完了することができない場合において、実施期間後に完了する見込みがあると認めたときは、その内容を審査し、損害金を付して実施期間を延長することができる。

３　前項の損害金は、委託料に対して延長日数に応じ年5.00パーセントの割合を乗じて計算した額とする。

（損害のために必要を生じた経費の負担）

第８条　委託業務の処理に関し発生した損害（第三者に及ぼした損害を含む。以下同じ。）のために必要を生じた経費は、乙が負担しなければならない。ただし、その損害が甲の責に帰する事由による場合においては、その損害のために必要を生じた経費は、甲が負担するものとし、その額は、甲乙協議して定めるものとする。

（検査及び引き渡し）

第９条　乙は、委託業務を完了したときは、遅延なく、成果物に添えて完了報告書、精算報告書、委託費経費内訳報告書及び残存物件報告書を甲に提出しなければならない。

２　甲は、前項の成果物、完了報告書、精算報告書、委託費経費内訳報告書及び残存物件報告書を受理したときは、その日から１０日以内に甲又は甲の指定した職員により検査を行わなければならない。

３　乙は、前項の検査の結果不合格となり、補正を命ぜられたときは、遅延なく当該補正を行い、成果物に添えて補正完了報告書、精算報告書、委託費経費内訳報告書及び残存物件報告書を甲に提出しなければならない。

４　第２項の規定は、甲が前項の成果物、補正完了報告書、精算報告書、委託費経費内訳報告書及び残存物件報告書を受理した場合に準用する。

５　甲は、第２項（第４項において準用する場合を含む。）の検査の結果、合格と認めた場合は、委託料の額を確定し、乙にその旨を通知しなければならない。

６　前項の委託料の確定額は、委託業務に要した経費の実支出額と委託料の限度額のいずれか低い額とする。

７　乙は、第５項の通知を受けたときは、遅滞なく、当該成果物を甲に引き渡さなければならない。

（委託料の支払）

第10条　乙は、前条第七項により、成果物の引き渡しを完了したきは、甲に対して、確定した委託料の支払いを請求することができる。

２　甲は、前項の規定により、適法な請求書を受理したときは、その日から３０日以内に委託料を支払わなければならない。

３　乙は、甲の責に帰すべき事由により、前項の委託料の支払いが遅れた場合には、甲に対して遅延日数に応じ、年 3.30 パーセントの割合を乗じて得た額の遅延利息の支払いを請求することができる。

（概　算　払）

第11条　乙は、実施計画書及び四半期別必要経費内訳書に基づいて、各四半期における所要額として委託料の概算払いを請求することができる。

２　甲は、前項の請求により、必要があると認められる金額については、前条第１項の規定にかかわらず、概算払をすることができるものとする。

３　前条第２項の規定は、前項の場合について準用する。

（概算払の精算）

第12条　乙は、第９条の精算報告の確認の結果、既に概算払により受領した金額に差額が生じた場合は、甲にその旨を申請する。

２　乙は、前項の結果に不足額が生じた場合には、甲に不足額の支払いを請求することができる。

３　甲は、前項の規定による請求書を受理したときは、その日から３０日以内に委託料を支払わなければならない。

４　乙は、第１項の結果に余剰額が生じた場合には、遅滞なくこれを甲に返還しなければならない。

（無体財産権の帰属）

第13条　委託業務の成果及び委託業務の実施の過程において、派生的に生じた著作権、特許権及び実用新案権等の無体財産権については、甲が承継するものとする。

（残存物件の返還）

第14条　乙は、委託業務の実施により生じた残存物件の返還については、成果物の引渡し前に甲と協議のうえ、甲の指示に従うものとする。

（契約の解除及び違約金等）

第15条　甲は、乙が次の各号のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる。

一　競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 22 条第１項第１号イからチ又は同項２号に該当するとき。

二　繰り返し法律違反を行ったとき。

三　暴力団を業務を統括する者又は従業員として雇用していることが明らかになったとき。

四　暴力団又は暴力団菅家者との社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになったとき。

五　前号のほか、甲において、乙が第１６条第１項に定める帳簿及び証拠書類（以下「根拠資料」という。）の整備保存、委託費の区分経理の実施、十分な根拠資料に基づく精算報告書の作成・提出その他本契約条項又は実施要領の定めるところ若しくはその他この契約に関する甲の指示に違反していると認めるとき、又は契約の目的を達成することができないと認めるとき

２　乙は、前項により甲が契約を解除したときは、委託料の限度額の１０分の１に相当する金額を違約金として甲の指定する期限までに納付しなければならない。

３　乙は、第１項により、甲が契約を解除した場合において第１１条により概算払を受けているときは、甲に対してその概算払の額に、概算払日から返還の日までの日数に応じ、年 5.00 パーセントの割合を乗じて得た額の利息を付して返還しなければならない。

（委託料の経理及び監査）

第16条　乙は、委託料の経理について、別に帳簿を備え、その収入・支出をその都度記録してこれを明らかにするとともに・、当該収入・支出を証する証拠書類を整備　保存しなければならない。なお、当該帳簿については、乙において、委託費経費内訳報告書を参考に、委託費の収入・支出を記録した正規の帳簿として作成し、保存するものとする。

２　乙は、実施計画書に記載された各費目相互間の流用（当該金額の相互間における二割以内の変更を除く。）をしてはならない。ただし、書面により甲の承諾を得たときは、この限りではない。

３　甲は、必要と認めるときは、乙に対して委託料の経理状況について監査し、資料の提出を求めることができる。

４　乙は、第１項の帳簿及び証拠書類を、業務終了の年度の翌年度から５年間保存しなければならない。

（秘密の保持）

第17条　乙は、委託業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

（談合等不正行為があった場合の違約金等）

第18条　乙が、次に掲げる場合のいずれかに該当したときは、乙は、甲の請求に基づき、契約額（この契約締結後、契約額の変更があった場合には、変更後の契約額）の１０分の１に相当する額を違約金として甲の指定する期間内に支払わなければならない。

一　この契約に関し、乙が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和２２年法律第５４号。以下「独占禁止法」という。）第３条の規定に違反したことにより、公正取引委員会が乙に対し、独占禁止法第７条の２第１項の規定に基づく課徴金の納付命令（以下「納付命令」という。）を行い、当該納付命令が確定したとき（確定した当該納付命令が独占禁止法第５１条第２項の規定により取り消された場合を含む。）

二　納付命令又は独占禁止法第７条の規定に基づく排除措置命令（次号において「納付命令又は排除措置命令」という。）において、この契約に関し、独占禁止法第３条の規定に違反する行為の実行としての事業活動があったとされたとき。

三　納付命令又は排除措置命令により、乙に独占禁止法第３条の規定に違反する行為があったとされた期間及び当該違反する行為の対象となった取引分野が示された場合において、この契約が当該期間（これらの命令に係る事件について、公正取引委員会が乙に対して納付命令を行い、これが確定したときは、当該納付命令における課徴金の計算の基礎である当該違反する行為の実行期間を除く。）に入札（見積書の提出を含む。）が行われたものであり、かつ、当該取引分野に該当するものであるとき。

四　この契約に関し、乙（法人にあっては、その役員又は使用人を含む。）の刑法（明治４０年法律第４５号）第９６条の３又は独占禁止法第８９条第１項第１号若しく

は第９５条第１項第１号に規定する刑が確定したとき。

２　乙が前項の違約金を甲の指定する期間内に支払わないときは、乙は、当該期間を経過した日から支払いをする日までの日数に応じ、年5.00パーセントの割合で計算した額の遅延利息を甲に支払わなければならない。

（補　則）

第19条　本契約に関し、前各条項に疑義を生じ、又は、各条項に規定のない事項については、甲・乙協議のうえ、これを解決するものとする。

上記契約の証しとして、本書２通を作成し、当事者記名押印のうえ各自１通を保有する。

平成　　年　　月　　日

甲　東京都千代田区霞ヶ関２－１－３
　　支出負担行為担当官
　　○○○○◆◆◆◆

乙　住　　所
　　団　体　名
　　代表者氏名

（別　紙）

委託契約に関する特約条項

第１　乙は、委託費の経理については、委託契約書の約定等に従い、国土交通本省委託契約取扱要領第四に規定する実施計画書（別記様式第１）の経費積算内訳に計上した経費ごとに、乙の財源負担による単独事業、国庫補助事業又は他の委託事業の経費等との区分経理の徹底を図ること。

第２　乙は、当該委託費に係る収入・支出の実績を確認しうる帳簿及び証拠書類（以下「根拠資料」という。）を整備し、かつ、当該根拠資料を業務終了年度の翌年度から最低５年間必ず保存すること。

第３　乙は、当該委託料の精算に当たっては、委託契約書に定める委託料の経理に係る帳簿等の十分な根拠資料に基づく支払実績の計数、すなわち、根拠資料により確認しうる委託料の支払実績額を精算報告書に記載し報告すること。

第４　甲は、当該委託業務の実施状況及び当該委託料の使途その他必要な事項について、国土交通省の職員により所要の調査報告を求め、又は実地に調査する場合があるものとし、この場合、乙はこれに応じなければならないこと。

第５　当該委託料からの支出は、本委託業務の目的及び内容と直接的に関連性のあるものに限定することとし、また、各委託事業の契約書、委託費取扱要領等において指示する使途基準に従わなければならないこと。

第６　甲は、乙が前記第１から第５までの特約のいずれかに違反した場合には、委託料の精算日から返還の日までの日数に応じ、年 5.00 パーセントの割合を乗じて得た額の違約金を付して交付した委託料の返還を求めるものとし（委託料未交付の場合にはその交付を要しないものとし）、乙は当該返還請求又は不交付の措置に応じなければならないこと。

別記様式第１（第４）

実　施　計　画　書

（受託の名称）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（単位：千円）

受託の内容	実施期間	経費精算内訳	成果物	摘　要

（備　考）１　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

２　必要に応じ適宜項を加除して使用すること。

３　受託の内容は、調査項目毎に区分すること。

４　経費精算内訳は、直接人件費、技術経費、謝金、旅費、庁費、再委託費及び諸経費に区分し、庁費にあっては、備品費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、光熱水料、賃金、会議費及び雑役務費に細分して計上すること。なお、区分等は必要に応じ適宜加除して計上すること。

５　変更にあたっては、変更後の部分を上段に（　）書きすること。

６　業務委託の処理を第三者に委託する必要があるときは、摘要欄にその事務の内容及び委託先等必要な事項を記載すること。

別記様式第２（第４）

四 半 期 別 必 要 経 費 内 訳 書

（受託の名称）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（単位：千円）

四半期別 経費区分	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	計	摘　要

（備　考）１　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。

２　経費区分は、直接人件費、技術経費、謝金、旅費、庁費、再委託費及び諸経費の区分により記載すること。なお、区分は必要に応じ適宜加除して記載すること。

３　変更にあたっては、変更後の部分を上段に（　）書きすること。

別記様式第３（第４）

再委託（変更等）承諾申請書

平成　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
国土交通省　○　○　○　○　殿

受託者　　住　所
氏　名　　印

平成　　年　　月　　日付けの「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿業務契約」（契約金額　￥◆◆，◆◆◆，◆◆◆円、税込み）に関して、下記の通り申請するので、手続き方お願いします。

記

１　委託の（変更等）承諾を申請する業務及びその範囲（具体的に記載すること）
２　再委託の（変更等）承諾を申請する必要性（具体的に記載すること）
３　再委託の（変更等）承諾を申請する業務の契約（予定）金額（総計）
４　再委託の（変更等）承諾を申請する業務の契約金額の根拠
・業務の再委託に際し、当該業務の履行（予定）者から、入札書・見積書を徴収した結果（この場合、その「写し」を添付）
・継続的な履行関係が存在する（この場合、その証明書（契約書、協定書）の「写し」を添付）
５　その他特記事項

平成　　年　　月　　日

受託者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

平成　　年　　月　　日付けで申請のあった上記については、承諾したので、その旨通知する。なお、承諾内容等に変更等を生じる場合は、あらかじめ協議すること。

また、当該承諾内容等の履行については、次のことを承諾の条件とする。

①　受託者は、再委託の相手方に対し、業務の適正な履行を求めること。
②　受託者は、再委託業務に係る契約書、請求書、領収書などの書類を提出させた場合は、適切に保管し、事後において履行の確認ができるように徹底すること。
③　受託者は、委託者（支出負担行為担当官等）からの求めに応じ、②の書類の写しを提出すること。

支出負担行為担当官
国土交通省　○　○　○　○　印

（備　考）１　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。
２　必要に応じ適宜加除して使用すること。

別記様式第４（第４）

履行体制に関する書面

（実施計画書の別紙資料）

平成　　年　　月　　日

○当該履行体制に関する書面は、「委託契約書第４条」に基づいて作成したものである。

受託者　　住　所

氏　名



（備　考）本様式は、適宜加除して差し支えないものであるが、次の項目は必須事項とする。

①　再委託の相手方の住所

②　氏名（若しくは代表者氏名）

③　再委託を行う業務の範囲

別記様式第５（第６）

完　了　報　告　書

平成　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
　国土交通省　○　○　○　○　殿

受託者　　住　所
　　氏　名　　印

平成　　年　　月　　日付契約（契約金額　￥◆◆，◆◆◆，◆◆◆円）の○○○○が完了したので、成果物及び下記の書類を添えて報告します。

記

１．精 算 報 告 書　　通

２．残存物件報告書　　通

（備　考）用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

別記様式第６（第６）

精　算　報　告　書

（単位：円）

経　費　区　分	予定経費（A）	支出額（B）	過不足額 （A）－（B）	摘　　要
計				

（備　考）１　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。
２　経費区分は、別記様式第１備考４により記載すること。
３　第６第２項に基づき提出する場合は、その旨を付記すること。

別記様式第７（第６）

平成○○年度×××委託費経費内訳報告書

受託の名　称	

（単位：円）

年月日	件　名	予定経費額 A	支出額 B	過不足額 A-B	支出費目															備考		
					直接人件費	技術経費	謝金	旅費	庁費										再委託費	諸経費			
									備品費	消耗品費	印刷製本費	通信運搬費	光熱水料	賃金	会議費	雑役務費	小計					
																	0					
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	伝票番号	支払い先	その他
					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

（備　考）１　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。

２　年月日は、契約毎に、その都度、記載すること。

３　支出費目は、直接人件費、技術経費、謝金、旅費、庁費、再委託費及び諸経費に区分し、庁費にあたっては、備品費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、光熱水料、賃金、会議費及び雑役務費に細分して計上すること。なお、区分等は必要に応じ適宜加除して計上すること。また、各区分の上段は予定経費額、中段は支出額、下段は過不足額である。

別記様式第８（第６）

残　存　物　件　報　告　書

取得年月日	物　件　名	規　格	数　量	単　価	価　格	経費区分	摘要

（備　考）１　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。

２　価格は取得価格を記載し、受託中に派生的に取得した物件については、見積額を記載すること。

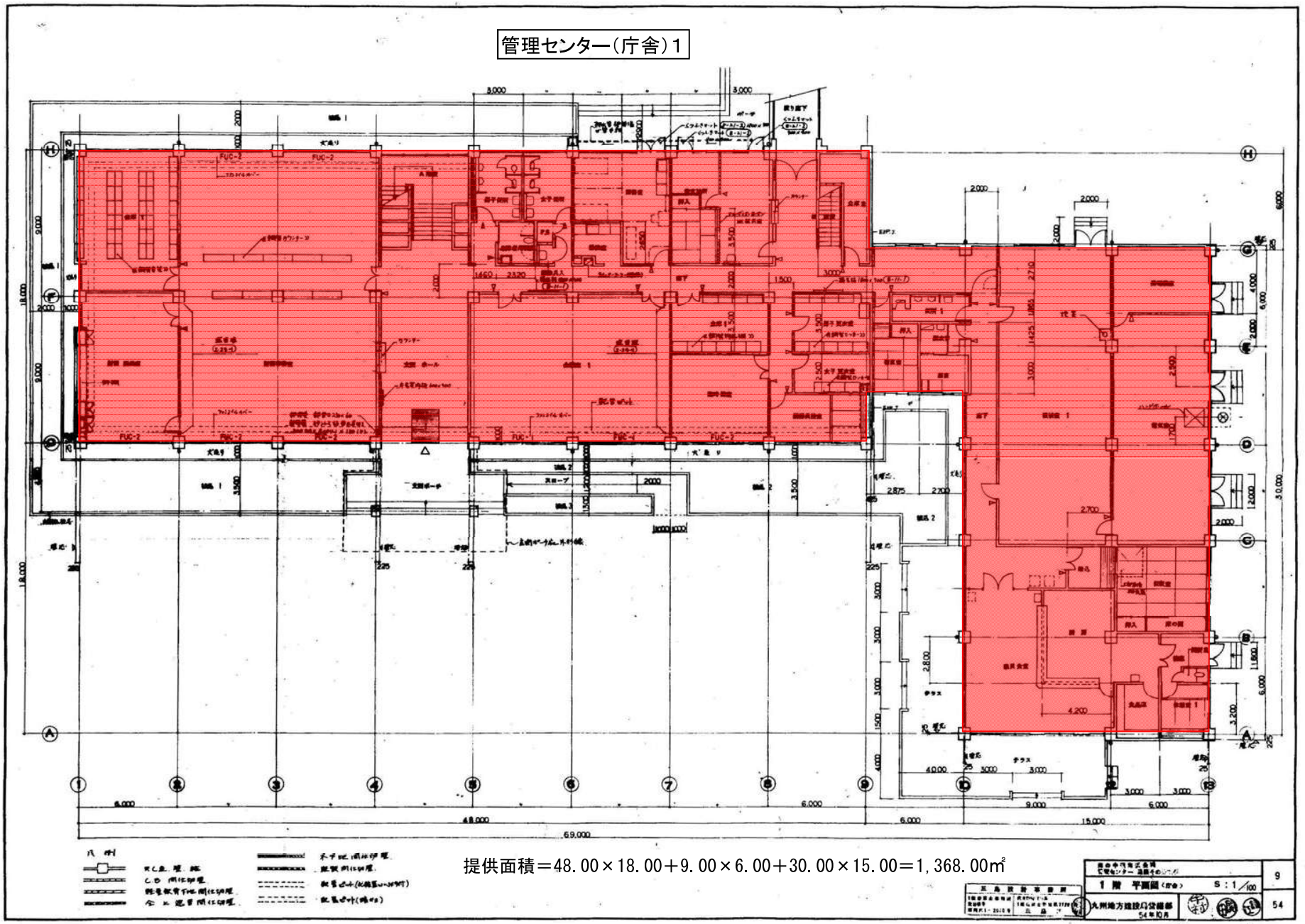
３　経費区分は、別記様式第１備考４の区分により記載し、区分が明らかでないものは、摘要に取得の理由を記載すること。

４　第６第２項に基づき提出する場合は、その旨を付記すること。

提　供　建　物　一　覧　表

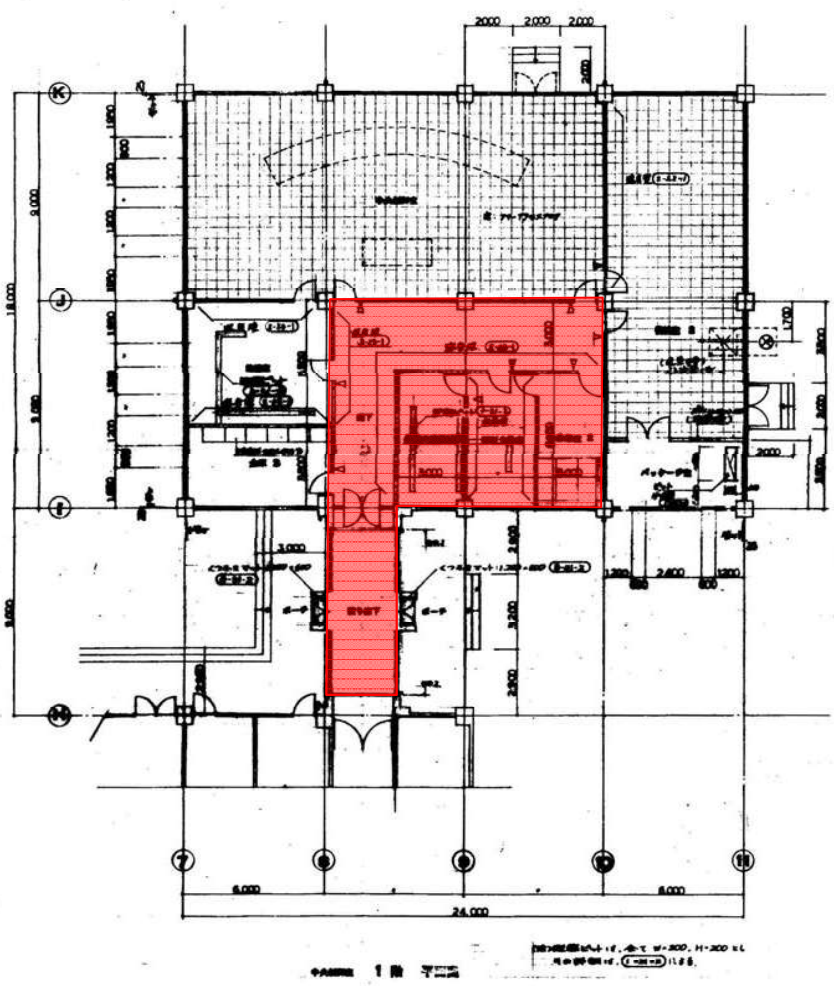
公園施設名	建物番号	用途	構造	単位	数量	面積（㎡）	摘要
管理施設	21	管理センター（庁舎）	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	1503.00	
管理施設	23	車庫	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	108.70	
管理施設	62	車庫	プレハブ	棟	1	33.10	
管理施設	102	車庫	鉄筋コンクリート	棟	1	82.00	
管理施設	32	焼却場	鉄筋コンクリート	棟	1	104.45	
管理施設	104	焼却場	鉄筋コンクリート	棟	1	246.16	
管理施設	10	西口管理棟	鉄筋コンクリート	棟	1	227.34	
管理施設	28-2	動物の森管理棟	鉄筋コンクリート	棟	1	71.19	
管理施設	69	動物の森治療棟	鉄筋コンクリート	棟	1	31.50	
管理施設	34	動物の森レストハウス	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	108.00	
管理施設	61	子供の広場管理棟	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	91.76	
管理施設	70	倉庫	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	267.38	
管理施設	81	海の中道駅口管理棟	木造	棟	1（一部）	48.00	
管理施設	111	ワンダーワールド口管理棟	木造	棟	1（一部）	97.02	
管理施設	114	子供の広場総合案内所	鉄筋コンクリート	棟	1	106.62	
管理施設	127	いこいの森ビジターセンター	木造	棟	1	676.43	
管理施設	135	光と風の広場管理棟	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	324.43	
管理施設	135	光と風の広場レクチャー室	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	105.00	
管理施設	139	カモ池口管理棟	木造	棟	1（一部）	14.58	
管理施設	121	焼却炉棟	鉄骨造	棟	1	532.00	
管理施設	122	仮置場棟	鉄骨造	棟	1	198.00	
管理施設	159	ドッグラン管理棟	木造	棟	1	44.70	
管理施設		環境共生の森活動拠点施設	鉄骨造	棟	1	173.10	
管理施設		動物の森隔離舎	鉄筋コンクリート	棟	1	498.80	

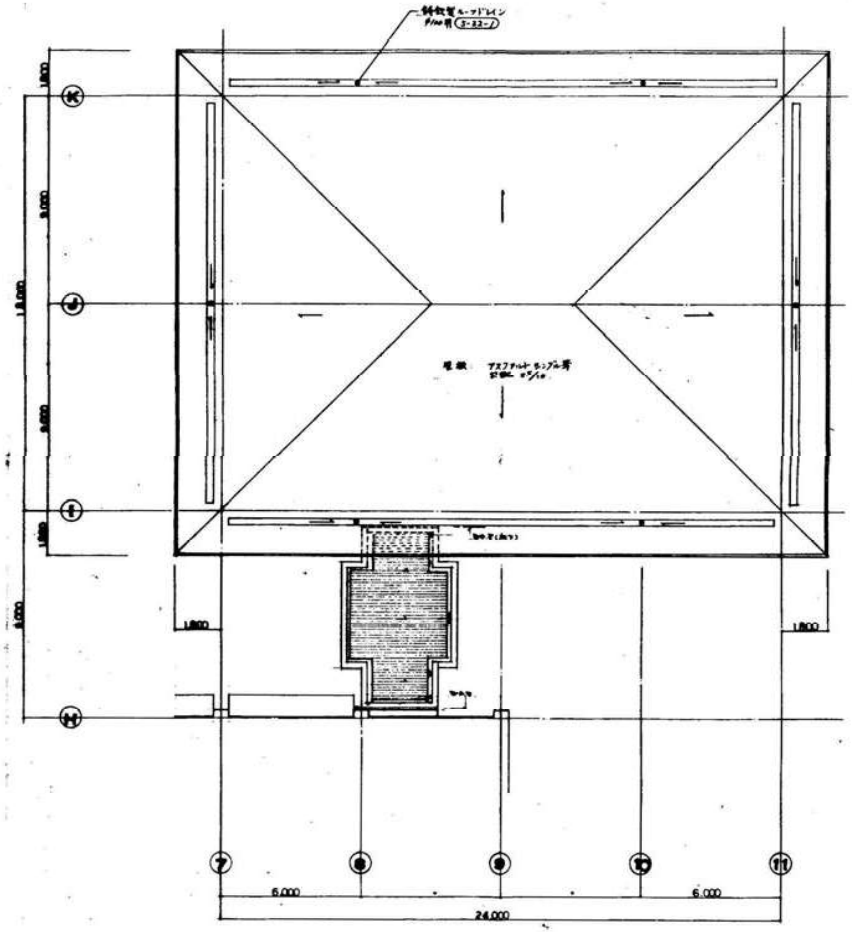
管理センター（庁舎）1



提供面積＝48.00×18.00＋9.00×6.00＋30.00×15.00＝1,368.00㎡

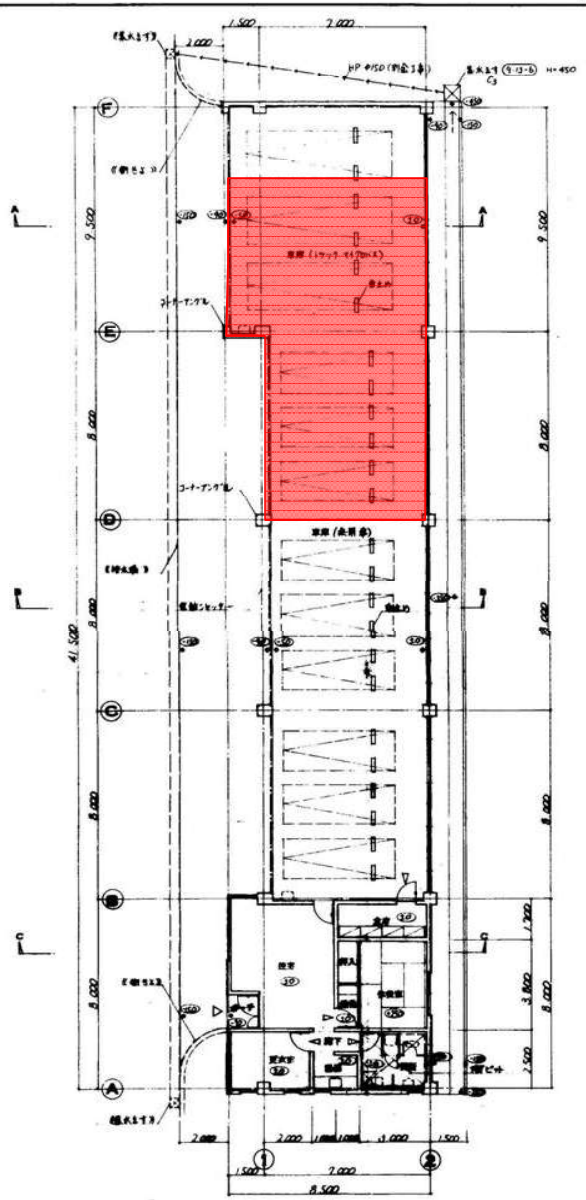
管理センター（庁舎2）



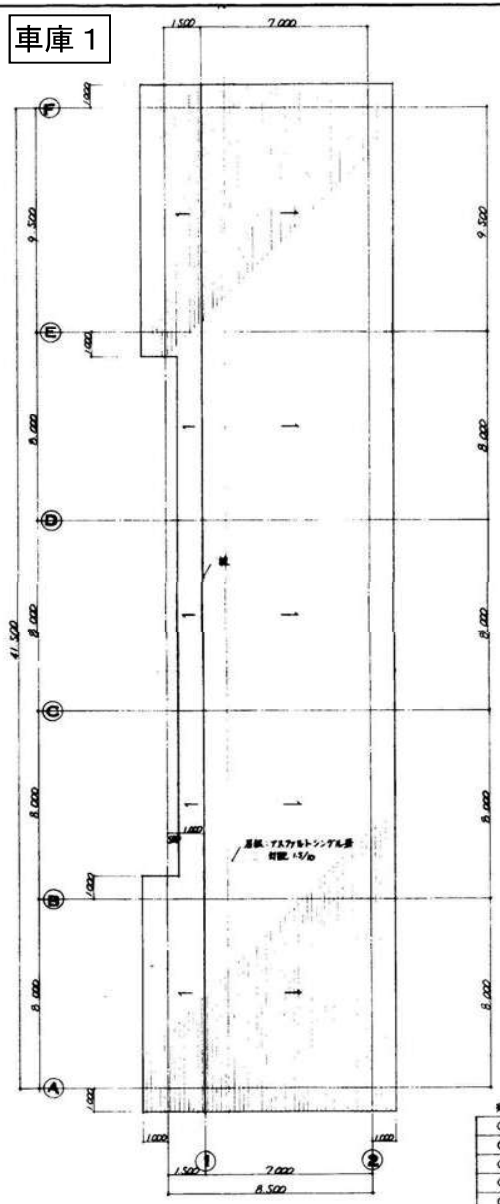


提供面積＝12.00×9.00＋9.00×3.00＝135.00㎡

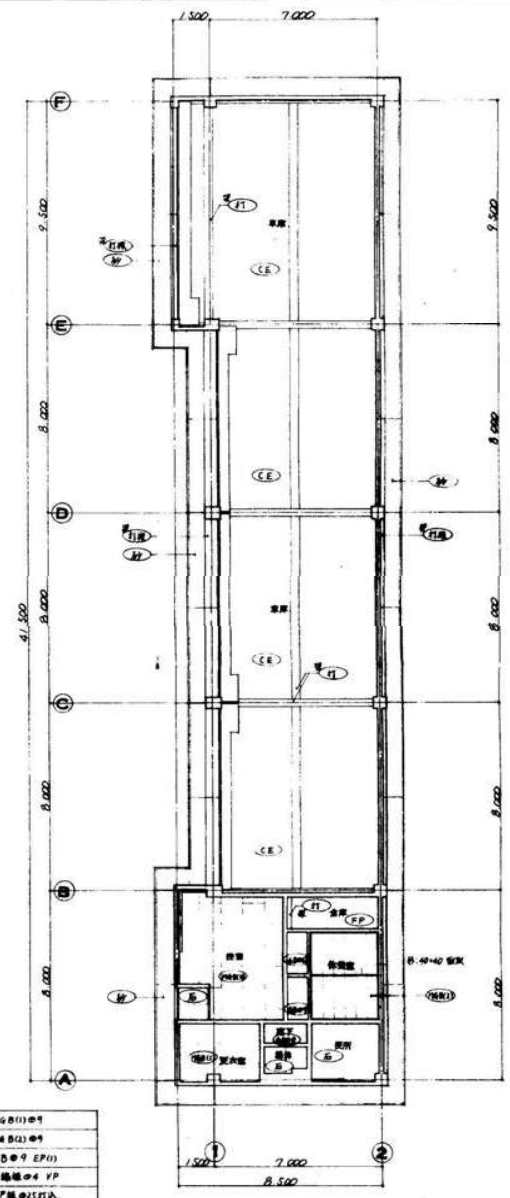
車庫１



平面図 1:100



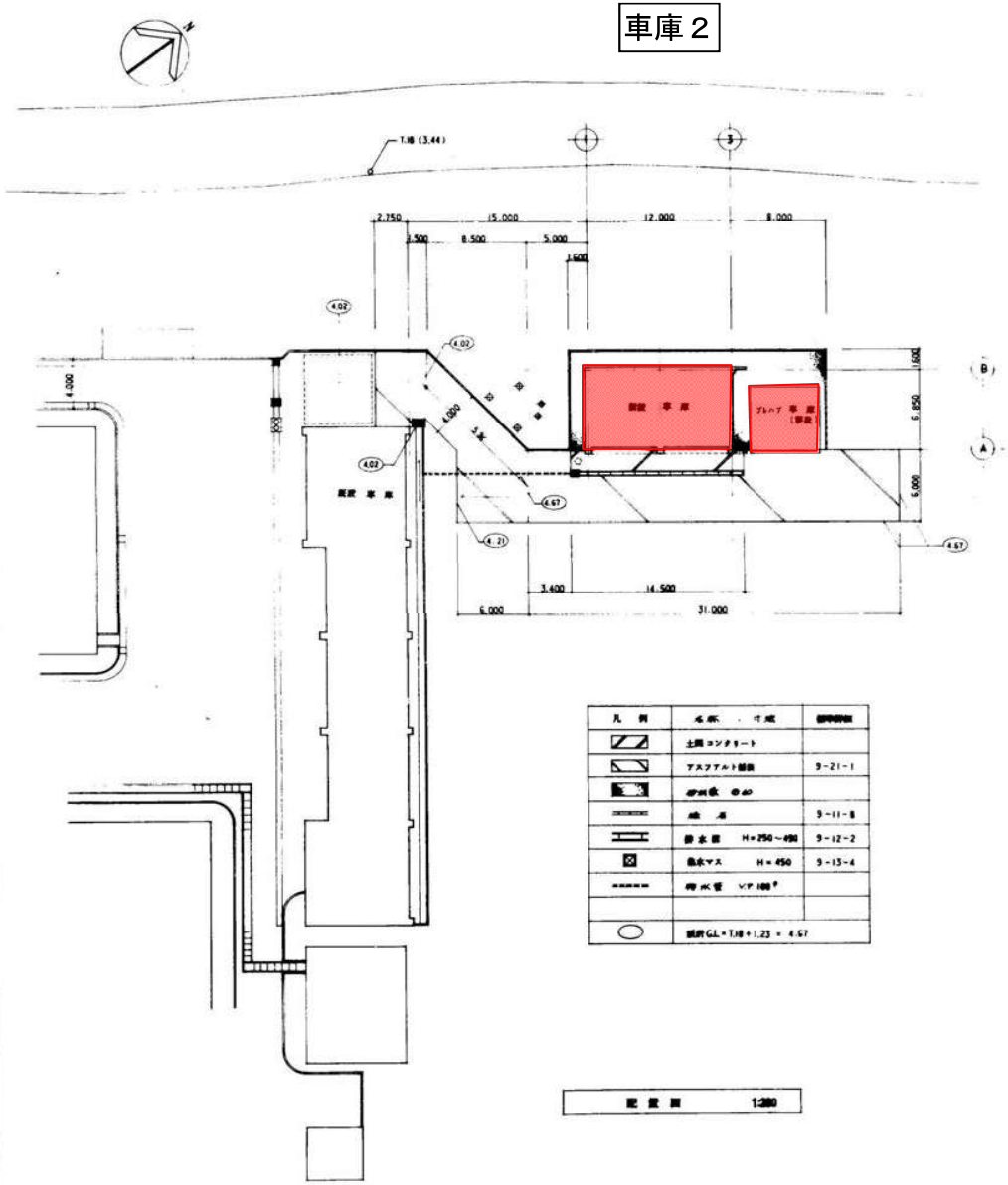
屋根伏図 1:100

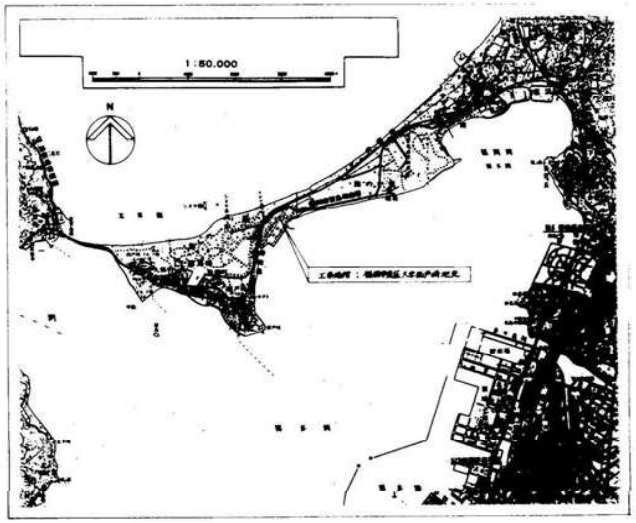


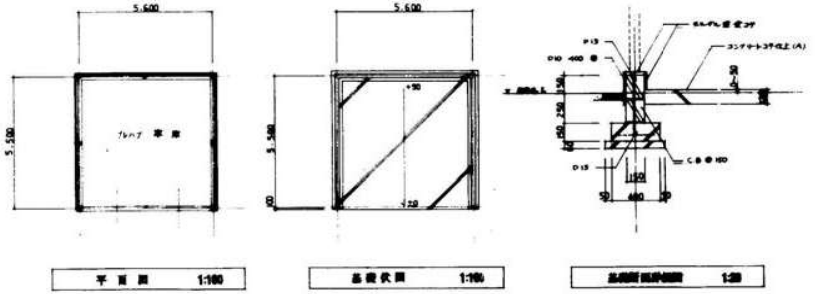
天井伏図 1:100

提供面積＝8.50×6.20＋8.00×7.00＝108.70㎡

車庫２



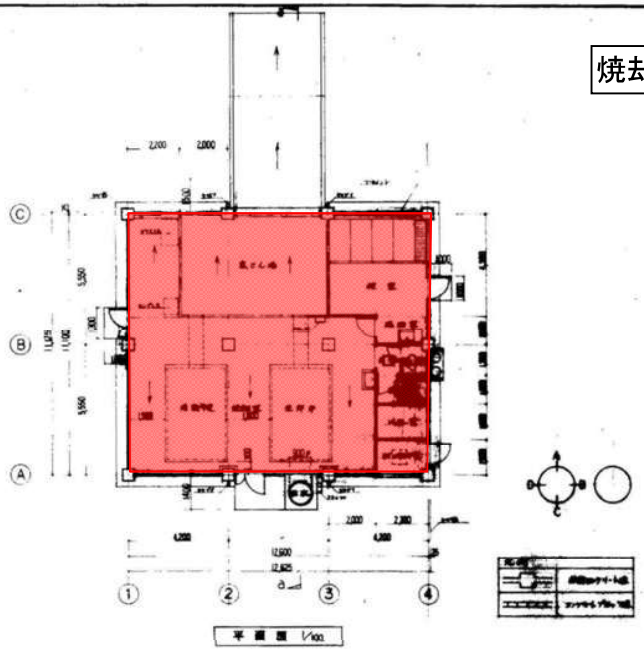




提供面積＝12.175×6.70＝81.57≒82.00㎡

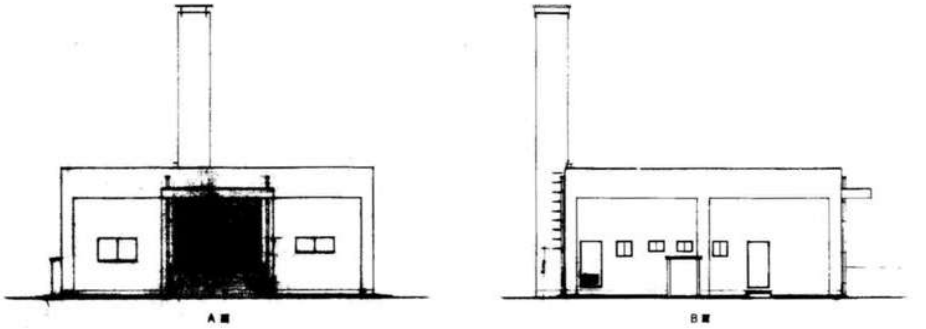
提供面積＝5.843×5.665＝33.10㎡

焼却場１

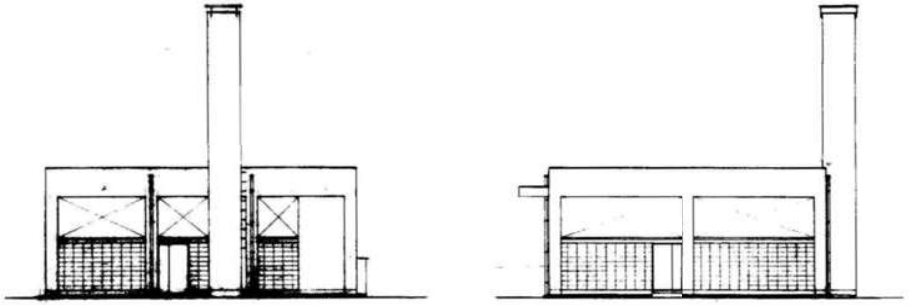


平面図 1/100

提供面積＝12.625×11.125＝140.45㎡

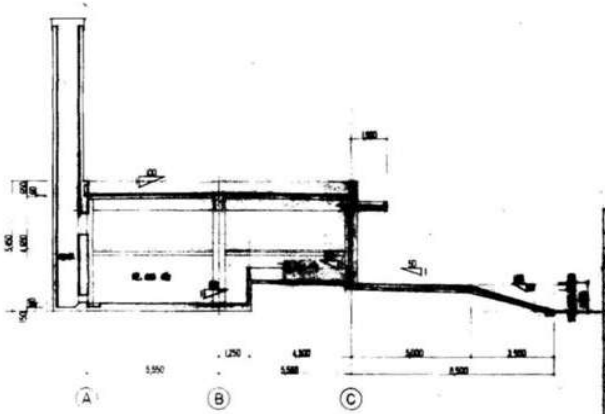


A面　B面



C面　D面

立面図 1/100



δ-δ 断面図 1/100

面積表					
延床面積	144.61㎡	床面積	140.45㎡	底面積	
地上4F	12.625 × 11.125		140.45	2.25	
B1			140.45	2.25	

外部仕上表

名称	種別	下地	仕上	備考
屋根		リン成形	マルチ成形 コンクリート打放し	
外壁		リン成形	リン成形	タイル

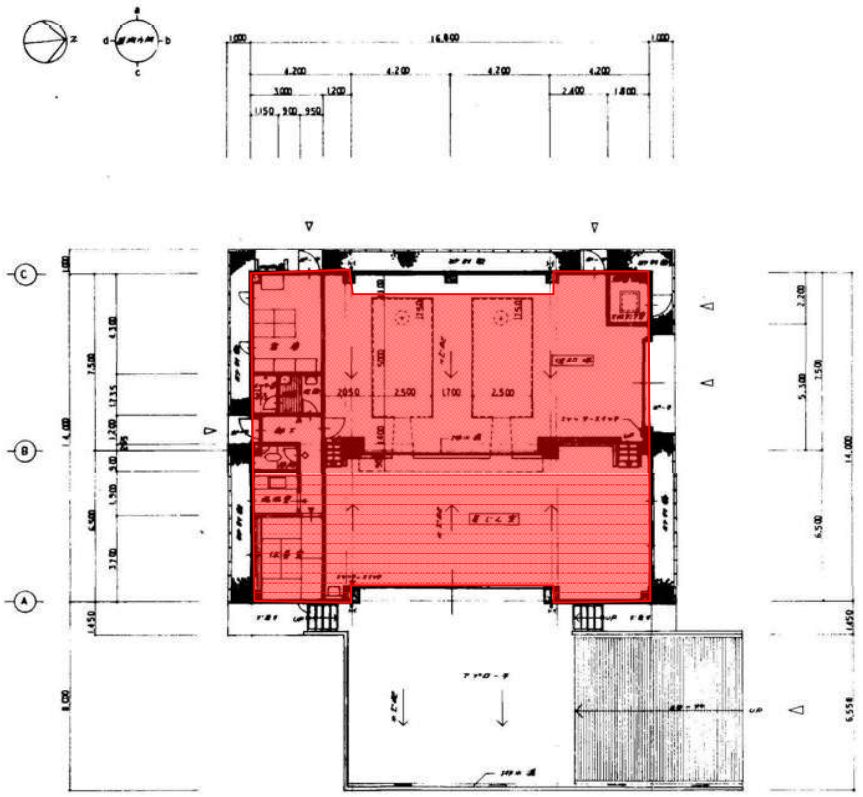
内部仕上表

符号	名称	種別	下地	仕上	備考
床	土間	H8-1	コンクリート	コンクリート	
巾木	土間	H8-1	コンクリート	土間	
壁	土間	H8-2 H8-3	コンクリート	土間	
幅木	ゴム巾木	H8-3	モルタル	モルタル	
天井	土間	H8-4	コンクリート	土間	
建具	スチールサッシ	H8-5	スチール	スチール	
階段	土間	H8-6	土間	土間	
便所	土間	H8-7	土間	土間	
機械室	土間	土間	土間	土間	
トイレ	土間	土間	土間	土間	
ボイラー室	モルタル	H8-1	コンクリート	コンクリート	

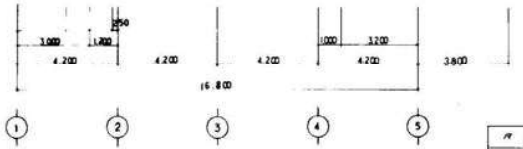
工事名	焼却場建築工事
図面名	焼却場
縮尺	1/100
図面番号	5/17
設計年月日	26. 5

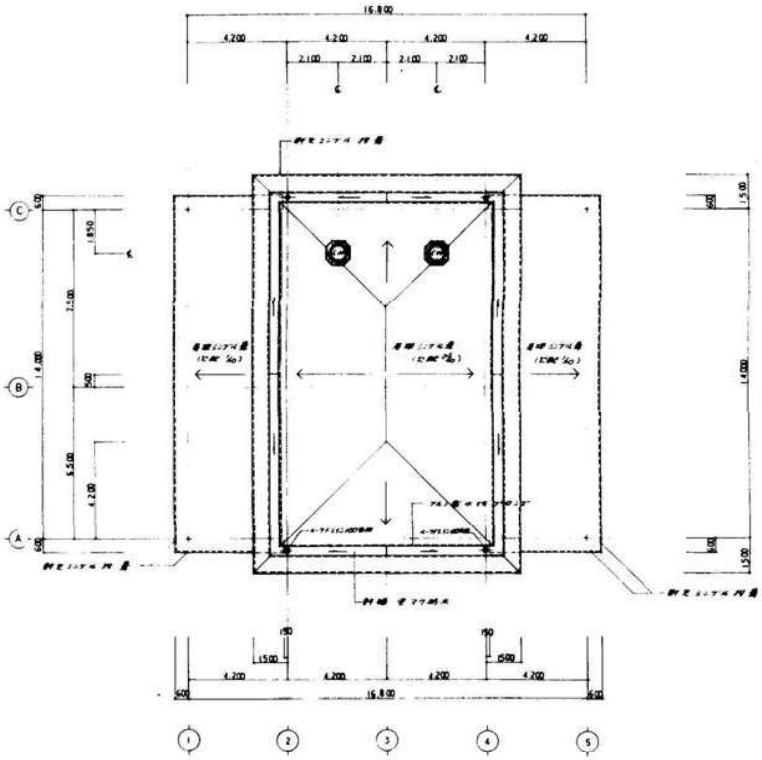
九州地方整備局・福岡県道路公社工事事務所

焼却場２



提供面積＝16.80×14.00－0.365×1.2＋11.40×0.50×2＝246.16㎡

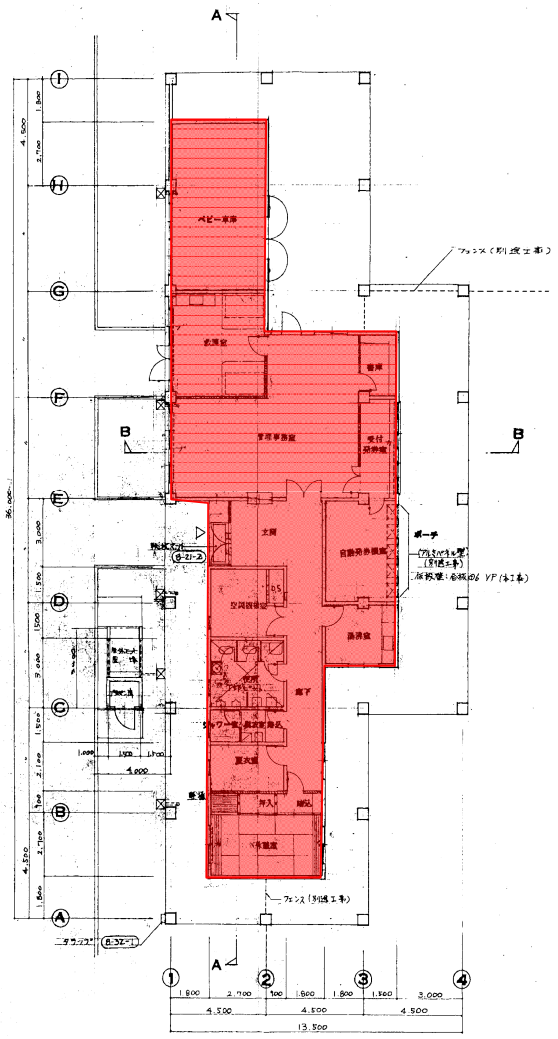




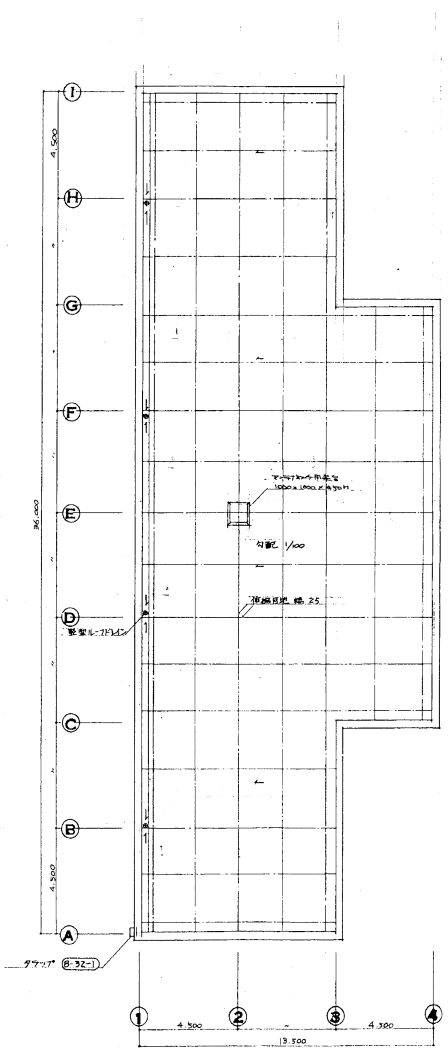
工事名	
図面名	
縮尺	1/50
作図年月日	平成　年　月　日

九州地方整備局

西口管理棟



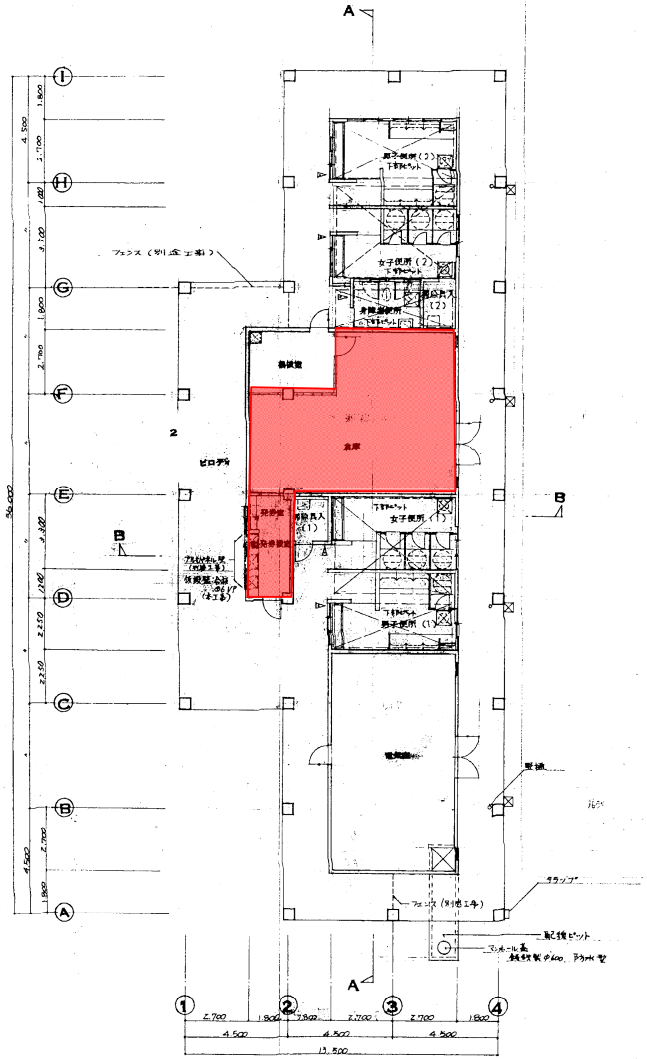
平面図　1:100



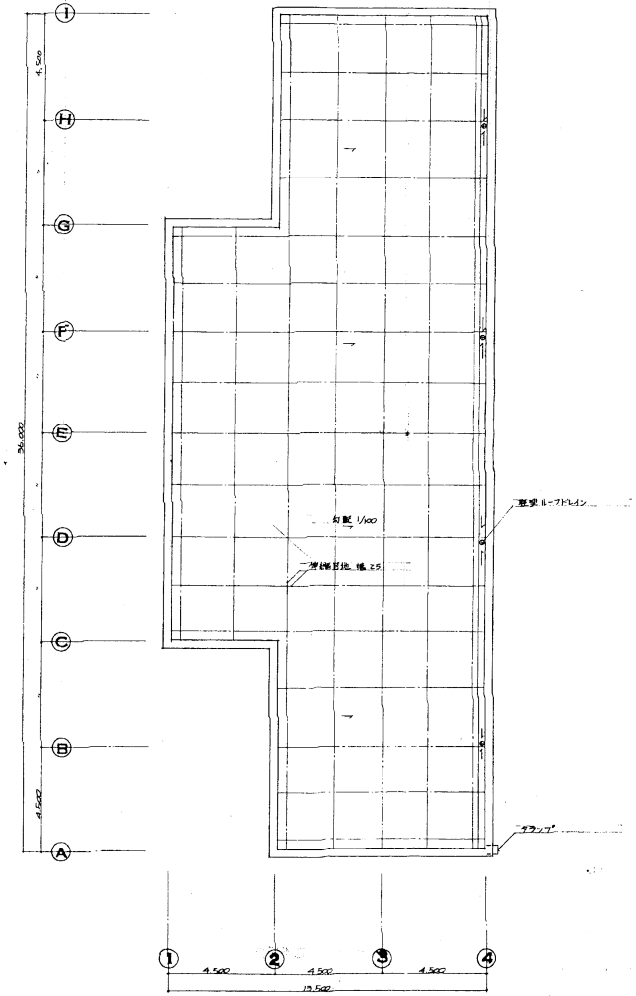
屋根伏図　1:100

提供面積＝9.00×4.50＋10.50×7.20＋8.70×7.20＋9.00×5.40＝227.34㎡

西口便所棟



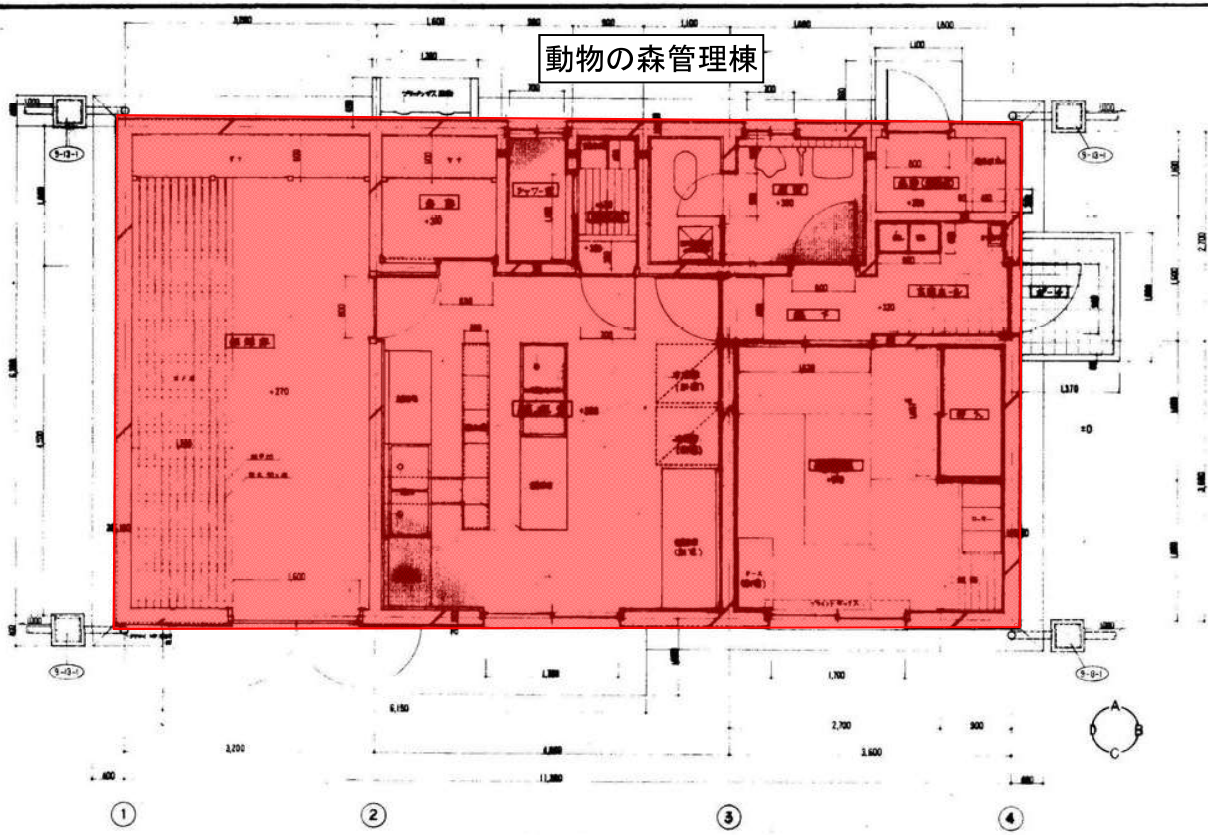
平面図



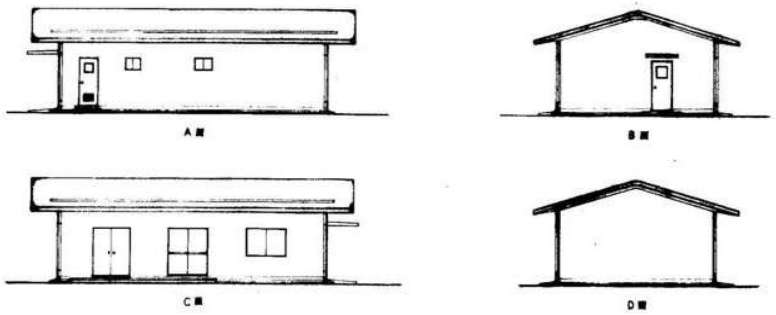
屋根伏図

提供面積＝1.80×4.50＋9.00×7.20－3.60×2.70＝63.18㎡

海の中道海浜公園（S5）西管理施設 増築工事	19
西入口便所	平面図 S=1/100
九州地方建設局営繕部	25
55年6月	

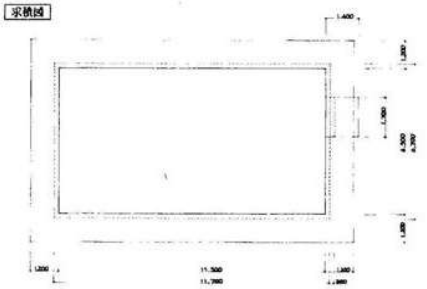


平面図 1/100



立面図 1/100

求積図



建築面積	78.75
11.3 × 6.3	71.19
0.2 × 38.0 + 0.2 × 1.7	7.56
延床面積	71.19
11.3 × 6.3	71.19

外部仕上表

部位	材料	備考

内部仕上表

部位	床	巾木	壁	天井	備考

提供面積＝11.30×6.30＝71.19㎡

工事名	動物舎新築その他工事
図面名称	平面図・立面図
縮尺	1/50, 1/100
図面番号	5/34

4

動物の森治療棟

外部仕上表

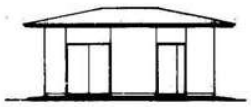
名称	種別	壁	屋根	備考
コンクリート打ち放し 基礎 鉄筋コンクリート造	モルタル金ごて H=1.8m	コンクリート打ち放し（型枠合板） （B棟）	陸屋根 防水層 断熱：硬質ウレタンフォーム t=25mm 防水：コンクリート打ち放し（型枠合板） エポキシ樹脂系塗膜防水（打増し30） （C棟）	

内部仕上表

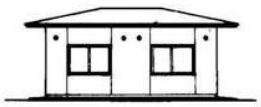
室名	什器物	下地	床 仕上げ	巾木	壁 仕上げ	天井 仕上げ	備考
B1 診察室	電気、ガス、給水、給湯（2×1500）排水（φ100）ガス管（φ25）ガスレンジ（W900×D450）換気扇（φ300）	C S	磁器質タイル 400×400	1-01-8	磁器質タイル 400×400	モルタル	2-02-4 VP 3-01-2
前室	電気、ガス、給水、給湯（2×1500）排水（φ100）ガス管（φ25）ガスレンジ（W900×D450）換気扇（φ300）	C S	磁器質タイル 400×400	1-01-6	磁器質タイル 400×400	モルタル	2-02-4 VP 3-01-2
B2 室・薬品庫	電気、ガス、給水（2×1500）排水（φ100）作業台（W1200）	C S	合成樹脂塗床 ・耐薬品性ビニル床シート ・耐薬品性タイル張		合成樹脂塗装 ・耐薬品性ビニル床シート張 ・耐薬品性タイル張	合成樹脂塗装 A-C種・耐薬品塗装	OP EP(1)
検査室	検査台（2×900）作業台（1×1500）電気、給水、排水	C S	合成樹脂塗床 ・耐薬品性ビニル床シート ・耐薬品性タイル張		合成樹脂塗装 ・耐薬品性ビニル床シート張 ・耐薬品性タイル張	合成樹脂塗装 A-C種・耐薬品塗装	EP(1)

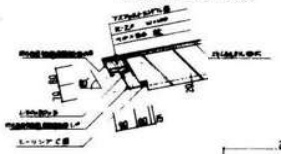
・下地材料
C：鉄筋コンクリート打放し
S：軽量鉄骨下地
・M仕上…：メラミン化粧合板（ランバーコア）t=12張り
・化粧石膏ボード 9.5張り（耐薬品）
・OP：調色ペイント塗
・EP(1)：合成樹脂エマルションペイント塗り（3回）

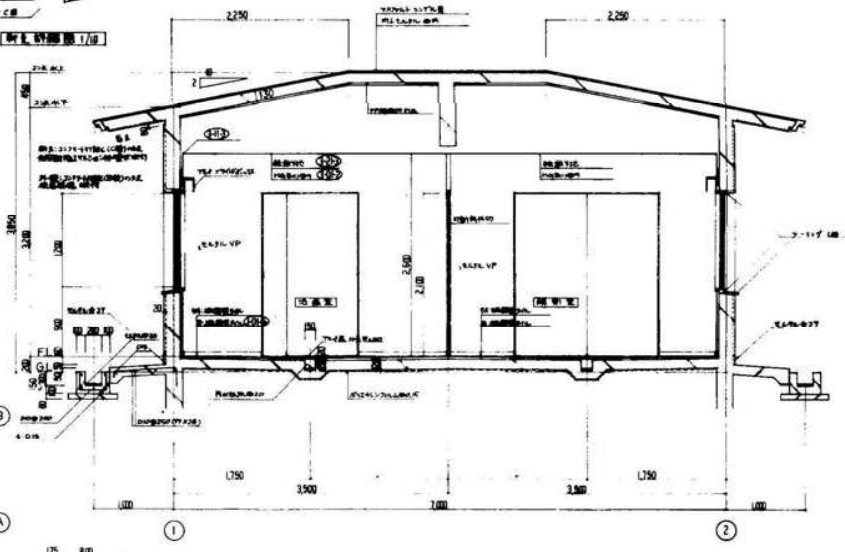
：鉄筋コンクリート造
：軽量鉄骨コンクリート造
：ALC板


A棟立面図 1/100

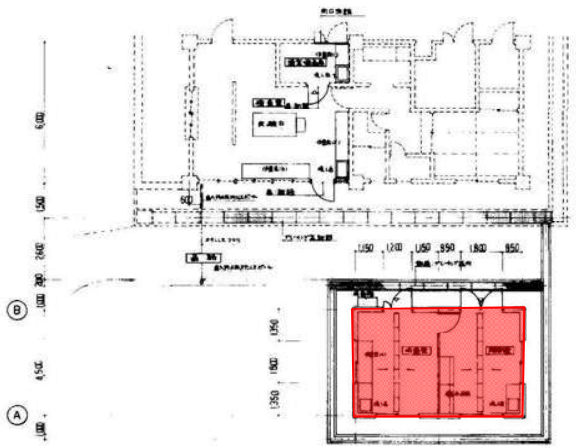

BD棟立面図 1/100


C棟立面図 1/100

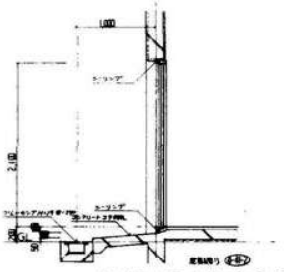

断面詳細図 1/10



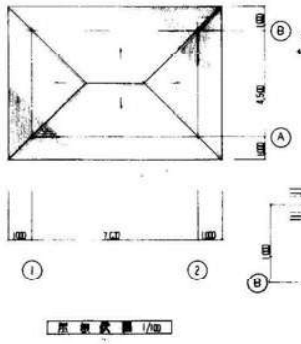
矩計図 1/30



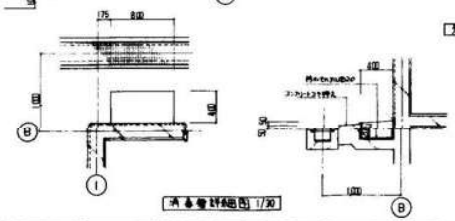
平面図 1/100



地番室・A8か室北入口断面図 1/30



屋根伏図 1/100



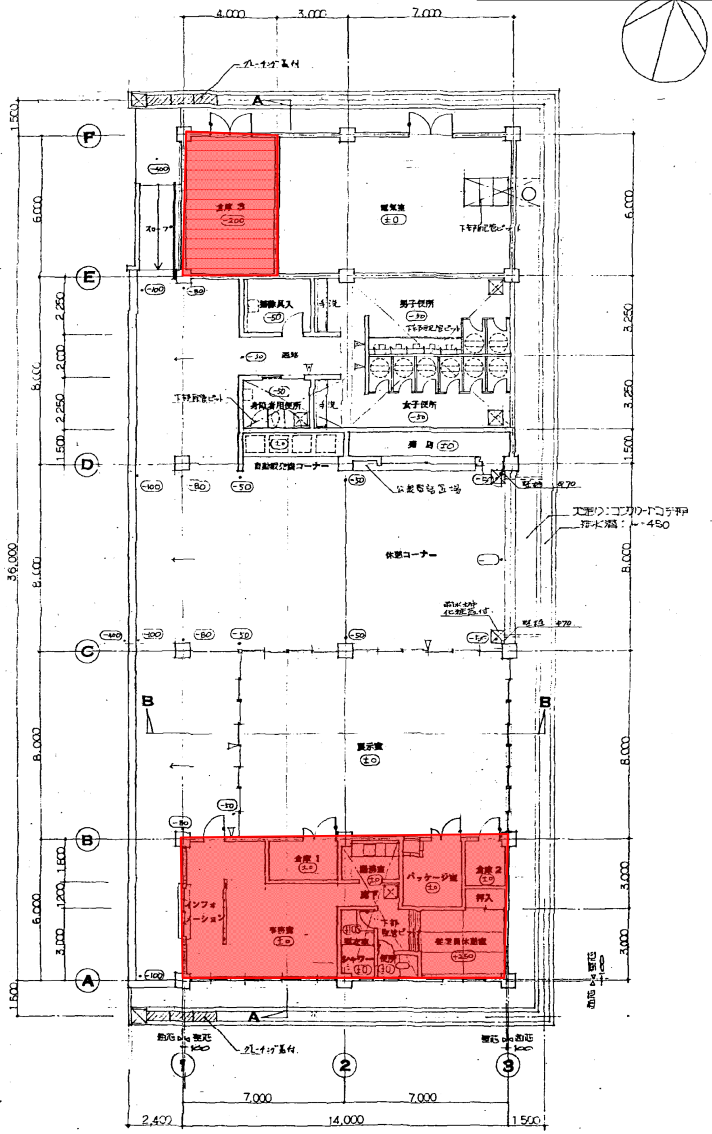
消毒室詳細図 1/30

提供面積＝7.00×4.50＝31.50㎡

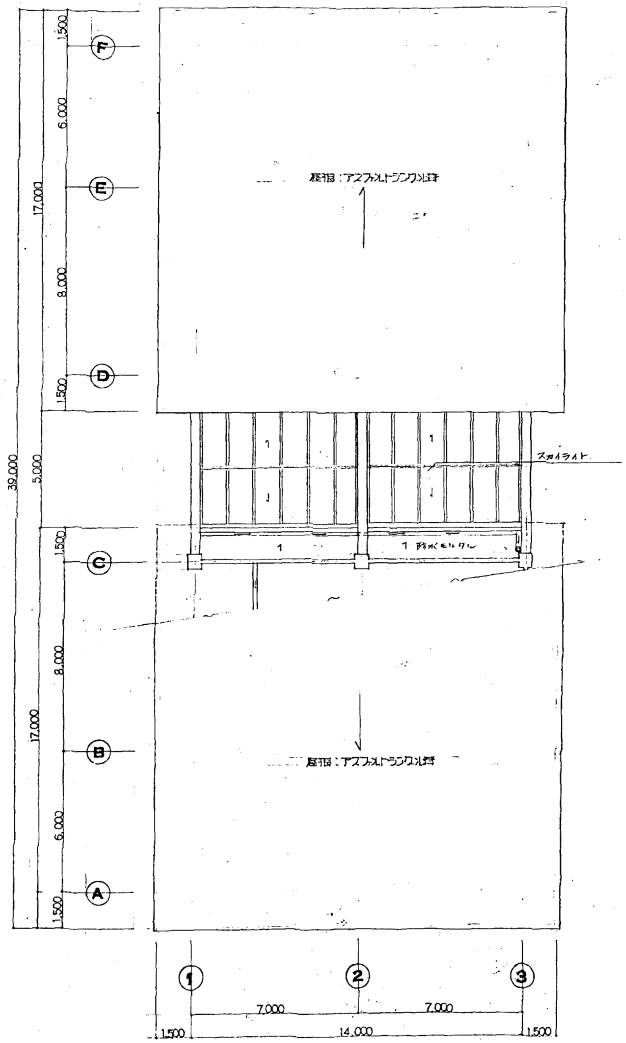
工事名 動物の森治療棟及びその他工事
図面名 仕上表、矩計図、平面図、断面図、詳細図 縮尺 1/100、1/30

★TWA 10A

動物の森レストハウス



平面図　1:100



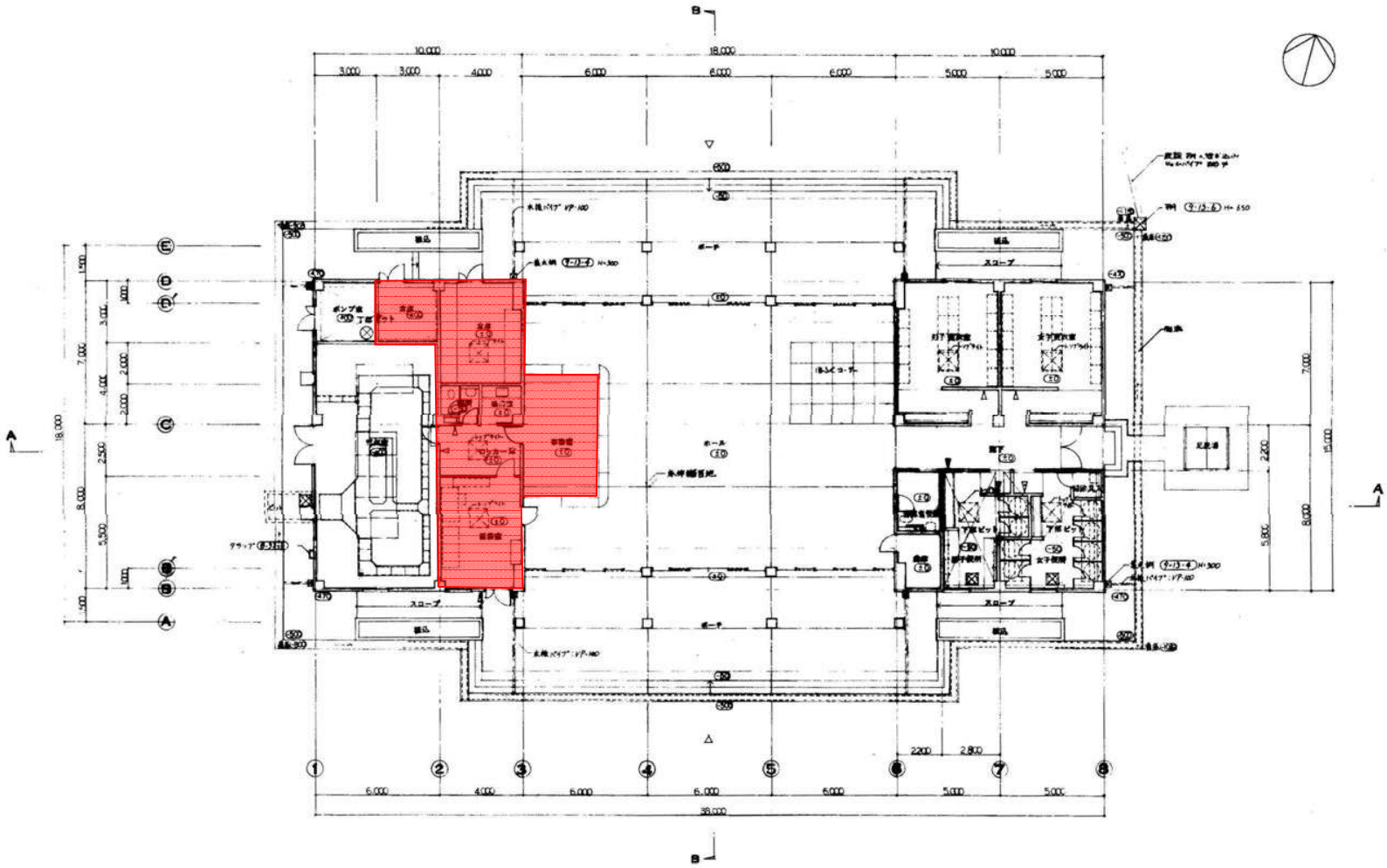
屋根伏図　1:100

提供面積＝6.00×4.00＋14.00×6.00＝108.00㎡

海の中道海浜公園 インフォメーションセンター 新その他工事		9
平面図 屋根伏図	S：1/100	
九州地方建設局営繕部	54年12月	56

江島設計事務所

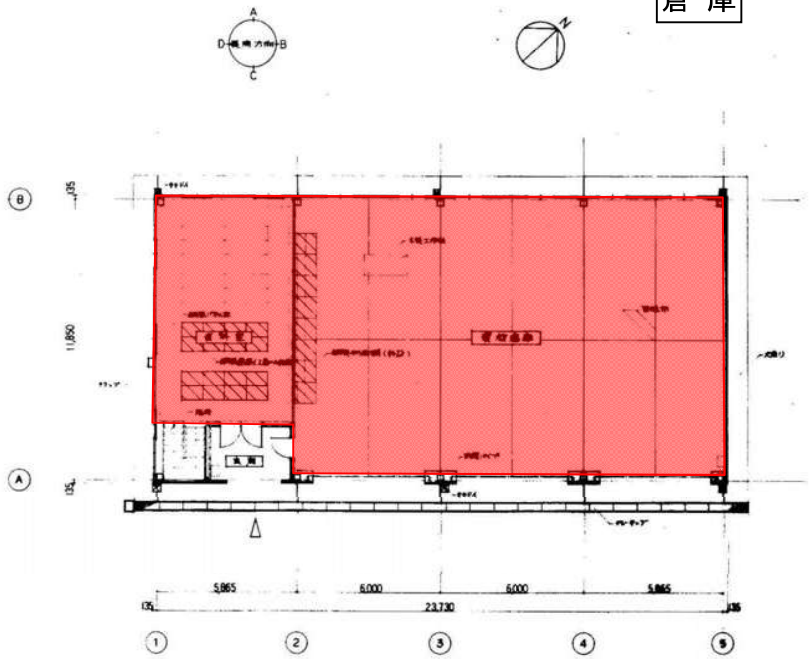
子供の広場管理棟



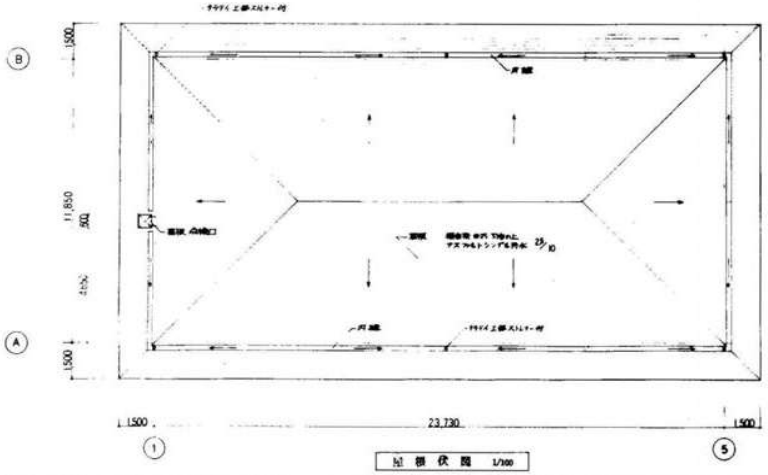
提供面積＝3.00×3.00＋15.00×4.00＋6.00×2.60＋2.80×2.20＝90.76㎡

海の中道海浜公園 子供の広場管理棟 建築工事	8
平面図 S：1／100	
九州地方建設局営繕部 58年3月	27

倉 庫



平 面 図 1/100



屋 根 伏 図 1/100

外部仕上表

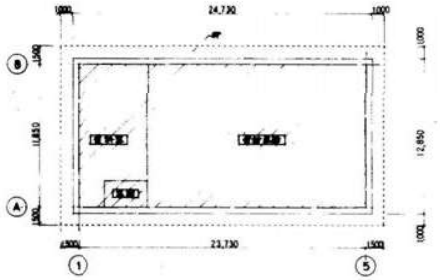
	床（犬走り）	小 本	壁	屋 根	建 具	備 考
	コンクリート コテ押え	コンクリート打放し（B）	押出成形セメント板 t60 ALC VP	アスファルト シングル 葺 水（幸玉地）	金属 セットイ（鋼板ルーバー 網戸 笠木 VP	扉上部換気口 600×600 1ヶ所 ダクタブ 1ヶ所 ダクトイ VP100 4ヶ所

内部仕上表

室 名	床	巾 木	壁	天 井	備 品	備 考
倉 庫	コンクリート コテ押え	コンクリート打放し（B）	（一部 石膏板(t)9.5貼り） 押出成形セメント板 t60 ALC VP	石膏ボード t9.5 ビニルクロス貼 ケイ酸カルシウム板 t6 笠木(上端) VP		建具 SP（鉄人28号 ガルバリウム鋼板 t0.4）
機 械 室	コンクリート コテ押え	コンクリート打放し（B）	押出成形セメント板 ALC ET(1) 石膏ボード t9.5 ビニルクロス貼(F) 9.5 耐水石膏ボード ALC ET(1)（B面のみ）	石膏ボード t9.5 ビニルクロス貼 ケイ酸カルシウム板 t6 笠木(上端) VP	鋼製網戸 1ヶ所 W 1,800 × H 2,100 ALC 開口 W 1,800 × H 2,100	建具 SP（鉄人28号 ガルバリウム鋼板 t0.4） 鋼製扉 W 900 × H 2,000 × 2ヶ所 壁上部 石膏板(F) 9.5 ET(1) 1ヶ所
電 気 室	コンクリート コテ押え（防塵剤）	コンクリート打放し（B）	押出成形セメント板 ALC ET(1) 石膏ボード t9.5 ビニルクロス貼(F) 9.5 耐水石膏ボード ALC ET(1)（B面のみ）	石膏ボード t9.5 ビニルクロス貼 ケイ酸カルシウム板 t6	木製エアー吹出口 W 300 × H 300 / 1ヶ所	建具 SP（鉄人28号 ガルバリウム鋼板 t0.4） 鋼製扉 W 900 × H 2,000 × 2ヶ所 壁上部 石膏板(F) 9.5 ET(1) 1ヶ所

VP ：塩化ビニル樹脂エマルション塗り
ET(1) ：合成樹脂エマルションペイント塗り 1回
OP ：調合ペイント塗
建具補足(1)：SS鋼ビット製(ガルバリウム鋼板) 外付網戸 下框 戸当 t0.8 ※
補足(1) ：石膏ボード貼りの内壁の下 300 までケイ酸カルシウム板 t6 (外部からの延長)

求積図



建築面積	24.73 × 12.85 = 317.7805	317.78
床 面 積	23.73 × 11.85 = 281.2005	281.20

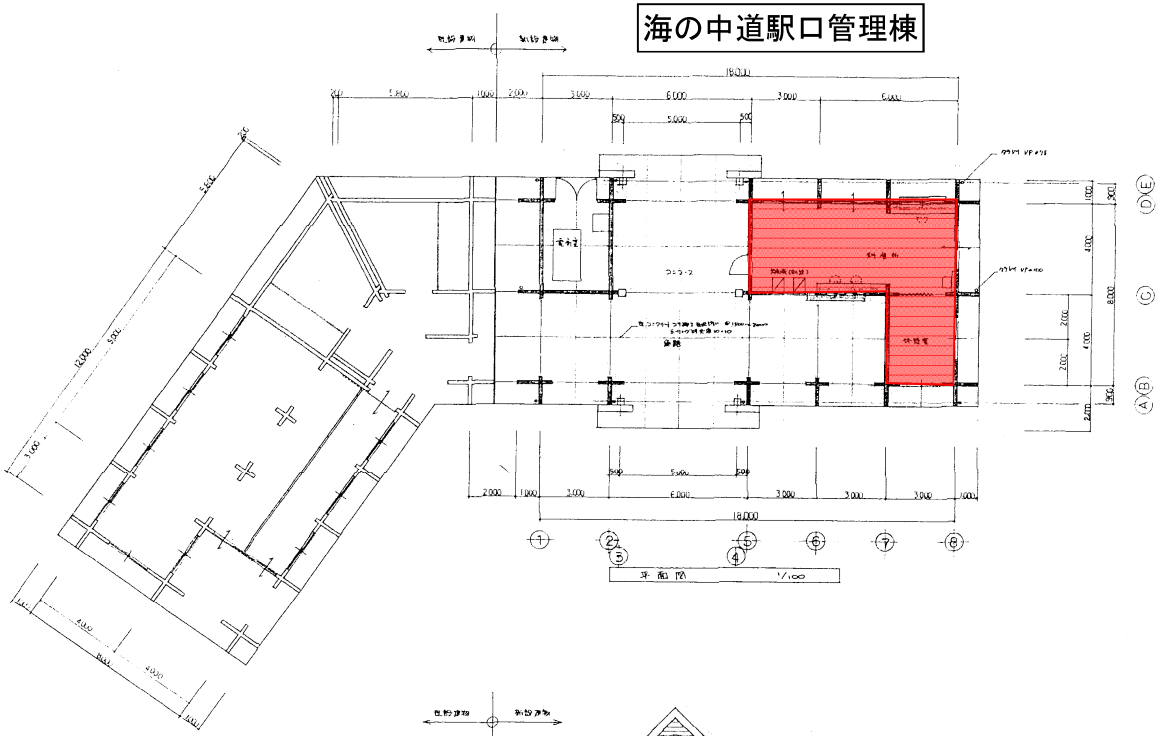
提供面積＝23.73×11.85−5.64×2.45＝267.38㎡

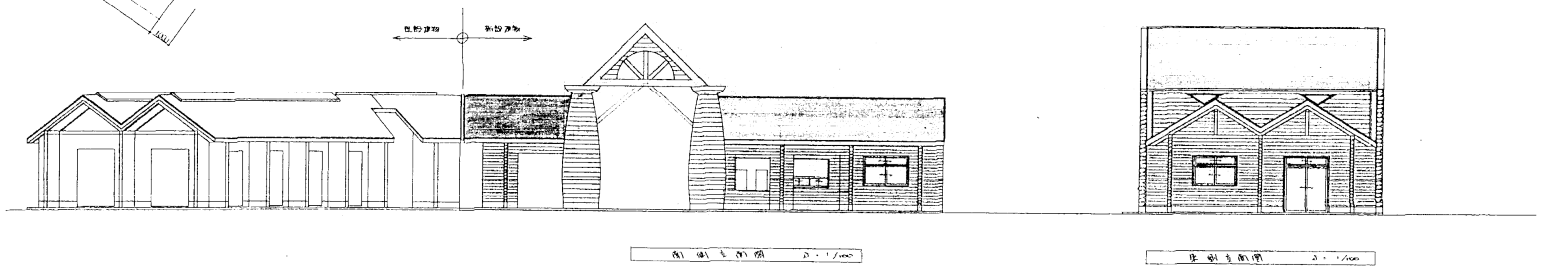
工 事 名	倉庫棟新築電気工事（基本設計）
図 面 名	平面図・屋根伏図・仕上表・求積図
縮 尺	1/100
図面番号	A-1
作成年月日	昭和 60 年 6 月 日

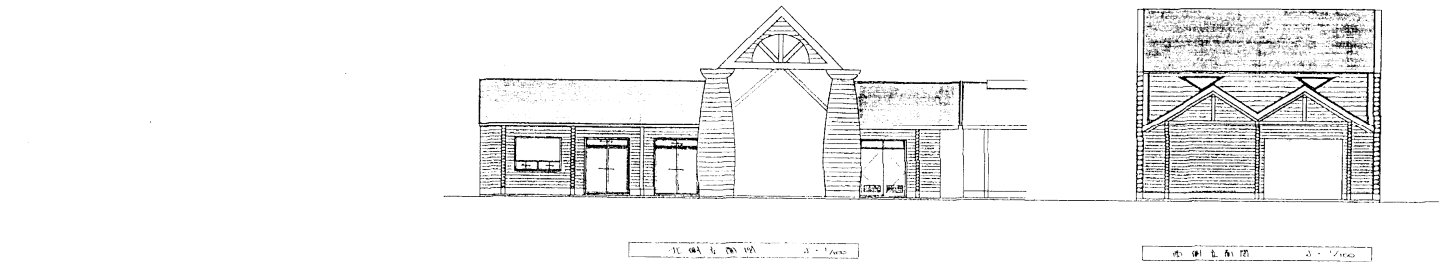
九州地方建設局
海の中道海浜公園工事事務所

★TWA 100

海の中道駅口管理棟





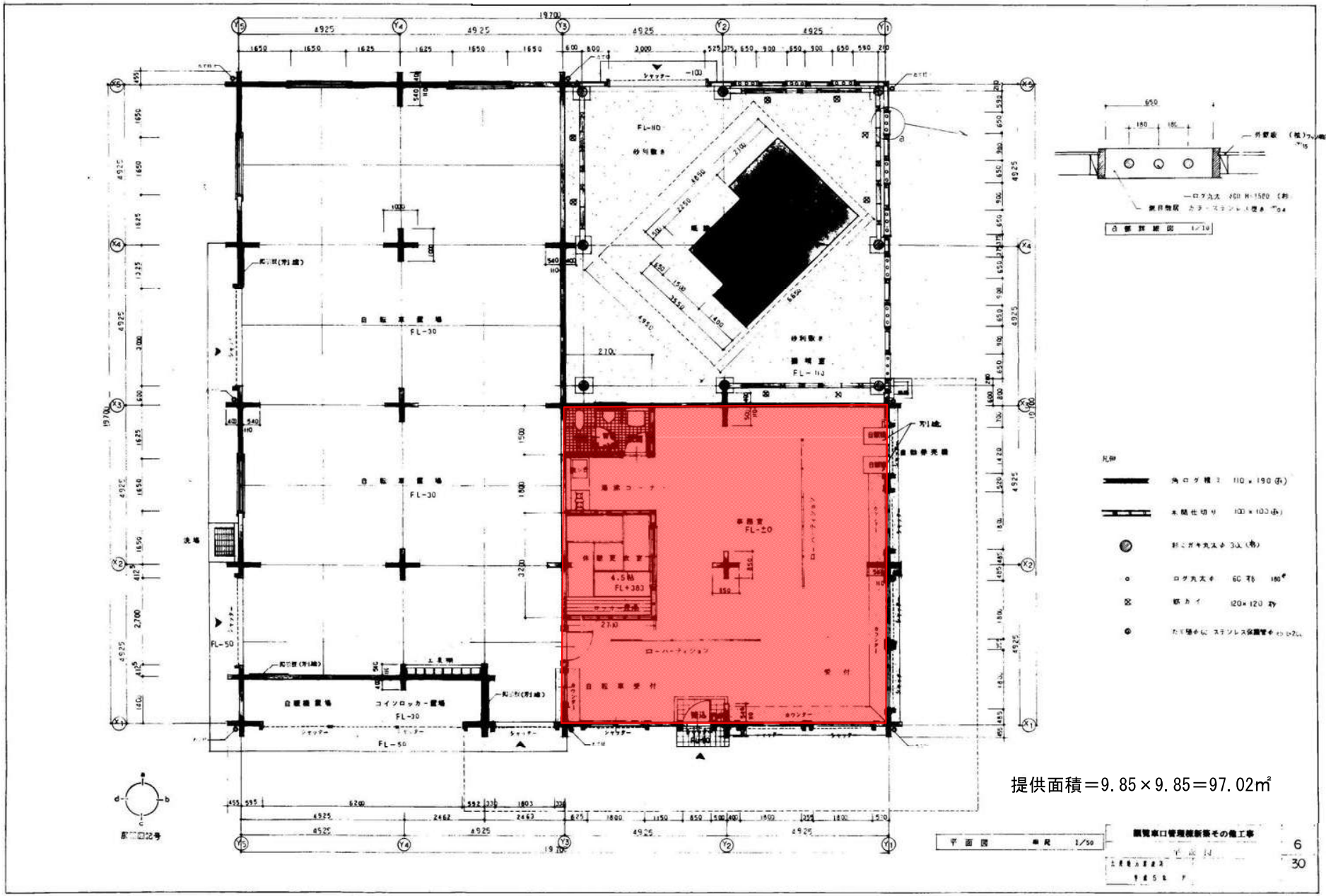


提供面積＝9.00×4.00＋3.00×4.00＝48.00㎡

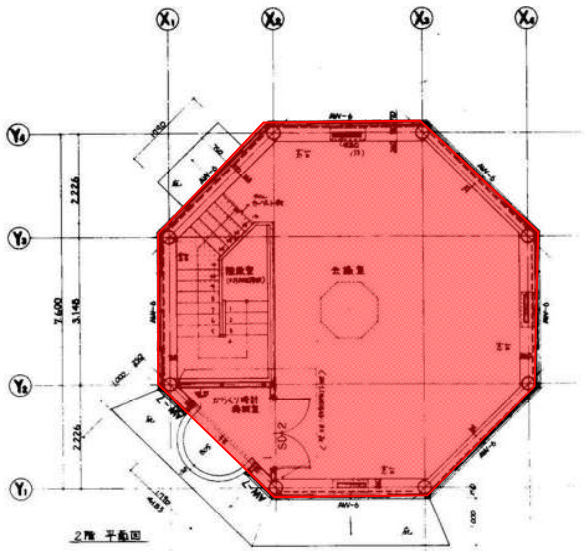
工事名	休養施設建築その他工事
図面名	休養施設 平面図・立面図
縮尺	1/100
図面番号	5/28
作製年月日	昭和63年 1月 6.

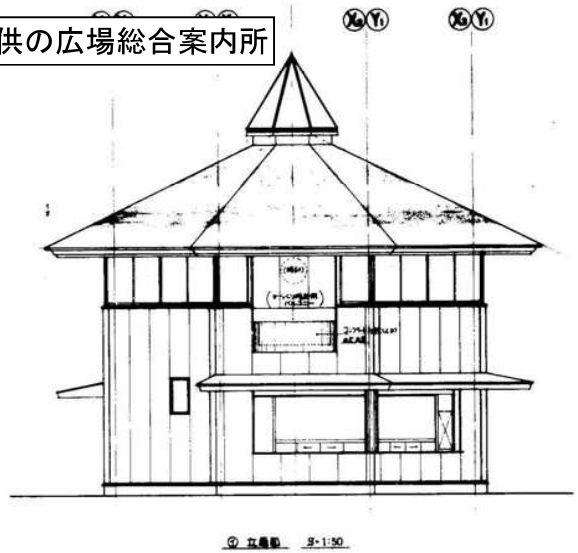
九州地方建設局
海の中道海浜公園工事事務所

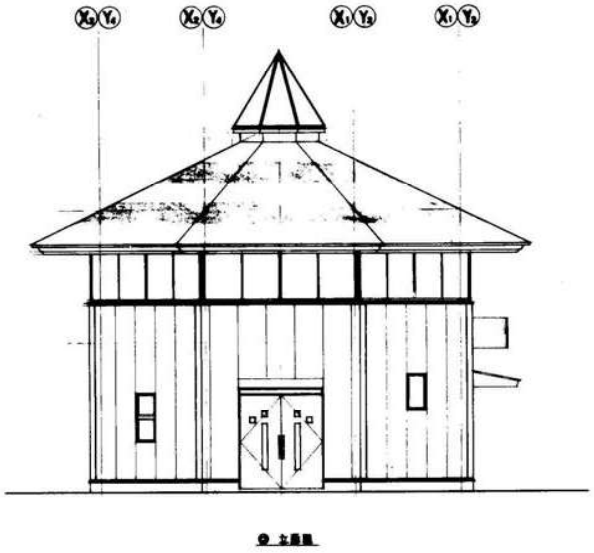
ワンダーワールド口管理棟

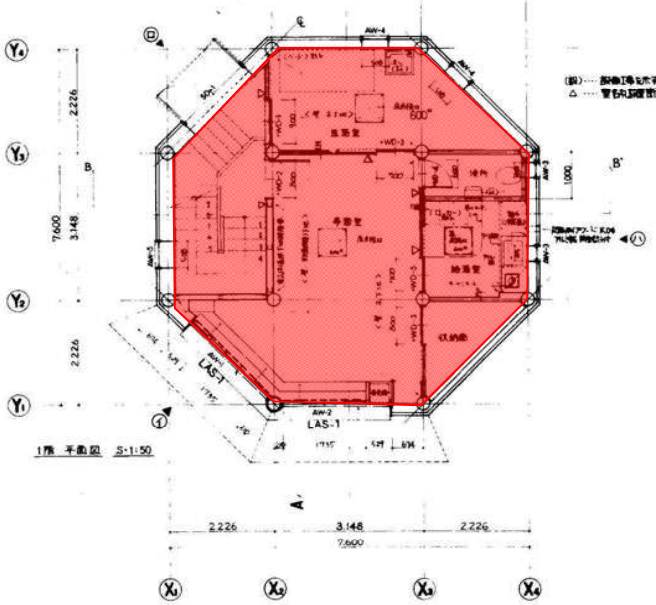


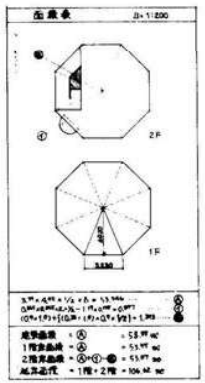
子供の広場総合案内所

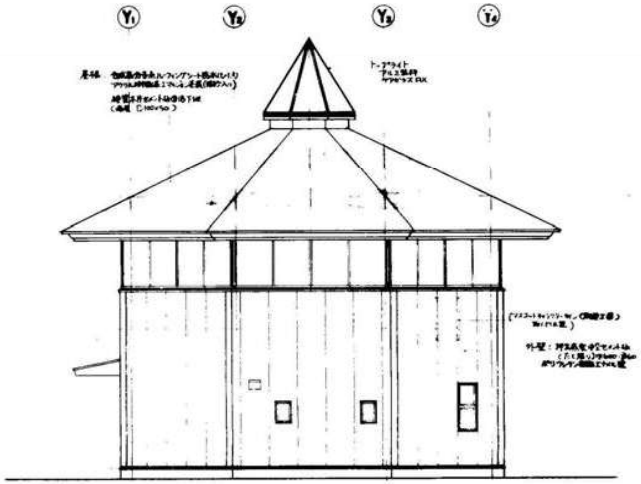










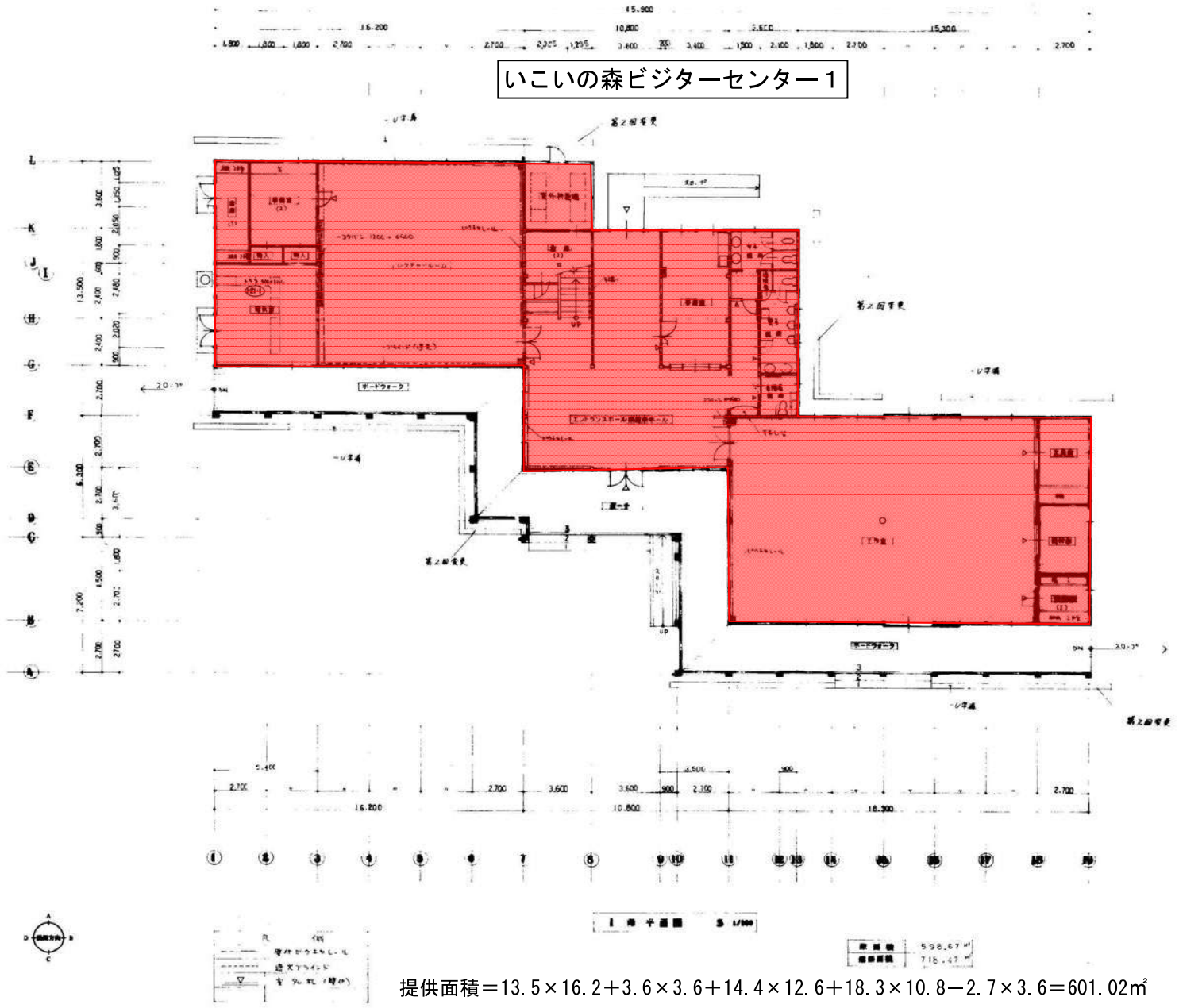


提供面積＝53.55＋53.07＝106.62㎡

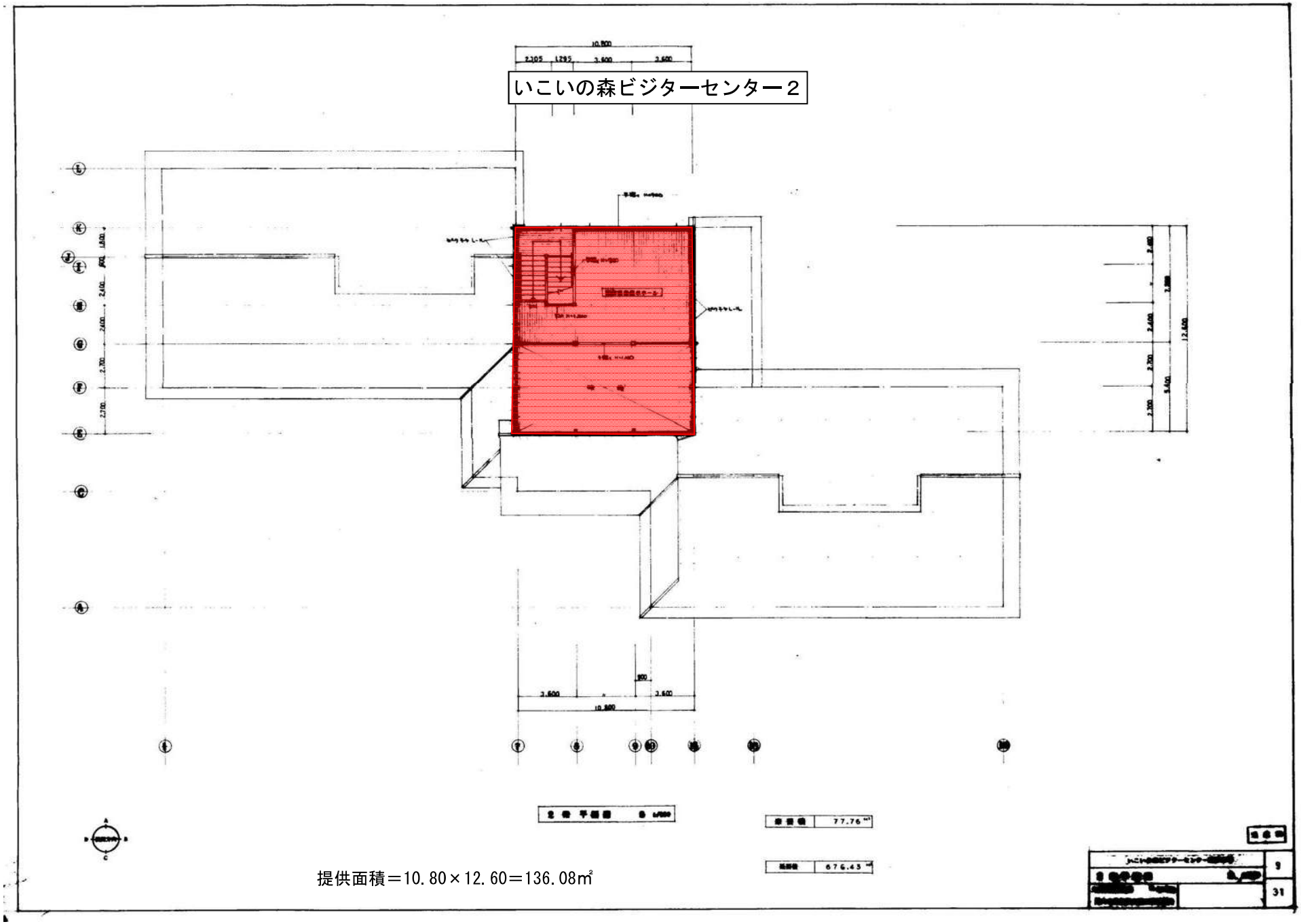
工事名	子供の広場総合案内所建設工事
図面名	平面図・立面図・断面図（その）
尺度	1/50, 1/100
図面番号	27
設計年月日	
設計	
監督	
検査	

九州地方整備局
筑後中部国営公園工事事務所

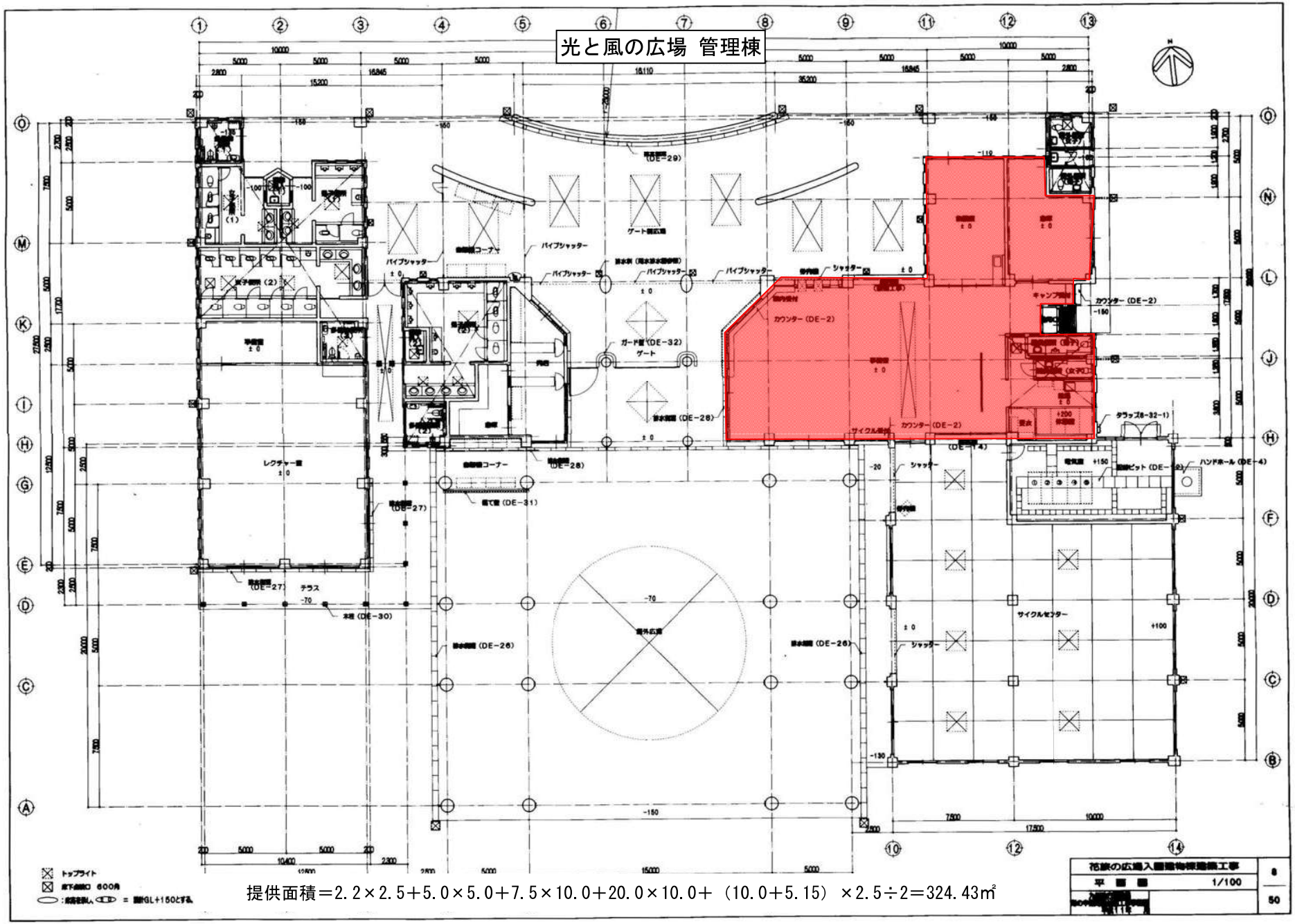
いこいの森ビジターセンター１

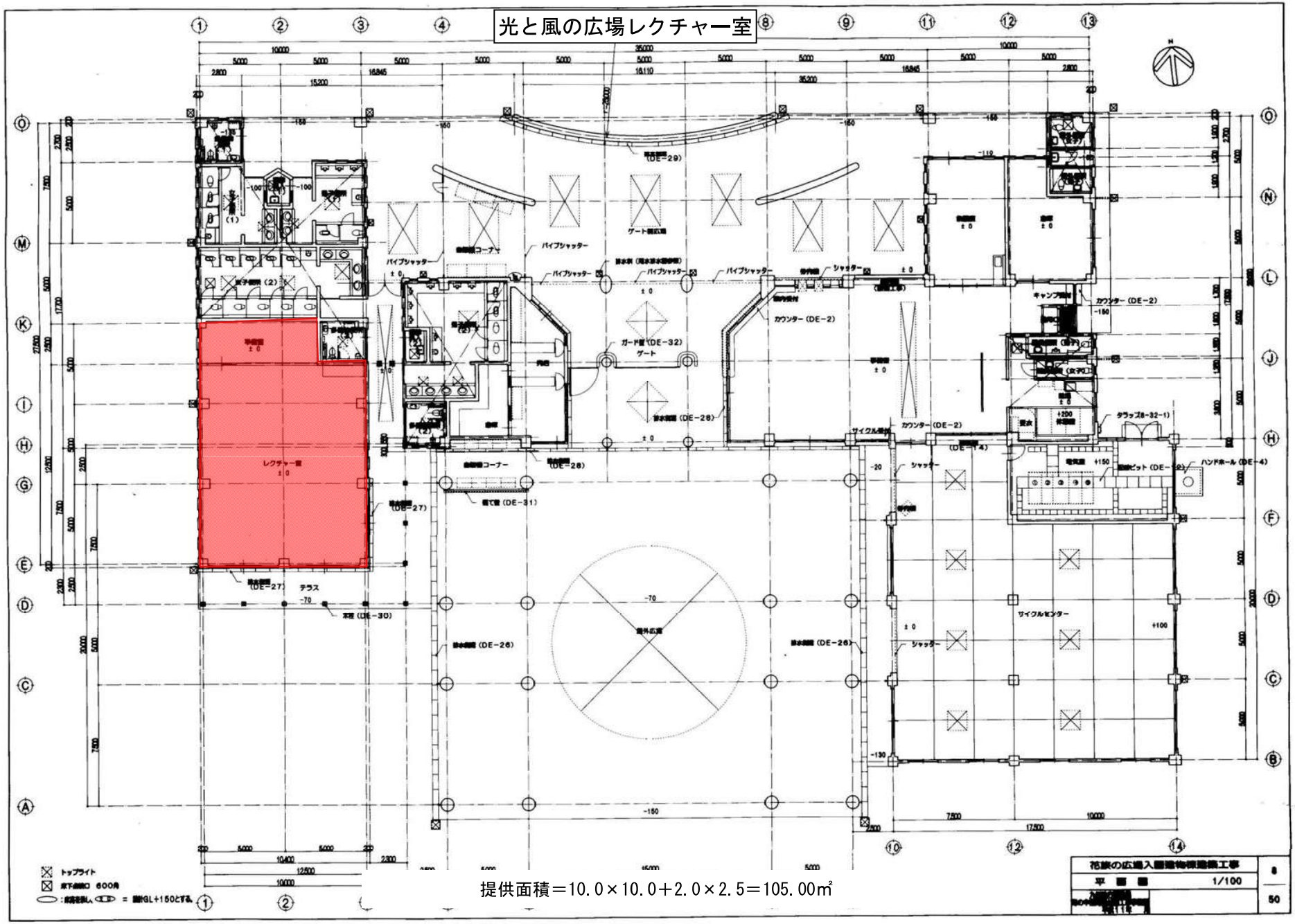


提供面積＝13.5×16.2＋3.6×3.6＋14.4×12.6＋18.3×10.8－2.7×3.6＝601.02㎡

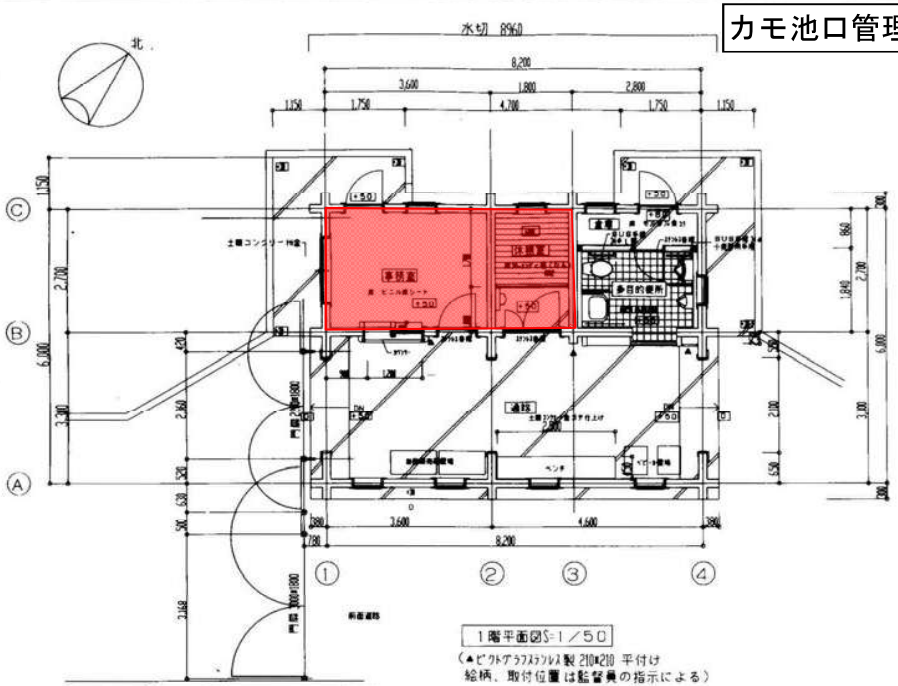


提供面積＝10.80×12.60＝136.08㎡


光と風の広場 管理棟
提供面積＝2.2×2.5＋5.0×5.0＋7.5×10.0＋20.0×10.0＋（10.0＋5.15）×2.5÷2＝324.43㎡


光と風の広場レクチャー室
レクチャー室
テラス
提供面積＝10.0×10.0＋2.0×2.5＝105.00㎡

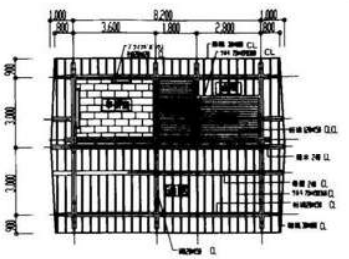
カモ池口管理棟



1階平面図 S=1／50

（▲ピクトグラフステンレス製 210×210 平付け
絵柄、取付位置は監督員の指示による）

提供面積＝5.4×2.7＝14.58㎡

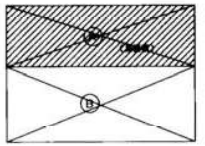


天井伏図 S=1/100

天井仕上げ表

室名	仕上げ
事務室	ひのクリーネ化粧吸音板張り 下張り 塗装
休憩室	杉板本実 t=12
倉庫	
便所	杉板本実 t=12 CL
通路	一部杉板本実 t=12 CL

床面積表

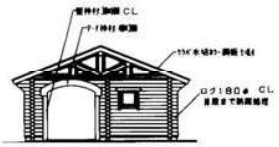


記号	計算	小計
A	8.2×2.7	22.14 ㎡
B	8.2×3.3	27.06 ㎡
	計	49.20㎡

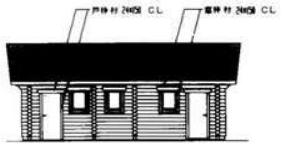
床 ポリエチレンフィルム 厚 0.15mm 敷き込



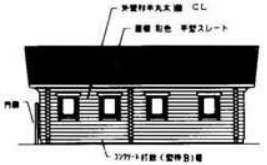
西立面図 S=1／100



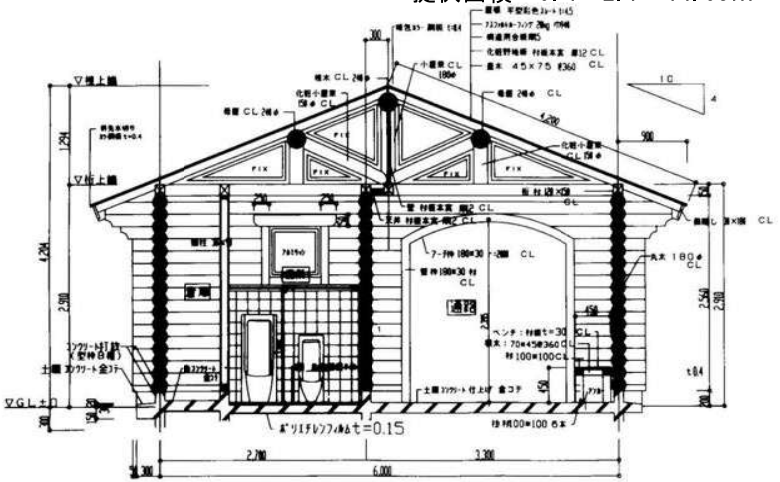
東立面図 S=1／100



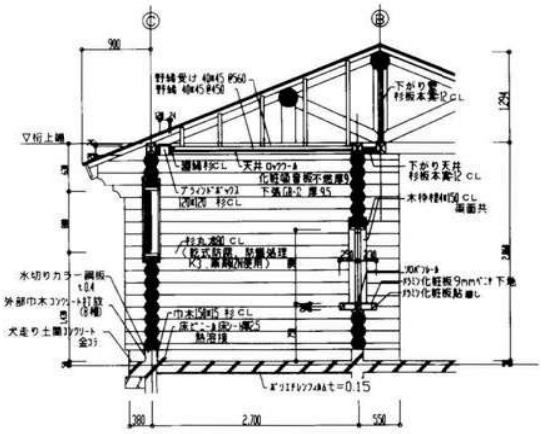
北立面図 S=1／100



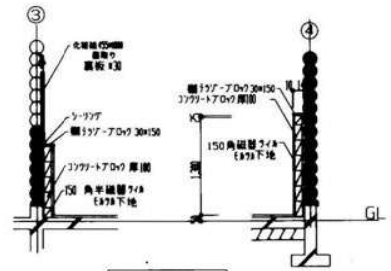
南立面図 S=1／100



断面詳細図 S=1／30



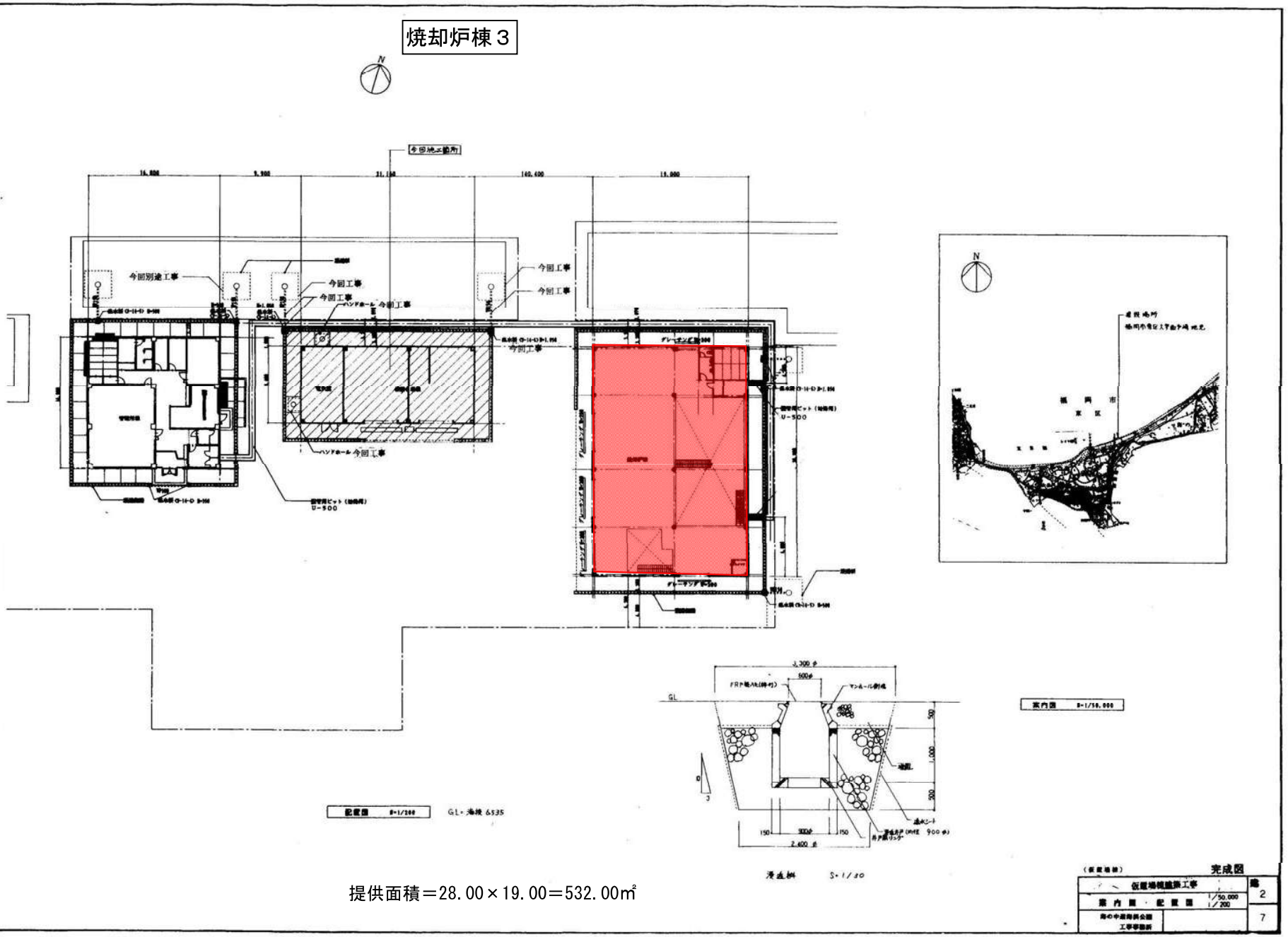
事務室展開図 1／30



便所 タイル 縮尺1／30

工事名	光と風の広域西口ゲート複断歩道工事
図面名	平面立面断面詳細図
縮尺	1/50.30.100 図面番号 7／18
設計年月日	平成 年 月 日
九州地方整備局 海の中道海浜公園工事事務所	

焼却炉棟３

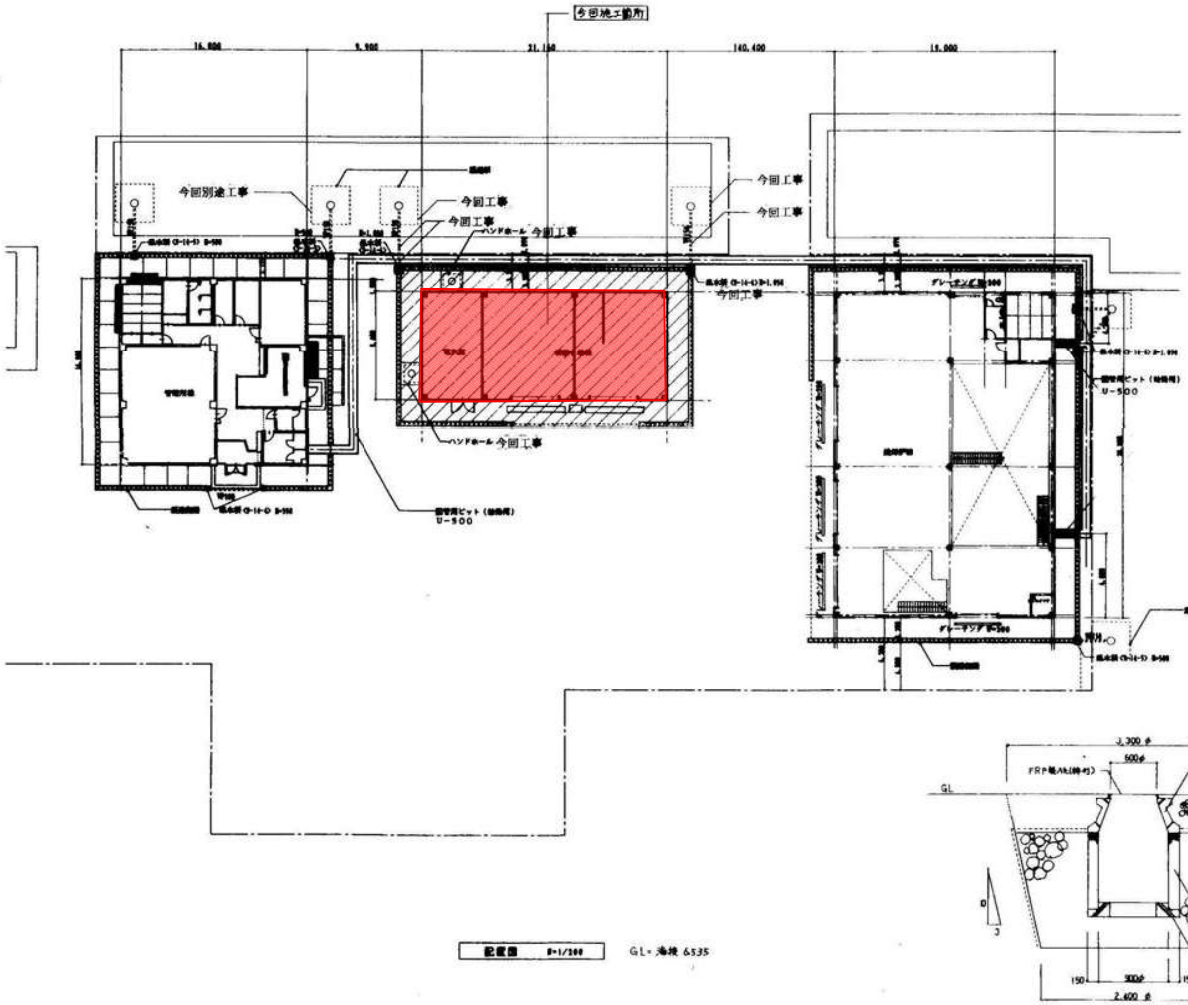


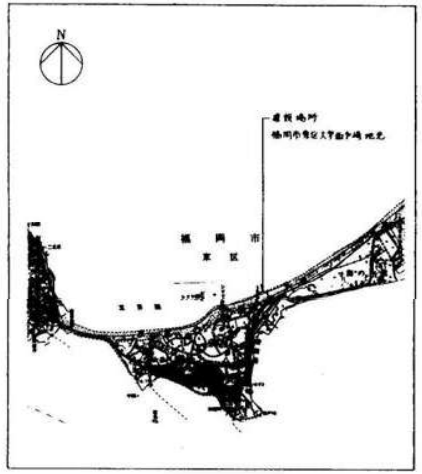
提供面積＝28.00×19.00＝532.00㎡

（仮設場横）　完成図

仮設場横施設工事		縮尺 2
案内図・配置図	1/50,000 1/200	
海の中道海浜公園 工事事務所		7

仮置場棟



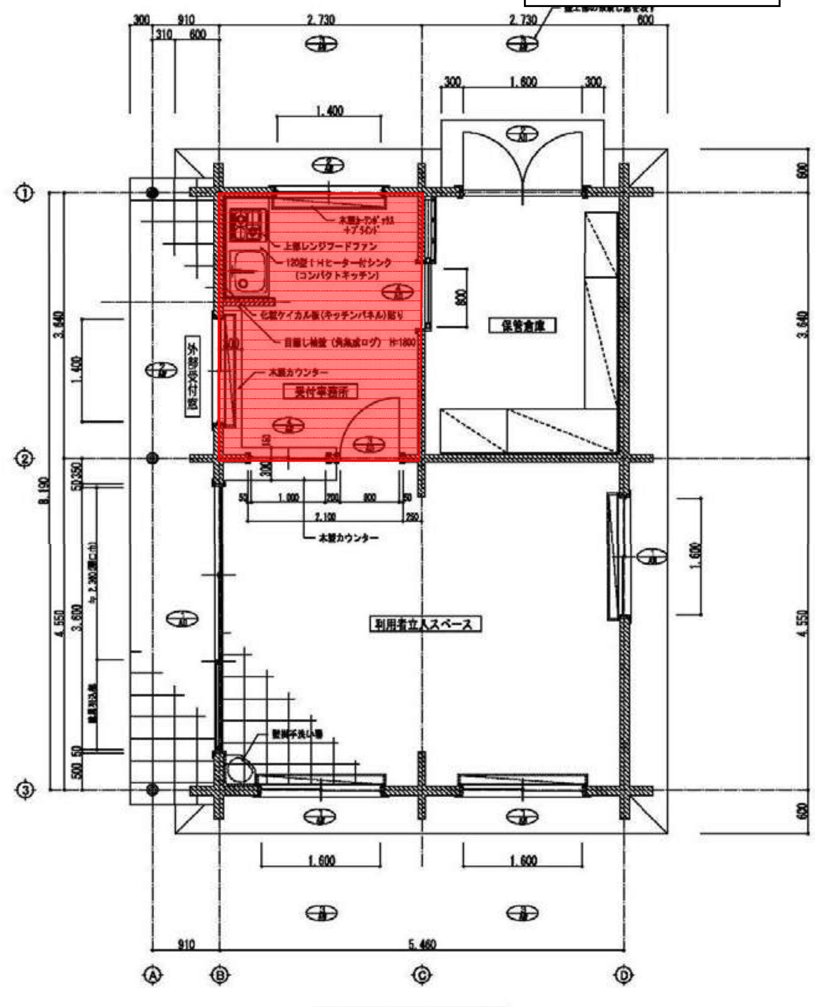


提供面積＝21.15×9.40＝198.00㎡

（仮置場棟）　完成図

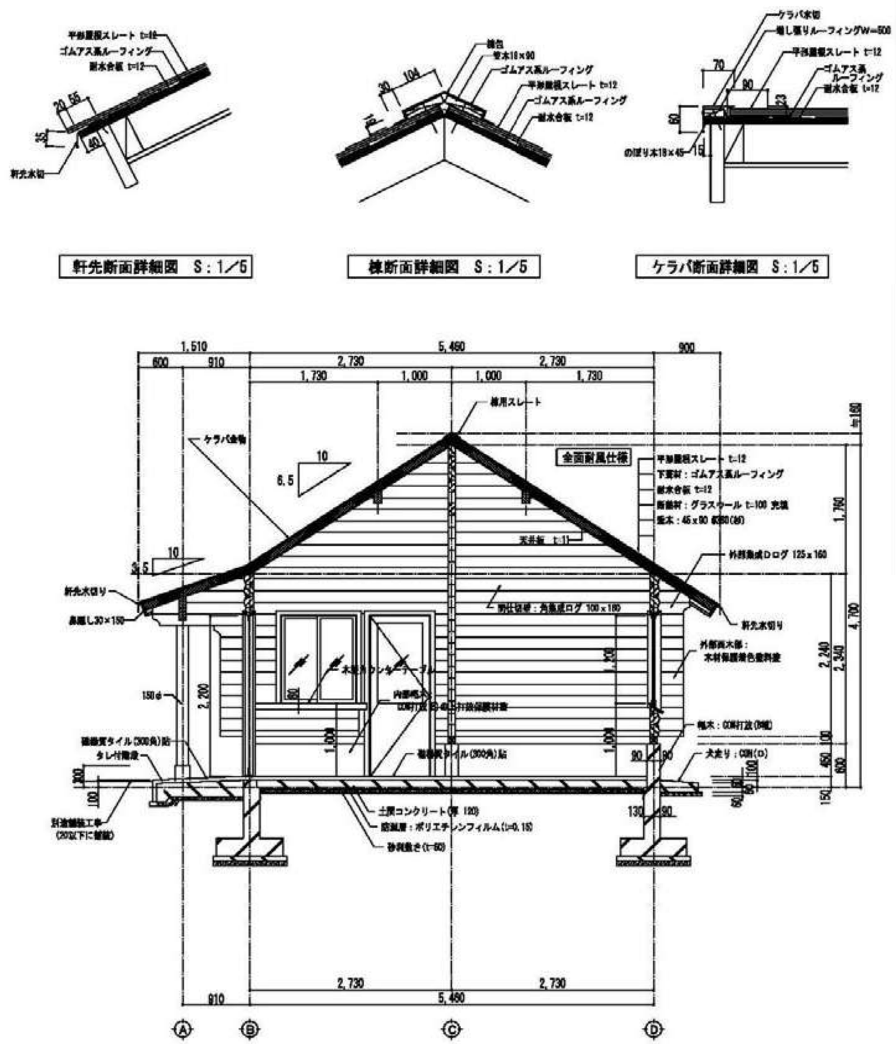
仮置場棟建築工事	縮尺
案内図・配置図	1/50,000 1/200
海の中道海浜公園 工事事務所	2 7

ドッグラン管理棟



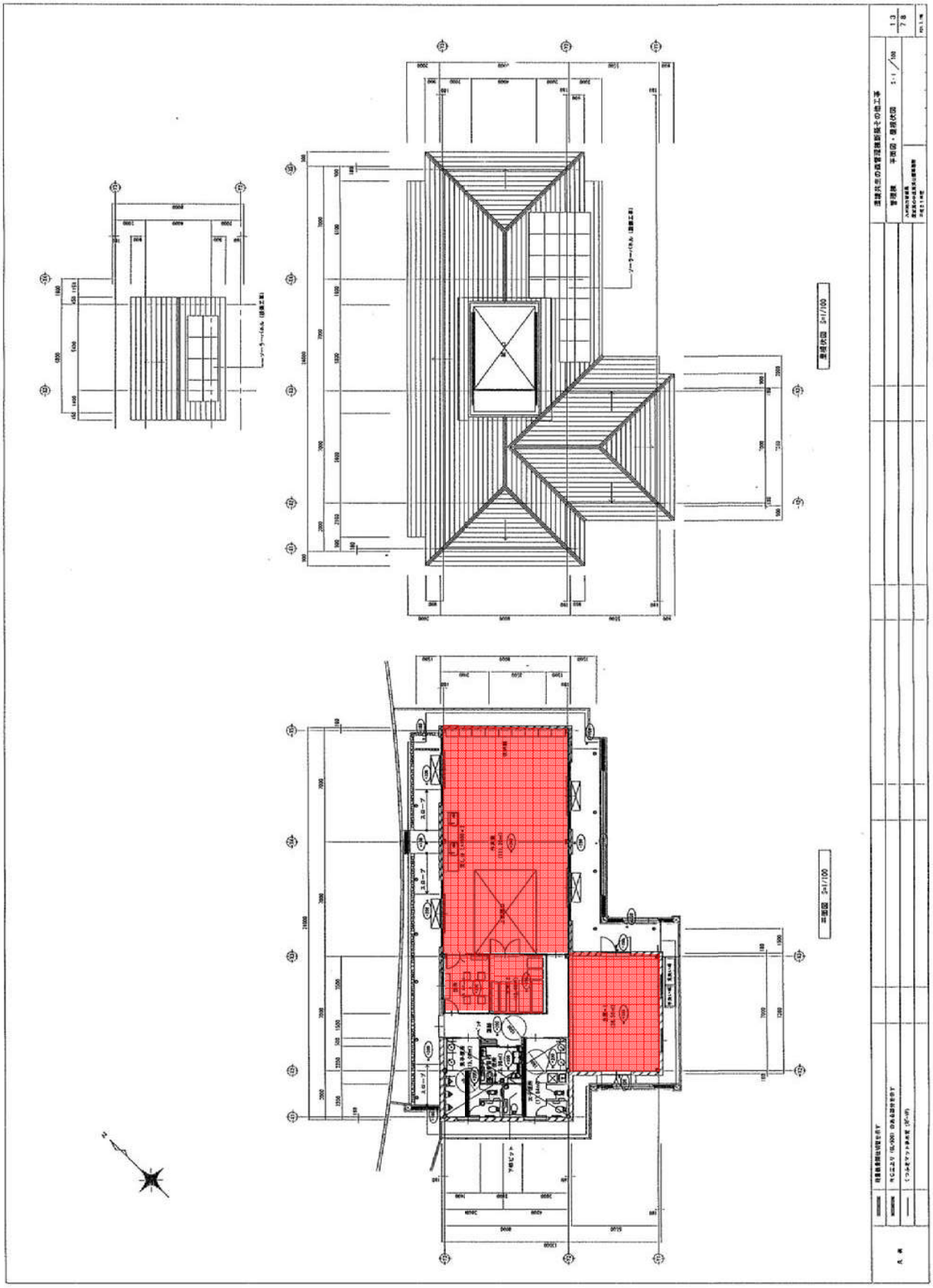
平面詳細図　S：1／30

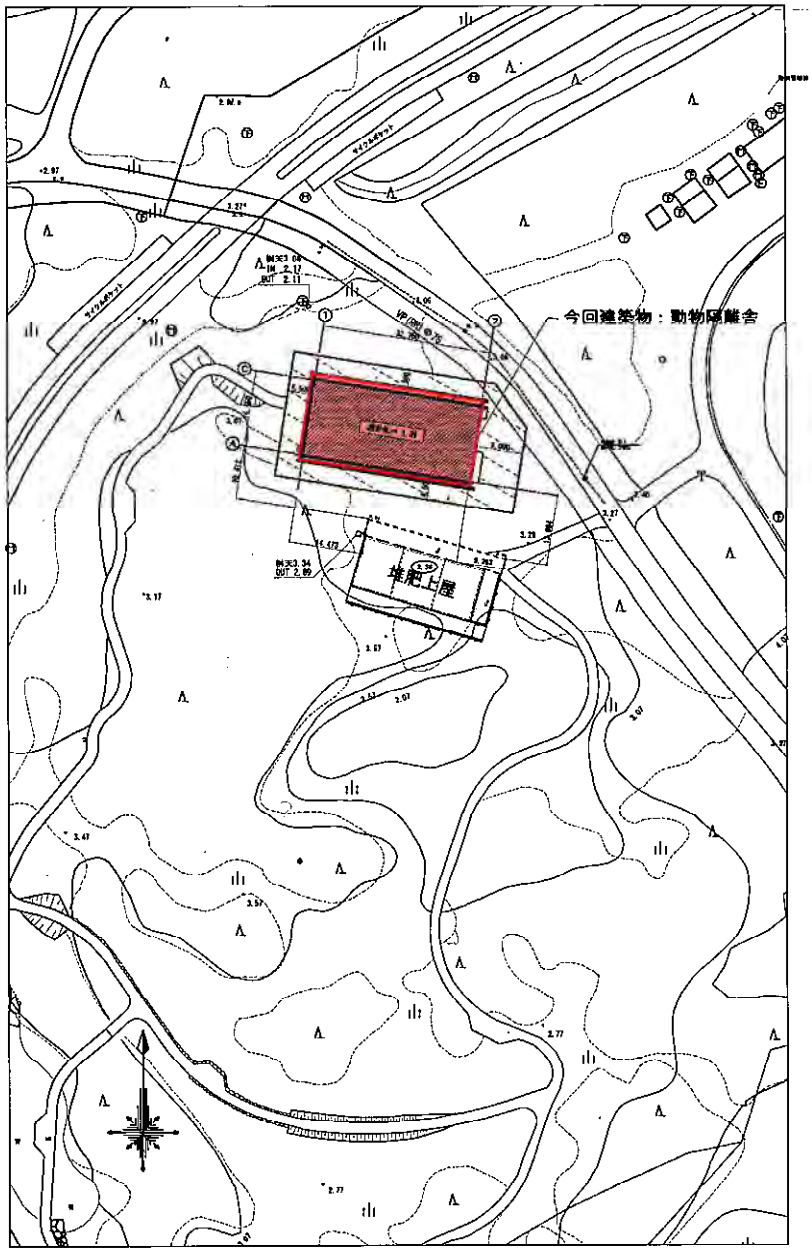
提供面積＝3.60×2.73＝9.83㎡



(ドッグラン管理棟)

光と風の広場電気室補修外工事
既設・改修部計詳細図　S:1/30外
26
38

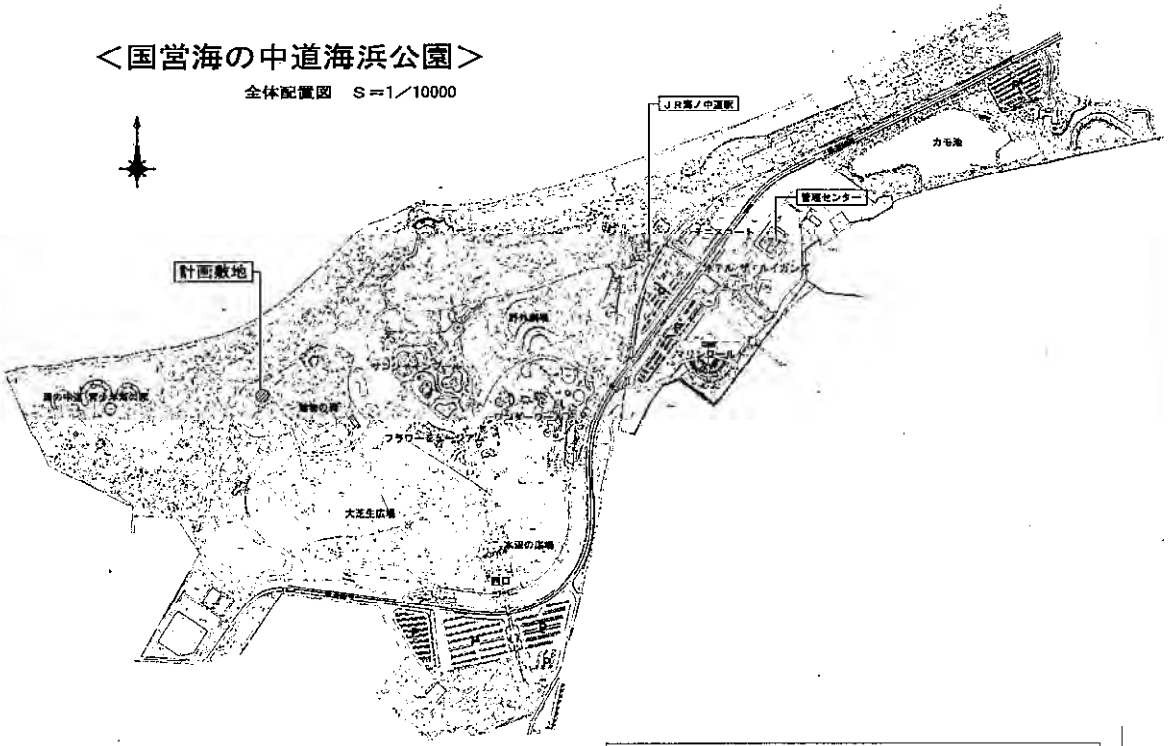


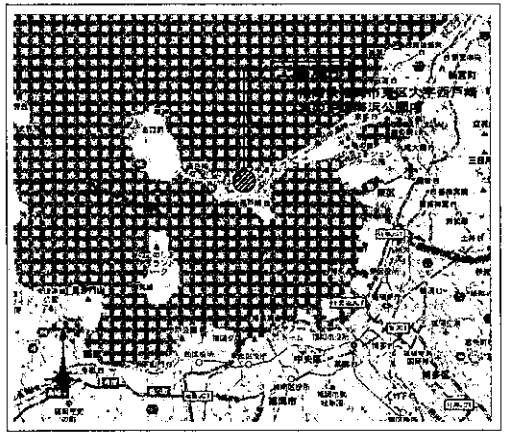


配置図　S＝1／500

＜国営海の中道海浜公園＞

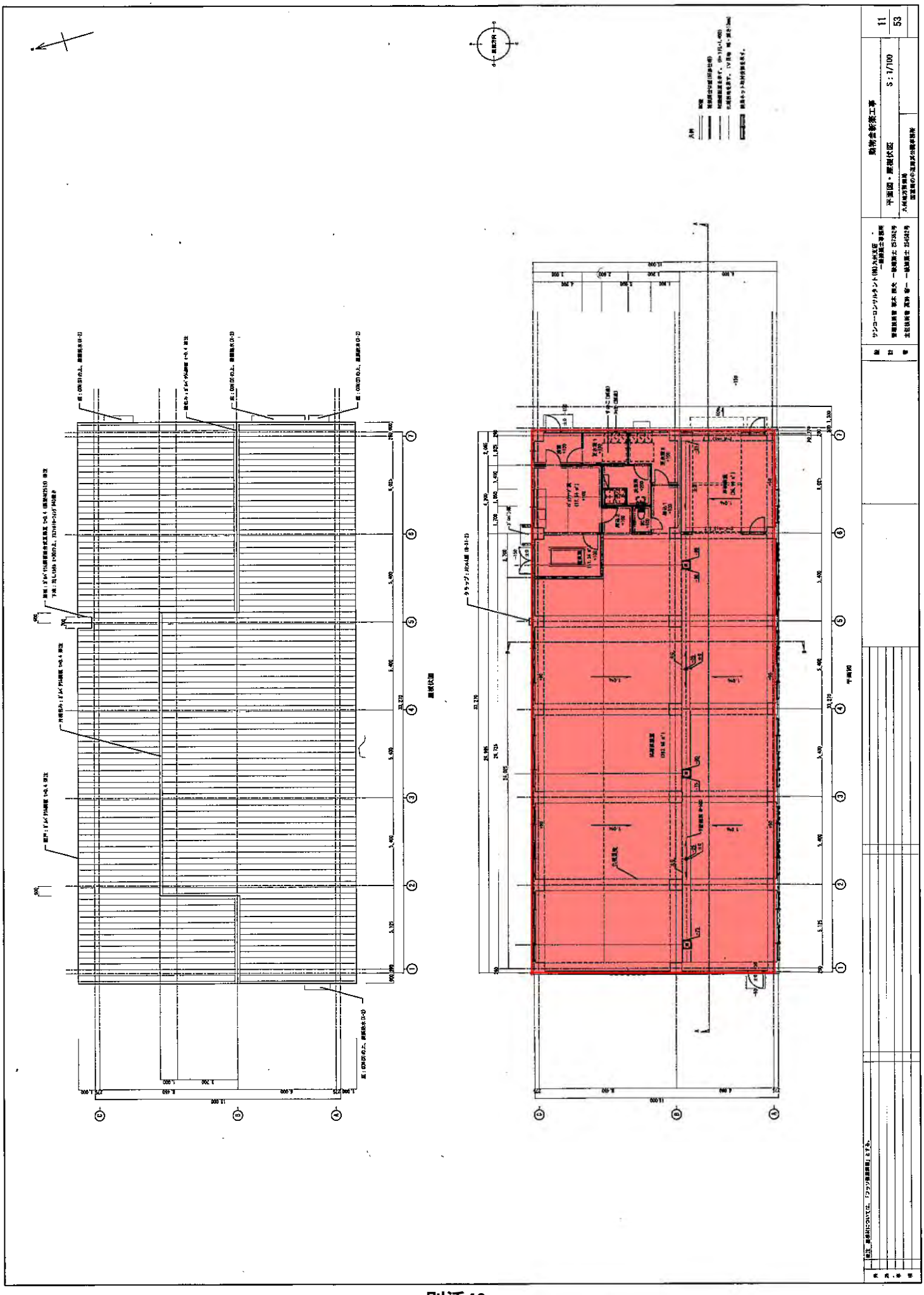
全体配置図　S＝1／10000





付近見取図

設計者	サンコーコンサルタント(株)九州支店 一級建築士事務所 管理技術者 坂本 圭文 一級建築士 257352号 主任技術者 高野 修一 一級建築士 254582号	動物舎新築工事	9
		付近見取図・配置図　S：1/10000　S：1/500	53
		九州地方整備局 国営海の中道海浜公園事務所	


屋根伏図
平面図
建物全新築工事
平面図・屋根伏図
S：1/100
11
53

危機管理マニュアル

1）目　　的

本マニュアルは、「国営海の中道海浜公園維持管理業務」における危機管理に関する事項について、その対応、対策、体制等を取りまとめ、救急、災害、事故、緊急時等不測の事態に備え、効果的かつ能率的に行うことを目的とする。

2）安全管理

安全管理については、当財団の「安全衛生管理規程」に基づき、別途「安全衛生管理計画書」を策定し、実施するものとする。

3）救急救護

救急救護については、別途「救急救護マニュアル」を策定し、実施するものとする。

4）防災・災害対策

防災・災害対策については、国土交通省国営海の中道海浜公園事務所（以下、「甲」という。）が定める「防災業務計画書支部要領」に基づき、別途「災害対策分会要領」を策定し、実施する。なお、「災害対策分会要領」に基づき、補足する事項が生じた場合は、別途防災・災害対策に関する具体事項、詳細事項を定め、実施するものとする。

5）緊急時対応

甲の指示により、災害時、異常時等の緊急を要する場合は、「緊急連絡体制」に基づき、速やかに連絡対応を行い、迅速に必要な人員を確保するものとする。また、甲の指示及び各要領、マニュアル等に従い、適正に対処するものとする。

6）臨機の措置

（1）災害防止等のために臨機の措置をとらなければならない場合は、事前巡回点検、災害防止措置を実施し、その結果を甲に報告するものとする。また、速やかに「災害対策分会要領」に移行できるよう対応準備（「準備体制」）を行うものとする。

（2）事前点検等の結果、閉園等の必要がある場合は、速やかに甲に報告し、指示に従うものとする。

（3）夜間及び休園日に対応する必要がある場合は、「警察事案等連絡体制」に基づき、速やかに連絡対応を行い、迅速に必要な人員を確保するものとする。

（4）臨機の措置をとるために「災害対策分会要領」のほかに、当公園の立地条件等を勘案した以下の要領を策定し、実施するものとする。

①雷対策要領

②強風時対策要領

7）その他

その他危機管理対応が発生した場合は、「危機管理標準マニュアル」（財団統一版）に基づき、適正に対処するものとする。

また、動物管理における危機管理については、別途「危機管理対策マニュアル（動物管理）」を策定し、実施するものとする。

平成２６年　４月　１日

国営海の中道海浜公園　ＢＣＰマニュアル

１．総　則

１．１　マニュアル策定趣旨

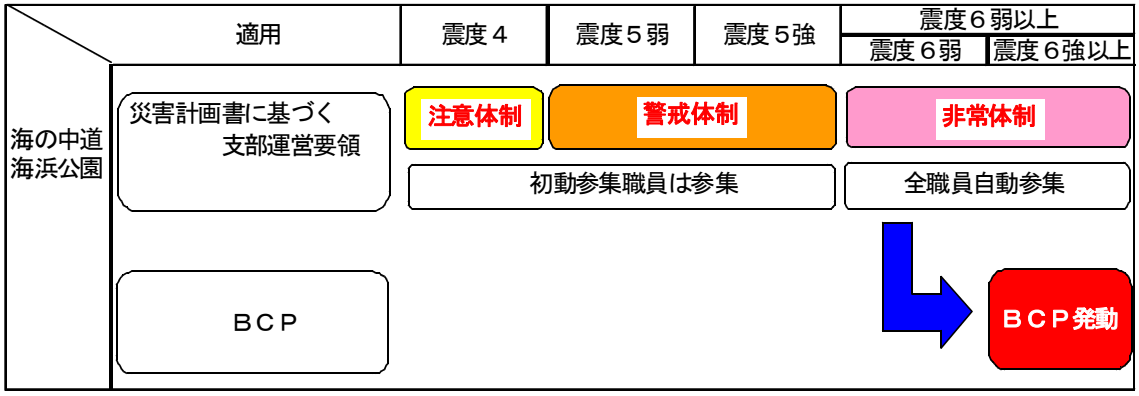
九州地方整備局では、通常の災害対応を目的とした「防災業務計画」に加え、特定の災害（福岡市直下の大規模地震災害）が発生した場合の初動体制を定めた「九州地方整備局業務継続計画を平成２０年６月に策定、これを受け平成２１年４月に建政部が「九州地方整備局　建政部　ＢＣＰマニュアル（以下、「ＢＣＰマニュアル」という。）」を策定している。

当該ＢＣＰマニュアルを勘案しつつ、福岡市直下の大規模地震災害が発生した場合の国営海の中道海浜公園における開園時間帯及び閉園時間帯それぞれについて初動体制の詳細について予め整理し、周知することによって、災害発生時に国営海の中道海浜公園として円滑な対応を行うことを目的として、国営海の中道海浜公園のＢＣＰマニュアルを策定する。なお、公園内災害対策分会（各テナント）は本マニュアルを受けて分会毎のＢＣＰマニュアルを策定するものとする。

	防災業務計画書（支部運営要領）	ＢＣＰマニュアル
前提	・職員、スタッフ自らが被災することを想定していない。 ・特定の被災想定は行わない。	・職員、スタッフ自らが被災し、参集できる人数が限定される事を想定。 ・公園及びその周辺（交通機関等）の被災想定を行い、実践的な計画を立案する。
目的	・対策支部の円滑な運営を図るため支部の組織、業務分担及び運営について明確化を行う。	・被災（閉園）から復旧（開園）までの対応（復旧目標時間設定等）を整理する。 ・上記に加え、災害対応以外の重要業務を洗い出し、その対応について明確化する。
内容	・支部の設置～建政室との連絡～支部の廃止までの考え方や枠組みについて示すもの。	・公園利用者の安全確保～巡視～復旧工法の検討及び対応方針の決定まで、一つ一つの行動を示すもの。 ・事前に選定している重要業務について、業務継続を図る。（許認可、支払事務、動物管理（ｾﾝﾀｰ実施）等）

１．２　マニュアル適用条件

震度６強以上（福岡市直下型）地震が発生した場合にＢＣＰマニュアルが適用される。



１．３　公園及び周辺　被災想定

【地震想定】

〇福岡市内　震度６強、津波警報（ツナミ）

【ライフライン想定：休日の夕方に発生を想定】

主な設備等	被　害　の　概　要	既　往　事　例	
		阪神・淡路（震度７強）	能登半島（震度６強）
事務所庁舎	クラック等はあるものの、使用に問題のある被災はなし	―	―
公園内施設	公園全体で大規模な被災有り（福岡西方沖地震時の被災を参照）	―	―
一般電話	輻輳により１週間以上つながりにくい	２週間後	即日復旧
携帯電話	輻輳により１週間以上つながりにくい	２週間後	即日復旧
携帯メール	遅延はあるが使用可能	―	―
専用回線	・一部遮断 ・重要なものは６時間で復旧	―	―
ＶＨＦ無線	・使用可能	―	―
インターネット	６日程度使用不可	―	―
電気	停電３日程度	６日後	翌日復旧
水道	断水３日程度	1～3ヶ月後	翌日復旧
トイレ	３日間程度使用不可	３ヶ月後	―
鉄道	３日間程度途絶、その後徐々に回復	1～3ヶ月後	翌日復旧
※周辺道路	一部規制はあるが通行は可能 ※但し、各道路とも相当な渋滞有り	―	―

２．事前準備

２．１　初動体制員の選定

地震発生後３０分程度で災害対策支部を立ち上げる為に、事前に初動体制員を決定しておく。（初動体制員については、東区及び古賀市在住の職員で通常の通勤用具で３０分程度で参集可能な者とする。）別紙、初動体制員表参照

２．２　職員、スタッフの安否確認方法の確立

地震発生後１時間以内に職員及び家族の安否確認が完了するよう、確認方法を確立しておく。

〇携帯メールアドレスを全職員事前に登録
〇携帯メールでテンプレートを作成し、全職員が登録する。（別紙参照）
〇携帯メールを持っていない職員については「災害用伝言ダイヤル（１７１）」を活用する。（別紙参照）

２．３　支部体制発令方法の確立

防災担当者は地震発生後、速やかに支部長（事務所長）及び各課長にメールにより、初動体制員による体制発令の確認を取る。なお、支部長、各課長のいずれかの返信メールの受信を受けて体制発令に代える。

２．４　権限の代行の設定

支部長（事務所長）が参集するまでの間、或いは参集不可能な場合においては、以下の支部長代行順位に従い、支部長権限を代行する。ただし、支部長との連絡が可能な場合においては、重要な判断（協定業者との随意契約等）については支部長への確認をもっておこなう。

［支部長代行順位］
①調査設計課長　②工務課長　③総務課長　④監督官（土木）　⑤監督官（営繕）
⑥管理係長

２．５　関係機関と連携

公園関係機関（都市再生機構九州公園事務所、管理センター、海の家、マリンワールド、ザ・ルイガンズ.、海の中道マリーナ＆テニス、西日本パブリック、泉陽興業）及び応急対策業務基本協定先（社団法人日本造園建設業協会福岡県支部）との連絡手段及び連絡網を策定しておく。（連絡手段、連絡先については複数の設定を行う）

２．６　来園者誘導箇所の設定

下記の誘導箇所より一定のエリア毎に避難誘導箇所設定する。西口広場・野外劇場は大規模被災の恐れもあるので最悪を想定して二次誘導まで設定しておく。

［誘導箇所］
大芝生広場、野外劇場、光と風の広場駐車場、（中央Ａ駐車場）（マリーナ駐車場）
（西戸崎近隣グラウンド）

２．７　避難住民対応

当公園は、福岡市の地域防災計画上の広域避難場所に指定されており、地震発生後住民が避難してくる事が予想されるので、対応機関である福岡市との連絡体制、役割分担、行政手続き等について取り決めておく。

２．８　備蓄食料の確保

備蓄食糧は、全職員が３日間活動できる分の食料と飲料水を備蓄する。

２．９　災害用什器備品の確保

仮設（バイオ）トイレ等災害対策業務に必要な設備・機器・什器備品等が確保できる体制（連絡体制や契約手続き等）を整える。

→応急対策業務基本協定先（社団法人日本造園建設業協会福岡県支部）に手配を依頼する。

２．10　訓練等

ＢＣＰが機能する体制をつくるため、毎年ＢＣＰを顧慮した災害対応の訓練を実施する。

なお、関係機関（公園関係機関及び応急対応協定先）に対してもＢＣＰの策定とそれに基づく訓練の実施を依頼する。

３．海の中道海浜公園が取るべき体制

３．１　災害対応業務の抽出

	業　務　名	業　務　内　容	担当班	影響ﾚﾍﾞﾙ 対応期限
1	体制発令～変更～解除　起案・決裁及び臨時閉園党の決定	・起案書の作成、決裁 ※時間外の決裁はメール確認で代える ・本局建政部へ報告	情報班	Ⅳ 1時間
2	臨時閉園等の措置	・報道機関への広報 ・ＨＰによる広報 ※13.広報業務をより実施	情報班	Ⅲ 3時間
		・ゲートで看板による告知 ・園内放送による周知（開園時間帯発生） ・イベント（開催時の）中止	対策班 ↓ 管理ｾﾝﾀｰ	Ⅳ 1時間
3	情報伝達	・全職員及ぶ関係機関へ支部体制発令を連絡　※メールで実施	情報班	Ⅳ 1時間
		・公園機関防災担当者への支部体制発令の連絡	情報班	
4	職員等安否確認及び報告	・職員及び家族の安否及び居住の被災等を確認し、必要に応じ本局へ報告	総務班	Ⅳ 1時間
5	来園者の避難誘導	・エリア毎に設定した、避難箇所へ誘導	対策班 ↓ 管理ｾﾝﾀｰ	Ⅳ 1時間

6	事務所庁舎の点検	・庁舎躯体の破損状況、電気、通信、上下水道が使用可能か確認 ・庁舎本体が執務に耐えられない状況がある場合の代替えの準備 ・情報共有の場として防災室に必要な物（ＰＣ、電話、無線機等）をセットする。 ・防災備蓄品（非常食、飲料水等）を何時でも取れるよう手配	総務班	Ⅳ １日
7	福岡市地域防災計画書に基づく広域避難場所の要請に対する調整	・避難者があった場合に福岡市の防災担当部署への連絡・調整 ・仮設避難所設置の場合の協定等の締結	総務班	
8	被災状況確認(巡視)	・巡視班の編制、巡視ルート等の決定 ・公園施設（パークエリア等）の巡視状況（ＶＨＦでの）の逐次把握 ・災害計画書　様式（別紙２）被害状況報告書を作成、情報連絡班に提出	対策班 ※センターと合同	Ⅳ 1時間
10	復旧方法の決定及び対策実施の仕分けの実施	・復旧について、直轄で実施するか委託管理費で実施するか作業内容及び費用の資料（積算書等）を作成したうえで仕分けする。 ・直轄となったものの場合は、11,応急対策協定業者との調整を実施	対策班	Ⅳ 3時間
11	応急対策協定業者との調整	・応急対策協定業者（日造協福岡県支部）への連絡 ・協定業者との協議書及び承諾書の取り交わし ・作業着手、作業完了予定の確認 ・作業状況の確認 ・作業完了の確認	対策班	Ⅳ 12時間
		・随意契約の入札手続き	総務班	

12	公園全体の被災状況の情報収集及び本局報告	・公園及び特定公園全てにおいての被災状況の確認及び建政部公園係への報告	情報班	Ⅲ 12時間
		・公園エリアは対策班から災害計画書様式（別紙２）被害状況報告書を受理する。		Ⅳ 1時間
		・特公エリアは各分会より災害計画書様式（別紙２　分会→支部）被害状況報告書がＦＡＸで送られてくるか、支部へ持参されてくるのでそれを元に災害計画書　様式（別紙２）被害状況報告書及び被害状況総括表を作成する。		Ⅳ 3時間
		・作成した被害状況報告書を本局公園係にＦＡＸで送信する。		Ⅲ 12時間
13	広報業務	・震度６強の地震が発生した場合は「臨時閉園等」の措置をとることになるので、記者発表資料を作成し（状況の変化にあわせて作成必要）、工務課・調品課の間のＦＡＸにより報道機関へ送信する。（送信方法は別添資料参照） ・報道機関より被害状況等の問い合わせがあった場合は、その時点で明確になっていることだけを答える。 ・相手方ややりとりについては簡単にメモを残しておく ・公園ＨＰの新着情報及び規制情報にそれぞれ「臨時閉園」をＵＰする。（ＵＰ方法は、別添資料参照）	情報班	Ⅳ 1時間～ 12時間

※「臨時閉園等」の措置とは、支部長の判断により「入園制限（発令以後の入園を止める）」か「臨時閉園」かを決定する。

※影響レベルと対応期限は、地震発生を開園時間帯と想定

３．２開園時（土・日・祝）閉園時の場合に初動参集者が行う業務

１．体制の立ち上げ

※初動参集職員（緊急出動者：下記名簿のとおり）は、地震発生より３０分程度で体制を立ち上げられるように心掛ける。

［緊急出動者］※通常の出勤用具において３０分程度で参集出来る者とする。

総務課：犬丸事務官

工務課：深浦監督官

調設課：松石調査設計係長

①事務所長及管理職へ体制確立のメール（１人目の返信を持って確認に代える）（万が一全員不通の場合は、そのまま②へ進む）
②パソコンのイントラから「防災情報システム」へ体制入力（別添１参照）
（仮にパソコンが立ち上がらなかった場合はそのまま③へ進む）
③支部体制起案書の作成
④関係機関へのＦＡＸ送信及び連絡（支部運営要領　緊急時における連絡体制表による）
⑤建政部公園係へ体制に入った事を連絡
マイクロ８９－６１７１（公園係長）ｏｒ８９ー６１７２（専門員）ｏｒ
８９－６１１５（建設専門官）
（仮に誰も出勤していない場合は、以下の携帯メールに以下の内容で送信）

【アドレス】
建設専門官（佐伯）：q.s.r-0.8.9-6.1.7.1@docomo.ne.jp
公園係長　（小宮）：q.s.r-0.8.9-6.1.7.2@docomo.ne.jp
Sub （標題）地震発生に伴う海の中道の体制確立について
TEXT（本文）
佐伯専門官　様←海中　〇〇（本人の名前）
小宮係長　様

お疲れさまです。
標記について、以下のとおり報告します。
【体制の原因】
福岡地方に震度〇の地震発生
【体制発令及び公園の状況】
非常体制（臨時閉園）
【発令時刻】
００：００
【体制者名】実際に体制に就いている人の部署と氏名
総務課：〇〇
工務課：〇〇
調設課：〇〇

２．各業務の実施フロー

別紙フロー図を参考に、状況に即して各業務を実施する。

◆業務継続について

部署名	被災からの復旧目標	一般継続重要業務 業務項目	業務停止による影響レベル 1時間	3時間	12時間	1日	3日	7日	14日	21日	1ケ月
総務課	7 日以内	会計業務(庁舎管理、物品調達)						Ⅱ			
	7 日以内	入札契約業務						Ⅱ			
	7 日以内	歳入・支払関係業務						Ⅱ			
	7 日以内	給与計算及び支払い業務						Ⅱ			
	7 日以内	被扶養者認定業務									Ⅰ
	30日以内	用地交渉業務									Ⅰ
	30日以内	不法占用是正						Ⅱ			
工務課	7 日以内	工事監督業務(維持管理関連)						Ⅱ			
	7 日以内	工事監督業務(土木関連)						Ⅱ			
	7 日以内	工事監督業務(営繕関連)						Ⅱ			
	7 日以内	工事監督業務(電気通信関連)						Ⅱ			
	30日以内	協定及び工事等にかかる事業者との連絡調整業務									Ⅰ
	7 日以内	工事の実施及び発注計画に関する業務						Ⅲ			
	30日以内	事業に要する費用の資料作成に関する業務									Ⅲ
	7 日以内	工事の設計						Ⅲ			
	7 日以内	工事の調査、統計及び報告に関する業務						Ⅱ			
	30日以内	公共工事における技術者の養成及び技術の向上にかかる業務									Ⅰ
調品課	30日以内	広報業務									Ⅰ
	1 日以内	苦情対応業務				Ⅳ					
	1時間以内	地域の災害復旧等に関連する許認可業務	Ⅴ								
	7 日以内	都市公園法に基づく一般許認可業務						Ⅱ			
	30日以内	公園計画策定業務									Ⅰ
	7 日以内	工事・業務発注手続き(品確)業務						Ⅲ			
	7 日以内	業務発注準備業務						Ⅱ			
	7 日以内	対外対応業務(事業に関するアカウンタビリティ)						Ⅲ			
	30日以内	予算管理業務									Ⅰ
	30日以内	公園関係機関との連絡調整会議実施									Ⅰ

参考資料

１．メールによる職員と家族の安否確認及び住居等の被災状況確認

【テンプレート】

〇住居損壊:

□全壊

□半壊

□一部損壊

□無し

〇家族安否:

□全員無事

□安否不明あり

□怪我人あり

□重大事象あり

〇出勤有無:

□速やかに出勤する

□怪我人の措置後出勤

□重大事象により出勤不可能

□遠方滞在中により出勤不可能

※該当する□を■にするか、該当しない物を削除するかしてください。

・把握した状況を、参集受付簿に取りまとめる。

２．携帯も含め通常通信が不可能な場合の情報伝達及び安否確認

別紙、ＮＴＴ「災害用伝言ダイヤル」により実施する。

３．職員・スタッフの参集想定

〇開園時間帯（平日）

事務所職員　　初動２０名

センタースタッフ　初動１２名、当日最終１７名（休日者の半数が出勤できず）

園内スタッフ　　初動５４名

〇開園時間帯（土・日・祝）

事務所職員　　初動　３名、当日最終１０名（半数は出勤できず）

センタースタッフ　初動１２名、当日最終１７名（休日者の半数が出勤できず）

園内スタッフ　　５４名

〇閉園時間帯

事務所職員　　初動　３名、開園３時間前１０名、当日最終２０名

センタースタッフ　初動　３名、開園３時間前１７名、

園内スタッフ　　※防災体制には組み込まない

管理運営委員会設置規約（案）

第　１条　趣旨

本規約は、「管理運営委員会」（以下「委員会」という。）の設置について必要な事項を定めるものである。

第　２条　目的

委員会は、海の中道海浜公園において公園施設の管理運営を円滑に行い、適正な公園の利用促進を図ることを目的とする。（もっぱら公園管理者の権限に属する事項は除く。）

第　３条　委員

委員は海の中道海浜公園の管理運営に従事する各組織の長とし下記のとおりとする。

九州地方整備局　国営海の中道海浜公園事務所	所長
（独）都市再生機構　九州支社九州公園事務所	所長
海の中道管理センター	センター長
（株）Ｆ・Ｊホテルズ　海の中道マリーナ＆テニス	支配人
（株）海の中道海洋生態科学館	代表取締役社長
（株）ﾌﾟﾗﾝ・ﾄﾞｩ・ｼｰ・福岡　ｻﾞ・ﾙｲｶﾞﾝｽﾞ.	ｾﾞﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ
海の中道　青少年海の家	館長
泉陽興業（株）海の中道営業所	所長
西日本パブリック（株）	営業推進部長
海の中道管理センター	収益担当課長

第　４条　委員長

１　委員長は九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所長とする。

２　委員長は委員会の円滑な運営と進行を総括する。

第　５条　議事

委員会における議事内容については下記のとおりとする。

・幹事会、利用促進部会、サービス向上部会、施設管理保全部会の報告及び協議事項の承認

・各機関の実績報告、提案

・その他検討事項

第　６条　開催日

毎月第１水曜日及び第４水曜日開催を基本とする。

第　７条　事務局

１　事務局は、九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所調査設計課に置く。

２　事務局は各機関より提出される資料を取りまとめ、委員会に提出する。

第　８条　管理運営幹事会

１　管理運営幹事会（以下「幹事会」という。）は各機関の実務担当者で組織し、情報の共有化を図ると共に、委員会に提出する議題（報告、提案など）を活発に議論し、問題点の抽出や具体化案の検討を行い、委員会に諮るものとする。また、委員会より諮問が有った場合は検討し回答する。

2　幹事会は下記のメンバーで構成するものとするが、議題によっては必要な者が適宜出席出来るものとする。

九州地方整備局　国営海の中道海浜公園事務所	総務課長
九州地方整備局　国営海の中道海浜公園事務所	工務課長
九州地方整備局　国営海の中道海浜公園事務所	調査設計課長
（独）都市再生機構　九州支社九州公園事務所	総務課長
（独）都市再生機構　九州支社九州公園事務所	工務第一課長
（独）都市再生機構　九州支社九州公園事務所	工務第二課長
海の中道管理センター	総務を担当する課長
海の中道管理センター	企画・広報を担当する課長
海の中道管理センター	植物を担当する課長
海の中道管理センター	施設・設備を担当する課長
海の中道管理センター	動物を担当する課長
海の中道管理センター	収益施設等を担当する課長
（株）Ｆ・Ｊホテルズ　海の中道マリーナ&テニス	支配人
（株）海の中道海洋生態科学館	営業本部長
（株）ﾌﾟﾗﾝ・ﾄﾞｩ・ｼｰ・福岡　ｻﾞ・ﾙｲｶﾞﾝｽﾞ.	ｾｰﾙｽﾏﾈｰｼﾞｬｰ
海の中道　青少年海の家	運営係長
泉陽興業（株）海の中道営業所	所長
西日本パブリック（株）	業務部長代理

3　代表幹事は九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所調査設計課長とする。

4　開催日は毎月第３水曜日を基本とするが、代表幹事が必要と認めた場合は適宜開催することとする。

第　９条　利用促進部会

1　利用促進部会は各機関の広報担当者で組織し、海の中道海浜公園における広報や催事についての情報を共有化し、効率的かつ効果的な広報を検討し公園の利用促進及び公園事業の啓発普及を図ることを目的とする。

2　利用促進部会は広報及び催事等利用促進に関する事項を討議し決定する。

なお、討議内容及び決定事項は委員会に報告するものとし、必要に応じ幹事会と協議、調整を図るものとする。なお、委員会より諮問が有った場合は検討し回答する。

3　利用促進部会は下記のメンバーで構成する。

九州地方整備局　国営海の中道海浜公園事務所	管理係長
（独）都市再生機構　九州支社九州公園事務所	総務課長
海の中道管理センター	企画・広報を担当する課長
海の中道管理センター	広報を担当する係長
海の中道管理センター	企画を担当する係長
海の中道管理センター	収益施設等を担当する係長
（株）Ｆ・Ｊホテルズ　レジャー事業部	主任
（株）海の中道海洋生態科学館	営業課長
（株）ﾌﾟﾗﾝ・ﾄﾞｩ・ｼｰ・福岡　ｻﾞ・ﾙｲｶﾞﾝｽﾞ.	ｾｰﾙｽﾏﾈｰｼﾞｬｰ
海の中道　青少年海の家	運営係担当
泉陽興業（株）海の中道営業所	所長
西日本パブリック（株）	業務課長代理

4　利用促進部会長は九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所管理係長とする。

５　開催日は毎月第２水曜日を基本とするが、利用促進部会長が必要と認めた場合は適宜開催することとする。

第１０条　サービス向上部会

１　サービス向上部会は公園に配置されたスタッフのサービス（接遇面）をより充実させることにより、利用者の満足度の増進と公園全体の印象を向上させ、公園需要への対応等を一層的確に行うことを目的とする。

２　公園全体の統一テーマや各機関職場単位の目標テーマを定め、達成状況や課題等を整理し、委員会へ報告するとともに、委員会において取り組み状況を評価し、必要なものは改善等行い、サービスの向上・充実を図る。

３　サービス向上部会は下記のメンバーで構成する。

九州地方整備局　国営海の中道海浜公園事務所	総務課長
九州地方整備局　国営海の中道海浜公園事務所	総務係長
（独）都市再生機構　九州支社九州公園事務所	総務課長
海の中道管理センター	総務を担当する課長
海の中道管理センター	総務を担当する係長
（株）Ｆ・Ｊホテルズ　レジャー事業部	主任
（株）海の中道海洋生態科学館	営業課長
（株）ﾌﾟﾗﾝ・ﾄﾞｩ・ｼｰ・福岡　ｻﾞ・ﾙｲｶﾞﾝｽﾞ.	ﾀﾞｲﾆﾝｸﾞﾏﾈｰｼﾞｬｰ
海の中道　青少年海の家	主査
海の中道　青少年海の家	運営係担当
泉陽興業（株）海の中道営業所	所長
西日本パブリック（株）	課長代理

４　サービス向上部会長は九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所総務課長とする。

５　開催日は毎月第２水曜日を基本とするが、サービス向上部会長が必要と認めた場合は適宜開催することとする。

第１１条　施設管理保全部会

１　施設管理保全部会は、公園内の施設における「点検の手法」、「機能補修・更新計画の立案」等、公園全体で統一的に行動目標を定め、委員会に提案していき、公園管理の明確化及び調整を行い運営の向上を図るものである。

２　施設管理保全部会は下記のメンバーで構成するが、必要に応じて必要な者が適宜出席出来るものとする。

九州地方整備局　国営海の中道海浜公園事務所	工務課長
九州地方整備局　国営海の中道海浜公園事務所	建設監督官（土木）
九州地方整備局　国営海の中道海浜公園事務所	建設監督官（営繕）
九州地方整備局　国営海の中道海浜公園事務所	工務係長
（独）都市再生機構　九州支社九州公園事務所	工務第一課長
海の中道管理センター	施設・設備を担当する課長
海の中道管理センター	施設・設備を担当する係長
海の中道管理センター	植物を担当する課長
海の中道管理センター	植物を担当する係長
（株）Ｆ・Ｊホテルズ　レジャー事業部	主任
（株）海の中道海洋生態科学館	施設管理本部長
	西鉄ﾋﾞﾙﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ所長

海の中道　青少年海の家	運営係長
海の中道　青少年海の家	運営係担当
泉陽興業（株）海の中道営業所	所長
泉陽興業（株）海の中道営業所	保守管理主任
（株）ﾌﾟﾗﾝ・ﾄﾞｩ・ｼｰ・福岡　ｻﾞ・ﾙｲｶﾞﾝｽﾞ.	管理担当
西日本パブリック（株）	業務課長代理（遊戯）

３　施設管理保全部会長は九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所工務課長とする。

４　開催日は毎月第２水曜日を基本とするが、施設管理保全部会長が必要と認めた場合は適宜開催することとする。

第１２条　環境部会

１　環境部会は、昨今の環境意識の高まりの中、国営公園が環境保全、生態系保全及び循環型社会の構築など環境共生を積極的かつ率先して取り組んでいくため、公園における環境共生を実施するための計画の策定、実施及び実施状況の検証を行い、公園全体の環境意識の向上を図るものである。

２　環境部会は下記のメンバーで構成するが、必要な者が適宜出席できるものとする。

九州地方整備局　国営海の中道海浜公園事務所	調査設計係長
（独）都市再生機構　九州支社九州公園事務所	工務第一課長
海の中道管理センター	環境共生を担当する係長
（株）Ｆ・Ｊホテルズ	主任
（株）海の中道海洋生態科学館	施設本部長
海の中道　青少年海の家	運営係担当
泉陽興業（株）海の中道営業所	所長
（株）ﾌﾟﾗﾝ・ﾄﾞｩ・ｼｰ・福岡　ｻﾞ・ﾙｲｶﾞﾝｽﾞ.	管理担当
西日本パブリック（株）	業務課長代理（遊戯）

３　環境部会長は九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所調査設計係長とする。

４　開催日は毎月第２水曜日を基本とするが、環境部会長が必要と認めた場合は適宜開催することとする。

第１３条　雑則

この規約に定めるもののほか、委員会運営に関して必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

第１４条　この規約は、2010年6月30日から施行する。

別添７

提　供　建　物　一　覧　表

公園施設名	建物番号	用途	構造	単位	数量	面積（㎡）	摘要
管理施設	21	管理センター（庁舎）	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	1503.00	
管理施設	23	車庫	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	108.70	
管理施設	62	車庫	プレハブ	棟	1	33.10	
管理施設	102	車庫	鉄筋コンクリート	棟	1	82.00	
管理施設	32	焼却場	鉄筋コンクリート	棟	1	104.45	
管理施設	104	焼却場	鉄筋コンクリート	棟	1	246.16	
管理施設	10	西口管理棟	鉄筋コンクリート	棟	1	227.34	
管理施設	28-2	動物の森管理棟	鉄筋コンクリート	棟	1	71.19	
管理施設	69	動物の森治療棟	鉄筋コンクリート	棟	1	31.50	
管理施設	34	動物の森レストハウス	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	108.00	
管理施設	61	子供の広場管理棟	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	91.76	
管理施設	70	倉庫	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	267.38	
管理施設	81	海の中道駅口管理棟	木造	棟	1（一部）	48.00	
管理施設	111	観覧車口管理棟	木造	棟	1（一部）	97.02	
管理施設	114	子供の広場総合案内所	鉄筋コンクリート	棟	1	106.62	
管理施設	127	いこいの森ビジターセンター	木造	棟	1	676.43	
管理施設	135	光と風の広場管理棟	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	324.43	
管理施設	135	光と風の広場レクチャー室	鉄筋コンクリート	棟	1（一部）	105.00	
管理施設	139	カモ池口管理棟	木造	棟	1（一部）	14.58	
管理施設	121	焼却炉棟	鉄骨造	棟	1	532.00	
管理施設	122	仮置場棟	鉄骨造	棟	1	198.00	
管理施設	159	ドッグラン管理棟	木造	棟	1	44.70	
管理施設		環境共生の森活動拠点施設	鉄骨造	棟	1	173.10	
管理施設		動物の森隔離舎	鉄筋コンクリート	棟	1	498.80	

別添８

提　供　機　械　器　具　一　覧　表

（１／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
自動券売機（1号機）	ＢＭＩ-5-4	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（2号機）	ＢＭＩＥ-1-3	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（3号機）	ＢＭＩＥ-1-3	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（4号機）	ＢＭＩＥ-2-7Ａ	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（5号機）	ＢＭＩ-5-4	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（6号機）	ＢＭＩ-5-4	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（7号機）	ＢＭＩ-5-4	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（8号機）	ＢＭＩ-5-4	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（9号機）	ＢＭＩＥ-2-7Ａ	個	1	H25.4.1　～
自動券売機（10号機）	ＢＭＩ-5-4	個	1	H25.4.1　～
自動券売機	ＰＭＫＢ-10Ｆ	個	1	H25.4.1　～
イスズ散水車	福岡88　せ17-18	個	1	H25.4.1　～
三菱２tﾄﾗｯｸ（ｸﾚｰﾝ付）	福岡100　さ33-76	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ｽｽﾞｷLet'sⅡ）	福岡市東あ362	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ｽｽﾞｷLet'sⅡ）	福岡市東あ364	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ｽｽﾞｷLet'sⅡ）	福岡市東あ367	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ｽｽﾞｷMOLLeT）	福岡市東あ401	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ｽｽﾞｷMOLLeT）	福岡市東あ402	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ｽｽﾞｷMOLLeT）	福岡市東あ410	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ﾎﾝﾀﾞＧａｎｏｐｙ）	福岡市東は4473	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ﾎﾝﾀﾞＴｏday）	福岡市東は4474	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ﾎﾝﾀﾞＴｏday）	福岡市東は4475	個	1	H25.4.1　～
原動機付自転車（ﾎﾝﾀﾞＴｏday）	福岡市東は4476	個	1	H25.4.1　～
ホイルローダ	ＺＷ40	個	1	H25.4.1　～
裁断機（ｶｯﾃｨﾝｸﾞﾌﾟﾛｯﾀ）	ＰＳＮ-1200	個	1	H25.4.1　～
映像装置（小動物用X線装置）	VPX-10A	個	1	H25.4.1　～
せん孔機（ﾃﾞｼﾞﾀﾙ彫刻機）	ME-300	個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
硬貨計数機	ﾛｰﾚﾙUMS-10	個	2	H25.4.1　～
硬貨計数機（硬貨選別収納機）	ﾛｰﾚﾙLHS-1002	個	1	H25.4.1　～
いす	ｳﾁﾀﾞﾊｲﾊﾞｯｸ	個	2	H25.4.1　～
いす		個	11	H25.4.1　～
いす	木製ﾍﾞﾝﾁW1480*D1480*H398	個	3	H25.4.1　～
いす	木製ﾍﾞﾝﾁL1290*H830	個	1	H25.4.1　～
片袖机		個	2	H25.4.1　～
いす	長型	個	3	H25.4.1　～
いす（ﾛﾋﾞｰ用）	3連式	個	2	H25.4.1　～
雑印刷機（ラミネータ）	LPV6507	個	1	H25.4.1　～
ｲﾒｰｼﾞｽｷｬﾅ	ｴﾌﾟｿﾝ　GT9000	個	1	H25.4.1　～
雑医療器具	車椅子	個	12	H25.4.1　～
雑車	車椅子	個	10	H25.4.1　～
雑医療器具	人口蘇生機	個	1	H25.4.1　～
雑医療器具	診察台	個	1	H25.4.1　～
雑医療器具	余剰ｶﾞｽ排除装置	個	1	H25.4.1　～
雑医療器具	自動体外式除細動器	個	1	H25.4.1　～
キャリングケース	自動体外式除細動器用	個	1	H25.4.1　～
車椅子	自操式	個	8	H25.4.1　～
電動車椅子	ﾔﾏﾊﾒｲﾄ	個	5	H25.4.1　～
電動車椅子	ﾔﾏﾊﾒｲﾄ	個	3	H25.4.1　～
電動車椅子	介護者兼用	個	4	H25.4.1　～
保育器（インキュベーター）	ｷｬｽﾀｰ付架台付	個	1	H25.4.1　～
ラジオカセット	technics RS-TR4750	個	1	H25.4.1　～
テレビ	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸTH-14RF2	個	1	H25.4.1　～
テレビ	東芝15ZR5	個	2	H25.4.1　～
テレビ（32型）	CT90070	個	1	H25.4.1　～
テレビ（32型）	ﾋﾞｸﾀｰ　1500i	個	1	H25.4.1　～
レシーバー	パナソニック	個	1	H25.4.1　～
ビデオデッキ（BS内臓）	東芝RM-B11	個	1	H25.4.1　～
ビデオデッキ（DVD・VHS一体型）	ﾋﾞｸﾀｰ　HR-DS1	個	1	H25.4.1　～
アンプ	ﾗﾑｻﾞ　WP9100	個	1	H25.4.1　～
アンプ	UNI-PEX	個	1	H25.4.1　～
ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ	ﾕﾆﾍﾟｯｸｽ	個	3	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ		個	2	H25.4.1　～
スピーカー		個	2	H25.4.1　～
スピーカースタンド		本	2	H25.4.1　～
ﾐｷｻｰ	ﾗﾑｻﾞ　WR-XO2	個	1	H25.4.1　～
MDﾌﾟﾚｰﾔｰ	SONY　MD　DECK　MDS-D500	個	1	H25.4.1　～
ＤＶＤレコーダー	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸＤＭＲ-200Ｈ	個	1	H25.4.1　～
ＤＶＤレコーダー	三菱ＤＶＲ-ＨＳ315	個	1	H25.4.1　～
ＤＶＤレコーダー	東芝ＲＤ-ＸＹ44	個	1	H25.4.1　～
雑誌架		個	4	H25.4.1　～
テレビ	SONY　RM-J186	個	1	H25.4.1　～
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ	ｷｬﾉﾝ　IXY	個	4	H25.4.1　～
空気清浄器	ﾅｼｮﾅﾙ　F-10F2	個	1	H25.4.1　～
雑計算機（紙幣対応）	ﾛｰﾚﾙＦ1000	個	1	H25.4.1　～
雑計算機	ｶｼｵﾚｼﾞｽﾀｰ　DL-1837	個	2	H25.4.1　～
万力（卓上型）		個	10	H25.4.1　～
万力		個	4	H25.4.1　～
かんな	HL-6A	個	1	H25.4.1　～
雑工具	小型ﾊﾞﾝﾄﾞｿｰ2114C	個	1	H25.4.1　～
雑工作機器	ﾍﾞﾙﾄｻﾝﾀﾞ	個	2	H25.4.1　～
雑工作機器	電動水砥ぎ機RS205A	個	1	H25.4.1　～
雑工作機器	変速ｼﾞｸﾞｿｰJ-65V	個	1	H25.4.1　～
雑工作機器	糸鋸盤　AF2	個	5	H25.4.1　～
雑工作機器	卓上帯鋸盤Cut-350	個	2	H25.4.1　～
雑工作機器	木工小型集じん機410	個	1	H25.4.1　～
食器棚	900*440*1800	個	2	H25.4.1　～
書架		個	1	H25.4.1　～
雑誌架		個	1	H25.4.1　～
雑誌架		個	2	H25.4.1　～
雑棚（薬品棚）	ｳﾁﾀﾞ	個	1	H25.4.1　～
雑棚（展示ﾎｰﾙ）		個	3	H25.4.1　～
台車	ＤＬＡ-ＤＩＡ	個	1	H25.4.1　～
リヤカー（積載荷重100kg）		個	2	H25.4.1　～
リヤカー（折りたたみ式）		個	1	H25.4.1　～
寝台		個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（４／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
望遠鏡	GEOMA-80-A	個	4	H25.4.1　～
レンズ	18-55㎜	個	1	H25.4.1　～
レンズ	55-200㎜	個	1	H25.4.1　～
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ（一眼ﾚﾌ）	CANON DIGITAL X	個	1	H25.4.1　～
デジタルビデオカメラ	ｿﾆｰＤＣＲ-ＤＶＤ403	個	1	H25.4.1　～
書庫	ＵＨ-Ｓ11Ｆ1	個	9	H25.4.1　～
掃除機（集じん機）	SMV-101ATLⅡ	個	2	H25.4.1　～
掃除機	東芝VCS960	個	1	H25.4.1　～
ゴミ収集箱	缶瓶・普通ゴミ用	個	2	H25.4.1　～
洗濯機（全自動7kg）		個	2	H25.4.1　～
洗濯機（全自動5kg）		個	1	H25.4.1　～
衣類乾燥機（6kgﾕﾆｯﾄ台付）		個	2	H25.4.1　～
衣類乾燥機（4kgﾕﾆｯﾄ台付）		個	1	H25.4.1　～
測定記録機	ｾｲｺｰｽﾎﾟｰﾂﾌﾟﾘﾝﾀｰCT-1000	個	1	H25.4.1　～
漏水感知器	NJK-180A	個	1	H25.4.1　～
フラワーポット	丸形100*90*81	個	6	H25.4.1　～
雑医療器具	介護箱（保育付）	個	1	H25.4.1　～
フラワーポット	角形43*99*39	個	3	H25.4.1　～
フラワーポット	壺φ45*H70	個	2	H25.4.1　～
フラワーポット	壺φ65*H70	個	2	H25.4.1　～
フラワーポット	壺φ50*H60	個	2	H25.4.1　～
フラワーポット	壺φ40*H50	個	2	H25.4.1　～
フラワーポット	角形65*55*62	個	4	H25.4.1　～
雑ﾚｸﾘｰｪｰｼｮﾝ用具	ｻｯｶｰｺﾞｰﾙ	個	2	H25.4.1　～
雑ﾚｸﾘｰｪｰｼｮﾝ用具	ﾃﾞｨｽｸｺﾞﾙﾌｺﾞｰﾙ	個	18	H25.4.1　～
雑ﾚｸﾘｰｪｰｼｮﾝ用具	特大ｼﾞｬﾝﾎﾞﾎﾞｰﾙ	個	6	H25.4.1　～
雑ﾚｸﾘｰｪｰｼｮﾝ用具	多目的ｻｰｸﾙ	個	3	H25.4.1　～
冷蔵庫	東芝ＧＲ-ＨＢ30Ａ	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	ﾅｼｮﾅﾙＮＲ-Ｂ13Ｔ3	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	ﾅｼｮﾅﾙＮＲ-Ｆ46Ｋ2-Ｈ	個	1	H25.4.1　～
両袖机		個	5	H25.4.1　～
片袖机	W-148	個	20	H25.4.1　～
机（平）		個	20	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
机（平）	W3200*D1600*H700	個	1	H25.4.1　～
丸机		個	2	H25.4.1　～
机（会議用）	1800*600	個	23	H25.4.1　～
演卓		個	1	H25.4.1　～
ワゴン（机用）	W400*D600*H610	個	4	H25.4.1　～
無線電話装置（携帯用）	NBB-465	個	6	H25.4.1　～
無線電話装置（車載用）	ﾊﾞﾈｯﾄ、ｱｲｼｽ	個	2	H25.4.1　～
衝立	2連	個	1	H25.4.1　～
衝立	3連	個	1	H25.4.1　～
雑台	おむつ交換用	個	1	H25.4.1　～
テレビ台（木製、棚板4枚）	ﾜｶﾂｷ製	個	1	H25.4.1　～
発電機	HONDA inverterEU24i	個	2	H25.4.1　～
タイマー	ｾｲｺｰｽﾎﾟｰﾂﾀｲﾏｰ	個	2	H25.4.1　～
テント	折りたたみ式	枚	3	H25.4.1　～
テント	3.5m×4.5m	枚	3	H25.4.1　～
担架	四つ折	個	1	H25.4.1　～
キャビネット	A41列2段	個	2	H25.4.1　～
キャビネット	コクヨ1列2段	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	3人用	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	1人用	個	1	H25.4.1　～
保管庫（中軽量ｵｰﾌﾟﾝ型）	ｺｸﾖＪＯＩＥＡ606	個	4	H25.4.1　～
ぬいぐるみ		個	1	H25.4.1　～
いす	ｳﾁﾀﾞ　Ｊ Ａ-10	個	2	H25.4.1　～
いす	ロビー用	個	16	H25.4.1　～
自動体外式除細動器（ｹｰｽ付）		個	2	H25.4.1　～
自動うがい機	ｱﾙﾎｰｽＧＬ型	個	1	H25.4.1　～
雑衛生機器	自動手指消毒器	個	4	H25.4.1　～
雑計算機	ＤＣ-8	個	2	H25.4.1　～
雑計算機（紙幣対応）	ﾛｰﾚﾙＦ-1500Ｂ	個	1	H25.4.1　～
雑計算機	ﾛｰﾚﾙＬＣＳ10	個	1	H25.4.1　～
雑計算機（硬貨選別機）	ﾛｰﾚﾙＬＣＳ10	個	2	H25.4.1　～
紙幣計算機	ﾛｰﾚﾙＮＣ-1500	個	3	H25.4.1　～
書庫		個	1	H25.4.1　～
雑机		個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（６／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
雑ついたて	PP-E1215	個	4	H25.4.1　～
鋼製保管庫	3×3　引き違い	個	1	H25.4.1　～
担架	処置車	個	1	H25.4.1　～
金庫	片開き	個	1	H25.4.1　～
はかり	上皿天秤	個	1	H25.4.1　～
キャビネット	２列１８段	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	３人用	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	檻（ﾓﾝｷｰｹﾞｰｼﾞ	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	動物用産科器具（黒沢式	個	1	H25.4.1　～
テスター	３２０１－０１（回路計	個	1	H25.4.1　～
顕微鏡	ｵﾘﾝﾊﾟｽ左眼BHF323	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	18角ｶｽﾄ付・EAC2300	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	油圧式手術台（PX型	個	1	H25.4.1　～
雑鞄	医療バック	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	血球計算盤（ﾉｲﾊﾞｳｴﾙ検付	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	バリカン（羊用	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	処置台(2枚用・消毒盤台	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	殺菌保管庫（15W	個	1	H25.4.1　～
透写台	2×3	個	1	H25.4.1　～
雑医療器具	診察台	個	1	H25.4.1　～
サイドワゴン	器械台・手すり付	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	プランター（ｷﾝｸﾞ	個	4	H25.4.1　～
図書	野生動物の獣医学	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	インキュベーター(WE555	個	1	H25.4.1　～
漏水感知器	記録器・8204-20	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	白血球分類器(12基	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫	６×３・ﾌﾟﾗｽSG503R	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫	６×３・ﾌﾟﾗｽSS503R	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫	引出式・ﾌﾟﾗｽB5-4	個	1	H25.4.1　～
ジュラルミンケース	A型・450×383×215	個	1	H25.4.1　～
統計表示板	公園者用	個	1	H25.4.1　～
図書	世界の哺乳類　１・２巻	個	1	H25.4.1　～
下駄箱	６人用（ナイキ	個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（７／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
下駄箱	１２人用（ナイキ	個	1	H25.4.1　～
陳列ケース	カウンターケース	個	2	H25.4.1　～
陳列ケース	傾斜ケース	個	1	H25.4.1　～
陳列ケース	傾斜ケース	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品（うさぎ固定器）	押田式・KN-317B	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	吸入器（シニック	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	解剖台（ステンレス製	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	プランター(ｷﾝｸﾞ・1600AW	個	4	H25.4.1　～
公園管理用品	プランター(ｷﾝｸﾞ・1200AW	個	6	H25.4.1　～
プラニメーター	ｳﾁﾀﾞ・NOKP9015	個	1	H25.4.1　～
金庫	片開き(ｲﾄｰNO503	個	1	H25.4.1　～
ついたて	鋼製(KP-54	個	2	H25.4.1　～
陳列ケース	傾斜・180×50×120	個	2	H25.4.1　～
鋼製保管庫	ｳﾁﾀﾞ3×3	個	1	H25.4.1　～
顕微鏡用写真撮影装置(ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰｾｯﾄ	ｵﾘﾝﾊﾟｽｶﾒﾗﾚﾝｽﾞ付	個	1	H25.4.1　～
サイドワゴン	回診車(PI-58	個	1	H25.4.1　～
煮沸消毒器	KM-86-1	個	1	H25.4.1　～
雑医療器具	診察台(KC-230	個	1	H25.4.1　～
寝台	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾍﾞｯﾄﾞ・BC-105N	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品(ｳｴｽﾀﾝ鞍	鞍（ﾎﾟﾆｰ用	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	剥製（フラミンゴ）	個	1	H25.4.1　～
机（OA用）（ワープロデスク	WP-30	個	1	H25.4.1　～
キャビネット（ファイリング	１列４段(ｷﾊﾗNO4614	個	1	H25.4.1　～
パネル(ｳﾞｧﾝﾃｱﾝ	ｼﾙﾊﾞｰｸﾞﾚｰ・900×1800	個	7	H25.4.1　～
鋼製保管庫	６×３　引違いガラス	個	1	H25.4.1　～
机（会議用）（卓子	ITO・SF-2T	個	14	H25.4.1　～
鋼製保管庫（引違い	６×３(ｽﾁｰﾙ戸・300-0400	個	1	H25.4.1　～
図書	原色花き園芸大辞典	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	孵卵器(P-1008	個	1	H25.4.1　～
ホワイトボード	1200×1250	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	ホールカッター(ﾊﾟｰｴｰﾄﾞ	個	1	H25.4.1　～
リヤカー	4尺大型	個	3	H25.4.1　～
図書	造園学雑誌	個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（８／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
望遠レンズ	ﾆｺﾝAF300mmf4ED	個	1	H25.4.1　～
金庫(片開き	耐火庫・くまひらRX-63D	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品（プールクリーナー	ﾐﾔｶﾜ式2型	個	1	H25.4.1　～
血圧計	HEM802F	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	電気入れ墨器(ｽﾎﾟﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ	個	1	H25.4.1　～
入札箱	ｱｸﾘﾙ製	個	1	H25.4.1　～
机（両袖）	両袖2号・E-2	個	1	H25.4.1　～
雑印字器具(ナンバリング	ﾗｲｵﾝ・M-32D	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	バリカン（羊用	個	1	H25.4.1　～
図書	ばら・花図鑑	個	1	H25.4.1　～
ファンヒーター（石油	ﾅｼｮﾅﾙ・OH-30A	個	1	H25.4.1　～
ルームエアコン（ｸｰﾗｰ	三菱重工・SRK-182	個	1	H25.4.1　～
ファンヒーター（石油	ﾅｼｮﾅﾙ・OH-30A	個	1	H25.4.1　～
電動ドリル	ゼノアオーガ(WAG431	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(両開き	３×３(ｺｸﾖSD-3325AY	個	1	H25.4.1　～
下駄箱	６人用(ｺｸﾖSL-6AY	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	３人用(ｺｸﾖLK-3AY	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	薬品庫(335-210G・ｹﾆｽG型	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(引違いガラス	上置TC-6GT	個	2	H25.4.1　～
ロッカー	２人用(ﾗｲｵﾝ・721V	個	1	H25.4.1　～
雑台	ファクシミリ台(FS-10	個	1	H25.4.1　～
陳列ケース	ｱﾙﾐ・ﾊｲｹｰｽ木目調	個	2	H25.4.1　～
動物管理用品	インキュベーター(卓上型	個	1	H25.4.1　～
はしご	ｱﾙﾐ梯子	個	1	H25.4.1　～
机（両袖）	両袖・ｲﾅﾊﾞE-2号	個	2	H25.4.1　～
いす（肘付回転）	肘付・ﾄﾖ1-3384V	個	3	H25.4.1　～
鋼製保管庫(引違いガラス	ｺｸﾖS-615-G	個	1	H25.4.1　～
図面保管庫(丸筒	ﾗｲｵﾝVAO-75	個	1	H25.4.1　～
ビデオカメラ(８ミリ	SONNY・CCD-TR205	個	1	H25.4.1　～
噴霧器	ﾅｼｮﾅﾙMS-4	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	輸液加湿器	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(引違いガラス	３×６(ｳﾁﾀﾞ260-4572	個	2	H25.4.1　～
鋼製保管庫(片開き	ｳﾁﾀﾞ260-4530	個	1	H25.4.1　～
机（作業用）	ｳﾁﾀﾞ383-8185	個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（９／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
鋼製保管庫(引違い	TC-69-L13	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品（野菜切り器	VA20・100V	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	ｼｬｰﾌﾟ ST-320-VE	個	1	H25.4.1　～
PH残留塩素計	プルポン	個	1	H25.4.1　～
マイクロレンズ	60㎜・ﾏｲｸﾛAF	個	1	H25.4.1　～
いす	ｳﾁﾀﾞ T-18	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	３人用(3連2号	個	2	H25.4.1　～
鋼製保管庫（引違いガラス	６×３	個	1	H25.4.1　～
キャビネット	B4・3列10段・21M-565D	個	1	H25.4.1　～
自記温度湿度計	ｼｸﾞﾏ・ﾐﾆｷｭｰﾌﾞ	個	2	H25.4.1　～
動物管理用品	バリカン(羊用	個	1	H25.4.1　～
いす	小型回転(ﾗｲｵﾝSC-222	個	2	H25.4.1　～
机（会議用）	ﾗｲｵﾝ493-29	個	1	H25.4.1　～
机（会議用）	ﾗｲｵﾝ493-29・vt1875	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	剥製（マナヅル）	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	電気焼灼器	個	1	H25.4.1　～
机（片袖）	ｺｸﾖSD-BS1171F	個	3	H25.4.1　～
図面保管庫	ﾗｲｵﾝAO-5F	個	1	H25.4.1　～
雑誌架(ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄｽﾀﾝﾄﾞ	750×1600×300	個	4	H25.4.1　～
雑誌架(ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｽﾀﾝﾄﾞ	800×800×600	個	4	H25.4.1　～
雑誌架(ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄｽﾀﾝﾄﾞ	750×1000×300	個	1	H25.4.1　～
ゴミ収集箱	ﾘｻｲｸﾙﾊｳｽ101号・ｶﾝ太	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	３人用(3連2号・303-3432	個	1	H25.4.1　～
机（作業用）	ｳﾁﾀﾞ 378-2260	個	1	H25.4.1　～
机（わき）	ｳﾁﾀﾞ 378-2203	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	東芝GR-A15AH	個	1	H25.4.1　～
イオンメーター	TI-5120	個	1	H25.4.1　～
水位計	ロープ式	個	1	H25.4.1　～
噴霧器	日立・BS-2100	個	1	H25.4.1　～
テレビ(ｶﾗｰ	ﾅｼｮﾅﾙTH24WG20	個	1	H25.4.1　～
ビデオデッキ(BS付	ﾅｼｮﾅﾙNH-HB40	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	東芝GR-K15AT	個	1	H25.4.1　～
テント	ﾛｲﾔﾙﾊﾟﾜｰﾃﾝﾄ（文字入り	個	3	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（１０／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
テント	ﾛｲﾔﾙﾊﾟﾜｰﾃﾝﾄ(文字入り	個	2	H25.4.1　～
雑ついたて(ﾛｰﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	ｳﾁﾀﾞS-1375C	個	6	H25.4.1　～
雑ついたて(ﾛｰﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	ｳﾁﾀﾞS-130SC	個	9	H25.4.1　～
鋼製保管庫(両開き	ｳﾁﾀﾞT-10D	個	2	H25.4.1　～
鋼製保管庫(引出式	ｳﾁﾀﾞLA-10	個	2	H25.4.1　～
机（両袖）	ｳﾁﾀﾞ188B型	個	1	H25.4.1　～
机（両袖）	ｳﾁﾀﾞGX-L	個	1	H25.4.1　～
いす（肘付回転）	ｳﾁﾀﾞED-563	個	1	H25.4.1　～
雑誌架(ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄｽﾀﾝﾄﾞ	ｺｸﾖZR-DS184	個	1	H25.4.1　～
手指消毒器	ｻﾗﾔHC-210C	個	2	H25.4.1　～
雑誌架(ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄｽﾀﾝﾄﾞ	ｺｸﾖZR-DS185	個	1	H25.4.1　～
百葉箱	単葉・片流れ・壁掛け式	個	1	H25.4.1　～
顕微鏡	ﾆｺﾝﾌｧｰﾌﾞﾙ	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(両開き	ｳﾁﾀﾞT-10D	個	4	H25.4.1　～
いす（肘付回転）	ｳﾁﾀﾞJF260・202-3704	個	7	H25.4.1　～
机（両袖）	ｳﾁﾀﾞS-168・505-0168	個	2	H25.4.1　～
冷蔵庫	ﾅｼｮﾅﾙNR-B17T	個	1	H25.4.1　～
拡大鏡(ﾙｰﾍﾟ	ﾛｰﾃﾞﾝｽﾄｯｸﾙｰﾍﾟ・3X	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品	鞍	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(両開き	ｳﾁﾀﾞT-10D	個	8	H25.4.1　～
テント(文字入り	ﾛｲﾔﾙﾊﾟﾜｰﾃﾝﾄ・2K×2K	個	2	H25.4.1　～
テント(文字入り	2K×4K	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(ﾋﾞｼﾞﾈｽﾕﾆｯﾄ・引違い	ｺｸﾖBWW-N5F1	個	12	H25.4.1　～
鋼製保管庫(ﾋﾞｼﾞﾈｽﾜｰﾙA型・引違い	ｺｸﾖBWA-H09F1N	個	2	H25.4.1　～
机（両袖）	ｳﾁﾀﾞS-168・505-0168	個	1	H25.4.1　～
動物管理用品(電気メス	ｼﾙﾊﾞｰﾒﾃﾞｨｶﾙSL-1PR	個	1	H25.4.1　～
PH残留塩素計	ﾌﾟﾛﾎﾟﾝ	個	1	H25.4.1　～
炊飯器	ﾀｲｶﾞｰJNO-A360	個	1	H25.4.1　～
加湿器	ﾅｼｮﾅﾙFE14KFS	個	2	H25.4.1　～
ワゴン	ｳﾁﾀﾞWJ-4S	個	20	H25.4.1　～
ワゴン(PC	ｳﾁﾀﾞ2型	個	12	H25.4.1　～
ワゴン(PC	ｳﾁﾀﾞ2S型	個	14	H25.4.1　～
机（片袖）	机（片袖）W-168	個	1	H25.4.1　～
机（片袖）	机（片袖）W-148	個	2	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（１１／１４）

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
アンプ(PAｾｯﾄ1式	UNI-PEX	個	1	H25.4.1　～
鋼製保管庫(両開き	ｳﾁﾀﾞT-10	個	2	H25.4.1　～
冷蔵庫	富士通ER-L22E	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	富士通ER-L22E-V	個	1	H25.4.1　～
物品保管庫	ﾗﾊﾞｰﾒｲﾄﾞRMH-3746	個	1	H25.4.1　～
物品保管庫	ﾗﾊﾞｰﾒｲﾄﾞRMH-3747	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	ﾌﾟｰﾙｸﾘｰﾅｰ(SP-64型	個	1	H25.4.1　～
シュレッダー	ﾘｶｯﾄﾌﾛｱﾀｲﾌﾟ3143fs	個	1	H25.4.1　～
デジタルカメラ	FINEPIX2900Z	個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスアンプ	800MHz・WX-282C	個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスマイク	800MHz・WX-4100A	個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスマイク	800MHz・WX-4300A	個	1	H25.4.1　～
テント(ﾛｲﾔﾙﾊﾟﾜｰﾃﾝﾄ	2K×2K　青白	個	5	H25.4.1　～
リヤカー	ｱﾙｶｰﾄ（ｽﾄﾚｯﾁｬｰ付	個	4	H25.4.1　～
リヤカー	ｱﾙｶｰﾄ	個	3	H25.4.1　～
データ読み取り機(MOﾄﾞﾗｲﾌﾞUSB	MOA-AX230H/USB	個	1	H25.4.1　～
ルームエアコン	ﾀﾞｲｷﾝLSVM1JA	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	ｼｬｰﾌﾟSJ-23D	個	1	H25.4.1　～
冷凍庫		個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	ﾌﾟｰﾙｸﾘｰﾅｰ・ﾐﾔｶﾜ式2型	個	1	H25.4.1　～
テント(ﾛｲﾔﾙﾊﾟﾜｰﾃﾝﾄ	3.6×3.6	個	1	H25.4.1　～
データ読み取り機(CDR/RW	KXL-RW11MN・Mac版	個	1	H25.4.1　～
手押しカンナ	HL-6A	個	1	H25.4.1　～
パーソナルコンピュータ	imacG3・350MHz	個	1	H25.4.1　～
プリンタ(OKIﾌﾟﾘﾝﾀｰ	MICROLINE1032PS	個	4	H25.4.1　～
テント(ｸｲｯｸﾃﾝﾄ	3000×4000	個	2	H25.4.1　～
鋼製保管庫(オープン型	ｳﾁﾀﾞSU-2	個	8	H25.4.1　～
テント(ｸｲｯｸﾃﾝﾄ	3000×4000	個	3	H25.4.1　～
空気清浄機(脱臭機ｶﾞｽﾄﾙ	G-1-S	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品(播種機	TSA-ひばり	個	2	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

（１２／１４）

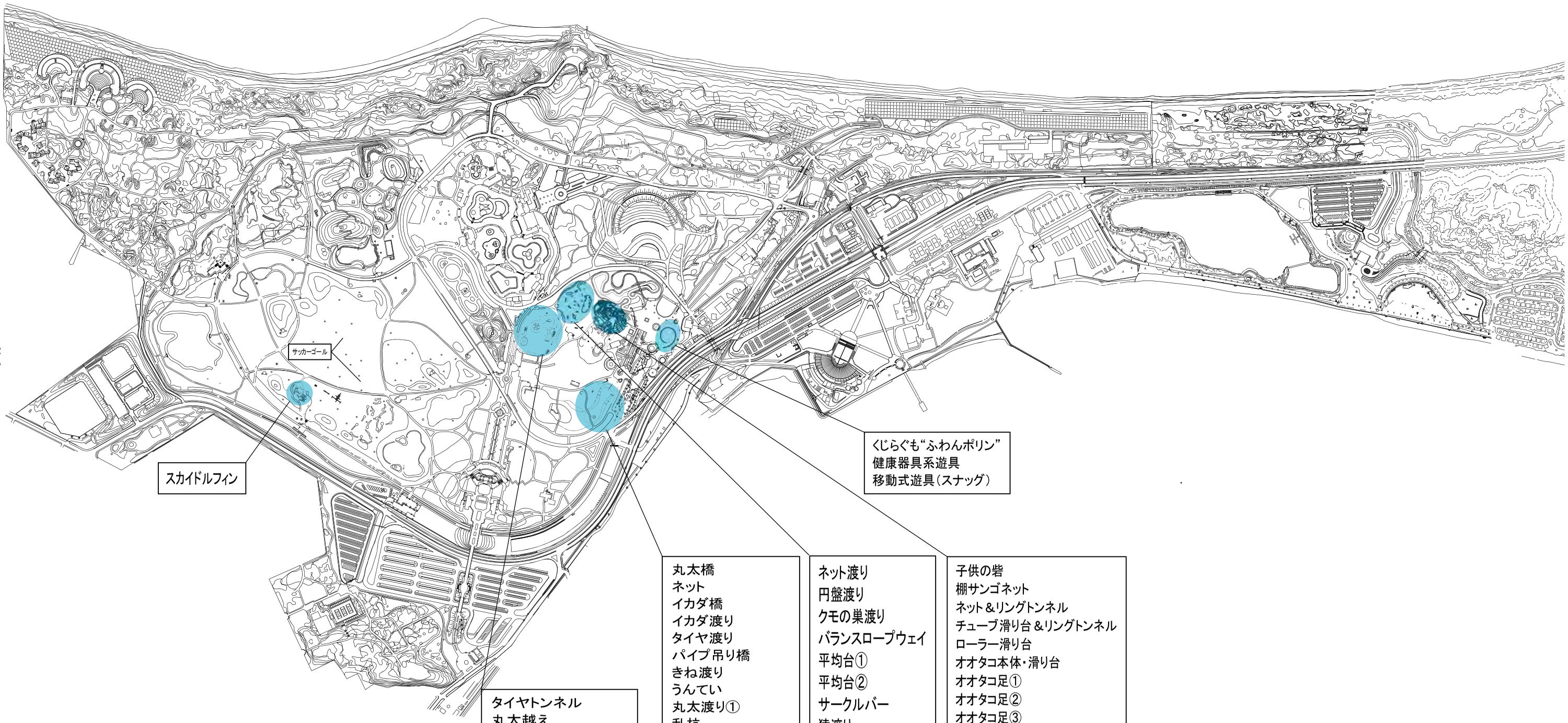
機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
湯沸器	RUS51TT	個	1	H25.4.1　～
物品保管庫	RMH-3747	個	2	H25.4.1　～
図書	アーバンガーデニング	個	1	H25.4.1　～
デジタルカメラ	CAMEDIA・C-730UZ	個	3	H25.4.1　～
噴霧器	VSC4510	個	1	H25.4.1　～
図書	Ａ－Ｚ園芸植物百科事典	個	1	H25.4.1　～
いす(応接用（一人用）	ウチダRP-14	個	1	H25.4.1　～
応接用(ｾﾝﾀｰﾃｰﾌﾞﾙ	ｳﾁﾀﾞP14型	個	1	H25.4.1　～
タイムレコーダー(ﾀｲﾑﾊﾟｯｸ	ｱﾏﾉ	個	1	H25.4.1　～
タイムレコーダー	MRX-30	個	2	H25.4.1　～
図書	農薬便覧	個	1	H25.4.1　～
机（会議用）	楠ﾃｰﾌﾞﾙ	個	1	H25.4.1　～
テレビ	ｶﾗｰ	個	1	H25.4.1　～
電子はかり(天秤	EK-320HR	個	1	H25.4.1　～
金庫	片開き・SSE	個	1	H25.4.1　～
金庫	片開き・KS-50E-F	個	1	H25.4.1　～
ソフトウェア	イラストレーター	個	1	H25.4.1　～
ソフトウェア	イラストレーター	個	1	H25.4.1　～
ロッカー	多人数用・4連2段8人用	個	4	H25.4.1　～
データ読み取り機(ﾎﾟｹｯﾄ	LID571	個	2	H25.4.1　～
金庫	片開き・KMX-20SDA	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	貨幣計算機(ｺｲﾝｿｰﾀｰSCS-10(	個	1	H25.4.1　～
テレビ	液晶(東芝32C3500	個	1	H25.4.1　～
冷蔵庫	三菱MRCU33M(W)	個	1	H25.4.1　～
洗濯機	三洋AWDE105ZA	個	3	H25.4.1　～
ホワイトボード	1810×910	個	1	H25.4.1　～
机（片袖）	ｺｸﾖSD-MXZ117V3W	個	4	H25.4.1　～
机（わき）	ｺｸﾖSD-MXZ47EV4W	個	1	H25.4.1　～
ワゴン	ｺｸﾖSD-MXZ46AF11	個	2	H25.4.1　～
いす（肘付回転）	ｺｸﾖCR-G422F5JP59W	個	4	H25.4.1　～
机（片袖）	ﾄﾖｾｯﾄCSE-1876HCG	個	1	H25.4.1　～
書庫(引違いガラス	３×４・ﾄﾖｾｯﾄ・ｶﾞﾗｽEA-34(	個	1	H25.4.1　～
書庫(引違い	３×６・ﾄﾖｾｯﾄTG-36SS	個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
書庫(引き違い	ﾄﾖｾｯﾄTG-36HG	個	3	H25.4.1　～
食器戸棚(ｵﾌｨｰｽｷｯﾁﾝ	ﾄﾖｾｯﾄGS-S750R	個	1	H25.4.1　～
ロッカー(6人用	多人数用・LK-322D	個	2	H25.4.1　～
ロッカー(4人用	多人数用・ELKD-4S	個	1	H25.4.1　～
ロッカー(9人用	多人数用・ESLK-9	個	1	H25.4.1　～
ホワイトボード	EA×36×S	個	1	H25.4.1　～
アンプ(CDｶｾｯﾄ付ﾜｲﾔﾚｽ	WA-852D	個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスアンプ		個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスマイク	WM-8400	個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスマイク(ﾂｰﾋﾟｰｽ	WM-8100	個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスマイク		個	1	H25.4.1　～
ワイヤレスアンプ		個	1	H25.4.1　～
テント	ワンタッチ設置式	個	2	H25.4.1　～
冷蔵庫	３ドア　３４５Ｌ	個	1	H25.4.1　～
机（角型）	Ｔ字脚1500×750㎜	個	1	H25.4.1　～
収納台車	折りたたみ机用	個	2	H25.4.1　～
収納台車	パイプ椅子用	個	2	H25.4.1　～
書庫	上置き　オープン棚	個	1	H25.4.1　～
書庫	下置き　ガラス両開き戸	個	1	H25.4.1　～
ホワイトボード	回転式	個	1	H25.4.1　～
台車	ハンドル折りたたみ式	個	2	H25.4.1　～
ロッカー	９人用	個	2	H25.4.1　～
望遠鏡	フィールドスコープ　50㎜	個	5	H25.4.1　～
三脚	フィールドスコープ用	個	5	H25.4.1　～
双眼鏡	36㎜　８倍　防水	個	10	H25.4.1　～
雑写真光学機器	監視カメラ（野外観察用）	個	2	H25.4.1　～
雑音響機器	バットディテクター	個	5	H25.4.1　～
冷蔵庫	東芝ＧＧＲ３８ＺＶ	個	1	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　ウェイブ	個	4	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　バンプ	個	3	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　コーン	個	1	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　ウォール	個	2	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　パッド	個	1	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　スパイダー	個	1	H25.4.1　～

提 供 機 械 器 具 一 覧 表

機械器具名	規　　格	単位	数量	提供年月日
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　マウンド	個	1	H25.4.1　～
雑レクリエーション用具	Ｓｎｕｇ　ヌードル	個	10	H25.4.1　～
いす	ベビーチェア	個	12	H25.4.1　～
食卓	全天候型木製テーブル	個	28	H25.4.1　～
食卓	ステンレステーブル	個	18	H25.4.1　～
下駄箱	２０人用	個	4	H25.4.1　～
電動車椅子		個	3	H25.4.1　～
印字器	点字プリンター（TP2000L）	個	1	H25.4.1　～
ブルーレコーダー	パナソニック　DMRBZT600	台	1	H25.4.1　～
デジタルビデオカメラ	ソニー　HDRCX560VB	台	1	H25.4.1　～
チェーンソー	ゼノア　G3501EZ型	台	2	H25.4.1　～
金庫	片開き（KMX-50SDA）	個	1	H25.4.1　～
公園管理用品	半自動券売機	個	3	H25.4.1　～
遊具	ウミガメ	個	4	H25.5.20　～
遊具	ヒトデ	個	4	H25.5.20　～
いす	授乳椅子（一人がけ）	個	3	H25.5.29　～
いす	授乳ベンチ（二人がけ）	個	2	H25.5.29　～
雑ついたて	アコーディオンスクリーン	個	2	H25.5.29　～
テント	フレーム、屋根幕、三方幕、前面幕	組	10	H25.12.10　～
遠心分離器	動物血液検査用	個	1	H25.12.19　～
全身麻酔機器	小動物用	個	1	H25.12.19　～
ソフトウェア	券面編集ソフト	個	1	H26.3.25　～
自動券売機	高額紙幣対応型	個	1	H26.3.25　～
自動券売機	高額紙幣対応型	個	1	H26.3.25　～
自動券売機	高額紙幣対応型	個	1	H26.3.25　～
球根掘り取り機	Ｂ-80　トラクタ牽引式	個	1	H26.4.25
電気のこぎり	バンドソー ＨＩＴＡＣＨＩ　ＣＢ１８ＦＡ３	個	1	H27.1.19　～


サッカーゴール
スカイドルフィン
くじらぐも“ふわんポリン”
健康器具系遊具
移動式遊具（スナッグ）
タイヤトンネル
丸太越え
複合遊具A
ゆらゆら丸太
平均台
複合遊具B
コンビネーション
ショップ・ホテル・汽車
アニマル滑り台
シーソー
ブランコ
ザイルクライム
マウンテンパーク
丸太橋
ネット
イカダ橋
イカダ渡り
タイヤ渡り
パイプ吊り橋
きね渡り
うんてい
丸太渡り①
乱杭
ぶらぶらタイヤ
三角ネット
壁渡り
丸太渡り②
ユラユラロープ渡り
タイヤトンネル
ロープ吊り橋
ユラユラ丸太
わんカロープウェイ
複合遊具
ロープウェイ
ネット渡り
円盤渡り
クモの巣渡り
バランスロープウェイ
平均台①
平均台②
サークルバー
猿渡り
タイヤロープ
ロッククライミング
子供の砦
棚サンゴネット
ネット＆リングトンネル
チューブ滑り台＆リングトンネル
ローラー滑り台
オオタコ本体・滑り台
オオタコ足①
オオタコ足②
オオタコ足③
ウツボ
棚サンゴ砂場
フジツボ
砂場

別添9

別添 10

国営海の中道海浜公園運営維持管理業務実施に要する提供施設等の取り扱いについて

「国営海の中道海浜公園運営維持管理業務」業務委託契約書に基づく提供施設等については、下記により取り扱うものとする。

記

１．取り扱い

（１）運営維持管理業務受託者（以下「事業者」という。）は、提供施設等を善良なる管理者の注意を持って使用しなければならない。

（２）事業者は、提供施設等を業務委託契約書第１条の受託業務以外に使用してはならない。

（３）事業者は、提供施設等の修繕、改造その他、現状を変更する（維持のための修繕等で軽微なものを除く。）をしようとするときは、九州地方整備局の承諾を受けなければならない。

（４）事業者の責に期すべき事由により提供品等を滅失し又は棄損したときは、事業者の負担において補てんし又は修理しなければならない。但し、事業者の故意又は重大な過失によらない場合は、この限りでない。

（５）事業者は業務委託契約が完了した場合、又は解除になった場合は提供施設等を提供施設等返納書により、直ちに九州地方整備局に引渡さなければならない。

（６）無線設備の使用にあたっては、業務委託等による国土交通省所属無線設備の取扱い要領によること。

（７）提供した無線設備の取り扱いは、当該無線局を管理する基地局の無線従事者の指揮統制の下で行うものであって、無線局の管理責任をも事業者に委ねるものではない。

２．報告及び検査

（１）事業者は、毎月提供された機械器具のうち別に定めるものについて提供施設等使用実績報告書を翌月末日までに九州地方整備局に提出しなければならない。

（２）事業者は、提供品等を返納する場合、九州地方整備局の行う検査に合格しなければならない。

平成　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

住所

氏名　　印

提　供　施　設　等　返　納　書

下記のとおり提供物件を返納いたします。

件　　名				契約年月日	
物　件　名	規　　格	単位	数　量	提供年月日	備　　考

（備考）用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

年　　月分（自　　日）

（至　　日）

借　受　人　　印

現場監督員の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	主な作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　　要
				運転日数	運転時間			
				（日）	（時間）	（円）		

（備考）１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。
２．おもな作業内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間または運転日数の最も多い作業内容を記入する。
３．おもな作業の作業量の欄は、おもな作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
４．運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械または管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

別添11

国営海の中道海浜公園運営維持管理業務で取得した備品の取り扱いについて

運営維持管理業務で取得した備品については、下記により取り扱うものとする。

記

１．取り扱い

（１）運営維持管理業務受託者（以下「事業者」という。）は、備品を善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

（２）前号の備品は、備品台帳に搭載し、管理しなければならない。

（３）事業者は、業務委託契約が完了した場合、または解除になった場合は備品を業務委託契約書第１４条に基づく検査の結果、合格の通知があった後、備品引渡書により、九州地方整備局に引き渡さなければならない。
　但し翌年度において、当該委託契約が引き続き締結され当該業務に継続して使用する備品で備品継続使用承認申請書により九州地方整備局の承認を得た場合はこの限りでない。

（４）事業者は、事業者の責に帰すべき事由により備品を滅失または棄損したときは、事業者の負担において補てんし又は修理しなければならない。但し、事業者の故意又は重大な過失によらない場合は、この限りでない。

２．処　　分

（１）備品が、次の各号の一に該当すると認められる場合は、不用の決定をすることが出来る。
① 備品の使用年数、能力等から勘案して当該備品を引き続き使用することが困難であると認められる場合。
② 備品が事業者の責に帰さない事由により、老朽化、損傷等により利用価値がなくなったと認められる場合。
③ 備品の修理用部品の補給が困難で、整備に多大の支障をきたすと認められる場合。

（２）処分の方法
　事業者は、前号に該当する備品を、売り払った場合は、その内容を証する書類を添えて九州地方整備局に書面により報告し、九州地方整備局の発行する納入告知書により国庫に納入するものとする。
　また、売り払うことが不利（備品の売払価値が、当該備品の売払いのために要する費用に満たないと認められる場合）又は売り払うことができないものは、廃棄することができる。事業者は、廃棄した場合はその都度その旨を書面により九州地方整備局に報告しなければならない。

平成　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

住所

氏名　　印

備　　品　　引　　渡　　書

平成　　年度　　国営海の中道海浜公園の管理運営委託業務にかかる別紙を引渡します。

（備考）用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

取得年月日	品　　名	規　　格	数　　量	単　　価	価　　格	経　費　区　分	摘　　要

（備考）用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。

平成　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

住所

氏名　　印

備　品　継　続　使　用　承　認　申　請　書

平成　　年度　　国営海の中道海浜公園の管理運営業務委託にかかる別紙について、
平成　　年　　月　　日まで継続して使用したく申請いたします。

（備考）用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

取得年月日	品　　名	規　　格	数　　量	単　　価	価　　格	経　費　区　分	摘　　要

（備考）用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。

海の中道海浜公園整備・管理運営プログラム



平成２５年３月２８日

国土交通省　九州地方整備局

－　目次　－

１．全体計画及び開園状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・１

（１）全体計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
（２）開園の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（３）利用の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

２．平成２８年度までの整備及び管理運営の方針等 ・・４

（１）平成２８年度までの整備・管理運営の重点事項 ４
（２）整備方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
（３）管理運営方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
（４）事業効果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

1．全体計画及び開園状況等

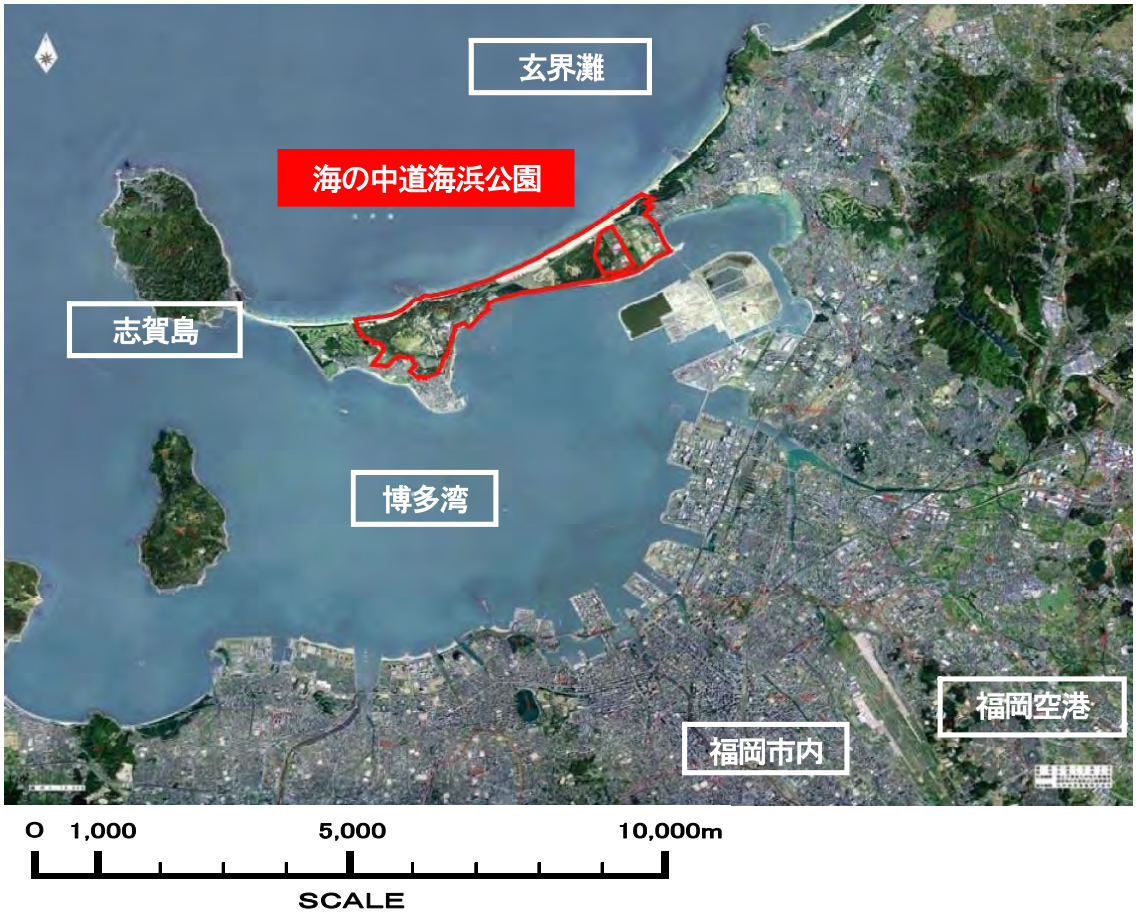
（1）全体計画

国営海の中道海浜公園は、福岡市東区の博多湾と玄界灘を隔てる半島、通称「海の中道」の中央部、幅0.5～1㎞、長さ約６㎞の区間にわたって位置する、計画面積約５３９haの都市計画公園です。地形は平坦で、海浜地特有のクロマツ林を主体とした海岸線を有し、いわゆる白砂青松の景観を呈しています。

本公園の特色ある地形と、その歴史的、文化的背景に留意し、現状の自然環境を活かした公園の整備・管理を行います。また、自然学習の場の提供や、芝生、花、池、丘などを用いて、魅力的なランドスケープを形成することを通して、レクリエーション需要の増大と多様化に長期的に対応しうる公園を目指します。

【海の中道海浜公園の役割】

北部九州地方の広域レクリエーション需要に対応できる場を提供します

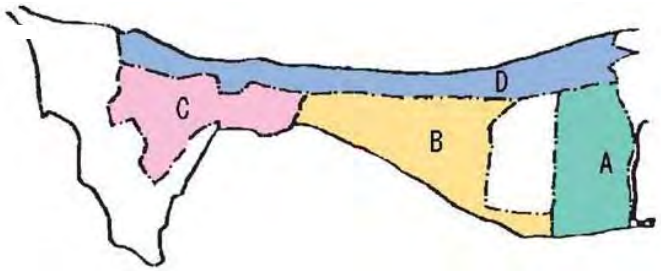


【公園区域図】



平成 23 年度末までの供用区域

●公園のゾーニング



A地区（樹木とスポーツの広場）
B地区（樹木とピクニックの広場）
C地区（樹木と文化・いこいの広場）
D地区（海辺といこいの広場）

（２）開園の状況

国営海の中道海浜公園の設置は、昭和 47 年に米軍博多基地（キャンプ博多）が返還されたことに端を発しています。基地跡地が良好な自然環境を有していたこと、また、北部九州を中心とする広域圏域のレクリエーション需要の増大に対応する施設が必要とされていたことから、大規模都市公園として昭和 50 年度に都市計画決定されました。

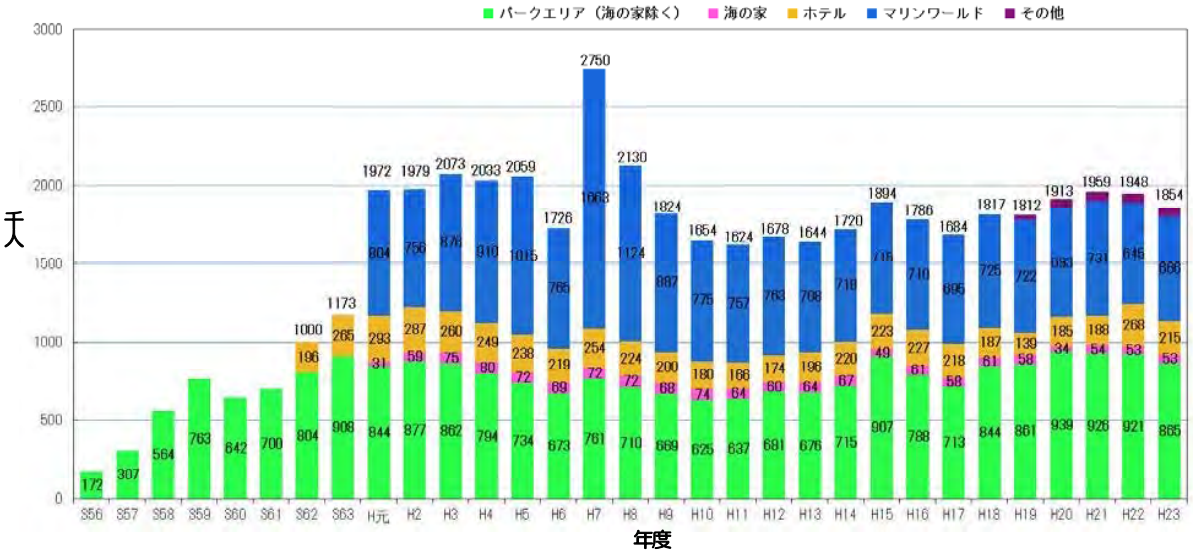
その後、昭和 51 年度より整備を進め、昭和 56 年 10 月に「西口広場」「大芝生広場」「動物の森」を含む約 59ha を開園しています。その後も整備が完了した区域より順次開園しており、平成２３年度末現在では、292ha（計画面積の 54%）が開園しています。

昭和47年度	米軍博多基地返還（515.2ha）	
昭和50年度	都市計画決定	
昭和51年度	事業着手	
昭和56年度	西口広場、大芝生広場、動物の森	59ha
昭和58年度	サンシャインプール	73ha
昭和62年度	ホテル海の中道	116ha
平成元・７年度	マリンワールド（海洋生態科学館）	189ha
平成14年度	光と風の広場（デイキャンプ場）	230ha
平成17年度	潮見台エリア	249ha
平成21年度	環境共生の森（みらいの森）	265ha
平成22年度	D地区玄界灘海浜部中央部及び西部	292ha
	供用面積　計	292ha

（３）利用の状況

昭和５６年に開園以降、施設の充実に伴って入園者数は増加して推移しました。マリンワールドが完成した平成７年度に、最多となる２７５万人の入園を記録し、近年は、年１８０万から２００万人の間で推移しています。平成２３年度には、約１８５万人の方々に利用され、累計では約 4,900 万人となりました。

【入園者数の推移】



2. 平成28年度までの整備及び管理運営の方針等

（1）平成 28 年度までの整備･管理運営の重点事項

都市部に近接し、かつ広大なフィールドを有する当公園は、国営公園として、広域的なレクリエーション需要に対応するとともに、身近な自然環境の減少、地球温暖化や少子高齢化の進展など、様々な社会的、国家的な課題が顕在化する中で、これら国家的に取り組むべき政策課題に対しても積極的に役割を果たすことが求められています。そのため、平成 28年度までの整備・管理運営は、次の４つの重点事項に沿って行います。

【平成２８年度までの整備・管理運営重点事項】

○ 広域レクレーション需要への対応

玄界灘と博多湾に挟まれた広大で豊かな自然環境を活用し、多様な施設・主体と連携を図り、季節に応じた多種・多様な行催事を実施すること等により、広域に居住する人々にとって魅力ある公園となるよう取り組みます。このような取組の一環として、「子供の広場」のリニューアルを完了させること等により、本公園の更なる魅力向上を図ります。

○ 環境共生の取り組み

豊かな自然環境や多様な施設を活かし、環境教育の場としての機能を強化することにより、北部九州地域における環境学習フィールドの核となるよう取り組むとともに、地域住民との協働による新たな森づくりや、松林の再生を推進する等、環境共生の取組の拠点となる公園となるよう取り組みます。このような取組の一環として、「森の池」の整備を推進し供用します。

○ ユニバーサルデザインの積極的な取り組み

ユニバーサルデザイン※に配慮した公園施設の整備にあわせ、公園利用者の活動に応じたハード・ソフト両面の取組を充実し、年齢、国籍、障がいの有無を問わず、すべての人々が楽しむことの出来る公園となるよう取り組みます。

○ 来園者の安全・安心の確保

利用者の安全を確保するため、単に活動を規制するのではなく、巡視活動や安全指導等により本公園の施設特性を活かした安全対策に努めます。また、大規模災害等の非常時に適切かつ迅速な対応が可能となるよう、防災意識の向上及び関係機関との連携の構築に取り組みます。

※　本整備プログラムでは、ユニバーサルデザインを年齢や障がいの有無にかかわらず全ての人が利用しやすい物や施設の設計の考え方という意味で使用しており、バリアフリーもこの中に含まれます。

（２）整備方針

○広域レクリエーション需要への対応

本公園は、約５４０ha という面積のスケールメリットを最大限に活かしながら、オールシーズン利用可能な施設計画を行っています。

平成 28 年度までの事業としては、つき山や展望施設、花桟敷の拡大等の整備を進め、多種多様な遊具が楽しめる「子供の広場」のリニューアルを完了させるとともに、計画的に公園施設の整備等を行うことにより、更なる魅力向上を図ります。



<子供の広場周辺のリニューアル イメージパース>

○環境共生の取り組み

当公園では、平成 10 年に策定した「環境共生計画」に基づき、白砂青松の保全・創出など、自然環境や生態系の保全・再生及び地球温暖化防止に資する公園整備を進めています。

平成 28 年度までの事業としては、引き続き取組を推進するとともに、B地区「森の池エリア」について、隣接する「環境共生の森（みらいの森）」、「D地区玄界灘海浜部」と一体となって北部九州地域における環境学習フィールドの核となるよう、平成２８年度末の供用を目指し、整備します。



<森の池整備イメージ>



○ユニバーサルデザインの積極的な取り組み

当公園では、トイレや休憩施設など特に早期対応が必要な施設から順次ユニバーサルデザインを進めています。

平成 28 年度までの事業としては、引き続き、平成２４年３月に改訂された「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づいた公園施設のユニバーサルデザインを計画的に進めます。その際、動物とふれあえる「動物の森」や、海が感じられる「潮見台～海の松原」などの既存施設の魅力アップや園内交通等の充実を図るとともに、これらの魅力を楽しめるネットワークルートの設定や改善など、すべての人が安心して楽しく利用できるよう、ユニバーサルデザインを進めます。



<車いすの方が楽しめる花壇>

○来園者の安全・安心の確保

施設が老朽化していく中で、既存施設の機能保全・向上やライフサイクルコストの低減に配慮した計画的な更新を進めます。特に、当公園が広域避難地であることも踏まえ、安全性の確保が急がれる施設については、優先的に整備を進めるとともに、災害発生時に、避難地としての機能を発揮できるよう関係する地元自治体との連携を図ります。

また、口蹄疫等動物に関わる感染症への防疫体制を確保するため、動物たちの一時避難場所として隔離舎の整備を行います。

（3）管理運営方針

○広域レクリエーション需要への対応

当公園では、春季の「フラワーピクニック」、秋季の「うみなか☆はなまつり」等季節に応じた花修景を中心とした大規模なイベントやスポーツイベント、野外コンサートなど多くのイベントを実施しています。

平成 28 年度までの事業としては、引き続き公園の特色を活かしたイベントを開催するとともに、人と動物のふれあい及び観察ができる「動物の森」の資源を活かした展示・イベントを行うなど、多様な利用プログラムを実施すること等により多くの方々に学び、楽しんで頂けるよう、工夫しながら季節に応じたイベントを開催します。特に、志賀島などの周辺地域と連携して、歴史的・文化的資源も活かしながら効果的なイベントを実施します。

また、公園づくりや環境学習、イベント企画・運営への市民参加が進みやすい環境を整備します。



<フラワーピクニック 2012 での花修景>



<地域の方による昔遊びの体験イベント>



<地域と連携した志賀島ガイドツアー>



<環境共生の森における環境学習の状況>

○環境共生の取り組み

当公園では、「環境共生計画」に基づき、植物廃材の堆肥化や環境学習の実施など、自然環境や生態系の保全・再生及び地球温暖化防止に資する管理運営を行っています。

平成 28 年度までの事業としては、引き続き、市民や関係機関と連携して海浜部のクロマツ林の保全・育成等取組を推進していきます。また、B地区「環境共生の森（みらいの森）」においては、北部九州地域における環境学習活動の核となるよう、市民とともに、一（いち）から森をつくり、育て、継続的に管理していく取組みを一層進め、地球温暖化防止や自然環境、生態系の保全・創出技術の普及啓発に努めます。

【環境共生の森における一(いち)からの森づくり　取組状況】



<市民による植樹>



<市民による森林の管理>

○ユニバーサルデザインの積極的な取り組み

これまで、子育て世代やシルバー層、障がい者等の来園者に対して推進してきた施設面のユニバーサルデザインに加え、平成 28 年度までの事業としては、施設面を補完するソフト面でのユニバーサルデザインを更に進めます。特に、アクティビティー及びアクセシビリティーに配慮した情報提供（※）の充実や職員などによるきめ細やかなサポート体制の確立などを進めることによって、既存施設も含めた魅力アップを図り、来園者への一層のホスピタリティ向上に努めます。

また、九州地方では、外国人観光客、特にアジア諸国からの観光客が年々増加する傾向にあることを踏まえ、外国人向け広報の充実を図るとともに、外国人観光客が十分楽しめるようサービスの向上を図る観点からもユニバーサルデザイン（外国語表記サインなど）を進めます。

※　アクティビティーに配慮した情報提供とは、例えば、障がいの種類ごとに園内でどのような活動や楽しみ方ができるかなどを紹介する情報を、パンフレットやホームページできめ細やかに情報提供すること。

※　アクセシビリティーに配慮した情報提供とは、広報物やホームページのコンテンツを作成する際に文字サイズや色の濃淡等への配慮及びホームページの画像部分にＡＬＯＴ属性を付与することにより読み上げソフトに対応すること等。

○来園者の安全・安心の確保

博多湾と玄界灘に挟まれた当公園の立地環境に対応し、津波対策として、来園者の避難誘導や、園内放送などソフト面での体制整備を進めます。また、高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫等動物に関わる感染症について、「動物の森」が発生源とならないよう、常日頃から万全な自主防疫に努め、周辺地域の発生・拡大等に備え、適切かつ迅速な対応がとれるよう体制整備を進めます。

（4）事業効果

○北部九州地域の環境学習の核となるフィールドの提供

B地区「森の池」の開園により、隣接する「環境共生の森（みらいの森）」、「D地区玄界灘海浜部」と一体となって、継続的かつ充実度の高い環境学習が実施できます。また、他の公園管理者に対し、質の高い環境学習を行いつつ市民参加型で公園づくりを行う際の参考となるノウハウ等を提供できます。

○地球温暖化防止等環境に対する市民の意識の向上

「環境共生の森（みらいの森）」等における環境学習の実施と緑化の普及啓発により、地球温暖化の防止、循環型社会の構築に向けた市民の意識の向上が図れます。

○来園者が快適に利用できる公園となるよう整備・管理を推進

多種多様な遊具が楽しめる「子供の広場」のリニューアルや、ハード面、ソフト面のユニバーサルデザインを計画的に進めることにより、すべての人が安心して楽しく利用できる公園となります。

○来園者、周辺住民への安全な避難場所の提供

老朽化した園内施設の更新や耐震化などを進めることにより、地震等の災害発生時に来園者及び周辺住民の方の安全・安心の確保が図れます。

○地域の活性化への貢献

近隣地域と連携した効果的なイベントの実施や公園づくりなどへの市民参加を進めることにより、地域の活性化に貢献できます。

なお、本プログラムは、公園整備・管理を巡る社会情勢の変化、事業の進捗状況等を踏まえ、 適宜見直しを行っていきます。

別添１３

国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領

国営海の中道海浜公園事務所

（目　　的）

第１条　この要領は、国営海の中道海浜公園（以下「当公園」という。）における行為の禁止等に関する運用の方針を定め、もって安全で快適な公園利用に資することを目的とする。

（適　用）

第２条　公園内における行為の禁止等については、都市公園法（以下「法」という。）及びその他関連法令に定めるほか、この要領によるものとする。

（定　義）

第３条　この要領において、「公園内」とは、法の定めるところにより当公園として公告された次の各号に掲げるものをいう。

一　法第２条の２により、すでに供用が開始されている区域

二　法第３３条第２項により定められた区域のうち、既に公園管理者が権原を取得している区域

２　この要領において「職員等」とは、次の各号に掲げるものをいう。

一　九州地方整備局の公園担当職員

二　九州地方整備局長より都市公園法第５条の許可を受けた当公園の公園施設（以下「特定公園施設等」という。）の公園担当職員

三　九州地方整備局より当公園の管理運営に関する業務を受託した機関(以下｢管理センター」という。）のスタッフ

四　特定公園施設等の管理者との契約に基づき特定公園施設等の管理を行う機関（以下「特定公園施設等管理運営者」という。）の職員

五　特定公園施設等管理運営者との契約により特定公園施設等管理運営者の指揮監督を受けて特定公園施設等の管理を行う機関の職員

３　この要領において、「職員等の管理行為」とは、次の各号に掲げるものをいう。

一　前項第一号、第三号に該当する者が公園全域を対象に行う公園管理

二　前項第二号、第四号及び第五号に該当する者が特定公園施設等の区域内において、協議事項の範囲内で行う施設管理

４　この要領において「利用者」とは、勤務中の職員等を除く公園内に入る全ての者をいう。

（禁止する行為）

第４条　公園内における行為のうち、次の各号に掲げるものは、法第１１条に準ずる行為とみなし、その行為を禁止する。ただし、職員等の管理行為である場合は除く。

一　動・植物を採集（貝掘り、魚釣り（投網）等を含む）する行為。ただし、営利を目的としない、捕虫、落ち枝の採集、落下した木の実等の採集する行為は除く。

二　別に指定する場所以外で燃料や電気を利用するコンロ等の火気を使用する行為。

三　自転車の利用に関し、公園の安全かつ快適な利用に支障を及ぼす行為で別に定める行為
四　他の利用者の快適性を損なう音響の発生を伴う行為。
五　公園管理者が喫煙所と表示した箇所以外での喫煙
六　他の利用者の安全又は公園施設の正常な利用に支障を及ぼす恐れのある行為
七　許可無く公園内で宿泊又は寝泊まりする行為
八　公園の利用に際し、許可無く次の各号に掲げる物件を持ち込み又は使用する行為
イ　銃及び刀剣類（モデルガン、木刀、竹刀、その他これに類するもの）
ロ　ブーメラン、弓矢、パチンコ、ラジコン飛行機、その他これらに類するもの
ハ　第一号の目的のために使用する道具
ニ　花火、火薬、大量のガス、油脂類及び火を使用する器具類（定められた場所で使用する場合及び許可されたイベントを除く）
ホ　木製、金属製バット、野球のボール（ｷｬｯﾁﾎﾞｰﾙ専用球は除く）、ソフトボール
ヘ　スケートボード、キックボード
ト　ゴルフクラブ、ゴルフボール
チ　その他職員等が安全かつ快適な公園利用に支障を及ぼし、公園施設を毀損する恐れがあると認めたもの
九　公園管理者が備え付けたゴミ箱以外へゴミを投棄する行為

（ペットの随伴）
第５条　公園内への動物の持ち込みは、犬、猫、ウサギ、ハムスター、その他これらに類するペット類に限り、随伴者が引き綱（リード）又はカゴ等によりペット類の行動を完全に制御できる状態で随伴する場合に限る。ただし、次の各号に掲げる場所ではペット類の随伴は認めない。
イ　建物の内部、乗り物（パークトレイン、大観覧車等）
ロ　動物の森
ハ　池、噴水、カナール（水面部分）、子供の広場（ちびっこ広場含む）の砂場、じゃぶじゃぶ池
ニ　マリンワールド
ホ　ホテル　ザ・ルイガンズ.
ヘ　海の中道　青少年海の家
ト　サンシャインプール
ニ　ドッグランの利用においては、別に定めるドッグラン管理運営要領によるものとする。
三　糞尿等の処理及び他の利用者とのトラブルについては、随伴者自らの責任において対応する。
四　盲導犬、聴導犬、介助犬については、本条を適用しない。

（法第 11 条の規定に関する適用除外）
第６条　公園内における行為のうち、職員等の管理行為として行うものについては、法第 11 条の規定を適用しない。

（場所の指定）

第７条　都市公園法施行令（以下「令」という。）第 18 条第三号第四号及び第五号に指定する場所は国営海の中道海浜公園事務所長（以下「事務所長」という。）が別に定めるものとする。

（許可を要する行為）

第８条　公園内における行為のうち次の各号に掲げるものは、法第 12 条に準ずる行為とみなし、公園管理者の許可を受けるものとする。

一　アンケート調査または動植物や気象等の調査

二　開催日時等を事前に告知することにより参加者を公募して行う行催事

三　ステージ、観覧席、マイクロホン、スピーカー、拡声器等を設置又は使用するもの（但し、人の参集・点呼等一時的な拡声器の使用は除く。）

四　営利を目的として、または会費などを徴収して写真又は映画等の撮影を行うもの

五　公園内に標識、横断幕等を掲示して行うもの

六　駐車場（臨時駐車場含む）及びその出入りのための園路以外の場所に自動車、オートバイを乗り入れること。

七　その他事務所長が他の公園利用者の正常な公園利用に支障を及ぼす恐れがあると認めたもの。

（法第 12 条の規定に関する適用除外）

第９条　公園内における行為のうち、職員等の管理行為として行うものについては、法第 12 条の規定を適用しない。

（利用指導）

第 10 条　職員等は、その責務に応じ、法令等及びこの要領に定める禁止行為または許可条件に違反する行為を発見したときは、必要の都度入園の制限または、適切な利用指導を行うものとする。

（許可基準）

第 11 条　法第 12 条の規定による許可の申請に関しては、原則として次の各号に掲げるものに該当するものは許可しないものとする。

一　営利を目的とした物品の販売または頒布

二　公共性に欠け、又は排他的な集会、展示会及び興業

三　営利のみを目的とした集会、展示会及び興業

四　公共性に欠ける募金または署名運動

五　当公園利用又は当公園管理に係わりのない調査（ただし、文化財保護法に基づく調査等公園管理者が必要と認める調査は除く。）

六　休園日または開園時間外の利用（ただし、以下に掲げるものは除く。）

①公園管理者が公園管理運営として行う宿泊行為又は特定公園施設等の管理者がその管理区域内において公園管理者との協議により行う宿泊行為

②ＴＶや写真の撮影の場合で公園のＰＲ効果が高いと認められるもの

③福岡県警察本部の嘱託警察犬審査会

④野外劇場利用及び野外コンサート等の許可に関する要領に基づき許可を得たもの

⑤公園に隣接する自治会等が実施する防災活動などで公園を使用する場合

七　車両を利用する行催事（ただし、車両を利用することが行催事の実施に不可欠で他の利用者の安全と快適性が損なわれないと認められる場合を除く。）
八　次の各号の一に該当し著しく公園利用の安全性・快適性を損なうもの
イ　当公園施設の損傷または汚損
ロ　当公園の風致または美観の侵害
ハ　他の利用者に危害を加え又は不便を生じさせる恐れのあるもの
九　事故の発生または公園施設の損害に対し、申請者の責任能力が欠如していると考えられる場合
十　申請者及び申請団体の関係者が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第２条第２号に規定する暴力団及び同条第６号に規定する暴力団員等に該当する場合
十一　前各号に定められるもののほか、当公園管理者が公園利用上又は管理上から不都合と認められるもの
２．１項第一号の規定に係わらず、特定公園施設等の管理者または管理センターが、公園利用の促進または利用者の利便を図る目的で実施する場合は許可の対象とするものとする。

（許可条件）
第 12 条　当公園内の行為について許可をする場合は、次に掲げる条件を付与するものとする。
一　他の利用者に迷惑をかけないように留意すること。
イ　公衆の安全を守るよう、必要な措置を講ずること。
ロ　当公園を損傷したり汚損するなど公園利用に支障を及ぼす恐れのある行為をしないこと。
ハ　当公園の風致及び美観、その他公園としての機能を害しないこと。
二　許可を受けた事項を変更しようとするときは、軽微なものを除き、公園管理者の許可を受けること
三　許可期間が満了したときは、公園を直ちに原状に回復すること。ただし、原状に回復することが不適当な場合は、当公園管理者の指示に従い必要な措置を講じること。
四　事故が発生し、又はその恐れがあると判断される場合は、速やかに公園管理者に報告するとともに、当公園利用者の安全確保を行い、申請者の責任において速やかに処理すること。
五　当公園施設を損傷し、汚損し又は滅失した場合は、速やかに公園管理者に報告しその指示に従い、これを修理し、若しくは原状に回復、又は賠償すること。
六　次に示すような場合、許可の取消し又は必要な措置を命ずる場合がある。
イ　申請内容に偽りがあったり、不正な手段により許可を受けた場合。
ロ　この許可条件を守らない場合。
ハ　許可事項以外の行為を行った場合
二　当公園の保全又は他の公園利用に著しい障害が発生した場合。
ホ　当公園の運営上又は公益上やむを得ない必要が生じた場合。
ヘ　許可を受けた行為が当公園のイメージを著しく損なう（相当な苦情が発生する等）場合。
ト　その他、公園の安全な利用のために公園管理者が必要と判断した場合
七　都市公園法及び関係法令を遵守するとともに、公園管理者の指示に従うこと
八　その他、必要に応じ公園管理者が付与する条件を守ること。

九　公園内に車両を乗り入れる場合は、別途立入許可申請を行うこと。

附則　この要領は平成１７年　３月１９日から適用する。

この要領は平成２１年１１月　１日に一部改正する。

この要領は平成２２年１０月　１日に一部改正する。

この要領は平成２３年　４月　１日に一部改正する。

この要領は平成２４年　１月　１日に一部改正する。

この要領は平成２５年　４月１５日に一部改正する。

別添１４

国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領の細目

国営海の中道海浜公園事務所

（たき火及び炊飯等）

第１条　要領第４条第二号及び第７条の別に定める場所は以下のとおりとする。但し、職員等の管理行為である場合であっても別途国営海の中道海浜公園事務所と協議し国事務所長の許可を得るものとする。

一　炊飯施設及び燃焼施設のある建造物内
二　法第１２条の申請により火気の使用が許可された場所
三　「いこいの森」キャンプ場のファイヤーサークル並びに炊飯所
四　「海の広場」の塩作製施設
五　光と風の広場「デイキャンプ場」のサイト及び調理棟

（自転車利用）

第３条　要領第４条第三号に定める行為は次の各号とする。

一　定められたサイクリングコース以外に自転車を乗り入れること
二　定められた場所以外に自転車を駐輪させること
三　スピードの出し過ぎ、無理な追い越し等他の利用者の安全に支障が及ぶこと
四　法第１２条の申請により許可された行催事及び職員等の管理行為として行う場合は上記第一号一～第三号は適用しない。

（車両の乗り入れ）

第４条　都市公園法施行令第 18 条第五号に定める場所は、園路及び駐車場（臨時駐車場を含む）及びその乗り入れのための園路とする。なお、車両を乗り入れる際の詳細な規定については「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」によるものとする。

（立入禁止区域）

第５条　令第 18 条第四号に定める区域は、立入禁止の標示をしている区域とする。

（令第 18 条第四号の規定に関する適用除外）

第６条　公園管理者及び特定公園施設等の管理者により安全性が確保される行催事等の立入を認めるものとし、別紙様式第１を提出させるものとする。ただし、特定公園施設等の管理者については､別途事務所長に同意を得ているので別紙様式第１の提出は不要とする。

２．上記１項以外で同区域に占用を許可された者及び区域隣接地の所有者が物件等の使用及び管理等のためだけに園内に立ち入る場合。
３．職員等が管理行為として立ち入る場合。
４．国及び管理センターが発注した工事等で立ち入る場合。
５．その他事務所長が必要と認めるもの。

（許可を要する行為の取扱）

第７条　要領第８条に基づく許可・申請にあたっては、以下に留意するものとする。

一　許可の申請にあたっては、海の中道管理センターと協議調整を行った上で、行為を実施しようする日の３ヶ月前から 14 日前までの間に必要な書類を付して法第 12 条の許可申請書を申請するものとする。ただし、他の取扱要領等に定めがある場合はその定めを適用する。

（許可の取り消しについて）

第８条　要領第 12 条第六項において、公園管理者が行為の取り消しを命じた場合においても、その行為に関わる費用等一切の補償は行わないものとする。

（字句の定義）

第９条　本細目文中にある「職員等」「法」「公園管理者」「特定公園施設等」「事務所長」とは国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領を準用するものとする。

附則　　この要領は平成１７年　３月１９日から適用する。

この要領は平成２２年１０月　１日より一部改正する。

この要領は平成２３年　４月　１日より一部改正する。

別添１５

国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則

国営海の中道海浜公園事務所

１．目　　的

本規則は公園における国土交通省(以下「事務所」という。)・都市再生機構（以下「機構」という。）・国営海の中道海浜公園管理運営業務受託者（以下「管理センター」という。）及び関連の業務用車両並びに臨時に入園する車両全てに適用される。園内利用者保護のため、園内への車両通行を極力自粛し、お客様の安全と快適な利用を妨げない運転・駐停車・作業態度等に心掛けると共に、公園施設を保全しなければならない。

２．車両通行の許可

１）車両通行許可証の発行は管理センターとする。

２）工事その他の業務で公園内に立ち入る場合は、あらかじめ公園内立入許可申請書（別記様式１）を提出して公園内立入許可書（別記様式１－１）を受けなければならない。

３．公園内立入許可の条件

１）区域内の国有財産（樹木を含む）を滅失または毀損した場合は公園管理者の指示に基づき原状に回復、またはその損害を賠償すること。

２）第３者に損害を及ぼした場合は申請者の責任において賠償すること。

３）立入りの目的以外の行為を行わないこと。

４）有料エリア内及びリゾートエリア内の舗装されている広場・園路（光と風の広場管理棟からデイキャンプ場駐車場までの園路は除く）は普通乗用車（セダン型（ハッチバック型は除く）・クーペ型・オープンカー）及び自動二輪の乗り入れは不可とする。ただし、青少年海の家利用目的のための青少年海の家エリアのみは、普通乗用車及び自動二輪の乗り入れ可とする。

４．車両通行の遵守事項

１）園内は原則として左側通行、走行速度は20Km/h以下とし、走行経路は車両入園許可申請書時に添付される車両等走行ルート図に従うものとする。

２）交差点（部）及び横断歩道においては一旦停止を確実に行うこと。

３）走行中は必ず黄色回転灯を点灯すること。

４）クラクションは原則として使用しないこと。

５）公園利用者（歩行者・自転車）を最優先させることし、混雑時は徐行運転で走行すること。来園者に道を譲ってもらった場合は必ずお礼と感謝の気持ちを込めて挨拶を行うこと。

６）発進時は車両周囲の安全を確認すること。

７）入園中は運転席の前面に車輌通行許可証を掲示すること、また運転に際しては園内標識に従うこと。

８）開園区域内に乗り入れる車両は、見苦しくないよう常に清掃管理すること。

９）駐車中のアイドリングは行わないこと。

10）業務用車両の運行は最小限にとどめ、開園時間内に資材、商品及び食材等の搬入がない場合は、業務用駐車場に車を止め、自転車・徒歩等で入園すること。

11）サイクリングコースは通行許可車以外車両乗り入れ禁止。

12）業務用車両は、極力歩道・園路及び芝生地・広場に駐車しないものとし、公園利用者からの視野から避けること。ただし業務上駐車しなければならない場合は、車両の前後にセ

フティーコーンを置き、公園利用者に動かない車であることを示すこと。

13）園内に入ることができる車は公園利用者が業務用車両であると識別できるよう三方向に会社名が標示している車とする。会社名の標示のない車を入園させる場合はマグネットシート等で社名もしくは「園内作業中」を標示すること。

14）４ｔ以上の車を開園時間内に通行させる場合は先導車を出すこと。４ｔ以上の車が多数通行する場合は、業務用入口付近や他の交通と交差する場所に警備員を常駐させること。

15）ワンダーシャトルから動物の森正門⇒森の家⇒西サイクリングセンター⇒ガードマン詰所までのコースは反時計回りの一方通行とする。

16）ガードマン詰所職員勤務時間外に入退園する際は、あらかじめ主任監督職員（占用工事については国管理係長）に許可を得て、休日・残業等作業届（別記様式３）を以下の提出期限までに管理センター及びガードマン詰所職員に提出し、承諾を得ること。なお、下記、ガードマン詰所職員の勤務時間帯以外に入退園を行う場合には、その旨を以下の①②により必ず連絡を入れた上で、海の家ガードマン口より入退園すること。また、園路途中にある車止め柵等を通行のため移動した場合は、すみやかに原状復旧すること。

①勤務時間前（早朝入園）・・作業該当日の前日の１５時まで

②勤務時間後（残　　業）・・作業日当日の１５時まで

※勤務時間　3月～10月　7：00～18：30、11月～2月　7：00～18：00

17）この規則で定める規程に違反した車両及び運転手は即刻退園を命じると共に、再入園を禁止する。

５．車両通行時間

１）業務用車両の走行は極力開園時間外（7：30～9：30、17：30（冬期17：00～18：30））に努めること。

２）土日祝及びお盆期間の多客時の開園時間内の車両の通行は原則不可とする。ただし、あらかじめ主任監督員（占用工事は国管理係長）に許可を得て、土日祝等開園時間内車両通行許可願（別記様式2）を提出し許可を受けたものはこの限りではない。

３）上記の許可を受けた場合でも、土日祝の車両の通行は原則11：00～15：00まで不可とし、食料品の仕込み、菓子・雑貨・ジュース等の納品は平日もしくは来園者の少ない朝もしくは夕方とする。なお納品時間、ルート、納品方法等の納品計画を事前に十分に検討し、公園担当職員の了解を得ておくこと。

４）休日等混雑時、止むを得ず、追加の納品が必要な場合は外周及び中央コースのみの走行とし、所定の場所から台車等で小運搬する。この場合、事前に公園担当職員の許可を得ること。

５）土日祝及びお盆期間等の混雑時に通行許可を得た場合は、マラソン大会や大規模イベント等で通行不可の場合があることから、事前に公園担当職員へ１ヶ月毎の通行計画書を提出して調整すること。

附則

この規則は、平成１８年　４月　１日より適用する。

この規則は、平成２１年１１月　１日より一部改正する。

この規則は、平成２２年１１月　１日より一部改正する。

（別記様式１）

平成　年　月　日

海の中道管理センター
管理センター長　殿

申請者　住所

氏名　　印

公　園　内　立　入　許　可　申　請　書

標記について、下記のとおり立入りを許可くださるよう申請します。
なお、公園区域立入りに際しては、貴センターから提示された許可条件及び注意事項を遵守することを確約いたします。

記

１．立入り先　　海の中道海浜公園区域内（別紙位置図のとおり）

２．立入り目的

３．業務名及び
（工　期）　（平成　　年　　月　　日　～　平成　年　　月　　日）

４．立入り期間　　平成　　年　　月　　日　～　平成　　年　　月　　日

５．責任者名
連絡携帯電話番号（　　－　　－　　）

６．添付書類
(1) 立入り者名簿　（別紙のとおり）
(2) 車輌番号一覧表　（別紙のとおり）
(3) 通行ルート　（別紙のとおり）

（別記様式１－１）

平成　　年　　月　　日

様

海の中道管理センター
管理センター長

公 園 区 域 内 立 入 許 可 書

平成　　年　　月　　日付をもって申請があった公園区域内への立入りについては、下記条件を付して許可する。

記

１．　立入り期間　　平成　　年　　月　　日　～　平成　　年　　月　　日
２．　立入り目的
３．　責任者氏名
４．　条　　件
（１）区域内の国有財産（樹木を含む）を滅失または毀損した場合は公園管理者の指示に基づき原状に回復、またはその損害を賠償すること。
（２）第三者に損害を及ぼした場合は申請者の責任において賠償すること。
（３）立入りの目的以外の行為を行わないこと。
（４）普通乗用車（セダン型（ハッチバック型は除く）・クーペ型・オープンカー及び自動二輪）の乗り入れはガードマン入口までとする。

５．注意事項
（１）立入り区域内における行為は許可による他担当警備員の指示に従うこと。
（２）立入り区域内における服装は公園利用者に不快感を与えないよう留意すること。
（３）本許可書記載事項の訂正は管理センターの訂正印が無い場合は無効とする。
（４）立入りの際は火気（特に煙草）に充分注意すること。
（５）車両による立入り時間は極力閉園時間（7:30～9:30、17：30（冬期17:00～18:30））に通行するよう努め、原則として土日祝及びお盆期間は不可とする。但しあらかじめ許可を得たものについてはこの限りではない。

６.車両の通行にあたって次のことを遵守すること。
１）園内は原則として左側通行、走行速度は20Km/h以下とし、走行経路は車両入園許可申請書時に添付される車両等走行ルート図に従うものとする。
２）交差点（部）及び横断歩道においては一旦停止を確実に行うこと。
３）走行中は必ず黄色回転灯を点灯すること。
４）クラクションは原則として使用しないこと。
５）公園利用者（歩行者・自転車）を最優先させることし、混雑時は徐行運転で走行すること。来園者に道を譲ってもらった場合は必ずお礼と感謝の気持ちを込めて挨拶を

行うこと。
６）発進時は車両周囲の安全を確認すること。
７）入園中は運転席の前面に車輌通行許可証を掲示すること、また運転に際しては園内標識に従うこと。
８）開園区域内に乗り入れる車両は、見苦しくないよう常に清掃管理すること。
９）駐車中のアイドリングは行わないこと。
10）業務用車両の運行は最小限にとどめ、開園時間内に資材、商品及び食材等の搬入がない場合は、業務用駐車場に車を止め、自転車・徒歩等で入園すること。
11）サイクリングコースは通行許可車以外車両乗り入れ禁止。
12）業務用車両は、極力歩道・園路及び芝生地・広場に駐車しないものとし、公園利用者からの視野から避けること。ただし業務上駐車しなければならない場合車両の前後にセフティーコーンを置き、公園利用者に動かない車であることを示すこと。
13）園内に入ることができる車は公園利用者が業務用車両であると識別できるよう三方向に会社名が標示している車とする。会社名の標示のない車を入園させる場合はマグネットシート等で社名もしくは「園内作業中」を標示すること。
14）４ｔ以上の車を開園時間内に通行させる場合は先導車を出すこと。4ｔ以上の車が多数通行する場合は、業務用入口付近や他の交通と交差する場所に警備員を常駐させること。
15）ワンダーシャトルから動物の森正門⇒森の家⇒西サイクリングセンター⇒ガードマン詰所までのコースは反時計回りの一方通行を遵守すること。
16）ガードマン詰所職員勤務時間外に入退園する際は、あらかじめ主任監督職員（占用工事については国管理係長）に許可を得て、休日・残業等作業届（別記様式３）を以下の提出期限までに管理センター及びガードマン詰所職員に提出し、承諾を得ること。なお、下記、ガードマン詰所職員の勤務時間帯以外に入退園を行う場合には、その旨を以下の①②により必ず連絡を入れた上で、海の家ガードマン口より入退園すること。また、園路途中にある車止め柵等を通行のため移動した場合は、すみやかに原状復旧すること。

①勤務時間前（早朝入園）・・作業該当日の前日の１５時まで
②勤務時間後（残　　業）・・作業日当日の１５時まで
※勤務時間　3月～10月　7：00～18：30、11月～2月　7：00～18：00

17）この規則で定める規程に違反した車両及び運転手は即刻退園を命じると共に再入園を禁止する。

（別記様式２）

土日祝等開園時間車両通行許可願

平成　年　月　日

海の中道管理センター
管理センター長　殿

申請者　住所
氏名　　印

園内業務入園における車両通行規則第５条の２により、下記のとおり申請します。

記

１．期　　間　　平成　年　月　日　～　平成　年　月　日

２．場　　所

３．業務内容

４．通行理由

５．責任者名
連絡携帯電話番号（　　－　　－　　）

上記について必要と認めます。

（国　管理係長）
平成　年　月　日　　主任監督員　　印

事前に１ヶ月毎の通行計画書を提出することを条件に土日祝及びお盆期間中の開園時間内立入りを許可します。

平成　年　月　日　　海の中道管理センター
管理センター長

通行許可証（ひな形）

通 行 許 可 証

有効期限　　年　　月　　日まで

会 社 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

工 事 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

車両番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

国営海の中道海浜公園

○○○○エリア（平日用）

公園内車両通行および作業心得（ひな形）

公園内車両通行および作業心得

１．指定したルートに従って通行すること。
２．園内は20㎞/h以下で走行し、交差点および横断歩道においては、一旦停止を確実に行うこと。
３．クラクションは原則使用してはならない。
４．歩行者及び自転車を優先すること。
５．公園利用者および諸施設の安全に細心の注意を払わなければならない。
６．公園利用者の快適な公園利用を妨げないよう運転及び作業態度に留意すること。
７．入園中は通行証車両前方に明示しなければならない。
８．所定の時間内に所定の出入口から出入し不必要な場所に立ち入らないこと。
９．駐・停車の際は芝生地及び林地を以外の場所で公園利用者の妨げにならぬよう配慮すること。
10．車を離れる際には、必ずエンジンを停止すること。
11．国営海の中道海浜公園　園内車両通行規則を遵守すること。
12．通行証の有効期限が切れたときは直ちに返却し、若しくは更新手続きをとること。

国土交通省　九州地方整備局
国営海の中道海浜公園事務所
［発行］海の中道管理センター

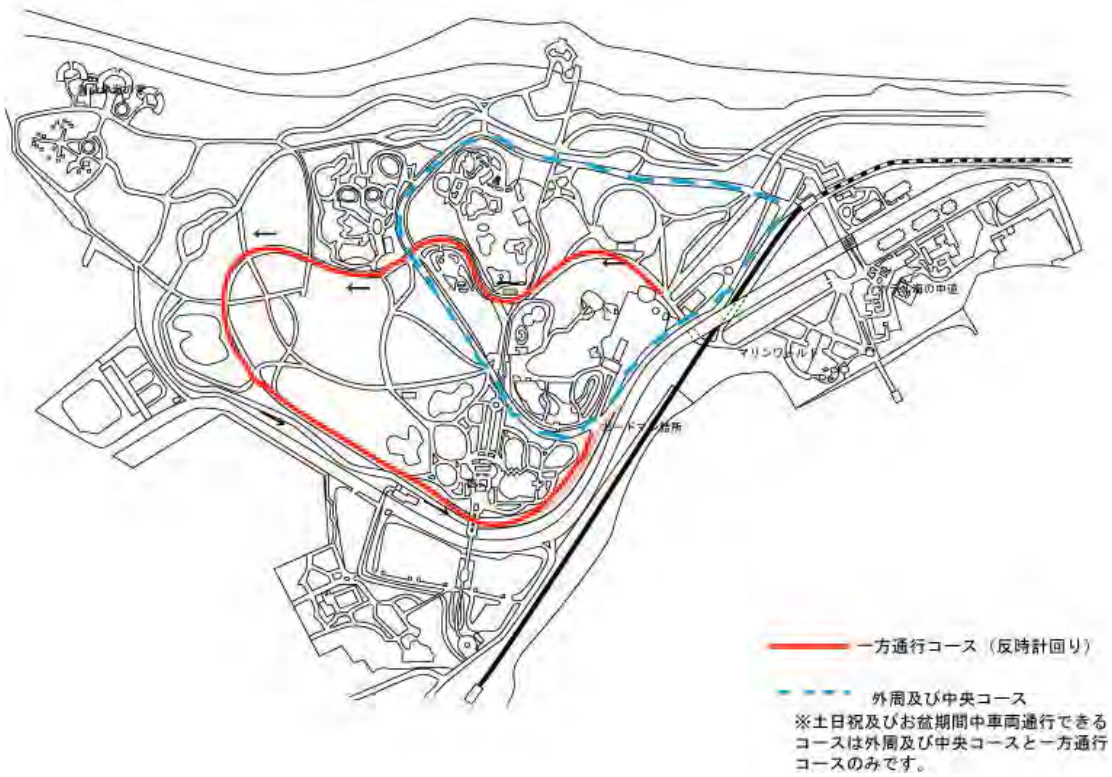
公園内立入者及び車両入園許可申請一覧

工事・業務名　　元受会社名

会社名	立入者名	電話番号	車両番号	メーカー	車名	車種（該当するものに丸をお付けください）	土日祝通行申請車	備考
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		
						商業車（トラック・バン）・ワゴン車・ミニバン・1BOX・2BOX・軽ワゴン・セダン		

※携帯電話をお持ちの場合は電話番号の欄に携帯電話番号をお書きください。
※車名及び車種は園内乗り入れが出来ないセダン（3BOX車）でないかをチェックするためにたずねております。該当する型式に丸をお付けください。
※土日祝日及びお盆期間中の混雑時に業務上入れざるを得ない車の場合は土日祝通行申請車の欄に○を付けてください。なお主任監督員が必要なしと判断した場合は許可が下りないことを予めご了承ください。
※車両通行証・入園証の発行は1週間ほどかかります。センター総務係に出来上がりの電話確認後、受け取り来られてください。

園内車両通行ルート



別添16

立　入　禁　止　区　域　へ　の　立　入　届　出　書

平成　　年　　月　　日

国営海の中道海浜公園事務所長　　殿

申請者　住　所

氏　名　　印

立入禁止区域について、以下の条件を遵守しますので、立入の届出をいたします。

記

団体名及び代表者名	
日　時	平成　　年　　月　　日　～　平成　　年　　月　　日 （うち　　日間）
目　的	
内　容	
人　数	
その他	

《遵守事項》

１．本届出の実施にあたり事故等が発生した場合はすべて申請者の責任で対応するとともに、公園管理者へも速やかに報告すること。
２．海浜部へ立入にあっては海浜植物の保護のため、みだりに踏み荒らさないこと。
３．海浜部へ立入にあっては公園管理者に無断で海浜動植物を採取しないこと。
４．海水浴等を行わないこと。波打ち際から３０ｍ以内には近寄らないこと。
５．ゴミ等を投棄しないこと。
６．ペットを持ち込まないこと。
７．火気等を使用しないこと。
８．公園施設の正常な利用に支障を及ぼさないこと。
９．その他、公園の適正な利用のため、公園管理者の指示に従うこと。

都市公園法第６条及び第 12 条の許可申請書

都 市 公 園 占 用 許 可 申 請 書

平成　　年　　月　　日

国営海の中道海浜公園管理者

国土交通省九州地方整備局

局長　○○　○○殿

〒

申請者　住所

氏名

連絡先 TEL　　（　　）

FAX　　（　　）

都市公園法第 6 条により下記の通り許可を申請します。

記

都　市　公　園　名	
占　用　場　所	
占　用　期　間	
占　用　目　的	
占用物件の名称 規模・構造及び数量	
工事実施方法及び 工事着手及び 完了の期間	
占用物件の管理方法	
都市公園の復旧方法	
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項	

平成　年　月　日

国営海の中道海浜公園管理者

国土交通省九州地方整備局

局長　○○　○○殿

〒

申請者　住所

氏名　　㊞

連絡先　TEL　　（　　）

FAX　　（　　）

都市公園法第 6 条の規定に基づいて、別紙の申請がありましたので提出いたします。

名　称

財　団　所　見

審査した結果、管理に支障はないと思われます。

受理年月日　　平成　　年　　月　　日

申　請　者

許 可 申 請 書

国営海の中道海浜公園管理者
国土交通省九州地方整備局
局長　○○　○○殿

〒
申請者　住所

氏名　　㊞
連絡先　TEL　　（　　）
FAX　　（　　）

都市公園法第 12 条の第１項の許可を受けたいので、下記により申請いたします。

記

行 為 の 種 別	
日 時 又 は 期 間	
場　　所	
目　　的	
内　　容	
その他参考となるべき事項	

備　考
１．申請者が法人である場合は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載する。
２．「その他参考となるべき事項」の欄には、次の事項の他、許可申請にあたって、特記すべき事項を記入する。
(1) 工作物の設置を行うときは、その工作物の種類、設置場所、設置期間、その他必要事
(2) 変更の許可申請の場合には、すでに受けた許可の年・月・日
３．提出部数　１部
４．工作物を設置する場合は、その規格を明記すること。

平成　年　月　日

国営海の中道海浜公園管理者

国土交通省九州地方整備局

局長　○○　○○殿

〒

申請者住所

氏名

連絡先　TEL　（　）

FAX　（　）

都市公園法第 12 条第 1 項に基づいて、別紙の申請がありましたので提出いたします。

名　称

海の中道管理センター所見

別紙チェックリストにより検討した結果、実施して良いと思われます。

受理年月日　平成　年　月　日

申　請　者

誓　約　書

平成　　年　　月　　日

公園管理者
九州地方整備局長　殿

住所：

氏名：　　㊞

平成　　年　　月　　日付けで都市公園法第 6 条に基づき申請した、
「　　」について、
次のとおり誓約します。

１．自己又は自社（団体）の役員等は、次のいずれにも該当しません。
　また、次に掲げる者が、その経営等に実質的に関与している法人その他の団体又は個人ではありません。

１）暴力団による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下、「暴力団」という。）

２）暴力団による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号第 2 条第 2 号に規定する暴力団員（以下、「暴力団員」という。）

３）暴力団員でなくなった日から 5 年を経過しない者

４）自己、自社（団体）もしくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用している者

５）暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなど、直接的若しくは積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者

６）暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者

２．都市公園法第 6 条に基づく許可後、上記 1 項の規定に該当する事が判明し、公園管理者より許可の取り消しを命じられた場合は、その命令に従います。また、当該事象により発生した損害等について、国土交通省・九州地方整備局・国営海の中道海浜公園事務所・公園管理運営業務受託者に対してその賠償の請求はいたしません。

海の中道海浜公園では、行政事務全般から暴力団等を排除するため、申請者に暴力団等でない旨の誓約をお願いしております。なお、内容確認のために福岡県警察本部へ照会を行う場合があります。

誓　約　書

平成　　年　　月　　日

公園管理者
九州地方整備局長　殿

住所：

氏名：　　㊞

平成　　年　　月　　日付けで都市公園法第 12 条に基づき申請した、
「　　」について、
次のとおり誓約します。

１．自己又は自社（団体）の役員等は、次のいずれにも該当しません。
　また、次に掲げる者が、その経営等に実質的に関与している法人その他の団体又は個人ではありません。

１）暴力団による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下、「暴力団」という。）

２）暴力団による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号第 2 条第 2 号に規定する暴力団員（以下、「暴力団員」という。）

３）暴力団員でなくなった日から 5 年を経過しない者

４）自己、自社（団体）もしくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用している者

５）暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなど、直接的若しくは積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者

６）暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者

２．都市公園法第 12 条に基づく許可後、上記 1 項の規定に該当する事が判明し、公園管理者より許可の取り消しを命じられた場合は、その命令に従います。また、当該事象により発生した損害等について、国土交通省・九州地方整備局・国営海の中道海浜公園事務所・公園管理運営業務受託者に対してその賠償の請求はいたしません。

海の中道海浜公園では、行政事務全般から暴力団等を排除するため、申請者に暴力団等でない旨の誓約をお願いしております。なお、内容確認のために福岡県警察本部へ照会を行う場合があります。

誓　約　書

平成　　年　　月　　日

公園管理者
九州地方整備局長　殿

住所：

氏名：　　㊞

平成　　年　　月　　日付けで都市公園法第 6 条及び第 12 条に基づき申請した、
「　　」について、
次のとおり誓約します。

１．自己又は自社（団体）の役員等は、次のいずれにも該当しません。
　また、次に掲げる者が、その経営等に実質的に関与している法人その他の団体又は個人ではありません。

１）暴力団による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下、「暴力団」という。）

２）暴力団による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号第 2 条第 2 号に規定する暴力団員（以下、「暴力団員」という。）

３）暴力団員でなくなった日から 5 年を経過しない者

４）自己、自社（団体）もしくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用している者

５）暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなど、直接的若しくは積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者

６）暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者

２．都市公園法第 6 条及び第 12 条に基づく許可後、上記 1 項の規定に該当する事が判明し、公園管理者より許可の取り消しを命じられた場合は、その命令に従います。
　また、当該事象により発生した損害等について、国土交通省・九州地方整備局・国営海の中道海浜公園事務所・公園管理運営業務受託者に対してその賠償の請求はいたしません。

海の中道海浜公園では、行政事務全般から暴力団等を排除するため、申請者に暴力団等でない旨の誓約をお願いしております。なお、内容確認のために福岡県警察本部へ照会を行う場合があります。

別添１８

園内におけるロケーション等の許可に関する取扱要領

国営海の中道海浜公園事務所

（定　義）

第１条　園内における撮影（写真、映像）及びロケーション（以下、「ロケーション等」という。）とは、行為の禁止等に関する取扱要領（平成25年4月15日改正）（以下、「行為の取扱要領」という。）第８条第四項に記したものを指し、個人や団体が記録としてのみ撮影するもの、職員等が管理行為として行うもの及びＴＶ、新聞、雑誌等（以下、「マスコミ等」という。）の撮影で当公園の広報につながるものは除く。

（許可申請）

第２条　海の中道海浜公園内でロケーション等を行おうとする者は、ロケーション等を行おうとする日の原則14日前迄に法第12条に基づく申請書及び公園管理者又は管理センターの求める資料を公園管理者へ提出するものとする。

２．報道の為の取材については、原則３日前迄に法第12条に基づく申請書及び公園管理者又は管理センターの求める資料を公園管理者へ提出するものとする。但し、災害・事件等緊急な場合はその限りではない。

３．個人や団体が記録としてのみ撮影するものについては、許可申請は不要とする。

４．マスコミ等の撮影で当公園の広報として行うものについては、事前に国営海の中道海浜公園取材申込書「以下、（取材申込書）という。」を管理センターへ提出するものとする。なお、管理センターは国営海の中道海浜公園事務所に内容を報告し承諾を得るものとする。

（許可基準）

第３条　法第12条の規定による許可申請及び取材申込書に関しての、許可基準は原則として次の各項に掲げるものとする。

１．当公園のイメージを損なうロケーション（物品の持込含む）等は許可しない。

２．行為の取扱要領第４条及び５条の各号に該当するものを含むロケーション等は許可しない。

３．立入禁止区域でのロケーション等は許可しない。

４．当公園があたかも、商品や企業を応援・推奨等していると取られるようなものは、許可しない。

（その他）

第４条　ロケーションを許可するにあたり原則、映像に当公園名等を挿入することを義務づけるものとする。

（字句の定義）

第５条　本要領文中にある「当公園」「職員等」「法」「公園管理者」「管理センター」とは国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領を準用するものとする。

（付　則）

第６条　平成22年12月１日から施行する。

（平成６年11月1日より適用してきた園内における商業的撮影行為に対する考え方を踏襲した）

平成23年４月１日から一部改正

平成23年８月１日　　一部改正

平成25年４月１５日　一部改正

別添１９

国営海の中道海浜公園　野外劇場利用及び野外コンサート等の許可に関する取扱要領

（目　的）

第１条　本要領は、国営海の中道海浜公園（以下「当公園」という。）の野外劇場の利用及び野外コンサート等で公園の一部を排他的に利用する場合の許可について必要な事項を定め、適正な実施運営を図ることを目的とする。

（運営方針）

第２条　野外劇場は、当公園の整備方針である都市における生活環境の改善と、広域的な屋外レクレーション需要に対応するための公園施設として、国民が愛好する音楽、舞踊、演劇、アウトドアスポーツ（以下、「野外コンサート等」という。など多様なレクリエーション開催のための会場として運営するものである。

また、野外コンサート等については一般的なレクレーション等より綿密な調整が必要な事から、より詳細な要領を定め適正な運営が図れるよう努めるものである。

（許可条件）

第３条　野外劇場及び野外コンサート等の許可条件は以下の各号に掲げるものとする。

（１）　公序良俗に反する恐れのあるイベントは許可しない。

（２）　当公園のイメージを損なう（物品を使用する）恐れのあるイベントは許可しない。

（３）　公園施設を毀損又は滅失する恐れのあるイベントは許可しない。

（４）　原則、集客規模１，０００人を超えるものとする。

（５）　一般の公園利用者に支障がなく公益性のあるものとする。

（６）　開園日、開園時間内であること。ただし、公演等の都合上夜間延長を必要とする場合は、22時（公演は21時迄）迄とする。なお、夜間延長が必要なとなった場合、会場及びイベント参加者誘導に必要となる照明等は利用者（主催者）で対応するものとする。

（７）　国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領第４条及び第５条に該当しないよう参加者に徹底するものとする。

（８）　国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規制を遵守するよう、すべてのスタッフ及び関係者に徹底するものとする。

（９）　その他公園管理者が公園の管理運営上問題があると認めたものについては許可しない。

（許可申請）

第４条　利用申込は都市公園法（以下、「法」という。）第12条に基づく許可を得るものとする。なお、許可申請については以下のとおり取り扱うものとする。

（１）　利用する前年度に野外劇場の利用及び野外コンサート等の利用実績がある場合は、毎年、海の中道管理センター（以下、「管理センター」という。）が開催する野外劇場の利用及び野外コンサート等の利用実績のある主催者が一同に介した意見交換会に参加する事を条件にイベント等を開催しようとする前年度の10月１日からイベント等を開催（開催のための準備）しようとする日の60日前までに法12条の許可申請書に第４条第１項（３）に示す項目を具備した実施概要書を付して管理センターに提出しなければならない。なお、意見交換会に参加されない場合は、それ以前に許可証を発行していたとしても、一旦許可を取り消すものとする。

（２）　利用する前年度に野外劇場の利用及び野外コンサート等の利用実績がない場合は、毎年、管理センターが開催する野外劇場の利用及び野外コンサート等の利用実績のある主催者が一同に介した意見交換会の日以降イベント等を開催（開催のための準備）しようとする日の60日前までに法12条の許可申請書に第４条第１項（３）に示す項目を具備した実施概要書を付して管理センターに提出しなければならない。

（３）　実施概要書に具備する事項は以下のとおりとする。

①開催目的　②開催日時（雨天時の対応含む）　③主催者等の名称　④開催内容
⑤参加者数の見込み　⑥物販等の有無
⑦問い合わせ先（担当者の所属団体・氏名・連絡先）
⑧運営組織図及び連絡体制(案)　⑨会場図(案)　⑩案内誘導計画(案)
⑪安全対策及び救護体制(案)　⑫交通（駐車場・シャトルバス等）対策（案）
⑬周辺地域対策(案)　⑭その他特記すべき事項

２．上記第１項により許可を受けた後、主催者は準備及びイベント実施に際しての管理・運営に必要となる事項について管理センターと綿密な調整を図るとともに第４条第２項（１）に示す項目を具備したマニュアルをイベントの準備を実施しようとする日の14日前までに管理センターへ必ず提出するものとする。なお、期限までにマニュアルが提出されない場合は、法12条の許可を取り消す場合がある。

（１）　マニュアルに具備する事項は以下のとおりとする。

①開催目的　②開催日時（雨天時の対応含む）　③主催者等の名称　④開催内容
⑤参加者数の見込み　⑥物販等の有無
⑦問い合わせ先（担当者の所属団体・氏名・連絡先）
⑧運営組織図及び連絡体制　⑨会場図(詳細)　⑩案内誘導計画
⑪安全対策及び救護体制　⑫交通（駐車場・シャトルバス等）対策
⑬周辺地域対策　⑭入園料支払い方法及び参加者の入園方法
⑮実施スケジュール（準備・開催日当日・撤去）
⑯その他公園管理者が必要と認める資料

３．法12条の許可を受けた日以降しか当該イベントの告知等で開催場所を明らかにする事はできないもとする。

（占用の申請）

第５条　利用者は、野外コンサート等について許可を受けたとき、会場等として必要とする部分（野外劇場は別紙コンサート等での野外劇場使用における占用面積の取り決め（案）」）開催（開催のための準備）しようとする日の30日前までに法６条に基づく占用許可申請書を管理センターに提出しなければならない。

（占用料の納入）

第６条　利用者は第５条申請により公園管理者より許可を受けた占用部分（面積）にかかる占用料について、納入告知書発行日より20日以内に所定の額を納入しなければならない。

なお、イベント等中止となった場合でも占用料の返還等は行わないものとする。

（利用上の留意事項）

第７条　利用者は野外劇場の利用及び野外コンサート開催に際して以下に掲げる事項について留意しなければならない。

（１）　会場内で利用期間中に設置した仮設物・設備類は善良な管理者により管理すること

（２）　利用期間中に使用した、資材・器具類は使用終了後速やかに撤去し原状に復旧すること。

（３）　利用者が主催するイベントの参加者（入園者）が公園の開園前に参集し混乱が生じ

る恐れのある場合は利用者側で整理すること。

（４）　利用者が主催するイベントで災害、盗難、救急事案、警察事案が発生しないよう努めなければならない。なお、万が一イベントにおいて災害、盗難、救急事案、警察事案が発生した場合は利用者により適切な対応を行う他、公園管理者に報告しなければならない。

（５）　公園の駐車場の収容台数には限りがあるため、利用者側で参加者の駐車場を確保するか、市街地からの大量輸送等を行うか、参加者は公共交通機関利用するよう周知・徹底を行う等の方策を行うこと。

（６）　コンサート等は大音量等が予想されるので、地元自治会等へ事前説明等必ず行うこと。

（物販等の取扱い）

第８条　野外コンサート等のイベントに付随して展示、物販、ロケーション等（以下、「物販等」という。）を行う場合は、管理センターの担当部署と綿密な調整を行う外、管理センターより提出を求められた資料については物販等行おうとする日の30日前までに必ず提出するものとする。なお、期限を守れなかった場合には、物販等が出来ない場合があるので特に留意すること。

２．上記で許可された内容と異なる状況が現地で確認された場合は、当該の物販等については中止させる場合がある。

（利用の取り消し等）

第９条　利用者（主催者）は野外劇場の利用及び野外コンサートの運営管理に際して一切の責任を負うものとする。なお、以下に掲げる事項について違反等を公園管理者が確認し、主催者に対して指導を行ったにも関わらず、その指導に従わない場合には公園管理者より利用の取り消しを命ずる事が出来る、その場合主催者はその命令に従わなければならない。

（１）　公序良俗に反する行為が確認された場合。

（２）　当公園のイメージを損なう（物品を使用した）内容が確認された場合。

（３）　公園施設を毀損又は滅失する行為が確認された場合。

（４）　国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領第４条及び第５条に該当する参加者が確認された場合。

（５）　国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規制を遵守しないスタッフ及び関係者が確認された場合。

（６）　本要領に記載された事項について遵守されていない事象が確認された場合。

（７）　その他、公園管理者が公園の安全管理上（災害等により公園を閉園せざるを得ない場合等）、利用させる事が困難であると判断した場合。

２．上記（１）～（６）により利用の取り消しを受けた者（団体）又はそれに準じるものと公園管理者が判断した者（団体）は、それ以降の野外劇場及び野外コンサート等の利用は許可しないものとする。

（付　則）

第10条　平成４年４月１日より施行する。

平成22年12月１日より一部改正する。

平成23年４月１日より一部改正する。

別添20

○○○○○ボランティア

活動規約（ひな形）

第１章　総則

（目　的）

第１条　本ボランティアは、国営海の中道海浜公園（以下「本公園」という。）において、市民主体による様々な活動を通し、本公園の魅力や活動の可能性を発見・創造するとともに、それらを多くの人々に伝えていくことにより、魅力的な公園利用の実現と活性化を図るため、○○○○○を目的として、国営海の中道海浜公園管理センター（以下「海の中道管理センター」という。）が定めるものである。

（名　称）

第２条　本活動に参加するボランティアは「○○○○○ボランティア」（以下「本会」という。）と称する。

（構成及び認定）

第３条　本会は会員（以下「ボランティア」という。）をもって構成する。

２　ボランティアは、海の中道管理センターが認定し、国土交通省九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所（以下「公園事務所」という。）が承諾した者とする。

第２章　活動内容

（活動内容）

第４条　本会の活動内容は次の各号に掲げる活動を行う。

一　○○○○に関する活動

二　○○○○活動のサポート

三　○○○○○ボランティア研修（講師による講習会等）に関する活動

四　その他、ボランティア活動の運営全般に関すること

２　本会の活動にあたっては公園規則を遵守し、公園のボランティアとして相応しい服装、言動、行動に十分配慮する。

３　本会の活動内容については、活動報告を管理センターに提出するものとする。

（活動エリア）

第５条　本会の活動エリアは、主に○○○とし、本公園供用区域内を原則とする。

２　講習会等の活動においては、○○○等を利用できるものとする。

（活動日）

第６条　本会の活動は、予め定めた活動計画に基づき実施することとする。

２　活動計画日以外の日でも、活動内容規約第４条に基づく活動は随時実施できることとする。

第３章 運営体制

（事務局）
第７条　本会の事務局を海の中道管理センターに置く。

（連絡調整）
第８条　運営においては、事務局が連絡調整を行い、活動の円滑化を図ることとする。

第４章　　会議

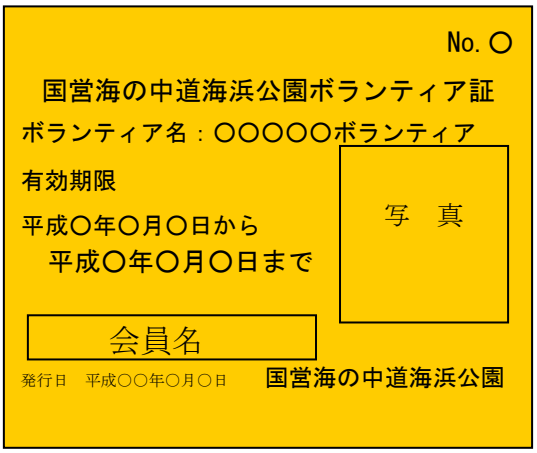
（全体会議）
第９条　全体会議は、事務局の招集により、必要に応じて年２回程度開催する。

第５章　　ボランティア証及び貸与物品

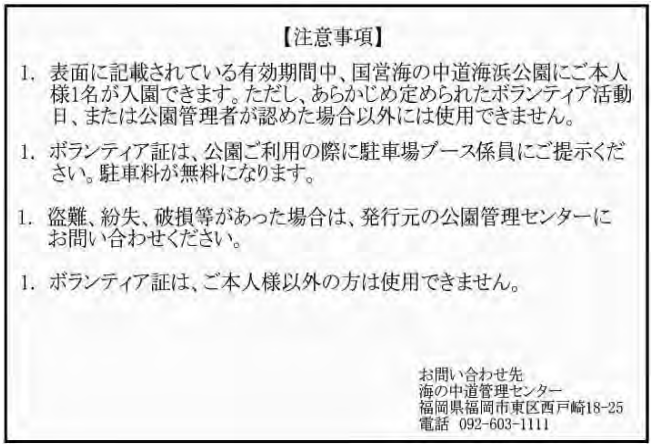
（ボランティア証）
第１０条　ボランティアには、ボランティア証を交付する。
２　ボランティア証の有効期間は、４月１日より翌年３月 31 日までとし、必要に応じて更新を行う。
３　ボランティア証の取扱いについては、次の各号に掲げる項目について遵守することとする。
一　登録者の責においてボランティア証を保持し、万一破損・紛失等があった際は速やかに事務局に報告しなければならない。
二　ボランティア証の使用は登録者本人のみとし、第２章第６条に該当する日以外に使用してはならない。
三　ボランティア証の不正利用が認められた場合は、該当する登録者のボランティア証を没収する。
四　ボランティアが本会を退会する際は、ボランティア証を公園に返却しなければならない。

（見本）国営海の中道海浜公園ボランティア証

【表面】



【裏面】



（支給・貸与物品）

第１１条　活動時のユニフォームとして事務局よりスタッフジャンパー及びネームカードを貸与する。なお、活動中はスタッフジャンパー及びネームカードの着用を義務づける。

２　活動に必要な備品（作業道具等）及び諸材料について事前に事務局に協議し、事務局が必要に応じて支給または貸与する。

第６章 入園方法の取扱い

（入園料の取扱い）

第１２条　本会の活動を目的とするボランティア本人の来園については、管理センターの発行するボランティア証を提示することにより、入園料金・駐車料金ともに無料とする。

（活動時の入園）

第１３条　ボランティア活動時の入園口は、主に○○口とし、必要に応じて○○口、○○口のいずれかとする。

（車両規則）

第１４条　本公園内への車両の乗り入れについては、原則認めないものとする。ただし、作業にあたって材料・機材等を運搬する必要が生じた場合は、事前に事務局と協議し、入園時間及び走行ルートを調整の上、承諾を得るものとする。

２　活動日に車で来園する場合は、本公園の一般駐車場を利用するものとし、駐車場入口にてボランティア証を掲示するものとする。

第７章 報酬・賠償等の取扱い

（報酬）

第１５条　ボランティアへの人件費及び交通費の報酬は支給しないこととする。

（賠償）

第１６条　ボランティアは、ボランティア活動中の事故等による損害について、海の中道管理センター及び国土交通省、九州地方整備局及び公園事務所に賠償を求めることは、原則できないものとする。ただし、ボランティアに責任が及ばない場合はこの限りではない。

（ボランティア保険）

第１７条　ボランティアには、ボランティア活動保険に加入することを推奨する。また、加入にかかる費用は、個人負担とする。

２　ボランティア保険の有効期限はボランティア証と同じ（４月１日より翌３月31日まで）とする。

３　ボランティア保険加入の手続きについては、事務局が行うものとする。

４　ボランティア活動中に生じた事故や怪我については、ボランティア保険の適用範囲内での対応とする。

第８章 退会

（退会）
第１８条　途中で本会を退会するボランティアは、事前に事務局に報告した上で、書面にてその旨を提出する。（書式問わず）
２　規約違反や不適切な行動と認められる行動があった場合、事務局の判断により公園事務所と協議の上、退会を行うものとする。

（貸与物品の返却）
第１９条　退会する際は、ボランティア証と貸与物品を事務局に返却しなければならない。

第９章　その他

（個人情報の取扱い）
第２０条　ボランティアの個人情報（名前、住所、連絡先）は、個人情報保護法及び海の中道管理センター個人情報保護方針に則り適切に管理する。個人情報は、ボランティアの認定及びボランティア証の発行許可にかかる公園事務所への協議、ボランティア保険加入手続き、活動に関する連絡のためにのみに用い、その他の用途には使用しない。

付則
この規約は、平成 22 年 4 月 1 日より施行する。

国営海の中道海浜公園

サインマニュアル

建設省海の中道海浜公園工事事務所

サインマニュアル説明会資料

サインマニュアルの理念	－ P.0
サイン整備の目的	－ P.1
デザインの基本	－ P.2
マニュアルを適用するサイン	－ P.3
指定書体	－ P.10
指定ピクトグラム	－ P.11
施設名	－ P.13
サイン標準仕様	－ P.18

「グラフィックマニュアル」と「サインマニュアル」との違い

- グラフィックマニュアル

  シンボルマークやロゴなどサインに関しての基礎事項を定めている。

- サインマニュアル

  グラフィックマニュアルを発展させ、サインの具体例を掲載して、サインの色、書体の統一を図っている。

長期的かつ段階的な整備

今後行う工事ごとに、サインマニュアルに基づいてサインを設置していけば、年々、マニュアルに準拠したサインが増えていき、１０年も経てばサインが体系的に整備されることになるであろう。

ホテル、マリンワールドなどに関してのサインマニュアルの取り扱い

各機関において、独自の統一されたサインに関しての基準がある場合には、かならずしもサインマニュアルに従う必要はありません。ただし、海の中道海浜公園のシンボルマークやロゴなど、グラフィックマニュアルを参考として下さい。

赤色の取り扱いについて

- 赤色は、禁止・警告等のサインのピクトグラムにのみ使用可能。
- 地図等にはＯＫ。

施設名の日本語・英語両方の表記について

外国人が見てわかるサインを設置する。できれば、英語だけでなく、中国語・ハングル語も載っているのが望ましい。

英語表記は、単語の先頭は「大文字」とする。

サインマニュアルについて

サインマニュアルの理念

本公園は広域的レクリエーション施設として、広大な面積を有しその中に特色ある施設を配置しています。

その公園本体と各公園施設相互が有機的な結びつきを持ちつつ、同一の公園として認識されることを目的に「Park Identity=PI」確立を目指しており、その一環としてビジュアルの側面からサインにおいてもイメージの統一を図る必要があります。

公園内に設置するサインの色・書体等の統一を図ることにより同一の公園として認識をもたせ、また系統だったサインを配置する事は利用者にとって分かりやすいものとなります。

そこでこのたび「海の中道海浜公園サインマニュアル」を作成しました。これは、利用者が分かりやすく快適に行動できるようなサインを体系的に整備するにあたっての、計画・設計・施工といった実務の便を図ることを目的とするものです。

本マニュアルを活用し魅力的な公園づくりを進めてください。

1.サイン整備の目的

目的
1.利用者が必要とする情報を秩序正しく示す。
2.利用者が的確に情報を受けとれるサインの配置をする。
3.わかりやすく、見やすい、美しいサインにする。
4.施工しやすく、管理しやすい、安価なサインを導入する。
5.担当者が変わっても継続していけるシステムを確立する。

公園空間での情報を伝達する装置としてサインを捉えた場合、情報の送り手と受け手になるのは管理者と利用者です。

すなわち、その双方にとって利用しやすい装置であることがサインを有効に機能させるといえます。

そこで、相互の観点から利用しやすい、よいサインとはなにかを整理し、サインの整備の目的をまとめました。

■利用者の観点からみた利用しやすいサイン

1.利用者にとって必要な情報が、秩序正しく表示されている。
2.利用者の知りたい情報が、必要な場所にあり、的確に行動できる。
3.利用者にとって見やすい位置にあり、かつ、公園の周辺環境に違和感のない美しいデザインである。

といった、秩序ある、利用者を考慮した、わかりやすい形態・配置であることが重要です。

■管理者の観点からみた利用しやすいサイン

4.サインが標準化されていて、施工が容易で、追加、更新が容易にでき、維持管理がしやすい。
また、伝えたい情報が的確に伝えられ、一時的な情報提供についても対応ができる。
5.サインを計画・施工・管理する担当者が変わっても、秩序あるサインの設置が図られるようなシステムを確立する。

といった、施工・維持管理が容易で費用がかからず、担当者が変わっても継続していけるシステムが確立していることが重要です。

2.デザインの基本

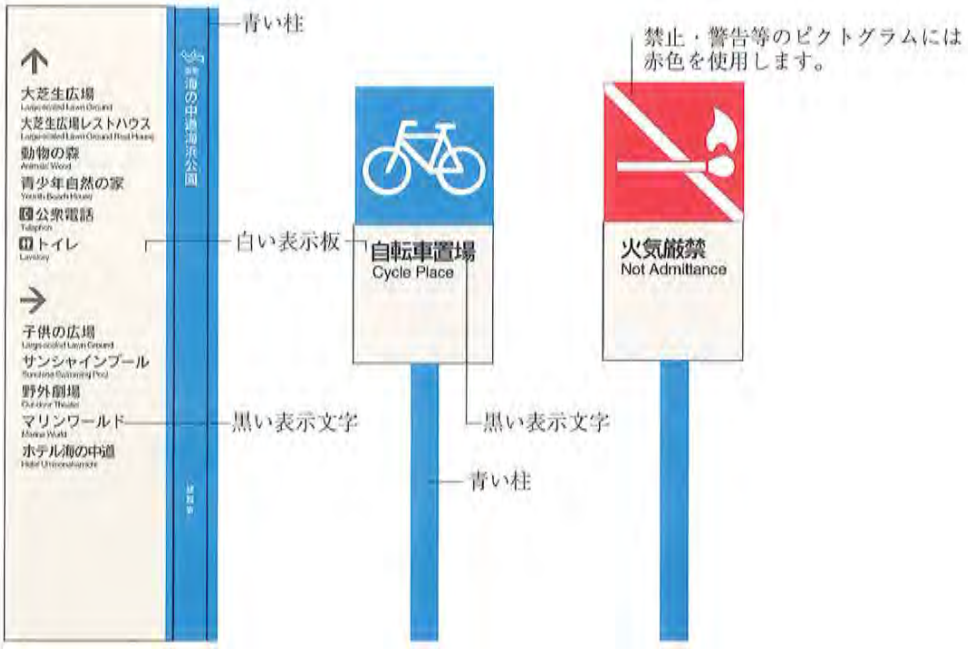
1.青い柱（DIC-F41）
青は海の中道海浜公園のシンボルカラーであり、海をイメージしています。

2.白い表示板（DIC-546 1/2）
表示板は清潔感がある白を基調とします。視認性が高く、地図や写真等を表示する場合にも比較的対応できます。

3.黒い表示文字（DIC-556）
文字の色は表示板の白地に対して見やすい黒とします。白と黒の組み合わせはコントラストが大きく見やすくなります。

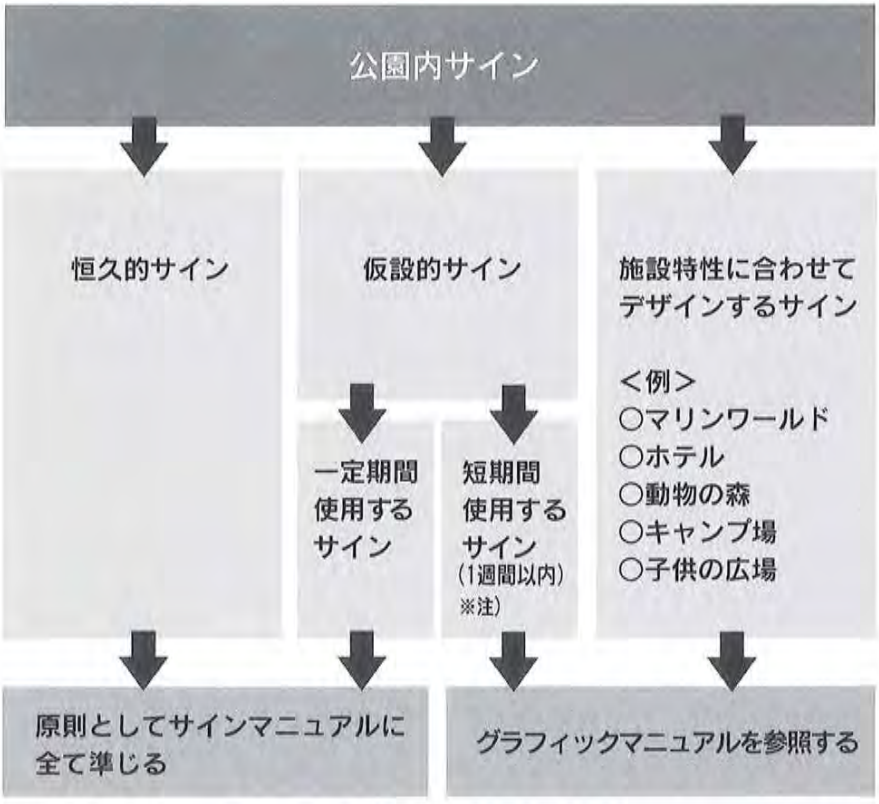
※禁止・警告等のピクトグラムにのみ赤色を使用する事は可能です。
その他の案内・誘導系のサインには使用できません。

例



3.マニュアルを適用するサイン

公園内に設置されるサインは、基本的にサインマニュアルを適用し整備していきます。ただし、園内施設において、施設特性に合わせた独自のサインを整備する必要がある施設は除きます。
また、仮設的なサインで短期（1週間以内）使用するサインにおいても、サインマニュアルの対象外とします。
サインマニュアルの対象外のサインにおいては、海の中道グラフィックマニュアルを参照し整備して下さい。



※注)
仮設的サインで短期間使用するサインのうち、イベント時におけるサインなどは、イベントの内容に合わせて書体、カラー等デザインする事を可能とします。

4.マニュアルの改訂作業

改訂の時期

本マニュアルは毎年改訂しなければならないというものではありませんが改訂が必要となる事態もおおいに考えられます。その例を以下に挙げますと

1.新しい施設が導入され、独自のサインが考案されたとき。

2.フラワーピクニックのように大規模なイベントが新しく行われるようになり、積極的なPRのためにイベント独自のサインが考案されたとき。

3.C地区が概成し、B地区に展開していくうえで、B地区独自のサインが考案されたとき。

などが予想されます。改訂の必要がでてきた都度に内容の追加・訂正を行って下さい。

改訂の責任者

事務局長	建設省	調査設計係長
事務局	建設省	工務係長
	財団	施設係長

改訂方法

改訂が必要になったときに、事務局長が中心となって内容の追加・訂正を行って下さい。この際、改訂記録簿に必ず記入して下さい。

5.マニュアル改訂記録簿

版数	改訂年月日	摘要	改訂責任者署名欄		
			調査係長	工務係長	施設係長
初版	平成6年3月31日				
第2版					
第3版					
第4版					
第5版					
第6版					
第7版					
第8版					
第9版					
第10版					

（注）改訂の際には、この改訂記録簿に必ず記入して下さい。

6.海の中道海浜公園サインマニュアル配布先

組織	役職	No.
事務所	所長	1
	建設監督官（建築）	2
	建設監督官（土木）	3
	建設監督官（調査）	4
	総務課長	5
	総務係長	6
	経理係長	7
	工務課長	8
	専門職	9
	工務係長	10
	工務係	11
	工務係	12
	工務係	13
	建築設備係長	14
	建築設備係	15
	建築設備係	16
	調査設計課長	17
	調査設計係長	18
	調査設計係	19
	調査設計係	20
	調査設計係	21
	管理係長	22
本局	建設専門官	23
	公園係長	24
公団事務所	所長	25
	総務課長	26
	促進役	27
	工務課長	28
	工務係長	29
財団事務所	所長	30
	総務課長	31
	総務課長補佐	32
	総務係長	33
	企画課長	34
	企画係長	35
	企画係	36
	業務一課長	37
	管理係長	38
	管理係	39
	管理係	40
	管理係	41
	管理係	42
	管理係	43
	施設係長	44
	施設係	45
	業務二課長	46
	特定業務係長	47
	西口管理棟	48
	西サイクリングセンター	49
	子供の広場管理棟	50

組織	役職	No.
	観覧車口管理棟	51
	海中口管理棟	52
	雁の巣調査役	53
ホテル	支配人	54
	副支配人	55
	総務部長	56
	企画販売部長	57
	営業部長	58
マリンワールド	社長	59
	常務理事	60
	館長	61
	総務部長	62
	営業部長	63
	海洋動物課	64
	魚類課	65
海の家	館長	66
	管理係長	67
	管理係	68
西ビル	現地事務所	69
	現地事務所	70
	現地事務所	71
泉陽興業	現地事務所	72
	現地事務所	73
	現地事務所	74
その他		75
		76
		77
		78
		79
		80
		81
		82
		83
		84
		85
		86
		87
		88
		89
		90
		91
		92
		93
		94
		95
		96
		97
		98
		99
		100

Sign
Manual for
Uminonakamichi
Seaside Park

国営海の中道海浜公園

サインマニュアル

目次

1.サインマニュアルの対象範囲　マニュアルにそって整備するサイン　09

2.指定書体　サインに使用する書体　10

3.指定ピクトグラム　サインに使用するピクトグラム　11

4.指定色　サインに使用する本体色・文字色　12

5.施設名一覧　サインに表記する施設名及び英訳　13

6.サインリスト　マニュアルにそって整備するサインの一覧表　16

7.サイン標準仕様　海の中道海浜公園のサイン標準仕様・製作図　17

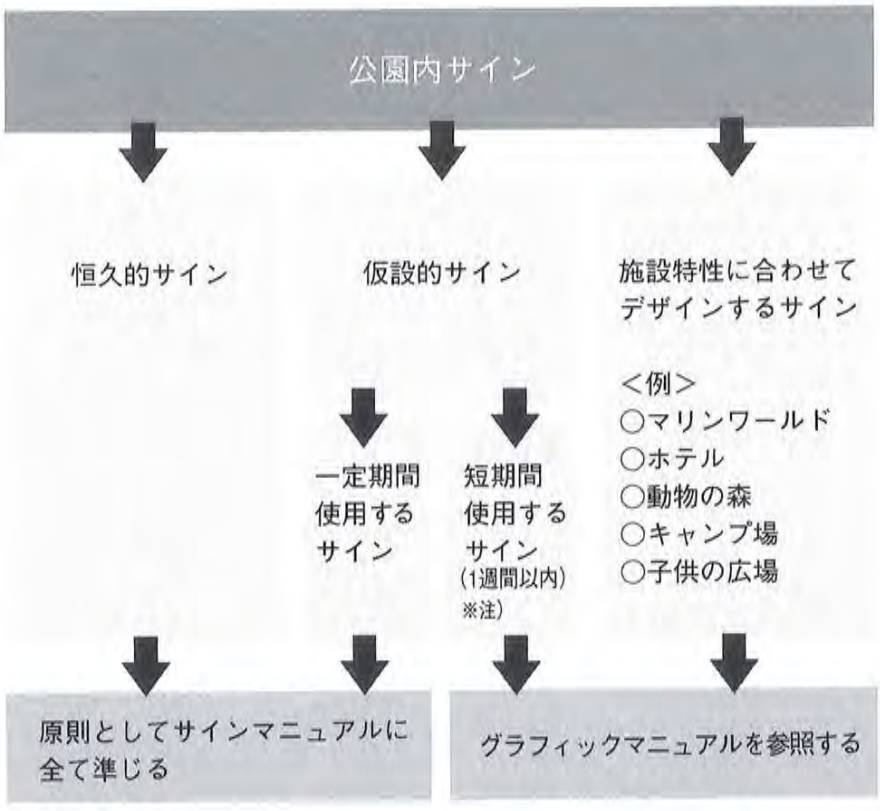
8.展開事例　マニュアルを参考にしてサイン展開をした事例　57

1.サインマニュアルの対象範囲

公園内サインの整備範囲

基本的に公園内に設置されるサインは、本サインマニュアルに準じて整備していきます。
ただし、公園内施設において施設特性に合わせた独自のサインを整備する必要がある施設は除きます。

また、仮設的なサインで短期（１週間以内）使用するサインにおいても、サインマニュアルの対象外とします。
サインマニュアルの対象外のサインにおいては、海の中道グラフィックマニュアルを参照し整備して下さい。



※注)
仮設的サインで短期間使用するサインのうち、イベント時におけるサインなどは、イベントの内容に合わせて書体、カラー等デザインする事を可能とします。

国営海の中道海浜公園

グラフィックマニュアル

Graphic
Manual for
Uminonakamichi
Seaside Park

国営海の中道海浜公園
グラフィックマニュアル

ベーシックアイテム・システム——01～25

アプリケーションアイテム・システム——26～55

清刷——56～75

はじめに

国営海の中道海浜公園が、今後の広域レクリエーション・ニーズの多様化と高度化に的確に対応しつつ、国民により親しみやすく利用しやすい公園として発展を遂げて行くためには、540ヘクタールという広大な敷地面積を有する本公園と本公園内に配置される特色有る公園施設相互が有機的な結びつきをもちつつ、同一の公園として認識されること、すなわち公園としてのアイデンティティ(Park Identitiy=PI)を確立していくことが重要です。

本書は、このために特にビジュアルな側面に着目し、本公園のシンボルマーク、ロゴタイプ、マスコットキャラクター、テーマカラー、ピクトグラム等ベーシックエレメントについての使用基準をまとめるとともに、具体的に使用される媒体項目(アプリケーションアイテム)として、サイン、レターヘッド、広報制作物等への使用例を掲げ、これらを『グラフィックマニュアル(Graphic Manual)』として集約したものです。

本マニュアルが、ビジュアルの側面からイメージアビリティーの向上に役立ち、PIの形成の一助となるよう実践的、効果的に活用されることを期待します。

平成4年10月

1. PI(Park Identity)について

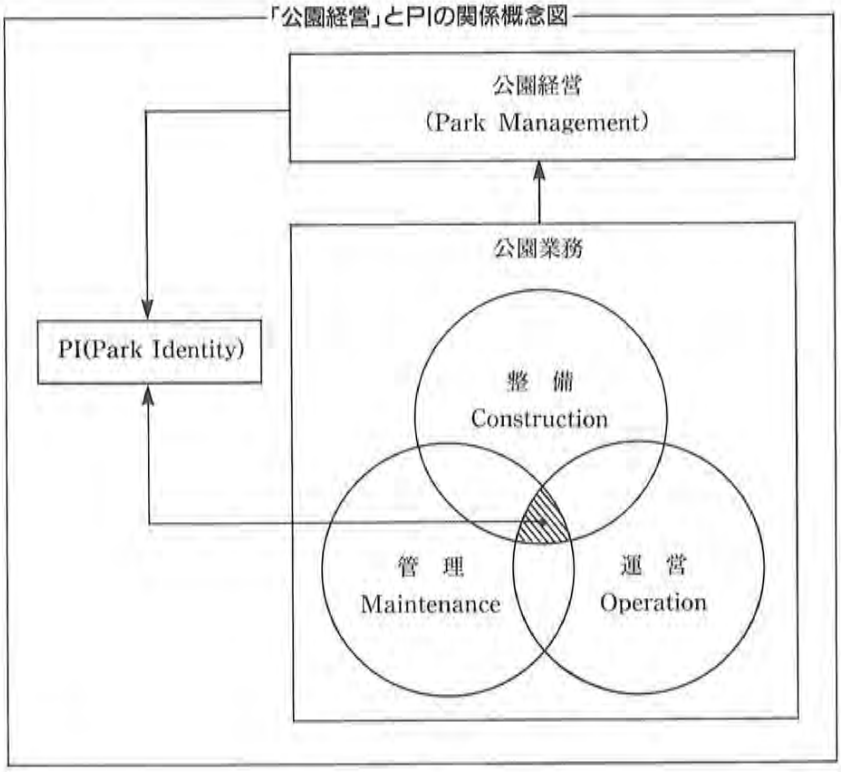
余暇の変化、公共と民間の役割の区分消失、公共施設への市民の参加意識のたかまり、類似民間施設の急増など本公園が国民に利用される望ましい都市公園機能をはたすためには、新たな「公園経営」とその「戦略」が必要となりました。

公園経営とは整備と管理、運営を別々に二次元的にとらえるのではなく、両者を有機的に統合化させる考え方です。

この「公園経営」を推進する基本戦略としてPI計画が導入されるものです。

PIはすでに企業の経営戦略として導入され、実践的成果を上げ、その効果に注目し地方自治体等が導入しているCIを本公園の整備と管理に発展的に応用し、新たな「公園経営」を推進する基本戦略とするものです。

「公園経営」とPIの関係概念図



2. PI計画のコンセプト

コンセプト：概念。考え方。――つまり、何かを創り上げる行動の目標、理念、範囲を示すものです。本公園全体の理念は、昭和50年1月に策定された「海の中道海浜公園基本設計報告書」において、以下の3項があげられています。

1）本公園の特色ある地形、即ち、海の中道と称せられる細長い半島と、その歴史的、文化的背景に留意し、現状の自然を尊重すると共に、修景技術を導入して、自然の中に、自然と人間との楽しいかかわりあいを求めることを基調とする。

2）この公園は、野外のレクリエーションを気安く楽しみ、又自然環境の中にあって、自然の学習と研修の場ともなり、又社会的な集いの場をも提供する場所とする。

3）既存の自然を生かしながら、緑、芝生、花、池、流れ、丘等によって、新たな、ランドスケープを造成する。

この公園計画上の理念と本公園が有している歴史的条件、自然的条件、社会的条件等を踏まえることとともに、来たるべき21世紀を視野に含みつつ、本公園のPI 計画のコンセプトを、次の通りとします。

一、「海の中道」の歴史・文化の継承を目指します。（地域との協調）

二、「海の中道」の自然環境を大切にし、良好なランドスケープを創出します。（自然との共生）

三、人々に安らぎを提供し、真の豊かさの実現に貢献します。（人々との交流）

3. PI計画の基本方針

①人と自然とのやさしいかかわりを通して、国民に真に豊かな時間を提供する。

本公園はゆったりとしたスペースと豊かな自然環境の中で、多様なライフステージにある人々に自然環境とのかかわりあいを育くみながら、真に豊かな時間をすごせる場を提供します。

②地域との様々な交流で成長しつづける都市公園の創造を目指す。

本公園は立地する地域の都市公園であることが基本となります。地域の活性化、それを支える地域の人々の健康増進、創造力の開発等をテーマに人々と本公園が交流し、成長しつづける都市公園を目指します。

③はつらつとしたしなやかな発想と行動が活力にみちた公園をつくる。

本公園スタッフは、人々の多様なニーズへの対応可能な活力にみちた公園づくりを、しなやかな発想と積極的な行動で推進します。

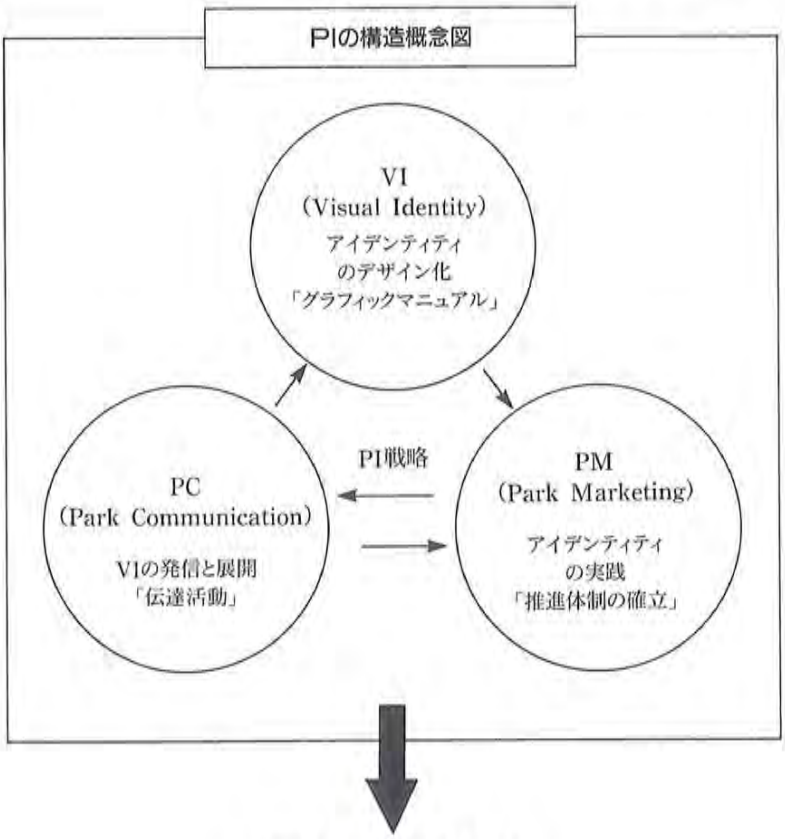
4. PIの構造

新しい「公園経営」とその基本戦略であるPIの構造を次の通りとする。

①本公園のアイデンティティの核となる表現要素（理念とそのデザイン化）とその体系（デザインのシステム展開）からなるグラフィックマニュアル制作活動。――――VI（Visual Identity）

②VIの内容を確実に地域市民、広く国民に広報、宣伝、交流等による伝達活動。
――――PC（Park Communication）

③本公園においてアイデンティティに基づいたサービスの提供や施設の運営を通して、利用者の集客を図ることのできる体制確立活動。
――――PM（Park Marketing）



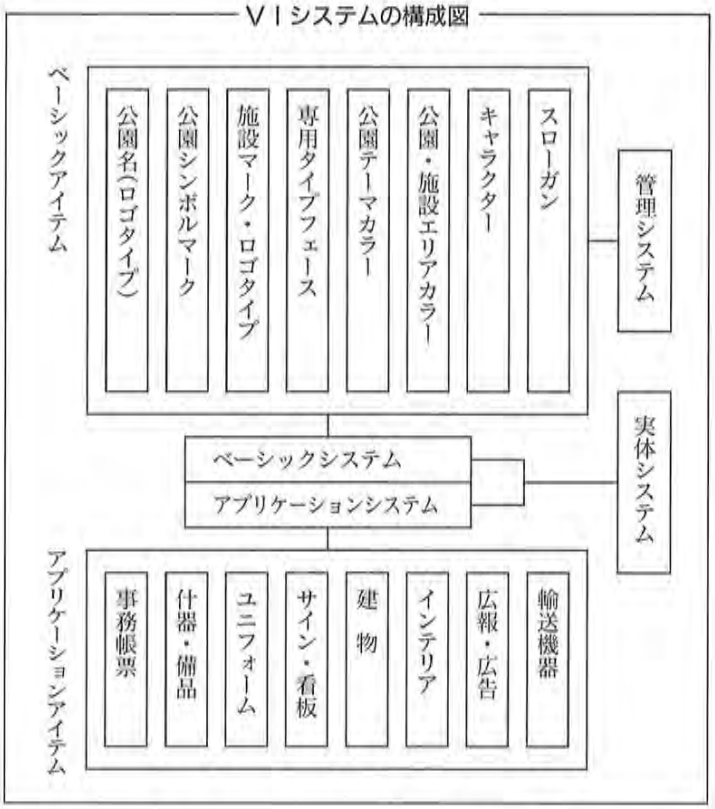
5. PI(VI)システムの展開

PIを計画し導入する上で、リーディングプロジェクトとなるのがVIシステムです。VIは前述したように、経営理念に裏付けられた実態を反映させたもので、本公園の実像とこれから目指す新しい展開をビジュアルイメージ化するものです。具体的には、本公園内に設置される施設や各種サイン及び社会との関わりを高めようとする広報制作物等を全体として統一イメージ化を図るシステムとして展開するものです。

このシステムは、基本的にはコーディネイトされる対象を形づくる実体システム(Object System)とそれを維持管理するための管理システム(Control System)によって構成します。

実体システムは、基本的なベースとなる基本的表現要素(Basic Visual Elements)によって構成するベーシックシステム(Basic System)とそれをその媒体となる適用品(Application Items)に展開し、標準化するアプリケーションシステム(Application System)に大別されます。

VIシステムの構成図



別添２３

平成　　年　　月　　日

海の中道管理センター　●●係　行
（０９２－●●●－●●●●）

国営海の中道海浜公園　取材申込書

申請社名	
媒体名	上記「申請者名」と同じ場合は、記入不要
担 当 者 名	
申請社 住所等	〒　　－ TEL（　　）　　－　　FAX（　　）　　－
取材日時	平成　　年　　月　　日（　　）　時間：●●：●●　～　●●：●●
放送・掲載日	平成　　年　　月　　日（　　）
放送時間	●●：●●　～　●●：●●（　　分間）
番組名	
放送・掲載エリア	全国ネット　・ローカル（　　版）
取材場所	□園内　□光と風　□動物の森　□森の家　□プール　□ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ　□ﾎﾃﾙ　□ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ □海の家　□環境共生の森　□その他
取材内容	
インタビュー	□有（公園スタッフ）　　□有（来園者）　　□無 内容：
備　考	

別添２４

接客・接遇について

◆笑顔と明るい挨拶

応対は笑顔と挨拶から始まります。

◆正しい姿勢

お客様と対応するときには、背筋を伸ばし正しい姿勢を保ち、相手の目を見て話しましょう。

◆気持ちのよい身だしなみ

お客様とじかに接する職員は、特に身だしなみには気をつかい、髪のセットや髭、爪などの手入れ行い、清潔感を保ちましょう。お客様を不快な思いをさせないことが基本です。

◆心のこもった対応

事務的な対応はお客様に冷たい印象を与えてしまいます。笑顔でお客様と向き合い、親切心や丁寧さが表れた対応となるよう、言葉遣い態度に心配りをしましょう。

■基本的な対応例

・改札業務の際の応対

［入園者への応対］

「お早うございます。」「こんにちは。」「いらっしゃいませ。」等の挨拶をする。

↓

自動券売機にて入園券をお買い求め頂くよう伝える。

↓

入園券の拝見を依頼する。（入園券の半券を切り離した上でお客様に返却する。）

↓

入園券は、本日中であれば何度でも入退場できることをお伝えする。

↓

（目的地まで行き方を訪ねられた場合は）

↓

公園ガイドのマップ情報を利用しながら、最短ルートと所要時間等をわかりやすく説明する。

↓

「いってらっしゃいませ。」「ごゆっくりどうぞ。」等の挨拶をする。

［退園者への応対］

「ありがとうございました。」「またのご来園を。」等の挨拶をする。

財団法人

公園緑地管理財団

スタッフサービスマニュアル

禁)無断転載

はじめに

皆さんが働く公園では、公園の管理運営を通じて、公園利用者（お客様）にやすらぎと安心を与え、木々や花や鳥たちとともに過ごせる快適な環境づくりに励んでいます。

また一方では、より多くの方々が公園を利用して、その非日常的な空間の中で心地よく遊び、楽しんでいただくために、お客様の視点（立場）に立ったサービスを提供し、お客様が良いと思うサービスを追求しつづけていかなければなりません。

したがって都市化が進めば進むほど潤いの少なくなっていく現代社会においては、公園を単なる「公共施設」としてではなく「サービス業」として捉えていくことが強く求められます。

サービスは人を、満足を超えて時には感激・感動にも導く素晴らしい力を持っています。サービスは、それを受ける人だけではなく、それを提供するあなた自身をも満足させ、心豊かにしてくれる素晴らしい力を持っているのです。

現代のCS（Customer Satisfaction）＊ｃｓ＝顧客満足

これまでにあった様々な規制が撤廃、緩和されて、自由な競争が促進される現代は、市役所や病院などをはじめとして、お客様と接するところではどこでも、サービスの改善・向上に真剣に取り組んでいます。それは、かつてない厳しい競争にさらされているからなのです。これは公園を管理する私たちにとっても例外ではありません。

こうした時代背景のなかで、必然的に、「お客様に満足していただけるサービス（ＣＳ）」が、一度のみならず再度の公園利用に繋がり、競争に打ち勝つための最も重要なキーワードになってきているのです。

サービスとは

お客様が望んでいるサービスとは、お客様のニーズ（迅速・確実・便利等）にタイミング良く、しかも気持ちよい態度で応えてくれることです。
そのサービス水準のレベルアップを目的として、このマニュアルは

- ●サービス編
- ●マナー編

から構成されていますが、本来「サービス」というのは「形」ではなく「心」で行うものです。
皆さんの優しさ、観察力、気づきがお客様に対する「良いサービス」の基本となりますが、このマニュアルはそれらをお客様に提供する際の一助になりますので、積極的に活用して下さい。

はじめに……1
目次……2

サービス編

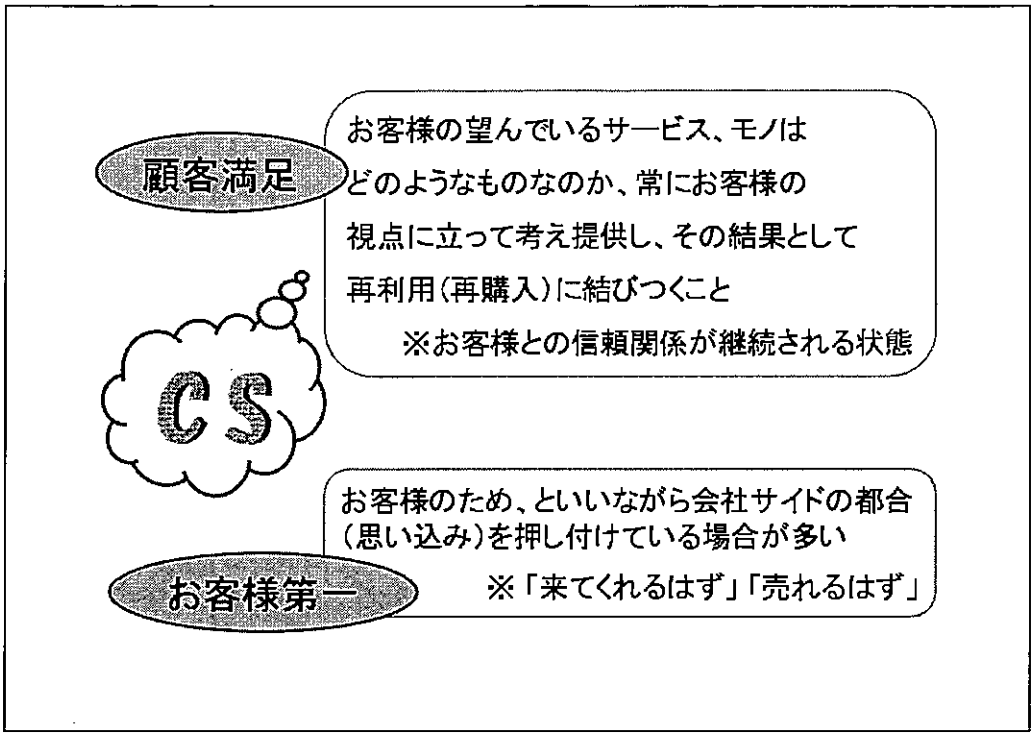
1. ＣＳ(Customer Satisfaction)とは……4
2. リピーターはサービス業の命……5
3. 顧客満足(ＣＳ)向上のキーポイント……6
4. サービスとは ―― 7
① マスサービス……7
② パーソナルサービス……8
③ サービスという車の両輪……10
④ お客様の目線（立場）に立つサービス……11
⑤ サービスの７つのタブー……13
⑥ お客様の５大心理……14
⑦ サービスの満足度決定要素……15
5. 公園にとっての苦情――17
① 苦情の種類……17
② 苦情になりやすい状況……19
③ 苦情対応のポイント……20
④ 苦情対応のガイドライン……23
⑤ お客様の不満と再利用率の関係……25
6. まとめ――26

マナー編

1. なぜマナーが必要なのでしょうか？――28
2. 接客・接遇マナーの基本――29
① 身だしなみ……30
② 表情（笑顔）……33
③ 挨拶……33
④ 態度（立ち居振る舞い）……34
⑤ 正しい言葉遣い……35
3. 電話応対の基本――38
① 公園のイメージアップのために＜場面別応対例＞……38
② 電話応対時のポイント……41

サービス編

1. ＣＳ（Customer Satisfaction）とは



顧客満足（ＣＳ）を追求する

「お客様中心」あるいは「お客様第一主義」という言い方はよく耳にされるかと思います。また「顧客満足（ＣＳ）」という言葉は聞いたことがあるけど、お客様第一と顧客満足とは具体的にどこがどう違うのかよく分からない、というのが正直なところではないでしょうか。

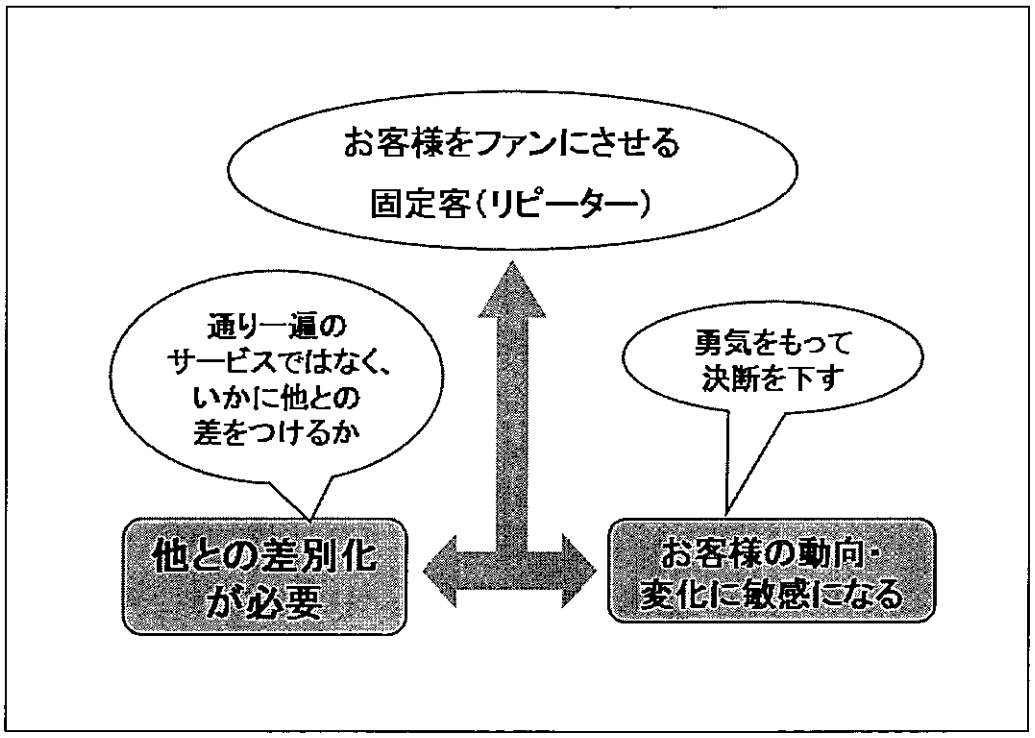
一般的に「お客様第一」というのは、お客様のためにこういうモノを作れば売れるはず、こういうサービスをすればお客様は来てくれるに違いない、と云いながら、本音は、「うちの会社が発展すること」が第一で、お客様をその「手段」と考えている場合が少なくありません。その結果、作り手・売り手の発想で考えてしまい、会社の思い込みをお客様に押し付けてサービスをしていることがあるのです。

しかし今の時代、どこの会社の商品の品質も、又サービスも大差がありません。お客様の求めるものは大変多様化しておりますので、前述のようなやり方で会社経営をしていたらお客様には絶対に選ばれません。
したがって、ご存知の通りどこの業界でも大変激しいお客様獲得のサービス合戦が展開されているのです。

つまり、このような時代にこそＣＳの取り組みを活発にして、お客様はどのようなサービスを望んでいるか、あるいはどのようなサービスに満足していただけるのか、それをお客様の視点に立って具体的に考えていく必要があるのです。

このことを、顧客満足（ＣＳ）を追求する、といいます。

2. リピーターはサービス業の命



公園が利用活性化するには

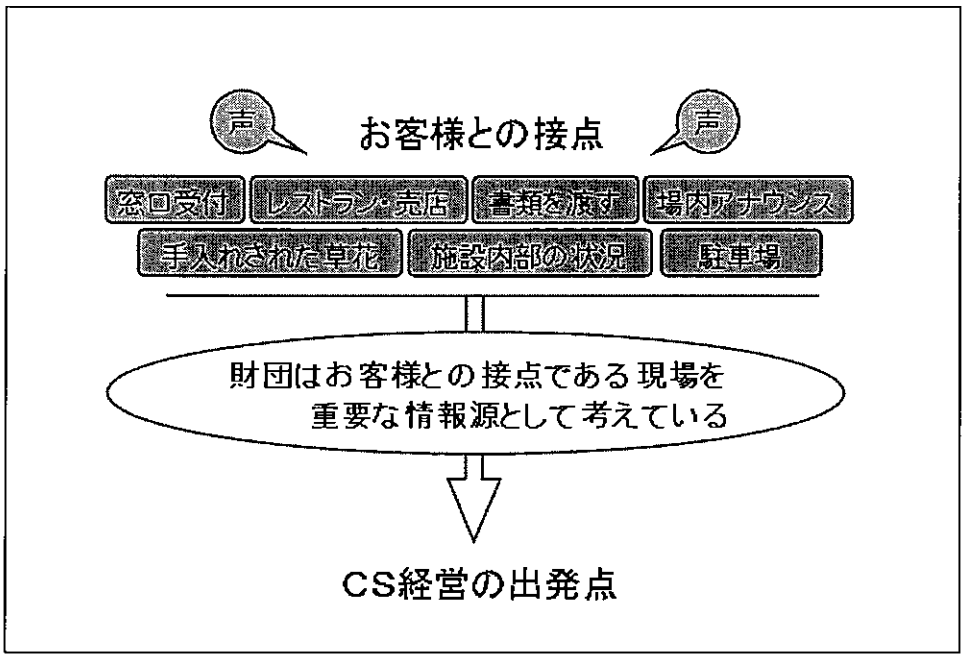
差別化を図り、変化に敏感になることで、提供側が良いと思うサービスではなく、お客様が良いと思うサービスが実現でき、そこに感動が生まれ、ひいてはお客様が「ファン・リピーター」になってくれることが期待できるのです。

サービス業で成功できるか否かは、ひとえにこのリピーターを増やせるかどうかにかかっているといっても過言ではありません。また、サービス業の場合は、広告による効果より、お客様の口コミが最大の宣伝となります。

お客様が、他の娯楽施設や遊戯施設の中から「公園」を選択肢の一つとして選んでもらうためには、通り一遍のサービスではなく、他との差別化（違い）を図ることです。

そして、時代に則した新しいモノを提供しつづけること（変化に敏感になること）が必要なのです。

3. 顧客満足（ＣＳ）向上のキーポイント



お客様との接点を重視する

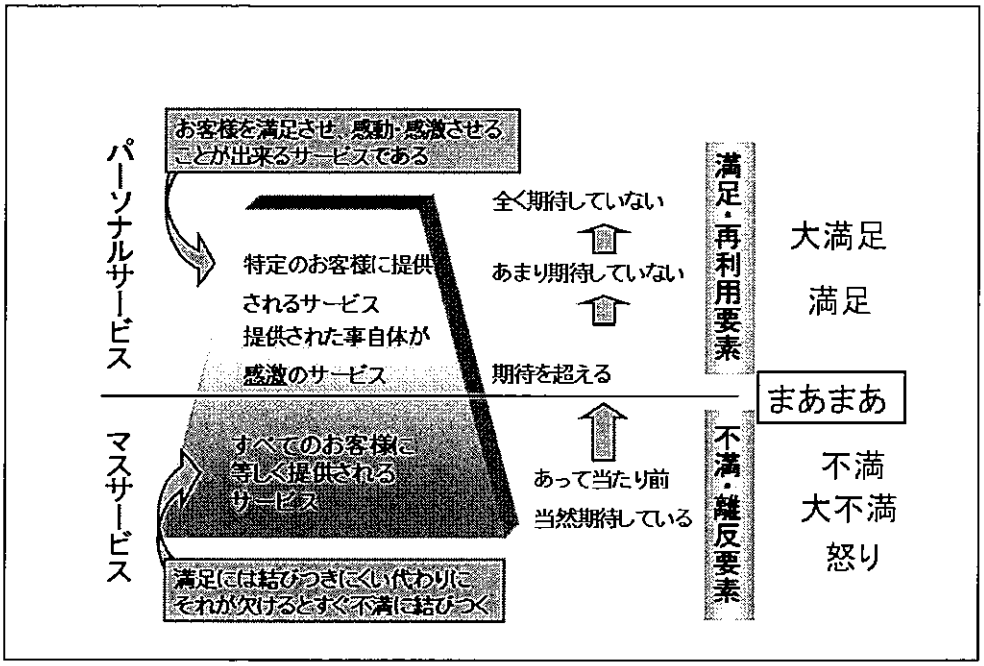
お客様と接触しているのは公園の最前線で働く皆さんです。
つまりお客様の意見、苦情、期待のほとんどは現場のサービス提供者に伝えられるものなのです。

言い換えるならば、サービス提供者こそ、お客様についてもっとも新しい情報をキャッチするレーダーとして実態を的確に把握できる方々、ということです。

すなわち、お客様との接点がもっとも大切であり、公園管理は万事そこから出発する…という考え方を、公園スタッフ一丸となって考えていかなくてはなりません。

4. サービスとは

サービスとは、お客様のニーズ（迅速・確実・便利等）にタイミング良く、しかも気持ち良い態度で応えてくれること、と前述しました。
そのサービスには「マスサービス」と「パーソナルサービス」があります。



① マスサービス

「マス」とは大半の・大勢の、といった意味があり、マスサービスとは全てのお客様に等しく提供されるサービスを指します。
映画館なら「映画が見られる」、スーパーなら「商品を販売している」、レストランなら「食事ができる」ことです。

これらは「提供されるのが当たり前」のサービスであり、お客様にとっては「提供されて当然」あるいは「あって当然」のサービスなのです。従って、それが「提供され」、あるいは「ある」こと自体ではお客様に満足していただくことは難しいのです。

それどころか、この「あって当たり前」のマスサービスは満足に結びつきにくい代わりに「それが欠けると直ぐに不満に結びつく」という恐い性質を持っているのが特徴です。

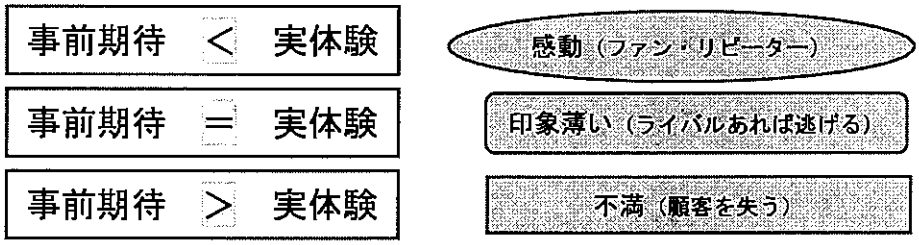
公園のマスサービス（例）：

- 子供を安心して遊ばせることができる
- 自然観察ができる
- 散歩道がきれい
- 花壇や植え込みがきれい
- 広場がある

② パーソナルサービス

「パーソナル」とは個人の・特定の、といった意味があり、パーソナルサービスとは、ある特定のお客様に対して提供されるサービスのことです。お客様にとっては先ほどのマスサービスのような「あって当たり前」のサービスではありません。
むしろ「あることを期待していない」サービスといっても良いでしょう。

満足はお客様の事前期待（そのサービスを受ける前に抱いている期待）と、実体験（実際にサービスを受けた印象）との大小の関係で決まるといわれます。



つまりお客様の満足の度合いは、お客様の期待が小さければ小さいほど、また期待を大きく超えれば超えるほど大きくなるのです。

このパーソナルサービスは公園の至るところにあります。
なにもそれほど大掛かりでなくとも、ちょっとした気配りでも、それがそのお客様にして差し上げたサービスなら、それはパーソナルサービスなのです。

皆さんは、意識しなくてもお客様が感激、感動されるようなサービスをされたことが、きっと一度や二度はあるはずです。それはあなたのサービスが、お客様が「期待していなかった」「思ってもみなかった」ようなサービスであったからなのです。

パーソナルサービスとは、ちょっとした気づき、何とかしてあげたいという心配りでお客様に満足していただけ、感激・感動させることが出来るサービスなのです。

公園での事例：５月連休の公園にて

Ａ：ある親子が次にどこへ行こうか、地図を広げて相談していた。
その光景をどこで見ていたのか、すっと、手に箒とチリ取りを持った男性が近寄ってきた。「どちらへ行かれますか？」と相談に乗ってくれ、道順を実に丁寧に教えてくれた。普通の公園では、道など聞こうと思っても、入り口の案内所でしか案内してもらえないし、途中で係員を見つけて聞いても要領を得ないことが多い。小さいことではあるが、感激し強く印象に残っている。（主婦・４１歳）

Ｂ：公園で遊んだあと、駐車場に戻り、メモがワイパーに挟んであるのを見つけた。それには、「車の鍵がかかっていませんでしたので、ロックしておきました。もし何かお気づきの点、不都合がありましたら係にご連絡ください」とあった。実は園内で子供と遊んでいる時からロックをしたか非常に不安な気持ちでいた。広大な駐車場で、しかも満車にもかかわらず、ちゃんと見回っていてくれたのでしょう。メモは万一盗難事故でもあればすぐに駆けつける、という配慮なのだと思い、感動しました。（男性・４５歳）

Ａ、Ｂともパーソナルサービスに該当する事例としての紹介です。

箒とチリ取りを持っていた男性は、清掃係と呼ばれていないのかも知れません。
「何か困っているご様子の来園者を見かけたら、こちらから積極的に近づいて尋ね、案内してあげましょう。そして手が空いている時は、園内を清掃してください」と指導されているのではないでしょうか。
駐車場での出来事も含めて、いわゆる「教育マニュアル」にありがちな形式的なサービスやかたちだけの応対になることなく、「来園者のために何かしてさしあげたい」「自分がされたらきっと嬉しいに違いない」という、ちょっとした気づきや観察が前述のサービスの源泉になっています。

それではお客様にどのような時に、どのようなことをすれば感激・感動してもらうことが出来るのでしょうか。それはお客様の主観と価値観にもよるのですから、一概に「これが絶対」と決めることは困難です。

ただし、少なくとも感激・感動につながる要因として、お客様が下記のような心理状態になっている場合が考えられます。

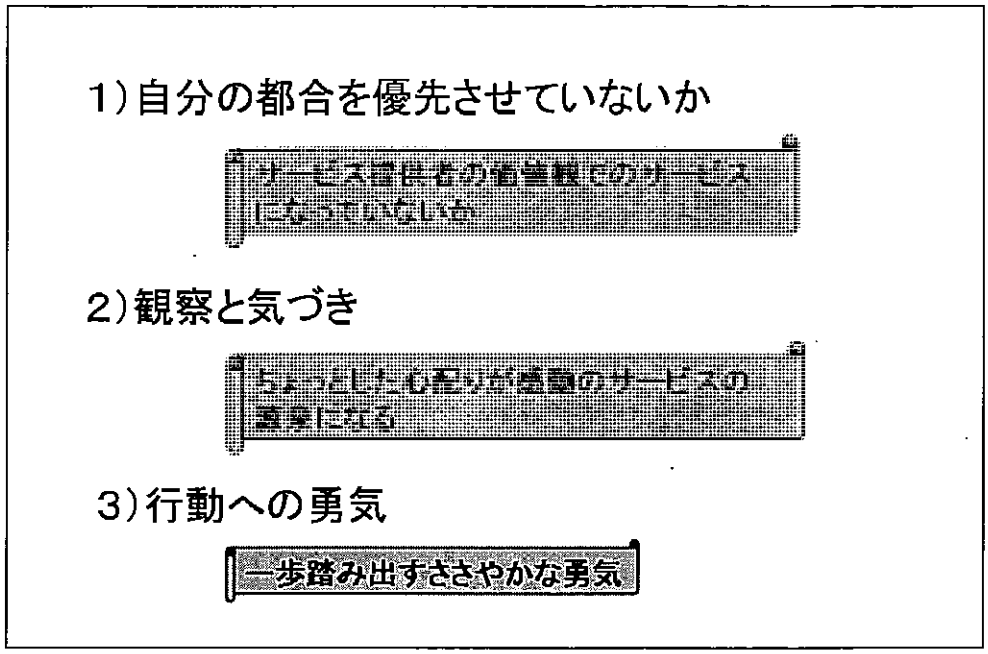
- 困っている時
- 不安を感じている時
- 落ち込んでいる時
- 不満がある時

以上の四つは、いわば心が揺れている時です。
このような状況でお客様と良好なコミュニケーションをとり、共感して、具体的な行動に移すことによって感激・感動につながる可能性が高いといえます。

③ サービスという車の両輪

ここまでで、お客様に満足していただくためには、何が必要なのかを説明してきました。
お客様に満足をお届けする、そのためにまず必要なことは、マスサービスをきちんと漏れの無いように行うことです。お客様に不満を抱かれたのでは満足していただくことは難しくなります。
そして、その上に、パーソナルサービスを工夫するのです。
つまり、マスサービスとパーソナルサービスはサービスという車の両輪であるといえるのです。

④ お客様の目線（立場）に立つサービス



お客様の目線に立つ

これは頭では分かっていても実際にはなかなか難しいものです。目線とは、お客様ご自身のものの見方・考え方です。そしてその背後にあるのは、お客様お一人お一人の価値観です。お客様の価値観は、当然一人一人みな違います。それではお客様の目線に立ったサービスをする上で、どのようなことに気をつければよいのでしょうか。

１）自分（公園）の都合を優先させていないか
自分（公園）の都合を、お客様の都合より優先させてはいけません。
とかく、以下のような時に自分の都合の良いようにお客様に接しがちです。

公園での例：

- 繁忙期のサービス時
- 閉園間際
- ペットの取り扱い時
- 落し物の処理時

自分（公園）の価値観・都合でサービスをしてしまうと、お客様の目線に立ったサービスは出来ません。

２）観察と気づき
お客様の様子を観察することで、その方の心理状態、お困りの様子など、サービス上重要な情報を得ることが出来ます。そうした、お客様の状況を知ることで目線に立ったサービスが可能となります。７～１０頁でご紹介したように、お客様の感激や感動を呼ぶのはお客様の期待をはるかに超えたパーソナルサービスですが、このちょっとした観察や気づきが、その感動のサービスの源泉になっていることがお分かりだと思います。

園内では、パーソナルサービスのチャンスは沢山あります。それに気づくか気づかないかが、お客様の目線に立ったサービスが出来るかどうかの境目になります。

チャンスを逃さないためには、まず観察する努力が必要です。そうした努力を続けていると、自然と観察する習慣が身に付き、気づくことが出来るようになるのです。

しかしその努力を怠っていると、恐いことに、いつのまにかそうしたチャンスは、わたし達から逃げていってしまいます。お客様が「気づいて欲しい」との無言のシグナルを出していても、それに気づかず通り過ぎてしまうのです。

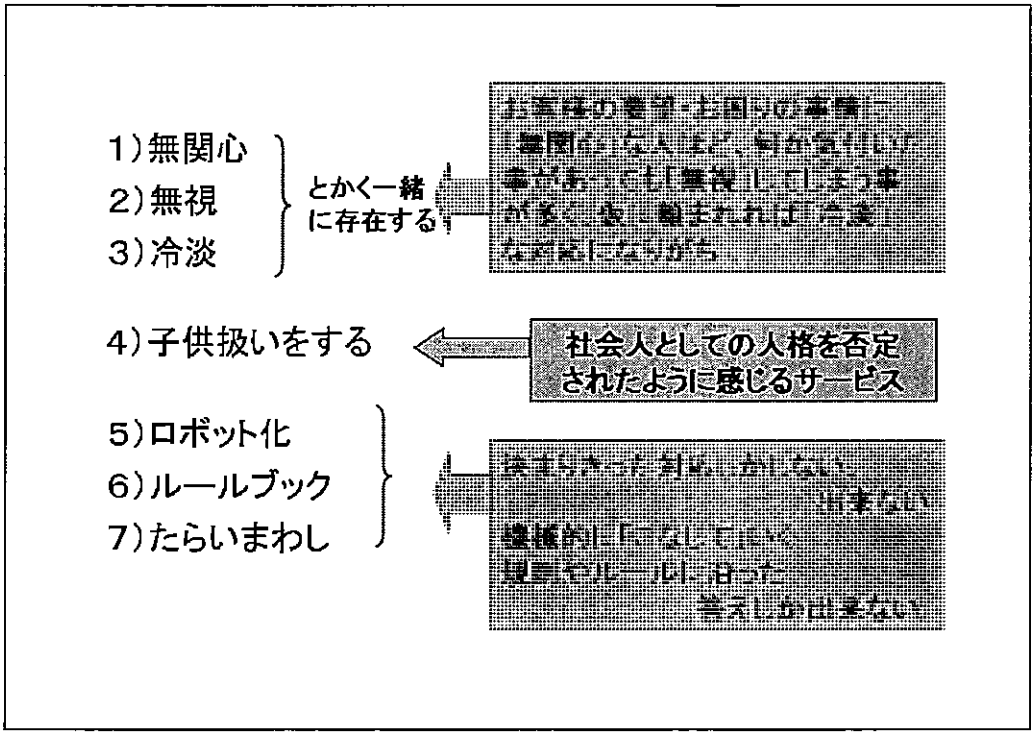
そして、一旦そうなってしまったら、もう、元には戻りません。日々の仕事は、そうした観察、気づきへの努力をしなくとも出来てしまいます。そうやって仕事が繰り返されるうちに、気づきに無縁の自分が出来上がってしまうのです。

３）行動への勇気
１）、２）の二つが出来ても、それを判断や行動に活かせなければ意味がありません。お客様の目線に立つということは、お客様の目線で判断し、行動するということでもあるのです。そのためには「ささやかな勇気」が必要なのです。なぜなら、「お客様の目線に立つサービス」とは往々にして「それをやらなくても済んでしまうサービス」であることが多いからなのです。

「一歩踏み出す勇気」、それは「勇気」と呼ぶほど大袈裟なことではないかもしれません。しかし、本当にお客様の目線で判断し、行動出来る人は、例外なく皆この「勇気」を備えた人たちなのです。

「お客様のお役に立ちたい」「お客様に満足していただきたい」と、そう思う優しい心が観察、気づきに結びつき、それが「こうして欲しいはず」との判断に、「こうしてあげよう」との行動に結びついたとき、真にお客様の目線に立ったサービスが実現するのです。

⑤ サービスの７つのタブー



お客様を不快にするサービス

サービスには、やってはいけない「タブー」があります。

１）無関心
お客様の要望に「気がつかない」、「気がつこうともしない」こと。

２）無視
ご希望に気がついても「見て見ぬふりをする」こと。

＊１～３はとかく一緒に存在します。前述の「目線に立ったサービス」の一つに「気づき」を挙げましたが、この３つはその正反対の行動です。

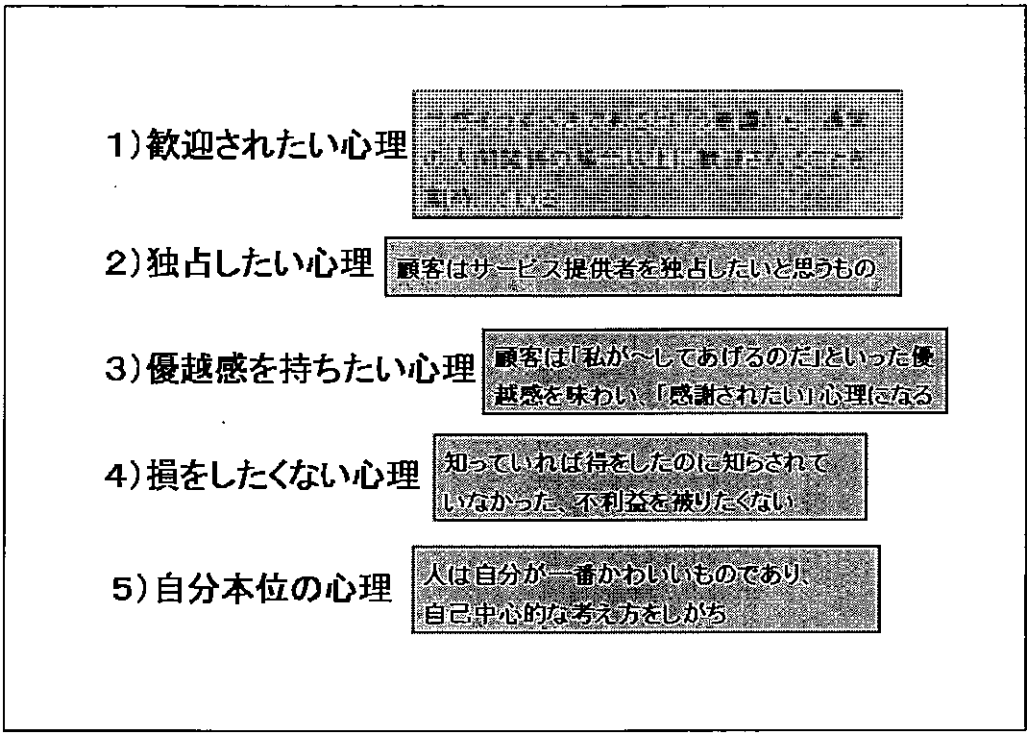
３）冷淡
頼まれたことを「嫌々やる」こと。
自分の都合を優先させ、要望を「冷たく突き放す」ような態度。

４）子供扱い
「そんなことも知らないんですか」といわんばかりの態度をとったり、
お客様が分かっていることをいちいち念をおしたりしてしまうこと。

５）ロボット化
６）ルールブック
どちらも、決まりきった対応しかしない、できないこと。
お客様の個々の事情には構わず自分自身の都合を押し付けていくサービス。
機械的に決まりきった手順を「こなして」いくこと。（ロボット化）
規則やルールに沿った答えしかできないこと。（ルールブック）

７）たらい回し
電話応対時に起こりがち。

⑥ お客様の５大心理



お客様の共通心理

人は一旦お客様という立場になると、普段とは異なる共通した心理状態になりがちです。

１）歓迎されたい心理
お客様はいつもこの「歓迎されたい」との心理状態にあります。人間誰しもがもつ本能的な心理ですが、お客様という立場に立った時は特に強く持ちます。

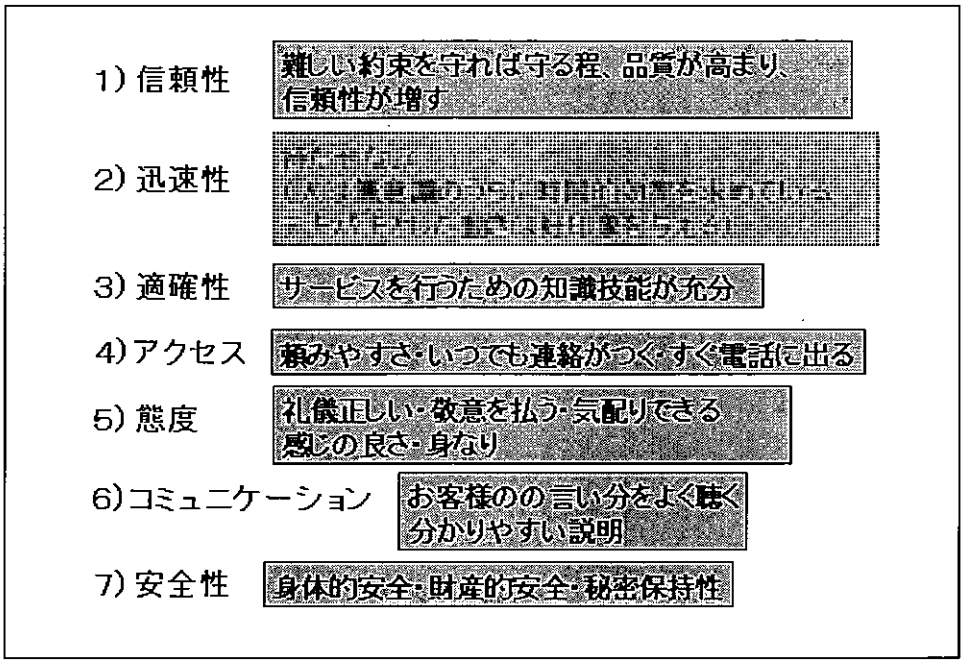
２）独占したい心理
自分の用事が済むまでは担当の人を「独占していたい」「自分にだけ関心を持ってもらいたい」という心理が働きます。しかしサービスは公平でなくてはなりませんので、そのお客様から離れる時は、お断りの言葉や、戻った時のお詫びの言葉などに工夫をして下さい。

３）優越感を持ちたい心理
この心理の裏側には「感謝されたい」という心理が働きます。明確に感謝の気持ちを伝えることで、優越感を感じ取っていただきましょう。

４）損をしたくない心理
お客様が来園されても、満開であるはずのコスモスが五分咲きであったり、利用したい乗り物・施設がたまたま工事のため閉鎖している時など、この心理状態になります。または、ほかの人は知っているのに、自分だけ知らなかった時もこの心理状態になります。

５）自分本位の心理
人は誰でも自分が可愛いものであり、自己中心的な考えをしがちです。
特にお客様という立場に立つとなおさらこの心理が働きます。

⑦ サービスの満足度決定要素



サービスの品質の高さをお客様が判断するときの評価基準

お客様の満足度、というと、すぐにサービス提供者の応対や感じの良さなどを連想しがちですが、サービスの満足度を決める要素は非常に沢山あり、その業種によってもそれぞれ異なります。しかし業種を超えて、一般的にお客様の満足度を決定する共通した要素があります。

1）信頼性

期日・時間などを約束し、いかに確実にその約束を果たすことが出来るか。難しい約束を守れば守るほど、信頼性が増します。

2）迅速性

今ほど、この迅速な対応を求められている時代はありません。また印象面でもテキパキとした立ち居振る舞いは見ていても気持ちよく、お客様に好印象を与えます。

3）適確性

正しい業務・商品知識に基づく分かり易い説明ができ、充分な知識技能を備えていること。公園では、お客様がどこの配置の人に聞いても、親切で適確な案内が返ってくることが求められます。

4）アクセス

頼みやすさ、いつでも連絡がつく、すぐ電話に出るなど。

４・５の詳細はマニュアルのマナー編を参照のこと

5）態度

礼儀正しい態度、敬意を払う、気配りできる、感じのよさ、身なりの良さ。

６）コミュニケーション
お客様と共感するということです。共感というのは、お客様の今の気持ちを「共に感じて理解する」ということです。それは、お客様はとても大切な存在と意識して接することから生まれます。このコミュニケーションが深まれば深まるほどお客様は心を開いてくれるものです。

７）安全性
施設・乗り物などの安全性、ならびにお客様の身体的安全性・秘密保持を最優先すること。これを無視して顧客満足はありえません。

5. 公園にとっての苦情

お客様からの苦情は、お客様がその公園に抱いている期待や願望です。
それが満たされなかったり、裏切られたと感じたりしたときに噴出してくるお客様の生の声なのです。苦情はお客様からの貴重な情報源であり、ＣＳ（顧客満足）向上の大切な「鍵」でもあるので、お客様の苦情を避けるのではなく、逆に尊重して、誠実に対応することにより、公園への信頼が高まり、公園の再利用が期待できます。

① 苦情の種類

1）モノ・サービスに関する苦情
製品の品質やサービスそのものに対するもの

2）接客に関する苦情
対応が悪い、不親切など、感情に関するもの

3）情報に関する苦情
情報の内容、職員の知識に関するもの

4）金銭に関する苦情
情報や接客とも関連するもの

5）システムに関する苦情
受け取り、連絡などのシステムに関するもの

苦情が発生する要因

1）モノ・サービスに関すること
「売店で買ったおもちゃがすぐ壊れた」
「乗り物を待っている間の、押しつけがましい写真サービスが迷惑だ」

2）接客に関すること
「対応がぶっきらぼうで感じが悪い」「質問したら馬鹿にしたように答えた」

3）情報に関すること
「パークトレインは乗車定員が決まっているのに、園内放送ではいかにも全員乗れそうな案内をしていた」
「スタッフによって案内が異なったり、曖昧である」

4）金銭に関すること
「入場料が高い」「レストランの料理がまずいにもかかわらず、高すぎる」

5）システムに関すること
「駐車場が少ない・狭い」
「落し物の受け取り手続きが複雑だ」

私たちはつい、苦情を言ってくる人を「わがまま」「自分勝手」と考えがちです。しかし何も言わない人が我慢していて、はっきり言う人が正直だという考え方もできます。何故、我慢する人としない人がいるのでしょうか。それは、人それぞれ価値観や生活態度が違うからなのです。

（例）

- 言葉遣い　　A：目上の人には、丁寧な言葉遣いをするべきである
  B：目上の人には、丁寧な言葉遣いをするに越したことはないが、失礼でなければそれほど気にしなくても良い。

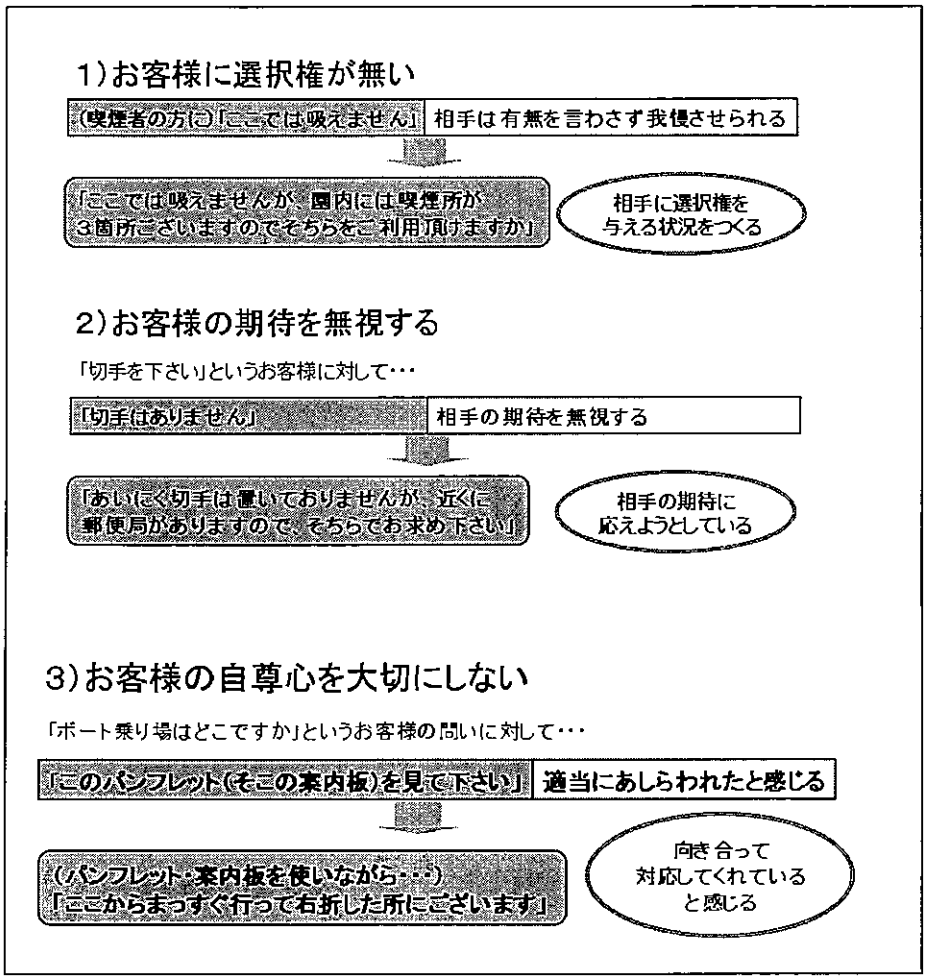
Aを選んだ人は、自分より目下の人が普通の言葉遣いで応対されると不愉快になるでしょう。一方、Bを選んだ人は、かえって親しみを感じるかもしれません。

- スピード　　A：いくら急いでいるとはいっても、対応はきちんとしてほしい。
  B：急いでいるときに丁寧に対応されるとイライラする。

Aを選んだ人は、常に丁寧な対応を求めますし、Bを選んだ人はスピーディな対応を要求するでしょう。

以上のように苦情は、その人の価値観や期待、生活態度に応対者の行動が合致していないとき起きるのであって、決してお客様のわがままではないのです。

② 苦情になりやすい状況



苦情が発生する背景

1） お客様に選択権が無い

お客様に選んで頂ける状況をつくることが大切です。

2） お客様の期待を無視する

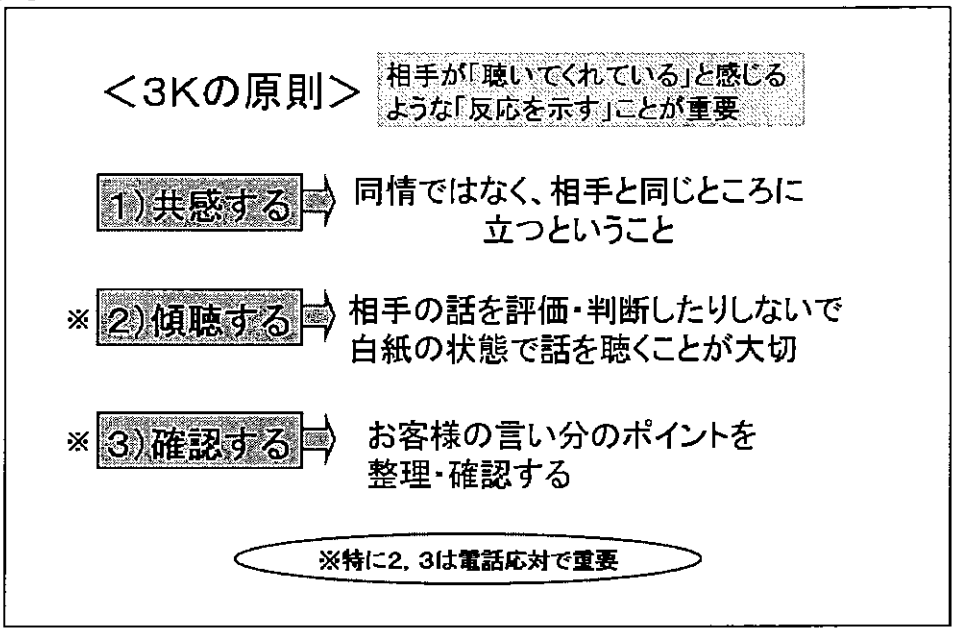
お客様の期待は言葉のみで表現されるものではありません。雰囲気、表情、動作から素早くキャッチし、的確に対応することにより、苦情の発生を未然に防ぐことも出来ます。

3） お客様の自尊心を大切にしない

お客様の自尊心の中でもっとも大きなものは、お客様自身です。「無視された」「馬鹿にされた」と言って怒るお客様が多いのは自分自身を大切にしてもらえなかったと感じたからなのです。応対者が本当に「馬鹿にした」かどうかが問題なのではありません。
お客様が「馬鹿にされた」「無視された」と感じたことがポイントなのです。

つまり、苦情はサービスを提供する側とされる側の期待と実際とのギャップと捉えることができます。「ちゃんとしたから苦情になるはずがない」「マニュアルどおりにしたから苦情にはならない」というわけではないのです。

③ 苦情対応のポイント



３Ｋの原則

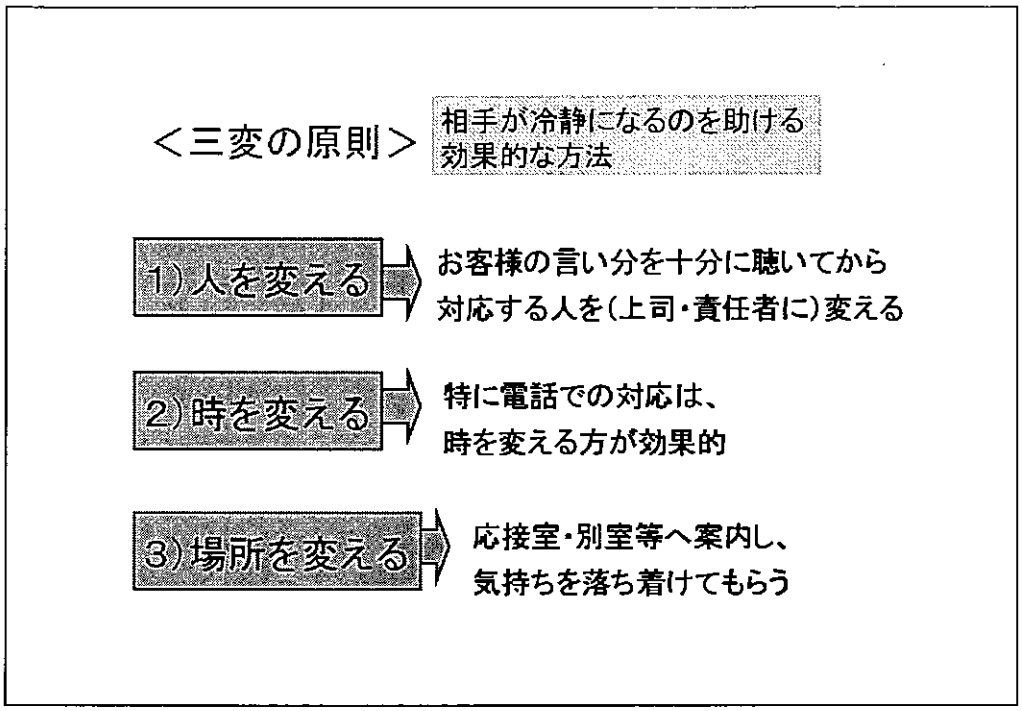
苦情を未然に防ごうと努力していても、苦情に発展してしまった場合には、誠実に対応しましょう。
苦情対応時には相手が「聴いてくれている」と感じるような反応を示すことが重要です。
「聴く」は「聞く」ではなく、文字通り耳で聴いて心で受け止めるということなのです。
さらに自分が「聴いている」だけではなく、話し手が「聴いてくれている」と感じることが大切です。それには、相手がそう感じるように「反応を示す」ことが必要なのです。
そのためには３つの原則があります。

１）共感
同情ではなく、相手と同じところに立つということ。
きちんと聴いていますよ、あなたと同じ気持ちになっている‥ということを知らせるための行動（うなずき）をとることです。

２）傾聴
「はい」「なるほど」「確かに」「おっしゃるとうりです」など、相手の言ったことを肯定的に受ける相づちです。「しかし」「でも」「そうは言っても」などの否定的な反応は極力避けてください。

３）確認
お客様の言い分のポイントを整理・確認することです。そうすることで、お客様は応対者が確実にわかってくれた、と安心するのです。

上記に加えて、ご指摘頂いたことやこちら側の説明を分かって頂いたことに対する「感謝の気持ち」を言葉にして明確に伝えることも重要です。



三変の原則

誠意ある対応を検討する前に、まず腹を立てているお客様に冷静になってもらうことが大切です。
相手が冷静になるのを助ける効果的な方法として一般的に言われているのが、この「三変の原則」です。

１）人を変える

ひとたび怒ったり、怒鳴ったりすると、文句を言った相手（スタッフ）の言い分を聞き入れるのは照れくさかったり、状況によっては、プライドが傷ついたりするものです。
そのような時はお客様の言い分を十分に聴いてから、対応する人を変えてください。
出来れば管理センターの上司や責任者に代わるとよいでしょう。
お客様が「上司を出せ」「もっとわかる奴はいないのか」などと言ったら、あまり手間取ることなく、「それでは、責任者の○○と代わります」と申し出てください。
お客様は、自分の言い分に対応するだけの知識や権限を持った相手が出てくると安心するものです。

２）時を変える

お客様が腹を立てていたり、イライラしたりしている場合は、状況や環境が変わると気分転換が出来て落ち着きます。特に電話での対応は、一度会話を区切ったり、かけ直すなど、時を変える方が効果的です。

３）場所を変える

苦情を言ってくるお客様は、周囲の人たちに見られていることを意識しているものです。
このような状況で、場所を変えて担当者や上司が対応すれば、お客様も落ち着いて事情を説明してくれます。

＜一般的な注意事項＞

1）議論してしまう

2）その場を早く収めようとする

3）よくあること、と逃げる

4）話の途中で遮る

5）専門用語を使う

一般的な注意事項

1） 議論してしまう

「お客様の言われるようなことはないと思います」という言い方は避けるべきです。自分が嘘をついていると思われている‥と感じたら怒りはさらに難しい段階に入ってしまいます。

2） その場を早く収めようとする

面倒臭がっている、早く終わらせたいと思っているとお客様が感じたら、新たな怒りを呼んでしまい、かえって早期解決が困難になってしまいます。

3） よくあること、と逃げる

お客様の怒りが公園スタッフにとってあまりめずらしいことではない場合、つい、「それはよくあることで」と言ってしまいがちです。

「お客様の場合だけでなく、よくあることなのだから（そんなに怒らなくても‥）」と思っていると、言外にそれが態度に表れ、お客様に「些細なこと」として片付けようとしている‥と思われてしまいます。

4） 話の途中で遮る

お客様の言い分が間違ってると感じても、途中で遮ってはいけません。全て聴いてからでも遅くありません。お客様は全て言ってしまいたいものなのです。

5） 専門用語を使う

業者間で使う用語、スタッフ同士のみで通用する言葉、短縮言葉などは使わず、出来るだけお客様が使われている言葉を使うようにすることが大切です。

④ 苦情対応のガイドライン

心構え

- 先入観を持ってはいけない
- 安直な解決方法に走るのは禁物
- 過剰反応は禁物

第一ステップ

＜初期対応はＣＳが基本＞

①あくまでも「お客様」という意識で対応

3K の原則
「共感」「傾聴」

②先方の話をきちんと聴き、言わんとすることを十分に理解する

★ここまでで、解決することもある

3K の原則
「確認」

③お客様の目的を把握し、達成の方向で努力する

④人・時・場所を変えてみる

三変の原則

★一般的な注意事項　参照

第二ステップ

第一ステップできちんと対応できれば大概のケースは解決できる。

しかし理不尽な要求を執拗に繰り返す顧客には、
毅然とした態度で断る勇気も時には必要。

※苦情対応

理不尽な要求を繰り返す「特殊苦情申し立て者」に遭遇した場合

苦情への対処として最も重要なことは、何と云っても初期の段階での対応です。これはすべてのトラブル処理に共通する鉄則です。初期対応が適切なら、処理が難しくなる苦情はほとんど無いと云ってもよいでしょう。

苦情の主は悪意を持っているかも知れませんが、いずれにしてもお客様であることは確かです。逆に顧客満足（ＣＳ）の意識を失ってしまえば、二次、三次の苦情を生み、事態は泥沼化していきます。

しかし、多くのお客様の中には、ＣＳの観点を踏まえ、誠意を持ってきちんとお詫びし、十分説明したにもかかわらず、なお且つ社会通念を逸脱した理不尽な要求を繰り返すお客様がいらっしゃいます。

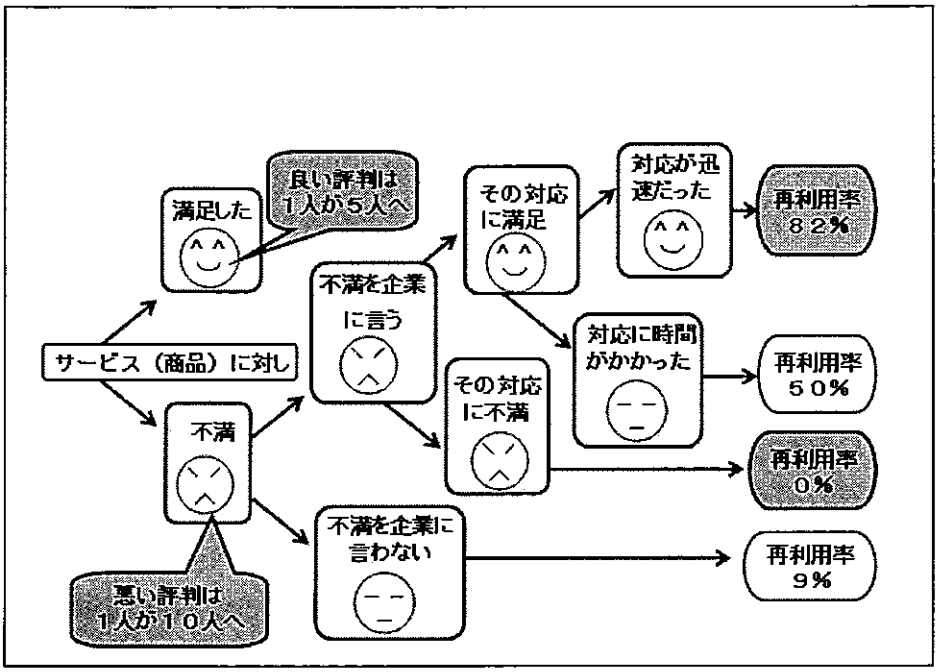
このタイプのお客様は、言いがかりをつけて不当な金品や便宜を強要する傾向があり、次の３つがその典型的なお客様の特徴です。

● 大声で暴言を吐く
　些細なことで大声を出して威嚇する。
● 即答を要求する
　即答を求めて応対者を焦らせ、安易な解決方法（金銭を払わせる・返品を強要するなど）を迫る。
● 攻撃的で一方的、また言葉の揚げ足をとる
　こちらの説明、言い分を全く聞こうとしないで、「誠意を見せろ」「保健所に言うぞ」「インターネットで流す」などの脅しを繰り返す。

このようなお客様に遭遇しても、とにかく動揺をしてしまえば相手の思うツボです。あくまでも怖がることなく冷静に対応して下さい。また、自分の先入観で「理不尽な要求を云っているお客様」と決め付けることなく、その場で解決が困難と判断した場合には速やかに責任者等と連絡をとり、お客様には責任者等が直接対応させていただく旨をお伝えください。

確かに苦情処理は、わずらわしく面倒でストレスの大きい作業ですが、困難に負けない気概を持って常に公平公正に対応することが望まれます。

⑤ お客様の不満と再利用率の関係



苦情がお客様と公園を結ぶ

不満を持ったお客様は自らの「不幸な体験」を平均１０人に話すといいます。
しかし、お客様は「話すに値するもの」を与えられれば、必ず誰かに話してくれるものです。満足したお客様が自発的に語ってくれる言葉以上に信頼出来る広告はありません。

6. まとめ

財団のCS推進の目標を

「一度来園して頂いたお客様(利用者)には、
必ず次も来園(または推薦)して頂く」

すなわち
「お客様(再利用者)をいかに獲得していくか」

という視点に絞って、サービスを提供していく

普段の仕事の中で少しだけ工夫をして、お客様の目線に立つサービスができ、それが感動のサービスにつながる･･･。そうすることで公園をご利用になるお客様が一人でも多くなり、そしてその中に「もう一度行ってみようかな」と思って下さるお客様がいらっしゃるとしたら、ＣＳ活動もそれほど難しいことではないでしょう。

満足したお客様が他の人に「あの公園はとてもきれいだし、サービスも良くて、気持ちよく遊べるから、ぜひ一緒に行きましょう」と自発的に誘ってくれるとしたら、これほどありがたい宣伝広告はないのです。

マナー編

1. なぜマナーが必要なのでしょうか？

公園でいろいろな方と一緒に仕事をするとき、また、お客様に満足していただくサービスを提供するために大切なことは、相手への思いやりの気持ちを持つこと、お客様の立場に立った考え方をすることです。しかし、このような、心で思うことは、何かの形で表現しなければ相手に伝えることができません。

その思いを言葉や動作で表現することが「マナー」で、公園に携わる全てのスタッフが当然身に付けておくべき基本です。

マナーはもちろん形が大切ですが、それ以上に相手の方に対する思いやりの気持ちを持つことが大切なのです。

心のこもった態度、言葉遣いで人に接することが出来るよう、マナーの基本を考え、形として表現してみましょう。

マナー ＝ かたち × 心

※どちらかでも「0」になると、マナーも「0」になります

2. 接客・接遇マナーの基本

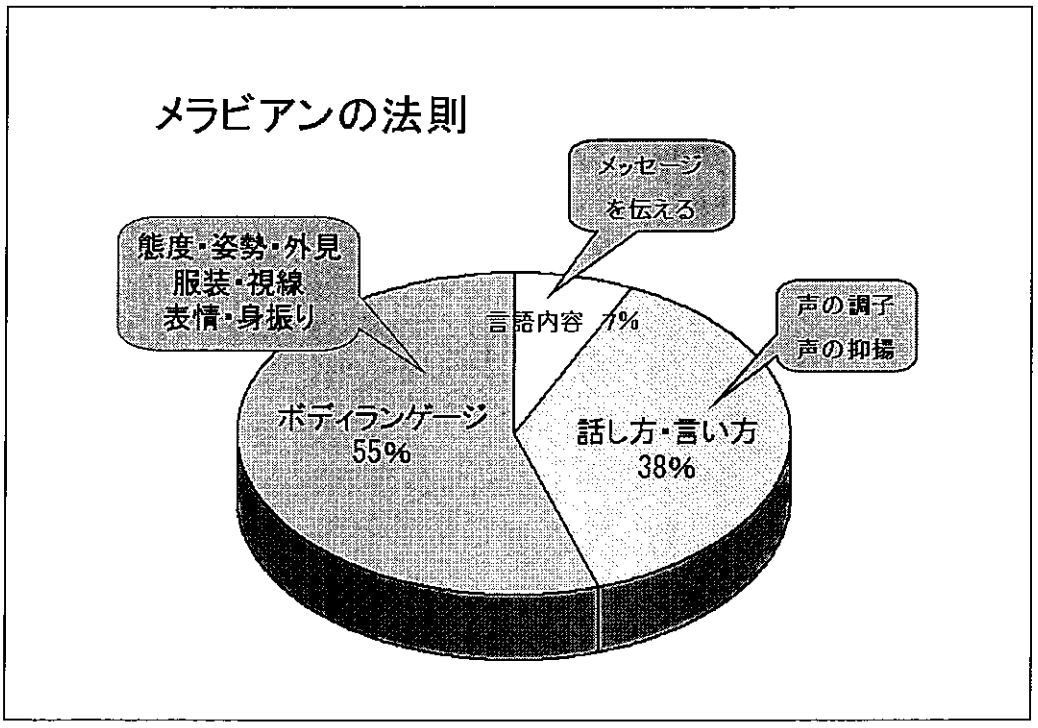
① 身だしなみ
② 表情（笑顔）
③ 挨拶
④ 態度（立ち居振舞い）
⑤ 正しい言葉遣い

＊接客マナーとは、お客様に対するマナー
＊接遇マナーとは、お客様のみならず、
従業員同士や出入り業者などの、
人と人との関わり合いの中で大切なマナー

①～⑤の全てが出来た時に、感じの良い人間像が出来ます。１つでも欠けると、それがその人の印象として強く残ってしまうのです。

特に、身だしなみと表情、態度は、第一印象を大きく左右するといわれています。
なぜなら、第一印象は最初の５～６秒で決まると言われており、一度与えてしまった印象は大変長く持続してしまうのです。

人がメッセージを他人に伝えようとしたとき、何がどれくらい重要かを調査し、結論づけたデータがあります。それによると、メッセージを伝える話の内容そのものは７％しか効果が無く、声の調子や抑揚などの話し方・言い方は３８％で、残りの５５％はボディランゲージ（非言語的なもの）が占めると言われています。（メラビアンの法則）



＊ 特に電話応対時は、５５％を占めるボディランゲージが伝わらず、残る４５％の話の内容・話し方のみで相手に理解してもらわなければならないのです。
（詳細／マナー編　電話応対）

① 身だしなみ

1）オシャレと身だしなみとのちがい

- オシャレ　：自分の好みで自分を飾る自分本位の行為
- 身だしなみ：出会う相手・場所・時に合わせて身を整える相手本位の行為
  出会った相手の心に好影響を与え、好感の持たれるヘアスタイル、メイク、服装であれば、マナーにかなった身だしなみといえます。

2）よい身だしなみ

第三者、それも年齢・性別を問わず大多数の人が「良い」と認めるもの

3）よい身だしなみの三原則

- 清潔であること（相手に好印象を与える）
- 調和が取れていること（商品やお客様に色やデザインが合っている）
- 機能的であること（動きやすい）

＊ ユニフォーム（制服）のユニとは一つ、単一という意味。
制服とは誰が着ても同じように見えるために、つまり「公園イメージ」を伝えるために着用するもの。

身だしなみチェックポイント
（　男　性　）

項　目	チ　ェ　ッ　ク　内　容	チェック欄	
		本人	第三者
頭　髪	いつも清潔にしているか		
	耳や額のかくれる長い髪をしていないか		
	不自然な色・極端な流行の髪型をしていないか		
	フケはないか		
	香りの強すぎるヘアートニックをつけていないか		
顔	ヒゲの剃り残しや、鼻毛が見えていないか		
	耳あか、目やにはないか		
	歯の汚れはないか、口臭対策をしているか		
	メガネのレンズは汚れていないか		
爪	伸びすぎていたり、汚れていないか		
服　装	肩にフケはないか、汚れていないか		
	形が崩れていたり、だらしがない感じがしていないか		
	ボタンはきちんと止めているか		
	ボタンが取れかかっていないか		
	ポケットがふくらむ程、物をつめ込んでいないか		
	制服（作業着）は決められた正しい着方をしているか		
ワイシャツ	襟や袖口が汚れていないか		
	アイロンはきちんとかかっているか		
	袖の長さは適当か		
ネクタイ	曲がっていないか		
	汚れていたり、シワになっていないか		
	服に合っているか		
ズボン	プレスしてあるか、ひざは出ていないか		
靴　下	たるみはないか		
	服装にふさわしい色調か		
	長さは適当か		
靴	きちんと手入れがしてあるか		
	色や形は適当か		
その他	名札は正しい位置につけているか		

身だしなみチェックポイント
（ 女 性 ）

項 目	チ ェ ッ ク 内 容	チェック欄	
		本人	第三者
髪	いつも清潔にしているか		
	手入れが行き届いているか		
	前髪が長すぎ、目線を遮っていないか		
	長い後髪はきちんととめているか		
	不自然な色・極端な流行の髪型をしていないか		
化 粧	服装を考えて化粧するようにしているか		
	肌の手入れをし、清潔で健康的な感じを与えているか		
	口紅の色は適当か（白っぽいもの、ブラウン系は避ける）		
爪	爪を長く伸ばしすぎていないか		
	マニキュアの色は濃すぎないか、はげていないか		
	手、指先は荒れていないか		
服 装	通勤の際の服装は適当か		
	プレスされており、しわになっていないか		
	汚れていないか（衿･袖口・インク・しみ・フケｅｔｃ）		
	ポケットに物をいれすぎていないか		
	制服（作業着）は決められた正しい着方をしているか		
靴下（ストッキング）	長さは適当か		
	ベージュ系、グレー系の自然色か		
	伝線していたり、たるんだりしていないか		
靴	服装にふさわしい靴をはいているか		
	きちんと手入れがしてあるか		
その他	華美なアクセサリーをつけていないか		
	香りのきつすぎる香水で周囲の人に迷惑をかけていないか		
	口臭、体臭に気をつけているか		
	名札は正しい位置につけているか		

＊ ソーイングセットや靴磨きセットを常備しておくと便利
＊ 予備のストッキングも用意しておくと良い

② 表　情　（笑　顔）

笑顔（微笑）は相手を受け入れているというサインです。相手に警戒心を与えないばかりか、あなた自身の第一印象を良くします。
笑顔は一銭もかからない高価なおしゃれなのです。
接客の良し悪しの 80%は、笑顔で決まるともいわれています。

③ 挨拶

" 挨 " という字は「心を開く」、" 拶 " という字は「相手に近づける」という意味があります。
つまり「挨拶」とは自分の心を開き、心を相手に近づける、ということなのです。
言い換えれば、先にかける言葉が「挨拶」であり、後から返す言葉は「返事」であるといえます。
挨拶は自分から進んで、なお且つ数多くするようにしましょう。

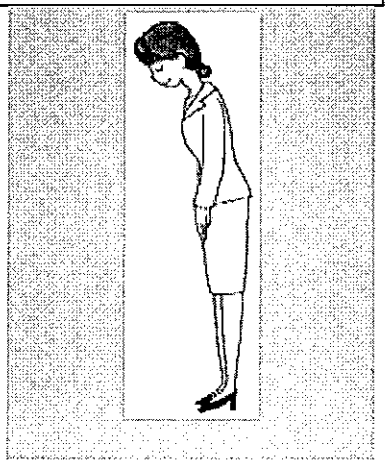
1）相手の目を見る／アイコンタクト
　相手の目を見るということは相手の存在を認めているというサインです。

2）T．P．O．（時・場所・場合） にあった挨拶
　センター内などの静かな所では、小声や目礼などで静かに、屋外などの賑やかな所では、明るく元気に挨拶しましょう。

挨拶とお辞儀

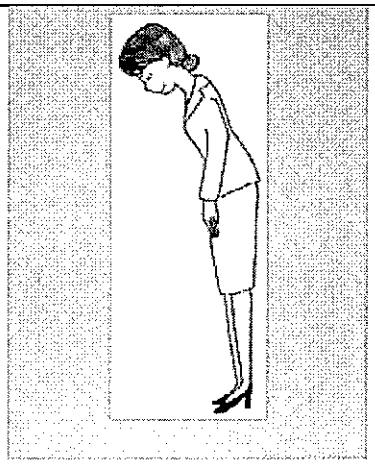
＜会釈＞軽いお辞儀
朝夕の挨拶、通路などでの軽いお辞儀

・上体を腰から軽く前に傾ける
・視線は相手の目から胸のあたりへ
・両手はももの上に



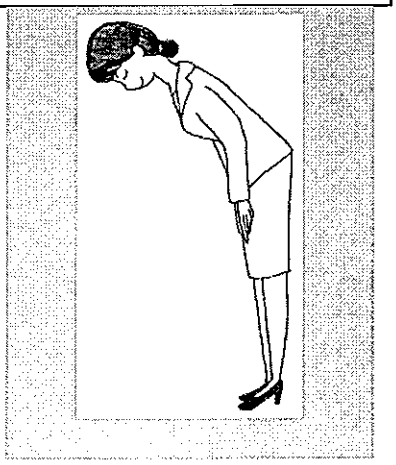
＜普通礼＞中程度のお辞儀
普通一般に使う、中程度のお辞儀。お客様をお迎えする時のお辞儀。

・膝の裏側の筋がピシッと張っていること
・背中が丸くならないように
・首だけ曲がるのではなく、腰から折ること



＜最敬礼＞丁寧なお辞儀
お礼を言うとき、謝罪するとき、お客様をお送りするとき等にするお辞儀。

・上体を腰から 45° の角度で傾ける
・背中が丸くならないように
・視線はつま先から１m程前に
・両手は膝のやや上あたりに

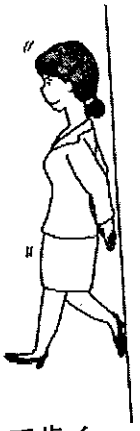


④ 態度（立ち居振舞い）

態度は目に入る言葉といわれています。
いつも穏やかな気持ちで人と接することができるように心がけましょう。

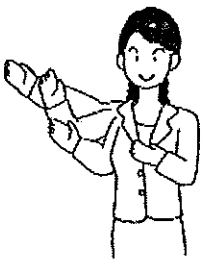
１）応対時のポイント

- 良い姿勢であること（相手に爽やかさと信頼感を与える）
- 相手の目を見る（対象が複数の場合は、一人に偏らぬよう均等に）
- 必ず立って正面から応対する（誠実さを伝え、相手の反応もわかる）
- 人の前を横切らない
- 笑顔を忘れない



２）応対時に慎むべき態度

- ほおづえ・ひじをつく
- 脚を組んだり投げ出したりする
- だるそうな姿勢をする
- 靴をひきずったり、ばたばた音を立てたりして歩く

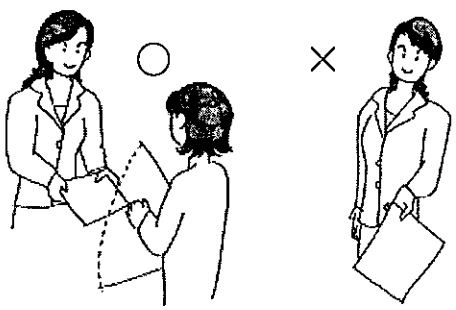


３）指し示し方

- 原則として、右のものは右手で、左のものは左手で示す
- 指し示すとき、指先を揃える（一本指で示してはいけない）
- ″こちら″″そちら″″あちら″と距離感の違う言葉を使い分ける
- 腕と脇のしめ具合によって距離感を示す
- 示す方向に視線を向けよう

４）物の授受

- 両手で渡す
- 相手に渡すものの正面を向ける
  （相手が受け取りやすい向きで）
- 相手の受け取りやすい位置に差し出す



⑤ 正しい言葉遣い

私達は言葉によって意志を伝達、認識、確認します。そして、それによってより良い人間関係をつくるのです。
普段何気なく使っている言葉が、知らないうちに相手を傷つけていることがあります。人の心に一度ついた傷はなかなか消えにくいもの。ちょっとした心遣いで、人に不快な気持ちを抱かせないで済むのです。

1）命令文 ----------→ 依頼文

お待ちください	→	お待ちいただけますか
並んでください	→	並んでいただけますか

2）否定文 ----------→ 肯定文・肯定的な言い方

ありません	→	ございません（いつも無い場合） 切らしております（たまたま無い）
出来ません	→	できかねます／致しかねます

3）クッション言葉

お願いするときやお断りするとき、言葉の印象を和らげる言葉を「クッション言葉」といいます。

質問するとき	・おそれいりますが ・お差し支えなければ	・失礼ですが ・つかぬことを伺いますが
提案するとき	・よろしければ ・お差し支えなければ	
依頼するとき	・おそれいりますが ・ご面倒ですが ・申し訳ございませんが ・お差し支えなければ	・お手数ですが ・ご迷惑でなければ ・恐縮ですが
断るとき	・申し訳ございませんが ・残念ですが ・あいにく	・おそれいりますが ・せっかくですが ・ありがたいのですが
ねぎらうとき	・お暑い中 ・雨の中 ・ご遠方を ・遠いところ	・お寒い中 ・お足元の悪い中 ・お忙しいところわざわざ ・ご足労いただきまして

＊ 専門用語や外来語はなるべく使わない

4）敬語

相手を思い遣る気持ちを表現する言葉が「敬語」です。しかし、
その遣い方が不適切な場合、自分の気持ちを相手に伝えることはできません。

敬語の種類

種類		例文	備考
丁寧語	です・ます体 （物事を丁寧に言う言い方）	お客様がいる	仕事上の会話の基本
尊敬語	相手を、直接敬う言い方	お客様がいらっしゃる	主語が相手
謙譲語	自分がへりくだる事で 間接的に相手を敬う言い方	わたくしが居ります	主語が自分

敬語の基本

普　通　語	丁寧語	尊　敬　語	謙　譲　語
居　る	居ます	いらっしゃる	おる
す　る	します	なさる	いたす
行　く	行きます	いらっしゃる	参る･伺う
来　る	来ます	いらっしゃる お見えになる お越しになる	参る･伺う
言　う	言います	おっしゃる	申す 申し上げる
聞　く	聞きます	お聞きになる	お聞きする 拝聴する 伺う
尋ねる	尋ねます	お尋ねになる	伺う
見　る	見ます	ご覧になる	拝見する
知っている	知っています	ご存知	存じ上げる 存じる
食 べ る	食べます	召し上がる	いただく 頂戴する

応接語ワークシート

好ましくない用語	好ましい用語
わたし・われわれ	わたくし・私共（わたくしども）
お連れの人	ご一緒の方／お連れの方
男の人・女の人・〇〇会社の人	男性の方・女性の方・〇〇会社の方
誰ですか	どちら様でいらっしゃいますか
出来ません・やれません	出来かねます・致しかねます
知りません・わかりません	存じかねます・わかりかねます
いいです	よろしいです
ちょっと待って下さい	少々お待ち頂けますでしょうか
してもらえませんか	～して頂けませんでしょうか
連絡して下さい	ご連絡頂けますでしょうか
知ってますか	ご存知でしょうか
何の用ですか	どのようなご用でしょうか
また来てくれますか	またお越し頂けますでしょうか
もう一度言って下さい	もう一度おっしゃって頂けますか
すぐ行きます	ただ今参ります
すみません	申し訳ございません 恐れ入りますが ありがとうございます

3. 電話応対の基本

電話での応対は、お互いの姿が見えないため、声だけが頼りです（マナー編 28 頁「メラビアンの法則」参照）。
あなたの電話応対が公園の第一印象となり、公園のイメージの良し悪しや信用を左右します。電話応対時は、自分が公園の代表であると意識して話しましょう。

① 公園のイメージアップのために＜場面別応対例＞

1）開園時間の問い合わせ

「はい、〇〇公園の◎◎（名前）でございます。」

開園時間は何時ですか？
「はい、開園時間でございますね。
今月は9時30分から夕方の5時まででございます。」

ありがとう
「お問い合わせありがとうございました。ただ今、コスモスがとても綺麗に咲いておりますので、ご来園をお待ち申し上げております。」



自分の名前を名乗ることで相手に安心感をあたえる。

相手の質問内容を繰り返して、確認をすることで、お客様は応対者が確実に分かってくれたと安心する。
（サービス編19－20頁参照）

事務的な終わり方をするのではなく、公園のPRをしながら、歓迎の気持ちをお伝えする。
（サービス編14頁参照）

2）駐車場料金の問い合わせ

曖昧な言い方は避ける。
一時間毎なのか、一日分なのか、車種も含めて明確にお伝えする。

用件が終わったらすぐ切るのではなく、電話を頂いた感謝の気持ちを伝える。

さりげない心遣いの言葉を一言添える。
（サービス編15頁参照）

「はい、〇〇公園の◎◎（名前）でございます。」

駐車場の料金を教えてくれる？
「はい、駐車場の料金でございますね。
駐車料金は一日、普通自動車は××円、
二輪車は△△円でございます。」

ありがとう
「お問い合わせありがとうございました。
ただ今、クリスマスのイベントを実施しておりますので、ぜひご来園ください。どうぞお車の運転お気をつけてお越しくださいませ。」



3）公園までの交通の問い合わせ

「はい、〇〇公園の◎◎（名前）でございます。」

JR××駅から、バスで行きたいんだけど・・・
「はい、JR××駅からですね。△△交通バスの□□行きで、〇〇公園駅下車です。
大体１時間前後で到着するかと思います。」

ありがとう
「お電話ありがとうございました。
ところで、JRのみどりの窓口で公園のお得な"前売り入園セット券"を販売しておりますので、よろしければご利用ください。
ご来園お待ちしております。」



交通手段や道順の問い合わせが多いので、どのスタッフでも分かりやすい案内ができるようにする。
そのためには、簡潔にまとめた資料を共有のものとして作成し、電話の近くに常備しておくとよい。
（サービス編15頁参照）

お客様の質問に答えるだけでなく、会話の中からお客様の状況を汲み取り、情報をおしらせできると、なお良い。
逆にお知らせしないことにより、後日、知っていなかったので損をしたとお客様が感じることもある。
（サービス編14頁参照）

4）落し物の問い合わせ

お客様の心情を察した一言を添える。
これによって、お客様は自分の不安と期待を尊重してくれたと感じるもの。
（サービス編19頁参照）

問い合わせの電話は、お客様がコストを負担しているということを常に意識する。
すぐに分からないことは、折り返しご連絡する。

お客様のご都合（個人情報の秘密保持等）を最優先させる。
（サービス編16頁参照）

「はい、〇〇公園の◎◎（名前）でございます。」

昨日、公園で携帯を落としてしまったようなんですけど・・・
「携帯電話を落とされたんですね。それはご心配ですね。
早速お調べいたしますので、無くされた時の状況と携帯電話の特徴を教えていただけますか」

昨日の夕方、キャンプ場で落としたと思います。
×色の携帯です
「ありがとうございます。△月△日の夕方、キャンプ場内で、
×色の携帯を落とされたかもしれないということですね。
すぐにお調べいたしますが、お時間がかかると思いますので、お差し支えなければ、お名前とご連絡先をお伺いしてもよろしいでしょうか。こちらから掛けなおさせていただきます。」

いや、ちょっと・・・・
「それでは、お手数ですが30分位あとに、もう一度お電話を頂戴できますでしょうか。わたくし担当の◎◎と申します。」



5）イベントの申し込み

「はい、〇〇公園の◎◎（名前）でございます。」

☆☆マラソン大会に申し込みたいのですが
「はい、☆☆マラソン大会のお申し込みですね。申し訳ございませんが、こちらの予約は別の窓口で承っております。恐れ入りますが、そちらの電話番号を申し上げますので、お掛けなおしいただけますでしょうか」

え、そうなんですか
「お手数をお掛けして申し訳ありません。」

（以下略）



公園の都合をやむを得ず優先しなければならない状況であるため、丁重に対応する。
（サービス編11・13頁参照）

特に、「お掛けなおしください」は命令文なので、「お掛けなおしいただけますでしょうか」と依頼文にする。
（マナー編34頁参照）

窓口名や電話番号をお伝えするときは、お客様に復唱して頂くなど、間違いの無いよう確実にお伝えする。

② 電話応対のポイント

＜電話を受けるとき＞

電話が鳴ったらすぐ出る

遅くとも３コール以内に出るのが理想。
ただし、慌てて出るくらいなら１コール待ってでも落ち着いて出る。
その際は「お待たせいたしました」という一言を添えると良い。

メモを取る用意をしておく

電話の近くに筆記用具を常備しておく。
また、電話を取るときは、利き腕ではない方の手で取ると良い。

＜電話応対中＞

明るく、歯切れ良い話し方をする

下を向いたまま話すと暗い話し方に聞こえるので、相手が見えなくても姿勢を正して話すようにする。もともと声の低い人はいつもよりも大きな声で話すようにすると良い。

普段よりゆっくり話すように心がける

電話の声は聞き取りにくいことがあるので、早さにも留意する。
特に年配者の方には配慮する。

電話では"曖昧さ"が禁物

内容はもちろん、誤解を招かないためにも、語尾が曖昧にならないように気をつける。日本語は語尾の言葉、上がり下がりで印象がまったく異なることがある。

相手の話に相づちを打つ

対面している場合以上に、相づちや返事をはっきり入れる。お客様に自分の言い分を熱心に聴いてくれているということが伝わる。

電話を切るときは、相手が切ったことを確認してから受話器を置く

乱暴にガチャンと切ると、相手を非常に不快にさせ、それまでのせっかくの応対が台無しになってしまう。

＜その他の留意事項＞

保留する場合は３０秒以内を目安に

３０秒以上待たされると人は長く感じるもの。保留した後、再度電話に戻るときは「(大変) お待たせいたしました」という一言を忘れない。相手を長く待たせる恐れのある時は、掛けなおすようにする。

間違い電話にも丁寧に対応する

たとえ間違い電話であっても、お客様になりうる方であると意識して対応する。「失礼ですが」等のクッション言葉を添えて「何番にお掛けでしょうか」と聞き、再度の間違い電話を未然に防ぐと良い。

＜MEMO＞

禁）無断転載

パスポート発行

資料 1

事　務　連　絡
平成１６年１月２７日

各地方整備局等
国営公園担当課長　殿

都市・地域整備局公園緑地課
課長補佐　片山　壮二

平成16年度国営公園入園料に係る制度の拡充について（照会）

国営公園の入園料については、都市公園法施行規則第１２第２項の規定に基づき、国土交通告示により定めているところですが、平成16年４月１日以降は、下記の取扱いを予定しているので、ご質問等ある場合は局内とりまとめの上、１月３０日１７：００までに下記提出先にご報告願います。

記

１．年間パスポート券

①内　容

国営公園の利用者に対し当該公園に限り１年間有効な年間パスポート券を発行する

②対　象

一般の入園料および一般の環境集落入場料とする。なお、プール利用者の入園料金、沖縄の施設入館料、昭和の歓楓亭、木曽パークパートナーホール及びパークパートナー棟については対象としない。

③料　金

一般の入園料の10回分、大人4,000円、子供800円とする。
（環境集落入場料については大人2,000円、子供400円）

※現行：大人4,100円、シルバー2,100円、子供800円

④有効期限

購入日より１年間とする。

⑤発行方法

公園発券窓口において申し込みを行う。窓口では申込者の顔写真を撮影のうえ、氏名、有効期間、顔写真、登録番号を記載したカードに硬質フィルム・コーティ

ングしたものを発行する。

⑥チェック方法

入園ゲートにおいて顔写真で本人であることをチェックする。

⑦備　　考

年間パスポート券の発行に必要な機械費及び材料費については、通常の入園券と同様、公園管理委託業務の委託先が負担するものとする。

2．団体割引の対象人数の引き下げ

①内　　容

団体割引の対象人数を３０人以上から２０人以上に引き下げる。

②備　　考

年間パスポート券利用者及び身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者を含め２０人以上の場合は、団体料金を適用するものとする。

3．精神障害者の入園料減免措置

①内　　容

国営公園を利用する６才以上の精神障害者に対して、国が徴収している利用料金を本人に限って免除するものとする。

②免除対象

入園料、環境集落入場料、プール利用者の入園料金、沖縄の施設入館料

③料　　金

精神障害者　：　大人・子供とも無料とする

同　伴　者　：　通常の入園料と同様の扱いとする。

④精神障害者の範囲

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年5月1日法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている精神障害者。

⑤チェック方法

有料ゲートにおいて、手帳の提示確認を行う。

4．提出先

公園緑地課　国営公園維持係　佐々木

別添２６

巡視計画書

（現業務受託者作成資料）

1）　目　的

「国営海の中道海浜公園維持管理業務実施要領」に基づき、開園区域について、入園者の安全利用確保と、公園施設の維持を効果的かつ能率的に行うために、定期的に巡視を実施し、災害、事故等不測の事態に備え、緊急の処置をとることを目的とする。

2）　体　制

（1）公園内の巡視は原則として、３班編成とする。うち２班を西口管理棟に配置（以下、「西口警備」という。）し、１班は光と風の広場管理棟に配置（以下、「光風警備」という。）するものとする。なお西口警備の１班は常駐し緊急事態に対応できる体制とする。

（2）公園内の具体的な巡視は、原則として、企画運営課長の指揮のもと、利用サービス係（巡視担当スタッフ）によって行うものとする。また、巡視員は巡視の際、入園者がパトロール車及び巡視員であることがひと目でわかるような所定の表示及び服装をするものとする。なお、巡視は徒歩、自転車、原付バイク、巡視車等適宜な方法による。

3）　内　容

巡視は、日常巡視、時間外巡視、囲障巡視、異常時巡視の４種類実施する。

（1）日常巡視

開園時間中に公園内の安全を確認するために実施する。また、ゴールデンウィーク等繁忙期間は利用者が多く、混雑することが予想されるため、特に入園者の安全利用の確保と、災害・事故等不測の事態に備えて適切な対処を行うものとする。

（2）時間外巡視

閉園後は、不法侵入者の取締り、事故及び災害の予防並びに器物、施設(管理棟、売店等)の破損の有無等を点検するとともに盗難防止等についても充分な注意を払うものとする。なお、繁忙日等必要に応じて臨時巡視をおこなう場合がある。

（3）囲障巡視

基本的に年に２回（２人１組で２日間）行うものとし、囲障、仮門、仮柵等の巡視及び保守を行うものとする。

（4）異常時巡視

園内で災害が発生した場合又はその恐れがある場合の園内の異常及び利用障害等に対して適切な措置を講じるため、公園内の状況を把握するために巡視を行うものとする。

4）　日常巡視

（1）日常巡視は、次の事項について、原則としてＢ地区は１日２回以上、Ｃ・Ｄ地区は１日６回以上点検確認を行うものとし、必要に応じて作業を行うものとする。

C) 病人、負傷者の発見又は届出を受けた場合は、緊急連絡体制に基づき、速やかに報告を行い、必要に応じて救急車両の要請を行う。又、病人や負傷者の状態に応じて心肺蘇生及び自動体外式除細動器（AED）の実施を行うものとする。

D) 周辺病院等と連携し、負傷者の状態に応じて病院の紹介及び病院への搬送、報告を行うものとする。

E) 事故及び救護等が発生した場合は、発生場所等の確認を行い、原因の究明及び二次災害の防止に努めるものとする。

F) 子供の広場管理棟に看護師を１名配置し、救護活動に当たる。救護措置の際、巡視員は救護活動の補助を行うものとする。

③ 事件、事故又は災害等発生時の速やかな報告と適切な処置

A) 事件、事故等発生した場合は、緊急連絡体制に基づき、速やかに報告を行い、必要に応じて警察への連絡を行うものとする。

B) 災害等発生した場合は、別途定める「災害対策分会要領」に基づき、対応するものとする。

④ 園内不審物の有無の確認

A) トイレ等の無人施設及び低木の植え込み部等の人目につかない場所には特に注意を払い、不審物の確認を行うものとする。

B) 不審物を発見した場合は、緊急連絡体制に基づき、速やかに報告を行い、警察や消防等へ連絡を行うものとする。

⑤ 拾得物及び遺失物の対応

拾得物を発見した場合及び拾得物、遺失物の届出があった場合は、公園財団遺失物取扱規程を行動マニュアルとして置付け、拾得物届、遺失物届を作成し、遺失物法に則り適切に対応するものとする。

A) 拾得物の保管期間及び保管場所等

拾得物は、原則としては３ヵ月間、拾得年月日及び拾得場所を明記したうえで西口管理棟内遺失物保管棚に保管し、当該期間経過後は適宜な方法によりに処分するものとする。また、現金等貴重品の拾得物については、原則として７日間西口管理棟に備える金庫に保管し、当該期間経過後、速やかに警察に届けるものとする。

B) 拾得物保管責任者

企画運営課長を拾得物保管責任者として選任する。

C) 拾得物台帳

管理センターに拾得物の届け出があったときは、これを受理し、拾得物の品目、数量及び拾得の日時、場所並びに習得者の住所等の確認を行い、拾得物預かり書を拾得者に交付し、管理センターはその控えを拾得物台帳に綴り保管するものとする。

D) 拾得物に関する権利放棄

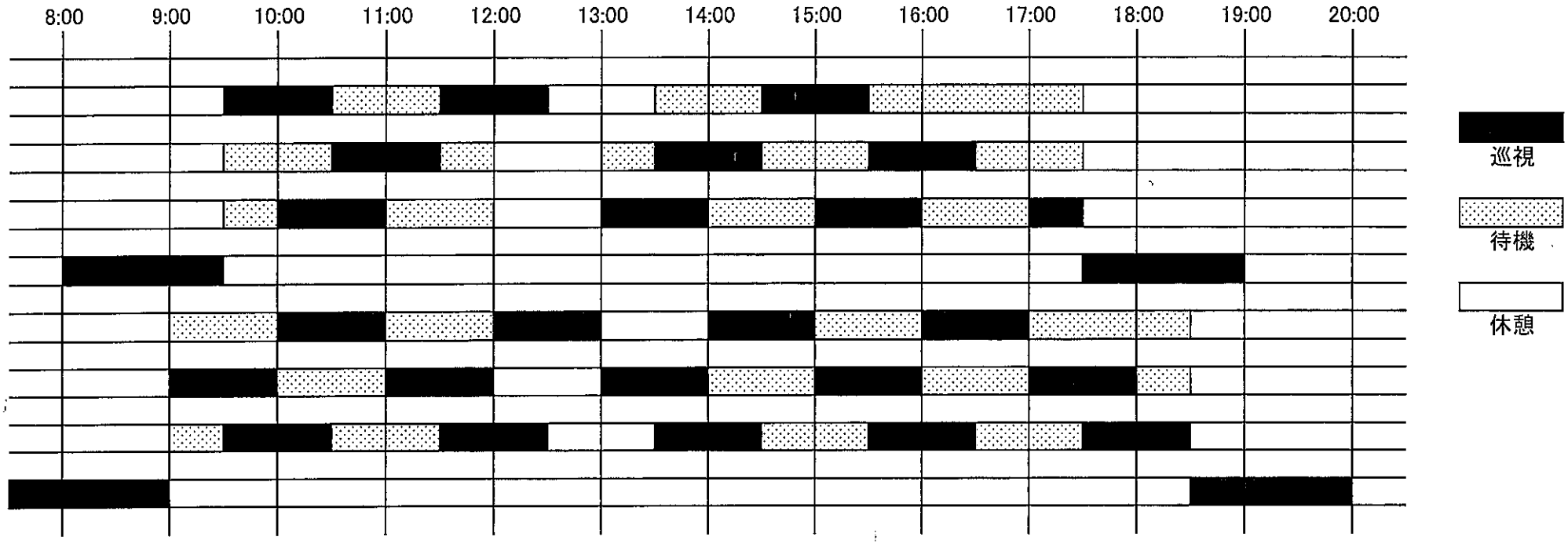
管理センター職員等は、遺失物法に規定された報奨金を受け取る権利及び所有権等の一切の権利を放棄するものとする。

E) 利用者からの問い合わせ対応等

拾得物に対する問い合わせがあった場合は、巡視員立会いの下、確認を行い、受け渡し等適切な対応を行うものとする。また、届出のあった遺失物が発見された場合は、速や

【別表1】

海の中道海浜公園巡視時間割表



ABC	3月1日～10月31日(プール期間を除く)	9:30～17:30
	11月1日～2月末日	9:30～17:00
D	3月1日～10月31日(プール期間を除く)	8:00～9:30、17:00～18:30
	11月1日～2月末日	8:00～9:30、16:30～18:00
A'B'C'	7月～9月(プール営業期間)	9:00～18:30
D'	7月～9月(プール営業期間)	7:30～9:00、18:00～19:30

A、B、A'、B' → 西口警備
C、C' → 光風警備
D、D' → 時間外巡視

海の中道海浜公園巡視日誌［C・D地区］

管理センター長	企画運営課長	植物管理課長	施設設備管理課長	動物管理課長	企画担当課長	総務・経理係長	植物管理係長	施設設備管理係長	企画担当係長	利用ｻｰﾋﾞｽ係

平成　　年　　月　　日（　　）	天候		巡視者	印

巡回経路

異常事象報告欄

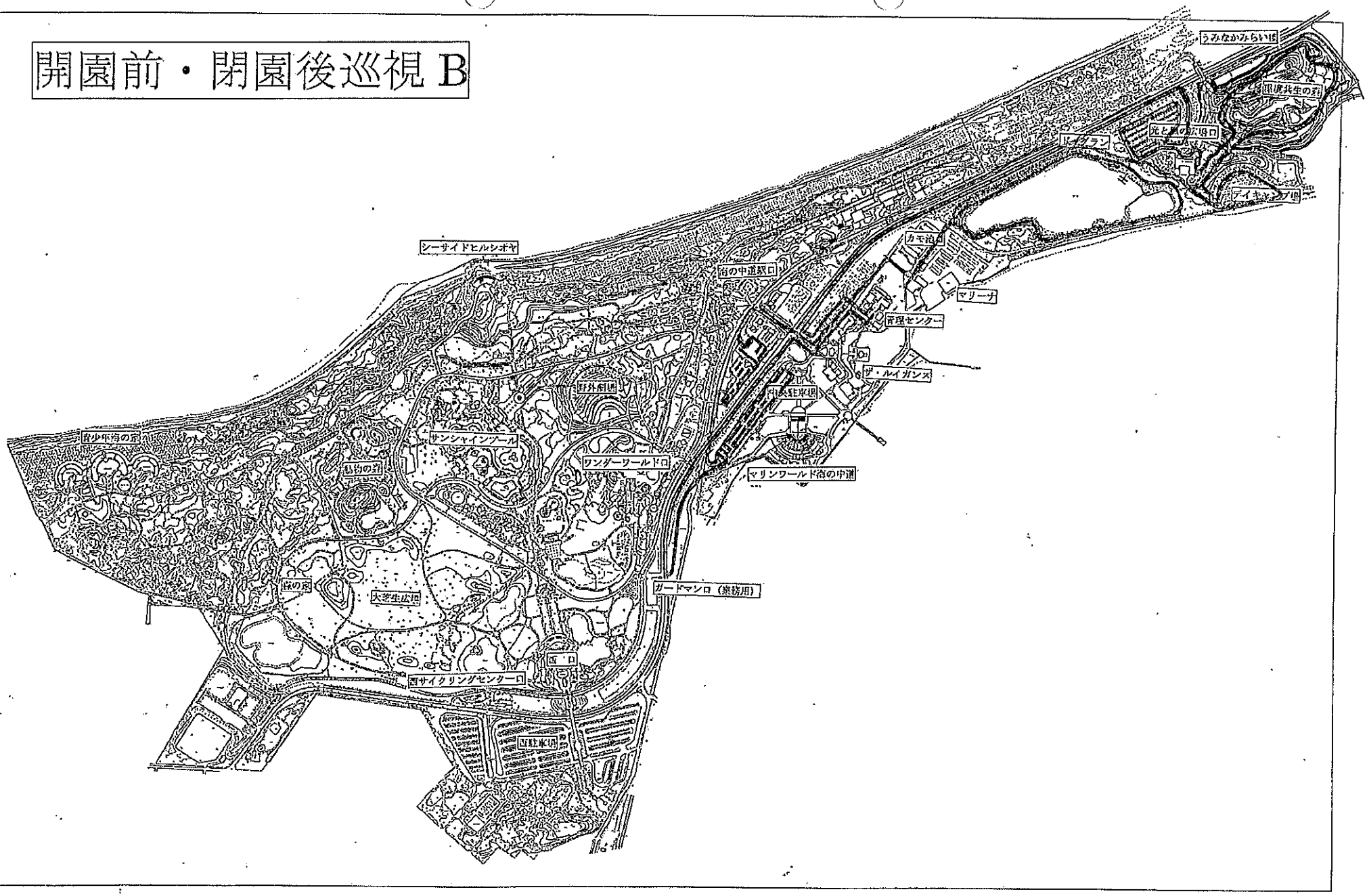
事象番号	事象発見箇所（施設）名 事象発見時刻	異常事象内容	処置内容	措置結果
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				

特記事項	○迷　子　　人 ○ペット　　匹 ○誘　導　　人
備考	

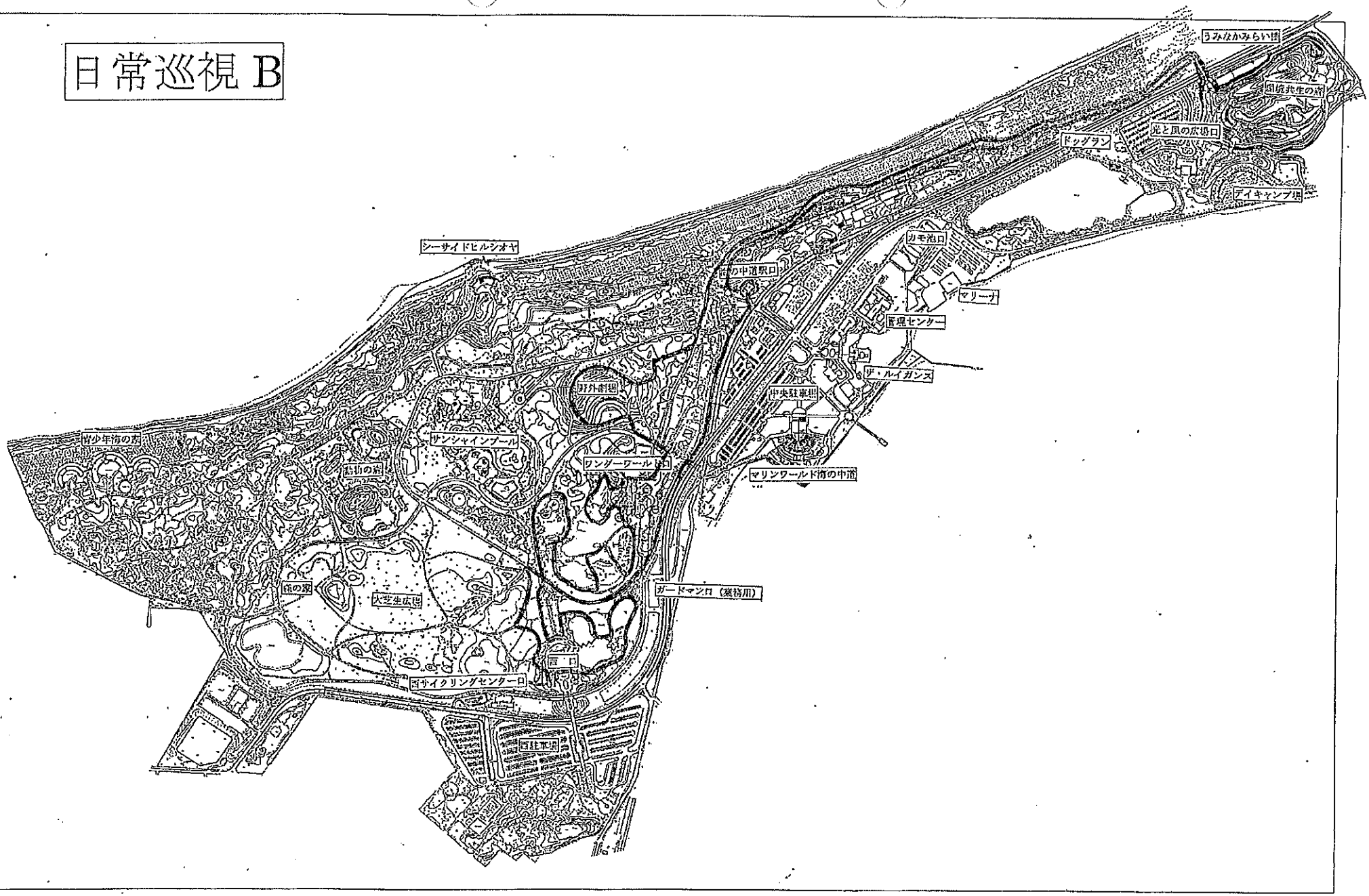
日常巡視 重点チェックリスト 【点検票】			平成　年　月　日	巡視者	
区分	番号	項　目	主な注意箇所	良否	状　況
迷惑・危険行為	1	花の採取行為	フラワーミュージアム等花壇		
	2	野球・ゴルフ等の禁止スポーツ	大芝生広場、全域		
	3	自転車走行禁止エリアへの進入規制	全域		
	4	犬の放し飼い（ノーリード）	全域		
	5	喫煙コーナー以外での喫煙	全域		
	6	利用者の水際への接近	修景池、カモ池		
	7	利用者の海岸部への進入	博多湾沿い、玄界灘沿い		
施設管理	8	自転車規制柵の適正な設置位置	森の家、全域		
	9	立入規制箇所の適正措置（看板劣化等）	全域		
	10	緊急呼び出し警報ランプ	便所		
	11	高木の枯損、倒木など	全域		
	12	ゴミの散乱・ゴミ箱の溢れ	全域		
	13	灰皿消火状況	全域		
	14	じゃぶじゃぶ池の水質（目視）	子供の広場		
	15	テーブル、チェア等の適正な設置位置	カナール、西口広場		
	16	藻の発生状況	水辺のトリム		
	17	展示物の状態、清掃状況	シーサイドヒルシオヤ		
	18	ボックスカルバートの躯体（クラック等）	花の丘		
	19	舗装段差、クラック	みらい橋		
	20	ハチの発生状況	全域		
	21	セアカゴケグモ発生状況	光と風の広場駐車場側フェンス		
安全作業	22	工事・作業区域の明示・安全確保	全域		
	23	業務入園車両の安全走行（速度超過）	全域		
	24	資機材の収納・整理状況	水辺のレストハウス、全域		
	25	作業員等の不衛生行動（喫煙、服装等）	全域		

＜管理センター報告等メモ＞

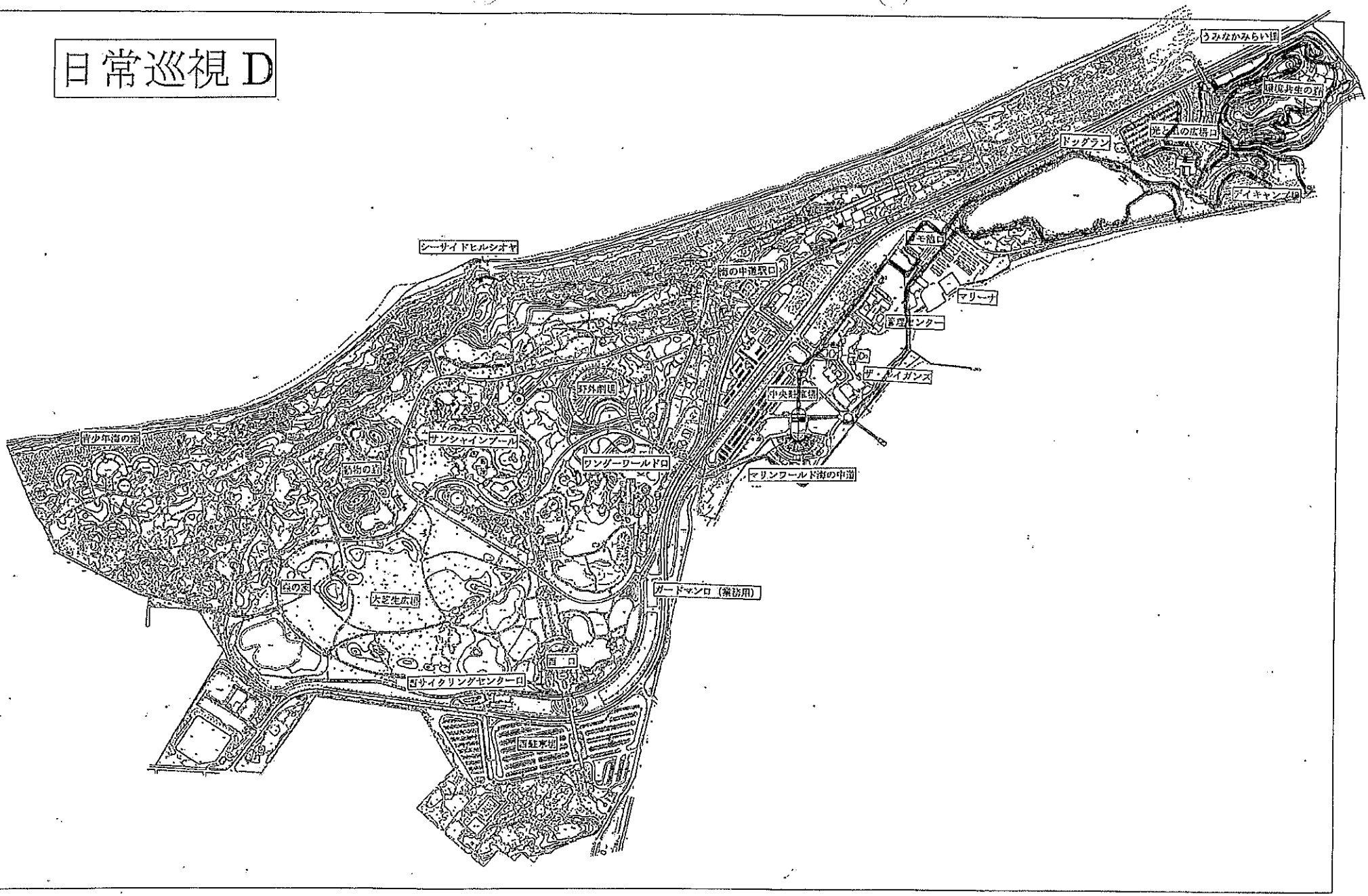
開園前・閉園後巡視 B


うみなかみらい橋
デイキャンプ場
マリーナ
管理センター
ザ・ルイガンス
中央駐車場
マリンワールド海の中道
ワンダーワールド口
野外劇場
サンシャインツール
青少年海の家
緑の丘
大芝生広場
ガードマンロ（業務用）
西駐車場
西サイクリングセンター口
海の中道駅口

日常巡視 B


うみなかみらい橋
国営共生の森
光と風の広場口
ドッグラン
デイキャンプ場
カモ池口
マリーナ
管理センター
ア・ルイガンズ
中央駐車場
マリンワールド南の中道
ガードマン口（業務用）
シーサイドヒルシオヤ
の中道駅口
野外劇場
サンシャインプール
ワンダーワールド
青少年海の家
森の家
大芝生広場
サイクリングセンター口
自転車

日常巡視D


うみなかみらい園
環境共生の森
光と緑の広場口
ドッグラン
デイキャンプ場
シーサイドヒルシオヤ
海の中道駅口
モモ組口
マリーナ
展望センター
ザ・ガイガンズ
中央駐車場
野外劇場
青少年海の家
ナンシャインプール
動物の森
ワンダーワールド口
マリンワールド海の中道
ガードマン口（業務用）
芝生広場
西口
サイクリングセンター口
駐車場

事故情報記録　（第１報）

事故発生日時・場所			
事故発生日	平成　年　月　日 午前・午後　時　分 頃	天候　晴れ	公園種別　国営
公園名	海の中道海浜公園	所在地	福岡県福岡市東区西戸崎18-25
管理者	九州地方整備局長	事故の第１報を受けた者	
負傷者			
ふりがな			
氏名			
性別			
年齢	歳　ヶ月	歳　ヶ月	歳　ヶ月
住所			
TEL			
負傷した部位 （頭部、大腿骨　等）			
種類 （打撲、骨折　等）			
程度 （全治1ヶ月　等）			
事故概要			
公園施設名		設置年月	昭和・平成　年　月
事故発生箇所		製造・施工者	
直近の日常点検	平成　年　月　日	点検者	管理ｾﾝﾀｰ：
直近の定期点検	平成　年　月　日	点検者	
事故発生の経緯 （概要）			
事故発生の要因 （地面の状態、遊具の構造、利用者の行動、服装・持ち物　等）			

☑ 別紙添付あり　　☐ 別紙添付なし

事故発生後の対応		
負傷者の救助内容	応急手当	
	搬送	
当該施設の措置の内容	応急措置	
	本格的な措置	
関係機関への通報・連絡	☐ 消防　☐ 警察　☐ 都道府県・国土交通省	

備考

記録者			
氏名	上野　徳政	所属	国営海の中道海浜公園事務所

事故発生から完了するまでの時系列整理表

日　　時	内　　容
○月○日○：○○頃	事故発生（誰から誰が連絡受ける） ※以下その時点時点での事実行為を記載。（事情聴取や事後のやりとりで判明したことを遡って記載しないこと） ※相手方等とやりとりがあった場合には、誰と誰のやりとり分かるように記載

当該施設の写真・図面
□別紙添付あり　□別紙添付なし

事故発生後の対応		
負傷者の救助内容	応急手当	
	搬送	
当該施設の措置内容	緊急点検の実施	
	類似遊具の点検	
	応急措置	
	本格的な措置	
関係機関への連絡	□消防　□警察　□国土交通省	

備考

備考			
氏　　名		所　　属	

◎公園財団遺失物取扱規程

（ 規　程　第１７号 ）
施　　行　昭和５９年４月１日
改　　正　平成２４年４月１日

（目的）
第１条　この規程は、公園財団（以下「財団」という。）が運営管理業務を受託した国営公園等において取り扱う遺失物に関し、必要な事項を定めることを目的とする。
２　この規程に規定のない事項については、遺失物法（明治３２年法律第８７号。以下「法」という。）その他の法令の定めるところによる。
（事務処理）
第２条　財団の遺失物に関する事務は、管理事務所（財団事務局組織規程（規程第１号）第１５条の管理事務所をいう。以下同じ。）において処理するものとする。
（遺失物の受理）
第３条　管理事務所に遺失物の届出があったときは、遺失物届書（様式第１号）を受理し、保管中の拾得物について調査し、当該物件の発見に努めなければならない。
（拾得物の受理）
第４条　管理事務所に拾得物の届出があったときは、これを受理し、拾得物の品目、数量及び習得の日時、場所並びに拾得者の住所氏名等の確認を行い、拾得物預り書（様式第２号）を拾得者に交付するものとする。ただし、拾得者が管理職員等又は法第７条若しくは法第８条第１項の規定により権利を放棄し、若しくは法第９条の規程により権利を失った者であるときは、拾得物預り書は交付しないものとする。
２　前項の管理職員等とは、財団職員就業規則（規程２号）第１条第１項の職員及び財団臨時職員就業規則（規程第１６号）第２条の臨時職員並びに財団と営業、委託又は請負に関する契約を締結した者及びその従業員をいう。
（滅失等のおそれのある物件の取扱い）
第５条　管理事務所の管理センター長又は事務所長（以下「管理センター長等」という。）は、次の各号に掲げる拾得物を受理したときは、速やかに所轄の警察署長（以下「警察署長」という。）に連絡し、その指示を受けるものとする。
一　滅失し、またはき損するおそれがある物件
二　保管に不相当な費用又は手数を要すると認められる物件
三　法令により所持又は所有を禁止された物件
四　犯罪者が置き去ったものと認められる物件
五　その他臨機の措置を必要とすると認められる物件

2　この規程の施行の際現に管理センターで保有する従前の用紙でこの規程の様式と異なるもの（以下「旧用紙」という。）は、当分の間、新用紙に代えてこれを用いることができる。

3　前項の規定によって新用紙に代えて旧用紙を用いる場合において、旧用紙にこの規程により記載すべき事項の記載欄がないときは、用紙の適宜の箇所に記載欄を設けて、所定事項を記載するものとする。

附　則（規程第１７号の２）

この規程は、平成２４年４月１日から施行する。

防 災 業 務 計 画 書

平成２６年５月

国土交通省 九州地方整備局

国営海の中道海浜公園事務所

目　　次

１．　第１編　総　　則　……　１

２．　第２編　地震（津波）災害対策編　……　４

３．　第３編　風水害対策編　……　２３

４．　第４編　水質（油流出）事故災害対策編……　３９

５．　第５編　大規模火事等災害対策編　……　５７

第 1 編　　総　　則

目　　次

第１章　計画の目的と構成……　３
　１．計画の目的……　３
　２．計画の構成……　３

第２章　防災に関する組織……　３
　１．災害対策支部及び対策分会……　３
　２．他事務所等への応援……　３
　３．他分会への応援……　３
　４．災害対策支部運営要領及び災害対策分会運営要領……　３
　５．緊急時の連絡体制……　３

第１章　計画の目的と構成

１．計画の目的

この目的は、災害対策基本法（以下「災対法」という。）、防災基本計画及び国土交通省・九州地方整備局防災業務計画に基づき、国営海の中道海浜公園事務所の所掌事務について、防災に関し執るべき措置等を定め、防災対策の総合的かつ計画的な推進を図り、もって民生の安定、国土の保全、社会秩序の維持、入園者の保安と公共の福祉の確保に資することを目的とする。

２．計画の構成

この計画は、現実の災害に対する対応に即した構成としており、第１編の総則に続いて、第２編を地震（津波）災害対策編、第３編を風水害対策編、第４編を水質（油流出）事故災害対策編、第５編を大規模火災等災害対策編として、それぞれ災害に対する予防、応急対策、復旧のそれぞれの段階における諸施策を具体的に定める。

第２章　防災に関する組織

１．災害対策支部及び対策分会

災害が発生した場合、または発生する恐れがある場合において、国営海の中道海浜公園事務所が行う当該災害に係る災害応急対策を推進するため、特別の必要があると認められるときは、臨時に国営海の中道海浜公園事務所地震（津波）・風水害・水質（油流出）事故災害、大規模火災等災害対策支部を設置するものとし、他の公園内各機関においてもそれぞれ対策分会を設置（以下「災害対策支部等」という）するものとする。

２．他事務所等への応援

他の事務所等の所管区域に災害が発生し、職員を派遣させる等の必要が生じた場合で、必要があると認めるときは、応援対策支部を設置することができる。

３．他分会への応援

分会において災害が発生し、職員又は分会員（以下「職員等」という）を派遣させる等の必要が生じた場合で必要があると認めるときは、応援対策分会を設置することが出来る。

４．災害対策支部運営要領及び災害対策分会運営要領

この計画に定めるもののほか、地震（津波）・風水害・水質（油流出）事故災害、大規模火事等災害対策支部と災害対策分会の組織及び運営に関する事項については、別に定める地震（津波）・風水害・水質（油流出）事故災害、大規模火事等災害対策支部運営要領及び災害対策分会運営要領によるものとする。

５．緊急時の連絡体制

火災および事故発生等の緊急時の連絡体制は、別途定めるものとする。

第 ２ 編　　地震（津波）災害対策編

目　　次

第１章　計画の前提…… 7

第２章　地震災害予防（事前対策）…… 8
第１節　地震災害対策の推進…… 8
１．公園施設の地震災害対策の推進
２．総合的な危険度の把握
第２節　防災体制の整備…… 8
１．初動時防災体制の強化
２．応援・協力体制等の強化
３．庁舎等の対策
４．職員等の生活対策
５．復旧対策に係る契約手続きの簡素化
第３節　地震災害情報・通信システム等の整備及び運用、管理…… １１
１．地震災害情報・通信システム等の整備
２．地震災害情報・通信システム等の運用、管理
３．ヘリコプターの運用体制の整備等
第４節　防災拠点の整備…… １２
１．資機材備蓄拠点の整備等
２．災害対策支部室等の整備
第５節　災害対策用建設機械等の整備…… １３
第６節　緊急輸送路対策…… １３
第７節　津波対策…… １３
第８節　防災訓練等…… １４
１．防災訓練
２．非常参集訓練
第９節　防災教育及び広報等…… １４
１．職員等に対する教育
２．広報

第３章　地震災害応急・復旧対策（地震発生後）…… １５
第１節　地震発生直後の情報収集及び通信の確保等…… １５
１．災害情報の収集・連絡
２．通信の確保
第２節　参　集…… １６
１．職員の参集条件及び参集場所・方法
２．参集者の把握
第３節　地震災害応急・復旧対策の体制…… １７
１．対策支部及び対策分会の体制
２．体制の周知
３．動員計画
４．対策支部間の応援
５．対策分会間の応援
６．他機関との協力
７．応援体制
８．庁舎等の対策
９．職員等の安全確保、健康管理等
10．避難住民対策
第４節　津波対策…… ２１
１．津波警報発令時の対策
２．津波警報解除後の対策
第５節　災害発生時における道路交通の確保等…… ２１
第６節　地震発生直後の所管施設の緊急点検…… ２１
第７節　災害対策用資機材・復旧資機材の確保…… ２１
第８節　公園施設対策…… ２１
第９節　災害時における広報…… ２２

第４章　運営要領の作成…… ２２

第１章　計画の前提

この計画で想定する地震は、国営海の中道海浜公園事務所管内で参考表のような大規模な地震が発生しており、この事を踏まえ、太平洋沿岸及び内陸部の大規模地震災害を対象とした計画としている。

（参考表）国営海の中道海浜公園事務所管内の主な大地震

No.	西　暦	M	地　　域	地　震　名	福岡県	佐賀県	備　考
1	1889.7.28	6.3	熊本熊本市		－	－	
2	1898.8.10	6.0	福岡県糸島郡		５	４	
3	1909.11.10	7.6	宮崎県西部		３	５	
4	1914.1.12	7.1	桜島		０	３	
5	1922.12.8	6.9	長崎県橘湾		３	３	
6	1931.11.2	7.1	日向灘		３	３	
7	1939.3.20	6.5	日向灘		２	３	
8	1941.11.19	7.2	日向灘	日向灘地震	４	３	
9	1961.2.27	7.0	日向灘		２	３	
10	1968.2.21	6.1	宮崎県南西部	えびの地震	１	３	
11	1968.4.1	7.5	日向灘	1968 年日向灘地震	３	４	
12	1975.1.23	6.1	阿蘇山北縁		３	３	
13	1975.4.21	6.4	大分県中部	大分県中部地震	３	０	
14	1984.8.7	7.1	日向灘		３	３	
15	1987.3.18	6.6	日向灘		３	４	
16	1996.10.19	6.6	鹿児島県薩摩		４	３	
17	1997.3.26	6.5	鹿児島県薩摩		３	３	
18	1997.4.3	5.5	鹿児島県薩摩		２	２	
19	1997.5.13	6.3	鹿児島県薩摩		３	２	
20	1997.5.14	4.7	鹿児島県薩摩		１	０	
21	1997.5.18	4.6	熊本県熊本地方		２	０	
22	1998.12.16	5.5	日向灘		１	０	
23	2000.6.8	4.8	熊本県熊本地方		２	２	
24	2000.10.6	7.3	鳥取県　中・西部		３	２	
25	2001.12.9	6.1	奄美大島		０	０	
26	2002.11.4	5.7	日向灘		３	３	
27	2005.3.20	7.0	福岡県西方沖		６弱	５弱	
28	2005.4.20	5.8	熊本県西方沖		５強	５弱	
29	2009.8.3	4.8	熊本県天草芦北		３	２	
30	2011.10.5	4.4	熊本県熊本		２	２	

１．理科年表及び日本気象協会提供資料による。

２．掲載震度で、「０は無感」「－は震度観測を行っていないため不明」を示す。

第２章　地震災害予防（事前対策）

第１節　地震災害対策の推進

１．公園施設の地震災害対策の推進

震災を防止し、または震災が発生した場合における被害の拡大を防ぐため所管施設の維持管理を強化するとともに、海岸事業、道路・建築物の地震対策事業を地方公共団体等と連携しつつ計画的かつ総合的に推進し、災害に強い国土作り・公園作りを行うものとする。

２．総合的危険度の把握

（１）施設の地震に対する安全性を確保するため、点検要領を作成し、巡視等により定期的に点検を行い、その結果に基づき、緊急性の高い施設から耐震性の確保に努めるものとする。

（２）所管施設に関する設計指針等により適切な耐震設計を行うとともに、公園施設及び施設周辺の液状化の発生を防止する対策や、液状化が発生した場合においても施設の被害を防止する対策等の実施に努める。

第２節　防災体制の整備

１．初動時防災体制の強化

（１）災害発生時の情報収集・連絡体制の強化

災害発生時の情報収集・連絡体制等を夜間・休日の場合も含めて対応できるよう、あらかじめ整備しておくとともに、その周知を徹底するものとする。

（２）非常参集体制の強化

大規模災害発生時における迅速かつ確実な災害情報の収集・連絡の重要性に鑑み、地震災害対策支部（以下「対策支部」という。）及び地震対策分会（以下「対策分会」という）に参集する事が必要な職員等をあらかじめ指名しておく等、体制を整備しておくものとする。

（３）初動体制に関するマニュアルの整備

地震（津波を含む）による災害に対して、速やかに対処するため、「初動体制に関するマニュアル」を整備し下記の事項について、事前に業務が遂行できるように確認しておくものとする。

１）地震発生の把握方法及び連絡系統
２）初動時防災体制の発令
３）参集
４）指揮系統（代行指揮含む）の明確化

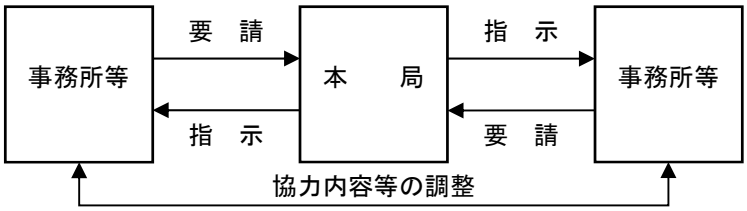
２．応援・協力体制等の強化

平素から関係各機関及び分会との情報及び資料の交換等を含めて連絡を密にし、相互の応援・協力体制を定めておく等、緊急時の協力体制等の整備を図るものとする。

（１）事務所等間の応援

事務所等間における協力要請の方法、人員派遣の発動等は、「事務所等間相互応援要領」等の定めにより下図の体制で行い、職員等の派遣及び資機材の提供等について確認しておくものとする。

事務所等の連絡窓口は連絡窓口一覧表を参照するものとする。



（２）自治体等との協力

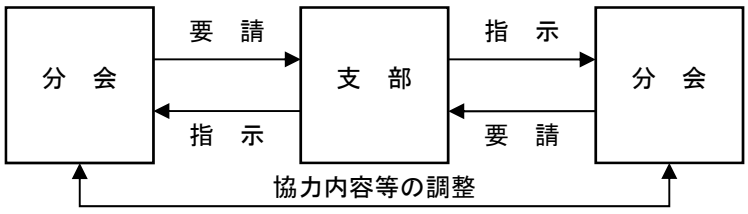
自治体等とは、平常時から連携を強化し、相互応援、協力体制を定めておき、緊急時における情報連絡体制、相互の協力体制等について確認しておくものとする。

１）自治体等との情報連絡体制は連絡窓口一覧表を参照するものとする。

２）その他必要と認められるものについて相互に協力するものとする。

（３）分会間等の応援

支部及び分会間における協力要請の方法、人員派遣の発動については下図の体制で行い、所管施設等の点検及び復旧対策を講ずる際の協力内容について確認しておくものとする。



（４）公園施設の占用者及び管理者との協力

公園所管施設の占用者及び管理者とは、所管施設等の点検及び復旧対策を講じる際の情報連絡体制として連絡窓口一覧表を作成すると共に、協力内容について確認しておくものとする。

（５）防災エキスパート等との協力

地震等の大規模災害による被災施設の復旧等をより迅速、確実、効果的に対処するため、「防災エキスパート制度」を定め、かつて公共土木施設の整備、管理等に長年携わり一定のノウハウをもった人材を定め災害危険箇所の巡視・点検を実施しうる人材に、被災した公共施設等の被害情報の迅速な収集等にボランティアとして協力を得る等、円滑な災害復旧等を行うため協力体制を確認しておくものとする。

（６）報道機関との協力

緊急の広報または連絡が必要な場合、通信網の途絶を考慮し、報道機関と連絡方法等についての調整を図るものとする。

３．庁舎等の対策

（１）点　検

事務所等の庁舎については、「官庁施設の耐震点検・改修要領」（昭和６２年４月、建設大臣官房官庁営繕部監修）により耐震点検を行い、必要な補強等の対策を実施しておくものとする。また、宿舎についても必要な対策を講じておくものとする。

（２）庁舎機能の確保

１）庁舎については、地震災害時における庁舎機能を確保するため、火災防止、器物破損防止、ロッカー等の転倒防止等の安全対策を講じておくものとする。

２）地震発生時に被害状況の把握を速やかに行えるよう、「官庁施設等緊急被害状況調査表（案）」に施設概要等を記入しておくものとする。

３）非常用電源の確保

災害発生後の庁舎の停電に備えて災害対策支部機能を確保するため、負荷に対して十分な容量を有する非常用発電設備を設置するとともに、海の中道公園の重要拠点は７日間、吉野ヶ里公園のセンターは３日間、他の施設については原則とし３日間運転できるよう、燃料の確保、補給、運搬体制の整備を図るものとする。なお、非常用発電設備は断水に備えて空冷式を原則とする。

４）緊急避難

緊急避難経路を定め、職員等の誘導に支障のないように配慮しておくものとする。

４．職員等の生活対策

（１）生活用品等の確保

地震災害後に必要な水、食料、ガスボンベ（ＬＰＧ）、寝具、救急薬品類、作業衣類、燃料等を資材倉庫等に常時確保しておくものとする。

（２）職員等の生活対策用施設、機材の整備

地震災害後の応急対策を行う職員等のための、飲料水、食料、燃料等の備蓄及び確保を図るものとする。また、休息・仮眠所、トイレ、炊事、風呂等の燃料も含めて、職員等の生活対策用施設、機材を整備する。さらに応援者も含めた宿泊施設等について検討しておくものとする。

（３）職員等及び家族の連絡等について

１）職員等が安心して業務が遂行できるよう連絡員（宿舎）を活用する等、家族の安全確認及び家族との連絡を維持するための方法を、確立しておくものとする。

２）対策支部及び対策分会においては、安否状況を確認に来た職員等及び家族について状況把握できる体制を整えておくものとする。

５．復旧作業に係る契約手続きの簡素化

地震災害発生等によりその復旧工事を緊急に施工する必要がある場合の契約手続きとして、通常の手続きを執る時間的余裕のないときの契約方法は「地震、洪水等災害に伴う緊急復旧工事の随意契約方式の取り扱いについて」（建九契第２８３号、平成１０年８月２８日）を事前に確認しておくものとする。

第３節　地震災害情報・通信システム等の整備及び運用、管理

１．地震災害情報・通信システム等の整備

地震災害情報の収集・連絡に資する通信施設等の整備を進めるため、次の施策を実施するものとする。

（１）防災情報ネットワークの整備

各機関間の情報ネットワーク化に資するため、マイクロ回線の複数ルート化・デジタル化、等の整備を図るものとする。なお、これらの情報通信施設については、耐震性の強化や停電対策を講じておくものとする。

大規模災害発生等により、マイクロ回線等の被災又は急激な通信の増加等があった場合にも円滑に情報通信手段を確保するため、通信路の拡大及び臨時回線用設備等の整備を推進するものとする。

（２）地域防災無線等との連携

地域防災無線との連携を図り、情報のネットワーク化を推進するものとする。

他機間との連絡等に配慮し、ＮＴＴの災害時優先電話、非常取扱い通話及びＮＴＴ災害応急復旧無線電話、パソコン通信等によるバックアップ対策を推進するものとする。

（３）移動通信機材の整備

災害発生による通信回線の途絶への対応が迅速、円滑に実施できるように移動多重無線機等の通信機材の配備計画を策定し、整備を推進するものとする。

（４）情報通信施設等の耐震化の推進

無線室、電源室等の耐震性の強化を図るものとする。また、電子機器の耐震化及びメールサーバの二重化を推進するものとする。

（５）コンピュータバックアップ対策

プログラムデータのディスクテープ等へのバックアップ、代替機への振替え、機器の分散化、ネットワーク化等のコンピュータバックアップ対策等の推進を図るものとする。

２．地震災害情報・通信システム等の運用、管理

災害発生時の情報通信手段については､平常時よりその確保に努めるものとし、その運用、管理等にあたっては、次の点を考慮するものとする。

（１）関係機関との相互接続

災害発生時における緊急情報連絡を確保するため､地方公共団体及び関係各機関との相互接続等によるネットワーク間の連携を図るものとする。

（２）点　検

災害発生時の通信の確保を図るため､平常時より災害対策を重視した無線設備の総点検を定期的に実施するものとするとともに、通信施設、情報機器、非常用電源設備等については､「地震に関する通信施設点検指針について」（成２年４月６日付建九電通第４２号）により耐震点検を実施、点検結果に基づき必要な補強対策等を実施するものとする。

（３）災害発生時優先電話等の活用

ＮＴＴ等の電気通信事業者により提供されている災害発生優先電話等を効果的に活用するため、その確保に努めるとともに、その設置場所を周知しておく等災害発生時において有効に活用できる体制を確立しておくものとする。

（４）携帯電話の配備

休日、夜間等において指揮命令者間の連絡を確保するため、携帯電話の個人等への配備を定めておくものとする。

（５）電子化データのバックアップ等

プログラム・データの定期的なバックアップを実施するものとする。

（６）情報・通信システムの運用、操作マニュアルの整備

臨時回線等の運用が迅速、円滑に実施できるように、設営操作方法を盛り込んだ電気通信施設の運用マニュアルの整備を図るものとする。

３．ヘリコプターの運用体制の整備等

（１）運用体制の整備

地震発生時において迅速な情報収集、被害状況の把握、要員の移動等を図るため九州地方整備局等において管理している国土交通省のヘリコプターの活用を図る。

（２）防災臨時ヘリポートの確保

地震災害発生時において緊急に対応するため､臨時ヘリポートを確保するものとする。ヘリポートの選定には、海の中道公園は大芝生広場とし吉野ヶ里公園は祭りの広場とする。

第４節　防災拠点の整備

１．資機材備蓄拠点の整備等

（１）防災備蓄基地の整備

地震災害時に広域的な応急復旧を円滑に進めるため､資機材の備蓄拠点の整備を図るものとする。

（２）応急復旧資機材の備蓄計画

地震災害時の応急復旧資機材の備蓄基地のネットワークに関する計画を策定し、防災備蓄倉庫等において、必要な資機材の備蓄を図るものとする。

（３）電気通信機材及び電子機材の備蓄

地震発生時に必要な応急復旧資機材の備蓄を図るものとする。

２．災害対策支部室等の整備

（１）災害対策支部室等の整備

対策支部等の運営が円滑に行われるよう、庁舎内に災害対策支部室等を設け、必要な情報機器等を整備するとともに十分な管理をしておくものとする。災害対策支部室等にはその機能および機動力を発揮できるよう十分な広さを確保するよう努めるものとする。

（２）災害対策支部室等の代替場所の確保

災害対策支部室等の代替場所については、資機材の準備状況、執務・宿舎設備及び通信設備の整備状況等を勘案し、検討を進めておくものとする。

第５節　災害対策用建設機械等の整備

迅速かつ円滑な災害応急対策、災害復旧・復興への備えとして、所管施設の緊急点検、被害状況等の把握、応急復旧や二次災害の発生、拡大の防止対策を図るために必要な災害対策車等の災害対策用機械の保有及び活用に関する計画を作成し、これに基づいて計画的な整備を行うとともに、大規模災害発生時において、人員の派遣、広域的かつ効果的な応援を行うために必要な機材等の整備を推進するものとする。

また、応急復旧用の資機材の備蓄を推進するものとする。

第６節　緊急輸送路対策

所管施設について、地震災害応急対策を実施する場合の資機材等の輸送を確保するため、主要な緊急輸送経路を選定しておくものとする。

第７節　津波対策

津波対策のために特に下記の事項について検討しておくものとする。

１．要領の作成

警報解除後の巡視、点検等について実施要領を定めておくものとする。

２．連絡体制の整備

津波警報発令時の自治体、関係各機関、分会等への連絡体制を整備しておくものとする。

３．その他

巡視、点検等の作業中における二次災害の防止対策について事前に検討しておくものとする。

第８節　防災訓練等

１．防災訓練

（１）防災訓練は毎年原則として９月に実施するものとする。

（２）訓練にあたっては、情報の収集、伝達訓練等の大規模な災害を想定した防災訓練を行うものとする。

（３）防災訓練の方法及び内容

防災訓練の方法は、実働訓練等、より機動力を生かした実践的な防災訓練を実施する。

１）情報の収集伝達等
２）参集訓練
３）対策支部及び対策分会の設置及び要員参集体制
４）所管施設等の点検等、状況の把握に関する事項
５）資機材、人員の配備手配
６）所管施設の被害想定
７）地震防災応急対策の実施要員の確保及び関係各機関との協力体制
８）避難対策等
９）家族安否確認
10）パソコン通信等を用いた情報提供訓練
11）広報
12）事後評価

２．非常参集訓練

職員等の非常参集体制の整備を図るため、非常参集訓練を年１回以上行うものとする。その際、公共交通機関の不通等、参集途上で携帯電話等を利用した訓練等様々な条件を設定し、実践的な参集訓練となるよう努めるものとする。

第９節　防災教育及び広報等

１．職員等に対する教育

職員等に対する教育については、その所属により果たすべき役割が異なることを考慮し、次に掲げる事項について、講習会、研修、パンフレット等により教育を行うものとする。

（１）予想される地震、津波等に関する知識

（２）職員等が果たすべき役割

（３）今後の地震対策として取り組むべき必要のある施設整備

２．広　報

（１）広報対策

地震災害発生時における被害の軽減、混乱の防止、二次災害の防止及び応急復旧活動の円滑化等のため、広報を行うものとする。このためあらかじめ広報の内容、発表方法、発表の体制等について整備を図るものとする。

（２）防災知識の普及

公園利用者等に対して、防災週間等、イベント、各種パンフレット等あらゆる機会を通じて、直下の地震を含む地震の知識、地震災害時にとられる措置、利用者の心構え等について正確な知識の普及を図るものとする。

第３章　地震災害応急・復旧対策（地震発生後）

第１節　地震発生直後の情報収集及び通信の確保等

地震が発生した場合、地震情報（震度、震源、マグニチュード、余震の状況等）や津波情報を迅速、広域的に収集・連絡するものとする。この場合、被害の概括的な情報を含め多くの情報を効果的な通信手段・機材を用いて伝達し、被害規模の早期把握を行うものとする。

１．災害情報の収集・連絡

（１）地震情報等の把握・連絡

地震が発生した場合、テレビ、ラジオ等の一般情報等により地震の規模、範囲等について確認するものとする。

管内で対策支部の設置を必要とする規模の地震等（震度４以上、津波警報の発令）が発生した場合、関係各課及び各分会に連絡・周知するものとし、速やかに防災体制を確立するものとする。

（２）災害情報の収集・連絡

１）災害情報の収集

対策支部は、次に掲げる方法等により迅速かつ的確に応急対策活動に必要な情報の収集に努めるとともに、その事態に応じて、内容、精度を高めるものとする。また、情報の有効かつ適切な活用を図るため、必要な範囲内において、通報または、入手した情報の分析・整理を行うものとする。

①ラジオ、テレビ
②参集者の情報
③関係各機関からの情報
④各分会からの通報
⑤地域住民からの通報
⑥現地調査
⑦その他の方法

２）災害情報の連絡

対策支部等は、関係各機関及び各分会との間において応急対策活動に必要な収集及び通報を行い、窓口の一元化に特に留意し、現地等における災害対応等に支障を来さないように配慮するものとする。

収集した情報は必要に応じて、速やかに、本局、対策分会、地方公共団体、警察機関等へ連絡・情報交換を行うものとする。

（３）災害情報の共有

対策支部等及び占用企業者等関係機関が当該災害状況等に関して、共通認識を持つことによって、効率的な地震災害応急対策活動を期すとともに、対策支部等分の行う応急対策活動に係る調整等の円滑化に資するため、対策支部等及び占用企業者等関係機関との間で情報の共有を図るものとする。

２．通信の確保

災害発生直後直ちに災害情報連絡のための通信手段を確保するものとする。

（１）庁舎・設備の状況把握

震度４以上の地震が発生した場合、庁舎・設備（ガス・電気・通信施設・情報機器等）の状況を把握し、不備や不測の事態が生じないことを確認した上で行動を行うものとする。

（２）通信の確保

通信連絡の方法は原則としてマイクロ回線（電話、ファクシミリ）を使用するものとし、通信輻輳に対処するためマイクロ回線の発着信の制限や使用周波数の設定を行う等、地震災害対策情報の伝達が円滑に行われるようマイクロ回線や機能を確保するものとする。

（３）障害時の緊急対策

マイクロ回線の障害時における緊急対策として、携帯・無線等の移動通信回線の活用により対処するものとする。

（４）点検及び修理

地震発生後直ちにマイクロ回線等情報通信手段の機能確認を行うとともに、支障が生じた施設の復旧を行うものとする。また、マイクロ回線等情報通信施設の点検は、「地震に関する通信施設点検指針について」（平成２年４月６日付建九電通第４２号）により実施し、被害がある場合には、速やかに修理を行い、その機能回復に努めるものとする。

第２節　参　集

１．職員の参集条件及び参集場所・方法

（１）対策支部の設置に該当する規模の地震発生等の場合、「初動体制に関するマニュアル」に基づき参集し、必要な体制を整えるものとする。

（２）参集場所は、原則として本勤務地に参集し、防災業務計画書に定められた業務を遂行するものとする。

（３）家屋の倒壊、橋梁の落橋、道路の通行止め等によって、本勤務地への参集がどうしても不可能な場合、近傍の国土交通省官署又は関係機関に参集し、本勤務地に連絡を図るものとする。

２．参集者の把握

（１）対策支部等は、迅速に参集者の名簿、不参集者の名簿及び確認された所在地表を作成し、分会長は支部長に、支部長は対策本部に報告しなければならない。

（２）対策支部では、「受け入れ職員名簿」により勤務地以外の参集者の把握を行うものとする。

（３）対策支部等が、不参集者の把握に努め確認できない場合は、近くの対策本部及び対策支部等が確認行動を実施するものとする。

第３節　地震災害応急・復旧対策の体制

１．対策支部及び分会の体制

（１）対策支部及び分会の設置及び体制

１）事務所長は、地震等が発生した場合は、下記の体制により事務所に対策支部を、また公園内機関に対策分会を設置するものとする。体制発令の基準詳細は、別途定める「地震災害対策支部運営要領」「地震災害対策分会運営要領」によるものとする。

２）事務所長に事故等があるときは、あらかじめ事務所長から指名を受けているものが対策支部、対策分会設置を代行するものとする。

３）支部長は被害状況を確認後、防災体制（要員、資機材等）の強化が必要と判断した場合は状況に応じて体制の移行指令を行わなければならない。

４）あらかじめ指名を受けている緊急出動者は、気象庁が事務所管内の地域で震度５弱以上（その他事務所長が必要と認めた場合を除く）を発表した場合、原則として自動的に勤務地へ参集するものとする。

注意体制　「気象庁が事務所管内の地域で震度４を発表した場合」
「気象庁が事務所間内の地域で津波注意報（ツナミチュウイ）を発表した場合」
「その他事務所長が必要と認めた場合」

警戒体制　「気象庁が事務所管内の地域で震度５弱・５強を発表した場合」
「気象庁が事務所管内の地域で津波警報（ツナミ）を発表した場合」
「その他事務所長（対策支部が設置されているときは支部長）が必要と認めた場合」

非常体制　「気象庁が事務所管内の地域で震度６弱以上を発表した場合、又は地震により重大な被害が発生した場合」
「気象庁が事務所管内の地域で津波警報(オオツナミ)を発表した場合、及び津波による重大な被害が発生又は発生の恐れがある場合」
「その他事務所長（対策支部が設置されているときは支部長）が必要と認めた場合」

（２）対策支部・対策分会の移設

対策支部及び対策分会を設置する事務所庁舎等が被災により使用が不可能な場合、支部長の指示により対策支部を、分会長は対策分会の移設を行うものとする。

（３）支部の廃止

支部長は次に該当する場合、対策支部及び対策分会を廃止するものとする。

１）災害応急復旧がおおむね完了し、二次災害の恐れがなくなった場合

２）その他、対策支部・対策分会設置の必要性がなくなったと判断される場合

（４）対策支部及び対策分会の組織

対策支部及び対策分会の組織は、別途定める「地震災害対策支部運営要領」、「地震災害対策分会運営要領」に示す組織をもって構成するものとする。

（５）対策本部の代替場所

局長（対策本部が設置されているときは本部長）から対策本部の代替場所として指示を受けた場合、事務所長（対策支部が設置されているときは支部長）は、速やかに対策本部の受入れ準備を進め、万全の体制を整えるものとする。

２．体制の周知

対策支部等は、被害状況の収集、応援体制等常に連絡体制がとれる状態を確保するため、各々の体制状況を連絡窓口一覧表に基づき伝達するものとする。

３．動員計画

（１）体制の組み方

１）対策支部、対策分会を設置した場合は、「地震災害対策支部運営要領」、「地震災害対策分会要領」及び「初動体制に関するマニュアル」に基づき速やかに体制を整えるものとする。

２）対策支部の動員体制の発令及び解除は、支部長が行うものとする。

３）対策分会の動員体制の発令及び解除は、各分会長が行うものとする。

（２）構成員の指名

１）体制毎に出動する事が定められている緊急出動者は、各々の所掌事務を遂行するものとする。各班長は、初動時に参集した職員の集合状態を速やかに把握し、優先度に応じた班編成及び配備を行うものとする。

２）指揮・命令する者は、初期参集した人員が少人数の場合は、優先度、緊急度の高い業務への班編成を行い、人数が増えた時点で順次班編成を見直すものとする。

４．対策支部間の応援

（１）事務所長等は、本局及び他の事務所等において対策本部及び対策支部が設置された場合､あるいは報道等の情報により他事務所等管内において著しい被害が予想されると判断した場合には事務所長等の指令により応援出動の準備体制に入ることとし､応援に必要な人員､資機材等を整えておくものとする。

（２）対策支部間の応援は､｢事務所等間相互応援要領｣等により原則として被災当該支部長が応援を本部長に要請し、本部長が他支部長へ応援を指示する。また､必要に応じ本部長の判断により応援を指示することができる｡応援に出動した職員は被災当該支部の体制化に入るものとする。

５．対策分会間の応援

（１）対策分会間の応援は、原則として被災当該分会長が支部長に要請し、支部長が他分会へ応援を指示する｡また必要に応じ支部長の判断により応援を指示することが出来る。

応援に出動した場合、被災当該分会の体制下に入るものとする。

６．他機関との協力

（１）防災関係機関との連絡・協力

地震防災時において迅速適切な応急対策措置を実施するため､他の防災関係機関と密接な連絡を保ち協力を行うものとする。

（２）近隣国道事務所との連絡・協力

地震情報等の迅速な把握に努めるため、気象庁よりの情報については、海の中道庁舎は福岡国道と吉野ヶ里庁舎は佐賀国道に協力、応援をもらうものとする。

（３）占用企業者との連絡・協力

地震災害時において、上、下水道、電気及び通信・電気機器施設の機能を確保するため、これら施設の被災状況の把握及び復旧工事等にあたっては、関係する占用機関等と密接な連絡を保ち必要に応じて協力、応援を行うものとする。

７．応援体制

（１）関係各機関への応援

地震災害時において、関係各機関から職員、資機材等の応援の要請があった場合には、必要に応じて対処するものとする。

（２）応援体制

応援の要請に対しては必要に応じ事務所長（支部設置の場合には支部長）が応援を指示するものとする。また、応援に出た職員は被災当該体制化に入るものとする。

８．庁舎等の対策

（１）庁舎等点検

１）庁舎について庁舎等の施設管理者は、被災直後に余震による被災建築物の損傷の一層の進行や、被災建築物を使用することによる二次的災害の発生に対する安全性を確認し、使用の可否を判定するため「官庁施設応急危険度判定調査表（案）」により被災状況の概要を調査し、危険度の判定を行うものとする

２）宿舎について、迅速にその被災状況の把握に努めるものとする。

（２）緊急時の避難

火災等の緊急事態が発生した場合は、あらかじめ定めた避難経路により庁舎管理者が職員等の誘導を行うものとする。

（３）災害時の応急措置

建物の被災によって二次災害の発生する危険性のある場合は、速やかに危険物の撤去、危険区域の設定等の危険防止対策をとるものとする。

（４）応急復旧

応急危険度判定及び被災度区分判定の調査結果による被害状況に応じて、庁舎機能の維持・確保を図るための応急復旧対策を速やかに実施するものとする。

９．職員等の安全確保、健康管理等

（１）安全確保

施設対策等の措置を行う場合においては、職員等の安全確保に配慮するものとする。

（２）健康管理

施設対策等の措置及び各種の地震後対応は、長期にわたることが予想されるので勤務の適切なローテーション等、職員等の健康管理に配慮するものとする。

（３）生活対策

施設対策等の措置を行う場合においては、業務に必要な物資の購入・調達、職員に対する非常食等の配給、休息・仮眠所の確保等職員等の生活対策に配慮するものとする。

（４）職員等・家族の安否確認

職員等・家族の安否確認は、「初動体制に関するマニュアル」に基づき行うものとする。

10．避難住民対策

（１）広域避難場所の指定

地方公共団体より、広域避難場所として指定された施設以外の所管施設について、避難場所として使用したい旨の要請があった場合には、施設の状況等を確認の上、適切に対処するものとする。

第４節　津波対策

１．津波警報発令時の対策

（１）津波注意報・警報発令時は、直ちに地震災害の防災体制に入るものとする。
（２）津波注意報・警報解除後の巡視、点検等に備えて準備を行うものとする。
（３）津波等に関する情報を収集し、関係各機関に情報提供するものとする。
（４）海岸及びその周辺で作業を行っている工事関係者に、避難するよう情報を提供するものとする。

２．津波警報解除後の対策

（１）津波注意報・警報解除後に津波による災害調査のため、園内施設等の巡視・点検を実施するものとする。
（２）災害が発生した場合には、必要に応じて自治体、関係各機関等に連絡を図り対策を講じるものとする。

第５節　災害発生時における道路交通の確保

緊急輸送道路については、関係機関と調整を図りつつ、路上障害物の除去・沿道の建築物の安全確認等により速やかに緊急輸送機能を確保するものとする。

第６節　地震発生直後の所管施設の緊急点検

災害発生後、緊急点検実施の体制を速やかに整え、周辺の安全を確認した上で、施設の緊急点検を実施するものとする。その際、被災した施設等の被害状況の迅速な収集等を行うものとする。

第７節　災害対策用資機材・復旧資機材の確保

応急復旧を円滑に行うため、主要な災害復旧用資機材を緊急・迅速に調達しうるために、必要に応じて関係団体等に対し建設機械の調達、労働力の確保、資材調達について要請等を行うものとする。

第８節　公園施設対策

１．公園施設の点検

被害状況を速やかに把握するため、巡視を実施する。なお、巡視結果等から詳細な点検が必要と思われるものについては、できるだけ早い時期に詳細な点検を実施するものとする。

２．応急復旧

（１）パトロールによる巡視結果等に基づき、速やかに応急復旧を行うものとする。
（２）応急復旧工法は被害の状況、資機材の有無等を考慮して適切な工法を選定するものとする。

３．入園者対策

被災施設については、その種類、位置等について公園利用者に周知し、公園の利用に危険を及ぼさないように努めるものとする。

第９節　災害時における広報

地震災害の広報は、災害対策支部が行うものとし、地震災害応急対策等に係る措置の状況について、必要に応じ遂時広報を行うものとする。

1．広報活動はおおむね次の事項について広報を行う。

（１）入園者の安否等に関する事項

（２）所管施設の全般的状況（被害及び施設の機能状況）

（３）浸水・土砂災害等に関する事項

（４）緊急輸送道路の状況、復旧の見通し等に関する事項

（５）所管する施設に対して危険防止のために必要な事項及び応急復旧活動に関して理解と協力を求める必要のある事項

（６）その他対策支部等の活動に関して広報を行う必要がある事項

２．上記災害状況の発表方法は、「防災広報マニュアル」（案）によるものとする。

３．広報は、放送機関、新聞社等の報道機関の協力を求めて行う。特に必要があると認める場合には、関係する地方公共団体等の協力を求めるものとする。

４．対策支部は、必要に応じて施設利用者及び危険箇所周辺の住民に対して以下の広報を行う。広報を行う場合には、対策本部にその内容を報告するものとする。

（１）公園利用者の危険防止のための必要な事項

（２）公園利用者に理解と協力を求める必要のある事項

（３）災害危険箇所の周知及び警戒避難に関する事項

（４）その他、対策支部及び対策分会の活動に関して理解と協力を求める必要のある事項

第４章　運営要領の作成

１．本計画の円滑な運営を図るため分会長は、年度当初、「地震災害対策分会運営要領」を定めるものとする。

２．本計画の円滑な運営を図るため事務所長は、年度当初、「地震災害対策支部運営要領」を定めるものとする。

３．分会長は第１項に基づき定めた「地震災害対策分会運営要領」を毎年度事務所長に提出するものとする。

４．事務所長は第２項に基づき定めた「地震災害対策支部運営要領」を毎年度局長に報告するものとする。

第３編　風水害対策編

目　　次

第１章　計画の前提…… ２６

第２章　風水害予防（事前対策）…… ２６
第１節　風水害対策の推進…… ２６
１．公園施設の風水害対策の推進
２．総合的な危険度の把握
第２節　防災体制の整備…… ２６
１．防災体制の強化
２．応援・協力体制等の強化
３．庁舎等の対策
４．職員等の生活対策
５．復旧対策に係る契約手続きの簡素化
第３節　風水害情報・通信システム等の整備及び運用、管理…… ２９
１．風水害情報・通信システム等の整備
２．風水害情報・通信システム等の運用、管理
３．ヘリコプターの運用体制の整備等
第４節　防災拠点の整備…… ３０
１．資機材備蓄拠点の整備等
２．災害対策支部室等の整備
第５節　災害対策用建設機械等の整備…… ３１
第６節　緊急輸送路対策…… ３１
第７節　訓練…… ３１
第８節　風水害に対する教育及び広報等…… ３２
１．職員等に対する教育
２．広報

第３章　風水害応急・復旧対策（災害が発生した場合または恐れのある場合）
…… ３２
第１節　情報収集及び通信の確保等…… ３２
１．情報の収集・連絡
２．通信の確保
第２節　風水害応急・復旧対策の体制…… ３４
１．対策支部及び対策分会の体制
２．体制の周知
３．動員計画
４．対策支部間の応援
５．対策分会間の応援
６．他機関との協力８
７．応援体制
８．庁舎等の対策
９．職員等の安全確保、健康管理等
10．避難住民対策
第３節　災害発生時における道路交通の確保等…… ３７
第４節　地震発生直後の所管施設の緊急点検…… ３７
第５節　災害対策用資機材・復旧資機材の確保…… ３７
第６節　公園施設対策…… ３７
１．公園施設の点検
２．応急復旧
３．入園者対策
第７節　災害時における広報…… ３８

第４章　運営要領の作成…… ３８

第１章　計画の前提

この計画は、国営海の中道海浜公園事務所管内で台風・梅雨前線等による豪雨・洪水対策及び公園施設に災害が発生し、または発生が予想されることを踏まえ災害対策の推進を図ることを目的とする。

第２章　風水害予防（事前対策）

第１節　風水害対策の推進

１．公園施設の風水害対策の推進

点検要領を作成し、巡視等により定期的に点検を実施し、その結果に基づき、必要な施設の整備を行うものとする。

２．総合的な危険度の把握

公園施設及び施設周辺について、想定される被害等の把握に努めるものとする。

第２節　防災体制の整備

１．防災体制の強化

（１）災害発生時の情報収集・連絡体制の強化

災害発生時の情報収集・連絡体制等を夜間・休日の場合も含めて対応できるよう、あらかじめ整備しておくとともに、その周知を徹底するものとする。

（２）風水による災害に対して、速やかに対処するため、下記の事項について、事前に業務が遂行できるよう確認しておくものとする。

１）施設及び各種設備の実態把握と点検方法
２）情報収集及び伝達方法等の手段に用いる機器の操作方法及び操作方法マニュアルの設置場所
３）職員等の連絡先リスト等の保管場所
４）関係各機関との連絡・調整方法
５）公園利用者に対する被害状況、復旧状況等の周知方法
６）その他、必要と思われる事項

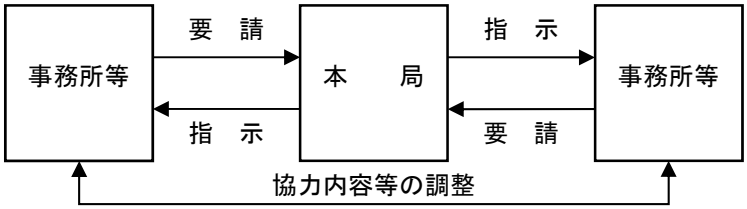
２．応援・協力体制等の強化

平素から関係各機関及び分会と情報及び資料の交換等を含めて連絡を密にし、相互の応援・協力体制を定めておく等、緊急時の協力体制等の整備を図るものとする。

（１）事務所等間の応援

事務所等間における協力要請の方法、人員派遣の発動等は、「事務所等間相互応援要領」等の定めにより下図の体制で行い、職員等の派遣及び資機材の提供等について確認しておくものとする。

事務所の連絡窓口は連絡窓口一覧表を参照するものとする。



（２）自治体等との協力

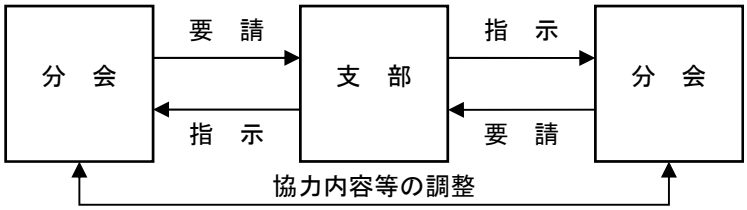
自治体等とは、平常時から連携を強化し、相互応援、協力体制を定めておき、緊急時における情報連絡体制、相互の協力体制等について確認しておくものとする。

１）自治体等との情報連絡体制は連絡窓口一覧表を参照するものとする。

２）その他必要と認められるものについて相互に協力するものとする。

（３）分会等間の応援

支部及び分会間における協力要請の方法、人員派遣の発動については下図の体制で行い、所管施設等の点検及び復旧対策を講じる際の協力内容について確認しておく。



（４）公園施設の占用者及び管理者との協力

公園所管施設の占用者及び管理者とは、所管施設等の点検及び復旧対策を講ずる際の情報連絡体制として連絡窓口一覧表を作成するとともに、協力内容について確認しておくものとする。

（５）防災エキスパート等との協力

風水害による被災施設の復旧等をより迅速、確実、効果的に対処するため、「防災エキスパート制度」を定め、かつて公共土木施設等の整備、管理等に長年携わり一定のノウハウをもった人材を定め災害危険箇所の巡視・点検を実施しうる人材に、被災した施設等の被害情報の迅速な収集等にボランティアとして協力を得る等、円滑な災害復旧等を行うため協力体制を確認しておくものとする。

（６）報道機関との協力

緊急の広報または連絡が必要な場合、通信網の途絶を考慮し、報道機関と連絡方法等についての調整を図るものとする。

３．庁舎等の対策

（１）点　検

庁舎等及び宿舎の施設管理者は、「官庁施設等緊急被害状況調査表（案）」により状況把握を行い、適切な処置を講じておくものとする。

（２）庁舎機能の確保

１）非常用電源の確保

災害発生後の庁舎の停電に備えて風水害対策支部（以下「対策支部」という。）及び風水害対策分会（以下「対策分会」という）機能を確保するため、負荷に対して十分な容量を有する非常用発電設備を設置するとともに、海の中道公園の重要拠点は７日間、吉野ヶ里公園のセンターは３日間、他の施設については原則として３日間運転できるよう、燃料の確保、補給、運搬体制の整備を図るものとする。なお、非常用発電設備は断水に備えて空冷式を原則とする。

２）緊急避難

緊急避難経路を定め、職員等の誘導に支障のないように配慮しておくものとする。

４．職員等の生活対策

（１）生活用品等の確保

災害後に必要な水、食料、ガスボンベ（ＬＰＧ）、寝具、救急薬品類、作業衣類、燃料等を資材倉庫等に常時確保しておくものとする。

（２）職員等の生活対策用施設、機材の整備

災害後の応急対策を行う職員等のための、飲料水、食料、燃料等の備蓄及び確保を図るものとする。また、休息・仮眠所、トイレ、炊事、風呂等の燃料も含めて、職員等の生活対策用施設、機材を整備する。さらに応援者も含めた宿泊施設等について検討しておくものとする。

（３）職員等及び家族の連絡等について

１）職員等が安心して業務が遂行できるよう連絡員（宿舎）を活用する等、家族の安全確認及び家族との連絡を維持するための方法を確立しておくものとする。

２）対策支部等においては、安否状況を確認に来た職員等及び家族について状況把握できる体制を整えておくものとする。

５．復旧作業に係る契約手続きの簡素化

災害発生等によりその復旧工事を緊急に施工する必要がある場合の契約手続きとして、通常の手続きを執る時間的余裕のないときの契約方法は「地震、洪水等災害に伴う緊急復旧工事の随意契約法式の取り扱いについて」（建九契第２８３号・平成１０年８月２８日）を事前に確認しておくものとする。

第３節　風水害情報・通信システム等の整備及び運用、管理

１．風水害情報・通信システム等の整備

風水害情報の収集・連絡に資する通信施設等の整備を進めるため、次の施策を実施するものとする。

（１）防災情報ネットワークの整備

各機関間の情報ネットワーク化に資するため、マイクロ回線の複数ルート化・デジタル化等の整備を図るものとする。なお情報通信施設については、停電対策を講じておくものとする。

大規模災害発生等により、マイクロ回線等の被災または急激な通信の増加等があった場合にも円滑に情報通信手段を確保するため、通信路の拡大及び臨時回線用設備等の整備を推進するものとする。

（２）地域防災無線等との連携

地域防災無線との連携を図り、情報のネットワーク化を推進するものとする。他機関との連絡等に配慮し、ＮＴＴの災害時優先電話、非常取扱い通話及びＮＴＴ災害応急復旧無線電話、パソコン通信等によるバックアップ対策を推進するものとする。

（３）移動通信機材の整備

災害発生による通信回線の途絶への対応が迅速、円滑に実施できるように移動多重無線機、携帯電話等の通信機材の配備計画を策定し、整備を推進するものとする。

（４）コンピュータバックアップ対策

プログラムデータのディスクテープ等へのバックアップ、代替機への振替え、機器の分散化、ネットワーク化等のコンピュータバックアップ対策等の推進を図るものとする。

２．風水害情報・通信システム等の運用、管理

災害発生時の情報通信手段については、平常時よりその確保に努めるものとし、その運用、管理等にあたっては、次の点を考慮するものとする。

（１）関係機関との相互接続

災害発生時における緊急情報連絡を確保するため、地方公共団体及び関係各機関との相互接続等によるネットワーク間の連携を図るものとする。

（２）点　検

災害発生時の通信の確保を図るため、平常時より災害対策を重視した無線設備の総点検を定期的に実施し、その結果に基づき、必要な措置を講ずるものとする。

（３）災害発生時優先電話等の活用

ＮＴＴ等の電気通信事業者により提供されている災害発生優先電話等を効果的に活用するため、その確保に努めるとともに、その設置場所を周知しておく等災害発生時において有効に活用できる体制を確立しておくものとする。

（４）携帯電話の配備

休日、夜間等において指揮命令者間の連絡を確保するため、個人等への配備を定めておくものとする。

（５）電子化データのバックアップ等

プログラム・データの定期的なバックアップを実施するものとする。

（６）情報・通信システムの運用、操作マニュアルの整備

臨時回線等の運用が迅速、円滑に実施できるように、設営操作方法を盛り込んだ電気通信施設の運用マニュアルの整備を図るものとする。

３．ヘリコプターの運用体制の整備等

（１）運用体制の整備

災害発生時において迅速な情報収集、災害状況の把握、要員の移動等を図るため九州地方建設局等において管理しているヘリコプターの活用を図るものとする。

（２）防災臨時ヘリポートの確保地震災害発生時において緊急に対応するため、臨時ヘリポートを確保するものとする。ヘリポートの選定には、可能な限り制約を受けない場所及び国土交通省ヘリコプター機種が離発着できる場所に配慮するものとする。

第４節　防災拠点の整備

１．資機材備蓄拠点の整備等

（１）防災備蓄基地の整備

災害時に広域的な応急復旧を円滑に進めるため、資機材の備蓄拠点の整備を図るものとする。

（２）応急復旧資機材の備蓄計画

災害時の応急復旧資機材の備蓄基地のネットワークに関する計画を策定し、防災備蓄倉庫等において、必要な資機材の備蓄を図るものとする。

（３）電気通信機材及び電子機材の備蓄

災害時に必要な応急復旧資機材の備蓄を図るものとする。

２．災害対策支部室等の整備

対策支部等の運営が円滑に行われるよう、庁舎等内に災害対策支部室を設け、必要な情報機器等を整備するとともに十分な管理をしておくものとする。災害対策支部室等にはその機能および機動力を発揮できるよう十分な広さを確保するよう努めるものとする。

第５節　災害対策用建設機械等の整備

迅速かつ円滑な災害応急対策、災害復旧・復興への備えとして、所管施設の緊急点検、被害状況等の把握、応急復旧や二次災害の発生、拡大の防止対策を図るために必要な災害対策車等の災害対策用機械の保有及び活用に関する計画を作成し、これに基づいて計画的な整備を行うとともに、大規模災害発生時において、人員、災害対策用機械の派遣等、広域的かつ効果的な応援を行うために必要な機材等の整備を推進するものとする。また、応急復旧用の資機材の備蓄を推進するものとする。

第６節　緊急輸送路対策

所管施設について、災害応急対策を実施する場合の資機材等の輸送を確保するため、主要な緊急輸送経路を選定しておくものとする。

第７節　訓　練

１．訓練は毎年原則として年１回以上実施するものとする。

２．訓練にあたっては、情報の収集、伝達訓練等の大規模な災害を想定した訓練を行うものとする。

３．訓練の方法及び内容

訓練の方法は、実働訓練等、より機動力を生かした実践的な防災訓練を実施する。

（１）洪水予報等の情報収集及び伝達等
（２）対策支部及び分会の設置及び要員参集体制
（３）所管施設等の点検等、状況の把握に関する事項
（４）資機材、人員の配備手配
（５）所管施設の被害想定
（６）避難対策等
（７）家族安否確認
（８）関係各機関との協力体制
（９）応急復旧対策
（10）広報
（11）事後評価

第８節　風水害に対する教育及び広報等

１．職員等に対する教育

職員等に対する教育については、その所属により果たすべき役割が異なることを考慮し、次に掲げる事項について、講習会、研修、パンフレット等により教育を行うものとする。

（１）洪水予報・水防警報の性格及びこれに基づきとられる措置の内容
（２）予想される洪水・高潮等に関する知識
（３）災害応急対策に関する知識
　１）対策支部の設置及び要員参集体制
　２）園内状況の把握と情報の伝達
　３）洪水予報等の伝達
　４）その他施設管理上の措置に関する事項
（４）職員等が果たすべき役割
（５）災害応急対策として講じられている対策に関する知識
（６）今後の洪水・高潮対策等災害対策として取り組むべき必要のある施設整備

２．広　報

（１）広報対策

災害発生時における被害の軽減、混乱の防止、二次災害の防止及び応急復旧活動の円滑化等のため、広報を行うものとする。このためあらかじめ広報の内容、発表方法、発表の体制等について整備を図るものとする。

（２）防災知識の普及

公園利用者に対して、防災週間、イベント、各種パンフレット等あらゆる機会を通じて、災害に対する知識、災害時にとられる措置、利用者の心構え等について正確な知識の普及を図るものとする。

第３章　風水害応急・復旧対策

第１節　情報収集及び通信の確保等

災害が発生した場合または発生する恐れのある場合、風水害に関わる情報を迅速、広域的に収集・連絡するものとする。この場合、被害の概括的な情報を含め多くの情報を効果的な通信手段・機材を用いて伝達し、被害規模の早期把握を行うものとする。

１．情報の収集・連絡

（１）情報等の把握・連絡

災害発生後または発生の恐れがある場合、気象情報、被害状況等の情報収集を行うものとする。園内で対策支部の設置を必要とする規模の情報を入手した場合、直ちに関係各課に連絡・周知するものとし、速やかに防災体制を確立するものとする。

（２）情報の収集・連絡

１）情報の収集

対策支部は、次に掲げる方法等により迅速かつ的確に応急対策活動に必要な情報の収集に努めるとともに、その事態に応じて、内容、精度を高めるものとする。また、情報の有効かつ適切な活用を図るため、必要な範囲内において、通報または、入手した情報の分析・整理を行うものとする。

①ラジオ、テレビ
②参集者の情報
③関係各機関からの情報
④園内職員等からの通報
⑤地域住民からの通報
⑥現地調査
⑦その他の方法

２）情報の連絡

対策支部等は、関係各機関との間において応急対策活動に必要な収集及び通報を行い、窓口の一元化に特に留意し、現地等における災害対応等に支障を来さないように配慮するものとする。

収集した情報は必要に応じて、速やかに、本局、各分会、関係各機関、警察機関等へ連絡・情報交換を行うものとする。

（３）災害情報の共有

対策支部等及び占用企業者等関係各機関が当該災害状況等に関して、共通認識を持つことによって、効率的な災害応急対策活動を期すとともに、対策支部等の行う応急対策活動に係る調整等の円滑化に資するため、対策支部および関係各機関との間で情報の共有を図るものとする。

２．通信の確保

対策支部設置後直ちに災害情報連絡のための通信手段を確保するものとする。

（１）庁舎・設備の状況把握

災害が発生した場合、庁舎・設備（ガス・電気・通信施設・情報機器等）の状況を把握し、不備や不測の事態が生じないことを確認した上で行動を行うものとする。

（２）通信の確保

通信連絡は、原則としてマイクロ回線（電話、ファクシミリ）を使用するものとし、通信輻輳に対処するためマイクロ回線への発着信の制限等、災害対策情報の伝達が円滑に行われるようマイクロ回線の機能を確保するものとする。

（３）障害時の緊急対策

マイクロ回線の障害時における緊急対策として、携帯・自動車電話等の移動通信回線の活用により対処するものとする。

（４）点検及び修理

災害発生後直ちにマイクロ回線等情報通信手段の機能確認を行うとともに、支障が生じた施設の復旧を行うものとする。

第２節　風水害応急・復旧対策の体制

１．対策支部及び対策分会の体制

（１）対策支部及び対策分会の設置及び体制

１）事務所長は、風水害が発生した場合または恐れのある場合は、下記の体制により事務所等に対策支部及び対策分会を設置するものとする。体制発令の基準詳細は、別途定める「風水害対策支部運営要領」「風水害対策分会運営要領」によるものとする。

（実施体制）「注意体制」
「警戒体制」
「非常体制」

２）事務所長に事故等があるときは、あらかじめ事務所長から指名を受けている者が対策支部設置及び対策分会設置を代行するものとする。

３）支部長は被害状況を確認後、体制（要員、資機材等）の強化が必要と判断した場合は状況に応じて体制の移行指令を行わなければならない。

（２）対策支部・対策分会の移設

対策支部及び対策分会を設置する事務所庁舎等が被災により使用が不可能な場合、支部長の指示により対策支部を、分会長の指示で対策分会を移設するものとする。

（３）対策支部及び対策分会の廃止

支部長は次に該当する場合､対策支部及び対策分会を廃止するものとする。

１）災害応急復旧がおおむね完了し、二次災害の恐れがなくなった場合

２）その他、対策支部設置の必要性がなくなったと判断される場合

（４）対策支部及び対策分会の組織

対策支部及び対策分会の組織は､別途定める｢風水害対策支部運営要領」及び「風水害対策分会運営要領」に示す組織をもって構成するものとする。

（５）対策本部の代替場所

局長（対策本部が設置されているときは本部長）から対策本部の代替場所として指示を受けた場合、事務所長（対策支部が設置されているときは支部長）は、速やかに対策本部の受入れ準備を進め、万全の体制を整えるものとする。

２．体制の周知

対策支部等は、被害状況の収集、応援体制等常に連絡体制がとれる状態を確保するため、各々の体制状況を連絡窓口一覧表に基づき伝達するものとする。

３．動員計画

（１）体制の組み方

１）対策支部及び対策分会を設置した場合は、「風水害対策支部運営要領」及び「風水害対策分会運営要領」により速やかに体制を整えるものとする。

２）対策支部の動員体制の発令及び解除は、支部長が行うものとする。

３）各対策分会の動員体制の発令及び解除は、各分会長が行うものとする。

（２）構成員の指名

１）対策支部は、「風水害対策支部運営要領」の各体制毎に定められた動員者によって業務を遂行するものとする。

２）対策分会は、「風水害対策分会運営要領」の各体制毎に定められた動員者によって業務を遂行するものとする。

４．対策支部間の応援

（１）事務所長等は、本局及び他の事務所等において対策本部及び対策支部が設置された場合、あるいは報道等の情報により他事務所等管内において著しい被害が予想されると判断した場合には、事務所長等の指令により応援出動の準備体制に入ることとし、応援に必要な人員、資機材等を整えておくものとする。

（２）対策支部間の応援は、「事務所等間相互応援要領」等により原則として被災当該支部長が応援を本部長に要請し、本部長が他支部長へ応援を指示する。また、必要に応じ本部長の判断により応援を指示することができる。応援に出動した職員は被災当該支部の体制下に入るものとする。

５．対策分会間の応援

（１）対策分会間の応援は、原則として被災当該分会長が支部長に要請し、支部長が他分会へ応援を指示する。又必要に応じて支部長の判断により応援を指示することが出来る。

６．他機関との協力

（１）防災関係機関との連絡・協力

風水害時において迅速適切な応急対策措置を実施するため、他の防災関係機関と密接な連絡を保ち協力を行うものとする。

（２）近隣国道事務所との連絡・協力

地震情報等の迅速な把握に努めるため、気象庁よりの情報については、海の中道庁舎は福岡国道と吉野ヶ里庁舎は佐賀国道に協力、応援をもらうものとする。

（３）占用企業者との連絡・協力

風水害対策時において、上、下水道、電気及び通信・電気機器施設の機能を確保するため、これら施設の被災状況の把握及び復旧工事等にあたっては、関係する占用機関等と密接な連絡を保ち必要に応じて協力、応援を行うものとする。

７．応援体制

（１）管内関係機関への応援

災害時において、自治体、関係機関から職員、資機材等の応援の要請があった場合には、必要に応じて対処するものとする。

（２）応援体制

応援の要請に対しては必要に応じ所長（支部設置の場合には支部長）が応援を指示するものとする。また、応援に出た職員は被災当該体制下に入るものとする。

８．庁舎等の対策

（１）庁舎等点検

被害を受けた庁舎等及び宿舎の管理者は、「施設点検要領（案）」により被害状況の把握を行い、庁舎等の管理者においては対策支部へ報告し、支部は対策本部へ報告する。国土交通省職員宿舎の管理者においては管理官署に報告するものとする。

（２）災害時の応急措置

建物の被災によって二次災害の発生する危険性のある場合は、速やかに危険物の撤去、危険区域の設定等の危険防止対策をとるものとする。

（３）応急復旧

応急危険度判定及び被災度区分判定の調査結果による被害状況に応じて、庁舎機能の維持・確保を図るための応急復旧対策を速やかに実施するものとする。

９．職員等の安全確保、健康管理等

（１）安全確保

施設対策等の措置を行う場合においては、職員等の安全確保に配慮するものとする。

（２）健康管理

施設対策等の措置及び風水害対応が、長期にわたることが予想される場合、勤務の適切なローテーション等、職員等の健康管理に配慮するものとする。

（３）生活対策

施設対策等の措置を行う場合においては、業務に必要な物資の購入・調達、職員等に対する非常食等の配給、休息・仮眠所の確保等職員等の生活対策に配慮するものとする。

（４）職員等及び家族の安否確認

職員等及び家族の安否確認は、必要に応じて行うものとする。

10．避難住民対策

地方公共団体、地域住民等より、あらかじめ避難場所として指定された施設以外の所管施設について、避難場所として使用したい旨の要請があった場合には、施設の状況等を確認の上、適切に対処するものとする。

第３節　災害発生時における道路交通の確保

緊急輸送道路については、関係機関と調整を図りつつ、路上障害物の除去・沿道の建築物の安全確認等により速やかに緊急輸送機能を確保するものとする。

第４節　災害発生直後の所管施設の緊急点検

所管施設の管理者は、災害発生後、緊急点検実施の体制を速やかに整え、周辺の安全を確認したうえで、緊急点検を実施するものとする。その際、被災した施設等の被害状況の迅速な収集等を行うものとする。

第５節　災害対策用資機材・復旧資機材の確保

応急復旧を円滑に行うため、主要な災害復旧用資機材を緊急・迅速に調達しうるために、必要に応じて関係団体等に対し建設機械の調達、労働力の確保、資材調達について要請等を行うものとする。

第６節　公園施設対策

１．公園施設の点検

被害状況を速やかに把握するため、巡視を実施するものとする。

２．応急復旧

（１）巡視結果等に基づき、速やかに応急復旧を行うものとする。

（２）応急復旧工法は被害の状況、資機材の有無等を考慮して適切な工法を選定するものとする。

３．入園者対策

被災施設については、その種類、位置等について公園利用者に周知し、公園の利用に危険を及ぼさないように努めるものとする。

第７節　災害時における広報

風水害の広報は災害応急復旧対策等に係る措置の状況について、必要に応じ対策支部が遂次広報を行うものとする。

１．広報活動はおおむね次の事項について広報を行う。
（１）入園者の安否状況
（２）所管施設の全般的状況（被害及び施設の機能状況）
（３）浸水・災害等に関する事項
（４）緊急輸送道路の状況、復旧の見通し等に関する事項
（５）所管する施設に対して危険防止のために必要な事項及び応急復旧活動に関して理解と協力を求める必要のある事項
（６）その他対策支部等の活動に関して広報を行う必要がある事項

２．上記災害状況の発表方法は、「広報に関するマニュアル」によるものとする。

３．広報は、放送機関、新聞社等の報道機関の協力を求めて行う。特に必要があると認める場合には、関係する地方公共団体等の協力を求めるものとする。

４．対策支部は、必要に応じて公園利用者及び危険箇所周辺の住民に対して以下の広報を行う。広報を行う場合には、対策本部にその内容を報告するものとする。
（１）公園利用者の危険防止のための必要な事項
（２）公園利用者に理解と協力を求める必要のある事項
（３）災害危険箇所の周知及び警戒避難に関する事項
（４）その他、対策支部及び対策分会の活動に関して理解と協力を求める必要のある事項

第４章　運営要領の作成

１．本計画の円滑な運営を図るため分会長は、年度当初、「風水害対策分会運営要領」を定めるものとする。
２．本計画の円滑な運営を図るため事務所長は、年度当初、「風水害対策支部運営要領」を定めるものとする。
３．分会長は、第１項に基づき定めた「風水害対策分会運営要領」を毎年度事務所長に提出するものとする。
４．事務所長は、第２項に基づき定めた「風水害対策支部運営要領」を毎年度局長に報告するものとする。

第 4 編　　第４編　水質(油流出)事故災害対策編

目　　次

第１章　計画の前提…… ４２

第２章　水質（油流出）事故災害予防（事前対策）…… ４２
第１節　水質（油流出）事故災害対策の推進…… ４２
１．公園施設の水質事故災害対策の推進
２．総合的な危険度の把握
第２節　防災体制の整備…… ４２
１．初動時防災体制の強化
２．関係機関との連携
３．応急復旧体制の整備
４．庁舎等の対策
５．職員等の生活対策
６．復旧対策に係る契約手続きの簡素化
第３節　水質（油流出）事故災害情報・通信ｼｽﾃﾑ等の整備及び運用、管理… ４５
１．水質（油流出）事故災害情報・通信システム等の整備
２．水質（油流出）事故災害情報・通信システム等の運用、管理
３．ヘリコプターの運用体制の整備等
第４節　防災拠点の整備…… ４７
１．資機材備蓄拠点の整備等
２．災害対策支部室等の整備
第５節　災害対策用建設機械等の整備…… ４７
第６節　緊急輸送路対策…… ４８
第７節　水質（油流出）事故に係る防災訓練…… ４８
１．防災訓練
２．非常参集訓練
第８節　防災教育及び広報等…… ４８
１．職員等に対する教育
２．広報

第３章　水質（油流出）事故災害応急・復旧対策計画（事故発生後）…… ５０
第１節　災害発生直後の情報収集及び通信の確保等…… ５０
１．災害情報の収集・連絡
２．通信の確保
第２節　参　集…… ５１
１．職員等の参集条件及び参集場所・方法
２．参集者の把握
第３節　水質（油流出）事故災害応急・復旧対策の体制…… ５２
１．対策支部及び対策分会の体制
２．体制の周知

３．動員計画
４．対策支部間の応援
５．対策分会間の応援
６．他機関との協力
７．応援体制
８．庁舎等の対策
９．職員等の安全確保、健康管理等
10．避難住民対策
第４節　災害発生時における道路交通の確保等…… ５４
第５節　水質（油流出）事故災害発生直後の所管施設の緊急点検…… ５５
第６節　災害対策用資機材・復旧資機材の確保…… ５５
第７節　公園施設対策…… ５５
１．公園施設の点検
２．応急復旧
３．入園者対策
第８節　災害時における広報…… ５５

第４章　運営要領の作成…… ５６

第１章　計画の前提

この計画の対象とする海域は、玄界灘と博多湾とし、風向、潮流等の影響により有害物質等の流出が公園事業に影響を及ぼす恐れがあるものを対象とする。

第２章　水質（油流出）事故災害予防（事前対策）

第１節　水質（油流出）事故災害対策の推進

１．公園施設の水質（油流出）事故災害対策の推進

施設が有害物質等の流出による被災を速やかに把握するために、点検・巡視を実施できる体制を講じておくものとする。

２．総合的な危険度の把握

有害物質等の流出による災害予想については、過去の災害事例を調査し、想定される水質（油流出）事故災害の範囲と現象等の把握に努めるものとする。

第２節　危機管理体制の整備

１．初動時防災体制の強化

（１）災害発生時の情報収集、連絡体制の強化

災害発生時の情報収集、連絡、分析体制等を夜間・休日の場合も含めて対応できるよう、あらかじめ整備しておくとともに、その周知を徹底するものとする。

（２）非常参集体制の強化

水質（油流出）事故災害発生時における迅速かつ確実な災害情報の収集・連絡の重要性に鑑み、水質（油流出）事故災害対策支部（以下「対策支部」という。）及び水質（油流出）事故災害対策分会（以下「対策分会」という）に参集する事が必要な職員等をあらかじめ指名しておく等、体制を整備しておくものとする。

（３）初動体制に関するマニュアルの整備

水質（油流出）事故災害に対して、速やかに対処するため、下記の事項について、事前に業務が遂行できるように確認しておくものとする。

１）水質（油流出）事故に関する情報の収集及び連絡系統

２）専門家による分析体制の確立。

３）初動時防災体制の発令

４）参集

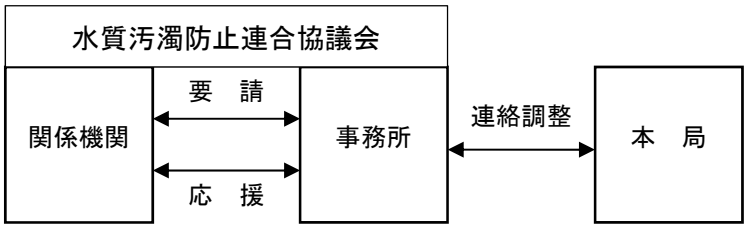
５）指揮系統（代行指揮含む）の明確化

２．関係機関との連携

平素から関係各機関と情報及び資料の交換等を含めて連絡を密にし、相互の応援・協力体制を定めておく等、緊急時の協力体制等の整備を図るものとする。

（１）水質汚濁防止連絡協議会等との連携

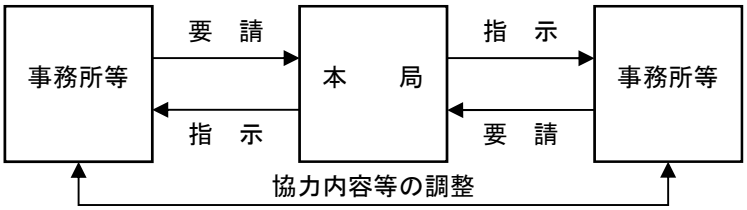
水質（油流出）事故発生時における防災関係機関相互の連携を確保するため、応急活動及び復旧活動に関し、平常時より連携を強化しておくものとする。



（２）事務所等間の応援

事務所等間における協力要請の方法、人員派遣の発動等は、「事務所等間相互応援要領」等の定めにより下図の体制で行い、職員等の派遣及び資機材の提供等について確認しておくものとする。

事務所等の連絡窓口は連絡窓口一覧表を参照するものとする。



（３）地方公共団体体等との協力

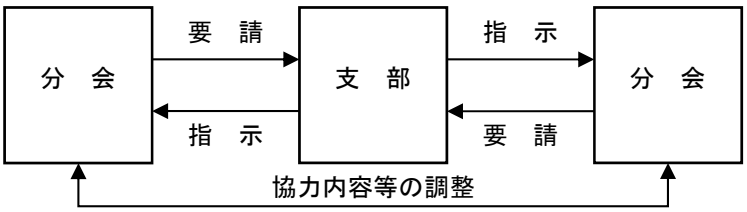
地方公共団体等とは、平常時から連携を強化し、相互応援、協力体制を定めておき、緊急時における情報連絡体制、相互の協力体制等について確認しておくものとする。

１）地方公共団体等との情報連絡体制は連絡窓口一覧表を参照するものとする。

２）その他必要と認められるものについて相互に協力するものとする。

（４）分会間の応援

対策支部及び対策分会間における協力要請の方法、人員派遣の発動については下図の体制で行い、所管施設等の点検及び復旧対策を講じる際の協力内容について確認しておく。



（５）公園施設の占用者及び関係各機関との協力

公園所管施設の占用者及び関係各機関とは、所管施設等の点検及び復旧対策を講ずる際の、情報連絡体制及び協力内容について確認しておくものとする。

（６）防災エキスパート等との協力

水質（油流出）事故災害発生時に公共施設等の維持管理及び防除活動をより迅速、確実、効果的に対処するため、「防災エキスパート制度」を定め、かつて公共土木施設等の整備、維持管理等に長年携わり一定のノウハウをもった人材に公共施設等の維持管理の強化及び防除活動の情報の迅速な収集等に定め災害危険箇収集等にボランティアとして協力を得る等、円滑な災害復旧等を行うため協力体制を確認しておくものとする。

（７）報道機関との協力

緊急の広報または連絡が必要な場合、主要報道機関一覧表を参照するが通信網の途絶を考慮し、報道機関と連絡方法等についての調整を図るものとする。

（８）建設業団体等との協力

水質（油流出）事故発生時における防災活動、防除活動のための資機材の調達を迅速に実施するため維持管理強化の協力を要請する場合に備え、建設業各団体等との協定を締結しておくものとする。

３．応急復旧体制の整備

迅速かつ円滑な応急対策への備えとして、調査用資材、オイルフェンス、オイルマット、中和処理剤等の提供・調達、関係機関との相互応援態勢の整備に努めるものとする。

４．庁舎等の対策

（１）点　検

庁舎等及び宿舎の施設管理者は、「官庁施設等緊急被害状況調査表（案）」により状況把握を行い、適切な処置を講じておくものとする。

（２）庁舎機能の確保

１）非常用電源の確保

災害発生後の庁舎の停電に備えて対策支部機能を確保するため、負荷に対して十分な容量を有する非常用発電設備を設置するとともに、海の中道公園の重要拠点は７日間、他の施設については原則とし３日間運転できるよう、燃料の確保、補給、運搬体制の整備を図るものとする。なお、非常用発電設備は断水に備えて空冷式を原則とする。

２）緊急避難

緊急避難経路を定め、職員等の誘導に支障のないように配慮しておくものとする。

５．職員等の生活対策

（１）生活用品等の確保

水質（油流出）事故災害に必要な水、食料、ガスボンベ（ＬＰＧ）、寝具、救急薬品類、作業衣類、燃料等を資材倉庫等に常時確保しておくものとする。

（２）職員の生活対策用施設、機材の整備

水質（油流出）事故災害後の応急対策を行う職員のための、飲料水、食料、燃料等の備蓄及び確保を図るものとする。また、休息・仮眠所、トイレ、炊事、風呂塔の燃料も含めて、職員等の生活対策用施設、機材を整備する。さらに応援者も含めた宿泊施設等について検討しておくものとする。

（３）職員等及び家族の連絡等について

１）職員等が安心して業務が遂行できるよう連絡員（宿舎）を活用する等、家族の安全確認及び家族との連絡を維持するための方法を確立しておくものとする。

２）対策支部及び対策分会においては、安否状況を確認に来た職員等及び家族について状況把握できる体制を整えておくものとする。

６．復旧作業に係る契約手続きの簡素化

水質（油流出）事故災害発生等により、その復旧工事を緊急に施工する必要がある場合いの契約手続きとして、通常の手続きを執る時間的余裕のないときの契約方法は「地震、洪水等災害に伴う緊急復旧工事の随意契約方式の取り扱いについて」（建九契第２８３号、平成１０年８月２８日）を事前に確認しておくものとする。

第３節　水質（油流出）事故災害情報・通信システム等の整備及び運用、管理

１．水質（油流出）事故災害情報・通信システム等の整備

水質（油流出）事故災害情報の収集・連絡に資する通信施設等の整備を進めるため、次の施策を実施するものとする。

（１）防災情報ネットワークの整備

各機関間の情報ネットワーク化に資するため、マイクロ回線の複数ルート化・デジタル化等の整備を図るものとする。なお、これらの情報通信施設については、停電対策を講じておくものとする。

大規模災害発生等により、マイクロ回線等の被災又は急激な通信の増加等があった場合も円滑に情報通信手段を確保するため、通信ルートの拡大及び臨時回線用設備等の整備を推進するものとする。

（２）地域防災無線等との連携

地域防災無線との連携を図り、情報のネットワーク化を推進するものとする。他機間との連絡等に配慮し、ＮＴＴの災害時優先電話、非常取扱い通話及びＮＴＴ災害応急復旧無線電話等によるバックアップ対策を推進するものとする。

（３）移動通信機材の整備

災害発生による通信回線の途絶への対応が、迅速かつ円滑に実施できるように移動多重無線機、携帯電話等の通信機材の配備計画を策定し、整備を推進するものとする

（４）情報通信施設等の耐火対策の推進

電算機室、電源室等の耐火対策の強化を図るものとする。また、メールサーバの二重化を推進するものとする。

（５）コンピュータバックアップ対策

プログラムデータのディスクテープ等へのバックアップ、代替機への振替え、機器の分散化、ネットワーク化等のコンピュータバックアップ対策等の推進を図るものとする。また、電算機室の施設について、必要な耐火対策を講じておくものとする。

（６）情報収集・発信手段としてデジタルカメラ等映像収集と、関係機関への送信システムの整備に努めるものとする。

２．水質（油流出）事故災害情報・通信システム等の運用、管理

災害発生時の情報通信手段については､平常時よりその確保に努めるものとし、その運用、管理等にあたっては、次の点を十分考慮するものとする。

（１）関係各機関との相互接続

災害発生時における緊急情報連絡を確保するため、関係各機関との相互接続等によるネットワーク間の連携を図るものとする。

（２）点　検

災害発生時の通信の確保を図るため、平常時より災害対策を重視した無線設備の総点検を定期的に実施し、その結果に基づき、必要な措置を講じておくものとする。

（３）災害発生時優先電話等の活用

ＮＴＴ等の電気通信事業者により提供されている災害発生優先電話等を効果的に活用するため、その確保に努めるとともに、その設置場所を周知しておく等災害発生時において有効に活用できる体制を確立しておくものとする。

（４）携帯電話の配備

休日、夜間等において指揮命令者間の連絡を確保するため、携帯電話の個人への配備を定めておくものとする。

（５）電子化データのバックアップ等

プログラム・データの定期的なバックアップを実施するものとする。

（６）情報・通信システムの運用、操作マニュアルの整備

臨時回線等の運用が迅速、円滑に実施できるように、設営操作方法を盛り込んだ電気通信施設の運用マニュアルの整備を図るものとする。

３．ヘリコプターの運用体制の整備等

（１）運用体制の整備

水質（油流出）事故災害発生時において迅速に情報収集、被害状況の把握、要員の移動等を図るため、九州地方整備局において管理しているヘリコプターの活用を図るものとする。

（２）防災臨時ヘリポートの確保

水質（油流出）事故災害発生時において緊急に対応するため、臨時ヘリポートを確保するものとする。ヘリポートの選定には、可能な限り制約を受けない場所及び国土交通省ヘリコプター機種が離発着できる場所に配慮するものとする。

第４節　防災拠点の整備

１．資機材備蓄拠点の整備等

（１）防災備蓄基地の整備

水質（油流出）事故災害時に広域的な応急復旧を円滑に進めるため、資機材の備蓄拠点の整備を図るものとする。

（２）応急復旧資機材の備蓄計画

災害時における応急復旧資機材のネットワークを考慮した備蓄計画を策定し、防災備蓄倉庫等において、必要な資機材の備蓄を図るものとする。

（３）電気通信機材及び電子機材の備蓄

水質（油流出）事故災害発生時に必要な応急復旧資機材の備蓄を図るものとする。

２．災害対策支部室等の整備

対策支部等の運営が円滑に行われるよう、庁舎内に災害対策支部室等を設け、必要な情報機器等を整備するとともに十分な管理をしておくものとする。災害対策支部室等にはその機能および機動力を発揮できるよう十分な広さを確保するよう努めるものとする。

第５節　災害対策用建設機械等の整備

迅速かつ円滑な災害応急対策、災害復旧・復興への備えとして、所管施設の緊急点検、被害状況等の把握、応急復旧や二次災害の発生、拡大の防止対策を図るために必要な災害対策車等の災害対策用機械の保有及び活用に関する計画を作成し、これに基づいて計画的な整備を行うとともに、大規模災害発生時において、人員派遣等、広域的かつ効果的な応援を行うために必要な機材等の整備を推進するものとする。また、応急復旧用の資機材の備蓄を推進するものとする。

第６節　緊急輸送路対策

所管施設について、水質（油流出）事故防災応急対策または、水質事故災害応急対策を実施する場合の資機材等の輸送を確保するため、主要な緊急輸送経路を選定しておくものとする。

第７節　水質（油流出）事故災害に係る防災訓練

１．防災訓練

（１）防災訓練は、必要に応じて実施するものとする。
（２）訓練にあたっては、情報の収集、伝達訓練等の大規模な災害を想定した防災訓練を行うものとする。
（３）防災訓練の方法及び内容

防災訓練の方法は、実働訓練等、より機動力を生かした実践的な防災訓練を実施する。

１）情報の収集伝達等
２）参集訓練
３）対策支部及び対策分会の設置及び要員参集体制
４）所管施設等の点検等、状況の把握に関する事項
５）資機材、人員の配備手配
６）所管施設の被害想定
７）水質（油流出）事故防災応急対策の実施要員の確保及び関係各機関との協力体制
８）避難対策等
９）家族安否確認
10）広報
11）事後評価

２．非常参集訓練

職員等の非常参集体制の整備を図るため、非常参集訓練を地震防災訓練等と合わせて年１回以上行うものとする。その際公共交通機関の不通等、参集途上で携帯電話等を利用した訓練等様々な条件を設定し、実践的な参集訓練となるよう努めるものとする。

第８節　防災教育及び広報等

１．職員等に対する教育

職員等に対する教育については、その所属により果たすべき役割が異なることを考慮し、次に掲げる事項について、講習会、研修、パンフレット等により教育を行うものとする。

（１）有害物質流出情報と性格及びこれに基づきとるべき措置の内容
（２）予想される被害等に関する知識

（３）有害物質が流出した場合に具体的に措置するべき応急対策に関する知識
１）有害物質流出情報等の伝達
２）対策支部及び対策分会の設置及び要員参集体制
３）道路交通対策
（４）職員等が果たすべき役割
（５）今後の水質（油流出）事故災害対策として取り組むべき必要のある施設整備

２．広報
（１）広報対策
水質（油流出）事故災害発生時における被害の軽減、混乱の防止、二次災害の防止及び応急復旧活動の円滑化等のため、広報を行うものとする。このためあらかじめ広報の内容、発表方法、発表の体制等について整備を図るものとする。
（２）防災知識の普及
公園利用者に対して、防災週間等、イベント、各種パンフレット等あらゆる機会を通じて、有害物質流出に伴う災害時にとられる措置、利用者の心構え等について正確な知識の普及を図るものとする。

第３章　水質（油流出）事故災害応急・復旧対策計画
（災害発生後）

第１節　災害発生直後の情報収集及び通信の確保等

１．災害情報の収集・連絡

有害物質が流出した場合、有害物質等に関する情報を迅速、広範囲に収集・連絡する。この場合、被害の概括的な情報を含む多くの情報を効果的な通信手段・機材を用いて伝達し、被害規模の早期把握を行うものとする。

（１）有害物質流出に関する情報等の把握・連絡

有害物質流出に関する情報は、有害物質に伴う各種の現象（水の色、臭い、浮遊物質等）を把握するとともに、テレビやラジオ等による活動状況を確認し的確な情報を入手するものとする。

（２）災害情報の収集・連絡

１）災害情報の収集

対策支部は、次に掲げる方法等により迅速かつ的確に応急対策活動に必要な情報の収集に努めるとともに、その後の事態に応じて、内容、精度を高めるものとする。また、情報の有効かつ適切な活用を図るため、必要な範囲内において、通報または、入手した情報の分析・整理を行うものとする。

①ラジオ、テレビ
②参集者の情報
③関係各機関からの情報
④地域住民からの通報
⑤現地調査
⑥その他の方法

２）災害情報の連絡

対策支部及び対策分会は、関係各機関との間において応急対策活動に必要な災害情報の収集及び通報を行い、窓口の一元化に特に留意し、現地等における災害対応等に支障を来さないように配慮するものとする。

収集した情報は必要に応じて、速やかに、本局、分会、関係地方公共団体、警察、消防機関等へ連絡し情報の交換を行うものとする。

（３）災害情報の共有

対策支部・対策分会及び占用企業者等関係各機関が、当該災害状況等に関して、共通認識を持つことによって、効率的な火山活動に伴う災害応急対策活動　を期するとともに、対策支部及び対策分会の行う応急対策活動に係る調整等の円滑化に資するため、対策支部・対策分会及び関係各機関との間で情報の共有を図るものとする。

２．通信の確保

災害発生直後直ちに災害情報連絡のための通信手段を確保するものとする。

（１）通信の確保

通信連絡は、原則としてマイクロ回線（電話、ファクシミリ）、携帯電話等を使用するものとし、通信輻輳に対処するためマイクロ回線の発着信の制限、通信統制、使用周波数の設定を行う等、有害物質流出に伴う災害対策情報の伝達が円滑に行われるようマイクロ回線や携帯電話の機能や必要個数の確保をするものとする。

（２）障害時の緊急対策

マイクロ回線の障害時における緊急対策として、携帯・自動車電話等の移動通信回線の活用により対処するものとする。

（３）点検及び修理

有害物質流出に伴う災害が発生した直後にマイクロ回線等の情報手段の機能確認を行うとともに、支障を生じた施設については直ちに復旧を行うものとする。

第２節　参　集

１．職員等の参集条件及び参集場所・方法

（１）対策支部の設置に該当する事態が生じた場合、「初動体制に関するマニュアル」に基づき参集し、必要な体制を整えるものとする。

（２）参集場所は、原則として本勤務地に参集し、防災業務計画書に定められた業務を遂行するものとする。

（３）有害物質の漂流、漂着による道路の通行止め等によって、本勤務地への参集が不可能な場合、近傍の建設省官署に参集し、本勤務地に連絡を図るものとする。

２．参集者の把握

（１）対策支部等は、迅速に参集者の名簿、不参集者の名簿及び確認された所在地表を作成し、分会長は市部長へ、支部長は本部長に報告しなければならない。

（２）対策支部では、「受け入れ職員名簿」により勤務地以外の参集者の把握を行うものとする。

（３）対策支部等は、不参集者の把握に努め確認できない場合は、近くの対策本部及び対策支部等が確認行動を実施するものとする。また、不参集者はできるだけ早く、本勤務地あるいは最寄りの建設省官署に連絡するものとする。

第３節　水質（油流出）事故災害応急・復旧対策の体制

１．対策支部及び対策分会の体制

（１）対策支部及び対策分会の設置及び体制

１）事務所長は、有害物質流出が発生した場合は、下記の体制により事務所に対策支部を、分会に対策分会を設置するものとする。

２）事務所長に事故等があるときは、あらかじめ事務所長から氏名を受けているものが対策支部設置を代行するものとする。

３）支部長は被害状況を確認後、防災体制（要員、資機材等）の強化が必要と判断した場合は、状況に応じて体制の移行指令を行わなければならない。

発令基準は、次の通りとする。

警戒体制・・・公園区域（予定地含む）への漂着の恐れが強く、対策資材の調達と対策準備を行う必要がある場合、または漂着により直轄で対策を実施する必要がある場合。

非常体制・・・公園区域（予定地含む）への漂着が大規模で、長期にわたると予想される場合。

（２）対策支部等の移設

対策支部等を設置する事務所庁舎が被災により使用が不可能な場合、支部長の指示により対策支部を、分会長の指示で対策分会を移設するものとする。

（３）解除基準

状況が体制基準に該当しなくなった場合、または支部長が体制維持の必要がないと認めた場合。

（４）対策支部及び対策分会の組織

対策支部及び対策分会の組織は、別途定める「水質事故災害対策支部運営要領」及び「風水害対策分会運営要領」に示す組織をもって構成するものとする。

２．体制の周知

対策支部は、被害状況の収集、応援体制等常に連絡体制がとれる状態を確保するため、各々の体制状況を伝達するものとする。

３．動員計画

（１）体制の組み方

１）対策支部、対策分会を設置した場合は、「水質事故災害対策支部運営要領」、「水質事故対策分会運営要領」及び「初動体制に関するマニュアル」に基づき速やかに体制を整えるものとする。

２）対策支部の動員体制の発令及び解除は、支部長が行うものとする。

３）対策分会の動員体制の発令及び解除は、分会長が行うものとする。

（２）構成員の指名

対策支部、対策分会は、「水質事故災害対策支部運営要領」「風水害対策分会運営要領」の体制毎に定められた動員者によって業務を遂行するものとする。

４．対策支部間の応援

（１）事務所長等は、本局及び他の事務所等において対策本部及び対策支部が設置された場合、あるいは報道等の情報により他事務所等管内において著しい被害が予想されると判断した場合には、事務所長等の指令により応援出動の準備体制に入ることとし、応援に必要な人員、資機材等を整えておくものとする。

（２）対策支部間の応援は、「事務所等間相互応援要領」等により原則として被災当該支部長が応援を本部長に要請し、本部長が他支部長へ応援を指示する。また、必要に応じ本部長の判断により応援を指示することができる。応援に出動した職員は被災当該支部の体制化に入るものとする。

５．対策分会間の応援

対策分会間の応援は、原則として被災当該分会長が支部長に要請し、支部長が他分会へ応援を指示する。また必要に応じ支部長の判断により応援を指示することができる。

応援に出動した場合、被災当該分会の体制下に入るものとする。

６．他機関との協力

（１）防災関係機関との連絡・協力

水質事故災害時において、迅速かつ適切な応急対策措置を実施するため、他の防災関係機関と密接な連絡を保ち協力を行うものとする。

（２）占用企業者との連絡・協力

水質事故災害時において、上、下水道、電気及び通信・電気機器施設の機能を確保するため、これら施設の被災状況の把握及び復旧工事等にあたっては、関係する占用機関等と密接な連絡を保ち必要に応じて協力、応援を行うものとする。

７．応援体制

（１）管内関係機関への応援

水質事故災害時において、自治体、関係機関から職員、資機材等の応援の要請があった場合には、必要に応じて対処するものとする。

（２）応援体制

応援の要請に対しては必要に応じ所長（支部設置の場合には支部長）が応援を指示するものとする。また、応援に出た職員は被災当該体制化に入るものとする。

８．庁舎等の対策

（１）庁舎等点検

被害を受けた庁舎等及び宿舎の管理者は、「官庁施設等緊急被害状況調査票（案）」により被害状況の把握を行い、庁舎等の管理者においては、対策支部へ報告し、対策支部は本部へ報告する。国土交通省職員宿舎の管理者においては、管理官署に報告するものとする。

（２）緊急時の避難

火災等の緊急事態が発生した場合は、あらかじめ定めた避難経路により庁舎管理者が職員等の誘導を行うものとする。

（３）災害時の応急措置

建物の被災によって二次災害の発生する危険性のある場合は、速やかに危険物の撤去、危険区域の設定等の危険防止対策をとるものとする。

（４）応急復旧

応急危険度判定及び被災度区分判定の調査結果による被害状況に応じて、庁舎機能の維持・確保を図るための応急復旧対策を速やかに実施するものとする。

９．職員等の安全確保、健康管理等

（１）安全確保

施設対策等の措置を行う場合においては、職員等の安全確保に配慮するものとする。

（２）健康管理

施設対策等の措置及び各種の災害対応は、長期にわたることが予想されるので勤務の適切なローテーション等、職員等の健康管理に配慮するものとする。

（３）生活対策

施設対策等の措置を行う場合においては、業務に必要な物資の購入・調達、職員等に対する非常食等の配給、休息・仮眠所の確保等職員等の生活対策に配慮するものとする。

（４）職員等・家族の安否確認

職員等・家族の安否確認は、「初動体制に関するマニュアル」に基づき行うものとする。

10．避難住民対策

地方公共団体、地域住民より、あらかじめ避難場所として指定された施設以外の所管施設について、避難場所として使用したい旨の要請があった場合には、施設の状況等を確認の上、適切に対処するものとする。

第４節　災害発生時における道路交通の確保

緊急輸送道路については、関係機関と調整を図りつつ、路上障害物の除去・沿道の建築物の安全確認等により速やかに緊急輸送機能を確保するものとする。

第５節　水質事故災害発生後の所管施設の緊急点検

災害発生後、緊急点検実施の体制を速やかに整え、周辺の安全を確認したのちに緊急点検を実施し、施設等の被災状況の迅速な把握に努めるものとする。

第６節　災害対策用資機材・復旧資機材の確保

応急復旧を円滑に行うため、主要な災害復旧用資機材を緊急かつ迅速に調達するため、必要に応じて関係団体等に対し建設機械の調達、労働力の確保、資材調達について要請等を行うものとする。

第７節　公園施設対策

１．公園施設の点検

被害状況を速やかに把握するため、巡視を実施する。なお、巡視結果等から詳細な点検が必要と思われるものについては、できるだけ早い時期に詳細な点検を実施するものとする。

２．応急復旧

（１）パトロールによる巡視結果等に基づき、速やかに応急復旧を行うものとする。

（２）応急復旧工法は被害の状況、資機材の有無等を考慮して適切な工法を選定するものとする。

３．入園者対策

被災施設については、その種類、位置等について公園利用者に周知し、公園の利用に危険を及ぼさないように努めるものとする。

第８節　災害時における広報

水質事故災害に関する広報としては、水質事故災害応急対策等に係る措置の状況について、必要に応じ対策支部が遂次行うものとする。

１．広報活動は、おおむね次の事項について広報を行う。

（１）入園者の安否状況

（２）所管施設の全般的状況（被害及び施設の機能状況）

（３）災害等に関する事項

（４）緊急輸送道路の状況、復旧の見通し等に関する事項

（５）所管施設に対して危険防止のために必要な事項及び応急復旧活動に関して理解と協力を求める必要のある事項

２．上記災害状況の発表方法は、「広報に関するマニュアル」によるものとする。

３．広報は、放送機関、新聞社等の報道機関の協力を求めて行う。特に必要があると認める場合には、関係する地方公共団体等の協力を求めるものとする。

４．対策支部等は、必要に応じて公園利用者及び周辺の住民に対して以下の広報を行う。広報を行う場合には、対策本部にその内容を報告するものとする。

（１）公園利用者の危険防止のための必要な事項
（２）公園利用者に理解と協力を求める必要のある事項
（３）その他、対策支部及び対策分会の活動に関して理解と協力を求める必要のある事項

第４章　運営要領の作成

１．本計画の円滑な運営を図るため分会長は、年度当初、「水質事故災害対策分会運営要領」を定めるものとする。
２．本計画の円滑な運営を図るため事務所長は、年度当初、「水質事故災害対策支部運営要領」を定めるものとする。
３．分会長は第１項に基づき定めた「水質事故災害対策分会運営要領」を毎年度当初、事務所長に提出するものとする。
４．事務所長は第２項に基づき定めた「水質事故災害対策支部運営要領」を毎年度当初、局長に報告するものとする。

第５編　　大規模火事等災害対策編

目　　次

第１章　計画の前提…… ６０

第２章　大規模火事等災害予防事前対策…… ６０
第１節　大規模火事等災害対策の推進…… ６０
１．公園施設の大規模火事等災害対策の推進
２．総合的な危険度の把握
第２節　防災体制の整備…… ６０
１．防災体制の強化
２．応援・協力体制等の強化
３．庁舎等の対策
４．職員等の生活対策
５．復旧対策に係る契約手続きの簡素化
第３節　大規模火事等災害情報・通信システム等の整備及び運用、管理…… ６３
１．大規模火事等災害情報・通信システム等の整備
２．情報・通信システム等の運用、管理
３．ヘリコプターの運用体制の整備等
第４節　防災拠点の整備…… ６５
１．資機材備蓄拠点の整備等
２．災害対策支部室等の整備
第５節　災害対策用建設機械等の整備…… ６５
第６節　緊急輸送路対策…… ６５
第７節　訓練…… ６５
第８節　大規模火事等災害に対する教育及び広報等…… ６６
１．職員等に対する教育
２．広報

第３章　大規模火事等災害応急・復旧対策（災害が発生した場合または恐れのある場合）
…… ６７
第１節　情報収集及び通信の確保等…… ６７
１．情報の収集・連絡
２．通信の確保
第２節　大規模火事等災害応急・復旧対策の体制…… ６８
１．対策支部及び対策分会の体制
２．体制の周知
３．動員計画
４．対策支部間の応援
５．対策分会間の応援
６．他機関との協力
７．応援体制
８．庁舎等の対策
９．職員等の安全確保、健康管理等
10．避難住民対策
第３節　災害発生時における道路交通の確保等…… ７１
第４節　地震発生直後の所管施設の緊急点検…… ７１
第５節　災害対策用資機材・復旧資機材の確保…… ７１
第６節　公園施設対策…… ７２
１．公園施設の点検
２．応急復旧
３．入園者対策
第７節　災害時における広報…… ７２

第４章　運営要領の作成…… ７３

第１章　計画の前提

この計画は、国営海の中道海浜公園事務所管内で大規模な火事、危険物の漏洩・流出爆発による公共土木施設、建築物等の被災等による多数の死傷者等の発生といった大規模火事等災害が発生し、または発生が予想されることを踏まえ災害対策の推進を図ることを目的とする。

第２章　大規模火事等災害予防（事前対策）

第１節　大規模火事等災害対策の推進

１．公園施設の大規模火事等災害対策の推進

点検要領を作成し、巡視等により定期的に点検を実施し、その結果に基づき、必要な施設の整備を行うものとする。

２．総合的な危険度の把握

公園施設及び施設周辺について、想定される被害等の把握に努めるものとする。

第２節　防災体制の整備

１．防災体制の強化

（１）災害発生時の情報収集・連絡体制の強化

災害発生時の情報収集・連絡体制等を夜間・休日の場合も含めて対応できるよう、あらかじめ整備しておくとともに、その周知を徹底するものとする。

（２）大規模火事等による災害に対して、速やかに対処するため、下記の事項について、事前に業務が遂行できるよう確認しておくものとする。

１）施設及び各種設備の実態把握と点検方法

２）情報収集及び伝達方法等の手段に用いる機器の操作方法及び操作方法マニュアルの設置場所

３）職員等の連絡先リスト等の保管場所

４）関係各機関との連絡・調整方法

５）公園利用者に対する被害状況、復旧状況等の周知方法

６）その他、必要と思われる事項

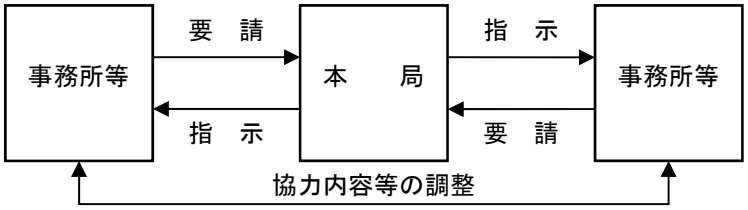
２．応援・協力体制等の強化

平素から関係各機関及び分会と情報及び資料の交換等を含めて連絡を密にし、相互の応援・協力体制を定めておく等、緊急時の協力体制等の整備を図るものとする。

（１）事務所等間の応援

事務所等間における協力要請の方法、人員派遣の発動等は、「事務所等間相互応援要領」等の定めにより下図の体制で行い、職員等の派遣及び資機材の提供等について確認しておくものとする。

事務所の連絡窓口は連絡窓口一覧表を参照するものとする。



（２）自治体等との協力

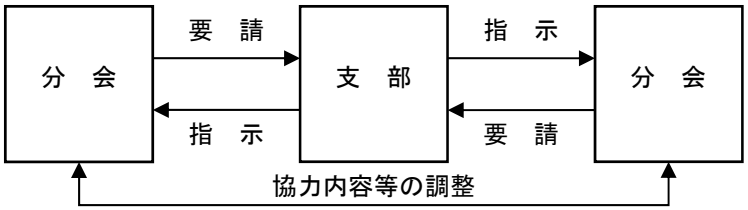
自治体等とは、平常時から連携を強化し、相互応援、協力体制を定めておき、緊急時における情報連絡体制、相互の協力体制等について確認しておくものとする。

１）自治体等との情報連絡体制は連絡窓口一覧表を参照するものとする。

２）その他必要と認められるものについて相互に協力するものとする。

（３）分会等間の応援

支部及び分会間における協力要請の方法、人員派遣の発動については下図の体制で行い、所管施設等の点検及び復旧対策を講じる際の協力内容について確認しておく。



（４）公園施設の占用者及び管理者との協力

公園所管施設の占用者及び管理者とは、所管施設等の点検及び復旧対策を講ずる際の情報連絡体制として連絡窓口一覧表を作成するとともに、協力内容について確認しておくものとする。

（５）報道機関との協力

緊急の広報または連絡が必要な場合、通信網の途絶を考慮し、報道機関と連絡方法等についての調整を図るものとする。

３．庁舎等の対策

（１）点　検

庁舎等及び宿舎の施設管理者は、「官庁施設等緊急被害状況調査表（案）」により状況把握を行い、適切な処置を講じておくものとする。

（２）庁舎機能の確保

１）非常用電源の確保

災害発生後の庁舎の停電に備えて大規模火事等災害対策支部（以下「対策支部」という。）及び大規模火事等災害対策分会（以下「対策分会」という）機能を確保するため、負荷に対して十分な容量を有する非常用発電設備を設置するとともに、海の中道公園の重要拠点は７日間、吉野ヶ里公園のセンターは３日間、他の施設については原則として３日間運転できるよう、燃料の確保、補給、運搬体制の整備を図るものとする。なお、非常用発電設備は断水に備えて空冷式を原則とする。

２）緊急避難

緊急避難経路を定め、職員等の誘導に支障のないように配慮しておくものとする。

４．職員等の生活対策

（１）生活用品等の確保

災害後に必要な水、食料、ガスボンベ（ＬＰＧ）、寝具、救急薬品類、作業衣類、燃料等を資材倉庫等に常時確保しておくものとする。

（２）職員等の生活対策用施設、機材の整備

災害後の応急対策を行う職員等のための、飲料水、食料、燃料等の備蓄及び確保を図るものとする。また、休息・仮眠所、トイレ、炊事、風呂等の燃料も含めて、職員等の生活対策用施設、機材を整備する。さらに応援者も含めた宿泊施設等について検討しておくものとする。

（３）職員等及び家族の連絡等について

１）職員等が安心して業務が遂行できるよう連絡員（宿舎）を活用する等、家族の安全確認及び家族との連絡を維持するための方法を確立しておくものとする。

２）対策支部等においては、安否状況を確認に来た職員等及び家族について状況把握できる体制を整えておくものとする。

５．復旧作業に係る契約手続きの簡素化

災害発生等によりその復旧工事を緊急に施工する必要がある場合の契約手続きとして、通常の手続きを執る時間的余裕のないときの契約方法は「地震、洪水等災害に伴う緊急復旧工事の随意契約法式の取り扱いについて」（建九契第２８３号・平成１０年８月２８日）を事前に確認しておくものとする。

第３節　大規模火事等災害情報・通信システム等の整備及び運用、管理

１．情報・通信システム等の整備

大規模火事等災害情報の収集･連絡に資する通信施設等の整備を進めるため、次の施策を実施するものとする。

（１）防災情報ネットワークの整備

各機関間の情報ネットワーク化に資するため、マイクロ回線の複数ルート化・デジタル化等の整備を図るものとする。なお情報通信施設については、停電対策を講じておくものとする。

大規模火事等災害発生等により、マイクロ回線等の被災または急激な通信の増加等があった場合にも円滑に情報通信手段を確保するため、通信路の拡大及び臨時回線用設備等の整備を推進するものとする。

（２）地域防災無線等との連携

地域防災無線との連携を図り、情報のネットワーク化を推進するものとする。他機関との連絡等に配慮し、ＮＴＴの災害時優先電話、非常取扱い通話及びＮＴＴ災害応急復旧無線電話、パソコン通信等によるバックアップ対策を推進するものとする。

（３）移動通信機材の整備

災害発生による通信回線の途絶への対応が迅速、円滑に実施できるように移動多重無線機、携帯電話等の通信機材の配備計画を策定し、整備を推進するものとする。

（４）コンピュータバックアップ対策

プログラムデータのディスクテープ等へのバックアップ、代替機への振替え、機器の分散化、ネットワーク化等のコンピュータバックアップ対策等の推進を図るものとする。

２．大規模火事等情報・通信システム等の運用、管理

災害発生時の情報通信手段については､平常時よりその確保に努めるものとし、その運用、管理等にあたっては、次の点を考慮するものとする。

（１）関係機関との相互接続

災害発生時における緊急情報連絡を確保するため、地方公共団体及び関係各機関との相互接続等によるネットワーク間の連携を図るものとする。

災害発生時の通信の確保を図るため、平常時より災害対策を重視した無線設備の総点検を定期的に実施し、その結果に基づき、必要な措置を講ずるものとする。

ＮＴＴ等の電気通信事業者により提供されている災害発生優先電話等を効果的に活用するため、その確保に努めるとともに、その設置場所を周知しておく等災害発生時において有効に活用できる体制を確立しておくものとする。

休日、夜間等において指揮命令者間の連絡を確保するため、個人等への配備を定めておくものとする。

プログラム・データの定期的なバックアップを実施するものとする。

臨時回線等の運用が迅速、円滑に実施できるように、設営操作方法を盛り込んだ電気通信施設の運用マニュアルの整備を図るものとする。

（２）点　検

（３）災害発生時優先電話等の活用

（４）携帯電話の配備

（５）電子化データのバックアップ等

（６）情報・通信システムの運用、操作マニュアルの整備

３．ヘリコプターの運用体制の整備等

（１）運用体制の整備

災害発生時において迅速な情報収集、災害状況の把握、要員の移動等を図るため九州地方建設局等において管理しているヘリコプターの活用を図るものとする。

（２）防災臨時ヘリポートの確保

地震災害発生時において緊急に対応するため、臨時ヘリポートを確保するものとする。ヘリポートの選定には、可能な限り制約を受けない場所及び国土交通省ヘリコプター機種が離発着できる場所に配慮するものとする。

第４節　防災拠点の整備

１．資機材備蓄拠点の整備等

（１）防災備蓄基地の整備

災害時に広域的な応急復旧を円滑に進めるため、資機材の備蓄拠点の整備を図るものとする。

（２）応急復旧資機材の備蓄計画

災害時の応急復旧資機材の備蓄基地のネットワークに関する計画を策定し、防災備蓄倉庫等において、必要な資機材の備蓄を図るものとする。

（３）電気通信機材及び電子機材の備蓄

災害時に必要な応急復旧資機材の備蓄を図るものとする。

２．災害対策支部室等の整備

対策支部等の運営が円滑に行われるよう、庁舎等内に災害対策支部室を設け、必要な情報機器等を整備するとともに十分な管理をしておくものとする。災害対策支部室等にはその機能および機動力を発揮できるよう十分な広さを確保するよう努めるものとする。

第５節　災害対策用建設機械等の整備

迅速かつ円滑な災害応急対策、災害復旧・復興への備えとして、所管施設の緊急点検、被害状況等の把握、応急復旧や二次災害の発生、拡大の防止対策を図るために必要な災害対策車等の災害対策用機械の保有及び活用に関する計画を作成し、これに基づいて計画的な整備を行うとともに、大規模火事等災害発生時において、人員、災害対策用機械の派遣等、広域的かつ効果的な応援を行うために必要な機材等の整備を推進するものとする。また、応急復旧用の資機材の備蓄を推進するものとする。

第６節　緊急輸送路対策

所管施設について、災害応急対策を実施する場合の資機材等の輸送を確保するため、主要な緊急輸送経路を選定しておくものとする。

第７節　訓　練

１．訓練は毎年原則として年１回以上実施するものとする。

２．訓練にあたっては、情報の収集、伝達訓練等の大規模な災害を想定した訓練を行うものとする。

３．訓練の方法及び内容

訓練の方法は、実働訓練等、より機動力を生かした実践的な防災訓練を実施する。

（１）大規模火事等災害の情報収集及び伝達等
（２）対策支部及び分会の設置及び要員参集体制
（３）所管施設等の点検等、状況の把握に関する事項
（４）資機材、人員の配備手配
（５）所管施設の被害想定
（６）避難対策等
（７）家族安否確認
（８）関係各機関との協力体制
（９）応急復旧対策
（10）広報
（11）事後評価

第８節　大規模火事等災害に対する教育及び広報等

１．職員等に対する教育

職員等に対する教育については､その所属により果たすべき役割が異なることを考慮し、次に掲げる事項について、講習会、研修、パンフレット等により教育を行うものとする。

（１）大規模火事等災害に基づきとられる措置の内容
（２）予想される大規模火事等災害に関する知識
（３）災害応急対策に関する知識
　１）対策支部の設置及び要員参集体制
　２）園内状況の把握と情報の伝達
　３）大規模火事等災害時の伝達
　４）その他施設管理上の措置に関する事項
（４）職員等が果たすべき役割
（５）災害応急対策として講じられている対策に関する知識
（６）今後の大規模火事等災害対策として取り組むべき必要のある施設整備

２．広　報

（１）広報対策

大規模火事等災害発生時における被害の軽減、混乱の防止、二次災害の防止及び応急復旧活動の円滑化等のため、広報を行うものとする。このためあらかじめ広報の内容、発表方法、発表の体制等について整備を図るものとする。

（２）防災知識の普及

公園利用者に対して、防災週間、イベント、各種パンフレット等あらゆる機会を通じて、災害に対する知識、災害時にとられる措置、利用者の心構え等について正確な知識の普及を図るものとする。

第３章　大規模火事等災害応急・復旧対策

第１節　情報収集及び通信の確保等

災害が発生した場合または発生する恐れのある場合、大規模火事等に関わる情報を迅速、広域的に収集・連絡するものとする。この場合、被害の概括的な情報を含め多くの情報を効果的な通信手段・機材を用いて伝達し、被害規模の早期把握を行うものとする。

１．情報の収集・連絡

（１）情報等の把握・連絡

災害発生後または発生の恐れがある場合、気象情報、被害状況等の情報収集を行うものとする。園内で対策支部の設置を必要とする規模の情報を入手した場合、直ちに関係各課に連絡・周知するものとし、速やかに防災体制を確立するものとする。

（２）情報の収集・連絡

１）情報の収集

対策支部は、次に掲げる方法等により迅速かつ的確に応急対策活動に必要な情報の収集に努めるとともに、その事態に応じて、内容、精度を高めるものとする。また、情報の有効かつ適切な活用を図るため、必要な範囲内において、通報または、入手した情報の分析・整理を行うものとする。

①ラジオ、テレビ
②参集者の情報
③関係各機関からの情報
④園内職員等からの通報
⑤地域住民からの通報
⑥現地調査
⑦その他の方法

２）情報の連絡

対策支部等は、関係各機関との間において応急対策活動に必要な収集及び通報を行い、窓口の一元化に特に留意し、現地等における災害対応等に支障を来さないように配慮するものとする。

収集した情報は必要に応じて、速やかに、本局、各分会、関係各機関、消防署・警察署機関等へ連絡・情報交換を行うものとする。

（３）災害情報の共有

対策支部等及び占用企業者等関係各機関が当該災害状況等に関して、共通認識を持つことによって、効率的な災害応急対策活動を期すとともに、対策支部等の行う応急対策活動に係る調整等の円滑化に資するため、対策支部および関係各機関との間で情報の共有を図るものとする。

２．通信の確保

対策支部設置後直ちに災害情報連絡のための通信手段を確保するものとする。

（１）庁舎・設備の状況把握

災害が発生した場合、庁舎・設備（ガス・電気・通信施設・情報機器等）の状況を把握し、不備や不測の事態が生じないことを確認した上で行動を行うものとする。

（２）通信の確保

通信連絡は、原則としてマイクロ回線（電話、ファクシミリ）を使用するものとし、通信輻輳に対処するためマイクロ回線への発着信の制限等、災害対策情報の伝達が円滑に行われるようマイクロ回線の機能を確保するものとする。

（３）障害時の緊急対策

マイクロ回線の障害時における緊急対策として、携帯・自動車電話等の移動通信回線の活用により対処するものとする。

（４）点検及び修理

災害発生後直ちにマイクロ回線等情報通信手段の機能確認を行うとともに、支障が生じた施設の復旧を行うものとする。

第２節　大規模火事等災害応急・復旧対策の体制

１．対策支部及び分会の体制

（１）対策支部及び対策分会の設置及び体制

１）事務所長は、大規模火事等災害が発生した場合又は規模が相当拡大する恐れのある場合は、下記の体制により事務所等に対策支部及び対策分会を設置するものとする。体制発令の基準詳細は、別途定める「大規模火事等災害対策支部運営要領」「大規模火事等災害対策分会運営要領」によるものとする。

（実施体制）

警戒体制　「相当規模の火事等が発生し、災害の規模が相当拡大する恐れがある場合」

非常体制　「相当規模の火事等のため、大規模な災害発生を免れないと予想された場合」

２）事務所長に事故等があるときは、あらかじめ事務所長から指名を受けている者が対策支部設置及び対策分会設置を代行するものとする。

３）支部長は被害状況を確認後、体制（要員、資機材等）の強化が必要と判断した場合は状況に応じて体制の移行指令を行わなければならない。

（２）対策支部・対策分会の移設

対策支部及び対策分会を設置する事務所庁舎等が被災により使用が不可能な場合、支部長の指示により対策支部を、分会長の指示で対策分会を移設するものとする。

（３）対策支部及び対策分会の廃止

支部長は次に該当する場合、対策支部及び対策分会を廃止するものとする。

１）災害応急復旧がおおむね完了し、二次災害の恐れがなくなった場合

２）その他、対策支部設置の必要性がなくなったと判断される場合

（４）対策支部及び対策分会の組織

対策支部及び対策分会の組織は、別途定める「大規模火事等災害対策支部運営要領」及び「大規模火事等災害対策分会運営要領」に示す組織をもって構成するものとする。

（５）対策本部の代替場所

局長（対策本部が設置されているときは本部長）から対策本部の代替場所として指示を受けた場合、事務所長（対策支部が設置されているときは支部長）は、速やかに対策本部の受入れ準備を進め、万全の体制を整えるものとする。

２．体制の周知

対策支部等は、被害状況の収集、応援体制等常に連絡体制がとれる状態を確保するため、各々の体制状況を連絡窓口一覧表に基づき伝達するものとする。

３．動員計画

（１）体制の組み方

１）対策支部及び対策分会を設置した場合は、「大規模火事等災害対策支部運営要領」及び「大規模火事等災害対策分会運営要領」により速やかに体制を整えるものとする。

２）対策支部の動員体制の発令及び解除は、支部長が行うものとする。

３）各対策分会の動員体制の発令及び解除は、各分会長が行うものとする。

（２）構成員の指名

１）対策支部は、「大規模火事等災害対策支部運営要領」の体制毎に定められた動員者によって業務を遂行するものとする。

２）対策分会は、「大規模火事等災害対策分会運営要領」の体制毎に定められた動員者によって業務を遂行するものとする。

４．対策支部間の応援

（１）事務所長等は、本局及び他の事務所等において対策本部及び対策支部が設置された場合、あるいは報道等の情報により他事務所等管内において著しい被害が予想されると判断した場合には、事務所長等の指令により応援出動の準備体制に入ることとし、応援に必要な人員、資機材等を整えておくものとする。

（２）対策支部間の応援は、「事務所等間相互応援要領」等により原則として被災当該支部長が応援を本部長に要請し、本部長が他支部長へ応援を指示する。また、必要に応じ本部長の判断により応援を指示することができる。応援に出動した職員は被災当該支部の体制化に入るものとする。

５．対策分会間の応援

（１）対策分会間の応援は、原則として被災当該分会長が支部長に要請し、支部長が他分会へ応援を指示する。又必要に応じて支部長の判断により応援を指示することが出来る。

６．他機関との協力

（１）防災関係機関との連絡・協力

大規模火事等災害時において迅速適切な応急対策措置を実施するため、他の防災関係機関と密接な連絡を保ち協力を行うものとする。

（２）近隣国道事務所との連絡・協力

地震情報等の迅速な把握に努めるため、気象庁よりの情報については、海の中道庁舎は福岡国道と吉野ヶ里庁舎は佐賀国道に協力、応援をもらうものとする。

（３）占用企業者との連絡・協力

大規模火事等災害対策時において、上、下水道、電気及び通信・電気機器施設の機能を確保するため、これら施設の被災状況の把握及び復旧工事等にあたっては、関係する占用機関等と密接な連絡を保ち必要に応じて協力、応援を行うものとする。

７．応援体制

（１）管内関係機関への応援

災害時において、自治体、関係機関から職員、資機材等の応援の要請があった場合には、必要に応じて対処するものとする。

（２）応援体制

応援の要請に対しては必要に応じ所長（支部設置の場合には支部長）が応援を指示するものとする。また、応援に出た職員は被災当該体制化に入るものとする。

８．庁舎等の対策

（１）庁舎等点検

被害を受けた庁舎等及び宿舎の管理者は、「施設点検要領（案）」により被害状況の把握を行い、庁舎等の管理者においては対策支部へ報告し、支部は対策本部へ報告する。国土交通省職員宿舎の管理者においては管理官署に報告するものとする。

（２）災害時の応急措置

建物の被災によって二次災害の発生する危険性のある場合は、速やかに危険物の撤去、危険区域の設定等の危険防止対策をとるものとする。

（３）応急復旧

応急危険度判定及び被災度区分判定の調査結果による被害状況に応じて、庁舎機能の維持・確保を図るための応急復旧対策を速やかに実施するものとする。

９．職員等の安全確保、健康管理等

（１）安全確保

施設対策等の措置を行う場合においては、職員等の安全確保に配慮するものとする。

（２）健康管理

施設対策等の措置及び大規模火災等災害対応が、長期にわたることが予想される場合、勤務の適切なローテーション等、職員等の健康管理に配慮するものとする。

（３）生活対策

施設対策等の措置を行う場合においては、業務に必要な物資の購入・調達、職員等に対する非常食等の配給、休息・仮眠所の確保等職員等の生活対策に配慮するものとする。

（４）職員等及び家族の安否確認

職員等及び家族の安否確認は、必要に応じて行うものとする。

10．避難住民対策

地方公共団体、地域住民等より、あらかじめ避難場所として指定された施設以外の所管施設について、避難場所として使用したい旨の要請があった場合には、施設の状況等を確認の上、適切に対処するものとする。

第３節　災害発生時における道路交通の確保

緊急輸送道路については、関係機関と調整を図りつつ、路上障害物の除去・沿道の建築物の安全確認等により速やかに緊急輸送機能を確保するものとする。

第４節　災害発生直後の所管施設の緊急点検

所管施設の管理者は、災害発生後、緊急点検実施の体制を速やかに整え、周辺の安全を確認したうえで、緊急点検を実施するものとする。その際、被災した施設等の被害状況の迅速な収集等を行うものとする。

第５節　災害対策用資機材・復旧資機材の確保

応急復旧を円滑に行うため、主要な災害復旧用資機材を緊急・迅速に調達しうるために、必要に応じて関係団体等に対し建設機械の調達、労働力の確保、資材調達について要請等を行うものとする。

第６節　公園施設対策

１．公園施設の点検
被害状況を速やかに把握するため、巡視を実施するものとする。

２．応急復旧
（１）巡視結果等に基づき、速やかに応急復旧を行うものとする。
（２）応急復旧工法は被害の状況、資機材の有無等を考慮して適切な工法を選定するものとする。

３．入園者対策
被災施設については、その種類、位置等について公園利用者に周知し、公園の利用に危険を及ぼさないように努めるものとする。

第７節　災害時における広報

大規模火事等災害の広報は災害応急復旧対策等に係る措置の状況について、必要に応じ対策支部が遂次広報を行うものとする。

１．広報活動はおおむね次の事項について広報を行う。
（１）入園者の安否状況
（２）所管施設の全般的状況（被害及び施設の機能状況）
（３）大規模火事等災害等に関する事項
（４）緊急輸送道路の状況、復旧の見通し等に関する事項
（５）所管する施設に対して危険防止のために必要な事項及び応急復旧活動に関して理解と協力を求める必要のある事項
（６）その他対策支部等の活動に関して広報を行う必要がある事項

２．上記災害状況の発表方法は、「広報に関するマニュアル」によるものとする。

３．広報は、放送機関、新聞社等の報道機関の協力を求めて行う。特に必要があると認める場合には、関係する地方公共団体等の協力を求めるものとする。

４．対策支部は、必要に応じて公園利用者及び危険箇所周辺の住民に対して以下の広報を行う。広報を行う場合には、対策本部にその内容を報告するものとする。
（１）公園利用者の危険防止のための必要な事項
（２）公園利用者に理解と協力を求める必要のある事項
（３）災害危険箇所の周知及び警戒避難に関する事項
（４）その他、対策支部及び対策分会の活動に関して理解と協力を求める必要のある事項

第４章　運営要領の作成

１．本計画の円滑な運営を図るため分会長は、年度当初、「大規模火事等災害対策分会運営要領」を定めるものとする。
２．本計画の円滑な運営を図るため事務所長は、年度当初、「大規模火事等災害対策支部運営要領」を定めるものとする。
３．分会長は、第１項に基づき定めた「大規模火事等災害対策分会運営要領」を毎年度事務所長に提出するものとする。
４．事務所長は、第２項に基づき定めた「大規模火事等災害対策支部運営要領」を毎年度局長に報告するものとする。

国営海の中道海浜公園事務所防災業務計画書

支　部　運　営　要　領

平成２６年５月

国土交通省九州地方整備局

国営海の中道海浜公園事務所

支部運営要領の基本

海の中道庁舎と吉野ヶ里庁舎の支部運営要領を統一したので、各庁舎の体制及び動員の考え方を示す。

また支部運営要領の実務についても補足しておく。

（１）各公園に対応する庁舎単位で体制及び動員を計画する。

（２）非常体制時は、対応庁舎は全員参集、非対応庁舎は応援準備のための連絡体制とするが、被災状況によっては支部長指示で参集を行う。

※非常事態時には調査設計課長と歴史公園課長はお互いに連絡を行う。

（３）総務班については吉野ヶ里歴史公園の警戒体制から連絡体制とする。
状況によっては支部長指示で参集を行う。

（４）各体制の人数は、支部長または副支部長の判断で増減させる。

※この時の副支部長は、支部長代行による権限です。

（５）海の中道庁舎は、管理係長が情報連絡班長代行として支部運営。

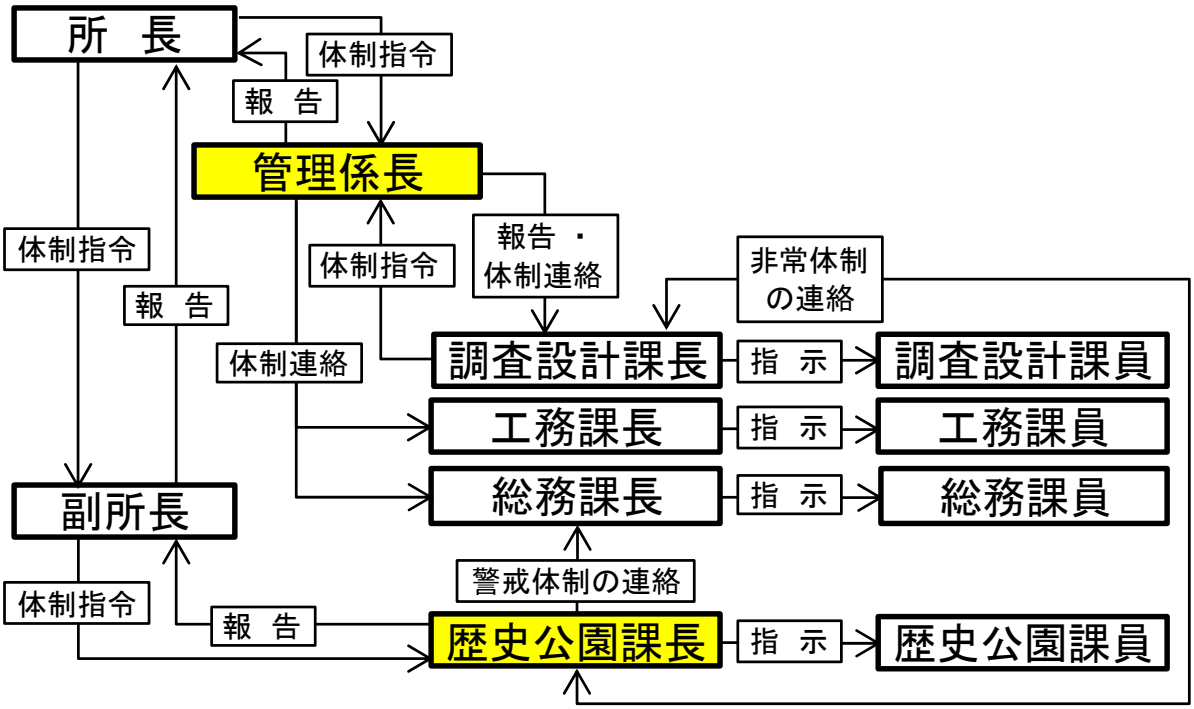
（６）吉野ヶ里庁舎は、副所長が支部長代行として支部運営。

※副所長から所長へ、その都度に報告を行う。

（７）本部（本局）からの指令は、所長から管理係長と副所長に指令とする。

※本部には副所長への連絡もお願いしている。

災害時の連絡体制（実務）



（７）班に増員が必要な場合は、班長（課長）より支部長（所長）に要請し、支部長が応援者を指名する。

目　　次

○第１編 地震災害対策支部運営要領 ・・・・・・・・・ １

○第２編 津波対策支部運営要領 ・・・・・・・・・・・ １１

○第３編 風水害対策支部運営要領 ・・・・・・・・・・ ２０

○第４編 水質（油流出）事故災害対策支部運営要領 ・・ ２９

○第５編 大規模火事等災害対策支部運営要領 ・・・・ ３６

○第６編 緊急連絡一覧表
（ 共　　通 ） ・・・・・・・・・・・・・・・ ４４
（海の中道庁舎） ・・・・・・・・・・・・・・・ ４９
（吉野ヶ里庁舎） ・・・・・・・・・・・・・・・ ５５

○第７編 様式その他
（ 共　　通 ） ・・・・・・・・・・・・・・・ ６１
（海の中道庁舎） ・・・・・・・・・・・・・・・ ７１
（吉野ヶ里庁舎） ・・・・・・・・・・・・・・・ ７８

○第８編 事故報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８４

○第９編 参考資料
（ 共　　通 ） ・・・・・・・・・・・・・・・ ８９
（海の中道庁舎） ・・・・・・・・・・・・・・・ １４３
（吉野ヶ里庁舎） ・・・・・・・・・・・・・・・ １６７

第１編　地震災害対策支部運営要領

地震災害対策支部運営要領

第１条　目　的

この要領は、海の中道海浜公園において「国営海の中道海浜公園事務所防災業務計画第２編地震災害対策編」第４章に基づき、国営海の中道海浜公園事務所地震災害対策支部（以下「支部」という。）の円滑な運営を図るため支部の組織、業務分担及び運営について明確にすることを目的とする。

第２条　組　織

１．支部の組織

支部の組織は、別表－１支部組織表のとおりとし、支部長のほか、海の中道庁舎は総務班、情報連絡班、対策班、吉野ヶ里庁舎は副支部長、歴史公園班をおく。

２．分会の組織

支部の下に分会を置くものとする。分会は海の中道庁舎は海の中道管理センター、都市機構九州公園事務所、海の中道青少年海の家、マリンワールド、海の中道マリーナ&テニス、ザ・ルイガンズ.、西日本パブリック、泉陽興業とし、吉野ヶ里庁舎は吉野ヶ里歴史公園マネジメント共同企業体、昭和自動車とする。

３．支部長、班長等

（１）支部長は所長とし、支部を統轄する。吉野ヶ里庁舎は副所長を副支部長とし、支部長を補佐し、吉野ヶ里庁舎を統轄する。

（２）班長は、各課長をもってあて、支部長を補佐しそれぞれの班を指揮統括する。

（３）所長に事故等がある場合は、海の中道庁舎は調査設計課長、工務課長、総務課長、管理係長の順をもって、吉野ヶ里庁舎は副所長、歴史公園課長、建設監督官、調整係長の順をもって、支部長の職務を代行する。

（４）副班長は、建設監督官、係長をもってあて、班長に事故ある ときは班長の職務を代行する。

４．各班の所掌事務

各班の所掌事務は、別表－２のとおりとする。

５．対策支部等の設置及び廃止の基準

（１）対策支部等の設置及び体制

１）海の中道庁舎の情報連絡班長、吉野ヶ里庁舎の歴史公園班長（班長に事故等がある場合は副班長）は、監視エリアに震度４以上の地震が発令された場合、速やかに所長（所長に事故等がある場合は支部長の職務代行者）及び分会長（分会長に事故等がある場合は分会長の職務代行者）に、第一報を報告するものとする。

所長（所長に事故等がある場合は支部長の職務代行者）は、第一報を受けた時点で該当する庁舎に支部設置及び分会設置の指令と体制の発令を行うものとする。

なお非常体制については両庁舎に体制発令を行う。

●地震災害対策監視エリア

海の中道庁舎	福岡市
吉野ヶ里庁舎	佐賀県南部（神埼市・神埼郡［吉野ヶ里町］）

注意体制　「気象庁が監視エリアの地域で震度４を発表した場合」
「その他事務所長が必要と認めた場合」
警戒体制　「気象庁が監視アリアの地域で震度５弱・５強を発表した場合」
非常体制　「気象庁が監視エリアの地域で震度６弱以上を発表した場合、又は地震により重大な被害が発生した場合」
「その他事務所長（支部が設置されているときは支部長）が必要と認めた場合」

２）支部長は、被害状況を確認後、被害の状況や規模等に応じて、防災体制（要員、資機材等）又は班構成等を柔軟に強化・縮小できるものとする。
ただし、本部の体制より支部の体制を下げることはできないものとする。

３）あらかじめ指名を受けている緊急出動者は、支部設置基準（その他所長が必要と認めた場合を除く）に該当する地震等が発生した場合、原則として自動的に勤務地へ参集するものとする。
４）防災担当者は支部設置に際して、関係各課・各分会への連絡及び決裁を行うものとする。

（２）支部の廃止
支部長は次に該当する場合、支部を廃止し、体制を解除することができる。
１）災害応急復旧が概ね完了し、二次災害の恐れがなくなったとき。
２）その他、支部設置の必要性がなくなったと判断されたとき。

６．支部の移設
事務所が大規模な災害を受けた場合は、支部長の指示により支部を移設するものとする。

７．他班への応援
（１）応援の要請は班長より支部長に要請する。
（２）支部長の名を受けた各班は他班への応援を行うものとする。

８．分会への応援
（１）応援の要請は、分会長より支部長に要請する。
（２）支部長の名を受けた職員は、分会への応援を行うものとする。

９．班編成等の変更
班編成等に関する変更については、年度当初に行うものとする。

第 ３ 条 動 員
各班の動員体制は、別表－３を原則とするが、状況に応じて変更することができる。

（１）勤務時間内の参集配置
勤務時間内に支部が設置された場合、各班の班長は速やかに必要人員を確保するものとする。なお、勤務時間外も体制が継続される場合は、引き続き必要な人員を確保するものとする。

（２）夜間・休日等における参集配置
１）各班の動員者は下表に基づいてあらかじめ指名された者とし、別表－４ 緊急出動者名簿のとおりとする。

体　制　等	初 動 参 集 職 員
注意体制（管内震度４）	緊急出動者（注意）
警戒体制（管内震度５弱・５強）	緊急出動者（警戒）
非常体制（管内震度６弱以上）	全 職 員（非常）

備考：「初動参集職員」とは、「緊急出動者」としてあらかじめ指名された者（以下「該当の職員」という）。

２）「該当の職員」とは、自宅より３０分程度で事務所に到着できる職員の中から、指名するものとする。

３）「該当の職員」は大規模地震等の発生を知り得た場合には、テレビ・ラジオ等で震度等を確認し、体制を判断し、または体制に関する連絡があった時には、参集するものとする。

参集にあたっては、公共交通機関が不通であっても、徒歩、自転車、バイク等の方法で本勤務地に参集することを原則とする。なお、本勤務地に参集することができないやむを得ない事由がある場合には、速やかに本勤務地に連絡をとり、確認を受けるよう努めるものとする。通常の連絡手段が使用できない場合は、近傍の国土交通省官署へ出動するなどし、連絡に努めるものとする。

なお、やむを得ない事由が解消された場合には、速やかに本勤務地へ参集するものとする。

４）該当の職員は、それぞれ個々の状況を自ら判断し行動を取るものとする。

なお、やむを得ない事由として例えば次のような場合が考えられる。

〇職員の現住居が滅失し、または損壊した場合で、職員が当該住居の復旧作業等に従事し、または一時的に避難しているとき。（単身赴任者が滅失あるいは損壊した親族の住居の復旧作業等自ら従事することが必要な場合等も含まれる。）

〇職員及び職員と同一の世帯に属する者の生活に必要な水、食料等が欠乏している場合で、職員以外にはそれらの確保を行うことができないとき。

〇職員が人命救助、消火活動等必要な措置を講ずる必要がある場合。

〇職員が出張中または旅行中であって、直ちに参集できない場合。

〇職員が傷病もしくは職員の家族の介護のため参集できない場合。

〇職員の現住居から本勤務地までの交通路が完全に遮断された場合等

５）該当の職員以外の職員にあっては、緊急連絡が入らない限り、通常の勤務務体制で出勤するものとする。ただし、別途指示がある場合はこの限りではない。

６）勤務時間外の支部参集者（緊急出動者）は初動時の措置を行うとともに、各体制表に基づく要員が参集次第業務を引き継ぐものとする。

７）各班においては、年度当初等に各体制の緊急出動者を指名し、体制表を作成しておくものとする。

第 ４ 条 支部構成員の勤務場所

１．災害対策室は、海の中道庁舎は防災対策室、吉野ヶ里庁舎は歴史公園課に設置するものとする。

２．支部構成員は、通常勤務の各執務室において勤務するものとする。

第 ５ 条 報 告

１．支部長は、次に該当する事項について、速やかに局長に報告しなければならない。

（１）地震に関する通信施設点検指針に定めるもの。

（２）国営公園災害復旧事業取り扱い要項に定めるもの。

（３）その他、災害対策上重要な事項。

２．支部長は、次に該当する事項について、速やかに局長に報告するものとする。

（１）支部を設置したときの設置状況について。

（２）地震に関する情報及び地震が発生したときの状況。

（３）前項に定めるもの。

（４）「地方建設局間等応援マニュアル」に定めるもの。

（５）「地震時初動マニュアル」に定めるもの。

（６）その他災害対策上重要な事項。

第 ６ 条 災害報告

支部長は、次に該当する災害が発生した場合、別途様式により局長に報告するものとする。

（１）公園災害の報告

公園に災害が発生した場合。

第 ７ 条 その他の事項

１．交 替

当番者は注意、警戒、非常体制が一昼夜以上にわたるときは、午前１０時をもって次の者と交代する。また、支部体制が長期にわたる場合等、職員の健康管理等には十分配慮するものとする。

２．職員への周知

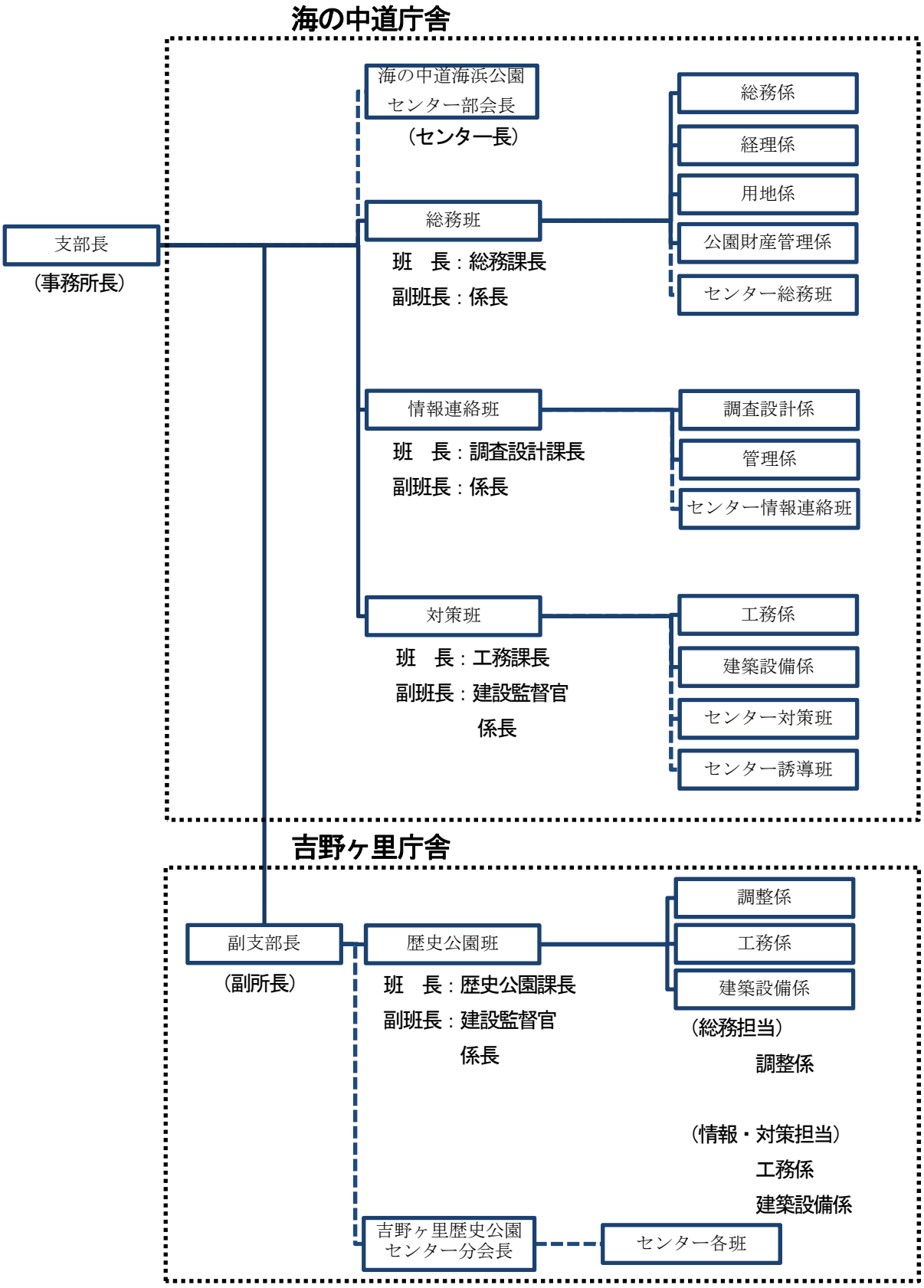
支部設置後は、災害対策室より職員に対し災害対策状況等について周知を図るものとする。

３．タクシーの利用

公共機関の利用が不可能なときに参集するためタクシーを利用した場合等、公務のためタクシーを利用した場合においては、様式－７によるものとする。

別表－１

支　部　組　織　表



※ 地震災害対策支部を立ち上げる場合は、支部・センター 分会合同態勢を敷くものとする。

別表－２

各 班 の 所 掌 事 務

（地震対策支部）

各班の所掌事務は次のとおりとする。

【海の中道庁舎】	
総務班	１．職員の勤務管理に関すること。 ２．職員及びその家族の安否確認に関すること。 ３．仮眠、休憩の設備に関すること。 ４．非常食等の配給に関すること。 ５．庁舎機能の確保に関すること。 ６．配車運営及び連絡に関すること。 ７．災害関係物資の調達補給に関すること。 ８．災害関係の超勤等、会計に関すること。 ９．総務全般及び他班に属しないこと。 10．支部長の指示により他班への応援に関すること。 11．支部長の指示により他分会への応援に関すること。
情報連絡班	１．支部（海の中道庁舎）の動員発令及び解除、支部長指令、支部情報等の起案に関すこと。 ２．本部との連絡及び関係各機関との連絡・調整に関すること。 ３．各種情報の収集及び整理に関すること。 ４．災害状況資料の記録整理に関すること。 ５．気象資料の収集・整理に関すること。 ６．支部（海の中道庁舎）の参集、連絡に関すること。 ７．園内の安全確保及び災害状況の把握に関すること。 ８．支部長の指示により他班への応援に関すること。 ９．支部長の指示により他分会への応援に関すること
対 策 班	１．災害発生状況の調査及び報告に関すること。 ２．来園者の避難誘導に関すること。 ３．園内被害状況の把握に関すること。 ４．災害の応急復旧及び二次災害予防の企画・立案に関すること。 ５．資機材の調達に関すること。 ６．地震・豪雨等に伴う二次災害の恐れのある施設の対策に関すること。 ７．支部長の指示により他班への応援に関すること。 ８．支部長の指示により他分会への応援に関すること。

<table>
<tr><td colspan="3">【吉野ヶ里庁舎】</td></tr>
<tr><td rowspan="3">歴史公園班</td><td>総務担当</td><td>１．支部（吉野ヶ里庁舎）体制の発令事務の代行に関すること。
２．支部（吉野ヶ里庁舎）の参集、連絡に関すること。
３．記者発表及び、一般利用者への情報提供、
一般住民からの問合せ対応等の広報に関すること。
４．帰宅困難者及び一般住民（避難住民）の受け入れに関すること。
５．公園維持管理業務委託者との連絡調整に関すること。
６．総務班への情報提供及び連携に関すること。
・職員の勤務管理に関すること。
・職員及びその家族の安否確認に関すること。
・仮眠、休憩の設備に関すること。
・非常食等の配給に関すること。
・庁舎機能の確保及び宿舎の点検に関すること。
・配車運営及び連絡に関すること。
・災害関係物資の調達補給に関すること。
・災害関係の超勤等、会計に関すること。
・総務全般及び他班に属しないこと。</td></tr>
<tr><td>情報・対策担当</td><td>７．本部及び関係各機関との連絡・調整に関すること。
８．気象情報等の収集・整理及び交通状況の把握に関すること。
９．園内（国営）の巡視に関すること。
10．園内の安全確保に関すること。
11．園内災害状況の把握及び報告、記録等に関すること。
12．災害箇所の応急復旧及び本復旧に関すること。
13．地震・豪雨等に伴う二次災害対策に関すること。
14．資機材の調達に関すること。
15．工事請負業者への指示及び安全対策に関すること。</td></tr>
<tr><td colspan="2">１．支部長の指示により他班への応援に関すること。
２．支部長の指示により他分会への応援に関すること。</td></tr>
</table>

別表－３

地震災害対策支部動員体制表

<table>
<tr><td colspan="4">【海の中道庁舎】</td></tr>
<tr><td>班及び係名</td><td>注意体制</td><td>警戒体制</td><td>非常体制</td></tr>
<tr><td>支部長
（事務所長）</td><td></td><td></td><td rowspan="4">全員自動参集</td></tr>
<tr><td>総務班
（総務課）
総務係
経理係
用地係
公園財産管理係</td><td>副班長または班員
１ 名</td><td>班 長 １ 名
副班長または班員
１ 名</td></tr>
<tr><td>情報連絡班
（調査設計課）
調査設計係
管理係</td><td>副班長または班員
１ 名</td><td>班 長 １ 名
副班長または班員
１ 名</td></tr>
<tr><td>対 策 班
（工務課）
工務係
建築設備係</td><td>副班長 １ 名</td><td>班 長 １ 名
副班長 １ 名</td></tr>
<tr><td colspan="4">【吉野ヶ里庁舎の体制時について】
・支部長は連絡体制とし、参集場所等については災害状況等により判断する。
・総務班は警戒体制から連絡体制とし、参集等については災害状況等により判断し班長から指示する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">【吉野ヶ里庁舎】</td></tr>
<tr><td>班及び係名</td><td>注意体制</td><td>警戒体制</td><td>非常体制</td></tr>
<tr><td>副支部長
（副所長）</td><td></td><td>副支部長 １ 名</td><td rowspan="2">全員自動参集</td></tr>
<tr><td>歴史公園班
（歴史公園課）
建設監督官
調整係
工務係
建築設備係</td><td>班長または副班長
３ 名</td><td>班長または副班長
３ 名</td></tr>
</table>

※非常体制の発令基準が別庁舎の監視エリアの場合は連絡体制とする。

※係長及び建設監督官は全員が副班長の資格を持つものとする。

※各体制の人員は、支部長の判断により増員していくものとする。

※被災状況により、支部長判断で他班への応援も含めて班編成は柔軟に変更する。

別表－４

緊 急 出 動 者 （ 地 震 の み ）

【海の中道庁舎】		
所属	緊急出動者名	注意体制及び警戒体制時の出動優先順位
総務課	●●主任	○●●課長（警戒体制時） ①●●係長 ②●●係長 ③●●係長 ④●●事務官 ⑤●●係長 ⑥●●事務官
工務課	●●係長	○●●課長（警戒体制時） ①●●係長 ②●●監督官 ③●●監督官
調査設計課	●●係長	○●●課長（警戒体制時） ①●●係長 ②●●技官
【吉野ヶ里庁舎】		
所属	緊急出動者名	注意体制及び警戒体制時の出動優先順位
歴史公園課	●●建設監督官 ●●係長 ●係長	○●●課長 ①●●係長

※吉野ヶ里庁舎対応時での総務班は警戒体制から連絡体制とし、参集等については災害状況等により判断し班長から指示する。

※体制発令時（震度４以上）は緊急出動者が深夜であっても出勤する事となるので、状況をみながら、注意体制時出勤者又は警戒体制時出勤者と勤務交替する。

※勤務交替を行う際は、長期間体制が続く事も念頭に置きながら実施する。

※本人又は家族が被災している場合等はその任を解くものとする。

第２編　津波災害対策支部運営要領

津 波 災 害 対 策 支 部 運 営 要 領

第 1 条 目 的

この要領は、海の中道海浜公園において「国営海の中道海浜公園事務所防災業務計画第２編地震災害対策編」第４章に基づき、国営海の中道海浜公園事務所地震災害対策支部（以下「支部」という。）の円滑な運営を図るため支部の組織、業務分担及び運営について明確にすることを目的とする。

第 2 条 組 織

１．支部の組織

支部の組織は、別表－１支部組織表のとおりとし、支部長のほか、海の中道庁舎は総務班、情報連絡班、対策班、吉野ヶ里庁舎は副支部長、歴史公園班をおく。

２．分会の組織

支部の下に分会を置くものとする。分会は海の中道庁舎に海の中道管理センター、都市機構九州公園事務所、海の中道青少年海の家、マリンワールド、海の中道マリーナ&テニス、ザ・ルイガンズ. 、西日本パブリック、泉陽興業とする。

３．支部長、班長等

（１）支部長は所長とし、支部を統轄する。吉野ヶ里庁舎は副所長を副支部長とし、支部長を補佐し、吉野ヶ里庁舎を統轄する。

（２）班長は、各課長をもってあて、支部長を補佐しそれぞれの班を指揮統括する。

（３）所長に事故等がある場合は、海の中道庁舎は調査設計課長、工務課長、総務課長、管理係長の順をもって、吉野ヶ里庁舎は副所長、歴史公園課長、建設監督官、調整係長の順をもって、支部長の職務を代行する。

（４）副班長は、建設監督官、係長をもってあて、班長に事故ある ときは班長の職務を代行する。

４．各班の所掌事務

各班の所掌事務は、別表－２のとおりとする。

５．対策支部等の設置及び廃止の基準

（１）対策支部等の設置及び体制

１）海の中道庁舎の情報連絡班長（班長に事故等がある場合は副班長）は、監視エリアに津波注意報又は警報が発令された場合、速やかに所長（所長に事故等がある場合は支部長の職務代行者）及び分会長（分会長に事故等がある場合は分会長の職務代行者）に、第一報を報告するものとする。

所長（所長に事故等がある場合は支部長の職務代行者）は、第一報を受けた時点で海の中道庁舎に支部設置及び分会設置の指令と体制の発令を行うものとする。

なお非常体制については両庁舎に体制発令を行う。

●津波災害対策監視エリア

福岡県日本海沿岸

注意体制　「気象庁が監視エリアの地域で津波注意報（ツナミチュウイ）を発表した場合」
　　「その他事務所長が必要と認めた場合」
警戒体制　「気象庁が監視エリアの地域で津波警報（ツナミ）を発表した場合」
　　「その他事務所長（支部が設置されているときは支部長）が必要と認めた場合」
非常体制　「気象庁が監視エリアの地域で津波警報（オオツナミ）を発表した場合、及び津波による重大な被害が発生又は発生の恐れがある場合」
　　「その他事務所長（支部が設置されているときは支部長）が必要と認めた場合」

２）　支部長は、被害状況を確認後、被害の状況や規模等に応じて、防災体制（要員、資機材等）又は班構成等を柔軟に強化・縮小できるものとする。
　ただし、本部の体制より支部の体制を下げることはできないものとする。
３）あらかじめ指名を受けている緊急出動者は、支部設置基準（その他所長が必要と認めた場合を除く）に該当する地震等が発生した場合、原則として自動的に勤務地へ参集するものとする。
４）防災担当者は支部設置に際して、関係各課・各分会への連絡及び決裁を行うものとする。

（２）支部の廃止
　支部長は次に該当する場合、支部を廃止し、体制を解除することができる。
１）津波注意報又は警報が解除されたとき。
２）その他、支部設置の必要性がなくなったと判断されたとき。

６．支部の移設
　事務所が大規模な災害を受けた場合は、支部長の指示により支部を移設するものとする。

７．他班への応援
（１）応援の要請は班長より支部長に要請する。
（２）支部長の名を受けた各班は他班への応援を行うものとする。

８．分会への応援
（１）応援の要請は、分会長より支部長に要請する。
（２）支部長の名を受けた職員は、分会への応援を行うものとする。

９．班編成等の変更
　班編成等に関する変更については、年度当初に行うものとする。

第 ３ 条 動 員
　各班の動員体制は、別表－３を原則とするが、状況に応じ支部長の判断で減じることができる。

（１）勤務時間内の参集配置
　勤務時間内に支部が設置された場合、各班の班長は速やかに必要人員を確保するものとする。なお、勤務時間外も体制が継続される場合は、引き続き必要な人員を確保するものとする。

（２）勤務時間外の参集配置
　勤務時間外に支部が設置された場合、事前に定めた情報連絡網に従い情報伝達を行い、各班の班長は動員配置人員表に基づき必要人員を参集させるものとする。

第 ４ 条 支部構成員の勤務場所

１．災害対策室は海の中道庁舎は防災対策室に設置するものとする。

２．支部構成員は、災害対策室及び通常勤務の各執務室において勤務するものとする。

第 ５ 条 報 告

１.支部長は、次に該当する事項について、速やかに局長に報告しなければならない。

（１）公園が被害を受けた場合の被害状況。

（２）その他災害対策上重要な事項。

２.支部長は、次に該当する事項について、速やかに局長に報告するものとする。

（１）支部を設置したときの設置状況。

（２）「地方建設局間等応援マニュアル」に定めるもの。

（３）その他災害対策上重要なもの。

第 ６ 条 災害報告

支部長は、次に該当する災害が発生した場合、別途様式により局長に報告するものとする。

（１）公園災害の報告

公園に災害が発生した場合。

第 ７ 条 その他の事項

１．交 替

当番者は注意、警戒、非常体制が一昼夜以上にわたるときは、午前１０時をもって次の者と交代する。また、支部体制が長期にわたる場合等、職員の健康管理等には十分配慮するものとする。

２．職員への周知

支部設置後は、災害対策室より職員に対し災害対策状況等について周知を図るものとする。

３．タクシーの利用

公共機関の利用が不可能なときに参集するためタクシーを利用した場合等、公務のためタクシーを利用した場合においては、様式－７によるものとする。

第 ８ 条 津波対応マニュアル

津波レベル別・津波到達予想時間別対応は以下の通りとする。

表 6-1 津波レベル・波高・津波到達予想時間別対応区分

警報の種類	数値による発表（予想高）	巨大地震時の表現	津波到達予想時間		
			30 分以内	30 分～3 時間	3 時間以上
大津波警報	10m 以上（5m 以上）	巨大	X-1	X-2	X-3
	5m（3-5m）		A-1	A-2	A-3
津波警報	3m（1-3m）	高い	A-4	A-5	A-6
津波注意報	1m（0.2-1m）	表現なし	B		

表 6-2 津波警報別・津波到達予想時間別避難誘導方法と利用制限区域

区分		対応方針
X	-1	**［非常体制（閉園時間帯は連絡体制）］**
	-2	**※閉園時間帯～開園時間帯の警報発令：臨時閉園**
	-3	○開園３時間前に出勤し体制の確立（記者発表等の準備） ○開園２時間前に臨時閉園の記者発表・ＨＰでの告知・ゲート等に告知看板設置 **※開園時間帯に発令：津波警報発令以降、公園は利用制限を行う** ○利用制限の記者発表・ＨＰでの告知・ゲート等に告知看板設置 **※以下の措置を講ずる。** ○園内放送の実施 ○避難誘導班により来園者を各避難場所（以下参照）へ誘導 （避難場所） ・西戸崎水処理センター屋上 ・動物の森 展望の丘 ・西口（ゲート）広場 ・シーサイドヒルシオヤ ・こどもの砦 ・野外劇場 ・マリンワールド（※事前調整必要） ・ザ ルイガンズ. ・管理センター ・マリーナ クラブハウス ・環境共生の森（みらいの森） ○車による避難への対応 (X-1) 車での避難は行なわせない。 (X-2) 車での避難は行なわせない。 (X-3) 車での避難については、津波の危険性は説明するが、公園として車の避難については、アナウンスしない。

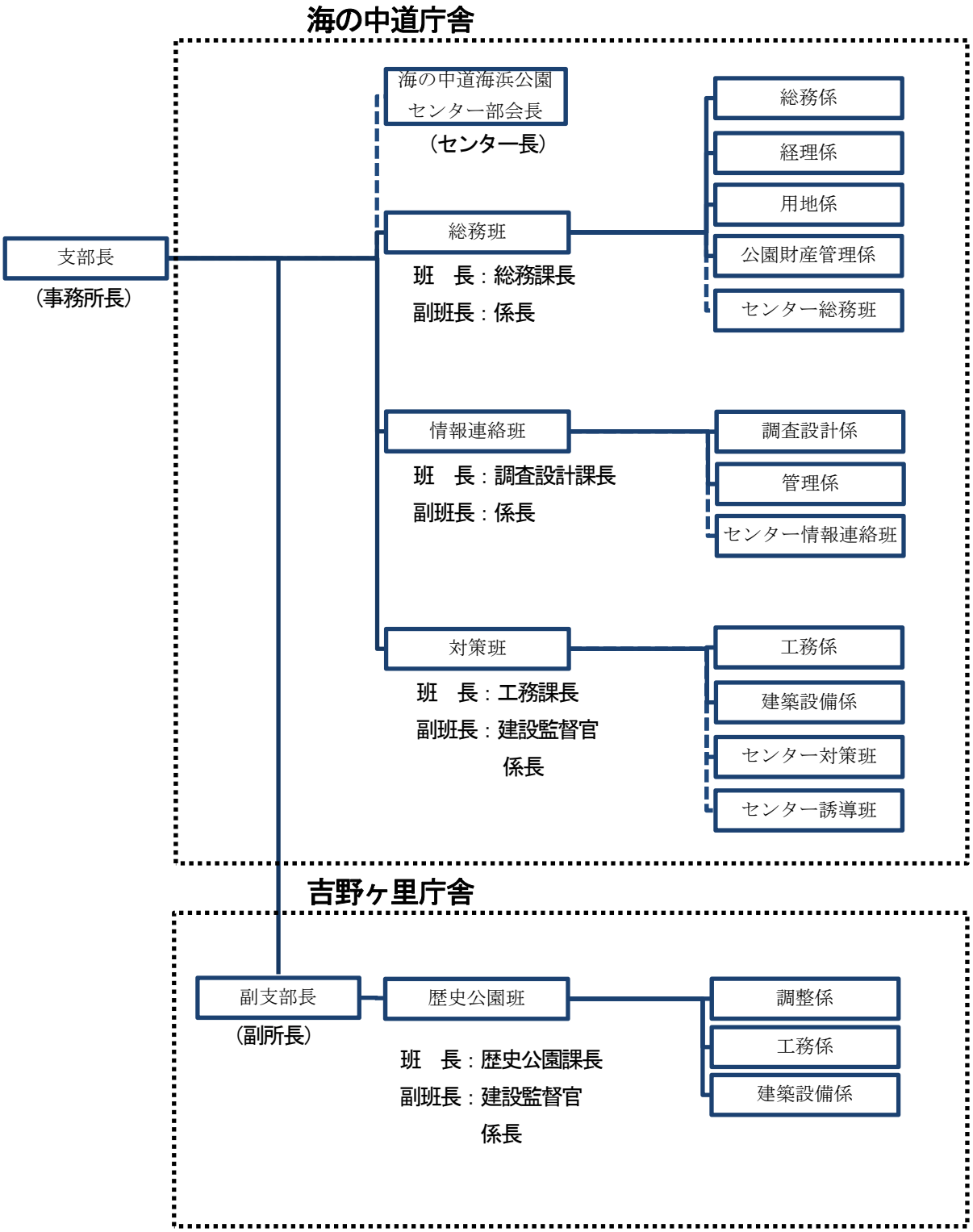
<table>
<tr><td rowspan="4">A</td><td>-1
-2
-3</td><td>［非常体制］
※閉園時間帯に発令：光と風の広場エリアは臨時閉園、無料エリアは立入禁止措置。その他は通常開園。
〇開園３時間前に出勤し体制の確立（記者発表等の準備）
〇開園２時間前に光と風の広場の臨時閉園の記者発表・ＨＰでの告知・ゲート等に告知看板設置
※開園時間帯に発令：津波警報発令以降、光と風の広場エリアは利用制限、無料エリアは立入禁止措置を行い、以下の措置を実施する。その他は通常開園。
〇光と風の広場の利用制限の記者発表・ＨＰでの告知・ゲート等に告知看板設置
※以下の措置を講ずる。
〇園内放送の実施
・光と風の広場及び無料エリアは最寄りの避難場所への避難呼びかけ
・上記以外のエリアは、津波警報発令の情報提供及び注意喚起
〇避難誘導班により光と風の広場及び無料エリアの来園者を各避難場所へ誘導
（避難場所）
・マリンワールド（※事前調整必要）
・ザ ルイガンズ.
・管理センター
・マリーナ クラブハウス
・環境共生の森（みらいの森）
〇車による避難への対応
(A-1)津波被害が予想されるので、中央駐車場Ａへは行かせない。
(A-2)津波被害が予想されるので、中央駐車場Ａへは行かせない。
(A-3)津波の危険性は説明するが、中有駐車場Ａの移動に対するアナウンスはしない。</td></tr>
<tr><td>-4
-5
-6</td><td>［警戒体制］
※対応は上記と同じ</td></tr>
<tr><td colspan="2">B</td><td>［注意体制］
※通常開園
※以下の措置を講ずる。
〇園内放送の実施（津波警報発令の情報提供及び注意喚起）
〇立入禁止措置実施（渡船場～マリーナ間のサイクリング園路より博多湾側）</td></tr>
</table>

※園内放送の文案については、別途作成する。

※上記 X-1,2,3 は、平成 23 年度園内防災検討業務におけるシミュレーション等から想定外の災害として取り扱っている。

別表－１

支　部　組　織　表


海の中道庁舎
海の中道海浜公園
センター部会長
（センター長）
総務係
経理係
用地係
公園財産管理係
センター総務班
支部長
（事務所長）
総務班
班　長：総務課長
副班長：係長
情報連絡班
調査設計係
管理係
センター情報連絡班
班　長：調査設計課長
副班長：係長
対策班
工務係
建築設備係
センター対策班
センター誘導班
班　長：工務課長
副班長：建設監督官
係長
吉野ヶ里庁舎
副支部長
（副所長）
歴史公園班
調整係
工務係
建築設備係
班　長：歴史公園課長
副班長：建設監督官
係長

別表－２

各 班 の 所 掌 事 務

（津波災害対策支部）

各班の所掌事務は次のとおりとする。

【海の中道庁舎】	
総務班	１．職員の勤務管理に関すること。 ２．職員及びその家族の安否確認に関すること。 ３．仮眠、休憩の設備に関すること。 ４．非常食等の配給に関すること。 ５．庁舎機能の確保に関すること。 ６．配車運営及び連絡に関すること。 ７．災害関係物資の調達補給に関すること。 ８．災害関係の超勤等、会計に関すること。 ９．総務全般及び他班に属しないこと。 10．支部長の指示により他班への応援に関すること。 11．支部長の指示により他分会への応援に関すること。
情報連絡班	１．支部（海の中道庁舎）の動員発令及び解除、支部長指令、支部情報等の起案に関すこと。 ２．本部との連絡及び関係各機関との連絡・調整に関すること。 ３．各種情報の収集及び整理に関すること。 ４．災害状況資料の記録整理に関すること。 ５．気象資料の収集・整理に関すること。 ６．支部（海の中道庁舎）の参集、連絡に関すること。 ７．園内の安全確保及び災害状況の把握に関すること。 ８．支部長の指示により他班への応援に関すること。 ９．支部長の指示により他分会への応援に関すること
対 策 班	１．災害発生状況の調査及び報告に関すること。 ２．来園者の避難誘導に関すること。 ３．園内被害状況の把握に関すること。 ４．災害の応急復旧及び二次災害予防の企画・立案に関すること。 ５．資機材の調達に関すること。 ６．地震・豪雨等に伴う二次災害の恐れのある施設の対策に関すること。 ７．支部長の指示により他班への応援に関すること。 ８．支部長の指示により他分会への応援に関すること。
【吉野ヶ里庁舎】	
歴史公園班	１．支部長の指示により他班への応援に関すること。 ２．支部長の指示により他分会への応援に関すること。

別表－３

津波災害対策支部動員体制表

<table>
<tr><td colspan="4">【海の中道庁舎】</td></tr>
<tr><td>班及び係名</td><td>注意体制</td><td>警戒体制</td><td>非常体制</td></tr>
<tr><td>支部長
（事務所長）</td><td></td><td></td><td rowspan="4">全員自動参集</td></tr>
<tr><td>総務班
（総務課）
総務係
経理係
用地係
公園財産管理係</td><td>副班長または班員
１ 名</td><td>班 長 １ 名
副班長または班員
１ 名</td></tr>
<tr><td>情報連絡班
（調査設計課）
調査設計係
管理係</td><td>副班長または班員
１ 名</td><td>班 長 １ 名
副班長または班員
１ 名</td></tr>
<tr><td>対 策 班
（工務課）
建設監督官
工務係
建築設備係</td><td>副班長 １ 名</td><td>班 長 １ 名
副班長 １ 名</td></tr>
<tr><td colspan="4">【吉野ヶ里庁舎】</td></tr>
<tr><td>班及び係名</td><td>注意体制</td><td>警戒体制</td><td>非常体制</td></tr>
<tr><td>副支部長
（副所長）</td><td></td><td></td><td rowspan="2">連絡体制</td></tr>
<tr><td>歴史公園班
（歴史公園課）
建設監督官
調整係
工務係
建築設備係</td><td></td><td></td></tr>
</table>

※係長及び建設監督官は全員が副班長の資格を持つものとする。

※情報連絡班は、支部長の判断により他の班からの協力体制を取ることができるものとする。

※閉園時は開園おおむね２時間前までは連絡体制とする。

第３編　風 水 害 対 策 支 部 運 営 要 領

風水害災害対策支部運営要領

第１条　目　的

この要領は、海の中道海浜公園において「国営海の中道海浜公園事務所防災業務計画第３編風水害対策編」第４章に基づき、国営海の中道海浜公園事務所地震災害対策支部（以下「支部」という。）の円滑な運営を図るため支部の組織、業務分担及び運営について明確にすることを目的とする。

第２条　組　織

１．支部の組織

支部の組織は、別表－１支部組織表のとおりとし、支部長のほか、海の中道庁舎は総務班、情報連絡班、対策班、吉野ヶ里庁舎は副支部長、歴史公園班をおく。

２．分会の組織

支部の下に分会を置くものとする。分会は海の中道庁舎は海の中道管理センター、都市機構九州公園事務所、海の中道青少年海の家、マリンワールド、海の中道マリーナ＆テニス、ザ・ルイガンズ.、西日本パブリック、泉陽興業とし、吉野ヶ里庁舎は吉野ヶ里歴史公園マネジメント共同企業体、昭和自動車とする。

３．支部長、班長等

（１）支部長は所長とし、支部を統轄する。吉野ヶ里庁舎は副所長を副支部長とし、支部長を補佐し、吉野ヶ里庁舎を統轄する。

（２）班長は、各課長をもってあて、支部長を補佐しそれぞれの班を指揮統括する。

（３）所長に事故等がある場合は、海の中道庁舎は調査設計課長、工務課長、総務課長、管理係長の順をもって、吉野ヶ里庁舎は副所長、歴史公園課長、建設監督官、調整係長の順をもって、支部長の職務を代行する。

（４）副班長は、建設監督官、係長をもってあて、班長に事故ある ときは班長の職務を代行する。

４．各班の所掌事務

各班の所掌事務は、別表－２のとおりとする。

５．対策支部等の設置及び廃止の基準

（１）対策支部等の設置及び体制

１）海の中道庁舎の情報連絡班長、吉野ヶ里庁舎の歴史公園班長（班長に事故等がある場合は副班長）は、風水害が発生した場合、または発生する恐れがある場合所長に報告するものとする。

所長は報告を受けた時点で、該当する庁舎に対策支部及び対策分会設置の指令と体制の発令を行うものとする。

なお非常体制については両庁舎に体制発令を行う。

発令基準は、別表－３のとおりとする。

（実施体制）　「注意体制」

「警戒体制」

「非常体制」

２）支部長は、被害状況を確認後、被害の状況や規模等に応じて、防災体制（要員、資機材等）又は班構成等を柔軟に強化・縮小できるものとする。

ただし、本部の体制より支部の体制を下げることはできないものとする。

３）防災担当者は支部設置に際して、関係各課・各分会への連絡及び決裁を行うものとする。

（２）対策支部等の廃止

支部長は次に該当する場合、対策支部等を廃止し、体制を解除することができる。

１）災害応急復旧が概ね完了し、二次災害の恐れがなくなったとき。

２）その他、対策支部等設置の必要性がなくなったと判断されたとき。

６．他班への応援

（１）応援の要請は班長より支部長に要請する。

（２）支部長の名を受けた各班は他班への応援を行うものとする。

７．分会への応援

（１）応援の要請は、分会長より支部長に要請する。

（２）支部長の名を受けた職員は、分会への応援を行うものとする。

８．班編成等の変更

班編成等に関する変更については、年度当初に行うものとする。

第 ３ 条 動 員

各班の動員体制は、別表－４を原則とするが、班長は気象情報等により班の所掌事務を迅速に実施する上で、要員の強化が必要と判断した場合、班の要員を増員しなければならない。

（１）勤務時間内の参集配置

勤務時間内に支部が設置された場合、各班の班長は速やかに必要人員を確保するものとする。なお、勤務時間外も体制が継続される場合は、引き続き必要な人員を確保するものとする。

（２）勤務時間外の参集配置

勤務時間外に支部が設置された場合、事前に定めた情報連絡網に従い情報伝達を行い、各班の班長は動員配置人員表に基づき必要人員を参集させるものとする。

第 ４ 条 支部構成員の勤務場所

１．災害対策室は、海の中道庁舎は防災対策室、吉野ヶ里庁舎は歴史公園課に設置するものとする。

２．支部構成員は、通常勤務の各執務室において勤務するものとする。

第 ５ 条 報 告

１．支部長は、次に該当する事項について、速やかに局長に報告しなければならない。

（１）公園が被害を受けた場合の被害状況。

（２）その他災害対策上重要な事項。

２．支部長は、次に該当する事項について、速やかに局長に報告するものとする。

（１）支部を設置したときの設置状況。

（２）「地方建設局間等応援マニュアル」に定めるもの。

（３）その他災害対策上重要なもの。

第 ６ 条 災害報告

支部長は、次に該当する災害が発生した場合、別途様式により局長に報告するものとする。

（１）公園災害の報告

公園に災害が発生した場合。

第 7 条 その他の事項

１．交 替

当番者は注意、警戒、非常体制が一昼夜以上にわたるときは、午前１０時をもって次の者と交代する。また、支部体制が長期にわたる場合等、職員の健康管理等には十分配慮するものとする。

２．職員への周知

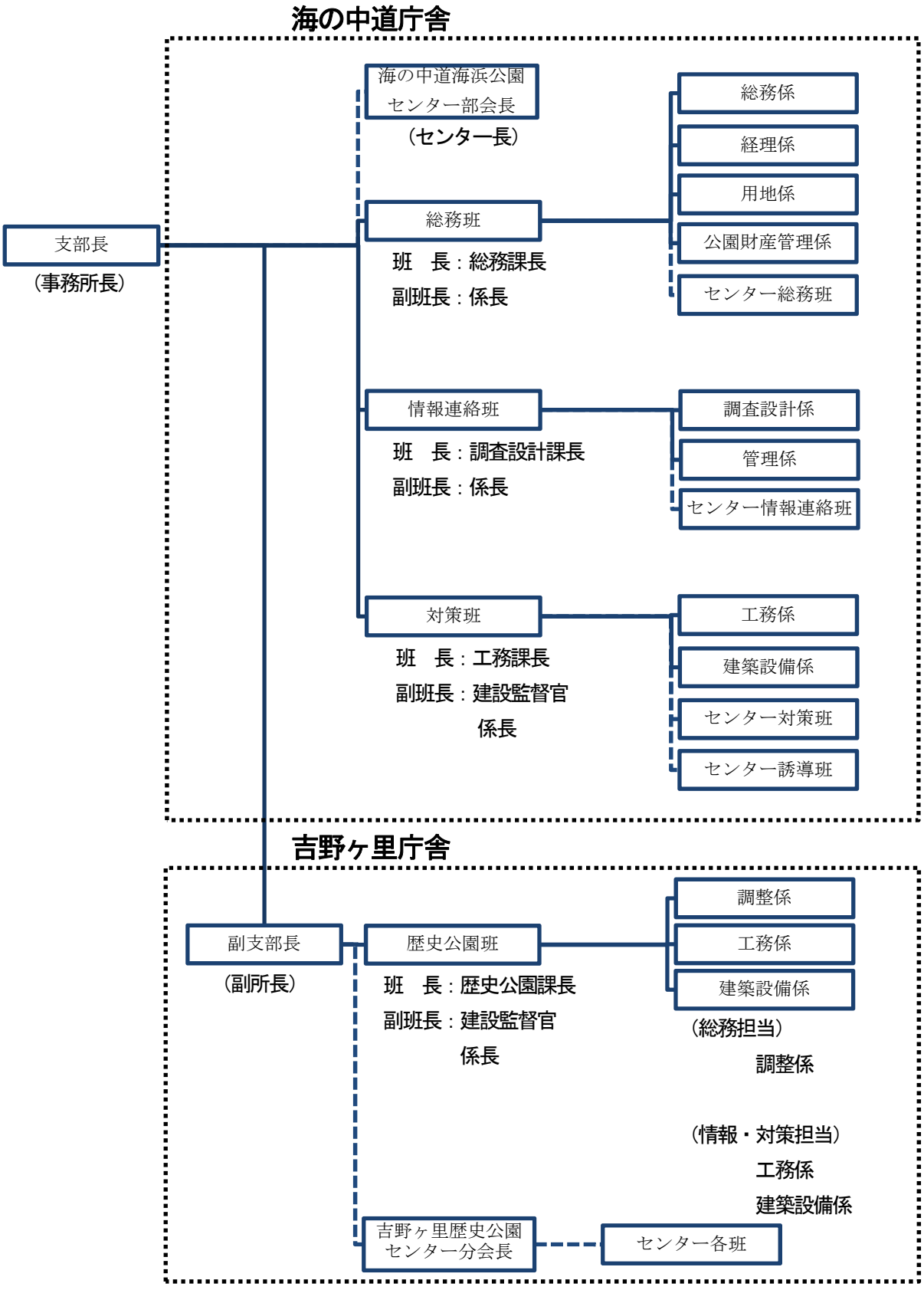
支部設置後は、災害対策室より職員に対し災害対策状況等について周知を図るものとする。

３．タクシーの利用

公共機関の利用が不可能なときに参集するためタクシーを利用した場合等、公務のためタクシーを利用した場合においては、様式－７によるものとする。

別表－１

支　部　組　織　表


海の中道庁舎
海の中道海浜公園
センター部会長
（センター長）
総務係
経理係
用地係
公園財産管理係
センター総務班
支部長
（事務所長）
総務班
班　長：総務課長
副班長：係長
情報連絡班
調査設計係
管理係
センター情報連絡班
班　長：調査設計課長
副班長：係長
対策班
工務係
建築設備係
センター対策班
センター誘導班
班　長：工務課長
副班長：建設監督官
係長
吉野ヶ里庁舎
副支部長
（副所長）
歴史公園班
調整係
工務係
建築設備係
班　長：歴史公園課長
副班長：建設監督官
係長
（総務担当）
調整係
（情報・対策担当）
工務係
建築設備係
吉野ヶ里歴史公園
センター分会長
センター各班

別表－２

各 班 の 所 掌 事 務

（風水害対策支部）

各班の所掌事務は次のとおりとする。

【海の中道庁舎】	
総務班	１．職員の勤務管理に関すること。 ２．職員及びその家族の安否確認に関すること。 ３．仮眠、休憩の設備に関すること。 ４．非常食等の配給に関すること。 ５．庁舎機能の確保に関すること。 ６．配車運営及び連絡に関すること。 ７．災害関係物資の調達補給に関すること。 ８．災害関係の超勤等、会計に関すること。 ９．総務全般及び他班に属しないこと。 10．支部長の指示により他班への応援に関すること。 11．支部長の指示により他分会への応援に関すること。
情報連絡班	１．支部（海の中道庁舎）の動員発令及び解除、支部長指令、支部情報等の起案に関すこと。 ２．本部との連絡及び関係各機関との連絡・調整に関すること。 ３．各種情報の収集及び整理に関すること。 ４．災害状況資料の記録整理に関すること。 ５．気象資料の収集・整理に関すること。 ６．支部（海の中道庁舎）の参集、連絡に関すること。 ７．園内の安全確保及び災害状況の把握に関すること。 ８．支部長の指示により他班への応援に関すること。 ９．支部長の指示により他分会への応援に関すること
対 策 班	１．災害発生状況の調査及び報告に関すること。 ２．来園者の避難誘導に関すること。 ３．園内被害状況の把握に関すること。 ４．災害の応急復旧及び二次災害予防の企画・立案に関すること。 ５．資機材の調達に関すること。 ６．地震・豪雨等に伴う二次災害の恐れのある施設の対策に関すること。 ７．支部長の指示により他班への応援に関すること。 ８．支部長の指示により他分会への応援に関すること。

<table>
<tr><td colspan="3">【吉野ヶ里庁舎】</td></tr>
<tr><td rowspan="3">歴史公園班</td><td>総務担当</td><td>１．支部（吉野ヶ里庁舎）体制の発令事務の代行に関すること。
２．支部（吉野ヶ里庁舎）の参集、連絡に関すること。
３．記者発表及び、一般利用者への情報提供、
一般住民からの問合せ対応等の広報に関すること。
４．帰宅困難者及び一般住民（避難住民）の受け入れに関すること。
５．公園維持管理業務委託者との連絡調整に関すること。
６．総務班への情報提供及び連携に関すること。
・職員の勤務管理に関すること。
・職員及びその家族の安否確認に関すること。
・仮眠、休憩の設備に関すること。
・非常食等の配給に関すること。
・庁舎機能の確保及び宿舎の点検に関すること。
・配車運営及び連絡に関すること。
・災害関係物資の調達補給に関すること。
・災害関係の超勤等、会計に関すること。
・総務全般及び他班に属しないこと。</td></tr>
<tr><td>情報・対策担当</td><td>７．本部及び関係各機関との連絡・調整に関すること。
８．気象情報等の収集・整理及び交通状況の把握に関すること。
９．園内（国営）の巡視に関すること。
10．園内の安全確保に関すること。
11．園内災害状況の把握及び報告、記録等に関すること。
12．災害箇所の応急復旧及び本復旧に関すること。
13．地震・豪雨等に伴う二次災害対策に関すること。
14．資機材の調達に関すること。
15．工事請負業者への指示及び安全対策に関すること。</td></tr>
<tr><td colspan="2">１．支部長の指示により他班への応援に関すること。
２．支部長の指示により他分会への応援に関すること。</td></tr>
</table>

別表－３

防災体制発令基準（風水害）

<table>
<tr><th>体制区分</th><th>発令基準</th><th>業務内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">注意体制</td><td>１．監視エリアに大雨及び洪水警報の発令または、監視エリアに台風が接近しつつあり暴風警報が発令された場合において海の中道海浜公園または吉野ヶ里公園で必要と認める場合。

● 風水害対策監視エリア<table><tr><td>海の中道庁舎</td><td>福岡管区気象台より
福岡市</td></tr><tr><td>吉野ヶ里庁舎</td><td>佐賀管区気象台より
鳥栖地区（神埼市・吉野ヶ里町）</td></tr></table>２．かなりの降雨または強風があり、公園内通路や施設に危険があると予想される場合。
３．その他支部長が必要と認める場合。</td><td>１．情報連絡体制の確立
２．園内パトロールの体制確立
３．誘導体制の確立</td></tr>
<tr><td colspan="2">（解除基準）
・体制発令の原因となった現象も収まり、安全が確認された場合。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">警戒体制</td><td>１．風、雨、雷により公園内に災害が発生した場合。
２．その他支部長が必要と認める場合。</td><td>１．情報連絡体制の強化
２．園内パトロールの実施
３．誘導体制の強化
４．災害箇所の調査および応急復旧</td></tr>
<tr><td colspan="2">（解除基準）
・体制発令の原因となった現象も収まり、現地調査の結果、災害拡大の恐れがなく安全が確認された場合。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">非常体制</td><td>１．風、雨、雷により、公園内施設が広範囲にわたり崩壊等の災害発生または、消失した場合。
２．その他支部長が必要と認める場合。</td><td>１．情報連絡体制の強化
２．園内パトロールの強化
３．災害箇所の調査および復旧作業
４．支部長及び班長の指示する業務</td></tr>
<tr><td colspan="2">（解除基準）
・体制発令の原因となった現象も収まり、現地調査の結果、災害拡大の恐れがなく応急処理の目処がたつとともに安全が確認された場合。</td></tr>
</table>

別表－４

風 水 害 対 策 支 部 動 員 体 制 表

<table>
<tr><td colspan="4">【海の中道庁舎】</td></tr>
<tr><td>班及び係名</td><td>注意体制</td><td>警戒体制</td><td>非常体制</td></tr>
<tr><td>支部長
（事務所長）</td><td></td><td></td><td rowspan="4">全員自動参集</td></tr>
<tr><td>総務班
（総務課）
総務係
経理係
用地係
公園財産管理係</td><td>副班長または班員
１ 名</td><td>班 長 １ 名
副班長または班員
１ 名</td></tr>
<tr><td>情報連絡班
（調査設計課）
調査設計係
管理係</td><td>副班長または班員
１ 名</td><td>班 長 １ 名
副班長または班員
１ 名</td></tr>
<tr><td>対 策 班
（工務課）
建設監督官
工務係
建築設備係</td><td>副班長 １ 名</td><td>班 長 １ 名
副班長 １ 名</td></tr>
<tr><td colspan="4">【吉野ヶ里庁舎の体制時について】
・支部長は連絡体制とし、参集場所等については災害状況等により判断する。
・総務班は警戒体制から連絡体制とし、参集等については災害状況等により判断し班長から指示する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">【吉野ヶ里庁舎】</td></tr>
<tr><td>班及び係名</td><td>注意体制</td><td>警戒体制</td><td>非常体制</td></tr>
<tr><td>副支部長
（副所長）</td><td></td><td>副支部長 １ 名</td><td rowspan="2">全員参集</td></tr>
<tr><td>歴史公園班
（歴史公園課）
建設監督官
調整係
工務係
建築設備係</td><td>班長または副班長
２ 名</td><td>班 長 １ 名
副班長 ２ 名</td></tr>
</table>

※注意体制発令時は支部長または副支部長の判断により、１～２名で体制に入り、園内の被害状況により増員していくものとする。

※非常体制の発令基準が別庁舎の監視エリアの場合は連絡体制とする。

※係長及び建設監督官は全員が副班長の資格を持つものとする。

※情報連絡班は、支部長の判断により他の班からの協力体制を取ることができるものとする。

※閉園時は開園おおむね２時間前までは連絡体制とする。

第４編　水質（油流出）事故災害対策支部運営要領

水質（油流出）事故災害対策支部運営要領

第 1 条 目 的

この要領は、海の中道海浜公園において「国営海の中道海浜公園事務所防災業務計画第４編水質（油流出）事故対策編」第４章に基づき、国営海の中道海浜公園事務所水質事故災害対策支部（以下「支部」という。）の円滑な運営を図るため支部の組織、業務分担及び運営について明確にすることを目的とする。

第 2 条 組 織

１．支部の組織

支部の組織は、別表－１支部組織表のとおりとし、支部長のほか、海の中道庁舎は総務班、情報連絡班、対策班、吉野ヶ里庁舎は副支部長、歴史公園班をおく。

２．分会の組織

支部の下に分会を置くものとする。分会は海の中道庁舎に海の中道管理センター、都市機構九州公園事務所、海の中道青少年海の家、マリンワールド、海の中道マリーナ&テニス、ザ・ルイガンズ. 、西日本パブリック、泉陽興業とする。

３．支部長、班長等

（１）支部長は所長とし、支部を統轄する。吉野ヶ里庁舎は副所長を副支部長とし、支部長を補佐し、吉野ヶ里庁舎を統轄する。

（２）班長は、各課長をもってあて、支部長を補佐しそれぞれの班を指揮統括する。

（３）所長に事故等がある場合は、海の中道庁舎は調査設計課長、工務課長、総務課長、管理係長の順をもって、吉野ヶ里庁舎は副所長、歴史公園課長、建設監督官、調整係長の順をもって、支部長の職務を代行する。

（４）副班長は、建設監督官、係長をもってあて、班長に事故ある ときは班長の職務を代行する。

４．各班の所掌事務

各班の所掌事務は、別表－２のとおりとする。

５．支部の設置及び廃止の基準

（１）支部の設置及び体制

１）海の中道庁舎の情報連絡班長（班長に事故等がある場合は副班長）は、水質事故災害が発生した場合、速やかに所長（ 所長に事故等がある場合は支部長の職務代行者）に、第一報を報告するものとする。

所長（所長に事故等がある場合は支部長の職務代行者）は、第一報を受けた時点で海の中道庁舎に支部設置の指令と体制の発令を行うものとする。

なお非常体制については両庁舎に体制発令を行う。

警戒体制	海の中道海浜公園区域（予定地含む）への漂着の恐れが強く、対策資材の調達等対策準備を行う必要がある場合。または、漂着により直轄で対策を実施する必要がある場合。
非常体制	海の中道海浜公園区域（予定地含む）への漂着が大規模で、長期にわたると予想される場合。

２）支部長は、被害状況を確認後、被害状況や規模等に応じて、水質事故災害体制（要員、資機材等）又は班構成等を柔軟に強化・縮小できるものとする。

ただし、本部の体制より支部の体制を下げることはできないものとする。

（２）支部の廃止

支部長は次に該当する場合、支部等を廃止し、体制を解除することができる。

１）災害応急復旧が概ね完了し、二次災害の恐れがなくなったとき。

２）その他、支部等設置の必要性がなくなったと判断されたとき。

６．支部の移設

事務所が大規模な災害を受けた場合は、支部長の指示により支部を移設するものとする。

７．他班への応援

（１）応援の要請は班長より支部長に要請する。

（２）支部長の名を受けた各班は他班への応援を行うものとする。

８．分会への応援

（１）応援の要請は、分会長より支部長に要請する。

（２）支部長の名を受けた職員は、分会への応援を行うものとする。

９．班編成等の変更

班編成等に関する変更については、年度当初に行うものとする。

第 ３ 条 動 員

各班の動員体制は、別表－３を原則とするが、状況に応じて変更することができる。

（１）勤務時間内の参集配置

勤務時間内に支部が設置された場合、各班の班長は速やかに必要人員を確保するものとする。なお、勤務時間外も体制が継続される場合は、引き続き必要な人員を確保するものとする。

（２）勤務時間外の参集配置

勤務時間外に支部が設置された場合、事前に定めた情報連絡網に従い情報伝達を行い、各班の班長は動員配置人員表に基づき必要人員を参集させるものとする。

第 ４ 条 支部構成員の勤務場所

１．災害対策室は海の中道庁舎は防災対策室に設置するものとする。

２．支部構成員は、災害対策室及び通常勤務の各執務室において勤務するものとする。

第 ５ 条 報 告

１．支部長は、次に該当する事項について、速やかに局長に報告しなければならない。

（１）国営公園災害復旧事業取り扱い要項に定めるもの。

（２）その他、災害対策上重要な事項。

２．支部長は、次に該当する事項について、速やかに本部長に報告するものとする。

（１）支部を設置したときの設置状況について。

（２）その他災害対策上重要な事項。

第 ６ 条 災害報告

支部長は、次に該当する災害が発生した場合、別途様式により局長に報告するものとする。

（１）公園災害の報告

公園に災害が発生した場合

第 ７ 条 その他の事項

１．交 替

当番者は注意、警戒、非常体制が一昼夜以上にわたるときは、午前１０時をもって次の者と交代する。また、支部体制が長期にわたる場合等、職員の健康管理等には十分配慮するものとする。

２．職員等への周知

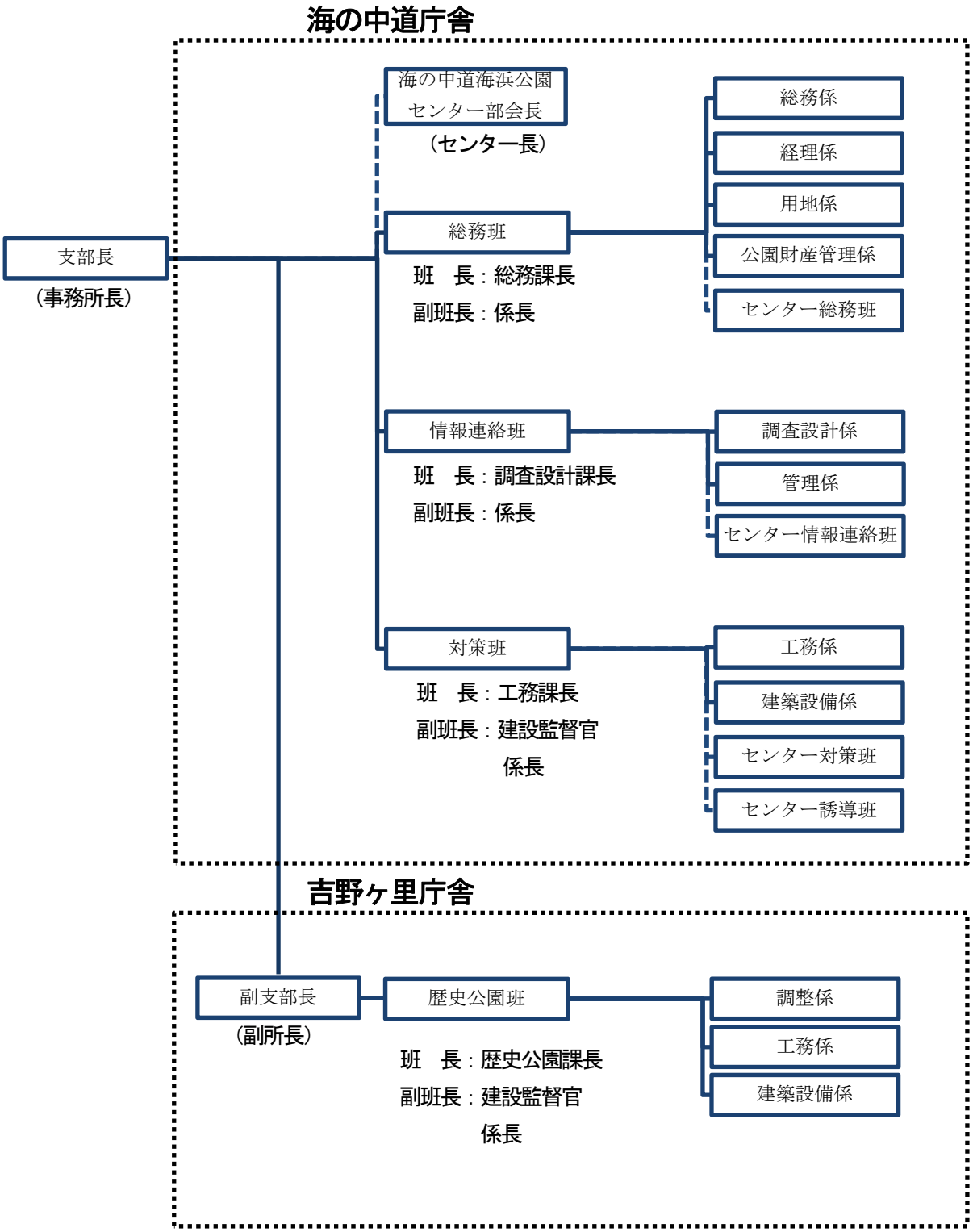
支部設置後は、災害対策室より職員等に対し災害対策状況等について周知を図るものとする。

３．タクシーの利用

公共機関の利用が不可能なときに参集するためタクシーを利用した場合等、公務のためタクシーを利用した場合においては、様式－７によるものとする

別表－１

支　部　組　織　表


海の中道庁舎
海の中道海浜公園センター部会長
（センター長）
総務係
経理係
用地係
公園財産管理係
センター総務班
支部長
（事務所長）
総務班
班　長：総務課長
副班長：係長
情報連絡班
調査設計係
管理係
センター情報連絡班
班　長：調査設計課長
副班長：係長
対策班
工務係
建築設備係
センター対策班
センター誘導班
班　長：工務課長
副班長：建設監督官
係長
吉野ヶ里庁舎
副支部長
（副所長）
歴史公園班
調整係
工務係
建築設備係
班　長：歴史公園課長
副班長：建設監督官
係長

別表－２

各 班 の 所 掌 事 務

（水質（油抽出）事故災害対策支部）

各班の所掌事務は次のとおりとする。

【海の中道庁舎】	
総務班	１．職員の勤務管理に関すること。 ２．職員及びその家族の安否確認に関すること。 ３．仮眠、休憩の設備に関すること。 ４．非常食等の配給に関すること。 ５．庁舎機能の確保に関すること。 ６．配車運営及び連絡に関すること。 ７．災害関係物資の調達補給に関すること。 ８．災害関係の超勤等、会計に関すること。 ９．総務全般及び他班に属しないこと。 10．支部長の指示により他班への応援に関すること。 11．支部長の指示により他分会への応援に関すること。
情報連絡班	１．支部（海の中道庁舎）の動員発令及び解除、支部長指令、支部情報等の起案に関すこと。 ２．本部との連絡及び関係各機関との連絡・調整に関すること。 ３．各種情報の収集及び整理に関すること。 ４．災害状況資料の記録整理に関すること。 ５．気象資料の収集・整理に関すること。 ６．支部（海の中道庁舎）の参集、連絡に関すること。 ７．園内の安全確保及び災害状況の把握に関すること。 ８．支部長の指示により他班への応援に関すること。 ９．支部長の指示により他分会への応援に関すること
対 策 班	１．災害発生状況の調査及び報告に関すること。 ２．園内被害状況の把握に関すること。 ３．災害の応急復旧及び二次災害予防の企画・立案に関すること。 ４．資機材の調達に関すること。 ５．水質（油流出）事故災害等に伴う二次災害の恐れのある施設の対策に関すること。 ６．支部長の指示により他班への応援に関すること。 ７．支部長の指示により他分会への応援に関すること。
【吉野ヶ里庁舎】	
歴史公園班	１．支部長の指示により他班への応援に関すること。 ２．支部長の指示により他分会への応援に関すること。

別表－３

水質（油流出）事故災害対策支部動員体制表

<table>
<tr><td colspan="3">【海の中道庁舎】</td></tr>
<tr><td>班及び係名</td><td>警戒体制</td><td>非常体制</td></tr>
<tr><td>支部長
（事務所長）</td><td></td><td rowspan="4">全員自動参集</td></tr>
<tr><td>総務班
（総務課）
総務係
経理係
用地係
公園財産管理係</td><td>班　長　　１名
副班長または班員
１名</td></tr>
<tr><td>情報連絡班
（調査設計課）
調査設計係
管理係</td><td>班　長　　１名
副班長または班員
１名</td></tr>
<tr><td>対 策 班
（工務課）
建設監督官
工務係
建築設備係</td><td>班　長　　１名
副班長　　１名</td></tr>
<tr><td colspan="3">【吉野ヶ里庁舎】</td></tr>
<tr><td>班及び係名</td><td>警戒体制</td><td>非常体制</td></tr>
<tr><td>副支部長
（副所長）</td><td></td><td rowspan="2">連絡体制</td></tr>
<tr><td>歴史公園班
（歴史公園課）
建設監督官
調整係
工務係
建築設備係</td><td></td></tr>
</table>

※係長及び建設監督官は全員が副班長の資格を持つものとする。

※情報連絡班は、支部長の判断により他の班からの協力体制を取ることができるものとする。

※閉園時は開園おおむね２時間前までは連絡体制とする。

第５編　大規模火事等災害対策支部運営要領

大規模火事等災害対策支部運営要領

第１条　目　的

この要領は、海の中道海浜公園において「国営海の中道海浜公園事務所防災業務計画第５編大規模火事等災害対策編」第４章に基づき、国営海の中道海浜公園事務所大規模火事等災害対策支部（以下「支部」という。）の円滑な運営を図るため支部の組織、業務分担及び運営について明確にすることを目的とする。

第２条　組　織

１．支部の組織

支部の組織は、別表－１支部組織表のとおりとし、支部長のほか、海の中道庁舎は総務班、情報連絡班、対策班、吉野ヶ里庁舎は副支部長、歴史公園班をおく。

２．分会の組織

支部の下に分会を置くものとする。分会は海の中道庁舎は海の中道管理センター、都市機構九州公園事務所、海の中道青少年海の家、マリンワールド、海の中道マリーナ＆テニス、ザ・ルイガンズ.、西日本パブリック、泉陽興業とし、吉野ヶ里庁舎は吉野ヶ里歴史公園マネジメント共同企業体、昭和自動車とする。

３．支部長、班長等

（１）支部長は所長とし、支部を統轄する。吉野ヶ里庁舎は副所長を副支部長とし、支部長を補佐し、吉野ヶ里庁舎を統轄する。

（２）班長は、各課長をもってあて、支部長を補佐しそれぞれの班を指揮統括する。

（３）所長に事故等がある場合は、海の中道庁舎は調査設計課長、工務課長、総務課長、管理係長の順をもって、吉野ヶ里庁舎は副所長、歴史公園課長、建設監督官、調整係長の順をもって、支部長の職務を代行する。

（４）副班長は、建設監督官、係長をもってあて、班長に事故ある ときは班長の職務を代行する。

４．各班の所掌事務

各班の所掌事務は、別表－２のとおりとする。

５．支部の設置及び廃止の基準

（１）支部の設置及び体制

１）海の中道庁舎の情報連絡班長、吉野ヶ里庁舎の歴史公園班長（班長に事故等がある場合は副班長）は、大規模火事等災害が発生した場合、速やかに所長（所長に事故等がある場合は支部長の職務代行者）に、第一報を報告するものとする。

所長（所長に事故等がある場合は支部長の職務代行者）は、第一報を受けた時点で該当する庁舎に支部設置の指令と体制の発令を行うものとする。

なお非常体制については両庁舎に体制発令を行う。

警戒体制　　相当規模の火事等が発生し、災害の規模が相当拡大する恐れがある場合。

非常体制　　相当規模の火事等のため、大規模な災害発生を免れないと予想された場合。

２）支部長は、被害状況を確認後、被害の状況や規模等に応じて、大規模火事等災害体制（要員、資機材等）又は班構成等を柔軟に強化・縮小できるものとする。

ただし、本部の体制より支部の体制を下げることはできないものとする。

３）防災担当者は支部設置に際して、関係各課・各分会への連絡及び決裁を行うものとする。

（２）支部の廃止

支部長は次に該当する場合、支部を廃止し、体制を解除することができる。

１）災害応急復旧が概ね完了し、二次災害の恐れがなくなったとき。

２）その他、対策支部等設置の必要性がなくなったと判断されたとき。

６．支部の移設

事務所が大規模火事等災害を受けた場合または受ける恐れがある場合は、支部長の指示により支部を移設するものとする。

７．他班への応援

（１）応援の要請は班長より支部長に要請する。

（２）支部長の名を受けた各班は他班への応援を行うものとする。

８．分会への応援

（１）応援の要請は、分会長より支部長に要請する。

（２）支部長の名を受けた職員は、分会への応援を行うものとする。

９．班編成等の変更

班編成等に関する変更については、年度当初に行うものとする。

第 ３ 条 動 員

各班の動員体制は、別表－３を原則とするが、状況に応じて変更することができる。

（１）勤務時間内の参集配置

勤務時間内に支部が設置された場合、各班の班長は速やかに必要人員を確保するものとする。なお、勤務時間外も体制が継続される場合は、引き続き必要な人員を確保するものとする。

（２）勤務時間外の参集配置

勤務時間外に支部が設置された場合、事前に定めた情報連絡網に従い情報伝達を行い、各班の班長は動員配置人員表に基づき必要人員を参集させるものとする。

第 ４ 条 支部構成員の勤務場所

１．災害対策室は、海の中道庁舎は防災対策室、吉野ヶ里庁舎は歴史公園課に設置するものとする。

２．支部構成員は、通常勤務の各執務室において勤務するものとする。

第 ５ 条 報 告

１．支部長は、次に該当する事項について、速やかに局長に報告しなければならない。

（１）国営公園災害復旧事業取り扱い要項に定めるもの。

（２）その他災害対策上重要な事項。

２．支部長は、次に該当する事項について、速やかに局長に報告するものとする。

（１）支部を設置したときの設置状況について。

（２）その他災害対策上重要な事項。

第 ６ 条 災害報告

支部長は、次に該当する災害が発生した場合、別途様式により局長に報告するものとする。

（１）公園災害の報告

公園に災害が発生した場合。

第 7 条 その他の事項

１．交 替

当番者は注意、警戒、非常体制が一昼夜以上にわたるときは、午前１０時をもって次の者と交代する。また、支部体制が長期にわたる場合等、職員の健康管理等には十分配慮するものとする。

２．職員への周知

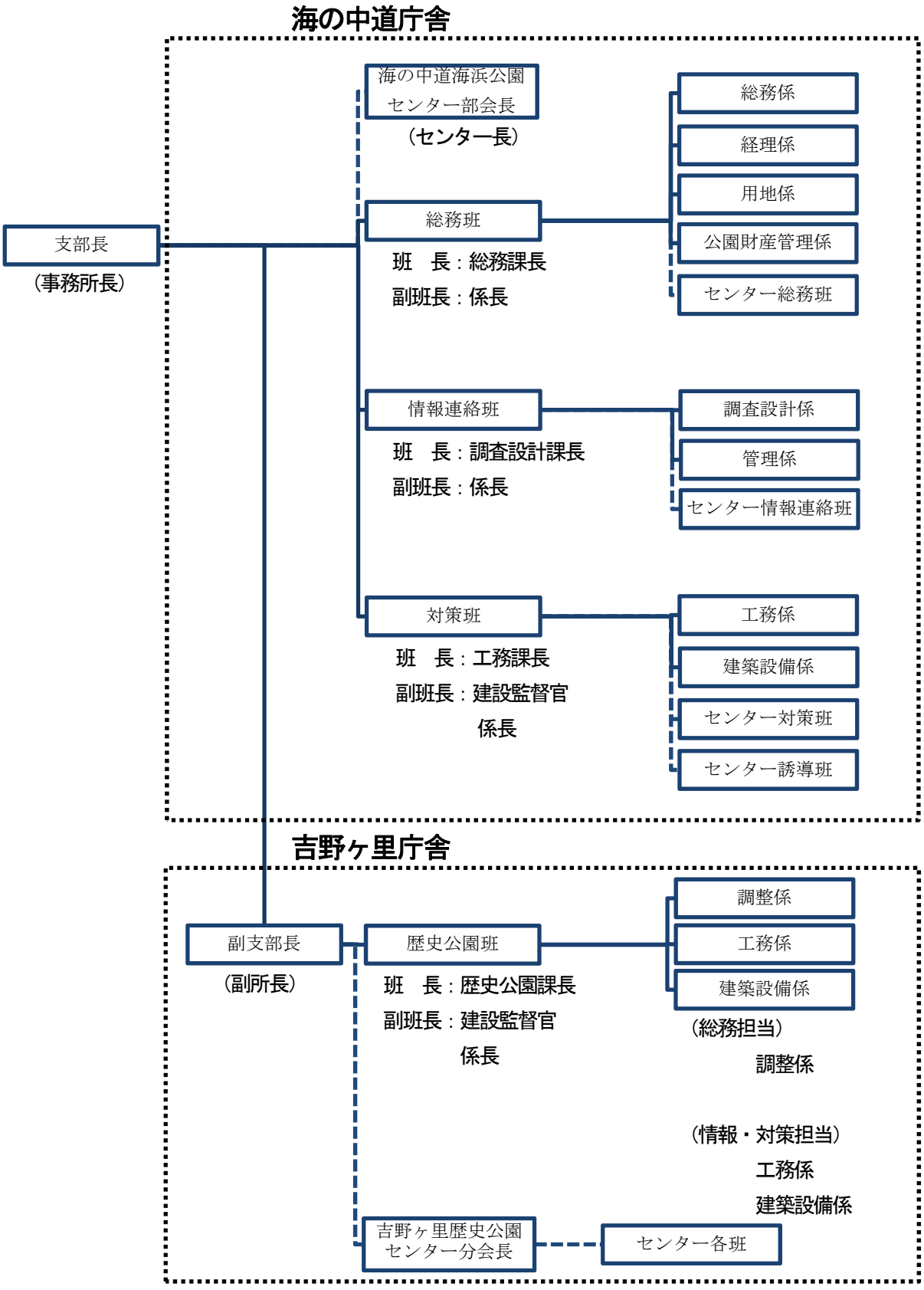
支部設置後は、災害対策室より職員に対し災害対策状況等について周知を図るものとする。

３．タクシーの利用

公共機関の利用が不可能なときに参集するためタクシーを利用した場合等、公務のためタクシーを利用した場合においては、様式－７によるものとする。

別表－１

支　部　組　織　表


海の中道庁舎
海の中道海浜公園
センター部会長
（センター長）
総務係
経理係
用地係
公園財産管理係
センター総務班
支部長
（事務所長）
総務班
班　長：総務課長
副班長：係長
情報連絡班
調査設計係
管理係
センター情報連絡班
班　長：調査設計課長
副班長：係長
対策班
工務係
建築設備係
センター対策班
センター誘導班
班　長：工務課長
副班長：建設監督官
係長
吉野ヶ里庁舎
副支部長
（副所長）
歴史公園班
調整係
工務係
建築設備係
班　長：歴史公園課長
副班長：建設監督官
係長
（総務担当）
調整係
（情報・対策担当）
工務係
建築設備係
吉野ヶ里歴史公園
センター分会長
センター各班

別表－２

各 班 の 所 掌 事 務

（大規模火事等災害対策支部）

各班の所掌事務は次のとおりとする。

【海の中道庁舎】	
総務班	１．職員の勤務管理に関すること。 ２．職員及びその家族の安否確認に関すること。 ３．仮眠、休憩の設備に関すること。 ４．非常食等の配給に関すること。 ５．庁舎機能の確保に関すること。 ６．配車運営及び連絡に関すること。 ７．災害関係物資の調達補給に関すること。 ８．災害関係の超勤等、会計に関すること。 ９．総務全般及び他班に属しないこと。 10．支部長の指示により他班への応援に関すること。 11．支部長の指示により他分会への応援に関すること。
情報連絡班	１．支部（海の中道庁舎）の動員発令及び解除、支部長指令、支部情報等の起案に関すこと。 ２．本部との連絡及び関係各機関との連絡・調整に関すること。 ３．各種情報の収集及び整理に関すること。 ４．災害状況資料の記録整理に関すること。 ５．気象資料の収集・整理に関すること。 ６．支部（海の中道庁舎）の参集、連絡に関すること。 ７．園内の安全確保及び災害状況の把握に関すること。 ８．支部長の指示により他班への応援に関すること。 ９．支部長の指示により他分会への応援に関すること
対 策 班	１．災害発生状況の調査及び報告に関すること。 ２．来園者の避難誘導に関すること。 ３．園内被害状況の把握に関すること。 ４．災害の応急復旧及び二次災害予防の企画・立案に関すること。 ５．資機材の調達に関すること。 ６．地震・豪雨等に伴う二次災害の恐れのある施設の対策に関すること。 ７．支部長の指示により他班への応援に関すること。 ８．支部長の指示により他分会への応援に関すること。

<table>
<tr><td colspan="3">【吉野ヶ里庁舎】</td></tr>
<tr><td rowspan="3">歴史公園班</td><td>総務担当</td><td>１．支部（吉野ヶ里庁舎）体制の発令事務の代行に関すること。
２．支部（吉野ヶ里庁舎）の参集、連絡に関すること。
３．記者発表及び、一般利用者への情報提供、
一般住民からの問合せ対応等の広報に関すること。
４．帰宅困難者及び一般住民（避難住民）の受け入れに関すること。
５．公園維持管理業務委託者との連絡調整に関すること。
６．総務班への情報提供及び連携に関すること。
・職員の勤務管理に関すること。
・職員及びその家族の安否確認に関すること。
・仮眠、休憩の設備に関すること。
・非常食等の配給に関すること。
・庁舎機能の確保及び宿舎の点検に関すること。
・配車運営及び連絡に関すること。
・災害関係物資の調達補給に関すること。
・災害関係の超勤等、会計に関すること。
・総務全般及び他班に属しないこと。</td></tr>
<tr><td>情報・対策担当</td><td>７．本部及び関係各機関との連絡・調整に関すること。
８．気象情報等の収集・整理及び交通状況の把握に関すること。
９．園内（国営）の巡視に関すること。
10．園内の安全確保に関すること。
11．園内災害状況の把握及び報告、記録等に関すること。
12．災害箇所の応急復旧及び本復旧に関すること。
13．地震・豪雨等に伴う二次災害対策に関すること。
14．資機材の調達に関すること。
15．工事請負業者への指示及び安全対策に関すること。</td></tr>
<tr><td colspan="2">１．支部長の指示により他班への応援に関すること。
２．支部長の指示により他分会への応援に関すること。</td></tr>
</table>

別表－３

大規模火事等災害対策支部動員体制表

<table>
<tr><td colspan="3">【海の中道庁舎】</td></tr>
<tr><td>班及び係名</td><td>警戒体制</td><td>非常体制</td></tr>
<tr><td>支部長
（事務所長）</td><td></td><td rowspan="4">全員自動参集</td></tr>
<tr><td>総務班
（総務課）
　総務係
　経理係
　用地係
　公園財産管理係</td><td>班　長　　１ 名
副班長または班員
　　１ 名</td></tr>
<tr><td>情報連絡班
（調査設計課）
　調査設計係
　管理係</td><td>班　長　　１ 名
副班長または班員
　　１ 名</td></tr>
<tr><td>対 策 班
（工務課）
　建設監督官
　工務係
　建築設備係</td><td>班　長　　１ 名
副班長　　１ 名</td></tr>
<tr><td colspan="3">【吉野ヶ里庁舎の体制時について】
・支部長は連絡体制とし、参集場所等については災害状況等により判断する。
・総務班は警戒体制から連絡体制とし、参集等については災害状況等により判断し班長から指示する。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【吉野ヶ里庁舎】</td></tr>
<tr><td>班及び係名</td><td>警戒体制</td><td>非常体制</td></tr>
<tr><td>副支部長
（副所長）</td><td>副支部長　　１ 名</td><td rowspan="2">全員参集</td></tr>
<tr><td>歴史公園班
（歴史公園課）
　建設監督官
　調整係
　工務係
　建築設備係</td><td>班　長　　１ 名
副班長　　２ 名</td></tr>
</table>

※非常体制の発令基準が別庁舎の監視エリアの場合は連絡体制とする。
※係長及び監督官は全員が副班長の資格を持つものとする。
※情報連絡班は、支部長の判断により他の班からの協力体制を取ることができるものとする。
※各体制の人員は、支部長の判断により増員していくものとする。

別添28

凡例
建築物

建物に係る点検位置図

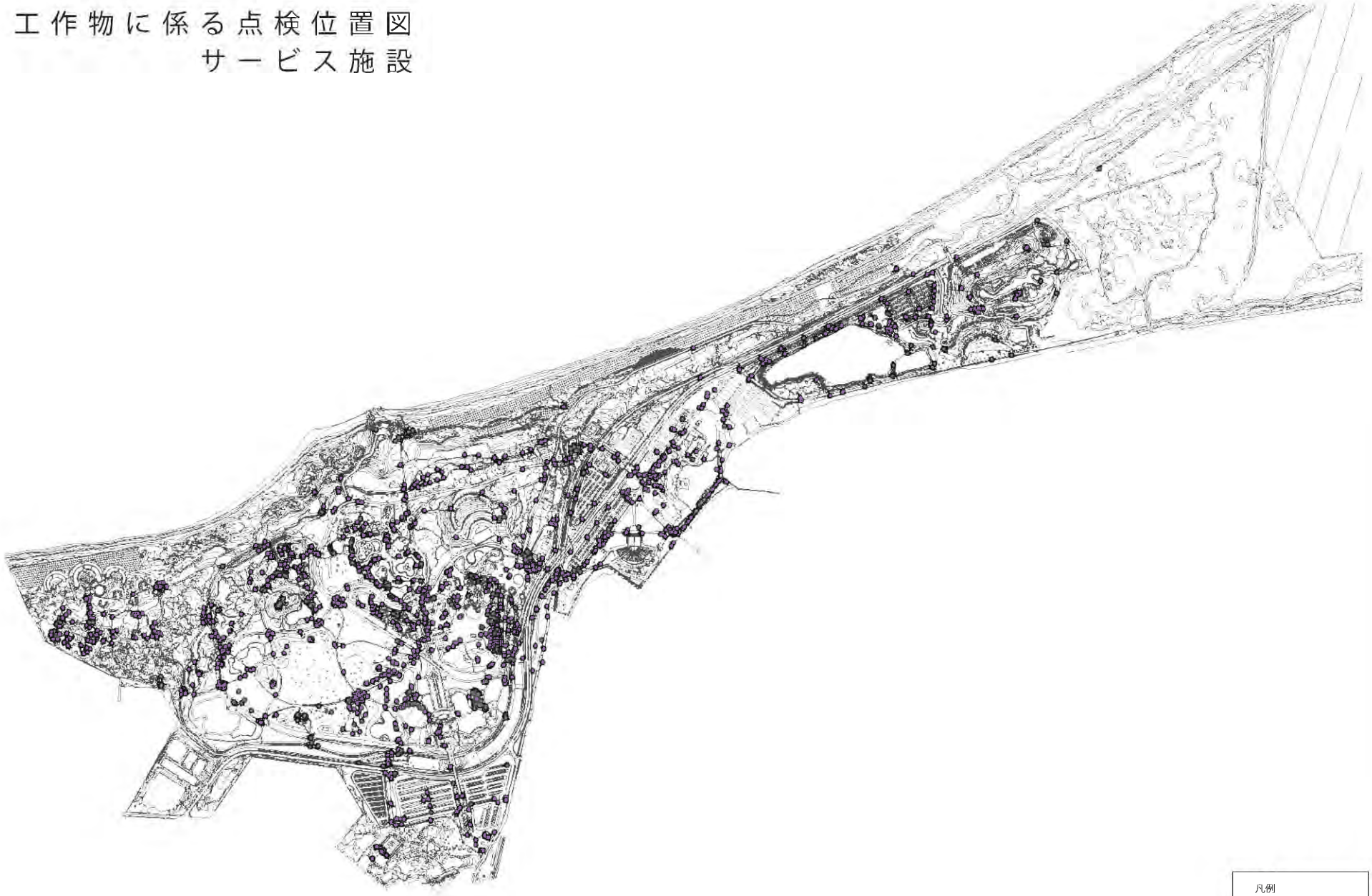
別添29

工作物に係る点検位置図
管理施設

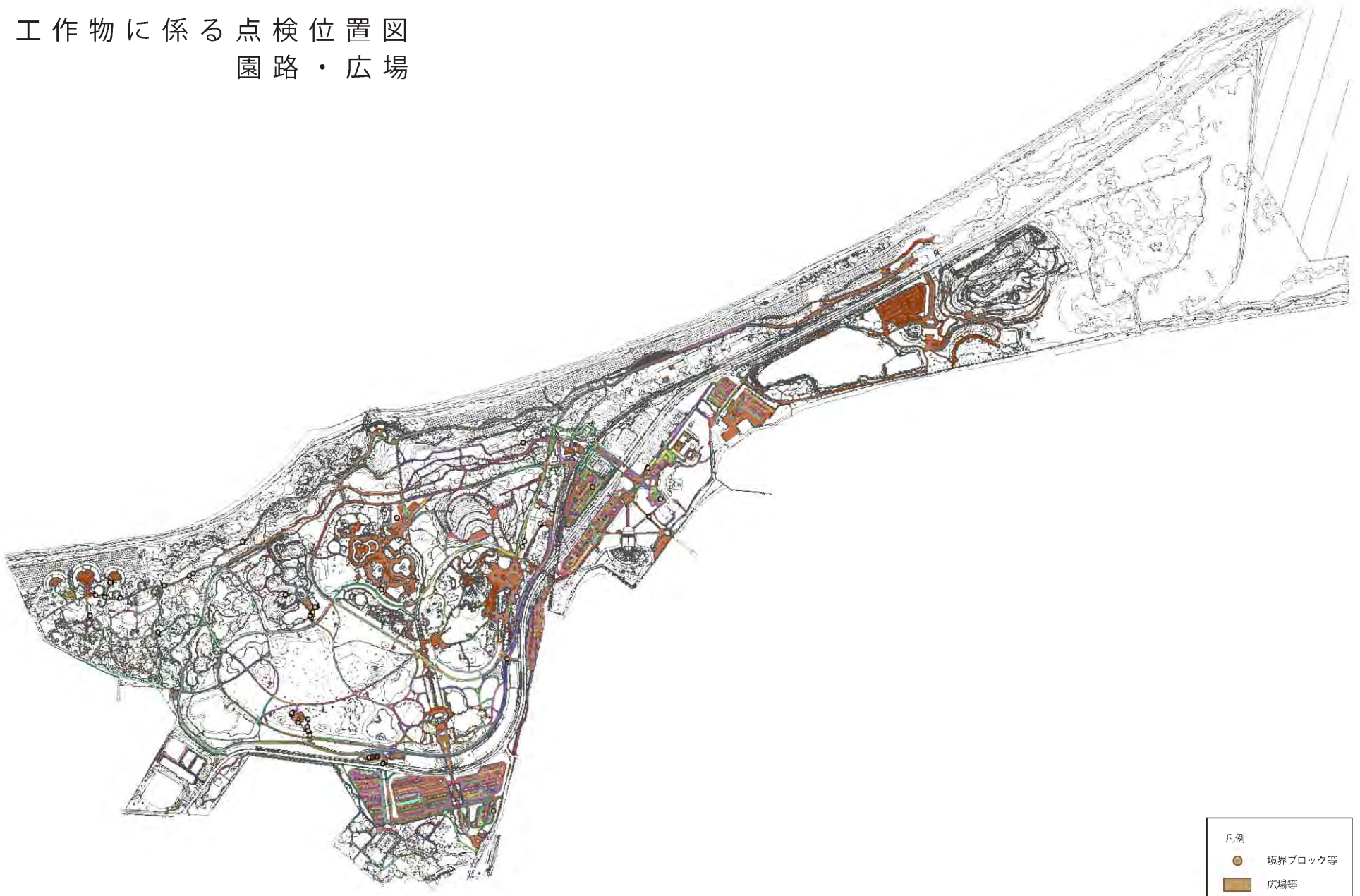
工作物に係る点検位置図
遊戯施設



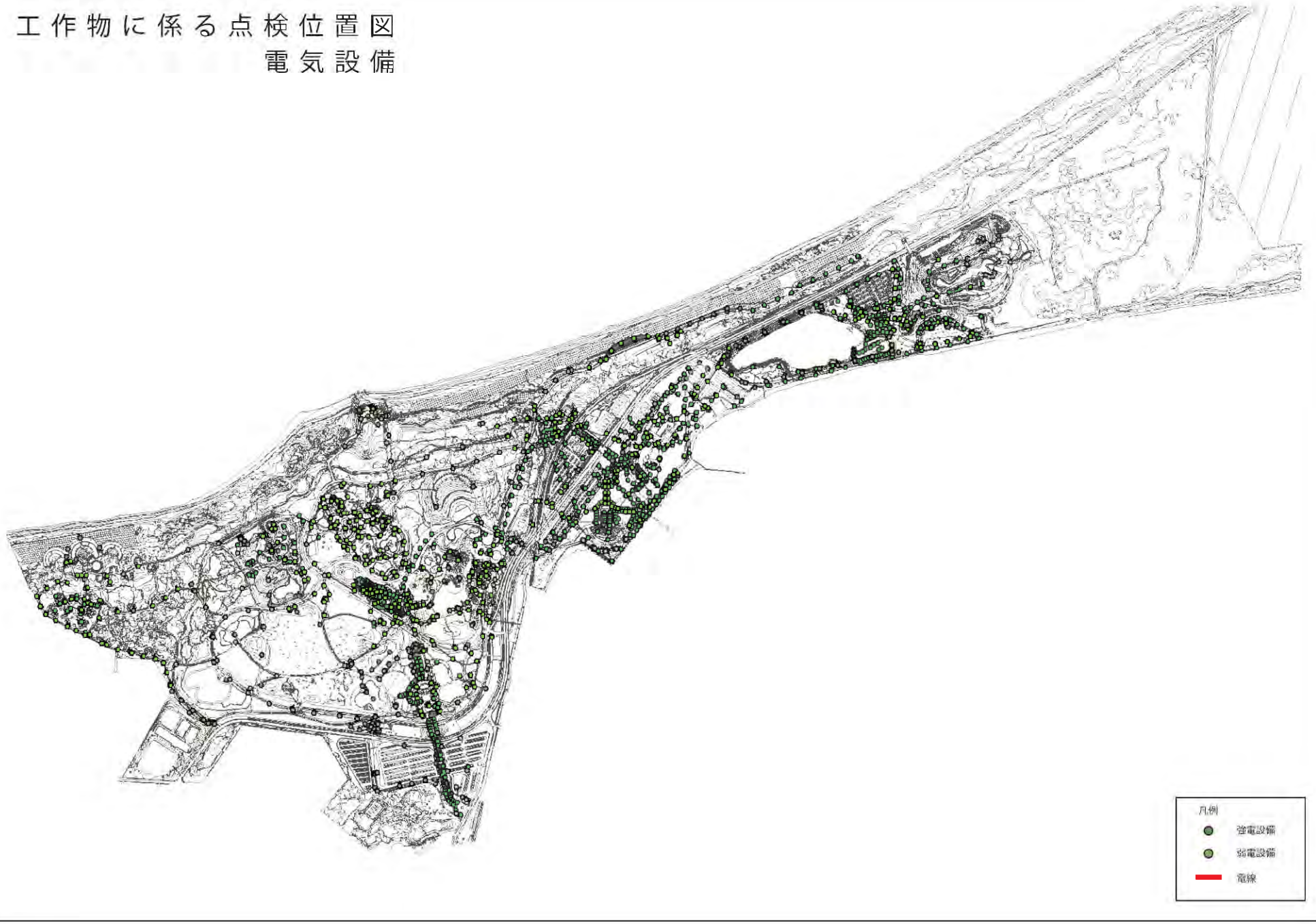
工作物に係る点検位置図
サービス施設



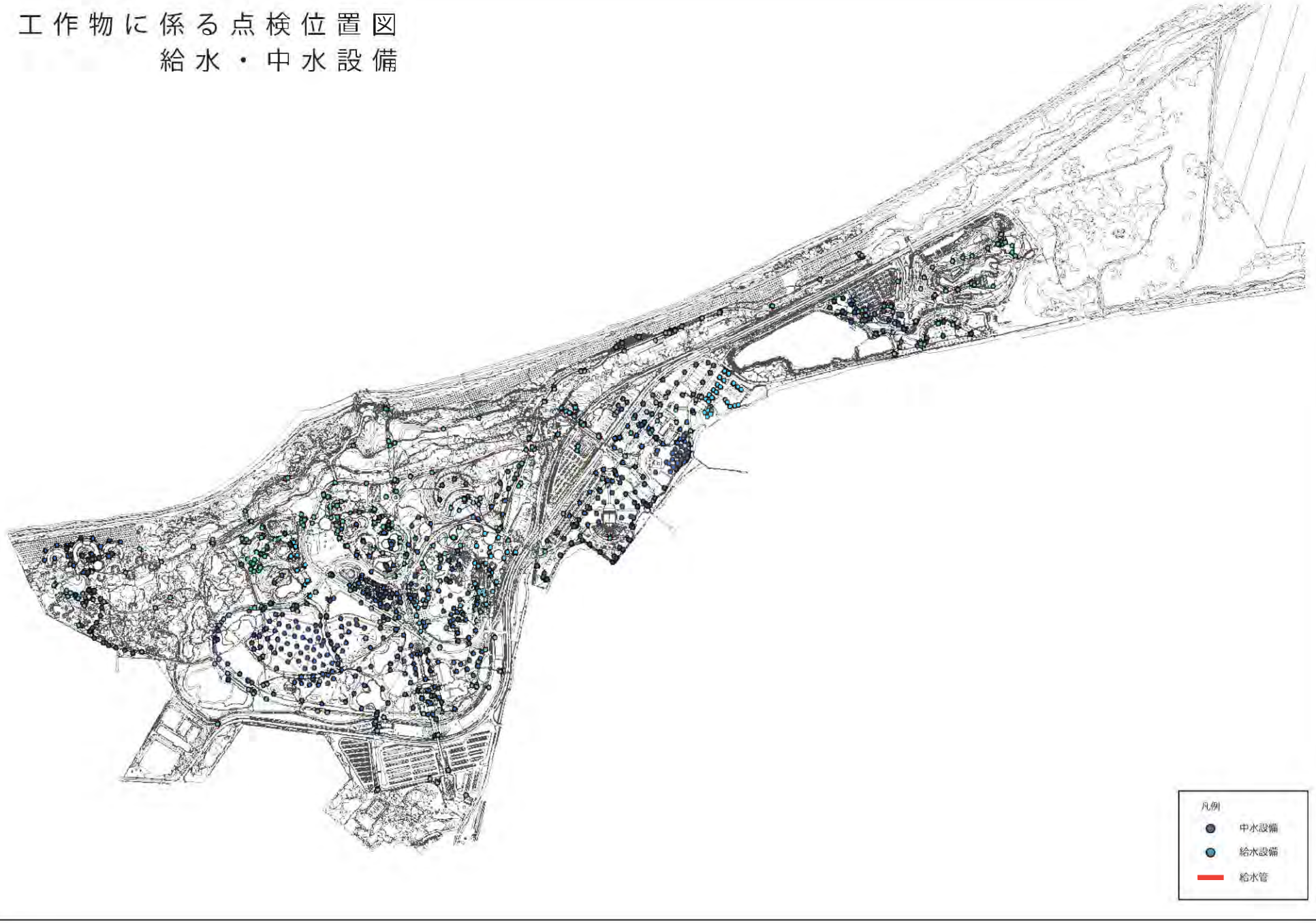
工作物に係る点検位置図
園路・広場



工作物に係る点検位置図
電気設備



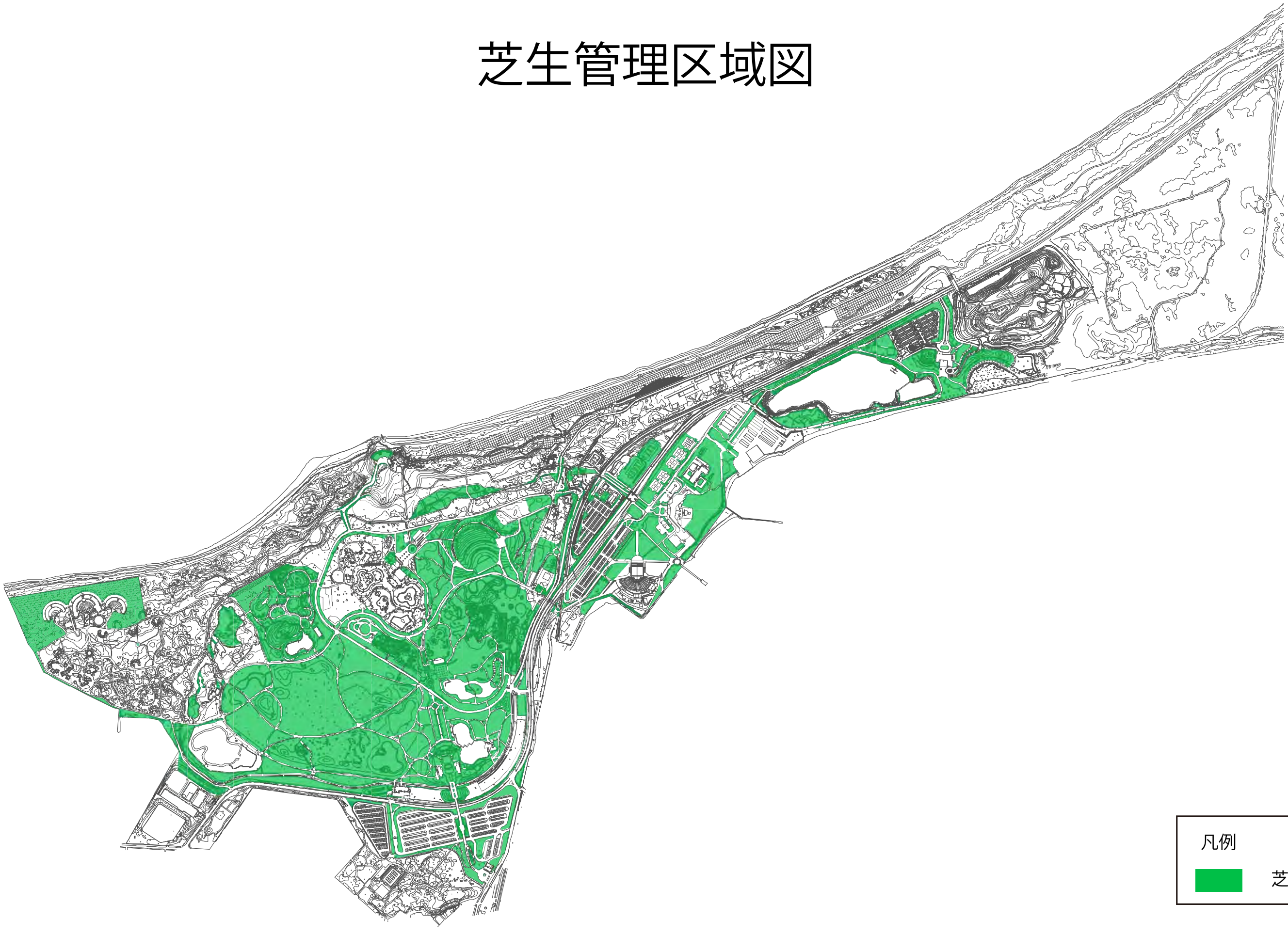
工作物に係る点検位置図
給水・中水設備



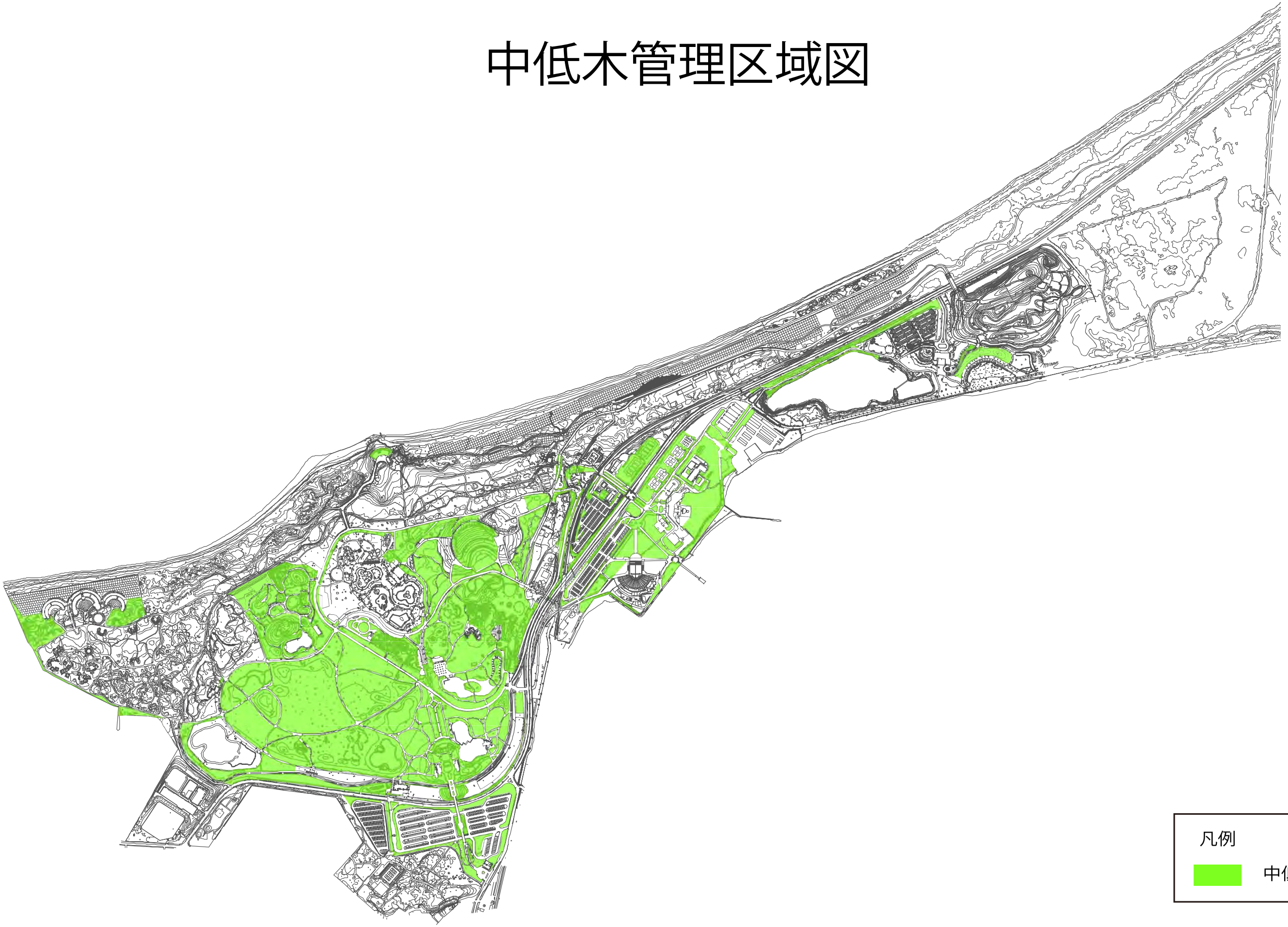
工作物に係る点検位置図
汚水・雨水設備



芝生管理区域图

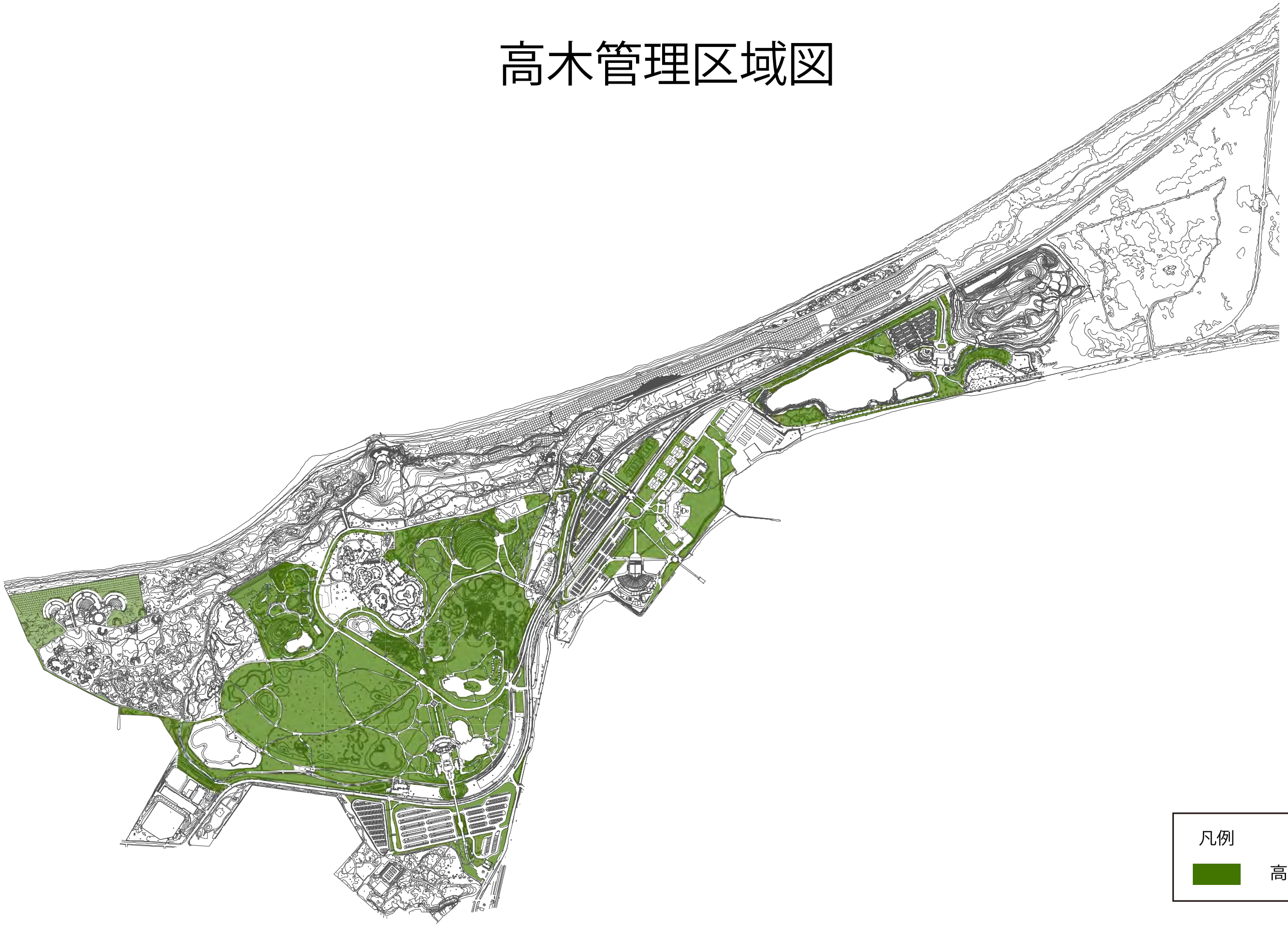


中低木管理区域図



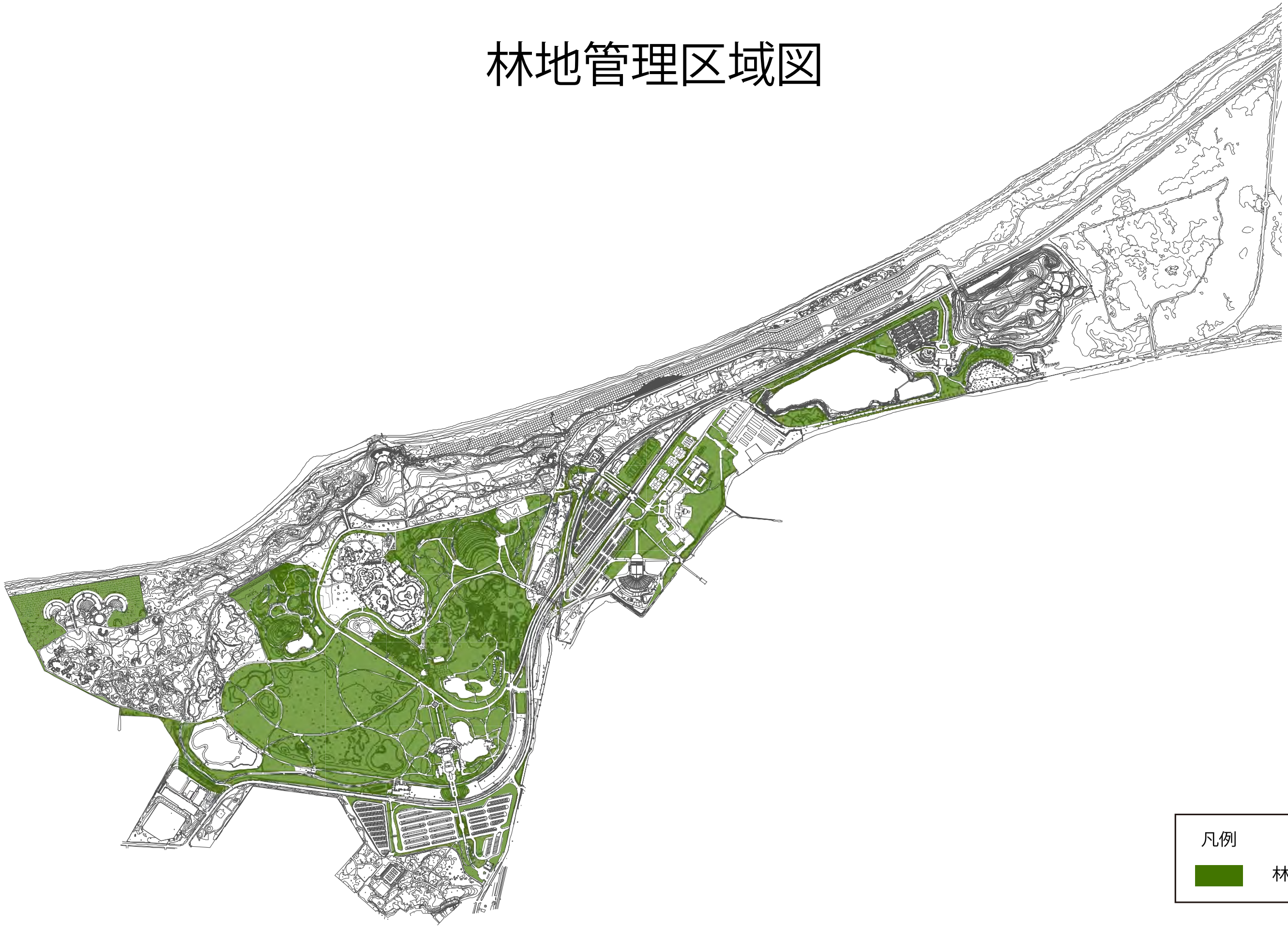
別添３１

高木管理区域図

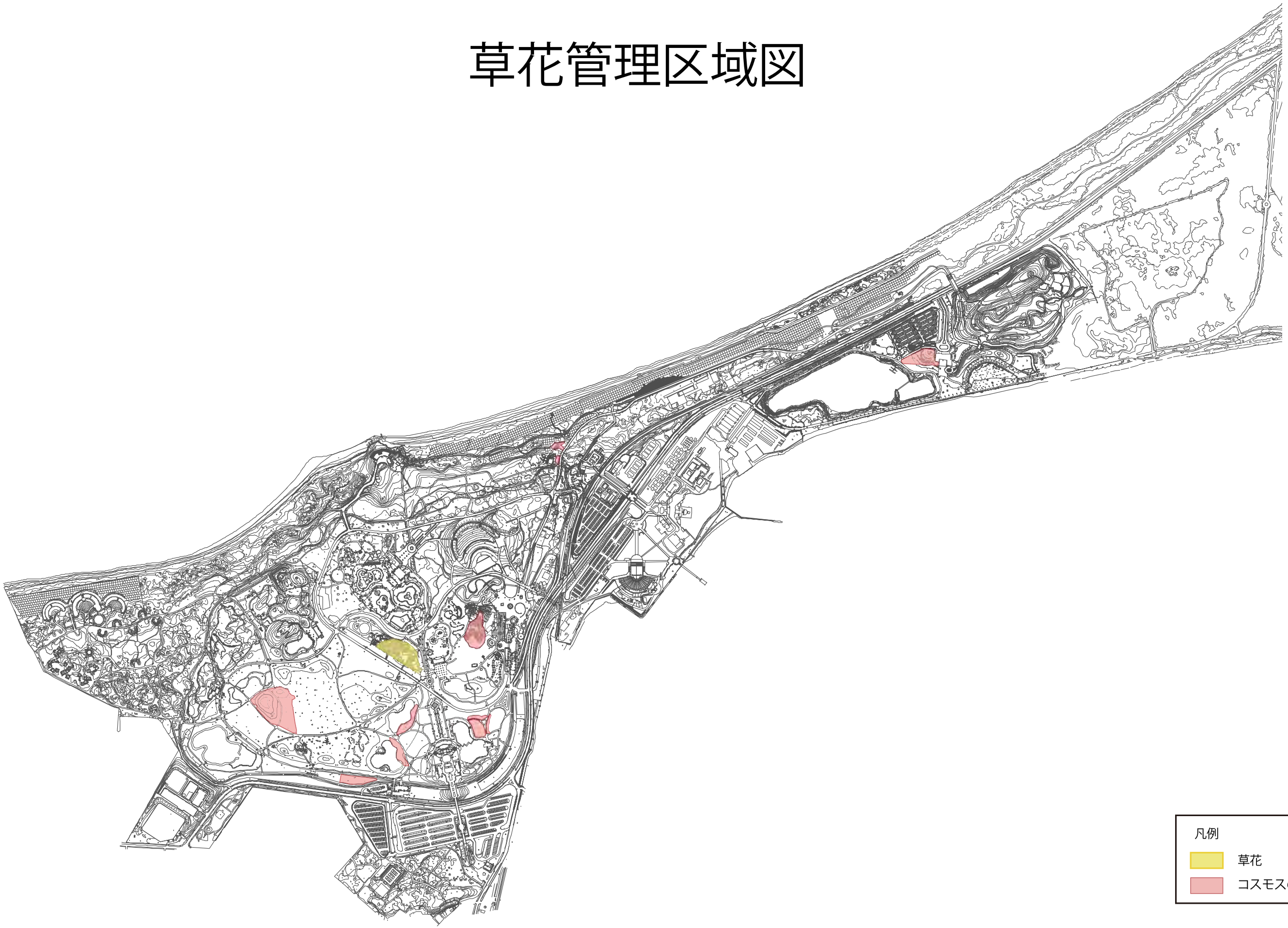


別添３２

林地管理区域图



草花管理区域図



別添３４

特殊管理区域図及びバラ園管理図



凡例

- バラ園
- その他の植物

別添３５

別添３６

異 動 報 告 書

平成27年2月28日現在

異 動 内 容					飼 育 頭 数			
月　日	分 類	動物名	増 減	異動原因	オス	メス	不明	合計
平成27年2月11日	哺乳	ボリビアリスザル	メス-1	死亡	29	69	0	98
平成27年2月25日	鳥	エジプトガン	メス-1	死亡	0	1	6	7
平成26年11月9日	哺乳	フサオマキザル	オス+1	繁殖	7	10	0	17
平成27年2月20日	哺乳		オス+1	性別確認				
平成27年2月20日	哺乳		不明-1	性別確認				
平成27年2月28日	哺乳	プレーリードッグ	オス+1 メス+2	性別確認	7	9	0	16
平成27年2月28日	哺乳	プレーリードッグ	不明-3	性別確認				

分類		動物名	頭数（前月）				繁殖・受入				死亡・搬出				頭数（今月末）				摘要	
			オス	メス	不明	計	オス	メス	不明	計	オス	メス	不明	計	オス	メス	不明	計		
目	科	哺乳類	127	227	4	358	3	2	0	5	0	1	4	5	130	228	0	358	未登録（哺乳類）	15
奇蹄	ウマ	ｱﾝｸﾞﾛｱﾗﾌﾞ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		ｻﾗﾌﾞﾚｯﾄ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		ｼｪｯﾄﾗﾝﾄﾞﾎﾟﾆｰ	3	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4		0
		ﾐﾆﾍﾟｯﾄﾎﾟﾆｰ	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2		0
		ｳｴﾙｯｼｭﾎﾟﾆｰ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1		0
		ﾛﾊﾞ	1	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3		0
偶蹄	ウシ	ﾋﾂｼﾞ	1	9	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	0	10		0
		ｼﾊﾞﾔｷﾞ	3	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	6		0
		ﾐﾆﾅｶﾞﾔｷﾞ	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2		0
		ﾄｶﾗﾔｷﾞ	2	3	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	5		0
	イノシシ	ﾍﾞﾄﾅﾑﾎﾟｯﾄﾍﾞﾘｰ	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4		0
		ﾆﾎﾝｲﾉｼｼ	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		0
	ﾗｸﾀﾞ	ﾗﾏ	3	8	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8	0	11		0
霊長	オマキザル	ｸﾛｸﾓｻﾞﾙ	2	4	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	6		0
		ﾌｻｵﾏｷｻﾞﾙ	5	10	1	16	2	0	0	2	0	0	1	1	7	10	0	17		0
		ﾎﾞﾘﾋﾞｱﾘｽｻﾞﾙ	29	70	0	99	0	0	0	0	0	1	0	1	29	69	0	98		0
ウサギ	ｳｻｷﾞ	ｲｴｳｻｷﾞ	8	16	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	8	16	0	24		0
		品種ｳｻｷﾞ（ﾐﾆﾚｯｷｽ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
齧　歯	ｶﾋﾟﾊﾞﾗ	ｶﾋﾟﾊﾞﾗ	1	6	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	7		0
	ﾃﾝｼﾞｸﾈｽﾞﾐ	ﾏｰﾗ	14	14	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	0	28		0
		ﾓﾙﾓｯﾄ	38	53	0	91	0	0	0	0	0	0	0	0	38	53	0	91		15
		ﾊﾂｶﾈｽﾞﾐ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	ｷﾇｹﾞﾈｽﾞﾐ	ｺﾞｰﾙﾃﾞﾝﾊﾑｽﾀｰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		ｼﾞｬﾝｶﾞﾘｱﾝﾊﾑｽﾀｰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	ﾘｽ	ﾌﾟﾚﾘｰﾄﾞｯｸﾞ	6	7	3	16	1	2	0	3	0	0	3	3	7	9	0	16		0
有袋	ｶﾝｶﾞﾙｰ	ｱｶｶﾝｶﾞﾙｰ	8	14	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	8	14	0	22		0
		ｱｶｸﾋﾞﾜﾗﾋﾞｰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
食虫	ﾊﾘﾈｽﾞﾐ	ﾖﾂﾕﾋﾞﾊﾘﾈｽﾞﾐ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		鳥類	40	36	90	166	0	0	0	0	1	0	0	1	39	36	90	165	未登録（鳥類）	0
ガンカモ	ｶﾞﾝｶﾓ	ﾏｶﾞﾓ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		ｶﾅﾀﾞｶﾞﾝ	1	3	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2	6		0
		ｴｼﾞﾌﾟﾄｶﾞﾝ	1	1	6	8	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	6	7		0
		ｻｶﾂﾗｶﾞﾝ	4	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	5		0
		ｵﾝﾄﾞﾘ	2	3	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	5		0
		ｱｶﾂｸｼｶﾞﾓ	3	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	6		0
		ﾂｸｼｶﾞﾓ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		ﾏｶﾞﾝ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		ｺﾌﾞﾊｸﾁｮｳ	1	1	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	6		0
		ｺｸﾁｮｳ	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		0
フラミンゴ	ﾌﾗﾐﾝｺﾞ	ﾍﾞﾆﾌﾗﾐﾝｺﾞ	7	0	13	20	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	13	20		0
		ﾁﾘﾌﾗﾐﾝｺﾞ	4	0	18	22	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	18	22		0
		ﾖｰﾛｯﾊﾟﾌﾗﾐﾝｺﾞ	6	6	16	28	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	16	28		0
キジ	ｷｼﾞ	ｲﾝﾄﾞｸｼﾞｬｸ	4	8	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8	0	12		0
		ﾆﾜﾄﾘ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	ﾎﾛﾎﾛﾁｮｳ	ﾎﾛﾎﾛﾁｮｳ	0	0	28	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	28		0
オウム	ｵｳﾑ	ﾀｲﾊｸｵｳﾑ	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2		0
	ｲﾝｺ	ﾙﾘｺﾝｺﾞｳｲﾝｺ	2	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	4		0
		ﾍﾞﾆｺﾝｺﾞｳｲﾝｺ	1	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	5		0
		ﾖｳﾑ	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2		0
		ｱｵﾎﾞｳｼｲﾝｺ	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		0
		ｷｴﾘﾎﾞｳｼｲﾝｺ	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		0
ツル	ﾂﾙ	ﾏﾅﾂﾞﾙ	2	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	4		0
		爬虫類	5	3	11	19	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	11	19	未登録（爬虫類）	0
カメ	ﾇﾏｶﾞﾒ	ﾆﾎﾝｲｼｶﾞﾒ	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2		0
		ｸｻｶﾞﾒ	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2		0
		ｱｶﾐﾐｶﾞﾒ	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6		0
		ﾄｳﾌﾞﾊｺｶﾞﾒ	3	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4		0
		ﾐﾂﾕﾋﾞﾊｺｶﾞﾒ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1		0
	ﾘｸｶﾞﾒ	ｴﾐｽﾑﾂｱｼｶﾞﾒ	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2		0
		ｹﾂﾞﾒﾘｸｶﾞﾒ	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		0
		ﾋｮｳﾓﾝﾘｸｶﾞﾒ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1		0
合　計			172	266	105	543	3	2	0	5	1	1	4	6	174	267	101	542	未登録総計	15

（例）

（番　号）
平成　　年　　月　　日

海の中道海浜公園管理者
国土交通省九州地方整備局
局長　　殿

申請者　住所
氏名　（企業等の団体名）
（代表者名）　　印

都市公園設置管理許可申請書

都市公園法第５条２項の許可を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

１．設置の目的	海の中道海浜公園において、自動販売機（清涼飲料水等）を設置し、公園利用者の利便の向上と公園の魅力の向上を図るため。	
２．設置の期間	自）平成28年４月１日 至）平成32年１月31日　　（３年１０ヶ月間）	
３．設置の場所	別図－〇のとおり	
４．設置施設の構造	別紙－〇のとおり	
５．設置施設の外観	色彩	白
	規模	別図－〇及び別紙面積計算書のとおり
	そのた	前面に海の中道海浜公園のロゴを挿入 屋外に設置するものについては、夜間、防犯シャッターに格納する。
６．設置施設の管理の方法	別添管理運営要領及び安全衛生計画書を遵守する	
７．工事（作業）の実施方法	トラックにより搬入し、人力により設置する。 設置面の平坦性・水準性を確認の上設置する。 作業の実施にあたっては、十分に国土交通省と調整を図る。	
８．工事（作業）の着手及び完了の時期	作業着手時期　平成　年　月　日 作業完了時期　平成　年　月　日 ※作業中は、公園利用者の快適な利用の妨げにならないよう十分な配慮をおこなう。	
９．都市公園の復旧の方法	原形復旧を基本とし、公園管理者の指示に従う。	
10. その他参考となるべき事項	販売品目及び価格については、別紙－〇のとおり	

（例）

（番　号）

平成　　年　　月　　日

海の中道海浜公園管理者
国土交通省九州地方整備局
　　局長　　殿

申請者　住所
　　氏名　（企業等の団体名）
　　（代表者名）　　印

都市公園設置管理許可申請書

都市公園法第５条２項の許可を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

１．管理の目的	海の中道海浜公園の便益施設（駐車場）を収益施設として運営するため。
２．管理の期間	自）平成 28 年４月１日 至）平成 32 年１月 31 日　　（３年１０ヶ月間）
３．管理の場所	別図－〇及び面積計算書のとおり
４．管理の方法	別添管理運営要領及び安全衛生計画書を遵守する
５．その他参考となるべき事項	施設利用料金については、別紙－〇のとおり

臨時物販施設等一覧

別添３８

【平成24年度】

行催事名	期間	場所	占用物件	数量	備考
フラワーピクニック2012	4/1 ～ 5/6	花時計横	仮設コンテナ	1	
	4/1 ～ 5/6		簡易テント	2	
	4/28 ～ 5/6		簡易テント	1	花苗販売
	4/1 ～ 5/6		移動販売車	1	
	4/1 ～ 5/6	動物の森レストハウス前	移動販売車	1	
	4/1 ～ 5/6		簡易テント	1	
	4/1 ～ 5/6	西口広場	簡易テント	1	
	4/21 ～ 5/6		仮設コンテナ	1	花苗販売
	4/21 ～ 5/6		簡易テント	1	花苗販売
	4/1 ～ 4/15	西口芝生広場	移動販売車	5	
	4/1 ～ 5/6	西サイクルセンター前	簡易テント	2	
	4/1 ～ 5/6		仮設コンテナ	1	
	4/7 ～ 5/6	子供の広場	移動販売車	5	
	4/7 ～ 5/6	大芝生広場	移動販売車	5	
	4/1 ～ 5/6	ワンダーワールド	仮設遊具	1	
	4/1 ～ 5/6		移動販売車	3	
第25回はるかぜマラソン大会	4/8	大芝生広場	簡易テント	7	
グルメイベント	4/21 ～ 4/22	大芝生広場	簡易テント	7	
	4/21 ～ 4/22		移動販売車	22	
アートバザール	4/28 ～ 5/6	子供の広場	簡易テント	9	
うみなかバラミュージアム2012	5/12 ～ 6/3	花時計横	仮設コンテナ	1	
	5/12 ～ 6/3		簡易テント	1	
	5/12 ～ 6/3		簡易テント	1	花苗販売
	5/12 ～ 6/3		移動販売車	1	
	5/12 ～ 6/3	バラ園	簡易テント	1	
	5/12 ～ 6/3		パーゴラ	1	花苗販売
	5/12 ～ 6/3	西口広場	簡易テント	1	
	5/12 ～ 5/20		仮設コンテナ	1	花苗販売
	5/12 ～ 5/20		簡易テント	1	花苗販売
	5/12 ～ 6/3	西サイクルセンター前	簡易テント	2	
	5/12 ～ 6/3		仮設コンテナ	1	
	5/12 ～ 6/3	子供の広場	移動販売者	1	
	5/12 ～ 6/3		簡易テント	1	
野外コンサート	5/19	野外劇場	簡易テント	12	
夏期繁忙期	7/14 ～ 9/23	西口広場	移動販売車	1	
	7/14 ～ 9/23		簡易テント	2	
	7/14 ～ 9/23	西サイクルセンター前	簡易テント	1	
	7/14 ～ 9/23	花時計横	移動販売車	1	
	7/14 ～ 9/23		簡易テント	1	
	7/14 ～ 9/23	中央駐車場売店横	仮設コンテナ	1	
	7/14 ～ 9/23		簡易テント	1	
野外コンサート	7/28 ～ 7/29	野外劇場	簡易テント	24	
	7/28 ～ 7/29		移動販売車	1	
秋季繁忙期	9/22 ～ 11/11	動物の森レストハウス前	簡易テント	1	
	9/22 ～ 11/11		移動販売車	1	
	9/29 ～ 11/11	西口広場	簡易テント	1	
	9/29 ～ 11/11	西サイクルセンター前	簡易テント	1	
	9/29 ～ 11/11	中央駐車場売店横	簡易テント	4	
	9/29 ～ 11/11		仮設コンテナ	1	
	9/29 ～ 11/11	花時計横	簡易テント	1	
	9/29 ～ 11/11		移動販売車	1	

	9/29 ～ 11/11	子供の広場	移動販売車	5	
	9/29 ～ 11/11	大芝生広場	移動販売車	4	
	9/29 ～ 10/21		簡易テント	1	撮影サービス
	9/29 ～ 10/21		撮影台	1	撮影サービス
	9/29 ～ 11/11	ワンダーワールド	簡易テント	2	
	9/29 ～ 11/11		仮設コンテナ	1	
	9/29 ～ 11/11		移動販売車	2	
	9/29 ～ 10/14	西口カナール	簡易テント	1	
	9/29 ～ 11/11		移動販売車	1	
	10/20 ～ 11/11	バラ園	簡易テント	1	
	10/20 ～ 11/11		パーゴラ	1	花苗販売
	10/20 ～ 11/11		簡易テント	1	撮影サービス
	10/20 ～ 11/11		撮影台	1	撮影サービス
トライアスロンフェスタ	10/7	プールゲート前	簡易テント	3	
まごころショップ	10/20 ～ 10/28	西口カナール	簡易テント	2	
	10/20 ～ 10/28	子供の広場	簡易テント	1	
リレーマラソン大会	11/3	大芝生広場	簡易テント	2	
福岡県民さわやかマラソン	11/18	大芝生広場	簡易テント	6	
クリスマスキャンドルナイト	12/22 ～ 12/24	野外劇場	移動販売車	3	
	12/22 ～ 12/24		簡易テント	1	撮影サービス
	12/22 ～ 12/24		撮影台	2	撮影サービス
福岡国際クロスカントリー	2/23	大芝生広場	簡易テント	3	
	2/23		移動販売車	3	
第26回はるかぜマラソン大会	3/24	大芝生広場	簡易テント	7	
	3/24		移動販売車	3	
フラワーピクニック2013	3/30 ～ 3/31	動物の森レストハウス前	簡易テント	1	
	3/30 ～ 3/31		移動販売車	1	
	3/30 ～ 3/31	子供の広場	簡易テント	1	
	3/30 ～ 3/31	西サイクルセンター前	簡易テント	1	
	3/30 ～ 3/31	マリン駐車場売店横	簡易テント	4	
	3/30 ～ 3/31		仮設コンテナ	1	
	3/30 ～ 3/31	花時計横	簡易テント	1	
	3/30 ～ 3/31		移動販売車	1	
	3/30 ～ 3/31	ワンダーワールド	移動販売車	3	
	3/30 ～ 3/31		仮設遊具	1	
	3/30 ～ 3/31	彩りの花壇	簡易テント	1	撮影サービス
	3/30 ～ 3/31		撮影台	1	撮影サービス

臨時物販施設等一覧

【平成25年度】

行催事名	期間	場所	占用物件	数量	備考
フラワーピクニック2013	4/6 ～ 5/6	動物の森レストハウス前	簡易テント	1	
	4/6 ～ 5/6		移動販売車	1	
	4/6 ～ 5/6	子供の広場	簡易テント	1	
	4/6 ～ 5/6		移動販売車	4	
	4/6 ～ 5/6	西サイクルセンター前	簡易テント	1	
	4/6 ～ 5/6	マリン駐車場売店横	簡易テント	4	
	4/6 ～ 5/6		仮設コンテナ	1	
	4/6 ～ 5/6	花時計横	簡易テント	1	
	4/6 ～ 5/6		移動販売車	1	
	4/6 ～ 5/6		仮設コンテナ	1	
	4/6 ～ 5/6	ワンダーワールド	移動販売車	3	
	4/6 ～ 5/6		仮設遊具	1	
	4/6 ～ 4/14	彩りの花壇	簡易テント	1	撮影サービス
	4/6 ～ 4/14		撮影台	1	撮影サービス
	4/6 ～ 5/6	大芝生広場	移動委販売車	4	
	4/15 ～ 5/6		簡易テント	1	撮影サービス
	4/15 ～ 5/6		撮影台	1	撮影サービス
	4/6 ～ 5/6	西口広場	移動販売車	6	
グルメイベント	4/27 ～ 4/29	大芝生広場	簡易テント	2	
	4/27 ～ 4/29		仮設遊具	3	
	4/27 ～ 4/29		移動販売車	19	
うみなかバラまつり	5/11 ～ 6/2	花時計横	仮設コンテナ	1	
	5/11 ～ 6/2		簡易テント	1	
	5/11 ～ 6/2		移動販売車	1	
	5/11 ～ 6/2	バラ園	簡易テント	1	
	5/11 ～ 6/2		簡易テント	1	撮影サービス
	5/11 ～ 6/2		撮影台	1	撮影サービス
	5/11 ～ 6/2	西口芝生広場	簡易テント	1	
	5/11 ～ 6/2		仮設コンテナ	1	
	5/11 ～ 6/2	子供の広場	簡易テント	1	
	5/11 ～ 6/2	西サイクルセンター前	簡易テント	1	
	5/11 ～ 6/2	マリン駐車場売店横	簡易テント	4	
	5/11 ～ 6/2		仮設コンテナ	1	
野外コンサート	5/18	野外劇場	移動販売車	2	
	5/18		簡易テント	24	
夏期繁忙期	7/21 ～ 9/23	西口広場	移動販売車	1	
	7/21 ～ 9/23		簡易テント	2	
	7/21 ～ 9/23	西サイクルセンター前	簡易テント	1	
	7/21 ～ 9/23	花時計横	移動販売車	1	
	7/21 ～ 9/23		簡易テント	1	
	7/21 ～ 9/23	マリン駐車場売店横	仮設コンテナ	1	
	7/21 ～ 9/23		簡易テント	4	
	7/21 ～ 9/23	海の中道駅口	簡易テント	1	

野外コンサート	7/27	野外劇場	簡易テント	14	
秋季繁忙期	9/28 ～ 11/10	動物の森レストハウス前	簡易テント	1	
	9/28 ～ 11/10		移動販売車	1	
	9/28 ～ 11/10	西口広場	簡易テント	1	
	9/28 ～ 11/10	西サイクルセンター前	簡易テント	1	
	9/28 ～ 11/10	マリン駐車場売店横	簡易テント	4	
	9/28 ～ 11/10		仮設コンテナ	1	
	9/28 ～ 11/10	花時計横	簡易テント	1	
	9/28 ～ 11/10		移動販売車	1	
	10/5 ～ 11/10		仮設コンテナ	1	
	9/28 ～ 11/10	子供の広場	移動販売車	7	
	9/28 ～ 11/24	大芝生広場	移動販売車	7	
	9/28 ～ 11/10		簡易テント	1	撮影サービス
	9/28 ～ 11/10		撮影台	1	撮影サービス
	9/28 ～ 11/10	ワンダーワールド	移動販売車	2	
	11/9 ～ 11/10	バラ園	簡易テント	1	
	9/28 ～ 11/10		簡易テント	1	撮影サービス
	9/28 ～ 11/10		撮影台	1	撮影サービス
トライアスロンフェスタ	9/28 ～ 9/29	プールゲート前	簡易テント	5	
ふるさとマルシェ &まごころショップ	10/13 ～ 10/14	子供の広場	簡易テント	14	
	10/13 ～ 10/14		移動販売車	3	
福岡県民さわやかマラソン	11/17	大芝生広場	簡易テント	8	
クリスマスキャンドルナイト	12/23 ～ 12/25	野外劇場	移動販売車	3	
	12/23 ～ 12/25		簡易テント	1	撮影サービス
	12/23 ～ 12/25		撮影台	2	撮影サービス
	12/23 ～ 12/25	ワンダーワールド口	簡易テント	1	
福岡国際クロスカントリー	2/22	大芝生広場	簡易テント	3	
	2/22		移動販売車	3	
スイーツマラソン大会	3/9	大芝生広場	簡易テント	19	
	3/9		移動販売車	5	
第27回はるかぜマラソン大会	3/23	大芝生広場	簡易テント	5	
	3/23		移動販売車	4	
フラワーピクニック2014	3/29 ～ 3/30	動物の森レストハウス前	簡易テント	1	
	3/29 ～ 3/30		移動販売車	1	
	3/29 ～ 3/30	子供の広場	簡易テント	1	
	3/29 ～ 3/30	西サイクルセンター前	簡易テント	1	
	3/29 ～ 3/30	花時計横	簡易テント	1	
	3/29 ～ 3/30		移動販売車	1	
	3/29 ～ 3/30	ワンダーワールド	移動販売車	3	
	3/29 ～ 3/30		仮設コンテナ	1	
	3/29 ～ 3/31	彩りの花壇	簡易テント	1	撮影サービス
	3/29 ～ 3/31		撮影台	1	撮影サービス

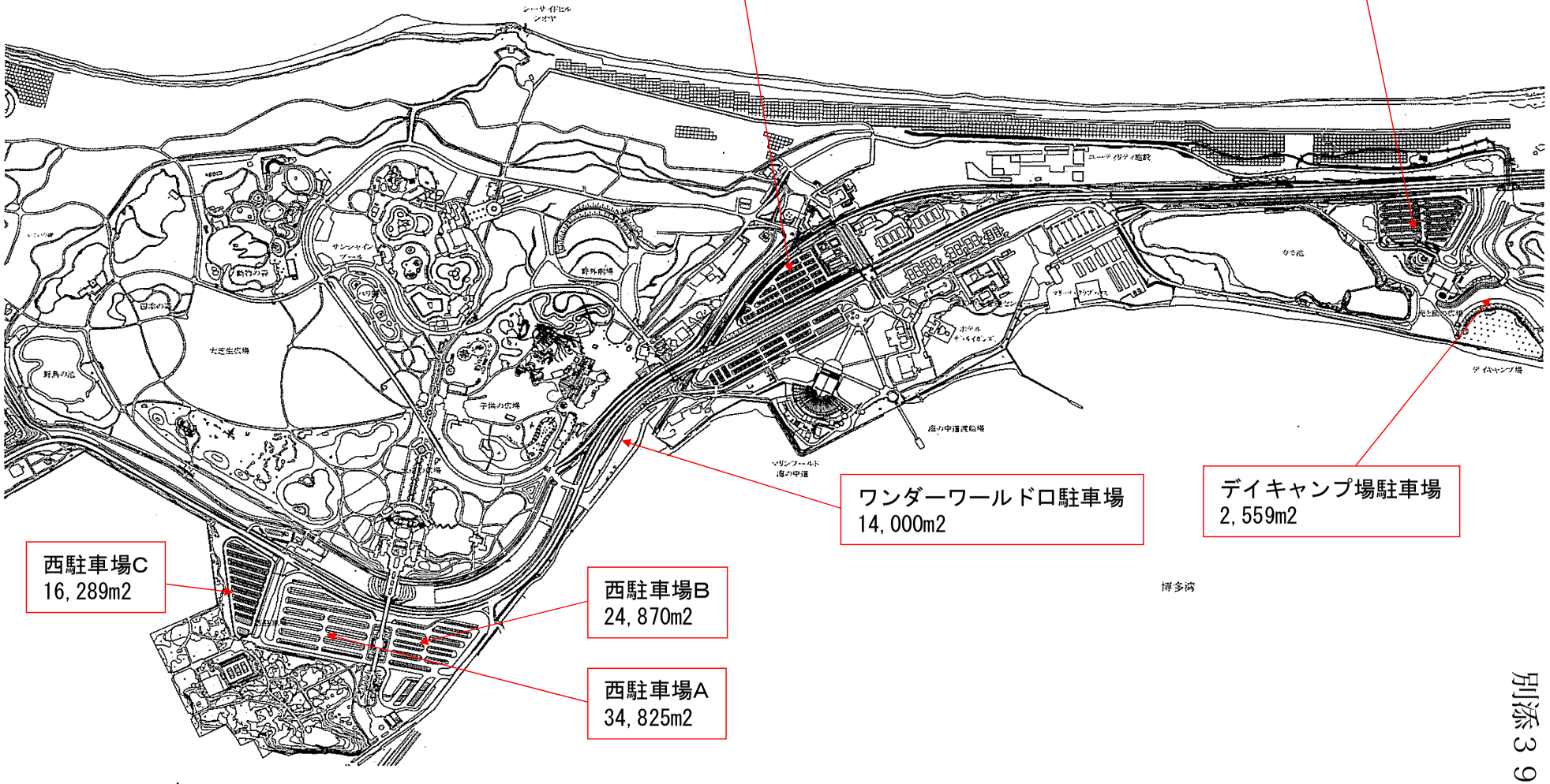
臨時物販施設等一覧

【平成26年度】

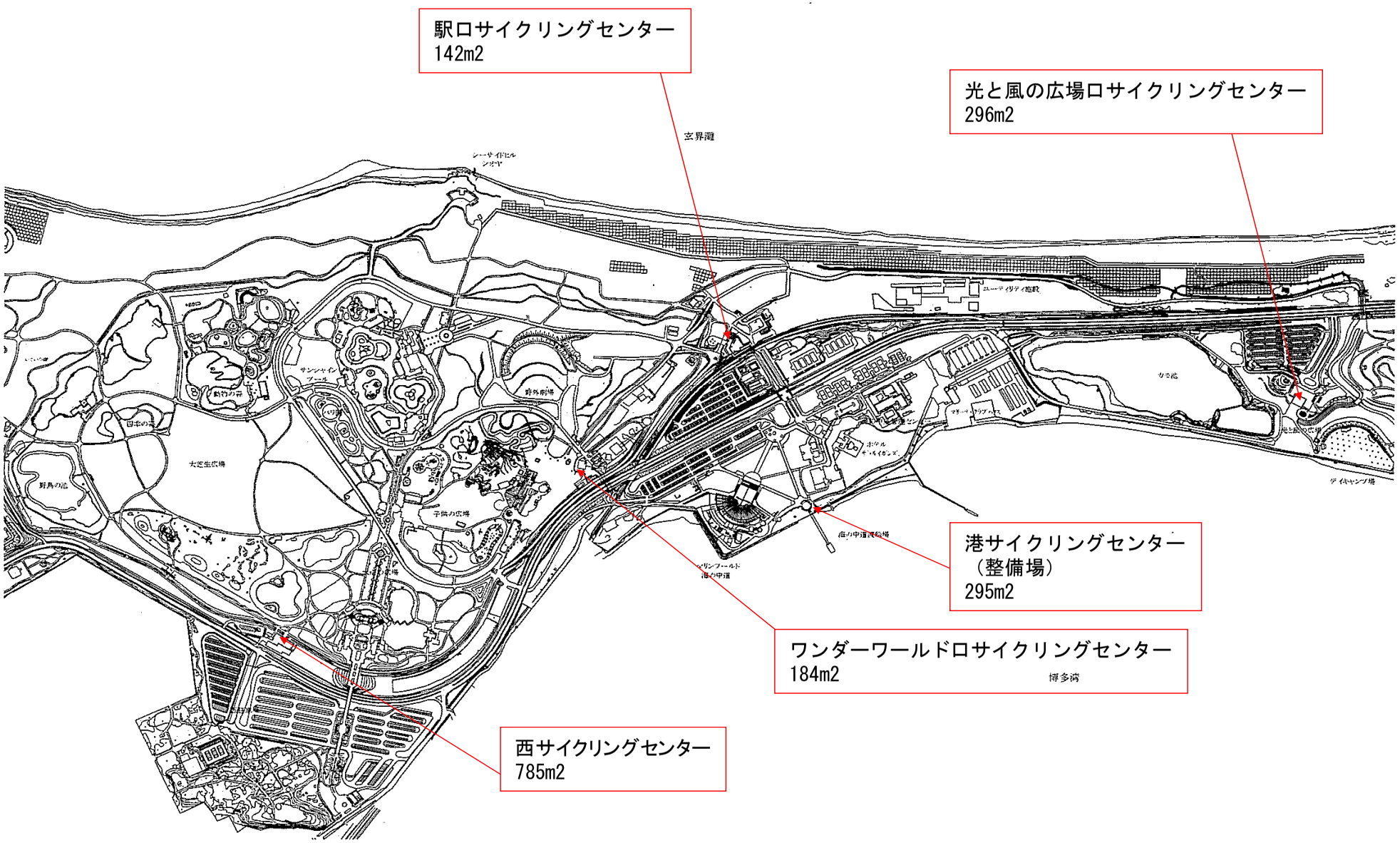
行催事名	期間	場所	占用物件	数量	備考
フラワーピクニック2014	4/5 ～ 5/6	動物の森レストハウス前	簡易テント	1	
	4/5 ～ 5/6		移動販売車	1	
	4/5 ～ 5/6	子供の広場	簡易テント	1	
	4/19 ～ 5/6		移動販売車	6	
	4/5 ～ 5/6	西サイクルセンター前	簡易テント	1	
	4/5 ～ 5/6	マリン駐車場売店横	移動販売車	2	
	4/5 ～ 5/6	花時計横	簡易テント	2	
	4/5 ～ 5/6		移動販売車	1	
	4/5 ～ 5/6		仮設コンテナ	1	
	4/5 ～ 5/6	ワンダーワールド	移動販売車	3	
	4/5 ～ 5/6		仮設コンテナ	1	
	4/5 ～ 5/6	彩りの花壇	簡易テント	1	撮影サービス
	4/5 ～ 5/6		撮影台	1	撮影サービス
	4/12 ～ 5/6	大芝生広場	移動委販売車	6	
	4/5 ～ 5/6		簡易テント	1	撮影サービス
	4/5 ～ 5/6		撮影台	1	撮影サービス
	4/5 ～ 4/13	西口広場	移動販売車	6	
グルメイベント	4/26 ～ 4/29	大芝生広場	簡易テント	5	
	4/26 ～ 4/29		移動販売車	31	
うみなかバラまつり	5/10 ～ 6/1	花時計横	仮設コンテナ	1	
	5/10 ～ 6/1		簡易テント	1	
	5/10 ～ 6/1		移動販売車	1	
	5/10 ～ 6/1	バラ園	簡易テント	1	撮影サービス
	5/10 ～ 6/1		撮影台	1	撮影サービス
	5/10 ～ 6/1	子供の広場	簡易テント	1	
	5/10 ～ 6/1	西サイクルセンター前	簡易テント	1	
野外コンサート	5/17	野外劇場	簡易テント	28	
夏期繁忙期	7/12 ～ 9/28	西口広場	移動販売車	1	
	7/12 ～ 9/28		簡易テント	2	
	7/12 ～ 9/28	西サイクルセンター前	簡易テント	1	
	7/12 ～ 7/27	花時計横	移動販売車	1	
	7/12 ～ 7/27		簡易テント	1	
	9/6 ～ 9/28		移動販売車	1	
	9/6 ～ 9/28		簡易テント	1	
	7/12 ～ 9/28	マリン駐車場売店横	移動販売車	1	
	8/2 ～ 8/31	海の中道駅口	移動販売車	1	
	8/2 ～ 8/31		簡易テント	1	
野外コンサート	7/13	野外劇場	簡易テント	28	
	7/13		仮設コンテナ	1	
野外コンサート	7/26 ～ 7/27	野外劇場	簡易テント	25	

アウトドアイベント	9/20 ～ 9/21	光と風の広場	簡易テント	21	
秋季繁忙期	10/4 ～ 11/9	動物の森レストハウス前	簡易テント	1	
	10/4 ～ 11/9		移動販売車	1	
	10/4 ～ 11/9	西サイクルセンター前	簡易テント	1	
	10/4 ～ 11/9	マリン駐車場売店横	移動販売車	2	
	10/4 ～ 11/9	花時計横	簡易テント	1	
	10/4 ～ 11/9		移動販売車	1	
	10/4 ～ 11/9		仮設コンテナ	1	
	10/4 ～ 11/9	子供の広場	簡易テント	1	
	10/4 ～ 11/9		移動販売車	5	
	10/4 ～ 11/9	大芝生広場	移動販売車	6	
	10/4 ～ 11/9		簡易テント	1	撮影サービス
	10/4 ～ 11/9		撮影台	1	撮影サービス
	10/4 ～ 11/9	ワンダーワールド	移動販売車	3	
	10/4 ～ 11/9		仮設コンテナ	1	
	10/4 ～ 11/9		仮設遊具	1	
	10/4 ～ 11/9	バラ園	簡易テント	1	撮影サービス
	10/4 ～ 11/9		撮影台	1	撮影サービス
トライアスロンフェスタ	10/5	プールゲート前	簡易テント	4	
Color me rad	11/22	野外劇場	簡易テント	1	
	11/22		移動販売車	5	
リレーマラソン大会	11/23	大芝生広場	移動販売車	3	
福岡県民さわやかマラソン	11/30	大芝生広場	簡易テント	10	
	11/30		移動販売車	4	
クリスマスキャンドルナイト	12/23 ～ 12/25	野外劇場	移動販売車	2	
	12/23 ～ 12/25		簡易テント	3	
	12/23 ～ 12/25		簡易テント	1	撮影サービス
	12/23 ～ 12/25		撮影台	2	撮影サービス
	12/23 ～ 12/25	ワンダーワールド口	簡易テント	1	
福岡国際クロスカントリー	2/21	大芝生広場	簡易テント	3	
	2/21		移動販売車	3	
スイーツマラソン大会	3/9	大芝生広場	簡易テント	14	
	3/9		移動販売車	5	
第28回はるかぜマラソン大会	3/22	大芝生広場	簡易テント	5	
	3/22		移動販売車	3	
フラワーピクニック2015	3/28 ～ 3/29	動物の森レストハウス前	簡易テント	1	
	3/28 ～ 3/29		移動販売車	1	
	3/28 ～ 3/29	子供の広場	簡易テント	1	
	3/28 ～ 3/29	西サイクルセンター前	簡易テント	1	
	3/28 ～ 3/29	マリン駐車場売店横	移動販売車	2	
	3/28 ～ 3/29	花時計横	簡易テント	2	
	3/28 ～ 3/29		移動販売車	1	
	3/28 ～ 3/29		仮設コンテナ	1	
	3/28 ～ 3/29	ワンダーワールド	移動販売車	1	
	3/28 ～ 3/29		仮設コンテナ	1	
	3/28 ～ 3/29	西口広場	移動販売車	5	
	3/28 ～ 3/29	彩りの花壇	簡易テント	1	撮影サービス
	3/28 ～ 3/29		撮影台	1	撮影サービス

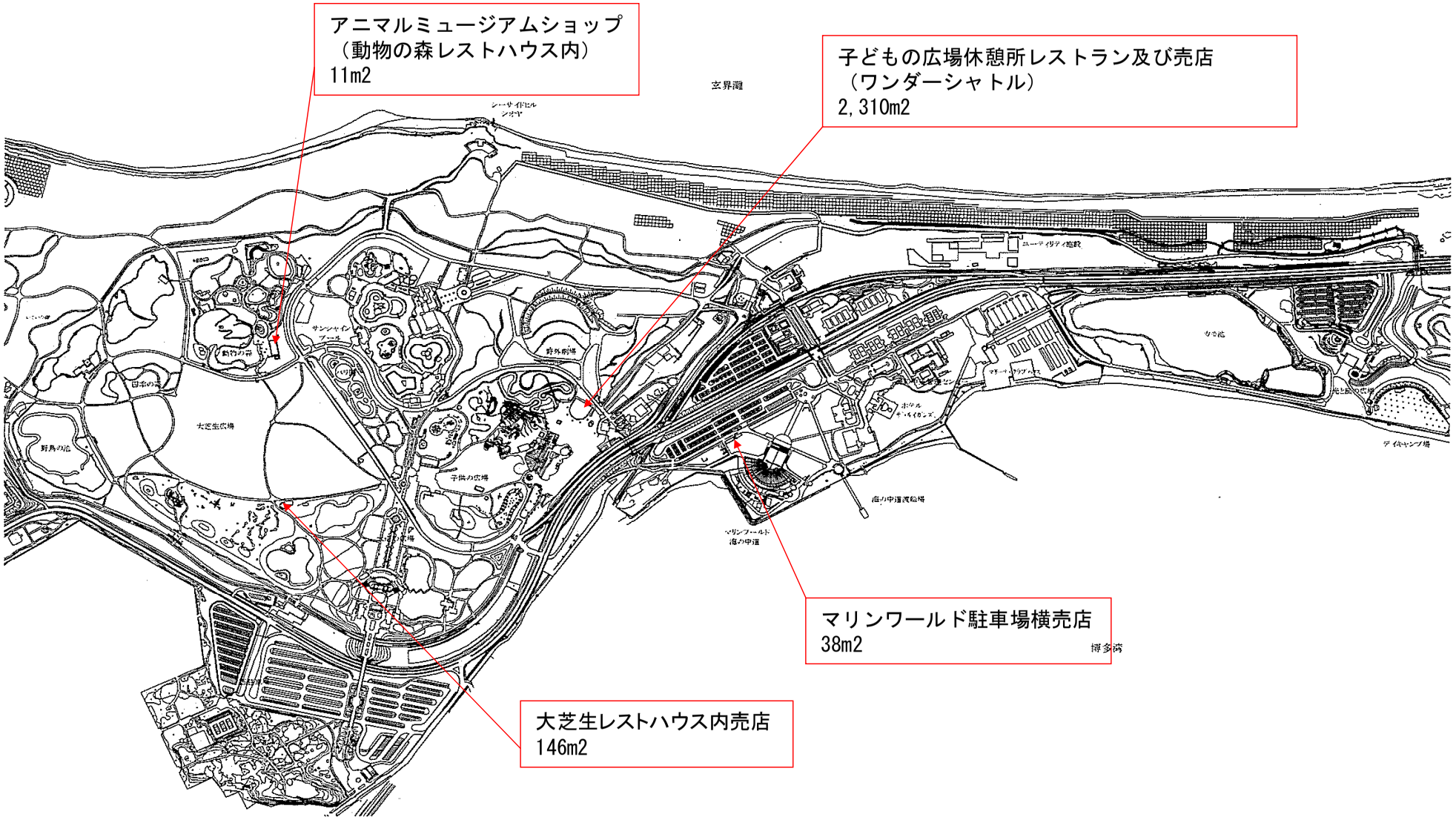
収益事業施設(駐車場)


海の中道駅口駐車場
18,464m2
光と風の広場駐車場
17,115m2
ワンダーワールド口駐車場
14,000m2
デイキャンプ場駐車場
2,559m2
西駐車場C
16,289m2
西駐車場B
24,870m2
西駐車場A
34,825m2
玄界灘
博多湾

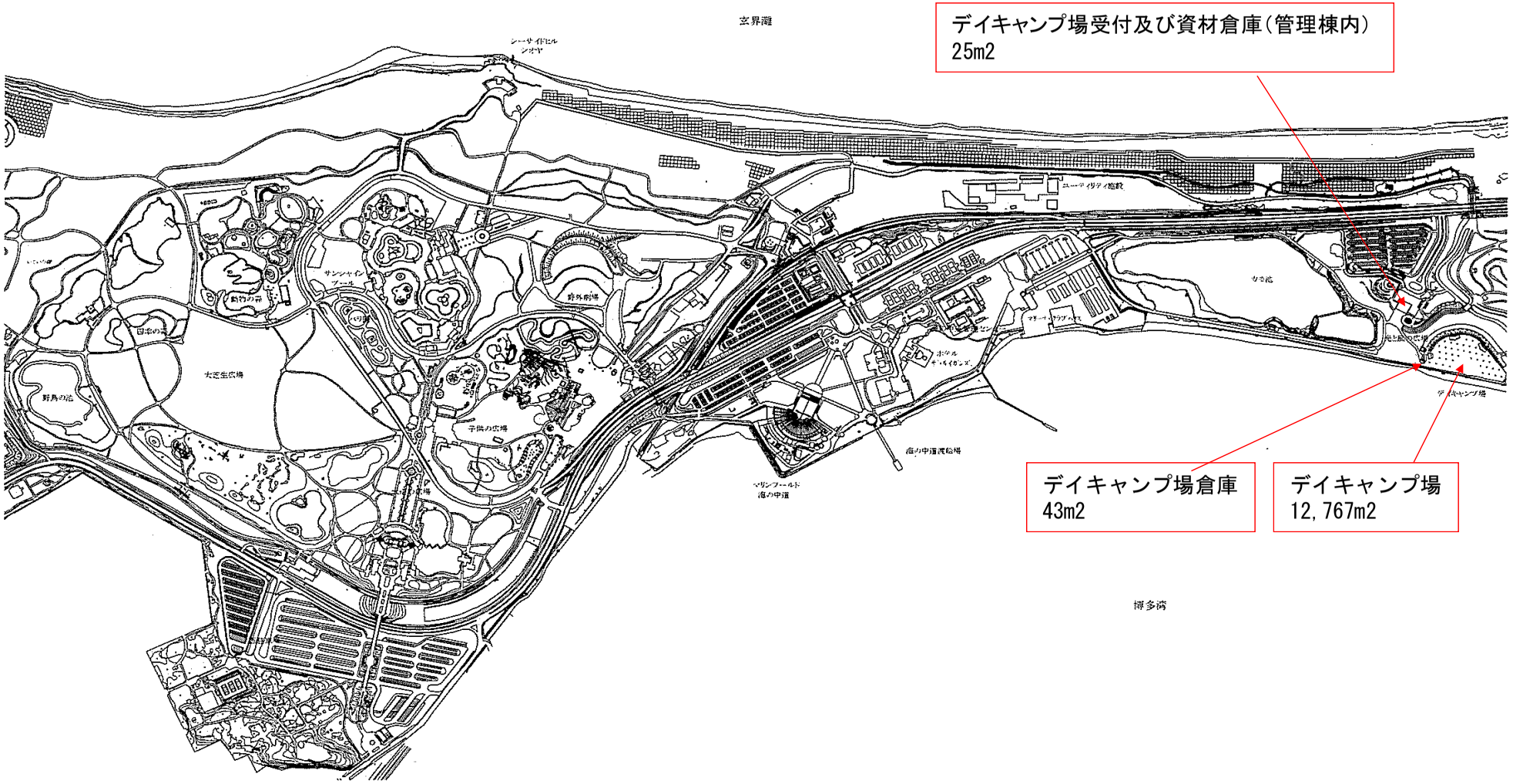
収益事業施設(レンタサイクル施設)



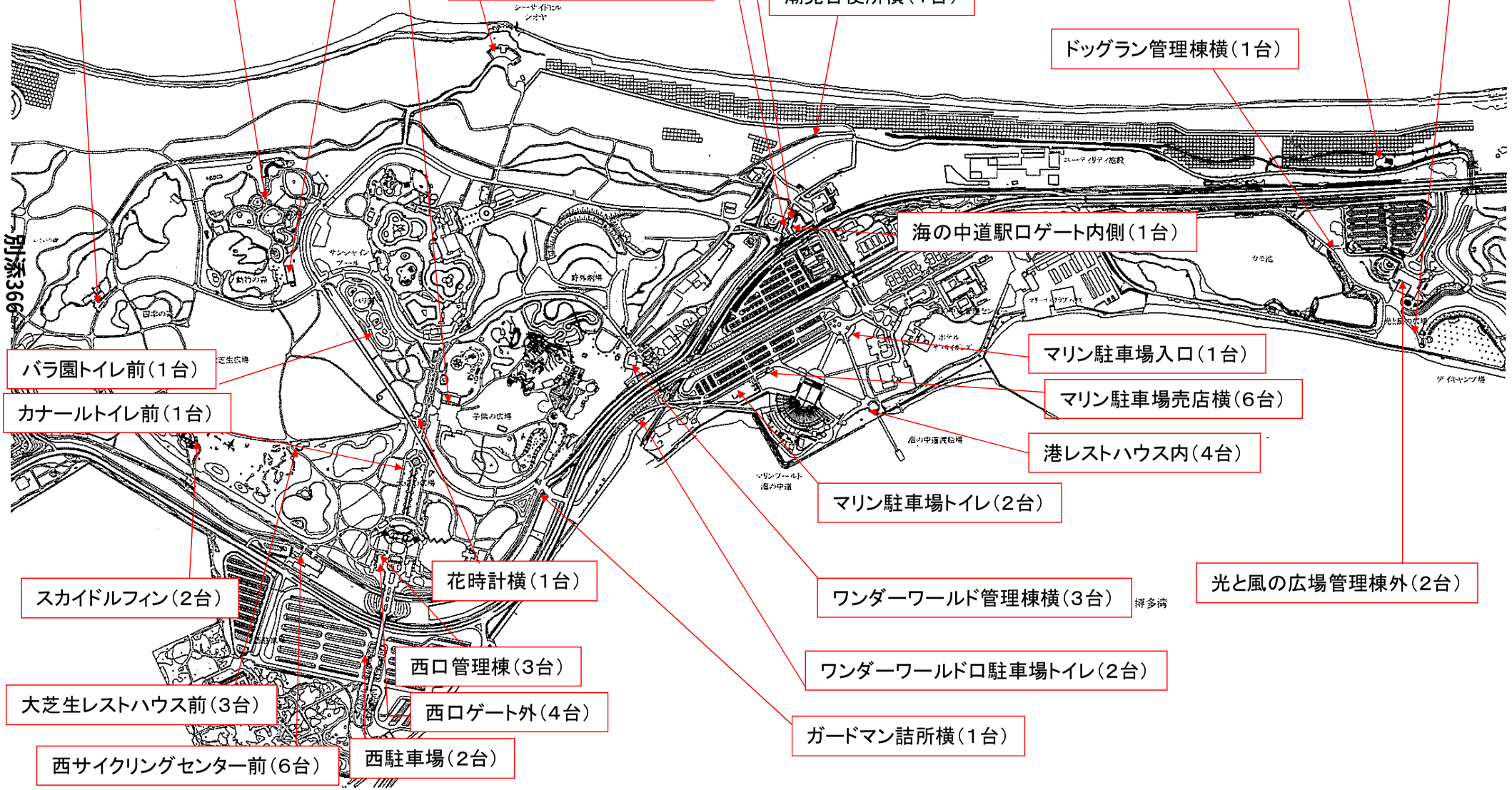
収益事業施設(飲食・物販施設)



収益事業施設（デイキャンプ場）



収益事業施設運営対象区域図
（自動販売機[清涼飲料水]）



別紙　清涼飲料水等自動販売機　面積計算書

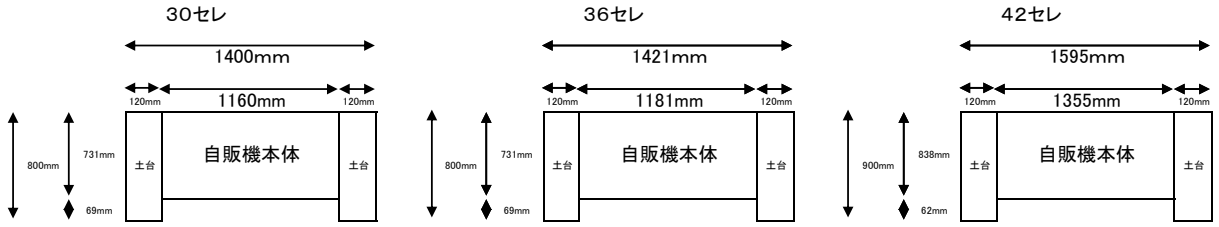
No.	種　類	設　置　場　所	占用物件(㎡)					設置数	面積(㎡)屋外	面積(㎡)屋内	備考	
1	清涼飲料水自動販売機	海の松原便所横	1.4000m	×	1.0000m	＝	1.4000㎡	1	1.4000㎡		格納施設設置	30セレ
2	清涼飲料水自動販売機	ドッグラン管理棟	1.4210m	×	0.8000m	＝	1.1368㎡	1		1.1368㎡		36セレ
3	清涼飲料水自動販売機	光と風の広場管理棟外	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	2	2.8420㎡		格納施設設置	36セレ
4	清涼飲料水自動販売機	マリンワールド駐車場売店横	1.4000m	×	1.4000m	＝	1.9600㎡	3	5.8800㎡		格納施設設置(庇付)	30セレ
5	清涼飲料水自動販売機	マリンワールド駐車場売店横	1.5950m	×	1.4000m	＝	2.2330㎡	3	6.6990㎡		格納施設設置(庇付)	42セレ
6	清涼飲料水自動販売機	港レストハウス内	1.4210m	×	0.8000m	＝	1.1368㎡	1		1.1368㎡		36セレ
7	清涼飲料水自動販売機	港レストハウス内	1.4000m	×	0.8000m	＝	1.1200㎡	1		1.1200㎡		30セレ
8	冷菓自動販売機	港レストハウス内	1.2400m	×	0.8000m	＝	0.9920㎡	1		0.9920㎡		冷菓類
9	スナック菓子自動販売機	港レストハウス内	1.0970m	×	0.9000m	＝	0.9873㎡	1		0.9873㎡		菓子類
10	清涼飲料水自動販売機	ワンダーワールド管理棟横	1.4210m	×	0.8000m	＝	1.1368㎡	2	2.2736㎡		固定シャッター設置	36セレ
11	冷菓自動販売機	ワンダーワールド管理棟横	1.2400m	×	0.8000m	＝	0.9920㎡	1	0.9920㎡		固定シャッター設置	アイス
12	清涼飲料水自動販売機	海の中道駅口外側	1.5950m	×	1.0000m	＝	1.5950㎡	1	1.5950㎡		格納施設設置	42セレ
13	清涼飲料水自動販売機	海の中道駅口外側	1.1090m	×	1.0000m	＝	1.1090㎡	1	1.1090㎡		格納施設設置	ﾊﾟｯｸ
14	清涼飲料水自動販売機	海の中道駅口ゲート内側	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	1	1.4210㎡		格納施設設置	36セレ
15	清涼飲料水自動販売機	海の中道駅休憩所	1.4000m	×	0.8000m	＝	1.1200㎡	1		1.1200㎡		30セレ
16	清涼飲料水自動販売機	海の中道駅休憩所	1.4210m	×	0.8000m	＝	1.1368㎡	1		1.1368㎡		36セレ
17	冷菓自動販売機	海の中道駅休憩所	1.2400m	×	0.8000m	＝	0.9920㎡	1		0.9920㎡		冷菓類
18	スナック菓子自動販売機	海の中道駅休憩所	1.0970m	×	0.9000m	＝	0.9873㎡	1		0.9873㎡		菓子類
19	清涼飲料水自動販売機	潮見台便所横	1.4000m	×	1.0000m	＝	1.4000㎡	1	1.4000㎡		格納施設設置	30セレ
20	清涼飲料水自動販売機	シーサイドヒルシオヤ	1.4210m	×	0.8000m	＝	1.1368㎡	1		1.1368㎡		36セレ
21	清涼飲料水自動販売機	ガードマン詰所横	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	1	1.4210㎡		格納施設設置	36セレ
22	清涼飲料水自動販売機	花時計横	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	1	1.4210㎡		格納施設設置	36セレ
23	清涼飲料水自動販売機	子供の広場管理棟	1.5950m	×	0.9000m	＝	1.4355㎡	1		1.4355㎡		42セレ

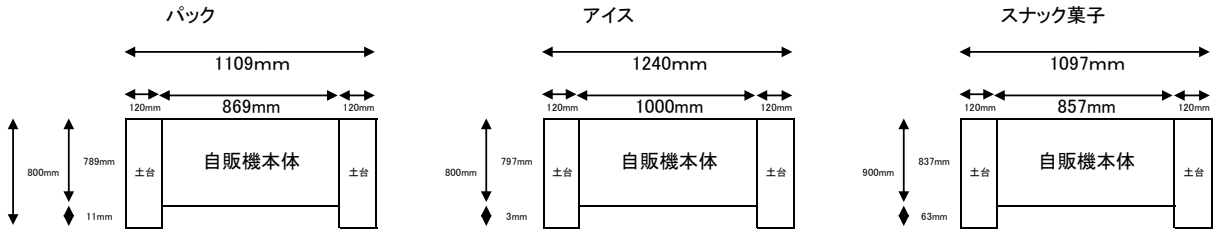
別紙　清涼飲料水等自動販売機　面積計算書

No.	種　類	設　置　場　所	占用物件(㎡)					設置数	面積(㎡)屋外	面積(㎡)屋内	備考	
24	清涼飲料水自動販売機	子供の広場管理棟	1.4210m	×	0.8000m	＝	1.1368㎡	1		1.1368㎡		36セレ
25	冷菓自動販売機	子供の広場管理棟	1.2400m	×	0.8000m	＝	0.9920㎡	1		0.9920㎡		冷菓類
26	スナック菓子自動販売機	子供の広場管理棟	1.0970m	×	0.9000m	＝	0.9873㎡	1		0.9873㎡		菓子類
27	清涼飲料水自動販売機	動物の森レストハウス	1.4210m	×	0.8000m	＝	1.1368㎡	3	3.4104㎡		固定シャッター設置	36セレ
28	冷菓自動販売機	動物の森レストハウス	1.2400m	×	0.8000m	＝	0.9920㎡	1	0.9920㎡		固定シャッター設置	冷菓類
29	清涼飲料水自動販売機	動物の森ふれあい広場前	1.4210m	×	1.4000m	＝	1.9894㎡	2	3.9788㎡		格納施設設置(庇付)	36セレ
30	清涼飲料水自動販売機	森の家前	1.4210m	×	1.4000m	＝	1.9894㎡	1	1.9894㎡		格納施設設置(庇付)	36セレ
31	清涼飲料水自動販売機	西口管理棟	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	2	2.8420㎡		格納施設設置	36セレ
32	冷菓自動販売機	西口管理棟	1.2400m	×	1.0000m	＝	1.2400㎡	1	1.2400㎡		格納施設設置	冷菓類
33	清涼飲料水自動販売機	西口ゲート外側	1.5950m	×	1.4000m	＝	2.2330㎡	2	4.4660㎡		格納施設設置(庇付)	42セレ
34	清涼飲料水自動販売機	西口ゲート外側	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	2	2.8420㎡		格納施設設置	36セレ
35	清涼飲料水自動販売機	西駐車場	1.4210m	×	1.4000m	＝	1.9894㎡	2	3.9788㎡		格納施設設置(庇付)	36セレ
36	清涼飲料水自動販売機	西サイクリングセンター口	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	4	5.6840㎡		格納施設設置	36セレ
37	清涼飲料水自動販売機	西サイクリングセンター口	1.1090m	×	1.0000m	＝	1.1090㎡	1	1.1090㎡		格納施設設置	ﾊﾟｯｸ
38	冷菓自動販売機	西サイクリングセンター口	1.2400m	×	1.0000m	＝	1.2400㎡	1	1.2400㎡		格納施設設置	冷菓類
39	清涼飲料水自動販売機	大芝生広場レストハウス	1.4210m	×	1.4000m	＝	1.9894㎡	2	3.9788㎡		格納施設設置(庇付)	36セレ
40	清涼飲料水自動販売機	大芝生広場レストハウス	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	1	1.4210㎡		格納施設設置	36セレ
41	清涼飲料水自動販売機	スカイドルフィン	1.4210m	×	1.4000m	＝	1.9894㎡	2	3.9788㎡		格納施設設置(庇付)	36セレ
42	清涼飲料水自動販売機	バラ園トイレ前	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	1	1.4210㎡		格納施設設置	36セレ
43	清涼飲料水自動販売機	デイキャンプ場倉庫前	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	1	1.4210㎡		格納施設設置	36セレ
44	清涼飲料水自動販売機	西口カナールトイレ彩りの池側	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	1	1.4210㎡		格納施設設置	36セレ
45	清涼飲料水自動販売機	マリンワールド駐車場トイレ	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	2	2.8420㎡		格納施設設置	36セレ
46	清涼飲料水自動販売機	ワンダーワールド口駐車場トイレ横	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	2	2.8420㎡		格納施設設置	36セレ
47	清涼飲料水自動販売機	マリンワールド駐車場入口付近	1.4210m	×	1.0000m	＝	1.4210㎡	1	1.4210㎡		格納施設設置	36セレ
		合　　計						67	82.9726㎡ ≒ 82.97㎡	15.2974㎡ ≒ 15.29㎡		

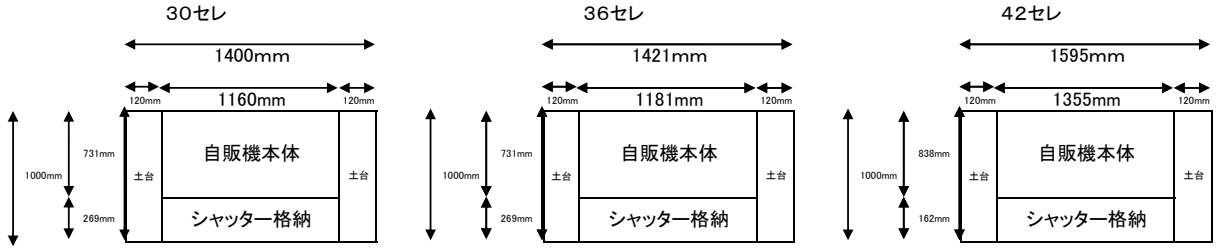
別紙１　　自動販売機構造図

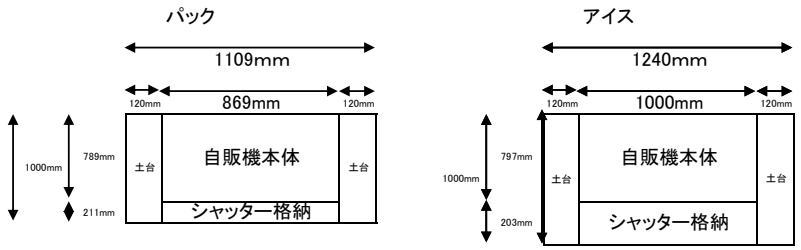
【屋内】



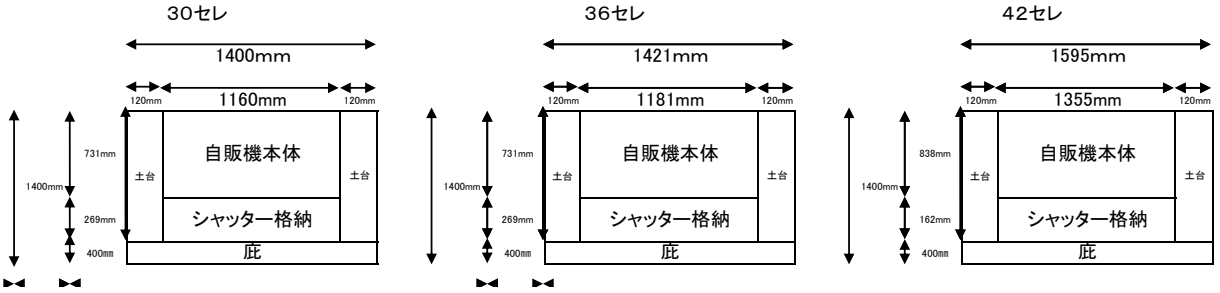


【屋外】





【屋外(庇付)】



■海の中道　貸自転車保有台数（H27.2.28時点）

車種	インチ	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	計	備考
子供車	20													60					40		100	センター別では20に合算
子供車（補助輪付）	20																				0	
子供車	18							10						65		20					95	センター別では子供用に合算
子供車（補助輪付）	18									10				20							30	センター別では子供用に合算
子供車	16							10						26		10					46	センター別では子供用に合算
子供車（補助輪付）	16							10		10				25							45	センター別では子供用に合算
子供車	14							5													5	センター別では子供用に合算
子供車（補助輪付）	14							5		10				30		20					65	センター別では子供用に合算
タンデム	26	100																			100	
一般車	26									40				119	20	124			59		362	
一般車	24								30	40	10			24	17						121	
一般車	22							49		36											85	センター別では22に合算
一般車	20									10											10	センター別では20に合算
一般車B（旧:ミニサイクル）	24																				0	
一般車B（旧:ミニサイクル）	22															50					50	センター別では22に合算
一般車B（旧:ミニサイクル）	20														26	74					100	センター別ではベガス
MTB（子供用）	24										10										10	センター別ではMTBに合算
MTB（子供用）	22										10										10	センター別ではMTBに合算
MTB（子供用）	20									15											15	センター別ではMTBに合算
一般車（同乗機付）	26							42	1	28				60	18		12				161	
一般車（後同乗機）	24							40		26											66	
一般車（前同乗機）	26																6				6	
一般車（前後同乗機）	20																9				9	
一般車（前後同乗機）	22																15				15	
一般車（前後同乗機）	26																8				8	
電動																			10		10	
計　①		100	0	0	0	0	0	171	31	225	30	0	0	429	81	298	50	0	109	0	1,524	

サイクルセンター別保有台数

	西サイクル		海中口		ワンロ		光風		合計
26インチ	247	25%	40	22%	55	22%	20	16%	362
24インチ	65	7%	20	11%	24	10%	12	10%	121
22インチ	75	8%	15	8%	20	8%	25	20%	135
20インチ	75	8%	13	7%	17	7%	5	4%	110
MTB 子供用	21	2%	7	4%	7	3%	0	0%	35
20インチ ベガス	56	6%	15	8%	20	8%	9	7%	100
子供前乗	137	14%	15	8%	30	12%	20	16%	202
子供後乗 三人乗り	40	4%	8	4%	10	4%	5	4%	63
タンデム	55	6%	16	9%	16	7%	13	11%	100
子供用	200	20%	30	17%	46	19%	10	8%	286
電動	7	1%	0	0%	0	0%	3	2%	10
合計	978	100.0%	179	100.0%	245	100.0%	122	100.0%	1,524

※返却場所自由なため日々変動有り。

別添　　様式1-1

平成　　年度　　月　　管　理　月　報

管理概要			業務実施状況	区　　分	実施した業務の内容・期日・数量等

（備考）用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。

別添　様式1-1

別添　様式1-2

平成　年度　月　管理月報内訳

工種・種別・細別	計画数量	前月迄	今月出来高	累計	進捗率	実施業務内容及び施工箇所等

別添　様式2

管 理 四 半 期 報　（平成　　年度　　第　　四半期）

実施予定					当期までの契約状況						
工種	種別	単位	数量	予定額	数量	契約額	内訳				
							業務名等	金額	業務等の内容	実施期間	請負業者名等

（備考）用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。

別添　様式3

委　託　業　務　実　施　の　記　録

実施予定						実施の内容						
								内訳				
工種	種別	細別	単位	数量	予定額	数量	実施額	業務名等	金額	業務等の内容	実施期間	請負業者名等

（備考）用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。